小樽市立病院

採用医薬品集

～２０２６年１０月版～

2026/10/02 01:16:21:発行　　薬剤部

1:神経系及び感覚器官用医薬品 ・・・P.1
11:中枢神経系用薬
111:全身麻酔剤
1115:溶性バルビツール酸系及び溶性チオバルビツール酸系製剤
イソゾール注射用０．５ｇ ・・・P.1
1119:その他の全身麻酔剤 ・・・P.1
(麻)ケタラール筋注用５００ｍｇ ・・・P.1
(麻)ケタラール静注用５０ｍｇ
１%ディプリバン注－キット５０ｍＬ
スープレン吸入麻酔液 ・・・P.2
ドロレプタン注射液２５ｍｇ
プロポフォール静注１%１００ｍＬ「マルイシ」【１ｇ１００ｍＬ１瓶】
プロポフォール静注１%２０ｍＬ「マルイシ」【２００ｍｇ２０ｍＬ１管】 ・・・P.3
プロポフォール静注１%５０ｍＬ「マルイシ」【５００ｍｇ５０ｍＬ１瓶】
112:催眠鎮静剤，抗不安剤 ・・・P.3
1123:抱水クロラール系製剤
エスクレ坐剤「２５０」 ・・・P.3
1124:ベンゾジアゼピン系製剤 ・・・P.4
２ｍｇセルシン錠 ・・・P.4
５ｍｇセルシン錠
アルプラゾラム錠０．４ｍｇ「サワイ」(ｺﾝｽﾀﾝ) [先発品:非採用]コンスタン０．４ｍｇ錠
エバミール錠１．０
グランダキシン錠５０
サイレース静注２ｍｇ（ﾛﾋﾌﾟﾉｰﾙ） ・・・P.5
セルシン散１%
ダイアップ坐剤６
ニトラゼパム錠５ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾈﾙﾎﾞﾝ) [先発品:非採用]ベンザリン錠５
フルニトラゼパム錠１ｍｇ「アメル」 [先発品:非採用]サイレース錠１ｍｇ
フルニトラゼパム錠２ｍｇ「アメル」 [先発品:非採用]サイレース錠２ｍｇ
ブロチゾラムＯＤ錠０．２５ｍｇ「テバ」 [先発品:非採用]レンドルミン錠０．２５ｍｇ ・・・P.6
ミダゾラム注射液１０ｍｇ「ＮＩＧ」
メイラックス錠１ｍｇ
ユーロジン錠１ｍｇ
ユーロジン錠２ｍｇ ・・・P.7
レキソタン錠２
ワイパックス錠０．５
1125:バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系製剤 ・・・P.7
フェノバール注射液１００ｍｇ ・・・P.7
1129:その他の催眠鎮静剤，抗不安剤 ・・・P.7
エスゾピクロン錠１ｍｇ「ニプロ」(ﾙﾈｽﾀ) [先発品:非採用]ルネスタ錠１ｍｇ ・・・P.7
エスゾピクロン錠２ｍｇ「ニプロ」(ﾙﾈｽﾀ) [先発品:非採用]ルネスタ錠２ｍｇ
ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「サワイ」(ﾏｲｽﾘｰ) [先発品:臨時使用]マイスリー錠１０ｍｇ ・・・P.8
ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「サワイ」(ﾏｲｽﾘｰ) [先発品:臨時使用]マイスリー錠５ｍｇ
タンドスピロンクエン酸塩錠１０ｍｇ「アメル」(ｾﾃﾞｨｰﾙ) [先発品:非採用]セディール錠１０ｍｇ
タンドスピロンクエン酸塩錠５ｍｇ「アメル」(ｾﾃﾞｨｰﾙ) [先発品:非採用]セディール錠５ｍｇ
デクスメデトミジン静注液２００μｇ／５０ｍＬシリンジ（ﾌﾟﾚｾﾃﾞｯｸｽ） [先発品:非採用]プレセデックス静注液２００μｇ「ファイザー」

トリクロリールシロップ１０％
リスミー錠１ｍｇ ・・・P.9
リスミー錠２ｍｇ
113:抗てんかん剤 ・・・P.9
1132:ヒダントイン系製剤
アレビアチン散１０％ ・・・P.9
アレビアチン錠１００ｍｇ
アレビアチン錠２５ｍｇ
1139:その他の抗てんかん剤 ・・・P.10
エクセグラン散２０％ ・・・P.10
エクセグラン錠１００ｍｇ
ガバペン錠２００ｍｇ
セレニカＲ顆粒４０％
テグレトール細粒５０％
テグレトール錠１００ｍｇ ・・・P.11
テグレトール錠２００ｍｇ
ノーベルバール静注用２５０ｍｇ
バルプロ酸ナトリウムシロップ５％「ＤＳＰ」
バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ１００ｍｇ「トーワ」 [先発品:臨時使用]デパケンＲ錠１００ｍｇ ・・・P.12
バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ２００ｍｇ「トーワ」 [先発品:非採用]セレニカＲ錠２００ｍｇ
フィコンパ錠2ｍｇ
ブリィビアクト錠２５ｍｇ ・・・P.13
ブリィビアクト静注２５ｍｇ 【２５ｍｇ２．５ｍＬ１瓶】
ミダフレッサ静注0.1% 10mg/10mL
ラミクタール錠２５ｍｇ ・・・P.14
リボトリール細粒０．１％ ・・・P.15
リボトリール錠０．５ｍｇ
リボトリール錠１ｍｇ
レベチラセタムドライシロップ５０％「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ) [先発品:非採用]イーケプラドライシロップ５０％
レベチラセタム錠５００ｍｇ「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ) [先発品:非採用]イーケプラ錠５００ｍｇ ・・・P.16
レベチラセタム点滴静注５００ｍｇ「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ) [先発品:臨時使用]イーケプラ点滴静注５００ｍｇ 【５００ｍｇ５ｍＬ１瓶】
114:解熱鎮痛消炎剤 ・・・P.16
1141:アニリン系製剤；メフェナム酸・フルフェナム酸等
アセトアミノフェン「ＶＴＲＳ」原末(ﾅﾊﾟ) ・・・P.16
アセリオ静注液１０００ｍｇバッグ 【１，０００ｍｇ１００ｍＬ１袋】
アンヒバ坐剤小児用１００ｍｇ ・・・P.17
アンヒバ坐剤小児用２００ｍｇ
カロナールシロップ２％
カロナール錠２００
カロナール錠５００
ポンタールカプセル２５０ｍｇ ・・・P.18
1147:フェニル酢酸系製剤 ・・・P.18
ジクロフェナクＮａ錠２５ｍｇ「サワイ」(ﾎﾞﾙﾀﾚﾝ錠) [先発品:臨時使用]ボルタレン錠２５ｍｇ ・・・P.18
ジクロフェナクナトリウム坐剤２５ｍｇ「ゼリア」 [先発品:非採用]ボルタレンサポ２５ｍｇ
ジクロフェナクナトリウム坐剤５０ｍｇ「ゼリア」 [先発品:臨時使用]ボルタレンサポ５０ｍｇ

1149:その他の解熱鎮痛消炎剤 ・・・P.19
ＳＧ配合顆粒 ・・・P.19
セレコキシブ錠１００ｍｇ「トーワ」(ｾﾚｺｯｸｽ) [先発品:非採用]セレコックス錠１００ｍｇ
ソセゴン注射液１５ｍｇ（ﾍﾟﾝﾀｼﾞﾝ注）
ツートラム錠１００ｍｇ
ツートラム錠５０ｍｇ
トアラセット配合錠「サワイ」(ﾄﾗﾑｾｯﾄ) [先発品:臨時使用]トラムセット配合錠 ・・・P.20
トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」(ﾄﾗﾏｰﾙ) [先発品:臨時使用]トラマールＯＤ錠２５ｍｇ
ナイキサン錠１００ｍｇ
ノイロトロピン錠４単位
パラミヂンカプセル３００ｍｇ
ブルフェン錠１００
レペタン注０．２ｍｇ ・・・P.21
ロキソプロフェンＮａ錠６０ｍｇ「三和」 [先発品:臨時使用]ロキソニン錠６０ｍｇ
ロピオン静注５０ｍｇ
ワントラム錠１００ｍｇ
116:抗パーキンソン剤 ・・・P.22
1161:アマンタジン製剤
アマンタジン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]シンメトレル錠５０ｍｇ ・・・P.22
1162:ビペリデン製剤 ・・・P.22
ビペリデン塩酸塩錠１ｍｇ「アメル」(ｱｷﾈﾄﾝ) [先発品:臨時使用]アキネトン錠１ｍｇ ・・・P.22
1169:その他の抗パーキンソン剤 ・・・P.22
アーテン錠２ｍｇ ・・・P.22
アジレクト錠０．５ｍｇ
アジレクト錠１ｍｇ
エフピーＯＤ錠２．５
カバサール錠０．２５ｍｇ ・・・P.23
ドパコール配合錠Ｌ１００(ﾈｵﾄﾞﾊﾟｽﾄﾝ) [先発品:臨時使用]ネオドパストン配合錠Ｌ１００ｍｇ
ドプスＯＤ錠１００ｍｇ
ニュープロパッチ１３．５ｍｇ
ニュープロパッチ２．２５ｍｇ ・・・P.24
ニュープロパッチ４．５ｍｇ
ニュープロパッチ９ｍｇ
ノウリアスト錠２０ｍｇ
ビ・シフロール錠０．１２５ｍｇ
ビ・シフロール錠０．５ｍｇ ・・・P.25
117:精神神経用剤 ・・・P.25
1171:クロルプロマジン製剤
ウインタミン細粒（１０％） ・・・P.25
コントミン筋注２５ｍｇ
コントミン糖衣錠２５ｍｇ
コントミン糖衣錠５０ｍｇ
1172:フェノチアジン系製剤 ・・・P.26
ノバミン錠５ｍｇ ・・・P.26
ヒルナミン細粒１０％(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)
ヒルナミン錠（２５ｍｇ）(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)
ヒルナミン錠（５ｍｇ）(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)
フルデカシン筋注２５ｍｇ
1174:イミプラミン系製剤 ・・・P.26
アナフラニール錠１０ｍｇ ・・・P.27

アナフラニール錠２５ｍｇ
トフラニール錠１０ｍｇ
1179:その他の精神神経用剤 ・・・P.27
アタラックス－Ｐ注射液５０ｍｇ ・・・P.27
アタラックス錠１０ｍｇ
アトモキセチン錠１０ｍｇ「トーワ」(ｽﾄﾗﾃﾗ) [先発品:非採用]ストラテラカプセル１０ｍｇ
アトモキセチン錠４０ｍｇ「トーワ」(ｽﾄﾗﾃﾗ) [先発品:非採用]ストラテラカプセル４０ｍｇ ・・・P.28
アリピプラゾール錠１２ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) [先発品:非採用]エビリファイ錠１２ｍｇ
アリピプラゾール錠1ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) [先発品:非採用]エビリファイ錠1ｍｇ
アリピプラゾール錠3ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) [先発品:臨時使用]エビリファイ錠3ｍｇ
アリピプラゾール錠6ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) [先発品:臨時使用]エビリファイ錠6ｍｇ ・・・P.29
イフェクサーＳＲカプセル３７．５ｍｇ
イフェクサーＳＲカプセル７５ｍｇ
インヴェガ錠3ｍｇ
エスシタロプラムＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾚｸｻﾌﾟﾛ) [先発品:非採用]レクサプロ錠１０ｍｇ
エチゾラム錠０．５ｍｇ「アメル」(ﾃﾞﾊﾟｽ) [先発品:臨時使用]デパス錠０．５ｍｇ ・・・P.30
エチゾラム錠1ｍｇ「アメル」(ﾃﾞﾊﾟｽ) [先発品:非採用]デパス錠1ｍｇ
エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇシリンジ
オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:非採用]ジプレキサ錠１０ｍｇ
オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:非採用]ジプレキサ錠１０ｍｇ
オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:臨時使用]ジプレキサ錠２．５ｍｇ ・・・P.31
オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:臨時使用]ジプレキサ錠２．５ｍｇ
オランザピンＯＤ錠5ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:臨時使用]ジプレキサ錠5ｍｇ
オランザピンＯＤ錠5ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:臨時使用]ジプレキサ錠5ｍｇ
オランザピン細粒１％「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ) [先発品:臨時使用]ジプレキサ細粒１％ ・・・P.32
クエチアピン錠１００ｍｇ「明治」(ｾﾛｸｴﾙ) [先発品:非採用]セロクエル１００ｍｇ錠
クエチアピン錠２５ｍｇ「明治」(ｾﾛｸｴﾙ) [先発品:非採用]セロクエル２５ｍｇ錠
クレミン錠２５ｍｇ
クロザリル錠１００ｍｇ
クロザリル錠２５ｍｇ ・・・P.33
クロチアゼパム錠5ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]リーゼ錠5ｍｇ
コンサータ錠１８ｍｇ
コンサータ錠２７ｍｇ
ジプレキサザイディス錠5ｍｇ
セルトラリン錠２５ｍｇ「サワイ」(ｼﾞｪｲｿﾞﾛﾌﾄ) [先発品:臨時使用]ジェイゾロフト錠２５ｍｇ ・・・P.34
セルトラリン錠５０ｍｇ「サワイ」(ｼﾞｪｲｿﾞﾛﾌﾄ) [先発品:非採用]ジェイゾロフト錠５０ｍｇ
セレネース細粒１％
セレネース錠1ｍｇ
セレネース錠3ｍｇ
セレネース注5ｍｇ
ゼプリオン水懸筋注１００ｍｇシリンジ
ゼプリオン水懸筋注１５０ｍｇシリンジ ・・・P.35
ゼプリオン水懸筋注７５ｍｇシリンジ

テトラミド錠１０ｍｇ
デュロキセチンＯＤ錠２０ｍｇ「明治」(ｻｲﾝﾊﾞﾙﾀ) [先発品:非採用]サインバルタカプセル２０ｍｇ
トラゾドン塩酸塩錠２５ｍｇ「アメル」 [先発品:非採用]レスリン錠２５
トラゾドン塩酸塩錠５０ｍｇ「アメル」 [先発品:非採用]レスリン錠５０
トリプタノール錠１０
トリンテリックス錠１０ｍｇ ・・・P.36
トレドミン錠１５ｍｇ
トレドミン錠２５ｍｇ
ドグマチール錠１００ｍｇ
ドグマチール錠５０ｍｇ
ハロマンス注１００ｍｇ
ハロマンス注５０ｍｇ ・・・P.37
パロキセチン錠１０ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ) [先発品:臨時使用]パキシル錠１０ｍｇ
パロキセチン錠２０ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ) [先発品:臨時使用]パキシル錠２０ｍｇ
パロキセチン錠５ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ) [先発品:臨時使用]パキシル錠５ｍｇ
フルボキサミンマレイン酸塩錠２５ｍｇ「日医工」(ﾙﾎﾞｯｸｽ) [先発品:非採用]デプロメール錠２５ ・・・P.38
フルボキサミンマレイン酸塩錠５０ｍｇ「日医工」(ﾙﾎﾞｯｸｽ) [先発品:非採用]デプロメール錠５０
ブロナンセリン錠４ｍｇ｢DSPB｣(ﾛﾅｾﾝ) [先発品:臨時使用]ロナセン錠４ｍｇ
ブロナンセリン錠８ｍｇ｢DSPB｣(ﾛﾅｾﾝ) [先発品:臨時使用]ロナセン錠８ｍｇ
ブロムペリドール錠１ｍｇ「アメル」 ・・・P.39
ブロムペリドール錠３ｍｇ「アメル」
ペロスピロン塩酸塩錠４ｍｇ「アメル」(ﾙｰﾗﾝ) [先発品:非採用]ルーラン錠４ｍｇ
ミルタザピン錠１５ｍｇ「明治」(ﾚﾒﾛﾝ) [先発品:非採用]リフレックス錠１５ｍｇ
ラツーダ錠４０ｍｇ
ラツーダ錠８０ｍｇ
リスパダールコンスタ筋注用50mg
リスペリドンＯＤ錠０．５ｍｇ「トーワ」(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:非採用]リスパダールＯＤ錠０．５ｍｇ ・・・P.40
リスペリドンＯＤ錠１ｍｇ「トーワ」(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:非採用]リスパダール錠１ｍｇ
リスペリドンＯＤ錠２ｍｇ「トーワ」(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:非採用]リスパダール錠２ｍｇ
リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【0.5mL/包】(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ
リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【1mL/包】(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ ・・・P.41
リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【2mL/包】(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ
リスペリドン細粒１％「トーワ」(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ) [先発品:臨時使用]リスパダール細粒１％
レキサルティＯＤ錠１ｍｇ
レキサルティＯＤ錠２ｍｇ ・・・P.42
ロドピン錠２５ｍｇ
ロナセンテープ２０ｍｇ
ロナセンテープ４０ｍｇ
炭酸リチウム錠100mg「大正」(ﾘｰﾏｽ)
炭酸リチウム錠200mg「大正」(ﾘｰﾏｽ) ・・・P.43

118:総合感冒剤 ・・・P.43

1180:総合感冒剤

ペレックス配合顆粒 ・・・P.43

119:その他の中枢神経系用薬 ・・・P.43

1190:その他の中枢神経系用薬

アイモビーグ皮下注７０ｍｇペン ・・・P.43

アジョビ皮下注225mgｵｰﾄｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ
エムガルティ皮下注１２０ｍｇオートインジェクター
ガランタミンＯＤ錠１２ｍｇ「DSEP」(ﾚﾐﾆｰﾙ) [先発品:非採用]レミニール錠１２ｍｇ ・・・P.44
ガランタミンＯＤ錠４ｍｇ「DSEP」(ﾚﾐﾆｰﾙ) [先発品:非採用]レミニール錠４ｍｇ
ガランタミンＯＤ錠８ｍｇ「DSEP」(ﾚﾐﾆｰﾙ) [先発品:非採用]レミニール錠８ｍｇ
クービビック錠２５ｍｇ
クービビック錠５０ｍｇ
ケサンラ点滴静注液３５０ｍｇ 【３５０ｍｇ２０ｍＬ１瓶】
タリージェＯＤ錠１０ｍｇ
タリージェＯＤ錠５ｍｇ ・・・P.45
チアプリド錠２５ｍｇ「サワイ」(ｸﾞﾗﾏﾘｰﾙ) [先発品:臨時使用]グラマリール錠２５ｍｇ
チアプリド錠５０ｍｇ「サワイ」(ｸﾞﾗﾏﾘｰﾙ) [先発品:臨時使用]グラマリール錠５０ｍｇ
デエビゴ錠１０ｍｇ
デエビゴ錠２．５ｍｇ
デエビゴ錠５ｍｇ
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ) [先発品:臨時使用]アリセプト錠１０ｍｇ
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠３ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ) [先発品:臨時使用]アリセプト錠３ｍｇ ・・・P.46
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ) [先発品:臨時使用]アリセプト錠５ｍｇ
プレガバリンOD錠25ｍｇ「VTRS」(ﾘﾘｶ) [先発品:非採用]リリカＯＤ錠２５ｍｇ
プレガバリンOD錠75ｍｇ「VTRS」(ﾘﾘｶ) [先発品:非採用]リリカＯＤ錠７５ｍｇ
ベルソムラ錠１５ｍｇ ・・・P.47
ベルソムラ錠２０ｍｇ
メマンチン塩酸塩錠２０ｍｇ「DSEP」(ﾒﾏﾘｰ) [先発品:臨時使用]メマリー錠２０ｍｇ
メマンチン塩酸塩錠５ｍｇ「DSEP」(ﾒﾏﾘｰ) [先発品:臨時使用]メマリー錠５ｍｇ
ラメルテオン錠８ｍｇ「武田テバ」(ﾛｾﾞﾚﾑ) [先発品:臨時使用]ロゼレム錠８ｍｇ
レグナイト錠３００ｍｇ
ｴﾀﾞﾗﾎﾞﾝ点滴静注液30mgﾊﾞｯｸﾞ「NP」(ﾗｼﾞｶｯﾄ) [先発品:非採用]ラジカット注３０ｍｇ
ﾅﾙﾌﾗﾌｨﾝ塩酸塩OD錠2.5μg「ﾌｿｰ」(ﾚﾐｯﾁ) [先発品:非採用]レミッチＯＤ錠２．５μｇ ・・・P.48

12:末梢神経系用薬 ・・・P.48

121:局所麻酔剤

1214:キシリジン系製剤

キシロカインゼリー２％（30mL/本） ・・・P.48
キシロカインビスカス２％
キシロカインポンプスプレー８％
キシロカイン液「４％」
キシロカイン注ポリアンプ0.5%１０ｍＬ
キシロカイン注ポリアンプ１％１０ｍＬ ・・・P.49
キシロカイン注ポリアンプ１％５ｍＬ
キシロカイン注ポリアンプ２％１０ｍＬ
キシロカイン点眼液４％
マーカイン注脊麻用0.5%高比重(20mg/4mL) ・・・P.50
マーカイン注脊麻用0.5%等比重(20mg/4mL)
リドカインテープ１８ｍｇ「ＹＰ」(ﾍﾟﾝﾚｽﾃｰﾌﾟ) [先発品:臨時使用]ペンレステープ１８ｍｇ
ロピバカイン塩酸塩0.2%注バッグ200mg/100mL「テルモ」(ｱﾅﾍﾟｲﾝ) [先発品:非採用]アナペイン注２ｍｇ／ｍＬ
ロピバカイン塩酸塩0.75%注150mg/20mL「テルモ」（アナペイン） [先発品:非採用]アナペイン注７．５ｍｇ／ｍＬ
静注用キシロカイン２％（100mg/5mL）
ｷｼﾛｶｲﾝ注射液「1%」ｴﾋﾟﾚﾅﾐﾝ(1:100.000)含有 ・・・P.51

ｷｼﾛｶｲﾝ注射液「2%」ｴﾋﾟﾚﾅﾐﾝ(1:80.000)含有
1219:その他の局所麻酔剤 ・・・P.51
エムラクリーム ・・・P.51
122:骨格筋弛緩剤 ・・・P.51
1224:コリン系製剤；コハク酸コリン等
スキサメトニウム注４０「マルイシ」 【２％２ｍＬ１管 】 ・・・P.51
1229:その他の骨格筋弛緩剤 ・・・P.52
★筋弛緩★ロクロニウム臭化物静注液(50㎎/5㎖)「マルイシ」 ・・・P.52
ダントリウムカプセル２５ｍｇ
ダントリウム静注用２０ｍｇ
ボトックス注用５０単位
123:自律神経剤 ・・・P.53
1231:四級アンモニウム塩製剤；メタンテリンブロミド等
(毒)ウブレチド錠５ｍｇ ・・・P.53
チキジウム臭化物カプセル１０ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]チアトンカプセル１０ｍｇ
1232:アセチルコリン系製剤 ・・・P.53
オビソート注射用０．１ｇ ・・・P.53
124:鎮けい剤 ・・・P.54
1242:アトロピン系製剤
アトロピン注０．０５%シリンジ「テルモ」 ・・・P.54
ブスコパン注射液20㎎
ﾌﾞﾁﾙｽｺﾎﾟﾗﾐﾝ臭化物錠10㎎「ﾂﾙﾊﾗ」 [先発品:非採用]ブスコパン錠１０ｍｇ
1243:パパベリン系製剤 ・・・P.54
パパベリン塩酸塩注４０ｍｇ ・・・P.54
1244:マグネシウム塩製剤；硫酸マグネシウム注射液等 ・・・P.54
硫酸Ｍｇ補正液１ｍＥｑ／ｍＬ ・・・P.54
1249:その他の鎮けい剤 ・・・P.55
エペリゾン塩酸塩錠５０ｍｇ「トーワ」(ﾐｵﾅｰﾙ) [先発品:非採用]ミオナール錠５０ｍｇ ・・・P.55
コスパノンカプセル４０ｍｇ
チザニジン錠１ｍｇ「杏林」(ﾃﾙﾈﾘﾝ) [先発品:臨時使用]テルネリン錠１ｍｇ
リオレサール錠５ｍｇ
125:発汗剤、止汗剤 ・・・P.55
1259:その他の発汗剤、止汗剤
ラピフォートワイプ２．５% ・・・P.55
13:感覚器官用薬 ・・・P.56
131:眼科用剤
1311:散瞳剤；ホマトロピン等
サイプレジン１%点眼液 ・・・P.56
トロピカミド点眼液０．４%「日点」(ﾐﾄﾞﾘﾝM) [先発品:非採用]ミドリンM点眼液０．４%
1312:縮瞳剤；ピロカルピン等 ・・・P.56
サンピロ２%点眼液 ・・・P.56
1313:眼科用局所麻酔剤 ・・・P.56
ベノキシール点眼液０．４% ・・・P.56
1315:眼科用コルチゾン製剤；コルチゾン点眼液及び眼軟膏剤 ・・・P.56
フルオロメトロン点眼液０．０２%「わかもと」(ﾌﾙﾒﾄﾛﾝ) [先発品:非採用]フルメトロン点眼液０．０２% ・・・P.56
フルオロメトロン点眼液０．１%「わかもと」(ﾌﾙﾒﾄﾛﾝ) [先発品:非採用]フルメトロン点眼液０．１%
プレドニン眼軟膏（5g/本）

リンデロン点眼液０．１％		・・・P.57
リンデロン点耳液０．１％		
リンデロン点鼻液０．１％		
1317:眼科用抗生物質製剤；オキシテトラサイクリン眼軟膏剤		・・・P.57
ベストロン点眼用０．５％		・・・P.57
1319:その他の眼科用剤		・・・P.57
ＰＡ・ヨード点眼・洗眼液		・・・P.57
アイラミド配合懸濁性点眼液		・・・P.58
アイリーア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL		
アゾルガ配合懸濁性点眼液		
アフリベルセプト硝子体内注射用キット４０ｍｇ／ｍＬ	[先発品:非採用]アイリーア硝子体内注射液４０ｍｇ／ｍＬ	
アレジオン眼瞼クリーム０．５％（2g/本）		
エイゾプト懸濁性点眼液１％		
エイベリス点眼液０．００２％		・・・P.59
エピナスチン塩酸塩ＬＸ点眼液０．１％「ＳＥＣ」(ｱﾚｼﾞｵﾝ)	[先発品:非採用]アレジオンＬＸ点眼液０．１％	
エピナスチン塩酸塩点眼液0.05%「日点」(ｱﾚｼﾞｵﾝ)	[先発品:非採用]アレジオン点眼液０．０５％	
オロパタジン点眼液０．１％「ニッテン」(ﾊﾟﾀﾉｰﾙ)	[先発品:非採用]パタノール点眼液０．１％	
クラビット点眼液１．５％		
グラアルファ配合点眼液		
グラナテック点眼液０．４％		
コソプト配合点眼液		
サンコバ点眼液０．０２％		
サンドールＰ点眼液(ﾐﾄﾞﾘﾝＰ)		・・・P.60
ジクアスLX点眼液３％		
スコピゾル眼科用液		
セタネオ点眼液0.002%		
ゾビラックス眼軟膏３％（5g/本）		
タプコム配合点眼液		
タプロス点眼液０．００１５％		
タリビッド眼軟膏０．３％（3.5g/本）		
ディスコビスク１．０眼粘弾剤		・・・P.61
トラニラスト点眼液０．５％「ニットー」(ﾘｻﾞﾍﾞﾝ)	[先発品:非採用]トラメラスＰＦ点眼液０．５％	
ニフラン点眼液０．１％		
ネオメドロールＥＥ軟膏		
バビースモ硝子体内注射用キット120mg/mL		
ヒーロン０．８５眼粘弾剤１％		
ヒーロンＶ０．６眼粘弾剤２．３％		
ヒアルロン酸Ｎａ点眼液０．１％「科研」(ﾋｱﾚｲﾝ)	[先発品:臨時使用]ヒアレイン点眼液０．１％	
ビスコート０．５眼粘弾剤	[先発品:採用]ディスコビスク１．０眼粘弾剤	・・・P.62
ビマトプロスト点眼液０．０３％「ニットー」(ﾙﾐｶﾞﾝ)	[先発品:非採用]ルミガン点眼液０．０３％	
ピレノキシン懸濁性点眼液０．００５％「参天」(ｶﾘｰﾕﾆ)	[先発品:非採用]カタリン点眼用０．００５％	
ブリモニジン酒石酸塩点眼液０．１％「日点」（アイファガン）	[先発品:非採用]アイファガン点眼液０．１％	
ブロムフェナクＮａ点眼液０．１％「日点」(ﾌﾞﾛﾅｯｸ)	[先発品:非採用]ブロナック点眼液０．１％	
ベオビュ硝子体内注射用キット１２０ｍｇ／ｍＬ		

マキュエイド眼注用４０ｍｇ ・・・P.63
ミケランＬＡ点眼液２％
ミケルナ配合点眼液
モキシフロキサシン点眼液０．５％「日点」(ﾍﾞｶﾞﾓｯｸｽ) [先発品:非採用]ベガモックス点眼液０．５％
ラタノプロスト点眼液０．００５％「ニッテン」(ｷｻﾗﾀﾝ) [先発品:非採用]キサラタン点眼液０．００５％
ラニビズマブＢＳ硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ「センジュ」(ﾙｾﾝﾃｨｽ) [先発品:非採用]ルセンティス硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ
レバミピド懸濁性点眼液２％「参天」（ムコスタ) [先発品:非採用]ムコスタ点眼液ＵＤ２％ ・・・P.64
ロープレッサ点眼液０．０２％
眼・耳科用リンデロンＡ軟膏(5g/本)
ﾋﾞｰｴｽｴｽﾌﾟﾗｽ500眼灌流液0.0184%

132:耳鼻科用剤 ・・・P.64
1324:耳鼻科用血管収縮剤
プリビナ液０．０５％ ・・・P.64
1329:その他の耳鼻科用剤 ・・・P.64
ケトチフェン点鼻液０．０５％「サワイ」 [先発品:非採用]ザジテン点鼻液０．０５％ ・・・P.64
タリビッド耳科用液０．３％ ・・・P.65
ナゾネックス点鼻液50μg56噴霧用
ベクロメタゾン点鼻液50μｇ「DSP」(ｱﾙﾃﾞｼﾝ)
ﾌﾙﾁｶｿﾞﾝﾌﾗﾝｶﾙﾎﾞﾝ酸ｴｽﾃﾙ点鼻液27.5μｇ「武田ﾃﾊﾞ」56噴霧用(ｱﾗﾐｽﾄ) [先発品:非採用]アラミスト点鼻液２７．５μｇ５６噴霧用
133:鎮暈剤 ・・・P.65
1339:その他の鎮暈剤
ジフェニドール塩酸塩錠２５ｍｇ「ＮＩＧ」（ｾﾌｧﾄﾞｰﾙ） [先発品:非採用]セファドール錠２５ｍｇ ・・・P.65
トラベルミン配合錠
ベタヒスチンメシル酸塩錠６ｍｇ「トーワ」(ﾒﾘｽﾛﾝ) [先発品:非採用]メリスロン錠６ｍｇ

2:個々の器官系用医薬品 ・・・P.66
21:循環器官用薬
211:強心剤
2113:ジギタリス製剤
ジギラノゲン注０．４ｍｇ ・・・P.66
ジゴシン錠０．１２５ｍｇ
ジゴシン注０．２５ｍｇ
ラニラピッド錠０．０５ｍｇ ・・・P.67
2115:カフェイン系製剤 ・・・P.67
ネオフィリン注２５０ｍｇ ・・・P.67
2119:その他の強心剤 ・・・P.67
エホチール注１０ｍｇ ・・・P.67
ドパミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「ＮＩＧ」 【 １００ｍｇ５ｍＬ１管 】 [先発品:非採用]イノバン注１００ｍｇ
ドパミン塩酸塩点滴静注液２００ｍｇバッグ「武田テバ」 [先発品:非採用]イノバン注０．３%シリンジ
ドパミン塩酸塩点滴静注液６００ｍｇバッグ「NIG」 [先発品:非採用]イノバン注０．３%シリンジ ・・・P.68
ドブタミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ドブトレックス注射液１００ｍｇ
ドブタミン持続静注１５０ｍｇシリンジ「テルモ」 [先発品:非採用]ドブトレックスキット点滴静注用６００ｍｇ
ピモベンダン錠１．２５ｍｇ「ＴＥ」
プロタノールＬ注０．２ｍｇ
ミルリノン静注液10mg「NIG」(ﾐﾙﾘｰﾗ) [先発品:非採用]ミルリーラ注射液１０ｍｇ ・・・P.69

212:不整脈用剤 ・・・P.69

2123:β－遮断剤

アロチノロール塩酸塩錠5mg(ｱﾙﾏｰﾙ) ・・・P.69

インデラル錠１０ｍｇ

コアベータ静注用１２．５ｍｇ

テノーミン錠２５ ・・・P.70

テノーミン錠５０

ビソプロロールフマル酸塩錠０．６２５ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]メインテート錠０．６２５ｍｇ

ビソプロロールフマル酸塩錠２．５ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]メインテート錠２．５ｍｇ

ビソプロロールフマル酸塩錠５ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]メインテート錠５ｍｇ

2129:その他の不整脈用剤 ・・・P.71

(毒)アミオダロン塩酸塩速崩錠１００ｍｇ「ＴＥ」 [先発品:臨時使用]アンカロン錠１００ ・・・P.71

アスペノンカプセル２０

アミオダロン塩酸塩静注１５０ｍｇ「ＴＥ」（アンカロン） [先発品:臨時使用]アンカロン注１５０ｍｇ

シベノール静注７０ｍｇ ・・・P.72

シベンゾリンコハク酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」(ｼﾍﾞﾉｰﾙ) [先発品:臨時使用]シベノール錠５０ｍｇ

シンビット静注用５０ｍｇ

タンボコール錠５０ｍｇ

ピメノールカプセル１００ｍｇ

ピルシカイニド塩酸塩カプセル２５ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]サンリズムカプセル２５ｍｇ ・・・P.73

ピルシカイニド塩酸塩カプセル５０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]サンリズムカプセル５０ｍｇ

ベプリジル塩酸塩錠５０ｍｇ「ＴＥ」(ﾍﾞﾌﾟﾘｺｰﾙ) [先発品:非採用]ベプリコール錠５０ｍｇ

メキシレチン塩酸塩カプセル５０ｍｇ「サワイ」(ﾒｷｼﾁｰﾙ) [先発品:非採用]メキシチールカプセル５０ｍｇ

リスモダンＲ錠１５０ｍｇ

リスモダンカプセル１００ｍｇ

ワソラン静注５ｍｇ

213:利尿剤 ・・・P.74

2132:チアジド系製剤

フルイトラン錠1ｍｇ ・・・P.74

フルイトラン錠2ｍｇ

2133:抗アルドステロン製剤；トリアムテレン等 ・・・P.74

スピロノラクトン錠２５ｍｇ「日医工」(ｱﾙﾀﾞｸﾄﾝ) [先発品:非採用]アルダクトンＡ錠２５ｍｇ ・・・P.74

ソルダクトン静注用２００ｍｇ

2134:炭酸脱水酵素阻害剤 ・・・P.74

ダイアモックス錠２５０ｍｇ ・・・P.74

ダイアモックス注射用５００ｍｇ ・・・P.75

2139:その他の利尿剤 ・・・P.75

アゾセミド錠30mg｢DSEP｣ [先発品:非採用]ダイアート錠３０ｍｇ ・・・P.75

アゾセミド錠60mg｢DSEP｣ [先発品:非採用]ダイアート錠６０ｍｇ

イソバイドシロップ70%分包20mL

イソバイドシロップ70%分包30mL

サムタス点滴静注用8mg

トラセミドＯＤ錠４ｍｇ「ＴＥ」（ﾙﾌﾟﾗｯｸ） [先発品:臨時使用]ルプラック錠４ｍｇ ・・・P.76

トルバプタンＯＤ錠１５ｍｇ「オーツカ」(ｻﾑｽｶ) [先発品:非採用]サムスカＯＤ錠１５ｍｇ

トルバプタンＯＤ錠３．７５ｍｇ「ＴＥ」 [先発品:臨時使用]サムスカＯＤ錠７．５ｍｇ
トルバプタンＯＤ錠７．５ｍｇ「オーツカ」(ｻﾑｽｶ) [先発品:臨時使用]サムスカＯＤ錠７．５ｍｇ
フロセミド錠１０ｍｇ「NIG」(ﾗｼｯｸｽ) [先発品:非採用]ラシックス錠１０ｍｇ
フロセミド錠２０ｍｇ「NIG」(ﾗｼｯｸｽ) [先発品:非採用]ラシックス錠２０ｍｇ
フロセミド錠４０ｍｇ「NIG」(ﾗｼｯｸｽ) [先発品:臨時使用]ラシックス錠４０ｍｇ ・・・P.77
フロセミド注２０ｍｇ「NIG」 (ﾗｼｯｸｽ) [先発品:非採用]ラシックス注２０ｍｇ
ラシックス注１００ｍｇ
214:血圧降下剤 ・・・P.77
2144:アンジオテンシン変換酵素阻害剤
エースコール錠２ｍｇ ・・・P.77
タナトリル錠５
2145:メチルドパ製剤 ・・・P.77
アルドメット錠２５０ ・・・P.77
2149:その他の血圧降下剤 ・・・P.78
アジルサルタン錠２０ｍｇ「武田ﾃﾊﾞ」(ｱｼﾞﾙﾊﾞ) [先発品:非採用]アジルバ錠２０ｍｇ ・・・P.78
アゼルニジピン錠８ｍｇ「ケミファ」(ｶﾙﾌﾞﾛｯｸ) [先発品:非採用]カルブロック錠８ｍｇ
エブランチルカプセル１５ｍｇ
エプレレノン錠２５ｍｇ「杏林」(ｾﾗﾗ) [先発品:非採用]セララ錠２５ｍｇ
オルメサルタンＯＤ錠２０ｍｇ「DSEP」(ｵﾙﾒﾃｯｸ) [先発品:非採用]オルメテックＯＤ錠２０ｍｇ
カルデナリン錠２ｍｇ ・・・P.79
カルベジロール錠１０ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]アーチスト錠１０ｍｇ
カルベジロール錠２．５ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]アーチスト錠２．５ｍｇ
カンデサルタン錠４ｍｇ「あすか」(ﾌﾞﾛﾌﾟﾚｽ) [先発品:非採用]ブロプレス錠４
カンデサルタン錠８ｍｇ「あすか」(ﾌﾞﾛﾌﾟﾚｽ) [先発品:臨時使用]ブロプレス錠８ｍｇ ・・・P.80
コディオ配合錠ＥＸ
シルニジピン錠１０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｱﾃﾚｯｸ) [先発品:臨時使用]アテレック錠１０
シルニジピン錠５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｱﾃﾚｯｸ) [先発品:非採用]アテレック錠５
ジルムロ配合錠ＨＤ「武田テバ」(ｻﾞｸﾗｽ) [先発品:非採用]ザクラス配合錠ＨＤ
セロケン錠２０ｍｇ
テルミサルタン錠４０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾐｶﾙﾃﾞｨｽ) [先発品:非採用]ミカルディス錠４０ｍｇ ・・・P.81
デタントールＲ錠３ｍｇ
ドキサゾシン錠０．５ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ｶﾙﾃﾞﾅﾘﾝ) [先発品:非採用]カルデナリン錠０．５ｍｇ
ドキサゾシン錠２ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ｶﾙﾃﾞﾅﾘﾝ) [先発品:採用]カルデナリン錠２ｍｇ
ナトリックス錠１
ニトプロ持続静注液６ｍｇ
バルサルタン錠８０ｍｇ「Ｍｅ」 [先発品:臨時使用]ディオバン錠８０ｍｇ ・・・P.82
ビソノテープ４ｍｇ
プレミネント配合錠ＬＤ
ミカムロ配合錠ＡＰ
ミコンビ配合錠ＡＰ
ミニプレス錠０．５ｍｇ
ミネブロＯＤ錠２．５ｍｇ ・・・P.83
レザルタス配合錠ＨＤ
ロサルタンＫ錠５０ｍｇ「ＤＳＥＰ」 [先発品:臨時使用]ニューロタン錠５０ｍｇ
ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩注射液10mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ)
ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩注射液2mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ)
216:血管収縮剤 ・・・P.84
2160:血管収縮剤

ゾーミッグＲＭ錠２．５ｍｇ		・・・P.84
ネオシネジンコーワ注１ｍｇ		
マクサルトＲＰＤ錠１０ｍｇ		
ミドドリン塩酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾒﾄﾘｼﾞﾝ)	[先発品:非採用]メトリジン錠２ｍｇ	
217:血管拡張剤		・・・P.84
2171:冠血管拡張剤		
アムロジピンOD錠２．５ｍｇ「明治」(ﾉﾙﾊﾞｽｸ)	[先発品:非採用]ノルバスク錠２．５ｍｇ	・・・P.84
アムロジピンOD錠５ｍｇ「明治」(ﾉﾙﾊﾞｽｸ)	[先発品:臨時使用]ノルバスク錠５ｍｇ	・・・P.85
ジピリダモール錠１００ｍｇ「トーワ」(ﾍﾟﾙｻﾝﾁﾝ)	[先発品:非採用]ペルサンチン錠１００ｍｇ	
ジピリダモール錠２５ｍｇ「トーワ」(ﾍﾟﾙｻﾝﾁﾝ)	[先発品:臨時使用]ペルサンチン錠２５ｍｇ	
ジラゼプ塩酸塩錠５０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｺﾒﾘｱﾝｺｰﾜ)	[先発品:臨時使用]コメリアンコーワ錠５０	
セパミット－Ｒ細粒２％		・・・P.86
ニコランジル錠５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)	[先発品:臨時使用]シグマート錠５ｍｇ	
ニトロールＲカプセル２０ｍｇ		
ニトロールスプレー１．２５ｍｇ		
ニトロール注５ｍｇシリンジ		
ニトロール点滴静注１００ｍｇバッグ		
ニトログリセリン静注5mg/10mL「TE」	[先発品:非採用]ミリスロール注５ｍｇ／１０ｍＬ	
ニトログリセリン点滴静注50mg/100mL「TE」	[先発品:非採用]ミリスロール注５０ｍｇ／１００ｍＬ	・・・P.87
ニトロダームＴＴＳ２５ｍｇ		
ニトロペン舌下錠０．３ｍｇ		
ニフェジピンＣＲ錠２０ｍｇ「三和」(ｱﾀﾞﾗｰﾄCR)		
ニフェジピンＬ錠１０ｍｇ「サワイ」(ｱﾀﾞﾗｰﾄL)		・・・P.88
ニフェジピンＬ錠２０ｍｇ「サワイ」(ｱﾀﾞﾗｰﾄL)		
フランドルテープ４０ｍｇ		
ヘルベッサーＲカプセル１００ｍｇ		
ベニジピン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]コニール錠４	
ベラパミル塩酸塩錠４０ｍｇ「タイヨー」	[先発品:非採用]ワソラン錠４０ｍｇ	
ミオコールスプレー０．３ｍｇ		・・・P.89
ミオコール注５ｍｇ		
一硝酸イソソルビド錠２０ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]アイトロール錠２０ｍｇ	
ｼﾞﾙﾁｱｾﾞﾑ塩酸塩注射用50mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾙﾍﾞｯｻｰ)	[先発品:非採用]ヘルベッサー注射用５０	
ﾆｺﾗﾝｼﾞﾙ点滴静注用2mg「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)	[先発品:臨時使用]シグマート注２ｍｇ	
ﾆｺﾗﾝｼﾞﾙ点滴静注用48mg「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)	[先発品:非採用]シグマート注４８ｍｇ	・・・P.90
2179:その他の血管拡張剤		・・・P.90
ハンプ注射用１０００		・・・P.90
218:高脂血症用剤		・・・P.90
2183:クロフィブラート系製剤		
パルモディアXR錠0.2mg		・・・P.90
ベザフィブラートＳＲ錠２００ｍｇ「サワイ」(ﾍﾞｻﾞﾄｰﾙSR)	[先発品:非採用]ベザトールＳＲ錠２００ｍｇ	
リピディル錠８０ｍｇ		
2189:その他の高脂血症用剤		・・・P.90
ＥＰＬカプセル２５０ｍｇ		・・・P.90
アトルバスタチン錠10mg「ｻﾜｲ」(ﾘﾋﾟﾄｰﾙ)	[先発品:臨時使用]リピトール錠１０ｍｇ	
アトルバスタチン錠5mg「ｻﾜｲ」(ﾘﾋﾟﾄｰﾙ)	[先発品:非採用]リピトール錠５ｍｇ	・・・P.91
エゼチミブ錠１０ｍｇ「DSEP」(ｾﾞﾁｰｱ)	[先発品:非採用]ゼチーア錠１０ｍｇ	

エゼロス配合錠ＨＤ「サワイ」(ﾛｽｰｾﾞｯﾄ) [先発品:非採用]ロスーゼット配合錠ＨＤ
エゼロス配合錠ＬＤ「サワイ」(ﾛｽｰｾﾞｯﾄ) [先発品:非採用]ロスーゼット配合錠ＬＤ
ネクセトール錠180mg
ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠１ｍｇ「KOG」(ﾘﾊﾞﾛ) [先発品:非採用]リバロ錠１ｍｇ
ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠２ｍｇ「ＫＯＧ」(ﾘﾊﾞﾛ) [先発品:非採用]リバロ錠２ｍｇ ・・・P.92
プラバスタチンNa錠10mgｻﾜｲ(ﾌﾟﾗﾊﾞﾁﾝ) [先発品:非採用]メバロチン錠１０
ロスバスタチン錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｸﾚｽﾄｰﾙ) [先発品:臨時使用]クレストール錠２．５ｍｇ
ロスバスタチン錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｸﾚｽﾄｰﾙ) [先発品:臨時使用]クレストール錠５ｍｇ
ｵﾒｶﾞ-3脂肪酸ｴﾁﾙ粒状ｶﾌﾟｾﾙ2g「武田ﾃﾊﾞ」(ﾛﾄﾘｶﾞ) [先発品:非採用]ロトリガ粒状カプセル２ｇ

219:その他の循環器官用薬 ・・・P.92

2190:その他の循環器官用薬

アメジニウムメチル硫酸塩錠１０ｍｇ「日医工」(ﾘｽﾞﾐｯｸ) [先発品:非採用]リズミック錠１０ｍｇ ・・・P.92
アルガトロバンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ「ﾌｿｰ」(ｽﾛﾝﾉﾝ) [先発品:非採用]スロンノンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ ・・・P.93
アルプロスタジル注１０μｇ（リプル） [先発品:非採用]パルクス注１０μｇ
イフェンプロジル酒石酸塩錠２０ｍｇ「サワイ」(ｾﾛｸﾗｰﾙ) [先発品:非採用]セロクラール錠２０ｍｇ
エリル点滴静注液３０ｍｇ
エンレスト錠１００ｍｇ ・・・P.94
エンレスト錠２００ｍｇ
エンレスト錠５０ｍｇ
カリメート経口液20%（25g/包） ・・・P.95
グリセオール注２００ｍＬ
ピートル顆粒分包５００ｍｇ
ピヴラッツ点滴静注液１５０ｍｇ
プロスタンディン注射用２０μｇ
ベリキューボ錠２．５ｍｇ ・・・P.96
ベリキューボ錠５ｍｇ
ポリスチレンスルホン酸Ｃａ経口ゼリー２０%分包２５ｇ「三和」
ポリスチレンスルホン酸Ｎａ(5g/包)(ｶﾘｾﾗﾑ) [先発品:臨時使用]ケイキサレート散（注腸用）(5g/包)
ユベラＮカプセル１００ｍｇ
リオナ錠２５０ｍｇ
ロケルマ懸濁用散分包５ｇ
炭酸ランタンOD錠２５０ｍｇ「フソー」(ﾎｽﾚﾉｰﾙ) [先発品:非採用]ホスレノール顆粒分包２５０ｍｇ ・・・P.97
沈降炭酸カルシウム錠500mg「三和」(ｶﾙﾀﾝ) [先発品:非採用]カルタン錠５００

22:呼吸器官用薬 ・・・P.97

221:呼吸促進剤

2219:その他の呼吸促進剤

ドプラム注射液４００ｍｇ ・・・P.97
フルマゼニル静注液０．５ｍｇ/5mL「テバ」 [先発品:臨時使用]アネキセート注射液０．５ｍｇ
塩酸ナロキソン注射液０．２ｍｇ ・・・P.98

222:鎮咳剤 ・・・P.98

2221:エフェドリン及びマオウ製剤

ヱフェドリン「ナガヰ」注射液４０ｍｇ ・・・P.98

2223:デキストロメトルファン製剤 ・・・P.98

メジコン錠１５ｍｇ ・・・P.98

2229:その他の鎮咳剤 ・・・P.98

アストミン錠１０ｍｇ ・・・P.98
フスコデ配合錠
フスタゾール糖衣錠１０ｍｇ
223:去たん剤 ・・・P.99
2233:システイン系製剤
カルボシステインＤＳ５０％「タカタ」(ﾑｺﾀﾞｲﾝ) ・・・P.99
カルボシステイン錠250mg「ｻﾜｲ」(ﾑｺﾀﾞｲﾝ) [先発品:非採用]ムコダイン錠２５０ｍｇ
クリアナール錠２００ｍｇ
ムコダインシロップ５％
2234:ブロムヘキシン製剤 ・・・P.99
ブロムヘキシン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」(ﾋﾞｿﾙﾎﾞﾝ) ・・・P.99
ブロムヘキシン塩酸塩注射液４ｍｇ「タイヨー」 【 ０．２％２ｍＬ１管 】 [先発品:非採用]ビソルボン注４ｍｇ
ﾌﾞﾛﾑﾍｷｼﾝ吸入液0.2%「ﾀｲﾖｰ」 45mL(ﾋﾞｿﾙﾎﾞﾝ) [先発品:試し使用]吸入Ｂ(2.5mL/回) ・・・P.100
2239:その他の去たん剤 ・・・P.100
小児用ムコソルバンＤＳ１．５％ ・・・P.100
ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩徐放OD錠45mgﾆﾌﾟﾛ(ﾑｺｿﾙﾊﾞﾝ) [先発品:非採用]ムコソルバンＬ錠４５ｍｇ
ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩錠15mg「NP」(ﾑｺｿﾙﾊﾞﾝ) [先発品:非採用]ムコソルバン錠１５ｍｇ
224:鎮咳去たん剤 ・・・P.100
2249:その他の鎮咳去たん剤
アスベリンシロップ０．５％ ・・・P.100
アスベリン散１０％
225:気管支拡張剤 ・・・P.101
2251:キサンチン系製剤
テオドール錠５０ｍｇ ・・・P.101
テオフィリンドライシロップ２０％「タカタ」
テオロング錠２００ｍｇ [先発品:非採用]テオドール錠２００ｍｇ
2254:サルブタモール製剤 ・・・P.101
サルブタモール錠２ｍｇ「日医工」(ﾍﾞﾈﾄﾘﾝ) ・・・P.101
ベネトリンシロップ０．０４％
ベネトリン吸入液０．５％ ・・・P.102
2259:その他の気管支拡張剤 ・・・P.102
アノーロエリプタ３０吸入用 ・・・P.102
ウルティブロ吸入用カプセル
エンクラッセ６２．５μｇエリプタ３０吸入用
オンブレス吸入用カプセル１５０μｇ
キュバール１００エアゾール
スピオルトレスピマット６０吸入
スピリーバ2.5μｇレスピマット60吸入 ・・・P.103
スピロペント錠１０μｇ
ツロブテロールテープ０．５ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ) [先発品:臨時使用]ホクナリンテープ０．５ｍｇ
ツロブテロールテープ１ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ) [先発品:非採用]ホクナリンテープ１ｍｇ
ツロブテロールテープ２ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ) [先発品:非採用]ホクナリンテープ２ｍｇ
メプチンエアー１０μｇ吸入１００回
メプチンドライシロップ0.005% ・・・P.104
226:含嗽剤 ・・・P.104
2260:含嗽剤
ＡＺ含嗽用配合顆粒「ニプロ」 [先発品:非採用]含嗽用ハチアズレ顆粒 ・・・P.104

ポビドンヨードガーグル液７％「ケンエー」(ｲｿｼﾞﾝ)
229:その他の呼吸器官用薬 ・・・P.104
2290:その他の呼吸器官用薬
アドエア１００ディスカス６０吸入用 ・・・P.104
アニュイティ１００μｇエリプタ３０吸入用
アニュイティ２００μｇエリプタ３０吸入用 ・・・P.105
エナジア吸入用カプセル高用量
オルベスコ200μgインヘラー56吸入用
シムビコートﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ60吸入
テリルジー２００エリプタ３０吸入用
パルミコート200μgﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ112吸入 ・・・P.106
パルミコート吸入液０．２５ｍｇ
ファセンラ皮下注３０ｍｇシリンジ
レルベア１００エリプタ３０吸入用
レルベア２００エリプタ３０吸入用
23:消化器官用薬 ・・・P.107
231:止しゃ剤，整腸剤
2312:タンニン酸系製剤；タンニン酸アルブミン等
タンニン酸アルブミン「ニッコー」 ・・・P.107
タンニン酸アルブミン｢VTRS｣(ﾀﾝﾅﾙﾋﾞﾝ)
2316:活性生菌製剤 ・・・P.107
ビオフェルミンＲ散 ・・・P.107
ビオフェルミンＲ錠
ビオフェルミン散剤 [先発品:臨時使用]ラックビー微粒Ｎ
ビオフェルミン錠剤 [先発品:臨時使用]ラックビー錠
ミヤＢＭ錠
2318:ジメチコン製剤 ・・・P.108
ジメチコン錠４０ｍｇ「ＹＤ」（ｶﾞｽｺﾝ） [先発品:臨時使用]ガスコン錠４０ｍｇ ・・・P.108
ジメチコン内用液２％「ホリイ」 [先発品:非採用]ガスコンドロップ内用液２％
2319:その他の止しゃ剤，整腸剤 ・・・P.108
フェロベリン配合錠 ・・・P.108
ロペミンカプセル１ｍｇ
薬用炭「日医工」
232:消化性潰瘍用剤 ・・・P.108
2325:Ｈ２遮断剤
タガメット錠２００ｍｇ ・・・P.108
ファモチジンＤ錠１０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｶﾞｽﾀｰ) [先発品:非採用]ガスター錠１０ｍｇ ・・・P.109
ファモチジンＤ錠２０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｶﾞｽﾀｰ) [先発品:非採用]ガスター錠２０ｍｇ
ファモチジン静注液２０ｍｇ/２０ｍＬ「サワイ」（ｶﾞｽﾀｰ) [先発品:臨時使用]ガスター注射液２０ｍｇ
2329:その他の消化性潰瘍用剤 ・・・P.110
アルサルミン細粒９０％ ・・・P.110
アルロイドＧ内用液５％
エソメプラゾールカプセル１０ｍｇ「ニプロ」(ﾈｷｼｳﾑ) [先発品:非採用]ネキシウム懸濁用顆粒分包１０ｍｇ
エソメプラゾールカプセル２０ｍｇ「ニプロ」(ﾈｷｼｳﾑ) [先発品:採用]ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ
オメプラゾール注射用２０ｍｇ「日医工」 ・・・P.111
ガスロンＮ・ＯＤ錠４ｍｇ
スクラルファート内用液１０％「ＮＩＧ」(ｱﾙｻﾙﾐﾝ) [先発品:非採用]アルサルミン内用液１０％
タケキャブ錠１０ｍｇ

タケキャブ錠２０ｍｇ ・・・P.112
タケプロン静注用３０ｍｇ
テプレノンカプセル５０ｍｇ「日医工Ｐ」 [先発品:臨時使用]セルベックスカプセル50mg
テプレノン細粒１０％「トーワ」 [先発品:臨時使用]セルベックス細粒１０％
ドグマチール細粒１０％ ・・・P.113
ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ
ポラプレジンクＯＤ錠75mg「ｻﾜｲ」(ﾌﾟﾛﾏｯｸ) [先発品:非採用]プロマックＤ錠７５
ラベプラゾールＮａ塩錠１０ｍｇ「明治」(ﾊﾟﾘｴｯﾄ) [先発品:臨時使用]パリエット錠１０ｍｇ
ラベプラゾールＮａ塩錠２０ｍｇ「明治」(ﾊﾟﾘｴｯﾄ) [先発品:臨時使用]パリエット錠２０ｍｇ ・・・P.114
ランソプラゾールＯＤ錠１５ｍｇ「武田テバ」(ﾀｹﾌﾟﾛﾝ) [先発品:臨時使用]タケプロンＯＤ錠１５
ランソプラゾールＯＤ錠３０ｍｇ「武田テバ」(ﾀｹﾌﾟﾛﾝ) [先発品:非採用]タケプロンＯＤ錠３０ ・・・P.115
レバミピド錠１００ｍｇ「オーツカ」 [先発品:臨時使用]ムコスタ錠１００ｍｇ
233:健胃消化剤 ・・・P.115
2331:消化酸素製剤
リパクレオンカプセル１５０ｍｇ ・・・P.115
2339:その他の健胃消化剤 ・・・P.115
Ｓ・Ｍ配合散 ・・・P.115
ベリチーム配合顆粒
健栄の健胃散 ・・・P.116
234:制酸剤 ・・・P.116
2344:無機塩製剤；炭酸水素ナトリウム等
マグミット錠３３０ｍｇ [先発品:非採用]マグミット錠１００ｍｇ ・・・P.116
マグミット錠５００ｍｇ [先発品:非採用]マグミット錠１００ｍｇ
重質酸化マグネシウム「ケンエー」
炭酸水素ナトリウム （重曹）
炭酸水素ナトリウム錠500mg「VTRS」（重曹） ・・・P.117
235:下痢、浣腸剤 ・・・P.117
2354:植物性製剤；センナ等
センノシド錠１２ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]プルゼニド錠１２ｍｇ ・・・P.117
2357:グリセリン製剤 ・・・P.117
グリセリン「ケンエー」 ・・・P.117
グリセリン浣腸液５０％「ケンエー」(120mL)
グリセリン浣腸液５０％「ケンエー」（60mL）
2359:その他の下痢、浣腸剤 ・・・P.117
アミティーザカプセル２４μｇ ・・・P.117
グーフィス錠５ｍｇ
スインプロイク錠０．２ｍｇ ・・・P.118
テレミンソフト坐薬１０ｍｇ
ピコスルファートＮａ錠２．５ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ラキソベロン錠２．５ｍｇ
ピコスルファートＮａ内用液０．７５％「トーワ」(ﾗｷｿﾍﾞﾛﾝ) [先発品:非採用]ラキソベロン内用液０．７５％
ピムロ顆粒（0.5g/包） [先発品:非採用]アローゼン顆粒
モビコール配合内用剤ＬＤ ・・・P.119
新レシカルボン坐剤
236:利胆剤 ・・・P.119
2362:胆汁酸製剤
ウルソデオキシコール酸錠１００ｍｇ「トーワ」 ・・・P.119
239:その他の消化器官用薬 ・・・P.120

2391:鎮吐剤

アロカリス点滴静注235mg/10mL ・・・P.120

グラニセトロン静注液３ｍｇｼﾘﾝｼﾞ「ｻﾜｲ」(ｶｲﾄﾘﾙ)

パロノセトロン静注０．７５ｍｇ／５ｍＬ「タイホウ」(ｱﾛｷｼ) [先発品:非採用]アロキシ静注０．７５ｍｇ

2399:他に分類されない消化器官用薬 ・・・P.120

ＳＰトローチ明治 ・・・P.120

アコファイド錠100mg

イリボー錠５μｇ

インフリキシマブＢＳ点滴静注用１００ｍｇ「ＮＫ」 [先発品:非採用]レミケード点滴静注用１００ ・・・P.121

オラドールトローチ０．５ｍｇ

ガナトン錠５０ｍｇ

サラジェン顆粒０．５％

サリベートエアゾール ・・・P.122

デキサメタゾン口腔用軟膏０．１％「ＮＫ」 [先発品:非採用]アフタゾロン口腔用軟膏０．１％

デスパコーワ口腔用クリーム（5g/本）

トリメブチンマレイン酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」(ｾﾚｷﾉﾝ)

ドンペリドン錠１０ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]ナウゼリン錠１０ｍｇ

ナウゼリン坐剤１０

ナウゼリン坐剤３０ ・・・P.123

プリンペラン錠５ｍｇ

ペンタサ錠５００ｍｇ

ポリフル細粒８３．３％（0.6g/包）

メサラジン腸溶錠４００ｍｇ「サワイ」(ｱｻｺｰﾙ) [先発品:臨時使用]アサコール錠４００ｍｇ

メトクロプラミド注１０ｍｇ「NIG」(ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ) [先発品:臨時使用]プリンペラン注射液１０ｍｇ

モサプリドクエン酸塩錠5mg「ｹﾐﾌｧ」(ｶﾞｽﾓﾁﾝ) [先発品:非採用]ガスモチン錠５ｍｇ ・・・P.124

リンゼス錠０．２５ｍｇ

24:ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む） ・・・P.124

243:甲状腺、副甲状腺ホルモン剤

2431:甲状腺ホルモン製剤

チラーヂンＳ錠２５μｇ ・・・P.124

チラーヂンＳ錠５０μｇ

2432:抗甲状腺ホルモン製剤 ・・・P.124

メルカゾール錠５ｍｇ ・・・P.124

2439:その他の甲状腺、副甲状腺ホルモン剤 ・・・P.125

テリパラチドＢＳ皮下注キット６００μｇ「モチダ」 [先発品:採用]フォルテオ皮下注キット600μｇ ・・・P.125

テリボン皮下注２８．２μｇオートインジェクター

フォルテオ皮下注キット600μｇ

245:副腎ホルモン剤 ・・・P.125

2451:エピネフリン製剤

アドレナリン注０．１%シリンジ「テルモ」 ・・・P.125

エピペン注射液０．１５ｍｇ

エピペン注射液０．３ｍｇ ・・・P.126

ノルアドリナリン注1ｍｇ

ボスミン外用液０．１％

ボスミン注1ｍｇ

2452:コルチゾン系製剤 ・・・P.126

コートリル錠１０ｍｇ ・・・P.126

ソル・コーテフ注射用１００ｍｇ ・・・P.127
フロリネフ錠０．１ｍｇ ・・・P.129
2454:フッ素付加副腎皮膚ホルモン製剤 ・・・P.129
デカドロン錠０．５ｍｇ ・・・P.129
デカドロン錠４ｍｇ ・・・P.130
デキサート注射液１．６５ｍｇ 【 １．６５ｍｇ０．５ｍＬ１管 】 [先発品:非採用]デカドロン注射液１．６５ｍｇ ・・・P.131
デキサート注射液６．６ｍｇ 【 ６．６ｍｇ２ｍＬ１瓶 】 [先発品:非採用]デカドロン注射液６．６ｍｇ ・・・P.135
リンデロン懸濁注２．５ｍｇ ・・・P.138
リンデロン注２ｍｇ（０．４％）
ｹﾅｺﾙﾄ-A筋注用関節腔内用水懸注40mg ・・・P.142
ｹﾅｺﾙﾄ-A皮内用関節腔内用水懸注50mg/5mL ・・・P.143
2456:プレドニゾロン系製剤 ・・・P.144
ソル・メドロール静注用１０００ｍｇ ・・・P.144
ソル・メドロール静注用１２５ｍｇ
ソル・メドロール静注用４０ｍｇ ・・・P.145
ソル・メドロール静注用５００ｍｇ
プレドニゾロン散「タケダ」１％ ・・・P.146
プレドニゾロン錠１ｍｇ（旭化成） ・・・P.147
プレドニン錠５ｍｇ ・・・P.148
水溶性プレドニン１０ｍｇ ・・・P.149
水溶性プレドニン５０ｍｇ ・・・P.152
247:卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤 ・・・P.156
2473:エストラジオール製剤
エストラーナテープ０．７２ｍｇ ・・・P.156
2475:エストリオール系製剤 ・・・P.156
エストリール錠１ｍｇ ・・・P.156
2477:プロゲステロン製剤 ・・・P.157
エフメノカプセル１００ｍｇ ・・・P.157
2478:合成黄体ホルモン製剤 ・・・P.157
デュファストン５ｍｇ ・・・P.157
248:混合ホルモン剤 ・・・P.157
2482:卵胞ホルモン、黄体ホルモン混合製剤
アリッサ配合錠 ・・・P.157
フリウェル配合錠ＬＤ「あすか」(ﾙﾅﾍﾞﾙ配合錠LD) [先発品:非採用]ルナベル配合錠ＬＤ
プラノバール配合錠
メノエイドコンビパッチ
249:その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を含む） ・・・P.158
2491:循環ホルモン剤
カルナクリン錠２５ ・・・P.158
2492:すい臓ホルモン剤 ・・・P.158
インスリン　アスパルトＢＳ注ソロスターＮＲ「サノフィ」(ﾉﾎﾞﾗﾋﾟｯﾄﾞ) [先発品:臨時使用]ノボラピッド注ペンフィル ・・・P.158
インスリン　グラルギンＢＳ注ミリオペン「リリー」(ﾗﾝﾀｽ) [先発品:臨時使用]ランタス注カート３００
トレシーバ注フレックスタッチ
ノボリンＲ注１００単位／ｍＬ ・・・P.159
ノボリンＲ注１００単位／ｍＬ
ヒューマログ注ミリオペン
ライゾデグ配合注フレックスタッチ
ランタスＸＲ注ソロスター ・・・P.160

ルムジェブ注ミリオペン

2499:他に分類されないホルモン剤（抗ホルモン剤を含む） ・・・P.160

オクトレオチド酢酸塩皮下注１００μｇ「サンド」 (ｻﾝﾄﾞｽﾀﾁﾝ) [先発品:非採用]サンドスタチン皮下注用１００μｇ ・・・P.160

クロミッド錠５０ｍｇ

ジエノゲスト錠１ｍｇ｢ﾓﾁﾀﾞ｣(ﾃﾞｨﾅｹﾞｽﾄ) [先発品:非採用]ディナゲスト錠１ｍｇ ・・・P.161

ジノプロスト注射液１０００μｇ「Ｆ」 [先発品:非採用]プロスタルモン・Ｆ注射液１０００

ゾラデックス３．６ｍｇデポ ・・・P.162

ゾラデックスＬＡ１０．８ｍｇデポ

デュタステリド錠０．５ｍｇＡＶ「ＤＳＥＰ」(ｱﾎﾞﾙﾌﾞ) [先発品:非採用]アボルブカプセル０．５ｍｇ

トルリシティ皮下注0.75mgｱﾃｵｽ

ビクトーザ皮下注１８ｍｇ

プロペシア錠１ｍｇ

リュープリンＰＲＯ注射用キット２２．５ｍｇ

リュープロレリン酢酸塩ＳＲ注射用キット１１．２５ｍｇ「あすか」(ﾘｭｰﾌﾟﾘﾝ) [先発品:非採用]リュープリンＳＲ注射用キット１１．２５ｍｇ ・・・P.163

リュープロレリン酢酸塩注射用キット１．８８ｍｇ「あすか」 [先発品:非採用]リュープリン注射用１．８８ｍｇ

リュープロレリン酢酸塩注射用キット３．７５ｍｇ「あすか」 [先発品:非採用]リュープリン注射用３．７５ｍｇ

ｼﾞｴﾉｹﾞｽﾄ錠0.5mg｢ﾓﾁﾀﾞ｣(ﾃﾞｨﾅｹﾞｽﾄ) [先発品:非採用]ディナゲスト錠０．５ｍｇ

25:泌尿生殖器官及び肛門用薬 ・・・P.164

252:生殖器官用剤

2521:生殖器官用抗生物質製剤

クロマイ腟錠 ・・・P.164

2529:その他の生殖器官用剤（性病予防剤を含む。） ・・・P.164

アデスタン腟錠３００ｍｇ ・・・P.164

フラジール腟錠２５０ｍｇ

フロリード腟坐剤１００ｍｇ

ホーリンＶ腟用錠１ｍｇ

254:避妊剤 ・・・P.164

2549:その他の避妊剤

アンジュ２８錠 ・・・P.164

255:痔疾用剤 ・・・P.164

2559:その他の痔疾用剤

ジオン注無痛化剤付 ・・・P.164

ヘモナーゼ配合錠 ・・・P.165

ヘモポリゾン軟膏（2g/本） [先発品:臨時使用]強力ポステリザン軟膏（2g/本）

ヘモレックス軟膏（2g/本）

ボラザＧ坐剤

ボラザＧ軟膏（2.4g/本）

259:その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬 ・・・P.165

2590:その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬

シロドシンＯＤ錠４ｍｇ「ＤＳＥＰ」 [先発品:非採用]ユリーフ錠４ｍｇ ・・・P.165

セルニルトン錠

ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠２．５ｍｇ「ニプロ」(ﾍﾞｼｹｱ) [先発品:非採用]ベシケア錠２．５ｍｇ ・・・P.166

ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ニプロ」(ﾍﾞｼｹｱ) [先発品:非採用]ベシケア錠５ｍｇ

タダラフィル錠５ｍｇＺＡ「ニプロ」(ｻﾞﾙﾃｨｱ) [先発品:非採用]ザルティア錠５ｍｇ

ナフトピジルＯＤ錠２５ｍｇ｢ｻﾜｲ｣(ﾌﾘﾊﾞｽ) [先発品:臨時使用]フリバス錠２５ｍｇ

プロピベリン塩酸塩錠１０ｍｇ「あすか」 [先発品:非採用]バップフォー錠１０

ベタニス錠２５ｍｇ
ﾀﾑｽﾛｼﾝ塩酸塩OD錠0.2㎎「明治」(ﾊﾙﾅｰﾙ) [先発品:臨時使用]ハルナールＤ錠０．２ｍｇ
26:外皮用薬 ・・・P.167
261:外皮用殺菌消毒剤
2612:ヨウ素化合物；ヨードチンキ等
ポビドンヨードスクラブ液７．５％「明治」 [先発品:非採用]イソジンスクラブ液７．５％ ・・・P.167
ポビドンヨード外用液１０％「ＶＴＲＳ」 [先発品:臨時使用]イソジンゲル10% (90g/本)
2614:過酸化物製剤；オキシドール、過マンガン酸カリウム等 ・・・P.167
オキシドール「ニッコー」 ・・・P.167
2615:アルコール製剤 ・・・P.167
消毒用エタプロコール ・・・P.167
2616:石鹸類製剤 ・・・P.167
ザルコニン液0.01 ・・・P.167
ヂアミトール「マルイシ」１０％
2619:その他の外皮用殺菌消毒剤 ・・・P.168
０．５％ヘキザック水W ・・・P.168
263:化膿性疾患用剤 ・・・P.168
2633:外用サルファ製剤
ゲーベンクリーム１％ ・・・P.168
2634:外用抗生物質製剤；ペニシリン軟膏等 ・・・P.168
アクロマイシン軟膏３％（２５ｇ／本） ・・・P.168
ゲンタシン軟膏０．１％（10g/本）
フシジンレオ軟膏２％（10g/本） ・・・P.169
2639:その他の化膿性疾患用剤 ・・・P.169
アクアチムクリーム１％（10g/本） ・・・P.169
ゼビアックスローション２%(10g/本)
バラマイシン軟膏（10g/本)
バラマイシン軟膏（250g/個)
264:鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 ・・・P.169
2642:外用抗ヒスタミン製剤
レスタミンコーワクリーム１％ ・・・P.169
2646:副腎皮質ホルモン製剤 ・・・P.169
アルメタ軟膏（5g/本） ・・・P.169
アンテベート軟膏０．０５％（10g/本） ・・・P.170
エクラープラスター２０μｇ／ｃｍ２
ダイアコートクリーム0.05%(5g/本)
ダイアコート軟膏０．０５％（5g/本）
トプシムローション0.05%（10g/本） ・・・P.171
ネリゾナユニバーサルクリーム０．１％（10g/本）
ネリゾナ軟０．１％（10g/本）
マイザー軟膏０．０５%(10g/本)
メサデルムクリーム０．１%(5g/本) ・・・P.172
リドメックスコーワローション０．３％（10g/本）
リンデロン－ＤＰゾル（10g/本）
リンデロン－Ｖローション（10㎖/本）
リンデロン－Ｖ軟膏０．１２％（5g/本）
ロコイドクリーム０．１％（5g/本） ・・・P.173
ロコイド軟膏０．１％（5g/本）
ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞｰﾙﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ軟膏0.05%「ｲﾜｷ」(ﾃﾞﾙﾓﾍﾞｰﾄ) [先発品:非採用]デルモベート軟膏０．０５％

ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙ軟膏0.05%「ﾃｲｺｸ」(5g/本)(ｷﾝﾀﾞﾍﾞｰﾄ) [先発品:非採用]キンダベート軟膏０．０５％
2649:その他の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤 ・・・P.173
ＭＳ温シップ「タイホウ」20g×5 (5枚/袋) ・・・P.173
アズノール軟膏 ０．０３３％(20g/本) ・・・P.174
インテバンクリーム１％（25g/本）
エキザルベ
オイラックスＨクリーム(5g/本)
オイラックスクリーム１０％(10g/本)
ケトプロフェンテープ２０ｍｇ「ＳＮ」 (7枚/袋) [先発品:採用]モーラステープ20mg(7枚/袋)
ケトプロフェンテープ４０ｍｇ「ＳＮ」 (7枚/袋) [先発品:採用]モーラステープＬ40mg(7枚/袋)
ザーネ軟膏０．５％ ・・・P.175
スチックゼノールＡ（40g/本）
セルタッチパップ７０／7枚（袋）
ボルタレンゲル１％（25g/本）
モーラステープ20mg (7枚/袋)
モーラステープＬ40mg (7枚/袋)
モーラスパップＸＲ１２０ｍｇ（7枚/袋）
ユベラ軟膏（56ｇ/本）
ロキソプロフェンＮａテープ１００ｍｇ「科研」 [先発品:臨時使用]ロキソニンパップ100mg(7枚/袋) ・・・P.176
ロコアテープ（７枚/袋）
亜鉛華（１０％）単軟膏「ニッコー」 [先発品:非採用]亜鉛華軟膏「ヨシダ」
ｹﾄﾌﾟﾛﾌｪﾝﾊﾟｯﾌﾟ30mg「日医工」(7枚/袋 ﾐﾙﾀｯｸｽ) [先発品:非採用]モーラスパップ３０ｍｇ
265:寄生性皮ふ疾患用剤 ・・・P.176
2652:外用サリチル酸系製剤
１０％サリチル酸ワセリン軟膏東豊 ・・・P.176
2655:イミダゾール系製剤 ・・・P.176
アトラント軟膏１％（10g/本） ・・・P.176
ニゾラールクリーム2%（10g/本） ・・・P.177
ニゾラールローション２％（10g/本）
ルリコンクリーム１％（10g/本）
2659:その他の寄生性皮ふ疾患用剤 ・・・P.177
ペキロンクリーム０．５％（10g/本） ・・・P.177
266:皮ふ軟化剤（腐しょく剤を含む） ・・・P.177
2661:有機酸製剤；トリクロル酢酸等
スピール膏Ｍ ・・・P.177
2669:その他の皮ふ軟化剤（腐しょく剤を含む） ・・・P.177
尿素クリーム２０％「ＳＵＮ」 [先発品:非採用]パスタロンソフト軟膏２０％ ・・・P.177
267:毛髪用剤（発毛剤、脱毛剤、染毛剤、養毛剤） ・・・P.178
2679:その他の毛髪用剤（発毛剤、脱毛剤、染毛剤、養毛剤）
フロジン外用液５％（30mL/本） ・・・P.178
269:その他の外皮用薬 ・・・P.178
2691:外用ビタミン製剤；ビタミン軟膏等
オキサロール軟膏２５μｇ／ｇ ・・・P.178
2699:他に分類されない外皮用薬 ・・・P.178
アクトシン軟膏３％（30ｇ/本） ・・・P.178
カデックス軟膏0.9%（40g/本）
コレクチム軟膏０．５％（5g/本）
ディフェリンゲル０．１％（15g/本）
デュアック配合ゲル(10g/本) ・・・P.179

ドボベット軟膏（15g/本）
フィブラストスプレー５００
プロスタンディン軟膏０．００３％（30g/本）
プロトピック軟膏0.03%小児用（5g/本）
プロトピック軟膏０．１％（5g/本）
ベピオローション２．５％
29:その他の個々の器官系用医薬品 ・・・P.179
290:その他の個々の器官系用薬品
2900:その他の個々の器官系用医薬品 ・・・P.180
セファランチン錠１ｍｇ ・・・P.180
3:代謝性医薬品 ・・・P.180
31:ビタミン剤
311:ビタミンＡ及びＤ剤
3112:合成ビタミンＤ製剤
アルファカルシドール錠０．２５μｇ「アメル」(ｱﾙﾌｧﾛｰﾙ) [先発品:非採用]ワンアルファ錠０．２５μｇ ・・・P.180
アルファカルシドール錠０．５μｇ「アメル」(ﾜﾝｱﾙﾌｧ) [先発品:非採用]ワンアルファ錠０．５μｇ
アルファカルシドール錠１．０μｇ「アメル」(ｱﾙﾌｧﾛｰﾙ) [先発品:非採用]ワンアルファ錠１．０μｇ
エルデカルシトールカプセル０．７５μｇ「サワイ」(ｴﾃﾞｨﾛｰﾙ) [先発品:非採用]エディロール錠０．７５μｇ ・・・P.181
マキサカルシトール静注透析用シリンジ１０μｇ「フソー」(ｵｷｻﾛｰﾙ) [先発品:臨時使用]オキサロール注１０μｇ
マキサカルシトール静注透析用シリンジ５μｇ「フソー」(ｵｷｻﾛｰﾙ) [先発品:臨時使用]オキサロール注５μｇ
3119:その他のビタミンＡ及びＤ剤 ・・・P.181
チガソンカプセル１０ ・・・P.181
312:ビタミンＢ1剤 ・・・P.181
3122:ビタミンＢ1誘導体製剤
アリナミンＦ糖衣錠２５ｍｇ ・・・P.181
313:ビタミンＢ剤（ビタミンＢ1剤を除く） ・・・P.182
3133:パントテン酸系製剤
パンテチン錠１００ｍｇ「ＹＤ」 [先発品:非採用]パントシン錠１００ ・・・P.182
パントール注射液５００ｍｇ
パントシン散２０％
3134:ビタミンＢ6製剤 ・・・P.182
ピドキサール錠１０ｍｇ ・・・P.182
3135:葉酸製剤 ・・・P.182
フォリアミン錠５ｍｇ ・・・P.182
3136:ビタミンＢ12製剤 ・・・P.183
シアノコバラミン注射液1000μｇ(1mg/1mL)「ﾄｰﾜ」 ・・・P.183
メチコバール錠５００μｇ
メチコバール注射液５００μｇ
314:ビタミンＣ剤 ・・・P.183
3140:ビタミンＣ剤
ハイシー顆粒２５％ ・・・P.183
315:ビタミンＥ及びＫ剤 ・・・P.184
3150:ビタミンＥ剤
ユベラ錠５０ｍｇ ・・・P.184
316:ビタミンＫ剤 ・・・P.184
3160:ビタミンＫ剤
グラケーカプセル１５ｍｇ ・・・P.184

ケイツーＮ静注用１０ｍｇ
317:混合ビタミン剤（ビタミンＡ・Ｄ混合製剤を除く） ・・・P.184
3179:その他の混合ビタミン剤（ビタミンＡ・Ｄ混合製剤を除く）
シナール配合錠 ・・・P.184
ネオラミン・スリービー液（静注用）
パンビタン末
ビタジェクト注キット ・・・P.185
ビタメジン静注用
ビタメジン配合カプセルＢ２５
319:その他のビタミン剤 ・・・P.185
3190:その他のビタミン剤
ビオチン散０．２％「フソー」 ・・・P.185
32:滋養強壮薬 ・・・P.185
321:カルシウム剤
3211:乳酸カルシウム製剤
乳酸カルシウム水和物「ケンエー」原末 ・・・P.185
3213:グルコン酸カルシウム製剤 ・・・P.186
カルチコール注射液８．５％１０ｍＬ ・・・P.186
3214:有機酸ｶﾙｼｳﾑ製剤(乳酸･ｸﾞﾘｾﾛﾘﾝ酸･ｸﾞﾙｺﾝ酸ｶﾙｼｳﾑ製剤ヲ除ｸ);果糖ﾘﾝ ・・・P.186
アスパラ－ＣＡ錠２００ ・・・P.186
3219:その他のカルシウム剤 ・・・P.186
デノタスチュアブル配合錠 ・・・P.186
322:無機質製剤 ・・・P.186
3221:ヨウ素化合物製剤；ヨウ化カリウム、ヨードカゼイン等
ヨウ化カリウム丸５０ｍｇ「日医工」 ・・・P.186
3222:鉄化合物製剤（有機酸鉄を含む） ・・・P.186
クエン酸第一鉄Ｎａ錠50mg｢ｻﾜｲ｣(ﾌｪﾛﾐｱ) ・・・P.186
フェインジェクト静注５００ｍｇ 【500mg/10mL/瓶 】 ・・・P.187
フェジン静注４０ｍｇ
モノヴァー静注１０００ｍｇ
モノヴァー静注５００ｍｇ
3229:その他の無機質製剤 ・・・P.187
アスパラカリウム散５０％ ・・・P.187
アスパラカリウム錠３００ｍｇ
アスパラギン酸カリウム注１０ｍＥｑキット「テルモ」 ・・・P.188
グルコンサンＫ細粒 (4mEq/g)
シザナリン配合点滴静注液（ｴﾚﾒﾝﾐｯｸ） [先発品:非採用]エレメンミック注
ホスリボン配合顆粒(100mg/包)
塩化カリウム徐放錠６００ｍｇ「Ｓｔ」
323:糖類剤 ・・・P.188
3231:ブドウ糖製剤
10%ブドウ糖液 ２０ｍＬ ・・・P.188
10%ブドウ糖液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ） ・・・P.189
20%ブドウ糖液 ２０ｍＬ
50%ブドウ糖液 ２０ｍＬ
50%ブドウ糖液２００ｍＬ ・・・P.190
５%ブドウ糖液 １００ｍＬ
５%ブドウ糖液 ２０ｍＬ
５%ブドウ糖液 ５０ｍＬ
５%ブドウ糖液２５０ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ） ・・・P.191

５％ブドウ糖液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）
3239:その他の糖類剤 ・・・P.191
ハイカリックＲＦ輸液５００ｍＬ ・・・P.191
マンニットールＳ注射液 【 ３００ｍＬ１袋 】 ・・・P.192
325:たん白アミノ酸製剤 ・・・P.192
3253:混合アミノ酸製剤
アミニック輸液２００ｍＬ ・・・P.192
アミノレバン点滴静注５００ｍＬ
ネオアミユー２００ｍＬ
リーバクト配合顆粒（4.15g/包）
3259:その他のたん白アミノ酸製剤 ・・・P.193
アミノレバンＥＮ配合散(50g/包)【ｺｰﾋｰ味】 ・・・P.193
アミノレバンＥＮ配合散(50g/包)【ﾌﾙｰﾂ味】
イノラス配合経腸用液（りんごﾌﾚｰﾊﾞｰ）
イノラス配合経腸用液（ｺｰﾋｰﾌﾚｰﾊﾞｰ）
イノラス配合経腸用液（ﾖｰｸﾞﾙﾄﾌﾚｰﾊﾞｰ）
エルネオパＮＦ１号輸液１０００ｍＬ ・・・P.194
エルネオパＮＦ１号輸液１５００ｍＬ
エルネオパＮＦ１号輸液２０００ｍＬ
エルネオパＮＦ２号輸液１０００ｍＬ
エルネオパＮＦ２号輸液１５００ｍＬ ・・・P.195
エルネオパＮＦ２号輸液２０００ｍＬ
エレンタール配合内用剤
エンシュア・Ｈ（コーヒー味）
エンシュア・Ｈ（ストロベリー味） ・・・P.196
エンシュア・Ｈ（バニラ味）
パレプラス輸液１０００mL
パレプラス輸液５００mL
329:その他の滋養強壮剤 ・・・P.197
3299:他に分類されない滋養強壮薬
イントラリポス輸液２０％２５０ｍＬ ・・・P.197
33:血液及び体液用薬 ・・・P.197
331:血液代用剤
3311:生理食塩液類
10%食塩注２０ｍＬ（ＮａＣｌ） ・・・P.197
生理食塩液 2000mLバッグ
生理食塩液1000mLバッグ
生理食塩液500mL「ﾋｶﾘ」(広口開栓) ・・・P.198
生理食塩液１００ｍＬ
生理食塩液２０ｍＬ
生理食塩液２５０ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）
生理食塩液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）
生理食塩液ＰＬ５０mL「フソー」 ・・・P.199
大塚生食注２ポート１００ｍＬ
3319:その他の血液代用剤 ・・・P.199
ＫＣＬ注２０ｍＥｑキット「テルモ」 ・・・P.199
アクチット輸液 【 ５００ｍＬ１袋 】
ソリターＴ１号輸液 【 ２００ｍＬ１袋 】
ソリターＴ１号輸液 【 ５００ｍＬ１袋】
ソリターＴ３号Ｇ輸液 【 ５００ｍＬ１袋 】

ソルアセトＦ輸液 ５００mL（ヴィーンF） ・・・P.200
ソルデム３Ａ輸液 【 ５００mL１袋 】
ソルデム３Ａ輸液 ２００mL（ソリタT3）
ハルトマン液ｐＨ８「ＮＰ」５００mL
ビカネイト輸液５００mL
フィジオ３５ 500mL
ボルベン輸液6% 500mL
ポタコールＲ輸液５００mL ・・・P.201
ラクテック注５００mL（ソフトバッグ）
ヴィーンＤ輸液 【 ５００mL１瓶 】
低分子デキストランＬ注２５０mL
低分子デキストラン糖注５００mL
332:止血剤 ・・・P.202
3321:カルバゾクロム系製剤
アドナ注（静脈用）１００mg ・・・P.202
アドナ注（静脈用）２５mg
アドナ注（静脈用）５０mg
カルバゾクロムスルホン酸Ｎａ錠３０mg「ＹＤ」 [先発品:非採用]アドナ錠３０mg
3322:ゼラチン製剤 ・・・P.202
ゼルフォームＮｏ．１００ ・・・P.202
ゼルフォームＮｏ．１２
3323:臓器性止血製剤 ・・・P.202
トロンビン液モチダソフトボトル１万(外用) ・・・P.203
トロンビン液モチダソフトボトル１万(内服)
トロンビン液モチダソフトボトル５千(外用)
トロンビン液モチダソフトボトル５千(内服)
3326:アルギン酸系製剤 ・・・P.203
アルト原末 ・・・P.203
3327:抗プラスミン剤 ・・・P.203
トランサミン錠２５０mg ・・・P.203
トランサミン注１０% 10mL ・・・P.204
トランサミン注５% 5mL
3329:その他の止血剤 ・・・P.204
プロタミン硫酸塩静注１００mg「モチダ」【 １%１０mLバイアル 】 ・・・P.204
333:血液凝固阻止剤 ・・・P.204
3332:ジクマロール系製剤
ワーファリン錠０．５mg ・・・P.204
ワーファリン錠１mg
ワーファリン顆粒０．２% ・・・P.205
3334:ヘパリン製剤 ・・・P.205
クレキサン皮下注キット２０００ＩＵ ・・・P.205
ダルテパリンＮａ静注５０００単位／５mL「日新」 【 ５，０００低分子ヘパリン国際単位１管 】(フラグミン) [先発品:臨時使用]フラグミン静注５０００単位／５mL
ヘパリンＮａロック用１０単位／mLシリンジ１０mL「ニプロ」
ヘパリンＮａ注５千単位／５mL「モチダ」【 ５，０００単位5mL１瓶 】 ・・・P.206
ヘパリンCa皮下注5千単位/0.2mLシリンジ
ヘパリンNa500単位/mLシリンジ(透析用)
3339:その他の血液凝固阻止剤 ・・・P.207
エリキュース錠２．５mg ・・・P.207

エリキュース錠５ｍｇ
ヒルドイドソフト軟膏0.3%(50g/本)
ヒルドイドフォーム０．３％（92g/本）
プラザキサカプセル１１０ｍｇ
プラザキサカプセル７５ｍｇ
ヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」（50g/本） [先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％
ヘパリン類似物質外用泡状スプレー０．３％「ニットー」 [先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％ ・・・P.208
ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%「ケンエー」（25g/本） [先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％
リクシアナＯＤ錠１５ｍｇ
リクシアナＯＤ錠３０ｍｇ
リクシアナＯＤ錠６０ｍｇ ・・・P.209
リコモジュリン点滴静注用12800
リバーロキサバンＯＤ錠１０ｍｇ「バイエル」(ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ) [先発品:非採用]イグザレルト細粒分包１０ｍｇ
リバーロキサバンＯＤ錠１５ｍｇ「バイエル」(ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ) [先発品:非採用]イグザレルト細粒分包１５ｍｇ

339:その他の血液・体液用薬 ・・・P.209

3399:他に分類されない血液及び体液用薬

アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液500mL ・・・P.209
イコサペント酸エチルカプセル３００ｍｇ「サワイ」(ｴﾊﾟﾃﾞｰﾙ) [先発品:臨時使用]エパデールカプセル３００ ・・・P.210
イコサペント酸エチル粒状カプセル９００ｍｇ「サワイ」(ｴﾊﾟﾃﾞｰﾙS) [先発品:臨時使用]エパデールＳ９００
オンデキサ静注用２００ｍｇ
キャブピリン配合錠
クロピドグレル錠２５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」 [先発品:臨時使用]プラビックス錠２５ｍｇ
クロピドグレル錠７５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」 [先発品:非採用]プラビックス錠７５ｍｇ ・・・P.211
サルポグレラート塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」(ｱﾝﾌﾟﾗｰｸﾞ) [先発品:臨時使用]アンプラーグ錠１００ｍｇ
シロスタゾールＯＤ錠１００ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]プレタールＯＤ錠１００ｍｇ
タケルダ配合錠
バイアスピリン錠１００ｍｇ
プラスグレルＯＤ錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」 [先発品:非採用]エフィエントＯＤ錠２０ｍｇ ・・・P.212
プラスグレル錠３．７５ｍｇ「ＤＳＥＰ」 [先発品:非採用]エフィエント錠３．７５ｍｇ
ベラプロストＮａ錠２０μｇ「オーハラ」(ﾌﾟﾛｻｲﾘﾝ) [先発品:非採用]ドルナー錠２０μｇ
ペグフィルグラスチムＢＳ皮下注3.6ｍｇ「ニプロ」(ｼﾞｰﾗｽﾀ) [先発品:非採用]ジーラスタ皮下注３．６ｍｇ
リマプロスト　アルファデクス錠５μｇ「サワイ」 [先発品:非採用]オパルモン錠５μｇ
ﾌｨﾙｸﾞﾗｽﾁﾑBS注150μgｼﾘﾝｼﾞ「Ｆ」（ｸﾞﾗﾝ） [先発品:非採用]グラン注射液１５０ ・・・P.213
ﾌｨﾙｸﾞﾗｽﾁﾑBS注75μgｼﾘﾝｼﾞ「Ｆ」（ｸﾞﾗﾝ） [先発品:非採用]グラン注射液７５ ・・・P.214

34:人工透析用剤 ・・・P.215

341:人工腎臓透析用剤

3410:人工腎臓透析用剤

キンダリー透析剤ＡＦ４号 【 ６Ｌ１瓶 】 ・・・P.215
サブパック血液ろ過用補充液－Ｂｉ [先発品:非採用]サブラッド血液ろ過用補充液ＢＳＧ

39:その他の代謝性医薬品 ・・・P.215

391:肝臓疾患用剤 ・・・P.216

3919:その他の肝臓疾患用剤

グリチロン配合錠 ・・・P.216
強力ネオミノファーゲンシーＰ静注２０ｍＬ

392:解毒剤 ・・・P.216

3922:グルタチオン製剤
タチオン注射用２００ｍｇ ・・・P.216
3923:メルカプト酢酸系製剤（ＢＡＬを含む） ・・・P.216
バル筋注１００ｍｇ「ＡＦＰ」 【 １０％ １ｍＬ１管 】 ・・・P.216
3929:その他の解毒剤 ・・・P.216
クレメジン速崩錠５００ｍｇ(4錠/包) ・・・P.216
パム静注５００ｍｇ
ホリナート錠２５ｍｇ「タイホウ」(ﾕｰｾﾞﾙ) [先発品:非採用]ユーゼル錠２５ｍｇ ・・・P.217
メイロン静注8.4% ２０ｍＬ
メイロン静注8.4% ２５０ｍＬ
酢酸亜鉛錠２５ｍｇ「サワイ」（ﾉﾍﾞﾙｼﾞﾝ） [先発品:非採用]ノベルジン錠２５ｍｇ
ｽｶﾞﾏﾃﾞｸｽ静注液200mg｢ﾏﾙｲｼ｣(ﾌﾞﾘﾃﾞｨｵﾝ) [先発品:臨時使用]ブリディオン静注200mg
ﾚﾎﾞﾎﾘﾅｰﾄ点滴静注用100mg｢NP｣(ｱｲｿﾎﾞﾘﾝ) [先発品:非採用]アイソボリン点滴静注用１００ｍｇ ・・・P.218
ﾚﾎﾞﾎﾘﾅｰﾄ点滴静注用25mg｢NP｣(ｱｲｿﾎﾞﾘﾝ) [先発品:非採用]アイソボリン点滴静注用２５ｍｇ
394:痛風治療剤 ・・・P.218
3941:コルヒチン製剤
コルヒチン錠０．５ｍｇ「タカタ」 ・・・P.219
3943:アロプリノール製剤 ・・・P.219
アロプリノール錠１００ｍｇ「ニプロ」(ｱﾛｼﾄｰﾙ) [先発品:非採用]ザイロリック錠１００ ・・・P.219
3949:その他の痛風治療剤 ・・・P.219
クエンメット配合錠（ｳﾗﾘｯﾄ） [先発品:臨時使用]ウラリット配合錠 ・・・P.219
フェブキソスタット錠10mg「DSEP」(ﾌｪﾌﾞﾘｸ) [先発品:非採用]フェブリク錠１０ｍｇ
フェブキソスタット錠20mg「DSEP」(ﾌｪﾌﾞﾘｸ) [先発品:非採用]フェブリク錠２０ｍｇ
ベンズブロマロン錠５０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾕﾘﾉｰﾑ) [先発品:非採用]ユリノーム錠５０ｍｇ
ユリス錠１ｍｇ ・・・P.220
395:酵素製剤 ・・・P.220
3954:ウロキナーゼ製剤
ウロナーゼ静注用６万単位 ・・・P.220
3959:その他の酵素製剤 ・・・P.220
クリアクター静注用８０万 ・・・P.220
グルトパ注６００万
396:糖尿病用剤 ・・・P.220
3961:スルフォニル尿素系製剤
★糖★グリメピリド錠１ｍｇ「三和」 [先発品:臨時使用]★糖★アマリール１ｍｇ錠 ・・・P.220
グリミクロン錠４０ｍｇ ・・・P.221
3962:ビグアナイド系製剤 ・・・P.221
ﾒﾄﾎﾙﾐﾝ塩酸塩錠250mgMT｢TE｣(ﾒﾄｸﾞﾙｺ) [先発品:臨時使用]グリコラン錠２５０ｍｇ ・・・P.221
3969:その他の糖尿病用剤 ・・・P.221
★糖★ピオグリタゾン錠１５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱｸﾄｽ) [先発品:臨時使用]★糖★アクトス錠１５ ・・・P.221
エクメット配合錠ＨＤ
カナグル錠１００ｍｇ
カナリア配合錠 ・・・P.222
グラクティブ錠５０ｍｇ
グルベス配合ＯＤ錠
ジャディアンス錠１０ｍｇ
スージャヌ配合錠
ツイミーグ錠５００ｍｇ
トラゼンタ錠５ｍｇ
トラディアンス配合錠ＡＰ

ビルダグリプチン錠５０ｍｇ「サワイ」(ｴｸｱ) [先発品:非採用]エクア錠５０ｍｇ ・・・P.223
フォシーガ錠１０ｍｇ
フォシーガ錠５ｍｇ
ボグリボースＯＤ錠０．２ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ベイスン錠０．２
マリゼブ錠２５ｍｇ
レパグリニド錠０．２５ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]シュアポスト錠０．２５ｍｇ
レパグリニド錠０．５ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]シュアポスト錠０．５ｍｇ ・・・P.224
399:他に分類されない代謝性医薬品 ・・・P.224
3992:アデノシン製剤
アデホス－Ｌコーワ注２０ｍｇ ・・・P.224
アデホスコーワ腸溶錠２０
アデホスコーワ顆粒１０％
3999:他に分類されないその他の代謝性医薬品 ・・・P.225
アクトネル錠75㎎ ・・・P.225
アルツディスポ関節注２５ｍｇ
イベニティ皮下注１０5ｍｇシリンジ
イムラン錠５０ｍｇ
エタネルセプトＢＳ皮下注５０ｍｇペン１．０ｍＬ「ＭＡ」 [先発品:持参薬使用]◆持参◆エンブレル皮下注５０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ
エパルレスタット錠５０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]キネダック錠５０ｍｇ ・・・P.226
エビスタ錠６０ｍｇ
エベレンゾ錠１００ｍｇ
エベレンゾ錠２０ｍｇ
エベレンゾ錠５０ｍｇ
エポジン注シリンジ３０００
エポジン皮下注シリンジ２４０００ ・・・P.227
オザグレルNa注80㎎ｼﾘﾝｼﾞ(ｷｻﾝﾎﾞﾝS)
オルケディア錠１ｍｇ
オルミエント錠２ｍｇ ・・・P.228
オルミエント錠４ｍｇ
オレンシア点滴静注用250㎎
カモスタットメシル酸塩錠１００ｍｇ「トーワ」(ﾌｵｲﾊﾟﾝ) [先発品:非採用]フオイパン錠１００ｍｇ
ゾレドロン酸点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ「サンド」(ｿﾞﾒﾀ) [先発品:持参薬使用]ゾメタ点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ【 ４ｍｇ５ｍＬ１瓶 】 ・・・P.229
タクロリムスカプセル１ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾌ) [先発品:非採用]プログラフ顆粒１ｍｇ
ダーブロック錠4ｍｇ ・・・P.230
ネオーラル２５ｍｇカプセル
ネオーラル５０ｍｇカプセル
バフセオ錠１５０ｍｇ ・・・P.231
プラリアHI皮下注６０ｍｇシリンジ0.5㎖
プログラフカプセル １ｍｇ
プログラフカプセル０．５ｍｇ ・・・P.232
ヘルニコア椎間板注用１．２５単位 ・・・P.233
ボナロン経口ゼリー３５ｍｇ
ボナロン錠３５ｍｇ
ボノテオ錠５０ｍｇ
ミラクリッド注射液１０万単位 【 １００，０００単位２ｍＬ１管 】
ミラクリッド注射液５万単位 【 ５０，０００単位１ｍＬ１管 】
ミルセラ注シリンジ１００μｇ ・・・P.234
ミルセラ注シリンジ２５μｇ

ミルセラ注シリンジ５０μｇ
ミルセラ注シリンジ７５μｇ ・・・P.235
メトトレキサート錠２ｍｇ「ﾀﾅﾍﾞ」(ﾘｳﾏﾄﾚｯｸｽ) [先発品:非採用]リウマトレックスカプセル２ｍｇ
ラクツロースシロップ６５％「ＮＩＧ」 [先発品:非採用]モニラック・シロップ６５％
ランマークＨＩ皮下注１２０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ
リクラスト点滴静注液バッグ（5mg/100mL）
レボカルニチンＦＦ錠２５０ｍｇ「トーワ」 [先発品:非採用]エルカルチンＦＦ錠２５０ｍｇ ・・・P.236
注射用エラスポール１００
注射用フサン５０ｍｇ
ｴﾎﾟｴﾁﾝｱﾙﾌｧBS注3000ｼﾘﾝｼﾞ「JCR」(ｴﾎﾟｼﾞﾝ3000) [先発品:非採用]エスポー皮下用２４０００シリンジ
ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩注射用100mg(ｴﾌｵｰﾜｲ)
ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩注射用500mg（ｴﾌｵｰﾜｲ） ・・・P.237
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注10μｇｼﾘﾝｼﾞ 「KKF」(ﾈｽﾌﾟ10) [先発品:臨時使用]ネスプ注射液１０μｇプラシリンジ
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注20μｇｼﾘﾝｼﾞ 「KKF」(ﾈｽﾌﾟ20) [先発品:非採用]ネスプ注射液２０μｇプラシリンジ
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注30μｇｼﾘﾝｼﾞ 「KKF」 [先発品:非採用]ネスプ注射液３０μｇプラシリンジ ・・・P.238
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注40μｇｼﾘﾝｼﾞ 「KKF」(ﾈｽﾌﾟ40) [先発品:非採用]ネスプ注射液４０μｇプラシリンジ ・・・P.239
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注60μｇｼﾘﾝｼﾞ 「KKF」(ﾈｽﾌﾟ60) [先発品:臨時使用]ネスプ注射液６０μｇプラシリンジ
ﾚﾎﾞｶﾙﾆﾁﾝ静注1000mgｼﾘﾝｼﾞ「ﾆﾌﾟﾛ」（ｴﾙｶﾙﾁﾝ） [先発品:非採用]エルカルチンＦＦ静注１０００ｍｇシリンジ ・・・P.240

4:組織細胞機能用医薬品 ・・・P.240

42:腫瘍用薬

421:アルキル化剤

4211:クロルエチルアミン系製剤

注射用エンドキサン 500mg/V ・・・P.240

422:代謝拮抗剤 ・・・P.241

4223:フルオロウラシル系製剤

カペシタビン錠３００ｍｇ「サワイ」(ｾﾞﾛｰﾀﾞ) [先発品:臨時使用]ゼローダ錠300mg ・・・P.241
フルオロウラシル注1000ｍｇ/20mL｢ﾄｰﾜ｣(5-FU) ・・・P.242
フルオロウラシル注　250mg/5mL｢ﾄｰﾜ｣(5-FU)

4224:シトシン系製剤 ・・・P.243

ゲムシタビン点滴静注液１ｇ／２５ｍＬ「ＮＫ」 [先発品:非採用]ジェムザール注射用１ｇ ・・・P.243
ゲムシタビン点滴静注液２００ｍｇ／５ｍＬ「ＮＫ」 [先発品:非採用]ジェムザール注射用２００ｍｇ

4229:その他の代謝拮抗剤 ・・・P.243

アリムタ注射用100mg ・・・P.243
アリムタ注射用500mg ・・・P.244
エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２０(ﾃｨｰｴｽﾜﾝ) [先発品:非採用]ティーエスワン配合顆粒Ｔ２０
エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２５(ﾃｨｰｴｽﾜﾝ) [先発品:非採用]ティーエスワン配合顆粒Ｔ２５
ハイドレアカプセル５００ｍｇ ・・・P.245
ペメトレキセド点滴静注液１００ｍｇ「ＮＫ」（ｱﾘﾑﾀ） [先発品:採用]アリムタ注射用100mg
ペメトレキセド点滴静注液５００ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾑﾀ) [先発品:採用]アリムタ注射用500mg
ペメトレキセド点滴静注液８００ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾑﾀ) ・・・P.246
ユーエフティ配合カプセルＴ１００

423:抗腫瘍性抗生物質製剤 ・・・P.246

4235:アントラサイクリン系抗生物質製剤

エピルビシン塩酸塩注射液 50ｍｇ/25mL｢NK｣(ﾌｧﾙﾓﾙﾋﾞｼﾝ) ・・・P.246

エピルビシン塩酸塩注射液10mg/5mL「NK」(ﾌｧﾙﾓﾙﾋﾞｼﾝ) ・・・P.247
カルセド注射用 20mg/V
カルセド注射用 50mg/V
ドキシル注 20mg/10mL
ドキソルビシン塩酸塩注射用10mg「NK」(ｱﾄﾞﾘｱｼﾝ) [先発品:非採用]アドリアシン注用１０
ドキソルビシン塩酸塩注射用50mg「NK」(ｱﾄﾞﾘｱｼﾝ) [先発品:非採用]アドリアシン注用５０ ・・・P.249
424:抗腫瘍性植物成分製剤 ・・・P.250
4240:抗腫瘍性植物成分製剤
アブラキサン点滴静注用100mg ・・・P.250
イリノテカン塩酸塩点滴静注液100mg/5mL「NK」(ﾄﾎﾟﾃｼﾝ) [先発品:非採用]カンプト点滴静注１００ｍｇ
イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg/2mL「NK」(ﾄﾎﾟﾃｼﾝ) [先発品:非採用]カンプト点滴静注４０ｍｇ ・・・P.251
ナベルビン注 10mg/1mL
ビロイ点滴静注用１００ｍｇ
ビロイ点滴静注用３００ｍｇ
ラステット注１００ｍｇ／５ｍＬ
ロゼウス静注液 10mg/1mL（ﾅﾍﾞﾙﾋﾞﾝ） ・・・P.252
ロゼウス静注液 40mg/4mL（ﾅﾍﾞﾙﾋﾞﾝ）
ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ点滴静注20mg/1mL「ﾆﾌﾟﾛ」(ﾀｷｿﾃｰﾙ) [先発品:非採用]タキソテール点滴静注用２０ｍｇ
ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ点滴静注80mg/4mL「ﾆﾌﾟﾛ」(ﾀｷｿﾃｰﾙ) [先発品:非採用]タキソテール点滴静注用８０ｍｇ
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注100mg/16.7mL「ＮＫ」 (ﾀｷｿｰﾙ) [先発品:非採用]タキソール注射液１００ｍｇ ・・・P.253
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注30mg/5mL「ＮＫ」 (ﾀｷｿｰﾙ) [先発品:非採用]タキソール注射液３０ｍｇ
429:その他の腫瘍用薬 ・・・P.254
4291:その他の抗悪性腫瘍用剤
★抗癌★ ノルバデックス錠１０ｍｇ ・・・P.254
アービタックス注射液 100mg/20mL
アドセトリス点滴静注用５０ｍｇ
アナストロゾール錠１ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾐﾃﾞｯｸｽ) [先発品:非採用]アリミデックス錠１ｍｇ ・・・P.255
アバスチン点滴静注用 100mg/4mL
アバスチン点滴静注用 400mg/16mL
アロマシン錠２５ｍｇ ・・・P.256
エリブリンメシル酸塩静注液1mg/2mL「ニプロ」(ﾊﾗﾌﾞｪﾝ) [先発品:採用]ハラヴェン静注1mg/2mL
オキサリプラチン点滴静注液200mg/40mL「NK」 [先発品:非採用]エルプラット点滴静注液２００ｍｇ
オキサリプラチン点滴静注液50mg/10mL「NK」 [先発品:非採用]エルプラット点滴静注液５０ｍｇ
オダイン錠１２５ｍｇ
オプジーボ点滴静注２４０ｍｇ 【２４０ｍｇ２４ｍＬ１瓶】
カルボプラチン注射液１５０ｍｇ／１５ｍＬ「NK」 [先発品:非採用]パラプラチン注射液１５０ｍｇ ・・・P.258
カルボプラチン注射液４５０ｍｇ／４５ｍＬ「NK」 [先発品:非採用]パラプラチン注射液４５０ｍｇ
カルボプラチン注射液５０ｍｇ／５ｍＬ「NK」 [先発品:非採用]パラプラチン注射液５０ｍｇ ・・・P.259
キイトルーダ点滴静注 １００ｍｇ /4mL
サイラムザ点滴静注液１００ｍｇ/10ｍＬ ・・・P.260
サイラムザ点滴静注液５００ｍｇ/50ｍＬ ・・・P.261
シスプラチン点滴静注10mg/20mL「ﾏﾙｺ」(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)
シスプラチン点滴静注50mg/100mL「ﾏﾙｺ」(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ) ・・・P.262
タグリッソ錠８０ｍｇ ・・・P.263

トラスツズマブＢＳ点滴静注用１５０ｍｇ「NK」	[先発品:非採用]ハーセプチン注射用１５０	
ハラヴェン静注1mg/2mL		
パージェタ点滴静注４２０ｍｇ／１４ｍＬ		・・・P.264
ビカルタミド錠８０ｍｇ「NK」	[先発品:臨時使用]カソデックス錠８０ｍｇ	
ベクティビックス点滴静注 100mg/5mL		
ベクティビックス点滴静注 400mg/20mL		
ベバシズマブＢＳ点滴静注１００ｍｇ「ファイザー」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)	[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 100mg/4mL	
ベルケイド注射用3mg/V		・・・P.265
ボルテゾミブ注射用3mg/V「DSEP」(ﾍﾞﾙｹｲﾄﾞ)	[先発品:採用]ベルケイド注射用3mg/V	
ランダ注10mg/20mL		・・・P.266
リツキシマブＢＳ点滴静注100mg/10mL「ＫＨＫ」（リツキサン）	[先発品:臨時使用]リツキサン点滴静注１００ｍｇ【１００ｍｇ１０ｍＬ１瓶】	・・・P.267
リツキシマブＢＳ点滴静注500mg/50mL「ＫＨＫ」（リツキサン）	[先発品:臨時使用]リツキサン点滴静注５００ｍｇ【５００ｍｇ５０ｍＬ１瓶】	
リムパーザ錠100ｍｇ		・・・P.268
リムパーザ錠150ｍｇ		
レトロゾール錠２．５ｍｇ「サンド」	[先発品:非採用]フェマーラ錠２．５ｍｇ	
レナリドミドカプセル５ｍｇ「ＢＭＳＨ」(ﾚﾌﾞﾗﾐﾄﾞ)(院内のみ)	[先発品:採用]レブラミドカプセル５ｍｇ（院内のみ）	・・・P.269
レブラミドカプセル５ｍｇ（院内のみ）		
4299:他に分類されない腫瘍用薬		・・・P.269
ロンサーフ配合錠Ｔ１５		・・・P.269
ロンサーフ配合錠Ｔ２０		・・・P.270
43:組織細胞の治療及び診断を目的とする医薬品		・・・P.270
430:放射性医薬品		
4300:放射性医薬品		
ダットスキャン静注		・・・P.270
ヨードカプセル－１２３		
44:アレルギー用薬		・・・P.270
441:抗ヒスタミン剤		
4411:ジフェンヒドラミン系製剤		
レスタミンコーワ錠１０ｍｇ		・・・P.270
4413:フェノチアジン系製剤		・・・P.270
ニポラジン錠３ｍｇ		・・・P.270
ヒベルナ散１０％		・・・P.271
ヒベルナ糖衣錠２５ｍｇ		
4419:その他の抗ヒスタミン剤		・・・P.271
ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」	[先発品:非採用]ポララミン錠２ｍｇ	・・・P.271
ペリアクチンシロップ０．０４％		
ペリアクチン散１％		・・・P.272
ポララミン注５ｍｇ		
442:刺激療法剤		・・・P.272
4420:刺激療法剤		
リマチル錠１００ｍｇ		・・・P.272
449:その他のアレルギー用薬		・・・P.272
4490:その他のアレルギー用薬		
アレジオン錠２０		・・・P.272
アレロック顆粒０．５％		
オキサトミド錠３０ｍｇ「サワイ」		・・・P.273
オロパタジン塩酸塩錠５ｍｇ「明治」	[先発品:非採用]アレロック錠５	
クラリチン錠１０ｍｇ		

スプラタストトシル酸塩カプセル１００ｍｇ「サワイ」(ｱｲﾋﾟｰﾃﾞｨｰ) [先発品:臨時使用]アイピーディカプセル１００
デザレックス錠5ｍｇ
ビラノアＯＤ錠２０ｍｇ
フェキソフェナジン塩酸塩錠３０ｍｇ「明治」(ｱﾚｸﾞﾗ) [先発品:臨時使用]アレグラ錠３０ｍｇ ・・・P.274
フェキソフェナジン塩酸塩錠６０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]アレグラ錠６０ｍｇ
プランルカスト ｶﾌﾟｾﾙ112.5ｍｇ「日医工」(ｵﾉﾝ) [先発品:非採用]オノンカプセル１１２．５ｍｇ
プランルカストDS10%「タカタ」（オノン） [先発品:非採用]オノンドライシロップ１０％
ベポタスチンベシル酸塩錠１０ｍｇ「タナベ」(ﾀﾘｵﾝ) [先発品:非採用]タリオン錠１０ｍｇ
モンテルカストチュアブル錠５ｍｇ「タカタ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ) [先発品:非採用]キプレスチュアブル錠５ｍｇ ・・・P.275
モンテルカスト細粒４ｍｇ「タカタ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ) [先発品:非採用]キプレス細粒４ｍｇ
モンテルカスト錠１０ｍｇ「ＫＭ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ) [先発品:非採用]キプレス錠１０ｍｇ
リザベンカプセル１００ｍｇ
ルパフィン錠１０ｍｇ
レボセチリジン塩酸塩シロップ０．０５％「ニプロ」(ｻﾞｲｻﾞﾙ) [先発品:非採用]ザイザルシロップ０．０５％
レボセチリジン塩酸塩錠５ｍｇ「武田テバ」(ｻﾞｲｻﾞﾙ) [先発品:臨時使用]ザイザル錠５ｍｇ ・・・P.276

5:生薬及び漢方処方に基づく医薬品 ・・・P.276
51:生薬
510:生薬
5100:生薬
トチモトのシテイ（柿のへた） ・・・P.276
52:漢方製剤 ・・・P.276
520:漢方製剤
5200:漢方製剤
【001】ツムラ葛根湯（2.5g/包） ・・・P.276
【007】ツムラ八味地黄丸（2.5g/包）
【012】ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯(2.5g/包) ・・・P.277
【014】ツムラ半夏瀉心湯（2.5g/包）
【016】ツムラ半夏厚朴湯（2.5g/包）
【017】ツムラ五苓散（2.5g/包）
【018】ツムラ桂枝加朮附湯（2.5g/包）
【019】ツムラ小青竜湯（3g/包）
【020】ツムラ防已黄耆湯（2.5g/包） ・・・P.278
【023】ツムラ当帰芍薬散（2.5g/包）
【024】ツムラ加味逍遙散（2.5g/包）
【025】ツムラ桂枝茯苓丸（2.5g/包）
【029】ツムラ麦門冬湯（3g/包）
【034】ツムラ白虎加人参湯（3g/包）
【038】ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯(2.5g/P) ・・・P.279
【040】ツムラ猪苓湯（2.5g/包）
【041】ツムラ補中益気湯（2.5g/包）
【043】ツムラ六君子湯（2.5g/包）
【047】ツムラ釣藤散（2.5g/包）
【048】ツムラ十全大補湯（2.5g/包）
【051】ツムラ潤腸湯（2.5g/包） ・・・P.280
【053】ツムラ疎経活血湯（2.5g/包）
【054】ツムラ抑肝散（2.5g/包）

【062】ツムラ防風通聖散（2.5g/包）
【068】ツムラ芍薬甘草湯（2.5g/包）
【084】ツムラ大黄甘草湯（2.5g/包）
【089】ツムラ治打撲一方（2.5g/包）
【096】ツムラ柴朴湯（2.5g/包） ・・・P.281
【100】ツムラ大建中湯（2.5g/包）
【107】ツムラ牛車腎気丸（2.5g/包）
【108】ツムラ人参養栄湯（3g/包）
【114】ツムラ柴苓湯（3g/包）
【134】ツムラ桂枝加芍薬大黄湯(2.5g/包)
【137】ツムラ加味帰脾湯（2.5g/包） ・・・P.282
【EK-83】クラシエ抑肝散加陳皮半夏(2.5g/包)
59:その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品 ・・・P.282
590:その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品
5900:その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品
ヨクイニンエキス錠「コタロー」 ・・・P.282
6:病原生物に対する医薬品 ・・・P.282
61:抗生物質製剤
611:主としてグラム陽性菌に作用するもの
6112:リンコマイシン系抗生物質製剤
ｸﾘﾝﾀﾞﾏｲｼﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙ注射液600mg(ﾐﾄﾞｼﾝ) ・・・P.282
6113:バンコマイシン製剤 ・・・P.282
バンコマイシン塩酸塩散０．５ｇ「明治」 ・・・P.282
バンコマイシン塩酸塩点滴静注用０．５ｇ「明治」 ・・・P.283
6119:その他の主としてグラム陽性菌に作用するもの ・・・P.283
ダプトマイシン静注用350mg「ニプロ」 [先発品:非採用]キュビシン静注用３５０ｍｇ ・・・P.283
テイコプラニン点滴静注用２００ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]注射用タゴシッド２００ｍｇ
612:主としてグラム陰性菌に作用するもの ・・・P.283
6123:アミノ糖系抗生物質製剤
アミカシン硫酸塩注射液２００ｍｇ「SW」 【２００ｍｇ１管 】 ・・・P.283
613:主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの ・・・P.284
6131:ペニシリン系抗生物質製剤；合成ペニシリン
アモキシシリンカプセル２５０ｍｇ「トーワ」 ・・・P.284
サワシリン細粒１０％
ビクシリン注射用１ｇ
ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾘﾝNa点滴静注用ﾊﾞｯｸﾞ2gNP(ﾍﾟﾝﾄｼﾘﾝ) ・・・P.285
6132:セフェム系抗生物質製剤 ・・・P.285
ケフラールカプセル２５０ｍｇ ・・・P.285
ケフラール細粒小児用１００ｍｇ
ケフレックスカプセル２５０ｍｇ
セフェピム塩酸塩静注用　1g｢ｻﾝﾄﾞ｣（ﾏｷｼﾋﾟｰﾑ） ・・・P.286
セフカペン　ピボキシル塩酸塩錠１００ｍｇ「ＳＷ」
セフタジジム静注用１ｇ「VTRS」
メイアクトＭＳ小児用細粒１０％
メイアクトＭＳ錠１００ｍｇ ・・・P.287
ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa注射用１ｇ「ｲｾｲ」(ｾﾌｧﾒｼﾞﾝ)
ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa点滴静注用1gﾊﾞｯｸﾞ「ｵｰﾂｶ」

ｾﾌﾄﾘｱｷｿﾝﾅﾄﾘｳﾑ静注用０．５ｇ「NP」 ・・・P.288
ｾﾌﾄﾘｱｷｿﾝﾅﾄﾘｳﾑ点滴用1gﾊﾞｯｸ「NP」(ﾛｾﾌｨﾝ)
ｾﾌﾒﾀｿﾞｰﾙNa点滴静注用ﾊﾞｯｸﾞ1g（ｾﾌﾒﾀｿﾞﾝ）
6133:オキサセフェム系抗生物質製剤 ・・・P.288
フルマリンキット静注用１ｇ ・・・P.289
6134:アミノ糖系抗生物質製剤 ・・・P.289
ゲンタシン注４０ｍｇ ・・・P.289
6135:ホスホマイシン製剤 ・・・P.289
ホスホマイシンナトリウム静注用１ｇ「日医工」(ﾎｽﾐｼﾝ)【FOM】 ・・・P.289
ホスミシン錠５００
6139:その他の主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの ・・・P.289
オーグメンチン配合錠２５０ＲＳ ・・・P.289
クラバモックス小児用ドライシロップ
スルバシリン静注用０．７５ｇ(ﾕﾅｼﾝS) ・・・P.290
スルバシリン静注用１．５ｇ(ﾕﾅｼﾝS)
スルバシリン静注用３ｇ(ﾕﾅｼﾝS)
タゾピペ配合静注用４．５「明治」
ファロム錠２００ｍｇ ・・・P.291
メロペネム点滴静注用０．５ｇ「明治」
ワイスタール配合点滴用1gﾊﾞｯｸﾞ(ｽﾙﾍﾟﾗｿﾞﾝ)
614:主としてグラム陽性菌，マイコプラズマに作用するもの ・・・P.292
6149:その他の主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの
クラリスロマイシンＤＳ小児用１０％「タカタ」 ・・・P.292
クラリスロマイシン錠２００ｍｇ「大正」
クラリスロマイシン錠５０ｍｇ小児用「大正」 [先発品:非採用]クラリシッド錠５０ｍｇ小児用
ジスロマック錠２５０ｍｇ
ロキシスロマイシン錠１５０ｍｇ「サワイ」(ﾙﾘｯﾄﾞ) [先発品:非採用]ルリッド錠１５０ ・・・P.293
615:主としてグラム陽性・陰性菌リケッチアウイルスに作用するもの ・・・P.293
6152:テトラサイクリン系抗生物質製剤
ミノサイクリン塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ミノマイシンカプセル１００ｍｇ ・・・P.293
ミノサイクリン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ミノマイシン錠５０ｍｇ
ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用１００ｍｇ「サワイ」
616:主として抗酸性菌に作用するもの ・・・P.293
6164:リファンピシン製剤
リファンピシンカプセル１５０ｍｇ「サンド」 [先発品:臨時使用]リファジンカプセル１５０ｍｇ ・・・P.293
617:主としてカビに作用するもの ・・・P.294
6173:アムホテリシンＢ製剤
ファンギゾンシロップ１００ｍｇ／ｍＬ ・・・P.294
6179:その他の主としてカビ，原虫に作用するもの ・・・P.294
ミカファンギンＮａ点滴静注用５０ｍｇ「サワイ」(ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ) [先発品:非採用]ファンガード点滴用５０ｍｇ ・・・P.294
619:その他の抗生物質製剤（複合抗生物質製剤を含む） ・・・P.294
6199:他に分類されない抗生物質製剤
ボノサップパック４００ ・・・P.294
ボノピオンパック
62:化学療法剤 ・・・P.295
621:サルファ剤
6219:その他のサルファ剤

アザルフィジンＥＮ錠５００ｍｇ ・・・P.295
サラゾピリン錠５００ｍｇ
622:抗結核剤 ・・・P.295
6222:イソニアジド系製剤
イスコチン錠１００ｍｇ ・・・P.295
6223:ピラジナミド製剤 ・・・P.295
ピラマイド ・・・P.295
6225:エタンブトール製剤 ・・・P.295
エブトール１２５ｍｇ錠 ・・・P.295
624:合成抗菌剤 ・・・P.296
6241:ピリドンカルボン酸系製剤
アベロックス錠４００ｍｇ ・・・P.296
ジェニナック錠２００ｍｇ
レボフロキサシン錠５００ｍｇ「ＤＳＥＰ」 [先発品:非採用]クラビット錠５００ｍｇ
ﾚﾎﾞﾌﾛｷｻｼﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ500mg/100mL｢DSEP｣(ｸﾗﾋﾞｯﾄ) [先発品:非採用]クラビット点滴静注５００ｍｇ／２０ｍＬ
6249:その他の合成抗菌剤 ・・・P.296
ザイボックス注射液６００ｍｇ ・・・P.296
リネゾリド錠６００ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]ザイボックス錠６００ｍｇ
625:抗ウイルス剤 ・・・P.297
6250:抗ウイルス剤
アシクロビル点滴静注液250ｍｇ｢ﾄｰﾜ｣(ｿﾞﾋﾞﾗｯｸｽ) ・・・P.297
アメナリーフ錠２００ｍｇ
アラセナ－Ａ軟膏３％（5g/本）
イナビル吸入粉末剤２０ｍｇ
エンテカビルＯＤ錠０．５ｍｇ「サワイ」(ﾊﾞﾗｸﾙｰﾄﾞ) [先発品:非採用]バラクルード錠０．５ｍｇ
ゾフルーザ錠１０ｍｇ ・・・P.298
ゾフルーザ錠２０ｍｇ
タミフルカプセル７５
タミフルドライシロップ３％
バラシクロビル錠５００ｍｇ「ＳＰＫＫ」(ﾊﾞﾙﾄﾚｯｸｽ) [先発品:非採用]バルトレックス錠５００
バラシクロビル顆粒５０％「ＳＰＫＫ」(ﾊﾞﾙﾄﾚｯｸｽ) [先発品:臨時使用]バルトレックス顆粒５０％ ・・・P.299
ラゲブリオ錠４００ｍｇ
ラピアクタ点滴静注液バイアル１５０ｍｇ
ラピアクタ点滴静注液バッグ３００ｍｇ
629:その他の化学療法剤 ・・・P.300
6290:その他の化学療法剤
イトラコナゾール錠５０ｍｇ「科研」(ｲﾄﾘｿﾞｰﾙ) [先発品:臨時使用]イトリゾールカプセル５０ ・・・P.300
エフィナコナゾール爪外用液１０％「科研」(ｸﾚﾅﾌｨﾝ) [先発品:非採用]クレナフィン爪外用液１０％
ジフルカンカプセル１００ｍｇ
ネイリンカプセル１００ｍｇ ・・・P.301
バクタ配合錠
バクタ配合顆粒
フロリードゲル経口用２％（5g/本）
プロジフ静注液１００
プロジフ静注液２００ ・・・P.302
ベセルナクリーム５％
ルコナック爪外用液５％(4mL/本)

63:生物学的製剤 ・・・P.302
631:ワクチン類
6311:細菌ワクチン類
アクトヒブ ・・・P.302
ニューモバックスＮＰシリンジ ・・・P.303
プレベナー２０水性懸濁注
6313:ウイルスワクチン類 ・・・P.303
シングリックス筋注用 ・・・P.303
ロタテック内用液（2mL/本）
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」
乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」
乾燥弱毒生風しんワクチン「タケダ」 ・・・P.304
乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」
632:毒素及びトキソイド類 ・・・P.304
6322:トキソイド類
沈降破傷風トキソイド「生研」 ・・・P.304
633:抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類 ・・・P.304
6331:抗毒素類
乾燥まむしウマ抗毒素注射用６０００単位「KMB」 ・・・P.304
634:血液製剤類 ・・・P.304
6343:血漿分画製剤
アルブミナー２５％ ５０ｍＬ ・・・P.304
ケイセントラ静注用１０００ ・・・P.305
ケイセントラ静注用５００
テタノブリンＩＨ静注１５００単位 【 １，５００国際単位１瓶 】
ハプトグロビン静注２０００単位「ＪＢ」 【 ２，０００単位１００ｍＬ１瓶 】
フィブロガミンＰ
ヘブスブリン－ＩＨ静注用 1000単位 ・・・P.306
献血アルブミン５％静注１２．５ｇ／２５０ｍＬ「タケダ」 【 ５％ ２５０ｍＬ１瓶 】
献血グロベニン－Ｉ１０％静注 ５ｇ／５０ｍＬ
献血ノンスロン１５００注射用 ・・・P.307
献血ベニロン－Ｉ 静注用２５００ｍｇ
6349:その他の血液製剤類 ・・・P.308
ボルヒール５ｍＬ ・・・P.308
636:混合生物学的製剤 ・・・P.308
6361:ワクチン・トキソイド混合製剤
沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド(ＤＴビック) ・・・P.308
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンキット「タケダ」
639:その他の生物学的製剤 ・・・P.308
6391:結核菌含有及び抗アレルギー的物質製剤
イムノブラダー膀注用８０ｍｇ ・・・P.308
6393:精製ツベルクリン ・・・P.308
一般診断用精製ツベルクリン(PPD) ・・・P.308
6399:他に分類されない生物学的製剤 ・・・P.309
アクテムラ点滴静注用200mg/10mL ・・・P.309
アクテムラ点滴静注用80mg/4mL

64:寄生動物用薬 ・・・P.309
641:抗原虫剤
6419:その他の抗原虫剤
アネメトロ点滴静注液５００mg 【５００mg１００mL１瓶】 ・・・P.309
フラジール内服錠２５０mg ・・・P.310
7:治療を主目的としない医薬品 ・・・P.310
71:調剤用薬
711:賦形剤
7111:乳糖類
乳糖水和物「ホエイ」 ・・・P.310
712:軟膏基剤 ・・・P.310
7121:油脂性基剤；ワセリン、パラフィン等
オリブ油「ケンエー」（25mL/本） ・・・P.310
白色ワセリン「ケンエー」 ・・・P.311
713:溶解剤 ・・・P.311
7131:精製水類
精製水「ケンエー」 ・・・P.311
注射用水 ２０mL
注射用水（広口）１０００mL
注射用水（広口）５００mL輸液
714:矯味、矯臭、着色剤 ・・・P.311
7142:シロップ製剤；単シロップ等
単シロップ ・・・P.311
7149:その他の矯味、矯臭、着色剤 ・・・P.311
ハッカ油「コザカイ・M」 ・・・P.311
719:その他の調剤用薬 ・・・P.312
7190:その他の調剤用薬
塩化ナトリウム「オーツカ」（内服） ・・・P.312
72:診断用薬（体外診断用医薬品を除く） ・・・P.312
721:Ｘ線造影剤
7211:ヨウ素化合物製剤
ガストログラフイン経口・注腸用 ・・・P.312
リピオドール480注 10mL
7212:バリウム塩製剤 ・・・P.313
バリテスターＡ２４０散 ・・・P.313
7213:造影補助剤 ・・・P.313
マグコロール内用液１３．６%分包２５０mL(院内のみ) ・・・P.313
7214:配合製剤 ・・・P.313
ウログラフイン注６０%１００mL ・・・P.313
ウログラフイン注６０%２０mL
ウログラフイン注７６%２０mL
7219:その他のＸ線造影剤 ・・・P.313
イオパミドール３００注１００mL「F」 【６１．２４%１００mL１瓶】 ・・・P.313
イオパミドール３００注５０mL「F」【６１．２４%５０mL１瓶】 ・・・P.314
イオパミドール３００注シリンジ５０mL「ＦＦ」
イオパミドール３７０注１００mL「F」 【７５．５２%１００mL１瓶】
イオパミロン注300ｼﾘﾝｼﾞ 80mL
イオパミロン注300ｼﾘﾝｼﾞ100mL ・・・P.315

イオパミロン注370ｼﾘﾝｼﾞ 80mL
イオパミロン注370ｼﾘﾝｼﾞ100mL
イオメロン３５０シリンジ１３５ｍＬ ・・・P.316
オムニパーク２４０注１０ｍＬ
オムニパーク３００シリンジ１５０ｍＬ
オムニパーク３５０注シリンジ１００ｍＬ（イオヘキソール）
722:機能検査用試薬 ・・・P.317
7224:肝機能検査用試薬
ジアグノグリーン注射用２５ｍｇ ・・・P.317
7225:腎機能検査用試薬 ・・・P.317
インジゴカルミン注２０ｍｇ「ＡＦＰ」 【０．４％５ｍＬ１管】 ・・・P.317
7229:その他の機能検査用試薬 ・・・P.318
アンチレクス静注１０ｍｇ ・・・P.318
グルカゴンＧノボ注射用１ｍｇ
729:その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く） ・・・P.318
7290:その他の診断用薬（体外診断用医薬品を除く）
ＥＯＢ・プリモビスト注シリンジ１０ｍＬ ・・・P.318
アムベルビスト静注シリンジ５ｍＬ
アムベルビスト静注シリンジ７．５ｍＬ ・・・P.319
アラグリオ内用剤１．５ｇ
ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ１０ｍＬ「ＧＥ」（マグネスコープ） [先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８％シリンジ１０ｍＬ
ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ１５ｍＬ「ＧＥ」（マグネスコープ） [先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８％シリンジ１５ｍＬ
ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ２０ｍＬ「ＧＥ」（マグネスコープ） [先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８％シリンジ２０ｍＬ
トレーランＧ液７５ｇ
フルオレサイト静注５００ｍｇ
ボースデル内用液１０ ・・・P.320
ユービット錠１００ｍｇ
73:公衆衛生用薬 ・・・P.320
732:防疫用殺菌消毒剤
7321:アルコール及びアルデヒド製剤
アセサイド６％消毒液 ・・・P.320
ディスオーパ消毒液0.55% 3.8L
79:その他の治療を主目的としない医薬品 ・・・P.320
799:他に分類されない治療を主目的としない医薬品
7990:他に分類されない治療を主目的としない医薬品
アデノシン負荷用静注６０ｍｇシリンジ「ＦＲＩ」 [先発品:非採用]アデノスキャン注６０ｍｇ ・・・P.320
タコシール組織接着用シート
チャンピックス錠０．５ｍｇ ・・・P.321
チャンピックス錠１ｍｇ
ニフレック配合内用剤（院内のみ）
プロナーゼＭＳ２万単位
ベリプラストＰ コンビセット1mL
ボルヒール３ｍＬ
ミオテクター冠血管注 【 １瓶１管１組 】
ミンクリア内用散布液0.8%(160mg/20mL) ・・・P.322
モビプレップ配合内用剤（院内のみ）
8:麻薬 ・・・P.322
81:アルカロイド系麻薬（天然麻薬）

811:あへんアルカロイド系麻薬

8114:モルヒネ系製剤

(麻)アンペック坐剤１０ｍｇ ・・・P.322

(麻)アンペック注５０ｍｇ

(麻)オプソ内服液１０ｍｇ ・・・P.323

(麻)オプソ内服液５ｍｇ

(麻)モルヒネ塩酸塩注射液１０ｍｇ

8115:コデイン系製剤 ・・・P.323

(麻)コデインリン酸塩散１０％「タケダ」 ・・・P.323

8119:その他のあへんアルカロイド系麻薬 ・・・P.323

(麻)オキシコンチンＴＲ錠１０ｍｇ ・・・P.323

(麻)オキシコンチンＴＲ錠２０ｍｇ ・・・P.324

(麻)オキシコンチンＴＲ錠４０ｍｇ

(麻)オキシコンチンＴＲ錠５ｍｇ

(麻)オキノーム散１０ｍｇ

(麻)オキノーム散２．５ｍｇ

(麻)オキノーム散５ｍｇ

(麻)オキファスト注１０ｍｇ

(麻)オキファスト注５０ｍｇ ・・・P.325

(麻)ナルサス錠２ｍｇ

(麻)ナルサス錠６ｍｇ

(麻)ナルラピド錠１ｍｇ

(麻)ナルラピド錠２ｍｇ

(麻)メテバニール錠２ｍｇ

82:非アルカロイド系麻薬 ・・・P.325

821:合成麻薬

8219:その他の合成麻薬

(麻)アブストラル舌下錠１００μｇ ・・・P.325

(麻)アブストラル舌下錠２００μｇ ・・・P.326

(麻)フェンタニル注射液０．１ｍｇ「ﾃﾙﾓ」 [先発品:臨時使用](麻)フェンタニル注射液０．１ｍｇ「第一三共」

(麻)フェントステープ1mg

(麻)フェントステープ2mg ・・・P.327

(麻)フェントステープ4mg

(麻)フェントステープ6mg ・・・P.328

(麻)フェントステープ8mg

(麻)フェントステープ０．５ｍｇ

(麻)レミフェンタニル静注用２ｍｇ「第一三共」（ｱﾙﾁﾊﾞ） [先発品:非採用]アルチバ静注用２ｍｇ ・・・P.329

Z:その他 ・・・P.329

１％ブイフェンド点眼液(5mL/本)(院内のみ) ・・・P.329

イトラコナゾール内用液１％「VTRS」（ｲﾄﾘｿﾞｰﾙ） [先発品:非採用]イトリゾール内用液１％

ウエルフォーム（180mL/本） ・・・P.330

ウエルフォーム（80mL/本）

エナラプリルマレイン酸塩錠２．５ｍｇ「ＶＴＲＳ」 [先発品:臨時使用]レニベース錠２．５

エナラプリルマレイン酸塩錠５ｍｇ「ＶＴＲＳ」 [先発品:臨時使用]レニベース錠５

グリセリンBC液60%　250mL

ジアゼパム注射液１０ｍｇ「ＮＩＧ」(ｾﾙｼﾝ)

ジアゼパム注射液５ｍｇ「ＮＩＧ」(ｾﾙｼﾝ)

ピューラックス 18L ・・・P.331

ピューラックス 600mL

ベバシズマブＢＳ点滴静注100mg/4mL「CTNK」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ) [先発品:採用]アバスチン点滴静注用 100mg/4mL

ベバシズマブＢＳ点滴静注400mg/16mL「ＣＴＮＫ」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ) [先発品:採用]アバスチン点滴静注用 400mg/16mL

マスキンスクラブ4% 500mL

ヤクラックス消毒液０．１％

生食注シリンジ「ＮＰ」１０mL

【あ】

アイモビーグ皮下注７０ｍｇペン		・・・P.43
アイラミド配合懸濁性点眼液		・・・P.58
アイリーア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL		
亜鉛華（１０％）単軟膏「ニッコー」	[先発品:非採用]亜鉛華軟膏「ヨシダ」	・・・P.176
アクアチムクリーム１％（10g/本）		・・・P.169
アクチット輸液 【 ５００ｍＬ１袋 】		・・・P.199
アクテムラ点滴静注用200mg/10mL		・・・P.309
アクテムラ点滴静注用80mg/4mL		
アクトシン軟膏３％（30ｇ/本）		・・・P.178
アクトネル錠75mg		・・・P.225
アクトヒブ		・・・P.302
アクロマイシン軟膏３％（２５ｇ／本）		・・・P.168
アコファイド錠100mg		・・・P.120
アザルフィジンＥＮ錠５００ｍｇ		・・・P.295
アシクロビル点滴静注液250ｍｇ「ﾄｰﾜ」(ｿﾞﾋﾞﾗｯｸｽ)		・・・P.297
アジョビ皮下注225mgｵｰﾄｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ		・・・P.43
アジルサルタン錠２０ｍｇ「武田ﾃﾊﾞ」(ｱｼﾞﾙﾊﾞ)	[先発品:非採用]アジルバ錠２０ｍｇ	・・・P.78
アジレクト錠１ｍｇ		・・・P.22
アジレクト錠０．５ｍｇ		
アストミン錠１０ｍｇ		・・・P.98
アスパラカリウム錠３００ｍｇ		・・・P.187
アスパラカリウム散５０％		
アスパラギン酸カリウム注１０ｍＥｑキット「テルモ」		・・・P.188
アスパラ－ＣＡ錠２００		・・・P.186
アスベリンシロップ０．５％		・・・P.100
アスベリン散１０％		
アスペノンカプセル２０		・・・P.71
アズノール軟膏 ０．０３３％(20g/本)		・・・P.174
アセサイド６％消毒液		・・・P.320
アセトアミノフェン「ＶＴＲＳ」原末(ﾅﾊﾟ)		・・・P.16
アセリオ静注液１０００ｍｇバッグ 【 １，０００ｍｇ１００ｍＬ１袋 】		
アゼルニジピン錠８ｍｇ「ケミファ」(ｶﾙﾌﾞﾛｯｸ)	[先発品:非採用]カルブロック錠８ｍｇ	・・・P.78
アゾセミド錠60mg「DSEP」	[先発品:非採用]ダイアート錠６０ｍｇ	・・・P.75
アゾセミド錠30mg「DSEP」	[先発品:非採用]ダイアート錠３０ｍｇ	
アゾルガ配合懸濁性点眼液		・・・P.58
アタラックス錠１０ｍｇ		・・・P.27
アタラックス－Ｐ注射液５０ｍｇ		
アデスタン腟錠３００ｍｇ		・・・P.164
アデノシン負荷用静注６０ｍｇシリンジ「ＦＲＩ」	[先発品:非採用]アデノスキャン注６０ｍｇ	・・・P.320
アデホスコーワ顆粒１０％		・・・P.224
アデホス－Ｌコーワ注２０ｍｇ		
アデホスコーワ腸溶錠２０		
アトモキセチン錠１０ｍｇ「トーワ」(ｽﾄﾗﾃﾗ)	[先発品:非採用]ストラテラカプセル１０ｍｇ	・・・P.27
アトモキセチン錠４０ｍｇ「トーワ」(ｽﾄﾗﾃﾗ)	[先発品:非採用]ストラテラカプセル４０ｍｇ	・・・P.28
アトラント軟膏１％（10g/本）		・・・P.176
アトルバスタチン錠5mg「ｻﾜｲ」(ﾘﾋﾟﾄｰﾙ)	[先発品:非採用]リピトール錠５ｍｇ	・・・P.91
アトルバスタチン錠10mg「ｻﾜｲ」(ﾘﾋﾟﾄｰﾙ)	[先発品:臨時使用]リピトール錠１０ｍｇ	・・・P.90
アトロピン注０．０５％シリンジ「テルモ」		・・・P.54

アドエア１００ディスカス６０吸入用		・・・P.104
アドセトリス点滴静注用５０ｍｇ		・・・P.254
アドナ注（静脈用）１００ｍｇ		・・・P.202
アドナ注（静脈用）２５ｍｇ		
アドナ注（静脈用）５０ｍｇ		
アドレナリン注０．１％シリンジ「テルモ」		・・・P.125
アナストロゾール錠１ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾐﾃﾞｯｸｽ)	[先発品:非採用]アリミデックス錠１ｍｇ	・・・P.255
アナフラニール錠２５ｍｇ		・・・P.27
アナフラニール錠１０ｍｇ		
アニュイティ１００μｇエリプタ３０吸入用		・・・P.104
アニュイティ２００μｇエリプタ３０吸入用		・・・P.105
アネメトロ点滴静注液５００ｍｇ　【５００ｍｇ１００ｍＬ１瓶 】		・・・P.309
アノーロエリプタ３０吸入用		・・・P.102
アバスチン点滴静注用 100mg/4mL		・・・P.255
アバスチン点滴静注用 400mg/16mL		
アフリベルセプト硝子体内注射用キット４０ｍｇ／ｍＬ	[先発品:非採用]アイリーア硝子体内注射液４０ｍｇ／ｍＬ	・・・P.58
(麻)アブストラル舌下錠１００μｇ		・・・P.325
(麻)アブストラル舌下錠２００μｇ		・・・P.326
アブラキサン点滴静注用100mg		・・・P.250
アベロックス錠４００ｍｇ		・・・P.296
アマンタジン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]シンメトレル錠５０ｍｇ	・・・P.22
(毒)アミオダロン塩酸塩速崩錠１００ｍｇ「ＴＥ」	[先発品:臨時使用]アンカロン錠１００	・・・P.71
アミオダロン塩酸塩静注１５０ｍｇ「ＴＥ」（アンカロン）	[先発品:臨時使用]アンカロン注１５０ｍｇ	
アミカシン硫酸塩注射液２００ｍｇ「ＳＷ」　【２００ｍｇ１管 】		・・・P.283
アミティーザカプセル２４μｇ		・・・P.117
アミニック輸液２００ｍＬ		・・・P.192
アミノレバンＥＮ配合散(50g/包)【ｺｰﾋｰ味】		・・・P.193
アミノレバンＥＮ配合散(50g/包)【ﾌﾙｰﾂ味】		
アミノレバン点滴静注５００ｍＬ		・・・P.192
アムベルビスト静注シリンジ５ｍＬ		・・・P.318
アムベルビスト静注シリンジ７．５ｍＬ		・・・P.319
アムロジピンOD錠２．５ｍｇ「明治」(ﾉﾙﾊﾞｽｸ)	[先発品:非採用]ノルバスク錠２．５ｍｇ	・・・P.84
アムロジピンOD錠５ｍｇ「明治」(ﾉﾙﾊﾞｽｸ)	[先発品:臨時使用]ノルバスク錠５ｍｇ	・・・P.85
アメジニウムメチル硫酸塩錠１０ｍｇ「日医工」(ﾘｽﾞﾐｯｸ)	[先発品:非採用]リズミック錠１０ｍｇ	・・・P.92
アメナリーフ錠２００ｍｇ		・・・P.297
アモキシシリンカプセル２５０ｍｇ「トーワ」		・・・P.284
アラグリオ内用剤１．５ｇ		・・・P.319
アラセナ－Ａ軟膏３％（5g/本）		・・・P.297
アリッサ配合錠		・・・P.157
アリナミンＦ糖衣錠２５ｍｇ		・・・P.181
アリピプラゾール錠１ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ)	[先発品:非採用]エビリファイ錠１ｍｇ	・・・P.28
アリピプラゾール錠３ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ)	[先発品:臨時使用]エビリファイ錠３ｍｇ	
アリピプラゾール錠６ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ)	[先発品:臨時使用]エビリファイ錠６ｍｇ	・・・P.29
アリピプラゾール錠１２ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ)	[先発品:非採用]エビリファイ錠１２ｍｇ	・・・P.28
アリムタ注射用500mg		・・・P.244
アリムタ注射用100mg		・・・P.243
アルガトロバンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ「ﾌｿｰ」(ｽﾛﾝﾉﾝ)	[先発品:非採用]スロンノンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ	・・・P.93

アルサルミン細粒９０％		・・・P.110
アルツディスポ関節注２５ｍｇ		・・・P.225
アルト原末		・・・P.203
アルドメット錠２５０		・・・P.77
アルファカルシドール錠１．０μｇ「アメル」(ｱﾙﾌｧﾛｰﾙ)	[先発品:非採用]ワンアルファ錠１．０μｇ	・・・P.180
アルファカルシドール錠０．２５μｇ「アメル」(ｱﾙﾌｧﾛｰﾙ)	[先発品:非採用]ワンアルファ錠０．２５μｇ	
アルファカルシドール錠０．５μｇ「アメル」(ﾜﾝｱﾙﾌｧ)	[先発品:非採用]ワンアルファ錠０．５μｇ	
アルブミナー２５％ ５０ｍＬ		・・・P.304
献血アルブミン５％静注１２．５ｇ／２５０ｍＬ「タケダ」 【 ５％ ２５０ｍＬ１瓶 】		・・・P.306
アルプラゾラム錠０．４ｍｇ「サワイ」(ｺﾝｽﾀﾝ)	[先発品:非採用]コンスタン０．４ｍｇ錠	・・・P.4
アルプロスタジル注１０μｇ（リプル）	[先発品:非採用]パルクス注１０μｇ	・・・P.93
アルメタ軟膏（5g/本）		・・・P.169
アルロイドＧ内用液５％		・・・P.110
アレジオン眼瞼クリーム０．５％（2g/本）		・・・P.58
アレジオン錠２０		・・・P.272
アレビアチン錠１００ｍｇ		・・・P.9
アレビアチン錠２５ｍｇ		
アレビアチン散１０％		
アレロック顆粒０．５％		・・・P.272
アロカリス点滴静注235㎎/10㎖		・・・P.120
アロチノロール塩酸塩錠5㎎(ｱﾙﾏｰﾙ)		・・・P.69
アロプリノール錠１００ｍｇ「ニプロ」(ｱﾛｼﾄｰﾙ)	[先発品:非採用]ザイロリック錠１００	・・・P.219
アロマシン錠２５ｍｇ		・・・P.256
アンジュ２８錠		・・・P.164
アンチレクス静注１０ｍｇ		・・・P.318
アンテベート軟膏０．０５％（10g/本）		・・・P.170
アンヒバ坐剤小児用２００ｍｇ		・・・P.17
アンヒバ坐剤小児用１００ｍｇ		
ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩錠15㎎「NP」(ﾑｺｿﾙﾊﾞﾝ)	[先発品:非採用]ムコソルバン錠１５ｍｇ	・・・P.100
ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩徐放OD錠45㎎ﾆﾌﾟﾛ(ﾑｺｿﾙﾊﾞﾝ)	[先発品:非採用]ムコソルバンＬ錠４５ｍｇ	
(麻)アンペック坐剤１０ｍｇ		・・・P.322
(麻)アンペック注５０ｍｇ		
アーテン錠２ｍｇ		・・・P.22
アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液500㎖		・・・P.209
アービタックス注射液 100㎎/20㎖		・・・P.254

【い】

イオパミドール３００注１００ｍＬ「Ｆ」 【 ６１．２４％１００ｍＬ１瓶 】		・・・P.313
イオパミドール３００注５０ｍＬ「Ｆ」 【 ６１．２４％５０ｍＬ１瓶 】		・・・P.314
イオパミドール３００注シリンジ５０ｍＬ「ＦＦ」		
イオパミドール３７０注１００ｍＬ「Ｆ」 【 ７５．５２％１００ｍＬ１瓶 】		
イオパミロン注300ｼﾘﾝｼﾞ 80㎖		
イオパミロン注300ｼﾘﾝｼﾞ100㎖		・・・P.315
イオパミロン注370ｼﾘﾝｼﾞ 80㎖		
イオパミロン注370ｼﾘﾝｼﾞ100㎖		
イオメロン３５０シリンジ１３５ｍＬ		・・・P.316

イコサペント酸エチル粒状カプセル９００ｍｇ「サワイ」(ｴﾊﾟﾃﾞｰﾙS)	[先発品:臨時使用]エパデールＳ９００	・・・P.210
イコサペント酸エチルカプセル３００ｍｇ「サワイ」(ｴﾊﾟﾃﾞｰﾙ)	[先発品:臨時使用]エパデールカプセル３００	
イスコチン錠１００ｍｇ		・・・P.295
イソゾール注射用０．５ｇ		・・・P.1
イソバイドシロップ70%分包20mL		・・・P.75
イソバイドシロップ70%分包30mL		
一硝酸イソソルビド錠２０ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]アイトロール錠２０ｍｇ	・・・P.89
イトラコナゾール錠５０ｍｇ「科研」(ｲﾄﾘｿﾞｰﾙ)	[先発品:臨時使用]イトリゾールカプセル５０	・・・P.300
イトラコナゾール内用液１％「VTRS」（ｲﾄﾘｿﾞｰﾙ）	[先発品:非採用]イトリゾール内用液１％	・・・P.329
イナビル吸入粉末剤２０ｍｇ		・・・P.297
イノラス配合経腸用液（りんごﾌﾚｰﾊﾞｰ）		・・・P.193
イノラス配合経腸用液（ｺｰﾋｰﾌﾚｰﾊﾞｰ）		
イノラス配合経腸用液（ﾖｰｸﾞﾙﾄﾌﾚｰﾊﾞｰ）		
イフェクサーＳＲカプセル７５ｍｇ		・・・P.29
イフェクサーＳＲカプセル３７．５ｍｇ		
イフェンプロジル酒石酸塩錠２０ｍｇ「サワイ」(ｾﾛｸﾗｰﾙ)	[先発品:非採用]セロクラール錠２０ｍｇ	・・・P.93
イベニティ皮下注１０5ｍｇシリンジ		・・・P.225
イムノブラダー膀注用８０ｍｇ		・・・P.308
イムラン錠５０ｍｇ		・・・P.225
イリノテカン塩酸塩点滴静注液100mg/5mL「NK」(ﾄﾎﾟﾃｼﾝ)	[先発品:非採用]カンプト点滴静注１００ｍｇ	・・・P.250
イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg/2mL「NK」(ﾄﾎﾟﾃｼﾝ)	[先発品:非採用]カンプト点滴静注４０ｍｇ	・・・P.251
イリボー錠５μｇ		・・・P.120
インヴェガ錠３ｍｇ		・・・P.29
インジゴカルミン注２０ｍｇ「ＡＦＰ」 【０．４％５ｍＬ１管】		・・・P.317
インスリン　アスパルトＢＳ注ソロスターＮＲ「サノフィ」(ﾉﾎﾞﾗﾋﾟｯﾄﾞ)	[先発品:臨時使用]ノボラピッド注ペンフィル	・・・P.158
インスリン　グラルギンＢＳ注ミリオペン「リリー」(ﾗﾝﾀｽ)	[先発品:臨時使用]ランタス注カート３００	
インテバンクリーム１％（25g/本）		・・・P.174
インデラル錠１０ｍｇ		・・・P.69
イントラリポス輸液２０％２５０ｍＬ		・・・P.197
インフリキシマブＢＳ点滴静注用１００ｍｇ「ＮＫ」	[先発品:非採用]レミケード点滴静注用１００	・・・P.121
ＥＯＢ・プリモビスト注シリンジ１０ｍＬ		・・・P.318
ＥＰＬカプセル２５０ｍｇ		・・・P.90

【う】

ウインタミン細粒（１０％）		・・・P.25
(毒)ウブレチド錠５ｍｇ		・・・P.53
ウルソデオキシコール酸錠１００ｍｇ「トーワ」		・・・P.119
ウルティブロ吸入用カプセル		・・・P.102
ウログラフイン注６０％１００ｍＬ		・・・P.313
ウログラフイン注６０％２０ｍＬ		
ウログラフイン注７６％２０ｍＬ		
ウロナーゼ静注用６万単位		・・・P.220
ヴィーンＤ輸液 【５００ｍＬ１瓶】		・・・P.201

【え】

エイゾプト懸濁性点眼液１％		・・・P.58
エイベリス点眼液０．００２％		・・・P.59

エキザルベ		・・・P.174
エクセグラン錠１００ｍｇ		・・・P.10
エクセグラン散２０％		
エクメット配合錠ＨＤ		・・・P.221
エクラープラスター２０μｇ／ｃｍ2		・・・P.170
Ｓ・Ｍ配合散		・・・P.115
エスクレ坐剤「２５０」		・・・P.3
エスシタロプラムＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾚｸｻﾌﾟﾛ)	[先発品:非採用]レクサプロ錠１０ｍｇ	・・・P.29
ＳＧ配合顆粒		・・・P.19
エスゾピクロン錠１ｍｇ「ニプロ」(ﾙﾈｽﾀ)	[先発品:非採用]ルネスタ錠１ｍｇ	・・・P.7
エスゾピクロン錠２ｍｇ「ニプロ」(ﾙﾈｽﾀ)	[先発品:非採用]ルネスタ錠２ｍｇ	
エストラーナテープ０．７２ｍｇ		・・・P.156
エストリール錠１ｍｇ		
ＳＰトローチ明治		・・・P.120
エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２０(ﾃｨｰｴｽﾜﾝ)	[先発品:非採用]ティーエスワン配合顆粒Ｔ２０	・・・P.244
エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２５(ﾃｨｰｴｽﾜﾝ)	[先発品:非採用]ティーエスワン配合顆粒Ｔ２５	
エゼチミブ錠１０ｍｇ｢DSEP｣(ｾﾞﾁｰｱ)	[先発品:非採用]ゼチーア錠１０ｍｇ	・・・P.91
エゼロス配合錠ＬＤ「サワイ」(ﾛｽｰｾﾞｯﾄ)	[先発品:非採用]ロスーゼット配合錠ＬＤ	
エゼロス配合錠ＨＤ「サワイ」(ﾛｽｰｾﾞｯﾄ)	[先発品:非採用]ロスーゼット配合錠ＨＤ	
エソメプラゾールカプセル２０ｍｇ「ニプロ」(ﾈｷｼｳﾑ)	[先発品:採用]ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ	・・・P.110
エソメプラゾールカプセル１０ｍｇ「ニプロ」(ﾈｷｼｳﾑ)	[先発品:非採用]ネキシウム懸濁用顆粒分包１０ｍｇ	
エタネルセプトＢＳ皮下注５０ｍｇペン１．０ｍＬ「ＭＡ」	[先発品:持参薬使用]◆持参◆エンブレル皮下注５０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ	・・・P.225
消毒用エタプロコール		・・・P.167
ｴﾀﾞﾗﾎﾞﾝ点滴静注液30mgﾊﾞｯｸﾞ｢NP｣(ﾗｼﾞｶｯﾄ)	[先発品:非採用]ラジカット注３０ｍｇ	・・・P.47
エチゾラム錠１ｍｇ「アメル」(ﾃﾞﾊﾟｽ)	[先発品:非採用]デパス錠１ｍｇ	・・・P.30
エチゾラム錠０．５ｍｇ「アメル」(ﾃﾞﾊﾟｽ)	[先発品:臨時使用]デパス錠０．５ｍｇ	
エナジア吸入用カプセル高用量		・・・P.105
エナラプリルマレイン酸塩錠２．５ｍｇ「ＶＴＲＳ」	[先発品:臨時使用]レニベース錠２．５	・・・P.330
エナラプリルマレイン酸塩錠５ｍｇ「ＶＴＲＳ」	[先発品:臨時使用]レニベース錠５	
エバミール錠１．０		・・・P.4
エパルレスタット錠５０ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]キネダック錠５０ｍｇ	・・・P.226
エビスタ錠６０ｍｇ		
エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇシリンジ		・・・P.30
エピナスチン塩酸塩点眼液0.05%「日点」(ｱﾚｼﾞｵﾝ)	[先発品:非採用]アレジオン点眼液０．０５％	・・・P.59
エピナスチン塩酸塩ＬＸ点眼液０．１％「ＳＥＣ」(ｱﾚｼﾞｵﾝ)	[先発品:非採用]アレジオンＬＸ点眼液０．１％	
エピペン注射液０．３ｍｇ		・・・P.126
エピペン注射液０．１５ｍｇ		・・・P.125
エピルビシン塩酸塩注射液 50mg/25mL｢NK｣(ﾌｧﾙﾓﾙﾋﾞｼﾝ)		・・・P.246
エピルビシン塩酸塩注射液10mg/5mL｢NK｣(ﾌｧﾙﾓﾙﾋﾞｼﾝ)		・・・P.247
エフィナコナゾール爪外用液１０％「科研」(ｸﾚﾅﾌｨﾝ)	[先発品:非採用]クレナフィン爪外用液１０％	・・・P.300
ｴフェドリン「ナガヰ」注射液４０ｍｇ		・・・P.98
エフピーＯＤ錠２．５		・・・P.22
エフメノカプセル１００ｍｇ		・・・P.157
エブトール１２５ｍｇ錠		・・・P.295

エブランチルカプセル１５ｍｇ		・・・P.78
エプレレノン錠２５ｍｇ「杏林」(ｾﾚﾗ)	[先発品:非採用]セララ錠２５ｍｇ	
エベレンゾ錠５０ｍｇ		・・・P.226
エベレンゾ錠１００ｍｇ		
エベレンゾ錠２０ｍｇ		
エペリゾン塩酸塩錠５０ｍｇ「トーワ」(ﾐｵﾅｰﾙ)	[先発品:非採用]ミオナール錠５０ｍｇ	・・・P.55
エホチール注１０ｍｇ		・・・P.67
ｴﾎﾟｴﾁﾝｱﾙﾌｧBS注3000ｼﾘﾝｼﾞ「JCR」(ｴﾎﾟｼﾞﾝ3000)	[先発品:非採用]エスポー皮下用２４０００シリンジ	・・・P.236
エポジン皮下注シリンジ２４０００		・・・P.227
エポジン注シリンジ３０００		・・・P.226
ＭＳ温シップ「タイホウ」20g×5　(5枚/袋)		・・・P.173
エムガルティ皮下注１２０ｍｇオートインジェクター		・・・P.43
エムラクリーム		・・・P.51
注射用エラスポール１００		・・・P.236
エリキュース錠５ｍｇ		・・・P.207
エリキュース錠２．５ｍｇ		
エリブリンメシル酸塩静注液1mg/2mL「ニプロ」(ﾊﾗﾌﾞｪﾝ)	[先発品:採用]ハラヴェン静注1mg/2mL	・・・P.256
エリル点滴静注液３０ｍｇ		・・・P.93
エルデカルシトールカプセル０．７５μｇ「サワイ」(ｴﾃﾞｨﾛｰﾙ)	[先発品:非採用]エディロール錠０．７５μｇ	・・・P.181
エルネオパＮＦ２号輸液１５００mL		・・・P.195
エルネオパＮＦ２号輸液２０００mL		
エルネオパＮＦ１号輸液１０００mL		・・・P.194
エルネオパＮＦ１号輸液１５００mL		
エルネオパＮＦ１号輸液２０００mL		
エルネオパＮＦ２号輸液１０００mL		
エレンタール配合内用剤		・・・P.195
塩化カリウム徐放錠６００ｍｇ「Ｓｔ」		・・・P.188
塩化ナトリウム「オーツカ」（内服）		・・・P.312
エンクラッセ６２．５μｇエリプタ３０吸入用		・・・P.102
エンシュア・Ｈ（バニラ味）		・・・P.196
エンシュア・Ｈ（コーヒー味）		・・・P.195
エンシュア・Ｈ（ストロベリー味）		・・・P.196
エンテカビルＯＤ錠０．５ｍｇ「サワイ」(ﾊﾞﾗｸﾙｰﾄﾞ)	[先発品:非採用]バラクルード錠０．５ｍｇ	・・・P.297
注射用エンドキサン 500mg/V		・・・P.240
エンレスト錠５０ｍｇ		・・・P.94
エンレスト錠１００ｍｇ		
エンレスト錠２００ｍｇ		
エースコール錠2ｍｇ		・・・P.77
ＡＺ含嗽用配合顆粒「ニプロ」	[先発品:非採用]含嗽用ハチアズレ顆粒	・・・P.104

【お】

オイラックスHクリーム(5g/本)		・・・P.174
オイラックスクリーム１０%(10g/本)		
オキサトミド錠３０ｍｇ「サワイ」		・・・P.273
オキサリプラチン点滴静注液50mg/10mL「NK」	[先発品:非採用]エルプラット点滴静注液５０ｍｇ	・・・P.256
オキサリプラチン点滴静注液200mg/40mL「NK」	[先発品:非採用]エルプラット点滴静注液２００ｍｇ	
オキサロール軟膏２５μｇ／ｇ		・・・P.178
(麻)オキシコンチンＴＲ錠１０ｍｇ		・・・P.323
(麻)オキシコンチンＴＲ錠２０ｍｇ		・・・P.324
(麻)オキシコンチンＴＲ錠４０ｍｇ		

(麻)オキシコンチンＴＲ錠５ｍｇ		
オキシドール「ニッコー」		・・・P.167
(麻)オキノーム散１０ｍｇ		・・・P.324
(麻)オキノーム散２．５ｍｇ		
(麻)オキノーム散５ｍｇ		
(麻)オキファスト注１０ｍｇ		
(麻)オキファスト注５０ｍｇ		・・・P.325
オクトレオチド酢酸塩皮下注１００μｇ「サンド」（ｻﾝﾄﾞｽﾀﾁﾝ）	[先発品:非採用]サンドスタチン皮下注用１００μｇ	・・・P.160
オザグレルNa注80mgｼﾘﾝｼﾞ(ｷｻﾝﾎﾞﾝS)		・・・P.227
オダイン錠１２５ｍｇ		・・・P.256
オビソート注射用０．１ｇ		・・・P.53
オプジーボ点滴静注２４０ｍｇ　【２４０ｍｇ２４ｍＬ１瓶】		・・・P.256
(麻)オプソ内服液５ｍｇ		・・・P.323
(麻)オプソ内服液１０ｍｇ		
オムニパーク３５０注シリンジ１００ｍＬ（イオヘキソール）		・・・P.316
オムニパーク２４０注１０ｍＬ		
オムニパーク３００シリンジ１５０ｍＬ		
ｵﾒｶﾞ-3脂肪酸ｴﾁﾙ粒状ｶﾌﾟｾﾙ2g「武田ﾃﾊﾞ」(ﾛﾄﾘｶﾞ)	[先発品:非採用]ロトリガ粒状カプセル２ｇ	・・・P.92
オメプラゾール注射用２０ｍｇ「日医工」		・・・P.111
オラドールトローチ０．５ｍｇ		・・・P.121
オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:非採用]ジプレキサ錠１０ｍｇ	・・・P.30
オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠２．５ｍｇ	・・・P.31
オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠２．５ｍｇ	
オランザピンＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠５ｍｇ	
オランザピンＯＤ錠５ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠５ｍｇ	
オランザピン細粒１％「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:臨時使用]ジプレキサ細粒１％	・・・P.32
オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)	[先発品:非採用]ジプレキサ錠１０ｍｇ	・・・P.30
オリブ油「ケンエー」（25mL/本）		・・・P.310
オルケディア錠１ｍｇ		・・・P.227
オルベスコ200μgインヘラー56吸入用		・・・P.105
オルミエント錠２ｍｇ		・・・P.228
オルミエント錠４ｍｇ		
オルメサルタンＯＤ錠２０ｍｇ｢DSEP｣(ｵﾙﾒﾃｯｸ)	[先発品:非採用]オルメテックＯＤ錠２０ｍｇ	・・・P.78
オレンシア点滴静注用250mg		・・・P.228
オロパタジン点眼液０．１％「ニッテン」(ﾊﾟﾀﾉｰﾙ)	[先発品:非採用]パタノール点眼液０．１％	・・・P.59
オロパタジン塩酸塩錠５ｍｇ「明治」	[先発品:非採用]アレロック錠５	・・・P.273
オンデキサ静注用２００ｍｇ		・・・P.210
オンブレス吸入用カプセル１５０μｇ		・・・P.102
オーグメンチン配合錠２５０ＲＳ		・・・P.289

【か】

カデックス軟膏0.9%（40g/本）		・・・P.178
カナグル錠１００ｍｇ		・・・P.221
カナリア配合錠		・・・P.222
カバサール錠０．２５ｍｇ		・・・P.23
カペシタビン錠３００ｍｇ「サワイ」(ｾﾞﾛｰﾀﾞ)	[先発品:臨時使用]ゼローダ錠300mg	・・・P.241
カモスタットメシル酸塩錠１００ｍｇ「トー	[先発品:非採用]フオイパン錠１００ｍｇ	・・・P.228

ワ」(ﾌｵｲﾊﾟﾝ)		
カリメート経口液20%（25g/包）		・・・P.95
カルセド注射用 20mg/V		・・・P.247
カルセド注射用 50mg/V		
カルチコール注射液８．５%１０mL		・・・P.186
カルデナリン錠２mg		・・・P.79
カルナクリン錠２５		・・・P.158
カルバゾクロムスルホン酸Ｎａ錠３０mg「ＹＤ」	[先発品:非採用]アドナ錠３０mg	・・・P.202
カルベジロール錠２．５mg「サワイ」	[先発品:臨時使用]アーチスト錠２．５mg	・・・P.79
カルベジロール錠１０mg「サワイ」	[先発品:臨時使用]アーチスト錠１０mg	
カルボシステインＤＳ５０%「タカタ」(ﾑｺﾀﾞｲﾝ)		・・・P.99
カルボシステイン錠250mg「ｻﾜｲ」(ﾑｺﾀﾞｲﾝ)	[先発品:非採用]ムコダイン錠２５０mg	
カルボプラチン注射液１５０mg／１５mL「NK」	[先発品:非採用]パラプラチン注射液１５０mg	・・・P.258
カルボプラチン注射液４５０mg／４５mL「NK」	[先発品:非採用]パラプラチン注射液４５０mg	
カルボプラチン注射液５０mg／５mL「NK」	[先発品:非採用]パラプラチン注射液５０mg	・・・P.259
カロナール錠５００		・・・P.17
カロナールシロップ２%		
カロナール錠２００		
カンデサルタン錠４mg「あすか」(ﾌﾞﾛﾌﾟﾚｽ)	[先発品:非採用]ブロプレス錠４	・・・P.79
カンデサルタン錠８mg「あすか」(ﾌﾞﾛﾌﾟﾚｽ)	[先発品:臨時使用]ブロプレス錠８mg	・・・P.80
ガストログラフイン経口・注腸用		・・・P.312
ガスロンＮ・ＯＤ錠４mg		・・・P.111
ガドテル酸メグルミン静注３８%シリンジ１０mL「ＧＥ」（マグネスコープ）	[先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８%シリンジ１０mL	・・・P.319
ガドテル酸メグルミン静注３８%シリンジ１５mL「ＧＥ」（マグネスコープ）	[先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８%シリンジ１５mL	
ガドテル酸メグルミン静注３８%シリンジ２０mL「ＧＥ」（マグネスコープ）	[先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８%シリンジ２０mL	
ガナトン錠５０mg		・・・P.121
ガバペン錠２００mg		・・・P.10
ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩注射用100mg(ｴﾌｵｰﾜｲ)		・・・P.236
ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩注射用500mg（ｴﾌｵｰﾜｲ）		・・・P.237
ガランタミンＯＤ錠８mg「DSEP」(ﾚﾐﾆｰﾙ)	[先発品:非採用]レミニール錠８mg	・・・P.44
ガランタミンＯＤ錠１２mg「DSEP」(ﾚﾐﾆｰﾙ)	[先発品:非採用]レミニール錠１２mg	
ガランタミンＯＤ錠４mg「DSEP」(ﾚﾐﾆｰﾙ)	[先発品:非採用]レミニール錠４mg	
【き】		
キイトルーダ点滴静注　１００mg　/4mL		・・・P.259
キシロカインビスカス２%		・・・P.48
キシロカインポンプスプレー８%		
キシロカイン液「４%」		
キシロカイン注ポリアンプ0.5%１０mL		
キシロカイン注ポリアンプ１%１０mL		・・・P.49
キシロカイン注ポリアンプ１%５mL		
キシロカイン注ポリアンプ２%１０mL		
キシロカイン点眼液４%		
静注用キシロカイン２%（100mg/5mL）		・・・P.50
ｷｼﾛｶｲﾝ注射液「1%」ｴﾋﾟﾚﾅﾐﾝ(1:100.000)含有		・・・P.51
ｷｼﾛｶｲﾝ注射液「2%」ｴﾋﾟﾚﾅﾐﾝ(1:80.000)含有		
キシロカインゼリー２%（30mL/本）		・・・P.48
キャブピリン配合錠		・・・P.210

キュバール１００エアゾール ・・・P.102
キンダリー透析剤ＡＦ４号 【 ６Ｌ１瓶 】 ・・・P.215

【く】

クエチアピン錠１００ｍｇ「明治」(ｾﾛｸｴﾙ) [先発品:非採用]セロクエル１００ｍｇ錠 ・・・P.32
クエチアピン錠２５ｍｇ「明治」(ｾﾛｸｴﾙ) [先発品:非採用]セロクエル２５ｍｇ錠
クエン酸第一鉄Ｎａ錠50mg「ｻﾜｲ」(ﾌｪﾛﾐｱ) ・・・P.186
クエンメット配合錠（ｳﾗﾘｯﾄ） [先発品:臨時使用]ウラリット配合錠 ・・・P.219
【EK-83】クラシエ抑肝散加陳皮半夏(2.5g/包) ・・・P.282
クラバモックス小児用ドライシロップ ・・・P.289
クラビット点眼液１．５％ ・・・P.59
クラリスロマイシンＤＳ小児用１０％「タカタ」 ・・・P.292
クラリスロマイシン錠２００ｍｇ「大正」
クラリスロマイシン錠５０ｍｇ小児用「大正」 [先発品:非採用]クラリシッド錠５０ｍｇ小児用
クラリチン錠１０ｍｇ ・・・P.273
クリアクター静注用８０万 ・・・P.220
クリアナール錠２００ｍｇ ・・・P.99
ｸﾘﾝﾀﾞﾏｲｼﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙ注射液600mg(ﾐﾄﾞｼﾝ) ・・・P.282
クレキサン皮下注キット２０００ＩＵ ・・・P.205
クレミン錠２５ｍｇ ・・・P.32
クレメジン速崩錠５００ｍｇ(4錠/包) ・・・P.216
クロザリル錠１００ｍｇ ・・・P.32
クロザリル錠２５ｍｇ ・・・P.33
クロチアゼパム錠５ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]リーゼ錠５ｍｇ
クロピドグレル錠２５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」 [先発品:臨時使用]プラビックス錠２５ｍｇ ・・・P.210
クロピドグレル錠７５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」 [先発品:非採用]プラビックス錠７５ｍｇ ・・・P.211
ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙ軟膏0.05%「ﾃｲｺｸ」(5g/本)(ｷﾝﾀﾞﾍﾞｰﾄ) [先発品:非採用]キンダベート軟膏０．０５％ ・・・P.173
ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞｰﾙﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ軟膏0.05%「ｲﾜｷ」(ﾃﾞﾙﾓﾍﾞｰﾄ) [先発品:非採用]デルモベート軟膏０．０５％
クロマイ腟錠 ・・・P.164
クロミッド錠５０ｍｇ ・・・P.160
ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」 [先発品:非採用]ポララミン錠２ｍｇ ・・・P.271
クービビック錠５０ｍｇ ・・・P.44
クービビック錠２５ｍｇ
グラアルファ配合点眼液 ・・・P.59
グラクティブ錠５０ｍｇ ・・・P.222
グラケーカプセル１５ｍｇ ・・・P.184
グラナテック点眼液０．４％ ・・・P.59
グラニセトロン静注液３ｍｇｼﾘﾝｼﾞ「ｻﾜｲ」(ｶｲﾄﾘﾙ) ・・・P.120
グランダキシン錠５０ ・・・P.4
グリセオール注２００ｍＬ ・・・P.95
グリセリン浣腸液５０％「ケンエー」(120mL) ・・・P.117
グリセリン浣腸液５０％「ケンエー」（60mL）
グリセリン「ケンエー」
グリチロン配合錠 ・・・P.216
グリミクロン錠４０ｍｇ ・・・P.221
★糖★グリメピリド錠１ｍｇ「三和」 [先発品:臨時使用]★糖★アマリール１ｍｇ錠 ・・・P.220
グルカゴンＧノボ注射用１ｍｇ ・・・P.318
グルコンサンＫ細粒 (4mEq/g) ・・・P.188
グルトパ注６００万 ・・・P.220

グルベス配合ＯＤ錠			・・・P.222
献血グロベニン－Ｉ１０%静注５ｇ／５０mL			・・・P.306
グーフィス錠5mg			・・・P.117
【け】			
ケイセントラ静注用１０００			・・・P.305
ケイセントラ静注用５００			
ケイツーN静注用１０mg			・・・P.184
ケサンラ点滴静注液３５０mg 【３５０mg２０mL１瓶 】			・・・P.44
(麻)ケタラール筋注用５００mg			・・・P.1
(麻)ケタラール静注用５０mg			
ケトチフェン点鼻液０．０５%「サワイ」	[先発品:非採用]ザジテン点鼻液０．０５%		・・・P.64
ケトプロフェンテープ２０mg「ＳＮ」 (7枚/袋)	[先発品:採用]モーラステープ20mg(7枚/袋)		・・・P.174
ケトプロフェンテープ４０mg「ＳＮ」 (7枚/袋)	[先発品:採用]モーラステープＬ40mg(7枚/袋)		
ｹﾄﾌﾟﾛﾌｪﾝﾊﾟｯﾌﾟ30mg「日医工」(7枚/袋 ﾐﾙﾀｯｸｽ)	[先発品:非採用]モーラスパップ３０mg		・・・P.176
ｹﾅｺﾙﾄ-A筋注用関節腔内用水懸注40mg			・・・P.142
ｹﾅｺﾙﾄ-A皮内用関節腔内用水懸注50mg/5mL			・・・P.143
ケフラールカプセル２５０mg			・・・P.285
ケフラール細粒小児用１００mg			
ケフレックスカプセル２５０mg			
健栄の健胃散			・・・P.116
ＫＣＬ注２０mＥｑキット「テルモ」			・・・P.199
ゲムシタビン点滴静注液２００mg／5mL「ＮＫ」	[先発品:非採用]ジェムザール注射用２００mg		・・・P.243
ゲムシタビン点滴静注液１ｇ／２５mL「ＮＫ」	[先発品:非採用]ジェムザール注射用１ｇ		
ゲンタシン軟膏０．１%（10g/本）			・・・P.168
ゲンタシン注４０mg			・・・P.289
ゲーベンクリーム１%			・・・P.168
【こ】			
コアベータ静注用１２．５mg			・・・P.69
コスパノンカプセル４０mg			・・・P.55
コソプト配合点眼液			・・・P.59
コディオ配合錠ＥＸ			・・・P.80
(麻)コデインリン酸塩散１０%「タケダ」			・・・P.323
コルヒチン錠０．５mg「タカタ」			・・・P.219
コレクチム軟膏０．５%（5g/本）			・・・P.178
コンサータ錠２７mg			・・・P.33
コンサータ錠１８mg			
コントミン筋注２５mg			・・・P.25
コントミン糖衣錠２５mg			
コントミン糖衣錠５０mg			
コートリル錠１０mg			・・・P.126
【さ】			
サイプレジン１%点眼液			・・・P.56
サイラムザ点滴静注液１００mg/10mL			・・・P.260
サイラムザ点滴静注液５００mg/50mL			・・・P.261
サイレース静注2mg（ﾛﾋﾟﾉｰﾙ）			・・・P.5
酢酸亜鉛錠２５mg「サワイ」（ﾉﾍﾞﾙｼﾞﾝ）	[先発品:非採用]ノベルジン錠２５mg		・・・P.217
サブパック血液ろ過用補充液－Ｂｉ	[先発品:非採用]サブラッド血液ろ過用補充液ＢＳＧ		・・・P.215
サムタス点滴静注用8mg			・・・P.75

サラジェン顆粒０．５％		・・・P.121
サラゾピリン錠５００ｍｇ		・・・P.295
１０％サリチル酸ワセリン軟膏東豊		・・・P.176
サリベートエアゾール		・・・P.122
サルブタモール錠２ｍｇ「日医工」(ﾍﾞﾈﾄﾘﾝ)		・・・P.101
サルポグレラート塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」(ｱﾝﾌﾟﾗｰｸﾞ)	[先発品:臨時使用]アンプラーグ錠１００ｍｇ	・・・P.211
サワシリン細粒１０％		・・・P.284
重質酸化マグネシウム「ケンエー」		・・・P.116
サンコバ点眼液０．０２％		・・・P.59
サンドールＰ点眼液(ﾐﾄﾞﾘﾝＰ)		・・・P.60
サンピロ２％点眼液		・・・P.56
ザイボックス注射液６００ｍｇ		・・・P.296
ザルコニン液0.01		・・・P.167
ザーネ軟膏０．５％		・・・P.175

【し】

シアノコバラミン注射液1000μｇ(1mg/1mL)「ﾄｰﾜ」		・・・P.183
シザナリン配合点滴静注液（ｴﾚﾒﾝﾐｯｸ)	[先発品:非採用]エレメンミック注	・・・P.188
シスプラチン点滴静注10mg/20mL「ﾏﾙｺ」(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)		・・・P.261
シスプラチン点滴静注50mg/100mL「ﾏﾙｺ」(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)		・・・P.262
シナール配合錠		・・・P.184
シベノール静注７０ｍｇ		・・・P.72
シベンゾリンコハク酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」(ｼﾍﾞﾉｰﾙ)	[先発品:臨時使用]シベノール錠５０ｍｇ	
シムビコートﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ60吸入		・・・P.105
10%食塩注２０ｍＬ（ＮａＣｌ）		・・・P.197
シルニジピン錠５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｱﾃﾚｯｸ)	[先発品:非採用]アテレック錠５	・・・P.80
シルニジピン錠１０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｱﾃﾚｯｸ)	[先発品:臨時使用]アテレック錠１０	
シロスタゾールＯＤ錠１００ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]プレタールＯＤ錠１００ｍｇ	・・・P.211
シロドシンＯＤ錠４ｍｇ「ＤＳＥＰ」	[先発品:非採用]ユリーフ錠４ｍｇ	・・・P.165
シングリックス筋注用		・・・P.303
シンビット静注用５０ｍｇ		・・・P.72
ジアグノグリーン注射用２５ｍｇ		・・・P.317
ジアゼパム注射液１０ｍｇ「ＮＩＧ」(ｾﾙｼﾝ)		・・・P.330
ジアゼパム注射液５ｍｇ「ＮＩＧ」(ｾﾙｼﾝ)		
ジェニナック錠２００ｍｇ		・・・P.296
ｼﾞｴﾉｹﾞｽﾄ錠0.5mg「ﾓﾁﾀﾞ」(ﾃﾞｨﾅｹﾞｽﾄ)	[先発品:非採用]ディナゲスト錠０．５ｍｇ	・・・P.163
ジエノゲスト錠１ｍｇ「ﾓﾁﾀﾞ」(ﾃﾞｨﾅｹﾞｽﾄ)	[先発品:非採用]ディナゲスト錠１ｍｇ	・・・P.161
ジオン注無痛化剤付		・・・P.164
ジギラノゲン注０．４ｍｇ		・・・P.66
ジクアスLX点眼液３％		・・・P.60
ジクロフェナクナトリウム坐剤２５ｍｇ「ゼリア」	[先発品:非採用]ボルタレンサポ２５ｍｇ	・・・P.18
ジクロフェナクナトリウム坐剤５０ｍｇ「ゼリア」	[先発品:臨時使用]ボルタレンサポ５０ｍｇ	
ジクロフェナクＮａ錠２５ｍｇ「サワイ」(ﾎﾞﾙﾀﾚﾝ錠)	[先発品:臨時使用]ボルタレン錠２５ｍｇ	
ジゴシン錠０．１２５ｍｇ		・・・P.66
ジゴシン注０．２５ｍｇ		
ジスロマック錠２５０ｍｇ		・・・P.292
ジノプロスト注射液１０００μｇ「Ｆ」	[先発品:非採用]プロスタルモン・Ｆ注射液１０００	・・・P.161
ジピリダモール錠２５ｍｇ「トーワ」(ﾍﾟﾙｻﾝﾁﾝ)	[先発品:臨時使用]ペルサンチン錠２５ｍｇ	・・・P.85

ジピリダモール錠１００ｍｇ「トーワ」(ﾍﾟﾙｻﾝﾁﾝ) [先発品:非採用]ペルサンチン錠１００ｍｇ
ジフェニドール塩酸塩錠２５ｍｇ「ＮＩＧ」（ｾﾌｧﾄﾞｰﾙ) [先発品:非採用]セファドール錠２５ｍｇ ・・・P.65
ジフルカンカプセル１００ｍｇ ・・・P.300
ジプレキサザイディス錠５ｍｇ ・・・P.33
ジメチコン内用液２％「ホリイ」 [先発品:非採用]ガスコンドロップ内用液２％ ・・・P.108
ジメチコン錠４０ｍｇ「ＹＤ」（ｶﾞｽｺﾝ) [先発品:臨時使用]ガスコン錠４０ｍｇ
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」 ・・・P.303
乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」
乾燥弱毒生風しんワクチン「タケダ」 ・・・P.304
乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」
ジャディアンス錠１０ｍｇ ・・・P.222
注射用水 ２０ｍＬ ・・・P.311
ジラゼプ塩酸塩錠５０ｍｇ「ｻﾜｲ」（ｺﾒﾘｱﾝｺｰﾜ) [先発品:臨時使用]コメリアンコーワ錠５０ ・・・P.85
ｼﾞﾙﾁｱｾﾞﾑ塩酸塩注射用50mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾙﾍﾞｯｻｰ) [先発品:非採用]ヘルベッサー注射用５０ ・・・P.89
ジルムロ配合錠ＨＤ「武田テバ」(ｻﾞｸﾗｽ) [先発品:非採用]ザクラス配合錠ＨＤ ・・・P.80

【す】

スインプロイク錠０．２ｍｇ ・・・P.118
ｽｶﾞﾏﾃﾞｸｽ静注液200mg「ﾏﾙｲｼ」(ﾌﾞﾘﾃﾞｨｵﾝ) [先発品:臨時使用]ブリディオン静注200mg ・・・P.217
スキサメトニウム注４０「マルイシ」 【 ２％ ２ｍＬ１管 】 ・・・P.51
スクラルファート内用液１０％「ＮＩＧ」(ｱﾙｻﾙﾐﾝ) [先発品:非採用]アルサルミン内用液１０％ ・・・P.111
スコピゾル眼科用液 ・・・P.60
スチックゼノールＡ（40g/本） ・・・P.175
スピオルトレスピマット６０吸入 ・・・P.102
スピリーバ2.5μｇレスピマット60吸入 ・・・P.103
スピロノラクトン錠２５ｍｇ「日医工」(ｱﾙﾀﾞｸﾄﾝ) [先発品:非採用]アルダクトンＡ錠２５ｍｇ ・・・P.74
スピロペント錠１０μｇ ・・・P.103
スピール膏Ｍ ・・・P.177
スプラタストトシル酸塩カプセル１００ｍｇ「サワイ」(ｱｲﾋﾟｰﾃﾞｨｰ) [先発品:臨時使用]アイピーディカプセル１００ ・・・P.273
スルバシリン静注用０．７５ｇ(ﾕﾅｼﾝS) ・・・P.290
スルバシリン静注用１．５ｇ(ﾕﾅｼﾝS)
スルバシリン静注用３ｇ(ﾕﾅｼﾝS)
スージャヌ配合錠 ・・・P.222
スープレン吸入麻酔液 ・・・P.2

【せ】

生理食塩液２０ｍＬ ・・・P.198
生理食塩液２５０ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）
生理食塩液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）
大塚生食注２ポート１００ｍＬ ・・・P.199
生食注シリンジ「ＮＰ」１０mL ・・・P.331
精製水「ケンエー」 ・・・P.311
生理食塩液500mL「ﾋｶﾘ」(広口開栓) ・・・P.198
生理食塩液ＰＬ５０mL「フソー」 ・・・P.199
生理食塩液１００ｍＬ ・・・P.198
生理食塩液 2000mLバッグ ・・・P.197
生理食塩液1000mLバッグ
セタネオ点眼液0.002% ・・・P.60
セパミットーＲ細粒２％ ・・・P.86
ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa注射用１ｇ「ｲｾｲ」(ｾﾌｧﾒｼﾞﾝ) ・・・P.287

ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa点滴静注用1gﾊﾞｯｸﾞ「ｵｰﾂｶ」
セファランチン錠１ｍｇ ・・・P.180
セフェピム塩酸塩静注用　１ｇ「ｻﾝﾄﾞ」（ﾏｷｼﾋﾟｰﾑ） ・・・P.286
セフカペン　ピボキシル塩酸塩錠１００ｍｇ「ＳＷ」
セフタジジム静注用１ｇ「VTRS」
ｾﾌﾄﾘｱｷｿﾝﾅﾄﾘｳﾑ静注用０．５ｇ「NP」 ・・・P.288
ｾﾌﾄﾘｱｷｿﾝﾅﾄﾘｳﾑ点滴用1gﾊﾞｯｸ「NP」(ﾛｾﾌｨﾝ)
ｾﾌﾒﾀｿﾞｰﾙNa点滴静注用ﾊﾞｯｸﾞ1g（ｾﾌﾒﾀｿﾞﾝ）
５ｍｇセルシン錠 ・・・P.4
セルシン散１％ ・・・P.5
２ｍｇセルシン錠 ・・・P.4
セルタッチパップ７０／7枚（袋） ・・・P.175
セルトラリン錠５０ｍｇ「サワイ」(ｼﾞｪｲｿﾞﾛﾌﾄ) [先発品:非採用]ジェイゾロフト錠５０ｍｇ ・・・P.34
セルトラリン錠２５ｍｇ「サワイ」(ｼﾞｪｲｿﾞﾛﾌﾄ) [先発品:臨時使用]ジェイゾロフト錠２５ｍｇ
セルニルトン錠 ・・・P.165
セレコキシブ錠１００ｍｇ「トーワ」(ｾﾚｺｯｸｽ) [先発品:非採用]セレコックス錠１００ｍｇ ・・・P.19
セレニカＲ顆粒４０％ ・・・P.10
セレネース細粒１％ ・・・P.34
セレネース錠１ｍｇ
セレネース錠３ｍｇ
セレネース注５ｍｇ
セロケン錠２０ｍｇ ・・・P.80
センノシド錠１２ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]プルゼニド錠１２ｍｇ ・・・P.117
ゼビアックスローション２%(10g/本) ・・・P.169
ゼプリオン水懸筋注１００ｍｇシリンジ ・・・P.34
ゼプリオン水懸筋注１５０ｍｇシリンジ ・・・P.35
ゼプリオン水懸筋注７５ｍｇシリンジ
ゼルフォームＮｏ．１００ ・・・P.202
ゼルフォームＮｏ．１２

【そ】

ソセゴン注射液１５ｍｇ（ﾍﾟﾝﾀｼﾞﾝ注） ・・・P.19
ソリターＴ１号輸液 【 ２００ｍＬ１袋 】 ・・・P.199
ソリターＴ１号輸液 【 ５００ｍＬ１袋】
ソリターＴ３号Ｇ輸液 【 ５００ｍＬ１袋 】
ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ニプロ」(ﾍﾞｼｹｱ) [先発品:非採用]ベシケア錠５ｍｇ ・・・P.166
ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠２．５ｍｇ「ニプロ」(ﾍﾞｼｹｱ) [先発品:非採用]ベシケア錠２．５ｍｇ
ソルアセトＦ輸液 ５００㎖（ヴィーンF） ・・・P.200
ソル・コーテフ注射用１００ｍｇ ・・・P.127
ソルダクトン静注用２００ｍｇ ・・・P.74
ソルデム３Ａ輸液 【 ５００ｍＬ１袋 】 ・・・P.200
ソルデム３Ａ輸液 ２００㎖（ｿﾘﾀT3）
ソル・メドロール静注用１０００ｍｇ ・・・P.144
ソル・メドロール静注用１２５ｍｇ
ソル・メドロール静注用４０ｍｇ ・・・P.145
ソル・メドロール静注用５００ｍｇ
ゾビラックス眼軟膏３％（5g/本） ・・・P.60
ゾフルーザ錠１０ｍｇ ・・・P.298
ゾフルーザ錠２０ｍｇ
ゾラデックス３．６ｍｇデポ ・・・P.162

ゾラデックスＬＡ１０．８ｍｇデポ		
ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「サワイ」(ﾏｲｽﾘｰ)	[先発品:臨時使用]マイスリー錠１０ｍｇ	・・・P.8
ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「サワイ」(ﾏｲｽﾘｰ)	[先発品:臨時使用]マイスリー錠５ｍｇ	
ゾレドロン酸点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ「サンド」(ｿﾞﾒﾀ)	[先発品:持参薬使用]ゾメタ点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ【 ４ｍｇ５ｍＬ１瓶 】	・・・P.229
ゾーミッグＲＭ錠２．５ｍｇ		・・・P.84
【た】		
タガメット錠２００ｍｇ		・・・P.108
タクロリムスカプセル１ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾌ)	[先発品:非採用]プログラフ顆粒１ｍｇ	・・・P.229
タグリッソ錠８０ｍｇ		・・・P.263
タケキャブ錠１０ｍｇ		・・・P.111
タケキャブ錠２０ｍｇ		・・・P.112
タケプロン静注用３０ｍｇ		
タケルダ配合錠		・・・P.211
タコシール組織接着用シート		・・・P.320
タゾピペ配合静注用４．５「明治」		・・・P.290
タダラフィル錠５ｍｇＺＡ「ニプロ」(ｻﾞﾙﾃｨｱ)	[先発品:非採用]ザルティア錠５ｍｇ	・・・P.166
タチオン注射用２００ｍｇ		・・・P.216
タナトリル錠５		・・・P.77
タプコム配合点眼液		・・・P.60
タプロス点眼液０．００１５％		
タミフルドライシロップ３％		・・・P.298
タミフルカプセル７５		
ﾀﾑｽﾛｼﾝ塩酸塩OD錠0.2mg「明治」(ﾊﾙﾅｰﾙ)	[先発品:臨時使用]ハルナールＤ錠０．２ｍｇ	・・・P.166
タリビッド耳科用液０．３％		・・・P.65
タリビッド眼軟膏０．３％（3.5g/本）		・・・P.60
タリージェＯＤ錠５ｍｇ		・・・P.45
タリージェＯＤ錠１０ｍｇ		・・・P.44
炭酸水素ナトリウム （重曹）		・・・P.116
炭酸水素ナトリウム錠500mg「VTRS」（重曹）		・・・P.117
炭酸ランタンOD錠２５０ｍｇ「フソー」(ﾎｽﾚﾉｰﾙ)	[先発品:非採用]ホスレノール顆粒分包２５０ｍｇ	・・・P.97
炭酸リチウム錠100mg「大正」(ﾘｰﾏｽ)		・・・P.42
炭酸リチウム錠200mg「大正」(ﾘｰﾏｽ)		・・・P.43
単シロップ		・・・P.311
タンドスピロンクエン酸塩錠５ｍｇ「アメル」(ｾﾃﾞｨｰﾙ)	[先発品:非採用]セディール錠５ｍｇ	・・・P.8
タンドスピロンクエン酸塩錠１０ｍｇ「アメル」(ｾﾃﾞｨｰﾙ)	[先発品:非採用]セディール錠１０ｍｇ	
タンニン酸アルブミン「VTRS」(ﾀﾝﾅﾙﾋﾞﾝ)		・・・P.107
タンニン酸アルブミン「ニッコー」		
タンボコール錠５０ｍｇ		・・・P.72
ダイアコート軟膏０．０５％（5g/本）		・・・P.170
ダイアコートクリーム0.05%(5g/本)		
ダイアップ坐剤６		・・・P.5
ダイアモックス注射用５００ｍｇ		・・・P.75
ダイアモックス錠２５０ｍｇ		・・・P.74
ダットスキャン静注		・・・P.270
ダプトマイシン静注用350mg「ニプロ」	[先発品:非採用]キュビシン静注用３５０ｍｇ	・・・P.283
ダルテパリンＮａ静注５０００単位／５ｍＬ「日新」 【 ５，０００低分子ヘパリン国際単位１管 】(ﾌﾗｸﾞﾐﾝ)	[先発品:臨時使用]フラグミン静注５０００単位／５ｍＬ	・・・P.205

ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注40μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ40) [先発品:非採用]ネスプ注射液４０μｇプラシリンジ ・・・P.239
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注60μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ60) [先発品:臨時使用]ネスプ注射液６０μｇプラシリンジ
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注10μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ10) [先発品:臨時使用]ネスプ注射液１０μｇプラシリンジ ・・・P.237
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注20μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ20) [先発品:非採用]ネスプ注射液２０μｇプラシリンジ
ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注30μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」 [先発品:非採用]ネスプ注射液３０μｇプラシリンジ ・・・P.238
ダントリウムカプセル２５ｍｇ ・・・P.52
ダントリウム静注用２０ｍｇ
ダーブロック錠4ｍｇ ・・・P.230

【ち】

チアプリド錠２５ｍｇ「サワイ」(ｸﾞﾗﾏﾘｰﾙ) [先発品:臨時使用]グラマリール錠２５ｍｇ ・・・P.45
チアプリド錠５０ｍｇ「サワイ」(ｸﾞﾗﾏﾘｰﾙ) [先発品:臨時使用]グラマリール錠５０ｍｇ
チガソンカプセル１０ ・・・P.181
チキジウム臭化物カプセル１０ｍｇ「サワイ」 [先発品:臨時使用]チアトンカプセル１０ｍｇ ・・・P.53
チザニジン錠１ｍｇ「杏林」(ﾃﾙﾈﾘﾝ) [先発品:臨時使用]テルネリン錠１ｍｇ ・・・P.55
チャンピックス錠０．５ｍｇ ・・・P.321
チャンピックス錠１ｍｇ
注射用水（広口）１０００ｍＬ ・・・P.311
注射用水（広口）５００ｍＬ輸液
チラーヂンＳ錠５０μｇ ・・・P.124
チラーヂンＳ錠２５μｇ
沈降炭酸カルシウム錠500㎎「三和」(ｶﾙﾀﾝ) [先発品:非採用]カルタン錠５００ ・・・P.97
ヂアミトール「マルイシ」１０％ ・・・P.167

【つ】

ツイミーグ錠５００ｍｇ ・・・P.222
一般診断用精製ツベルクリン(PPD) ・・・P.308
【001】ツムラ葛根湯（2.5g/包） ・・・P.276
【137】ツムラ加味帰脾湯（2.5g/包） ・・・P.282
【024】ツムラ加味逍遙散（2.5g/包） ・・・P.278
【134】ツムラ桂枝加芍薬大黄湯(2.5g/包) ・・・P.281
【018】ツムラ桂枝加朮附湯（2.5g/包） ・・・P.277
【025】ツムラ桂枝茯苓丸（2.5g/包） ・・・P.278
【107】ツムラ牛車腎気丸（2.5g/包） ・・・P.281
【017】ツムラ五苓散（2.5g/包） ・・・P.277
【012】ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯(2.5g/包)
【096】ツムラ柴朴湯（2.5g/包） ・・・P.281
【114】ツムラ柴苓湯（3g/包）
【068】ツムラ芍薬甘草湯（2.5g/包） ・・・P.280
【019】ツムラ小青竜湯（3g/包） ・・・P.277
【048】ツムラ十全大補湯（2.5g/包） ・・・P.279
【051】ツムラ潤腸湯（2.5g/包） ・・・P.280
【053】ツムラ疎経活血湯（2.5g/包）
【084】ツムラ大黄甘草湯（2.5g/包）
【100】ツムラ大建中湯（2.5g/包） ・・・P.281
【047】ツムラ釣藤散（2.5g/包） ・・・P.279
【040】ツムラ猪苓湯（2.5g/包）
【089】ツムラ治打撲一方（2.5g/包） ・・・P.280
【038】ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯(2.5g/P) ・・・P.279
【023】ツムラ当帰芍薬散（2.5g/包） ・・・P.278
【108】ツムラ人参養栄湯（3g/包） ・・・P.281
【007】ツムラ八味地黄丸（2.5g/包） ・・・P.276

【016】ツムラ半夏厚朴湯（2.5g/包） ・・・P.277
【014】ツムラ半夏瀉心湯（2.5g/包）
【029】ツムラ麦門冬湯（3g/包） ・・・P.278
【034】ツムラ白虎加人参湯（3g/包）
【041】ツムラ補中益気湯（2.5g/包） ・・・P.279
【020】ツムラ防已黄耆湯（2.5g/包） ・・・P.278
【062】ツムラ防風通聖散（2.5g/包） ・・・P.280
【054】ツムラ抑肝散（2.5g/包）
【043】ツムラ六君子湯（2.5g/包） ・・・P.279
ツロブテロールテープ０．５ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ) [先発品:臨時使用]ホクナリンテープ０．５ｍｇ ・・・P.103
ツロブテロールテープ１ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ) [先発品:非採用]ホクナリンテープ１ｍｇ
ツロブテロールテープ２ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ) [先発品:非採用]ホクナリンテープ２ｍｇ
ツートラム錠５０ｍｇ ・・・P.19
ツートラム錠１００ｍｇ

【て】

テイコプラニン点滴静注用２００ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]注射用タゴシッド２００ｍｇ ・・・P.283
テオドール錠５０ｍｇ ・・・P.101
テオフィリンドライシロップ２０％「タカタ」
テオロング錠２００ｍｇ [先発品:非採用]テオドール錠２００ｍｇ
テグレトール錠１００ｍｇ ・・・P.11
テグレトール錠２００ｍｇ
テグレトール細粒５０％ ・・・P.10
テタノブリンＩＨ静注１５００単位 【 １，５００国際単位１瓶 】 ・・・P.305
テトラミド錠１０ｍｇ ・・・P.35
テノーミン錠５０ ・・・P.70
テノーミン錠２５
テプレノンカプセル５０ｍｇ「日医工Ｐ」 [先発品:臨時使用]セルベックスカプセル50㎎ ・・・P.112
テプレノン細粒１０％「トーワ」 [先発品:臨時使用]セルベックス細粒１０％
テリパラチドＢＳ皮下注キット６００μｇ「モチダ」 [先発品:採用]フォルテオ皮下注キット600μｇ ・・・P.125
テリボン皮下注２８．２μｇオートインジェクター
テリルジー２００エリプタ３０吸入用 ・・・P.105
テルミサルタン錠４０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾐｶﾙﾃﾞｨｽ) [先発品:非採用]ミカルディス錠４０ｍｇ ・・・P.81
テレミンソフト坐薬１０ｍｇ ・・・P.118
ディスオーパ消毒液0.55% 3.8L ・・・P.320
ディスコビスク１．０眼粘弾剤 ・・・P.61
ディフェリンゲル０．１％（15g/本） ・・・P.178
１%ディプリバン注－キット５０mL ・・・P.1
沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド(ＤＴビック) ・・・P.308
デエビゴ錠１０ｍｇ ・・・P.45
デエビゴ錠２．５ｍｇ
デエビゴ錠５ｍｇ
デカドロン錠４ｍｇ ・・・P.130
デカドロン錠０．５ｍｇ ・・・P.129
デキサメタゾン口腔用軟膏０．１％「ＮＫ」 [先発品:非採用]アフタゾロン口腔用軟膏０．１％ ・・・P.122
デキサート注射液６．６ｍｇ 【 ６．６ｍｇ２ｍＬ１瓶 】 [先発品:非採用]デカドロン注射液６．６ｍｇ ・・・P.135
デキサート注射液１．６５ｍｇ 【 １．６５ｍｇ０．５ｍＬ１管 】 [先発品:非採用]デカドロン注射液１．６５ｍｇ ・・・P.131

低分子デキストランＬ注２５０ｍＬ		・・・P.201
低分子デキストラン糖注５００ｍＬ		
デクスメデトミジン静注液２００μｇ／５０ｍＬシリンジ（ﾌﾟﾚｾﾃﾞｯｸｽ）	[先発品:非採用]プレセデックス静注液２００μｇ「ファイザー」	・・・P.8
デザレックス錠5ｍｇ		・・・P.273
デスパコーワ口腔用クリーム（5g/本）		・・・P.122
デタントールＲ錠３ｍｇ		・・・P.81
デノタスチュアブル配合錠		・・・P.186
デュアック配合ゲル(10g/本)		・・・P.179
デュタステリド錠０．５ｍｇＡＶ「ＤＳＥＰ」(ｱﾎﾞﾙﾌﾞ)	[先発品:非採用]アボルブカプセル０．５ｍｇ	・・・P.162
デュファストン５ｍｇ		・・・P.157
デュロキセチンＯＤ錠２０ｍｇ「明治」(ｻｲﾝﾊﾞﾙﾀ)	[先発品:非採用]サインバルタカプセル２０ｍｇ	・・・P.35

【と】

トアラセット配合錠「サワイ」(ﾄﾗﾑｾｯﾄ)	[先発品:臨時使用]トラムセット配合錠	・・・P.20
10%ブドウ糖液 ２０ｍＬ		・・・P.188
10%ブドウ糖液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）		・・・P.189
20%ブドウ糖液 ２０ｍＬ		
50%ブドウ糖液 ２０ｍＬ		
50%ブドウ糖液２００ｍＬ		・・・P.190
５%ブドウ糖液 １００ｍＬ		
５%ブドウ糖液 ２０ｍＬ		
５%ブドウ糖液 ５０ｍＬ		
５%ブドウ糖液２５０ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）		・・・P.191
５%ブドウ糖液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）		
トチモトのシテイ（柿のへた）		・・・P.276
トフラニール錠１０ｍｇ		・・・P.27
トプシムローション0.05%（10g/本）		・・・P.171
トラスツズマブＢＳ点滴静注用１５０ｍｇ「NK」	[先発品:非採用]ハーセプチン注射用１５０	・・・P.263
トラセミドＯＤ錠４ｍｇ「ＴＥ」（ﾙﾌﾟﾗｯｸ）	[先発品:臨時使用]ルプラック錠４ｍｇ	・・・P.76
トラゼンタ錠５ｍｇ		・・・P.222
トラゾドン塩酸塩錠５０ｍｇ「アメル」	[先発品:非採用]レスリン錠５０	・・・P.35
トラゾドン塩酸塩錠２５ｍｇ「アメル」	[先発品:非採用]レスリン錠２５	
トラディアンス配合錠ＡＰ		・・・P.222
トラニラスト点眼液０．５%「ニットー」(ﾘｻﾞﾍﾞﾝ)	[先発品:非採用]トラメラスＰＦ点眼液０．５%	・・・P.61
トラベルミン配合錠		・・・P.65
トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」(ﾄﾗﾏｰﾙ)	[先発品:臨時使用]トラマールＯＤ錠２５ｍｇ	・・・P.20
トランサミン注１０% 10mL		・・・P.204
トランサミン注５% 5mL		
トランサミン錠２５０ｍｇ		・・・P.203
トリクロリールシロップ１０%		・・・P.8
トリプタノール錠１０		・・・P.35
トリメブチンマレイン酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」(ｾﾚｷﾉﾝ)		・・・P.122
トリンテリックス錠１０ｍｇ		・・・P.36
トルバプタンＯＤ錠３．７５ｍｇ「ＴＥ」	[先発品:臨時使用]サムスカＯＤ錠７．５ｍｇ	・・・P.76
トルバプタンＯＤ錠７．５ｍｇ「オーツカ」(ｻﾑｽｶ)	[先発品:臨時使用]サムスカＯＤ錠７．５ｍｇ	
トルバプタンＯＤ錠１５ｍｇ「オーツカ」(ｻﾑｽｶ)	[先発品:非採用]サムスカＯＤ錠１５ｍｇ	
トルリシティ皮下注0.75mgｱﾃｵｽ		・・・P.162
トレシーバ注フレックスタッチ		・・・P.158

トレドミン錠２５ｍｇ		・・・P.36
トレドミン錠１５ｍｇ		
トレーランG液７５ｇ		・・・P.319
トロピカミド点眼液０．４%「日点」(ﾐﾄﾞﾘﾝM)	[先発品:非採用]ミドリンM点眼液０．４%	・・・P.56
トロンビン液モチダソフトボトル１万(外用)		・・・P.203
トロンビン液モチダソフトボトル１万(内服)		
トロンビン液モチダソフトボトル５千(外用)		
トロンビン液モチダソフトボトル５千(内服)		
ドキサゾシン錠０．５ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ｶﾙﾃﾞﾅﾘﾝ)	[先発品:非採用]カルデナリン錠０．５ｍｇ	・・・P.81
ドキサゾシン錠２ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ｶﾙﾃﾞﾅﾘﾝ)	[先発品:採用]カルデナリン錠２ｍｇ	
ドキシル注 20mg/10mL		・・・P.247
ドキソルビシン塩酸塩注射用50mg「NK」(ｱﾄﾞﾘｱｼﾝ)	[先発品:非採用]アドリアシン注用５０	・・・P.249
ドキソルビシン塩酸塩注射用10mg「NK」(ｱﾄﾞﾘｱｼﾝ)	[先発品:非採用]アドリアシン注用１０	・・・P.247
ドグマチール細粒１０％		・・・P.113
ドグマチール錠５０ｍｇ		・・・P.36
ドグマチール錠１００ｍｇ		
ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ点滴静注80mg/4mL「ﾆﾌﾟﾛ」(ﾀｷｿﾃｰﾙ)	[先発品:非採用]タキソテール点滴静注用８０ｍｇ	・・・P.252
ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ点滴静注20mg/1mL「ﾆﾌﾟﾛ」(ﾀｷｿﾃｰﾙ)	[先発品:非採用]タキソテール点滴静注用２０ｍｇ	
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ)	[先発品:臨時使用]アリセプト錠５ｍｇ	・・・P.46
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ)	[先発品:臨時使用]アリセプト錠１０ｍｇ	・・・P.45
ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠３ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ)	[先発品:臨時使用]アリセプト錠３ｍｇ	・・・P.46
ドパコール配合錠Ｌ１００(ﾈｵﾄﾞﾊﾟｽﾄﾝ)	[先発品:臨時使用]ネオドパストン配合錠Ｌ１００ｍｇ	・・・P.23
ドパミン塩酸塩点滴静注液６００ｍｇバッグ「NIG」	[先発品:非採用]イノバン注０．３%シリンジ	・・・P.68
ドパミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「ＮＩＧ」【１００ｍｇ５ｍＬ１管】	[先発品:非採用]イノバン注１００ｍｇ	・・・P.67
ドパミン塩酸塩点滴静注液２００ｍｇバッグ「武田テバ」	[先発品:非採用]イノバン注０．３%シリンジ	
ドブタミン持続静注１５０ｍｇシリンジ「テルモ」	[先発品:非採用]ドブトレックスキット点滴静注用６００ｍｇ	・・・P.68
ドブタミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]ドブトレックス注射液１００ｍｇ	
ドプスＯＤ錠１００ｍｇ		・・・P.23
ドプラム注射液４００ｍｇ		・・・P.97
ドボベット軟膏（15g/本）		・・・P.179
ドロレプタン注射液２５ｍｇ		・・・P.2
ドンペリドン錠１０ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]ナウゼリン錠１０ｍｇ	・・・P.122

【な】

ナイキサン錠１００ｍｇ		・・・P.20
ナウゼリン坐剤１０		・・・P.122
ナウゼリン坐剤３０		・・・P.123
ナゾネックス点鼻液50μg56噴霧用		・・・P.65
ナトリックス錠１		・・・P.81
ナフトピジルＯＤ錠２５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ﾌﾘﾊﾞｽ)	[先発品:臨時使用]フリバス錠２５ｍｇ	・・・P.166
ナベルビン注 10mg/1mL		・・・P.251
(麻)ナルサス錠２ｍｇ		・・・P.325
(麻)ナルサス錠６ｍｇ		
ﾅﾙﾌﾗﾌｨﾝ塩酸塩OD錠2.5μg「ﾌｿｰ」(ﾚﾐｯﾁ)	[先発品:非採用]レミッチＯＤ錠２．５μｇ	・・・P.48
(麻)ナルラピド錠１ｍｇ		・・・P.325
(麻)ナルラピド錠２ｍｇ		

【に】

ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩注射液10mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ)		・・・P.83
ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩注射液2mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ)		
ニコランジル錠５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)	[先発品:臨時使用]シグマート錠５ｍｇ	・・・P.86
ﾆｺﾗﾝｼﾞﾙ点滴静注用2mg「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)	[先発品:臨時使用]シグマート注２ｍｇ	・・・P.89
ﾆｺﾗﾝｼﾞﾙ点滴静注用48mg「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)	[先発品:非採用]シグマート注４８ｍｇ	・・・P.90
ニゾラールクリーム2%（10g/本）		・・・P.177
ニゾラールローション２%（10g/本）		
ニトプロ持続静注液６ｍｇ		・・・P.81
ニトラゼパム錠５ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾈﾙﾎﾞﾝ)	[先発品:非採用]ベンザリン錠５	・・・P.5
ニトログリセリン静注5mg/10mL「TE」	[先発品:非採用]ミリスロール注５ｍｇ／１０mL	・・・P.86
ニトログリセリン点滴静注50mg/100mL「TE」	[先発品:非採用]ミリスロール注５０ｍｇ／１００mL	・・・P.87
ニトロダームＴＴＳ２５ｍｇ		
ニトロペン舌下錠０．３ｍｇ		
ニトロールＲカプセル２０ｍｇ		・・・P.86
ニトロールスプレー１．２５ｍｇ		
ニトロール注５ｍｇシリンジ		
ニトロール点滴静注１００ｍｇバッグ		
ニフェジピンＬ錠１０ｍｇ「サワイ」(ｱﾀﾞﾗｰﾄL)		・・・P.88
ニフェジピンＬ錠２０ｍｇ「サワイ」(ｱﾀﾞﾗｰﾄL)		
ニフェジピンＣＲ錠２０ｍｇ「三和」(ｱﾀﾞﾗｰﾄCR)		・・・P.87
ニフラン点眼液０．１%		・・・P.61
ニフレック配合内用剤（院内のみ）		・・・P.321
ニポラジン錠３ｍｇ		・・・P.270
乳酸カルシウム水和物「ケンエー」原末		・・・P.185
乳糖水和物「ホエイ」		・・・P.310
ニュープロパッチ１３．５ｍｇ		・・・P.23
ニュープロパッチ２．２５ｍｇ		・・・P.24
ニュープロパッチ４．５ｍｇ		
ニュープロパッチ９ｍｇ		
ニューモバックスＮＰシリンジ		・・・P.303
尿素クリーム２０%「ＳＵＮ」	[先発品:非採用]パスタロンソフト軟膏２０%	・・・P.177

【ぬ】

【ね】

ネイリンカプセル１００ｍｇ		・・・P.301
ネオアミユー２００mL		・・・P.192
ネオシネジンコーワ注1ｍｇ		・・・P.84
ネオフィリン注２５０ｍｇ		・・・P.67
強力ネオミノファーゲンシーＰ静注２０mL		・・・P.216
ネオメドロールＥＥ軟膏		・・・P.61
ネオラミン・スリービー液（静注用）		・・・P.184
ネオーラル５０ｍｇカプセル		・・・P.230
ネオーラル２５ｍｇカプセル		
ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ		・・・P.113
ネクセトール錠180mg		・・・P.91
ネリゾナユニバーサルクリーム０．１%（10g/本）		・・・P.171
ネリゾナ軟０．１%（10g/本）		

【の】

ノイロトロピン錠４単位		・・・P.20
ノウリアスト錠２０ｍｇ		・・・P.24
ノバミン錠５ｍｇ		・・・P.26

ノボリンＲ注１００単位／ｍＬ		・・・P.159
ノボリンＲ注１００単位／ｍＬ		
ノルアドリナリン注１ｍｇ		・・・P.126
★抗癌★ ノルバデックス錠１０ｍｇ		・・・P.254
献血ノンスロン１５００注射用		・・・P.307
ノーベルバール静注用２５０ｍｇ		・・・P.11
【は】		
ハイカリックＲＦ輸液５００ｍＬ		・・・P.191
ハイシー顆粒２５％		・・・P.183
ハイドレアカプセル５００ｍｇ		・・・P.245
沈降破傷風トキソイド「生研」		・・・P.304
ハッカ油「コザカイ・M」		・・・P.311
ハプトグロビン静注２０００単位「ＪＢ」 【２，０００単位１００ｍＬ１瓶 】		・・・P.305
ハラヴェン静注1㎎/2㎖		・・・P.263
ハルトマン液ｐＨ８「ＮＰ」５００ｍＬ		・・・P.200
ハロマンス注１００ｍｇ		・・・P.36
ハロマンス注５０ｍｇ		・・・P.37
ハンプ注射用１０００		・・・P.90
バイアスピリン錠１００ｍｇ		・・・P.211
バクタ配合顆粒		・・・P.301
バクタ配合錠		
バビースモ硝子体内注射用キット120㎎/㎖		・・・P.61
バフセオ錠１５０ｍｇ		・・・P.231
バラシクロビル顆粒５０％「ＳＰＫＫ」(ﾊﾞﾙﾄﾚｯｸｽ)	[先発品:臨時使用]バルトレックス顆粒５０％	・・・P.299
バラシクロビル錠５００ｍｇ「ＳＰＫＫ」(ﾊﾞﾙﾄﾚｯｸｽ)	[先発品:非採用]バルトレックス錠５００	・・・P.298
バラマイシン軟膏（10g/本）		・・・P.169
バラマイシン軟膏（250g/個）		
バリテスターＡ２４０散		・・・P.313
バル筋注１００ｍｇ「ＡＦＰ」 【 １０％ １ｍＬ１管 】		・・・P.216
バルサルタン錠８０ｍｇ「Ｍｅ」	[先発品:臨時使用]ディオバン錠８０ｍｇ	・・・P.82
バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ２００ｍｇ「トーワ」	[先発品:非採用]セレニカＲ錠２００ｍｇ	・・・P.12
バルプロ酸ナトリウムシロップ５％「ＤＳＰ」		・・・P.11
バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ１００ｍｇ「トーワ」	[先発品:臨時使用]デパケンＲ錠１００ｍｇ	・・・P.12
バンコマイシン塩酸塩散０．５ｇ「明治」		・・・P.282
バンコマイシン塩酸塩点滴静注用０．５ｇ「明治」		・・・P.283
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注30㎎/5㎖「ＮＫ」（ﾀｷｿｰﾙ）	[先発品:非採用]タキソール注射液３０ｍｇ	・・・P.253
ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ注100㎎/16.7㎖「ＮＫ」（ﾀｷｿｰﾙ）	[先発品:非採用]タキソール注射液１００ｍｇ	
パパベリン塩酸塩注４０ｍｇ		・・・P.54
パム静注５００ｍｇ		・・・P.216
パラミヂンカプセル３００ｍｇ		・・・P.20
パルミコート吸入液０．２５ｍｇ		・・・P.106
パルミコート200μgﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ112吸入		
パルモディアXR錠0.2㎎		・・・P.90
パレプラス輸液５００mL		・・・P.196
パレプラス輸液１０００mL		
パロキセチン錠５ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ)	[先発品:臨時使用]パキシル錠５ｍｇ	・・・P.37
パロキセチン錠１０ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ)	[先発品:臨時使用]パキシル錠１０ｍｇ	

パロキセチン錠２０ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ)	[先発品:臨時使用]パキシル錠２０ｍｇ	
パロノセトロン静注０．７５ｍｇ／５ｍＬ「タイホウ」(ｱﾛｷｼ)	[先発品:非採用]アロキシ静注０．７５ｍｇ	・・・P.120
パンテチン錠１００ｍｇ「ＹＤ」	[先発品:非採用]パントシン錠１００	・・・P.182
パントシン散２０％		
パントール注射液５００ｍｇ		
パンビタン末		・・・P.184
パージェタ点滴静注４２０ｍｇ／１４ｍＬ		・・・P.264
【ひ】		
ヒアルロン酸Ｎａ点眼液０．１％「科研」(ﾋｱﾚｲﾝ)	[先発品:臨時使用]ヒアレイン点眼液０．１％	・・・P.61
ヒベルナ散１０％		・・・P.271
ヒベルナ糖衣錠２５ｍｇ		
沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンキット「タケダ」		・・・P.308
ヒューマログ注ミリオペン		・・・P.159
ヒルドイドフォーム０．３％（92g/本）		・・・P.207
ヒルドイドソフト軟膏0.3%(50g/本)		
ヒルナミン錠（２５ｍｇ）(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)		・・・P.26
ヒルナミン錠（５ｍｇ）(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)		
ヒルナミン細粒１０％(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)		
ヒーロンＶ０．６眼粘弾剤２．３％		・・・P.61
ヒーロン０．８５眼粘弾剤１％		
ビオチン散０．２％「フソー」		・・・P.185
ビオフェルミン錠剤	[先発品:臨時使用]ラックビー錠	・・・P.107
ビオフェルミンＲ散		
ビオフェルミンＲ錠		
ビオフェルミン散剤	[先発品:臨時使用]ラックビー微粒Ｎ	
ビカネイト輸液５００ｍＬ		・・・P.200
ビカルタミド錠８０ｍｇ「ＮＫ」	[先発品:臨時使用]カソデックス錠８０ｍｇ	・・・P.264
ビクシリン注射用１ｇ		・・・P.284
ビクトーザ皮下注１８ｍｇ		・・・P.162
ビ・シフロール錠０．５ｍｇ		・・・P.25
ビ・シフロール錠０．１２５ｍｇ		・・・P.24
ビスコート０．５眼粘弾剤	[先発品:採用]ディスコビスク１．０眼粘弾剤	・・・P.62
ビソノテープ４ｍｇ		・・・P.82
ビソプロロールフマル酸塩錠２．５ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]メインテート錠２．５ｍｇ	・・・P.70
ビソプロロールフマル酸塩錠５ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]メインテート錠５ｍｇ	
ビソプロロールフマル酸塩錠０．６２５ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]メインテート錠０．６２５ｍｇ	
ビタジェクト注キット		・・・P.185
ビタメジン配合カプセルＢ２５		
ビタメジン静注用		
ビペリデン塩酸塩錠１ｍｇ「アメル」(ｱｷﾈﾄﾝ)	[先発品:臨時使用]アキネトン錠１ｍｇ	・・・P.22
ビマトプロスト点眼液０．０３％「ニットー」(ﾙﾐｶﾞﾝ)	[先発品:非採用]ルミガン点眼液０．０３％	・・・P.62
ビラノアＯＤ錠２０ｍｇ		・・・P.273
ビルダグリプチン錠５０ｍｇ「サワイ」(ｴｸｱ)	[先発品:非採用]エクア錠５０ｍｇ	・・・P.223
ビロイ点滴静注用１００ｍｇ		・・・P.251
ビロイ点滴静注用３００ｍｇ		
ﾋﾞｰｴｽｴｽﾌﾟﾗｽ500眼灌流液0.0184%		・・・P.64
ピヴラッツ点滴静注液１５０ｍｇ		・・・P.95
★糖★ピオグリタゾン錠１５ｍｇ「ＤＳＥＰ」	[先発品:臨時使用]★糖★アクトス錠１５	・・・P.221

(ｱｸﾄｽ)
ピコスルファートＮａ内用液０．７５％「トーワ」(ﾗｷｿﾍﾞﾛﾝ) [先発品:非採用]ラキソベロン内用液０．７５％ ・・・P.118
ピコスルファートＮａ錠２．５ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ラキソベロン錠２．５ｍｇ
ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠１ｍｇ「KOG」(ﾘﾊﾞﾛ) [先発品:非採用]リバロ錠１ｍｇ ・・・P.91
ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠２ｍｇ「ＫＯＧ」(ﾘﾊﾞﾛ) [先発品:非採用]リバロ錠２ｍｇ ・・・P.92
ピドキサール錠１０ｍｇ ・・・P.182
ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾘﾝNa点滴静注用ﾊﾞｯｸﾞ2gNP(ﾍﾟﾝﾄｼﾘﾝ) ・・・P.285
ピムロ顆粒（0.5g/包） [先発品:非採用]アローゼン顆粒 ・・・P.118
ピメノールカプセル１００ｍｇ ・・・P.72
ピモベンダン錠１．２５ｍｇ「ＴＥ」 ・・・P.68
ピラマイド ・・・P.295
ピルシカイニド塩酸塩カプセル５０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]サンリズムカプセル５０ｍｇ ・・・P.73
ピルシカイニド塩酸塩カプセル２５ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]サンリズムカプセル２５ｍｇ
ピレノキシン懸濁性点眼液０．００５％「参天」(ｶﾘｰﾕﾆ) [先発品:非採用]カタリン点眼用０．００５％ ・・・P.62
ＰＡ・ヨード点眼・洗眼液 ・・・P.57
ピートル顆粒分包５００ｍｇ ・・・P.95

【ふ】

ファセンラ皮下注３０ｍｇシリンジ ・・・P.106
ファモチジンＤ錠１０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｶﾞｽﾀｰ) [先発品:非採用]ガスター錠１０ｍｇ ・・・P.109
ファモチジンＤ錠２０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｶﾞｽﾀｰ) [先発品:非採用]ガスター錠２０ｍｇ
ファモチジン静注液２０ｍｇ/２０ｍＬ「サワイ」(ｶﾞｽﾀｰ) [先発品:臨時使用]ガスター注射液２０ｍｇ
ファロム錠２００ｍｇ ・・・P.291
ファンギゾンシロップ１００ｍｇ／ｍＬ ・・・P.294
フィコンパ錠２ｍｇ ・・・P.12
フィジオ３５　500mL ・・・P.200
フィブラストスプレー５００ ・・・P.179
フィブロガミンＰ ・・・P.305
ﾌｨﾙｸﾞﾗｽﾁﾑBS注75μgｼﾘﾝｼﾞ「Ｆ」(ｸﾞﾗﾝ) [先発品:非採用]グラン注射液７５ ・・・P.214
ﾌｨﾙｸﾞﾗｽﾁﾑBS注150μgｼﾘﾝｼﾞ「Ｆ」(ｸﾞﾗﾝ) [先発品:非採用]グラン注射液１５０ ・・・P.213
フェインジェクト静注５００ｍｇ【500mg/10mL/瓶】 ・・・P.187
フェキソフェナジン塩酸塩錠６０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]アレグラ錠６０ｍｇ ・・・P.274
フェキソフェナジン塩酸塩錠３０ｍｇ「明治」(ｱﾚｸﾞﾗ) [先発品:臨時使用]アレグラ錠３０ｍｇ
フェジン静注４０ｍｇ ・・・P.187
フェノバール注射液１００ｍｇ ・・・P.7
フェブキソスタット錠20mg「DSEP」(ﾌｪﾌﾞﾘｸ) [先発品:非採用]フェブリク錠２０ｍｇ ・・・P.219
フェブキソスタット錠10mg「DSEP」(ﾌｪﾌﾞﾘｸ) [先発品:非採用]フェブリク錠１０ｍｇ
フェロベリン配合錠 ・・・P.108
(麻)フェンタニル注射液０．１ｍｇ「ﾃﾙﾓ」 [先発品:臨時使用](麻)フェンタニル注射液０．１ｍｇ「第一三共」 ・・・P.326
(麻)フェントステープ1mg
(麻)フェントステープ2mg ・・・P.327
(麻)フェントステープ4mg
(麻)フェントステープ6mg ・・・P.328
(麻)フェントステープ8mg
(麻)フェントステープ０．５ｍｇ
フォシーガ錠１０ｍｇ ・・・P.223

フォシーガ錠５ｍｇ		
フォリアミン錠５ｍｇ		・・・P.182
フォルテオ皮下注キット600μｇ		・・・P.125
注射用フサン５０ｍｇ		・・・P.236
フシジンレオ軟膏２％（10g/本）		・・・P.169
フスコデ配合錠		・・・P.98
フスタゾール糖衣錠１０ｍｇ		
フラジール内服錠２５０ｍｇ		・・・P.310
フラジール腟錠２５０ｍｇ		・・・P.164
フランドルテープ４０ｍｇ		・・・P.88
フリウェル配合錠ＬＤ「あすか」(ﾙﾅﾍﾞﾙ配合錠LD)	[先発品:非採用]ルナベル配合錠ＬＤ	・・・P.157
フルイトラン錠２ｍｇ		・・・P.74
フルイトラン錠１ｍｇ		
フルオレサイト静注５００ｍｇ		・・・P.319
フルオロウラシル注1000ｍｇ/20mL「ﾄｰﾜ」(5-FU)		・・・P.242
フルオロウラシル注　250㎎/5mL「ﾄｰﾜ」(5-FU)		
フルオロメトロン点眼液０．０２％「わかもと」(ﾌﾙﾒﾄﾛﾝ)	[先発品:非採用]フルメトロン点眼液０．０２％	・・・P.56
フルオロメトロン点眼液０．１％「わかもと」(ﾌﾙﾒﾄﾛﾝ)	[先発品:非採用]フルメトロン点眼液０．１％	
ﾌﾙﾁｶｿﾞﾝﾌﾗﾝｶﾙﾎﾞﾝ酸ｴｽﾃﾙ点鼻液27.5μｇ「武田ﾃﾊﾞ」56噴霧用(ｱﾗﾐｽﾄ)	[先発品:非採用]アラミスト点鼻液２７．５μｇ５６噴霧用	・・・P.65
フルデカシン筋注２５ｍｇ		・・・P.26
フルニトラゼパム錠１ｍｇ「アメル」	[先発品:非採用]サイレース錠１ｍｇ	・・・P.5
フルニトラゼパム錠２ｍｇ「アメル」	[先発品:非採用]サイレース錠２ｍｇ	
フルボキサミンマレイン酸塩錠５０ｍｇ「日医工」(ﾙﾎﾞｯｸｽ)	[先発品:非採用]デプロメール錠５０	・・・P.38
フルボキサミンマレイン酸塩錠２５ｍｇ「日医工」(ﾙﾎﾞｯｸｽ)	[先発品:非採用]デプロメール錠２５	
フルマゼニル静注液０．５ｍｇ/5mL「テバ」	[先発品:臨時使用]アネキセート注射液０．５ｍｇ	・・・P.97
フルマリンキット静注用１ｇ		・・・P.289
フロジン外用液５％（30mL/本）		・・・P.178
フロセミド注２０ｍｇ「NIG」（ﾗｼｯｸｽ）	[先発品:非採用]ラシックス注２０ｍｇ	・・・P.77
フロセミド錠１０ｍｇ「NIG」(ﾗｼｯｸｽ)	[先発品:非採用]ラシックス錠１０ｍｇ	・・・P.76
フロセミド錠２０ｍｇ「NIG」(ﾗｼｯｸｽ)	[先発品:非採用]ラシックス錠２０ｍｇ	
フロセミド錠４０ｍｇ「NIG」(ﾗｼｯｸｽ)	[先発品:臨時使用]ラシックス錠４０ｍｇ	・・・P.77
フロリネフ錠０．１ｍｇ		・・・P.129
フロリード腟坐剤１００ｍｇ		・・・P.164
フロリードゲル経口用２％（5g/本）		・・・P.301
ブスコパン注射液20㎎		・・・P.54
ﾌﾞﾁﾙｽｺﾎﾟﾗﾐﾝ臭化物錠10㎎「ﾂﾙﾊﾗ」	[先発品:非採用]ブスコパン錠１０ｍｇ	
ブリィビアクト錠２５ｍｇ		・・・P.13
ブリィビアクト静注２５ｍｇ　【２５ｍｇ２．５ｍＬ１瓶】		
ブリモニジン酒石酸塩点眼液０．１％「日点」（アイファガン）	[先発品:非採用]アイファガン点眼液０．１％	・・・P.62
ブルフェン錠１００		・・・P.20
ブロチゾラムＯＤ錠０．２５ｍｇ「テバ」	[先発品:非採用]レンドルミン錠０．２５ｍｇ	・・・P.6
ブロナンセリン錠４ｍｇ「DSPB」(ﾛﾅｾﾝ)	[先発品:臨時使用]ロナセン錠４ｍｇ	・・・P.38
ブロナンセリン錠８ｍｇ「DSPB」(ﾛﾅｾﾝ)	[先発品:臨時使用]ロナセン錠８ｍｇ	
ブロムフェナクＮａ点眼液０．１％「日点」(ﾌﾞﾛﾅｯｸ)	[先発品:非採用]ブロナック点眼液０．１％	・・・P.62
ブロムヘキシン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」(ﾋﾞｿﾙﾎﾞﾝ)		・・・P.99
ブロムヘキシン塩酸塩注射液４ｍｇ「タイ	[先発品:非採用]ビソルボン注４ｍｇ	

ヨー」 【 ０．２％２ｍＬ１管 】		
ﾌﾞﾛﾑﾍｷｼﾝ吸入液0.2%「ﾀｲﾖｰ」45mL(ﾋﾞｿﾙﾎﾞﾝ)	[先発品:試し使用]吸入Ｂ(2.5mL/回)	・・・P.100
ブロムペリドール錠１ｍｇ「アメル」		・・・P.39
ブロムペリドール錠３ｍｇ「アメル」		
プラザキサカプセル７５ｍｇ		・・・P.207
プラザキサカプセル１１０ｍｇ		
プラスグレル錠３．７５ｍｇ「ＤＳＥＰ」	[先発品:非採用]エフィエント錠３．７５ｍｇ	・・・P.212
プラスグレルＯＤ錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」	[先発品:非採用]エフィエントＯＤ錠２０ｍｇ	
プラノバール配合錠		・・・P.157
プラバスタチンNa錠10mgｻﾜｲ(ﾌﾟﾗﾊﾞﾁﾝ)	[先発品:非採用]メバロチン錠１０	・・・P.92
プラリアHI皮下注６０ｍｇシリンジ0.5mL		・・・P.231
プランルカスト ｶﾌﾟｾﾙ112.5mg「日医工」(ｵﾉﾝ)	[先発品:非採用]オノンカプセル１１２．５ｍｇ	・・・P.274
プランルカストDS10%「タカタ」（オノン）	[先発品:非採用]オノンドライシロップ１０％	
プリビナ液０．０５％		・・・P.64
プリンペラン錠５ｍｇ		・・・P.123
プレガバリンOD錠75mg「VTRS」(ﾘﾘｶ)	[先発品:非採用]リリカＯＤ錠７５ｍｇ	・・・P.46
プレガバリンOD錠25mg「VTRS」(ﾘﾘｶ)	[先発品:非採用]リリカＯＤ錠２５ｍｇ	
プレドニゾロン錠１ｍｇ（旭化成）		・・・P.147
プレドニゾロン散「タケダ」１％		・・・P.146
水溶性プレドニン５０ｍｇ		・・・P.152
プレドニン眼軟膏（5g/本）		・・・P.56
プレドニン錠５ｍｇ		・・・P.148
水溶性プレドニン１０ｍｇ		・・・P.149
プレベナー２０水性懸濁注		・・・P.303
プレミネント配合錠ＬＤ		・・・P.82
プログラフカプセル １ｍｇ		・・・P.231
プログラフカプセル０．５ｍｇ		・・・P.232
プロジフ静注液２００		・・・P.302
プロジフ静注液１００		・・・P.301
プロスタンディン軟膏０．００３％（30g/本）		・・・P.179
プロスタンディン注射用２０μｇ		・・・P.95
プロタノールＬ注０．２ｍｇ		・・・P.68
プロタミン硫酸塩静注１００ｍｇ「モチダ」 【１％１０ｍＬバイアル 】		・・・P.204
プロトピック軟膏0.03%小児用（5g/本）		・・・P.179
プロトピック軟膏０．１％（5g/本）		
プロナーゼＭＳ２万単位		・・・P.321
プロピベリン塩酸塩錠１０ｍｇ「あすか」	[先発品:非採用]バップフォー錠１０	・・・P.166
プロペシア錠１ｍｇ		・・・P.162
プロポフォール静注１％１００ｍＬ「マルイシ」 【 １ｇ１００ｍＬ１瓶 】		・・・P.2
プロポフォール静注１％２０ｍＬ「マルイシ」【 ２００ｍｇ２０ｍＬ１管 】		・・・P.3
プロポフォール静注１％５０ｍＬ「マルイシ」【 ５００ｍｇ５０ｍＬ１瓶 】		
【へ】		
０．５％ヘキザック水W		・・・P.168
ﾍﾊﾟﾘﾝCa皮下注5千単位/0.2mLｼﾘﾝｼﾞ		・・・P.206
ヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」（50g/本）	[先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％	・・・P.207
ヘパリン類似物質外用泡状スプレー０．３％「ニットー」	[先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％	・・・P.208
ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%「ケンエー」（25g/本）	[先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％	

ヘパリンＮａ注５千単位／５ｍＬ「モチダ」【５，０００単位５ｍＬ１瓶】		・・・P.206
ヘパリンＮａロック用１０単位／ｍＬシリンジ１０ｍＬ「ニプロ」		・・・P.205
ﾍﾊﾟﾘﾝNa500単位/mLｼﾘﾝｼﾞ(透析用)		・・・P.206
ヘブスブリン－ＩＨ静注用 1000単位		・・・P.306
ヘモナーゼ配合錠		・・・P.165
ヘモポリゾン軟膏（2g/本）	[先発品:臨時使用]強力ポステリザン軟膏（2g/本）	
ヘモレックス軟膏（2g/本）		
ヘルニコア椎間板注用１．２５単位		・・・P.233
ヘルベッサーＲカプセル１００ｍｇ		・・・P.88
ベオビュ硝子体内注射用キット１２０ｍｇ／ｍＬ		・・・P.62
ベクティビックス点滴静注 400ｍｇ/20mL		・・・P.264
ベクティビックス点滴静注 100mg/5mL		
ベクロメタゾン点鼻液50μｇ「DSP」(ｱﾙﾃﾞｼﾝ)		・・・P.65
ベザフィブラートＳＲ錠２００ｍｇ「サワイ」(ﾍﾞｻﾞﾄｰﾙSR)	[先発品:非採用]ベザトールＳＲ錠２００ｍｇ	・・・P.90
ベストロン点眼用０．５％		・・・P.57
ベセルナクリーム５％		・・・P.302
ベタニス錠２５ｍｇ		・・・P.166
ベタヒスチンメシル酸塩錠６ｍｇ「トーワ」(ﾒﾘｽﾛﾝ)	[先発品:非採用]メリスロン錠６ｍｇ	・・・P.65
ベニジピン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]コニール錠４	・・・P.88
献血ベニロン－Ｉ 静注用２５００ｍｇ		・・・P.307
ベネトリンシロップ０．０４％		・・・P.101
ベネトリン吸入液０．５％		・・・P.102
ベノキシール点眼液０．４％		・・・P.56
ベバシズマブＢＳ点滴静注１００ｍｇ「ファイザー」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)	[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 100mg/4mL	・・・P.264
ベバシズマブＢＳ点滴静注100mg/4mL「CTNK」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)	[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 100mg/4mL	・・・P.331
ベバシズマブＢＳ点滴静注400mg/16mL「ＣＴＮＫ」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)	[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 400mg/16mL	
ベピオローション２．５％		・・・P.179
ベプリジル塩酸塩錠５０ｍｇ「ＴＥ」(ﾍﾞﾌﾟﾘｺｰﾙ)	[先発品:非採用]ベプリコール錠５０ｍｇ	・・・P.73
ベポタスチンベシル酸塩錠１０ｍｇ「タナベ」(ﾀﾘｵﾝ)	[先発品:非採用]タリオン錠１０ｍｇ	・・・P.274
ベラパミル塩酸塩錠４０ｍｇ「タイヨー」	[先発品:非採用]ワソラン錠４０ｍｇ	・・・P.88
ベラプロストＮａ錠２０μｇ「オーハラ」(ﾌﾟﾛｻｲﾘﾝ)	[先発品:非採用]ドルナー錠２０μｇ	・・・P.212
ベリキューボ錠２．５ｍｇ		・・・P.96
ベリキューボ錠５ｍｇ		
ベリチーム配合顆粒		・・・P.115
ベリプラストＰ　コンビセット1mL		・・・P.321
ベルケイド注射用3mg/V		・・・P.265
ベルソムラ錠２０ｍｇ		・・・P.47
ベルソムラ錠１５ｍｇ		
ベンズブロマロン錠５０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾕﾘﾉｰﾑ)	[先発品:非採用]ユリノーム錠５０ｍｇ	・・・P.219
ペキロンクリーム０．５％（10g/本）		・・・P.177
ペグフィルグラスチムＢＳ皮下注3.6ｍｇ「ニプロ」(ｼﾞｰﾗｽﾀ)	[先発品:非採用]ジーラスタ皮下注３．６ｍｇ	・・・P.212
ペメトレキセド点滴静注液８００ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾑﾀ)		・・・P.246
ペメトレキセド点滴静注液１００ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾑﾀ)	[先発品:採用]アリムタ注射用100mg	・・・P.245

ペメトレキセド点滴静注液５００ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾑﾀ)	[先発品:採用]アリムタ注射用500mg	
ペリアクチン散１％		・・・P.272
ペリアクチンシロップ０．０４％		・・・P.271
ペレックス配合顆粒		・・・P.43
ペロスピロン塩酸塩錠４ｍｇ「アメル」(ﾙｰﾗﾝ)	[先発品:非採用]ルーラン錠４ｍｇ	・・・P.39
ペンタサ錠５００ｍｇ		・・・P.123
【ほ】		
ホスホマイシンナトリウム静注用１ｇ「日医工」(ﾎｽﾐｼﾝ)【FOM】		・・・P.289
ホスミシン錠５００		
ホスリボン配合顆粒(100mg/包)		・・・P.188
ホリナート錠２５ｍｇ「タイホウ」(ﾕｰｾﾞﾙ)	[先発品:非採用]ユーゼル錠２５ｍｇ	・・・P.217
ホーリンＶ膣用錠１ｍｇ		・・・P.164
ボグリボースＯＤ錠０．２ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]ベイスン錠０．２	・・・P.223
ボスミン外用液０．１％		・・・P.126
ボスミン注１ｍｇ		
ボトックス注用５０単位		・・・P.52
ボナロン経口ゼリー３５ｍｇ		・・・P.233
ボナロン錠３５ｍｇ		
ボノサップパック４００		・・・P.294
ボノテオ錠５０ｍｇ		・・・P.233
ボノピオンパック		・・・P.294
ボラザＧ坐剤		・・・P.165
ボラザＧ軟膏（2.4g/本）		
ボルタレンゲル１％（25g/本）		・・・P.175
ボルテゾミブ注射用3mg/V「DSEP」(ﾍﾞﾙｹｲﾄﾞ)	[先発品:採用]ベルケイド注射用3mg/V	・・・P.265
ボルヒール５ｍＬ		・・・P.308
ボルヒール３ｍＬ		・・・P.321
ボルベン輸液6%　500mL		・・・P.200
ボースデル内用液１０		・・・P.320
ポタコールＲ輸液５００ｍＬ		・・・P.201
ポビドンヨード外用液１０％「ＶＴＲＳ」	[先発品:臨時使用]イソジンゲル10%（90g/本）	・・・P.167
ポビドンヨードガーグル液７％「ケンエー」(ｲｿｼﾞﾝ)		・・・P.104
ポビドンヨードスクラブ液７．５％「明治」	[先発品:非採用]イソジンスクラブ液７．５％	・・・P.167
ポラプレジンクＯＤ錠75mg｢ｻﾜｲ｣(ﾌﾟﾛﾏｯｸ)	[先発品:非採用]プロマックＤ錠７５	・・・P.113
ポララミン注５ｍｇ		・・・P.272
ポリスチレンスルホン酸Ｃａ経口ゼリー２０％分包２５ｇ「三和」		・・・P.96
ポリスチレンスルホン酸Ｎａ(5g/包)(ｶﾘｾﾗﾑ)	[先発品:臨時使用]ケイキサレート散（注腸用）(5g/包)	
ポリフル細粒８３．３％（0.6g/包）		・・・P.123
ポンタールカプセル２５０ｍｇ		・・・P.18
【ま】		
マイザー軟膏０．０５％(10g/本)		・・・P.171
マキサカルシトール静注透析用シリンジ１０μｇ「フソー」(ｵｷｻﾛｰﾙ)	[先発品:臨時使用]オキサロール注１０μｇ	・・・P.181
マキサカルシトール静注透析用シリンジ５μｇ「フソー」(ｵｷｻﾛｰﾙ)	[先発品:臨時使用]オキサロール注５μｇ	
マキュエイド眼注用４０ｍｇ		・・・P.63
マクサルトＲＰＤ錠１０ｍｇ		・・・P.84
マグコロール内用液１３．６%分包２５０ｍＬ(院内のみ)		・・・P.313
マグミット錠３３０ｍｇ	[先発品:非採用]マグミット錠１００ｍｇ	・・・P.116

マグミット錠５００ｍｇ [先発品:非採用]マグミット錠１００ｍｇ
乾燥まむしウマ抗毒素注射用６０００単位「KMB」 ・・・P.304
マリゼブ錠２５ｍｇ ・・・P.223
マンニットールＳ注射液 【 ３００ｍＬ１袋 】 ・・・P.192
マーカイン注脊麻用0.5%等比重(20mg/4mL) ・・・P.50
マーカイン注脊麻用0.5%高比重(20mg/4mL)

【み】

ミオコールスプレー０．３ｍｇ ・・・P.89
ミオコール注５ｍｇ
ミオテクター冠血管注 【 １瓶１管１組 】 ・・・P.321
ミカファンギンＮａ点滴静注用５０ｍｇ「サワイ」(ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ) [先発品:非採用]ファンガード点滴用５０ｍｇ ・・・P.294
ミカムロ配合錠ＡＰ ・・・P.82
ミケランＬＡ点眼液２% ・・・P.63
ミケルナ配合点眼液
ミコンビ配合錠ＡＰ ・・・P.82
ミダゾラム注射液１０ｍｇ「ＮＩＧ」 ・・・P.6
ミダフレッサ静注0.1% 10mg/10mL ・・・P.13
ミドドリン塩酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾒﾄﾘｼﾞﾝ) [先発品:非採用]メトリジン錠２ｍｇ ・・・P.84
ミニプレス錠０．５ｍｇ ・・・P.82
ミネブロＯＤ錠２．５ｍｇ ・・・P.83
ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用１００ｍｇ「サワイ」 ・・・P.293
ミノサイクリン塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ミノマイシンカプセル１００ｍｇ
ミノサイクリン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」 [先発品:非採用]ミノマイシン錠５０ｍｇ
ミヤＢＭ錠 ・・・P.107
ミラクリッド注射液５万単位 【 ５０，０００単位１ｍＬ１管 】 ・・・P.233
ミラクリッド注射液１０万単位 【 １００，０００単位２ｍＬ１管 】
ミルセラ注シリンジ２５μｇ ・・・P.234
ミルセラ注シリンジ５０μｇ
ミルセラ注シリンジ７５μｇ ・・・P.235
ミルセラ注シリンジ１００μｇ ・・・P.234
ミルタザピン錠１５ｍｇ「明治」(ﾚﾒﾛﾝ) [先発品:非採用]リフレックス錠１５ｍｇ ・・・P.39
ミルリノン静注液10mg「NIG」(ﾐﾙﾘｰﾗ) [先発品:非採用]ミルリーラ注射液１０ｍｇ ・・・P.69
ミンクリア内用散布液0.8%(160mg/20mL) ・・・P.322

【む】

小児用ムコソルバンＤＳ１．５% ・・・P.100
ムコダインシロップ５% ・・・P.99

【め】

メイアクトＭＳ小児用細粒１０% ・・・P.286
メイアクトＭＳ錠１００ｍｇ ・・・P.287
メイラックス錠1ｍｇ ・・・P.6
メイロン静注8.4% ２０ｍＬ ・・・P.217
メイロン静注8.4% ２５０ｍＬ
メキシレチン塩酸塩カプセル５０ｍｇ「サワイ」(ﾒｷｼﾁｰﾙ) [先発品:非採用]メキシチールカプセル５０ｍｇ ・・・P.73
メサデルムクリーム０．１%(5g/本) ・・・P.172
メサラジン腸溶錠４００ｍｇ「サワイ」(ｱｻｺｰﾙ) [先発品:臨時使用]アサコール錠４００ｍｇ ・・・P.123
メジコン錠１５ｍｇ ・・・P.98
メチコバール錠５００μｇ ・・・P.183
メチコバール注射液５００μｇ

(麻)メテバニール錠２ｍｇ ・・・P.325
メトクロプラミド注１０ｍｇ「NIG」(ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ) [先発品:臨時使用]プリンペラン注射液１０ｍｇ ・・・P.123
メトトレキサート錠２ｍｇ「ﾀﾅﾍﾞ」(ﾘｳﾏﾄﾚｯｸｽ) [先発品:非採用]リウマトレックスカプセル２ｍｇ ・・・P.235
ﾒﾄﾎﾙﾐﾝ塩酸塩錠250mgMT「TE」(ﾒﾄｸﾞﾙｺ) [先発品:臨時使用]グリコラン錠２５０ｍｇ ・・・P.221
メノエイドコンビパッチ ・・・P.157
メプチンドライシロップ0.005% ・・・P.104
メプチンエアー１０μｇ吸入１００回 ・・・P.103
メマンチン塩酸塩錠５ｍｇ「DSEP」(ﾒﾏﾘｰ) [先発品:臨時使用]メマリー錠５ｍｇ ・・・P.47
メマンチン塩酸塩錠２０ｍｇ「DSEP」(ﾒﾏﾘｰ) [先発品:臨時使用]メマリー錠２０ｍｇ
メルカゾール錠５ｍｇ ・・・P.124
メロペネム点滴静注用０．５ｇ「明治」 ・・・P.291

【も】

モキシフロキサシン点眼液０．５%「日点」(ﾍﾞｶﾞﾓｯｸｽ) [先発品:非採用]ベガモックス点眼液０．５% ・・・P.63
モサプリドクエン酸塩錠5mg「ｹﾐﾌｧ」(ｶﾞｽﾓﾁﾝ) [先発品:非採用]ガスモチン錠５ｍｇ ・・・P.124
モノヴァー静注１０００ｍｇ ・・・P.187
モノヴァー静注５００ｍｇ
モビコール配合内用剤ＬＤ ・・・P.119
モビプレップ配合内用剤（院内のみ） ・・・P.322
(麻)モルヒネ塩酸塩注射液１０ｍｇ ・・・P.323
モンテルカスト錠１０ｍｇ「ＫＭ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ) [先発品:非採用]キプレス錠１０ｍｇ ・・・P.275
モンテルカストチュアブル錠５ｍｇ「タカタ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ) [先発品:非採用]キプレスチュアブル錠５ｍｇ
モンテルカスト細粒４ｍｇ「タカタ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ) [先発品:非採用]キプレス細粒４ｍｇ
モーラステープＬ40㎎ （7枚/袋） ・・・P.175
モーラスパップＸＲ１２０ｍｇ（7枚/袋）
モーラステープ20㎎ （7枚/袋）

【や】

薬用炭「日医工」 ・・・P.108

【ゆ】

ユベラＮカプセル１００ｍｇ ・・・P.96
ユベラ軟膏（56ｇ/本） ・・・P.175
ユベラ錠５０ｍｇ ・・・P.184
ユリス錠１ｍｇ ・・・P.220
ユーエフティ配合カプセルＴ１００ ・・・P.246
ユービット錠１００ｍｇ ・・・P.320
ユーロジン錠１ｍｇ ・・・P.6
ユーロジン錠２ｍｇ ・・・P.7

【よ】

ヨウ化カリウム丸５０ｍｇ「日医工」 ・・・P.186
ヨクイニンエキス錠「コタロー」 ・・・P.282
ヨードカプセル－１２３ ・・・P.270

【ら】

ライゾデグ配合注フレックスタッチ ・・・P.159
ラクツロースシロップ６５%「ＮＩＧ」 [先発品:非採用]モニラック・シロップ６５% ・・・P.235
ラクテック注５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ） ・・・P.201
ラゲブリオ錠４００ｍｇ ・・・P.299
ラシックス注１００ｍｇ ・・・P.77
ラステット注１００ｍｇ／５ｍＬ ・・・P.251
ラタノプロスト点眼液０．００５%「ニッテン」(ｷｻﾗﾀﾝ) [先発品:非採用]キサラタン点眼液０．００５% ・・・P.63
ラツーダ錠８０ｍｇ ・・・P.39

ラツーダ錠４０ｍｇ		
ラニビズマブＢＳ硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ「センジュ」(ﾙｾﾝﾃｨｽ)	[先発品:非採用]ルセンティス硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ	・・・P.63
ラニラピッド錠０．０５ｍｇ		・・・P.67
ラピアクタ点滴静注液バイアル１５０ｍｇ		・・・P.299
ラピアクタ点滴静注液バッグ３００ｍｇ		
ラピフォートワイプ２．５％		・・・P.55
ラベプラゾールＮａ塩錠２０ｍｇ「明治」(ﾊﾟﾘｴｯﾄ)	[先発品:臨時使用]パリエット錠２０ｍｇ	・・・P.114
ラベプラゾールＮａ塩錠１０ｍｇ「明治」(ﾊﾟﾘｴｯﾄ)	[先発品:臨時使用]パリエット錠１０ｍｇ	・・・P.113
ラミクタール錠２５ｍｇ		・・・P.14
ラメルテオン錠８ｍｇ「武田テバ」(ﾛｾﾞﾚﾑ)	[先発品:臨時使用]ロゼレム錠８ｍｇ	・・・P.47
ランソプラゾールＯＤ錠３０ｍｇ「武田テバ」(ﾀｹﾌﾟﾛﾝ)	[先発品:非採用]タケプロンＯＤ錠３０	・・・P.115
ランソプラゾールＯＤ錠１５ｍｇ「武田テバ」(ﾀｹﾌﾟﾛﾝ)	[先発品:臨時使用]タケプロンＯＤ錠１５	・・・P.114
ランタスＸＲ注ソロスター		・・・P.160
ランダ注10mg/20mL		・・・P.266
ランマークＨＩ皮下注１２０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ		・・・P.235
【り】		
リオナ錠２５０ｍｇ		・・・P.96
リオレサール錠５ｍｇ		・・・P.55
リクシアナＯＤ錠１５ｍｇ		・・・P.208
リクシアナＯＤ錠３０ｍｇ		
リクシアナＯＤ錠６０ｍｇ		・・・P.209
リクラスト点滴静注液バッグ（5mg/100mL）		・・・P.235
リコモジュリン点滴静注用12800		・・・P.209
リザベンカプセル１００ｍｇ		・・・P.275
リスパダールコンスタ筋注用50mg		・・・P.39
リスペリドンＯＤ錠１ｍｇ「トーワ」（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）	[先発品:非採用]リスパダール錠１ｍｇ	・・・P.40
リスペリドンＯＤ錠２ｍｇ「トーワ」（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）	[先発品:非採用]リスパダール錠２ｍｇ	
リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【0.5mL/包】(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ)	[先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ	
リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【1mL/包】(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ)	[先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ	・・・P.41
リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【2mL/包】(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ)	[先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ	
リスペリドン細粒１％「トーワ」(ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ)	[先発品:臨時使用]リスパダール細粒１％	
リスペリドンＯＤ錠０．５ｍｇ「トーワ」（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）	[先発品:非採用]リスパダールＯＤ錠０．５ｍｇ	・・・P.40
リスミー錠１ｍｇ		・・・P.9
リスミー錠２ｍｇ		
リスモダンカプセル１００ｍｇ		・・・P.73
リスモダンＲ錠１５０ｍｇ		
リツキシマブＢＳ点滴静注500mg/50mL「ＫＨＫ」（リツキサン）	[先発品:臨時使用]リツキサン点滴静注５００ｍｇ【５００ｍｇ５０ｍＬ１瓶】	・・・P.267
リツキシマブＢＳ点滴静注100mg/10mL「ＫＨＫ」（リツキサン）	[先発品:臨時使用]リツキサン点滴静注１００ｍｇ【１００ｍｇ１０ｍＬ１瓶】	
リドカインテープ１８ｍｇ「ＹＰ」(ﾍﾟﾝﾚｽﾃｰﾌﾟ)	[先発品:臨時使用]ペンレステープ１８ｍｇ	・・・P.50
リドメックスコーワローション０．３％（10g/本）		・・・P.172
リネゾリド錠６００ｍｇ「サワイ」	[先発品:臨時使用]ザイボックス錠６００ｍｇ	・・・P.296
リバーロキサバンＯＤ錠１５ｍｇ「バイエル」(ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ)	[先発品:非採用]イグザレルト細粒分包１５ｍｇ	・・・P.209

リバーロキサバンＯＤ錠１０ｍｇ「バイエル」(ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ)	[先発品:非採用]イグザレルト細粒分包１０ｍｇ	
リパクレオンカプセル１５０ｍｇ		・・・P.115
リピオドール480注　10mL		・・・P.312
リピディル錠８０ｍｇ		・・・P.90
リファンピシンカプセル１５０ｍｇ「サンド」	[先発品:臨時使用]リファジンカプセル１５０ｍｇ	・・・P.293
リボトリール錠１ｍｇ		・・・P.15
リボトリール細粒０．１％		
リボトリール錠０．５ｍｇ		
リマチル錠１００ｍｇ		・・・P.272
リマプロスト　アルファデクス錠５μｇ「サワイ」	[先発品:非採用]オパルモン錠５μｇ	・・・P.212
リムパーザ錠150ｍｇ		・・・P.268
リムパーザ錠100ｍｇ		
硫酸Ｍｇ補正液１ｍＥｑ／ｍＬ		・・・P.54
リュープリンＰＲＯ注射用キット２２．５ｍｇ		・・・P.162
リュープロレリン酢酸塩ＳＲ注射用キット１１．２５ｍｇ「あすか」(ﾘｭｰﾌﾟﾘﾝ)	[先発品:非採用]リュープリンＳＲ注射用キット１１．２５ｍｇ	・・・P.163
リュープロレリン酢酸塩注射用キット１．８８ｍｇ「あすか」	[先発品:非採用]リュープリン注射用１．８８ｍｇ	
リュープロレリン酢酸塩注射用キット３．７５ｍｇ「あすか」	[先発品:非採用]リュープリン注射用３．７５ｍｇ	
リンゼス錠０．２５ｍｇ		・・・P.124
リンデロン－Ｖ軟膏０．１２％（5g/本）		・・・P.172
リンデロン注２ｍｇ（０．４％）		・・・P.138
リンデロン点鼻液０．１％		・・・P.57
眼・耳科用リンデロンＡ軟膏(5g/本)		・・・P.64
リンデロン点眼液０．１％		・・・P.57
リンデロン点耳液０．１％		
リンデロン懸濁注２．５ｍｇ		・・・P.138
リンデロン－ＤＰゾル（10g/本）		・・・P.172
リンデロン－Ｖローション（10mL/本）		
リーバクト配合顆粒（4.15g/包）		・・・P.192

【る】

ルコナック爪外用液５％(4mL/本)		・・・P.302
ルパフィン錠１０ｍｇ		・・・P.275
ルムジェブ注ミリオペン		・・・P.160
ルリコンクリーム１％（10g/本）		・・・P.177

【れ】

レキサルティＯＤ錠１ｍｇ		・・・P.41
レキサルティＯＤ錠２ｍｇ		・・・P.42
レキソタン錠２		・・・P.7
レグナイト錠３００ｍｇ		・・・P.47
レザルタス配合錠ＨＤ		・・・P.83
新レシカルボン坐剤		・・・P.119
レスタミンコーワクリーム１％		・・・P.169
レスタミンコーワ錠１０ｍｇ		・・・P.270
レトロゾール錠２．５ｍｇ「サンド」	[先発品:非採用]フェマーラ錠２．５ｍｇ	・・・P.268
レナリドミドカプセル５ｍｇ「ＢＭＳＨ」(ﾚﾌﾞﾗﾐﾄﾞ)(院内のみ)	[先発品:採用]レブラミドカプセル５ｍｇ（院内のみ）	・・・P.269
レバミピド錠１００ｍｇ「オーツカ」	[先発品:臨時使用]ムコスタ錠１００ｍｇ	・・・P.115
レバミピド懸濁性点眼液２％「参天」（ムコスタ）	[先発品:非採用]ムコスタ点眼液ＵＤ２％	・・・P.64
レパグリニド錠０．５ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]シュアポスト錠０．５ｍｇ	・・・P.224

レパグリニド錠０．２５ｍｇ「サワイ」	[先発品:非採用]シュアポスト錠０．２５ｍｇ	・・・P.223
レブラミドカプセル５ｍｇ（院内のみ）		・・・P.269
レベチラセタム点滴静注５００ｍｇ「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ)	[先発品:臨時使用]イーケプラ点滴静注５００ｍｇ 【５００ｍｇ５ｍＬ１瓶】	・・・P.16
レベチラセタムドライシロップ５０％「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ)	[先発品:非採用]イーケプラドライシロップ５０％	・・・P.15
レベチラセタム錠５００ｍｇ「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ)	[先発品:非採用]イーケプラ錠５００ｍｇ	・・・P.16
レペタン注０．２ｍｇ		・・・P.21
レボカルニチンＦＦ錠２５０ｍｇ「トーワ」	[先発品:非採用]エルカルチンＦＦ錠２５０ｍｇ	・・・P.236
ﾚﾎﾞｶﾙﾆﾁﾝ静注1000mgｼﾘﾝｼﾞ「ﾆﾌﾟﾛ」(ｴﾙｶﾙﾁﾝ)	[先発品:非採用]エルカルチンＦＦ静注１０００ｍｇシリンジ	・・・P.240
レボセチリジン塩酸塩シロップ０．０５％「ニプロ」(ｻﾞｲｻﾞﾙ)	[先発品:非採用]ザイザルシロップ０．０５％	・・・P.275
レボセチリジン塩酸塩錠５ｍｇ「武田テバ」(ｻﾞｲｻﾞﾙ)	[先発品:臨時使用]ザイザル錠５ｍｇ	・・・P.276
レボフロキサシン錠５００ｍｇ「ＤＳＥＰ」	[先発品:非採用]クラビット錠５００ｍｇ	・・・P.296
ﾚﾎﾞﾌﾛｷｻｼﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ500mg/100mL「DSEP」(ｸﾗﾋﾞｯﾄ)	[先発品:非採用]クラビット点滴静注５００ｍｇ／２０ｍＬ	
ﾚﾎﾞﾎﾘﾅｰﾄ点滴静注用100mg「NP」(ｱｲｿﾎﾞﾘﾝ)	[先発品:非採用]アイソボリン点滴静注用１００ｍｇ	・・・P.218
ﾚﾎﾞﾎﾘﾅｰﾄ点滴静注用25mg「NP」(ｱｲｿﾎﾞﾘﾝ)	[先発品:非採用]アイソボリン点滴静注用２５ｍｇ	
(麻)レミフェンタニル静注用２ｍｇ「第一三共」（ｱﾙﾁﾊﾞ）	[先発品:非採用]アルチバ静注用２ｍｇ	・・・P.329
レルベア１００エリプタ３０吸入用		・・・P.106
レルベア２００エリプタ３０吸入用		
【ろ】		
ロキシスロマイシン錠１５０ｍｇ「サワイ」(ﾙﾘｯﾄﾞ)	[先発品:非採用]ルリッド錠１５０	・・・P.293
ロキソプロフェンＮａテープ１００ｍｇ「科研」	[先発品:臨時使用]ロキソニンパップ100mg(7枚/袋)	・・・P.176
ロキソプロフェンＮａ錠６０ｍｇ「三和」	[先発品:臨時使用]ロキソニン錠６０ｍｇ	・・・P.21
★筋弛緩★ロクロニウム臭化物静注液(50mg/5mL)「マルイシ」		・・・P.52
ロケルマ懸濁用散分包５ｇ		・・・P.96
ロコアテープ（７枚/袋）		・・・P.176
ロコイド軟膏０．１％（5g/本）		・・・P.173
ロコイドクリーム０．１％（5g/本）		
ロサルタンＫ錠５０ｍｇ「ＤＳＥＰ」	[先発品:臨時使用]ニューロタン錠５０ｍｇ	・・・P.83
ロスバスタチン錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｸﾚｽﾄｰﾙ)	[先発品:臨時使用]クレストール錠２．５ｍｇ	・・・P.92
ロスバスタチン錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｸﾚｽﾄｰﾙ)	[先発品:臨時使用]クレストール錠５ｍｇ	
ロゼウス静注液 40mg/4mL（ﾅﾍﾞﾙﾋﾞﾝ）		・・・P.252
ロゼウス静注液 10mg/1mL（ﾅﾍﾞﾙﾋﾞﾝ）		
ロタテック内用液（2mL/本）		・・・P.303
ロドピン錠２５ｍｇ		・・・P.42
ロナセンテープ４０ｍｇ		
ロナセンテープ２０ｍｇ		
ロピオン静注５０ｍｇ		・・・P.21
ロピバカイン塩酸塩0.75%注150mg/20mL「テルモ」（アナペイン）	[先発品:非採用]アナペイン注７．５ｍｇ／ｍＬ	・・・P.50
ロピバカイン塩酸塩0.2%注バッグ200mg/100mL「テルモ」(ｱﾅﾍﾟｲﾝ)	[先発品:非採用]アナペイン注２ｍｇ／ｍＬ	
ロペミンカプセル１ｍｇ		・・・P.108
ロンサーフ配合錠Ｔ１５		・・・P.269
ロンサーフ配合錠Ｔ２０		・・・P.270
ロープレッサ点眼液０．０２％		・・・P.64
【わ】		
ワイスタール配合点滴用1gﾊﾞｯｸﾞ(ｽﾙﾍﾟﾗｿﾞﾝ)		・・・P.291

ワイパックス錠０．５ ・・・P.7
白色ワセリン「ケンエー」 ・・・P.311
ワソラン静注５ｍｇ ・・・P.73
ワントラム錠１００ｍｇ ・・・P.21
ワーファリン顆粒０．２% ・・・P.205
ワーファリン錠０．５ｍｇ ・・・P.204
ワーファリン錠１ｍｇ

【を】

【ん】

【他】

塩酸ナロキソン注射液０．２ｍｇ null ・・・P.98
１%ブイフェンド点眼液(5mL/本)(院内のみ) ・・・P.329
ウエルフォーム（180mL/本） ・・・P.330
ウエルフォーム（80mL/本）
グリセリンBC液60% 250mL
ピューラックス 18L ・・・P.331
ピューラックス 600mL
マスキンスクラブ4% 500mL
ヤクラックス消毒液０．１%

1:神経系及び感覚器官用医薬品

11: 中枢神経系用薬

111: 全身麻酔剤

1115: 溶性バルビツール酸系及び溶性チオバル

イソゾール注射用０．５ｇ Isozol 採用 (劇)

商品名:イソゾール注射用０．５ｇ
規格:５００ｍｇ１瓶（溶解液付） 薬価:572.00 製造:日医工 剤型:注射用 YJ:1115403D3043 院内コード:300828
成分:チアミラールナトリウム,
【効】全身麻酔、全身麻酔の導入、局所麻酔剤との併用・吸入麻酔剤との併用、精神神経科における電撃療法の際の麻酔、局所麻酔剤中毒・破傷風・子癇等に伴う痙攣。
【用】〈静脈内投与〉１）． 溶液濃度：２．５%水溶液（５%溶液は静脈炎を起こすことがある）。
２）． 投与量・投与法：調整したチアミラール水溶液を静脈より注入する。本剤の用量や静注速度は年齢・体重とは関係が少なく個人差があるため一定ではないが、大体の基準は次の通り。
６．１． 全身麻酔の導入最初に２～４ｍＬ（２．５%溶液で５０～１００ｍｇ）を注入して患者の全身状態、抑制状態などを観察し、その感受性より追加量を決定する。次に患者が応答しなくなるまで追加注入し、応答がなくなった時の注入量を就眠量とする。さらに就眠量の半量ないし同量を追加注入したのち、他の麻酔法に移行する。
なお、気管内に挿管する場合は筋弛緩剤を併用する。
６．２． 短時間麻酔６．２．１． 患者とコンタクトを保ちながら最初に２～３ｍＬ（２．５%溶液で５０～７５ｍｇ）を１０～１５秒位の速度で注入後３０秒間、麻酔の程度、患者の全身状態を観察する。さらに必要ならば２～３ｍＬを同速度で注入し、患者の応答のなくなった時の注入量を就眠量とする。なお手術に先立ち、さらに２～３ｍＬを同速度で分割注入すれば１０～１５分程度の麻酔が得られる。
６．２．２． 短時間で手術が終了しない場合は注射針を静脈中に刺したまま呼吸、脈拍、血圧、角膜反射、瞳孔対光反射などに注意しながら手術の要求する麻酔深度を保つように１～４ｍＬ（２．５%溶液で２５～１００ｍｇ）を分割注入する（１回の最大使用量は１ｇまでとする）。
６．３． 精神神経科における電撃療法の際の麻酔通常１２ｍＬ（２．５%溶液で３００ｍｇ）をおよそ２５秒～３５秒で注入し、必要な麻酔深度に達したことを確かめたのち、直ちに電撃療法を行なう。
６．４． 併用使用本剤は局所麻酔剤あるいは、吸入麻酔剤と併用することができる。通常２～４ｍＬ（２．５%溶液で５０～１００ｍｇ）を間歇的に静脈内注入する。点滴投与を行なう場合は、静脈内点滴麻酔法に準ずる。
６．５． 痙攣時における使用患者の全身状態を観察しながら、通常２～８ｍＬ（２．５%溶液で５０～２００ｍｇ）を痙攣が止まるまで徐々に注入する。
場合により次のような方法を用いる。
〈直腸内注入〉１）． 溶液濃度：１０%水溶液。
２）． 投与量：体重ｋｇあたり２０～４０ｍｇ（１０%溶液で０．２～０．４ｍＬ／ｋｇ）を基準とする。
３）． 注入法：溶液を注射器に入れ、注射器の先に導尿用カテーテルをつけ肛門より直腸に挿入し、注腸する。注入後１５分で麻酔にはいり、約１時間持続する。
〈筋肉内注射〉１）． 溶液濃度：２．０～２．５%水溶液、とくに７歳以下の小児に対しては２%溶液を使用する（２．５%以上の濃度は組織の壊死をおこす危険がある）。
２）． 筋注部位：大腿筋肉、上腕部筋肉など筋肉の多い部位を選んで注射する。
３）． 投与量：体重ｋｇあたり２０ｍｇ（２%溶液で１ｍＬ／ｋｇ）を基準とする。
４）． 投与法：一度に全量を注入してはならず、全量を２～３等分して、５分毎に必要に応じて追加投与する。注入後５～１５分で麻酔にはいり、約４０～５０分程度持続する。
【保管】室温保存。

1119: その他の全身麻酔剤

(麻)ケタラール筋注用５００ｍｇ Ketalar 採用 (劇麻)

商品名:ケタラール筋注用５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１０ｍＬ１瓶 薬価:1529.00 製造:第一三共 剤型:注射液 YJ:1119400A2038 院内コード:300003
成分:ケタミン塩酸塩,
【効】手術、検査および処置時の全身麻酔および吸入麻酔の導入。
【用】通常、ケタミンとして、初回体重１ｋｇ当り５～１０ｍｇを筋肉内注射し、必要に応じて初回量と同量又は半量を追加投与する。
【保管】室温保存。

(麻)ケタラール静注用５０ｍｇ Ketalar 採用 (劇麻)

商品名:ケタラール静注用５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ５ｍＬ１管 薬価:680.00 製造:第一三共 剤型:注射液 YJ:1119400A3026 院内コード:300634
成分:ケタミン塩酸塩,
【効】手術、検査および処置時の全身麻酔および吸入麻酔の導入。
【用】通常、ケタミンとして、初回体重１ｋｇ当り１～２ｍｇを静脈内に緩徐（１分間以上）に投与し、必要に応じて、初回量と同量又は半量を追加投与する。
【保管】室温保存。

１%ディプリバン注－キット５０ｍＬ Diprivan 採用 (劇)

商品名:１%ディプリバン注－キット
規格:５００ｍｇ５０ｍＬ１筒 薬価:2670.00 製造:サンドファーマ 剤型:キット類YJ:1119402G2021 院内コード:300519
成分:プロポフォール,
【効】１）． 全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持。
２）． 集中治療における人工呼吸中の鎮静。

【用】〈全身麻酔の導入及び維持〉６．１．　ＴＣＩ機能を用いない投与方法６．１．１．　導入通常、成人には本剤を０．０５mL／ｋｇ／１０秒（プロポフォールとして０．５mg／ｋｇ／１０秒）の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静脈内に投与する。なお、ＡＳＡ３及び４の患者には、より緩徐に投与する。
通常、成人には本剤０．２０～０．２５mL／ｋｇ（プロポフォールとして２．０～２．５mg／ｋｇ）で就眠が得られる。高齢者においては、より少量で就眠が得られる場合がある。就眠後は必要に応じて適宜追加投与する。
６．１．２．　維持通常、酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、本剤を静脈内に投与する。適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。通常、成人には、本剤０．４～１．０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして４～１０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。
また、鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等）を併用すること。
なお、局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。
６．２．　ＴＣＩ機能を用いる投与方法６．２．１．　導入通常、成人にはプロポフォールの目標血中濃度３．０μｇ／mLで静脈内に投与を開始し、投与開始３分後に就眠が得られない場合には１分毎に１．０～２．０μｇ／mLずつ目標血中濃度を上げる。
通常、目標血中濃度３．０～６．０μｇ／mL、投与開始後１～３分で就眠が得られる。
高齢者、ＡＳＡ３及び４の患者には、より低い目標血中濃度で投与を開始すること。
６．２．２．　維持通常、酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、本剤を静脈内に投与する。適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、目標血中濃度を調節する。通常、成人には、目標血中濃度２．０～５．０μｇ／mLで適切な麻酔深度が得られる。
また、鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等）を併用すること。
〈集中治療における人工呼吸中の鎮静〉成人（高齢者を含む）には本剤を０．０３mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３mg／ｋｇ／時）の投与速度で、持続注入にて静脈内に投与を開始し、適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には本剤０．０３～０．３０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３～３．０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。
なお、疾患の種類、症状の程度を考慮し、必要とする鎮静深度に応じて投与速度を増減すること。また、必要に応じて鎮痛剤を併用すること。
【保管】凍結を避けて２５℃以下保存。

スープレン吸入麻酔液　Suprane　採用　(劇)

<先発品（後発品なし）>

商品名:スープレン吸入麻酔液
規格:１mL　薬価:36.90　製造:バクスター・ジャパン　剤型:吸入剤　YJ:1119703G1024　院内コード:202406
成分:デスフルラン,
【効】全身麻酔の維持。
【用】通常、成人には、デスフルランとして３．０%の濃度で開始し、適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、濃度を調節する。通常、成人では、亜酸化窒素の併用の有無にかかわらず、デスフルランとして７．６%以下の濃度で外科的手術に適切な麻酔深度が得られる。
【保管】室温保存。

ドロレプタン注射液２５mg　Droleptan　採用　(劇)

<先発品（後発品なし）>

商品名:ドロレプタン注射液２５mg
規格:２．５mg１mLバイアル　薬価:90.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:注射液　YJ:1119401A1036　院内コード:300004
成分:ドロペリドール,
【効】１）．　フェンタニルとの併用による、手術、検査、および処置時の全身麻酔並びに局所麻酔の補助。
２）．　ドロペリドールの単独投与による麻酔前投薬。
【用】１）．　フェンタニルクエン酸塩との併用による場合導入麻酔剤として投与する場合には通常成人ドロレプタン注射液０．１～０．２mL／ｋｇ（ドロペリドールとして０．２５～０．５mg／ｋｇ）をフェンタニル注射液０．１～０．２mL／ｋｇ（フェンタニルクエン酸塩として７．８５～１５．７μｇ／ｋｇ）と共に緩徐に静注するか、またはブドウ糖液等に希釈して点滴静注する。
局所麻酔の補助として投与する場合には局所麻酔剤投与１０～１５分後に通常成人ドロレプタン注射液０．１mL／ｋｇ（ドロペリドールとして０．２５mg／ｋｇ）をフェンタニル注射液０．１mL／ｋｇ（フェンタニルクエン酸塩として７．８５μｇ／ｋｇ）と共に緩徐に静注する。
なお、患者の年齢・症状に応じて適宜増減する。
２）．　ドロペリドール単独で麻酔前投薬として投与する場合通常成人ドロレプタン注射液０．０２～０．０４mL／ｋｇ（ドロペリドールとして０．０５～０．１mg／ｋｇ）を麻酔開始３０～６０分前に筋注する。
なお、患者の年齢・症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

プロポフォール静注１％１００mL「マルイシ」【１ｇ１００mL１瓶】　Propofol Maruishi　採用　(劇)

商品名:プロポフォール静注１%１００mL「マルイシ」
規格:１ｇ１００mL１瓶　薬価:1900.00　製造:丸石製薬　剤型:注射液　YJ:1119402A3106　院内コード:300005
成分:プロポフォール,
【効】１）．　全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持。
２）．　集中治療における人工呼吸中の鎮静。
【用】〈全身麻酔の導入及び維持〉６．１．　導入通常、成人には本剤を０．０５mL／ｋｇ／１０秒（プロポフォールとして０．５mg／ｋｇ／１０秒）の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静脈内に投与する。なお、ＡＳＡ３及び４の患者には、より緩徐に投与する。
通常、成人には本剤０．２０～０．２５mL／ｋｇ（プロポフォールとして２．０～２．５mg／ｋｇ）で就眠が得られる。高齢者においては、より少量で就眠が得られる場合がある。就眠後は必要に応じて適宜追加投与する。
６．２．　維持通常、酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、本剤を静脈内に投与する。適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には、本剤０．４～１．０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして４～１０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。
また、鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等）を併用すること。
なお、局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。

〈集中治療における人工呼吸中の鎮静〉成人（高齢者を含む）には本剤を０．０３mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３mg／ｋｇ／時）の投与速度で、持続注入にて静脈内に投与を開始し、適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には本剤０．０３～０．３０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３～３．０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。
なお、疾患の種類、症状の程度を考慮し、必要とする鎮静深度に応じて投与速度を増減すること。また、必要に応じて鎮痛剤を併用すること。
【保管】凍結を避けて室温保存。

プロポフォール静注１％２０mL「マルイシ」【２００mg２０mL１管】　Propofol Maruishi　採用　(劇)

商品名:プロポフォール静注１％２０mL「マルイシ」
規格:２００mg２０mL１管　薬価:887.00　製造:丸石製薬　剤型:注射液　YJ:1119402A1120　院内コード:300241
成分:プロポフォール,
【効】１）．　全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持。
２）．　集中治療における人工呼吸中の鎮静。
【用】〈全身麻酔の導入及び維持〉６．１．　導入通常、成人には本剤を０．０５mL／ｋｇ／１０秒（プロポフォールとして０．５mg／ｋｇ／１０秒）の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静脈内に投与する。なお、ＡＳＡ３及び４の患者には、より緩徐に投与する。
通常、成人には本剤０．２０～０．２５mL／ｋｇ（プロポフォールとして２．０～２．５mg／ｋｇ）で就眠が得られる。高齢者においては、より少量で就眠が得られる場合がある。就眠後は必要に応じて適宜追加投与する。
６．２．　維持通常、酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、本剤を静脈内に投与する。適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には、本剤０．４～１．０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして４～１０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。
また、鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等）を併用すること。
なお、局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。
〈集中治療における人工呼吸中の鎮静〉成人（高齢者を含む）には本剤を０．０３mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３mg／ｋｇ／時）の投与速度で、持続注入にて静脈内に投与を開始し、適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には本剤０．０３～０．３０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３～３．０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。
なお、疾患の種類、症状の程度を考慮し、必要とする鎮静深度に応じて投与速度を増減すること。また、必要に応じて鎮痛剤を併用すること。
【保管】凍結を避けて室温保存。

プロポフォール静注１％５０mL「マルイシ」【５００mg５０mL１瓶】　Propofol Maruishi　採用　(劇)

商品名:プロポフォール静注１％５０mL「マルイシ」
規格:５００mg５０mL１瓶　薬価:1327.00　製造:丸石製薬　剤型:注射液　YJ:1119402A2150　院内コード:300242
成分:プロポフォール,
【効】１）．　全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持。
２）．　集中治療における人工呼吸中の鎮静。
【用】〈全身麻酔の導入及び維持〉６．１．　導入通常、成人には本剤を０．０５mL／ｋｇ／１０秒（プロポフォールとして０．５mg／ｋｇ／１０秒）の速度で、患者の全身状態を観察しながら、就眠が得られるまで静脈内に投与する。なお、ＡＳＡ３及び４の患者には、より緩徐に投与する。
通常、成人には本剤０．２０～０．２５mL／ｋｇ（プロポフォールとして２．０～２．５mg／ｋｇ）で就眠が得られる。高齢者においては、より少量で就眠が得られる場合がある。就眠後は必要に応じて適宜追加投与する。
６．２．　維持通常、酸素もしくは酸素・亜酸化窒素混合ガスと併用し、本剤を静脈内に投与する。適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には、本剤０．４～１．０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして４～１０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な麻酔深度が得られる。
また、鎮痛剤（麻薬性鎮痛剤、局所麻酔剤等）を併用すること。
なお、局所麻酔剤併用時には通常より低用量で適切な麻酔深度が得られる。
〈集中治療における人工呼吸中の鎮静〉成人（高齢者を含む）には本剤を０．０３mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３mg／ｋｇ／時）の投与速度で、持続注入にて静脈内に投与を開始し、適切な鎮静深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を調節する。
通常、成人には本剤０．０３～０．３０mL／ｋｇ／時（プロポフォールとして０．３～３．０mg／ｋｇ／時）の投与速度で適切な鎮静深度が得られる。
なお、疾患の種類、症状の程度を考慮し、必要とする鎮静深度に応じて投与速度を増減すること。また、必要に応じて鎮痛剤を併用すること。
【保管】凍結を避けて室温保存。

112: 催眠鎮静剤，抗不安剤

1123: 抱水クロラール系製剤

エスクレ坐剤「２５０」　Escre　採用

商品名:エスクレ坐剤「２５０」
規格:２５０mg１個　薬価:119.90　製造:久光製薬　剤型:坐剤　YJ:1123700J1020　院内コード:200889
成分:抱水クロラール,
【効】１）．　理学検査時における鎮静・催眠。
２）．　静脈注射が困難なけいれん重積状態。
【用】抱水クロラールとして、通常小児では３０～５０mg／ｋｇを標準とし、直腸内に挿入する。
なお、年齢・症状・目的に応じ適宜増減する。
総量１．５ｇを越えないようにする。
【保管】冷暗所に保存。

1124: ベンゾジアゼピン系製剤

２ｍｇセルシン錠 Cercine **採用** **(向)** <準先発品>
商品名:２ｍｇセルシン錠
規格:２ｍｇ１錠 薬価:6.40 製造:Ｔ’ｓ製薬 剤型:錠 YJ:1124017F2135 院内コード:200322
成分:ジアゼパム,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
２）．　うつ病における不安・緊張。
３）．　心身症（消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ。
４）．　次記疾患における筋緊張の軽減：脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛。
５）．　麻酔前投薬。
【用】通常、成人には１回ジアゼパムとして２～５ｍｇを１日２～４回経口投与する。ただし、外来患者は原則として１日量ジアゼパムとして１５ｍｇ以内とする。
また、小児に用いる場合には、３歳以下は１日量ジアゼパムとして１～５ｍｇを、４～１２歳は１日量ジアゼパムとして２～１０ｍｇを、それぞれ１～３回に分割経口投与する。
筋痙攣患者に用いる場合は、通常成人には１回ジアゼパムとして２～１０ｍｇを１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
麻酔前投薬の場合は、通常成人には１回ジアゼパムとして５～１０ｍｇを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。
【保管】室温保存。

５ｍｇセルシン錠 Cercine **採用** **(向)** <準先発品>
商品名:５ｍｇセルシン錠
規格:５ｍｇ１錠 薬価:10.00 製造:Ｔ’ｓ製薬 剤型:錠 YJ:1124017F4049 院内コード:200323
成分:ジアゼパム,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
２）．　うつ病における不安・緊張。
３）．　心身症（消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ。
４）．　次記疾患における筋緊張の軽減：脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛。
５）．　麻酔前投薬。
【用】通常、成人には１回ジアゼパムとして２～５ｍｇを１日２～４回経口投与する。ただし、外来患者は原則として１日量ジアゼパムとして１５ｍｇ以内とする。
また、小児に用いる場合には、３歳以下は１日量ジアゼパムとして１～５ｍｇを、４～１２歳は１日量ジアゼパムとして２～１０ｍｇを、それぞれ１～３回に分割経口投与する。
筋痙攣患者に用いる場合は、通常成人には１回ジアゼパムとして２～１０ｍｇを１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
麻酔前投薬の場合は、通常成人には１回ジアゼパムとして５～１０ｍｇを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アルプラゾラム錠０．４ｍｇ「サワイ」(ｺﾝｽﾀﾝ) Alprazolam **採用** **(向)** <後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]コンスタン０．４ｍｇ錠
商品名:アルプラゾラム錠０．４ｍｇ「サワイ」
規格:０．４ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:メディサ新薬 剤型:錠 YJ:1124023F1118 院内コード:203844
成分:アルプラゾラム,
【効】心身症（胃潰瘍・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害。
【用】通常、成人にはアルプラゾラムとして１日１．２ｍｇを３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。増量する場合には、最高用量を１日２．４ｍｇとして漸次増量し、３～４回に分けて経口投与する。
高齢者では、１回０．４ｍｇの１日１～２回投与から開始し、増量する場合でも１日１．２ｍｇを超えないものとする。
【保管】室温保存。

エバミール錠１．０ Evamyl **採用** **(向)** <先発品（後発品なし）>
商品名:エバミール錠１．０
規格:１ｍｇ１錠 薬価:9.50 製造:丸石製薬 剤型:錠 YJ:1124010F1021 院内コード:200319
成分:ロルメタゼパム,
【効】不眠症。
【用】ロルメタゼパムとして、通常、成人には１回１～２ｍｇを就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には１回２ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

グランダキシン錠５０ Grandaxin **採用** <先発品（後発品あり）>
商品名:グランダキシン錠５０
規格:５０ｍｇ１錠 薬価:6.90 製造:持田製薬 剤型:錠 YJ:1124026F1022 院内コード:200099
成分:トフィソパム,
【効】次記疾患における心悸亢進、発汗、頭痛・頭重、倦怠感等の自律神経症状：更年期障害・卵巣欠落症状、自律神経失調症、頭部損傷・頸部損傷。
【用】通常、成人には１回１錠、１日３回経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

サイレース静注２ｍｇ（ﾛﾋﾌﾟﾉｰﾙ) Silece 採用 (向) <先発品（後発品なし）>
商品名:サイレース静注２ｍｇ
規格:２ｍｇ１管 薬価:121.00 製造:エーザイ 剤型:注射液 YJ:1124400A1058 院内コード:301010
成分:フルニトラゼパム,
【効】全身麻酔の導入。
局所麻酔時の鎮静。
【用】本剤は用時注射用蒸留水にて２倍以上に希釈調製し、できるだけ緩徐に（フルニトラゼパムとして１ｍｇを１分以上かけて）静脈内に注射する。
用量は通常成人に対し全身麻酔の導入としてはフルニトラゼパムとして体重１ｋｇあたり０．０２～０．０３ｍｇ、局所麻酔時の鎮静としてはフルニトラゼパムとして体重１ｋｇあたり０．０１～０．０３ｍｇとし、必要に応じて初回量の半量ないし同量を追加投与する。
なお、患者の年齢、感受性、全身状態、手術術式、麻酔方法などに応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

セルシン散１％ Cercine 採用 (向)
商品名:セルシン散１％
規格:１％１ｇ 薬価:9.40 製造:Ｔ’ｓ製薬 剤型:散 YJ:1124017B1129 院内コード:201165
成分:ジアゼパム,
【効】１）． 神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
２）． うつ病における不安・緊張。
３）． 心身症（消化器疾患、循環器疾患、自律神経失調症、更年期障害、腰痛症、頸肩腕症候群）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ。
４）． 次記疾患における筋緊張の軽減：脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛。
５）． 麻酔前投薬。
【用】通常、成人には１回ジアゼパムとして２～５ｍｇを１日２～４回経口投与する。ただし、外来患者は原則として１日量ジアゼパムとして１５ｍｇ以内とする。
また、小児に用いる場合には、３歳以下は１日量ジアゼパムとして１～５ｍｇを、４～１２歳は１日量ジアゼパムとして２～１０ｍｇを、それぞれ１～３回に分割経口投与する。
筋痙攣患者に用いる場合は、通常成人には１回ジアゼパムとして２～１０ｍｇを１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
麻酔前投薬の場合は、通常成人には１回ジアゼパムとして５～１０ｍｇを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ダイアップ坐剤６ Diapp 採用 (向) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ダイアップ坐剤６
規格:６ｍｇ１個 薬価:50.30 製造:高田製薬 剤型:坐剤 YJ:1124701J2029 院内コード:200892
成分:ジアゼパム,
【効】小児に対して次の目的に用いる：熱性けいれん及びてんかんのけいれん発作の改善。
【用】通常、小児にジアゼパムとして１回０．４～０．５ｍｇ／ｋｇを１日１～２回、直腸内に挿入する。
なお、症状に応じて適宜増減するが、１日１ｍｇ／ｋｇを超えないようにする。
【保管】室温保存。

ニトラゼパム錠５ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾈﾙﾎﾞﾝ) Nitrazepam 採用 (向) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ベンザリン錠５
商品名:ニトラゼパム錠５ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:５ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:日医工岐阜工場 剤型:錠 YJ:1124003F2311 院内コード:203727
成分:ニトラゼパム,
【効】１）． 不眠症。
２）． 麻酔前投薬。
３）． 異型小発作群：点頭てんかん、ミオクロヌス発作、失立発作等。焦点性発作：焦点性痙攣発作、精神運動発作、自律神経発作等。
【用】〈不眠症〉通常、成人にはニトラゼパムとして１回５～１０ｍｇを就寝前に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈麻酔前投薬〉通常、成人にはニトラゼパムとして１回５～１０ｍｇを就寝前または手術前に経口投与する。なお、年齢・症状・疾患により適宜増減する。
〈異型小発作群、焦点性発作〉通常、成人・小児ともニトラゼパムとして１日５～１５ｍｇを適宜分割投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

フルニトラゼパム錠１ｍｇ「アメル」 Flunitrazepam AMEL 採用 (向) <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]サイレース錠１ｍｇ
商品名:フルニトラゼパム錠１ｍｇ「アメル」
規格:１ｍｇ１錠 薬価:6.10 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1124008F1067 院内コード:202775
成分:フルニトラゼパム,
【効】不眠症。
麻酔前投薬。
【用】通常成人１回、フルニトラゼパムとして、０．５～２ｍｇを就寝前又は手術前に経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減するが、高齢者には１回１ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

フルニトラゼパム錠２ｍｇ「アメル」 Flunitrazepam AMEL 採用 (向) <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]サイレース錠２ｍｇ
商品名:フルニトラゼパム錠２ｍｇ「アメル」
規格:２ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1124008F2047 院内コード:202776

成分:フルニトラゼパム,
【効】不眠症。
麻酔前投薬。
【用】通常成人１回、フルニトラゼパムとして、０．５～２ｍｇを就寝前又は手術前に経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減するが、高齢者には１回１ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ブロチゾラムＯＤ錠０．２５ｍｇ「テバ」　Brotizolam OD TEVA　採用　(向)　<後発品（加算対象外）>　[先発品:非採用]レンドルミン錠０．２５ｍｇ

商品名:ブロチゾラムＯＤ錠０．２５ｍｇ「テバ」
規格:０．２５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:錠　YJ:1124009F2092　院内コード:202632
成分:ブロチゾラム,
【効】不眠症、麻酔前投薬。
【用】本剤の用量は、年齢、症状、疾患などを考慮して適宜増減するが、一般に成人には次のように投与する。
〈不眠症〉１回ブロチゾラムとして０．２５ｍｇを就寝前に経口投与する。
〈麻酔前投薬〉手術前夜：１回ブロチゾラムとして０．２５ｍｇを就寝前に経口投与する。
麻酔前：１回ブロチゾラムとして０．５ｍｇを経口投与する。
【保管】室温保存。

ミダゾラム注射液１０ｍｇ「ＮＩＧ」　Midazolam　採用　(向)

商品名:ミダゾラム注射液１０ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:１０ｍｇ２ｍＬ１管　薬価:115.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:注射液　YJ:1124401A1095　院内コード:300941
成分:ミダゾラム,
【効】１）．　麻酔前投薬。
２）．　全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持。
３）．　集中治療における人工呼吸中の鎮静。
４）．　歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静。
【用】〈麻酔前投薬〉通常、成人にはミダゾラム０．０８～０．１０ｍｇ／ｋｇを手術前３０分～１時間に筋肉内に注射する。
通常、修正在胎４５週以上（在胎週数＋出生後週数）の小児にはミダゾラム０．０８～０．１５ｍｇ／ｋｇを手術前３０分～１時間に筋肉内に注射する。
〈全身麻酔の導入及び維持〉通常、成人にはミダゾラム０．１５～０．３０ｍｇ／ｋｇを静脈内に注射し、必要に応じて初回量の半量ないし同量を追加投与する。
静脈内に注射する場合には、なるべく太い静脈を選んで、できるだけ緩徐に（１分間以上の時間をかけて）注射する。
〈集中治療における人工呼吸中の鎮静〉導入通常、成人には、初回投与はミダゾラム０．０３ｍｇ／ｋｇを少なくとも１分以上かけて静脈内に注射する。より確実な鎮静導入が必要とされる場合の初回投与量は０．０６ｍｇ／ｋｇまでとする。必要に応じて、０．０３ｍｇ／ｋｇを少なくとも５分以上の間隔を空けて追加投与する。但し、初回投与及び追加投与の総量は０．３０ｍｇ／ｋｇまでとする。
通常、修正在胎４５週以上（在胎週数＋出生後週数）の小児には、初回投与はミダゾラム０．０５～０．２０ｍｇ／ｋｇを少なくとも２～３分以上かけて静脈内に注射する。必要に応じて、初回量と同量を少なくとも５分以上の間隔を空けて追加投与する。
維持通常、成人にはミダゾラム０．０３～０．０６ｍｇ／ｋｇ／ｈより持続静脈内投与を開始し、患者の鎮静状態をみながら適宜増減する（０．０３～０．１８ｍｇ／ｋｇ／ｈの範囲が推奨される）。
通常、修正在胎４５週以上（在胎週数＋出生後週数）の小児には、ミダゾラム０．０６～０．１２ｍｇ／ｋｇ／ｈより持続静脈内投与を開始し、患者の鎮静状態をみながら適宜増減する（投与速度の増減は２５％の範囲内とする）。
通常、修正在胎４５週未満（在胎週数＋出生後週数）の小児のうち、修正在胎３２週未満ではミダゾラム０．０３ｍｇ／ｋｇ／ｈ、修正在胎３２週以上ではミダゾラム０．０６ｍｇ／ｋｇ／ｈより持続静脈内投与を開始し、患者の鎮静状態をみながら適宜増減する。
〈歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静〉通常、成人には、初回投与としてミダゾラム１～２ｍｇをできるだけ緩徐に（１～２ｍｇ／分）静脈内に注射し、必要に応じて０．５～１ｍｇを少なくとも２分以上の間隔を空けて、できるだけ緩徐に（１～２ｍｇ／分）追加投与する。但し、初回の目標鎮静レベルに至るまでの、初回投与及び追加投与の総量は５ｍｇまでとする。
なお、いずれの場合も、患者の年齢、感受性、全身状態、手術術式、麻酔方法等に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

メイラックス錠１ｍｇ　Meilax　採用　(向)　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:メイラックス錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:錠　YJ:1124029F1026　院内コード:202594
成分:ロフラゼプ酸エチル,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ・神経症における睡眠障害。
２）．　心身症（胃潰瘍・十二指腸潰瘍、慢性胃炎、過敏性腸症候群、自律神経失調症）
における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害。
【用】通常、成人には、ロフラゼプ酸エチルとして２ｍｇを１日１～２回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ユーロジン錠１ｍｇ　Eurodin　採用　(向)　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:ユーロジン１ｍｇ錠
規格:１ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:錠　YJ:1124001F1022　院内コード:201172
成分:エスタゾラム,
【効】不眠症、麻酔前投薬。
【用】本剤の用量は年齢、症状、疾患などを考慮して適宜増減するが、一般に成人には次のように投与する。
〈不眠症〉１回エスタゾラムとして１～４ｍｇを就寝前に経口投与する。
〈麻酔前投薬〉麻酔前：１回エスタゾラムとして２～４ｍｇを経口投与する。

手術前夜：１回エスタゾラムとして１～２ｍｇを就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

ユーロジン錠２ｍｇ　Eurodin　採用　(向)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ユーロジン２ｍｇ錠
規格:２ｍｇ１錠　薬価:7.40　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:錠　YJ:1124001F2029　院内コード:200334
成分:エスタゾラム，
【効】不眠症、麻酔前投薬。
【用】本剤の用量は年齢、症状、疾患などを考慮して適宜増減するが、一般に成人には次のように投与する。
〈不眠症〉１回エスタゾラムとして１～４ｍｇを就寝前に経口投与する。
〈麻酔前投薬〉麻酔前：１回エスタゾラムとして２～４ｍｇを経口投与する。
手術前夜：１回エスタゾラムとして１～２ｍｇを就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

レキソタン錠２　Lexotan　採用　(向)　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:レキソタン錠２
規格:２ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:サンドファーマ　剤型:錠　YJ:1124020F2030　院内コード:200338
成分:ブロマゼパム，
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ及び神経症における強迫・神経症における恐怖。
２）．　うつ病における不安・緊張。
３）．　心身症（高血圧症、消化器疾患、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ及び睡眠障害。
４）．　麻酔前投薬。
【用】〈神経症における不安・緊張・抑うつ及び強迫・恐怖、うつ病における不安・緊張〉通常、成人にはブロマゼパムとして１日量６～１５ｍｇを１日２～３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈心身症（高血圧症、消化器疾患、自律神経失調症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ及び睡眠障害〉通常、成人にはブロマゼパムとして１日量３～６ｍｇを１日２～３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈麻酔前投薬〉通常、成人にはブロマゼパムとして５ｍｇを就寝前又は手術前に経口投与する。なお、年齢、症状、疾患により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ワイパックス錠０．５　Wypax　採用　(向)　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ワイパックス錠０．５
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:1124022F1067　院内コード:200597
成分:ロラゼパム，
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
２）．　心身症（自律神経失調症、心臓神経症）における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ。
【用】通常、成人１日ロラゼパムとして１～３ｍｇを２～３回に分けて経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1125: バルビツール酸系及びチオバルビツール

フェノバール注射液１００ｍｇ　Phenobal　採用　(劇向)　Hi
商品名:フェノバール注射液１００ｍｇ
規格:１０％１ｍＬ１管　薬価:70.00　製造:藤永製薬　剤型:注射液　YJ:1125402A1054　院内コード:300009
成分:フェノバルビタール，
【効】１）．　不安緊張状態の鎮静（緊急に必要な場合）。
２）．　てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）、焦点発作（ジャクソン型発作を含む）。
３）．　自律神経発作、精神運動発作。
【用】フェノバルビタールとして、通常成人１回５０～２００ｍｇを１日１～２回、皮下又は筋肉内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1129: その他の催眠鎮静剤，抗不安剤

エスゾピクロン錠１ｍｇ「ニプロ」(ﾙﾈｽﾀ)　Eszopiclone　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ルネスタ錠１ｍｇ
商品名:エスゾピクロン錠１ｍｇ「ニプロ」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:6.70　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:1129010F1141　院内コード:203395
成分:エスゾピクロン，
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはエスゾピクロンとして１回２ｍｇを、高齢者には１回１ｍｇを就寝前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、成人では１回３ｍｇ、高齢者では１回２ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

エスゾピクロン錠２ｍｇ「ニプロ」(ﾙﾈｽﾀ)　Eszopiclone　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ルネスタ錠２ｍｇ
商品名:エスゾピクロン錠２ｍｇ「ニプロ」
規格:２ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:1129010F2148　院内コード:203396
成分:エスゾピクロン，
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはエスゾピクロンとして１回２ｍｇを、高齢者には１回１ｍｇを就寝前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、成人では１回３ｍｇ、高齢者では１回２ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「サワイ」(ﾏｲｽﾘｰ)　Zolpidem tartrate OD　採用　(向)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]マイスリー錠１０ｍｇ

商品名:ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「サワイ」

規格:１０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1129009F4040　院内コード:203336

成分:ゾルピデム酒石酸塩,

【効】不眠症＜統合失調症及び躁うつ病に伴う不眠症は除く＞。

【用】通常、成人にはゾルピデム酒石酸塩として１回５～１０ｍｇを就寝直前に経口投与する。

なお、高齢者には１回５ｍｇから投与を開始する。年齢、症状、疾患により適宜増減するが、１日１０ｍｇを超えないこととする。

【保管】室温保存。

ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「サワイ」(ﾏｲｽﾘｰ)　Zolpidem tartrate OD　採用　(向)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]マイスリー錠５ｍｇ

商品名:ゾルピデム酒石酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「サワイ」

規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1129009F3044　院内コード:203335

成分:ゾルピデム酒石酸塩,

【効】不眠症＜統合失調症及び躁うつ病に伴う不眠症は除く＞。

【用】通常、成人にはゾルピデム酒石酸塩として１回５～１０ｍｇを就寝直前に経口投与する。

なお、高齢者には１回５ｍｇから投与を開始する。年齢、症状、疾患により適宜増減するが、１日１０ｍｇを超えないこととする。

【保管】室温保存。

タンドスピロンクエン酸塩錠１０ｍｇ「アメル」(ｾﾃﾞｨｰﾙ)　Tandospirone citrate AMEL　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]セディール錠１０ｍｇ

商品名:タンドスピロンクエン酸塩錠１０ｍｇ「アメル」

規格:１０ｍｇ１錠　薬価:8.40　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1129008F2051　院内コード:203022

成分:タンドスピロンクエン酸塩,

【効】１）．　神経症における抑うつ、神経症における恐怖。

２）．　心身症（自律神経失調症、本態性高血圧症、消化性潰瘍）における身体症候ならびに抑うつ、不安、焦躁、睡眠障害。

【用】通常、成人にはタンドスピロンクエン酸塩として１日３０ｍｇを３回に分け経口投与する。

なお、年齢・症状により適宜増減するが、１日６０ｍｇまでとする。

【保管】室温保存。

タンドスピロンクエン酸塩錠５ｍｇ「アメル」(ｾﾃﾞｨｰﾙ)　Tandospirone citrate AMEL　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]セディール錠５ｍｇ

商品名:タンドスピロンクエン酸塩錠５ｍｇ「アメル」

規格:５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1129008F1047　院内コード:203020

成分:タンドスピロンクエン酸塩,

【効】１）．　神経症における抑うつ、神経症における恐怖。

２）．　心身症（自律神経失調症、本態性高血圧症、消化性潰瘍）における身体症候ならびに抑うつ、不安、焦躁、睡眠障害。

【用】通常、成人にはタンドスピロンクエン酸塩として１日３０ｍｇを３回に分け経口投与する。

なお、年齢・症状により適宜増減するが、１日６０ｍｇまでとする。

【保管】室温保存。

デクスメデトミジン静注液２００μｇ／５０ｍＬシリンジ(ﾌﾟﾚｾﾃﾞｯｸｽ)　Dexmedetomidine　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]プレセデックス静注液２００μｇ「ファイザー」

商品名:デクスメデトミジン静注液
２００μｇ／５０ｍＬシリンジ「ニプロ」

規格:２００μｇ５０ｍＬ１筒　薬価:1877.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:112940061049　院内コード:301066

成分:デクスメデトミジン塩酸塩,

【効】１）．　集中治療における人工呼吸中及び人工呼吸離脱後の鎮静。

２）．　局所麻酔下における非挿管での手術時及び非挿管での処置時の鎮静。

【用】〈集中治療における人工呼吸中及び離脱後の鎮静〉通常、成人には、デクスメデトミジンを６μｇ／ｋｇ／時の投与速度で１０分間静脈内へ持続注入し（初期負荷投与）、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として０．２～０．７μｇ／ｋｇ／時の範囲で持続注入する（維持投与）。また、維持投与から開始することもできる。

通常、６歳以上の小児には、デクスメデトミジンを０．２μｇ／ｋｇ／時の投与速度で静脈内へ持続注入し、患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、０．２～１．０μｇ／ｋｇ／時の範囲で持続注入する。

通常、修正在胎（在胎週数＋出生後週数）４５週以上６歳未満の小児には、デクスメデトミジンを０．２μｇ／ｋｇ／時の投与速度で静脈内へ持続注入し、患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、０．２～１．４μｇ／ｋｇ／時の範囲で持続注入する。

なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。

〈局所麻酔下における非挿管での手術及び処置時の鎮静〉通常、成人には、デクスメデトミジンを６μｇ／ｋｇ／時の投与速度で１０分間静脈内へ持続注入し（初期負荷投与）、続いて患者の状態に合わせて、至適鎮静レベルが得られる様、維持量として０．２～０．７μｇ／ｋｇ／時の範囲で持続注入する（維持投与）。なお、患者の状態に合わせて、投与速度を適宜減速すること。

【保管】室温保存。

トリクロリールシロップ１０％　Triclory l　採用　(劇)

商品名:トリクロリールシロップ１０％

規格:１０％１ｍＬ　薬価:10.90　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:シロップYJ:1129004Q1031　院内コード:200389

成分:トリクロホスナトリウム,

【効】１）．　脳波検査・心電図検査等における睡眠。

２）．　不眠症。

【用】トリクロホスナトリウムとして、通常成人１回１～２ｇを就寝前又は検査前に経口投与する。幼小児は年齢により適宜減量する。なお、患者の

年齢及び状態、目的等を考慮して、２０～８０ｍｇ／ｋｇを標準とし、総量２ｇを超えないようにする。
【保管】冷所保存。

リスミー錠１ｍｇ Rhythmy 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:リスミー錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1129006F1021 院内コード:201147
成分:リルマザホン塩酸塩水和物,
【効】１）． 不眠症。
２）． 麻酔前投薬。
【用】〈不眠症〉通常、成人にはリルマザホン塩酸塩水和物として１回１～２ｍｇを就寝前に経口投与する。
なお、年齢、疾患、症状により適宜増減するが、高齢者には１回２ｍｇまでとする。
〈麻酔前投薬〉通常、成人にはリルマザホン塩酸塩水和物として１回２ｍｇを就寝前又は手術前に経口投与する。
なお、年齢、疾患、症状により適宜増減するが、高齢者には１回２ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

リスミー錠２ｍｇ Rhythmy 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:リスミー錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠 薬価:13.80 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1129006F2028 院内コード:200291
成分:リルマザホン塩酸塩水和物,
【効】１）． 不眠症。
２）． 麻酔前投薬。
【用】〈不眠症〉通常、成人にはリルマザホン塩酸塩水和物として１回１～２ｍｇを就寝前に経口投与する。
なお、年齢、疾患、症状により適宜増減するが、高齢者には１回２ｍｇまでとする。
〈麻酔前投薬〉通常、成人にはリルマザホン塩酸塩水和物として１回２ｍｇを就寝前又は手術前に経口投与する。
なお、年齢、疾患、症状により適宜増減するが、高齢者には１回２ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

113: 抗てんかん剤

1132: ヒダントイン系製剤

アレビアチン散１０％ Aleviatin 採用 (劇) Hi
商品名:アレビアチン散１０％
規格:１０％１ｇ 薬価:15.70 製造:住友ファーマ 剤型:散 YJ:1132002B1060 院内コード:200053
成分:フェニトイン,
【効】１）． てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）、焦点発作（ジャクソン型発作を含む）。
２）． 自律神経発作。
３）． 精神運動発作。
【用】フェニトインとして、通常成人１日２００～３００ｍｇ、小児には次記用量を毎食後３回に分割経口投与する。
症状、耐薬性に応じて適宜増減する。
学童：１００～３００ｍｇ。
幼児：５０～２００ｍｇ。
乳児：２０～１００ｍｇ。
【保管】室温保存。

アレビアチン錠１００ｍｇ Aleviatin 採用 Hi
商品名:アレビアチン錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠 薬価:12.90 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1132002F2041 院内コード:200054
成分:フェニトイン,
【効】１）． てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）、焦点発作（ジャクソン型発作を含む）。
２）． 自律神経発作。
３）． 精神運動発作。
【用】フェニトインとして、通常成人１日２００～３００ｍｇ、小児には次記用量を毎食後３回に分割経口投与する。
症状、耐薬性に応じて適宜増減する。
学童：１００～３００ｍｇ。
幼児：５０～２００ｍｇ。
乳児：２０～１００ｍｇ。
【保管】室温保存。

アレビアチン錠２５ｍｇ Aleviatin 採用 Hi
商品名:アレビアチン錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠 薬価:12.10 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1132002F1037 院内コード:200004
成分:フェニトイン,
【効】１）． てんかんのけいれん発作：強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）、焦点発作（ジャクソン型発作を含む）。
２）． 自律神経発作。
３）． 精神運動発作。
【用】フェニトインとして、通常成人１日２００～３００ｍｇ、小児には次記用量を毎食後３回に分割経口投与する。
症状、耐薬性に応じて適宜増減する。
学童：１００～３００ｍｇ。
幼児：５０～２００ｍｇ。
乳児：２０～１００ｍｇ。
【保管】室温保存。

1139: その他の抗てんかん剤

エクセグラン散２０％ Excegran 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:エクセグラン散２０％
規格:２０％１ｇ 薬価:25.20 製造:住友ファーマ 剤型:散 YJ:1139005B1048 院内コード:200069
成分:ゾニサミド,
【効】部分てんかんおよび全般てんかんの次記発作型：
部分発作（部分てんかん）：単純部分発作［焦点発作（ジャクソン型発作を含む）、自律神経発作、精神運動発作］、複雑部分発作［精神運動発作、焦点発作］、二次性全般化強直間代けいれん［強直間代発作（大発作）］。
全般発作（全般てんかん）：強直間代発作［強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）］、強直発作［全般けいれん発作］、非定型欠神発作［異型小発作］。
混合発作（てんかん）：［混合発作］。
【用】ゾニサミドとして、通常、成人は最初１日１００～２００ｍｇを１～３回に分割経口投与する。以後１～２週ごとに増量して通常１日量２００～４００ｍｇまで漸増し、１～３回に分割経口投与する。
なお、最高１日量は６００ｍｇまでとする。
小児に対しては、通常、最初１日２～４ｍｇ／ｋｇを１～３回に分割経口投与する。以後１～２週ごとに増量して通常１日量４～８ｍｇ／ｋｇまで漸増し、１～３回に分割経口投与する。
なお、最高１日量は１２ｍｇ／ｋｇまでとする。
【保管】室温保存。

エクセグラン錠１００ｍｇ Excegran 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:エクセグラン錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠 薬価:12.60 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1139005F1023 院内コード:200070
成分:ゾニサミド,
【効】部分てんかんおよび全般てんかんの次記発作型：
部分発作（部分てんかん）：単純部分発作［焦点発作（ジャクソン型発作を含む）、自律神経発作、精神運動発作］、複雑部分発作［精神運動発作、焦点発作］、二次性全般化強直間代けいれん［強直間代発作（大発作）］。
全般発作（全般てんかん）：強直間代発作［強直間代発作（全般けいれん発作、大発作）］、強直発作［全般けいれん発作］、非定型欠神発作［異型小発作］。
混合発作（てんかん）：［混合発作］。
【用】ゾニサミドとして、通常、成人は最初１日１００～２００ｍｇを１～３回に分割経口投与する。以後１～２週ごとに増量して通常１日量２００～４００ｍｇまで漸増し、１～３回に分割経口投与する。
なお、最高１日量は６００ｍｇまでとする。
小児に対しては、通常、最初１日２～４ｍｇ／ｋｇを１～３回に分割経口投与する。以後１～２週ごとに増量して通常１日量４～８ｍｇ／ｋｇまで漸増し、１～３回に分割経口投与する。
なお、最高１日量は１２ｍｇ／ｋｇまでとする。
【保管】室温保存。

ガバペン錠２００ｍｇ Gabapen 採用 Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ガバペン錠２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１錠 薬価:24.20 製造:富士製薬 剤型:錠 YJ:1139007F1022 院内コード:200383
成分:ガバペンチン,
【効】他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する抗てんかん薬との併用療法。
【用】通常、成人及び１３歳以上の小児にはガバペンチンとして初日１日量６００ｍｇ、２日目１日量１２００ｍｇをそれぞれ３回に分割経口投与する。３日目以降は、維持量として１日量１２００ｍｇ～１８００ｍｇを３回に分割経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は２４００ｍｇまでとする。
通常、３～１２歳の幼児及び小児にはガバペンチンとして初日１日量１０ｍｇ／ｋｇ、２日目１日量２０ｍｇ／ｋｇをそれぞれ３回に分割経口投与する。３日目以降は維持量として、３～４歳の幼児には１日量４０ｍｇ／ｋｇ、５～１２歳の幼児及び小児には１日量２５～３５ｍｇ／ｋｇを３回に分割経口投与する。症状により適宜増減するが、１日最高投与量は５０ｍｇ／ｋｇまでとする。なお、いずれの時期における投与量についても、成人及び１３歳以上の小児での投与量を超えないこととする。
【保管】室温保存（高温での保存を避けること）。

セレニカＲ顆粒４０％ Selenica-R 採用 Hi
商品名:セレニカＲ顆粒４０％
規格:４０％１ｇ 薬価:36.70 製造:興和 剤型:顆粒 YJ:1139004D1052 院内コード:200142
成分:バルプロ酸ナトリウム,
【効】１）．　各種てんかん（小発作・焦点発作・精神運動発作ならびに混合発作）およびてんかんに伴う性格行動障害（不機嫌・易怒性等）の治療。
２）．　躁病および躁うつ病の躁状態の治療。
３）．　片頭痛発作の発症抑制。
【用】〈各種てんかんおよびてんかんに伴う性格行動障害の治療、躁病および躁うつ病の躁状態の治療〉通常、バルプロ酸ナトリウムとして４００～１２００ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、年齢、症状に応じ適宜増減する。
〈片頭痛発作の発症抑制〉通常、バルプロ酸ナトリウムとして４００～８００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量として１０００ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

テグレトール細粒５０％ Tegretol 採用 Hi
商品名:テグレトール細粒５０％
規格:５０％１ｇ 薬価:25.10 製造:サンファーマ 剤型:細粒 YJ:1139002C1082 院内コード:200161
成分:カルバマゼピン,
【効】１）．　精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全般痙攣発作、大発作）。

２）．　躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態。
３）．　三叉神経痛。
【用】〈精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全般痙攣発作、大発作）の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、至適効果が得られるまで（通常１日６００ｍｇ）徐々に増量する。症状により１日１２００ｍｇまで増量することができる。小児に対しては、年齢、症状に応じて、通常１日１００～６００ｍｇを分割経口投与する。
〈躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、至適効果が得られるまで（通常１日６００ｍｇ）徐々に増量する。症状により１日１２００ｍｇまで増量することができる。
〈三叉神経痛の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇからはじめ、通常１日６００ｍｇまでを分割経口投与するが、症状により１日８００ｍｇまで増量することができる。小児に対しては、年齢、症状に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

テグレトール錠１００ｍｇ　Tegretol　採用　Hi

商品名:テグレトール錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:サンファーマ　剤型:錠　YJ:1139002F2026　院内コード:200162
成分:カルバマゼピン,
【効】１）．　精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全般痙攣発作、大発作）。
２）．　躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態。
３）．　三叉神経痛。
【用】〈精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全般痙攣発作、大発作）の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、至適効果が得られるまで（通常１日６００ｍｇ）徐々に増量する。症状により１日１２００ｍｇまで増量することができる。小児に対しては、年齢、症状に応じて、通常１日１００～６００ｍｇを分割経口投与する。
〈躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、至適効果が得られるまで（通常１日６００ｍｇ）徐々に増量する。症状により１日１２００ｍｇまで増量することができる。
〈三叉神経痛の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇからはじめ、通常１日６００ｍｇまでを分割経口投与するが、症状により１日８００ｍｇまで増量することができる。小児に対しては、年齢、症状に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

テグレトール錠２００ｍｇ　Tegretol　採用　Hi

商品名:テグレトール錠２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１錠　薬価:7.40　製造:サンファーマ　剤型:錠　YJ:1139002F1062　院内コード:200163
成分:カルバマゼピン,
【効】１）．　精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全般痙攣発作、大発作）。
２）．　躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態。
３）．　三叉神経痛。
【用】〈精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全般痙攣発作、大発作）の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、至適効果が得られるまで（通常１日６００ｍｇ）徐々に増量する。症状により１日１２００ｍｇまで増量することができる。小児に対しては、年齢、症状に応じて、通常１日１００～６００ｍｇを分割経口投与する。
〈躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、至適効果が得られるまで（通常１日６００ｍｇ）徐々に増量する。症状により１日１２００ｍｇまで増量することができる。
〈三叉神経痛の場合〉カルバマゼピンとして通常、成人には最初１日量２００～４００ｍｇからはじめ、通常１日６００ｍｇまでを分割経口投与するが、症状により１日８００ｍｇまで増量することができる。小児に対しては、年齢、症状に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

ノーベルバール静注用２５０ｍｇ　Nobelbar　採用　(劇向)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:ノーベルバール静注用２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１瓶　薬価:1802.00　製造:ノーベルファーマ　剤型:静注用　YJ:1139400F1023　院内コード:300661
成分:フェノバルビタールナトリウム,
【効】１）．　新生児けいれん。
２）．　てんかん重積状態。
【用】〈新生児けいれん〉初回投与：フェノバルビタールとして、２０ｍｇ／ｋｇを静脈内投与する。けいれんがコントロールできない場合は、患者の状態に応じ、初回投与量を超えない範囲で用量を調節し、静脈内に追加投与する。
維持投与：フェノバルビタールとして、２．５～５ｍｇ／ｋｇを１日１回静脈内投与する。
〈てんかん重積状態〉フェノバルビタールとして、１５～２０ｍｇ／ｋｇを１日１回静脈内投与する。
【保管】室温保存。

バルプロ酸ナトリウムシロップ５％「ＤＳＰ」　Sodium valproate　採用　Hi

商品名:バルプロ酸ナトリウムシロップ５％「ＤＳＰ」
規格:５％１ｍＬ　薬価:10.90　製造:住友ファーマ　剤型:シロップYJ:1139004Q1135　院内コード:202529
成分:バルプロ酸ナトリウム,
【効】１）．　各種てんかん（小発作・焦点発作・精神運動発作ならびに混合発作）およびてんかんに伴う性格行動障害（不機嫌・易怒性等）の治療。
２）．　躁病および躁うつ病の躁状態の治療。
３）．　片頭痛発作の発症抑制。
【用】〈各種てんかんおよびてんかんに伴う性格行動障害の治療、躁病および躁うつ病の躁状態の治療〉通常１日量８～２４ｍＬ（バルプロ酸ナトリウムとして４００～１２００ｍｇ）を１日２～３回に分けて経口投与する。
ただし、年齢・症状に応じ適宜増減する。
〈片頭痛発作の発症抑制〉通常１日量８～１６ｍＬ（バルプロ酸ナトリウムとして４００～８００ｍｇ）を１日２～３回に分けて経口投与する。

なお、年齢・症状に応じ適宜増減するが、１日量として２０mL（バルプロ酸ナトリウムとして１０００mg）を超えないこと。
【保管】室温保存。

バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ１００mg「トーワ」　Sodium valproate SR TOWA　採用　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]デパケンR錠１００mg

商品名:バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ１００mg「トーワ」
規格:１００mg１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:徐放錠　YJ:1139004G1075　院内コード:202908
成分:バルプロ酸ナトリウム,
【効】１）．　各種てんかん（小発作・焦点発作・精神運動発作ならびに混合発作）およびてんかんに伴う性格行動障害（不機嫌・易怒性等）の治療。
２）．　躁病および躁うつ病の躁状態の治療。
３）．　片頭痛発作の発症抑制。
【用】〈各種てんかんおよびてんかんに伴う性格行動障害の治療、躁病および躁うつ病の躁状態の治療〉通常１日量バルプロ酸ナトリウムとして４００～１２００mgを１日１～２回に分けて経口投与する。
ただし、年齢・症状に応じ適宜増減する。
〈片頭痛発作の発症抑制〉通常１日量バルプロ酸ナトリウムとして４００～８００mgを１日１～２回に分けて経口投与する。
なお、年齢・症状に応じ適宜増減するが、１日量として１０００mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ２００mg「トーワ」　Sodium valproate SR TOWA　採用　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]セレニカR錠２００mg

商品名:バルプロ酸ナトリウム徐放錠Ａ２００mg「トーワ」
規格:２００mg１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:徐放錠　YJ:1139004G2080　院内コード:202909
成分:バルプロ酸ナトリウム,
【効】１）．　各種てんかん（小発作・焦点発作・精神運動発作ならびに混合発作）およびてんかんに伴う性格行動障害（不機嫌・易怒性等）の治療。
２）．　躁病および躁うつ病の躁状態の治療。
３）．　片頭痛発作の発症抑制。
【用】〈各種てんかんおよびてんかんに伴う性格行動障害の治療、躁病および躁うつ病の躁状態の治療〉通常１日量バルプロ酸ナトリウムとして４００～１２００mgを１日１～２回に分けて経口投与する。
ただし、年齢・症状に応じ適宜増減する。
〈片頭痛発作の発症抑制〉通常１日量バルプロ酸ナトリウムとして４００～８００mgを１日１～２回に分けて経口投与する。
なお、年齢・症状に応じ適宜増減するが、１日量として１０００mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

フィコンパ錠２mg　Fycompa　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:フィコンパ錠２mg
規格:２mg１錠　薬価:190.30　製造:エーザイ　剤型:錠　YJ:1139014F1022　院内コード:202929
成分:ペランパネル水和物,
【効】１）．　てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）。
２）．　他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法。
【用】〈部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合〉［単剤療法］通常、成人及び４歳以上の小児にはペランパネルとして１日１回２mgの就寝前経口投与より開始し、その後２週間以上の間隔をあけて２mgずつ漸増する。維持用量は１日１回４～８mgとする。
なお、症状により２週間以上の間隔をあけて２mg以下ずつ適宜増減するが、１日最高８mgまでとする。
［併用療法］通常、成人及び１２歳以上の小児にはペランパネルとして１日１回２mgの就寝前経口投与より開始し、その後１週間以上の間隔をあけて２mgずつ漸増する。
本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は１日１回４～８mg、併用する場合の維持用量は１日１回８～１２mgとする。
なお、症状により１週間以上の間隔をあけて２mg以下ずつ適宜増減するが、１日最高１２mgまでとする。
通常、４歳以上１２歳未満の小児にはペランパネルとして１日１回２mgの就寝前経口投与より開始し、その後２週間以上の間隔をあけて２mgずつ漸増する。
本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は１日１回４～８mg、併用する場合の維持用量は１日１回８～１２mgとする。
なお、症状により２週間以上の間隔をあけて２mg以下ずつ適宜増減するが、１日最高１２mgまでとする。
〈参考：成人及び１２歳以上の小児における部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合〉１）．　単剤療法：
①．　投与方法：１日１回就寝前経口投与。
②．　開始用量：２mg／日。
③．　漸増間隔：２週間以上。
④．　漸増用量：２mg／日。
⑤．　維持用量：４～８mg／日。
⑥．　最高用量：８mg／日。
２）．　併用療法：
①．　投与方法：１日１回就寝前経口投与。
②．　開始用量：２mg／日。
③．　漸増間隔：１週間以上。
④．　漸増用量：２mg／日。
⑤．　維持用量：
ａ．　本剤の代謝を促進する抗てんかん薬＊の併用なし：４～８mg／日。
ｂ．　本剤の代謝を促進する抗てんかん薬＊の併用あり：８～１２mg／日。
⑥．　最高用量：１２mg／日。

用量はペランパネルとしての量を示す。
＊）本剤の代謝を促進する抗てんかん薬：フェニトイン、ホスフェニトイン、カルバマゼピン。
〈参考：４歳以上１２歳未満の小児における部分発作（二次性全般化発作を含む）に用いる場合〉１）．　単剤療法：
①．　投与方法：１日１回就寝前経口投与。
②．　開始用量：２ｍｇ／日。
③．　漸増間隔：２週間以上。
④．　漸増用量：２ｍｇ／日。
⑤．　維持用量：４～８ｍｇ／日。
⑥．　最高用量：８ｍｇ／日。
２）．　併用療法：
①．　投与方法：１日１回就寝前経口投与。
②．　開始用量：２ｍｇ／日。
③．　漸増間隔：２週間以上。
④．　漸増用量：２ｍｇ／日。
⑤．　維持用量：
ａ．　本剤の代謝を促進する抗てんかん薬＊の併用なし：４～８ｍｇ／日。
ｂ．　本剤の代謝を促進する抗てんかん薬＊の併用あり：８～１２ｍｇ／日。
⑥．　最高用量：１２ｍｇ／日。
用量はペランパネルとしての量を示す。
＊）本剤の代謝を促進する抗てんかん薬：フェニトイン、ホスフェニトイン、カルバマゼピン。
〈強直間代発作に用いる場合〉［併用療法］通常、成人及び１２歳以上の小児にはペランパネルとして１日１回２ｍｇの就寝前経口投与より開始し、その後１週間以上の間隔をあけて２ｍｇずつ漸増する。
本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は１日１回８ｍｇ、併用する場合の維持用量は１日１回８～１２ｍｇとする。
なお、症状により１週間以上の間隔をあけて２ｍｇ以下ずつ適宜増減するが、１日最高１２ｍｇまでとする。
〈参考：成人及び１２歳以上の小児における強直間代発作に用いる場合〉併用療法：
１）．　投与方法：１日１回就寝前経口投与。
２）．　開始用量：２ｍｇ／日。
３）．　漸増間隔：１週間以上。
４）．　漸増用量：２ｍｇ／日。
５）．　維持用量：
①．　本剤の代謝を促進する抗てんかん薬＊の併用なし：８ｍｇ／日。
②．　本剤の代謝を促進する抗てんかん薬＊の併用あり：８～１２ｍｇ／日。
６）．　最高用量：１２ｍｇ／日。
用量はペランパネルとしての量を示す。
＊）本剤の代謝を促進する抗てんかん薬：フェニトイン、ホスフェニトイン、カルバマゼピン。
【保管】室温保存。

ブリィビアクト錠２５ｍｇ　Briviact　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ブリィビアクト錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:357.30　製造:ユーシービージャパン　剤型:錠　YJ:1139017F1026　院内コード:203733
成分:ブリーバラセタム,
【効】てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）。
【用】通常、成人にはブリーバラセタムとして１日５０ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。
なお、症状により１日２００ｍｇを超えない範囲で適宜増減できる。
【保管】室温保存。

ブリィビアクト静注２５ｍｇ　【２５ｍｇ２．５ｍＬ１瓶】　Briviact　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ブリィビアクト静注２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ２．５ｍＬ１瓶　薬価:2450.00　製造:ユーシービージャパン　剤型:注射液　YJ:1139406A1023　院内コード:301339
成分:ブリーバラセタム,
【効】一時的に経口投与ができない患者における、次記の治療に対するブリーバラセタム経口製剤の代替療法：
てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）におけるブリーバラセタム経口製剤の代替療法。
【用】ブリーバラセタムの経口投与から本剤に切り替える場合：
通常、ブリーバラセタム経口投与と同じ１日用量及び投与回数にて、１回量を２分から１５分かけて静脈内投与する。
ブリーバラセタムの経口投与に先立ち本剤を投与する場合：
通常、成人にはブリーバラセタムとして１日５０ｍｇを１日２回に分け、１回量を２分から１５分かけて静脈内投与する。
いずれの場合においても、症状により適宜増減できるが、１日最高投与量は２００ｍｇとする。
【保管】室温保存。

ミダフレッサ静注0.1% 10mg/10mL　Midafresa　採用　(向)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミダフレッサ静注０．１％
規格:１０ｍｇ１０ｍＬ１瓶　薬価:3146.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:注射液　YJ:1139401A1020　院内コード:301202
成分:ミダゾラム,
【効】てんかん重積状態。
【用】〈静脈内投与〉通常、修正在胎４５週以上（在胎週数＋出生後週数）の小児及び成人には、ミダゾラムとして０．１５ｍｇ／ｋｇを静脈内投与し、必要に応じて１回につき０．１～０．３ｍｇ／ｋｇの範囲で追加投与するが、患者の状態に応じて適宜増減する。ただし、初回投与と追加投与の総量として０．６ｍｇ／ｋｇを超えないこと。投与速度は１ｍｇ／分を目安とすること。
〈持続静脈内投与〉通常、修正在胎４５週以上（在胎週数＋出生後週数）の小児及び成人には、ミダゾラムとして０．１ｍｇ／ｋｇ／時より持続静脈内投与を開始し、必要に応じて０．０５～０．１ｍｇ／ｋｇ／時ずつ増量するが、患者の状態に応じて適宜増減する。最大投与量は０．

４ｍｇ／ｋｇ／時までとすること。
【保管】室温保存。

ラミクタール錠２５ｍｇ　Lamictal　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ラミクタール錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:21.30　製造:ＧＳＫ　剤型:錠　YJ:1139009F3024　院内コード:202246
成分:ラモトリギン,
【効】１）．　てんかん患者の次記発作に対する単剤療法：部分発作（二次性全般化発作を含む）、強直間代発作、定型欠神発作。
２）．　他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の次記発作に対する抗てんかん薬との併用療法：部分発作（二次性全般化発作を含む）、強直間代発作、Ｌｅｎｎｏｘ－Ｇａｓｔａｕｔ症候群における全般発作。
３）．　双極性障害における気分エピソードの再発・再燃抑制。
【用】１）．　てんかん患者に用いる場合：
成人（１）．　単剤療法の場合（部分発作（二次性全般化発作を含む）及び強直間代発作に用いる場合）
通常、ラモトリギンとして最初の２週間は１日２５ｍｇを１日１回経口投与し、次の２週間は１日５０ｍｇを１日１回経口投与し、５週目は１日１００ｍｇを１日１回又は２回に分割して経口投与する。その後は、１～２週間毎に１日量として最大１００ｍｇずつ漸増する。維持用量は１日１００～２００ｍｇとし、１日１回又は２回に分割して経口投与する。症状に応じて適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日量として最大１００ｍｇずつ、１日用量は最大４００ｍｇまでとし、いずれも１日１回又は２回に分割して経口投与する。
（２）．　バルプロ酸ナトリウムを併用する場合通常、ラモトリギンとして最初の２週間は１回２５ｍｇを隔日に経口投与し、次の２週間は１日２５ｍｇを１日１回経口投与する。その後は、１～２週間毎に１日量として２５～５０ｍｇずつ漸増する。維持用量は１日１００～２００ｍｇとし、１日２回に分割して経口投与する。
（３）．　バルプロ酸ナトリウムを併用しない場合＊（３）－１）．　本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤※を併用する場合通常、ラモトリギンとして最初の２週間は１日５０ｍｇを１日１回経口投与し、次の２週間は１日１００ｍｇを１日２回に分割して経口投与する。その後は、１～２週間毎に１日量として最大１００ｍｇずつ漸増する。維持用量は１日２００～４００ｍｇとし、１日２回に分割して経口投与する。
（３）－２）．　（３）－１）以外の薬剤※※を併用する場合単剤療法の場合に従う。
本剤は主としてグルクロン酸転移酵素で代謝される。
＊：本剤のグルクロン酸抱合に対する影響が明らかでない薬剤による併用療法では、バルプロ酸ナトリウムを併用する場合の用法及び用量に従うこと。
※：本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤：フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、プリミドン、リファンピシン、ロピナビル・リトナビル配合剤〔７．２、１０．２、１６．７．１、１６．７．２参照〕。
※※：本剤のグルクロン酸抱合に対し影響を及ぼさない薬剤：アリピプラゾール、オランザピン、ゾニサミド、ガバペンチン、シメチジン、トピラマート、プレガバリン、リチウム、レベチラセタム、ペランパネル、ラコサミド〔７．２、１６．７．１、１６．７．２参照〕。
小児（１）．　単剤療法の場合（定型欠神発作に用いる場合）
通常、ラモトリギンとして最初の２週間は１日０．３ｍｇ／ｋｇを１日１回又は２回に分割して経口投与し、次の２週間は１日０．６ｍｇ／ｋｇを１日１回又は２回に分割して経口投与する。その後は、１～２週間毎に１日量として最大０．６ｍｇ／ｋｇずつ漸増する。維持用量は１日１～１０ｍｇ／ｋｇとし、１日１回又は２回に分割して経口投与する。
症状に応じて適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日量として最大０．６ｍｇ／ｋｇずつ、１日用量は最大２００ｍｇまでとし、いずれも１日１回又は２回に分割して経口投与する。
（２）．　バルプロ酸ナトリウムを併用する場合通常、ラモトリギンとして最初の２週間は１日０．１５ｍｇ／ｋｇを１日１回経口投与し、次の２週間は１日０．３ｍｇ／ｋｇを１日１回経口投与する。その後は、１～２週間毎に１日量として最大０．３ｍｇ／ｋｇずつ漸増する。維持用量は、バルプロ酸ナトリウムに加えて本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤※を併用する場合は１日１～５ｍｇ／ｋｇとし、本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤※を併用していない場合は１日１～３ｍｇ／ｋｇとし、１日２回に分割して経口投与する。なお、１日用量は最大２００ｍｇまでとする。
（３）．　バルプロ酸ナトリウムを併用しない場合＊（３）－１）．　本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤※を併用する場合通常、ラモトリギンとして最初の２週間は１日０．６ｍｇ／ｋｇを１日２回に分割して経口投与し、次の２週間は１日１．２ｍｇ／ｋｇを１日２回に分割して経口投与する。その後は、１～２週間毎に１日量として最大１．２ｍｇ／ｋｇずつ漸増する。維持用量は１日５～１５ｍｇ／ｋｇとし、１日２回に分割して経口投与する。なお、１日用量は最大４００ｍｇまでとする。
（３）－２）．　（３）－１）以外の薬剤※※を併用する場合バルプロ酸ナトリウムを併用する場合に従う。
本剤は主としてグルクロン酸転移酵素で代謝される。
＊：本剤のグルクロン酸抱合に対する影響が明らかでない薬剤による併用療法では、バルプロ酸ナトリウムを併用する場合の用法及び用量に従うこと。
※：本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤：フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、プリミドン、リファンピシン、ロピナビル・リトナビル配合剤〔７．２、１０．２、１６．７．１、１６．７．２参照〕。
※※：本剤のグルクロン酸抱合に対し影響を及ぼさない薬剤：アリピプラゾール、オランザピン、ゾニサミド、ガバペンチン、シメチジン、トピラマート、プレガバリン、リチウム、レベチラセタム、ペランパネル、ラコサミド〔７．２、１６．７．１、１６．７．２参照〕。
２）．　双極性障害における気分エピソードの再発・再燃抑制に用いる場合：
（１）．　単剤療法の場合通常、成人にはラモトリギンとして最初の２週間は１日２５ｍｇを１日１回経口投与、次の２週間は１日５０ｍｇを１日１回又は２回に分割して経口投与し、５週目は１日１００ｍｇを１日１回又は２回に分割して経口投与する。６週目以降は維持用量として１日２００ｍｇを１日１回又は２回に分割して経口投与する。症状に応じて適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日量として最大１００ｍｇずつ、１日用量は最大４００ｍｇまでとし、いずれも１日１回又は２回に分割して経口投与する。
（２）．　バルプロ酸ナトリウムを併用する場合通常、成人にはラモトリギンとして最初の２週間は１回２５ｍｇを隔日に経口投与、次の２週間は１日２５ｍｇを１日１回経口投与し、５週目は１日５０ｍｇを１日１回又は２回に分割して経口投与する。６週目以降は維持用量として１日１００ｍｇを１日１回又は２回に分割して経口投与する。症状に応じて適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日量として最大５０ｍｇずつ、１日用量は最大２００ｍｇまでとし、いずれも１日１回又は２回に分割して経口投与する。
（３）．　バルプロ酸ナトリウムを併用しない場合＊（３）－１）．　本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤※を併用する場合通常、成人にはラモトリギンとして最初の２週間は１日５０ｍｇを１日１回経口投与、次の２週間は１日１００ｍｇを１日２回に分割して経口投与し、５週目は１日２００ｍｇを１日２回に分割して経口投与する。６週目は１日３００ｍｇを１日２回に分割して経口投与し、７週目以降は維持用量として１日３００～４００ｍｇを１日２回に分割して経口投与する。症状に応じて適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日量として最大１００ｍｇずつ、１日用量は最大４００ｍｇまでとし、いずれも１日２回に分割して経口投与する。
（３）－２）．　（３）－１）以外の薬剤※※を併用する場合単剤療法の場合に従う。

本剤は主としてグルクロン酸転移酵素で代謝される。
＊：本剤のグルクロン酸抱合に対する影響が明らかでない薬剤による併用療法では、バルプロ酸ナトリウムを併用する場合の用法及び用量に従うこと。
※：本剤のグルクロン酸抱合を誘導する薬剤：フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、プリミドン、リファンピシン、ロピナビル・リトナビル配合剤〔７．２、１０．２、１６．７．１、１６．７．２参照〕。
※※：本剤のグルクロン酸抱合に対し影響を及ぼさない薬剤：アリピプラゾール、オランザピン、ゾニサミド、ガバペンチン、シメチジン、トピラマート、プレガバリン、リチウム、レベチラセタム、ペランパネル、ラコサミド〔７．２、１６．７．１、１６．７．２参照〕。
【保管】室温保存。

リボトリール細粒０．１％　Rivotril　採用　(向)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リボトリール細粒０．１％
規格:０．１％１ｇ　薬価:8.00　製造:太陽ファルマ　剤型:細粒　YJ:1139003C1044　院内コード:200336
成分:クロナゼパム,
【効】１）．　小型＜運動＞発作［ミオクロニー発作、失立＜無動＞発作、点頭てんかん（幼児けい縮発作、ＢＮＳけいれん等）］。
２）．　精神運動発作。
３）．　自律神経発作。
【用】通常成人、小児は、初回量クロナゼパムとして、１日０．５～１ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。以後、症状に応じて至適効果が得られるまで徐々に増量する。通常、維持量はクロナゼパムとして１日２～６ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
乳、幼児は、初回量クロナゼパムとして、１日体重１ｋｇあたり０．０２５ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。以後、症状に応じて至適効果が得られるまで徐々に増量する。
通常、維持量はクロナゼパムとして１日体重１ｋｇあたり０．１ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

リボトリール錠０．５ｍｇ　Rivotril　採用　(向)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リボトリール錠０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:9.90　製造:太陽ファルマ　剤型:錠　YJ:1139003F1040　院内コード:200337
成分:クロナゼパム,
【効】１）．　小型＜運動＞発作［ミオクロニー発作、失立＜無動＞発作、点頭てんかん（幼児けい縮発作、ＢＮＳけいれん等）］。
２）．　精神運動発作。
３）．　自律神経発作。
【用】通常成人、小児は、初回量クロナゼパムとして、１日０．５～１ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。以後、症状に応じて至適効果が得られるまで徐々に増量する。通常、維持量はクロナゼパムとして１日２～６ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
乳、幼児は、初回量クロナゼパムとして、１日体重１ｋｇあたり０．０２５ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。以後、症状に応じて至適効果が得られるまで徐々に増量する。
通常、維持量はクロナゼパムとして１日体重１ｋｇあたり０．１ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

リボトリール錠１ｍｇ　Rivotril　採用　(向)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リボトリール錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:太陽ファルマ　剤型:錠　YJ:1139003F2047　院内コード:201174
成分:クロナゼパム,
【効】１）．　小型＜運動＞発作［ミオクロニー発作、失立＜無動＞発作、点頭てんかん（幼児けい縮発作、ＢＮＳけいれん等）］。
２）．　精神運動発作。
３）．　自律神経発作。
【用】通常成人、小児は、初回量クロナゼパムとして、１日０．５～１ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。以後、症状に応じて至適効果が得られるまで徐々に増量する。通常、維持量はクロナゼパムとして１日２～６ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
乳、幼児は、初回量クロナゼパムとして、１日体重１ｋｇあたり０．０２５ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。以後、症状に応じて至適効果が得られるまで徐々に増量する。
通常、維持量はクロナゼパムとして１日体重１ｋｇあたり０．１ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

レベチラセタムドライシロップ５０％「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ)　Levetiracetam MEIJI　採用　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]イーケプラドライシロップ５０％
商品名:レベチラセタムドライシロップ５０％「明治」
規格:５０％１ｇ　薬価:57.90　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:シロップ用　YJ:1139010R1110　院内コード:203433
成分:レベチラセタム,
【効】１）．　てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）。
２）．　他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法。
【用】成人：通常、成人にはレベチラセタムとして１日１０００ｍｇ（ドライシロップとして２ｇ）を１日２回に分けて用時溶解して経口投与する。なお、症状により１日３０００ｍｇ（ドライシロップとして６ｇ）を超えない範囲で適宜増減するが、増量は２週間以上の間隔をあけて１日用量として１０００ｍｇ（ドライシロップとして２ｇ）以下ずつ行うこと。
小児：通常、４歳以上の小児にはレベチラセタムとして１日２０ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップとして４０ｍｇ／ｋｇ）を１日２回に分けて用時溶解して経口投与する。なお、症状により１日６０ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップとして１２０ｍｇ／ｋｇ）を超えない範囲で適宜増減するが、増量は２週間以上の間隔をあけて１日用量として２０ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップとして４０ｍｇ／ｋｇ）以下ずつ行うこと。ただし、体重５０ｋｇ以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。
【保管】室温保存。

レベチラセタム錠５００ｍｇ「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ)　Levetiracetam MEIJI　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]イーケプラ錠５００ｍｇ

商品名:レベチラセタム錠５００ｍｇ「明治」

規格:５００ｍｇ１錠　薬価:36.80　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:1139010F2136　院内コード:203432

成分:レベチラセタム,

【効】１）．　てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）。

２）．　他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法。

【用】成人：通常、成人にはレベチラセタムとして１日１０００ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。なお、症状により１日３０００ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は２週間以上の間隔をあけて１日用量として１０００ｍｇ以下ずつ行うこと。

小児：通常、４歳以上の小児にはレベチラセタムとして１日２０ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。なお、症状により１日６０ｍｇ／ｋｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は２週間以上の間隔をあけて１日用量として２０ｍｇ／ｋｇ以下ずつ行うこと。ただし、体重５０ｋｇ以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。

【保管】室温保存。

レベチラセタム点滴静注５００ｍｇ「明治」(ｲｰｹﾌﾟﾗ)　Levetiracetam MEIJI　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]イーケプラ点滴静注５００ｍｇ【５００ｍｇ５ｍＬ１瓶】

商品名:レベチラセタム点滴静注５００ｍｇ「明治」

規格:５００ｍｇ５ｍＬ１管　薬価:639.00　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:注射液　YJ:1139402A2048　院内コード:301135

成分:レベチラセタム,

【効】１）．　一時的に経口投与ができない患者における、次記の治療に対するレベチラセタム経口製剤の代替療法：

・　てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）におけるレベチラセタム経口製剤の代替療法。

・　他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法におけるレベチラセタム経口製剤の代替療法。

２）．　てんかん重積状態。

【用】〈一時的に経口投与ができない患者におけるレベチラセタム経口製剤の代替療法〉レベチラセタムの経口投与から本剤に切り替える場合：

通常、レベチラセタム経口投与と同じ１日用量及び投与回数にて、１回量を１５分かけて点滴静脈内投与する。

レベチラセタムの経口投与に先立ち本剤を投与する場合：

成人：通常、成人にはレベチラセタムとして１日１０００ｍｇを１日２回に分け、１回量を１５分かけて点滴静脈内投与する。

小児：通常、４歳以上の小児にはレベチラセタムとして１日２０ｍｇ／ｋｇを１日２回に分け、１回量を１５分かけて点滴静脈内投与する。ただし、体重５０ｋｇ以上の小児では、成人と同じ用法・用量を用いること。

いずれの場合においても、症状により適宜増減できるが、１日最高投与量及び増量方法は次のとおりとすること。

成人：成人では１日最高投与量は３０００ｍｇを超えないこととし、増量は２週間以上の間隔をあけて１日用量として１０００ｍｇ以下ずつ行う。

小児：４歳以上の小児では１日最高投与量は６０ｍｇ／ｋｇを超えないこととし、増量は２週間以上の間隔をあけて１日用量として２０ｍｇ／ｋｇ以下ずつ行う。ただし、体重５０ｋｇ以上の小児では、成人と同じ投与量を用いること。

〈てんかん重積状態〉通常、成人にはレベチラセタムとして１回１０００～３０００ｍｇを静脈内投与（投与速度は２～５ｍｇ／ｋｇ／分で静脈内投与）するが、１日最大投与量は３０００ｍｇとする。

【保管】室温保存。

114: 解熱鎮痛消炎剤

114: 解熱鎮痛消炎剤

1141: アニリン系製剤；メフェナム酸・フル

アセトアミノフェン「ＶＴＲＳ」原末(ﾊﾟ)　Acetaminophen　採用　(劇)

商品名:アセトアミノフェン「ＶＴＲＳ」原末

規格:１ｇ　薬価:8.00　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:末　YJ:1141001X1134　院内コード:203529

成分:アセトアミノフェン,

【効】１）．　各種疾患及び症状における鎮痛。

２）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。

３）．　小児科領域における解熱・鎮痛。

【用】〈各種疾患及び症状における鎮痛〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～１０００ｍｇを経口投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として４０００ｍｇを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

〈急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～５００ｍｇを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として１日２回までとし、１日最大１５００ｍｇを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

〈小児科領域における解熱・鎮痛〉通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５ｍｇを経口投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として６０ｍｇ／ｋｇを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

【保管】室温保存。

アセリオ静注液１０００ｍｇバッグ【１，０００ｍｇ１００ｍＬ１袋】　Acelio　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:アセリオ静注液１０００ｍｇバッグ

規格:１，０００ｍｇ１００ｍＬ１袋　薬価:292.00　製造:テルモ　剤型:注射液　YJ:1141400A2020　院内コード:300832

成分:アセトアミノフェン,

【効】経口製剤及び坐剤の投与が困難な場合における疼痛及び発熱。
【用】次記のとおり本剤を１５分かけて静脈内投与すること。
〈成人における疼痛〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～１０００mgを１５分かけて静脈内投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として４０００mgを限度とする。
ただし、体重５０ｋｇ未満の成人にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１５mgを上限として静脈内投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。１日総量として６０mg／ｋｇを限度とする。
〈成人における発熱〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～５００mgを１５分かけて静脈内投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、原則として１日２回までとし、１日最大１５００mgを限度とする。
〈２歳以上の幼児及び小児における疼痛及び発熱〉通常、２歳以上の幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５mgを１５分かけて静脈内投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として６０mg／ｋｇを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。
〈乳児及び２歳未満の幼児における疼痛及び発熱〉通常、乳児及び２歳未満の幼児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回７．５mgを１５分かけて静脈内投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として３０mg／ｋｇを限度とする。
【保管】室温保存。

アンヒバ坐剤小児用１００mg Anhiba **採用** <先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:アンヒバ坐剤小児用１００mg
規格:１００mg１個 薬価:21.60 製造:ヴィアトリス製薬 剤型:坐剤 YJ:1141700J2130 院内コード:200543
成分:アセトアミノフェン,
【効】小児科領域における解熱・鎮痛。
【用】通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５mgを直腸内に挿入する。投与間隔は４～６時間以上とし、１日総量として６０mg／ｋｇを限度とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。
【保管】冷暗所保存。

アンヒバ坐剤小児用２００mg Anhiba **採用** <先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:アンヒバ坐剤小児用２００mg
規格:２００mg１個 薬価:21.60 製造:ヴィアトリス製薬 剤型:坐剤 YJ:1141700J3110 院内コード:200453
成分:アセトアミノフェン,
【効】小児科領域における解熱・鎮痛。
【用】通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５mgを直腸内に挿入する。投与間隔は４～６時間以上とし、１日総量として６０mg／ｋｇを限度とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。
【保管】冷暗所保存。

カロナールシロップ２％ Calonal **採用** **(劇)** <後発品（加算対象）>
商品名:カロナールシロップ２％
規格:２％１mL 薬価:7.10 製造:あゆみ製薬 剤型:シロップYJ:1141007Q1048 院内コード:200603
成分:アセトアミノフェン,
【効】小児科領域における解熱・鎮痛。
【用】通常、乳児、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５mgを経口投与する。投与間隔は４～６時間以上とし、１日総量として６０mg／ｋｇを限度とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

カロナール錠２００ Calonal **採用** <後発品（加算対象）>
商品名:カロナール錠２００
規格:２００mg１錠 薬価:6.50 製造:あゆみ製薬 剤型:錠 YJ:1141007F1063 院内コード:200093
成分:アセトアミノフェン,
【効】１）．　各種疾患及び症状における鎮痛。
２）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。
３）．　小児科領域における解熱・鎮痛。
【用】〈各種疾患及び症状における鎮痛〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～１０００mgを経口投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として４０００mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
〈急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～５００mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として１日２回までとし、１日最大１５００mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
〈小児科領域における解熱・鎮痛〉通常、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５mgを経口投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として６０mg／ｋｇを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

カロナール錠５００ Calonal **採用** **(劇)** <後発品（加算対象）>
商品名:カロナール錠５００
規格:５００mg１錠 薬価:11.20 製造:あゆみ製薬 剤型:錠 YJ:1141007F3023 院内コード:202696
成分:アセトアミノフェン,
【効】１）．　各種疾患及び症状における鎮痛。
２）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。
３）．　小児科領域における解熱・鎮痛。
【用】〈各種疾患及び症状における鎮痛〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～１０００mgを経口投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として４０００mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望まし

い。
〈急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）〉通常、成人にはアセトアミノフェンとして、１回３００～５００ｍｇを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として１日２回までとし、１日最大１５００ｍｇを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
〈小児科領域における解熱・鎮痛〉通常、幼児及び小児にはアセトアミノフェンとして、体重１ｋｇあたり１回１０～１５ｍｇを経口投与し、投与間隔は４～６時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日総量として６０ｍｇ／ｋｇを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

ポンタールカプセル２５０ｍｇ　Pontal　採用

商品名:ポンタールカプセル２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１カプセル　薬価:6.30　製造:ファイザー　剤型:カプセルYJ:1141005M2094　院内コード:200255
成分:メフェナム酸,
【効】１）．　手術後及び外傷後の炎症及び腫脹の緩解。
２）．　次記疾患の消炎、鎮痛、解熱：変形性関節症、腰痛症、症候性神経痛、頭痛（他剤が無効な場合）、副鼻腔炎、月経痛、分娩後疼痛、歯痛。
３）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。
【用】１）．　手術後及び外傷後の炎症及び腫脹の緩解、次記疾患の消炎、鎮痛、解熱（変形性関節症、腰痛症、症候性神経痛、頭痛（他剤が無効な場合）、副鼻腔炎、月経痛、分娩後疼痛、歯痛）：メフェナム酸として、通常、成人１回５００ｍｇ、その後６時間毎に１回２５０ｍｇを経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
２）．　次記疾患の解熱・鎮痛（急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む））：通常、成人にはメフェナム酸として、１回５００ｍｇを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則１日２回までとし、１日最大１５００ｍｇを限度とすること。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

1147: フェニル酢酸系製剤

ジクロフェナクＮａ錠２５ｍｇ「サワイ」(ﾎﾞﾙﾀﾚﾝ錠)　Diclofenac Na　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ボルタレン錠２５ｍｇ

商品名:ジクロフェナクＮａ錠２５ｍｇ「サワイ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:6.10　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1147002F1650　院内コード:202979
成分:ジクロフェナクナトリウム,
【効】１）．　次記の疾患ならびに症状の鎮痛・消炎：関節リウマチ、変形性関節症、変形性脊椎症、腰痛症、腱鞘炎、頸肩腕症候群、神経痛、後陣痛、骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、前眼部炎症、歯痛。
２）．　手術後ならびに抜歯後の鎮痛・消炎。
３）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。
【用】〈関節リウマチ、変形性関節症、変形性脊椎症、腰痛症、腱鞘炎、頸肩腕症候群、神経痛、後陣痛、骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、前眼部炎症、歯痛の鎮痛・消炎、手術ならびに抜歯後の鎮痛・消炎〉通常、成人にはジクロフェナクナトリウムとして１日量７５～１００ｍｇとし原則として３回に分け経口投与する。また、頓用する場合には２５～５０ｍｇとする。なお、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
〈急性上気道炎の解熱・鎮痛〉通常、成人にはジクロフェナクナトリウムとして１回量２５～５０ｍｇを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として１日２回までとし、１日最大１００ｍｇを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

ジクロフェナクナトリウム坐剤２５ｍｇ「ゼリア」　Diclofenac sodium ZERIA　採用　(劇)　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ボルタレンサポ２５ｍｇ

商品名:ジクロフェナクナトリウム坐剤２５ｍｇ「ゼリア」
規格:２５ｍｇ１個　薬価:21.60　製造:京都薬品　剤型:坐剤　YJ:1147700J2274　院内コード:202552
成分:ジクロフェナクナトリウム,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、後陣痛。
２）．　手術後の鎮痛・消炎。
３）．　他の解熱剤では効果が期待できないか、あるいは、他の解熱剤の投与が不可能な場合の急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）の緊急解熱。
【用】成人：ジクロフェナクナトリウムとして通常１回２５～５０ｍｇを１日１～２回、直腸内に挿入するが、年齢、症状に応じ低用量投与が望ましい。
低体温によるショックを起こすことがあるので、高齢者に投与する場合には少量から投与を開始すること。
小児：ジクロフェナクナトリウムとして１回の投与に体重１ｋｇあたり０．５～１．０ｍｇを１日１～２回、直腸内に挿入する。なお、年齢、症状に応じ低用量投与が望ましい。
低体温によるショックを起こすことがあるので、少量から投与を開始すること。
年齢別投与量の目安は１回量として次記のとおりである。
１歳以上３歳未満：６．２５ｍｇ。
３歳以上６歳未満：６．２５～１２．５ｍｇ。
６歳以上９歳未満：１２．５ｍｇ。
９歳以上１２歳未満：１２．５～２５ｍｇ。
【保管】冷所保存。

ジクロフェナクナトリウム坐剤５０ｍｇ「ゼリア」　Diclofenac sodium ZERIA　採用　(劇)　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]ボルタレンサポ５０ｍｇ

商品名:ジクロフェナクナトリウム坐剤５０ｍｇ「ゼリア」
規格:５０ｍｇ１個　薬価:21.60　製造:京都薬品　剤型:坐剤　YJ:1147700J3300　院内コード:202553
成分:ジクロフェナクナトリウム,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、後陣痛。

２）．　手術後の鎮痛・消炎。
３）．　他の解熱剤では効果が期待できないか、あるいは、他の解熱剤の投与が不可能な場合の急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）の緊急解熱。
【用】成人：ジクロフェナクナトリウムとして通常１回２５～５０ｍｇを１日１～２回、直腸内に挿入するが、年齢、症状に応じ低用量投与が望ましい。
低体温によるショックを起こすことがあるので、高齢者に投与する場合には少量から投与を開始すること。
小児：ジクロフェナクナトリウムとして１回の投与に体重１ｋｇあたり０．５～１．０ｍｇを１日１～２回、直腸内に挿入する。なお、年齢、症状に応じ低用量投与が望ましい。
低体温によるショックを起こすことがあるので、少量から投与を開始すること。
年齢別投与量の目安は１回量として次記のとおりである。
１歳以上３歳未満：６．２５ｍｇ。
３歳以上６歳未満：６．２５～１２．５ｍｇ。
６歳以上９歳未満：１２．５ｍｇ。
９歳以上１２歳未満：１２．５～２５ｍｇ。
【保管】冷所保存。

1149: その他の解熱鎮痛消炎剤

ＳＧ配合顆粒　SG　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ＳＧ配合顆粒
規格:１ｇ　薬価:7.30　製造:シオノギファーマ　剤型:顆粒　YJ:1149116D1033　院内コード:200020
成分:アセトアミノフェン,アリルイソプロピルアセチル尿素,イソプロピルアンチピリン,無水カフェイン,
【効】感冒の解熱、耳痛、咽喉痛、月経痛、頭痛、歯痛、症候性神経痛、外傷痛。
【用】通常、成人１回１ｇを１日３～４回経口投与する。
頓用の場合には、１～２ｇを服用させるが、追加するときは少なくとも４時間以上経過後とする。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、１日最高４ｇまでとする。
【保管】室温保存。

セレコキシブ錠１００ｍｇ「トーワ」(ｾﾚｺｯｸｽ)　Celecoxib TOWA　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]セレコックス錠１００ｍｇ
商品名:セレコキシブ錠１００ｍｇ「トーワ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:8.30　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1149037F1143　院内コード:203254
成分:セレコキシブ,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱炎・腱鞘炎。
２）．　手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛。
【用】〈関節リウマチ〉通常、成人にはセレコキシブとして１回１００～２００ｍｇを１日２回、朝・夕食後に経口投与する。
〈変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎〉通常、成人にはセレコキシブとして１回１００ｍｇを１日２回、朝・夕食後に経口投与する。
〈手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛〉通常、成人にはセレコキシブとして初回のみ４００ｍｇ、２回目以降は１回２００ｍｇとして１日２回経口投与する。なお、投与間隔は６時間以上あけること。
頓用の場合は、初回のみ４００ｍｇ、必要に応じて以降は２００ｍｇを６時間以上あけて経口投与する。ただし、１日２回までとする。
【保管】室温保存。

ソセゴン注射液１５ｍｇ(ﾍﾟﾝﾀｿﾞﾝ注)　Sosegon　採用　(劇向)
商品名:ソセゴン注射液１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１管　薬価:87.00　製造:丸石製薬　剤型:注射液　YJ:1149401A1027　院内コード:300970
成分:ペンタゾシン,
【効】１）．　次記疾患並びに状態における鎮痛：各種癌、術後、心筋梗塞、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、腎結石・尿路結石、閉塞性動脈炎、胃検査器具使用時・尿管検査器具使用時・膀胱検査器具使用時。
２）．　麻酔前投薬および麻酔補助。
【用】〈鎮痛〉通常、成人にはペンタゾシンとして１回１５ｍｇを筋肉内または皮下に注射し、その後必要に応じて、３～４時間毎に反復注射する。
なお、症状により適宜増減する。
〈麻酔前投薬および麻酔補助〉通常、ペンタゾシンとして３０～６０ｍｇを筋肉内、皮下または静脈内に注射するが、症例により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ツートラム錠１００ｍｇ　Twotram　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ツートラム錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:74.60　製造:日本臓器製薬　剤型:徐放錠　YJ:1149038G3022　院内コード:203490
成分:トラマドール塩酸塩,
【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
慢性疼痛における鎮痛。
疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
【用】通常、成人にはトラマドール塩酸塩として１日１００～３００ｍｇを２回に分けて経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし１回２００ｍｇ、１日４００ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

ツートラム錠５０ｍｇ　Twotram　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ツートラム錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:42.30　製造:日本臓器製薬　剤型:徐放錠　YJ:1149038G2026　院内コード:203491
成分:トラマドール塩酸塩,

【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
慢性疼痛における鎮痛。
疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
【用】通常、成人にはトラマドール塩酸塩として１日１００～３００mgを２回に分けて経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし１回２００mg、１日４００mgを超えないこととする。
【保管】室温保存。

トアラセット配合錠「サワイ」(ﾄﾗﾑｾｯﾄ)　Toaraset　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]トラムセット配合錠
商品名:トアラセット配合錠「サワイ」
規格:１錠　薬価:14.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1149117F1160　院内コード:203607
成分:アセトアミノフェン,トラマドール塩酸塩,
【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記疾患における鎮痛：１）非がん性慢性疼痛、２）抜歯後の疼痛。
【用】〈非がん性慢性疼痛〉通常、成人には、１回１錠、１日４回経口投与する。投与間隔は４時間以上空けること。
なお、症状に応じて適宜増減するが、１回２錠、１日８錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。
〈抜歯後の疼痛〉通常、成人には、１回２錠を経口投与する。
なお、追加投与する場合には、投与間隔を４時間以上空け、１回２錠、１日８錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。
【保管】室温保存。

トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」(ﾄﾗﾏｰﾙ)　Tramadol hydrochloride OD KO　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]トラマールＯＤ錠２５mg
商品名:トラマドール塩酸塩ＯＤ錠２５mg「ＫＯ」
規格:２５mg１錠　薬価:8.40　製造:寿製薬　剤型:錠　YJ:1149038F1032　院内コード:203521
成分:トラマドール塩酸塩,
【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記疾患における鎮痛：
１）．　疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
２）．　慢性疼痛における鎮痛。
【用】通常、成人にはトラマドール塩酸塩として１日１００～３００mgを４回に分割経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。ただし１回１００mg、１日４００mgを超えないこととする。
【保管】室温保存。

ナイキサン錠１００mg　Naixan　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ナイキサン錠１００mg
規格:１００mg１錠　薬価:6.30　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:1149007F1142　院内コード:200605
成分:ナプロキセン,
【効】１）．　次記疾患の消炎、鎮痛、解熱：関節リウマチ、変形性関節症、痛風発作、強直性脊椎炎、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱炎・腱鞘炎、月経困難症、帯状疱疹。
２）．　外傷後並びに手術後の消炎、鎮痛。
３）．　歯科・口腔外科領域における抜歯後並びに歯科・口腔外科領域における小手術後の消炎、鎮痛。
【用】通常、成人にはナプロキセンとして１日量３００～６００mg（本剤３～６錠）を２～３回に分け、なるべく空腹時をさけて経口投与する。痛風発作には初回４００～６００mg（本剤４～６錠）を経口投与する。頓用する場合及び外傷後並びに術後初回には３００mg（本剤３錠）を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ノイロトロピン錠４単位　Neurotropin　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ノイロトロピン錠４単位
規格:４単位１錠　薬価:28.10　製造:日本臓器製薬　剤型:錠　YJ:1149023F1036　院内コード:200188
成分:ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液,
【効】１）．　帯状疱疹後神経痛。
２）．　腰痛症。
３）．　頸肩腕症候群。
４）．　肩関節周囲炎。
５）．　変形性関節症。
【用】通常、成人には１日４錠を朝夕２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存（１～３０℃）。

パラミヂンカプセル３００mg　Paramidin　採用　(劇)
商品名:パラミヂンカプセル３００mg
規格:３００mg１カプセル　薬価:8.60　製造:あすか製薬　剤型:カプセルYJ:1149009M1035　院内コード:200200
成分:ブコローム,
【効】１）．　手術後及び外傷後の炎症及び腫脹の緩解。
２）．　次記疾患の消炎、鎮痛、解熱：関節リウマチ、変形性関節症、膀胱炎、多形滲出性紅斑、急性副鼻腔炎、急性中耳炎、子宮付属器炎。
３）．　痛風の高尿酸血症の是正。
【用】ブコロームとして、通常成人１日６００～１２００mgを２～４回に分割経口投与する。
ただし、リウマチ疾患には１日９００～１２００mg、痛風の高尿酸血症の是正には１日３００～９００mgとする。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ブルフェン錠１００　Brufen　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ブルフェン錠１００

規格:１００ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:科研製薬　剤型:錠　YJ:1149001F1455　院内コード:200227
成分:イブプロフェン,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：関節リウマチ、関節痛及び関節炎、神経痛及び神経炎、背腰痛、頸腕症候群、子宮付属器炎、月経困難症、紅斑（結節性紅斑、多形滲出性紅斑、遠心性環状紅斑）。
２）．　手術後並びに外傷後の消炎・鎮痛。
３）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。
【用】１）．　次記疾患並びに症状の消炎・鎮痛（関節リウマチ、関節痛及び関節炎、神経痛及び神経炎、背腰痛、頸腕症候群、子宮付属器炎、月経困難症、紅斑（結節性紅斑、多形滲出性紅斑、遠心性環状紅斑））、手術並びに外傷後の消炎・鎮痛：イブプロフェンとして、通常、成人は１日量６００ｍｇを３回に分けて経口投与する。
小児は、５～７歳１日量２００～３００ｍｇ、８～１０歳１日量３００～４００ｍｇ、１１～１５歳１日量４００～６００ｍｇを３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
２）．　次記疾患の解熱・鎮痛（急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む））：通常、成人にはイブプロフェンとして、１回量２００ｍｇを頓用する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として１日２回までとし、１日最大６００ｍｇを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

レペタン注０．２ｍｇ　Lepetan　採用　(劇向)

商品名:レペタン注０．２ｍｇ
規格:０．２ｍｇ１管　薬価:174.00　製造:大塚製薬　剤型:注射液　YJ:1149403A1050　院内コード:300013
成分:ブプレノルフィン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患並びに状態における鎮痛：術後、各種癌、心筋梗塞症。
２）．　麻酔補助。
【用】〈鎮痛を目的とする場合〉術後、各種癌：通常成人には、ブプレノルフィンとして１回０．２ｍｇ～０．３ｍｇ（体重当り４μｇ／ｋｇ～６μｇ／ｋｇ）を筋肉内に注射する。なお、初回量は０．２ｍｇとすることが望ましい。その後必要に応じて約６～８時間毎に反復注射する。症状に応じて適宜増減する。
心筋梗塞症：通常成人には、ブプレノルフィンとして１回０．２ｍｇを徐々に静脈内に注射する。症状に応じて適宜増減する。
〈麻酔補助を目的とする場合〉通常成人には、ブプレノルフィンとして０．２ｍｇ～０．４ｍｇ（体重当り４μｇ／ｋｇ～８μｇ／ｋｇ）を麻酔導入時に徐々に静脈内に注射する。症状、手術時間、併用薬などに応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ロキソプロフェンＮａ錠６０ｍｇ「三和」　Loxoprofen Na SANWA　採用

<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ロキソニン錠６０ｍｇ

商品名:ロキソプロフェンＮａ錠６０ｍｇ「三和」
規格:６０ｍｇ１錠　薬価:10.50　製造:三和化学研究所　剤型:錠　YJ:1149019F1617　院内コード:203550
成分:ロキソプロフェンナトリウム水和物,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛。
２）．　手術後、外傷後並びに抜歯後の鎮痛・消炎。
３）．　次記疾患の解熱・鎮痛：急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）。
【用】〈次記疾患並びに症状の消炎・鎮痛関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、歯痛〉通常、成人にロキソプロフェンナトリウム水和物（無水物として）１回６０ｍｇ、１日３回経口投与する。頓用の場合は、１回６０～１２０ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
〈手術後、外傷後並びに抜歯後の鎮痛・消炎〉通常、成人にロキソプロフェンナトリウム水和物（無水物として）１回６０ｍｇ、１日３回経口投与する。頓用の場合は、１回６０～１２０ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
〈次記疾患の解熱・鎮痛急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）〉通常、成人にロキソプロフェンナトリウム水和物（無水物として）１回６０ｍｇを頓用する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として１日２回までとし、１日最大１８０ｍｇを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。
【保管】室温保存。

ロピオン静注５０ｍｇ　Ropion　採用　(劇)

商品名:ロピオン静注５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ５ｍＬ１管　薬価:278.00　製造:科研製薬　剤型:注射液　YJ:1149407A1040　院内コード:300014
成分:フルルビプロフェン　アキセチル,
【効】次記疾患並びに状態における鎮痛：術後、各種癌。
【用】通常、成人にはフルルビプロフェン　アキセチルとして１回５０ｍｇをできるだけゆっくり静脈内注射する。
その後、必要に応じて反復投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、本剤の使用は経口投与が不可能な場合又は効果が不十分な場合とする。
【保管】室温保存。

ワントラム錠１００ｍｇ　Onetram　採用　(劇)

<先発品（後発品なし）>

商品名:ワントラム錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:41.60　製造:日本新薬　剤型:徐放錠　YJ:1149038G1020　院内コード:202731
成分:トラマドール塩酸塩,
【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
２）．　慢性疼痛における鎮痛。
【用】通常、成人にはトラマドール塩酸塩として１００～３００ｍｇを１日１回経口投与する。

なお、症状に応じて適宜増減する。ただし、１日４００ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

116: 抗パーキンソン剤

1161: アマンタジン製剤

アマンタジン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」 Amantadine hydrochloride 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]シンメトレル錠５０ｍｇ

商品名:アマンタジン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:1161001F1131 院内コード:202792
成分:アマンタジン塩酸塩,
【効】１）．　パーキンソン症候群。
２）．　脳梗塞後遺症に伴う意欲低下・自発性低下の改善。
３）．　Ａ型インフルエンザウイルス感染症。
【用】〈パーキンソン症候群〉通常、成人にはアマンタジン塩酸塩として初期量１日１００ｍｇを１～２回に分割経口投与し、１週間後に維持量として１日２００ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状、年齢に応じて適宜増減できるが、１日３００ｍｇ　３回分割経口投与までとする。
〈脳梗塞後遺症に伴う意欲・自発性低下の改善〉通常、成人にはアマンタジン塩酸塩として１日１００～１５０ｍｇを２～３回に分割経口投与する。
なお、症状、年齢に応じて適宜増減する。
〈Ａ型インフルエンザウイルス感染症〉通常、成人にはアマンタジン塩酸塩として１日１００ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
なお、症状、年齢に応じて適宜増減する。ただし、高齢者及び腎障害のある患者では投与量の上限を１日１００ｍｇとすること。
【保管】室温保存。

1162: ビペリデン製剤

ビペリデン塩酸塩錠１ｍｇ「アメル」(ｱｷﾈﾄﾝ) Biperiden hydrochloride AMEL 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]アキネトン錠１ｍｇ

商品名:ビペリデン塩酸塩錠１ｍｇ「アメル」
規格:１ｍｇ１錠 薬価:6.10 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1162001F1074 院内コード:203794
成分:ビペリデン塩酸塩,
【効】１）．　特発性パーキンソニズム。
２）．　その他のパーキンソニズム（脳炎後パーキンソニズム、動脈硬化性パーキンソニズム、中毒性パーキンソニズム）。
３）．　向精神薬投与によるパーキンソニズム・向精神薬投与によるジスキネジア＜遅発性を除く＞・向精神薬投与によるアカシジア。
【用】ビペリデン塩酸塩として、通常成人１回１ｍｇ１日２回よりはじめ、その後漸増し、１日３～６ｍｇを分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1169: その他の抗パーキンソン剤

アーテン錠２ｍｇ Artane 採用

商品名:アーテン錠（２ｍｇ）
規格:２ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:ファイザー 剤型:錠 YJ:1169001F1024 院内コード:200023
成分:トリヘキシフェニジル塩酸塩,
【効】１）．　特発性パーキンソニズム。
２）．　その他のパーキンソニズム（脳炎後パーキンソニズム、動脈硬化性パーキンソニズム）。
３）．　向精神薬投与によるパーキンソニズム・向精神薬投与によるジスキネジア＜遅発性を除く＞・向精神薬投与によるアカシジア。
【用】〈特発性パーキンソニズム及びその他のパーキンソニズム（脳炎後、動脈硬化性）〉通常成人にはトリヘキシフェニジル塩酸塩として、第１日目１ｍｇ、第２日目２ｍｇ、以後１日につき２ｍｇずつ増量し、１日量６～１０ｍｇを維持量として３～４回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア（遅発性を除く）・アカシジア〉通常成人にはトリヘキシフェニジル塩酸塩として、１日量２～１０ｍｇを３～４回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アジレクト錠０．５ｍｇ Azilect 採用 (劇)
<先発品（後発品なし）>

商品名:アジレクト錠０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１錠 薬価:503.50 製造:武田薬品 剤型:錠 YJ:1169017F1025 院内コード:203167
成分:ラサギリンメシル酸塩,
【効】パーキンソン病。
【用】通常、成人にはラサギリンとして１ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

アジレクト錠１ｍｇ Azilect 採用 (劇)
<先発品（後発品なし）>

商品名:アジレクト錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠 薬価:928.80 製造:武田薬品 剤型:錠 YJ:1169017F2021 院内コード:203168
成分:ラサギリンメシル酸塩,
【効】パーキンソン病。
【用】通常、成人にはラサギリンとして１ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

エフピーＯＤ錠２．５ FP-OD 採用 (劇覚)
<先発品（後発品あり）>

商品名:エフピーＯＤ錠２．５
規格:２．５ｍｇ１錠 薬価:225.20 製造:エフピー 剤型:錠 YJ:1169010F2020 院内コード:201065

成分:セレギリン塩酸塩,
【効】パーキンソン病＜レボドパ含有製剤を併用：重症度ステージ１～４＞、パーキンソン病＜レボドパ含有製剤を併用しない：重症度ステージ１～３＞（重症度ステージ：Ｙａｈｒ重症度ステージ）。
【用】〈レボドパ含有製剤を併用する場合〉通常、成人にセレギリン塩酸塩として１日１回２．５ｍｇを朝食後服用から始め、２週ごとに１日量として２．５ｍｇずつ増量し、最適投与量を定めて、維持量とする（標準維持量１日７．５ｍｇ）。１日量がセレギリン塩酸塩として５．０ｍｇ以上の場合は朝食及び昼食後に分服する。ただし、７．５ｍｇの場合は朝食後５．０ｍｇ及び昼食後２．５ｍｇを服用する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが１日１０ｍｇを超えないこととする。
〈レボドパ含有製剤を併用しない場合〉通常、成人にセレギリン塩酸塩として１日１回２．５ｍｇを朝食後服用から始め、２週ごとに１日量として２．５ｍｇずつ増量し、１日１０ｍｇとする。１日量がセレギリン塩酸塩として５．０ｍｇ以上の場合は朝食及び昼食後に分服する。ただし、７．５ｍｇの場合は朝食後５．０ｍｇ及び昼食後２．５ｍｇを服用する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが１日１０ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

カバサール錠０．２５ｍｇ Cabaser 採用 (劇) <先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:カバサール錠０．２５ｍｇ
規格:０．２５ｍｇ１錠 薬価:30.60 製造:ファイザー 剤型:錠 YJ:1169011F1028 院内コード:200085
成分:カベルゴリン,
【効】１）．　パーキンソン病。
２）．　乳汁漏出症。
３）．　高プロラクチン血性排卵障害。
４）．　高プロラクチン血性下垂体腺腫（外科的処置を必要としない場合に限る）。
５）．　産褥性乳汁分泌抑制。
６）．　生殖補助医療に伴う卵巣過剰刺激症候群の発症抑制。
【用】〈パーキンソン病〉通常、成人にはカベルゴリンとして１日量０．２５ｍｇから始め、２週目には１日量を０．５ｍｇとし、以後経過を観察しながら、１週間毎に１日量として０．５ｍｇずつ増量し、維持量を定めるが、最高用量は１日３ｍｇとする。いずれの投与量の場合も１日１回朝食後経口投与する。
〈乳汁漏出症、高プロラクチン血性排卵障害、高プロラクチン血性下垂体腺腫（外科的処置を必要としない場合に限る）〉通常、成人には１週１回（同一曜日）就寝前経口投与とし、カベルゴリンとして１回量０．２５ｍｇから始め、以後臨床症状を観察しながら、少なくとも２週間以上の間隔で１回量を０．２５ｍｇずつ増量し、維持量（標準１回量０．２５～０．７５ｍｇ）を定める。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１回量の上限は１．０ｍｇとする。
〈産褥性乳汁分泌抑制〉通常、成人にはカベルゴリンとして１．０ｍｇを胎児娩出後に１回のみ食後に経口投与する。
〈生殖補助医療に伴う卵巣過剰刺激症候群の発症抑制〉通常、カベルゴリンとして１日１回０．５ｍｇを最終的な卵胞成熟の誘発日又は採卵日から７～８日間、就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

ドパコール配合錠Ｌ１００ (ﾈｵﾄﾞﾊﾟｽﾄﾝ) Dopacol L 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ネオドパストン配合錠Ｌ１００ｍｇ

商品名:ドパコール配合錠Ｌ１００
規格:１錠 薬価:7.90 製造:ダイト 剤型:錠 YJ:1169101F1170 院内コード:202882
成分:カルビドパ水和物,レボドパ,
【効】パーキンソン病、パーキンソン症候群。
【用】レボドパ未服用患者：
通常成人に対し、レボドパ量として１回１００～１２５ｍｇ、１日１００～３００ｍｇ経口投与よりはじめ、毎日又は隔日にレボドパ量として１００～１２５ｍｇ宛増量し、最適投与量を定め維持量（標準維持量はレボドパ量として１回２００～２５０ｍｇ、１日３回）とする。
なお、症状により適宜増減するが、レボドパ量として１日１５００ｍｇを超えないこととする。
レボドパ既服用患者：
通常成人に対し、レボドパ単味製剤の服用後、少なくとも８時間の間隔をおいてから、レボドパ１日維持量の約１／５量に相当するレボドパ量を目安として初回量をきめ、１日３回に分けて経口投与する。以後、症状により適宜増減して最適投与量を定め維持量（標準維持量はレボドパ量として１回２００～２５０ｍｇ、１日３回）とするが、レボドパ量として１日１５００ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

ドプスＯＤ錠１００ｍｇ Dops OD 採用 <先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:ドプスＯＤ錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠 薬価:28.20 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1169006F1027 院内コード:202466
成分:ドロキシドパ,
【効】１）．　パーキンソン病＜Ｙａｈｒ重症度ステージ３＞におけるすくみ足、たちくらみの改善。
２）．　次記疾患における起立性低血圧、失神、たちくらみの改善：シャイドレーガー症候群、家族性アミロイドポリニューロパチー。
３）．　起立性低血圧を伴う血液透析患者における次記症状の改善：めまい・ふらつき・たちくらみ、倦怠感、脱力感。
【用】〈パーキンソン病の場合〉通常成人に対し、ドロキシドパとして１日量１００ｍｇ、１日１回の経口投与より始め、隔日に１００ｍｇずつ増量、最適投与量を定め維持量とする（標準維持量は１日６００ｍｇ、１日３回分割投与）。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日９００ｍｇを超えないこととする。
〈シャイドレーガー症候群、家族性アミロイドポリニューロパチーの場合〉通常成人に対し、ドロキシドパとして１日量２００～３００ｍｇを２～３回に分けて経口投与より始め、数日から１週間毎に１日量１００ｍｇずつ増量、最適投与量を定め維持量とする（標準維持量は１日３００～６００ｍｇ、１日３回分割投与）。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日９００ｍｇを超えないこととする。
〈血液透析患者の場合〉通常成人に対し、ドロキシドパとして１回量２００～４００ｍｇを透析開始３０分から１時間前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。１回量は４００ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

ニュープロパッチ１３．５ｍｇ Neupro 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:ニュープロパッチ１３．５mg
規格:１３．５mg１枚　薬価:527.30　製造:大塚製薬　剤型:貼付剤　YJ:1169700S4024　院内コード:202413
成分:ロチゴチン,
【効】パーキンソン病。
【用】通常、成人にはロチゴチンとして１日１回４．５mg／日からはじめ、以後経過を観察しながら１週間毎に１日量として４．５mgずつ増量し維持量（標準１日量９mg～３６mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、１日量は３６mgを超えないこと。
本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、２４時間毎に貼り替える。
【保管】室温保存。

ニュープロパッチ２．２５mg　Neupro　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ニュープロパッチ２．２５mg
規格:２．２５mg１枚　薬価:172.60　製造:大塚製薬　剤型:貼付剤　YJ:1169700S1025　院内コード:202410
成分:ロチゴチン,
【効】１）．　パーキンソン病。
２）．　中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（中等度から高度の特発性下肢静止不能症候群）。
【用】〈パーキンソン病〉通常、成人にはロチゴチンとして１日１回４．５mg／日からはじめ、以後経過を観察しながら１週間毎に１日量として４．５mgずつ増量し維持量（標準１日量９mg～３６mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、１日量は３６mgを超えないこと。
本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、２４時間毎に貼り替える。
〈中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）〉通常、成人にはロチゴチンとして１日１回２．２５mg／日からはじめ、以後経過を観察しながら１週間以上の間隔をあけて１日量として２．２５mgずつ増量し維持量（標準１日量４．５mg～６．７５mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、１日量は６．７５mgを超えないこと。
本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、２４時間毎に貼り替える。
【保管】室温保存。

ニュープロパッチ４．５mg　Neupro　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ニュープロパッチ４．５mg
規格:４．５mg１枚　薬価:267.60　製造:大塚製薬　剤型:貼付剤　YJ:1169700S2021　院内コード:202411
成分:ロチゴチン,
【効】１）．　パーキンソン病。
２）．　中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（中等度から高度の特発性下肢静止不能症候群）。
【用】〈パーキンソン病〉通常、成人にはロチゴチンとして１日１回４．５mg／日からはじめ、以後経過を観察しながら１週間毎に１日量として４．５mgずつ増量し維持量（標準１日量９mg～３６mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、１日量は３６mgを超えないこと。
本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、２４時間毎に貼り替える。
〈中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）〉通常、成人にはロチゴチンとして１日１回２．２５mg／日からはじめ、以後経過を観察しながら１週間以上の間隔をあけて１日量として２．２５mgずつ増量し維持量（標準１日量４．５mg～６．７５mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、１日量は６．７５mgを超えないこと。
本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、２４時間毎に貼り替える。
【保管】室温保存。

ニュープロパッチ９mg　Neupro　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ニュープロパッチ９mg
規格:９mg１枚　薬価:410.50　製造:大塚製薬　剤型:貼付剤　YJ:1169700S3028　院内コード:202412
成分:ロチゴチン,
【効】パーキンソン病。
【用】通常、成人にはロチゴチンとして１日１回４．５mg／日からはじめ、以後経過を観察しながら１週間毎に１日量として４．５mgずつ増量し維持量（標準１日量９mg～３６mg）を定める。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、１日量は３６mgを超えないこと。
本剤は肩、上腕部、腹部、側腹部、臀部、大腿部のいずれかの正常な皮膚に貼付し、２４時間毎に貼り替える。
【保管】室温保存。

ノウリアスト錠２０mg　Nouriast　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ノウリアスト錠２０mg
規格:２０mg１錠　薬価:747.70　製造:協和キリン　剤型:錠　YJ:1169016F1020　院内コード:202426
成分:イストラデフィリン,
【効】レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるウェアリングオフ現象の改善。
【用】本剤は、レボドパ含有製剤と併用する。通常、成人にはイストラデフィリンとして２０mgを１日１回経口投与する。なお、症状により４０mgを１日１回経口投与できる。
【保管】室温保存。

ビ・シフロール錠０．１２５mg　BI･sifrol　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ビ・シフロール錠０．１２５mg
規格:０．１２５mg１錠　薬価:15.70　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:1169012F1022　院内コード:200206
成分:プラミペキソール塩酸塩水和物,
【効】１）．　パーキンソン病。
２）．　中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（中等度から高度の特発性下肢静止不能症候群）。
【用】〈パーキンソン病〉通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として１日量０．２５mgからはじめ、２週目に１日量を０．５mgとし、以後経過を観察しながら、１週間毎に１日量として０．５mgずつ増量し、維持量（標準１日量１．５～４．５mg）を定める。１日量がプラミペキソール塩酸塩水和物として１．５mg未満の場合は２回に分割して朝夕食後に、１．５mg以上の場合は３回に分割して毎食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減ができるが、１日量は４．５mgを超えないこと。
〈中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）〉通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として０．２５mgを

１日１回就寝２～３時間前に経口投与する。投与は１日０．１２５ｍｇより開始し、症状に応じて１日０．７５ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこと。
【保管】室温保存。

ビ・シフロール錠０．５ｍｇ　BI･sifrol　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ビ・シフロール錠０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:57.60　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:1169012F2029　院内コード:200207
成分:プラミペキソール塩酸塩水和物,
【効】１）．　パーキンソン病。
２）．　中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（中等度から高度の特発性下肢静止不能症候群）。
【用】〈パーキンソン病〉通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として１日量０．２５ｍｇからはじめ、２週目に１日量を０．５ｍｇとし、以後経過を観察しながら、１週間毎に１日量として０．５ｍｇずつ増量し、維持量（標準１日量１．５～４．５ｍｇ）を定める。１日量がプラミペキソール塩酸塩水和物として１．５ｍｇ未満の場合は２回に分割して朝夕食後に、１．５ｍｇ以上の場合は３回に分割して毎食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減ができるが、１日量は４．５ｍｇを超えないこと。
〈中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）〉通常、成人にはプラミペキソール塩酸塩水和物として０．２５ｍｇを１日１回就寝２～３時間前に経口投与する。投与は１日０．１２５ｍｇより開始し、症状に応じて１日０．７５ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこと。
【保管】室温保存。

117: 精神神経用剤

1171: クロルプロマジン製剤

ウインタミン細粒（１０％）　Wintermin　採用　(劇)　Hi
商品名:ウインタミン細粒（１０％）
規格:１０％１ｇ　薬価:9.80　製造:共和薬品　剤型:細粒　YJ:1171005C1024　院内コード:201059
成分:クロルプロマジンフェノールフタリン酸塩,
【効】統合失調症、躁病、神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ、悪心・嘔吐、吃逆、破傷風に伴う痙攣、麻酔前投薬、人工冬眠、催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強。
【用】通常、成人にはクロルプロマジン塩酸塩として１日３０～１００ｍｇを分割経口投与する。
精神科領域において用いる場合には、クロルプロマジン塩酸塩として、通常１日５０～４５０ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

コントミン筋注２５ｍｇ　Contomin　採用　(劇)　Hi
商品名:コントミン筋注２５ｍｇ
規格:０．５％５ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:田辺ファーマ　剤型:注射液　YJ:1171400A2054　院内コード:300017
成分:クロルプロマジン塩酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　躁病。
３）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
４）．　悪心・嘔吐。
５）．　吃逆。
６）．　破傷風に伴う痙攣。
７）．　麻酔前投薬。
８）．　人工冬眠。
９）．　催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強。
【用】クロルプロマジン塩酸塩として、通常成人１回１０～５０ｍｇを筋肉内に緩徐に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

コントミン糖衣錠２５ｍｇ　Contomin　採用　Hi
商品名:コントミン糖衣錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.00　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:1171001F2177　院内コード:200612
成分:クロルプロマジン塩酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　躁病。
３）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
４）．　悪心・嘔吐。
５）．　吃逆。
６）．　破傷風に伴う痙攣。
７）．　麻酔前投薬。
８）．　人工冬眠。
９）．　催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強。
【用】クロルプロマジン塩酸塩として、通常成人１日３０～１００ｍｇを分割経口投与する。精神科領域において用いる場合には、通常１日５０～４５０ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

コントミン糖衣錠５０ｍｇ　Contomin　採用　(劇)　Hi
商品名:コントミン糖衣錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:10.00　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:1171001F3203　院内コード:202556

成分:クロルプロマジン塩酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　躁病。
３）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
４）．　悪心・嘔吐。
５）．　吃逆。
６）．　破傷風に伴う痙攣。
７）．　麻酔前投薬。
８）．　人工冬眠。
９）．　催眠・鎮静・鎮痛剤の効力増強。
【用】クロルプロマジン塩酸塩として、通常成人１日３０～１００ｍｇを分割経口投与する。精神科領域において用いる場合には、通常１日５０～４５０ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1172: フェノチアジン系製剤

ノバミン錠５ｍｇ　Novamin　採用　Hi

商品名:ノバミン錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1172010F1037　院内コード:200390
成分:プロクロルペラジンマレイン酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　術前・術後等の悪心・術前・術後等の嘔吐。
【用】通常、成人にはプロクロルペラジンとして１日５～２０ｍｇを分割経口投与する。
精神科領域において用いる場合には、通常、成人１日１５～４５ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヒルナミン細粒１０％(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)　Hirnamin　採用　(劇)　Hi

商品名:ヒルナミン細粒１０％
規格:１０％１ｇ　薬価:14.30　製造:共和薬品　剤型:細粒　YJ:1172014C1055　院内コード:203726
成分:レボメプロマジンマレイン酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　躁病。
３）．　うつ病における不安・緊張。
【用】通常、成人にはレボメプロマジンとして１日２５～２００ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヒルナミン錠（２５ｍｇ）(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)　Hirnamin　採用　Hi

商品名:ヒルナミン錠（２５ｍｇ）
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1172014F2139　院内コード:203724
成分:レボメプロマジンマレイン酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　躁病。
３）．　うつ病における不安・緊張。
【用】レボメプロマジンとして、通常成人１日２５～２００ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヒルナミン錠（５ｍｇ）(ﾚﾎﾞﾄﾐﾝ)　Hirnamin　採用　Hi

商品名:ヒルナミン錠（５ｍｇ）
規格:５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1172014F1027　院内コード:203723
成分:レボメプロマジンマレイン酸塩,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　躁病。
３）．　うつ病における不安・緊張。
【用】レボメプロマジンとして、通常成人１日２５～２００ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

フルデカシン筋注２５ｍｇ　Fludecasin　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:フルデカシン筋注２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１ｍＬ１瓶　薬価:1383.00　製造:田辺ファーマ　剤型:注射液　YJ:1172405A1031　院内コード:300545
成分:フルフェナジンデカン酸エステル,
【効】統合失調症。
【用】通常成人には、フルフェナジンデカン酸エステルとして１回１２．５ｍｇ～７５ｍｇを４週間隔で筋肉内注射する。
薬量及び注射間隔は病状又は本剤による随伴症状の程度に応じて適宜増減並びに間隔を調節する。
なお、初回用量は、可能な限り少量より始め、５０ｍｇを超えないものとする。
【保管】室温保存。

1174: イミプラミン系製剤

アナフラニール錠１０mg　Anafranil　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:アナフラニール錠１０mg
規格:１０mg１錠　薬価:10.20　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:錠　YJ:1174002F1029　院内コード:201048
成分:クロミプラミン塩酸塩,
【効】１）．　精神科領域におけるうつ病・うつ状態。
２）．　遺尿症。
３）．　ナルコレプシーに伴う情動脱力発作。
【用】〈精神科領域におけるうつ病・うつ状態〉通常、成人にはクロミプラミン塩酸塩として１日５０～１００mgを１～３回に分割経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は２２５mgまでとする。
〈遺尿症〉通常、６歳未満の幼児にはクロミプラミン塩酸塩として１日１０～２５mgを、また６歳以上の小児には１日２０～５０mgを１～２回に分割経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。
〈ナルコレプシーに伴う情動脱力発作〉通常、成人にはクロミプラミン塩酸塩として１日１０～７５mgを１～３回に分割経口投与する。
【保管】室温保存。

アナフラニール錠２５mg　Anafranil　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:アナフラニール錠２５mg
規格:２５mg１錠　薬価:10.80　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:錠　YJ:1174002F2025　院内コード:201049
成分:クロミプラミン塩酸塩,
【効】１）．　精神科領域におけるうつ病・うつ状態。
２）．　遺尿症。
３）．　ナルコレプシーに伴う情動脱力発作。
【用】〈精神科領域におけるうつ病・うつ状態〉通常、成人にはクロミプラミン塩酸塩として１日５０～１００mgを１～３回に分割経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は２２５mgまでとする。
〈遺尿症〉通常、６歳未満の幼児にはクロミプラミン塩酸塩として１日１０～２５mgを、また６歳以上の小児には１日２０～５０mgを１～２回に分割経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。
〈ナルコレプシーに伴う情動脱力発作〉通常、成人にはクロミプラミン塩酸塩として１日１０～７５mgを１～３回に分割経口投与する。
【保管】室温保存。

トフラニール錠１０mg　Tofranil　採用　Hi
商品名:トフラニール錠１０mg
規格:１０mg１錠　薬価:10.80　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:錠　YJ:1174006F1078　院内コード:200174
成分:イミプラミン塩酸塩,
【効】１）．　精神科領域におけるうつ病・うつ状態。
２）．　遺尿症（昼・夜）。
【用】〈精神科領域におけるうつ病・うつ状態〉イミプラミン塩酸塩として、通常成人１日３０～７０mgを初期用量とし、１日２００mgまで漸増し、分割経口投与する。まれに３００mgまで増量することもある。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈遺尿症（昼・夜）〉通常学童は１日量３０～５０mgを１～２回経口投与する。
ただし、症状および年齢に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

1179: その他の精神神経用剤

アタラックス－Ｐ注射液５０mg　Atarax-P　採用　Hi
商品名:アタラックス－Ｐ注射液（５０mg／ｍｌ）
規格:５％１mＬ１管　薬価:63.00　製造:ファイザー　剤型:注射液　YJ:1179401A2022　院内コード:300020
成分:ヒドロキシジン塩酸塩,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
２）．　麻酔前投薬。
３）．　術前・術後の悪心・術前・術後の嘔吐の防止。
【用】静脈内注射ヒドロキシジン塩酸塩として、通常成人１回２５～５０mgを必要に応じ４～６時間毎に静脈内注射するか又は点滴静注する。ただし、１回の静注量は１００mgを超えてはならず、２５mg／分以上の速度で注入しないこと。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
筋肉内注射ヒドロキシジン塩酸塩として、通常成人１回５０～１００mgを必要に応じ４～６時間毎に筋肉内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アタラックス錠１０mg　Atarax　採用　Hi
商品名:アタラックス錠１０mg
規格:１０mg１錠　薬価:6.30　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:1179005F1053　院内コード:200372
成分:ヒドロキシジン塩酸塩,
【効】１）．　蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）。
２）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
【用】皮膚科領域には、ヒドロキシジン塩酸塩として、通常成人１日３０～６０mgを２～３回に分割経口投与する。
神経症における不安・緊張・抑うつには、ヒドロキシジン塩酸塩として、通常成人１日７５～１５０mgを３～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アトモキセチン錠１０mg「トーワ」(ｽﾄﾗﾃﾗ)　Atomoxetine TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ストラテラカプセル１０mg
商品名:アトモキセチン錠１０mg「トーワ」
規格:１０mg１錠　薬価:43.50　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179050F2047　院内コード:203170

成分:アトモキセチン塩酸塩,
【効】注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）。
【用】〈１８歳未満の患者〉通常、１８歳未満の患者には、アトモキセチンとして１日０．５ｍｇ／ｋｇより開始し、その後１日０．８ｍｇ／ｋｇとし、さらに１日１．２ｍｇ／ｋｇまで増量した後、１日１．２～１．８ｍｇ／ｋｇで維持する。
ただし、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても１日２回に分けて経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日量は１．８ｍｇ／ｋｇ又は１２０ｍｇのいずれか少ない量を超えないこと。
〈１８歳以上の患者〉通常、１８歳以上の患者には、アトモキセチンとして１日４０ｍｇより開始し、その後１日８０ｍｇまで増量した後、１日８０～１２０ｍｇで維持する。
ただし、１日８０ｍｇまでの増量は１週間以上、その後の増量は２週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても１日１回又は１日２回に分けて経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日量は１２０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

アトモキセチン錠４０ｍｇ「トーワ」(ｽﾄﾗﾃﾗ) Atomoxetine TOWA 採用 (劇) Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ストラテラカプセル４０ｍｇ

商品名:アトモキセチン錠４０ｍｇ「トーワ」
規格:４０ｍｇ１錠 薬価:55.10 製造:東和薬品 剤型:錠 YJ:1179050F4040 院内コード:203171
成分:アトモキセチン塩酸塩,
【効】注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）。
【用】〈１８歳未満の患者〉通常、１８歳未満の患者には、アトモキセチンとして１日０．５ｍｇ／ｋｇより開始し、その後１日０．８ｍｇ／ｋｇとし、さらに１日１．２ｍｇ／ｋｇまで増量した後、１日１．２～１．８ｍｇ／ｋｇで維持する。
ただし、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても１日２回に分けて経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日量は１．８ｍｇ／ｋｇ又は１２０ｍｇのいずれか少ない量を超えないこと。
〈１８歳以上の患者〉通常、１８歳以上の患者には、アトモキセチンとして１日４０ｍｇより開始し、その後１日８０ｍｇまで増量した後、１日８０～１２０ｍｇで維持する。
ただし、１日８０ｍｇまでの増量は１週間以上、その後の増量は２週間以上の間隔をあけて行うこととし、いずれの投与量においても１日１回又は１日２回に分けて経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日量は１２０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

アリピプラゾール錠１２ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) Aripiprazole 採用 (劇) Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エビリファイ錠１２ｍｇ

商品名:アリピプラゾール錠１２ｍｇ「サワイ」
規格:１２ｍｇ１錠 薬価:26.60 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:1179045F3077 院内コード:203648
成分:アリピプラゾール,
【効】１）． 統合失調症。
２）． 双極性障害における躁症状の改善。
３）． うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）。
４）． 小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１日６～１２ｍｇを開始用量、１日６～２４ｍｇを維持用量とし、１回又は２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１２～２４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、開始用量は２４ｍｇとし、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）〉通常、成人にはアリピプラゾールとして３ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
〈小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性〉通常、アリピプラゾールとして１日１ｍｇを開始用量、１日１～１５ｍｇを維持用量とし、１日１回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として最大３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

アリピプラゾール錠１ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) Aripiprazole SAWAI 採用 (劇) Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エビリファイ錠１ｍｇ

商品名:アリピプラゾール錠１ｍｇ「サワイ」
規格:１ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:1179045F8036 院内コード:203645
成分:アリピプラゾール,
【効】１）． 統合失調症。
２）． 双極性障害における躁症状の改善。
３）． うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）。
４）． 小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１日６～１２ｍｇを開始用量、１日６～２４ｍｇを維持用量とし、１回又は２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１２～２４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、開始用量は２４ｍｇとし、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）〉通常、成人にはアリピプラゾールとして３ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
〈小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性〉通常、アリピプラゾールとして１日１ｍｇを開始用量、１日１～１５ｍｇを維持用量とし、１日１回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として最大３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

アリピプラゾール錠３ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ) Aripiprazole 採用 (劇) Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]エビリファイ錠３ｍｇ

商品名:アリピプラゾール錠３ｍｇ「サワイ」
規格:３ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1179045F1074　院内コード:203646
成分:アリピプラゾール,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状の改善。
３）．　うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）。
４）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１日６～１２ｍｇを開始用量、１日６～２４ｍｇを維持用量とし、１回又は２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１２～２４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、開始用量は２４ｍｇとし、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）〉通常、成人にはアリピプラゾールとして３ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
〈小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性〉通常、アリピプラゾールとして１日１ｍｇを開始用量、１日１～１５ｍｇを維持用量とし、１日１回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として最大３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

アリピプラゾール錠６ｍｇ「サワイ」(ｴﾋﾞﾘﾌｧｲ)　Aripiprazole　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]エビリファイ錠６ｍｇ
商品名:アリピプラゾール錠６ｍｇ「サワイ」
規格:６ｍｇ１錠　薬価:14.40　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1179045F2070　院内コード:203647
成分:アリピプラゾール,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状の改善。
３）．　うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）。
４）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１日６～１２ｍｇを開始用量、１日６～２４ｍｇを維持用量とし、１回又は２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはアリピプラゾールとして１２～２４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、開始用量は２４ｍｇとし、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は３０ｍｇを超えないこと。
〈うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）〉通常、成人にはアリピプラゾールとして３ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
〈小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性〉通常、アリピプラゾールとして１日１ｍｇを開始用量、１日１～１５ｍｇを維持用量とし、１日１回経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、増量幅は１日量として最大３ｍｇとし、１日量は１５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

イフェクサーＳＲカプセル３７．５ｍｇ　Effexor SR　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:イフェクサーＳＲカプセル３７．５ｍｇ
規格:３７．５ｍｇ１カプセル　薬価:98.00　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:徐放カプセル　YJ:1179055N1021　院内コード:202694
成分:ベンラファキシン塩酸塩,
【効】１）．　うつ病・うつ状態。
２）．　全般不安症。
【用】通常、成人にはベンラファキシンとして１日３７．５ｍｇを初期用量とし、１週後より１日７５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。なお、年齢、症状に応じ１日２２５ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日用量として７５ｍｇずつ行うこと。
【保管】室温保存。

イフェクサーＳＲカプセル７５ｍｇ　Effexor SR　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:イフェクサーＳＲカプセル７５ｍｇ
規格:７５ｍｇ１カプセル　薬価:160.80　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:徐放カプセル　YJ:1179055N2028　院内コード:203198
成分:ベンラファキシン塩酸塩,
【効】１）．　うつ病・うつ状態。
２）．　全般不安症。
【用】通常、成人にはベンラファキシンとして１日３７．５ｍｇを初期用量とし、１週後より１日７５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。なお、年齢、症状に応じ１日２２５ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日用量として７５ｍｇずつ行うこと。
【保管】室温保存。

インヴェガ錠３ｍｇ　Invega　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:インヴェガ錠３ｍｇ
規格:３ｍｇ１錠　薬価:105.50　製造:ヤンセンファーマ　剤型:徐放錠　YJ:1179053G1023　院内コード:202320
成分:パリペリドン,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはパリペリドンとして６ｍｇを１日１回朝食後に経口投与する。なお、年齢、症状により１日１２ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は５日間以上の間隔をあけて１日量として３ｍｇずつ行うこと。
【保管】室温保存。

エスシタロプラムＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾚｸｻﾌﾟﾛ)　Escitalopram OD DSEP　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]レクサプロ錠１０ｍｇ
商品名:エスシタロプラムＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」

規格:１０ｍｇ１錠　薬価:44.10　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1179054F3025　院内コード:203628
成分:エスシタロプラムシュウ酸塩,
【効】うつ病・うつ状態、社会不安障害。
【用】通常、成人にはエスシタロプラムとして１０ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて行い、１日最高用量は２０ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

エチゾラム錠０．５ｍｇ「アメル」(ﾃﾞﾊﾟｽ)　Etizolam AMEL　採用　(向)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]デパス錠０．５ｍｇ
商品名:エチゾラム錠０．５ｍｇ「アメル」
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1179025F1247　院内コード:203385
成分:エチゾラム,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ・神経症における神経衰弱症状・神経症における睡眠障害。
２）．　うつ病における不安・緊張・睡眠障害。
３）．　心身症（高血圧症、胃潰瘍・十二指腸潰瘍）における身体症候ならびに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害。
４）．　統合失調症における睡眠障害。
５）．　次記疾患における不安・緊張・抑うつおよび筋緊張：頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛。
【用】〈神経症、うつ病〉通常、成人にはエチゾラムとして１日３ｍｇを３回に分けて経口投与する。
〈心身症、頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛〉通常、成人にはエチゾラムとして１日１．５ｍｇを３回に分けて経口投与する。
〈睡眠障害〉通常、成人にはエチゾラムとして１日１～３ｍｇを就寝前に１回経口投与する。
なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には、エチゾラムとして１日１．５ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

エチゾラム錠１ｍｇ「アメル」(ﾃﾞﾊﾟｽ)　Etizolam AMEL　採用　(向)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]デパス錠１ｍｇ
商品名:エチゾラム錠１ｍｇ「アメル」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1179025F2200　院内コード:203386
成分:エチゾラム,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ・神経症における神経衰弱症状・神経症における睡眠障害。
２）．　うつ病における不安・緊張・睡眠障害。
３）．　心身症（高血圧症、胃潰瘍・十二指腸潰瘍）における身体症候ならびに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害。
４）．　統合失調症における睡眠障害。
５）．　次記疾患における不安・緊張・抑うつおよび筋緊張：頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛。
【用】〈神経症、うつ病〉通常、成人にはエチゾラムとして１日３ｍｇを３回に分けて経口投与する。
〈心身症、頸椎症、腰痛症、筋収縮性頭痛〉通常、成人にはエチゾラムとして１日１．５ｍｇを３回に分けて経口投与する。
〈睡眠障害〉通常、成人にはエチゾラムとして１日１～３ｍｇを就寝前に１回経口投与する。
なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減するが、高齢者には、エチゾラムとして１日１．５ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇシリンジ　Abilify　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:エビリファイ持続性水懸筋注用４００ｍｇシリンジ
規格:４００ｍｇ１キット　薬価:40812.00　製造:大塚製薬　剤型:キット類YJ:1179410G2024　院内コード:300903
成分:アリピプラゾール水和物,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極１型障害における気分エピソードの再発・再燃抑制。
【用】通常、成人にはアリピプラゾールとして１回４００ｍｇを４週に１回臀部筋肉内又は三角筋内に投与する。なお、症状、忍容性に応じて１回量３００ｍｇに減量すること。
【保管】室温保存。

オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine OD DSEP　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ジプレキサ錠１０ｍｇ
商品名:オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:27.10　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1179044F5032　院内コード:202906
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine OD TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ジプレキサ錠１０ｍｇ
商品名:オランザピンＯＤ錠１０ｍｇ「トーワ」

規格:１０ｍｇ１錠　薬価:27.10　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179044F5105　院内コード:203902
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine OD DSEP　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠２．５ｍｇ
商品名:オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:7.10　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1179044F6039　院内コード:202904
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine OD TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠２．５ｍｇ
商品名:オランザピンＯＤ錠２．５ｍｇ「トーワ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:7.10　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179044F6101　院内コード:203900
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

オランザピンＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine OD DSEP　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠５ｍｇ
商品名:オランザピンＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:14.30　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1179044F4036　院内コード:202905
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

オランザピンＯＤ錠５ｍｇ「トーワ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine OD TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ジプレキサ錠５ｍｇ

商品名:オランザピンＯＤ錠５ｍｇ「トーワ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:16.00　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179044F4109　院内コード:203901
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

オランザピン細粒１％「ＤＳＥＰ」(ｼﾞﾌﾟﾚｷｻ)　Olanzapine DSEP　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ジプレキサ細粒１％
商品名:オランザピン細粒１％「ＤＳＥＰ」
規格:１％１ｇ　薬価:36.50　製造:第一三共エスファ　剤型:細粒　YJ:1179044C1030　院内コード:202907
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０ｍｇ経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０ｍｇを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０ｍｇに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０ｍｇを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

クエチアピン錠１００ｍｇ「明治」(ｾﾛｸｴﾙ)　Quetiapine MEIJI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]セロクエル１００ｍｇ錠
商品名:クエチアピン錠１００ｍｇ「明治」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:19.80　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:錠　YJ:1179042F2190　院内コード:202567
成分:クエチアピンフマル酸塩,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはクエチアピンとして１回２５ｍｇ、１日２又は３回より投与を開始し、患者の状態に応じて徐々に増量する。通常、１日投与量は１５０～６００ｍｇとし、２又は３回に分けて経口投与する。なお、投与量は年齢・症状により適宜増減する。ただし、１日量として７５０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

クエチアピン錠２５ｍｇ「明治」(ｾﾛｸｴﾙ)　Quetiapine MEIJI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]セロクエル２５ｍｇ錠
商品名:クエチアピン錠２５ｍｇ「明治」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:錠　YJ:1179042F1194　院内コード:202566
成分:クエチアピンフマル酸塩,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはクエチアピンとして１回２５ｍｇ、１日２又は３回より投与を開始し、患者の状態に応じて徐々に増量する。通常、１日投与量は１５０～６００ｍｇとし、２又は３回に分けて経口投与する。なお、投与量は年齢・症状により適宜増減する。ただし、１日量として７５０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

クレミン錠２５ｍｇ　Cremin　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:クレミン錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:23.20　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:1179035F3022　院内コード:201071
成分:モサプラミン塩酸塩,
【効】統合失調症。
【用】モサプラミン塩酸塩として、通常、成人１日３０～１５０ｍｇを３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日３００ｍｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

クロザリル錠１００ｍｇ　Clozaril　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:クロザリル錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:221.10　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:錠　YJ:1179049F2028　院内コード:202867
成分:クロザピン,
【効】治療抵抗性統合失調症。

【用】通常、成人にはクロザピンとして初日は１２．５mg（２５mg錠の半分）、２日目は２５mgを１日１回経口投与する。３日目以降は症状に応じて１日２５mgずつ増量し、原則３週間かけて１日２００mgまで増量するが、１日量が５０mgを超える場合には２～３回に分けて経口投与する。維持量は１日２００～４００mgを２～３回に分けて経口投与することとし、症状に応じて適宜増減する。ただし、１回の増量は４日以上の間隔をあけ、増量幅としては１日１００mgを超えないこととし、最高用量は１日６００mgまでとする。
【保管】室温保存。

クロザリル錠２５mg Clozaril 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:クロザリル錠２５mg
規格:２５mg１錠 薬価:63.10 製造:ノバルティス　ファーマ 剤型:錠 YJ:1179049F1021 院内コード:202866
成分:クロザピン,
【効】治療抵抗性統合失調症。
【用】通常、成人にはクロザピンとして初日は１２．５mg（２５mg錠の半分）、２日目は２５mgを１日１回経口投与する。３日目以降は症状に応じて１日２５mgずつ増量し、原則３週間かけて１日２００mgまで増量するが、１日量が５０mgを超える場合には２～３回に分けて経口投与する。維持量は１日２００～４００mgを２～３回に分けて経口投与することとし、症状に応じて適宜増減する。ただし、１回の増量は４日以上の間隔をあけ、増量幅としては１日１００mgを超えないこととし、最高用量は１日６００mgまでとする。
【保管】室温保存。

クロチアゼパム錠５mg「サワイ」 Clotiazepam 採用 (向) Hi <後発品（加算対象外）> [先発品:臨時使用]リーゼ錠５mg
商品名:クロチアゼパム錠５mg「サワイ」
規格:５mg１錠 薬価:10.80 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:1179012F1169 院内コード:202813
成分:クロチアゼパム,
【効】１）．　心身症（消化器疾患、循環器疾患）における身体症候ならびに不安・緊張・心気・抑うつ・睡眠障害。
２）．　麻酔前投薬。
３）．　次記疾患におけるめまい・肩こり・食欲不振：自律神経失調症。
【用】用量は患者の年齢、症状により決定するが、通常成人にはクロチアゼパムとして１日１５～３０mgを１日３回に分けて経口投与する。
麻酔前投薬の場合は、就寝前または手術前にクロチアゼパムとして１０～１５mgを経口投与する。
【保管】室温保存。

コンサータ錠１８mg Concerta 採用 (劇向) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:コンサータ錠１８mg
規格:１８mg１錠 薬価:232.00 製造:ヤンセンファーマ 剤型:徐放錠 YJ:1179009G1022 院内コード:203058
成分:メチルフェニデート塩酸塩,
【効】注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）。
【用】〈１８歳未満の患者〉通常、１８歳未満の患者にはメチルフェニデート塩酸塩として１８mgを初回用量、１８～４５mgを維持用量として、１日１回朝経口投与する。増量が必要な場合は、１週間以上の間隔をあけて１日用量として９mg又は１８mgの増量を行う。なお、症状により適宜増減する。ただし、１日用量は５４mgを超えないこと。
〈１８歳以上の患者〉通常、１８歳以上の患者にはメチルフェニデート塩酸塩として１８mgを初回用量として、１日１回朝経口投与する。増量が必要な場合は、１週間以上の間隔をあけて１日用量として９mg又は１８mgの増量を行う。なお、症状により適宜増減する。ただし、１日用量は７２mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

コンサータ錠２７mg Concerta 採用 (劇向) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:コンサータ錠２７mg
規格:２７mg１錠 薬価:257.70 製造:ヤンセンファーマ 剤型:徐放錠 YJ:1179009G2029 院内コード:203059
成分:メチルフェニデート塩酸塩,
【効】注意欠陥／多動性障害（ＡＤ／ＨＤ）。
【用】〈１８歳未満の患者〉通常、１８歳未満の患者にはメチルフェニデート塩酸塩として１８mgを初回用量、１８～４５mgを維持用量として、１日１回朝経口投与する。増量が必要な場合は、１週間以上の間隔をあけて１日用量として９mg又は１８mgの増量を行う。なお、症状により適宜増減する。ただし、１日用量は５４mgを超えないこと。
〈１８歳以上の患者〉通常、１８歳以上の患者にはメチルフェニデート塩酸塩として１８mgを初回用量として、１日１回朝経口投与する。増量が必要な場合は、１週間以上の間隔をあけて１日用量として９mg又は１８mgの増量を行う。なお、症状により適宜増減する。ただし、１日用量は７２mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

ジプレキサザイディス錠５mg Zyprexa 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:ジプレキサザイディス錠５mg
規格:５mg１錠 薬価:52.10 製造:チェプラファーム 剤型:錠 YJ:1179044F4028 院内コード:202389
成分:オランザピン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　双極性障害における躁症状及び双極性障害におけるうつ症状の改善。
３）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはオランザピンとして５～１０mgを１日１回経口投与により開始する。維持量として１日１回１０mg経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は２０mgを超えないこと。
〈双極性障害における躁症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして１０mgを１日１回経口投与により開始する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２０mgを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはオランザピンとして５mgを１日１回経口投与により開始し、その後１日１回１０mgに増量する。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、１日量は２０mgを超えないこと。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉他の制吐剤との併用において、通常、成人にはオランザピンとして５mgを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により適宜増量するが、１日量は１０mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

セルトラリン錠２５ｍｇ「サワイ」(ｼﾞｪｲｿﾞﾛﾌﾄ) Sertraline 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ジェイゾロフト錠２５ｍｇ

商品名:セルトラリン錠２５ｍｇ「サワイ」

規格:２５ｍｇ１錠 薬価:9.50 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:1179046F1117 院内コード:203791

成分:セルトラリン塩酸塩,

【効】１）．　うつ病・うつ状態。

２）．　パニック障害。

３）．　外傷後ストレス障害。

【用】通常、成人にはセルトラリンとして１日２５ｍｇを初期用量とし、１日１００ｍｇまで漸増し、１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により１日１００ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。

【保管】室温保存。

セルトラリン錠５０ｍｇ「サワイ」(ｼﾞｪｲｿﾞﾛﾌﾄ) Sertraline 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ジェイゾロフト錠５０ｍｇ

商品名:セルトラリン錠５０ｍｇ「サワイ」

規格:５０ｍｇ１錠 薬価:12.20 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:1179046F2113 院内コード:203792

成分:セルトラリン塩酸塩,

【効】１）．　うつ病・うつ状態。

２）．　パニック障害。

３）．　外傷後ストレス障害。

【用】通常、成人にはセルトラリンとして１日２５ｍｇを初期用量とし、１日１００ｍｇまで漸増し、１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により１日１００ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。

【保管】室温保存。

セレネース細粒１％ Serenace 採用 (劇) Hi <準先発品>

商品名:セレネース細粒１％

規格:１％１ｇ 薬価:27.20 製造:住友ファーマ 剤型:細粒 YJ:1179020C1191 院内コード:201086

成分:ハロペリドール,

【効】統合失調症、躁病。

【用】ハロペリドールとして、通常成人１日０．７５～２．２５ｍｇから始め、徐々に増量する。

維持量として１日３～６ｍｇを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

セレネース錠１ｍｇ Serenace 採用 (劇) Hi

商品名:セレネース錠１ｍｇ

規格:１ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1179020F2038 院内コード:201087

成分:ハロペリドール,

【効】統合失調症、躁病。

【用】ハロペリドールとして、通常成人１日０．７５～２．２５ｍｇから始め、徐々に増量する。

維持量として１日３～６ｍｇを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

セレネース錠３ｍｇ Serenace 採用 (劇) Hi

商品名:セレネース錠３ｍｇ

規格:３ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1179020F5037 院内コード:201088

成分:ハロペリドール,

【効】統合失調症、躁病。

【用】ハロペリドールとして、通常成人１日０．７５～２．２５ｍｇから始め、徐々に増量する。

維持量として１日３～６ｍｇを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

セレネース注５ｍｇ Serenace 採用 (劇) Hi

商品名:セレネース注５ｍｇ

規格:０．５％１ｍＬ１管 薬価:130.00 製造:住友ファーマ 剤型:注射液 YJ:1179404A1070 院内コード:300021

成分:ハロペリドール,

【効】統合失調症、そう病。

【用】急激な精神運動興奮などで、緊急を要する場合に用いる。ハロペリドールとして、通常成人１回５ｍｇを１日１～２回筋肉内または静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ゼプリオン水懸筋注１００ｍｇシリンジ Xeplion 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>

商品名:ゼプリオン水懸筋注１００ｍｇシリンジ

規格:１００ｍｇ１キット 薬価:44031.00 製造:ヤンセンファーマ 剤型:キット類YJ:1179409G4024 院内コード:300945

成分:パリペリドンパルミチン酸エステル,

【効】統合失調症。

【用】通常、成人にはパリペリドンとして初回１５０ｍｇ、１週後に２回目１００ｍｇを三角筋内に投与する。その後は４週に１回、パリペリドンとして７５ｍｇを三角筋又は臀部筋内に投与する。

なお、患者の症状及び忍容性に応じて、パリペリドンとして２５ｍｇから１５０ｍｇの範囲で適宜増減するが、増量は１回あたりパリペリドンとして

５０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

ゼプリオン水懸筋注１５０ｍｇシリンジ　Xeplion　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ゼプリオン水懸筋注１５０ｍｇシリンジ
規格:１５０ｍｇ１キット　薬価:56520.00　製造:ヤンセンファーマ　剤型:キット類YJ:117940９G5020　院内コード:300946
成分:パリペリドンパルミチン酸エステル,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはパリペリドンとして初回１５０ｍｇ、１週後に２回目１００ｍｇを三角筋内に投与する。その後は４週に１回、パリペリドンとして７５ｍｇを三角筋又は臀部筋内に投与する。
なお、患者の症状及び忍容性に応じて、パリペリドンとして２５ｍｇから１５０ｍｇの範囲で適宜増減するが、増量は１回あたりパリペリドンとして５０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

ゼプリオン水懸筋注７５ｍｇシリンジ　Xeplion　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ゼプリオン水懸筋注７５ｍｇシリンジ
規格:７５ｍｇ１キット　薬価:36297.00　製造:ヤンセンファーマ　剤型:キット類YJ:117940９G3028　院内コード:301001
成分:パリペリドンパルミチン酸エステル,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはパリペリドンとして初回１５０ｍｇ、１週後に２回目１００ｍｇを三角筋内に投与する。その後は４週に１回、パリペリドンとして７５ｍｇを三角筋又は臀部筋内に投与する。
なお、患者の症状及び忍容性に応じて、パリペリドンとして２５ｍｇから１５０ｍｇの範囲で適宜増減するが、増量は１回あたりパリペリドンとして５０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

テトラミド錠１０ｍｇ　Tetramide　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:テトラミド錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:7.80　製造:オルガノン　剤型:錠　YJ:1179033F1020　院内コード:200165
成分:ミアンセリン塩酸塩,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】ミアンセリン塩酸塩として、通常成人１日３０ｍｇを初期用量とし、１日６０ｍｇまで増量し、分割経口投与する。
また、前記用量は１日１回夕食後あるいは就寝前に投与できる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

デュロキセチンＯＤ錠２０ｍｇ「明治」(ｻｲﾝﾊﾞﾙﾀ)　Duloxetine OD MEIJI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]サインバルタカプセル２０ｍｇ
商品名:デュロキセチンＯＤ錠２０ｍｇ「明治」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:23.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:錠　YJ:1179052F3034　院内コード:203627
成分:デュロキセチン塩酸塩,
【効】１）．　うつ病・うつ状態。
２）．　次記疾患に伴う疼痛：糖尿病性神経障害、線維筋痛症、慢性腰痛症、変形性関節症。
【用】〈うつ病・うつ状態、糖尿病性神経障害に伴う疼痛〉通常、成人には１日１回朝食後、デュロキセチンとして４０ｍｇを経口投与する。投与は１日２０ｍｇより開始し、１週間以上の間隔を空けて１日用量として２０ｍｇずつ増量する。
なお、効果不十分な場合には、１日６０ｍｇまで増量することができる。
〈線維筋痛症に伴う疼痛、慢性腰痛症に伴う疼痛、変形性関節症に伴う疼痛〉通常、成人には１日１回朝食後、デュロキセチンとして６０ｍｇを経口投与する。投与は１日２０ｍｇより開始し、１週間以上の間隔を空けて１日用量として２０ｍｇずつ増量する。
【保管】室温保存。

トラゾドン塩酸塩錠２５ｍｇ「アメル」　Trazodone hydrochloride AMEL　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]レスリン錠２５
商品名:トラゾドン塩酸塩錠２５ｍｇ「アメル」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1179037F1053　院内コード:202767
成分:トラゾドン塩酸塩,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】トラゾドン塩酸塩として、通常、成人には１日７５～１００ｍｇを初期用量とし、１日２００ｍｇまで増量し、１～数回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

トラゾドン塩酸塩錠５０ｍｇ「アメル」　Trazodone HCl AMEL　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]レスリン錠５０
商品名:トラゾドン塩酸塩錠５０ｍｇ「アメル」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:1179037F2050　院内コード:202768
成分:トラゾドン塩酸塩,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】トラゾドン塩酸塩として、通常、成人には１日７５～１００ｍｇを初期用量とし、１日２００ｍｇまで増量し、１～数回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

トリプタノール錠１０　Tryptanol　採用　Hi

商品名:トリプタノール錠１０
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:日医工　剤型:錠　YJ:1179002F1068　院内コード:200177
成分:アミトリプチリン塩酸塩,
【効】精神科領域におけるうつ病・うつ状態、夜尿症、末梢性神経障害性疼痛。
【用】〈うつ病・うつ状態〉アミトリプチリン塩酸塩として、通常、成人１日３０～７５ｍｇを初期用量とし、１日１５０ｍｇまで漸増し、分割経口投与する。まれに３００ｍｇまで増量することもある。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈夜尿症〉アミトリプチリン塩酸塩として、１日１０～３０ｍｇを就寝前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈末梢性神経障害性疼痛〉アミトリプチリン塩酸塩として、通常、成人１日１０ｍｇを初期用量とし、その後、年齢、症状により適宜増減するが、１日１５０ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

トリンテリックス錠１０ｍｇ　Trintellix　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:トリンテリックス錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:161.70　製造:武田薬品　剤型:錠　YJ:1179060F1028　院内コード:203384
成分:ボルチオキセチン臭化水素酸塩,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】通常、成人にはボルチオキセチンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態により１日２０ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこと。
【保管】室温保存。

トレドミン錠１５ｍｇ　Toledomin　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:トレドミン錠１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:7.40　製造:旭化成セラピューティクス　剤型:錠　YJ:1179040F1136　院内コード:200179
成分:ミルナシプラン塩酸塩,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】通常、成人には、ミルナシプラン塩酸塩として１日２５ｍｇを初期用量とし、１日１００ｍｇまで漸増し、１日２～３回に分けて食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、高齢者には、１日２５ｍｇを初期用量とし、１日６０ｍｇまで漸増し、１日２～３回に分けて食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

トレドミン錠２５ｍｇ　Toledomin　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:トレドミン錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.10　製造:旭化成セラピューティクス　剤型:錠　YJ:1179040F2132　院内コード:201104
成分:ミルナシプラン塩酸塩,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】通常、成人には、ミルナシプラン塩酸塩として１日２５ｍｇを初期用量とし、１日１００ｍｇまで漸増し、１日２～３回に分けて食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、高齢者には、１日２５ｍｇを初期用量とし、１日６０ｍｇまで漸増し、１日２～３回に分けて食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ドグマチール錠１００ｍｇ　Dogmatyl　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ドグマチール錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:日医工　剤型:錠　YJ:1179016F1124　院内コード:201098
成分:スルピリド,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　うつ病・うつ状態。
【用】〈統合失調症〉スルピリドとして、通常成人１日３００～６００ｍｇを分割経口投与する。なお年齢、症状により適宜増減するが、１日１２００ｍｇまで増量することができる。
〈うつ病・うつ状態〉スルピリドとして、通常成人１日１５０～３００ｍｇを分割経口投与する。なお年齢、症状により適宜増減するが、１日６００ｍｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ドグマチール錠５０ｍｇ　Dogmatyl　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ドグマチール錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:日医工　剤型:錠　YJ:2329009F1110　院内コード:200172
成分:スルピリド,
【効】１）．　胃潰瘍・十二指腸潰瘍。
２）．　統合失調症。
３）．　うつ病・うつ状態。
【用】〈胃・十二指腸潰瘍〉スルピリドとして、通常成人１日１５０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお症状により適宜増減する。
〈統合失調症〉スルピリドとして、通常成人１日３００～６００ｍｇを分割経口投与する。なお年齢、症状により適宜増減するが、１日１２００ｍｇまで増量することができる。
〈うつ病・うつ状態〉スルピリドとして、通常成人１日１５０～３００ｍｇを分割経口投与する。なお年齢、症状により適宜増減するが、１日６００ｍｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ハロマンス注１００ｍｇ　Halomonth　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:ハロマンス注１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１ｍＬ１管　薬価:2203.00　製造:クリニジェン　剤型:注射液　YJ:1179406A2033　院内コード:300537
成分:ハロペリドールデカン酸エステル,
【効】統合失調症。
【用】ハロペリドールとして、通常１回量５０～１５０ｍｇを４週間隔で筋肉内投与する。
投薬量、注射間隔は症状に応じて適宜増減ならびに間隔を調節する。なお、初回用量は、経口ハロペリドールの１日用量の１０～１５倍を目安とし、可能な限り少量より始め、１００ｍｇを超えないものとする。
【保管】室温保存。

ハロマンス注５０ｍｇ　Halomonth　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ハロマンス注５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１ｍＬ１管　薬価:1407.00　製造:クリニジェン　剤型:注射液　YJ:1179406A1037　院内コード:300538
成分:ハロペリドールデカン酸エステル,
【効】統合失調症。
【用】ハロペリドールとして、通常１回量５０～１５０ｍｇを４週間隔で筋肉内投与する。
投薬量、注射間隔は症状に応じて適宜増減ならびに間隔を調節する。なお、初回用量は、経口ハロペリドールの１日用量の１０～１５倍を目安とし、可能な限り少量より始め、１００ｍｇを超えないものとする。
【保管】室温保存。

パロキセチン錠１０ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ)　Paroxetine MEIJI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]パキシル錠１０ｍｇ
商品名:パロキセチン錠１０ｍｇ「明治」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:12.70　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:1179041F1300　院内コード:203785
成分:パロキセチン塩酸塩水和物,
【効】１）．　うつ病・うつ状態。
２）．　パニック障害。
３）．　強迫性障害。
４）．　社会不安障害。
５）．　外傷後ストレス障害。
【用】〈うつ病・うつ状態〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０～４０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０～２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。
なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈パニック障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして３０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日３０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈強迫性障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして４０ｍｇを経口投与する。投与は１回２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日５０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈社会不安障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈外傷後ストレス障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０～２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
【保管】室温保存。

パロキセチン錠２０ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ)　Paroxetine MEIJI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]パキシル錠２０ｍｇ
商品名:パロキセチン錠２０ｍｇ「明治」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:23.00　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:1179041F2307　院内コード:203786
成分:パロキセチン塩酸塩水和物,
【効】１）．　うつ病・うつ状態。
２）．　パニック障害。
３）．　強迫性障害。
４）．　社会不安障害。
５）．　外傷後ストレス障害。
【用】〈うつ病・うつ状態〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０～４０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０～２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。
なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈パニック障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして３０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日３０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈強迫性障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして４０ｍｇを経口投与する。投与は１回２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日５０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈社会不安障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈外傷後ストレス障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０～２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
【保管】室温保存。

パロキセチン錠５ｍｇ「明治」(ﾊﾟｷｼﾙ)　Paroxetine MEIJI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]パキシル錠５ｍｇ
商品名:パロキセチン錠５ｍｇ「明治」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:1179041F3230　院内コード:203784

成分:パロキセチン塩酸塩水和物,
【効】１）．　うつ病・うつ状態。
２）．　パニック障害。
３）．　強迫性障害。
４）．　社会不安障害。
５）．　外傷後ストレス障害。
【用】〈うつ病・うつ状態〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０～４０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０～２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。
なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈パニック障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして３０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日３０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈強迫性障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして４０ｍｇを経口投与する。投与は１回２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日５０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈社会不安障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
〈外傷後ストレス障害〉通常、成人には１日１回夕食後、パロキセチンとして２０ｍｇを経口投与する。投与は１回１０～２０ｍｇより開始し、原則として１週ごとに１０ｍｇ／日ずつ増量する。なお、症状により１日４０ｍｇを超えない範囲で適宜増減する。
【保管】室温保存。

フルボキサミンマレイン酸塩錠２５ｍｇ「日医工」(ﾙﾎﾞｯｸｽ)　Fluvoxamine maleate　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]デプロメール錠２５
商品名:フルボキサミンマレイン酸塩錠２５ｍｇ「日医工」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:日医工　剤型:錠　YJ:1179039F1168　院内コード:203931
成分:フルボキサミンマレイン酸塩,
【効】うつ病・うつ状態、強迫性障害、社会不安障害。
【用】成人への投与：
〈うつ病・うつ状態、強迫性障害、社会不安障害〉通常、成人には、フルボキサミンマレイン酸塩として、１日５０ｍｇを初期用量とし、１日１５０ｍｇまで増量し、１日２回に分割して経口投与する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。
小児への投与：
〈強迫性障害〉通常、８歳以上の小児には、フルボキサミンマレイン酸塩として、１日１回２５ｍｇの就寝前経口投与から開始する。その後１週間以上の間隔をあけて１日５０ｍｇを１日２回朝及び就寝前に経口投与する。年齢・症状に応じて１日１５０ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日用量として２５ｍｇずつ行うこと。
【保管】室温保存。

フルボキサミンマレイン酸塩錠５０ｍｇ「日医工」(ﾙﾎﾞｯｸｽ)　Fluvoxamine maleate　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]デプロメール錠５０
商品名:フルボキサミンマレイン酸塩錠５０ｍｇ「日医工」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:10.90　製造:日医工　剤型:錠　YJ:1179039F2164　院内コード:203932
成分:フルボキサミンマレイン酸塩,
【効】うつ病・うつ状態、強迫性障害、社会不安障害。
【用】成人への投与：
〈うつ病・うつ状態、強迫性障害、社会不安障害〉通常、成人には、フルボキサミンマレイン酸塩として、１日５０ｍｇを初期用量とし、１日１５０ｍｇまで増量し、１日２回に分割して経口投与する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。
小児への投与：
〈強迫性障害〉通常、８歳以上の小児には、フルボキサミンマレイン酸塩として、１日１回２５ｍｇの就寝前経口投与から開始する。その後１週間以上の間隔をあけて１日５０ｍｇを１日２回朝及び就寝前に経口投与する。年齢・症状に応じて１日１５０ｍｇを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日用量として２５ｍｇずつ行うこと。
【保管】室温保存。

ブロナンセリン錠４ｍｇ「DSPB」(ﾛﾅｾﾝ)　Blonanserin　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ロナセン錠４ｍｇ
商品名:ブロナンセリン錠４ｍｇ「ＤＳＰＢ」
規格:４ｍｇ１錠　薬価:15.10　製造:住友ファーマプロモ　剤型:錠　YJ:1179048F2040　院内コード:203161
成分:ブロナンセリン,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはブロナンセリンとして１回４ｍｇ、１日２回食後経口投与より開始し、徐々に増量する。維持量として１日８～１６ｍｇを２回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２４ｍｇを超えないこと。
通常、小児にはブロナンセリンとして１回２ｍｇ、１日２回食後経口投与より開始し、徐々に増量する。維持量として１日８～１６ｍｇを２回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は１６ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

ブロナンセリン錠８ｍｇ「DSPB」(ﾛﾅｾﾝ)　Blonanserin　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ロナセン錠８ｍｇ
商品名:ブロナンセリン錠８ｍｇ「ＤＳＰＢ」
規格:８ｍｇ１錠　薬価:26.10　製造:住友ファーマプロモ　剤型:錠　YJ:1179048F3046　院内コード:203162
成分:ブロナンセリン,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはブロナンセリンとして１回４ｍｇ、１日２回食後経口投与より開始し、徐々に増量する。維持量として１日８～１６ｍｇを２回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は２４ｍｇを超えないこと。

通常、小児にはブロナンセリンとして１回２mg、１日２回食後経口投与より開始し、徐々に増量する。維持量として１日８～１６mgを２回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は１６mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

ブロムペリドール錠１mg「アメル」 Bromperidol AMEL 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）>
商品名:ブロムペリドール錠１mg「アメル」
規格:１mg１錠 薬価:6.10 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1179028F1089 院内コード:202765
成分:ブロムペリドール,
【効】統合失調症。
【用】ブロムペリドールとして、通常成人１日３～１８mgを経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日３６mgまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ブロムペリドール錠３mg「アメル」 Bromperidol AMEL 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）>
商品名:ブロムペリドール錠３mg「アメル」
規格:３mg１錠 薬価:6.30 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1179028F2131 院内コード:202766
成分:ブロムペリドール,
【効】統合失調症。
【用】ブロムペリドールとして、通常成人１日３～１８mgを経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日３６mgまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ペロスピロン塩酸塩錠４mg「アメル」(ﾙｰﾗﾝ) Perospirone hydrochloride AMEL 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ルーラン錠４mg
商品名:ペロスピロン塩酸塩錠４mg「アメル」
規格:４mg１錠 薬価:6.30 製造:共和薬品 剤型:錠 YJ:1179043F1040 院内コード:202788
成分:ペロスピロン塩酸塩水和物,
【効】統合失調症。
【用】通常、ペロスピロン塩酸塩として成人１回４mg１日３回より始め、徐々に増量する。維持量として１日１２～４８mgを３回に分けて食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は４８mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

ミルタザピン錠１５mg「明治」(ﾚﾒﾛﾝ) Mirtazapine MEIJI 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]リフレックス錠１５mg
商品名:ミルタザピン錠１５mg「明治」
規格:１５mg１錠 薬価:13.20 製造:大蔵製薬 剤型:錠 YJ:1179051F1207 院内コード:203115
成分:ミルタザピン,
【効】うつ病・うつ状態。
【用】通常、成人にはミルタザピンとして１日１５mgを初期用量とし、１５～３０mgを１日１回就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状に応じ１日４５mgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は１週間以上の間隔をあけて１日用量として１５mgずつ行うこと。
【保管】室温保存。

ラツーダ錠４０mg Latuda 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ラツーダ錠４０mg
規格:４０mg１錠 薬価:288.10 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1179061F2029 院内コード:203402
成分:ルラシドン塩酸塩,
【効】１）． 統合失調症。
２）． 双極性障害におけるうつ症状の改善。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはルラシドン塩酸塩として４０mgを１日１回食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は８０mgを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはルラシドン塩酸塩として２０～６０mgを１日１回食後経口投与する。
なお、開始用量は２０mg、増量幅は１日量として２０mgとし、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は６０mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

ラツーダ錠８０mg Latuda 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ラツーダ錠８０mg
規格:８０mg１錠 薬価:428.20 製造:住友ファーマ 剤型:錠 YJ:1179061F4021 院内コード:203482
成分:ルラシドン塩酸塩,
【効】１）． 統合失調症。
２）． 双極性障害におけるうつ症状の改善。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはルラシドン塩酸塩として４０mgを１日１回食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は８０mgを超えないこと。
〈双極性障害におけるうつ症状の改善〉通常、成人にはルラシドン塩酸塩として２０～６０mgを１日１回食後経口投与する。
なお、開始用量は２０mg、増量幅は１日量として２０mgとし、年齢、症状により適宜増減するが、１日量は６０mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

リスパダールコンスタ筋注用50mg Risperdal consta 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:リスパダールコンスタ筋注用５０mg
規格:５０mg１キット（懸濁用液付） 薬価:19079.00 製造:ヤンセンファーマ 剤型:キット類YJ:1179407G3029 院内コード:300585

成分:リスペリドン,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはリスペリドンとして１回２５ｍｇを２週間隔で臀部筋肉内投与する。なお、初回量は２５ｍｇとし、その後、症状により適宜増減するが、１回量は５０ｍｇを超えないこと。
【保管】２～８℃。

リスペリドンＯＤ錠０．５ｍｇ「トーワ」（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）　Risperidone OD TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]リスパダールＯＤ錠０．５ｍｇ

商品名:リスペリドンＯＤ錠０．５ｍｇ「トーワ」
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179038F7056　院内コード:203933
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１ｍｇ１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６ｍｇを原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２ｍｇを超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５ｍｇより開始し、４日目より１日０．５ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５ｍｇずつ増量する。但し、１日量は１ｍｇを超えないこと。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５ｍｇより開始し、４日目より１日１ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５ｍｇずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５ｍｇ、４５ｋｇ以上の場合は３ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

リスペリドンＯＤ錠１ｍｇ「トーワ」（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）　Risperidone OD TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]リスパダール錠１ｍｇ

商品名:リスペリドンＯＤ錠１ｍｇ「トーワ」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179038F5061　院内コード:203934
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１ｍｇ１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６ｍｇを原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２ｍｇを超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５ｍｇより開始し、４日目より１日０．５ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５ｍｇずつ増量する。但し、１日量は１ｍｇを超えないこと。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５ｍｇより開始し、４日目より１日１ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５ｍｇずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５ｍｇ、４５ｋｇ以上の場合は３ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

リスペリドンＯＤ錠２ｍｇ「トーワ」（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）　Risperidone OD TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]リスパダール錠２ｍｇ

商品名:リスペリドンＯＤ錠２ｍｇ「トーワ」
規格:２ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1179038F6068　院内コード:203935
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１ｍｇ１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６ｍｇを原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２ｍｇを超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５ｍｇより開始し、４日目より１日０．５ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５ｍｇずつ増量する。但し、１日量は１ｍｇを超えないこと。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５ｍｇより開始し、４日目より１日１ｍｇを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５ｍｇずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５ｍｇ、４５ｋｇ以上の場合は３ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【0.5mL/包】（ﾘｽﾊﾟﾀﾞｰﾙ）　Risperidone TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]リスパダール内用液１ｍｇ／ｍＬ

商品名:リスペリドン内用液１ｍｇ／ｍＬ「トーワ」
規格:０．１％１ｍＬ　薬価:25.40　製造:東和薬品　剤型:液　YJ:1179038S1072　院内コード:203340
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１ｍｇ（１ｍＬ）１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６ｍｇ（２～６ｍＬ）を原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２ｍｇ（１２ｍＬ）
を超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５ｍｇ（０．２５ｍＬ）より開始し、４日目より１日０．５ｍｇ（０．５ｍＬ）を１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５ｍｇ（０．２５ｍＬ）ずつ増量する。但し、１日量は１ｍｇ（１ｍＬ）を超えないこ

と。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５mg（０．５mL）より開始し、４日目より１日１mg（１mL）を１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５mg（０．５mL）ずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５mg（２．５mL）
、４５ｋｇ以上の場合は３mg（３mL）を超えないこと。
【保管】室温保存。

リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【1mL/包】(リスパダール)　Risperidone TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]リスパダール内用液１mg／mL

商品名:リスペリドン内用液１mg／mL「トーワ」
規格:０．１％１mL　薬価:25.40　製造:東和薬品　剤型:液　YJ:1179038S1072　院内コード:203341
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１mg（１mL）１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６mg（２～６mL）を原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２mg（１２mL）
を超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５mg（０．２５mL）より開始し、４日目より１日０．５mg（０．５mL）を１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５mg（０．２５mL）ずつ増量する。但し、１日量は１mg（１mL）を超えないこと。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５mg（０．５mL）より開始し、４日目より１日１mg（１mL）を１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５mg（０．５mL）ずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５mg（２．５mL）
、４５ｋｇ以上の場合は３mg（３mL）を超えないこと。
【保管】室温保存。

リスペリドン液1mg/mL「トーワ」【2mL/包】(リスパダール)　Risperidone TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]リスパダール内用液１mg／mL

商品名:リスペリドン内用液１mg／mL「トーワ」
規格:０．１％１mL　薬価:25.40　製造:東和薬品　剤型:液　YJ:1179038S1072　院内コード:203342
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１mg（１mL）１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６mg（２～６mL）を原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２mg（１２mL）
を超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５mg（０．２５mL）より開始し、４日目より１日０．５mg（０．５mL）を１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５mg（０．２５mL）ずつ増量する。但し、１日量は１mg（１mL）を超えないこと。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５mg（０．５mL）より開始し、４日目より１日１mg（１mL）を１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５mg（０．５mL）ずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５mg（２．５mL）
、４５ｋｇ以上の場合は３mg（３mL）を超えないこと。
【保管】室温保存。

リスペリドン細粒１％「トーワ」(リスパダール)　Risperidone TOWA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]リスパダール細粒１％

商品名:リスペリドン細粒１％「トーワ」
規格:１％１ｇ　薬価:45.60　製造:東和薬品　剤型:細粒　YJ:1179038C1116　院内コード:203798
成分:リスペリドン,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性。
【用】６．１．　統合失調症通常、成人にはリスペリドンとして１回１mg１日２回より開始し、徐々に増量する。維持量は通常１日２～６mgを原則として１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。但し、１日量は１２mgを超えないこと。
６．２．　小児期の自閉スペクトラム症に伴う易刺激性６．２．１．　体重１５ｋｇ以上２０ｋｇ未満の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．２５mgより開始し、４日目より１日０．５mgを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．２５mgずつ増量する。但し、１日量は１mgを超えないこと。
６．２．２．　体重２０ｋｇ以上の患者通常、リスペリドンとして１日１回０．５mgより開始し、４日目より１日１mgを１日２回に分けて経口投与する。症状により適宜増減するが、増量する場合は１週間以上の間隔をあけて１日量として０．５mgずつ増量する。但し、１日量は、体重２０ｋｇ以上４５ｋｇ未満の場合は２．５mg、４５ｋｇ以上の場合は３mgを超えないこと。
【保管】室温保存。

レキサルティＯＤ錠１mg　Rexulti OD　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:レキサルティＯＤ錠１mg
規格:１mg１錠　薬価:205.50　製造:大塚製薬　剤型:錠　YJ:1179058F4020　院内コード:203599
成分:ブレクスピプラゾール,
【効】１）．　統合失調症。

２）．　うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）。
３）．　アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感に起因する過活動又は焦燥感に起因する攻撃的言動、易刺激性に起因する過活動又は易刺激性に起因する攻撃的言動、興奮に起因する過活動又は興奮に起因する攻撃的言動。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはブレクスピプラゾールとして１日１回１ｍｇから投与を開始した後、４日以上の間隔をあけて増量し、１日１回２ｍｇを経口投与する。
〈うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）〉通常、成人にはブレクスピプラゾールとして１日１回１ｍｇを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、１日量２ｍｇに増量することができる。
〈アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動〉通常、成人にはブレクスピプラゾールとして１日１回０．５ｍｇから投与を開始した後、１週間以上の間隔をあけて増量し、１日１回１ｍｇを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、１日１回２ｍｇに増量することができるが、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこと。
【保管】室温保存。

レキサルティＯＤ錠２ｍｇ　Rexulti OD　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:レキサルティＯＤ錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠　薬価:392.60　製造:大塚製薬　剤型:錠　YJ:1179058F5026　院内コード:203600
成分:ブレクスピプラゾール,
【効】１）．　統合失調症。
２）．　うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）。
３）．　アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感に起因する過活動又は焦燥感に起因する攻撃的言動、易刺激性に起因する過活動又は易刺激性に起因する攻撃的言動、興奮に起因する過活動又は興奮に起因する攻撃的言動。
【用】〈統合失調症〉通常、成人にはブレクスピプラゾールとして１日１回１ｍｇから投与を開始した後、４日以上の間隔をあけて増量し、１日１回２ｍｇを経口投与する。
〈うつ病・うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合に限る）〉通常、成人にはブレクスピプラゾールとして１日１回１ｍｇを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、１日量２ｍｇに増量することができる。
〈アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動〉通常、成人にはブレクスピプラゾールとして１日１回０．５ｍｇから投与を開始した後、１週間以上の間隔をあけて増量し、１日１回１ｍｇを経口投与する。なお、忍容性に問題がなく、十分な効果が認められない場合に限り、１日１回２ｍｇに増量することができるが、増量は１週間以上の間隔をあけて行うこと。
【保管】室温保存。

ロドピン錠２５ｍｇ　Lodopin　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ロドピン錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:9.60　製造:ＬＴＬファーマ　剤型:錠　YJ:1179024F1030　院内コード:201156
成分:ゾテピン,
【効】統合失調症。
【用】ゾテピンとして、通常成人１日７５～１５０ｍｇを分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日４５０ｍｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ロナセンテープ２０ｍｇ　Lonasen　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ロナセンテープ２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１枚　薬価:220.70　製造:住友ファーマ　剤型:貼付剤　YJ:1179700S1021　院内コード:203381
成分:ブロナンセリン,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはブロナンセリンとして４０ｍｇを１日１回貼付するが、患者の状態に応じて最大８０ｍｇを１日１回貼付することもできる。
なお、患者の状態により適宜増減するが、１日量は８０ｍｇを超えないこと。
本剤は、胸部、腹部、背部のいずれかに貼付し、２４時間ごとに貼り替える。
【保管】室温保存。

ロナセンテープ４０ｍｇ　Lonasen　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ロナセンテープ４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１枚　薬価:413.50　製造:住友ファーマ　剤型:貼付剤　YJ:1179700S3024　院内コード:203382
成分:ブロナンセリン,
【効】統合失調症。
【用】通常、成人にはブロナンセリンとして４０ｍｇを１日１回貼付するが、患者の状態に応じて最大８０ｍｇを１日１回貼付することもできる。
なお、患者の状態により適宜増減するが、１日量は８０ｍｇを超えないこと。
本剤は、胸部、腹部、背部のいずれかに貼付し、２４時間ごとに貼り替える。
【保管】室温保存。

炭酸リチウム錠100mg「大正」(ﾘｰﾏｽ)　Lithium carbonate Taisho　採用　(劇)　Hi
商品名:炭酸リチウム錠１００ｍｇ「大正」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:トクホン　剤型:錠　YJ:1179017F1080　院内コード:203475
成分:炭酸リチウム,
【効】躁病および躁うつ病の躁状態。
【用】炭酸リチウムとして、成人では通常１日４００～６００ｍｇより開始し、１日２～３回に分割経口投与する。以後３日ないし１週間毎に、１日通常１２００ｍｇまでの治療量に漸増する。
改善がみられたならば症状を観察しながら、維持量１日通常２００～８００ｍｇの１～３回分割経口投与に漸減する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

11: 中枢神経系用薬

炭酸リチウム錠200mg「大正」(ﾘｰﾏｽ) Lithium carbonate Taisho 採用 (劇) Hi

商品名:炭酸リチウム錠２００mg「大正」
規格:２００mg１錠 薬価:12.60 製造:トクホン 剤型:錠 YJ:1179017F2087 院内コード:203476
成分:炭酸リチウム,
【効】躁病および躁うつ病の躁状態。
【用】炭酸リチウムとして、成人では通常１日４００～６００mgより開始し、１日２～３回に分割経口投与する。以後３日ないし１週間毎に、１日通常１２００mgまでの治療量に漸増する。
改善がみられたならば症状を観察しながら、維持量１日通常２００～８００mgの１～３回分割経口投与に漸減する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

118: 総合感冒剤

1180: 総合感冒剤

ペレックス配合顆粒 Pelex 採用 (劇)

商品名:ペレックス配合顆粒
規格:１g 薬価:6.90 製造:大鵬薬品 剤型:顆粒 YJ:1180105D1035 院内コード:200250
成分:アセトアミノフェン,クロルフェニラミンマレイン酸塩,サリチルアミド,無水カフェイン,
【効】感冒もしくは上気道炎に伴う次記症状の改善及び緩和：鼻汁、鼻閉、咽頭痛・喉頭痛、咳、痰、頭痛、関節痛、筋肉痛、発熱。
【用】通常、成人１回１gを１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

119: その他の中枢神経系用薬

1190: その他の中枢神経系用薬

アイモビーグ皮下注７０mgペン Aimovig 採用 (生) <先発品（後発品なし）>

商品名:アイモビーグ皮下注７０mgペン
規格:７０mg１mL１キット 薬価:38842.00 製造:アムジェン 剤型:キット類YJ:1190406G1029 院内コード:203505
成分:エレヌマブ（遺伝子組換え）,
【効】片頭痛発作の発症抑制。
【用】通常、成人にはエレヌマブ（遺伝子組換え）として７０mgを４週間に１回皮下投与する。
【保管】２～８℃で保存。

アイモビーグ皮下注７０mgペン Aimovig 採用 (生) <先発品（後発品なし）>

商品名:アイモビーグ皮下注７０mgペン
規格:７０mg１mL１キット 薬価:38842.00 製造:アムジェン 剤型:キット類YJ:1190406G1029 院内コード:301126
成分:エレヌマブ（遺伝子組換え）,
【効】片頭痛発作の発症抑制。
【用】通常、成人にはエレヌマブ（遺伝子組換え）として７０mgを４週間に１回皮下投与する。
【保管】２～８℃で保存。

アジョビ皮下注225mgｵｰﾄｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ Ajovy 採用 (生) <先発品（後発品なし）>

商品名:アジョビ皮下注２２５mgオートインジェクター
規格:２２５mg１．５mL１キット 薬価:38856.00 製造:大塚製薬 剤型:キット類YJ:1190407G2020 院内コード:203562
成分:フレマネズマブ（遺伝子組換え）,
【効】片頭痛発作の発症抑制。
【用】通常、成人にはフレマネズマブ（遺伝子組換え）として４週間に１回２２５mgを皮下投与する、又は１２週間に１回６７５mgを皮下投与する。
【保管】２～８℃で保存。

アジョビ皮下注225mgｵｰﾄｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ Ajovy 採用 (生) <先発品（後発品なし）>

商品名:アジョビ皮下注２２５mgオートインジェクター
規格:２２５mg１．５mL１キット 薬価:38856.00 製造:大塚製薬 剤型:キット類YJ:1190407G2020 院内コード:301167
成分:フレマネズマブ（遺伝子組換え）,
【効】片頭痛発作の発症抑制。
【用】通常、成人にはフレマネズマブ（遺伝子組換え）として４週間に１回２２５mgを皮下投与する、又は１２週間に１回６７５mgを皮下投与する。
【保管】２～８℃で保存。

エムガルティ皮下注１２０mgオートインジェクター Emgality 採用 (生) <先発品（後発品なし）>

商品名:エムガルティ皮下注１２０mgオートインジェクター
規格:１２０mg１mL１キット 薬価:42400.00 製造:日本イーライリリー 剤型:キット類YJ:1190404G2026 院内コード:301108
成分:ガルカネズマブ（遺伝子組換え）,

【効】片頭痛発作の発症抑制。
【用】通常、成人にはガルカネズマブ（遺伝子組換え）として初回に２４０ｍｇを皮下投与し、以降は１ヵ月間隔で１２０ｍｇを皮下投与する。
【保管】２～８℃で保存。

ガランタミンＯＤ錠１２ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾚﾐﾆｰﾙ)　Galantamine OD DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]レミニール錠１２ｍｇ
商品名:ガランタミンＯＤ錠１２ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:１２ｍｇ１錠　薬価:23.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190019F6038　院内コード:203260
成分:ガランタミン臭化水素酸塩,
【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】通常、成人にはガランタミンとして１日８ｍｇ（１回４ｍｇを１日２回）から開始し、４週間後に１日１６ｍｇ（１回８ｍｇを１日２回）に増量し、経口投与する。なお、症状に応じて１日２４ｍｇ（１回１２ｍｇを１日２回）まで増量できるが、増量する場合は変更前の用量で４週間以上投与した後に増量する。
【保管】室温保存。

ガランタミンＯＤ錠４ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾚﾐﾆｰﾙ)　Galantamine OD DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]レミニール錠４ｍｇ
商品名:ガランタミンＯＤ錠４ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:４ｍｇ１錠　薬価:16.10　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190019F4035　院内コード:203258
成分:ガランタミン臭化水素酸塩,
【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】通常、成人にはガランタミンとして１日８ｍｇ（１回４ｍｇを１日２回）から開始し、４週間後に１日１６ｍｇ（１回８ｍｇを１日２回）に増量し、経口投与する。なお、症状に応じて１日２４ｍｇ（１回１２ｍｇを１日２回）まで増量できるが、増量する場合は変更前の用量で４週間以上投与した後に増量する。
【保管】室温保存。

ガランタミンＯＤ錠８ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾚﾐﾆｰﾙ)　Galantamine OD DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]レミニール錠８ｍｇ
商品名:ガランタミンＯＤ錠８ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:８ｍｇ１錠　薬価:21.40　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190019F5031　院内コード:203259
成分:ガランタミン臭化水素酸塩,
【効】軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】通常、成人にはガランタミンとして１日８ｍｇ（１回４ｍｇを１日２回）から開始し、４週間後に１日１６ｍｇ（１回８ｍｇを１日２回）に増量し、経口投与する。なお、症状に応じて１日２４ｍｇ（１回１２ｍｇを１日２回）まで増量できるが、増量する場合は変更前の用量で４週間以上投与した後に増量する。
【保管】室温保存。

クービビック錠２５ｍｇ　Quviviq　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:クービビック錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:56.90　製造:ネクセラファーマジャパン　剤型:錠　YJ:1190033F1028　院内コード:203835
成分:ダリドレキサント塩酸塩,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはダリドレキサントとして１日１回５０ｍｇを就寝直前に経口投与する。なお、患者の状態に応じて１日１回２５ｍｇを投与することができる。
【保管】室温保存。

クービビック錠５０ｍｇ　Quviviq　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:クービビック錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:90.20　製造:ネクセラファーマジャパン　剤型:錠　YJ:1190033F2024　院内コード:203840
成分:ダリドレキサント塩酸塩,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはダリドレキサントとして１日１回５０ｍｇを就寝直前に経口投与する。なお、患者の状態に応じて１日１回２５ｍｇを投与することができる。
【保管】室温保存。

ケサンラ点滴静注液３５０ｍｇ【３５０ｍｇ２０ｍＬ１瓶】　Kisunla　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ケサンラ点滴静注液３５０ｍｇ
規格:３５０ｍｇ２０ｍＬ１瓶　薬価:66948.00　製造:日本イーライリリー　剤型:注射液　YJ:1190409A1020　院内コード:301370
成分:ドナネマブ（遺伝子組換え）,
【効】アルツハイマー病による軽度認知障害及びアルツハイマー病による軽度の認知症の進行抑制。
【用】通常、成人にはドナネマブ（遺伝子組換え）として初回は３５０ｍｇ、２回目は７００ｍｇ、３回目は１０５０ｍｇ、その後は１回１４００ｍｇを４週間隔で、少なくとも３０分かけて点滴静注する。
【保管】２～８℃で冷蔵保存。

タリージェＯＤ錠１０ｍｇ　Tarlige OD　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:タリージェＯＤ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:127.90　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:1190026F7026　院内コード:203519
成分:ミロガバリンベシル酸塩,
【効】神経障害性疼痛。
【用】通常、成人には、ミロガバリンとして初期用量１回５ｍｇを１日２回経口投与し、その後１回用量として５ｍｇずつ１週間以上の間隔をあけて

漸増し、１回１５ｍｇを１日２回経口投与する。なお、年齢、症状により１回１０ｍｇから１５ｍｇの範囲で適宜増減し、１日２回投与する。
【保管】室温保存。

タリージェＯＤ錠５ｍｇ　Tarlige OD　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:タリージェＯＤ錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:92.50　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:1190026F6020　院内コード:203518
成分:ミロガバリンベシル酸塩,
【効】神経障害性疼痛。
【用】通常、成人には、ミロガバリンとして初期用量１回５ｍｇを１日２回経口投与し、その後１回用量として５ｍｇずつ１週間以上の間隔をあけて漸増し、１回１５ｍｇを１日２回経口投与する。なお、年齢、症状により１回１０ｍｇから１５ｍｇの範囲で適宜増減し、１日２回投与する。
【保管】室温保存。

チアプリド錠２５ｍｇ「サワイ」(ｸﾞﾗﾏﾘｰﾙ)　Tiapride　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]グラマリール錠２５ｍｇ
商品名:チアプリド錠２５ｍｇ「サワイ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1190004F1145　院内コード:202899
成分:チアプリド塩酸塩,
【効】１）．　脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行為、精神興奮、徘徊、せん妄の改善。
２）．　特発性ジスキネジア及びパーキンソニズムに伴うジスキネジア。
【用】チアプリドとして、通常成人１日７５～１５０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
パーキンソニズムに伴うジスキネジアの患者では、１日１回、２５ｍｇから投与を開始することが望ましい。
【保管】室温保存。

チアプリド錠５０ｍｇ「サワイ」(ｸﾞﾗﾏﾘｰﾙ)　Tiapride　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]グラマリール錠５０ｍｇ
商品名:チアプリド錠５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:1190004F2133　院内コード:202900
成分:チアプリド塩酸塩,
【効】１）．　脳梗塞後遺症に伴う攻撃的行為、精神興奮、徘徊、せん妄の改善。
２）．　特発性ジスキネジア及びパーキンソニズムに伴うジスキネジア。
【用】チアプリドとして、通常成人１日７５～１５０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
パーキンソニズムに伴うジスキネジアの患者では、１日１回、２５ｍｇから投与を開始することが望ましい。
【保管】室温保存。

デエビゴ錠１０ｍｇ　Dayvigo　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:デエビゴ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:103.60　製造:エーザイ　剤型:錠　YJ:1190027F3025　院内コード:203314
成分:レンボレキサント,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはレンボレキサントとして１日１回５ｍｇを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日１回１０ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

デエビゴ錠２．５ｍｇ　Dayvigo　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:デエビゴ錠２．５ｍｇ
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:43.70　製造:エーザイ　剤型:錠　YJ:1190027F1022　院内コード:203312
成分:レンボレキサント,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはレンボレキサントとして１日１回５ｍｇを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日１回１０ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

デエビゴ錠５ｍｇ　Dayvigo　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:デエビゴ錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:69.50　製造:エーザイ　剤型:錠　YJ:1190027F2029　院内コード:203313
成分:レンボレキサント,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはレンボレキサントとして１日１回５ｍｇを就寝直前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日１回１０ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ)　Donepezil hydrochloride OD DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]アリセプト錠１０ｍｇ
商品名:ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:63.00　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190012F6036　院内コード:202896
成分:ドネペジル塩酸塩,
【効】アルツハイマー型認知症における認知症症状及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】〈アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制〉通常、成人にはドネペジル塩酸塩として１日１回３ｍｇから開始し、１～２週間後に５ｍｇに増量し、経口投与する。高度のアルツハイマー型認知症患者には、５ｍｇで４週間以上経過後、１０ｍｇに増量する。なお、症状により適宜減量する。

〈レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制〉通常、成人にはドネペジル塩酸塩として１日１回３ｍｇから開始し、１～２週間後に５ｍｇに増量し、経口投与する。５ｍｇで４週間以上経過後、１０ｍｇに増量する。なお、症状により５ｍｇまで減量できる。
レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制の場合、投与開始１２週間後までを目安に、認知機能検査、患者及び家族・介護者から自他覚症状の聴取等による有効性評価を行い、認知機能、精神症状・行動障害、日常生活動作等を総合的に評価してベネフィットがリスクを上回ると判断できない場合は、投与を中止すること（投与開始１２週間後までの有効性評価の結果に基づき投与継続を判断した場合であっても、定期的に有効性評価を行い、投与継続の可否を判断すること）。
【保管】室温保存。

ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠３ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ)　Donepezil hydrochloride OD DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]アリセプト錠３ｍｇ

商品名:ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠３ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:３ｍｇ１錠　薬価:25.20　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190012F3274　院内コード:202894
成分:ドネペジル塩酸塩,
【効】アルツハイマー型認知症における認知症症状及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】〈アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制〉通常、成人にはドネペジル塩酸塩として１日１回３ｍｇから開始し、１～２週間後に５ｍｇに増量し、経口投与する。高度のアルツハイマー型認知症患者には、５ｍｇで４週間以上経過後、１０ｍｇに増量する。なお、症状により適宜減量する。
〈レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制〉通常、成人にはドネペジル塩酸塩として１日１回３ｍｇから開始し、１～２週間後に５ｍｇに増量し、経口投与する。５ｍｇで４週間以上経過後、１０ｍｇに増量する。なお、症状により５ｍｇまで減量できる。
レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制の場合、投与開始１２週間後までを目安に、認知機能検査、患者及び家族・介護者から自他覚症状の聴取等による有効性評価を行い、認知機能、精神症状・行動障害、日常生活動作等を総合的に評価してベネフィットがリスクを上回ると判断できない場合は、投与を中止すること（投与開始１２週間後までの有効性評価の結果に基づき投与継続を判断した場合であっても、定期的に有効性評価を行い、投与継続の可否を判断すること）。
【保管】室温保存。

ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱﾘｾﾌﾟﾄ)　Donepezil hydrochloride OD DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]アリセプト錠５ｍｇ

商品名:ドネペジル塩酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:37.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190012F4270　院内コード:202895
成分:ドネペジル塩酸塩,
【効】アルツハイマー型認知症における認知症症状及びレビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】〈アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制〉通常、成人にはドネペジル塩酸塩として１日１回３ｍｇから開始し、１～２週間後に５ｍｇに増量し、経口投与する。高度のアルツハイマー型認知症患者には、５ｍｇで４週間以上経過後、１０ｍｇに増量する。なお、症状により適宜減量する。
〈レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制〉通常、成人にはドネペジル塩酸塩として１日１回３ｍｇから開始し、１～２週間後に５ｍｇに増量し、経口投与する。５ｍｇで４週間以上経過後、１０ｍｇに増量する。なお、症状により５ｍｇまで減量できる。
レビー小体型認知症における認知症症状の進行抑制の場合、投与開始１２週間後までを目安に、認知機能検査、患者及び家族・介護者から自他覚症状の聴取等による有効性評価を行い、認知機能、精神症状・行動障害、日常生活動作等を総合的に評価してベネフィットがリスクを上回ると判断できない場合は、投与を中止すること（投与開始１２週間後までの有効性評価の結果に基づき投与継続を判断した場合であっても、定期的に有効性評価を行い、投与継続の可否を判断すること）。
【保管】室温保存。

プレガバリンOD錠25mg「VTRS」(ﾘﾘｶ)　Pregabalin OD VTRS　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]リリカＯＤ錠２５ｍｇ

商品名:プレガバリンＯＤ錠２５ｍｇ「ＶＴＲＳ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.20　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:錠　YJ:1190017F1266　院内コード:203665
成分:プレガバリン,
【効】１）．　神経障害性疼痛。
２）．　線維筋痛症に伴う疼痛。
【用】〈神経障害性疼痛〉通常、成人には初期用量としてプレガバリン１日１５０ｍｇを１日２回に分けて経口投与し、その後１週間以上かけて１日用量として３００ｍｇまで漸増する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高用量は６００ｍｇを超えないこととし、いずれも１日２回に分けて経口投与する。
〈線維筋痛症に伴う疼痛〉通常、成人には初期用量としてプレガバリン１日１５０ｍｇを１日２回に分けて経口投与し、その後１週間以上かけて１日用量として３００ｍｇまで漸増した後、３００～４５０ｍｇで維持する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高用量は４５０ｍｇを超えないこととし、いずれも１日２回に分けて経口投与する。
【保管】室温保存。

プレガバリンOD錠75mg「VTRS」(ﾘﾘｶ)　Pregabalin OD VTRS　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]リリカＯＤ錠７５ｍｇ

商品名:プレガバリンＯＤ錠７５ｍｇ「ＶＴＲＳ」
規格:７５ｍｇ１錠　薬価:16.10　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:錠　YJ:1190017F2262　院内コード:203664
成分:プレガバリン,
【効】１）．　神経障害性疼痛。
２）．　線維筋痛症に伴う疼痛。
【用】〈神経障害性疼痛〉通常、成人には初期用量としてプレガバリン１日１５０ｍｇを１日２回に分けて経口投与し、その後１週間以上かけて１日用量として３００ｍｇまで漸増する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高用量は６００ｍｇを超えないこととし、いずれも１日２回に分けて経口投与する。
〈線維筋痛症に伴う疼痛〉通常、成人には初期用量としてプレガバリン１日１５０ｍｇを１日２回に分けて経口投与し、その後１週間以上かけて１日用量として３００ｍｇまで漸増した後、３００～４５０ｍｇで維持する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高用量は４５０ｍｇを超え

ないこととし、いずれも１日２回に分けて経口投与する。
【保管】室温保存。

ベルソムラ錠１５ｍｇ　Belsomra　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ベルソムラ錠１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:90.80　製造:ＭＳＤ　剤型:錠　YJ:1190023F1024　院内コード:202598
成分:スボレキサント,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはスボレキサントとして１日１回２０ｍｇを、高齢者には１日１回１５ｍｇを就寝直前に経口投与する。
【保管】室温保存。

ベルソムラ錠２０ｍｇ　Belsomra　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ベルソムラ錠２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:109.90　製造:ＭＳＤ　剤型:錠　YJ:1190023F2020　院内コード:202599
成分:スボレキサント,
【効】不眠症。
【用】通常、成人にはスボレキサントとして１日１回２０ｍｇを、高齢者には１日１回１５ｍｇを就寝直前に経口投与する。
【保管】室温保存。

メマンチン塩酸塩錠２０ｍｇ「DSEP」(ﾒﾏﾘｰ)　Memantine hydrochloride DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]メマリー錠２０ｍｇ
商品名:メマンチン塩酸塩錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:61.60　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190018F3034　院内コード:203257
成分:メマンチン塩酸塩,
【効】中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】通常、成人にはメマンチン塩酸塩として１日１回５ｍｇから開始し、１週間に５ｍｇずつ増量し、維持量として１日１回２０ｍｇを経口投与する。
【保管】室温保存。

メマンチン塩酸塩錠５ｍｇ「DSEP」(ﾒﾏﾘｰ)　Memantine hydrochloride DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]メマリー錠５ｍｇ
商品名:メマンチン塩酸塩錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:19.60　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:1190018F1031　院内コード:203256
成分:メマンチン塩酸塩,
【効】中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制。
【用】通常、成人にはメマンチン塩酸塩として１日１回５ｍｇから開始し、１週間に５ｍｇずつ増量し、維持量として１日１回２０ｍｇを経口投与する。
【保管】室温保存。

ラメルテオン錠８ｍｇ「武田テバ」(ﾛｾﾞﾚﾑ)　Ramelteon TAKEDA TEVA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ロゼレム錠８ｍｇ
商品名:ラメルテオン錠８ｍｇ「武田テバ」
規格:８ｍｇ１錠　薬価:20.90　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:錠　YJ:1190016F1032　院内コード:203510
成分:ラメルテオン,
【効】不眠症における入眠困難の改善。
【用】通常、成人にはラメルテオンとして１回８ｍｇを就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

ラメルテオン錠８ｍｇ「武田テバ」(ﾛｾﾞﾚﾑ)　Ramelteon TAKEDA TEVA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ロゼレム錠８ｍｇ
商品名:ラメルテオン錠８ｍｇ「武田テバ」
規格:８ｍｇ１錠　薬価:20.90　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:錠　YJ:1190016F1032
成分:ラメルテオン,
【効】不眠症における入眠困難の改善。
【用】通常、成人にはラメルテオンとして１回８ｍｇを就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

レグナイト錠３００ｍｇ　Regnite　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:レグナイト錠３００ｍｇ
規格:３００ｍｇ１錠　薬価:46.70　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:1190020F1020　院内コード:202447
成分:ガバペンチン　エナカルビル,
【効】中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（中等度から高度の特発性下肢静止不能症候群）。
【用】通常、成人にはガバペンチン　エナカルビルとして１日１回６００ｍｇを夕食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ｴﾀﾞﾗﾎﾞﾝ点滴静注液30mgﾊﾞｯｸﾞ「NP」(ﾗｼﾞｶｯﾄ)　Edaravone　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ラジカット注３０ｍｇ
商品名:エダラボン点滴静注液３０ｍｇバッグ「ＮＰ」
規格:３０ｍｇ１００ｍＬ１キット　薬価:1143.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:1190401G1069　院内コード:301354
成分:エダラボン,

【効】１）．　脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善。
２）．　筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）における機能障害の進行抑制。
【用】脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善通常、成人に１回１袋（エダラボンとして３０ｍｇ）を、３０分かけて１日朝夕２回の点滴静注を行う。
脳梗塞急性期の場合、発症後２４時間以内に投与を開始し、投与期間は１４日以内とする。
筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）における機能障害の進行抑制通常、成人に１回２袋（エダラボンとして６０ｍｇ）を、６０分かけて１日１回点滴静注を行う。
通常、本剤投与期と休薬期を組み合わせた２８日間を１クールとし、これを繰り返す。第１クールは１４日間連日投与する投与期の後１４日間休薬し、第２クール以降は１４日間のうち１０日間投与する投与期の後１４日間休薬する。
【保管】室温保存。

ﾅﾙﾌﾗﾌｨﾝ塩酸塩OD錠2.5μg｢ﾌｿｰ｣(ﾚﾐｯﾁ)　Nalfurafine hydrochloride OD FUSO　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]レミッチＯＤ錠２．５μｇ
商品名:ナルフラフィン塩酸塩ＯＤ錠２．５μｇ「フソー」
規格:２．５μｇ１錠　薬価:204.40　製造:扶桑薬品　剤型:錠　YJ:1190015F1046　院内コード:203051
成分:ナルフラフィン塩酸塩,
【効】次の患者におけるそう痒症の改善（既存治療で効果不十分な場合に限る）：１）透析患者におけるそう痒症、２）慢性肝疾患患者におけるそう痒症。
【用】通常、成人には、ナルフラフィン塩酸塩として１日１回２．５μｇを夕食後又は就寝前に経口投与する。なお、症状に応じて増量することができるが、１日１回５μｇを限度とする。
【保管】室温保存。

12: 末梢神経系用薬

121: 局所麻酔剤

1214: キシリジン系製剤

キシロカインゼリー２％（30mL/本）　Xylocaine　採用
商品名:キシロカインゼリー２％
規格:２％１ｍＬ　薬価:6.30　製造:サンドファーマ　剤型:ゼリー　YJ:1214700P1054　院内コード:200500
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】表面麻酔。
【用】リドカイン塩酸塩として、尿道麻酔には通常成人では男子は２００～３００ｍｇ、女子は６０～１００ｍｇを使用する。気管内挿管には適当量を使用する。
なお、年齢、麻酔領域、部位、組織、体質により適宜増減する。
【保管】室温保存。

キシロカインビスカス２％　Xylocaine　採用　(劇)
商品名:キシロカインビスカス２％
規格:２％１ｍＬ　薬価:5.30　製造:サンドファーマ　剤型:液　YJ:1214001S1054　院内コード:200094
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】表面麻酔。
【用】リドカイン塩酸塩として、通常成人では１回１００～３００ｍｇを１日１～３回経口的に投与する。
なお、年齢、麻酔領域、部位、組織、体質により適宜増減する。
【保管】室温保存。

キシロカインポンプスプレー８％　Xylocaine　採用　(劇)
商品名:キシロカインポンプスプレー８％
規格:１ｇ　薬価:27.70　製造:サンドファーマ　剤型:噴霧剤　YJ:1214701R1050　院内コード:200897
成分:リドカイン,
【効】表面麻酔。
【用】リドカインとして、通常成人では８～４０ｍｇ（１～５回の噴霧）を使用する。
なお、年齢、麻酔領域、部位、組織、体質により適宜増減する。
【保管】室温保存。

キシロカイン液「４％」　Xylocaine　採用
商品名:キシロカイン液「４％」
規格:４％１ｍＬ　薬価:17.00　製造:サンドファーマ　剤型:液　YJ:1214700Q1033　院内コード:200456
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】表面麻酔。
【用】リドカイン塩酸塩として、通常成人では８０～２００ｍｇを使用する。
なお、年齢、麻酔領域、部位、組織、体質により適宜増減する。
【保管】室温保存。

キシロカイン注ポリアンプ0.5%１０ｍＬ　Xylocaine　採用　(劇)
商品名:キシロカイン注ポリアンプ０．５％
規格:０．５％１０ｍＬ１管　薬価:91.00　製造:サンドファーマ　剤型:注射液　YJ:1214400A6059　院内コード:300024
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、上肢手術における静脈内区域麻酔。

【用】通常、成人に対してリドカイン塩酸塩として、１回２００mg（４０mL）を基準最高用量とする。ただし、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。
なお、各種麻酔方法による用量は次のとおりである。（）内は注射液としての用量である。
１）．　硬膜外麻酔：２５～１５０mg（５～３０mL）。
２）．　硬膜外麻酔［交感神経遮断］：２５～１００mg（５～２０mL）。
３）．　伝達麻酔：１５～２００mg（３～４０mL）。
４）．　伝達麻酔［指趾神経遮断］：１５～５０mg（３～１０mL）。
５）．　伝達麻酔［肋間神経遮断］：２５mgまで（５mLまで）。
６）．　浸潤麻酔：１０～２００mg（２～４０mL）。
７）．　静脈内区域麻酔［上肢手術］：２００mgまで（４０mLまで）。
【保管】室温保存。

キシロカイン注ポリアンプ１％１０mL　Xylocaine　採用　(劇)

商品名:キシロカイン注ポリアンプ１％
規格:１％１０mL１管　薬価:84.00　製造:サンドファーマ　剤型:注射液　YJ:1214400A8051　院内コード:300025
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔。
【用】通常、成人に対してリドカイン塩酸塩として、１回２００mg（２０mL）を基準最高用量とする。ただし、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。
なお、各種麻酔方法による用量は次のとおりである。（）内は注射液としての用量である。
１）．　硬膜外麻酔：１００～２００mg（１０～２０mL）。
２）．　伝達麻酔：３０～２００mg（３～２０mL）。
３）．　伝達麻酔［指趾神経遮断］：３０～１００mg（３～１０mL）。
４）．　伝達麻酔［肋間神経遮断］：５０mgまで（５mLまで）。
５）．　浸潤麻酔：２０～２００mg（２～２０mL）。
６）．　表面麻酔：適量を塗布又は噴霧する。
【保管】室温保存。

キシロカイン注ポリアンプ１％５mL　Xylocaine　採用　(劇)

商品名:キシロカイン注ポリアンプ１％
規格:１％５mL１管　薬価:63.00　製造:サンドファーマ　剤型:注射液　YJ:1214400A7055　院内コード:300251
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔。
【用】通常、成人に対してリドカイン塩酸塩として、１回２００mg（２０mL）を基準最高用量とする。ただし、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。
なお、各種麻酔方法による用量は次のとおりである。（）内は注射液としての用量である。
１）．　硬膜外麻酔：１００～２００mg（１０～２０mL）。
２）．　伝達麻酔：３０～２００mg（３～２０mL）。
３）．　伝達麻酔［指趾神経遮断］：３０～１００mg（３～１０mL）。
４）．　伝達麻酔［肋間神経遮断］：５０mgまで（５mLまで）。
５）．　浸潤麻酔：２０～２００mg（２～２０mL）。
６）．　表面麻酔：適量を塗布又は噴霧する。
【保管】室温保存。

キシロカイン注ポリアンプ２％１０mL　Xylocaine　採用　(劇)

商品名:キシロカイン注ポリアンプ２％
規格:２％１０mL１管　薬価:117.00　製造:サンドファーマ　剤型:注射液　YJ:1214400H1055　院内コード:300252
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔。
【用】通常、成人に対してリドカイン塩酸塩として、１回２００mg（１０mL）を基準最高用量とする。ただし、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。
なお、各種麻酔方法による用量は次のとおりである。（）内は注射液としての用量である。
１）．　硬膜外麻酔：２００mg（１０mL）。
２）．　伝達麻酔：４０～２００mg（２～１０mL）。
３）．　伝達麻酔［指趾神経遮断］：６０～１２０mg（３～６mL）。
４）．　浸潤麻酔：４０～２００mg（２～１０mL）。
５）．　表面麻酔：適量を塗布又は噴霧する。
【保管】室温保存。

キシロカイン点眼液４％　Xylocaine　採用

商品名:キシロカイン点眼液４％
規格:４％１mL　薬価:19.10　製造:サンドファーマ　剤型:液　YJ:1214700Q1041　院内コード:200896
成分:リドカイン塩酸塩,
【効】眼科領域における表面麻酔。
【用】通常、成人では１～５滴を点眼する。
なお、年齢、体質により適宜増減する。
【保管】冷所保存。

マーカイン注脊麻用0.5%高比重(20mg/4mL) Marcain 採用 (劇)
<先発品（後発品なし）>
商品名:マーカイン注脊麻用０．５%高比重
規格:０．５%４mL１管 薬価:318.00 製造:サンドファーマ 剤型:注射液 YJ:1214403A4025 院内コード:300947
成分:ブピバカイン塩酸塩水和物,
【効】脊椎麻酔（腰椎麻酔）。
【用】通常、成人にはブピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）１回１０～２０mg（２～４mL）を脊髄クモ膜下腔に注入する。なお、年齢、身長、麻酔領域、部位、組織、症状、体質に応じ適宜増減するが、１回２０mg（４mL）を超えないこと。
【保管】室温保存。

マーカイン注脊麻用0.5%等比重(20mg/4mL) Marcain 採用 (劇)
<先発品（後発品なし）>
商品名:マーカイン注脊麻用０．５%等比重
規格:０．５%４mL１管 薬価:318.00 製造:サンドファーマ 剤型:注射液 YJ:1214403A5021 院内コード:300622
成分:ブピバカイン塩酸塩水和物,
【効】脊椎麻酔（腰椎麻酔）。
【用】通常、成人にはブピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）１回１０～２０mg（２～４mL）を脊髄クモ膜下腔に注入する。なお、年齢、身長、麻酔領域、部位、組織、症状、体質に応じ適宜増減するが、１回２０mg（４mL）を超えないこと。
【保管】室温保存。

リドカインテープ１８mg「ＹＰ」(ﾍﾟﾝﾚｽﾃｰﾌﾟ) Lidocaine YP 採用 (劇)
<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]ペンレステープ１８mg
商品名:リドカインテープ１８mg「ＹＰ」
規格:（１８mg）３０．５mm×５０．０mm１枚 薬価:31.60 製造:祐徳薬品 剤型:貼付剤 YJ:1214701S1086 院内コード:203821
成分:リドカイン,
【効】１）． 静脈留置針穿刺時の疼痛緩和。
２）． 伝染性軟属腫摘除時の疼痛緩和。
３）． 皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和。
【用】〈静脈留置針穿刺時の疼痛緩和〉本剤を１回１枚、静脈留置針穿刺予定部位に約３０分間貼付する。
〈伝染性軟属腫摘除時の疼痛緩和〉通常、小児には本剤１回２枚までを、伝染性軟属腫摘除予定部位に約１時間貼付する。
〈皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和〉通常、成人には本剤１回６枚まで、小児には次記枚数までを、レーザー照射予定部位に約１時間貼付する。
１）． ３歳以下：１回あたりの最大貼付枚数２枚。
２）． ４歳～５歳：１回あたりの最大貼付枚数３枚。
３）． ６歳～７歳：１回あたりの最大貼付枚数４枚。
４）． ８歳～９歳：１回あたりの最大貼付枚数５枚。
５）． １０歳以上：１回あたりの最大貼付枚数６枚。
【保管】室温保存。

ロピバカイン塩酸塩0.2%注バッグ200mg/100mL「テルモ」(ｱﾅﾍﾟｲﾝ) Ropivacaine hydrochloride 採用 (劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アナペイン注２mg／mL
商品名:ロピバカイン塩酸塩０．２%注バッグ２００mg／１００mL「テルモ」
規格:０．２%１００mL１袋 薬価:924.00 製造:テルモ 剤型:注射液 YJ:1214405A2030 院内コード:301390
成分:ロピバカイン塩酸塩水和物,
【効】術後鎮痛。
【用】手術終了時に、通常、成人に６mL／h（ロピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）１２mg／h）を硬膜外腔に持続投与する。
なお、期待する痛覚遮断域、手術部位、年齢、身長、体重、全身状態等により４～１０mL／hの範囲で適宜増減する。
【保管】室温保存。

ロピバカイン塩酸塩0.75%注150mg/20mL「テルモ」（アナペイン) Ropivacaine hydrochloride 採用 (劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アナペイン注７．５mg／mL
商品名:ロピバカイン塩酸塩０．７５%注１５０mg／２０mL「テルモ」
規格:０．７５%２０mL１管 薬価:520.00 製造:テルモ 剤型:注射液 YJ:1214405A4032 院内コード:301292
成分:ロピバカイン塩酸塩水和物,
【効】麻酔（硬膜外麻酔、伝達麻酔）。
【用】硬膜外麻酔には、通常、成人に１回２０mL（ロピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）１５０mg）までを硬膜外腔に投与する。
なお、期待する痛覚遮断域、手術部位、年齢、身長、体重、全身状態等により適宜減量する。
伝達麻酔には、通常、成人に１回４０mL（ロピバカイン塩酸塩水和物（無水物として）
３００mg）までを目標の神経あるいは神経叢近傍に投与する。
なお、期待する痛覚遮断域、手術部位、年齢、身長、体重、全身状態等により適宜減量する。
【保管】室温保存。

静注用キシロカイン２%（100mg/5mL） Xylocaine 採用 (劇) Hi
商品名:静注用キシロカイン２%
規格:２%５mL１管 薬価:155.00 製造:サンドファーマ 剤型:注射液 YJ:1214401A5022 院内コード:300026
成分:リドカイン,
【効】期外収縮＜心室性＞、発作性頻拍＜心室性＞、急性心筋梗塞時及び手術に伴う心室性不整脈の予防。

12: 末梢神経系用薬

期外収縮＜上室性＞、発作性頻拍＜上室性＞。
【用】リドカイン塩酸塩として、通常、成人１回５０～１００ｍｇ（１～２ｍｇ／ｋｇ）を、１～２分間で、緩徐に静脈内注射する。
効果が認められない場合には、５分後に同量を投与する。また、効果の持続を期待する時には１０～２０分間隔で同量を追加投与してもさしつかえないが、１時間内の基準最高投与量は３００ｍｇとする。
本剤の静脈内注射の効果は、通常１０～２０分で消失する。
【保管】室温保存。

キシロカイン注射液「1%」エピレナミン(1:100,000)含有　Xylocaine with epinephrine　採用　(劇)

商品名:キシロカイン注射液「１％」エピレナミン
（１：１００，０００）含有
規格:１％１０ｍＬバイアル　薬価:119.00　製造:サンドファーマ　剤型:注射液　YJ:1214400A2029　院内コード:300023
成分:アドレナリン,リドカイン塩酸塩,
【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔。
【用】硬膜外麻酔；［基準最高用量：１回５０ｍＬ］通常成人１０～３０ｍＬを使用する。
伝達麻酔；［基準最高用量：１回５０ｍＬ］通常成人３～２０ｍＬを使用する。肋間神経遮断には５ｍＬまでを使用する。
浸潤麻酔；［基準最高用量：１回５０ｍＬ］通常成人２～４０ｍＬを使用する。
表面麻酔；適量を塗布または噴霧する。
なお、いずれの場合も、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。
【保管】凍結を避けて１５℃以下に保存。

キシロカイン注射液「2%」エピレナミン(1:80,000)含有　Xylocaine with epinephrine　採用　(劇)

商品名:キシロカイン注射液「２％」エピレナミン
（１：８０，０００）含有
規格:２％１０ｍＬバイアル　薬価:153.00　製造:サンドファーマ　剤型:注射液　YJ:1214400A3025　院内コード:300249
成分:アドレナリン,リドカイン塩酸塩,
【効】硬膜外麻酔、伝達麻酔、浸潤麻酔、表面麻酔。
【用】硬膜外麻酔；［基準最高用量：１回２５ｍＬ］通常成人１０～２０ｍＬを使用する。
伝達麻酔；［基準最高用量：１回２５ｍＬ］通常成人２～２０ｍＬを使用する。
浸潤麻酔；［基準最高用量：１回２５ｍＬ］通常成人２～２５ｍＬを使用する。眼科領域の麻酔には０．５～２ｍＬを使用する。
表面麻酔；適量を塗布または噴霧する。
なお、いずれの場合も、年齢、麻酔領域、部位、組織、症状、体質により適宜増減する。
【保管】凍結を避けて１５℃以下に保存。

1219: その他の局所麻酔剤

エムラクリーム　Emla　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:エムラクリーム
規格:１ｇ　薬価:182.40　製造:佐藤製薬　剤型:クリームYJ:1219800N1023　院内コード:203029
成分:プロピトカイン,リドカイン,
【効】１）．　皮膚レーザー照射療法時の疼痛緩和。
２）．　注射針穿刺時の疼痛・静脈留置針穿刺時の疼痛緩和。
【用】〈成人〉通常、成人には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に１０ｃ㎡あたり本剤１ｇを、密封法（ＯＤＴ）により６０分間塗布する。なお、１回あたりの塗布量は１０ｇまでとし、塗布時間は１２０分を超えないこと。
〈小児〉通常、小児等には、レーザー照射予定部位又は注射針・静脈留置針穿刺予定部位に１０ｃ㎡あたり本剤１ｇを、密封法（ＯＤＴ）により６０分間塗布する。なお、１回あたりの塗布量及び塗布時間は次を超えないこと。
１）．　０～２ヶ月：最大塗布量１ｇ、最大塗布時間６０分。
２）．　３～１１ヶ月（体重５ｋｇ以下）：最大塗布量１ｇ、最大塗布時間６０分。
３）．　３～１１ヶ月（体重５ｋｇ超）：最大塗布量２ｇ、最大塗布時間６０分。
４）．　１～１４歳（体重５ｋｇ以下）：最大塗布量１ｇ、最大塗布時間６０分。
５）．　１～１４歳（体重５ｋｇ超１０ｋｇ以下）：最大塗布量２ｇ、最大塗布時間１２０分。
６）．　１～１４歳（体重１０ｋｇ超）：最大塗布量１０ｇ、最大塗布時間１２０分。
【保管】凍結を避け、室温で保存する。

122: 骨格筋弛緩剤

1224: コリン系製剤；コハク酸コリン等

スキサメトニウム注４０「マルイシ」【２％２ｍＬ１管】　Suxamethonium　採用　(毒)

商品名:スキサメトニウム注４０「マルイシ」
規格:２％２ｍＬ１管　薬価:379.00　製造:丸石製薬　剤型:注射液　YJ:1224400A2050　院内コード:300031
成分:スキサメトニウム塩化物水和物,
【効】１）．　麻酔時の筋弛緩、気管内挿管時・骨折脱臼整復時・喉頭痙攣の筋弛緩、精神神経科における電撃療法の際の筋弛緩。
２）．　腹部腫瘤診断時。
【用】通常成人は次記用量を用いる。
間歇的投与法：スキサメトニウム塩化物水和物の脱水物として、１回１０～６０ｍｇを静脈内注射する。この用量で筋弛緩が得られない時は、筋弛緩が得られるまで適宜増量する。
持続点滴用法：持続性効果を求める場合は、０．１～０．２％となるように生理食塩液または５％ブドウ糖液に溶かし、持続注入する。通常２．５ｍｇ／分ぐらいの速さで注入する。
また、乳幼児及び小児に対する投与法として静脈内注射の場合１ｍｇ／ｋｇを、静脈内注射が不可能な場合は２～３ｍｇ／ｋｇを筋肉内注射する。
【保管】凍結を避け、５℃以下で保存。

1229: その他の骨格筋弛緩剤

★筋弛緩★ロクロニウム臭化物静注液(50mg/5mL)「マルイシ」 Rocuronium bromide Maruishi 採用 (毒)

商品名:ロクロニウム臭化物静注液５０ｍｇ／５．０ｍＬ「マルイシ」

規格:５０ｍｇ５ｍＬ１瓶 薬価:540.00 製造:丸石製薬 剤型:注射液 YJ:1229405A2040 院内コード:300956

成分:ロクロニウム臭化物,

【効】麻酔時の筋弛緩、気管挿管時の筋弛緩。

【用】通常、成人には挿管用量としてロクロニウム臭化物０．６ｍｇ／ｋｇを静脈内投与し、術中必要に応じて０．１～０．２ｍｇ／ｋｇを追加投与する。持続注入により投与する場合は、７μｇ／ｋｇ／分の投与速度で持続注入を開始する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、挿管用量の上限は０．９ｍｇ／ｋｇまでとする。

【保管】室温保存。

ダントリウムカプセル２５ｍｇ Dantrium 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:ダントリウムカプセル２５ｍｇ

規格:２５ｍｇ１カプセル 薬価:16.60 製造:オーファンパシフィック 剤型:カプセル YJ:1229002M1036 院内コード:200156

成分:ダントロレンナトリウム水和物,

【効】１）． 次記疾患に伴う痙性麻痺：脳血管障害後遺症、脳性麻痺、外傷後遺症（頭部外傷後遺症、脊髄損傷後遺症）、頸部脊椎症、後縦靭帯骨化症、脊髄小脳変性症、痙性脊髄麻痺、脊髄炎、脊髄症、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、スモン（ＳＭＯＮ）、潜水病。

２）． 全身こむら返り病。

３）． 悪性症候群。

【用】〈痙性麻痺及び全身こむら返り病〉通常、成人にはダントロレンナトリウム水和物として１日１回２５ｍｇより投与を始め、１週毎に２５ｍｇずつ増量し（１日２～３回に分割投与）維持量を決定する。ただし、１日最高投与量は１５０ｍｇとし３回に分割投与する。

〈悪性症候群〉ダントロレンナトリウム水和物注射剤の静脈内投与後、継続投与が必要で経口投与が可能な場合、通常、成人にはダントロレンナトリウム水和物として１回２５ｍｇ又は５０ｍｇを１日３回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ダントリウム静注用２０ｍｇ Dantrium 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:ダントリウム静注用２０ｍｇ

規格:２０ｍｇ１瓶 薬価:8926.00 製造:オーファンパシフィック 剤型:注射用 YJ:1229402D1039 院内コード:300032

成分:ダントロレンナトリウム水和物,

【効】１）． 麻酔時における悪性高熱症。

２）． 悪性症候群。

【用】〈麻酔時における悪性高熱症〉通常、ダントロレンナトリウム水和物として、初回量１ｍｇ／ｋｇを静脈内投与し、症状の改善が認められない場合には、１ｍｇ／ｋｇずつ静脈内に追加投与する。

なお、症状により適宜増減できるが、投与総量は７ｍｇ／ｋｇまでとする。

〈悪性症候群〉通常、成人にはダントロレンナトリウム水和物として、初回量４０ｍｇを静脈内投与し、症状の改善が認められない場合には、２０ｍｇずつ追加投与する。年齢、症状により適宜増減するが、１日総投与量は２００ｍｇまでとする。悪性症候群の場合、通常７日以内の投与とする。

〈溶液調製法〉通常、１バイアルに日局注射用水６０ｍＬを加え、振り混ぜ、溶液が澄明になったことを確認の後、使用する。

【保管】室温保存。

ボトックス注用５０単位 Botox 採用 (毒生) <先発品（後発品なし）>

商品名:ボトックス注用５０単位

規格:５０単位１瓶 薬価:31531.00 製造:ＧＳＫ 剤型:注射用 YJ:1229404D1020 院内コード:300033

成分:Ａ型ボツリヌス毒素,

【効】１）眼瞼痙攣、２）片側顔面痙攣、３）痙性斜頸、４）上肢痙縮、５）下肢痙縮、６）重度の原発性腋窩多汗症、７）斜視、８）痙攣性発声障害、９）既存治療で効果不十分又は既存治療が適さない過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁、１０）既存治療で効果不十分又は既存治療が適さない神経因性膀胱による尿失禁。

【用】〈眼瞼痙攣〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として初回１．２５～２．５単位／部位を、１眼あたり眼輪筋６部位の筋肉内に注射する。また、眼輪筋切除術施行後の患者に投与する場合には、筋電計を用いて注意深く目標とする部位を同定すること。効果は通常３～４ヵ月間持続するが、症状再発の場合には再投与する。ただし、投与間隔は８週以上とすること。また、再投与は初回投与量の２倍までの用量を用いることができるが、本剤の薬理作用である筋麻痺作用が予想以上に強く発現した結果とみられる閉瞼不全、眼瞼下垂等の副作用があらわれた場合には、再投与時の用量を適宜減量すること。

また、１ヵ月間に累積で４５単位を超える投与は避けること。

注射部位は添付文書の図を参照。

〈片側顔面痙攣〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として次の用量を痙攣筋＊に筋肉内注射する。痙攣筋が複数ある場合は、分割して投与する。

・ 初回投与の場合には合計で１０単位を投与する。
・ 初回投与後４週間観察し、効果が不十分な場合には、さらに追加で合計２０単位を上限として投与することができる。
・ 症状再発の場合には、合計で３０単位を上限として再投与することができる。ただし、投与間隔は８週以上とすること。

＊痙攣筋：眼輪筋、皺眉筋、前頭筋、口輪筋、大頬骨筋、小頬骨筋、笑筋、広頸筋、オトガイ筋等。

〈痙性斜頸〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として次の用量を緊張筋＊に筋肉内注射する。緊張筋が複数ある場合は、分割して投与する。

・ 初回投与の場合には合計で３０～６０単位を投与する。
・ 初回投与後４週間観察し、効果が不十分な場合には、さらに追加で合計１８０単位を上限として投与することができる。
・ 症状再発の場合には、合計で２４０単位を上限として再投与することができる。ただし、投与間隔は８週以上とすること。

＊緊張筋：胸鎖乳突筋、僧帽筋、板状筋、斜角筋、僧帽筋前縁、肩甲挙筋、傍脊柱筋、広頸筋等。

〈上肢痙縮〉成人通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として複数の緊張筋＊に合計４００単位を分割して筋肉内注射する。１回あたりの投与量は最大４００単位であるが、対象となる緊張筋の種類や数により、必要最小限となるよう適宜減量する。また、再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１２週以上とすること。

小児通常、２歳以上の小児にはＡ型ボツリヌス毒素として複数の緊張筋＊に合計３～６単位／ｋｇを分割して筋肉内注射する。１回あたりの投与量は６単位／ｋｇと２００単位のいずれも超えないこととし、対象となる緊張筋の種類や数により、必要最小限となるよう適宜減量する。また、再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１２週以上とすること。
＊緊張筋：上腕二頭筋、上腕筋、腕橈骨筋、橈側手根屈筋、尺側手根屈筋、深指屈筋、浅指屈筋、長母指屈筋、母指内転筋等。
〈下肢痙縮〉成人通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として複数の緊張筋＊に合計４００単位を分割して筋肉内注射する。１回あたりの投与量は最大４００単位であるが、対象となる緊張筋の種類や数により、必要最小限となるよう適宜減量する。また、再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１２週以上とすること。
小児通常、２歳以上の小児にはＡ型ボツリヌス毒素として複数の緊張筋＊に合計４～８単位／ｋｇを分割して筋肉内注射する。１回あたりの投与量は、一側下肢への投与で８単位／ｋｇと３００単位、両下肢への投与で１０単位／ｋｇと３４０単位のいずれも超えないこととし、対象となる緊張筋の種類や数により、必要最小限となるよう適宜減量する。また、再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１２週以上とすること。
＊緊張筋：腓腹筋（内側頭、外側頭）、ヒラメ筋、後脛骨筋、長母趾屈筋、長趾屈筋、短趾屈筋等。
〈重度の原発性腋窩多汗症〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として片腋窩あたり５０単位を、複数の部位（１０～１５ヵ所）に1～2ｃｍ間隔で皮内投与する。再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１６週以上とすること。
〈斜視〉通常、成人及び１２歳以上の小児にはＡ型ボツリヌス毒素として次の用量を外眼筋に筋肉内注射する。
・　初回投与（１）．　上下斜視の場合：上直筋又は下直筋に１．２５～２．５単位。
（２）．　２０プリズムジオプトリー未満の水平斜視の場合：内直筋又は外直筋に１．２５～２．５単位。
（３）．　２０～５０プリズムジオプトリーの水平斜視の場合：内直筋又は外直筋に２．５～５．０単位。
（４）．　１ヵ月以上持続する外転神経麻痺の場合：内直筋に１．２５～２．５単位。
・　初回投与後４週間観察し、効果が不十分な場合には、さらに追加で初回投与量の２倍までの用量を上限として投与することができる。
・　前回の効果が減弱した場合には、過去に投与された１回投与量の２倍までの用量を上限として再投与することができる。ただし、投与間隔は１２週以上とすること。
・　１回の投与における１つの筋あたりの投与量は１０単位を超えないこと。
〈痙攣性発声障害〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として次の用量を内喉頭筋に筋肉内注射する。
・　内転型痙攣性発声障害初回投与：片側の甲状披裂筋に２．５単位を投与する。
再投与：前回の効果が減弱した場合には、片側又は両側の甲状披裂筋に再投与することができる。ただし、投与間隔は１２週以上とすること。なお、症状に応じて投与量を適宜増減することができるが、片側あたり２．５単位を超えないこと。
・　外転型痙攣性発声障害初回投与：片側の後輪状披裂筋に５．０単位を投与する。
再投与：前回の効果が減弱した場合には、片側の後輪状披裂筋に再投与することができる。ただし、投与間隔は１２週以上とすること。なお、症状に応じて投与量を適宜増減することができるが、５．０単位を超えないこと。
〈既存治療で効果不十分又は既存治療が適さない過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として１００単位を排尿筋に分割して注射する。再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１２週以上とすること。
〈既存治療で効果不十分又は既存治療が適さない神経因性膀胱による尿失禁〉通常、成人にはＡ型ボツリヌス毒素として２００単位を排尿筋に分割して注射する。再投与は前回の効果が減弱した場合に可能であるが、投与間隔は１２週以上とすること。
【保管】５℃以下で保存。

123: 自律神経剤

1231: 四級アンモニウム塩製剤；メタンテリン

(毒)ウブレチド錠５ｍｇ　Ubretid　採用　(毒)

商品名:ウブレチド錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:11.30　製造:鳥居薬品　剤型:錠　YJ:1231014F1054　院内コード:200064
成分:ジスチグミン臭化物,
【効】１）．　手術後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難。
２）．　重症筋無力症。
【用】〈手術後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難〉ジスチグミン臭化物として、成人１日５ｍｇを経口投与する。
〈重症筋無力症〉ジスチグミン臭化物として、通常成人１日５～２０ｍｇを１～４回に分割経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

チキジウム臭化物カプセル１０ｍｇ「サワイ」　Tiquizium bromide　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]チアトンカプセル１０ｍｇ

商品名:チキジウム臭化物カプセル１０ｍｇ「サワイ」
規格:１０ｍｇ１カプセル　薬価:7.60　製造:沢井製薬　剤型:カプセルYJ:1231013M2217　院内コード:202791
成分:チキジウム臭化物,
【効】次記疾患における痙攣ならびに運動機能亢進：胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、腸炎、過敏性大腸症候群、胆のう疾患・胆道疾患、尿路結石症。
【用】チキジウム臭化物として、通常成人１回５～１０ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1232: アセチルコリン系製剤

オビソート注射用０．１ｇ　Ovisot　採用　(劇)

商品名:オビソート注射用０．１ｇ
規格:１００ｍｇ１管（溶解液付）　薬価:482.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:注射用　YJ:1232400X1031　院内コード:300035
成分:アセチルコリン塩化物,
【効】１）．　麻酔後の腸管麻痺、消化管機能低下のみられる急性胃拡張。
２）．　円形脱毛症。
３）．　冠動脈造影検査時の冠攣縮薬物誘発試験における冠攣縮誘発。

【用】〈麻酔後の腸管麻痺、消化管機能低下のみられる急性胃拡張〉アセチルコリン塩化物として、通常成人１回０．１ｇを１～２ｍＬの日本薬局方注射用水に使用のたびごとに溶解し、１日１～２回皮下又は筋肉内に注射する。
〈円形脱毛症〉アセチルコリン塩化物として、通常成人１回０．１ｇを５ｍＬの日本薬局方注射用水に使用のたびごとに溶解し、局所皮内の数カ所に毎週１回ずつ注射する。
〈冠動脈造影検査時の冠攣縮薬物誘発試験における冠攣縮の誘発〉アセチルコリン塩化物を日本薬局方生理食塩液で溶解及び希釈し、１回５ｍＬを冠動脈内に注入する。左冠動脈への注入から開始し、アセチルコリン塩化物として通常、２０、５０、１００μｇを冠攣縮が誘発されるまで５分間隔で段階的に各２０秒間かけて注入する。また、右冠動脈には通常、２０、５０μｇを冠攣縮が誘発されるまで５分間隔で段階的に各２０秒間かけて注入する。
【保管】室温保存。

124: 鎮けい剤

1242: アトロピン系製剤

アトロピン注０．０５%シリンジ「テルモ」 Atropine 採用 (劇) Hi

商品名:アトロピン注０．０５%シリンジ「テルモ」
規格:０．０５%１ｍＬ１筒　薬価:300.00　製造:テルモ　剤型:キット類YJ:1242406G1035　院内コード:300479
成分:アトロピン硫酸塩水和物,
【効】胃潰瘍・十二指腸潰瘍における分泌亢進並びに運動亢進、胃腸痙攣性疼痛、痙攣性便秘、胆管疝痛・尿管疝痛、有機燐系殺虫剤中毒・副交感神経興奮剤中毒、迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害、麻酔前投薬、その他の徐脈及び房室伝導障害、ＥＣＴの前投与。
【用】〈胃・十二指腸潰瘍における分泌並びに運動亢進、胃腸の痙攣性疼痛、痙攣性便秘、胆管・尿管の疝痛、副交感神経興奮剤の中毒、迷走神経性徐脈及び迷走神経性房室伝導障害、麻酔前投薬、その他の徐脈及び房室伝導障害〉アトロピン硫酸塩水和物として、通常成人０．５ｍｇを皮下又は筋肉内に注射する。場合により静脈内に注射することもできる。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈有機燐系殺虫剤中毒〉症状により次のように用いる。
軽症：アトロピン硫酸塩水和物として、０．５～１ｍｇを皮下注射するか、又は０．５～１ｍｇを経口投与する。
中等症：アトロピン硫酸塩水和物として、１～２ｍｇを皮下・筋肉内又は静脈内に注射する。必要があれば、その後２０～３０分毎に繰り返し注射する。
重症：初回アトロピン硫酸塩水和物として、２～４ｍｇを静脈内に注射し、その後症状に応じてアトロピン飽和の徴候が認められるまで繰り返し注射を行う。
〈ＥＣＴの前投与〉アトロピン硫酸塩水和物として、通常成人１回０．５ｍｇを皮下、筋肉内又は静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】遮光・室温保存。

ブスコパン注射液20mg Buscopan 採用 (劇)

商品名:ブスコパン注２０ｍｇ
規格:２%１ｍＬ１管　薬価:63.00　製造:サノフィ　剤型:注射液　YJ:1242401A1315　院内コード:300037
成分:ブチルスコポラミン臭化物,
【効】１）．　次記疾患における痙攣並びに運動機能亢進：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、食道痙攣、幽門痙攣、胃炎、腸炎、腸疝痛、痙攣性便秘、機能性下痢、胆のう炎・胆管炎、胆石症、胆道ジスキネジー、胃切除後の後遺症・胆のう切除後の後遺症、尿路結石症、膀胱炎、器具挿入による尿道痙攣・膀胱痙攣における痙攣並びに運動機能亢進、月経困難症、分娩時の子宮下部痙攣における痙攣並びに運動機能亢進。
２）．　消化管Ｘ線検査及び消化管内視鏡検査の前処置。
【用】通常成人には、１回１／２～１管（ブチルスコポラミン臭化物として１０～２０ｍｇ）を静脈内又は皮下、筋肉内に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ﾌﾞﾁﾙｽｺﾎﾟﾗﾐﾝ臭化物錠10mg「ﾂﾙﾊﾗ」 Scopolamine butylbromide TSURUHARA 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ブスコパン錠１０ｍｇ

商品名:ブチルスコポラミン臭化物錠１０ｍｇ「ツルハラ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:6.60　製造:鶴原製薬　剤型:錠　YJ:1242002F1381　院内コード:203894
成分:ブチルスコポラミン臭化物,
【効】次記疾患における痙攣並びに運動機能亢進：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、食道痙攣、幽門痙攣、胃炎、腸炎、腸疝痛、痙攣性便秘、機能性下痢、胆のう炎・胆管炎、胆石症、胆道ジスキネジー、胆のう切除後の後遺症、尿路結石症、膀胱炎、月経困難症。
【用】ブチルスコポラミン臭化物として、通常成人１回１０～２０ｍｇを１日３～５回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1243: パパベリン系製剤

パパベリン塩酸塩注４０ｍｇ Papaverine hydrochloride 採用

商品名:パパベリン塩酸塩注４０ｍｇ「日医工」
規格:４%１ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:日医工　剤型:注射液　YJ:1243400A1059　院内コード:300222
成分:パパベリン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患に伴う内臓平滑筋の痙攣症状：胃炎、胆道＜胆管・胆のう＞系疾患。
２）．　急性動脈塞栓、急性肺塞栓、末梢循環障害、冠循環障害における血管拡張と症状の改善。
【用】パパベリン塩酸塩として、通常、成人１回３０～５０ｍｇ、１日１００～２００ｍｇを注射する。主として皮下注射するが、筋肉内注射することもできる。また、急性動脈塞栓には１回５０ｍｇを動脈内注射、急性肺塞栓には１回５０ｍｇを静脈内注射することができる。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1244: マグネシウム塩製剤；硫酸マグネシウム

硫酸Ｍｇ補正液１ｍＥｑ／ｍＬ Magnesium sulfate 採用

12: 末梢神経系用薬

商品名:硫酸Ｍｇ補正液１ｍＥｑ／ｍＬ
規格:０．５モル２０ｍＬ１管　薬価:129.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:1244401A1069　院内コード:300639
成分:硫酸マグネシウム,
【効】電解質補液の電解質補正。
【用】電解質補液の電解質の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して用いる。
【保管】室温保存。

1249: その他の鎮けい剤

エペリゾン塩酸塩錠５０ｍｇ「トーワ」(ミオナール)　Eperisone hydrochloride TOWA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ミオナール錠５０ｍｇ

商品名:エペリゾン塩酸塩錠５０ｍｇ「トーワ」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1249009F1422　院内コード:203369
成分:エペリゾン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患による筋緊張状態の改善：腰痛症、頸肩腕症候群、肩関節周囲炎。
２）．　次記疾患による痙性麻痺：脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、術後後遺症（脳腫瘍術後後遺症・脊髄腫瘍術後後遺症を含む）、外傷後遺症（脊髄損傷後遺症、頭部外傷後遺症）、筋萎縮性側索硬化症、脳性小児麻痺、脊髄小脳変性症、脊髄血管障害、スモン（ＳＭＯＮ）、その他の脳脊髄疾患。
【用】通常成人には１日量として３錠を３回に分けて食後に経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

コスパノンカプセル４０ｍｇ　Cospanon　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:コスパノンカプセル４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１カプセル　薬価:9.80　製造:エーザイ　剤型:カプセルYJ:1249007M1252　院内コード:200108
成分:フロプロピオン,
【効】次記の疾患に伴う鎮痙効果：肝胆道疾患（胆道ジスキネジー、胆石症、胆のう炎、胆管炎、胆のう剔出後遺症）、膵疾患（膵炎）、尿路結石。
【用】通常成人は、１回１～２カプセル（フロプロピオンとして１回４０～８０ｍｇ）を１日３回経口投与する。
【保管】室温保存。

チザニジン錠１ｍｇ「杏林」(テルネリン)　Tizanidine KYORIN　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]テルネリン錠１ｍｇ

商品名:チザニジン錠１ｍｇ「杏林」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:キョーリンリメディオ　剤型:錠　YJ:1249010F1328　院内コード:203744
成分:チザニジン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患による筋緊張状態の改善：頸肩腕症候群、腰痛症。
２）．　次記疾患による痙性麻痺：脳血管障害、痙性脊髄麻痺、頸部脊椎症、脳性＜小児＞麻痺、外傷後遺症（脊髄損傷後遺症、頭部外傷後遺症）、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症。
【用】〈筋緊張状態の改善〉通常成人には、チザニジンとして３ｍｇを１日３回に分けて食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈痙性麻痺〉通常成人には、チザニジンとして１日３ｍｇより投与を始め、効果をみながら１日６～９ｍｇまで漸増し、１日３回に分けて食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リオレサール錠５ｍｇ　Lioresal　採用　(劇)

商品名:リオレサール錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:サンファーマ　剤型:錠　YJ:1249006F1054　院内コード:200288
成分:バクロフェン,
【効】次記疾患による痙性麻痺：脳血管障害、脳性＜小児＞麻痺、痙性脊髄麻痺、脊髄血管障害、頸部脊椎症、後縦靭帯骨化症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、外傷後遺症（脊髄損傷後遺症、頭部外傷後遺症）、術後後遺症（脳腫瘍術後後遺症・脊髄腫瘍術後後遺症を含む）、その他の脳性疾患、その他のミエロパチー。
【用】〈成人〉通常成人には初回量として１日バクロフェン５～１５ｍｇを１～３回に分け食後経口投与し、以後患者の症状を観察しながら標準用量に達するまで２～３日毎に１日５～１０ｍｇずつ増量する。
標準用量は１日３０ｍｇであるが、患者の本剤に対する反応には個人差があるため、年齢、症状に応じて適宜増減する。
〈小児〉小児には初回量として１日バクロフェン５ｍｇを１～２回に分け食後に経口投与し、以後患者の症状を観察しながら標準用量に達するまで、２～３日毎に１日５ｍｇずつ増量する。なお、症状、体重に応じて適宜増減する。
＜標準用量＞４～６歳：１日５～１５ｍｇを２～３回に分けて食後に経口投与する。
７～１１歳：１日５～２０ｍｇを２～３回に分けて食後に経口投与する。
１２～１５歳：１日５～２５ｍｇを２～３回に分けて食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

125: 発汗剤、止汗剤

1259: その他の発汗剤、止汗剤

ラピフォートワイプ２．５％　Rapifort　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ラピフォートワイプ２．５％
規格:２．５％２．５ｇ１包　薬価:242.30　製造:マルホ　剤型:その他　YJ:1259701X1026　院内コード:203524
成分:グリコピロニウムトシル酸塩水和物,
【効】原発性腋窩多汗症。
【用】１日１回、１包に封入されている不織布１枚を用いて薬液を両腋窩に塗布する。

【保管】室温保存。

13: 感覚器官用薬

131: 眼科用剤

1311: 散瞳剤；ホマトロピン等

サイプレジン１％点眼液　Cyplegin　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:サイプレジン１％点眼液
規格:１％１ｍＬ　薬価:66.20　製造:参天製薬　剤型:液　YJ:1311701Q1031　院内コード:200898
成分:シクロペントラート塩酸塩,
【効】診断または治療を目的とする散瞳と調節麻痺。
【用】通常、１日１回１滴宛点眼、または１滴点眼後５～１０分して更に１滴を点眼する。
【保管】室温保存。

トロピカミド点眼液０．４％「日点」(ﾐﾄﾞﾘﾝM)　Tropicamide NITTEN　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ミドリンM点眼液０．４％
商品名:トロピカミド点眼液０．４％「日点」
規格:０．４％１ｍＬ　薬価:19.10　製造:ロートニッテン　剤型:液　YJ:1311705Q1064　院内コード:203344
成分:トロピカミド,
【効】診断または治療を目的とする散瞳と調節麻痺。
【用】診断または治療を目的とする散瞳には１日１回、１回１～２滴宛、調節麻痺には３～５分おきに２～３回、１回１滴宛点眼する。
【保管】室温保存。

1312: 縮瞳剤；ピロカルピン等

サンピロ２％点眼液　Sanpilo　採用　(劇)
商品名:サンピロ点眼液２％
規格:２％５ｍＬ１瓶　薬価:103.10　製造:参天製薬　剤型:液　YJ:1312701Q3082　院内コード:200901
成分:ピロカルピン塩酸塩,
【効】緑内障、診断または治療を目的とする縮瞳。
【用】ピロカルピン塩酸塩として、通常０．５～４％液を１日３～５回、１回１～２滴宛点眼する。
【保管】室温保存。

1313: 眼科用局所麻酔剤

ベノキシール点眼液０．４％　Benoxil　採用
商品名:ベノキシール点眼液０．４％
規格:０．４％１ｍＬ　薬価:41.80　製造:参天製薬　剤型:液　YJ:1313700Q2070　院内コード:200567
成分:オキシブプロカイン塩酸塩,
【効】眼科領域における表面麻酔。
【用】通常成人では１～４滴を点眼する。
なお、年齢、体質により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1315: 眼科用コルチゾン製剤；コルチゾン点眼

フルオロメトロン点眼液０．０２％「わかもと」(ﾌﾙﾒﾄﾛﾝ)　Fluorometholone WAKAMOTO　採用　<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]フルメトロン点眼液０．０２％
商品名:フルオロメトロン点眼液０．０２％「わかもと」
規格:０．０２％１ｍＬ　薬価:26.90　製造:わかもと製薬　剤型:液　YJ:1315704Q1131　院内コード:203347
成分:フルオロメトロン,
【効】外眼部の炎症性疾患（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎等）。
【用】用時よく振りまぜたのち、通常１回１～２滴、１日２～４回点眼する。
年齢、症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

フルオロメトロン点眼液０．１％「わかもと」(ﾌﾙﾒﾄﾛﾝ)　Fluorometholone WAKAMOTO　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]フルメトロン点眼液０．１％
商品名:フルオロメトロン点眼液０．１％「わかもと」
規格:０．１％１ｍＬ　薬価:19.10　製造:わかもと製薬　剤型:液　YJ:1315704Q3142　院内コード:203346
成分:フルオロメトロン,
【効】外眼部および前眼部の炎症性疾患（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、虹彩炎、虹彩毛様体炎、強膜炎、上強膜炎、ブドウ膜炎、術後炎症等）。
【用】用時よく振りまぜたのち、通常１回１～２滴、１日２～４回点眼する。
年齢、症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

プレドニン眼軟膏（5g/本）　Predonine　採用
商品名:プレドニン眼軟膏
規格:０．２５％１ｇ　薬価:91.70　製造:シオノギファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:1315705M1037　院内コード:200540
成分:プレドニゾロン酢酸エステル,

【効】外眼部および前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症の対症療法）。
【用】通常、１日数回、適量を塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リンデロン点眼液０．１％ Rinderon **採用** <準先発品>

商品名:リンデロン点眼・点耳・点鼻液０．１％
規格:０．１％１ｍＬ 薬価:44.00 製造:シオノギファーマ 剤型:液 YJ:1315706Q2102 院内コード:201215
成分:ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】（眼科用）
外眼部および前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、眼科術後炎症の対症療法）。
（耳鼻科用）
外耳・中耳（耳管を含む）または上気道の炎症性疾患・アレルギー性疾患（外耳炎、中耳炎、アレルギー性鼻炎など）、耳鼻科術後処置。
【用】（眼科用）
通常、１日３～４回、１回１～２滴ずつ点眼する。
なお、症状により適宜増減する。
（耳鼻科用）
通常、１日１～数回、適量を点耳、点鼻、耳浴、ネブライザー又はタンポンにて使用するか、又は患部に注入する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リンデロン点耳液０．１％ Rinderon **採用** <準先発品>

商品名:リンデロン点眼・点耳・点鼻液０．１％
規格:０．１％１ｍＬ 薬価:44.00 製造:シオノギファーマ 剤型:液 YJ:1315706Q2102 院内コード:201216
成分:ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】（眼科用）
外眼部および前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、眼科術後炎症の対症療法）。
（耳鼻科用）
外耳・中耳（耳管を含む）または上気道の炎症性疾患・アレルギー性疾患（外耳炎、中耳炎、アレルギー性鼻炎など）、耳鼻科術後処置。
【用】（眼科用）
通常、１日３～４回、１回１～２滴ずつ点眼する。
なお、症状により適宜増減する。
（耳鼻科用）
通常、１日１～数回、適量を点耳、点鼻、耳浴、ネブライザー又はタンポンにて使用するか、又は患部に注入する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リンデロン点鼻液０．１％ Rinderon **採用** <準先発品>

商品名:リンデロン点眼・点耳・点鼻液０．１％
規格:０．１％１ｍＬ 薬価:44.00 製造:シオノギファーマ 剤型:液 YJ:1315706Q2102 院内コード:201217
成分:ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】（眼科用）
外眼部および前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、眼科術後炎症の対症療法）。
（耳鼻科用）
外耳・中耳（耳管を含む）または上気道の炎症性疾患・アレルギー性疾患（外耳炎、中耳炎、アレルギー性鼻炎など）、耳鼻科術後処置。
【用】（眼科用）
通常、１日３～４回、１回１～２滴ずつ点眼する。
なお、症状により適宜増減する。
（耳鼻科用）
通常、１日１～数回、適量を点耳、点鼻、耳浴、ネブライザー又はタンポンにて使用するか、又は患部に注入する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

1317: 眼科用抗生物質製剤；オキシテトラサイ

ベストロン点眼用０．５％ Bestron **採用**

商品名:ベストロン点眼用０．５％
規格:５ｍｇ１ｍＬ（溶解後の液として） 薬価:54.80 製造:千寿製薬 剤型:液 YJ:1317713Q1038 院内コード:200566
成分:セフメノキシム塩酸塩,
【効】眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼科周術期の無菌化療法。
【用】本剤を添付の溶解液で１ｍＬ当たりセフメノキシム塩酸塩として５ｍｇ（力価）の濃度に溶解し、通常１回１～２滴を１日４回点眼する。
なお、症状により適宜回数を増減する。
ただし、症状に改善がみられない場合は漫然と長期間の連続投与を行わないこと。
【保管】室温保存。

1319: その他の眼科用剤

ＰＡ・ヨード点眼・洗眼液 PA･Iodo **採用**

商品名:ＰＡ・ヨード点眼・洗眼液
規格:０．２％１ｍＬ 薬価:22.50 製造:ロートニッテン 剤型:液 YJ:1319715Q1031 院内コード:202675
成分:ポリビニルアルコール（部分けん化物）,ヨウ素,

【効】角膜ヘルペス、洗眼殺菌。
【用】（有効ヨウ素濃度０．２%の原液）通常、生理食塩液で４～８倍に希釈して用いる。
【保管】２～８℃。

アイラミド配合懸濁性点眼液　Ailamide　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アイラミド配合懸濁性点眼液
規格:１mL　薬価:363.80　製造:千寿製薬　剤型:液　YJ:1319825Q1025　院内コード:203315
成分:ブリモニジン酒石酸塩,ブリンゾラミド,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

アイリーア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL　Eylea　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:アイリーア８mg硝子体内注射用キット
１１４．３mg／mL
規格:８mg０．０７mL１筒　薬価:145718.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:1319405G2026　院内コード:301343
成分:アフリベルセプト（遺伝子組換え）,
【効】１）．　中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性。
２）．　糖尿病黄斑浮腫。
３）．　網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫。
【用】〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫〉アフリベルセプト（遺伝子組換え）として８mg（０．０７mL）を４週ごとに１回、通常、連続３回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、１６週ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、８週以上あけること。
〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫〉アフリベルセプト（遺伝子組換え）として１回あたり８mg（０．０７mL）を硝子体内投与する。投与間隔は、４週以上あけること。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

アゾルガ配合懸濁性点眼液　Azorga　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アゾルガ配合懸濁性点眼液
規格:１mL　薬価:207.10　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:液　YJ:1319821Q1027　院内コード:202499
成分:チモロールマレイン酸塩,ブリンゾラミド,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

アフリベルセプト硝子体内注射用キット４０mg／mL　Aflibercept Bayer　採用　(劇生)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アイリーア硝子体内注射液４０mg／mL
商品名:アフリベルセプト硝子体内注射用キット
４０mg／mL「バイエル」
規格:２mg０．０５mL１筒　薬価:67959.00　製造:バイエル　ライフサイエンス　剤型:キット類YJ:1319405G1038　院内コード:301388
成分:アフリベルセプト（遺伝子組換え）,
【効】１）．　中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性。
２）．　網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫。
３）．　病的近視における脈絡膜新生血管。
４）．　糖尿病黄斑浮腫。
【用】〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉アフリベルセプト（遺伝子組換え）として２mg（０．０５mL）を１ヵ月ごとに１回、連続３回（導入期）硝子体内投与する。その後の維持期においては、通常、２ヵ月ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、１ヵ月以上あけること。
〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、病的近視における脈絡膜新生血管〉アフリベルセプト（遺伝子組換え）として１回あたり２mg（０．０５mL）を硝子体内投与する。投与間隔は、１ヵ月以上あけること。
〈糖尿病黄斑浮腫〉アフリベルセプト（遺伝子組換え）として２mg（０．０５mL）を１ヵ月ごとに１回、連続５回硝子体内投与する。その後は、通常、２ヵ月ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、１ヵ月以上あけること。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

アレジオン眼瞼クリーム０．５%（2g/本）　Alesion　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アレジオン眼瞼クリーム０．５%
規格:０．５%１g　薬価:1678.60　製造:参天製薬　剤型:クリームYJ:1319762N1021　院内コード:203718
成分:エピナスチン塩酸塩,
【効】アレルギー性結膜炎。
【用】通常、適量を１日１回上下眼瞼に塗布する。
【保管】室温保存。

エイゾプト懸濁性点眼液１%　Azopt　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:エイゾプト懸濁性点眼液１%
規格:１%１mL　薬価:132.30　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:液　YJ:1319748Q1036　院内コード:200920
成分:ブリンゾラミド,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症。
【用】通常、１回１滴、１日２回点眼する。なお、十分な効果が得られない場合には１回１滴、１日３回点眼することができる。
【保管】室温保存。

エイベリス点眼液０．００２％ Eybelis 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>
商品名:エイベリス点眼液０．００２％
規格:０．００２％１ｍＬ 薬価:767.80 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319764Q1027 院内コード:203146
成分:オミデネパグ　イソプロピル,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】２～８℃保存。

エピナスチン塩酸塩ＬＸ点眼液０．１％「ＳＥＣ」(ｱﾚｼﾞｵﾝ) Epinastine hydrochloride LX SEC 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]アレジオンＬＸ点眼液０．１％
商品名:エピナスチン塩酸塩ＬＸ点眼液０．１％「ＳＥＣ」
規格:０．１％１ｍＬ 薬価:228.30 製造:参天アイケア 剤型:液 YJ:1319762Q2032 院内コード:203753
成分:エピナスチン塩酸塩,
【効】アレルギー性結膜炎。
【用】通常、１回１滴、１日２回（朝、夕）点眼する。
【保管】室温保存。

エピナスチン塩酸塩点眼液0.05%「日点」(ｱﾚｼﾞｵﾝ) Epinastine hydrochloride NITTEN 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]アレジオン点眼液０．０５％
商品名:エピナスチン塩酸塩点眼液０．０５％「日点」
規格:０．０５％１ｍＬ 薬価:69.60 製造:ロートニッテン 剤型:液 YJ:1319762Q1117 院内コード:203391
成分:エピナスチン塩酸塩,
【効】アレルギー性結膜炎。
【用】通常、１回１滴、１日４回（朝、昼、夕方及び就寝前）点眼する。
【保管】室温保存。

オロパタジン点眼液０．１％「ニッテン」(ﾊﾟﾀﾉｰﾙ) Olopatadine Nitten 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]パタノール点眼液０．１％
商品名:オロパタジン点眼液０．１％「ニッテン」
規格:０．１％１ｍＬ 薬価:31.40 製造:ロートニッテンファーマ 剤型:液 YJ:1319752Q1121 院内コード:203810
成分:オロパタジン塩酸塩,
【効】アレルギー性結膜炎。
【用】通常、１回１～２滴、１日４回（朝、昼、夕方及び就寝前）点眼する。
【保管】室温保存。

クラビット点眼液１．５％ Cravit 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:クラビット点眼液１．５％
規格:１．５％１ｍＬ 薬価:41.60 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319742Q2027 院内コード:202314
成分:レボフロキサシン水和物,
【効】眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼科周術期の無菌化療法。
【用】通常、１回１滴、１日３回点眼する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

グラアルファ配合点眼液 Gla-alpha 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:グラアルファ配合点眼液
規格:１ｍＬ 薬価:497.40 製造:興和 剤型:液 YJ:1319826Q1020 院内コード:203549
成分:ブリモニジン酒石酸塩,リパスジル塩酸塩水和物,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

グラナテック点眼液０．４％ Glanatec 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:グラナテック点眼液０．４％
規格:０．４％１ｍＬ 薬価:449.40 製造:興和 剤型:液 YJ:1319763Q1022 院内コード:202600
成分:リパスジル塩酸塩水和物,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

コソプト配合点眼液 Cosopt 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:コソプト配合点眼液
規格:１ｍＬ 薬価:221.00 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319819Q1020 院内コード:202241
成分:チモロールマレイン酸塩,ドルゾラミド塩酸塩,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分な場合：緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

サンコバ点眼液０．０２％ Sancoba 採用 <準先発品>
商品名:サンコバ点眼液０．０２％
規格:０．０２％５ｍＬ１瓶 薬価:94.80 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319710Q2078 院内コード:200440

成分:シアノコバラミン,
【効】調節性眼精疲労における微動調節の改善。
【用】通常、１回１～２滴を１日３～５回点眼する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

サンドールＰ点眼液(ﾐﾄﾞﾘﾝＰ) Sandol P 採用

商品名:サンドールＰ点眼液
規格:１ｍＬ 薬価:27.60 製造:ロートニッテン 剤型:液 YJ:1319810Q1061 院内コード:203343
成分:トロピカミド,フェニレフリン塩酸塩,
【効】診断及び治療を目的とする散瞳と調節麻痺。
【用】〈散瞳〉通常、１回１～２滴を点眼するか、又は１回１滴を３～５分おきに２回点眼する。
なお、症状により適宜増減する。
〈調節麻痺〉通常、１回１滴を３～５分おきに２～３回点眼する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ジクアスLX点眼液３％ Diquas LX 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:ジクアスＬＸ点眼液３％
規格:３％５ｍＬ１瓶 薬価:770.50 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319758Q2028 院内コード:203532
成分:ジクアホソルナトリウム,
【効】ドライアイ。
【用】通常、１回１滴、１日３回点眼する。
【保管】室温保存。

スコピゾル眼科用液 Scopisol 採用

商品名:スコピゾル眼科用液
規格:１ｍＬ 薬価:0.00 製造:千寿製薬 剤型:液 YJ:131980AQ1038 院内コード:201237
成分:ヒドロキシエチルセルロース,ホウ酸,リン酸水素ナトリウム水和物,塩化カリウム,塩化ナトリウム,乾燥炭酸ナトリウム,
【効】眼科診断の際及び光凝固手術時、特殊コンタクトレンズ類の角膜装着を容易かつ密にする。
【用】特殊コンタクトレンズ類装用時レンズ凹面に１～２滴滴下し、角膜装着する。
【保管】室温保存。

セタネオ点眼液0.002% Setaneo 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:セタネオ点眼液０．００２％
規格:０．００２％1ｍＬ 薬価:800.00 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319766Q1026 院内コード:203856
成分:セペタプロスト,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

ゾビラックス眼軟膏３％（5g/本) Zovirax 採用

商品名:ゾビラックス眼軟膏３％
規格:３％１ｇ 薬価:551.50 製造:日東メディック 剤型:軟膏・硬膏 YJ:1319719M1046 院内コード:200905
成分:アシクロビル,
【効】単純ヘルペスウイルスに起因する角膜炎。
【用】通常、適量を１日５回塗布する。なお、症状により適宜回数を減じる。
【保管】室温保存。

タプコム配合点眼液 Tapcom 採用 (劇) <先発品（後発品あり）>

商品名:タプコム配合点眼液
規格:１ｍＬ 薬価:519.60 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319822Q1021 院内コード:202719
成分:タフルプロスト,チモロールマレイン酸塩,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

タプロス点眼液０．００１５％ Tapros 採用 (劇) <先発品（後発品あり）>

商品名:タプロス点眼液０．００１５％
規格:０．００１５％1ｍＬ 薬価:458.90 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319756Q1022 院内コード:200925
成分:タフルプロスト,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

タリビッド眼軟膏０．３％（3.5g/本） Tarivid 採用

商品名:タリビッド眼軟膏０．３％
規格:０．３％１ｇ 薬価:113.50 製造:参天製薬 剤型:軟膏・硬膏 YJ:1319722M1056 院内コード:200559
成分:オフロキサシン,

【効】眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼科周術期の無菌化療法。
【用】通常、適量を１日３回塗布する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ディスコビスク１．０眼粘弾剤　Discovisc　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ディスコビスク１．０眼粘弾剤
規格:１ｍＬ１筒　薬価:8226.60　製造:日本アルコン　剤型:液　YJ:1319818Q1025　院内コード:202242
成分:コンドロイチン硫酸エステルナトリウム,精製ヒアルロン酸ナトリウム,
【効】水晶体再建術の手術補助。
【用】通常、白内障摘出時には０．１～０．４ｍＬ、眼内レンズ挿入時には０．１～０．４ｍＬを前房内に注入する。また、必要に応じて眼内レンズコーティングに約０．１ｍＬ使用する。
【保管】凍結を避け、冷所（２～８℃）で保存。

トラニラスト点眼液０．５％「ニットー」(ﾘｻﾞﾍﾞﾝ)　Tranilast NITTO　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]トラメラスＰＦ点眼液０．５％
商品名:トラニラスト点眼液０．５％「ニットー」
規格:２５ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:182.60　製造:東亜薬品　剤型:液　YJ:1319736Q1149　院内コード:203372
成分:トラニラスト,
【効】アレルギー性結膜炎。
【用】通常、１回１～２滴を１日４回（朝、昼、夕方及び就寝前）点眼する。
【保管】室温保存。

ニフラン点眼液０．１％　Niflan　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:ニフラン点眼液０．１％
規格:０．１％１ｍＬ　薬価:25.90　製造:千寿製薬　剤型:液　YJ:1319724Q1120　院内コード:200538
成分:プラノプロフェン,
【効】外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、上強膜炎、前眼部ブドウ膜炎、術後炎症の対症療法）。
【用】通常、１回１～２滴を１日４回点眼する。
なお、症状により適宜回数を増減する。
【保管】室温保存。

ネオメドロールＥＥ軟膏　Neo-Medrol EE　採用
商品名:ネオメドロールＥＥ軟膏
規格:１ｇ　薬価:35.70　製造:ファイザー　剤型:軟膏・硬膏　YJ:1319807M1025　院内コード:200926
成分:フラジオマイシン硫酸塩,メチルプレドニゾロン,
【効】外眼部細菌感染・前眼部細菌感染を伴う炎症性疾患、外耳湿疹・皮膚炎、耳鼻咽喉科領域における術後処置。
【用】〈眼科用〉通常、適量を１日１～数回患部に点眼・塗布する。なお、症状により適宜増減する。
〈耳鼻科用〉通常、適量を１日１～数回患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

バビースモ硝子体内注射用キット120mg/mL　Vabysmo　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:バビースモ硝子体内注射用キット
１２０ｍｇ／ｍＬ
規格:６ｍｇ０．０５ｍＬ１筒　薬価:141784.00　製造:中外製薬　剤型:キット類　YJ:1319408G1023　院内コード:301344
成分:ファリシマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性。
２）．　糖尿病黄斑浮腫。
３）．　網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫。
４）．　脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条。
【用】〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉ファリシマブ（遺伝子組換え）として６．０ｍｇ（０．０５ｍＬ）を４週ごとに１回、通常、連続４回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、１６週ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、８週以上あけること。
〈糖尿病黄斑浮腫〉ファリシマブ（遺伝子組換え）として６．０ｍｇ（０．０５ｍＬ）を４週ごとに１回、通常、連続４回硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後は、投与間隔を徐々に延長し、通常、１６週ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、４週以上あけること。
〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条〉ファリシマブ（遺伝子組換え）として１回あたり６．０ｍｇ（０．０５ｍＬ）を硝子体内投与する。投与間隔は、４週以上あけること。
【保管】２～８℃保存。

ヒーロン０．８５眼粘弾剤１％　採用
商品名:ヒーロン０．８５眼粘弾剤１％
規格:１％０．８５ｍＬ１筒　薬価:4717.00　製造:エイエムオー・ジャパン　剤型:液　YJ:1319720Q8185　院内コード:202216

ヒーロンＶ０．６眼粘弾剤２．３％　採用
商品名:ヒーロンＶ０．６眼粘弾剤２．３％
規格:２．３％０．６ｍＬ１筒　薬価:8964.70　製造:エイエムオー・ジャパン　剤型:液　YJ:1319720Y1032　院内コード:200908

ヒアルロン酸Ｎａ点眼液０．１％「科研」(ﾋｱﾚｲﾝ)　Hyaluronate Na KAKEN　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ヒアレイン点眼液０．１％
商品名:ヒアルロン酸Ｎａ点眼液０．１％「科研」

規格:０．１％５ｍＬ１瓶　薬価:134.60　製造:科研製薬　剤型:液　YJ:1319720Q3221　院内コード:202407
成分:精製ヒアルロン酸ナトリウム,
【効】次記疾患に伴う角結膜上皮障害：１）シェーグレン症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、眼球乾燥症候群（ドライアイ）等の内因性疾患、２）術後、薬剤性、外傷、コンタクトレンズ装用等による外因性疾患。
【用】１回１滴、１日５～６回点眼し、症状により適宜増減する。
なお、通常は０．１％製剤を投与し、重症疾患等で効果不十分の場合には、０．３％製剤を投与する。
【保管】室温保存。

ビスコート０．５眼粘弾剤　Viscoat　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:採用]ディスコビスク１．０眼粘弾剤
商品名:ビスコート０．５眼粘弾剤
規格:０．５ｍＬ１筒　薬価:3332.20　製造:日本アルコン　剤型:液　YJ:1319816Q1034　院内コード:200887
成分:コンドロイチン硫酸エステルナトリウム,精製ヒアルロン酸ナトリウム,
【効】次の一連の眼科手術における手術補助：超音波乳化吸引法による白内障摘出術及び眼内レンズ挿入術。
【用】通常、超音波乳化吸引法による白内障摘出時には０．１～０．４ｍＬ、眼内レンズ挿入時には０．１～０．３ｍＬを前房内へ注入する。
又、必要に応じて眼内レンズのコーティングに０．１ｍＬ使用する。
【保管】凍結を避け、冷所（２～８℃）で保存。

ビマトプロスト点眼液０．０３％「ニットー」(ﾙﾐｶﾞﾝ)　Bimatoprost NITTO　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ルミガン点眼液０．０３％
商品名:ビマトプロスト点眼液０．０３％「ニットー」
規格:０．０３％１ｍＬ　薬価:125.90　製造:東亜薬品　剤型:液　YJ:1319757Q1060　院内コード:203836
成分:ビマトプロスト,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

ピレノキシン懸濁性点眼液０．００５％「参天」(ｶﾘｰﾕﾆ)　Pirenoxine Santen　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]カタリン点眼用０．００５％
商品名:ピレノキシン懸濁性点眼液０．００５％「参天」
規格:０．００５％５ｍＬ１瓶　薬価:94.80　製造:参天製薬　剤型:液　YJ:1319706Q3043　院内コード:200499
成分:ピレノキシン,
【効】初期老人性白内障。
【用】用時よく振り混ぜたのち、１回１～２滴を１日３～５回点眼する。
【保管】室温保存。

ブリモニジン酒石酸塩点眼液０．１％「日点」（アイファガン）　Brimonidine tartrate NITTEN　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アイファガン点眼液０．１％
商品名:ブリモニジン酒石酸塩点眼液０．１％「日点」
規格:０．１％１ｍＬ　薬価:74.20　製造:ロートニッテン　剤型:液　YJ:1319761Q1066　院内コード:203400
成分:ブリモニジン酒石酸塩,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症。
【用】通常、１回１滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

ブロムフェナクＮａ点眼液０．１％「日点」(ﾌﾞﾛﾅｯｸ)　Bromfenac sodium NITTEN　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ブロナック点眼液０．１％
商品名:ブロムフェナクＮａ点眼液０．１％「日点」
規格:０．１％１ｍＬ　薬価:27.70　製造:ロートニッテン　剤型:液　YJ:1319743Q1068　院内コード:203818
成分:ブロムフェナクナトリウム水和物,
【効】外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法［眼瞼炎、結膜炎、強膜炎（上強膜炎を含む）、術後炎症の対症療法］。
【用】通常、１回１～２滴、１日２回点眼する。
【保管】室温保存。

ベオビュ硝子体内注射用キット１２０ｍｇ／ｍＬ　Beovu　採用　(劇)
<先発品（後発品なし）>
商品名:ベオビュ硝子体内注射用キット１２０ｍｇ／ｍＬ
規格:６ｍｇ０．０５ｍＬ１筒　薬価:103163.00　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:キット類YJ:1319406G1024　院内コード:301089
成分:ブロルシズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性。
２）．　糖尿病黄斑浮腫。
３）．　増殖糖尿病網膜症。
【用】〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉ブロルシズマブ（遺伝子組換え）として６ｍｇ（０．０５ｍＬ）を導入期においては４週ごとに１回、連続３回硝子体内投与する。または、６週ごとに１回、連続２回硝子体内投与するが、症状により１回追加投与できる。その後の維持期においては、通常、１２週ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、８週以上あけること。
〈糖尿病黄斑浮腫〉ブロルシズマブ（遺伝子組換え）として６ｍｇ（０．０５ｍＬ）を６週ごとに１回、通常、連続５回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、１２週ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、８週以上あけること。
〈増殖糖尿病網膜症〉ブロルシズマブ（遺伝子組換え）として６ｍｇ（０．０５ｍＬ）を６週ごとに１回、通常、連続３回（導入期）硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜増減する。その後の維持期においては、通常、１２週ごとに１回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を

適宜調節するが、８週以上あけること。
【保管】２～８℃で保存。

マキュエイド眼注用４０ｍｇ MaQaid **採用** <先発品（後発品なし）>
商品名:マキュエイド眼注用４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１瓶 薬価:4979.00 製造:わかもと製薬 剤型:注射用 YJ:1319404D1037 院内コード:300648
成分:トリアムシノロンアセトニド,
【効】〈硝子体内投与〉１）． 硝子体手術時の硝子体可視化。
２）． 糖尿病黄斑浮腫。
〈テノン嚢下投与〉次記の疾患に伴う黄斑浮腫の軽減：１）糖尿病黄斑浮腫、２）網膜静脈閉塞症、３）非感染性ぶどう膜炎。
【用】〈硝子体内投与：硝子体手術時の硝子体可視化〉通常、本剤１バイアルに４ｍＬの生理食塩液又は眼灌流液を注入してトリアムシノロンアセトニド濃度が１０ｍｇ／ｍＬになるように用時懸濁し、トリアムシノロンアセトニドとして０．５～４ｍｇ（懸濁液として０．０５～０．４ｍＬ）を硝子体内に注入する。なお、懸濁液のトリアムシノロンアセトニド濃度は、術式、患者の状態等に応じて適宜増減できるが、４０ｍｇ／ｍＬを超えないこと。
〈硝子体内投与：糖尿病黄斑浮腫〉通常、本剤１バイアルに１ｍＬの生理食塩液又は眼灌流液を注入してトリアムシノロンアセトニド濃度が４０ｍｇ／ｍＬになるように用時懸濁し、トリアムシノロンアセトニドとして４ｍｇ（懸濁液として０．１ｍＬ）を硝子体内に投与する。
〈テノン嚢下投与〉通常、本剤１バイアルに１ｍＬの生理食塩液又は眼灌流液を注入してトリアムシノロンアセトニド濃度が４０ｍｇ／ｍＬになるように用時懸濁し、トリアムシノロンアセトニドとして２０ｍｇ（懸濁液として０．５ｍＬ）をテノン嚢下に投与する。
【保管】室温保存。

ミケランＬＡ点眼液２％ Mikelan LA **採用** <先発品（後発品あり）>
商品名:ミケランＬＡ点眼液２％
規格:２％１ｍＬ 薬価:235.80 製造:大塚製薬 剤型:液 YJ:1319701Q4020 院内コード:200903
成分:カルテオロール塩酸塩,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】通常、１％製剤を１回１滴、１日１回点眼する。なお、十分な効果が得られない場合は、２％製剤を用いて１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

ミケルナ配合点眼液 Mikeluna **採用** <先発品（後発品なし）>
商品名:ミケルナ配合点眼液
規格:１ｍＬ 薬価:538.50 製造:大塚製薬 剤型:液 YJ:1319823Q1026 院内コード:203329
成分:カルテオロール塩酸塩,ラタノプロスト,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

モキシフロキサシン点眼液０．５％「日点」(ﾍﾞｶﾞﾓｯｸｽ) Moxifloxacin NITTEN **採用** <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ベガモックス点眼液０．５％
商品名:モキシフロキサシン点眼液０．５％「日点」
規格:０．５％１ｍＬ 薬価:23.50 製造:ロートニッテン 剤型:液 YJ:1319753Q1037 院内コード:203345
成分:モキシフロキサシン塩酸塩,
【効】眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼科周術期の無菌化療法。
【用】〈眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）〉通常、１回１滴、１日３回点眼する。なお、症状により適宜増減する。
〈眼科周術期の無菌化療法〉通常、手術前は１回１滴、１日５回、手術後は１回１滴、１日３回点眼する。
【保管】室温保存。

ラタノプロスト点眼液０．００５％「ニッテン」(ｷｻﾗﾀﾝ) Latanoprost Nitten **採用** <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]キサラタン点眼液０．００５％
商品名:ラタノプロスト点眼液０．００５％「ニッテン」
規格:０．００５％１ｍＬ 薬価:129.70 製造:ロートニッテンファーマ 剤型:液 YJ:1319739Q1215 院内コード:203371
成分:ラタノプロスト,
【効】緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】室温保存。

ラニビズマブＢＳ硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ「センジュ」(ﾙｾﾝﾃｨｽ) Ranibizumab BS SENJU **採用** **(劇)** <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ルセンティス硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ
商品名:ラニビズマブＢＳ硝子体内注射用キット１０ｍｇ／ｍＬ「センジュ」
規格:０．５ｍｇ０．０５ｍＬ１筒 薬価:72136.00 製造:千寿製薬 剤型:キット類 YJ:1319407G1029 院内コード:301218
成分:ラニビズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）． 中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性。
２）． 網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫。
３）． 病的近視における脈絡膜新生血管。
４）． 糖尿病黄斑浮腫。
【用】〈中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉ラニビズマブ（遺伝子組換え）［ラニビズマブ後続１］として０．５ｍｇ（０．０５ｍＬ）を１ヵ月毎に連続３ヵ月間（導入期）硝子体内投与する。その後の維持期においては、症状により投与間隔を適宜調節するが、１ヵ月以上の間隔をあけること。

〈網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、病的近視における脈絡膜新生血管、糖尿病黄斑浮腫〉ラニビズマブ（遺伝子組換え）［ラニビズマブ後続１］として１回あたり０．５mg（０．０５mL）を硝子体内投与する。投与間隔は、１ヵ月以上あけること。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存。

レバミピド懸濁性点眼液２％「参天」（ムコスタ） Rebamipide Santen 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ムコスタ点眼液ＵＤ２％
商品名:レバミピド懸濁性点眼液２％「参天」
規格:２％５mＬ１瓶 薬価:401.50 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319760Q2025 院内コード:203620
成分:レバミピド,
【効】ドライアイ。
【用】通常、１回１滴、１日４回点眼する。
【保管】室温保存。

ロープレッサ点眼液０．０２％ Rhopressa 採用
<先発品（後発品なし）>
商品名:ロープレッサ点眼液０．０２％
規格:０．０２％１mＬ 薬価:987.80 製造:参天製薬 剤型:液 YJ:1319768Q1025 院内コード:203928
成分:ネタルスジルメシル酸塩,
【効】次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症。
【用】１回１滴、１日１回点眼する。
【保管】２～８℃保存。

眼・耳科用リンデロンＡ軟膏(5g/本) Rinderon-A 採用
商品名:眼・耳科用リンデロンＡ軟膏
規格:１ｇ 薬価:67.70 製造:シオノギファーマ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:1319812M1026 院内コード:200927
成分:フラジオマイシン硫酸塩,ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】［眼科］外眼部細菌感染・前眼部細菌感染を伴う炎症性疾患。
［耳鼻科］外耳湿疹・皮膚炎、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域における術後処置。
【用】［眼科用］通常、適量を１日１～数回患部に点眼・塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
［耳鼻科用］通常、適量を１日１～数回患部に塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ﾋﾞｰｴｽｴｽﾌﾟﾗｽ500眼灌流液0.0184% BSS plus 採用
<先発品（後発品あり）>
商品名:ビーエスエスプラス５００眼灌流液０．０１８４％
規格:０．４６％２０mＬ１瓶（希釈液付） 薬価:2735.20 製造:日本アルコン 剤型:液 YJ:1319731Q2045 院内コード:200911
成分:オキシグルタチオン,
【効】眼科手術時（白内障手術時、硝子体手術時、緑内障手術時）の眼灌流及び洗浄。
【用】用時、オキシグルタチオン溶液を希釈液で希釈し、眼科手術時に眼内及び眼外の灌流及び洗浄を目的とし、通常、次記の量を目安として適量を使用する。なお、術式及び手術時間等により適宜増減する。
白内障手術：６０～２４０mＬ。
硝子体手術：９０～４００mＬ。
緑内障手術：３０～２６０mＬ。
【保管】室温保存。

132: 耳鼻科用剤

1324: 耳鼻科用血管収縮剤

プリビナ液０．０５％ Privina 採用
商品名:プリビナ液０．０５％
規格:０．０５％１mＬ 薬価:3.90 製造:日新製薬 剤型:液 YJ:1324704Q1033 院内コード:200564
成分:ナファゾリン硝酸塩,
【効】１）．　上気道諸疾患の充血・うっ血。
２）．　上気道粘膜表面麻酔時における局所麻酔剤の効力持続時間の延長。
【用】通常、成人鼻腔内には１回２～４滴を１日数回、咽頭・喉頭には１回１～２mＬを１日数回塗布又は噴霧する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
局所麻酔剤への添加には、局所麻酔剤１mＬあたり０．０５％液２～４滴の割合で添加する。
【保管】室温保存。

1329: その他の耳鼻科用剤

ケトチフェン点鼻液０．０５％「サワイ」 Ketotifen 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ザジテン点鼻液０．０５％
商品名:ケトチフェン点鼻液０．０５％「サワイ」
規格:６．０４８mg８mＬ１瓶 薬価:225.40 製造:沢井製薬 剤型:液 YJ:1329705Q1310 院内コード:203843
成分:ケトチフェンフマル酸塩,
【効】アレルギー性鼻炎。
【用】通常、１日４回（朝、昼、夕方及び就寝前）、１回各鼻腔に１噴霧（ケトチフェンとして０．０５mg）ずつ、噴霧吸入する。

【保管】室温保存。

タリビッド耳科用液０．３％ Tarivid 採用

商品名:タリビッド耳科用液０．３％

規格:３ｍｇ１ｍＬ 薬価:111.20 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:液 YJ:1329706Q1039 院内コード:200441

成分:オフロキサシン,

【効】外耳炎、中耳炎。

【用】通常、成人に対して、１回６～１０滴を１日２回点耳する。点耳後は約１０分間の耳浴を行う。なお、症状により適宜回数を増減する。小児に対しては、適宜滴数を減ずる。

【保管】室温保存。

ナゾネックス点鼻液50μg56噴霧用 Nasonex 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:ナゾネックス点鼻液５０μｇ５６噴霧用

規格:５ｍｇ１０ｇ１瓶 薬価:643.90 製造:オルガノン 剤型:液 YJ:1329710Q1027 院内コード:200933

成分:モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物,

【効】アレルギー性鼻炎。

【用】〈成人〉通常、成人には、各鼻腔に２噴霧ずつ１日１回投与する（モメタゾンフランカルボン酸エステルとして１日２００μｇ）。〈小児〉通常、１２歳未満の小児には、各鼻腔に１噴霧ずつ１日１回投与する（モメタゾンフランカルボン酸エステルとして１日１００μｇ）。通常、１２歳以上の小児には、各鼻腔に２噴霧ずつ１日１回投与する（モメタゾンフランカルボン酸エステルとして１日２００μｇ）。

【保管】室温保存。

ベクロメタゾン点鼻液50μｇ「DSP」(ｱﾙﾃﾞｼﾝ) Beclometasone 採用 <後発品（加算対象）>

商品名:ベクロメタゾン点鼻液５０μｇ「ＤＳＰ」

規格:８．５ｍｇ８．５ｇ１瓶 薬価:264.00 製造:東興薬品 剤型:噴霧剤 YJ:1329702R3217 院内コード:202478

成分:ベクロメタゾンプロピオン酸エステル,

【効】アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎。

【用】こう鼻後十分の呼吸を行わせ、吸気の際に本剤を１側鼻孔より１回噴霧し、この際他側の鼻孔は指で閉鎖する。

次いで他側鼻孔に同様の操作を行う。

成人は、通常１回前記１操作の吸入（ベクロメタゾンプロピオン酸エステルとして１００μｇ）を、１日４回鼻腔内に噴霧吸入する。小児は、通常１回前記１操作の吸入（ベクロメタゾンプロピオン酸エステルとして１００μｇ）を、１日２回鼻腔内に噴霧吸入する。

なお、年齢・体重・症状により適宜増減するが、１日の最大投与量は、成人では１６吸入、小児では８吸入を限度とする。また、症状の緩解がみられた場合は、その後の経過を観察しながら減量する。

【保管】室温保存。

ﾌﾙﾁｶﾞｿﾞﾝﾌﾗﾝｶﾙﾎﾞﾝ酸ｴｽﾃﾙ点鼻液27.5μｇ「武田ﾃﾊﾞ」56噴霧用(ｱﾗﾐｽﾄ) Fluticasone furoate TAKEDA TEVA 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]アラミスト点鼻液２７．５μｇ５６噴霧用

商品名:フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液２７．５μｇ「武田テバ」５６噴霧用

規格:３ｍｇ６ｇ１キット 薬価:526.40 製造:Ｔ’ｓファーマ 剤型:液 YJ:1329711Q1030 院内コード:203606

成分:フルチカゾンフランカルボン酸エステル,

【効】アレルギー性鼻炎。

【用】成人には、通常１回各鼻腔に２噴霧（１噴霧あたりフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２７．５μｇを含有）を１日１回投与する。小児には、通常１回各鼻腔に１噴霧（１噴霧あたりフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２７．５μｇを含有）を１日１回投与する。

【保管】室温保存。

133: 鎮暈剤

1339: その他の鎮暈剤

ジフェニドール塩酸塩錠２５ｍｇ「ＮＩＧ」（ｾﾌｧﾄﾞｰﾙ） Difenidol hydrochloride 採用 <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]セファドール錠２５ｍｇ

商品名:ジフェニドール塩酸塩錠２５ｍｇ「ＮＩＧ」

規格:２５ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:日医工岐阜工場 剤型:錠 YJ:1339002F1543 院内コード:202948

成分:ジフェニドール塩酸塩,

【効】内耳障害にもとづくめまい。

【用】通常成人１回１～２錠、１日３回経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

トラベルミン配合錠 Travelmin 採用

商品名:トラベルミン配合錠

規格:１錠 薬価:6.30 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:錠 YJ:1339100F1038 院内コード:201101

成分:ジフェンヒドラミンサリチル酸塩,ジプロフィリン,

【効】次記の疾患又は状態に伴う悪心・嘔吐・めまい：動揺病、メニエール症候群。

【用】通常成人１回１錠を経口投与する。

必要により１日３～４回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ベタヒスチンメシル酸塩錠６ｍｇ「トーワ」(ﾒﾘｽﾛﾝ) Betahistine mesilate TOWA 採用 <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]メリスロン錠６ｍｇ

商品名:ベタヒスチンメシル酸塩錠６ｍｇ「トーワ」
規格:６ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:1339005F1490　院内コード:203746
成分:ベタヒスチンメシル酸塩,
【効】次記疾患に伴うめまい、めまい感：メニエール病、メニエール症候群、眩暈症。
【用】通常、成人は１回１～２錠（ベタヒスチンメシル酸塩として１回６～１２ｍｇ）を１日３回食後経口投与する。
ただし、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2:個々の器官系用医薬品

21:循環器官用薬

211:強心剤

2113:ジギタリス製剤

ジギラノゲン注０．４ｍｇ　Digilanogen　採用　(劇)　Hi
商品名:ジギラノゲン注０．４ｍｇ
規格:０．０２％２ｍＬ１管　薬価:139.00　製造:ネオクリティケア製薬　剤型:注射液　YJ:2113401A1053　院内コード:300509
成分:デスラノシド,
【効】１）．　次の疾患にもとづくうっ血性心不全（肺水腫、心臓喘息などを含む）：先天性心疾患、弁膜疾患、高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症など）、肺性心（肺血栓・塞栓症、肺気腫、肺線維症などによるもの）、その他の心疾患（心膜炎、心筋疾患など）
、腎疾患、甲状腺機能亢進症ならびに甲状腺機能低下症など。
２）．　心房細動・心房粗動による頻脈、発作性上室性頻拍。
３）．　次の際における心不全及び各種頻脈の予防と治療：手術、急性熱性疾患、出産、ショック、急性中毒。
【用】１）．　デスラノシドとして、通常、成人に対して１．　急速飽和療法（飽和量：０．８～１．６ｍｇ）
初回０．４～０．６ｍｇ、以後０．２～０．４ｍｇを２～４時間ごとに静脈内（または筋肉内）注射し、十分効果のあらわれるまで続ける。ただし、筋肉内注射は疼痛を伴う。
２．　比較的急速飽和療法１日０．４～０．６ｍｇを静脈内（または筋肉内）注射し、十分効果のあらわれるまで２～４日間続ける。ただし、筋肉内注射は疼痛を伴う。
３．　維持療法１日０．２～０．３ｍｇを静脈内（または筋肉内）注射する。ただし、筋肉内注射は疼痛を伴う。
２）．　デスラノシドとして、通常、小児に対して１．　急速飽和療法新生児・低出生体重児：１日０．０３～０．０５ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割、静脈内（または筋肉内）注射する。
２歳以下：１日０．０４～０．０６ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割、静脈内（または筋肉内）注射する。
２歳以上：１日０．０２～０．０４ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割、静脈内（または筋肉内）注射する。
一般に２日で飽和し以後維持量とする。ただし、筋肉内注射は疼痛を伴う。
２．　維持療法飽和量の１／４を静脈内（または筋肉内）注射する。ただし、筋肉内注射は疼痛を伴う。
【保管】室温保存。

ジゴシン錠０．１２５ｍｇ　Digosin　採用　(劇)　Hi
商品名:ジゴシン錠０．１２５ｍｇ
規格:０．１２５ｍｇ１錠　薬価:10.50　製造:太陽ファルマ　剤型:錠　YJ:2113003F2045　院内コード:200122
成分:ジゴキシン,
【効】１）．　次の疾患に基づくうっ血性心不全（肺水腫、心臓喘息等を含む）：先天性心疾患、弁膜疾患、高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）、肺性心（肺血栓・塞栓症、肺気腫、肺線維症等によるもの）、その他の心疾患（心膜炎、心筋疾患等）、腎疾患、甲状腺機能亢進症ならびに甲状腺機能低下症等。
２）．　心房細動・心房粗動による頻脈。
３）．　発作性上室性頻拍。
４）．　次の際における心不全及び各種頻脈の予防と治療：手術、急性熱性疾患、出産、ショック、急性中毒。
【用】ジゴキシンとして通常成人に対して１．　急速飽和療法（飽和量：１．０～４．０ｍｇ）
初回０．５～１．０ｍｇ、以後０．５ｍｇを６～８時間ごとに経口投与し、十分効果のあらわれるまで続ける。
２．　比較的急速飽和療法を行うことができる。
３．　緩徐飽和療法を行うことができる。
４．　維持療法１日０．２５～０．５ｍｇを経口投与する。
ジゴキシンとして通常小児に対して１．　急速飽和療法２歳以下：１日０．０６～０．０８ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割経口投与する。
２歳以上：１日０．０４～０．０６ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割経口投与する。
２．　維持療法飽和量の１／５～１／３量を経口投与する。
【保管】室温保存。

ジゴシン注０．２５ｍｇ　Digosin　採用　(劇)　Hi
商品名:ジゴシン注０．２５ｍｇ
規格:０．０２５％１ｍＬ１管　薬価:186.00　製造:太陽ファルマ　剤型:注射液　YJ:2113400A1032　院内コード:300039
成分:ジゴキシン,
【効】１）．　次の疾患に基づくうっ血性心不全（肺水腫、心臓喘息等を含む）：先天性心疾患、弁膜疾患、高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症等）、肺性心（肺血栓・塞栓症、肺気腫、肺線維症等によるもの）、その他の心疾患（心膜炎、心筋疾患等）、腎疾患、甲状腺機能亢進症ならびに甲状腺機能低下症等。
２）．　心房細動・心房粗動による頻脈。
３）．　発作性上室性頻拍。
４）．　次の際における心不全及び各種頻脈の予防と治療：手術、急性熱性疾患、出産、ショック、急性中毒。
【用】ジゴキシンとして通常成人に対して１．　急速飽和療法（飽和量：１．０～２．０ｍｇ）
１回０．２５～０．５ｍｇを２～４時間ごとに静脈内注射し、十分効果のあらわれるまで続ける。

２．　比較的急速飽和療法を行うことができる。
３．　緩徐飽和療法を行うことができる。
４．　維持療法１日０．２５ｍｇを静脈内注射する。
ジゴキシンとして通常小児に対して１．　急速飽和療法新生児、未熟児：１日０．０３～０．０５ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割、静脈内又は筋肉内注射する。
２歳以下：１日０．０４～０．０６ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割、静脈内又は筋肉内注射する。
２歳以上：１日０．０２～０．０４ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割、静脈内又は筋肉内注射する。
２．　維持療法飽和量の１／１０～１／５量を静脈内又は筋肉内注射する。
【保管】室温保存。

ラニラピッド錠０．０５ｍｇ　Lanirapid　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ラニラピッド錠０．０５ｍｇ
規格:０．０５ｍｇ１錠　薬価:6.10　製造:中外製薬　剤型:錠　YJ:2113005F2028　院内コード:202881
成分:メチルジゴキシン,
【効】１）．　次の疾患に基づくうっ血性心不全：先天性心疾患、弁膜疾患、高血圧症、虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症など）。
２）．　心房細動・心房粗動による頻脈、発作性上室性頻拍。
【用】・　急速飽和療法（飽和量：０．６～１．８ｍｇ）
初回０．２～０．３ｍｇ（４～６錠）、以後、１回０．２ｍｇ（４錠）を１日３回経口投与し、十分効果のあらわれるまで続ける。
なお、比較的急速飽和療法、緩徐飽和療法を行うことができる。
・　維持療法１日０．１～０．２ｍｇ（２～４錠）を経口投与する。
【保管】室温保存。

2115: カフェイン系製剤

ネオフィリン注２５０ｍｇ　Neophyllin　採用　Hi
商品名:ネオフィリン注２５０ｍｇ
規格:２．５％１０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:エーザイ　剤型:注射液　YJ:2115400A1193　院内コード:300040
成分:アミノフィリン水和物,
【効】気管支喘息、喘息性＜様＞気管支炎、肺性心、うっ血性心不全、肺水腫、心臓喘息、チェーン・ストークス呼吸、閉塞性肺疾患（肺気腫、慢性気管支炎など）における呼吸困難、狭心症（発作予防）、脳卒中発作急性期。
【用】アミノフィリン水和物として、通常成人１回２５０ｍｇを１日１～２回生理食塩液又は糖液に稀釈して５～１０分を要して静脈内に緩徐に注入する。必要に応じて点滴静脈内注射する。
小児には１回３～４ｍｇ／ｋｇを静脈内注射する。投与間隔は８時間以上とし、最高用量は１日１２ｍｇ／ｋｇを限度とする。必要に応じて点滴静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2119: その他の強心剤

エホチール注１０ｍｇ　Efortil　採用　(劇)
商品名:エホチール注１０ｍｇ
規格:１％１ｍＬ１管　薬価:63.00　製造:サノフィ　剤型:注射液　YJ:2119401A1057　院内コード:300490
成分:エチレフリン塩酸塩,
【効】起立性低血圧、各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療。
【用】通常成人には、１回０．２～１ｍＬ（エチレフリン塩酸塩として２～１０ｍｇ）を皮下注射、筋肉内注射又は静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ドパミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「ＮＩＧ」【１００ｍｇ５ｍＬ１管】　Dopamine HCl　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]イノバン注１００ｍｇ
商品名:ドパミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:１００ｍｇ５ｍＬ１管　薬価:151.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:注射液　YJ:2119402A1477　院内コード:300789
成分:ドパミン塩酸塩,
【効】急性循環不全（心原性ショック、出血性ショック）。
次記のような急性循環不全状態に使用する。
１．　無尿、乏尿や利尿剤で利尿が得られない急性循環不全状態。
２．　脈拍数の増加した急性循環不全状態。
３．　他の強心・昇圧剤により副作用が認められたり、好ましい反応が得られない急性循環不全状態。
【用】通常ドパミン塩酸塩として１分間あたり１～５μｇ／ｋｇを点滴静脈投与し、患者の病態に応じ２０μｇ／ｋｇまで増量することができる。
必要に応じて日局生理食塩液、日局ブドウ糖注射液、総合アミノ酸注射液、ブドウ糖・乳酸ナトリウム・無機塩類剤等で希釈する。
投与量は患者の血圧、脈拍数および尿量により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ドパミン塩酸塩点滴静注液２００ｍｇバッグ「武田テバ」　Dopamine HCl　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]イノバン注０．３％シリンジ
商品名:ドパミン塩酸塩点滴静注液２００ｍｇバッグ「ＮＩＧ」
規格:０．１％２００ｍＬ１袋　薬価:1362.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:キット類YJ:2119402P1135　院内コード:301054
成分:ドパミン塩酸塩,
【効】急性循環不全（心原性ショック、出血性ショック）。
次記のような急性循環不全状態に使用する。

１．　無尿、乏尿や利尿剤で利尿が得られない場合の急性循環不全状態。
２．　脈拍数の増加した急性循環不全状態。
３．　他の強心・昇圧剤により副作用が認められたり、好ましい反応が得られない急性循環不全状態。
【用】通常ドパミン塩酸塩として１分間あたり１～５μｇ／ｋｇを点滴静脈投与し、患者の病態に応じ２０μｇ／ｋｇまで増量することができる。
投与量は患者の血圧、脈拍数及び尿量により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ドパミン塩酸塩点滴静注液６００ｍｇバッグ「ＮＩＧ」　Dopamine HCl　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]イノバン注０．３％シリンジ

商品名:ドパミン塩酸塩点滴静注液６００ｍｇバッグ「ＮＩＧ」
規格:０．３％２００ｍＬ１袋　薬価:1429.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:キット類YJ:2119402P2140　院内コード:301053
成分:ドパミン塩酸塩,
【効】急性循環不全（心原性ショック、出血性ショック）。
次記のような急性循環不全状態に使用する。
１．　無尿、乏尿や利尿剤で利尿が得られない場合の急性循環不全状態。
２．　脈拍数の増加した急性循環不全状態。
３．　他の強心・昇圧剤により副作用が認められたり、好ましい反応が得られない急性循環不全状態。
【用】通常ドパミン塩酸塩として１分間あたり１～５μｇ／ｋｇを点滴静脈投与し、患者の病態に応じ２０μｇ／ｋｇまで増量することができる。
投与量は患者の血圧、脈拍数及び尿量により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ドブタミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「サワイ」　Dobutamine hydrochloride　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]ドブトレックス注射液１００ｍｇ

商品名:ドブタミン塩酸塩点滴静注液１００ｍｇ「サワイ」
規格:１００ｍｇ１管　薬価:196.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:2119404A1182　院内コード:301371
成分:ドブタミン塩酸塩,
【効】１）．　急性循環不全における心収縮力増強。
２）．　心エコー図検査における負荷。
【用】〈急性循環不全における心収縮力増強〉本剤は、用時、５％ブドウ糖注射液又は「日局」生理食塩液で希釈し、ドブタミンとして通常、１分間あたり１～５μｇ／ｋｇを点滴静注する。投与量は、患者の病態に応じて適宜増減し、必要ある場合には１分間あたり２０μｇ／ｋｇまで増量できる。
〈心エコー図検査における負荷〉通常、ドブタミンとして、１分間あたり５μｇ／ｋｇから点滴静注を開始し、病態が評価できるまで１分間あたり１０、２０、３０、４０μｇ／ｋｇと３分毎に増量する。
【保管】室温保存。

ドブタミン持続静注１５０ｍｇシリンジ「テルモ」　Dobutamine hydrochloride　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]ドブトレックスキット点滴静注用６００ｍｇ

商品名:ドブタミン持続静注１５０ｍｇシリンジ「テルモ」
規格:０．３％５０ｍＬ１筒　薬価:450.00　製造:テルモ　剤型:キット類YJ:2119404G6055　院内コード:301331
成分:ドブタミン塩酸塩,
【効】急性循環不全における心収縮力増強。
【用】通常、ドブタミンとして、１分間あたり１～５μｇ／ｋｇを持続静注する。投与量は患者の病態に応じて、適宜増減し、必要ある場合には１分間あたり２０μｇ／ｋｇまで増量できる。
【保管】室温保存。

ピモベンダン錠１．２５ｍｇ「ＴＥ」　Pimobendan TE　採用　<後発品（加算対象）>

商品名:ピモベンダン錠１．２５ｍｇ「ＴＥ」
規格:１．２５ｍｇ１錠　薬価:30.80　製造:トーアエイヨー　剤型:錠　YJ:2119006F1020　院内コード:201126
成分:ピモベンダン,
【効】１）．　次記の状態で、利尿剤等を投与しても十分な心機能改善が得られない場合：急性心不全。
２）．　次記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が得られない場合：慢性心不全＜軽症～中等症＞。
【用】〈急性心不全〉成人にはピモベンダンとして１回２．５ｍｇを経口投与する。なお、患者の病態に応じ、１日２回経口投与することができる。また、必要に応じて、ジギタリス製剤等と併用する。
〈慢性心不全（軽症～中等症）〉通常、成人にはピモベンダンとして１回２．５ｍｇを１日２回食後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、ジギタリス製剤、利尿剤等と併用する。
【保管】室温保存。

プロタノールＬ注０．２ｍｇ　Proternol-L　採用　(劇)　Hi

商品名:プロタノールＬ注０．２ｍｇ
規格:０．０２％１ｍＬ１管　薬価:182.00　製造:興和　剤型:注射液　YJ:2119400A1036　院内コード:300041
成分:ｌ－イソプレナリン塩酸塩,
【効】１）．　アダムス・ストークス症候群＜徐脈型＞の発作時（高度徐脈、心停止を含む）、あるいは発作反復時。
２）．　心筋梗塞や細菌内毒素等による急性心不全。
３）．　手術後の低心拍出量症候群。
４）．　気管支喘息の重症発作時。
【用】〈点滴静注〉ｌ－イソプレナリン塩酸塩として０．２～１．０ｍｇを等張溶液２００～５００ｍＬに溶解し、心拍数又は心電図をモニターしながら注入する。
徐脈型アダムス・ストークス症候群においては、心拍数を原則として毎分５０～６０に保つ。
ショックないし低拍出量症候群においては、心拍数を原則として毎分１１０前後に保つようにする。

〈緊急時〉急速な効果発現を必要とする時には、ｌ－イソプレナリン塩酸塩として０．２ｍｇを等張溶液２０ｍＬに溶解し、その２～２０ｍＬを静脈内（徐々に）、筋肉内又は皮下に注射する。
心臓がまさに停止せんとする時には、ｌ－イソプレナリン塩酸塩として０．０２～０．２ｍｇを心内に与えてもよい。
なお、症状により適宜増量する。
【保管】室温保存。

ミルリノン静注液10mg「NIG」(ミルリーラ)　Milrinone　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ミルリーラ注射液１０ｍｇ
商品名:ミルリノン静注液１０ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:１０ｍｇ１０ｍＬ１管　薬価:1322.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:注射液　YJ:2119408A1067　院内コード:301313
成分:ミルリノン,
【効】次記の状態で他の薬剤を投与しても効果が不十分な場合：急性心不全。
【用】本剤は、注射液そのまま、又は必要に応じて生理食塩液、ブドウ糖注射液、乳酸リンゲル液、総合アミノ酸注射液等で希釈し、ミルリノンとして体重１ｋｇあたり５０μｇを１０分間かけて静脈内投与し、引き続き１分間あたり０．５μｇ／ｋｇを点滴静脈内投与する。
なお、点滴投与量は患者の血行動態、臨床症状に応じて１分間あたり０．２５～０．７５μｇ／ｋｇの範囲で適宜増減できる。また、患者の状態によっては、点滴静脈内投与から開始してもよい。
【保管】室温保存。

212: 不整脈用剤

2123: β－遮断剤

アロチノロール塩酸塩錠5mg(アルマール)　Arotinolol hydrochloride DSP　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アロチノロール塩酸塩錠５ｍｇ「ＤＳＰ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:7.40　製造:住友ファーマ　剤型:錠　YJ:2123014F1094　院内コード:200051
成分:アロチノロール塩酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　狭心症。
３）．　頻脈性不整脈。
４）．　本態性振戦。
【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）、狭心症、頻脈性不整脈〉通常、成人にはアロチノロール塩酸塩として、１日２０ｍｇを２回に分けて経口投与する。
なお、年齢・症状等により適宜増減することとするが、効果不十分な場合は、１日３０ｍｇまで増量することができる。
〈本態性振戦〉通常、成人にはアロチノロール塩酸塩として、１日量１０ｍｇから開始し、効果不十分な場合は、１日２０ｍｇを維持量として２回に分けて経口投与する。
なお、年齢・症状等により適宜増減するが１日３０ｍｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

インデラル錠１０ｍｇ　Inderal　採用　(劇)　Hi
商品名:インデラル錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:太陽ファルマ　剤型:錠　YJ:2123008F1048　院内コード:200061
成分:プロプラノロール塩酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　狭心症。
３）．　褐色細胞腫手術時。
４）．　期外収縮＜上室性＞、期外収縮＜心室性＞、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動＜徐脈効果＞、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防。
５）．　片頭痛発作の発症抑制。
６）．　右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制。
【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）に使用する場合〉通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として１日３０～６０ｍｇより投与をはじめ、効果不十分な場合は１２０ｍｇまで漸増し、１日３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈狭心症、褐色細胞腫手術時に使用する場合〉通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として１日３０ｍｇより投与をはじめ、効果が不十分な場合は６０ｍｇ、９０ｍｇと漸増し、１日３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈期外収縮（上室性、心室性）、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動（徐脈効果）、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防に使用する場合〉成人通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として１日３０ｍｇより投与をはじめ、効果が不十分な場合は６０ｍｇ、９０ｍｇと漸増し、１日３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児通常、小児にはプロプラノロール塩酸塩として１日０．５～２ｍｇ／ｋｇを、低用量から開始し、１日３～４回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。効果不十分な場合には１日４ｍｇ／ｋｇまで増量することができるが、１日投与量として９０ｍｇを超えないこと。
〈片頭痛発作の発症抑制に使用する場合〉通常、成人にはプロプラノロール塩酸塩として１日２０～３０ｍｇより投与をはじめ、効果が不十分な場合は６０ｍｇまで漸増し、１日２回あるいは３回に分割経口投与する。
〈右心室流出路狭窄による低酸素発作の発症抑制に使用する場合〉通常、乳幼児にはプロプラノロール塩酸塩として１日０．５～２ｍｇ／ｋｇを、低用量から開始し、１日３～４回に分割経口投与する。なお、症状により適宜増減する。効果不十分な場合には１日４ｍｇ／ｋｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

コアベータ静注用１２．５ｍｇ　Corebeta　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:コアベータ静注用１２．５ｍｇ

規格:１２．５ｍｇ１瓶　薬価:2616.00　製造:小野薬品　剤型:注射用　YJ:2123404D2021　院内コード:300660
成分:ランジオロール塩酸塩,
【効】コンピューター断層撮影による冠動脈造影における高心拍数時の冠動脈描出能の改善。
【用】ランジオロール塩酸塩として、１回０．１２５ｍｇ／ｋｇを１分間で静脈内投与する。
【保管】室温保存。

テノーミン錠２５　Tenormin　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:テノーミン錠２５
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:7.50　製造:太陽ファルマ　剤型:錠　YJ:2123011F1155　院内コード:201096
成分:アテノロール,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　狭心症。
３）．　頻脈性不整脈（洞性頻脈、期外収縮）。
【用】通常成人には２錠（アテノロールとして５０ｍｇ）を１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により、適宜増減できるが、最高量は１日１回４錠（１００ｍｇ）までとする。
【保管】室温保存。

テノーミン錠５０　Tenormin　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:テノーミン錠５０
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:7.90　製造:太陽ファルマ　剤型:錠　YJ:2123011F2437　院内コード:200166
成分:アテノロール,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　狭心症。
３）．　頻脈性不整脈（洞性頻脈、期外収縮）。
【用】通常成人には１錠（アテノロールとして５０ｍｇ）を１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により、適宜増減できるが、最高量は１日１回２錠（１００ｍｇ）までとする。
【保管】室温保存。

ビソプロロールフマル酸塩錠０．６２５ｍｇ「サワイ」　Bisoprolol fumarate　採用　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]メインテート錠０．６２５ｍｇ
商品名:ビソプロロールフマル酸塩錠０．６２５ｍｇ「サワイ」
規格:０．６２５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2123016F3061　院内コード:202762
成分:ビソプロロールフマル酸塩,
【効】次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシン２受容体拮抗薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全。
【用】通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、１日１回０．６２５ｍｇ経口投与から開始する。１日１回０．６２５ｍｇの用量で２週間以上経口投与し、忍容性がある場合には、１日１回１．２５ｍｇに増量する。その後忍容性がある場合には、４週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は１回投与量を０．６２５、１．２５、２．５、３．７５又は５ｍｇとして必ず段階的に行い、いずれの用量においても、１日１回経口投与とする。通常、維持量として１日１回１．２５～５ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により、開始用量は更に低用量に、増量幅は更に小さくしてもよい。また、患者の本剤に対する反応性により、維持量は適宜増減するが、最高投与量は１日１回５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

ビソプロロールフマル酸塩錠２．５ｍｇ「サワイ」　Bisoprolol fumarate　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]メインテート錠２．５ｍｇ
商品名:ビソプロロールフマル酸塩錠２．５ｍｇ「サワイ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2123016F1115　院内コード:202763
成分:ビソプロロールフマル酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　狭心症。
３）．　心室性期外収縮。
４）．　次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシン２受容体拮抗薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全。
５）．　頻脈性心房細動。
【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）、狭心症、心室性期外収縮〉通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全〉通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、１日１回０．６２５ｍｇ経口投与から開始する。１日１回０．６２５ｍｇの用量で２週間以上経口投与し、忍容性がある場合には、１日１回１．２５ｍｇに増量する。その後忍容性がある場合には、４週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は１回投与量を０．６２５、１．２５、２．５、３．７５又は５ｍｇとして必ず段階的に行い、いずれの用量においても、１日１回経口投与とする。通常、維持量として１日１回１．２５～５ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により、開始用量は更に低用量に、増量幅は更に小さくしてもよい。また、患者の本剤に対する反応性により、維持量は適宜増減するが、最高投与量は１日１回５ｍｇを超えないこと。
〈頻脈性心房細動〉通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、１日１回２．５ｍｇ経口投与から開始し、効果が不十分な場合には１日１回５ｍｇに増量する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は１日１回５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

ビソプロロールフマル酸塩錠５ｍｇ「サワイ」　Bisoprolol fumarate　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]メインテート錠５ｍｇ

商品名:ビソプロロールフマル酸塩錠５ｍｇ「サワイ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2123016F2197　院内コード:202764
成分:ビソプロロールフマル酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　狭心症。
３）．　心室性期外収縮。
４）．　次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシン２受容体拮抗薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全。
５）．　頻脈性心房細動。
【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）、狭心症、心室性期外収縮〉通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全〉通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、１日１回０．６２５ｍｇ経口投与から開始する。１日１回０．６２５ｍｇの用量で２週間以上経口投与し、忍容性がある場合には、１日１回１．２５ｍｇに増量する。その後忍容性がある場合には、４週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は１回投与量を０．６２５、１．２５、２．５、３．７５又は５ｍｇとして必ず段階的に行い、いずれの用量においても、１日１回経口投与とする。通常、維持量として１日１回１．２５～５ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により、開始用量は更に低用量に、増量幅は更に小さくしてもよい。また、患者の本剤に対する反応性により、維持量は適宜増減するが、最高投与量は１日１回５ｍｇを超えないこと。
〈頻脈性心房細動〉通常、成人にはビソプロロールフマル酸塩として、１日１回２．５ｍｇ経口投与から開始し、効果が不十分な場合には１日１回５ｍｇに増量する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は１日１回５ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

2129: その他の不整脈用剤

(毒)アミオダロン塩酸塩速崩錠１００ｍｇ「ＴＥ」　Amiodarone hydrochloride TE　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]アンカロン錠１００
商品名:アミオダロン塩酸塩速崩錠１００ｍｇ「ＴＥ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:66.60　製造:トーアエイヨー　剤型:錠　YJ:2129010F1065　院内コード:202778
成分:アミオダロン塩酸塩,
【効】生命に危険のある次記の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合：心室細動、心室性頻拍、心不全＜低心機能＞又は肥大型心筋症に伴う心房細動。
【用】導入期：通常、成人にはアミオダロン塩酸塩として１日４００ｍｇを１～２回に分けて１～２週間経口投与する。
維持期：通常、成人にはアミオダロン塩酸塩として１日２００ｍｇを１～２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アスペノンカプセル２０　Aspenon　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アスペノンカプセル２０
規格:２０ｍｇ１カプセル　薬価:23.60　製造:バイエル薬品　剤型:カプセルYJ:2129004M2022　院内コード:200029
成分:アプリンジン塩酸塩,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：頻脈性不整脈。
【用】通常、成人にはアプリンジン塩酸塩として、１日４０ｍｇより投与をはじめ、効果が不十分な場合は６０ｍｇまで増量し、１日２～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アミオダロン塩酸塩静注１５０ｍｇ「ＴＥ」（アンカロン）　Amiodarone hydrochloride TE　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]アンカロン注１５０ｍｇ
商品名:アミオダロン塩酸塩静注１５０ｍｇ「ＴＥ」
規格:１５０ｍｇ３ｍＬ１管　薬価:768.00　製造:トーアエイヨー　剤型:注射液　YJ:2129410A1036　院内コード:300989
成分:アミオダロン塩酸塩,
【効】１）．　生命に危険のある次記の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合：心室細動、血行動態不安定な心室頻拍。
２）．　電気的除細動抵抗性心室細動あるいは無脈性心室頻拍による心停止。
【用】〈心室細動、血行動態不安定な心室頻拍で難治性かつ緊急を要する場合〉通常、成人には次のとおり点滴静注により投与する。
なお、症状に応じて適宜増減あるいは追加投与を行う。
ただし、最大量として１日の総投与量は１２５０ｍｇを超えないこと及び投与濃度は２．５ｍｇ／ｍＬを超えないこと。
（１）．　投与方法（４８時間まで）
１）．　初期急速投与：アミオダロン塩酸塩として１２５ｍｇ（２．５ｍＬ）を５％ブドウ糖液１００ｍＬに加え、容量型の持続注入ポンプを用い、６００ｍＬ／時（１０ｍＬ／分）の速度で１０分間投与する。
２）．　負荷投与：アミオダロン塩酸塩として７５０ｍｇ（１５ｍＬ）を５％ブドウ糖液５００ｍＬに加え、容量型の持続注入ポンプを用い３３ｍＬ／時の速度で６時間投与する。
３）．　維持投与：１７ｍＬ／時の速度で合計４２時間投与する。
①．　６時間の負荷投与後、残液を３３ｍＬ／時から１７ｍＬ／時に投与速度を変更し、１８時間投与する。
②．　アミオダロン塩酸塩として７５０ｍｇ（１５ｍＬ）を５％ブドウ糖液５００ｍＬに加え、容量型の持続注入ポンプを用い１７ｍＬ／時の速度で２４時間投与する（アミオダロン塩酸塩として６００ｍｇ）。
（２）．　追加投与血行動態不安定な心室頻拍あるいは心室細動が再発し、本剤投与が必要な場合には追加投与できる。１回の追加投与は本剤１２５ｍｇ（２．５ｍＬ）を５％ブドウ糖液１００ｍＬに加え、容量型の持続注入ポンプを用い、６００ｍＬ／時（１０ｍＬ／分）の速度で１０分間投与する。

（３）．　継続投与（３日以降）
４８時間の投与終了後、本剤の継続投与が必要と判断された場合は、継続投与を行うことができる。
アミオダロン塩酸塩として７５０ｍｇ（１５ｍＬ）を５％ブドウ糖液５００ｍＬに加え、容量型の持続注入ポンプを用い１７ｍＬ／時の速度で投与する（アミオダロン塩酸塩として６００ｍｇ／２４時間）。
〈電気的除細動抵抗性の心室細動あるいは無脈性心室頻拍による心停止〉アミオダロン塩酸塩として３００ｍｇ（６ｍＬ）又は５ｍｇ／ｋｇ（体重）を５％ブドウ糖液２０ｍＬに加え、静脈内へボーラス投与する。心室性不整脈が持続する場合には、１５０ｍｇ（３ｍＬ）又は２．５ｍｇ／ｋｇ（体重）を５％ブドウ糖液１０ｍＬに加え、追加投与することができる。
【保管】室温保存。

シベノール静注７０ｍｇ　Cibenol　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:シベノール静注７０ｍｇ
規格:７０ｍｇ５ｍＬ１管　薬価:772.00　製造:トーアエイヨー　剤型:注射液　YJ:2129405A1035　院内コード:300777
成分:シベンゾリンコハク酸塩,
【効】頻脈性不整脈。
【用】通常、成人には１回０．１ｍＬ／ｋｇ（シベンゾリンコハク酸塩として１．４ｍｇ／ｋｇ）を必要に応じて生理食塩液又はブドウ糖液にて希釈し、血圧及び心電図監視下２～５分間かけて静脈内に注射する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】室温保存。

シベンゾリンコハク酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」(ｼﾍﾞﾉｰﾙ)　Cibenzoline succinate　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]シベノール錠５０ｍｇ
商品名:シベンゾリンコハク酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2129007F1047　院内コード:202840
成分:シベンゾリンコハク酸塩,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：頻脈性不整脈。
【用】通常、成人にはシベンゾリンコハク酸塩として、１日３００ｍｇより投与をはじめ、効果が不十分な場合には４５０ｍｇまで増量し、１日３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

シンビット静注用５０ｍｇ　Shinbit　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:シンビット静注用５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１瓶　薬価:3948.00　製造:トーアエイヨー　剤型:注射用　YJ:2129407D1030　院内コード:300050
成分:ニフェカラント塩酸塩,
【効】生命に危険のある次記の不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合：心室頻拍、心室細動。
【用】〈単回静注法〉通常、成人にはニフェカラント塩酸塩として１回０．３ｍｇ／ｋｇを５分間かけて心電図の連続監視下に静脈内に投与する。
〈維持静注法〉単回静注が有効で効果の維持を期待する場合には、通常、成人にはニフェカラント塩酸塩として１時間あたり０．４ｍｇ／ｋｇを等速度で心電図の連続監視下に静脈内に投与する。
〈用法共通〉なお、年齢、症状により適宜増減する。
投与に際しては、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で溶解して使用する。
【保管】室温保存。

タンボコール錠５０ｍｇ　Tambocor　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:タンボコール錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:30.80　製造:エーザイ　剤型:錠　YJ:2129009F1020　院内コード:200157
成分:フレカイニド酢酸塩,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：
１）．　成人：頻脈性不整脈（発作性心房細動・発作性心房粗動、頻脈性不整脈＜心室性＞）。
２）．　小児：頻脈性不整脈（発作性心房細動・発作性心房粗動、小児頻脈性不整脈＜発作性上室性＞、頻脈性不整脈＜心室性＞）。
【用】成人１）．　頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動）
通常、成人にはフレカイニド酢酸塩として１日１００ｍｇから投与を開始し、効果が不十分な場合は２００ｍｇまで増量し、１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。
２）．　頻脈性不整脈（心室性）
通常、成人にはフレカイニド酢酸塩として１日１００ｍｇから投与を開始し、効果が不十分な場合は２００ｍｇまで増量し、１日２回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）
通常、６ヵ月以上の乳児、幼児及び小児にはフレカイニド酢酸塩として１日５０～１００ｍｇ／㎡（体表面積）を、１日２～３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日最高用量は２００ｍｇ／㎡とする。
通常、６ヵ月未満の乳児にはフレカイニド酢酸塩として１日５０ｍｇ／㎡（体表面積）を、１日２～３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日最高用量は２００ｍｇ／㎡とする。
【保管】室温保存。

ピメノールカプセル１００ｍｇ　Pimenol　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ピメノールカプセル１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１カプセル　薬価:57.70　製造:ファイザー　剤型:カプセルYJ:2129012M2027　院内コード:200212
成分:ピルメノール塩酸塩水和物,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、または無効の場合：頻脈性不整脈＜心室性＞。
【用】通常、成人にはピルメノール（遊離塩基）として１回１００ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ピルシカイニド塩酸塩カプセル２５mg「サワイ」 Pilsicainide hydrochloride 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]サンリズムカプセル２５mg
商品名:ピルシカイニド塩酸塩カプセル２５mg「サワイ」
規格:２５mg１カプセル 薬価:10.80 製造:沢井製薬 剤型:カプセルYJ:2129008M1113 院内コード:203031
成分:ピルシカイニド塩酸塩水和物,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：頻脈性不整脈。
【用】通常、成人にはピルシカイニド塩酸塩水和物として、１日１５０mgを３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症又は効果不十分な場合には、１日２２５mgまで増量できる。
【保管】室温保存。

ピルシカイニド塩酸塩カプセル５０mg「サワイ」 Pilsicainide hydrochloride 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]サンリズムカプセル５０mg
商品名:ピルシカイニド塩酸塩カプセル５０mg「サワイ」
規格:５０mg１カプセル 薬価:17.90 製造:沢井製薬 剤型:カプセルYJ:2129008M2128 院内コード:203032
成分:ピルシカイニド塩酸塩水和物,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：頻脈性不整脈。
【用】通常、成人にはピルシカイニド塩酸塩水和物として、１日１５０mgを３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症又は効果不十分な場合には、１日２２５mgまで増量できる。
【保管】室温保存。

ベプリジル塩酸塩錠５０mg「ＴＥ」(ﾍﾞﾌﾟﾘｺｰﾙ) Bepridil hydrochloride TE 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ベプリコール錠５０mg
商品名:ベプリジル塩酸塩錠５０mg「ＴＥ」
規格:５０mg１錠 薬価:17.10 製造:トーアエイヨー 剤型:錠 YJ:2129011F1043 院内コード:203667
成分:ベプリジル塩酸塩水和物,
【効】１）． 次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：持続性心房細動、頻脈性不整脈＜心室性＞。
２）． 狭心症。
【用】〈持続性心房細動〉通常、成人にはベプリジル塩酸塩水和物として、１日１００mgから投与を開始し、効果が不十分な場合は２００mgまで増量し、１日２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈頻脈性不整脈（心室性）及び狭心症〉通常、成人にはベプリジル塩酸塩水和物として、１日２００mgを１日２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

メキシレチン塩酸塩カプセル５０mg「サワイ」(ﾒｷｼﾁｰﾙ) Mexiletine hydrochloride 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]メキシチールカプセル５０mg
商品名:メキシレチン塩酸塩カプセル５０mg「サワイ」
規格:５０mg１カプセル 薬価:7.90 製造:沢井製薬 剤型:カプセルYJ:2129003M1188 院内コード:203800
成分:メキシレチン塩酸塩,
【効】１）． 頻脈性不整脈＜心室性＞。
２）． 糖尿病性神経障害に伴う自覚症状（自発痛、しびれ感）の改善。
【用】〈頻脈性不整脈（心室性）〉通常、成人にはメキシレチン塩酸塩として、１日３００mgより投与をはじめ、効果が不十分な場合は４５０mgまで増量し、１日３回に分割し食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈糖尿病性神経障害に伴う自覚症状（自発痛、しびれ感）の改善〉通常、成人にはメキシレチン塩酸塩として、１日３００mgを１日３回に分割し食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

リスモダンＲ錠１５０mg Rythmodan R 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:リスモダンＲ錠１５０mg
規格:１５０mg１錠 薬価:20.20 製造:チェプラファーム 剤型:徐放錠 YJ:2129005F1129 院内コード:200293
成分:リン酸ジソピラミド,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：頻脈性不整脈。
【用】通常成人１回１錠、１日２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リスモダンカプセル１００mg Rythmodan 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:リスモダンカプセル１００mg
規格:１００mg１カプセル 薬価:28.30 製造:チェプラファーム 剤型:カプセルYJ:2129002M2139 院内コード:200294
成分:ジソピラミド,
【効】次記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：期外収縮、発作性上室性頻脈、心房細動。
【用】通常、成人１回１カプセル（１００mg）１日３回経口投与、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ワソラン静注5mg Vasolan 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:ワソラン静注5mg
規格:０．２５%2mL１管 薬価:192.00 製造:エーザイ 剤型:注射液 YJ:2129402A1040 院内コード:300049
成分:ベラパミル塩酸塩,
【効】頻脈性不整脈（発作性上室性頻拍、発作性心房細動、発作性心房粗動）。

【用】成人：
通常、成人には１回１管（ベラパミル塩酸塩として５ｍｇ）を、必要に応じて生理食塩水又はブドウ糖注射液で希釈し、５分以上かけて徐々に静脈内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：
通常、小児にはベラパミル塩酸塩として１回０．１～０．２ｍｇ／ｋｇ（ただし、１回５ｍｇを超えない）を、必要に応じて生理食塩水又はブドウ糖注射液で希釈し、５分以上かけて徐々に静脈内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

213: 利尿剤

2132: チアジド系製剤

フルイトラン錠１ｍｇ Fluitran 採用

商品名:フルイトラン錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:シオノギファーマ 剤型:錠 YJ:2132003F3039 院内コード:201039
成分:トリクロルメチアジド,
【効】高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症。
【用】通常、成人にはトリクロルメチアジドとして１日２～８ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、高血圧症に用いる場合には少量から投与を開始して徐々に増量すること。また、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。
【保管】室温保存。

フルイトラン錠２ｍｇ Fluitran 採用

商品名:フルイトラン錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:シオノギファーマ 剤型:錠 YJ:2132003F1257 院内コード:200225
成分:トリクロルメチアジド,
【効】高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症。
【用】通常、成人にはトリクロルメチアジドとして１日２～８ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、高血圧症に用いる場合には少量から投与を開始して徐々に増量すること。また、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。
【保管】室温保存。

2133: 抗アルドステロン製剤；トリアムテレン

スピロノラクトン錠２５ｍｇ「日医工」(ｱﾙﾀﾞｸﾄﾝ) Spironolactone 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:非採用]アルダクトンＡ錠２５ｍｇ

商品名:スピロノラクトン錠２５ｍｇ「日医工」
規格:２５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:日医工 剤型:錠 YJ:2133001F1590 院内コード:203610
成分:スピロノラクトン,
【効】１）． 高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）。
２）． 心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、特発性浮腫、悪性腫瘍に伴う浮腫および腹水、栄養失調性浮腫。
３）． 原発性アルドステロン症の診断および症状の改善。
【用】通常成人１日２～４錠を分割経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
ただし、「原発性アルドステロン症の診断および症状の改善」のほかは他剤と併用することが多い。
【保管】室温保存。

ソルダクトン静注用２００ｍｇ Soldactone 採用 (劇) <先発品（後発品あり）>

商品名:ソルダクトン静注用２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１管 薬価:275.00 製造:ファイザー 剤型:注射用 YJ:2133400D2097 院内コード:300051
成分:カンレノ酸カリウム,
【効】経口抗アルドステロン薬の服用困難な次記症状（高アルドステロン症によると考えられる）の改善：原発性アルドステロン症、心性浮腫（うっ血性心不全）、肝性浮腫、開心術時及び開腹術時における水分・電解質代謝異常の改善。
【用】カンレノ酸カリウムとして、通常成人１回１００～２００ｍｇを１日１～２回、日局ブドウ糖注射液、生理食塩液または注射用水１０～２０ｍＬに溶解してゆっくりと静脈内注射する。
なお、症状により適宜増減するが、１日投与量として６００ｍｇをこえないこと。また、投与期間は原則として２週間をこえないこと。
【保管】室温保存。

2134: 炭酸脱水酵素阻害剤

ダイアモックス錠２５０ｍｇ Diamox 採用 Hi

商品名:ダイアモックス錠２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１錠 薬価:17.40 製造:三和化学研究所 剤型:錠 YJ:2134002F1109 院内コード:200150
成分:アセタゾラミド,
【効】緑内障、てんかん（他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加）、肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善、心性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症、メニエル病及びメニエル症候群、睡眠時無呼吸症候群。
【用】〈緑内障〉通常、成人にはアセタゾラミドとして１日２５０～１０００ｍｇを分割経口投与する。
〈てんかん（他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加）〉通常、成人にはアセタゾラミドとして１日２５０～７５０ｍｇを分割経口投与する。
〈肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善、心性浮腫、肝性浮腫〉通常、成人にはアセタゾラミドとして１日１回２５０～５００ｍｇを経口投与する。
〈月経前緊張症〉通常、成人にはアセタゾラミドとして１日１回１２５～３７５ｍｇを月経前５～１０日間又は症状が発現した日から経口投与する。

〈メニエル病及びメニエル症候群〉通常、成人にはアセタゾラミドとして１日１回２５０～７５０ｍｇを経口投与する。
〈睡眠時無呼吸症候群〉通常、成人にはアセタゾラミドとして１日２５０～５００ｍｇを分割経口投与する。
なお、いずれの場合も、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ダイアモックス注射用５００ｍｇ　Diamox　採用　Hi

商品名:ダイアモックス注射用５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１瓶　薬価:455.00　製造:三和化学研究所　剤型:注射用　YJ:2134400D1039　院内コード:300052
成分:アセタゾラミドナトリウム,
【効】緑内障、てんかん（他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加）、肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善、メニエル病及びメニエル症候群。
【用】〈緑内障〉アセタゾラミドとして、通常成人１日２５０ｍｇ～１ｇを分割して静脈内又は筋肉内注射する。
〈てんかん（他の抗てんかん薬で効果不十分な場合に付加）〉アセタゾラミドとして、通常成人１日２５０～７５０ｍｇを分割して静脈内又は筋肉内注射する。
〈肺気腫における呼吸性アシドーシスの改善〉アセタゾラミドとして、通常成人１日１回２５０～５００ｍｇを静脈内又は筋肉内注射する。
〈メニエル病及びメニエル症候群〉アセタゾラミドとして、通常成人１日１回２５０～７５０ｍｇを静脈内又は筋肉内注射する。
なお、いずれの場合も、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2139: その他の利尿剤

アゾセミド錠30mg「DSEP」　Azosemide DSEP　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ダイアート錠３０ｍｇ

商品名:アゾセミド錠３０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:３０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2139008F2052　院内コード:203451
成分:アゾセミド,
【効】心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫。
【用】通常成人１日１回２錠（アゾセミドとして６０ｍｇ）を経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アゾセミド錠60mg「DSEP」　Azosemide DSEP　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ダイアート錠６０ｍｇ

商品名:アゾセミド錠６０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:６０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2139008F1072　院内コード:203452
成分:アゾセミド,
【効】心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫。
【用】通常成人１日１回１錠（アゾセミドとして６０ｍｇ）を経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

イソバイドシロップ70%分包20mL　Isobide　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:イソバイドシロップ７０％分包２０ｍＬ
規格:７０％２０ｍＬ１包　薬価:52.40　製造:興和　剤型:液　YJ:2139001S3020　院内コード:200376
成分:イソソルビド,
【効】脳腫瘍時の脳圧降下、頭部外傷に起因する脳圧亢進時の脳圧降下、腎結石時・尿管結石時の利尿、緑内障の眼圧降下、メニエール病。
【用】〈脳腫瘍時の脳圧降下、頭部外傷に起因する脳圧亢進時の脳圧降下、腎・尿管結石時の利尿、緑内障の眼圧降下〉脳圧降下、眼圧降下、及び利尿を目的とする場合には、通常成人１日量７０～１４０ｍＬを２～３回に分けて経口投与する。症状により適宜増量する。
必要によって冷水で２倍程度に希釈して経口投与する。
〈メニエール病〉メニエール病の場合には、１日体重当り１．５～２．０ｍＬ／ｋｇを標準用量とし、通常成人１日量９０～１２０ｍＬを毎食後３回に分けて経口投与する。症状により適宜増減する。
必要によって冷水で２倍程度に希釈して経口投与する。
【保管】室温保存。

イソバイドシロップ70%分包30mL　Isobide　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:イソバイドシロップ７０％分包３０ｍＬ
規格:７０％３０ｍＬ１包　薬価:70.00　製造:興和　剤型:液　YJ:2139001S2032　院内コード:202175
成分:イソソルビド,
【効】脳腫瘍時の脳圧降下、頭部外傷に起因する脳圧亢進時の脳圧降下、腎結石時・尿管結石時の利尿、緑内障の眼圧降下、メニエール病。
【用】〈脳腫瘍時の脳圧降下、頭部外傷に起因する脳圧亢進時の脳圧降下、腎・尿管結石時の利尿、緑内障の眼圧降下〉脳圧降下、眼圧降下、及び利尿を目的とする場合には、通常成人１日量７０～１４０ｍＬを２～３回に分けて経口投与する。症状により適宜増量する。
必要によって冷水で２倍程度に希釈して経口投与する。
〈メニエール病〉メニエール病の場合には、１日体重当り１．５～２．０ｍＬ／ｋｇを標準用量とし、通常成人１日量９０～１２０ｍＬを毎食後３回に分けて経口投与する。症状により適宜増減する。
必要によって冷水で２倍程度に希釈して経口投与する。
【保管】室温保存。

サムタス点滴静注用8mg　Samtasu　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:サムタス点滴静注用８ｍｇ
規格:８ｍｇ１瓶　薬価:1148.00　製造:大塚製薬　剤型:注射用　YJ:2139403D1020　院内コード:301145
成分:トルバプタンリン酸エステルナトリウム,
【効】ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留。
【用】通常、成人にはトルバプタンリン酸エステルナトリウムとして１６ｍｇを１日１回１時間かけて点滴静注する。

【保管】室温保存。

トラセミドＯＤ錠４ｍｇ「ＴＥ」(ﾙﾌﾟﾗｯｸ)　Torasemide OD TE　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ルプラック錠４ｍｇ

商品名:トラセミドＯＤ錠４ｍｇ「ＴＥ」

規格:４ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:トーアエイヨー　剤型:錠　YJ:2139009F3029　院内コード:203062

成分:トラセミド,

【効】１）．　心性浮腫。

２）．　腎性浮腫。

３）．　肝性浮腫。

【用】通常、成人には、トラセミドとして、１日１回４～８ｍｇを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

トルバプタンＯＤ錠１５ｍｇ「オーツカ」(ｻﾑｽｶ)　Tolvaptan OD Otsuka　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]サムスカＯＤ錠１５ｍｇ

商品名:トルバプタンＯＤ錠１５ｍｇ「オーツカ」

規格:１５ｍｇ１錠　薬価:473.20　製造:大塚製薬工場　剤型:錠　YJ:2139011F4065　院内コード:203523

成分:トルバプタン,

【効】１）．　ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留。

２）．　腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制。

【用】〈心不全における体液貯留〉通常、成人にはトルバプタンとして１５ｍｇを１日１回経口投与する。

〈常染色体優性多発性のう胞腎〉通常、成人にはトルバプタンとして１日６０ｍｇを２回（朝４５ｍｇ、夕方１５ｍｇ）に分けて経口投与を開始する。１日６０ｍｇの用量で１週間以上投与し、忍容性がある場合には、１日９０ｍｇ（朝６０ｍｇ、夕方３０ｍｇ）、１日１２０ｍｇ（朝９０ｍｇ、夕方３０ｍｇ）と１週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は１日１２０ｍｇまでとする。

【保管】室温保存。

トルバプタンＯＤ錠３．７５ｍｇ「ＴＥ」　Tolvaptan OD TE　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]サムスカＯＤ錠７．５ｍｇ

商品名:トルバプタンＯＤ錠３．７５ｍｇ「ＴＥ」

規格:３．７５ｍｇ１錠　薬価:145.10　製造:トーアエイヨー　剤型:錠　YJ:2139011F5029　院内コード:203866

成分:トルバプタン,

【効】１）．　ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留。

２）．　ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留。

３）．　腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制。

【用】〈心不全における体液貯留〉通常、成人にはトルバプタンとして１５ｍｇを１日１回経口投与する。

〈肝硬変における体液貯留〉通常、成人にはトルバプタンとして７．５ｍｇを１日１回経口投与する。

〈常染色体優性多発性のう胞腎〉通常、成人にはトルバプタンとして１日６０ｍｇを２回（朝４５ｍｇ、夕方１５ｍｇ）に分けて経口投与を開始する。１日６０ｍｇの用量で１週間以上投与し、忍容性がある場合には、１日９０ｍｇ（朝６０ｍｇ、夕方３０ｍｇ）、１日１２０ｍｇ（朝９０ｍｇ、夕方３０ｍｇ）と１週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は１日１２０ｍｇまでとする。

【保管】室温保存。

トルバプタンＯＤ錠７．５ｍｇ「オーツカ」(ｻﾑｽｶ)　Tolvaptan OD Otsuka　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]サムスカＯＤ錠７．５ｍｇ

商品名:トルバプタンＯＤ錠７．５ｍｇ「オーツカ」

規格:７．５ｍｇ１錠　薬価:269.60　製造:大塚製薬工場　剤型:錠　YJ:2139011F3050　院内コード:203522

成分:トルバプタン,

【効】１）．　ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留。

２）．　ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な肝硬変における体液貯留。

３）．　腎容積が既に増大しており、かつ、腎容積の増大速度が速い常染色体優性多発性のう胞腎の進行抑制。

【用】〈心不全における体液貯留〉通常、成人にはトルバプタンとして１５ｍｇを１日１回経口投与する。

〈肝硬変における体液貯留〉通常、成人にはトルバプタンとして７．５ｍｇを１日１回経口投与する。

〈常染色体優性多発性のう胞腎〉通常、成人にはトルバプタンとして１日６０ｍｇを２回（朝４５ｍｇ、夕方１５ｍｇ）に分けて経口投与を開始する。１日６０ｍｇの用量で１週間以上投与し、忍容性がある場合には、１日９０ｍｇ（朝６０ｍｇ、夕方３０ｍｇ）、１日１２０ｍｇ（朝９０ｍｇ、夕方３０ｍｇ）と１週間以上の間隔を空けて段階的に増量する。なお、忍容性に応じて適宜増減するが、最高用量は１日１２０ｍｇまでとする。

【保管】室温保存。

フロセミド錠１０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾗｼｯｸｽ)　Furosemide　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ラシックス錠１０ｍｇ

商品名:フロセミド錠１０ｍｇ「ＮＩＧ」

規格:１０ｍｇ１錠　薬価:6.50　製造:日医工岐阜工場　剤型:錠　YJ:2139005F3063　院内コード:203496

成分:フロセミド,

【効】高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症、末梢血管障害による浮腫、尿路結石排出促進。

【用】通常、成人にはフロセミドとして１日１回４０～８０ｍｇを連日又は隔日経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。腎機能不全等の場合にはさらに大量に用いることもある。ただし、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。

【保管】室温保存。

フロセミド錠２０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾗｼｯｸｽ)　Furosemide　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ラシックス錠２０ｍｇ

商品名:フロセミド錠２０ｍｇ「ＮＩＧ」

規格:２０ｍｇ１錠　薬価:6.50　製造:日医工岐阜工場　剤型:錠　YJ:2139005F1117　院内コード:203497

21: 循環器官用薬

成分:フロセミド,
【効】高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症、末梢血管障害による浮腫、尿路結石排出促進。
【用】通常、成人にはフロセミドとして１日１回４０～８０ｍｇを連日又は隔日経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。腎機能不全等の場合にはさらに大量に用いることもある。ただし、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。
【保管】室温保存。

フロセミド錠４０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾗｼｯｸｽ)　Furosemide　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ラシックス錠４０ｍｇ

商品名:フロセミド錠４０ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:４０ｍｇ１錠　薬価:6.80　製造:日医工岐阜工場　剤型:錠　YJ:2139005F2474　院内コード:203498
成分:フロセミド,
【効】高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症、末梢血管障害による浮腫、尿路結石排出促進。
【用】通常、成人にはフロセミドとして１日１回４０～８０ｍｇを連日又は隔日経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。腎機能不全等の場合にはさらに大量に用いることもある。ただし、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。
【保管】室温保存。

フロセミド注２０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾗｼｯｸｽ)　Furosemide　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ラシックス注２０ｍｇ

商品名:フロセミド注２０ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:２０ｍｇ１管　薬価:104.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:注射液　YJ:2139401A2234　院内コード:301163
成分:フロセミド,
【効】高血圧症（本態性高血圧症、腎性高血圧症等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、脳浮腫、尿路結石排出促進。
【用】通常、成人にはフロセミドとして１日１回２０ｍｇを静脈注射又は筋肉内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。腎機能不全等の場合にはさらに大量に用いることもある。ただし、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。
【保管】室温保存。

ラシックス注１００ｍｇ　Lasix　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:ラシックス注１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１管　薬価:126.00　製造:サノフィ　剤型:注射液　YJ:2139401A1033　院内コード:300053
成分:フロセミド,
【効】急性腎不全又は慢性腎不全による乏尿。
【用】フロセミドとして２０～４０ｍｇを静脈内投与し、利尿反応のないことを確認した後、通常、本剤１アンプル（１００ｍｇ）を静脈内投与する。
投与後２時間以内に１時間当り約４０ｍＬ以上の尿量が得られない場合には用量を漸増し、その後症状により適宜増減する。
ただし、１回投与量は５アンプル（５００ｍｇ）までとし、１日量は１０アンプル（１０００ｍｇ）までとする。
本剤の投与速度はフロセミドとして毎分４ｍｇ以下とする。
【保管】室温保存。

214: 血圧降下剤

2144: アンジオテンシン変換酵素阻害剤

エースコール錠２ｍｇ　Acecol　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:エースコール錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠　薬価:24.30　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:錠　YJ:2144009F2022　院内コード:200068
成分:テモカプリル塩酸塩,
【効】高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症。
【用】通常、成人にはテモカプリル塩酸塩として１日１回２～４ｍｇ経口投与する。ただし、１日１回１ｍｇから投与を開始し、必要に応じ４ｍｇまで漸次増量する。
【保管】室温保存。

タナトリル錠５　Tanatril　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:タナトリル錠５
規格:５ｍｇ１錠　薬価:20.70　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:2144008F2028　院内コード:200154
成分:イミダプリル塩酸塩,
【効】１）．　高血圧症。
２）．　腎実質性高血圧症。
３）．　１型糖尿病に伴う糖尿病性腎症。
【用】〈高血圧症、腎実質性高血圧症〉通常、成人にはイミダプリル塩酸塩として５～１０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、重症高血圧症、腎障害を伴う高血圧症又は腎実質性高血圧症の患者では２．５ｍｇから投与を開始することが望ましい。
〈１型糖尿病に伴う糖尿病性腎症〉通常、成人にはイミダプリル塩酸塩として５ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、重篤な腎障害を伴う患者では２．５ｍｇから投与を開始することが望ましい。
【保管】室温保存。

2145: メチルドパ製剤

アルドメット錠２５０　Aldomet　採用

商品名:アルドメット錠２５０
規格:２５０ｍｇ１錠　薬価:18.00　製造:ミノファーゲン製薬　剤型:錠　YJ:2145001F2040　院内コード:200049

成分:メチルドパ水和物,
【効】高血圧症（本態性高血圧症）、高血圧症（腎性高血圧症等）、悪性高血圧。
【用】メチルドパとして、通常成人初期１日２５０～７５０ｍｇの経口投与からはじめ、適当な降圧効果が得られるまで数日以上の間隔をおいて１日２５０ｍｇずつ増量する。
通常維持量は１日２５０～２０００ｍｇで１～３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2149: その他の血圧降下剤

アジルサルタン錠２０ｍｇ「武田テバ」(ｱｼﾞﾙﾊﾞ) Azilsartan TAKEDA TEVA 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]アジルバ錠２０ｍｇ
商品名:アジルサルタン錠２０ｍｇ「武田テバ」
規格:２０ｍｇ１錠 薬価:25.80 製造:Ｔ’ｓファーマ 剤型:錠 YJ:2149048F1065 院内コード:203605
成分:アジルサルタン,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはアジルサルタンとして２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最大投与量は４０ｍｇとする。
【保管】室温保存。

アゼルニジピン錠８ｍｇ「ケミファ」(ｶﾙﾌﾞﾛｯｸ) Azelnidipine 採用 <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]カルブロック錠８ｍｇ
商品名:アゼルニジピン錠８ｍｇ「ケミファ」
規格:８ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:日本ケミファ 剤型:錠 YJ:2149043F1097 院内コード:203617
成分:アゼルニジピン,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはアゼルニジピンとして８～１６ｍｇを１日１回朝食後経口投与する。なお、１回８ｍｇあるいは更に低用量から投与を開始し、症状により適宜増減するが、１日最大１６ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

エブランチルカプセル１５ｍｇ Ebrantil 採用
商品名:エブランチルカプセル１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１カプセル 薬価:15.80 製造:科研製薬 剤型:徐放カプセル YJ:2149020N1031 院内コード:200624
成分:ウラピジル,
【効】１）．　本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症。
２）．　前立腺肥大症に伴う排尿障害。
３）．　神経因性膀胱に伴う排尿困難。
【用】〈本態性高血圧症、腎性高血圧症、褐色細胞腫による高血圧症〉通常成人には、ウラピジルとして１日３０ｍｇ（１回１５ｍｇ１日２回）より投与を開始し、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１日１２０ｍｇまで漸増し、１日２回に分割し朝夕食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈前立腺肥大症に伴う排尿障害〉通常成人には、ウラピジルとして１日３０ｍｇ（１回１５ｍｇ１日２回）より投与を開始し、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１日６０～９０ｍｇまで漸増し、１日２回に分割し朝夕食後経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は９０ｍｇまでとする。
〈神経因性膀胱に伴う排尿困難〉通常成人には、ウラピジルとして１日３０ｍｇ（１回１５ｍｇ１日２回）より投与を開始し、１～２週間の間隔をおいて１日６０ｍｇに漸増し、１日２回に分割し朝夕食後経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は９０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

エプレレノン錠２５ｍｇ「杏林」(ｾﾗﾗ) Eplerenone KYORIN 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]セララ錠２５ｍｇ
商品名:エプレレノン錠２５ｍｇ「杏林」
規格:２５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:キョーリンリメディオ 剤型:錠 YJ:2149045F1037 院内コード:203799
成分:エプレレノン,
【効】１）．　高血圧症。
２）．　次記の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシン２受容体拮抗薬、β遮断薬、利尿薬等の基礎治療を受けている患者：慢性心不全。
【用】〈高血圧症〉通常、成人にはエプレレノンとして１日１回５０ｍｇから投与を開始し、効果不十分な場合は１００ｍｇまで増量することができる。
〈慢性心不全〉通常、成人にはエプレレノンとして１日１回２５ｍｇから投与を開始し、血清カリウム値、患者の状態に応じて、投与開始から４週間以降を目安に１日１回５０ｍｇへ増量する。
ただし、中等度の腎機能障害のある患者では、１日１回隔日２５ｍｇから投与を開始し、最大用量は１日１回２５ｍｇとする。
なお、血清カリウム値、患者の状態に応じて適宜減量又は中断する。
【保管】室温保存。

オルメサルタンＯＤ錠２０ｍｇ「DSEP」(ｵﾙﾒﾃｯｸ) Olmesartan OD DSEP 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]オルメテックＯＤ錠２０ｍｇ
商品名:オルメサルタンＯＤ錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:２０ｍｇ１錠 薬価:16.60 製造:第一三共エスファ 剤型:錠 YJ:2149044F6034 院内コード:202956
成分:オルメサルタン　メドキソミル,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはオルメサルタン　メドキソミルとして１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、１日５～１０ｍｇから投与を開始し、年

齢、症状により適宜増減するが、１日最大投与量は４０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

カルデナリン錠２ｍｇ　Cardenalin　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:カルデナリン錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠　薬価:16.00　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:錠　YJ:2149026F3029　院内コード:200091
成分:ドキサゾシンメシル酸塩,
【効】１）．　高血圧症。
２）．　褐色細胞腫による高血圧症。
【用】通常、成人にはドキサゾシンとして１日１回０．５ｍｇより投与を始め、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１～４ｍｇに漸増し、１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は８ｍｇまでとする。
ただし、褐色細胞腫による高血圧症に対しては１日最高投与量を１６ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

カルベジロール錠１０ｍｇ「サワイ」　Carvedilol　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]アーチスト錠１０ｍｇ
商品名:カルベジロール錠１０ｍｇ「サワイ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2149032F1099　院内コード:202708
成分:カルベジロール,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　腎実質性高血圧症。
３）．　狭心症。
４）．　次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全。
５）．　頻脈性心房細動。
【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）、腎実質性高血圧症〉カルベジロールとして、通常、成人１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈狭心症〉カルベジロールとして、通常、成人１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全〉カルベジロールとして、通常、成人１回１．２５ｍｇ、１日２回食後経口投与から開始する。１回１．２５ｍｇ、１日２回の用量に忍容性がある場合には、１週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は必ず段階的に行い、１回投与量は１．２５ｍｇ、２．５ｍｇ、５ｍｇ又は１０ｍｇのいずれかとし、いずれの用量においても、１日２回食後経口投与とする。通常、維持量として１回２．５～１０ｍｇを１日２回食後経口投与する。
なお、年齢、症状により、開始用量はさらに低用量としてもよい。また、患者の本剤に対する反応性により、維持量は適宜増減する。
〈頻脈性心房細動〉カルベジロールとして、通常、成人１回５ｍｇを１日１回経口投与から開始し、効果が不十分な場合には１０ｍｇを１日１回、２０ｍｇを１日１回へ段階的に増量する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最大投与量は２０ｍｇを１日１回までとする。
【保管】室温保存。

カルベジロール錠２．５ｍｇ「サワイ」　Carvedilol　採用　<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]アーチスト錠２．５ｍｇ
商品名:カルベジロール錠２．５ｍｇ「サワイ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2149032F4039　院内コード:202707
成分:カルベジロール,
【効】１）．　次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全。
２）．　頻脈性心房細動。
【用】〈虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全〉カルベジロールとして、通常、成人１回１．２５ｍｇ、１日２回食後経口投与から開始する。１回１．２５ｍｇ、１日２回の用量に忍容性がある場合には、１週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は必ず段階的に行い、１回投与量は１．２５ｍｇ、２．５ｍｇ、５ｍｇ又は１０ｍｇのいずれかとし、いずれの用量においても、１日２回食後経口投与とする。通常、維持量として１回２．５～１０ｍｇを１日２回食後経口投与する。
なお、年齢、症状により、開始用量はさらに低用量としてもよい。また、患者の本剤に対する反応性により、維持量は適宜増減する。
〈頻脈性心房細動〉カルベジロールとして、通常、成人１回５ｍｇを１日１回経口投与から開始し、効果が不十分な場合には１０ｍｇを１日１回、２０ｍｇを１日１回へ段階的に増量する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最大投与量は２０ｍｇを１日１回までとする。
【保管】室温保存。

カンデサルタン錠４ｍｇ「あすか」(ﾌﾞﾛﾌﾟﾚｽ)　Candesartan　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ブロプレス錠４
商品名:カンデサルタン錠４ｍｇ「あすか」
規格:４ｍｇ１錠　薬価:13.70　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2149040F2030　院内コード:202995
成分:カンデサルタン　シレキセチル,
【効】１）．　高血圧症。
２）．　腎実質性高血圧症。
３）．　次記の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害剤の投与が適切でない場合：慢性心不全＜軽症～中等症＞。
【用】〈高血圧症〉成人通常、成人には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして４～８ｍｇを経口投与し、必要に応じ１２ｍｇまで増量する。ただし、腎障害を伴う場合には、１日１回２ｍｇから投与を開始し、必要に応じ８ｍｇまで増量する。
小児通常、１歳以上６歳未満の小児には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして０．０５～０．３ｍｇ／ｋｇを経口投与する。
通常、６歳以上の小児には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして２～８ｍｇを経口投与し、必要に応じ１２ｍｇまで増量する。
ただし、腎障害を伴う場合には、低用量から投与を開始し、必要に応じて８ｍｇまで増量する。
〈腎実質性高血圧症〉通常、成人には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして２ｍｇから経口投与を開始し、必要に応じ８ｍｇまで増量する。
〈慢性心不全〉通常、成人には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして４ｍｇから経口投与を開始し、必要に応じ８ｍｇまで増量できる。なお、原則として、アンジオテンシン変換酵素阻害剤以外による基礎治療は継続すること。

【保管】室温保存。

カンデサルタン錠８ｍｇ「あすか」(ﾌﾞﾛﾌﾟﾚｽ) Candesartan 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ブロプレス錠８ｍｇ

商品名:カンデサルタン錠８ｍｇ「あすか」

規格:８ｍｇ１錠 薬価:25.60 製造:あすか製薬 剤型:錠 YJ:2149040F3037 院内コード:202996

成分:カンデサルタン　シレキセチル,

【効】１）．　高血圧症。

２）．　腎実質性高血圧症。

３）．　次記の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害剤の投与が適切でない場合：慢性心不全＜軽症～中等症＞。

【用】〈高血圧症〉成人通常、成人には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして４～８ｍｇを経口投与し、必要に応じ１２ｍｇまで増量する。ただし、腎障害を伴う場合には、１日１回２ｍｇから投与を開始し、必要に応じ８ｍｇまで増量する。

小児通常、１歳以上６歳未満の小児には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして０．０５～０．３ｍｇ／ｋｇを経口投与する。

通常、６歳以上の小児には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして２～８ｍｇを経口投与し、必要に応じ１２ｍｇまで増量する。

ただし、腎障害を伴う場合には、低用量から投与を開始し、必要に応じて８ｍｇまで増量する。

〈腎実質性高血圧症〉通常、成人には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして２ｍｇから経口投与を開始し、必要に応じ８ｍｇまで増量する。

〈慢性心不全〉通常、成人には１日１回カンデサルタン　シレキセチルとして４ｍｇから経口投与を開始し、必要に応じ８ｍｇまで増量できる。なお、原則として、アンジオテンシン変換酵素阻害剤以外による基礎治療は継続すること。

【保管】室温保存。

コディオ配合錠ＥＸ Co-DIO EX 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:コディオ配合錠ＥＸ

規格:１錠 薬価:21.50 製造:ノバルティス　ファーマ 剤型:錠 YJ:2149112F2029 院内コード:201036

成分:バルサルタン,ヒドロクロロチアジド,

【効】高血圧症。

【用】成人には１日１回１錠（バルサルタン／ヒドロクロロチアジドとして８０ｍｇ／１２．５ｍｇ）を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。

【保管】室温保存。

シルニジピン錠１０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｱﾃﾚｯｸ) Cilnidipine 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]アテレック錠１０

商品名:シルニジピン錠１０ｍｇ「サワイ」

規格:１０ｍｇ１錠 薬価:12.20 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:2149037F2055 院内コード:202564

成分:シルニジピン,

【効】高血圧症。

【用】通常、成人にはシルニジピンとして１日１回５～１０ｍｇを朝食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。効果不十分の場合には、１日１回２０ｍｇまで増量することができる。

ただし、重症高血圧症には１日１回１０～２０ｍｇを朝食後経口投与する。

【保管】室温保存。

シルニジピン錠５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｱﾃﾚｯｸ) Cilnidipine 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:非採用]アテレック錠５

商品名:シルニジピン錠５ｍｇ「サワイ」

規格:５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:2149037F1059 院内コード:202565

成分:シルニジピン,

【効】高血圧症。

【用】通常、成人にはシルニジピンとして１日１回５～１０ｍｇを朝食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。効果不十分の場合には、１日１回２０ｍｇまで増量することができる。

ただし、重症高血圧症には１日１回１０～２０ｍｇを朝食後経口投与する。

【保管】室温保存。

ジルムロ配合錠ＨＤ「武田テバ」(ｻﾞｸﾗｽ) ZilMlo HD TAKEDA TEVA 採用 (劇) <後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ザクラス配合錠ＨＤ

商品名:ジルムロ配合錠ＨＤ「武田テバ」

規格:１錠 薬価:24.80 製造:Ｔ’ｓファーマ 剤型:錠 YJ:2149121F2079 院内コード:203392

成分:アジルサルタン,アムロジピンベシル酸塩,

【効】高血圧症。

【用】成人には１日１回１錠（アジルサルタン／アムロジピンとして２０ｍｇ／５ｍｇ）を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。

【保管】室温保存。

セロケン錠２０ｍｇ Seloken 採用 (劇) Hi <先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:セロケン錠２０ｍｇ

規格:２０ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:太陽ファルマ 剤型:錠 YJ:2149010F1025 院内コード:202424

成分:メトプロロール酒石酸塩,

【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。

２）．　狭心症。

３）．　頻脈性不整脈。

【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）〉通常、成人にはメトプロロール酒石酸塩として１日６０～１２０ｍｇを１日３回に分割経口投与する。効果不十分な場合は２４０ｍｇまで増量することができる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈狭心症、頻脈性不整脈〉通常、成人にはメトプロロール酒石酸塩として１日６０～１２０ｍｇを１日２～３回に分割経口投与する。なお、年齢、症

状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

テルミサルタン錠４０ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ﾐｶﾙﾃﾞｨｽ) Telmisartan DSEP 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ミカルディス錠４０ｍｇ
商品名:テルミサルタン錠４０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:４０ｍｇ１錠 薬価:16.00 製造:第一三共エスファ 剤型:錠 YJ:2149042F2030 院内コード:202873
成分:テルミサルタン,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはテルミサルタンとして４０ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、１日２０ｍｇから投与を開始し漸次増量する。
なお、年齢・症状により適宜増減するが、１日最大投与量は８０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

デタントールＲ錠３ｍｇ Detantol R 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:デタントールＲ錠３ｍｇ
規格:３ｍｇ１錠 薬価:22.50 製造:エーザイ 剤型:徐放錠 YJ:2149015G1023 院内コード:201094
成分:ブナゾシン塩酸塩,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはブナゾシン塩酸塩として１日１回３～９ｍｇを経口投与する。ただし、１日１回３ｍｇから開始し、１日最高投与量は９ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ドキサゾシン錠０．５ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ｶﾙﾃﾞﾅﾘﾝ) Doxazosin VTRS 採用 <後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]カルデナリン錠０．５ｍｇ
商品名:ドキサゾシン錠０．５ｍｇ「ＶＴＲＳ」
規格:０．５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:ヴィアトリス・ヘルスケア 剤型:錠 YJ:2149026F1280 院内コード:203671
成分:ドキサゾシンメシル酸塩,
【効】１）． 高血圧症。
２）． 褐色細胞腫による高血圧症。
【用】通常、成人にはドキサゾシンとして１日１回０．５ｍｇより投与を始め、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１～４ｍｇに漸増し、１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は８ｍｇまでとする。
ただし、褐色細胞腫による高血圧症に対しては１日最高投与量を１６ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ドキサゾシン錠２ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ｶﾙﾃﾞﾅﾘﾝ) Doxazosin VTRS 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:採用]カルデナリン錠２ｍｇ
商品名:ドキサゾシン錠２ｍｇ「ＶＴＲＳ」
規格:２ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:ヴィアトリス・ヘルスケア 剤型:錠 YJ:2149026F3339 院内コード:203672
成分:ドキサゾシンメシル酸塩,
【効】１）． 高血圧症。
２）． 褐色細胞腫による高血圧症。
【用】通常、成人にはドキサゾシンとして１日１回０．５ｍｇより投与を始め、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１～４ｍｇに漸増し、１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は８ｍｇまでとする。
ただし、褐色細胞腫による高血圧症に対しては１日最高投与量を１６ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ナトリックス錠１ Natrix 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ナトリックス錠１
規格:１ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:京都薬品 剤型:錠 YJ:2149012F1059 院内コード:203670
成分:インダパミド,
【効】本態性高血圧症。
【用】インダパミドとして、通常成人１日１回２ｍｇを朝食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、少量から投与を開始して徐々に増量すること。
【保管】室温保存。

ニトプロ持続静注液６ｍｇ Nitopro 採用 (毒) <先発品（後発品なし）>
商品名:ニトプロ持続静注液６ｍｇ
規格:６ｍｇ２ｍＬ１管 薬価:603.00 製造:丸石製薬 剤型:注射液 YJ:2149401A1030 院内コード:300525
成分:ニトロプルシドナトリウム水和物,
【効】１）． 手術時の低血圧維持。
２）． 手術時の異常高血圧の救急処置。
３）． 急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。
４）． 高血圧性緊急症。
【用】本剤は、５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニトロプルシドナトリウム水和物として０．０６～０．１％（１ｍＬ当たり０．６～１ｍｇ）溶液を持続静注する。
〈手術時の低血圧維持〉通常、成人には１分間に体重１ｋｇ当たりニトロプルシドナトリウム水和物として０．５μｇ／ｋｇ／分の投与速度で投与を開始し、過度の血圧低下に注意しながら徐々に増量して目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら投与速度を調節する。通常、２．５μｇ／ｋｇ／分以下の投与速度で目的とする血圧が得られ、それを維持することができる。なお、最高投与速度は３μｇ／ｋｇ／分を限度とする。

また、開始投与速度は年齢、症状により適宜減量する。
〈手術時の異常高血圧の救急処置〉通常、成人には１分間に体重１ｋｇ当たりニトロプルシドナトリウム水和物として０．５μｇ／ｋｇ／分の投与速度で投与を開始し、過度の血圧低下に注意しながら徐々に増量して目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら投与速度を調節する。通常、２．０μｇ／ｋｇ／分以下の投与速度で目的とする血圧が得られ、それを維持することができる。なお、最高投与速度は３μｇ／ｋｇ／分を限度とする。また、開始投与速度は年齢、症状により適宜減量する。
〈急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）、高血圧性緊急症〉通常、小児には１分間に体重１ｋｇ当たりニトロプルシドナトリウム水和物として０．５μｇ／ｋｇ／分の投与速度で投与を開始し、過度の血圧低下に注意しながら徐々に増量して目的とする血行動態を得るまで循環動態をモニターしながら投与速度を調節する。通常、３．０μｇ／ｋｇ／分以下の投与速度で目的とする血行動態が得られ、それを維持することができる。なお、最高投与速度は１０μｇ／ｋｇ／分を限度とする。また、開始投与速度は年齢、症状により適宜減量する。
【保管】１０℃以下で保存。

バルサルタン錠８０ｍｇ「Ｍｅ」 Valsartan Me **採用**
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ディオバン錠８０ｍｇ

商品名:バルサルタン錠８０ｍｇ「Ｍｅ」
規格:８０ｍｇ１錠　薬価:12.20　製造:Ｍｅ　ファルマ　剤型:錠　YJ:2149041F3368　院内コード:203431
成分:バルサルタン,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはバルサルタンとして４０～８０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、１日１６０ｍｇまで増量できる。
通常、６歳以上の小児には、バルサルタンとして、体重３５ｋｇ未満の場合、２０ｍｇを、体重３５ｋｇ以上の場合、４０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。ただし、１日最高用量は、体重３５ｋｇ未満の場合、４０ｍｇとする。
【保管】室温保存。

ビソノテープ４ｍｇ Bisono **採用**
<先発品（後発品なし）>

商品名:ビソノテープ４ｍｇ
規格:４ｍｇ１枚　薬価:55.20　製造:トーアエイヨー　剤型:貼付剤　YJ:2149700S1027　院内コード:202571
成分:ビソプロロール,
【効】１）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
２）．　頻脈性心房細動。
【用】〈本態性高血圧症（軽症～中等症）〉通常、成人にはビソプロロールとして８ｍｇを１日１回、胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後２４時間ごとに貼りかえる。
なお、年齢、症状により１日１回４ｍｇから投与を開始し、１日最大投与量は８ｍｇとする。
〈頻脈性心房細動〉通常、成人にはビソプロロールとして１日１回４ｍｇから投与開始し、効果が不十分な場合には１日１回８ｍｇに増量する。本剤は胸部、上腕部又は背部のいずれかに貼付し、貼付後２４時間ごとに貼りかえる。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最大投与量は８ｍｇとする。
【保管】室温保存。

プレミネント配合錠ＬＤ Preminent LD **採用**
<先発品（後発品あり）>

商品名:プレミネント配合錠ＬＤ
規格:１錠　薬価:36.60　製造:オルガノン　剤型:錠　YJ:2149110F1040　院内コード:200231
成分:ヒドロクロロチアジド,ロサルタンカリウム,
【効】高血圧症。
【用】成人には１日１回１錠（ロサルタンカリウム／ヒドロクロロチアジドとして５０ｍｇ／１２．５ｍｇ）を経口投与する。
本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。
【保管】室温保存。

ミカムロ配合錠ＡＰ Micamlo AP **採用** **(劇)**
<先発品（後発品あり）>

商品名:ミカムロ配合錠ＡＰ
規格:１錠　薬価:26.40　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:2149117F1025　院内コード:202279
成分:アムロジピンベシル酸塩,テルミサルタン,
【効】高血圧症。
【用】成人には１日１回１錠（テルミサルタン／アムロジピンとして４０ｍｇ／５ｍｇ）を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。
【保管】室温保存。

ミコンビ配合錠ＡＰ Micombi AP **採用**
<先発品（後発品あり）>

商品名:ミコンビ配合錠ＡＰ
規格:１錠　薬価:28.00　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:2149113F1027　院内コード:202258
成分:テルミサルタン,ヒドロクロロチアジド,
【効】高血圧症。
【用】成人には１日１回１錠（テルミサルタン／ヒドロクロロチアジドとして４０ｍｇ／１２．５ｍｇ）を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。
【保管】室温保存。

ミニプレス錠０．５ｍｇ Minipress **採用**
<先発品（後発品なし）>

商品名:ミニプレス錠０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:2149002F1128　院内コード:200261
成分:プラゾシン塩酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症、腎性高血圧症。
２）．　前立腺肥大症に伴う排尿障害。
【用】〈本態性高血圧症、腎性高血圧症〉プラゾシンとして通常、成人１日１～１．５ｍｇ（１回０．５ｍｇ　１日２～３回）より投与を始め、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１．５～６ｍｇまで漸増し、１日２～３回に分割経口投与する。まれに１日１５ｍｇまで漸増することも

ある。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈前立腺肥大症に伴う排尿障害〉プラゾシンとして通常、成人１日１～１．５mg（１回０．５mg　１日２～３回）より投与を始め、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて１．５～６mgまで漸増し、１日２～３回に分割経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ミネブロＯＤ錠２．５mg　Minnebro OD　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミネブロＯＤ錠２．５mg
規格:２．５mg１錠　薬価:91.60　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:2149049F5022　院内コード:203508
成分:エサキセレノン,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人にはエサキセレノンとして２．５mgを１日１回経口投与する。なお、効果不十分な場合は、５mgまで増量することができる。
【保管】室温保存。

レザルタス配合錠ＨＤ　Rezaltas HD　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:レザルタス配合錠ＨＤ
規格:１錠　薬価:36.70　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:2149115F2022　院内コード:202326
成分:アゼルニジピン,オルメサルタン　メドキソミル,
【効】高血圧症。
【用】通常、成人には１日１回１錠（オルメサルタン　メドキソミル／アゼルニジピンとして２０mg／１６mg）を朝食後経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。
【保管】室温保存。

ロサルタンＫ錠５０mg「ＤＳＥＰ」　Losartan potassium DSEP　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ニューロタン錠５０mg
商品名:ロサルタンＫ錠５０mg「ＤＳＥＰ」
規格:５０mg１錠　薬価:16.30　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2149039F2046　院内コード:202824
成分:ロサルタンカリウム,
【効】１）．　高血圧症。
２）．　高血圧及び蛋白尿を伴う２型糖尿病における糖尿病性腎症。
【用】〈高血圧症〉通常、成人にはロサルタンカリウムとして２５～５０mgを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日１００mgまで増量できる。
〈高血圧及び蛋白尿を伴う２型糖尿病における糖尿病性腎症〉通常、成人にはロサルタンカリウムとして５０mgを１日１回経口投与する。なお、血圧値をみながら１日１００mgまで増量できる。ただし、過度の血圧低下を起こすおそれのある患者等では２５mgから投与を開始する。
【保管】室温保存。

ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩注射液10mg｢ｻﾜｲ｣(ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ)　Nicardipine hydrochloride　採用　(劇)
商品名:ニカルジピン塩酸塩注射液１０mg「サワイ」
規格:１０mg１０mL１管　薬価:104.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:2149400A2155　院内コード:300793
成分:ニカルジピン塩酸塩,
【効】１）．　手術時の異常高血圧の救急処置。
２）．　高血圧性緊急症。
３）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪を含む）。
【用】〈手術時の異常高血圧の救急処置〉本剤は、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として０．０１～０．０２％（１mL当たり０．１～０．２mg）溶液を点滴静注する。この場合１分間に、体重１ｋｇ当たり２～１０μｇの点滴速度で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。なお、急速に血圧を下げる必要がある場合には、本剤をそのまま体重１ｋｇ当たりニカルジピン塩酸塩として１０～３０μｇを静脈内投与する。
〈高血圧性緊急症〉本剤は、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として０．０１～０．０２％（１mL当たり０．１～０．２mg）溶液を点滴静注する。この場合１分間に、体重１ｋｇ当たり０．５～６μｇの点滴速度で投与する。なお、投与に際しては１分間に、体重１ｋｇ当たり０．５μｇより開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
〈急性心不全（慢性心不全の急性増悪を含む）〉本剤は、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として０．０１～０．０２％（１mL当たり０．１～０．２mg）溶液を点滴静注する。この場合１分間に、体重１ｋｇ当たり１μｇの点滴速度で投与する。なお、患者の病態に応じて１分間に、体重１ｋｇ当たり０．５～２μｇの範囲で点滴速度を調節する。
【保管】室温保存。

ﾆｶﾙｼﾞﾋﾟﾝ塩酸塩注射液2mg｢ｻﾜｲ｣(ﾍﾟﾙｼﾞﾋﾟﾝ)　Nicardipine hydrochloride　採用　(劇)
商品名:ニカルジピン塩酸塩注射液２mg「サワイ」
規格:２mg２mL１管　薬価:104.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:2149400A1132　院内コード:300792
成分:ニカルジピン塩酸塩,
【効】１）．　手術時の異常高血圧の救急処置。
２）．　高血圧性緊急症。
３）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪を含む）。
【用】〈手術時の異常高血圧の救急処置〉本剤は、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として０．０１～０．０２％（１mL当たり０．１～０．２mg）溶液を点滴静注する。この場合１分間に、体重１ｋｇ当たり２～１０μｇの点滴速度で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。なお、急速に血圧を下げる必要がある場合には、本剤をそのまま体重１ｋｇ当たりニカルジピン塩酸塩として１０～３０μｇを静脈内投与する。
〈高血圧性緊急症〉本剤は、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として０．０１～０．０２％（１mL当たり０．１～０．２mg）溶液を点滴静注する。この場合１分間に、体重１ｋｇ当たり０．５～６μｇの点滴速度で投与する。なお、投与に際しては１分間

に、体重１ｋｇ当たり０．５μｇより開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
〈急性心不全（慢性心不全の急性増悪を含む）〉本剤は、生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、ニカルジピン塩酸塩として０．０１～０．０２％（１ｍＬ当たり０．１～０．２ｍｇ）溶液を点滴静注する。この場合１分間に、体重１ｋｇ当たり１μｇの点滴速度で投与する。なお、患者の病態に応じて１分間に、体重１ｋｇ当たり０．５～２μｇの範囲で点滴速度を調節する。
【保管】室温保存。

216: 血管収縮剤

2160: 血管収縮剤

ゾーミッグＲＭ錠２．５ｍｇ Zomig RM 採用 (劇) <先発品（後発品あり）>
商品名:ゾーミッグＲＭ錠２．５ｍｇ
規格:２．５ｍｇ１錠 薬価:266.40 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:2160004F2023 院内コード:200148
成分:ゾルミトリプタン,
【効】片頭痛＜家族性片麻痺性・孤発性片麻痺性・脳底型・眼筋麻痺性片頭痛を除く＞。
【用】通常、成人にはゾルミトリプタンとして１回２．５ｍｇを片頭痛の頭痛発現時に経口投与する。
なお、効果が不十分な場合には、追加投与をすることができるが、前回の投与から２時間以上あけること。
また、２．５ｍｇの経口投与で効果が不十分であった場合には、次回片頭痛発現時から５ｍｇを経口投与することができる。
ただし、１日の総投与量を１０ｍｇ以内とすること。
【保管】室温保存。

ネオシネジンコーワ注１ｍｇ Neo-synesin Kowa 採用 (劇) Hi
商品名:ネオシネジンコーワ注１ｍｇ
規格:０．１％１ｍＬ１管 薬価:96.00 製造:興和 剤型:注射液 YJ:2160400A1032 院内コード:300059
成分:フェニレフリン塩酸塩,
【効】１）． 各種疾患若しくは状態に伴う急性低血圧又はショック時の補助治療。
２）． 発作性上室頻拍。
３）． 局所麻酔時の作用延長。
【用】〈皮下注射及び筋肉内注射〉フェニレフリン塩酸塩として、通常成人１回２～５ｍｇを皮下注射又は筋肉内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、その範囲は１～１０ｍｇとし、初回量は５ｍｇを超えないこと。
また、反復投与を行う場合には、１０～１５分おきに行うこと。
〈静脈内注射〉フェニレフリン塩酸塩として、通常成人１回０．２ｍｇを注射液そのまま、又は約１０ｍＬの生理食塩液、リンゲル液若しくは５％ブドウ糖液等に混入して静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、その範囲は０．１～０．５ｍｇとする。また反復投与を行う場合には、１０～１５分おきに行うこと。
〈点滴静脈内注射〉点滴静脈内注射時、１００ｍＬの血液、リンゲル液又は５％ブドウ糖液等に対し、フェニレフリン塩酸塩として０．５～１．０ｍｇの割合で混入し、血圧を測定しながら滴数を加減して点滴静注する。
〈局所麻酔時の作用延長〉通常、２０ｍＬの局所麻酔剤に対してフェニレフリン塩酸塩として１ｍｇの割合で混入して使用する。
【保管】室温保存。

マクサルトＲＰＤ錠１０ｍｇ Maxalt RPD 採用 (劇) <先発品（後発品あり）>
商品名:マクサルトＲＰＤ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠 薬価:177.60 製造:オルガノン 剤型:錠 YJ:2160006F2022 院内コード:200257
成分:リザトリプタン安息香酸塩,
【効】片頭痛＜家族性片麻痺性・孤発性片麻痺性・脳底型・眼筋麻痺性片頭痛を除く＞。
【用】通常、成人にはリザトリプタンとして１回１０ｍｇを片頭痛の頭痛発現時に経口投与する。
なお、効果が不十分な場合には、追加投与することができるが、前回の投与から２時間以上あけること。
ただし、１日の総投与量を２０ｍｇ以内とする。
【保管】室温保存。

ミドドリン塩酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾒﾄﾘｼﾞﾝ) Midodrine hydrochloride 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]メトリジン錠２ｍｇ
商品名:ミドドリン塩酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:２ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:日医工岐阜工場 剤型:錠 YJ:2160002F1133 院内コード:202912
成分:ミドドリン塩酸塩,
【効】本態性低血圧、起立性低血圧。
【用】成人にはミドドリン塩酸塩として、通常１日４ｍｇを２回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減する。ただし、重症の場合は１日８ｍｇまで増量できる。
小児にはミドドリン塩酸塩として、通常１日４ｍｇを２回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日最高量は６ｍｇとする。
【保管】室温保存。

217: 血管拡張剤

2171: 冠血管拡張剤

アムロジピンＯＤ錠２．５ｍｇ「明治」(ﾉﾙﾊﾞｽｸ) Amlodipine OD MEIJI 採用 (劇) <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]ノルバスク錠２．５ｍｇ
商品名:アムロジピンＯＤ錠２．５ｍｇ「明治」
規格:２．５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ 剤型:錠 YJ:2171022F3234 院内コード:202454
成分:アムロジピンベシル酸塩,
【効】１）． 高血圧症。
２）． 狭心症。
【用】高血圧症通常、成人にはアムロジピンとして２．５～５ｍｇを１日１回経口投与する。

なお、症状に応じ適宜増減するが、効果不十分な場合には１日１回１０ｍｇまで増量することができる。
通常、６歳以上の小児には、アムロジピンとして２．５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
狭心症通常、成人にはアムロジピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

アムロジピンOD錠５ｍｇ「明治」(ﾉﾙﾊﾞｽｸ)　Amlodipine OD MEIJI　採用　(劇)　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]ノルバスク錠５ｍｇ

商品名:アムロジピンＯＤ錠５ｍｇ「明治」

規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:2171022F4230　院内コード:202455

成分:アムロジピンベシル酸塩,
【効】１）．　高血圧症。
２）．　狭心症。
【用】高血圧症通常、成人にはアムロジピンとして２．５～５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、症状に応じ適宜増減するが、効果不十分な場合には１日１回１０ｍｇまで増量することができる。
通常、６歳以上の小児には、アムロジピンとして２．５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
狭心症通常、成人にはアムロジピンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

ジピリダモール錠１００ｍｇ「トーワ」(ﾍﾟﾙｻﾝﾁﾝ)　Dipyridamole TOWA　採用　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ペルサンチン錠１００ｍｇ

商品名:ジピリダモール錠１００ｍｇ「トーワ」

規格:１００ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:2171010F3070　院内コード:203242

成分:ジピリダモール,
【効】１）．　ワーファリンとの併用による心臓弁置換術後の血栓・塞栓の抑制。
２）．　つぎの疾患における尿蛋白減少：ステロイドに抵抗性を示すネフローゼ症候群。
【用】〈血栓・塞栓の抑制の場合〉ジピリダモールとして、通常成人１日３００～４００ｍｇを３～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈尿蛋白減少を目的とする場合〉ジピリダモールとして、通常成人１日３００ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
尿蛋白減少を目的とする場合、投薬開始後、４週間を目標として投薬し、尿蛋白量の測定を行い、以後の投薬継続の可否を検討する（尿蛋白量の減少が認められない場合は、投薬を中止するなど適切な処置をとり、尿蛋白量の減少が認められ投薬継続が必要な場合は、以後定期的に尿蛋白量を測定しながら投薬すること）。
【保管】室温保存。

ジピリダモール錠２５ｍｇ「トーワ」(ﾍﾟﾙｻﾝﾁﾝ)　Dipyridamole TOWA　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ペルサンチン錠２５ｍｇ

商品名:ジピリダモール錠２５ｍｇ「トーワ」

規格:２５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:2171010F2626　院内コード:203243

成分:ジピリダモール,
【効】１）．　狭心症、心筋梗塞＜急性期を除く＞、その他の虚血性心疾患、うっ血性心不全。
２）．　ワーファリンとの併用による心臓弁置換術後の血栓・塞栓の抑制。
３）．　つぎの疾患における尿蛋白減少：ステロイドに抵抗性を示すネフローゼ症候群。
【用】〈狭心症、心筋梗塞、その他の虚血性心疾患、うっ血性心不全の場合〉ジピリダモールとして、通常成人１回２５ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈血栓・塞栓の抑制の場合〉ジピリダモールとして、通常成人１日３００～４００ｍｇを３～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈尿蛋白減少を目的とする場合〉ジピリダモールとして、通常成人１日３００ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
尿蛋白減少を目的とする場合、投薬開始後、４週間を目標として投薬し、尿蛋白量の測定を行い、以後の投薬継続の可否を検討する（尿蛋白量の減少が認められない場合は、投薬を中止するなど適切な処置をとり、尿蛋白量の減少が認められ投薬継続が必要な場合は、以後定期的に尿蛋白量を測定しながら投薬すること）。
【保管】室温保存。

ジラゼプ塩酸塩錠５０ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｺﾒﾘｱﾝｺｰﾜ)　Dilazep hydrochloride　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]コメリアンコーワ錠５０

商品名:ジラゼプ塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」

規格:５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2171005F1335　院内コード:202999

成分:ジラゼプ塩酸塩水和物,
【効】１）．　狭心症、その他の虚血性心疾患＜心筋梗塞を除く＞。
２）．　次記疾患における尿蛋白減少：腎機能障害軽度～中等度のＩｇＡ腎症。
【用】〈狭心症、その他の虚血性心疾患（心筋梗塞を除く）〉１回ジラゼプ塩酸塩水和物として５０ｍｇを１日３回経口投与する。
年齢及び症状により適宜増減する。
〈腎機能障害軽度～中等度のＩｇＡ腎症における尿蛋白減少〉１回ジラゼプ塩酸塩水和物として１００ｍｇを１日３回経口投与する。
年齢及び症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

セパミットーR細粒２％ Sepamit-R 採用 (劇)
商品名:セパミットーR細粒２％
規格:２％１ｇ 薬価:35.60 製造:日本ジェネリック 剤型:徐放細粒 YJ:2171014C2032 院内コード:201084
成分:ニフェジピン,
【効】１）． 本態性高血圧症。
２）． 狭心症。
【用】〈本態性高血圧症〉通常、成人にはニフェジピンとして１回１０～２０ｍｇを１日２回食後経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
〈狭心症〉通常、成人にはニフェジピンとして１回２０ｍｇを１日２回食後経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ニコランジル錠５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ) Nicorandil SAWAI 採用 <後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]シグマート錠５ｍｇ
商品名:ニコランジル錠５ｍｇ「サワイ」
規格:５ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:メディサ新薬 剤型:錠 YJ:2171017F2156 院内コード:202530
成分:ニコランジル,
【効】狭心症。
【用】ニコランジルとして、通常、成人１日量１５ｍｇを３回に分割経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ニトロールＲカプセル２０ｍｇ NitorolR 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:ニトロールＲカプセル２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１カプセル 薬価:7.40 製造:エーザイ 剤型:徐放カプセル YJ:2171011N1050 院内コード:200181
成分:硝酸イソソルビド,
【効】狭心症、心筋梗塞＜急性期を除く＞、その他の虚血性心疾患。
【用】通常成人は、１回１カプセル（硝酸イソソルビドとして２０ｍｇ）を１日２回、経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ニトロールスプレー１．２５ｍｇ Nitorol 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ニトロールスプレー１．２５ｍｇ
規格:１６３．５ｍｇ１０ｇ１瓶 薬価:717.90 製造:エーザイ 剤型:噴霧剤 YJ:2171700R1034 院内コード:201195
成分:硝酸イソソルビド,
【効】狭心症発作の寛解。
【用】通常、成人には、１回１噴霧（硝酸イソソルビドとして１．２５ｍｇ）を口腔内に投与する。
なお、効果不十分の場合には、１回１噴霧にかぎり追加する。
【保管】室温保存。

ニトロール注５ｍｇシリンジ Nitorol 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:ニトロール注５ｍｇシリンジ
規格:５ｍｇ１０ｍＬ１筒 薬価:206.00 製造:エーザイ 剤型:キット類 YJ:2171404G1029 院内コード:300526
成分:硝酸イソソルビド,
【効】１）． 急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。
２）． 不安定狭心症。
３）． 冠動脈造影時の冠攣縮寛解。
【用】〈急性心不全〉通常、成人には、本剤を注射液そのまま、又は生理食塩液、５％ブドウ糖注射液等で希釈して０．０５～０．００１％溶液とし、硝酸イソソルビドとして１時間あたり１．５～８ｍｇを点滴静注する。投与量は患者の病態に応じて適宜増減するが、増量は１時間あたり１０ｍｇまでとする。
〈不安定狭心症〉通常、成人には、本剤を注射液そのまま、又は生理食塩液、５％ブドウ糖注射液等で希釈して０．０５～０．００１％溶液とし、硝酸イソソルビドとして１時間あたり２～５ｍｇを点滴静注する。投与量は患者の病態に応じて適宜増減する。
〈冠動脈造影時の冠攣縮寛解〉通常、成人には、冠動脈造影時に本剤を注射液そのまま、硝酸イソソルビドとして５ｍｇをカテーテルを通し、バルサルバ洞内に１分以内に注入する。なお、投与量は、患者の症状に応じて適宜増減するが、投与量の上限は１０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ニトロール点滴静注１００ｍｇバッグ Nitorol 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:ニトロール点滴静注１００ｍｇバッグ
規格:０．０５％２００ｍＬ１袋 薬価:1895.00 製造:エーザイ 剤型:注射液 YJ:2171404A9035 院内コード:300062
成分:硝酸イソソルビド,
【効】１）． 急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。
２）． 不安定狭心症。
【用】〈急性心不全〉通常、成人には、硝酸イソソルビドとして１時間あたり１．５～８ｍｇを点滴静注する。
投与量は患者の病態に応じて適宜増減するが、増量は１時間あたり１０ｍｇまでとする。
〈不安定狭心症〉通常、成人には、硝酸イソソルビドとして１時間あたり２～５ｍｇを点滴静注する。投与量は患者の病態に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ニトログリセリン静注5mg/10mL「TE」 Nitroglycerin TE 採用 (劇) <後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]ミリスロール注５ｍｇ／１０ｍＬ
商品名:ニトログリセリン静注５ｍｇ／１０ｍＬ「ＴＥ」
規格:５ｍｇ１０ｍＬ１管 薬価:248.00 製造:トーアエイヨー 剤型:注射液 YJ:2171403A2087 院内コード:301032

成分:ニトログリセリン,
【効】１）．　手術時の低血圧維持。
２）．　手術時の異常高血圧の救急処置。
３）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。
４）．　不安定狭心症。
【用】本剤は、注射液そのまま、又は生理食塩液、５％ブドウ糖注射液、乳酸リンゲル液等で希釈し、ニトログリセリンとして０．００５～０．０５％（１ｍＬ当たり５０～５００μｇ）溶液を点滴静注する。
本剤は、通常１分間に体重１ｋｇ当たりニトログリセリンとして、効能又は効果ごとに次に基づき投与する。
１）．　手術時の低血圧維持：１～５μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
２）．　手術時の異常高血圧の救急処置：０．５～５μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
３）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）：０．０５～０．１μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、目的とする血行動態を得るまで血圧、左心室充満圧などの循環動態をモニターしながら５～１５分ごとに０．１～０．２μｇ／ｋｇ／分ずつ増量し、最適点滴速度で維持する。
４）．　不安定狭心症：０．１～０．２μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、発作の経過及び血圧をモニターしながら約５分ごとに０．１～０．２μｇ／ｋｇ／分ずつ増量し、１～２μｇ／ｋｇ／分で維持する。効果がみられない場合には２０～４０μｇ／ｋｇの静注を１時間ごとに併用する。
なお、静注する場合は１～３分かけて緩徐に投与する。
【保管】室温保存。

ニトログリセリン点滴静注50mg/100mL「TE」 Nitroglycerin TE 採用 (劇) <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ミリスロール注５０ｍｇ／１００ｍＬ
商品名:ニトログリセリン点滴静注５０ｍｇ／１００ｍＬ「ＴＥ」
規格:５０ｍｇ１００ｍＬ１袋　薬価:2025.00　製造:トーアエイヨー　剤型:注射液　YJ:2171403A7062　院内コード:300559
成分:ニトログリセリン,
【効】１）．　手術時の低血圧維持。
２）．　手術時の異常高血圧の救急処置。
３）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。
４）．　不安定狭心症。
【用】本剤は、注射液そのまま、又は生理食塩液、５％ブドウ糖注射液、乳酸リンゲル液等で希釈し、ニトログリセリンとして０．００５～０．０５％（１ｍＬ当たり５０～５００μｇ）溶液を点滴静注する。
本剤は、通常１分間に体重１ｋｇ当たりニトログリセリンとして、効能又は効果ごとに次に基づき投与する。
１）．　手術時の低血圧維持：１～５μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
２）．　手術時の異常高血圧の救急処置：０．５～５μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、目的値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
３）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）：０．０５～０．１μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、目的とする血行動態を得るまで血圧、左心室充満圧などの循環動態をモニターしながら５～１５分ごとに０．１～０．２μｇ／ｋｇ／分ずつ増量し、最適点滴速度で維持する。
４）．　不安定狭心症：０．１～０．２μｇ／ｋｇ／分の投与量で投与を開始し、発作の経過及び血圧をモニターしながら約５分ごとに０．１～０．２μｇ／ｋｇ／分ずつ増量し、１～２μｇ／ｋｇ／分で維持する。効果がみられない場合には２０～４０μｇ／ｋｇの静注を１時間ごとに併用する。
なお、静注する場合は１～３分かけて緩徐に投与する。
【保管】室温保存。

ニトロダームＴＴＳ２５ｍｇ Nitroderm TTS 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>
商品名:ニトロダームＴＴＳ２５ｍｇ
規格:（２５ｍｇ）１０平方ｃｍ１枚　薬価:37.60　製造:サンファーマ　剤型:貼付剤　YJ:2171701S2037　院内コード:200472
成分:ニトログリセリン,
【効】狭心症。
【用】通常、成人に対し１日１回１枚（ニトログリセリンとして２５ｍｇ含有）を胸部、腰部、上腕部のいずれかに貼付する。
なお、効果不十分の場合は２枚に増量する。
【保管】室温保存。

ニトロペン舌下錠０．３ｍｇ Nitropen 採用 (劇) <後発品（加算対象）>
商品名:ニトロペン舌下錠０．３ｍｇ
規格:０．３ｍｇ１錠　薬価:9.80　製造:日本化薬　剤型:錠　YJ:2171018K1039　院内コード:202488
成分:ニトログリセリン,
【効】狭心症、心筋梗塞、心臓喘息、アカラジアの一時的緩解。
【用】ニトログリセリンとして、通常成人０．３～０．６ｍｇ（本剤１～２錠）を舌下投与する。狭心症に対し投与後、数分間で効果のあらわれない場合には、更に０．３～０．６ｍｇ（本剤１～２錠）を追加投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ニフェジピンＣＲ錠２０ｍｇ「三和」（ｱﾀﾞﾗｰﾄCR） Nifedipine CR SANWA 採用 (劇)
商品名:ニフェジピンＣＲ錠２０ｍｇ「三和」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:6.90　製造:三和化学研究所　剤型:徐放錠　YJ:2171014G4126　院内コード:202563
成分:ニフェジピン,
【効】１）．　高血圧症、腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症。
２）．　狭心症、異型狭心症。
【用】〈高血圧症〉通常、成人にはニフェジピンとして２０～４０ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、１日１０～２０ｍｇより投与を開始し、必要に応じ漸次増量する。なお、１日４０ｍｇで効果不十分な場合には、１回４０ｍｇ１日２回まで増量できる。

〈腎実質性高血圧症、腎血管性高血圧症〉通常、成人にはニフェジピンとして２０～４０ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、１日１０～２０ｍｇより投与を開始し、必要に応じ漸次増量する。
〈狭心症、異型狭心症〉通常、成人にはニフェジピンとして４０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、症状に応じ適宜増減するが、最高用量は１日１回６０ｍｇとする。
【保管】室温保存。

ニフェジピンＬ錠１０ｍｇ「サワイ」(ｱﾀﾞﾗｰﾄL) Nifedipine L 採用 (劇)

商品名:ニフェジピンＬ錠１０ｍｇ「サワイ」
規格:１０ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:沢井製薬 剤型:徐放錠 YJ:2171014G1232 院内コード:202943
成分:ニフェジピン,
【効】１）．　本態性高血圧症、腎性高血圧症。
２）．　狭心症。
【用】〈本態性高血圧症、腎性高血圧症〉ニフェジピンとして、通常成人１回１０～２０ｍｇを１日２回経口投与する。症状に応じ適宜増減する。
〈狭心症〉ニフェジピンとして、通常成人１回２０ｍｇを１日２回経口投与する。症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

ニフェジピンＬ錠２０ｍｇ「サワイ」(ｱﾀﾞﾗｰﾄL) Nifedipine L 採用 (劇)

商品名:ニフェジピンＬ錠２０ｍｇ「サワイ」
規格:２０ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:沢井製薬 剤型:徐放錠 YJ:2171014G2280 院内コード:202944
成分:ニフェジピン,
【効】１）．　本態性高血圧症、腎性高血圧症。
２）．　狭心症。
【用】〈本態性高血圧症、腎性高血圧症〉ニフェジピンとして、通常成人１回１０～２０ｍｇを１日２回経口投与する。症状に応じ適宜増減する。
〈狭心症〉ニフェジピンとして、通常成人１回２０ｍｇを１日２回経口投与する。症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

フランドルテープ４０ｍｇ Frandol 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:フランドルテープ４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１枚 薬価:32.20 製造:トーアエイヨー 剤型:貼付剤 YJ:2171700S1095 院内コード:200474
成分:硝酸イソソルビド,
【効】狭心症、心筋梗塞＜急性期を除く＞、その他の虚血性心疾患。
【用】通常、成人に対し、１回１枚（硝酸イソソルビドとして４０ｍｇ）を胸部、上腹部又は背部のいずれかに貼付する。貼付後２４時間又は４８時間ごとに貼りかえる。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヘルベッサーＲカプセル１００ｍｇ Herbesser R 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:ヘルベッサーＲカプセル１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１カプセル 薬価:14.10 製造:田辺ファーマ 剤型:徐放カプセル YJ:2171006N1105 院内コード:200248
成分:ジルチアゼム塩酸塩,
【効】１）．　狭心症、異型狭心症。
２）．　本態性高血圧症＜軽症～中等症＞。
【用】〈狭心症、異型狭心症〉通常、成人にはジルチアゼム塩酸塩として１日１回１００ｍｇを経口投与する。
効果不十分な場合には、１日１回２００ｍｇまで増量することができる。
〈本態性高血圧症（軽症～中等症）〉通常、成人にはジルチアゼム塩酸塩として１日１回１００～２００ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ベニジピン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」 Benidipine hydrochloride 採用 (劇) <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]コニール錠４

商品名:ベニジピン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」
規格:４ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:メディサ新薬 剤型:錠 YJ:2171021F2152 院内コード:203278
成分:ベニジピン塩酸塩,
【効】１）．　高血圧症、腎実質性高血圧症。
２）．　狭心症。
【用】〈高血圧症、腎実質性高血圧症〉通常、成人にはベニジピン塩酸塩として１日１回２～４ｍｇを朝食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、効果不十分な場合には、１日１回８ｍｇまで増量することができる。
ただし、重症高血圧症には１日１回４～８ｍｇを朝食後経口投与する。
〈狭心症〉通常、成人にはベニジピン塩酸塩として１回４ｍｇを１日２回朝・夕食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ベラパミル塩酸塩錠４０ｍｇ「タイヨー」 Verapamil hydrochloride 採用 Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ワソラン錠４０ｍｇ

商品名:ベラパミル塩酸塩錠４０ｍｇ「タイヨー」
規格:４０ｍｇ１錠 薬価:6.80 製造:日医工岐阜工場 剤型:錠 YJ:2171008F1088 院内コード:203244
成分:ベラパミル塩酸塩,
【効】１）．　成人：
①．　頻脈性不整脈（心房細動・心房粗動、発作性上室性頻拍）。

②.　狭心症、心筋梗塞＜急性期を除く＞、その他の虚血性心疾患。
２）.　小児：頻脈性不整脈（心房細動・心房粗動、発作性上室性頻拍）。
【用】成人：
〈頻脈性不整脈（心房細動・粗動、発作性上室性頻拍）〉ベラパミル塩酸塩として、通常成人１回４０～８０ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈狭心症、心筋梗塞（急性期を除く）、その他の虚血性心疾患〉ベラパミル塩酸塩として、通常成人１回４０～８０ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：
〈頻脈性不整脈（心房細動・粗動、発作性上室性頻拍）〉通常、小児には、ベラパミル塩酸塩として１日３～６ｍｇ／ｋｇ（ただし、１日２４０ｍｇを超えない）を、１日３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】室温保存。

ミオコールスプレー０．３ｍｇ　Myocor　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミオコールスプレー０．３ｍｇ
規格:０．６５％７．２ｇ１缶　薬価:1028.70　製造:トーアエイヨー　剤型:噴霧剤　YJ:2171701R4038　院内コード:200488
成分:ニトログリセリン,
【効】狭心症発作の寛解。
【用】通常、成人には、１回１噴霧（ニトログリセリンとして０．３ｍｇ）を舌下に投与する。
なお、効果不十分の場合は１噴霧を追加投与する。
【保管】室温保存。

ミオコール注５ｍｇ　採用　(劇)
商品名:ミオコール静注５ｍｇ
規格:５ｍｇ１０ｍＬ１管　薬価:291.00　製造:トーアエイヨー　剤型:注射液　YJ:2171403A2079

一硝酸イソソルビド錠２０ｍｇ「サワイ」　Isosorbide mononitrate　採用　<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]アイトロール錠２０ｍｇ
商品名:一硝酸イソソルビド錠２０ｍｇ「サワイ」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2171023F2127　院内コード:202613
成分:一硝酸イソソルビド,
【効】狭心症。
【用】通常、成人には一硝酸イソソルビドとして１回２０ｍｇ１日２回を経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、効果不十分な場合には１回４０ｍｇ１日２回まで増量できる。
ただし、労作狭心症又は労作兼安静狭心症で発作回数及び運動耐容能の面で重症と判断された場合には１回４０ｍｇ１日２回を経口投与できる。
【保管】室温保存。

ｼﾞﾙﾁｱｾﾞﾑ塩酸塩注射用50mg「ｻﾜｲ」(ﾍﾙﾍﾞｯｻｰ)　Diltiazem hydrochloride　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ヘルベッサー注射用５０
商品名:ジルチアゼム塩酸塩注射用５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１瓶　薬価:274.00　製造:沢井製薬　剤型:注射用　YJ:2171405D5065　院内コード:300794
成分:ジルチアゼム塩酸塩,
【効】１）.　頻脈性不整脈＜上室性＞。
２）.　手術時の異常高血圧の救急処置。
３）.　高血圧性緊急症。
４）.　不安定狭心症。
【用】本剤（ジルチアゼム塩酸塩として１０ｍｇ又は５０ｍｇ）は、５ｍＬ以上の生理食塩液又はブドウ糖注射液に用時溶解し、次のごとく投与する。
〈頻脈性不整脈（上室性）〉通常、成人にはジルチアゼム塩酸塩として１回１０ｍｇを約３分間で緩徐に静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈手術時の異常高血圧の救急処置〉１回静注の場合：通常、成人にはジルチアゼム塩酸塩として１回１０ｍｇを約１分間で緩徐に静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
点滴静注の場合：通常、成人には１分間に体重ｋｇ当たりジルチアゼム塩酸塩として５～１５μｇを点滴静注する。目標値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
〈高血圧性緊急症〉通常、成人には１分間に体重ｋｇ当たりジルチアゼム塩酸塩として５～１５μｇを点滴静注する。目標値まで血圧を下げ、以後血圧をモニターしながら点滴速度を調節する。
〈不安定狭心症〉通常、成人には１分間に体重ｋｇ当たりジルチアゼム塩酸塩として１～５μｇを点滴静注する。投与量は低用量から開始し、患者の病態に応じて適宜増減するが、最高用量は１分間に体重ｋｇ当たり５μｇまでとする。
【保管】室温保存。

ﾆｺﾗﾝｼﾞﾙ点滴静注用2mg「ｻﾜｲ」(ｼｸﾞﾏｰﾄ)　Nicorandil　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]シグマート注２ｍｇ
商品名:ニコランジル点滴静注用２ｍｇ「サワイ」
規格:２ｍｇ１瓶　薬価:88.00　製造:沢井製薬　剤型:注射用　YJ:2171406D1030　院内コード:300810
成分:ニコランジル,
【効】１）.　不安定狭心症。
２）.　急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。
【用】〈不安定狭心症〉本剤を生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で溶解して、０．０１～０．０３％溶液とする。通常、成人には、ニコランジルとして１時間あたり２ｍｇの点滴静注から投与を開始する。投与量は患者の病態に応じて適宜増減するが、最高用量は１時間あたり６ｍｇまでとする。
〈急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）〉本剤を生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で溶解して、０．０４～０．２５％溶液とする。通常、成人には、ニコランジルとして０．２ｍｇ／ｋｇを５分間程度かけて静脈内投与し、引き続き１時間あたり０．２ｍｇ／ｋｇで持続静脈内投与を開始する。投与量は血圧の推移や患者の病態に応じて、１時間あたり０．０５～０．２ｍｇ／ｋｇの範囲で調整する。

【保管】１０℃以下。

ニコランジル点滴静注用48mg「サワイ」(シグマート) Nicorandil 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:非採用]シグマート注４８ｍｇ

商品名:ニコランジル点滴静注用４８ｍｇ「サワイ」

規格:４８ｍｇ１瓶 薬価:1055.00 製造:沢井製薬 剤型:注射用 YJ:2171406D3032 院内コード:301122

成分:ニコランジル,

【効】１）．　不安定狭心症。

２）．　急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。

【用】〈不安定狭心症〉本剤を生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で溶解して、０．０１～０．０３％溶液とする。通常、成人には、ニコランジルとして１時間あたり２ｍｇの点滴静注から投与を開始する。投与量は患者の病態に応じて適宜増減するが、最高用量は１時間あたり６ｍｇまでとする。〈急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）〉本剤を生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で溶解して、０．０４～０．２５％溶液とする。通常、成人には、ニコランジルとして０．２ｍｇ／ｋｇを５分間程度かけて静脈内投与し、引き続き１時間あたり０．２ｍｇ／ｋｇで持続静脈内投与を開始する。投与量は血圧の推移や患者の病態に応じて、１時間あたり０．０５～０．２ｍｇ／ｋｇの範囲で調整する。

【保管】１０℃以下。

2179: その他の血管拡張剤

ハンプ注射用１０００ Hanp 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:ハンプ注射用１０００

規格:１，０００μｇ１瓶 薬価:1113.00 製造:第一三共 剤型:注射用 YJ:2179400D1022 院内コード:300064

成分:カルペリチド（遺伝子組換え）,

【効】急性心不全（慢性心不全の急性増悪期を含む）。

【用】本剤は日本薬局方注射用水５ｍＬに溶解し、必要に応じて日本薬局方生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液で希釈し、カルペリチドとして１分間あたり０．１μｇ／ｋｇを持続静脈内投与する。なお、投与量は血行動態をモニターしながら適宜調節するが、患者の病態に応じて１分間あたり０．２μｇ／ｋｇまで増量できる。

【保管】室温保存。

218: 高脂血症用剤

2183: クロフィブラート系製剤

パルモディアXR錠0.2mg Parmodia XR 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:パルモディアＸＲ錠０．２ｍｇ

規格:０．２ｍｇ１錠 薬価:51.00 製造:興和 剤型:徐放錠 YJ:2183007G1020 院内コード:203633

成分:ペマフィブラート,

【効】高脂血症（家族性高脂血症を含む）。

【用】通常、成人にはペマフィブラートとして１回０．２ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、トリグリセライド又はＬＤＬ－コレステロール高値の程度により、１回０．４ｍｇを１日１回まで増量できる。

【保管】室温保存。

ベザフィブラートＳＲ錠２００ｍｇ「サワイ」(ベザトールSR) Bezafibrate SR 採用 <後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ベザトールＳＲ錠２００ｍｇ

商品名:ベザフィブラートＳＲ錠２００ｍｇ「サワイ」

規格:２００ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:沢井製薬 剤型:徐放錠 YJ:2183005G1285 院内コード:202978

成分:ベザフィブラート,

【効】高脂血症（家族性高脂血症を含む）。

【用】通常、成人にはベザフィブラートとして１日４００ｍｇを２回に分けて朝夕食後に経口投与する。

なお、腎機能障害を有する患者及び高齢者に対しては適宜減量すること。

【保管】室温保存。

リピディル錠８０ｍｇ Lipidil 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:リピディル錠８０ｍｇ

規格:８０ｍｇ１錠 薬価:16.20 製造:あすか製薬 剤型:錠 YJ:2183006F4020 院内コード:202348

成分:フェノフィブラート,

【効】高脂血症（家族性高脂血症を含む）。

【用】通常、成人にはフェノフィブラートとして１日１回１０６．６ｍｇ～１６０ｍｇを食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。１日１６０ｍｇを超える用量は投与しないこと。

【保管】室温保存。

2189: その他の高脂血症用剤

ＥＰＬカプセル２５０ｍｇ EPL 採用 <後発品（加算対象）>

商品名:ＥＰＬカプセル２５０ｍｇ

規格:２５０ｍｇ１カプセル 薬価:6.10 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:カプセルYJ:2189006M1058 院内コード:200019

成分:ポリエンホスファチジルコリン,

【効】慢性肝疾患における肝機能の改善、脂肪肝、高脂質血症。

【用】ポリエンホスファチジルコリンとして、通常成人１回５００ｍｇを１日３回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

アトルバスタチン錠10mg「サワイ」(リピトール) Atorvastatin 採用 <後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]リピトール錠１０ｍｇ

商品名:アトルバスタチン錠１０ｍｇ「サワイ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:11.50　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2189015F2054　院内コード:202453
成分:アトルバスタチンカルシウム水和物,
【効】１）．　高コレステロール血症。
２）．　家族性高コレステロール血症。
【用】〈高コレステロール血症〉通常、成人にはアトルバスタチンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は１日２０ｍｇまで増量できる。
〈家族性高コレステロール血症〉通常、成人にはアトルバスタチンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は１日４０ｍｇまで増量できる。
【保管】室温保存。

アトルバスタチン錠5mg「ｻﾜｲ」(ﾘﾋﾟﾄｰﾙ)　Atorvastatin　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リピトール錠５ｍｇ

商品名:アトルバスタチン錠５ｍｇ「サワイ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2189015F1058　院内コード:202452
成分:アトルバスタチンカルシウム水和物,
【効】１）．　高コレステロール血症。
２）．　家族性高コレステロール血症。
【用】〈高コレステロール血症〉通常、成人にはアトルバスタチンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は１日２０ｍｇまで増量できる。
〈家族性高コレステロール血症〉通常、成人にはアトルバスタチンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、重症の場合は１日４０ｍｇまで増量できる。
【保管】室温保存。

エゼチミブ錠１０ｍｇ「DSEP」(ｾﾞﾁｰｱ)　Ezetimibe DSEP　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ゼチーア錠１０ｍｇ

商品名:エゼチミブ錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:28.20　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2189018F1035　院内コード:203253
成分:エゼチミブ,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症、ホモ接合体性シトステロール血症。
【用】通常、成人にはエゼチミブとして１回１０ｍｇを１日１回食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】室温保存。

エゼロス配合錠ＨＤ「サワイ」(ﾛｽｰｾﾞｯﾄ)　Ezerosu SAWAI　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ロスーゼット配合錠ＨＤ

商品名:エゼロス配合錠ＨＤ「サワイ」
規格:１錠　薬価:31.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2189102F2047　院内コード:203824
成分:エゼチミブ,ロスバスタチンカルシウム,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】通常、成人には１日１回１錠（エゼチミブ／ロスバスタチンとして１０ｍｇ／５ｍｇ）を食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

エゼロス配合錠ＬＤ「サワイ」(ﾛｽｰｾﾞｯﾄ)　Ezerosu SAWAI　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ロスーゼット配合錠ＬＤ

商品名:エゼロス配合錠ＬＤ「サワイ」
規格:１錠　薬価:31.60　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2189102F1040　院内コード:203823
成分:エゼチミブ,ロスバスタチンカルシウム,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】通常、成人には１日１回１錠（エゼチミブ／ロスバスタチンとして１０ｍｇ／２．５ｍｇ）を食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ネクセトール錠180mg　Nexletol　採用
<先発品（後発品なし）>

商品名:ネクセトール錠１８０ｍｇ
規格:１８０ｍｇ１錠　薬価:371.50　製造:大塚製薬　剤型:錠　YJ:2189022F1023　院内コード:203870
成分:ベムペド酸,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】通常、成人にはベムペド酸として１８０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠１ｍｇ「KOG」(ﾘﾊﾞﾛ)　Pitavastatin calcium OD KOG　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リバロ錠１ｍｇ

商品名:ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠１ｍｇ「ＫＯＧ」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:興和ＡＧファーマ　剤型:錠　YJ:2189016F4116　院内コード:203748
成分:ピタバスタチンカルシウム,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】〈高コレステロール血症〉通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして１～２ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減し、ＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は１日４ｍｇまでとする。
〈家族性高コレステロール血症〉成人：通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして１～２ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減し、ＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は１日４ｍｇまでとする。
小児：通常、１０歳以上の小児にはピタバスタチンカルシウムとして１ｍｇを１日１回経口投与する。

なお、症状により適宜増減し、ＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は１日２ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠２ｍｇ「ＫＯＧ」(ﾘﾊﾞﾛ)　Pitavastatin calcium OD KOG　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リバロ錠２ｍｇ

商品名:ピタバスタチンカルシウムＯＤ錠２ｍｇ「ＫＯＧ」
規格:２ｍｇ１錠　薬価:14.20　製造:興和ＡＧファーマ　剤型:錠　YJ:2189016F5112　院内コード:203598
成分:ピタバスタチンカルシウム,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】〈高コレステロール血症〉通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして１～２ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減し、ＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は１日４ｍｇまでとする。
〈家族性高コレステロール血症〉成人：通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして１～２ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減し、ＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は１日４ｍｇまでとする。
小児：通常、１０歳以上の小児にはピタバスタチンカルシウムとして１ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、症状により適宜増減し、ＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は１日２ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

プラバスタチンNa錠10mgｻﾜｲ(ﾌﾟﾗﾊﾞﾁﾝ)　Pravastatin Na　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]メバロチン錠１０

商品名:プラバスタチンＮａ錠１０ｍｇ「サワイ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:12.70　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2189010F2353　院内コード:200220
成分:プラバスタチンナトリウム,
【効】１）．　高脂血症。
２）．　家族性高コレステロール血症。
【用】通常、成人にはプラバスタチンナトリウムとして、１日１０ｍｇを１回または２回に分け経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減するが、重症の場合は１日２０ｍｇまで増量できる。
【保管】室温保存。

ロスバスタチン錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｸﾚｽﾄｰﾙ)　Rosuvastatin DSEP　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]クレストール錠２．５ｍｇ

商品名:ロスバスタチン錠２．５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2189017F1030　院内コード:202945
成分:ロスバスタチンカルシウム,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】通常、成人にはロスバスタチンとして１日１回２．５ｍｇより投与を開始するが、早期にＬＤＬ－コレステロール値を低下させる必要がある場合には５ｍｇより投与を開始してもよい。なお、年齢・症状により適宜増減し、投与開始後あるいは増量後、４週以降にＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には、漸次１０ｍｇまで増量できる。１０ｍｇを投与してもＬＤＬ－コレステロール値の低下が十分でない、家族性高コレステロール血症患者などの重症患者に限り、さらに増量できるが、１日最大２０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ロスバスタチン錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｸﾚｽﾄｰﾙ)　Rosuvastatin DSEP　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]クレストール錠５ｍｇ

商品名:ロスバスタチン錠５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:16.90　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2189017F2037　院内コード:202946
成分:ロスバスタチンカルシウム,
【効】高コレステロール血症、家族性高コレステロール血症。
【用】通常、成人にはロスバスタチンとして１日１回２．５ｍｇより投与を開始するが、早期にＬＤＬ－コレステロール値を低下させる必要がある場合には５ｍｇより投与を開始してもよい。なお、年齢・症状により適宜増減し、投与開始後あるいは増量後、４週以降にＬＤＬ－コレステロール値の低下が不十分な場合には、漸次１０ｍｇまで増量できる。１０ｍｇを投与してもＬＤＬ－コレステロール値の低下が十分でない、家族性高コレステロール血症患者などの重症患者に限り、さらに増量できるが、１日最大２０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ｵﾒｶﾞ-3脂肪酸ｴﾁﾙ粒状ｶﾌﾟｾﾙ2g「武田ﾃﾊﾞ」(ﾛﾄﾘｶﾞ)　Omega-3 fatty acid ethyl TAKEDA TEVA　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ロトリガ粒状カプセル２ｇ

商品名:オメガ－３脂肪酸エチル粒状カプセル２ｇ「武田テバ」
規格:２ｇ１包　薬価:72.30　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:カプセルYJ:2189019M1055　院内コード:203479
成分:オメガ－３脂肪酸エチル,
【効】高脂血症。
【用】通常、成人にはオメガ－３脂肪酸エチルとして１回２ｇを１日１回、食直後に経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により１回２ｇ、１日２回まで増量できる。
【保管】室温保存。

219: その他の循環器官用薬

2190: その他の循環器官用薬

アメジニウムメチル硫酸塩錠１０ｍｇ「日医工」(ﾘｽﾞﾐｯｸ)　Amezinium metilsulfate　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リズミック錠１０ｍｇ

商品名:アメジニウムメチル硫酸塩錠１０ｍｇ「日医工」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:日医工　剤型:錠　YJ:2190022F1202　院内コード:202854

成分:アメジニウムメチル硫酸塩,
【効】本態性低血圧、起立性低血圧、透析施行時の血圧低下の改善。
【用】〈本態性低血圧、起立性低血圧〉通常、成人にはアメジニウムメチル硫酸塩として、１日２０ｍｇを１日２回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈透析施行時の血圧低下の改善〉通常、成人にはアメジニウムメチル硫酸塩として、透析開始時に１回１０ｍｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アルガトロバンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ「ﾌｿｰ」(ｽﾛﾝﾉﾝ)　Argatroban HI FUSO　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]スロンノンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ

商品名:アルガトロバンＨＩ注１０ｍｇ／２ｍＬ「フソー」
規格:１０ｍｇ２ｍＬ１管　薬価:1201.00　製造:シオノケミカル　剤型:注射液　YJ:2190408A2042　院内コード:301211
成分:アルガトロバン水和物,
【効】１）．　次記疾患に伴う神経症候（運動麻痺）、日常生活動作（歩行、起立、坐位保持、食事）の改善：発症後４８時間以内の脳血栓症急性期＜ラクネを除く＞。
２）．　慢性動脈閉塞症（バージャー病・閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍、安静時疼痛ならびに冷感の改善。
３）．　次記患者における血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析）：先天性アンチトロンビン３欠乏患者、アンチトロンビン３低下を伴う患者（アンチトロンビン３が正常の７０％以下に低下し、かつ、ヘパリンナトリウム、ヘパリンカルシウムの使用では体外循環路内の凝血（残血）が改善しないと判断されたもの）、ヘパリン起因性血小板減少症２型（ＨＩＴ２型）患者。
４）．　ヘパリン起因性血小板減少症２型（ＨＩＴ２型）（発症リスクのある場合を含む）における経皮的冠インターベンション施行時の血液の凝固防止。
５）．　ヘパリン起因性血小板減少症２型（ＨＩＴ２型）における血栓症の発症抑制。
【用】〈脳血栓症急性期（ラクネを除く）〉通常、成人に、はじめの２日間は１日６管（アルガトロバン水和物として６０ｍｇ）を適当量の輸液で希釈し、２４時間かけて持続点滴静注する。その後の５日間は１回１管（アルガトロバン水和物として１０ｍｇ）を適当量の輸液で希釈し１日朝夕２回、１回３時間かけて点滴静注する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
〈慢性動脈閉塞症（バージャー病・閉塞性動脈硬化症）〉通常、成人１回１管（アルガトロバン水和物として１０ｍｇ）を輸液で希釈し、１日２回、１回２～３時間かけて点滴静注する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
〈血液体外循環〉通常、成人に、体外循環開始時に１管（アルガトロバン水和物として１０ｍｇ）を回路内に投与し、体外循環開始後は毎時２．５管（アルガトロバン水和物として２５ｍｇ）より投与を開始する。凝固時間の延長、回路内凝血（残血）、透析効率及び透析終了時の止血状況等を指標に投与量を増減し、患者毎の投与量を決定するが、毎時０．５～４管（アルガトロバン水和物として５～４０ｍｇ）を目安とする。
〈ＨＩＴ２型（発症リスクのある場合を含む）における経皮的冠インターベンション施行時の血液の凝固防止〉本剤を適当量の輸液で希釈し、通常、成人にアルガトロバン水和物として０．１ｍｇ／ｋｇを３～５分かけて静脈内投与し、術後４時間までアルガトロバン水和物として６μｇ／ｋｇ／分を目安に静脈内持続投与する。その後抗凝固療法の継続が必要な場合は、０．７μｇ／ｋｇ／分に減量し静脈内持続投与する。なお、持続投与量は目安であり、適切な凝固能のモニタリングにより適宜調節する。
〈ＨＩＴ２型における血栓症の発症抑制〉本剤を適当量の輸液で希釈し、通常、成人にアルガトロバン水和物として０．７μｇ／ｋｇ／分より点滴静注を開始し、持続投与する。なお、肝機能障害のある患者や出血のリスクのある患者に対しては、低用量から投与を開始すること。活性化部分トロンボプラスチン時間（ａＰＴＴ）を指標に投与量を増減し、患者毎の投与量を決定する。
【保管】室温保存。

アルプロスタジル注１０μｇ（リプル）　Alprostadil　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]パルクス注１０μｇ

商品名:アルプロスタジル注１０μｇ「サワイ」
規格:１０μｇ２ｍＬ１管　薬価:825.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:2190406A2116　院内コード:300782
成分:アルプロスタジル,
【効】１）．　慢性動脈閉塞症（バージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善。
２）．　次記疾患における皮膚潰瘍の改善：進行性全身性硬化症、全身性エリテマトーデス。
３）．　糖尿病における皮膚潰瘍の改善。
４）．　振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善ならびに振動病における末梢循環障害・神経障害・運動機能障害の回復。
５）．　動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存。
６）．　経上腸間膜動脈性門脈造影における造影能の改善。
【用】１）．　慢性動脈閉塞症（バージャー病、閉塞性動脈硬化症）、進行性全身性硬化症、全身性エリテマトーデス、糖尿病における皮膚潰瘍、振動病：通常、成人１日１回１～２ｍＬ（アルプロスタジルとして５～１０μｇ）をそのまま又は輸液に混和して緩徐に静注、又は点滴静注する。
なお、症状により適宜増減する。
２）．　動脈管依存性先天性心疾患：輸液に混和し、開始時アルプロスタジル５ｎｇ／ｋｇ／ｍｉｎとして持続静注し、その後は症状に応じて適宜増減して有効最小量とする。
３）．　経上腸間膜動脈性門脈造影：通常、成人には１回１ｍＬ（アルプロスタジルとして５μｇ）を生理食塩液で１０ｍＬに希釈し、造影剤注入３０秒前に３～５秒間で経カテーテル的に上腸間膜動脈内に投与する。
【保管】凍結を避け５℃以下で保存。

イフェンプロジル酒石酸塩錠２０ｍｇ「サワイ」(ｾﾛｸﾗｰﾙ)　Ifenprodil tartrate　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]セロクラール錠２０ｍｇ

商品名:イフェンプロジル酒石酸塩錠２０ｍｇ「サワイ」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2190005F2213　院内コード:203359
成分:イフェンプロジル酒石酸塩,
【効】脳梗塞後遺症、脳出血後遺症に伴うめまいの改善。
【用】通常成人には、１回１錠（イフェンプロジル酒石酸塩として２０ｍｇ）を１日３回毎食後経口投与する。
【保管】室温保存。

エリル点滴静注液３０ｍｇ　Eril　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>

商品名:エリル点滴静注液３０ｍｇ
規格:３０．８ｍｇ２ｍＬ１管　薬価:1693.00　製造:旭化成セラピューティクス　剤型:注射液　YJ:2190414A1033　院内コード:300491
成分:ファスジル塩酸塩水和物,
【効】くも膜下出血術後の脳血管攣縮および脳血管攣縮に伴う脳虚血症状の改善。
【用】通常、成人には、塩酸ファスジルとして１回３０ｍｇを５０～１００ｍＬの電解質液または糖液で希釈し、１日２～３回、約３０分間かけて点滴静注する。
本剤の投与は、くも膜下出血術後早期に開始し、２週間投与することが望ましい。
【保管】室温保存。

エンレスト錠１００ｍｇ　Entresto　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:エンレスト錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:80.20　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:錠　YJ:2190041F2023　院内コード:203327
成分:サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物,
【効】１）．　成人：
慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
２）．　小児：
慢性心不全。
３）．　高血圧症。
【用】〈慢性心不全〉通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして１回５０ｍｇを開始用量として１日２回経口投与する。忍容性が認められる場合は、２～４週間の間隔で段階的に１回２００ｍｇまで増量する。１回投与量は５０ｍｇ、１００ｍｇ又は２００ｍｇとし、いずれの投与量においても１日２回経口投与する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。
通常、１歳以上の小児には、サクビトリルバルサルタンとして次のとおり体重に応じた開始用量を１日２回経口投与する。忍容性が認められる場合は、２～４週間の間隔で段階的に目標用量まで増量する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。
［小児における用量（１回投与量）］１）．　体重４０ｋｇ未満：開始用量０．８ｍｇ／ｋｇ、第１漸増用量１．６ｍｇ／ｋｇ、第２漸増用量２．３ｍｇ／ｋｇ、目標用量３．１ｍｇ／ｋｇ。
２）．　体重４０ｋｇ以上５０ｋｇ未満：開始用量０．８ｍｇ／ｋｇ、第１漸増用量５０ｍｇ、第２漸増用量１００ｍｇ、目標用量１５０ｍｇ。
３）．　体重５０ｋｇ以上：開始用量５０ｍｇ、第１漸増用量１００ｍｇ、第２漸増用量１５０ｍｇ、目標用量２００ｍｇ。
〈高血圧症〉通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして１回２００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最大投与量は１回４００ｍｇを１日１回とする。
【保管】室温保存。

エンレスト錠２００ｍｇ　Entresto　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:エンレスト錠２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１錠　薬価:141.20　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:錠　YJ:2190041F3020　院内コード:203328
成分:サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物,
【効】１）．　成人：
慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
２）．　小児：
慢性心不全。
３）．　高血圧症。
【用】〈慢性心不全〉通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして１回５０ｍｇを開始用量として１日２回経口投与する。忍容性が認められる場合は、２～４週間の間隔で段階的に１回２００ｍｇまで増量する。１回投与量は５０ｍｇ、１００ｍｇ又は２００ｍｇとし、いずれの投与量においても１日２回経口投与する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。
通常、１歳以上の小児には、サクビトリルバルサルタンとして次のとおり体重に応じた開始用量を１日２回経口投与する。忍容性が認められる場合は、２～４週間の間隔で段階的に目標用量まで増量する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。
［小児における用量（１回投与量）］１）．　体重４０ｋｇ未満：開始用量０．８ｍｇ／ｋｇ、第１漸増用量１．６ｍｇ／ｋｇ、第２漸増用量２．３ｍｇ／ｋｇ、目標用量３．１ｍｇ／ｋｇ。
２）．　体重４０ｋｇ以上５０ｋｇ未満：開始用量０．８ｍｇ／ｋｇ、第１漸増用量５０ｍｇ、第２漸増用量１００ｍｇ、目標用量１５０ｍｇ。
３）．　体重５０ｋｇ以上：開始用量５０ｍｇ、第１漸増用量１００ｍｇ、第２漸増用量１５０ｍｇ、目標用量２００ｍｇ。
〈高血圧症〉通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして１回２００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最大投与量は１回４００ｍｇを１日１回とする。
【保管】室温保存。

エンレスト錠５０ｍｇ　Entresto　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:エンレスト錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:45.70　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:錠　YJ:2190041F1027　院内コード:203768
成分:サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物,
【効】１）．　成人：
慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
２）．　小児：
慢性心不全。
【用】通常、成人にはサクビトリルバルサルタンとして１回５０ｍｇを開始用量として１日２回経口投与する。忍容性が認められる場合は、２～４週間の間隔で段階的に１回２００ｍｇまで増量する。１回投与量は５０ｍｇ、１００ｍｇ又は２００ｍｇとし、いずれの投与量においても１日２回経口投与する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。
通常、１歳以上の小児には、サクビトリルバルサルタンとして次のとおり体重に応じた開始用量を１日２回経口投与する。忍容性が認められる場合は、２～４週間の間隔で段階的に目標用量まで増量する。なお、忍容性に応じて適宜減量する。
［小児における用量（１回投与量）］１）．　体重４０ｋｇ未満：開始用量０．８ｍｇ／ｋｇ、第１漸増用量１．６ｍｇ／ｋｇ、第２漸増用量２．３ｍｇ／ｋｇ、目標用量３．１ｍｇ／ｋｇ。
２）．　体重４０ｋｇ以上５０ｋｇ未満：開始用量０．８ｍｇ／ｋｇ、第１漸増用量５０ｍｇ、第２漸増用量１００ｍｇ、目標用量１５０ｍｇ。

３）．　体重５０ｋｇ以上：開始用量５０ｍｇ、第１漸増用量１００ｍｇ、第２漸増用量１５０ｍｇ、目標用量２００ｍｇ。
【保管】室温保存。

カリメート経口液20%（25g/包）　Kalimate　採用

商品名:カリメート経口液２０％
規格:２０％２５ｇ１包　薬価:77.80　製造:興和　剤型:液　YJ:2190016S1027　院内コード:202375
成分:ポリスチレンスルホン酸カルシウム,
【効】急性腎不全及び慢性腎不全に伴う高カリウム血症。
【用】通常成人１日７５～１５０ｇ（ポリスチレンスルホン酸カルシウムとして１日１５～３０ｇ）を２～３回に分け、経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

グリセオール注２００ｍＬ　Glyceol　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:グリセオール注
規格:２００ｍＬ１袋　薬価:302.00　製造:太陽ファルマ　剤型:注射液　YJ:2190501A4084　院内コード:300070
成分:果糖,濃グリセリン,
【効】１）．　頭蓋内圧亢進、頭蓋内浮腫の治療。
２）．　頭蓋内圧亢進、頭蓋内浮腫の改善による次記疾患に伴う意識障害、神経障害、自覚症状の改善：脳梗塞（脳血栓、脳塞栓）、脳内出血、くも膜下出血、頭部外傷、脳腫瘍、脳髄膜炎。
３）．　脳外科手術後の後療法。
４）．　脳外科手術時の脳容積縮小。
５）．　眼内圧下降を必要とする場合。
６）．　眼科手術時の眼容積縮小。
【用】通常、成人１回２００～５００ｍＬを１日１～２回、５００ｍＬあたり２～３時間かけて点滴静注する。
投与期間は通常１～２週とする。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
脳外科手術時の脳容積縮小の目的には、１回５００ｍＬを３０分かけて点滴静注する。
眼内圧下降及び眼科手術時の眼容積縮小の目的には、１回３００～５００ｍＬを４５～９０分かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

ピートル顆粒分包５００ｍｇ　P-Tol　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ピートル顆粒分包５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１包　薬価:200.20　製造:キッセイ薬品　剤型:顆粒　YJ:2190036D2021　院内コード:203484
成分:スクロオキシ水酸化鉄,
【効】透析中の慢性腎臓病患者における高リン血症の改善。
【用】通常、成人には、鉄として１回２５０ｍｇを開始用量とし、１日３回食直前に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は１日３０００ｍｇとする。
【保管】室温保存。

ピヴラッツ点滴静注液１５０ｍｇ　Pivlaz　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:ピヴラッツ点滴静注液１５０ｍｇ
規格:１５０ｍｇ６ｍＬ１瓶　薬価:80596.00　製造:ネクセラファーマジャパン　剤型:注射液　YJ:2190418A1023　院内コード:301148
成分:クラゾセンタンナトリウム,
【効】脳動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮、及び脳血管攣縮に伴う脳梗塞及び脳血管攣縮に伴う脳虚血症状の発症抑制。
【用】通常成人には、クラゾセンタンとして３００ｍｇ（１２ｍＬ）を生理食塩液５００ｍＬに加え、容量型の持続注入ポンプを用いて、１７ｍＬ／時の速度で静脈内に持続投与する（クラゾセンタンとして１０ｍｇ／時）。くも膜下出血術後早期に本剤の投与を開始し、くも膜下出血発症１５日目まで投与する。なお、肝機能、併用薬に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

プロスタンディン注射用２０μｇ　Prostandin　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>

商品名:プロスタンディン注射用２０μｇ
規格:２０μｇ１瓶　薬価:443.00　製造:丸石製薬　剤型:注射用　YJ:2190402D3064　院内コード:300066
成分:アルプロスタジル　アルファデクス,
【効】動脈内投与：慢性動脈閉塞症（バージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善。
静脈内投与：
１）．　振動病における末梢血行障害に伴う自覚症状の改善ならびに振動病における末梢循環障害・神経障害・運動機能障害の回復。
２）．　血行再建術後の血流維持。
３）．　動脈内投与が不適と判断される慢性動脈閉塞症（バージャー病、閉塞性動脈硬化症）における四肢潰瘍ならびに安静時疼痛の改善。
４）．　動脈管依存性先天性心疾患における動脈管の開存。
陰茎海綿体内投与：勃起障害の診断。
【用】動脈内投与〈慢性動脈閉塞症〉（１）．　本品１バイアル（アルプロスタジル２０μｇ）を生理食塩液５ｍＬに溶かし、通常成人１日量アルプロスタジルとして１０～１５μｇ（およそ０．１～０．１５ｎｇ／ｋｇ／分）をシリンジポンプを用い持続的に動脈内へ注射投与する。
（２）．　症状により０．０５～０．２ｎｇ／ｋｇ／分の間で適宜増減する。
静脈内投与〈振動病、血行再建術後の血流維持、動脈内投与が不適と判断される慢性動脈閉塞症〉（１）．　通常成人１回量本品２～３バイアル（アルプロスタジル４０～６０μｇ）を輸液５００ｍＬに溶解し、２時間かけて点滴静注する（５～１０ｎｇ／ｋｇ／分）。
なお、投与速度は体重１ｋｇ２時間あたり１．２μｇをこえないこと。
（２）．　投与回数は１日１～２回。
（３）．　症状により適宜増減する。
〈動脈管依存性先天性心疾患〉通常、アルプロスタジルとして５０～１００ｎｇ／ｋｇ／分の速度で静脈内投与を開始し、症状に応じて適宜増減し、有効最小量で持続投与する。

陰茎海綿体内投与〈勃起障害の診断〉本品１バイアル（アルプロスタジル２０μｇ）を生理食塩液１ｍＬに溶かし、通常、成人１回量アルプロスタジルとして２０μｇを陰茎海綿体へ注射する。
【保管】室温保存。

ベリキューボ錠２．５ｍｇ Verquvo 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ベリキューボ錠２．５ｍｇ
規格:２．５ｍｇ１錠 薬価:124.50 製造:バイエル薬品 剤型:錠 YJ:2190042F1021 院内コード:203436
成分:ベルイシグアト,
【効】慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
【用】通常、成人にはベルイシグアトとして、１回２．５ｍｇを１日１回食後経口投与から開始し、２週間間隔で１回投与量を５ｍｇ及び１０ｍｇに段階的に増量する。なお、血圧等患者の状態に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

ベリキューボ錠５ｍｇ Verquvo 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ベリキューボ錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠 薬価:217.90 製造:バイエル薬品 剤型:錠 YJ:2190042F2028 院内コード:203437
成分:ベルイシグアト,
【効】慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
【用】通常、成人にはベルイシグアトとして、１回２．５ｍｇを１日１回食後経口投与から開始し、２週間間隔で１回投与量を５ｍｇ及び１０ｍｇに段階的に増量する。なお、血圧等患者の状態に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

ポリスチレンスルホン酸Ｃａ経口ゼリー２０％分包２５ｇ「三和」 Calcium polystyrene sulfonate SANWA 採用
商品名:ポリスチレンスルホン酸Ｃａ経口ゼリー２０％分包２５ｇ「三和」
規格:２０％２５ｇ１個 薬価:77.80 製造:三和化学研究所 剤型:ゼリー YJ:2190016Q2034 院内コード:200002
成分:ポリスチレンスルホン酸カルシウム,
【効】急性腎不全および慢性腎不全に伴う高カリウム血症。
【用】通常成人１日７５～１５０ｇ（ポリスチレンスルホン酸カルシウムとして１５～３０ｇ）を２～３回にわけ、経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ポリスチレンスルホン酸Ｎａ(5g/包)(ｶﾘｾﾗﾑ) Sodium polystyrene sulfonate FUSO 採用 <後発品（加算対象外）> [先発品:臨時使用]ケイキサレート散（注腸用）(5g/包)
商品名:ポリスチレンスルホン酸Ｎａ「フソー」原末
規格:１ｇ 薬価:8.00 製造:扶桑薬品 剤型:末 YJ:2190009A1056 院内コード:202938
成分:ポリスチレンスルホン酸ナトリウム,
【効】急性腎不全および慢性腎不全による高カリウム血症。
【用】〈内服〉通常、成人１日量３０ｇを２～３回に分け、その１回量を水５０～１５０ｍＬに懸濁し、経口投与する。症状に応じて適宜増減。
〈注腸〉通常、成人１回３０ｇを水または２％メチルセルロース溶液１００ｍＬに懸濁して注腸する。症状に応じて適宜増減。
【保管】室温保存。

ユベラＮカプセル１００ｍｇ Juvela N 採用
商品名:ユベラＮカプセル１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１カプセル 薬価:6.30 製造:エーザイ 剤型:カプセルYJ:2190006M1156 院内コード:200279
成分:トコフェロールニコチン酸エステル,
【効】１）． 次記に伴う随伴症状：高血圧症。
２）． 高脂質血症。
３）． 次記に伴う末梢循環障害：閉塞性動脈硬化症。
【用】トコフェロールニコチン酸エステルとして、通常成人１日３００～６００ｍｇを３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リオナ錠２５０ｍｇ Riona 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:リオナ錠２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１錠 薬価:68.90 製造:塩野義製薬 剤型:錠 YJ:2190033F1022 院内コード:202543
成分:クエン酸第二鉄水和物,
【効】１）． 慢性腎臓病患者における高リン血症の改善。
２）． 鉄欠乏性貧血。
【用】〈慢性腎臓病患者における高リン血症の改善〉通常、成人には、クエン酸第二鉄として１回５００ｍｇを開始用量とし、１日３回食直後に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は１日６０００ｍｇとする。
〈鉄欠乏性貧血〉通常、成人には、クエン酸第二鉄として１回５００ｍｇを１日１回食直後に経口投与する。患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は１回５００ｍｇを１日２回までとする。
【保管】室温保存。

ロケルマ懸濁用散分包５ｇ Lokelma 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ロケルマ懸濁用散分包５ｇ
規格:５ｇ１包 薬価:1005.10 製造:アストラゼネカ 剤型:散 YJ:2190040B1020 院内コード:203268
成分:ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物,

【効】高カリウム血症。
【用】通常、成人には、開始用量として１回１０ｇを水で懸濁して１日３回、２日間経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて、最長３日間まで経口投与できる。以後は、１回５ｇを水で懸濁して１日１回経口投与する。なお、血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は１日１回１５ｇまでとする。
血液透析施行中の場合には、通常、１回５ｇを水で懸濁して非透析日に１日１回経口投与する。なお、最大透析間隔後の透析前の血清カリウム値や患者の状態に応じて適宜増減するが、最高用量は１日１回１５ｇまでとする。
【保管】室温保存。

炭酸ランタンOD錠２５０ｍｇ「フソー」(ﾎｽﾚﾉｰﾙ)　Lanthanum carbonate OD FUSO　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ホスレノール顆粒分包２５０ｍｇ
商品名:炭酸ランタンＯＤ錠２５０ｍｇ「フソー」
規格:２５０ｍｇ１錠　薬価:32.20　製造:扶桑薬品　剤型:錠　YJ:2190029F3061　院内コード:203825
成分:炭酸ランタン水和物,
【効】慢性腎臓病患者における高リン血症の改善。
【用】通常、成人にはランタンとして１日７５０ｍｇを開始用量とし、１日３回に分割して食直後に経口投与する。以後、症状、血清リン濃度の程度により適宜増減するが、最高用量は１日２２５０ｍｇとする。
【保管】室温保存。

沈降炭酸カルシウム錠500mg「三和」(ｶﾙﾀﾝ)　Precipitated calcium carbonate SANWA　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]カルタン錠５００
商品名:沈降炭酸カルシウム錠５００ｍｇ「三和」
規格:５００ｍｇ１錠　薬価:6.20　製造:三和化学研究所　剤型:錠　YJ:2190024F1040　院内コード:203819
成分:沈降炭酸カルシウム,
【効】次記患者における高リン血症の改善：保存期慢性腎不全患者における高リン血症及び透析中の慢性腎不全患者における高リン血症。
【用】通常、成人には、沈降炭酸カルシウムとして１日３．０ｇを３回に分割して、食直後、経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

22: 呼吸器官用薬
221: 呼吸促進剤
2219: その他の呼吸促進剤

ドプラム注射液４００ｍｇ　Dopram　採用　(劇)
商品名:ドプラム注射液４００ｍｇ
規格:２０ｍｇ１ｍＬバイアル　薬価:166.00　製造:キッセイ薬品　剤型:注射液　YJ:2219400A1031　院内コード:300071
成分:ドキサプラム塩酸塩水和物,
【効】１）．　次記の状態における呼吸抑制ならびに覚醒遅延：
・　麻酔時呼吸抑制ならびに麻酔時覚醒遅延。
・　中枢神経系抑制剤による中毒時呼吸抑制ならびに中枢神経系抑制剤による中毒時覚醒遅延。
２）．　遷延性無呼吸の鑑別診断。
３）．　急性ハイパーカプニアを伴う慢性肺疾患。
４）．　早産・低出生体重児における原発性無呼吸（未熟児無呼吸発作）（ただし、キサンチン製剤による治療で十分な効果が得られない場合に限る）。
【用】〈次記の状態における呼吸抑制ならびに覚醒遅延〉・　麻酔時：
通常、ドキサプラム塩酸塩水和物として０．５～１．０ｍｇ／ｋｇを徐々に静注する。
なお、必要に応じて５分間隔で通常量を投与し、総投与量は２．０ｍｇ／ｋｇまでとする。
点滴静注の場合は、はじめ約５ｍｇ／ｍｉｎの速度で投与し、患者の状態に応じて注入速度を適宜調節する。
なお、総投与量は５．０ｍｇ／ｋｇまでとする。
・　中枢神経系抑制剤による中毒時：
通常、ドキサプラム塩酸塩水和物として０．５～２．０ｍｇ／ｋｇを徐々に静注する。初回投与に反応があった患者には維持量として、必要に応じて通常量を５～１０分間隔で投与し、ついで１～２時間間隔で投与を繰り返す。
点滴静注の場合は症状に応じて１．０～３．０ｍｇ／ｋｇ／ｈｒの速度で投与する。
〈遷延性無呼吸の鑑別診断〉通常、ドキサプラム塩酸塩水和物として１．０～２．０ｍｇ／ｋｇを静注する。
本剤の投与により呼吸興奮が十分生じない場合は呼吸抑制の原因が筋弛緩剤の残存効果によることを考慮する。
〈急性ハイパーカプニアを伴う慢性肺疾患〉通常、ドキサプラム塩酸塩水和物として１．０～２．０ｍｇ／ｋｇ／ｈｒの速度で点滴静注する。
急性ハイパーカプニアを伴う慢性肺疾患の場合、本剤投与開始後１～２時間は、動脈血液ガスを３０分毎に測定し、血液ガスの改善がみられないか悪化する場合にはレスピレータの使用を考慮する。本剤投与により血液ガスの改善がみられ、重篤な副作用が生じなければ投与を継続してもよい。動脈血液ガス分圧の測定は適宜行い、血液ガスが適当なレベルに達したら投与を中断し、酸素吸入は必要に応じて継続する。急性ハイパーカプニアを伴う慢性肺疾患の場合、本剤注入中断後、ＰａＣＯ２が上昇した場合には本剤の再投与を考慮する。
なお、本剤の１日の最大投与量は２４００ｍｇである。
〈早産・低出生体重児における原発性無呼吸（未熟児無呼吸発作）〉通常、ドキサプラム塩酸塩水和物として初回投与量１．５ｍｇ／ｋｇを１時間かけて点滴静注し、その後、維持投与として０．２ｍｇ／ｋｇ／ｈｒの速度で点滴静注する。なお、十分な効果が得られない場合は、０．４ｍｇ／ｋｇ／ｈｒまで適宜増量する。
【保管】室温保存。

フルマゼニル静注液０．５ｍｇ/5mL「テバ」　Flumazenil TEVA　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]アネキセート注射液０．５ｍｇ
商品名:フルマゼニル静注液０．５ｍｇ「テバ」

規格:０．５ｍｇ５ｍＬ１管　薬価:1005.00　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:注射液　YJ:2219403A1086　院内コード:300940
成分:フルマゼニル,
【効】ベンゾジアゼピン系薬剤による鎮静の解除及びベンゾジアゼピン系薬剤による呼吸抑制の改善。
【用】通常、初回０．２ｍｇを緩徐に静脈内投与する。投与後４分以内に望まれる覚醒状態が得られない場合は更に０．１ｍｇを追加投与する。
以後必要に応じて、１分間隔で０．１ｍｇずつを総投与量１ｍｇまで、ＩＣＵ領域では２ｍｇまで投与を繰り返す。ただし、ベンゾジアゼピン系薬剤の投与状況及び患者の状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

塩酸ナロキソン注射液０．２ｍｇ　採用
YJ:2219402A149　院内コード:300072

222: 鎮咳剤

2221: エフェドリン及びマオウ製剤

エフェドリン「ナガヰ」注射液４０ｍｇ　Ephedrin NAGAI　採用　(劇)
商品名:エフェドリン「ナガヰ」注射液４０ｍｇ
規格:４％１ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:日医工　剤型:注射液　YJ:2221400A2060　院内コード:300223
成分:エフェドリン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患に伴う咳嗽：気管支喘息、喘息性＜様＞気管支炎、感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル）。
２）．　鼻粘膜充血・鼻粘膜腫脹。
３）．　麻酔時の血圧降下。
【用】ｌ－エフェドリン塩酸塩として、通常成人１回２５～４０ｍｇを皮下注射する。
また、麻酔時の血圧降下には、通常成人１回４～８ｍｇを静脈内注射することができる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2223: デキストロメトルファン製剤

メジコン錠１５ｍｇ　Medicon　採用　<準先発品>
商品名:メジコン錠１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:8.50　製造:シオノギファーマ　剤型:錠　YJ:2223001F2099　院内コード:202490
成分:デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物,
【効】１）．　次記疾患に伴う咳嗽：感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル）。
２）．　気管支造影術および気管支鏡検査時の咳嗽。
【用】通常、成人にはデキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として１回１５～３０ｍｇを１日１～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2229: その他の鎮咳剤

アストミン錠１０ｍｇ　Astomin　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:アストミン錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:6.80　製造:オーファンパシフィック　剤型:錠　YJ:2229001F1053　院内コード:200027
成分:ジメモルファンリン酸塩,
【効】次記疾患に伴う鎮咳：上気道炎、肺炎、急性気管支炎、肺結核、珪肺及び珪肺結核、肺癌、慢性気管支炎。
【用】通常、成人（１５歳以上）には１回１～２錠（ジメモルファンリン酸塩として１０～２０ｍｇ）を１日３回経口投与する。
但し、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

フスコデ配合錠　Huscode　採用
商品名:フスコデ配合錠
規格:１錠　薬価:7.10　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:錠　YJ:2229101F1060　院内コード:202491
成分:ｄｌ－メチルエフェドリン塩酸塩,クロルフェニラミンマレイン酸塩,ジヒドロコデインリン酸塩,
【効】次記疾患に伴う咳嗽：急性気管支炎、慢性気管支炎、感冒・上気道炎、肺炎、肺結核。
【用】通常成人１日９錠を３回に分割経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
小児には次のように投与する。
１２歳以上１５歳未満；成人量の２／３。
【保管】室温保存。

フスタゾール糖衣錠１０ｍｇ　Hustazol　採用
商品名:フスタゾール糖衣錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:2229004F1030　院内コード:200219
成分:クロペラスチン塩酸塩,
【効】次記疾患に伴う咳嗽：感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、肺癌。
【用】クロペラスチン塩酸塩として、通常成人１日３０～６０ｍｇを３回に分割経口投与する。
小児にはクロペラスチン塩酸塩として、１日２歳未満７．５ｍｇ、２歳以上４歳未満７．５～１５ｍｇ、４歳以上７歳未満１５～３０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

223: 去たん剤

2233: システイン系製剤

カルボシステインＤＳ５０％「タカタ」(ﾑｺﾀﾞｲﾝ) Carbocisteine TAKATA 採用

商品名:カルボシステインＤＳ５０％「タカタ」

規格:５０％１ｇ 薬価:12.50 製造:高田製薬 剤型:シロップ用 YJ:2233002R2037 院内コード:202960

成分:Ｌ－カルボシステイン,

【効】〈成人〉１）．　次記疾患の去痰：上気道炎（咽頭炎、喉頭炎）、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核。

２）．　慢性副鼻腔炎の排膿。

〈小児〉１）．　次記疾患の去痰：上気道炎（咽頭炎、喉頭炎）、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核。

２）．　慢性副鼻腔炎の排膿。

３）．　小児滲出性中耳炎の排液。

【用】〈成人〉通常、成人にカルボシステインとして１回５００ｍｇ（本剤１．０ｇ）を用時懸濁し、１日３回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈小児〉通常、幼・小児にカルボシステインとして体重ｋｇ当たり１回１０ｍｇ（本剤０．０２ｇ）を用時懸濁し、１日３回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

カルボシステイン錠250mg「ｻﾜｲ」(ﾑｺﾀﾞｲﾝ) Carbocisteine 採用

<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]ムコダイン錠２５０ｍｇ

商品名:カルボシステイン錠２５０ｍｇ「サワイ」

規格:２５０ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:2233002F1280 院内コード:202525

成分:Ｌ－カルボシステイン,

【効】１）．　次記疾患の去痰：上気道炎（咽頭炎、喉頭炎）、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核。

２）．　慢性副鼻腔炎の排膿。

【用】カルボシステインとして、通常成人１回５００ｍｇを１日３回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

クリアナール錠２００ｍｇ Cleanal 採用

<先発品（後発品なし）>

商品名:クリアナール錠２００ｍｇ

規格:２００ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:田辺ファーマ 剤型:錠 YJ:2233004F1025 院内コード:200100

成分:フドステイン,

【効】次の慢性呼吸器疾患における去痰：気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、肺気腫、非定型抗酸菌症、びまん性汎細気管支炎。

【用】通常、成人にはフドステインとして１回４００ｍｇを１日３回食後経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ムコダインシロップ５％ Mucodyne 採用

<先発品（後発品あり）>

商品名:ムコダインシロップ５％

規格:５％１ｍＬ 薬価:7.10 製造:杏林製薬 剤型:シロップ YJ:2233002Q1035 院内コード:200411

成分:Ｌ－カルボシステイン,

【効】１）．　次記疾患の去痰：上気道炎（咽頭炎、喉頭炎）、急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核。

２）．　慢性副鼻腔炎の排膿。

３）．　滲出性中耳炎の排液。

【用】通常、幼・小児に、体重ｋｇ当り、カルボシステインとして１日３０ｍｇを３回に分割して経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

幼・小児の用量は次のとおりである。

幼・小児：１回投与量体重ｋｇ当たり０．２ｍＬ（Ｌ－カルボシステインとして１０ｍｇ）、１日３回経口投与。

【保管】室温保存。

2234: ブロムヘキシン製剤

ブロムヘキシン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」(ﾋﾞｿﾙﾎﾞﾝ) Bromhexine hydrochloride 採用

<後発品（加算対象）>

商品名:ブロムヘキシン塩酸塩錠４ｍｇ「サワイ」

規格:４ｍｇ１錠 薬価:5.50 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:2234001F1363 院内コード:203443

成分:ブロムヘキシン塩酸塩,

【効】次記疾患の去痰：急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、塵肺症、手術後。

【用】通常成人１回１錠（ブロムヘキシン塩酸塩として４ｍｇ）を１日３回経口投与する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ブロムヘキシン塩酸塩注射液４ｍｇ「タイヨー」【０．２％２ｍＬ１管】 Bromhexine hydrochloride 採用

<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ビソルボン注４ｍｇ

商品名:ブロムヘキシン塩酸塩注射液４ｍｇ「タイヨー」

規格:０．２％２ｍＬ１管 薬価:63.00 製造:Ｔ’ｓファーマ 剤型:注射液 YJ:2234400A1054 院内コード:300913

成分:ブロムヘキシン塩酸塩,
【効】１）．　経口投与困難な場合における次記疾患ならびに状態の去痰：肺結核、塵肺症、手術後。
２）．　気管支造影後の造影剤の排泄促進。
【用】通常成人には１回１～２管（ブロムヘキシン塩酸塩として４～８ｍｇ）を１日１～２回筋肉内又は静脈内に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ﾌﾞﾛﾑﾍｷｼﾝ吸入液0.2%「ﾀｲﾖｰ」45mL(ﾋﾞｿﾙﾎﾞﾝ)　Bromhexine hydrochloride　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:試し使用]吸入Ｂ(2.5mL/回)
商品名:ブロムヘキシン塩酸塩吸入液０．２％「タイヨー」
規格:０．２％１ｍＬ　薬価:5.30　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:吸入剤　YJ:2234700G1043　院内コード:202527
成分:ブロムヘキシン塩酸塩,
【効】次記疾患の去痰：急性気管支炎、慢性気管支炎、肺結核、塵肺症、手術後。
【用】通常、成人には１回２ｍＬ（ブロムヘキシン塩酸塩として４ｍｇ）を生理食塩液等で約２．５倍に希釈し、１日３回ネブライザーを用いて吸入させる。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2239: その他の去たん剤

小児用ムコソルバンＤＳ１．５％　Mucosolvan　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:小児用ムコソルバンＤＳ１．５％
規格:１．５％１ｇ　薬価:31.10　製造:帝人ファーマ　剤型:シロップ用　YJ:2239001R1072　院内コード:200631
成分:アンブロキソール塩酸塩,
【効】次記疾患の去痰：急性気管支炎、気管支喘息。
【用】通常、幼・小児に１日０．０６ｇ／ｋｇ（アンブロキソール塩酸塩として０．９ｍｇ／ｋｇ）を３回に分け、用時溶解して経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩徐放OD錠45mgﾆﾌﾟﾛ(ﾑｺｿﾙﾊﾞﾝ)　Ambroxol hydrochloride sustained-release OD　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ムコソルバンＬ錠４５ｍｇ
商品名:アンブロキソール塩酸塩徐放ＯＤ錠４５ｍｇ「ニプロ」
規格:４５ｍｇ１錠　薬価:16.10　製造:ニプロ　剤型:徐放錠　YJ:2239001G1047　院内コード:202542
成分:アンブロキソール塩酸塩,
【効】次記疾患の去痰：急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難。
【用】通常、成人には１回１錠（アンブロキソール塩酸塩として４５ｍｇ）を１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

ｱﾝﾌﾞﾛｷｿｰﾙ塩酸塩錠15mg「NP」(ﾑｺｿﾙﾊﾞﾝ)　Ambroxol hydrochloride　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ムコソルバン錠１５ｍｇ
商品名:アンブロキソール塩酸塩錠１５ｍｇ「ＮＰ」
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:6.10　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:2239001F1750　院内コード:202541
成分:アンブロキソール塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患の去痰：急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難。
２）．　慢性副鼻腔炎の排膿。
【用】通常、成人には、１回１錠（アンブロキソール塩酸塩として１５．０ｍｇ）を１日３回経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

224: 鎮咳去たん剤

2249: その他の鎮咳去たん剤

アスベリンシロップ０．５％　Asverin　採用
商品名:アスベリンシロップ０．５％
規格:０．５％１０ｍＬ　薬価:28.30　製造:ニプロ　剤型:シロップ　YJ:2249003Q1048　院内コード:200633
成分:チペピジンヒベンズ酸塩,
【効】次記疾患に伴う咳嗽及び喀痰喀出困難：感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル）、気管支拡張症。
【用】チペピジンクエン酸塩として、通常成人１日６０～１２０ｍｇ（チペピジンヒベンズ酸塩として、６６．５～１３２．９ｍｇ）を３回に分割経口投与する。
小児はチペピジンクエン酸塩として、１日１歳未満５～２０ｍｇ、１歳以上３歳未満１０～２５ｍｇ、３歳以上６歳未満１５～４０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アスベリン散１０％　Asverin　採用
商品名:アスベリン散１０％
規格:１０％１ｇ　薬価:22.60　製造:ニプロ　剤型:散　YJ:2249003B1037　院内コード:200632
成分:チペピジンヒベンズ酸塩,
【効】次記疾患に伴う咳嗽及び喀痰喀出困難：感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル）、気管支拡張症。

【用】チペピジンクエン酸塩として、通常成人１日６０～１２０ｍｇ（チペピジンヒベンズ酸塩として、６６．５～１３２．９ｍｇ）を３回に分割経口投与する。
小児はチペピジンクエン酸塩として、１日１歳未満５～２０ｍｇ、１歳以上３歳未満１０～２５ｍｇ、３歳以上６歳未満１５～４０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

225: 気管支拡張剤

2251: キサンチン系製剤

テオドール錠５０ｍｇ　Theodur　採用　Hi　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:テオドール錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:田辺ファーマ　剤型:徐放錠　YJ:2251001F1046　院内コード:200634
成分:テオフィリン,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　喘息性＜様＞気管支炎。
【用】通常、テオフィリンとして、成人１回２００ｍｇ（本剤４錠）を、小児１回１００～２００ｍｇ（本剤２～４錠）を、１日２回、朝及び就寝前に経口投与する。また、気管支喘息については、テオフィリンとして成人１回４００ｍｇ（本剤８錠）を、１日１回就寝前に経口投与することもできる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

テオフィリンドライシロップ２０％「タカタ」　Theophylline TAKATA　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
商品名:テオフィリンドライシロップ２０％「タカタ」
規格:２０％１ｇ　薬価:50.10　製造:高田製薬　剤型:シロップ用　YJ:2251001R1107　院内コード:203273
成分:テオフィリン,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　喘息性＜様＞気管支炎。
【用】通常、小児にテオフィリンとして、１回４～８ｍｇ／ｋｇ（本剤２０～４０ｍｇ／ｋｇ）
を、１日２回、朝及び就寝前に経口投与する。なお、開始用量は年齢、症状、合併症等を考慮のうえ決定し、臨床症状等を確認しながら適宜増減する。
本剤は通常、用時、水に懸濁して投与するが、顆粒のまま投与することもできる。
【保管】室温保存。

テオロング錠２００ｍｇ　Theolong　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]テオドール錠２００ｍｇ
商品名:テオロング錠２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１錠　薬価:10.10　製造:エーザイ　剤型:徐放錠　YJ:2251001F3049　院内コード:200635
成分:テオフィリン,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　喘息性＜様＞気管支炎。
３）．　慢性気管支炎。
４）．　肺気腫。
【用】通常テオフィリンとして成人には１回２００ｍｇを、１日２回、朝及び就寝前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
＜本剤＞通常成人には１回１錠を１日２回、朝及び就寝前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2254: サルブタモール製剤

サルブタモール錠２ｍｇ「日医工」(ﾍﾞﾈﾄﾘﾝ)　Salbutamol sulfate　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:サルブタモール錠２ｍｇ「日医工」
規格:２ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:日医工　剤型:錠　YJ:2254001F1102　院内コード:203255
成分:サルブタモール硫酸塩,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害にもとづく諸症状の緩解：気管支喘息、小児喘息、肺気腫、急性気管支炎・慢性気管支炎、肺結核、珪肺結核。
【用】通常成人１回２錠を１日３回経口投与し、症状の激しい場合には１回４錠を１日３回経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
小児の標準投与量は成人用量の１／４～１／２量であり、通常５歳以上１５歳未満は１回１～２錠を１日３回、５歳未満は１回１～１．５錠を１日３回経口投与する。
【保管】室温保存。

ベネトリンシロップ０．０４％　Venetlin　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ベネトリンシロップ０．０４％
規格:０．０４％１ｍＬ　薬価:7.10　製造:ＧＳＫ　剤型:シロップ　YJ:2254001Q1073　院内コード:200638
成分:サルブタモール硫酸塩,
【効】次記疾患にもとづく気管支痙攣の緩解：１）気管支喘息、２）気管支炎、３）喘息様気管支炎。
【用】通常、乳幼児に対し、１日０．７５ｍＬ（サルブタモールとして０．３ｍｇ）／ｋｇを３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、標準投与量は、通常、１歳未満　３～６ｍＬ（サルブタモールとして１．２～２．４ｍｇ）、１～３歳未満　６～９ｍＬ（サルブタモールとして２．４～３．６ｍｇ）、３～５歳未満　９～１５ｍＬ（サルブタモールとして３．６～６ｍｇ）を１日量とし、１

日３回に分けて経口投与する。
【保管】室温保存。

ベネトリン吸入液０．５％ Venetlin 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ベネトリン吸入液０．５％
規格:０．５％１ｍＬ 薬価:15.40 製造:ＧＳＫ 剤型:吸入剤 YJ:2254700G2034 院内コード:201258
成分:サルブタモール硫酸塩,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害にもとづく諸症状の緩解：１）気管支喘息、２）小児喘息、３）肺気腫、４）急性気管支炎・慢性気管支炎、５）肺結核。
【用】通常成人１回０．３～０．５ｍＬ（サルブタモールとして１．５～２．５ｍｇ）、小児は１回０．１～０．３ｍＬ（サルブタモールとして０．５～１．５ｍｇ）を深呼吸しながら吸入器を用いて吸入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2259: その他の気管支拡張剤

アノーロエリプタ３０吸入用 Anoro ellipta 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:アノーロエリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット 薬価:4646.80 製造:ＧＳＫ 剤型:吸入剤 YJ:2259806G2028 院内コード:202726
成分:ウメクリジニウム臭化物,ビランテロールトリフェニル酢酸塩,
【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解（長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】通常、成人にはアノーロエリプタ１吸入（ウメクリジニウムとして６２．５μｇ及びビランテロールとして２５μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】室温保存。

ウルティブロ吸入用カプセル Ultibro 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ウルティブロ吸入用カプセル
規格:１カプセル 薬価:133.90 製造:ノバルティス　ファーマ 剤型:吸入剤 YJ:2259805G1027 院内コード:202585
成分:インダカテロールマレイン酸塩,グリコピロニウム臭化物,
【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解（長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】通常、成人には１回１カプセル（グリコピロニウムとして５０μｇ及びインダカテロールとして１１０μｇ）を１日１回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。
【保管】室温保存。

エンクラッセ６２．５μｇエリプタ３０吸入用 Encruse ellip 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:エンクラッセ６２．５μｇエリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット 薬価:3402.60 製造:ＧＳＫ 剤型:吸入剤 YJ:2259714G2024 院内コード:202727
成分:ウメクリジニウム臭化物,
【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解。
【用】通常、成人にはエンクラッセ６２．５μｇエリプタ１吸入（ウメクリジニウムとして６２．５μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】室温保存。

オンブレス吸入用カプセル１５０μｇ Onbrez 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:オンブレス吸入用カプセル１５０μｇ
規格:１５０μｇ１カプセル 薬価:115.60 製造:ノバルティス　ファーマ 剤型:吸入剤 YJ:2259710G1020 院内コード:202494
成分:インダカテロールマレイン酸塩,
【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解。
【用】通常、成人には１回１カプセル（インダカテロールとして１５０μｇ）を１日１回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。
【保管】室温保存。

キュバール１００エアゾール Qvar 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:キュバール１００エアゾール
規格:１５ｍｇ８．７ｇ１瓶 薬価:1485.40 製造:住友ファーマ 剤型:吸入剤 YJ:2259703Y1025 院内コード:200457
成分:ベクロメタゾンプロピオン酸エステル,
【効】気管支喘息。
【用】成人には、通常１回１００μｇを１日２回口腔内に噴霧吸入する。
小児には、通常１回５０μｇを１日２回口腔内に噴霧吸入する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日の最大投与量は成人では８００μｇ、小児では２００μｇを限度とする。
【保管】室温保存。

スピオルトレスピマット６０吸入 Spiolto respimat 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:スピオルトレスピマット６０吸入
規格:６０吸入１キット 薬価:4984.30 製造:日本ベーリンガーインゲルハイム 剤型:吸入剤 YJ:2259807G2022 院内コード:202812
成分:オロダテロール塩酸塩,チオトロピウム臭化物水和物,
【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解（長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】通常、成人には１回２吸入（チオトロピウムとして５μｇ及びオロダテロールとして５μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】冷凍しないこと。

スピリーバ2.5μｇレスピマット60吸入　Spiriva respimat　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:スピリーバ２．５μｇレスピマット６０吸入
規格:１５０μｇ１キット　薬価:2997.00　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:吸入剤　YJ:2259709G2023　院内コード:202443
成分:チオトロピウム臭化物水和物,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解：慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）、気管支喘息。
【用】〈慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解〉通常、成人にはスピリーバ２．５μｇレスピマット１回２吸入（チオトロピウムとして５μｇ）を１日１回吸入投与する。
〈気管支喘息の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解〉通常、成人にはスピリーバ１．２５μｇレスピマット１回２吸入（チオトロピウムとして２．５μｇ）を１日１回吸入投与する。
なお、症状・重症度に応じて、スピリーバ２．５μｇレスピマット１回２吸入（チオトロピウムとして５μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】冷凍しないこと。

スピロペント錠１０μｇ　Spiropent　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:スピロペント錠１０μｇ
規格:１０μｇ１錠　薬価:6.30　製造:帝人ファーマ　剤型:錠　YJ:2259006F1080　院内コード:200640
成分:クレンブテロール塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解：気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、急性気管支炎。
２）．　次記疾患に伴う尿失禁：腹圧性尿失禁。
【用】〈気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、急性気管支炎〉通常、成人には１回クレンブテロール塩酸塩として２０μｇを１日２回、朝及び就寝前に経口投与する。
頓用として、通常、成人には１回クレンブテロール塩酸塩として２０μｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
５歳以上の小児には、１回クレンブテロール塩酸塩として０．３μｇ／ｋｇを１日２回、朝及び就寝前に経口投与する。
頓用として、５歳以上の小児には通常、１回クレンブテロール塩酸塩として０．３μｇ／ｋｇを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
本剤の頓用を反復しなければならない場合には、早急に医師の指示を受けさせること。
〈腹圧性尿失禁〉通常、成人には１回クレンブテロール塩酸塩として２０μｇを１日２回、朝及び夕に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、６０μｇ／日を上限とする。
【保管】室温保存。

ツロブテロールテープ０．５ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ)　Tulobuterol　採用　<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]ホクナリンテープ０．５ｍｇ
商品名:ツロブテロールテープ０．５ｍｇ「サワイ」
規格:０．５ｍｇ１枚　薬価:22.90　製造:沢井製薬　剤型:貼付剤　YJ:2259707S1071　院内コード:203621
成分:ツロブテロール,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解：気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫。
【用】通常、成人にはツロブテロールとして２ｍｇ、小児にはツロブテロールとして０．５～３歳未満には０．５ｍｇ、３～９歳未満には１ｍｇ、９歳以上には２ｍｇを１日１回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付する。
【保管】室温保存。

ツロブテロールテープ１ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ)　Tulobuterol　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ホクナリンテープ１ｍｇ
商品名:ツロブテロールテープ１ｍｇ「サワイ」
規格:１ｍｇ１枚　薬価:22.80　製造:沢井製薬　剤型:貼付剤　YJ:2259707S2078　院内コード:203622
成分:ツロブテロール,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解：気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫。
【用】通常、成人にはツロブテロールとして２ｍｇ、小児にはツロブテロールとして０．５～３歳未満には０．５ｍｇ、３～９歳未満には１ｍｇ、９歳以上には２ｍｇを１日１回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付する。
【保管】室温保存。

ツロブテロールテープ２ｍｇ「サワイ」(ﾎｸﾅﾘﾝ)　Tulobuterol　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ホクナリンテープ２ｍｇ
商品名:ツロブテロールテープ２ｍｇ「サワイ」
規格:２ｍｇ１枚　薬価:31.90　製造:沢井製薬　剤型:貼付剤　YJ:2259707S3074　院内コード:203623
成分:ツロブテロール,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解：気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫。
【用】通常、成人にはツロブテロールとして２ｍｇ、小児にはツロブテロールとして０．５～３歳未満には０．５ｍｇ、３～９歳未満には１ｍｇ、９歳以上には２ｍｇを１日１回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付する。
【保管】室温保存。

メプチンエアー１０μｇ吸入１００回　Meptin air　採用
商品名:メプチンエアー１０μｇ吸入１００回
規格:０．０１４３％５ｍＬ１キット　薬価:1128.60　製造:大塚製薬　剤型:吸入剤　YJ:2259704G9033　院内コード:202180
成分:プロカテロール塩酸塩水和物,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解：気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫。
【用】プロカテロール塩酸塩水和物として、通常成人１回２０μｇ（２吸入）、小児１回１０μｇ（１吸入）を吸入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

メプチンドライシロップ0.005% Meptin 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:メプチンドライシロップ０．００５％
規格:０．００５％１ｇ 薬価:26.40 製造:大塚製薬 剤型:シロップ用 YJ:2259004R2024 院内コード:202354
成分:プロカテロール塩酸塩水和物,
【効】次記疾患の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解：気管支喘息、慢性気管支炎、肺気腫、急性気管支炎、喘息様気管支炎。
【用】通常、成人にはプロカテロール塩酸塩水和物として１回５０μｇ（ドライシロップとして１ｇ）を１日１回就寝前ないしは１日２回、朝及び就寝前に用時溶解して経口投与する。
６歳以上の小児にはプロカテロール塩酸塩水和物として１回２５μｇ（ドライシロップとして０．５ｇ）を１日１回就寝前ないしは１日２回、朝及び就寝前に用時溶解して経口投与する。
６歳未満の乳幼児にはプロカテロール塩酸塩水和物として１回１．２５μｇ／ｋｇ（ドライシロップとして０．０２５ｇ／ｋｇ）を１日２回、朝及び就寝前ないしは１日３回、朝、昼及び就寝前に用時溶解して経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

226: 含嗽剤

2260: 含嗽剤

ＡＺ含嗽用配合顆粒「ニプロ」 AZ 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]含嗽用ハチアズレ顆粒
商品名:ＡＺ含嗽用配合顆粒「ニプロ」
規格:０．１％１ｇ 薬価:6.90 製造:ニプロ 剤型:含嗽剤 YJ:2260702F1071 院内コード:203474
成分:アズレンスルホン酸ナトリウム水和物,炭酸水素ナトリウム,
【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、急性歯肉炎、舌炎、口腔創傷。
【用】通常１回１包（２ｇ）を、適量（約１００ｍＬ）の水又は微温湯に溶解し、１日数回含嗽する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ポビドンヨードガーグル液７％「ケンエー」(ｲﾜｼﾞﾝ) Povidone-iodine KENEI 採用
商品名:ポビドンヨードガーグル液７％「ケンエー」
規格:７％１ｍＬ 薬価:3.20 製造:健栄製薬 剤型:含嗽剤 YJ:2260701F1417 院内コード:203441
成分:ポビドンヨード,
【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、抜歯創を含む口腔創傷の感染予防、口腔内の消毒。
【用】用時１５～３０倍（２～４ｍＬを約６０ｍＬの水）に希釈し、１日数回含嗽する。
【保管】室温保存。

229: その他の呼吸器官用薬

2290: その他の呼吸器官用薬

アドエア１００ディスカス６０吸入用 Adoair 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:アドエア１００ディスカス６０吸入用
規格:６０ブリスター１キット 薬価:3006.50 製造:ＧＳＫ 剤型:吸入剤 YJ:2290800G4031 院内コード:200944
成分:サルメテロールキシナホ酸塩,フルチカゾンプロピオン酸エステル,
【効】気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】成人通常、成人には１回サルメテロールとして５０μｇ及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして１００μｇを１日２回吸入投与する。
・　アドエア１００ディスカス１回１吸入。
・　アドエア５０エアゾール１回２吸入。
なお、症状に応じて次のいずれかの用法・用量に従い投与する。
１回サルメテロールとして５０μｇ及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして２５０μｇを１日２回吸入投与。
・　アドエア２５０ディスカス１回１吸入。
・　アドエア１２５エアゾール１回２吸入。
１回サルメテロールとして５０μｇ及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして５００μｇを１日２回吸入投与。
・　アドエア５００ディスカス１回１吸入。
・　アドエア２５０エアゾール１回２吸入。
小児小児には、症状に応じて次のいずれかの用法・用量に従い投与する。
１回サルメテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして５０μｇを１日２回吸入投与。
・　アドエア５０エアゾール１回１吸入。
１回サルメテロールとして５０μｇ及びフルチカゾンプロピオン酸エステルとして１００μｇを１日２回吸入投与。
・　アドエア１００ディスカス１回１吸入。
・　アドエア５０エアゾール１回２吸入。
【保管】室温保存。

アニュイティ１００μｇエリプタ３０吸入用 Arnuity ellipta 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:アニュイティ１００μｇエリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット 薬価:1090.50 製造:ＧＳＫ 剤型:吸入剤 YJ:2290705G1029 院内コード:202862
成分:フルチカゾンフランカルボン酸エステル,
【効】気管支喘息。
【用】通常、成人にはアニュイティ１００μｇエリプタ１吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ）を１日１回吸入投与する。

なお、症状に応じてアニュイティ２００μｇエリプタ１吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２００μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】室温保存。

アニュイティ２００μｇエリプタ３０吸入用　Arnuity ellipta　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:アニュイティ２００μｇエリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット　薬価:1411.50　製造:ＧＳＫ　剤型:吸入剤　YJ:2290705G2025　院内コード:202861
成分:フルチカゾンフランカルボン酸エステル,
【効】気管支喘息。
【用】通常、成人にはアニュイティ１００μｇエリプタ１吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ）を１日１回吸入投与する。
なお、症状に応じてアニュイティ２００μｇエリプタ１吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２００μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】室温保存。

エナジア吸入用カプセル高用量　Enerzair　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:エナジア吸入用カプセル高用量
規格:１カプセル　薬価:331.50　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:吸入剤　YJ:2290807G2022　院内コード:203334
成分:インダカテロール酢酸塩,グリコピロニウム臭化物,モメタゾンフランカルボン酸エステル,
【効】気管支喘息（吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入β２刺激剤及び長時間作用性吸入抗コリン剤の併用が必要な場合）。
【用】通常、成人にはエナジア吸入用カプセル中用量１回１カプセル（インダカテロールとして１５０μｇ、グリコピロニウムとして５０μｇ及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして８０μｇ）を１日１回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。
なお、症状に応じてエナジア吸入用カプセル高用量１回１カプセル（インダカテロールとして１５０μｇ、グリコピロニウムとして５０μｇ及びモメタゾンフランカルボン酸エステルとして１６０μｇ）を１日１回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。
【保管】室温保存。

オルベスコ200μｇインヘラー56吸入用　Alvesco　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:オルベスコ２００μｇインヘラー５６吸入用
規格:１１．２mg３．３ｇ１キット　薬価:1070.60　製造:帝人ファーマ　剤型:吸入剤　YJ:2290702G3028　院内コード:200942
成分:シクレソニド,
【効】気管支喘息。
【用】成人通常、成人にはシクレソニドとして１００～４００μｇを１日１回吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日の最大投与量は８００μｇとする。
また、１日に８００μｇを投与する場合は、朝、夜の１日２回に分けて投与する。
小児通常、小児にはシクレソニドとして１００～２００μｇを１日１回吸入投与する。なお、良好に症状がコントロールされている場合は５０μｇ１日１回まで減量できる。
【保管】室温保存。

シムビコートﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ60吸入　Symbicort　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:シムビコートタービュヘイラー６０吸入
規格:６０吸入１キット　薬価:2042.30　製造:アストラゼネカ　剤型:吸入剤　YJ:2290801G2025　院内コード:202215
成分:ブデソニド,ホルモテロールフマル酸塩水和物,
【効】１）．　気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
２）．　慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の諸症状の緩解（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】〈気管支喘息〉通常、成人には、維持療法として１回１吸入（ブデソニドとして１６０μｇ、ホルモテロールフマル酸塩水和物として４．５μｇ）を１日２回吸入投与する。なお、症状に応じて増減するが、維持療法としての１日の最高量は１回４吸入１日２回（合計８吸入：ブデソニドとして１２８０μｇ、ホルモテロールフマル酸塩水和物として３６μｇ）までとする。
維持療法として１回１吸入あるいは２吸入を１日２回投与している患者は、発作発現時に本剤の頓用吸入を追加で行うことができる。本剤を維持療法に加えて頓用吸入する場合は、発作発現時に１吸入する。数分経過しても発作が持続する場合には、さらに追加で１吸入する。必要に応じてこれを繰り返すが、１回の発作発現につき、最大６吸入までとする。
維持療法と頓用吸入を合計した本剤の１日の最高量は、通常８吸入までとするが、一時的に１日合計１２吸入（ブデソニドとして１９２０μｇ、ホルモテロールフマル酸塩水和物として５４μｇ）まで増量可能である。
（参考）
１）．　維持療法として用いる場合の用法・用量：通常１回１吸入１日２回、症状に応じ１回４吸入１日２回まで。
２）．　維持療法に加えて頓用吸入としても使用する場合（維持療法として１回１吸入あるいは２吸入を１日２回投与している患者で可能）：
①．　発作発現時の頓用吸入としての用法・用量：１吸入行い、数分経過しても発作が持続する場合、さらに１吸入する。必要に応じてこれを繰り返す。
②．　１回の発作発現における吸入可能回数：６吸入まで。
③．　１日最高量：通常合計８吸入まで、一時的に合計１２吸入まで＊。
＊）維持療法及び頓用吸入としての使用の合計。
〈慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の諸症状の緩解〉通常、成人には、１回２吸入（ブデソニドとして３２０μｇ、ホルモテロールフマル酸塩水和物として９μｇ）を１日２回吸入投与する。
【保管】室温保存。

テリルジー２００エリプタ３０吸入用　Trelegy ellip　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:テリルジー２００エリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット　薬価:9673.80　製造:ＧＳＫ　剤型:吸入剤　YJ:2290804G4021　院内コード:203338
成分:ウメクリジニウム臭化物,ビランテロールトリフェニル酢酸塩,フルチカゾンフランカルボン酸エステル,
【効】気管支喘息（吸入ステロイド剤、長時間作用性吸入抗コリン剤及び長時間作用性吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。

【用】通常、成人にはテリルジー１００エリプタ１吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ、ウメクリジニウムとして６２．５μｇ及びビランテロールとして２５μｇ）を１日１回吸入投与する。なお、症状に応じてテリルジー２００エリプタ１吸入（フルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２００μｇ、ウメクリジニウムとして６２．５μｇ及びビランテロールとして２５μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】室温保存。

パルミコート200μgﾀｰﾋﾞｭﾍｲﾗｰ112吸入　Pulmicort　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:パルミコート２００μｇタービュヘイラー１１２吸入
規格:２２．４ｍｇ１瓶（２００μｇ）　薬価:952.20　製造:アストラゼネカ　剤型:吸入剤　YJ:2290701G3031　院内コード:200546
成分:ブデソニド,
【効】気管支喘息。
【用】成人通常、成人には、ブデソニドとして１回１００～４００μｇを１日２回吸入投与する。
なお、症状に応じて増減するが、１日の最高量は１６００μｇまでとする。
小児通常、小児には、ブデソニドとして１回１００～２００μｇを１日２回吸入投与する。
なお、症状に応じて増減するが、１日の最高量は８００μｇまでとする。
また、良好に症状がコントロールされている場合は１００μｇ１日１回まで減量できる。
【保管】室温保存。

パルミコート吸入液０．２５ｍｇ　Pulmicort　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:パルミコート吸入液０．２５ｍｇ
規格:０．２５ｍｇ２ｍＬ１管　薬価:84.00　製造:アストラゼネカ　剤型:吸入剤　YJ:2290701G4020　院内コード:200940
成分:ブデソニド,
【効】気管支喘息。
【用】通常、成人にはブデソニドとして０．５ｍｇを１日２回または１ｍｇを１日１回、ネブライザーを用いて吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日の最高量は２ｍｇまでとする。
通常、小児にはブデソニドとして０．２５ｍｇを１日２回または０．５ｍｇを１日１回、ネブライザーを用いて吸入投与する。なお、症状により適宜増減するが、１日の最高量は１ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ファセンラ皮下注３０ｍｇシリンジ　Fasenra　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ファセンラ皮下注３０ｍｇシリンジ
規格:３０ｍｇ１ｍＬ１筒　薬価:335309.00　製造:アストラゼネカ　剤型:キット類YJ:2290402G1020　院内コード:300979
成分:ベンラリズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る）。
２）．　既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症。
３）．　好酸球増多症候群。
【用】〈気管支喘息〉通常、成人、１２歳以上の小児及び体重３５ｋｇ以上の６歳以上１２歳未満の小児にはベンラリズマブ（遺伝子組換え）として１回３０ｍｇを、初回、４週後、８週後に皮下に注射し、以降、８週間隔で皮下に注射する。
〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症〉通常、成人にはベンラリズマブ（遺伝子組換え）として１回３０ｍｇを４週間隔で皮下に注射する。
〈好酸球増多症候群〉通常、成人及び１２歳以上の小児にはベンラリズマブ（遺伝子組換え）として１回３０ｍｇを４週間隔で皮下に注射する。
【保管】２～８℃に保存。

レルベア１００エリプタ３０吸入用　Relvar ellipt　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:レルベア１００エリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット　薬価:4692.90　製造:ＧＳＫ　剤型:吸入剤　YJ:2290803G3020　院内コード:202586
成分:ビランテロールトリフェニル酢酸塩,フルチカゾンフランカルボン酸エステル,
【効】１）．　気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
２）．　慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の諸症状の緩解（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】〈気管支喘息〉成人通常、成人にはレルベア１００エリプタ１吸入（ビランテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ）を１日１回吸入投与する。
なお、症状に応じてレルベア２００エリプタ１吸入（ビランテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２００μｇ）を１日１回吸入投与する。
小児通常、１２歳以上の小児にはレルベア１００エリプタ１吸入（ビランテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ）を１日１回吸入投与する。
〈慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎・肺気腫）の諸症状の緩解〉通常、成人にはレルベア１００エリプタ１吸入（ビランテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ）を１日１回吸入投与する。
【保管】室温保存。

レルベア２００エリプタ３０吸入用　Relvar ellipt　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:レルベア２００エリプタ３０吸入用
規格:３０吸入１キット　薬価:5072.60　製造:ＧＳＫ　剤型:吸入剤　YJ:2290803G4027　院内コード:202587
成分:ビランテロールトリフェニル酢酸塩,フルチカゾンフランカルボン酸エステル,
【効】気管支喘息（吸入ステロイド剤及び長時間作動型吸入β２刺激剤の併用が必要な場合）。
【用】通常、成人にはレルベア１００エリプタ１吸入（ビランテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして１００μｇ）を１日１回吸入投与する。
なお、症状に応じてレルベア２００エリプタ１吸入（ビランテロールとして２５μｇ及びフルチカゾンフランカルボン酸エステルとして２００μｇ）を１日１回吸入投与する。

【保管】室温保存。

23: 消化器官用薬

231: 止しゃ剤，整腸剤

2312: タンニン酸系製剤；タンニン酸アルブミ

タンニン酸アルブミン「ニッコー」 Albumin tannate NIKKO **採用**

商品名:タンニン酸アルブミン「ニッコー」

規格:１ｇ 薬価:9.50 製造:日興製薬 剤型:末 YJ:2312001X1219 院内コード:203915

成分:タンニン酸アルブミン，

【効】下痢症。

【用】タンニン酸アルブミンとして、通常成人１日３～４ｇを３～４回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

タンニン酸アルブミン「VTRS」(ﾀﾝﾅﾙﾋﾞﾝ) Albumin tannate **採用**

商品名:タンニン酸アルブミン「ＶＴＲＳ」原末

規格:１ｇ 薬価:8.00 製造:ヴィアトリス・ヘルスケア 剤型:末 YJ:2312001X1260 院内コード:203494

成分:タンニン酸アルブミン，

【効】下痢症。

【用】タンニン酸アルブミンとして、通常成人１日３～４ｇを３～４回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

2316: 活性生菌製剤

ビオフェルミンＲ散 Biofermin-R **採用** <後発品（加算対象）>

商品名:ビオフェルミンＲ散

規格:１ｇ 薬価:6.90 製造:ビオフェルミン製薬 剤型:散 YJ:2316004B1036 院内コード:201123

成分:耐性乳酸菌，

【効】次記抗生物質投与時、化学療法剤投与時の腸内菌叢の異常による諸症状の改善：ペニシリン系、セファロスポリン系、アミノグリコシド系、マクロライド系、テトラサイクリン系、ナリジクス酸。

【用】通常成人１日３ｇを３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ビオフェルミンＲ錠 Biofermin-R **採用** <後発品（加算対象）>

商品名:ビオフェルミンＲ錠

規格:１錠 薬価:6.30 製造:ビオフェルミン製薬 剤型:錠 YJ:2316004F1020 院内コード:203689

成分:耐性乳酸菌，

【効】次記抗生物質投与時、化学療法剤投与時の腸内菌叢の異常による諸症状の改善：ペニシリン系、セファロスポリン系、アミノグリコシド系、マクロライド系、テトラサイクリン系、ナリジクス酸。

【用】通常成人１日３錠を３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ビオフェルミン散剤 Biofermin bifidus **採用** <後発品（加算対象）> [先発品:臨時使用]ラックビー微粒Ｎ

商品名:ビオフェルミン散剤

規格:１ｇ 薬価:6.90 製造:ビオフェルミン製薬 剤型:散 YJ:2316020B1027 院内コード:203589

成分:ビフィズス菌，

【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善。

【用】通常、成人１日３～６ｇを３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ビオフェルミン錠剤 Biofermin **採用** <後発品（加算対象）> [先発品:臨時使用]ラックビー錠

商品名:ビオフェルミン錠剤

規格:１錠 薬価:6.10 製造:ビオフェルミン製薬 剤型:錠 YJ:2316020F1029 院内コード:203590

成分:ビフィズス菌，

【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善。

【用】通常、成人１日３～６錠を３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ミヤＢＭ錠 Miya-BM **採用**

商品名:ミヤＢＭ錠

規格:１錠 薬価:6.10 製造:ミヤリサン製薬 剤型:錠 YJ:2316009F1022 院内コード:202851

成分:酪酸菌，

【効】腸内菌叢の異常による諸症状の改善。

【用】通常、成人１日３～６錠を３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

2318: ジメチコン製剤

ジメチコン錠４０ｍｇ「ＹＤ」（ｶﾞｽｺﾝ） Dimethicone 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ガスコン錠４０ｍｇ

商品名:ジメチコン錠４０ｍｇ「ＹＤ」
規格:４０ｍｇ１錠 薬価:6.10 製造:陽進堂ホールディングス 剤型:錠 YJ:2318001F1225 院内コード:203086
成分:ジメチコン,
【効】１）．　胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去。
２）．　胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善。
３）．　腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除。
【用】〈胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善に使用する場合〉ジメチルポリシロキサンとして、通常成人１日１２０～２４０ｍｇを食後又は食間の３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去に使用する場合〉検査１５～４０分前にジメチルポリシロキサンとして、通常成人４０～８０ｍｇを約１０ｍＬの水とともに経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除に使用する場合〉検査３～４日前よりジメチルポリシロキサンとして、通常成人１日１２０～２４０ｍｇを食後又は食間の３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ジメチコン内用液２％「ホリイ」 Dimethicone 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ガスコンドロップ内用液２％

商品名:ジメチコン内用液２％「ホリイ」
規格:２％１ｍＬ 薬価:3.00 製造:堀井薬品 剤型:シロップYJ:2318001Q1145 院内コード:203691
成分:ジメチコン,
【効】１）．　胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善。
２）．　胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去。
３）．　腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除。
【用】〈胃腸管内のガスに起因する腹部症状の改善に使用する場合〉ジメチルポリシロキサンとして、通常成人１日１２０～２４０ｍｇを食後又は食間の３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈胃内視鏡検査時における胃内有泡性粘液の除去に使用する場合〉検査１５～４０分前にジメチルポリシロキサンとして、通常成人４０～８０ｍｇを約１０ｍＬの水とともに経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈腹部Ｘ線検査時における腸内ガスの駆除に使用する場合〉検査３～４日前よりジメチルポリシロキサンとして、通常成人１日１２０～２４０ｍｇを食後又は食間の３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2319: その他の止しゃ剤，整腸剤

フェロベリン配合錠 Phelloberin 採用 <準先発品>

商品名:フェロベリン配合錠
規格:１錠 薬価:8.90 製造:日本ジェネリック 剤型:錠 YJ:2319100F1064 院内コード:200644
成分:ゲンノショウコエキス,ベルベリン塩化物水和物,
【効】下痢症。
【用】通常成人１回２錠を１日３回経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ロペミンカプセル１ｍｇ Lopemin 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:ロペミンカプセル１ｍｇ
規格:１ｍｇ１カプセル 薬価:8.00 製造:帝國製薬 剤型:カプセルYJ:2319001M1213 院内コード:200311
成分:ロペラミド塩酸塩,
【効】下痢症。
【用】ロペラミド塩酸塩として、通常、成人に１日１～２ｍｇを、１～２回に分割経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

薬用炭「日医工」 Medicinal carbon 採用

商品名:薬用炭「日医工」
規格:１ｇ 薬価:8.50 製造:日医工 剤型:末 YJ:2319003X1049 院内コード:200577
成分:薬用炭,
【効】下痢症、消化管内の異常発酵による生成ガスの吸着、自家中毒・薬物中毒における吸着及び解毒。
【用】薬用炭として、通常成人１日２～２０ｇを数回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

232: 消化性潰瘍用剤

2325: Ｈ２遮断剤

タガメット錠２００ｍｇ Tagamet 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:タガメット錠２００mg
規格:２００mg１錠　薬価:7.60　製造:住友ファーマ　剤型:錠　YJ:2325001F1211　院内コード:200646
成分:シメチジン,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）。
２）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）
の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍〉通常、成人にはシメチジンとして１日８００mgを２回（朝食後及び就寝前）に分割して経口投与する。また、１日量を４回（毎食後及び就寝前）に分割もしくは１回（就寝前）
投与することもできる。なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、逆流性食道炎、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）〉通常、成人にはシメチジンとして１日８００mgを２回（朝食後及び就寝前）に分割して経口投与する。また、１日量を４回（毎食後及び就寝前）に分割して投与することもできる。なお、年齢・症状により適宜増減する。
ただし、上部消化管出血の場合には、通常注射剤で治療を開始し、内服可能となった後は経口投与に切りかえる。
〈次記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期〉通常、成人にはシメチジンとして１日４００mgを２回（朝食後及び就寝前）に分割して経口投与する。また、１日量を１回（就寝前）投与することもできる。なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ファモチジンＤ錠１０mg「ｻﾜｲ」(ｶﾞｽﾀｰ)　Famotidine D　採用
<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]ガスター錠１０mg

商品名:ファモチジンＤ錠１０mg「サワイ」
規格:１０mg１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2325003F3124　院内コード:202532
成分:ファモチジン,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群。
２）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）
の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群〉通常、成人にはファモチジンとして１回２０mgを１日２回（朝食後、夕食後または就寝前）経口投与する。また、１回４０mgを１日１回（就寝前）経口投与することもできる。
なお、年齢・症状により適宜増減する。ただし、上部消化管出血の場合には通常注射剤で治療を開始し、内服可能になった後は経口投与に切りかえる。
〈次記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期〉通常、成人にはファモチジンとして１回１０mgを１日２回（朝食後、夕食後または就寝前）経口投与する。また、１回２０mgを１日１回（就寝前）経口投与することもできる。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ファモチジンＤ錠２０mg「ｻﾜｲ」(ｶﾞｽﾀｰ)　Famotidine D　採用
<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]ガスター錠２０mg

商品名:ファモチジンＤ錠２０mg「サワイ」
規格:２０mg１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2325003F4147　院内コード:202531
成分:ファモチジン,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群。
２）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）
の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群〉通常、成人にはファモチジンとして１回２０mgを１日２回（朝食後、夕食後または就寝前）経口投与する。また、１回４０mgを１日１回（就寝前）経口投与することもできる。
なお、年齢・症状により適宜増減する。ただし、上部消化管出血の場合には通常注射剤で治療を開始し、内服可能になった後は経口投与に切りかえる。
〈次記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期〉通常、成人にはファモチジンとして１回１０mgを１日２回（朝食後、夕食後または就寝前）経口投与する。また、１回２０mgを１日１回（就寝前）経口投与することもできる。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ファモチジン静注液２０mg/２０mL「サワイ」(ｶﾞｽﾀｰ)　Famotidine SAWAI　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ガスター注射液２０mg

商品名:ファモチジン静注液２０mg「サワイ」
規格:２０mg２０mL１管　薬価:104.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:2325401A3058　院内コード:301102
成分:ファモチジン,
【効】１）．　上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）。
２）．　Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群。
３）．　侵襲ストレス（手術後に集中管理を必要とする大手術、集中治療を必要とする脳血管障害・頭部外傷・多臓器不全・広範囲熱傷）による上部消化管出血の抑制。
４）．　麻酔前投薬。
【用】〈上部消化管出血（消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による）、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、侵襲ストレス（手術後に集中管理を必要とする大手術、集中治療を必要とする脳血管障害・頭部外傷・多臓器不全・広範囲熱傷）による上部消化管出血の抑制〉通常、成人にはファモチジンとして１回２０mgを１日２回（１２時間毎）緩徐に静脈内投与する。又は輸液に混合して点滴静注する。なお、年齢・症状によ

り適宜増減する。上部消化管出血及びＺｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群では、一般的に１週間以内に効果の発現をみるが、内服可能となった後は経口投与に切りかえる。侵襲ストレス（手術後に集中管理を必要とする大手術、集中治療を必要とする脳血管障害・頭部外傷・多臓器不全・広範囲熱傷）による上部消化管出血の抑制では、術後集中管理又は集中治療を必要とする期間（手術侵襲ストレスは３日間程度、その他の侵襲ストレスは７日間程度）の投与とする。
〈麻酔前投薬〉通常、成人にはファモチジンとして１回２０ｍｇを麻酔導入１時間前に緩徐に静脈内投与する。
【保管】室温保存。

2329: その他の消化性潰瘍用剤

アルサルミン細粒９０％ Ulcerlmin **採用**
<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:アルサルミン細粒９０％
規格:９０％１ｇ 薬価:6.90 製造:富士化学 剤型:細粒 YJ:2329008C1097 院内コード:200046
成分:スクラルファート水和物,
【効】１）． 胃潰瘍、十二指腸潰瘍。
２）． 次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
【用】通常、成人１回１～１．２ｇずつ、１日３回経口投与する。
年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アルロイドＧ内用液５％ Alloid G **採用**
商品名:アルロイドＧ内用液５％
規格:１０ｍＬ 薬価:9.00 製造:カイゲンファーマ 剤型:液 YJ:2329116S1094 院内コード:200010
成分:アルギン酸ナトリウム,
【効】１）． 次記疾患における止血及び自覚症状の改善：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、びらん性胃炎。
２）． 逆流性食道炎における自覚症状の改善。
３）． 胃生検の出血時の止血。
【用】１）． 胃・十二指腸潰瘍及びびらん性胃炎における止血及び自覚症状の改善並びに逆流性食道炎における自覚症状の改善：アルギン酸ナトリウムとして、通常１回１～３ｇを１日３～４回、空腹時に経口投与する。
経口投与が不可能な場合には、ゾンデで経鼻的に投与する。年齢、症状により適宜増減する。
２）． 胃生検の出血時の止血：アルギン酸ナトリウムとして、通常１回０．５～１．５ｇを経内視鏡的に投与するか、１回１．５ｇを経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

エソメプラゾールカプセル１０ｍｇ「ニプロ」(ﾈｷｼｳﾑ) Esomeprazole **採用**
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ネキシウム懸濁用顆粒分包１０ｍｇ
商品名:エソメプラゾールカプセル１０ｍｇ「ニプロ」
規格:１０ｍｇ１カプセル 薬価:19.40 製造:ニプロ 剤型:カプセルYJ:2329029M1108 院内コード:203533
成分:エソメプラゾールマグネシウム水和物,
【効】１）． 胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、非びらん性胃食道逆流症、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は非ステロイド性抗炎症薬投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。
２）． 次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群［成人］通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
［小児］通常、１歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重２０ｋｇ未満では１回１０ｍｇを、体重２０ｋｇ以上では症状に応じて１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間まで、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
逆流性食道炎［成人］通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常、８週間までの投与とする。
さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。
［小児］通常、１歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、体重２０ｋｇ未満では１回１０ｍｇを、体重２０ｋｇ以上では症状に応じて１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、８週間までの投与とする。
非びらん性胃食道逆流症［成人］通常、成人にはエソメプラゾールとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、非びらん性胃食道逆流症の場合、通常、４週間までの投与とする。
［小児］通常、１歳以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、４週間までの投与とする。
非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。
低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。
ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

エソメプラゾールカプセル２０ｍｇ「ニプロ」(ﾈｷｼｳﾑ) Esomeprazole **採用**
<後発品（加算対象）>
[先発品:採用]ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ
商品名:エソメプラゾールカプセル２０ｍｇ「ニプロ」

規格:２０ｍｇ１カプセル　薬価:33.70　製造:ニプロ　剤型:カプセルYJ:2329029M2104　院内コード:203534
成分:エソメプラゾールマグネシウム水和物,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は非ステロイド性抗炎症薬投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。
２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群［成人］通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
［小児］通常、体重２０ｋｇ以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、症状に応じて１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間まで、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
逆流性食道炎［成人］通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常、８週間までの投与とする。
さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。
［小児］通常、体重２０ｋｇ以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、症状に応じて１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、８週間までの投与とする。
非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。
低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。
ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

オメプラゾール注射用２０ｍｇ「日医工」　Omeprazole　採用

商品名:オメプラゾール注射用２０ｍｇ「日医工」
規格:２０ｍｇ１瓶　薬価:339.00　製造:日医工　剤型:注射用　YJ:2329403D1068　院内コード:301227
成分:オメプラゾールナトリウム,
【効】１）．　経口投与不可能な次記の疾患：出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍及び急性胃粘膜病変。
２）．　経口投与不可能なＺｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群。
【用】通常、成人には、オメプラゾールとして１回２０ｍｇを、日局生理食塩液又は日局５％ブドウ糖注射液に混合して１日２回点滴静注する、或いは日局生理食塩液又は日局５％ブドウ糖注射液２０ｍＬに溶解して１日２回緩徐に静脈注射する。
【保管】室温保存。

ガスロンＮ・ＯＤ錠４ｍｇ　Gaslon N･OD　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:ガスロンＮ・ＯＤ錠４ｍｇ
規格:４ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:日本新薬　剤型:錠　YJ:2329020F4026　院内コード:202299
成分:イルソグラジンマレイン酸塩,
【効】１）．　胃潰瘍。
２）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
【用】通常成人イルソグラジンマレイン酸塩として１日４ｍｇ（本剤：１錠）を１～２回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

スクラルファート内用液１０％「ＮＩＧ」(ｱﾙｻﾙﾐﾝ)　Sucralfate　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アルサルミン内用液１０％

商品名:スクラルファート内用液１０％「ＮＩＧ」
規格:１０％１ｍＬ　薬価:1.50　製造:日医工岐阜工場　剤型:液　YJ:2329008S1130　院内コード:203564
成分:スクラルファート水和物,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍。
２）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
【用】通常、成人１回１０ｍＬを１日３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

タケキャブ錠１０ｍｇ　Takecab　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:タケキャブ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:91.60　製造:武田薬品　剤型:錠　YJ:2329030F1020　院内コード:202621
成分:ボノプラザンフマル酸塩,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は非ステロイド性抗炎症薬投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。
２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍〉通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。

〈逆流性食道炎〉通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常４週間までの投与とし、効果不十分の場合は８週間まで投与することができる。
さらに、再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０ｍｇを１日１回経口投与するが、効果不十分の場合は、１回２０ｍｇを１日１回経口投与することができる。
〈低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはボノプラザンとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。
〈非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはボノプラザンとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。
〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

タケキャブ錠２０ｍｇ Takecab **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:タケキャブ錠２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１錠 薬価:136.70 製造:武田薬品 剤型:錠 YJ:2329030F2027 院内コード:202622
成分:ボノプラザンフマル酸塩,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は非ステロイド性抗炎症薬投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。
２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍〉通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
〈逆流性食道炎〉通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常４週間までの投与とし、効果不十分の場合は８週間まで投与することができる。
さらに、再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０ｍｇを１日１回経口投与するが、効果不十分の場合は、１回２０ｍｇを１日１回経口投与することができる。
〈低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはボノプラザンとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。
〈非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはボノプラザンとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。
〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

タケプロン静注用３０ｍｇ Takepron **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:タケプロン静注用３０ｍｇ
規格:３０ｍｇ１瓶 薬価:430.00 製造:Ｔ’ｓ製薬 剤型:静注用 YJ:2329404F1020 院内コード:300257
成分:ランソプラゾール,
【効】経口投与不可能な次記の疾患：出血を伴う胃潰瘍、十二指腸潰瘍、急性ストレス潰瘍及び急性胃粘膜病変。
【用】通常、成人には、ランソプラゾールとして１回３０ｍｇを、日局生理食塩液又は日局５％ブドウ糖注射液に混合して１日２回点滴静注する、或いは日局生理食塩液又は日局５％ブドウ糖注射液２０ｍＬに溶解して１日２回緩徐に静脈注射する。
【保管】室温保存。

テプレノンカプセル５０ｍｇ「日医工Ｐ」 Teprenone **採用** <後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]セルベックスカプセル50mg

商品名:テプレノンカプセル５０ｍｇ「日医工Ｐ」
規格:５０ｍｇ１カプセル 薬価:10.80 製造:日医工岐阜工場 剤型:カプセルYJ:2329012M1390 院内コード:203693
成分:テプレノン,
【効】１）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
２）．　胃潰瘍。
【用】通常成人、３カプセル（テプレノンとして１５０ｍｇ）を１日３回に分けて食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

テプレノン細粒１０％「トーワ」 Teprenone TOWA **採用** <後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]セルベックス細粒１０％

商品名:テプレノン細粒１０％「トーワ」
規格:１０％１ｇ 薬価:8.90 製造:東和薬品 剤型:細粒 YJ:2329012C1271 院内コード:203232
成分:テプレノン,
【効】１）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。
２）．　胃潰瘍。
【用】通常成人、細粒１．５ｇ（テプレノンとして１５０ｍｇ）を１日３回に分けて食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ドグマチール細粒１０％ Dogmatyl 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>

商品名:ドグマチール細粒１０％

規格:１０％１ｇ 薬価:8.70 製造:日医工 剤型:細粒 YJ:2329009C2055 院内コード:202260

成分:スルピリド,

【効】１）．　胃潰瘍・十二指腸潰瘍。

２）．　統合失調症。

３）．　うつ病・うつ状態。

【用】〈胃・十二指腸潰瘍〉スルピリドとして、通常成人１日１５０ｍｇを３回に分割経口投与する。

なお症状により適宜増減する。

〈統合失調症〉スルピリドとして、通常成人１日３００～６００ｍｇを分割経口投与する。なお年齢、症状により適宜増減するが、１日１２００ｍｇまで増量することができる。

〈うつ病・うつ状態〉スルピリドとして、通常成人１日１５０～３００ｍｇを分割経口投与する。なお年齢、症状により適宜増減するが、１日６００ｍｇまで増量することができる。

【保管】室温保存。

ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ Nexium 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:ネキシウム懸濁用顆粒分包２０ｍｇ

規格:２０ｍｇ１包 薬価:70.40 製造:アストラゼネカ 剤型:顆粒 YJ:2329029D2023 院内コード:203061

成分:エソメプラゾールマグネシウム水和物,

【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は非ステロイド性抗炎症薬投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。

２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。

【用】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群成人通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。

小児通常、体重２０ｋｇ以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、症状に応じて１回１０～２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間まで、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。

逆流性食道炎成人通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常、８週間までの投与とする。

さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０～２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。

小児通常、体重２０ｋｇ以上の幼児及び小児にはエソメプラゾールとして、症状に応じて１回１０～２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。なお、通常、８週間までの投与とする。

さらに再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。なお、体重２０ｋｇ以上では症状に応じて１回２０ｍｇまで増量できる。

非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。

低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを用時水で懸濁して１日１回経口投与する。

ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを用時水で懸濁して、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。

プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはエソメプラゾールとして１回２０ｍｇを用時水で懸濁して、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。

【保管】室温保存。

ポラプレジンクＯＤ錠75mg「ｻﾜｲ」(ﾌﾟﾛﾏｯｸ) Polaprezinc OD 採用 <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]プロマックＤ錠７５

商品名:ポラプレジンクＯＤ錠７５ｍｇ「サワイ」

規格:７５ｍｇ１錠 薬価:14.30 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:2329027F1037 院内コード:202538

成分:ポラプレジンク,

【効】胃潰瘍。

【用】通常、成人にはポラプレジンクとして１回７５ｍｇを１日２回朝食後及び就寝前に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ラベプラゾールＮａ塩錠１０ｍｇ「明治」(ﾊﾟﾘｴｯﾄ) Rabeprazole Na MEIJI 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:臨時使用]パリエット錠１０ｍｇ

商品名:ラベプラゾールＮａ塩錠１０ｍｇ「明治」

規格:１０ｍｇ１錠 薬価:21.30 製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ 剤型:錠 YJ:2329028F1155 院内コード:203537

成分:ラベプラゾールナトリウム,

【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、非びらん性胃食道逆流症、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。

２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。

【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群〉通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与するが、病状により１回２０ｍｇを１日１回経口投与することができる。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
〈逆流性食道炎〉・　治療逆流性食道炎の治療においては、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与するが、病状により１回２０ｍｇを１日１回経口投与することができ、なお、通常、８週間までの投与とする。また、プロトンポンプインヒビターによる治療で効果不十分な場合、１回１０ｍｇ又は１回２０ｍｇを１日２回、さらに８週間経口投与することができる。ただし、１回２０ｍｇ１日２回投与は重度の粘膜傷害を有する場合に限る。
・　維持療法再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。また、プロトンポンプインヒビターによる治療で効果不十分な逆流性食道炎の維持療法においては、１回１０ｍｇを１日２回経口投与することができる。
〈非びらん性胃食道逆流症〉通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、非びらん性胃食道逆流症の場合、通常、４週間までの投与とする。
〈低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回５ｍｇを１日１回経口投与するが、効果不十分の場合は１回１０ｍｇを１日１回経口投与することができる。
〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

ラベプラゾールＮａ塩錠２０ｍｇ「明治」(ﾊﾟﾘｴｯﾄ)　Rabeprazole Na MEIJI　**採用**　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]パリエット錠２０ｍｇ

商品名:ラベプラゾールＮａ塩錠２０ｍｇ「明治」

規格:２０ｍｇ１錠　薬価:40.80　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:錠　YJ:2329028F2151　院内コード:203538

成分:ラベプラゾールナトリウム,
【効】胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群〉通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与するが、病状により１回２０ｍｇを１日１回経口投与することができる。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
〈逆流性食道炎〉逆流性食道炎の治療においては、通常、成人にはラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与するが、病状により１回２０ｍｇを１日１回経口投与することができ、なお、通常、８週間までの投与とする。また、プロトンポンプインヒビターによる治療で効果不十分な場合、１回１０ｍｇ又は１回２０ｍｇを１日２回、さらに８週間経口投与することができる。ただし、１回２０ｍｇ１日２回投与は重度の粘膜傷害を有する場合に限る。
【保管】室温保存。

ランソプラゾールＯＤ錠１５ｍｇ「武田テバ」(ﾀｹﾌﾟﾛﾝ)　Lansoprazole OD TAKEDA TEVA　**採用**　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]タケプロンＯＤ錠１５

商品名:ランソプラゾールＯＤ錠１５ｍｇ「武田テバ」

規格:１５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:腸溶錠　YJ:2329023F1144　院内コード:203307

成分:ランソプラゾール,
【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群、非びらん性胃食道逆流症、低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は低用量アスピリン投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制、非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は非ステロイド性抗炎症薬投与時における十二指腸潰瘍の再発抑制。
２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。
〈逆流性食道炎〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常８週間までの投与とする。
さらに、再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１５ｍｇを１日１回経口投与するが、効果不十分の場合は、１日１回３０ｍｇを経口投与することができる。
〈非びらん性胃食道逆流症〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回１５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、非びらん性胃食道逆流症の場合、通常４週間までの投与とする。
〈低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回１５ｍｇを１日１回経口投与する。
〈非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回１５ｍｇを１日１回経口投与する。
〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

23: 消化器官用薬

ランソプラゾールＯＤ錠３０ｍｇ「武田テバ」(ﾀｹﾌﾟﾛﾝ)　Lansoprazole OD TAKEDA TEVA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]タケプロンＯＤ錠３０

商品名:ランソプラゾールＯＤ錠３０ｍｇ「武田テバ」

規格:３０ｍｇ１錠　薬価:17.10　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:腸溶錠　YJ:2329023F2140　院内コード:203308

成分:ランソプラゾール,

【効】１）．　胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群。

２）．　次記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。

【用】〈胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Ｚｏｌｌｉｎｇｅｒ－Ｅｌｌｉｓｏｎ症候群〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、通常、胃潰瘍、吻合部潰瘍では８週間までの投与、十二指腸潰瘍では６週間までの投与とする。

〈逆流性食道炎〉通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、逆流性食道炎の場合、通常８週間までの投与とする。

さらに、再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、１回１５ｍｇを１日１回経口投与するが、効果不十分の場合は、１日１回３０ｍｇを経口投与することができる。

〈ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助〉ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助の場合、通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。

なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。

プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合は、これに代わる治療として、通常、成人にはランソプラゾールとして１回３０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。

【保管】室温保存。

レバミピド錠１００ｍｇ「オーツカ」　Rebamipide Otsuka　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]ムコスタ錠１００ｍｇ

商品名:レバミピド錠１００ｍｇ「オーツカ」

規格:１００ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:大塚製薬工場　剤型:錠　YJ:2329021F1331　院内コード:203426

成分:レバミピド,

【効】１）．　胃潰瘍。

２）．　次記疾患の胃粘膜病変（胃粘膜びらん、胃粘膜出血、胃粘膜発赤、胃粘膜浮腫）の改善：急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期。

【用】〈胃潰瘍〉通常、成人には１回１錠（レバミピドとして１００ｍｇ）を１日３回、朝、夕及び就寝前に経口投与する。

〈次記疾患の胃粘膜病変（びらん、出血、発赤、浮腫）の改善急性胃炎、慢性胃炎の急性増悪期〉通常、成人には１回１錠（レバミピドとして１００ｍｇ）を１日３回経口投与する。

【保管】室温保存。

233: 健胃消化剤

2331: 消化酸素製剤

リパクレオンカプセル１５０ｍｇ　LipaCreon　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:リパクレオンカプセル１５０ｍｇ

規格:１５０ｍｇ１カプセル　薬価:30.10　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:カプセルYJ:2331007M1029　院内コード:202322

成分:パンクレリパーゼ,

【効】膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充。

【用】通常、パンクレリパーゼとして１回６００ｍｇを１日３回、食直後に経口投与する。

なお、患者の状態に応じて、適宜増減する。

【保管】室温保存。

2339: その他の健胃消化剤

Ｓ・Ｍ配合散　S･M　採用

商品名:Ｓ・Ｍ配合散

規格:１ｇ　薬価:6.90　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:散　YJ:2339177B1038　院内コード:201042

成分:ウイキョウ,オウレン,カンゾウ,ケイヒ,サンショウ,ショウキョウ,タカヂアスターゼ,チョウジ,メタケイ酸アルミン酸マグネシウム,炭酸水素ナトリウム,沈降炭酸カルシウム,

【効】次記消化器症状の改善：食欲不振、胃部不快感、胃もたれ、嘔気・嘔吐。

【用】通常１回量として、次の用量を１日３回食後水又は温湯で服用する。

１）．　成人：約１．３ｇ。

２）．　７～１４歳：成人の１／２量。

３）．　４～６歳：成人の１／３量。

４）．　２～３歳：成人の１／６量。

なお、疾患、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ベリチーム配合顆粒　Berizym　採用

商品名:ベリチーム配合顆粒

規格:１ｇ　薬価:26.20　製造:共和薬品　剤型:顆粒　YJ:2339163D1037　院内コード:200243

成分:アスペルギルス産生消化酵素,細菌性脂肪分解酵素,繊維素分解酵素,濃厚膵臓性消化酵素,

【効】消化異常症状の改善。

【用】通常、成人１回０．４～１ｇを１日３回食後に経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

健栄の健胃散　採用

商品名:健栄の健胃散

規格:１ｇ　薬価:6.30　製造:健栄製薬　剤型:散　YJ:2339101B1035　院内コード:200595

234: 制酸剤

2344: 無機塩製剤；炭酸水素ナトリウム等

マグミット錠３３０mg　Magmitt　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]マグミット錠１００mg

商品名:マグミット錠３３０mg

規格:３３０mg１錠　薬価:6.30　製造:マグミット製薬　剤型:錠　YJ:2344009F2031　院内コード:200653

成分:酸化マグネシウム,

【効】１）．　次記疾患における制酸作用と症状の改善：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃炎（急性胃炎・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。

２）．　便秘症。

３）．　尿路蓚酸カルシウム結石の発生予防。

【用】成人〈制酸剤として使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日０．５～１．０ｇを数回に分割経口投与する。

〈緩下剤として使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日２ｇを食前又は食後の３回に分割経口投与するか、又は就寝前に１回投与する。

〈尿路蓚酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日０．２～０．６ｇを多量の水とともに経口投与する。なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。

小児〈緩下剤として使用する場合〉通常、１歳以上の小児には酸化マグネシウムとして、１日２０～８０mg／ｋｇを食後の２回に分割経口投与する。

【保管】室温保存。

マグミット錠５００mg　Magmitt　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]マグミット錠１００mg

商品名:マグミット錠５００mg

規格:５００mg１錠　薬価:6.30　製造:マグミット製薬　剤型:錠　YJ:2344009F4034　院内コード:202437

成分:酸化マグネシウム,

【効】１）．　次記疾患における制酸作用と症状の改善：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃炎（急性胃炎・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。

２）．　便秘症。

３）．　尿路蓚酸カルシウム結石の発生予防。

【用】成人〈制酸剤として使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日０．５～１．０ｇを数回に分割経口投与する。

〈緩下剤として使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日２ｇを食前又は食後の３回に分割経口投与するか、又は就寝前に１回投与する。

〈尿路蓚酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日０．２～０．６ｇを多量の水とともに経口投与する。なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。

小児〈緩下剤として使用する場合〉通常、１歳以上の小児には酸化マグネシウムとして、１日２０～８０mg／ｋｇを食後の２回に分割経口投与する。

【保管】室温保存。

重質酸化マグネシウム「ケンエー」　Heavy magnesium oxide KENEI　採用

商品名:重質酸化マグネシウム「ケンエー」

規格:１０ｇ　薬価:15.60　製造:健栄製薬　剤型:末　YJ:2344002X1055　院内コード:203778

成分:酸化マグネシウム,

【効】１）．　次記疾患における制酸作用と症状の改善：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃炎（急性胃炎・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。

２）．　便秘症。

３）．　尿路蓚酸カルシウム結石の発生予防。

【用】〈制酸剤として使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日０．５～１．０ｇを数回に分割経口投与する。

〈緩下剤として使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日２ｇを食前又は食後の３回に分割経口投与するか、又は就寝前に１回投与する。

〈尿路蓚酸カルシウム結石の発生予防に使用する場合〉酸化マグネシウムとして、通常成人１日０．２～０．６ｇを多量の水とともに経口投与する。なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

炭酸水素ナトリウム　（重曹）　Sodium bicarbonate KENEI　採用

商品名:炭酸水素ナトリウム「ケンエー」

規格:１０ｇ　薬価:8.00　製造:健栄製薬　剤型:末　YJ:2344004X1070　院内コード:200316

成分:炭酸水素ナトリウム,

【効】１）．　（経口）

①．　次記疾患における制酸作用と症状の改善：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃炎（急性胃炎・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。

②．　アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防。

２）．　（含嗽・吸入）上気道炎の補助療法（粘液溶解）。

【用】〈胃・十二指腸潰瘍、胃炎、上部消化管機能異常における制酸作用と症状の改善、アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防〉炭酸水素ナトリウムとして、通常、成人１日３～５ｇを数回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈上気道炎の補助療法〉含嗽、吸入には１回量１～２%液１００mLを１日数回用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

炭酸水素ナトリウム錠500mg「VTRS」（重曹）　Sodium bicarbonate VTRS　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:炭酸水素ナトリウム錠５００mg「ＶＴＲＳ」
規格:５００mg１錠　薬価:6.30　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:錠　YJ:2344005F1061　院内コード:203493
成分:炭酸水素ナトリウム,
【効】１）．　〈経口〉①．　次記疾患における制酸作用と症状の改善：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃炎（急性胃炎・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）。
②．　アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防。
２）．　〈含嗽・吸入〉上気道炎の補助療法（粘液溶解）。
【用】炭酸水素ナトリウムとして、通常成人１日３～５ｇを数回に分割経口投与する。
含嗽、吸入には１回量１～２%液１００mLを１日数回用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

235: 下痢、浣腸剤

2354: 植物性製剤；センナ等

センノシド錠１２mg「サワイ」　Sennoside　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]プルゼニド錠１２mg
商品名:センノシド錠１２mg「サワイ」
規格:１２mg１錠　薬価:5.50　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2354003F2367　院内コード:202982
成分:センノシドＡ・Ｂカルシウム塩,
【効】便秘症。
【用】センノシドＡ・Ｂ（又はそのカルシウム塩）として通常成人１日１回１２～２４mgを就寝前に経口投与する。
高度の便秘には、１回４８mgまで増量することができる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2357: グリセリン製剤

グリセリン「ケンエー」　Glycerin　採用
商品名:グリセリン「ケンエー」
規格:１０mL　薬価:13.10　製造:健栄製薬　剤型:液　YJ:2357700X1078　院内コード:203715
成分:グリセリン,
【効】浣腸液の調剤に用いる。また、溶剤、軟膏基剤、湿潤剤・粘滑剤として調剤に用いる。
【用】浣腸液の調剤に用いる。また、溶剤、軟膏基剤、湿潤・粘滑剤として調剤に用いる。
【保管】室温保存。

グリセリン浣腸液５０%「ケンエー」(120mL)　Glycerin KENEI　採用
商品名:グリセリン浣腸液５０%「ケンエー」
規格:５０%１２０mL１個　薬価:166.50　製造:健栄製薬　剤型:浣腸剤　YJ:2357701K8193　院内コード:200461
成分:グリセリン,
【効】便秘、腸疾患時の排便。
【用】通常、１回１０～１５０mLを直腸内に注入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

グリセリン浣腸液５０%「ケンエー」（60mL）　Glycerin KENEI　採用
商品名:グリセリン浣腸液５０%「ケンエー」
規格:５０%６０mL１個　薬価:131.70　製造:健栄製薬　剤型:浣腸剤　YJ:2357701K6239　院内コード:200462
成分:グリセリン,
【効】便秘、腸疾患時の排便。
【用】通常、１回１０～１５０mLを直腸内に注入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2359: その他の下痢、浣腸剤

アミティーザカプセル２４μg　Amitiza　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アミティーザカプセル２４μg
規格:２４μg１カプセル　薬価:89.00　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:カプセル　YJ:2359006M1025　院内コード:202415
成分:ルビプロストン,
【効】慢性便秘症＜器質的疾患による便秘を除く＞。
【用】通常、成人にはルビプロストンとして１回２４μgを１日２回、朝食後及び夕食後に経口投与する。なお、症状により適宜減量する。
【保管】室温保存。

グーフィス錠５mg　Goofice　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:グーフィス錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:77.40　製造:ＥＡファーマ　剤型:錠　YJ:2359008F1025　院内コード:203060
成分:エロビキシバット水和物,
【効】慢性便秘症＜器質的疾患による便秘を除く＞。
【用】通常、成人にはエロビキシバットとして１０ｍｇを１日１回食前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、最高用量は１日１５ｍｇとする。
【保管】室温保存。

スインプロイク錠０．２ｍｇ　Symproic　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:スインプロイク錠０．２ｍｇ
規格:０．２ｍｇ１錠　薬価:277.10　製造:塩野義製薬　剤型:錠　YJ:2359007F1020　院内コード:202926
成分:ナルデメジントシル酸塩,
【効】オピオイド誘発性便秘症。
【用】通常、成人にはナルデメジンとして１回０．２ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

テレミンソフト坐薬１０ｍｇ　Teleminsoft　採用
商品名:テレミンソフト坐薬１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１個　薬価:21.60　製造:ジェイドルフ製薬　剤型:坐剤　YJ:2359700J2106　院内コード:200470
成分:ビサコジル,
【効】１）．　便秘症。
２）．　消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除。
【用】ビサコジルとして、通常１回、成人は１０ｍｇを、１日１～２回肛門内に挿入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存（高温を避けて保存）。

ピコスルファートＮａ錠２．５ｍｇ「サワイ」　Picosulfate Na　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ラキソベロン錠２．５ｍｇ
商品名:ピコスルファートＮａ錠２．５ｍｇ「サワイ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2359005F1234　院内コード:203613
成分:ピコスルファートナトリウム水和物,
【効】１）．　各種便秘症。
２）．　術後排便補助。
３）．　造影剤＜硫酸バリウム＞投与後の排便促進。
【用】〈各種便秘症〉通常、成人に対して１日１回２～３錠を経口投与する。７～１５歳の小児に対して、１日１回２錠を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈術後排便補助、造影剤（硫酸バリウム）投与後の排便促進〉通常、成人に対して１日１回２～３錠を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ピコスルファートＮａ内用液０．７５％「トーワ」(ﾗｷｿﾍﾞﾛﾝ)　Sodium picosulfate TOWA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ラキソベロン内用液０．７５％
商品名:ピコスルファートＮａ内用液０．７５％「トーワ」
規格:０．７５％1mL　薬価:7.30　製造:東和薬品　剤型:液　YJ:2359005S1305　院内コード:203539
成分:ピコスルファートナトリウム水和物,
【効】１）．　各種便秘症。
２）．　術後排便補助。
３）．　造影剤＜硫酸バリウム＞投与後の排便促進。
４）．　手術前における腸管内容物の排除。
５）．　大腸検査＜Ｘ線＞前処置・大腸検査＜内視鏡＞前処置における腸管内容物の排除。
【用】〈各種便秘症〉通常、成人に対して１日１回１０～１５滴（０．６７～１．０mL）を経口投与する。
小児に対しては１日１回、次の基準で経口投与する。
１）．　６ヵ月以下：２滴（０．１３mL）。
２）．　７～１２ヵ月：３滴（０．２０mL）。
３）．　１～３歳：６滴（０．４０mL）。
４）．　４～６歳：７滴（０．４６mL）。
５）．　７～１５歳：１０滴（０．６７mL）。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈術後排便補助〉通常、成人に対して１日１回１０～１５滴（０．６７～１．０mL）を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈造影剤（硫酸バリウム）投与後の排便促進〉通常、成人に対して６～１５滴（０．４０～１．０mL）を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈手術前における腸管内容物の排除〉通常、成人に対して１４滴（０．９３mL）を経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈大腸検査（Ｘ線・内視鏡）前処置における腸管内容物の排除〉通常、成人に対して検査予定時間の１０～１５時間前に２０mLを経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ピムロ顆粒（0.5g/包）　Pimuro　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]アローゼン顆粒
商品名:ピムロ顆粒

23: 消化器官用薬

規格:１ｇ　薬価:7.90　製造:本草製薬　剤型:顆粒　YJ:2359102X1056　院内コード:203820
成分:センナ,センナジツ,
【効】１）．　便秘＜痙攣性便秘は除く＞。
２）．　駆虫剤投与後の下剤。
【用】通常成人１回０．５～１．０ｇを１日１～２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

モビコール配合内用剤ＬＤ　Movicol LD　採用

<先発品（後発品なし）>

商品名:モビコール配合内用剤ＬＤ
規格:６．８５２３ｇ１包　薬価:59.30　製造:ＥＡファーマ　剤型:散　YJ:2359110B1037　院内コード:203109
成分:マクロゴール４０００,塩化カリウム,塩化ナトリウム,炭酸水素ナトリウム,
【効】慢性便秘症＜器質的疾患による便秘を除く＞。
【用】本剤は、水で溶解して経口投与する。
通常、２歳以上７歳未満の幼児には初回用量として１包を１日１回経口投与する。以降、症状に応じて適宜増減し、１日１～３回経口投与、最大投与量は１日量として４包まで（１回量として２包まで）とする。ただし、増量は２日以上の間隔をあけて行い、増量幅は１日量として１包までとする。
通常、７歳以上１２歳未満の小児には初回用量として２包を１日１回経口投与する。以降、症状に応じて適宜増減し、１日１～３回経口投与、最大投与量は１日量として４包まで（１回量として２包まで）とする。ただし、増量は２日以上の間隔をあけて行い、増量幅は１日量として１包までとする。
通常、成人及び１２歳以上の小児には初回用量として２包を１日１回経口投与する。以降、症状に応じて適宜増減し、１日１～３回経口投与、最大投与量は１日量として６包まで（１回量として４包まで）とする。ただし、増量は２日以上の間隔をあけて行い、増量幅は１日量として２包までとする。
＜参考＞初回は１日１回。以降、適宜増減（１日１～３回）。
１）．　２歳以上７歳未満：
①．　初回用量：１包。
②．　１日量あたりの最大増量幅＊：１包。
③．　最大投与量：１回量２包、１日量４包。
２）．　７歳以上１２歳未満：
①．　初回用量：２包。
②．　１日量あたりの最大増量幅＊：１包。
③．　最大投与量：１回量２包、１日量４包。
３）．　１２歳以上（成人を含む）：
①．　初回用量：２包。
②．　１日量あたりの最大増量幅＊：２包。
③．　最大投与量：１回量４包、１日量６包。
＊増量は２日以上の間隔をあけて行うこと。
【保管】室温保存（高温を避けて保存すること）。

新レシカルボン坐剤　New Lecicarbon　採用

商品名:新レシカルボン坐剤
規格:１個　薬価:73.70　製造:京都薬品　剤型:坐剤　YJ:2359800J1035　院内コード:200946
成分:炭酸水素ナトリウム,無水リン酸二水素ナトリウム,
【効】便秘症。
【用】通常１～２個を出来るだけ肛門内深く挿入する。重症の場合には１日２～３個を数日間続けて挿入する。
【保管】冷所保存。

236: 利胆剤

2362: 胆汁酸製剤

ウルソデオキシコール酸錠１００ｍｇ「トーワ」　Ursodeoxycholic acid TOWA　採用

商品名:ウルソデオキシコール酸錠１００ｍｇ「トーワ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:2362001F2220　院内コード:202870
成分:ウルソデオキシコール酸,
【効】１）．　次記疾患における利胆：胆道＜胆管・胆のう＞系疾患及び胆汁うっ滞を伴う肝疾患。
２）．　慢性肝疾患における肝機能の改善。
３）．　次記疾患における消化不良：小腸切除後遺症、炎症性小腸疾患。
４）．　外殻石灰化を認めないコレステロール系胆石の溶解。
５）．　原発性胆汁性肝硬変における肝機能の改善。
６）．　Ｃ型慢性肝疾患における肝機能の改善。
【用】１）．　次記疾患における利胆（胆道（胆管・胆のう）系疾患及び胆汁うっ滞を伴う肝疾患）、慢性肝疾患における肝機能の改善、次記疾患における消化不良（小腸切除後遺症、炎症性小腸疾患）：ウルソデオキシコール酸として、通常、成人１回５０ｍｇを１日３回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
２）．　外殻石灰化を認めないコレステロール系胆石の溶解：外殻石灰化を認めないコレステロール系胆石の溶解には、ウルソデオキシコール酸として、通常、成人１日６００ｍｇを３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
３）．　原発性胆汁性肝硬変における肝機能の改善：原発性胆汁性肝硬変における肝機能の改善には、ウルソデオキシコール酸として、通常、成人１日６００ｍｇを３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。増量する場合の１日最大投与量は９００ｍｇとする。
４）．　Ｃ型慢性肝疾患における肝機能の改善：Ｃ型慢性肝疾患における肝機能の改善には、ウルソデオキシコール酸として、通常、成人１日

６００ｍｇを３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。増量する場合の１日最大投与量は９００ｍｇとする。
【保管】室温保存。

239: その他の消化器官用薬

2391: 鎮吐剤

アロカリス点滴静注235mg/10mL　Arokaris　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:アロカリス点滴静注２３５ｍｇ
規格:２３５ｍｇ１０ｍＬ１瓶　薬価:11275.00　製造:大鵬薬品　剤型:注射液　YJ:2391406A1029　院内コード:301166
成分:ホスネツピタント塩化物塩酸塩,
【効】シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞＜遅発期を含む＞。
【用】他の制吐剤との併用において、通常、成人にはホスネツピタントとして２３５ｍｇを抗悪性腫瘍剤投与１日目に１回、点滴静注する。
【保管】２～８℃。

グラニセトロン静注液３ｍｇｼﾘﾝｼﾞ「ｻﾜｲ」(ｶｲﾄﾘﾙ)　Granisetron　採用　(劇)
商品名:グラニセトロン静注液３ｍｇシリンジ「サワイ」
規格:３ｍｇ３ｍＬ１筒　薬価:1259.00　製造:メディサ新薬　剤型:キット類YJ:2391400G2039　院内コード:301080
成分:グラニセトロン塩酸塩,
【効】１）．　シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞及び放射線照射に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
２）．　術後の消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
【用】〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉成人：通常、成人にはグラニセトロンとして４０μｇ／ｋｇを１日１回静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、４０μｇ／ｋｇを１回追加投与できる。
小児：通常、小児にはグラニセトロンとして４０μｇ／ｋｇを１日１回点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、症状が改善されない場合には、４０μｇ／ｋｇを１回追加投与できる。
〈放射線照射に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）〉通常、成人にはグラニセトロンとして１回４０μｇ／ｋｇを点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日２回投与までとする。
〈術後の消化器症状（悪心、嘔吐）〉通常、成人にはグラニセトロンとして１回１ｍｇを静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日３ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

パロノセトロン静注０．７５ｍｇ／５ｍＬ「タイホウ」(ｱﾛｷｼ)　Palonosetron TAIHO　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]アロキシ静注０．７５ｍｇ
商品名:パロノセトロン静注０．７５ｍｇ／５ｍＬ「タイホウ」
規格:０．７５ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:4129.00　製造:岡山大鵬薬品　剤型:注射液　YJ:2391404A1038　院内コード:301115
成分:パロノセトロン塩酸塩,
【効】シスプラチン等の抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞＜遅発期を含む＞。
【用】通常、パロノセトロンとして０．７５ｍｇを１日１回静注又は点滴静注する。
ただし、１８歳以下の患者には、通常、パロノセトロンとして２０μｇ／ｋｇを１日１回静注又は点滴静注することとし、投与量の上限は１．５ｍｇとする。
【保管】室温保存。

2399: 他に分類されない消化器官用薬

ＳＰトローチ明治　SP MEIJI　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:ＳＰトローチ０．２５ｍｇ「明治」
規格:０．２５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:トローチYJ:2399710E1046　院内コード:201192
成分:デカリニウム塩化物,
【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、抜歯創を含む口腔創傷の感染予防。
【用】デカリニウム塩化物として、通常１回０．２５ｍｇを１日６回投与し、口中で徐々に溶解させる。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アコファイド錠100mg　Acofide　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アコファイド錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:28.40　製造:ゼリア新薬　剤型:錠　YJ:2399015F1020　院内コード:202441
成分:アコチアミド塩酸塩水和物,
【効】機能性ディスペプシアにおける食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感。
【用】通常、成人にはアコチアミド塩酸塩水和物として１回１００ｍｇを１日３回、食前に経口投与する。
【保管】室温保存。

イリボー錠５μｇ　Irribow　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:イリボー錠５μｇ
規格:５μｇ１錠　薬価:48.80　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:2399014F2022　院内コード:200660
成分:ラモセトロン塩酸塩,
【効】下痢型過敏性腸症候群。
【用】〈男性における下痢型過敏性腸症候群〉通常、成人男性にはラモセトロン塩酸塩として５μｇを１日１回経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は１０μｇまでとする。
〈女性における下痢型過敏性腸症候群〉通常、成人女性にはラモセトロン塩酸塩として２．５μｇを１日１回経口投与する。

なお、効果不十分の場合には増量することができるが、１日最高投与量は５μｇまでとする。
【保管】室温保存。

インフリキシマブＢＳ点滴静注用１００mg「ＮＫ」 Infliximab BS NK 採用 (劇生) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]レミケード点滴静注用１００
商品名:インフリキシマブＢＳ点滴静注用１００mg「ＮＫ」
規格:１００mg１瓶 薬価:14500.00 製造:セルトリオンヘルスケアジャパン 剤型:静注用 YJ:2399403F1039 院内コード:300898
成分:インフリキシマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）． 既存治療で効果不十分な次記疾患：
①． 関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）。
②． ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎。
③． 尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症。
④． 強直性脊椎炎。
⑤． 腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病。
⑥． 川崎病の急性期。
２）． 次のいずれかの状態を示すクローン病の治療及び維持療法（既存治療で効果不十分な場合に限る）：中等度から重度の活動期にあるクローン病患者、外瘻を有するクローン病患者。
３）． 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の治療（既存治療で効果不十分な場合に限る）。
【用】〈関節リウマチ〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり３mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後８週間の間隔で投与を行うこと。なお、６週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能である。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は段階的に行う。１回の体重１ｋｇ当たりの投与量の上限は、８週間の間隔であれば１０mg、投与間隔を短縮した場合であれば６mgとする。また、最短の投与間隔は４週間とする。本剤は、メトトレキサート製剤による治療に併用して用いること。
〈ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後８週間の間隔で投与を行うこと。
〈乾癬〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後８週間の間隔で投与を行うこと。なお、６週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能である。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は患者の状態に応じて段階的に行う。１回の体重１ｋｇ当たりの投与量の上限は、８週間の間隔であれば１０mg、投与間隔を短縮した場合であれば６mgとする。また、最短の投与間隔は４週間とする。
〈強直性脊椎炎〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後６～８週間の間隔で投与を行うこと。
〈腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後８週間の間隔で投与を行うこと。なお、６週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、体重１ｋｇ当たり１０mgを１回の投与量とすることができる。
〈川崎病の急性期〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを単回点滴静注する。
〈クローン病〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後８週間の間隔で投与を行うこと。なお、６週の投与以後、効果が減弱した場合には、投与量の増量又は投与間隔の短縮が可能である。投与量を増量する場合は、体重１ｋｇ当たり１０mgを１回の投与量とすることができる。投与間隔を短縮する場合は、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし、最短４週間の間隔で投与することができる。
〈潰瘍性大腸炎〉通常、インフリキシマブ（遺伝子組換え）［インフリキシマブ後続１］として、体重１ｋｇ当たり５mgを１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、６週に投与し、以後８週間の間隔で投与を行うこと。
【保管】２～８℃保存。

オラドールトローチ０．５mg Oradol 採用
商品名:オラドールトローチ０．５mg
規格:０．５mg１錠 薬価:8.90 製造:日医工岐阜工場 剤型:トローチYJ:2399712E1053 院内コード:200950
成分:ドミフェン臭化物,
【効】咽頭炎、扁桃炎、口内炎、抜歯創を含む口腔創傷の感染予防。
【用】ドミフェン臭化物として、通常１回０．５mgを１日３～６回投与し、口中で徐々に溶解させる。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ガナトン錠５０mg Ganaton 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:ガナトン錠５０mg
規格:５０mg１錠 薬価:7.10 製造:ヴィアトリス製薬 剤型:錠 YJ:2399008F1020 院内コード:200657
成分:イトプリド塩酸塩,
【効】慢性胃炎における消化器症状（腹部膨満感、上腹部痛、食欲不振、胸やけ、悪心、嘔吐）
。
【用】通常、成人にはイトプリド塩酸塩として１日１５０mgを３回に分けて食前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】室温保存。

サラジェン顆粒０．５% Salagen 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>
商品名:サラジェン顆粒０．５%
規格:５mg１包 薬価:45.20 製造:キッセイ薬品 剤型:顆粒 YJ:2399013D1020 院内コード:202760
成分:ピロカルピン塩酸塩,
【効】１）． 頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善。
２）． シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善。
【用】通常、成人にはピロカルピン塩酸塩として１回５mgを１日３回、食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

サリベートエアゾール　Saliveht　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:サリベートエアゾール
規格:５０ｇ１個　薬価:335.90　製造:帝人ファーマ　剤型:その他　YJ:2399801E1037　院内コード:200557
成分:リン酸二カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,
【効】次記疾患に対する諸症状の寛解：１）シェーグレン症候群による口腔乾燥症、２）頭頸部の放射線照射による唾液腺障害に基づく口腔乾燥症に対する諸症状の寛解。
【用】通常１回に１～２秒間口腔内に１日４～５回噴霧する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

デキサメタゾン口腔用軟膏０．１%「ＮＫ」　Dexamethasone NK　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アフタゾロン口腔用軟膏０．１%
商品名:デキサメタゾン口腔用軟膏０．１%「ＮＫ」
規格:０．１%１ｇ　薬価:35.30　製造:日本化薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2399706M1125　院内コード:200948
成分:デキサメタゾン,
【効】びらん又は潰瘍を伴う難治性口内炎又は舌炎。
【用】通常、適量を１日１～数回患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

デスパコーワ口腔用クリーム（5g/本）　Despa KOWA　採用
商品名:デスパコーワ口腔用クリーム
規格:１ｇ　薬価:23.80　製造:興和　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2399800X1033　院内コード:200467
成分:クロルヘキシジン塩酸塩,ジフェンヒドラミンサリチル酸塩,ヒドロコルチゾン酢酸エステル,ベンザルコニウム塩化物,
【効】アフタ性口内炎、孤立性アフタ、褥瘡性潰瘍、辺縁性歯周炎。
【用】本剤の適量を１日３～４回炎症部位に塗布する。
【保管】室温保存。

トリメブチンマレイン酸塩錠１００mg「サワイ」(ｾﾚｷﾅﾝ)　Trimebutine maleate　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:トリメブチンマレイン酸塩錠１００mg「サワイ」
規格:１００mg１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2399006F1579　院内コード:203398
成分:トリメブチンマレイン酸塩,
【効】１）．　慢性胃炎における消化器症状（腹部膨満感、腹部疼痛、悪心、噯気）。
２）．　過敏性腸症候群。
【用】・　慢性胃炎における消化器症状に使用する場合トリメブチンマレイン酸塩として、通常成人１日量３００mg（本剤３錠）を３回に分けて経口投与する。
年齢、症状により適宜増減する。
・　過敏性腸症候群に使用する場合トリメブチンマレイン酸塩として、通常成人１日量３００～６００mg（本剤３～６錠）を３回に分けて経口投与する。
【保管】室温保存。

ドンペリドン錠１０mg「サワイ」　Domperidone　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ナウゼリン錠１０mg
商品名:ドンペリドン錠１０mg「サワイ」
規格:１０mg１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2399005F2350　院内コード:203566
成分:ドンペリドン,
【効】成人：
次記疾患および薬剤投与時の消化器症状（悪心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、上腹部不快感、腹痛、胸やけ、あい気）；１）慢性胃炎、胃下垂症、胃切除後症候群、２）抗悪性腫瘍剤投与時またはレボドパ製剤投与時。
小児：
次記疾患および薬剤投与時の消化器症状（悪心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、上腹部不快感、腹痛、胸やけ、あい気）；１）小児周期性嘔吐症、小児上気道感染症、２）抗悪性腫瘍剤投与時。
【用】成人：
通常、ドンペリドンとして１回１０mgを１日３回食前に経口投与する。ただし、レボドパ製剤投与時にはドンペリドンとして１回５～１０mgを１日３回食前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：
通常、ドンペリドンとして１日１．０～２．０mg／ｋｇを１日３回食前に分けて経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。ただし、１日投与量はドンペリドンとして３０mgを超えないこと。
また、６歳以上の場合はドンペリドンとして１日最高用量は１．０mg／ｋｇを限度とすること。
【保管】室温保存。

ナウゼリン坐剤１０　Nauzelin　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:ナウゼリン坐剤１０
規格:１０mg１個　薬価:28.60　製造:協和キリン　剤型:坐剤　YJ:2399714J1026　院内コード:200952
成分:ドンペリドン,
【効】小児：
次記疾患および薬剤投与時の消化器症状（悪心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、腹痛）；１）周期性嘔吐症、乳幼児下痢症、上気道感染症、２）抗悪性

腫瘍剤投与時。
【用】小児：
３歳未満の場合、通常ドンペリドンとして１回１０ｍｇを１日２～３回直腸内に投与する。
３歳以上の場合、通常ドンペリドンとして１回３０ｍｇを１日２～３回直腸内に投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ナウゼリン坐剤３０ Nauzelin **採用** <先発品（後発品あり）>
商品名:ナウゼリン坐剤３０
規格:３０ｍｇ１個 薬価:44.90 製造:協和キリン 剤型:坐剤 YJ:2399714J2022 院内コード:200471
成分:ドンペリドン,
【効】小児：
次記疾患および薬剤投与時の消化器症状（悪心、嘔吐、食欲不振、腹部膨満、腹痛）；１）周期性嘔吐症、乳幼児下痢症、上気道感染症、２）抗悪性腫瘍剤投与時。
【用】小児：
３歳未満の場合、通常ドンペリドンとして１回１０ｍｇを１日２～３回直腸内に投与する。
３歳以上の場合、通常ドンペリドンとして１回３０ｍｇを１日２～３回直腸内に投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

プリンペラン錠５ｍｇ Primperan **採用**
商品名:プリンペラン錠５
規格:５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:日医工 剤型:錠 YJ:2399004F1200 院内コード:200224
成分:メトクロプラミド,
【効】１）．　次の場合における消化器機能異常（悪心・嘔吐・食欲不振・腹部膨満感）：胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胆嚢疾患・胆道疾患、腎炎、尿毒症、乳幼児嘔吐、薬剤投与時（制癌剤投与時・抗生物質投与時・抗結核剤投与時・麻酔剤投与時）、胃内挿管時・気管内挿管時、放射線照射時、開腹術後。
２）．　Ｘ線検査時のバリウムの通過促進。
【用】メトクロプラミドとして、通常成人１日７．６７～２３．０４ｍｇを２～３回に分割し、食前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ペンタサ錠５００ｍｇ Pentasa **採用** <先発品（後発品あり）>
商品名:ペンタサ錠５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１錠 薬価:45.80 製造:フェリング・ファーマ 剤型:徐放錠 YJ:2399009F2030 院内コード:202239
成分:メサラジン,
【効】潰瘍性大腸炎＜重症を除く＞、クローン病。
【用】〈潰瘍性大腸炎〉通常、成人にはメサラジンとして１日１５００ｍｇを３回に分けて食後経口投与するが、寛解期には、必要に応じて１日１回の投与とすることができる。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日２２５０ｍｇを上限とする。
ただし、活動期には、必要に応じて１日４０００ｍｇを２回に分けて投与することができる。
通常、小児にはメサラジンとして１日３０～６０ｍｇ／ｋｇを３回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日２２５０ｍｇを上限とする。
〈クローン病〉通常、成人にはメサラジンとして１日１５００ｍｇ～３０００ｍｇを３回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。
通常、小児にはメサラジンとして１日４０～６０ｍｇ／ｋｇを３回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ポリフル細粒８３．３％（0.6g/包） Polyful **採用** <先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ポリフル細粒８３．３％
規格:８３．３％１ｇ 薬価:19.40 製造:ヴィアトリス製薬 剤型:細粒 YJ:2399011C1050 院内コード:203683
成分:ポリカルボフィルカルシウム,
【効】過敏性腸症候群における便通異常（下痢、便秘）及び消化器症状。
【用】通常、成人にはポリカルボフィルカルシウムとして１日量１．５～３．０ｇを３回に分けて、食後に水とともに経口投与する。
【保管】室温保存。

メサラジン腸溶錠４００ｍｇ「サワイ」（ｱｻｺｰﾙ） Mesalazine **採用** <後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]アサコール錠４００ｍｇ
商品名:メサラジン腸溶錠４００ｍｇ「サワイ」
規格:４００ｍｇ１錠 薬価:15.70 製造:沢井製薬 剤型:腸溶錠 YJ:2399009F3044 院内コード:202893
成分:メサラジン,
【効】潰瘍性大腸炎＜重症を除く＞。
【用】通常、成人にはメサラジンとして１日２４００ｍｇを３回に分けて食後経口投与するが、寛解期には、必要に応じて１日１回２４００ｍｇ食後経口投与とすることができる。活動期には、１日３６００ｍｇを３回に分けて食後経口投与する。
なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

メトクロプラミド注１０ｍｇ「NIG」（ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ） Metoclopramide **採用** <後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]プリンペラン注射液１０ｍｇ
商品名:メトクロプラミド注１０ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:０．５％２ｍＬ１管 薬価:63.00 製造:日医工岐阜工場 剤型:注射液 YJ:2399401A1156 院内コード:301372
成分:塩酸メトクロプラミド,

【効】１）．　次の場合における消化器機能異常（悪心・嘔吐・食欲不振・腹部膨満感）：胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胆嚢疾患・胆道疾患、腎炎、尿毒症、乳幼児嘔吐、薬剤投与時（制癌剤投与時・抗生物質投与時・抗結核剤投与時・麻酔剤投与時）、胃内挿管時・気管内挿管時、放射線照射時、開腹術後。
２）．　Ｘ線検査時のバリウムの通過促進。
【用】メトクロプラミドとして、通常成人１回７．６７ｍｇを１日１～２回筋肉内又は静脈内に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

モサプリドクエン酸塩錠5mg「ｹﾐﾌｧ」(ｶﾞｽﾓﾁﾝ)　Mosapride citrate　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ガスモチン錠５ｍｇ

商品名:モサプリドクエン酸塩錠５ｍｇ「ケミファ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:日本ケミファ　剤型:錠　YJ:2399010F2199　院内コード:202549
成分:モサプリドクエン酸塩水和物,
【効】１）．　慢性胃炎に伴う消化器症状（胸やけ、悪心・嘔吐）。
２）．　経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸Ｘ線造影検査前処置の補助。
【用】〈慢性胃炎に伴う消化器症状（胸やけ、悪心・嘔吐）〉通常、成人には、モサプリドクエン酸塩として１日１５ｍｇを３回に分けて食前または食後に経口投与する。
〈経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸Ｘ線造影検査前処置の補助〉通常、成人には、経口腸管洗浄剤の投与開始時にモサプリドクエン酸塩として２０ｍｇを経口腸管洗浄剤（約１８０ｍＬ）で経口投与する。また、経口腸管洗浄剤投与終了後、モサプリドクエン酸塩として２０ｍｇを少量の水で経口投与する。
【保管】室温保存。

リンゼス錠０．２５ｍｇ　Linzess　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:リンゼス錠０．２５ｍｇ
規格:０．２５ｍｇ１錠　薬価:57.80　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:2399017F1020　院内コード:202852
成分:リナクロチド,
【効】１）．　便秘型過敏性腸症候群。
２）．　慢性便秘症＜器質的疾患による便秘を除く＞。
【用】通常、成人にはリナクロチドとして０．５ｍｇを１日１回、食前に経口投与する。
なお、症状により０．２５ｍｇに減量する。
【保管】室温保存。

24: ホルモン剤（抗ホルモン剤を含

243: 甲状腺、副甲状腺ホルモン剤

2431: 甲状腺ホルモン製剤

チラーヂンＳ錠２５μｇ　Thyradin-S　採用　(劇)

商品名:チラーヂンＳ錠２５μｇ
規格:２５μｇ１錠　薬価:10.80　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2431004F2052　院内コード:200662
成分:レボチロキシンナトリウム水和物,
【効】粘液水腫、クレチン病、甲状腺機能低下症（原発性甲状腺機能低下症及び下垂体性甲状腺機能低下症）、甲状腺腫。
【用】レボチロキシンナトリウムとして通常、成人２５～４００μｇを１日１回経口投与する。
一般に、投与開始量には２５～１００μｇ、維持量には１００～４００μｇを投与することが多い。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

チラーヂンＳ錠５０μｇ　Thyradin-S　採用　(劇)

商品名:チラーヂンＳ錠５０μｇ
規格:５０μｇ１錠　薬価:10.80　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2431004F1056　院内コード:200158
成分:レボチロキシンナトリウム水和物,
【効】粘液水腫、クレチン病、甲状腺機能低下症（原発性甲状腺機能低下症及び下垂体性甲状腺機能低下症）、甲状腺腫。
【用】レボチロキシンナトリウムとして通常、成人２５～４００μｇを１日１回経口投与する。
一般に、投与開始量には２５～１００μｇ、維持量には１００～４００μｇを投与することが多い。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2432: 抗甲状腺ホルモン製剤

メルカゾール錠５ｍｇ　Mercazole　採用

商品名:メルカゾール錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2432001F1033　院内コード:200276
成分:チアマゾール,
【効】甲状腺機能亢進症。
【用】チアマゾールとして、通常成人に対しては初期量１日３０ｍｇを３～４回に分割経口投与する。症状が重症のときは、１日４０～６０ｍｇを使用する。機能亢進症状がほぼ消失したなら、１～４週間毎に漸減し、維持量１日５～１０ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
通常小児に対しては初期量５歳以上～１０歳未満では１日１０～２０ｍｇ、１０歳以上～１５歳未満では１日２０～３０ｍｇを２～４回に分割経口投与する。機能亢進症状がほぼ消失したなら、１～４週間毎に漸減し、維持量１日５～１０ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
通常妊婦に対しては初期量１日１５～３０ｍｇを３～４回に分割経口投与する。機能亢進症状がほぼ消失したなら、１～４週間毎に漸減し、維持量１日５～１０ｍｇを１～２回に分割経口投与する。正常妊娠時の甲状腺機能検査値を低下しないよう、２週間毎に検査し、必要最低限量を投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2439: その他の甲状腺、副甲状腺ホルモン剤

テリパラチドＢＳ皮下注キット６００μｇ「モチダ」 Teriparatide BS MOCHIDA 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:採用]フォルテオ皮下注キット600μg

商品名:テリパラチドＢＳ皮下注キット６００μｇ「モチダ」

規格:６００μｇ１キット 薬価:14924.00 製造:持田製薬 剤型:キット類YJ:2439402G1029 院内コード:301118

成分:テリパラチド（遺伝子組換え）,

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症。

【用】通常、成人には１日１回テリパラチド（遺伝子組換え）［テリパラチド後続１］として２０μｇを皮下に注射する。

なお、本剤の投与は２４ヵ月間までとすること。

【保管】２～８℃で保存。

テリボン皮下注２８．２μｇオートインジェクター Teribone 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:テリボン皮下注２８．２μｇオートインジェクター

規格:２８．２μｇ１キット 薬価:5995.00 製造:旭化成セラピューティクス 剤型:キット類YJ:2439401G1024 院内コード:203303

成分:テリパラチド酢酸塩,

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症。

【用】通常、成人には、テリパラチドとして２８．２μｇを１日１回、週に２回皮下注射する。

なお、本剤の投与は２４ヵ月間までとすること。

【保管】２～８℃保存。

テリボン皮下注２８．２μｇオートインジェクター Teribone 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:テリボン皮下注２８．２μｇオートインジェクター

規格:２８．２μｇ１キット 薬価:5995.00 製造:旭化成セラピューティクス 剤型:キット類YJ:2439401G1024 院内コード:301085

成分:テリパラチド酢酸塩,

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症。

【用】通常、成人には、テリパラチドとして２８．２μｇを１日１回、週に２回皮下注射する。

なお、本剤の投与は２４ヵ月間までとすること。

【保管】２～８℃保存。

フォルテオ皮下注キット600μg Forteo 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:フォルテオ皮下注キット６００μｇ

規格:６００μｇ１キット 薬価:20071.00 製造:日本イーライリリー 剤型:キット類YJ:2439400G1020 院内コード:202405

成分:テリパラチド（遺伝子組換え）,

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症。

【用】通常、成人には１日１回テリパラチド（遺伝子組換え）として２０μｇを皮下に注射する。

なお、本剤の投与は２４ヵ月間までとすること。

【保管】２～８℃で保存。

245: 副腎ホルモン剤

2451: エピネフリン製剤

アドレナリン注０．１%シリンジ「テルモ」 Adrenaline 採用 (劇)

商品名:アドレナリン注０．１%シリンジ「テルモ」

規格:０．１%１mＬ１筒 薬価:354.00 製造:テルモ 剤型:キット類YJ:2451402G1040 院内コード:300489

成分:アドレナリン,

【効】１）．　次記疾患に基づく気管支痙攣の緩解：気管支喘息、百日咳。

２）．　各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助治療。

３）．　心停止の補助治療。

【用】〈気管支喘息および百日咳に基づく気管支痙攣の緩解、各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助治療、心停止の補助治療〉アドレナリンとして、通常成人１回０．２～１mg（０．２～１mL）を皮下注射または筋肉内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

蘇生などの緊急時には、アドレナリンとして、通常成人１回０．２５mg（０．２５mL）を超えない量を生理食塩液などで希釈し、できるだけゆっくりと静注する。なお、必要があれば、５～１５分ごとにくりかえす。

【保管】遮光・室温保存。

エピペン注射液０．１５mg Epipen 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:エピペン注射液０．１５mg

規格:０．１５mg１筒 薬価:9672.00 製造:ヴィアトリス製薬 剤型:キット類YJ:2451402G2020 院内コード:202230

成分:アドレナリン,

【効】蜂毒に起因するアナフィラキシー反応、食物に起因するアナフィラキシー反応及び薬物に起因するアナフィラキシー反応等のアナフィラキシー反応に対する補助治療（アナフィラキシーの既往のある人またはアナフィラキシーを発現する危険性の高い人に限る）。

【用】通常、アドレナリンとして０．０１mg／ｋｇが推奨用量であり、患者の体重を考慮して、アドレナリン０．１５mg又は０．３mgを筋肉内注射する。

【保管】室温保存。

エピペン注射液０．３ｍｇ　Epipen　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:エピペン注射液０．３ｍｇ
規格:０．３ｍｇ１筒　薬価:10197.00　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:キット類YJ:2451402G3026　院内コード:201263
成分:アドレナリン,
【効】蜂毒に起因するアナフィラキシー反応、食物に起因するアナフィラキシー反応及び薬物に起因するアナフィラキシー反応等のアナフィラキシー反応に対する補助治療（アナフィラキシーの既往のある人またはアナフィラキシーを発現する危険性の高い人に限る）。
【用】通常、アドレナリンとして０．０１ｍｇ／ｋｇが推奨用量であり、患者の体重を考慮して、アドレナリン０．１５ｍｇ又は０．３ｍｇを筋肉内注射する。
【保管】室温保存。

ノルアドリナリン注１ｍｇ　Nor-Adrenalin　採用　(劇)
商品名:ノルアドリナリン注１ｍｇ
規格:０．１％１ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:注射液　YJ:2451401A1034　院内コード:300081
成分:ノルアドレナリン,
【効】各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助治療（心筋梗塞によるショック、敗血症によるショック、アナフィラキシー性ショック、循環血液量低下を伴う急性低血圧ないし循環血液量低下を伴うショック、全身麻酔時の急性低血圧など）。
【用】〈点滴静脈内注射〉ノルアドレナリンとして、通常、成人１回１ｍｇを２５０ｍＬの生理食塩液、５％ブドウ糖液、血漿または全血などに溶解して点滴静注する。一般に点滴の速度は１分間につき０．５～１．０ｍＬであるが、血圧を絶えず観察して適宜調節する。
〈皮下注射〉ノルアドレナリンとして、通常、成人１回０．１～１ｍｇを皮下注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ボスミン外用液０．１％　Bosmin　採用
商品名:ボスミン外用液０．１％
規格:０．１％１ｍＬ　薬価:12.00　製造:第一三共　剤型:液　YJ:2451700Q1032　院内コード:200513
成分:アドレナリン,
【効】１）．　次記疾患に基づく気管支痙攣の緩解：気管支喘息、百日咳。
２）．　局所麻酔薬＜粘膜面の表面麻酔に限る＞の作用延長。
３）．　手術時の局所出血の予防と治療。
４）．　耳鼻咽喉科領域における局所出血。
５）．　耳鼻咽喉科領域における粘膜充血・粘膜腫脹。
６）．　外創における局所出血。
【用】〈気管支喘息および百日咳に基づく気管支痙攣の緩解〉通常５～１０倍に希釈して吸入する。この場合、１回の投与量はアドレナリンとして０．３ｍｇ以内とすること。２～５分間たって効果が不十分な場合でも、前記の投与をもう一度行うのを限度とする。続けて用いる必要がある場合でも、少なくとも４～６時間の間隔をおくこと。
〈局所麻酔薬の作用延長〉血管収縮薬未添加の局所麻酔薬１０ｍＬに１～２滴（アドレナリン濃度１：１０～２０万）の割合に添加して用いる。
〈手術時の局所出血の予防と治療、耳鼻咽喉科領域における局所出血、耳鼻咽喉科領域における粘膜の充血・腫脹、外創における局所出血〉通常本剤（アドレナリン０．１％溶液）をそのままか、あるいは５～１０倍希釈液を、直接塗布、点鼻もしくは噴霧するか、またはタンポンとして用いる。
【保管】室温保存。

ボスミン注１ｍｇ　Bosmin　採用　(劇)
商品名:ボスミン注１ｍｇ
規格:０．１％１ｍＬ１管　薬価:188.00　製造:第一三共　剤型:注射液　YJ:2451400A1030　院内コード:300080
成分:アドレナリン,
【効】１）．　次記疾患に基づく気管支痙攣の緩解：気管支喘息、百日咳。
２）．　各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助治療。
３）．　局所麻酔薬の作用延長。
４）．　手術時の局所出血の予防と治療。
５）．　心停止の補助治療。
６）．　虹彩毛様体炎時における虹彩癒着の防止。
【用】〈気管支喘息および百日咳に基づく気管支痙攣の緩解、各種疾患もしくは状態に伴う急性低血圧またはショック時の補助治療、心停止の補助治療〉アドレナリンとして、通常成人１回０．２～１ｍｇ（０．２～１ｍＬ）を皮下注射または筋肉内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
蘇生などの緊急時には、アドレナリンとして、通常成人１回０．２５ｍｇ（０．２５ｍＬ）を超えない量を生理食塩液などで希釈し、できるだけゆっくりと静注する。なお、必要があれば、５～１５分ごとにくりかえす。
〈局所麻酔薬の作用延長〉アドレナリンの０．１％溶液として、血管収縮薬未添加の局所麻酔薬１０ｍＬに１～２滴（アドレナリン濃度１：１０～２０万）の割合に添加して用いる。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈手術時の局所出血の予防と治療〉アドレナリンの０．１％溶液として、単独に、または局所麻酔薬に添加し、局所注入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈虹彩毛様体炎時における虹彩癒着の防止〉アドレナリンの０．１％溶液として、点眼するかまたは結膜下に０．１ｍｇ（０．１ｍＬ）以下を注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2452：コルチゾン系製剤

コートリル錠１０ｍｇ　Cortril　採用　Hi
商品名:コートリル錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:7.40　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:2452002F1030　院内コード:200107
成分:ヒドロコルチゾン,
【効】１）．　慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ＡＣＴＨ単独欠

損症。
２）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
３）．　エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）
、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症。
４）．　ネフローゼ及びネフローゼ症候群。
５）．　気管支喘息、薬剤アレルギー・薬剤中毒、その他の化学物質アレルギー・化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
６）．　重症感染症（化学療法と併用する）。
７）．　溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血。
８）．　限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
９）．　重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
１０）．　慢性肝炎＜難治性＞（活動型慢性肝炎＜難治性＞、急性再燃型慢性肝炎＜難治性＞、胆汁うっ滞型慢性肝炎＜難治性＞、但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続するものに限る）、肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
１１）．　サルコイドーシス＜両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く＞。
１２）．　肺結核（粟粒結核、重症肺結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心のう炎（抗結核剤と併用する）。
１３）．　脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎。
１４）．　悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移。
１５）．　特発性低血糖症。
１６）．　原因不明の発熱。
１７）．　副腎摘除、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲。
１８）．　蛇毒・昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
１９）．　卵管整形術後の癒着防止。
２０）．　＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞を含む）、蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（＊多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、顔面播種状粟粒狼瘡＜重症例に限る＞、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粃糠疹を含む）。
２１）．　内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法）。
２２）．　急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２３）．　難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
＊印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】通常、成人にはヒドロコルチゾンとして１日１０～１２０ｍｇを１～４回に分割して経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソル・コーテフ注射用１００ｍｇ　Solu-Cortef　採用　Hi

商品名:ソル・コーテフ注射用１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１瓶（溶解液付）　薬価:343.00　製造:ファイザー　剤型:注射用　YJ:2452400D1084　院内コード:300082
成分:ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム,
【効】１）．　静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　膠原病：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）。
ｃ．　アレルギー性疾患：アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学的物質アレルギー・＊化学的物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）。
ｄ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、脊髄浮腫。
ｅ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｆ．　呼吸器疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｇ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｈ．　新陳代謝疾患：特発性低血糖症。
ｉ．　その他の内科的疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）、悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
②．　外科領域：副腎摘除、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）。
③．　眼科領域：＊眼科領域の術後炎症。
④．　耳鼻咽喉科領域：メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、＊嗅覚障害。

⑤．　口腔外科領域：口腔外科領域手術後の後療法。
＊印：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時にのみ用いること。
２）．　点滴静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　膠原病：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）。
ｃ．　アレルギー性疾患：アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学的物質アレルギー・＊化学的物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞。
ｄ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
ｅ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｆ．　呼吸器疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｇ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｈ．　新陳代謝疾患：特発性低血糖症。
ｉ．　その他の内科的疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）、悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
②．　外科領域：副腎摘除。
③．　皮膚科領域：※＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊ウェーバークリスチャン病、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
④．　耳鼻咽喉科領域：メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、＊嗅覚障害。
⑤．　口腔外科領域：口腔外科領域手術後の後療法。
＊印：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時にのみ用いること。
※印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
３）．　筋肉内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、＊ＡＣＴＨ単独欠損症。
ｂ．　膠原病：リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）。
ｃ．　アレルギー性疾患：＊喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学的物質アレルギー・＊化学的物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞。
ｄ．　神経疾患：＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊重症筋無力症、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。
ｅ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｆ．　重症感染症：＊重症感染症（化学療法と併用する）。
ｇ．　新陳代謝疾患：＊特発性低血糖症。
ｈ．　その他の内科的疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）、＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。
②．　外科領域：副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫さされを含む）。
③．　整形外科領域：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ性多発筋痛、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
④．　泌尿器科領域：＊前立腺癌（他の療法が無効の場合）、＊陰茎硬結。
⑤．　眼科領域：＊眼科領域の術後炎症。
⑥．　皮膚科領域：※＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、※＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊紅斑症（※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、＊ウェーバークリスチャン病、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊潰瘍性慢性膿皮症、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
⑦．　耳鼻咽喉科領域：メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、＊嗅覚障害。
⑧．　口腔外科領域：口腔外科領域手術後の後療法。
＊印：経口投与不能時にのみ用いること。
※印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
４）．　関節腔内注射：
整形外科領域：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎。
５）．　軟組織内注射：
耳鼻咽喉科領域：難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
６）．　硬膜外注射：
内科・小児科領域：
神経疾患：脊髄浮腫。
７）．　腹腔内注入：
外科領域：手術後の腹膜癒着防止。
８）．　注腸：

内科・小児科領域：
消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
９）．　結膜下注射：
眼科領域：眼科領域の術後炎症。
１０）．　ネブライザー：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）。
ｂ．　呼吸器疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
②．　外科領域：侵襲後肺水腫。
③．　耳鼻咽喉科領域：喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）
及び食道拡張術後、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、嗅覚障害。
１１）．　鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、嗅覚障害。
１２）．　喉頭・気管注入：
耳鼻咽喉科領域：喉頭炎・喉頭浮腫。
１３）．　食道注入：
耳鼻咽喉科領域：食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後。
１４）．　静脈内注射又は点滴静脈内注射：
内科・小児科領域：
アレルギー性疾患：気管支喘息。
【用】〈通常、成人における用法及び用量（ヒドロコルチゾンとして）〉次のとおりである。なお、年齢、症状により適宜増減する。
①．　静脈内注射：ヒドロコルチゾンとして１回５０～１００mg、１日１～４回。緊急時１回１００～２００mg。
②．　点滴静脈内注射：ヒドロコルチゾンとして１回５０～１００mg、１日１～４回。
緊急時１回１００～２００mg。
③．　筋肉内注射：ヒドロコルチゾンとして１回５０～１００mg、１日１～４回。緊急時１回１００～２００mg。
④．　関節腔内注射：ヒドロコルチゾンとして１回５～２５mg、投与間隔２週以上。
⑤．　軟組織内注射：ヒドロコルチゾンとして１回１２．５～２５mg、投与間隔２週以上。
⑥．　硬膜外注射：ヒドロコルチゾンとして１回１２．５～５０mg、投与間隔２週以上。
⑦．　腹腔内注入：ヒドロコルチゾンとして１回４０mg。
⑧．　注腸：ヒドロコルチゾンとして１回５０～１００mg。
⑨．　結膜下注射：ヒドロコルチゾンとして１回２０～５０mg／mL溶液０．２～０．５mL。
⑩．　ネブライザー：ヒドロコルチゾンとして１回１０～１５mg、１日１～３回。
⑪．　鼻腔内注入：ヒドロコルチゾンとして１回１０～１５mg、１日１～３回。
⑫．　喉頭・気管注入：ヒドロコルチゾンとして１回１０～１５mg、１日１～３回。
⑬．　食道注入：ヒドロコルチゾンとして１回２５mg。
〈気管支喘息における静脈内注射又は点滴静脈内注射の用法及び用量（ヒドロコルチゾンとして）〉通常、成人には、ヒドロコルチゾンとして初回投与量１００～５００mgを緩徐に静脈内注射又は点滴静脈内注射する。症状が改善しない場合には、１回５０～２００mgを４～６時間毎に緩徐に追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
通常、２歳以上の小児には、ヒドロコルチゾンとして初回投与量５～７mg／kgを緩徐に静脈内注射又は点滴静脈内注射する。症状が改善しない場合には、１回５～７mg／kgを６時間毎に緩徐に追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
通常、２歳未満の小児には、ヒドロコルチゾンとして初回投与量５mg／kgを緩徐に静脈内注射又は点滴静脈内注射する。症状が改善しない場合には、１回５mg／kgを６～８時間毎に緩徐に追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

フロリネフ錠０．１mg　Florinef　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:フロリネフ錠０．１mg
規格:０．１mg１錠　薬価:188.70　製造:サンドファーマ　剤型:錠　YJ:2452003F1035　院内コード:200405
成分:フルドロコルチゾン酢酸エステル,
【効】１）．　塩喪失型先天性副腎皮質過形成症。
２）．　塩喪失型慢性副腎皮質機能不全（アジソン病）。
【用】フルドロコルチゾン酢酸エステルとして、通常１日０．０２～０．１mgを２～３回に分けて経口投与する。
なお、新生児、乳児に対しては０．０２５～０．０５mgより投与を開始することとし、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2454: フッ素付加副腎皮膚ホルモン製剤

デカドロン錠０．５mg　Decadron　採用　Hi
商品名:デカドロン錠０．５mg
規格:０．５mg１錠　薬価:6.30　製造:日医工　剤型:錠　YJ:2454002F1183　院内コード:200388
成分:デキサメタゾン,
【効】１）．　慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ＡＣＴＨ単独欠損症、下垂体抑制試験。
２）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
３）．　エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）
、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症。
４）．　ネフローゼ及びネフローゼ症候群。
５）．　うっ血性心不全。
６）．　気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤アレルギー・薬剤中毒、その他の化学物質アレルギー・化学物質中毒（薬

疹、中毒疹を含む）、血清病。
７）．　重症感染症（化学療法と併用する）。
８）．　溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血。
９）．　限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
１０）．　重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
１１）．　劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎＜難治性＞（活動型慢性肝炎＜難治性＞、急性再燃型慢性肝炎＜難治性＞、胆汁うっ滞型慢性肝炎＜難治性＞、但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続するものに限る）、肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
１２）．　サルコイドーシス＜両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く＞、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
１３）．　肺結核（粟粒結核、重症肺結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心のう炎（抗結核剤と併用する）。
１４）．　脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎。
１５）．　悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移。
１６）．　シスプラチンなどの抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
１７）．　特発性低血糖症。
１８）．　原因不明の発熱。
１９）．　副腎摘除、臓器移植・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲。
２０）．　蛇毒・昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
２１）．　強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
２２）．　卵管整形術後の癒着防止。
２３）．　前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結。
２４）．　＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（＊多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、レイノー病、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡＜重症例に限る＞、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粃糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ。
２５）．　内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
２６）．　急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２７）．　難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
２８）．　嗅覚障害、急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
２９）．　全身性ＡＬアミロイドーシス。
＊：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）〉通常、成人にはデキサメタゾンとして１日４～２０ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
ただし、１日最大２０ｍｇまでとする。
〈全身性ＡＬアミロイドーシス〉他の薬剤との併用において、通常、成人にはデキサメタゾンとして１日４０ｍｇを１、８、１５、２２日目に投与する。２８日を１サイクルとして、最大６サイクルまで投与を繰り返す。
〈前記以外の効能共通〉デキサメタゾンとして、通常成人１日０．５～８ｍｇを１～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

デカドロン錠４ｍｇ　Decadron　採用　Hi

商品名:デカドロン錠４ｍｇ
規格:４ｍｇ１錠　薬価:23.40　製造:日医工　剤型:錠　YJ:2454002F3020　院内コード:202975
成分:デキサメタゾン,
【効】１）．　慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ＡＣＴＨ単独欠損症、下垂体抑制試験。
２）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
３）．　エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）
、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症。
４）．　ネフローゼ及びネフローゼ症候群。
５）．　うっ血性心不全。
６）．　気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤アレルギー・薬剤中毒、その他の化学物質アレルギー・化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。

７）．　重症感染症（化学療法と併用する）。
８）．　溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血。
９）．　限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
１０）．　重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
１１）．　劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎＜難治性＞（活動型慢性肝炎＜難治性＞、急性再燃型慢性肝炎＜難治性＞、胆汁うっ滞型慢性肝炎＜難治性＞、但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続するものに限る）、肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
１２）．　サルコイドーシス＜両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く＞、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
１３）．　肺結核（粟粒結核、重症肺結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心のう炎（抗結核剤と併用する）。
１４）．　脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎。
１５）．　悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移。
１６）．　シスプラチンなどの抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
１７）．　特発性低血糖症。
１８）．　原因不明の発熱。
１９）．　副腎摘除、臓器移植・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲。
２０）．　蛇毒・昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
２１）．　強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
２２）．　卵管整形術後の癒着防止。
２３）．　前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結。
２４）．　＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（＊多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、レイノー病、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡＜重症例に限る＞、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粃糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ。
２５）．　内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
２６）．　急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２７）．　難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
２８）．　嗅覚障害、急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
２９）．　全身性ＡＬアミロイドーシス。
＊：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）〉通常、成人にはデキサメタゾンとして１日４～２０ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
ただし、１日最大２０ｍｇまでとする。
〈全身性ＡＬアミロイドーシス〉他の薬剤との併用において、通常、成人にはデキサメタゾンとして１日４０ｍｇを１、８、１５、２２日目に投与する。２８日を１サイクルとして、最大６サイクルまで投与を繰り返す。
〈前記以外の効能共通〉デキサメタゾンとして、通常成人１日０．５～８ｍｇを１～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

デキサート注射液１．６５ｍｇ【１．６５ｍｇ０．５ｍＬ１管】　Dexart　採用　Hi

<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]デカドロン注射液１．６５ｍｇ

商品名:デキサート注射液１．６５ｍｇ
規格:１．６５ｍｇ０．５ｍＬ１管　薬価:108.00　製造:富士製薬　剤型:注射液　YJ:2454405H1032　院内コード:300890
成分:デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】１）．　静脈内注射：
①．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、特発性低血糖症。
②．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
③．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
④．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
⑤．　心疾患：＊うっ血性心不全。
⑥．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬

疹、中毒疹を含む）、血清病、アナフィラキシーショック。
⑦．　血液疾患：紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因、顆粒球減少症（本態性、続発性）。
⑧．　消化器疾患：＊潰瘍性大腸炎、＊限局性腸炎、＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑨．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
⑩．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
⑪．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
⑫．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）。
⑬．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
⑭．　シスプラチンなどの抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
⑮．　外科疾患：副腎摘除、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）。
⑯．　整形外科疾患：脊髄浮腫。
⑰．　眼科疾患：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑱．　耳鼻咽喉科疾患：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２）．　点滴静脈内注射：
①．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、特発性低血糖症。
②．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
③．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
④．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
⑤．　心疾患：＊うっ血性心不全。
⑥．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病、アナフィラキシーショック。
⑦．　血液疾患：紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因、顆粒球減少症（本態性、続発性）。
⑧．　消化器疾患：＊潰瘍性大腸炎、＊限局性腸炎、＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑨．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
⑩．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
⑪．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
⑫．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）。
⑬．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
⑭．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：多発性骨髄腫。
⑮．　シスプラチンなどの抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
⑯．　外科疾患：副腎摘除。
⑰．　皮膚科疾患：＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊※乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊※紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
⑱．　耳鼻咽喉科疾患：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
３）．　筋肉内注射：
①．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、＊副腎性器症候群、＊亜急性甲状腺炎、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、＊甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、＊特発性低血糖症。
②．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
③．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、＊強皮症。
④．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
⑤．　心疾患：＊うっ血性心不全。
⑥．　アレルギー性疾患：気管支喘息（但し、筋肉内注射以外の投与法では不適当な場合に限る）、＊喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊血清病。
⑦．　血液疾患：＊紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、＊溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、＊白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、＊再生不良性貧血、＊凝固因子の障害による出血性素因、＊顆粒球減少症（本態性、続発性）。
⑧．　消化器疾患：＊潰瘍性大腸炎、＊限局性腸炎、＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑨．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬

変）。
⑩．　重症感染症：＊重症感染症（化学療法と併用する）。
⑪．　神経疾患：＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、＊重症筋無力症、＊多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。
⑫．　悪性腫瘍：＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。
⑬．　外科疾患：副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
⑭．　産婦人科疾患：＊卵管整形術後の癒着防止。
⑮．　泌尿器科疾患：＊前立腺癌（他の療法が無効な場合）、＊陰茎硬結。
⑯．　皮膚科疾患：＊※湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊※痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊※乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊※掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊※扁平苔癬＜重症例に限る＞、＊成年性浮腫性硬化症、＊紅斑症（※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊※紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、＊新生児スクレレーマ。
⑰．　眼科疾患：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑱．　耳鼻咽喉科疾患：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
４）．　関節腔内注射：
リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎。
５）．　軟組織内注射：
①．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）
、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
②．　耳鼻咽喉科疾患：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
③．　歯科・口腔外科疾患：難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）
。
６）．　腱鞘内注射：
リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
７）．　滑液嚢内注入：
リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
８）．　硬膜外注射：
整形外科疾患：椎間板ヘルニアにおける神経根炎（根性坐骨神経痛を含む）、脊髄浮腫。
９）．　脊髄腔内注入：
①．　血液疾患：白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）のうち髄膜白血病。
②．　結核性疾患：結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）。
③．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）。
④．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）。
１０）．　胸腔内注入：
結核性疾患：結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）。
１１）．　腹腔内注入：
外科疾患：手術後の腹膜癒着防止。
１２）．　局所皮内注射：
①．　泌尿器科疾患：陰茎硬結。
②．　皮膚科疾患：※湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与せず、局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、※痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、乾癬及び類症［※尋常性乾癬］、※扁平苔癬＜重症例に限る＞、※円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、※早期ケロイド及び※ケロイド防止。
③．　耳鼻咽喉科疾患：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１３）．　卵管腔内注入：
産婦人科疾患：卵管整形術後の癒着防止。
１４）．　注腸：
消化器疾患：潰瘍性大腸炎、限局性腸炎。
１５）．　結膜下注射：

眼科疾患：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
、眼科領域の術後炎症。
１６）．　球後注射：
眼科疾患：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
。
１７）．　点眼：
眼科疾患：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
１８）．　ネブライザー：
①．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）。
②．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
③．　外科疾患：侵襲後肺水腫。
④．　耳鼻咽喉科疾患：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）
、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１９）．　鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科疾患：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２０）．　副鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科疾患：副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２１）．　鼻甲介内注射：
耳鼻咽喉科疾患：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２２）．　鼻茸内注射：
耳鼻咽喉科疾患：副鼻腔炎・鼻茸。
２３）．　喉頭・気管注入：
耳鼻咽喉科疾患：進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２４）．　中耳腔内注入：
耳鼻咽喉科疾患：急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２５）．　耳管内注入：
耳鼻咽喉科疾患：滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
２６）．　食道注入：
耳鼻咽喉科疾患：食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
＊印：次記の場合にのみ用いること。
１）．　静脈内注射及び点滴静脈内注射経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時。
２）．　筋肉内注射経口投与不能時。
※印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合のみに用いること。
【用】通常、成人に対する用法・用量は次の通りである。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
１）．　静脈内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～６．６mg、３～６時間毎。
２）．　点滴静脈内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～８．３mg、１日１～２回。
３）．　筋肉内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～６．６mg、３～６時間毎。
４）．　関節腔内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
５）．　軟組織内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～５．０mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
６）．　腱鞘内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～２．１mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
７）．　滑液嚢内注入：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
８）．　硬膜外注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～８．３mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
９）．　脊髄腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．８３～４．１mg、週１～３回。
１０）．　胸腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．８３～４．１mg、週１～３回。
１１）．　腹腔内注入：デキサメタゾンとして１回１．６５mg。
１２）．　局所皮内注射：デキサメタゾンとして１回０．０４～０．０８mg宛０．８３mgまで、週１回。
１３）．　卵管腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．３３～０．８３mg。
１４）．　注腸：デキサメタゾンとして１回０．３３～５．０mg。
１５）．　結膜下注射：デキサメタゾンとして１回０．３３～２．１mg、その際の液量は０．２～０．５mLとする。
１６）．　球後注射：デキサメタゾンとして１回０．８３～４．１mg、その際の液量は０．５～１．０mLとする。
１７）．　点眼：デキサメタゾンとして１回０．２１～０．８３mg／mL溶液１～２滴、１日３～８回。
１８）．　ネブライザー：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
１９）．　鼻腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２０）．　副鼻腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２１）．　鼻甲介内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg。
２２）．　鼻茸内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg。
２３）．　喉頭・気管注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２４）．　中耳腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２５）．　耳管内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。

２６）．　食道注入：デキサメタゾンとして１回０．８３～１．６５ｍｇ。
〈多発性骨髄腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉点滴静脈内注射：ビンクリスチン硫酸塩、ドキソルビシン塩酸塩との併用において、デキサメタゾンの投与量及び投与法は、通常１日量デキサメタゾンを３３ｍｇとし、２１日から２８日を１クールとして、第１日目から第４日目、第９日目から第１２日目、第１７日目から第２０日目に、投与する。
なお、投与量及び投与日数は、年齢、患者の状態により適宜減ずる。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）〉静脈内注射、点滴静脈内注射：通常、成人にはデキサメタゾンとして１日３．３～１６．５ｍｇを、１日１回又は２回に分割して投与する。
ただし、１日最大１６．５ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

デキサート注射液６．６ｍｇ 【６．６ｍｇ２ｍＬ１瓶】

Dexart　採用　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]デカドロン注射液６．６ｍｇ

商品名:デキサート注射液６．６ｍｇ
規格:６．６ｍｇ２ｍＬ１瓶　薬価:197.00　製造:富士製薬　剤型:注射液　YJ:2454405H5038　院内コード:300891
成分:デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】１）．　静脈内注射：
①．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、特発性低血糖症。
②．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
③．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
④．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
⑤．　心疾患：＊うっ血性心不全。
⑥．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病、アナフィラキシーショック。
⑦．　血液疾患：紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因、顆粒球減少症（本態性、続発性）。
⑧．　消化器疾患：＊潰瘍性大腸炎、＊限局性腸炎、＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑨．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
⑩．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
⑪．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
⑫．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）。
⑬．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
⑭．　シスプラチンなどの抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
⑮．　外科疾患：副腎摘除、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）。
⑯．　整形外科疾患：脊髄浮腫。
⑰．　眼科疾患：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑱．　耳鼻咽喉科疾患：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２）．　点滴静脈内注射：
①．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、特発性低血糖症。
②．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
③．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
④．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
⑤．　心疾患：＊うっ血性心不全。
⑥．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病、アナフィラキシーショック。
⑦．　血液疾患：紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因、顆粒球減少症（本態性、続発性）。
⑧．　消化器疾患：＊潰瘍性大腸炎、＊限局性腸炎、＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑨．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
⑩．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
⑪．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
⑫．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）。
⑬．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
⑭．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：多発性骨髄腫。
⑮．　シスプラチンなどの抗悪性腫瘍剤投与に伴う消化器症状＜悪心・嘔吐＞。
⑯．　外科疾患：副腎摘除。
⑰．　皮膚科疾患：＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊※乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、

Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊※紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
⑱．　耳鼻咽喉科疾患：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
３）．　筋肉内注射：
①．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、＊副腎性器症候群、＊亜急性甲状腺炎、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、＊甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、＊特発性低血糖症。
②．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
③．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、＊強皮症。
④．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
⑤．　心疾患：＊うっ血性心不全。
⑥．　アレルギー性疾患：気管支喘息（但し、筋肉内注射以外の投与法では不適当な場合に限る）、＊喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊血清病。
⑦．　血液疾患：＊紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、＊溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、＊白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、＊再生不良性貧血、＊凝固因子の障害による出血性素因、＊顆粒球減少症（本態性、続発性）。
⑧．　消化器疾患：＊潰瘍性大腸炎、＊限局性腸炎、＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑨．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
⑩．　重症感染症：＊重症感染症（化学療法と併用する）。
⑪．　神経疾患：＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、＊重症筋無力症、＊多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。
⑫．　悪性腫瘍：＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。
⑬．　外科疾患：副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫さされを含む）。
⑭．　産婦人科疾患：＊卵管整形術後の癒着防止。
⑮．　泌尿器科疾患：＊前立腺癌（他の療法が無効な場合）、＊陰茎硬結。
⑯．　皮膚科疾患：＊※湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊※痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊※乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊※掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊※扁平苔癬＜重症例に限る＞、＊成年性浮腫性硬化症、＊紅斑症（※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊※紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、＊新生児スクレレーマ。
⑰．　眼科疾患：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑱．　耳鼻咽喉科疾患：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
４）．　関節腔内注射：
リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎。
５）．　軟組織内注射：
①．　リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）
、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
②．　耳鼻咽喉科疾患：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
③．　歯科・口腔外科疾患：難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）
。
６）．　腱鞘内注射：
リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
７）．　滑液嚢内注入：
リウマチ性疾患、結合織炎及び関節炎：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
８）．　硬膜外注射：
整形外科疾患：椎間板ヘルニアにおける神経根炎（根性坐骨神経痛を含む）、脊髄浮腫。
９）．　脊髄腔内注入：
①．　血液疾患：白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）のうち髄膜白血病。

②．　結核性疾患：結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）。
③．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）。
④．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）。
１０）．　胸腔内注入：
結核性疾患：結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）。
１１）．　腹腔内注入：
外科疾患：手術後の腹膜癒着防止。
１２）．　局所皮内注射：
①．　泌尿器科疾患：陰茎硬結。
②．　皮膚科疾患：※湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与せず、局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、※痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、乾癬及び類症［※尋常性乾癬］、※扁平苔癬＜重症例に限る＞、※円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、※早期ケロイド及び※ケロイド防止。
③．　耳鼻咽喉科疾患：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１３）．　卵管腔内注入：
産婦人科疾患：卵管整形術後の癒着防止。
１４）．　注腸：
消化器疾患：潰瘍性大腸炎、限局性腸炎。
１５）．　結膜下注射：
眼科疾患：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
、眼科領域の術後炎症。
１６）．　球後注射：
眼科疾患：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
。
１７）．　点眼：
眼科疾患：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
１８）．　ネブライザー：
①．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）。
②．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
③．　外科疾患：侵襲後肺水腫。
④．　耳鼻咽喉科疾患：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）
、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１９）．　鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科疾患：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２０）．　副鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科疾患：副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２１）．　鼻甲介内注射：
耳鼻咽喉科疾患：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２２）．　鼻茸内注射：
耳鼻咽喉科疾患：副鼻腔炎・鼻茸。
２３）．　喉頭・気管注入：
耳鼻咽喉科疾患：進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２４）．　中耳腔内注入：
耳鼻咽喉科疾患：急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２５）．　耳管内注入：
耳鼻咽喉科疾患：滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
２６）．　食道注入：
耳鼻咽喉科疾患：食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
＊印：次記の場合にのみ用いること。
１）．　静脈内注射及び点滴静脈内注射経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時。
２）．　筋肉内注射経口投与不能時。
※印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合のみに用いること。
【用】通常、成人に対する用法・用量は次の通りである。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
１）．　静脈内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～６．６ｍｇ、３～６時間毎。
２）．　点滴静脈内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～８．３ｍｇ、１日１～２回。
３）．　筋肉内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～６．６ｍｇ、３～６時間毎。

４）．　関節腔内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
５）．　軟組織内注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～５．０mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
６）．　腱鞘内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～２．１mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
７）．　滑液嚢内注入：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
８）．　硬膜外注射：デキサメタゾンとして１回１．６５～８．３mg、原則として投与間隔を２週間以上とすること。
９）．　脊髄腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．８３～４．１mg、週１～３回。
１０）．　胸腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．８３～４．１mg、週１～３回。
１１）．　腹腔内注入：デキサメタゾンとして１回１．６５mg。
１２）．　局所皮内注射：デキサメタゾンとして１回０．０４～０．０８mg宛０．８３mgまで、週１回。
１３）．　卵管腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．３３～０．８３mg。
１４）．　注腸：デキサメタゾンとして１回０．３３～５．０mg。
１５）．　結膜下注射：デキサメタゾンとして１回０．３３～２．１mg、その際の液量は０．２～０．５mLとする。
１６）．　球後注射：デキサメタゾンとして１回０．８３～４．１mg、その際の液量は０．５～１．０mLとする。
１７）．　点眼：デキサメタゾンとして１回０．２１～０．８３mg／mL溶液１～２滴、１日３～８回。
１８）．　ネブライザー：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
１９）．　鼻腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２０）．　副鼻腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２１）．　鼻甲介内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg。
２２）．　鼻茸内注射：デキサメタゾンとして１回０．６６～４．１mg。
２３）．　喉頭・気管注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２４）．　中耳腔内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２５）．　耳管内注入：デキサメタゾンとして１回０．０８～１．６５mg、１日１～３回。
２６）．　食道注入：デキサメタゾンとして１回０．８３～１．６５mg。
〈多発性骨髄腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉点滴静脈内注射：ビンクリスチン硫酸塩、ドキソルビシン塩酸塩との併用において、デキサメタゾンの投与量及び投与法は、通常１日量デキサメタゾンを３３mgとし、２１日から２８日を１クールとして、第１日目から第４日目、第９日目から第１２日目、第１７日目から第２０日目に、投与する。
なお、投与量及び投与日数は、年齢、患者の状態により適宜減ずる。
〈抗悪性腫瘍剤（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）〉静脈内注射、点滴静脈内注射：通常、成人にはデキサメタゾンとして１日３．３～１６．５mgを、１日１回又は２回に分割して投与する。
ただし、１日最大１６．５mgまでとする。
【保管】室温保存。

リンデロン懸濁注２．５mg　Rinderon　採用　Hi

商品名:リンデロン懸濁注
規格:２．５mg１管　薬価:207.00　製造:シオノギファーマ　剤型:懸濁注射液　YJ:2454408C1020　院内コード:300268
成分:ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム,ベタメタゾン酢酸エステル,
【効】１）．　筋肉内注射：アレルギー性鼻炎。
２）．　関節腔内注射：関節リウマチ、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎。
３）．　軟組織内注射：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
４）．　腱鞘内注射：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
５）．　滑液嚢内注入：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
６）．　局所皮内注射：＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、＊早期ケロイド及び＊ケロイド防止。
７）．　鼻腔内注入：アレルギー性鼻炎。
８）．　鼻甲介内注射：アレルギー性鼻炎。
＊印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】１）．　筋肉内注射：通常、１回０．２～１．０mLを筋肉内注射する。症状により３～４時間ごとに同量を繰り返し投与する。
２）．　関節腔内注射：通常、１回０．１～１．５mLを関節腔内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。なお、症状あるいは注入関節の大小に応じて適宜増減する。
３）．　軟組織内注射：通常、１回０．１～１．５mLを軟組織内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。なお、症状あるいは注入部位により適宜増減する。
４）．　腱鞘内注射：通常、１回０．１～１．５mLを腱鞘内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。なお、症状あるいは注入部位により適宜増減する。
５）．　滑液嚢内注入：通常、１回０．１～１．５mLを滑液嚢内注入する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。なお、症状あるいは注入部位により適宜増減する。
６）．　局所皮内注射：必要があれば本剤を生理食塩液で２～６倍に希釈し、通常、１回０．１～０．２mLを局所皮内注射する。
７）．　鼻腔内注入：通常、１回１．０～３．０mLを１日１～数回鼻腔内注入する。
８）．　鼻甲介内注射：通常、１回０．１～１．５mLを鼻甲介内注射する。
【保管】凍結を避け冷所保存。

リンデロン注２mg（０．４%）　Rinderon　採用

商品名:リンデロン注２mg（０．４%）
規格:２mg１管　薬価:166.00　製造:シオノギファーマ　剤型:注射液　YJ:2454404A1064　院内コード:300083
成分:ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム,
【効】＊印の付されている投与法は次のような条件でのみ使用できる（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること）。
（１）．　静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時。
（２）．　筋肉内注射：経口投与不能時。

１）．　静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　リウマチ疾患：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
ｃ．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。
ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
ｇ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｈ．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。
ｋ．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
ｌ．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｍ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
ｎ．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
ｏ．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症。
②．　外科領域：副腎摘除、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）。
③．　眼科領域：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
④．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。
２）．　点滴静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　リウマチ疾患：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
ｃ．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。
ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
ｇ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｈ．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。
ｋ．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊胆汁うっ滞型急性肝炎。
ｌ．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｍ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
ｎ．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
ｏ．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症。
②．　外科領域：副腎摘除。
③．　皮膚科領域：
※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、＊ウェーバークリスチャン病、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
④．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。
３）．　筋肉内注射：
①．　内科・小児科領域：

ａ．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、＊副腎性器症候群、＊亜急性甲状腺炎、＊甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
ｃ．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、＊強皮症。
ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。
ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投与法では不適当な場合に限る）、＊喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊血清病。
ｇ．　重症感染症：＊重症感染症（化学療法と併用する）。
ｈ．　血液疾患：＊溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、＊白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、＊顆粒球減少症（本態性、続発性）、＊紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、＊再生不良性貧血、＊凝固因子の障害による出血性素因。
ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。
ｋ．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊胆汁うっ滞型急性肝炎、＊肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）
。
ｌ．　神経疾患：＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊重症筋無力症、＊多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。
ｍ．　悪性腫瘍：＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。
ｎ．　その他の内科的疾患：＊特発性低血糖症、＊原因不明の発熱。
②．　外科領域：副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
③．　整形外科領域：強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
④．　産婦人科領域：＊卵管整形術後の癒着防止、＊副腎皮質機能障害による排卵障害、早産が予期される場合における、母体投与による胎児肺成熟を介した新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制。
⑤．　泌尿器科領域：＊前立腺癌（他の療法が無効な場合）、＊陰茎硬結。
⑥．　皮膚科領域：
※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
※＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、※＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、※＊類乾癬＜重症例に限る＞、※＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、※＊毛孔性紅色粃糠疹＜重症例に限る＞、＊成年性浮腫性硬化症、＊紅斑症［※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑］、＊レイノー病、＊先天性表皮水疱症、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊顔面播種状粟粒性狼瘡＜重症例に限る＞、＊潰瘍性慢性膿皮症、＊新生児スクレレーマ、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、＊ウェーバークリスチャン病、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
⑦．　眼科領域：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑧．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。
４）．　関節腔内注射：
①．　内科・小児科領域：
リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）。
②．　整形外科領域：強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎。
５）．　軟組織内注射：
①．　整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）。
②．　耳鼻咽喉科領域：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
６）．　腱鞘内注射：
整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）。
７）．　滑液嚢内注入：
整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
８）．　脊髄腔内注入：
内科・小児科領域：

①．　血液疾患：髄膜白血病。
②．　結核性疾患（抗結核剤と併用する）：結核性髄膜炎。
③．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
④．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）。
９）．　胸腔内注入：
内科・小児科領域：
結核性疾患（抗結核剤と併用する）：結核性胸膜炎。
１０）．　卵管腔内注入：
産婦人科領域：卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法、卵管整形術後の癒着防止。
１１）．　注腸：
内科・小児科領域：
消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
１２）．　結膜下注射：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
、眼科領域の術後炎症。
１３）．　球後注射：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
。
１４）．　点眼：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
１５）．　ネブライザー：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）。
ｂ．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
②．　外科領域：侵襲後肺水腫。
③．　耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）
、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害。
１６）．　鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害。
１７）．　副鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１８）．　鼻甲介内注射：
耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１９）．　鼻茸内注射：
耳鼻咽喉科領域：副鼻腔炎・鼻茸。
２０）．　喉頭・気管注入：
耳鼻咽喉科領域：進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２１）．　中耳腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２２）．　耳管内注入：
耳鼻咽喉科領域：滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
２３）．　食道注入：
耳鼻咽喉科領域：食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２４）．　唾液腺管内注入：
耳鼻咽喉科領域：急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
【用】〈静脈内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回２～８ｍｇを３～６時間毎に静脈内注射する。
〈点滴静脈内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回２～１０ｍｇを１日１～２回点滴静脈内注射する。
〈筋肉内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回２～８ｍｇを３～６時間毎に筋肉内注射する。
母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制に用いる場合、早産が予期される妊娠３４週までの妊婦に対し、ベタメタゾンとして１回１２ｍｇを２４時間毎に計２回、筋肉内注射する。
〈関節腔内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを関節腔内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈軟組織内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを軟組織内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈腱鞘内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを腱鞘内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈滑液嚢内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを滑液嚢内注入する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈脊髄腔内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを週１～３回脊髄腔内注入する。
〈胸腔内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを週１～３回胸腔内注入する。
〈卵管腔内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．４～１ｍｇを卵管腔内注入する。
〈注腸〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．４～６ｍｇを直腸内注入する。
〈結膜下注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．４～２ｍｇを結膜下注射する。その際の液量は０．２～０．５ｍＬとする。

〈球後注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．８～４ｍｇを球後注射する。その際の液量は０．５～１．０ｍＬとする。
〈点眼〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．２５～１ｍｇ／ｍＬ溶液１～２滴を１日３～８回点眼する。
〈ネブライザー〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．１～２ｍｇを１日１～３回ネブライザーで投与する。
〈鼻腔内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．１～２ｍｇを１日１～３回鼻腔内注入する。
〈副鼻腔内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．１～２ｍｇを１日１～３回副鼻腔内注入する。
〈鼻甲介内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを鼻甲介内注射する。
〈鼻茸内注射〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～５ｍｇを鼻茸内注射する。
〈喉頭・気管注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．１～２ｍｇを１日１～３回喉頭あるいは気管注入する。
〈中耳腔内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．１～２ｍｇを１日１～３回中耳腔内注入する。
〈耳管内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．１～２ｍｇを１日１～３回耳管内注入する。
〈食道注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回１～２ｍｇを食道注入する。
〈唾液腺管内注入〉通常、成人にはベタメタゾンとして１回０．５～１ｍｇを唾液腺管内注入する。
なお、前記用量は年齢、症状により適宜増減する（母体投与による新生児呼吸窮迫症候群の発症抑制を除く）。
【保管】２～８℃で保存。

ｹﾅｺﾙﾄ-A筋注用関節腔内用水懸注40mg　Kenacort-A　採用　Hi

商品名:ケナコルト－Ａ筋注用関節腔内用水懸注
４０ｍｇ／１ｍＬ
規格:４０ｍｇ１ｍＬ１瓶　薬価:769.00　製造:ＢＭＳ　剤型:注射液　YJ:2454402A3033　院内コード:300265
成分:トリアムシノロンアセトニド,
【効】〈筋肉内注射〉１）．　慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、＊副腎性器症候群、＊亜急性甲状腺炎、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
２）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
３）．　エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）
、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、＊強皮症。
４）．　＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
５）．　＊うっ血性心不全。
６）．　気管支喘息（但し、筋肉内注射以外の投与法では不適当な場合に限る）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊血清病。
７）．　＊重症感染症（化学療法と併用する）。
８）．　＊溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、＊白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）
、＊顆粒球減少症（本態性、続発性）、＊紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、＊再生不良性貧血、＊凝固因子の障害による出血性素因。
９）．　＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
１０）．　＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
１１）．　＊肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
１２）．　＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、＊重症筋無力症、＊多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。
１３）．　＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。
１４）．　＊特発性低血糖症。
１５）．　副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲。
１６）．　＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
１７）．　強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
１８）．　＊卵管整形術後の癒着防止。
１９）．　＊前立腺癌（他の療法が無効な場合）。
２０）．　※＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、※＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、※＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、※＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、＊成年性浮腫性硬化症、＊紅斑症（※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）。
２１）．　＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）。
２２）．　＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、＊食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２３）．　口腔外科領域手術後の後療法。
〈関節腔内注射〉１）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）。
２）．　強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎。
〈軟組織内注射〉１）．　関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。

２）．　耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
３）．　難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
〈腱鞘内注射〉関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
〈滑液嚢内注入〉関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
〈ネブライザー〉１）．　気管支喘息。
２）．　びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
３）．　アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈鼻腔内注入〉アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈副鼻腔内注入〉副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈鼻甲介内注射〉アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈鼻茸内注射〉副鼻腔炎・鼻茸。
〈喉頭・気管注入〉喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈中耳腔内注入〉急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈耳管内注入〉滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
〈食道注入〉食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
＊印：経口投与不能時にのみ用いること。
※印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】〈筋肉内注射〉通常、成人にはトリアムシノロンアセトニドとして１回２０～８０ｍｇを１～２週おきに筋肉内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈関節腔内注射、軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〉通常、成人にはトリアムシノロンアセトニドとして１回２～４０ｍｇを関節腔内注射、軟組織内注射、腱鞘内注射又は滑液嚢内注入する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈ネブライザー〉通常、成人にはトリアムシノロンアセトニドとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回ネブライザーで投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、耳管内注入〉通常、成人にはトリアムシノロンアセトニドとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭あるいは気管注入、中耳腔内注入又は耳管内注入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈鼻甲介内注射、鼻茸内注射〉通常、成人にはトリアムシノロンアセトニドとして１回２～４０ｍｇを鼻甲介内注射又は鼻茸内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈食道注入〉通常、成人にはトリアムシノロンアセトニドとして１回２ｍｇを食道注入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ケナコルト-A皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL　Kenacort-A　採用　Hi

商品名:ケナコルト－Ａ皮内用関節腔内用水懸注
５０ｍｇ／５ｍＬ
規格:１０ｍｇ１ｍＬバイアル　薬価:197.00　製造:ＢＭＳ　剤型:注射液　YJ:2454402A2037　院内コード:300633
成分:トリアムシノロンアセトニド,
【効】〈関節腔内注射〉１）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）。
２）．　強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎。
〈軟組織内注射〉１）．　関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
２）．　耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
３）．　難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
〈腱鞘内注射〉関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）。
〈滑液嚢内注入〉関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
〈局所皮内注射〉１）．　＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）、（但し、重症例以外は極力投与せず、局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞を含む）、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬（重症例）、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］のうち尋常性乾癬、＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、限局性強皮症、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、＊早期ケロイド及び＊ケロイド防止。
２）．　耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈ネブライザー〉１）．　気管支喘息。
２）．　びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
３）．　アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈鼻腔内注入〉アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈副鼻腔内注入〉副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈鼻甲介内注射〉アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈鼻茸内注射〉副鼻腔炎・鼻茸。
〈喉頭・気管注入〉喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈中耳腔内注入〉急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
〈耳管内注入〉滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
〈食道注入〉食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
＊印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】〈関節腔内注射、軟組織内注射、腱鞘内注射、滑液嚢内注入〉トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人１回２～４０ｍｇを関節腔内注

射、軟組織内注射、腱鞘内注射又は滑液嚢内注入する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈局所皮内注射〉トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人１回０．２～１ｍｇ宛１０ｍｇまでを週１回局所皮内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈ネブライザー〉トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人１回２～１０ｍｇを１日１～３回ネブライザーで投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・気管注入、中耳腔内注入、耳管内注入〉トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人１回２～１０ｍｇを１日１～３回鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭あるいは気管注入、中耳腔内注入又は耳管内注入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈鼻甲介内注射、鼻茸内注射〉トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人１回２～４０ｍｇを鼻甲介内注射又は鼻茸内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈食道注入〉トリアムシノロンアセトニドとして、通常成人１回２ｍｇを食道注入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2456: プレドニゾロン系製剤

ソル・メドロール静注用１０００ｍｇ Solu-medrol 採用 Hi <先発品（後発品なし）>

商品名:ソル・メドロール静注用１０００ｍｇ
規格:１ｇ１瓶（溶解液付）　薬価:2782.00　製造:ファイザー　剤型:注射用　YJ:2456400D4074　院内コード:300088
成分:メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム,
【効】１）．　急性循環不全（出血性ショック、感染性ショック）。
２）．　腎臓移植に伴う免疫反応の抑制。
３）．　受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）における神経機能障害の改善。
４）．　ネフローゼ症候群。
５）．　多発性硬化症の急性増悪。
６）．　治療抵抗性の次記リウマチ性疾患：治療抵抗性全身性血管炎（治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎等）、治療抵抗性全身性エリテマトーデス、治療抵抗性多発性筋炎、治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性混合性結合組織病、及び治療抵抗性難治性リウマチ性疾患。
７）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
【用】〈急性循環不全〉出血性ショック通常、メチルプレドニゾロンとして１回１２５～２０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、適宜追加投与する。
感染性ショック通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１回１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、１０００ｍｇを追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈腎臓移植に伴う免疫反応の抑制〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日４０～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）
における神経機能障害の改善〉受傷後８時間以内に、メチルプレドニゾロンとして３０ｍｇ／ｋｇを１５分間かけて点滴静注し、その後４５分間休薬し、５．４ｍｇ／ｋｇ／時間を２３時間点滴静注する。
〈ネフローゼ症候群〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を緩徐に静注又は点滴静注する。
〈多発性硬化症の急性増悪〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
〈治療抵抗性のリウマチ性疾患〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、症状や患者の反応に応じて適宜増減するが、１日１０００ｍｇを超えないこと。
〈川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）〉通常、メチルプレドニゾロンとして１日１回３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を、患者の状態に応じて１～３日間点滴静注する。
【保管】室温保存。

ソル・メドロール静注用１２５ｍｇ Solu-medrol 採用 Hi <先発品（後発品なし）>

商品名:ソル・メドロール静注用１２５ｍｇ
規格:１２５ｍｇ１瓶（溶解液付）　薬価:593.00　製造:ファイザー　剤型:注射用　YJ:2456400D2098　院内コード:300086
成分:メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム,
【効】１）．　急性循環不全（出血性ショック、感染性ショック）。
２）．　腎臓移植に伴う免疫反応の抑制。
３）．　受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）における神経機能障害の改善。
４）．　ネフローゼ症候群。
５）．　多発性硬化症の急性増悪。
６）．　治療抵抗性の次記リウマチ性疾患：治療抵抗性全身性血管炎（治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎等）、治療抵抗性全身性エリテマトーデス、治療抵抗性多発性筋炎、治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性混合性結合組織病、及び治療抵抗性難治性リウマチ性疾患。
７）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
８）．　気管支喘息。
９）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：再発又は難治性の悪性リンパ腫。
【用】〈急性循環不全〉出血性ショック通常、メチルプレドニゾロンとして１回１２５～２０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、適宜追加投与する。
感染性ショック通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１回１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、

１０００ｍｇを追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈腎臓移植に伴う免疫反応の抑制〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日４０～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）
における神経機能障害の改善〉受傷後８時間以内に、メチルプレドニゾロンとして３０ｍｇ／ｋｇを１５分間かけて点滴静注し、その後４５分間休薬し、５．４ｍｇ／ｋｇ／時間を２３時間点滴静注する。
〈ネフローゼ症候群〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を緩徐に静注又は点滴静注する。
〈多発性硬化症の急性増悪〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
〈治療抵抗性のリウマチ性疾患〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、症状や患者の反応に応じて適宜増減するが、１日１０００ｍｇを超えないこと。
〈川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）〉通常、メチルプレドニゾロンとして１日１回３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を、患者の状態に応じて１～３日間点滴静注する。
〈気管支喘息〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして初回量４０～１２５ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。その後、症状に応じて、４０～８０ｍｇを４～６時間ごとに緩徐に追加投与する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１．０～１．５ｍｇ／ｋｇを緩徐に静注又は点滴静注する。その後、症状に応じて、１．０～１．５ｍｇ／ｋｇを４～６時間ごとに緩徐に追加投与する。
〈再発又は難治性の悪性リンパ腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、本剤の投与量及び投与方法はメチルプレドニゾロンとして２５０～５００ｍｇを１日１回５日間、緩徐に静注又は点滴静注する。これを１コースとして、３～４週ごとに繰り返す。
【保管】室温保存。

ソル・メドロール静注用４０ｍｇ　Solu-medrol　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ソル・メドロール静注用４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１瓶（溶解液付）　薬価:270.00　製造:ファイザー　剤型:注射用　YJ:2456400D1067　院内コード:300085
成分:メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム,
【効】１）．　急性循環不全（出血性ショック、感染性ショック）。
２）．　腎臓移植に伴う免疫反応の抑制。
３）．　受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）における神経機能障害の改善。
４）．　ネフローゼ症候群。
５）．　多発性硬化症の急性増悪。
６）．　治療抵抗性の次記リウマチ性疾患：治療抵抗性全身性血管炎（治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎等）、治療抵抗性全身性エリテマトーデス、治療抵抗性多発性筋炎、治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性混合性結合組織病、及び治療抵抗性難治性リウマチ性疾患。
７）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
８）．　気管支喘息。
９）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：再発又は難治性の悪性リンパ腫。
【用】〈急性循環不全〉出血性ショック通常、メチルプレドニゾロンとして１回１２５～２０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、適宜追加投与する。
感染性ショック通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１回１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、１０００ｍｇを追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈腎臓移植に伴う免疫反応の抑制〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日４０～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）
における神経機能障害の改善〉受傷後８時間以内に、メチルプレドニゾロンとして３０ｍｇ／ｋｇを１５分間かけて点滴静注し、その後４５分間休薬し、５．４ｍｇ／ｋｇ／時間を２３時間点滴静注する。
〈ネフローゼ症候群〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を緩徐に静注又は点滴静注する。
〈多発性硬化症の急性増悪〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
〈治療抵抗性のリウマチ性疾患〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、症状や患者の反応に応じて適宜増減するが、１日１０００ｍｇを超えないこと。
〈川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）〉通常、メチルプレドニゾロンとして１日１回３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を、患者の状態に応じて１～３日間点滴静注する。
〈気管支喘息〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして初回量４０～１２５ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。その後、症状に応じて、４０～８０ｍｇを４～６時間ごとに緩徐に追加投与する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１．０～１．５ｍｇ／ｋｇを緩徐に静注又は点滴静注する。その後、症状に応じて、１．０～１．５ｍｇ／ｋｇを４～６時間ごとに緩徐に追加投与する。
〈再発又は難治性の悪性リンパ腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、本剤の投与量及び投与方法はメチルプレドニゾロンとして２５０～５００ｍｇを１日１回５日間、緩徐に静注又は点滴静注する。これを１コースとして、３～４週ごとに繰り返す。
【保管】室温保存。

ソル・メドロール静注用５００ｍｇ　Solu-medrol　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ソル・メドロール静注用５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１瓶（溶解液　薬価:1610.00　製造:ファイザー　剤型:注射用　YJ:2456400D3094　院内コード:300087

付）
成分:メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム,
【効】１）．　急性循環不全（出血性ショック、感染性ショック）。
２）．　腎臓移植に伴う免疫反応の抑制。
３）．　受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）における神経機能障害の改善。
４）．　ネフローゼ症候群。
５）．　多発性硬化症の急性増悪。
６）．　治療抵抗性の次記リウマチ性疾患：治療抵抗性全身性血管炎（治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎等）、治療抵抗性全身性エリテマトーデス、治療抵抗性多発性筋炎、治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性混合性結合組織病、及び治療抵抗性難治性リウマチ性疾患。
７）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
８）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：再発又は難治性の悪性リンパ腫。
【用】〈急性循環不全〉出血性ショック通常、メチルプレドニゾロンとして１回１２５～２０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、適宜追加投与する。
感染性ショック通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１回１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。症状が改善しない場合には、１０００ｍｇを追加投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈腎臓移植に伴う免疫反応の抑制〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日４０～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈受傷後８時間以内の急性脊髄損傷患者（運動機能障害及び感覚機能障害を有する場合）
における神経機能障害の改善〉受傷後８時間以内に、メチルプレドニゾロンとして３０ｍｇ／ｋｇを１５分間かけて点滴静注し、その後４５分間休薬し、５．４ｍｇ／ｋｇ／時間を２３時間点滴静注する。
〈ネフローゼ症候群〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を緩徐に静注又は点滴静注する。
〈多発性硬化症の急性増悪〉通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
〈治療抵抗性のリウマチ性疾患〉・　通常、成人にはメチルプレドニゾロンとして１日５００～１０００ｍｇを緩徐に静注又は点滴静注する。
・　通常、小児にはメチルプレドニゾロンとして１日３０ｍｇ／ｋｇを緩徐に静注又は点滴静注する。なお、症状や患者の反応に応じて適宜増減するが、１日１０００ｍｇを超えないこと。
〈川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）〉通常、メチルプレドニゾロンとして１日１回３０ｍｇ／ｋｇ（最大１０００ｍｇ）を、患者の状態に応じて１～３日間点滴静注する。
〈再発又は難治性の悪性リンパ腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、本剤の投与量及び投与方法はメチルプレドニゾロンとして２５０～５００ｍｇを１日１回５日間、緩徐に静注又は点滴静注する。これを１コースとして、３～４週ごとに繰り返す。
【保管】室温保存。

プレドニゾロン散「タケダ」１％　Prednisolone　採用　Hi

商品名:プレドニゾロン散「タケダ」１％
規格:１％１ｇ　薬価:8.70　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:散　YJ:2456002B1062　院内コード:200015
成分:プレドニゾロン,
【効】１）．　慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ＡＣＴＨ単独欠損症。
２）．　関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
３）．　エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）
、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症。
４）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
５）．　ネフローゼ及びネフローゼ症候群。
６）．　うっ血性心不全。
７）．　気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤アレルギー・薬剤中毒、その他の化学物質アレルギー・化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
８）．　重症感染症（化学療法と併用する）。
９）．　溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
１０）．　限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
１１）．　重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
１２）．　劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎＜難治性＞（活動型慢性肝炎＜難治性＞、急性再燃型慢性肝炎＜難治性＞、胆汁うっ滞型慢性肝炎＜難治性＞、但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続するものに限る）、肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
１３）．　サルコイドーシス＜両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く＞、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
１４）．　肺結核（粟粒結核、重症肺結核に限る）（抗結核剤と併用する）、結核性髄膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性胸膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性腹膜炎（抗結核剤と併用する）、結核性心のう炎（抗結核剤と併用する）。
１５）．　脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎、デュシェンヌ型筋ジストロフィー。
１６）．　悪性リンパ腫及び類似疾患（近縁疾患）、多発性骨髄腫、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移。
１７）．　特発性低血糖症。
１８）．　原因不明の発熱。
１９）．　副腎摘除、臓器移植・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲。

２０）．　蛇毒・昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
２１）．　強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
２２）．　卵管整形術後の癒着防止、副腎皮質機能障害による排卵障害。
２３）．　前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結。
２４）．　＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊毛孔性紅色粃糠疹＜重症例に限る＞、＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（＊多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、レイノー病、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡＜重症例に限る＞、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粃糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ。
２５）．　内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
２６）．　急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
２７）．　嗅覚障害、急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
＊印：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
【用】通常、成人にはプレドニゾロンとして１日５～６０ｍｇを１～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、悪性リンパ腫に用いる場合、抗悪性腫瘍剤との併用において、１日量として１００ｍｇ／㎡（体表面積）まで投与できる。
川崎病の急性期に用いる場合、通常、プレドニゾロンとして１日２ｍｇ／ｋｇ（最大６０ｍｇ）を３回に分割経口投与する。
【保管】室温保存。

プレドニゾロン錠１ｍｇ（旭化成）

Prednisolone ASAHI KASEI　採用　Hi

商品名:プレドニゾロン錠１ｍｇ（旭化成）

規格:１ｍｇ１錠　薬価:8.90　製造:旭化成セラピューティクス　剤型:錠　YJ:2456001F2023　院内コード:200578

成分:プレドニゾロン,
【効】１）．　内科・小児科領域：
４．１．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ＡＣＴＨ単独欠損症。
４．２．　リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
４．３．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症。
４．４．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
４．５．　腎疾患：ネフローゼ及びネフローゼ症候群。
４．６．　心疾患：うっ血性心不全。
４．７．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤アレルギー・薬剤中毒、その他の化学物質アレルギー・化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
４．８．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
４．９．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
４．１０．　消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
４．１１．　重症消耗性疾患：重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
４．１２．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎＜難治性＞（活動型慢性肝炎＜難治性＞、急性再燃型慢性肝炎＜難治性＞、胆汁うっ滞型慢性肝炎＜難治性＞、但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続するものに限る）、肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
４．１３．　肺疾患：サルコイドーシス＜両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く＞、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
４．１４．　結核性疾患（抗結核剤と併用する）：肺結核（粟粒結核、重症肺結核に限る）、結核性髄膜炎、結核性胸膜炎、結核性腹膜炎、結核性心のう炎。
４．１５．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎、デュシェンヌ型筋ジストロフィー。
４．１６．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫及び類似疾患（近縁疾患）、多発性骨髄腫、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移。
４．１７．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症、原因不明の発熱。
２）．　外科領域：
副腎摘除、臓器移植・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
３）．　整形外科領域：
強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。

４）．　産婦人科領域：
卵管整形術後の癒着防止、副腎皮質機能障害による排卵障害。
５）．　泌尿器科領域：
前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結。
６）．　皮膚科領域：
＊印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊毛孔性紅色粃糠疹＜重症例に限る＞、＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（＊多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、レイノー病、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡＜重症例に限る＞、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粃糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ。
７）．　眼科領域：
内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
８）．　耳鼻咽喉科領域：
急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）、嗅覚障害、急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
【用】通常、成人にはプレドニゾロンとして１日５～６０ｍｇを１～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、悪性リンパ腫に用いる場合、抗悪性腫瘍剤との併用において、１日量として１００ｍｇ／㎡（体表面積）まで投与できる。
川崎病の急性期に用いる場合、通常、プレドニゾロンとして１日２ｍｇ／ｋｇ（最大６０ｍｇ）を３回に分割経口投与する。
【保管】室温保存。

プレドニン錠５ｍｇ　Predonine　採用　Hi

商品名:プレドニン錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.50　製造:シオノギファーマ　剤型:錠　YJ:2456001F1310　院内コード:200230
成分:プレドニゾロン,
【効】１）．　内科・小児科領域：
①．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、副腎性器症候群、亜急性甲状腺炎、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］、甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、ＡＣＴＨ単独欠損症。
②．　リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。
③．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、強皮症。
④．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
⑤．　腎疾患：ネフローゼ及びネフローゼ症候群。
⑥．　心疾患：うっ血性心不全。
⑦．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤アレルギー・薬剤中毒、その他の化学物質アレルギー・化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
⑧．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
⑨．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
⑩．　消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
⑪．　重症消耗性疾患：重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）。
⑫．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、胆汁うっ滞型急性肝炎、慢性肝炎＜難治性＞（活動型慢性肝炎＜難治性＞、急性再燃型慢性肝炎＜難治性＞、胆汁うっ滞型慢性肝炎＜難治性＞、但し、一般的治療に反応せず肝機能の著しい異常が持続するものに限る）、肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）。
⑬．　肺疾患：サルコイドーシス＜両側肺門リンパ節腫脹のみの場合を除く＞、びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
⑭．　結核性疾患（抗結核剤と併用する）：肺結核（粟粒結核、重症肺結核に限る）、結核性髄膜炎、結核性胸膜炎、結核性腹膜炎、結核性心のう炎。
⑮．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、筋強直症、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎、デュシェンヌ型筋ジストロフィー。
⑯．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫及び類似疾患（近縁疾患）、多発性骨髄腫、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移。
⑰．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症、原因不明の発熱。
２）．　外科領域：
副腎摘除、臓器移植・組織移植、侵襲後肺水腫、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）。

３）．　整形外科領域：
強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
４）．　産婦人科領域：
卵管整形術後の癒着防止、副腎皮質機能障害による排卵障害。
５）．　泌尿器科領域：
前立腺癌（他の療法が無効な場合）、陰茎硬結。
６）．　皮膚科領域：
＊印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、＊乾癬及び類症［尋常性乾癬＜重症例＞、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群］、＊掌蹠膿疱症＜重症例に限る＞、＊毛孔性紅色粃糠疹＜重症例に限る＞、＊扁平苔癬＜重症例に限る＞、成年性浮腫性硬化症、紅斑症（＊多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、ＩｇＡ血管炎＜重症例に限る＞、ウェーバークリスチャン病、粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、レイノー病、＊円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、先天性表皮水疱症、帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、顔面播種状粟粒性狼瘡＜重症例に限る＞、アレルギー性血管炎及びその類症（急性痘瘡様苔癬状粃糠疹を含む）、潰瘍性慢性膿皮症、新生児スクレレーマ。
７）．　眼科領域：
内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
８）．　耳鼻咽喉科領域：
急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）、嗅覚障害、急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
【用】通常、成人にはプレドニゾロンとして１日５～６０ｍｇを１～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、悪性リンパ腫に用いる場合、抗悪性腫瘍剤との併用において、１日量として１００ｍｇ／㎡（体表面積）まで投与できる。
川崎病の急性期に用いる場合、通常、プレドニゾロンとして１日２ｍｇ／ｋｇ（最大６０ｍｇ）を３回に分割経口投与する。
【保管】室温保存。

水溶性プレドニン１０ｍｇ　Predonine　採用　Hi

商品名:水溶性プレドニン１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１管　薬価:226.00　製造:シオノギファーマ　剤型:注射用　YJ:2456405D1027　院内コード:300089
成分:プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム,
【効】＊印の付されている投与法は次のような条件でのみ使用できる（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること）。
（１）．　静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時。
（２）．　筋肉内注射：経口投与不能時。
１）．　静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　リウマチ疾患：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
ｃ．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
ｄ．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
ｅ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
ｆ．　心疾患：＊うっ血性心不全。
ｇ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
ｈ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｉ．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
ｊ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｋ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。
ｌ．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
ｍ．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｎ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
ｏ．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
ｐ．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症。
②．　外科領域：副腎摘除、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）。
③．　整形外科領域：脊髄浮腫。

④．　眼科領域：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。

⑤．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。

２）．　点滴静脈内注射：

①．　内科・小児科領域：

ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。

ｂ．　リウマチ疾患：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。

ｃ．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。

ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。

ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。

ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。

ｇ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。

ｈ．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。

ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。

ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。

ｋ．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊胆汁うっ滞型急性肝炎。

ｌ．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。

ｍ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。

ｎ．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。

ｏ．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症。

②．　外科領域：副腎摘除。

③．　皮膚科領域：

※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。

＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症（乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、※＊尋常性乾癬＜重症例＞。

④．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。

３）．　筋肉内注射：

①．　内科・小児科領域：

ａ．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、＊副腎性器症候群、＊亜急性甲状腺炎、＊甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、＊ＡＣＴＨ単独欠損症、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。

ｂ．　リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。

ｃ．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、＊強皮症。

ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。

ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。

ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投与法では不適当な場合に限る）、＊喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊血清病。

ｇ．　重症感染症：＊重症感染症（化学療法と併用する）。

ｈ．　血液疾患：＊溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、＊白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、＊顆粒球減少症（本態性、続発性）、＊紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、＊再生不良性貧血、＊凝固因子の障害による出血性素因。

ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。

ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。

ｋ．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊胆汁うっ滞型急性肝炎、＊肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）
。

ｌ．　神経疾患：＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）
、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。

ｍ．　悪性腫瘍：＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。

ｎ．　その他の内科的疾患：＊特発性低血糖症、＊原因不明の発熱。
②．　外科領域：副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫ささされを含む）。
③．　整形外科領域：強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。
④．　産婦人科領域：＊卵管整形術後の癒着防止、＊副腎皮質機能障害による排卵障害。
⑤．　泌尿器科領域：＊前立腺癌（他の療法が無効な場合）、＊陰茎硬結。
⑥．　皮膚科領域：
※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
※＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、※＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症（乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、※＊尋常性乾癬＜重症例＞、※＊毛孔性紅色粃糠疹＜重症例に限る＞、＊成年性浮腫性硬化症、＊紅斑症（※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、＊レイノー病、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊潰瘍性慢性膿皮症、＊新生児スクレレーマ。
⑦．　眼科領域：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑧．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。
４）．　関節腔内注射：
①．　内科・小児科領域：
リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）。
②．　整形外科領域：強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎。
５）．　軟組織内注射：
①．　整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）。
②．　耳鼻咽喉科領域：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。
６）．　腱鞘内注射：
整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性腱鞘炎に限る）。
７）．　滑液嚢内注入：
整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
８）．　脊髄腔内注入：
内科・小児科領域：
①．　血液疾患：白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）のうち髄膜白血病。
②．　結核性疾患（抗結核剤と併用する）：結核性髄膜炎。
③．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
④．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）。
９）．　胸腔内注入：
内科・小児科領域：
結核性疾患（抗結核剤と併用する）：結核性胸膜炎。
１０）．　局所皮内注射：
①．　泌尿器科領域：陰茎硬結。
②．　皮膚科領域：
※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
※湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与せず、局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、※痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、※尋常性乾癬＜重症例＞、※円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、※早期ケロイド及び※ケロイド防止。
③．　耳鼻咽喉科領域：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１１）．　卵管腔内注入：
産婦人科領域：卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法、卵管整形術後の癒着防止。
１２）．　注腸：
内科・小児科領域：
消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
１３）．　結膜下注射：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹

彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
、眼科領域の術後炎症。
１４）．　球後注射：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
。
１５）．　点眼：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
１６）．　ネブライザー：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）。
ｂ．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
②．　外科領域：侵襲後肺水腫。
③．　耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）
、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害。
１７）．　鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害。
１８）．　副鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１９）．　鼻甲介内注射：
耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２０）．　鼻茸内注射：
耳鼻咽喉科領域：副鼻腔炎・鼻茸。
２１）．　喉頭・気管注入：
耳鼻咽喉科領域：進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２２）．　中耳腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２３）．　耳管内注入：
耳鼻咽喉科領域：滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
２４）．　食道注入：
耳鼻咽喉科領域：食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２５）．　唾液腺管内注入：
耳鼻咽喉科領域：急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
【用】〈静脈内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１０～５０ｍｇを３～６時間ごとに静脈内注射する。
川崎病の急性期に用いる場合、通常、プレドニゾロンとして１日２ｍｇ／ｋｇ（最大６０ｍｇ）を３回に分割静脈内注射する。
〈点滴静脈内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２０～１００ｍｇを１日１～２回点滴静脈内注射する。
〈筋肉内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１０～５０ｍｇを３～６時間ごとに筋肉内注射する。
〈関節腔内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを関節腔内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈軟組織内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを軟組織内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈腱鞘内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを腱鞘内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈滑液嚢内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを滑液嚢内注入する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈脊髄腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回５ｍｇを週２～３回脊髄腔内注入する。
〈胸腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回５～２５ｍｇを週１～２回胸腔内注入する。
〈局所皮内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回０．１～０．４ｍｇずつ４ｍｇまでを週１回局所皮内注射する。
〈卵管腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして２～５ｍｇを卵管腔内注入する。
〈注腸〉通常、成人にはプレドニゾロンとして２～３０ｍｇを直腸内注入する。
〈結膜下注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２．５～１０ｍｇを結膜下注射する。その際の液量は０．２～０．５ｍＬとする。
〈球後注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回５～２０ｍｇを球後注射する。その際の液量は０．５～１．０ｍＬとする。
〈点眼〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１．２～５ｍｇ／ｍＬ溶液１～２滴を１日３～８回点眼する。
〈ネブライザー〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回ネブライザーで投与する。
〈鼻腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回鼻腔内注入する。
〈副鼻腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回副鼻腔内注入する。
〈鼻甲介内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを鼻甲介内注射する。
〈鼻茸内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを鼻茸内注射する。
〈喉頭・気管注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回喉頭あるいは気管注入する。
〈中耳腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回中耳腔内注入する。
〈耳管内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回耳管内注入する。
〈食道注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２．５～５ｍｇを食道注入する。
〈唾液腺管内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１～２ｍｇを唾液腺管内注入する。
なお、前記用量は年齢、症状により適宜増減する（川崎病の急性期に用いる場合を除く）
。
【保管】室温保存。

水溶性プレドニン５０ｍｇ　Predonine　採用　Hi

商品名:水溶性プレドニン５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１管　　薬価:603.00　製造:シオノギファーマ　　剤型:注射用　YJ:2456405D3020　　院内コード:300270
成分:プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム,
【効】＊印の付されている投与法は次のような条件でのみ使用できる（その事由がなくなった場合は、速やかに他の投与法に切り替えること）。
（１）．　静脈内注射及び点滴静脈内注射：経口投与不能時、緊急時及び筋肉内注射不適時。
（２）．　筋肉内注射：経口投与不能時。
１）．　静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　リウマチ疾患：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
ｃ．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
ｄ．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
ｅ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
ｆ．　心疾患：＊うっ血性心不全。
ｇ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
ｈ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｉ．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
ｊ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｋ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。
ｌ．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）。
ｍ．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｎ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
ｏ．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
ｐ．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症。
②．　外科領域：副腎摘除、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）。
③．　整形外科領域：脊髄浮腫。
④．　眼科領域：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。
⑤．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。
２）．　点滴静脈内注射：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　内分泌疾患：急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。
ｂ．　リウマチ疾患：＊リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）。
ｃ．　膠原病：＊エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、＊全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、＊多発性筋炎（皮膚筋炎）。
ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。
ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。
ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息発作重積状態、アナフィラキシーショック、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、血清病。
ｇ．　重症感染症：重症感染症（化学療法と併用する）。
ｈ．　血液疾患：溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、顆粒球減少症（本態性、続発性）、紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、再生不良性貧血、凝固因子の障害による出血性素因。
ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。
ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。
ｋ．　肝疾患：劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊胆汁うっ滞型急性肝炎。
ｌ．　肺疾患：＊びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
ｍ．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
ｎ．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫。
ｏ．　その他の内科的疾患：特発性低血糖症。
②．　外科領域：副腎摘除。
③．　皮膚科領域：
※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症（乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状の

ない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、※＊尋常性乾癬＜重症例＞。

④．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。

３）．　筋肉内注射：

①．　内科・小児科領域：

ａ．　内分泌疾患：慢性副腎皮質機能不全（原発性慢性副腎皮質機能不全、続発性慢性副腎皮質機能不全、下垂体性慢性副腎皮質機能不全、医原性慢性副腎皮質機能不全）、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、＊副腎性器症候群、＊亜急性甲状腺炎、＊甲状腺疾患に伴う悪性眼球突出症、＊ＡＣＴＨ単独欠損症、＊甲状腺中毒症［甲状腺＜中毒性＞クリーゼ］。

ｂ．　リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、リウマチ性多発筋痛。

ｃ．　膠原病：エリテマトーデス（全身性エリテマトーデス及び慢性円板状エリテマトーデス）、全身性血管炎（高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症を含む）、多発性筋炎（皮膚筋炎）、＊強皮症。

ｄ．　腎疾患：＊ネフローゼ及び＊ネフローゼ症候群。

ｅ．　心疾患：＊うっ血性心不全。

ｆ．　アレルギー性疾患：気管支喘息（但し、筋肉内注射は他の投与法では不適当な場合に限る）、＊喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、＊薬剤アレルギー・＊薬剤中毒、その他の＊化学物質アレルギー・＊化学物質中毒（薬疹、中毒疹を含む）、＊血清病。

ｇ．　重症感染症：＊重症感染症（化学療法と併用する）。

ｈ．　血液疾患：＊溶血性貧血（免疫性溶血性貧血又は免疫性機序の疑われるもの）、＊白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）、＊顆粒球減少症（本態性、続発性）、＊紫斑病（血小板減少性及び血小板非減少性）、＊再生不良性貧血、＊凝固因子の障害による出血性素因。

ｉ．　消化器疾患：＊限局性腸炎、＊潰瘍性大腸炎。

ｊ．　重症消耗性疾患：＊重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）
。

ｋ．　肝疾患：＊劇症肝炎（臨床的に重症とみなされるものを含む）、＊胆汁うっ滞型急性肝炎、＊肝硬変（活動型肝硬変、難治性腹水を伴う肝硬変、胆汁うっ滞を伴う肝硬変）
。

ｌ．　神経疾患：＊脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、＊重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、＊末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）
、＊小舞踏病、＊顔面神経麻痺、＊脊髄蜘網膜炎。

ｍ．　悪性腫瘍：＊悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、＊好酸性肉芽腫、＊乳癌の再発転移。

ｎ．　その他の内科的疾患：＊特発性低血糖症、＊原因不明の発熱。

②．　外科領域：副腎摘除、＊臓器移植・＊組織移植、＊副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、＊蛇毒・＊昆虫毒（重症の虫さされを含む）。

③．　整形外科領域：強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）。

④．　産婦人科領域：＊卵管整形術後の癒着防止、＊副腎皮質機能障害による排卵障害。

⑤．　泌尿器科領域：＊前立腺癌（他の療法が無効な場合）、＊陰茎硬結。

⑥．　皮膚科領域：

※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。

※＊湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、※＊痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、＊蕁麻疹＜慢性例を除く重症例に限る＞、※＊乾癬及び類症（乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群）、＊粘膜皮膚眼症候群［開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病＜眼症状のない場合＞、リップシュッツ急性陰門潰瘍］、＊天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、＊デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、※＊紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）、※＊尋常性乾癬＜重症例＞、※＊毛孔性紅色粃糠疹＜重症例に限る＞、＊成年性浮腫性硬化症、＊紅斑症（※多形滲出性紅斑＜重症例に限る＞、結節性紅斑）、＊レイノー病、＊帯状疱疹＜重症例に限る＞、＊潰瘍性慢性膿皮症、＊新生児スクレレーマ。

⑦．　眼科領域：＊内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、＊外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）、＊眼科領域の術後炎症。

⑧．　耳鼻咽喉科領域：＊急性中耳炎・＊慢性中耳炎、＊滲出性中耳炎・＊耳管狭窄症、急性感音性難聴、口腔外科領域手術後の後療法、血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、＊喉頭ポリープ・＊喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、＊嗅覚障害、＊急性唾液腺炎・＊慢性＜反復性＞唾液腺炎。

４）．　関節腔内注射：

①．　内科・小児科領域：

リウマチ疾患：関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）。

②．　整形外科領域：強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症症状がはっきり認められる場合）、非感染性慢性関節炎、痛風性関節炎。

５）．　軟組織内注射：

①．　整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）。

②．　耳鼻咽喉科領域：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、難治性口内炎及び難治性舌炎（局所療法で治癒しないもの）。

６）．　腱鞘内注射：

整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、腱炎（非感染性腱炎に限る）、腱鞘炎（非感染性

腱鞘炎に限る）。
７）．　滑液嚢内注入：
整形外科領域：関節周囲炎（非感染性関節周囲炎に限る）、腱周囲炎（非感染性腱周囲炎に限る）、滑液包炎（非感染性滑液包炎に限る）。
８）．　脊髄腔内注入：
内科・小児科領域：
①．　血液疾患：白血病（急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病）（皮膚白血病を含む）のうち髄膜白血病。
②．　結核性疾患（抗結核剤と併用する）：結核性髄膜炎。
③．　神経疾患：脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）。
④．　悪性腫瘍：悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）。
９）．　胸腔内注入：
内科・小児科領域：
結核性疾患（抗結核剤と併用する）：結核性胸膜炎。
１０）．　局所皮内注射：
①．　泌尿器科領域：陰茎硬結。
②．　皮膚科領域：
※印の付されている効能・効果に対しては、外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。
※湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部湿疹あるいは肛門湿疹、耳介湿疹・皮膚炎及び外耳道湿疹・皮膚炎、鼻前庭湿疹・皮膚炎及び鼻翼周辺湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与せず、局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、※痒疹群＜重症例に限る＞（小児ストロフルス＜重症例に限る＞、蕁麻疹様苔癬＜重症例に限る＞、固定蕁麻疹＜重症例に限る＞（局注が望ましい）を含む）、※尋常性乾癬＜重症例＞、※円形脱毛症（悪性型円形脱毛症に限る）、※早期ケロイド及び※ケロイド防止。
③．　耳鼻咽喉科領域：耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１１）．　卵管腔内注入：
産婦人科領域：卵管閉塞症（不妊症）に対する通水療法、卵管整形術後の癒着防止。
１２）．　注腸：
内科・小児科領域：
消化器疾患：限局性腸炎、潰瘍性大腸炎。
１３）．　結膜下注射：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
、眼科領域の術後炎症。
１４）．　球後注射：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、外眼部及び前眼部の炎症性疾患の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合（眼瞼炎、結膜炎、角膜炎、強膜炎、虹彩毛様体炎の対症療法で点眼が不適当又は不十分な場合）
。
１５）．　点眼：
眼科領域：内眼・視神経・眼窩・眼筋の炎症性疾患の対症療法（ブドウ膜炎、網脈絡膜炎、網膜血管炎、視神経炎、眼窩炎性偽腫瘍、眼窩漏斗尖端部症候群、眼筋麻痺の対症療法）、眼科領域の術後炎症。
１６）．　ネブライザー：
①．　内科・小児科領域：
ａ．　アレルギー性疾患：気管支喘息、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）。
ｂ．　肺疾患：びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）。
②．　外科領域：侵襲後肺水腫。
③．　耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）
、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害。
１７）．　鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法、嗅覚障害。
１８）．　副鼻腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：副鼻腔炎・鼻茸、進行性壊疽性鼻炎、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
１９）．　鼻甲介内注射：
耳鼻咽喉科領域：血管運動＜神経＞性鼻炎、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２０）．　鼻茸内注射：
耳鼻咽喉科領域：副鼻腔炎・鼻茸。
２１）．　喉頭・気管注入：
耳鼻咽喉科領域：進行性壊疽性鼻炎、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・喉頭結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２２）．　中耳腔内注入：
耳鼻咽喉科領域：急性中耳炎・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。
２３）．　耳管内注入：
耳鼻咽喉科領域：滲出性中耳炎・耳管狭窄症。
２４）．　食道注入：
耳鼻咽喉科領域：食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法。

２５）．　唾液腺管内注入：
耳鼻咽喉科領域：急性唾液腺炎・慢性＜反復性＞唾液腺炎。
【用】〈静脈内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１０～５０ｍｇを３～６時間ごとに静脈内注射する。
川崎病の急性期に用いる場合、通常、プレドニゾロンとして１日２ｍｇ／ｋｇ（最大６０ｍｇ）を３回に分割静脈内注射する。
〈点滴静脈内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２０～１００ｍｇを１日１～２回点滴静脈内注射する。
〈筋肉内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１０～５０ｍｇを３～６時間ごとに筋肉内注射する。
〈関節腔内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを関節腔内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈軟組織内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを軟組織内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈腱鞘内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを腱鞘内注射する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈滑液嚢内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを滑液嚢内注入する。原則として投与間隔を２週間以上とすること。
〈脊髄腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回５ｍｇを週２～３回脊髄腔内注入する。
〈胸腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回５～２５ｍｇを週１～２回胸腔内注入する。
〈局所皮内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回０．１～０．４ｍｇずつ４ｍｇまでを週１回局所皮内注射する。
〈卵管腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして２～５ｍｇを卵管腔内注入する。
〈注腸〉通常、成人にはプレドニゾロンとして２～３０ｍｇを直腸内注入する。
〈結膜下注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２．５～１０ｍｇを結膜下注射する。その際の液量は０．２～０．５ｍＬとする。
〈球後注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回５～２０ｍｇを球後注射する。その際の液量は０．５～１．０ｍＬとする。
〈点眼〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１．２～５ｍｇ／ｍＬ溶液１～２滴を１日３～８回点眼する。
〈ネブライザー〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回ネブライザーで投与する。
〈鼻腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回鼻腔内注入する。
〈副鼻腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回副鼻腔内注入する。
〈鼻甲介内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを鼻甲介内注射する。
〈鼻茸内注射〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回４～３０ｍｇを鼻茸内注射する。
〈喉頭・気管注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回喉頭あるいは気管注入する。
〈中耳腔内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回中耳腔内注入する。
〈耳管内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２～１０ｍｇを１日１～３回耳管内注入する。
〈食道注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回２．５～５ｍｇを食道注入する。
〈唾液腺管内注入〉通常、成人にはプレドニゾロンとして１回１～２ｍｇを唾液腺管内注入する。
なお、前記用量は年齢、症状により適宜増減する（川崎病の急性期に用いる場合を除く）
。
【保管】室温保存。

247: 卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤

2473: エストラジオール製剤

エストラーナテープ０．７２ｍｇ　Estrana　**採用**　<先発品（後発品なし）>
商品名:エストラーナテープ０．７２ｍｇ
規格:（０．７２ｍｇ）９平方ｃｍ１枚　薬価:66.10　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:2473700S2076　院内コード:200953
成分:エストラジオール,
【効】１）．　更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う次記症状：血管運動神経症状（Ｈｏｔ　ｆｌｕｓｈ及び発汗）、泌尿生殖器萎縮症状。
２）．　閉経後骨粗鬆症。
３）．　性腺機能低下症による低エストロゲン症、性腺摘出による低エストロゲン症又は原発性卵巣不全による低エストロゲン症。
４）．　生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整。
５）．　凍結融解胚移植におけるホルモン補充周期。
【用】〈更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う症状（血管運動神経症状（Ｈｏｔ　ｆｌｕｓｈ及び発汗）、泌尿生殖器の萎縮症状）、閉経後骨粗鬆症〉通常、成人に対しエストラジオールとして０．７２ｍｇを下腹部、臀部のいずれかに貼付し、２日毎に貼り替える。
〈性腺機能低下症、性腺摘出又は原発性卵巣不全による低エストロゲン症〉通常、成人に対しエストラジオールとして０．７２ｍｇから開始する。下腹部、臀部のいずれかに貼付し、２日毎に貼り替え、症状に応じ増減する。小児では、エストラジオールとして０．０９ｍｇから開始する。下腹部、臀部のいずれかに貼付し、２日毎に貼り替える。その後、エストラジオールとして０．１８ｍｇ、エストラジオールとして０．３６ｍｇ、エストラジオールとして０．７２ｍｇへ段階的に増量する。
〈生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整〉通常、エストラジオールとして０．７２ｍｇを下腹部、臀部のいずれかに貼付し、２１～２８日間、２日毎に貼り替え、投与期間の後半に黄体ホルモン剤を併用する。
〈凍結融解胚移植におけるホルモン補充周期〉通常、エストラジオールとして０．７２～５．７６ｍｇを下腹部、臀部のいずれかに貼付し、２日毎に貼り替え、子宮内膜の十分な肥厚が得られた時点で、黄体ホルモン剤の併用を開始して、妊娠８週まで本剤の投与を継続する。
【保管】室温（高温を避けて保存）。

2475: エストリオール系製剤

エストリール錠１ｍｇ　Estriel　**採用**
商品名:エストリール錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:持田製薬　剤型:錠　YJ:2475001F3033　院内コード:200665
成分:エストリオール,
【効】１）．　更年期障害、腟炎（老人腟炎、小児腟炎及び非特異性腟炎）、子宮頸管炎並びに子宮腟部びらん。
２）．　老人性骨粗鬆症。
【用】〈更年期障害、腟炎（老人、小児及び非特異性）、子宮頸管炎、子宮腟部びらん〉エストリオールとして、通常成人１回０．１～１．０ｍｇを１日１～２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈老人性骨粗鬆症〉エストリオールとして、通常１回１．０ｍｇを１日２回経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2477: プロゲステロン製剤

エフメノカプセル１００ｍｇ　F-meno　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:エフメノカプセル１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１カプセル　薬価:229.30　製造:富士製薬　剤型:カプセルYJ:2477001M1026　院内コード:203525
成分:プロゲステロン,
【効】更年期障害及び卵巣欠落症状に対する卵胞ホルモン剤投与時の子宮内膜増殖症の発症抑制。
【用】卵胞ホルモン剤との併用において、次のいずれかを選択する。
・　卵胞ホルモン剤の投与開始日からプロゲステロンとして１００ｍｇを１日１回就寝前に経口投与する。
・　卵胞ホルモン剤の投与開始日を１日目として、卵胞ホルモン剤の投与１５日目から２８日目までプロゲステロンとして２００ｍｇを１日１回就寝前に経口投与する。これを１周期とし、以後この周期を繰り返す。
【保管】室温保存。

2478: 合成黄体ホルモン製剤

デュファストン５ｍｇ　Duphaston　採用
商品名:デュファストン錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:23.30　製造:ヴィアトリス製薬　剤型:錠　YJ:2478003F1031　院内コード:200667
成分:ジドロゲステロン,
【効】無月経、月経周期異常（稀発月経、多発月経）又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、月経困難症、機能性子宮出血、黄体機能不全による不妊症、子宮内膜症、切迫流早産、習慣性流早産、調節卵巣刺激下における早発排卵の防止、生殖補助医療における黄体補充。
【用】〈無月経、月経周期異常（稀発月経、多発月経）又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、月経困難症、機能性子宮出血、黄体機能不全による不妊症、子宮内膜症、切迫流早産、習慣性流早産〉ジドロゲステロンとして、通常成人１日５～１５ｍｇを１～３回に分割経口投与する。子宮内膜症には１日５～２０ｍｇを経口投与する。
〈調節卵巣刺激下における早発排卵の防止〉ジドロゲステロンとして、通常、月経周期２～５日目より１日２０ｍｇを１又は２回に分割経口投与する。
〈生殖補助医療における黄体補充〉ジドロゲステロンとして、通常、１回１０ｍｇを１日３回経口投与する。
【保管】室温保存。

248: 混合ホルモン剤

2482: 卵胞ホルモン、黄体ホルモン混合製剤

アリッサ配合錠　Alyssa　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アリッサ配合錠
規格:１シート　薬価:5056.80　製造:富士製薬　剤型:錠　YJ:2482013F1020　院内コード:203738
成分:エステトロール水和物,ドロスピレノン,
【効】月経困難症。
【用】１日１錠を毎日一定の時刻に定められた順に従って（ピンク色錠から開始する）２８日間連続経口投与する。以上２８日間を投与１周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、２９日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。
【保管】室温保存。

フリウェル配合錠ＬＤ「あすか」(ﾙﾅﾍﾞﾙ配合錠LD)　Frewell　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ルナベル配合錠ＬＤ
商品名:フリウェル配合錠ＬＤ「あすか」
規格:１錠　薬価:57.80　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2482009F1066　院内コード:203224
成分:エチニルエストラジオール,ノルエチステロン,
【効】１）．　月経困難症。
２）．　生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整。
【用】〈月経困難症〉１日１錠を毎日一定の時刻に２１日間経口投与し、その後７日間休薬する。以上２８日間を投与１周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、２９日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。
〈生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整〉１日１錠を毎日一定の時刻に、通常、１４～２１日間経口投与する。
【保管】室温保存。

プラノバール配合錠　Planovar　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:プラノバール配合錠
規格:１錠　薬価:12.80　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2482005F1041　院内コード:203129
成分:エチニルエストラジオール,ノルゲストレル,
【効】１）．　機能性子宮出血。
２）．　月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全。
【用】〈機能性子宮出血〉１日１錠を７～１０日間連続投与する。
〈月経困難症、月経周期異常（稀発月経、頻発月経）又は生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整、過多月経、子宮内膜症、卵巣機能不全〉１日１錠を月経周期第５日より約３週間連続投与する。
【保管】室温保存。

メノエイドコンビパッチ　Menoaidcombi　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:メノエイドコンビパッチ
規格:１枚　薬価:224.20　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:2482800S1026　院内コード:202712
成分:エストラジオール,酢酸ノルエチステロン,
【効】更年期障害及び卵巣欠落症状に伴う血管運動神経系症状（Ｈｏｔ　ｆｌｕｓｈ及び発汗）
。
【用】通常、成人に対し、メノエイドコンビパッチ１枚を３～４日ごとに１回（週２回）下腹部に貼付する。

【保管】２～８℃。

249: その他のホルモン剤（抗ホルモン剤を

2491: 循環ホルモン剤

カルナクリン錠２５　Carnaculin　採用　<準先発品>
商品名:カルナクリン錠２５
規格:２５単位１錠　薬価:9.40　製造:三和化学研究所　剤型:錠　YJ:2491001F5056　院内コード:200092
成分:カリジノゲナーゼ,
【効】１）．　次記疾患における末梢循環障害の改善：高血圧症、メニエール症候群、閉塞性血栓血管炎（ビュルガー病）。
２）．　次記症状の改善：更年期障害、網脈絡膜の循環障害。
【用】通常成人１回１～２錠、１日３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
再評価結果の用法・用量は次のとおりである。
カリジノゲナーゼとして、通常成人１日３０～１５０単位を１日３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

2492: すい臓ホルモン剤

インスリン　アスパルトＢＳ注ソロスターＮＲ「サノフィ」(ﾉﾎﾞﾗﾋﾟｯﾄﾞ)　Insulin aspart BS NR Sanofi　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ノボラピッド注ペンフィル
商品名:インスリンアスパルトＢＳ注ソロスターＮＲ「サノフィ」
規格:３００単位１キット　薬価:1213.00　製造:サノフィ　剤型:キット類YJ:2492423G1028　院内コード:301221
成分:インスリン　アスパルト（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。
通常、成人では、初期は１回２～２０単位を毎食直前に皮下注射する。なお、投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常１日４～１００単位である。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存する。

インスリン　アスパルトＢＳ注ソロスターＮＲ「サノフィ」(ﾉﾎﾞﾗﾋﾟｯﾄﾞ)　Insulin aspart BS NR Sanofi　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ノボラピッド注ペンフィル
商品名:インスリンアスパルトＢＳ注ソロスターＮＲ「サノフィ」
規格:３００単位１キット　薬価:1213.00　製造:サノフィ　剤型:キット類YJ:2492423G1028　院内コード:203635
成分:インスリン　アスパルト（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】本剤は持続型インスリン製剤と併用する超速効型インスリンアナログ製剤である。
通常、成人では、初期は１回２～２０単位を毎食直前に皮下注射する。なお、投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量は通常１日４～１００単位である。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存する。

インスリン　グラルギンＢＳ注ミリオペン「リリー」(ﾗﾝﾀｽ)　Insulin glargine BS Lill　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]ランタス注カート３００
商品名:インスリングラルギンＢＳ注ミリオペン「リリー」
規格:３００単位１キット　薬価:997.00　製造:日本イーライリリー　剤型:キット類YJ:2492420G1024　院内コード:202661
成分:インスリン　グラルギン（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１日１回４～２０単位を皮下注射するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが、毎日一定とする。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減する。なお、その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１日４～８０単位である。
ただし、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】２～８℃で保存。

インスリン　グラルギンＢＳ注ミリオペン「リリー」(ﾗﾝﾀｽ)　Insulin glargine BS Lill　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]ランタス注カート３００
商品名:インスリングラルギンＢＳ注ミリオペン「リリー」
規格:３００単位１キット　薬価:997.00　製造:日本イーライリリー　剤型:キット類YJ:2492420G1024　院内コード:300872
成分:インスリン　グラルギン（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１日１回４～２０単位を皮下注射するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが、毎日一定とする。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減する。なお、その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１日４～８０単位である。
ただし、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】２～８℃で保存。

トレシーバ注フレックスタッチ　Tresiba　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:トレシーバ注フレックスタッチ
規格:３００単位１キット　薬価:1559.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:キット類YJ:2492419G1021　院内コード:202429
成分:インスリン　デグルデク（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１日１回４～２０単位を皮下注射する。投与量は患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１日４～８０単位である。但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。注射時刻は原則として毎日一定とするが、必要な場合は注射時刻を変更できる。
通常、小児では、１日１回皮下注射する。注射時刻は毎日一定とする。投与量は患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１日０．５～１．５単位／ｋｇである。但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存。

ノボリンR注１００単位／ｍＬ　Novolin R　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ノボリンＲ注１００単位／ｍＬ
規格:１００単位１ｍＬバイアル　薬価:243.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:注射液　YJ:2492403A4043　院内コード:300272
成分:インスリン　ヒト（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１回４～２０単位を一般に毎食前に皮下注射するが、ときに回数をふやしたり、他のインスリン製剤を併用する。以後症状及び検査所見に応じて投与量を増減するが、維持量は通常１日４～１００単位である。
但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。
糖尿病昏睡には、必要に応じ皮下、筋肉内、静脈内注射又は持続静脈内注入を行う。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存。

ノボリンR注１００単位／ｍＬ　Novolin R　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ノボリンＲ注１００単位／ｍＬ
規格:１００単位１ｍＬバイアル　薬価:243.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:注射液　YJ:2492403A4043　院内コード:200876
成分:インスリン　ヒト（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１回４～２０単位を一般に毎食前に皮下注射するが、ときに回数をふやしたり、他のインスリン製剤を併用する。以後症状及び検査所見に応じて投与量を増減するが、維持量は通常１日４～１００単位である。
但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。
糖尿病昏睡には、必要に応じ皮下、筋肉内、静脈内注射又は持続静脈内注入を行う。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存。

ヒューマログ注ミリオペン　Humalog　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ヒューマログ注ミリオペン
規格:３００単位１キット　薬価:1108.00　製造:日本イーライリリー　剤型:キット類YJ:2492414G5024　院内コード:200862
成分:インスリン　リスプロ（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では１回２～２０単位を毎食直前に皮下注射するが、ときに回数を増やしたり、持続型インスリン製剤と併用したりすることがある。
投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常１日４～１００単位である。
【保管】２～８℃で保存。

ヒューマログ注ミリオペン　Humalog　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ヒューマログ注ミリオペン
規格:３００単位１キット　薬価:1108.00　製造:日本イーライリリー　剤型:キット類YJ:2492414G5024　院内コード:300281
成分:インスリン　リスプロ（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では１回２～２０単位を毎食直前に皮下注射するが、ときに回数を増やしたり、持続型インスリン製剤と併用したりすることがある。
投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常１日４～１００単位である。
【保管】２～８℃で保存。

ライゾデグ配合注フレックスタッチ　Ryzodeg　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ライゾデグ配合注フレックスタッチ
規格:３００単位１キット　薬価:1444.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:キット類YJ:2492500G1025　院内コード:202786
成分:インスリン　アスパルト（遺伝子組換え）,インスリン　デグルデク（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】本剤は、超速効型インスリン（インスリン　アスパルト）と持効型インスリン（インスリン　デグルデク）を３：７のモル比で含有する溶解インスリン製剤である。通常、成人では、初期は１回４～２０単位を１日１～２回皮下注射する。１日１回投与のときは、主たる食事の直前に投与し、毎日一定とする。１日２回投与のときは、朝食直前と夕食直前に投与する。投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、維持量は通常１日４～８０単位である。但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存する。

ライゾデグ配合注フレックスタッチ　Ryzodeg　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ライゾデグ配合注フレックスタッチ
規格:３００単位１キット　薬価:1444.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:キット類YJ:249250OG1025　院内コード:300915
成分:インスリン　アスパルト（遺伝子組換え）,インスリン　デグルデク（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】本剤は、超速効型インスリン（インスリン　アスパルト）と持効型インスリン（インスリン　デグルデク）を３：７のモル比で含有する溶解インスリン製剤である。通常、成人では、初期は１回４～２０単位を１日１～２回皮下注射する。１日１回投与のときは、主たる食事の直前に投与し、毎日一定とする。１日２回投与のときは、朝食直前と夕食直前に投与する。投与量は症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、維持量は通常１日４～８０単位である。但し、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存する。

ランタスＸＲ注ソロスター　Lantus XR　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ランタスＸＲ注ソロスター
規格:４５０単位１キット　薬価:1674.00　製造:サノフィ　剤型:キット類YJ:2492416G3020　院内コード:203131
成分:インスリン　グラルギン（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１日１回４～２０単位を皮下注射するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は毎日一定とする。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減する。なお、その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１日４～８０単位である。
ただし、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

ランタスＸＲ注ソロスター　Lantus XR　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ランタスＸＲ注ソロスター
規格:４５０単位１キット　薬価:1674.00　製造:サノフィ　剤型:キット類YJ:2492416G3020　院内コード:301015
成分:インスリン　グラルギン（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では、初期は１日１回４～２０単位を皮下注射するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は毎日一定とする。投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて増減する。なお、その他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常１日４～８０単位である。
ただし、必要により前記用量を超えて使用することがある。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

ルムジェブ注ミリオペン　Lyumjev　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ルムジェブ注ミリオペン
規格:３００単位１キット　薬価:1293.00　製造:日本イーライリリー　剤型:キット類YJ:2492414P1029　院内コード:203299
成分:インスリン　リスプロ（遺伝子組換え）,
【効】インスリン療法が適応となる糖尿病。
【用】通常、成人では１回２～２０単位を毎食事開始時に皮下注射するが、必要な場合は食事開始後の投与とすることもできる。ときに投与回数を増やしたり、持続型インスリン製剤と併用したりすることがある。
投与量は、患者の症状及び検査所見に応じて適宜増減するが、持続型インスリン製剤の投与量を含めた維持量としては通常１日４～１００単位である。
【保管】２～８℃で保存。

2499: 他に分類されないホルモン剤（抗ホルモ

オクトレオチド酢酸塩皮下注１００μｇ「サンド」(ｻﾝﾄﾞ ｽﾀﾁﾝ)　Octreotide acetate SANDOZ　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]サンドスタチン皮下注用１００μｇ
商品名:オクトレオチド酢酸塩皮下注１００μｇ「サンド」
規格:１００μｇ１ｍＬ１管　薬価:633.00　製造:サンド　剤型:注射液　YJ:2499403A2068　院内コード:300933
成分:オクトレオチド酢酸塩,
【効】１）．　次記疾患に伴う諸症状の改善：消化管ホルモン産生腫瘍（ＶＩＰ産生腫瘍、カルチノイド症候群の特徴を示すカルチノイド腫瘍、ガストリン産生腫瘍）。
２）．　次記疾患における成長ホルモン分泌過剰状態、ソマトメジンーＣ分泌過剰状態及び諸症状の改善：先端巨大症・下垂体性巨人症（外科的処置、他剤による治療で効果が不十分な場合又は施行が困難な場合）。
３）．　進行・再発癌患者の緩和医療における消化管閉塞に伴う消化器症状の改善。
４）．　先天性高インスリン血症に伴う低血糖（他剤による治療で効果が不十分な場合）
。
【用】〈消化管ホルモン産生腫瘍、先端巨大症・下垂体性巨人症〉通常、成人にはオクトレオチドとして１日量１００又は１５０μｇより投与をはじめ、効果が不十分な場合は１日量３００μｇまで漸増し、２～３回に分けて皮下投与する。なお、症状により適宜増減する。
〈進行・再発癌患者の緩和医療における消化管閉塞に伴う消化器症状〉通常、成人にはオクトレオチドとして１日量３００μｇを２４時間持続皮下投与する。なお、症状により適宜増減する。
〈先天性高インスリン血症に伴う低血糖〉通常、オクトレオチドとして１日量５μｇ／ｋｇを、３～４回に分けて皮下投与又は２４時間持続皮下投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は１日量２５μｇ／ｋｇまでとする。
【保管】凍結を避け５℃以下に保存。

クロミッド錠５０ｍｇ　Clomid　採用

商品名:クロミッド錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:92.40　製造:富士製薬　剤型:錠　YJ:2499009F1080　院内コード:200671
成分:クロミフェンクエン酸塩,
【効】１）．　排卵障害にもとづく不妊症の排卵誘発。
２）．　生殖補助医療における調節卵巣刺激。
３）．　乏精子症における精子形成誘導。
【用】〈排卵障害にもとづく不妊症の排卵誘発〉無排卵症の患者に対して本剤により排卵誘発を試みる場合には、まずＧｅｓｔａｇｅｎ、Ｅｓｔｒｏｇｅｎ　ｔｅｓｔを必ず行って、消退性出血の出現を確認し、子宮性無月経を除外した後、経口投与を開始する。
通常第１クール１日クロミフェンクエン酸塩として５０ｍｇ５日間で開始し、第１クールで無効の場合は１日１００ｍｇ５日間に増量する。
用量・期間は１日１００ｍｇ５日間を限度とする。
〈生殖補助医療における調節卵巣刺激〉通常、クロミフェンクエン酸塩として１日５０ｍｇを月経周期３日目から５日間経口投与する。効果不十分な場合は、次周期以降の用量を１日１００ｍｇに増量できる。
〈乏精子症における精子形成の誘導〉通常、クロミフェンクエン酸塩として１回５０ｍｇを隔日経口投与する。
【保管】室温保存。

ジエノゲスト錠１ｍｇ「ﾓﾁﾀﾞ」(ﾃﾞｨﾅｹﾞｽﾄ)　Dienogest MOCHIDA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ディナゲスト錠１ｍｇ

商品名:ジエノゲスト錠１ｍｇ「モチダ」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:48.20　製造:持田製薬販売　剤型:錠　YJ:2499010F1120　院内コード:202858
成分:ジエノゲスト,
【効】１）．　子宮内膜症。
２）．　子宮腺筋症に伴う疼痛の改善。
【用】通常、成人にはジエノゲストとして１日２ｍｇを２回に分け、月経周期２～５日目より経口投与する。
【保管】室温保存。

ジノプロスト注射液１０００μｇ「Ｆ」　Dinoprost　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]プロスタルモン・Ｆ注射液１０００

商品名:ジノプロスト注射液１０００μｇ「Ｆ」
規格:１ｍｇ１ｍＬ１管　薬価:228.00　製造:富士製薬　剤型:注射液　YJ:2499401A2093　院内コード:301409
成分:ジノプロスト,
【効】１．　静脈内注射投与：
１）．　妊娠末期における陣痛誘発・陣痛促進・分娩促進。
２）．　次記における腸管蠕動亢進：胃腸管の手術における術後腸管麻痺の回復遷延の場合、麻痺性イレウスにおいて他の保存的治療で効果が認められない場合。
２．　卵膜外投与：治療的流産。
【用】１．　注射投与〈妊娠末期における陣痛誘発・陣痛促進・分娩促進〉通常１～２ｍＬを静脈内に点滴または持続注入する。
（１）．　点滴静注本剤１ｍＬに５％ブドウ糖注射液または糖液を加えて５００ｍＬに希釈し、通常ジノプロストとして０．１μｇ／ｋｇ／分の割合で点滴静注する。なお、希釈する輸液の量及び種類は患者の状態に応じて適切に選択する。
（２）．　シリンジポンプによる静注（持続注入）
本剤１ｍＬに生理食塩液を加えて５０ｍＬに希釈し、通常ジノプロストとして０．１μｇ／ｋｇ／分（０．０５μｇ～０．１５μｇ／ｋｇ／分）の割合で静注する。
（３）．　症状により適宜増減する。
〈腸管蠕動亢進〉（１）．　通常１回ジノプロストとして１０００～２０００μｇ（本剤１～２ｍＬ）を輸液５００ｍＬに希釈し、１～２時間（１０～２０μｇ／分の投与速度）で１日２回静脈内に点滴注射する。
（２）．　本剤の投与は、手術侵襲の程度ならびに他の処置などを考慮して慎重に行うこと。
（３）．　腸管蠕動亢進に３日間投与しても効果が認められないときは直ちに投与を中止し他の療法にきりかえる。
（４）．　症状、体重により適宜増減する。
２．　卵膜外投与〈治療的流産〉①．　妊娠１２週以降：本剤１ｍＬに生理食塩液を加え４ｍＬに希釈し、この液を子宮壁と卵膜の間に数回に分け注入投与する。
（１）．　薬液注入カテーテルの固定通常フォーリーカテーテルを用いる。カテーテルを子宮頸管を通じ挿入、カテーテルのバルーン部が子宮口を通過して、子宮下部まで到達した後、バルーン部に生理食塩液を充満、内子宮口を閉鎖し、カテーテルの脱出と腟への薬液漏出を防止する。次にカテーテルを大腿部内側へテープで固定する。
（２）．　薬液の注入１）．　初回量希釈液（ジノプロスト２５０μｇ／ｍＬ）１ｍＬを注入し、薬液がカテーテル内に残らないように引き続きカテーテルの内腔量を若干上回る生理食塩液を注入する（通例、１６号カテーテルでは約３．５ｍＬ）。
２）．　２回目以降本剤の２回目以降の注入投与は、原則として２時間ごとに希釈液３～４ｍＬ（７５０～１０００μｇ）を反復投与するが、初回投与による子宮収縮、その他の反応が強すぎる場合には、次回の投与量を２ｍＬ（５００μｇ）に減量または４時間後に投与する。
３）．　本剤の投与は原則として２時間間隔で行うが、本剤による効果及びその他の反応を観察しながら適宜投与量及び投与間隔を１～４時間の間で調節する。
４）．　本投与法においては薬剤注入の度に、カテーテルの内腔量を若干上回る生理食塩液を引き続き注入することに注意すること。
②．　妊娠１２週未満：胞状奇胎、合併症で全身麻酔が困難な症例、頸管拡張の困難な症例またはその場合の除去術の前処置に使用する。その際本剤の注入は、アトロピン硫酸塩水和物、鎮痛剤の投与後、前麻酔効果があらわれてから行うことが望ましい。
（１）．　チューブの挿入通常Ｆ４～５号の合成樹脂製の細いチューブを用い、使用前にチューブ内腔に生理食塩液を満たしておく。
チューブを鉗子ではさみ、外子宮口より子宮腔内にゆっくりと約７ｃｍ位まで挿入する。
直視下で薬液の注入を行う以外は、チューブの排出をふせぐためチューブをとりかこむようにガーゼを腟腔内につめる。注射器をチューブに接続し、また、チューブを大腿部内側にテープで固定する。
（２）．　薬液の注入１）．　分割注入法妊娠１２週以降の場合に準じ、本剤１ｍＬに生理食塩液を加え４ｍＬに希釈した液を用い分割注入する。
・　初回量は希釈液１ｍＬ（ジノプロスト２５０μｇ／ｍＬ）を注入し、また薬液がチューブ内に残らないように引き続きチューブ内腔量を若干上回る生理食塩液を注入する。
・　２回目以降の注入は、原則として１時間ごとに希釈液３～４ｍＬ（７５０～１０００μｇ）を反復投与するが、初回投与による子宮収縮、その他

の反応が強すぎる場合には、次回の投与量を２mL（５００μg）に減量または投与時間間隔をおくらせる。
・　本剤の投与は原則として総投与量３０００μgとし、また１時間間隔で行うが、本剤による効果及びその他の反応を観察しながら適宜に投与量及び投与時間間隔を調節する。
・　本投与法においては薬剤注入の度にチューブの内腔量を若干上回る生理食塩液を引き続き注入することに注意する。
２）．　一回注入法・　通常ジノプロスト１０００μg／1mL含有注射剤を希釈しないで、一回に２０００～３０００μg（2～3mL）をゆっくり注入する。本剤による効果及びその反応を観察しながら適宜に投与量を増減する。
・　注入後チューブの内腔量を若干上回る生理食塩液を引き続き注入する。チューブは薬液注入が終了すれば抜きとる。
【保管】室温保存。

ゾラデックス３．６mgデポ　Zoladex depot　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ゾラデックス３．６mgデポ
規格:３．６mg１筒（ゴセレリンとして）　薬価:19869.00　製造:アストラゼネカ　剤型:キット類YJ:2499406G1025　院内コード:300289
成分:ゴセレリン酢酸塩,
【効】１）．　前立腺癌。
２）．　閉経前乳癌。
【用】通常、成人には本剤１筒（ゴセレリンとして３．６mg含有）を前腹部に４週（２８日）ごとに１回皮下投与する。
【保管】凍結を避け、冷所に保存すること。

ゾラデックスＬＡ１０．８mgデポ　Zoladex LA depot　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ゾラデックスＬＡ１０．８mgデポ
規格:１０．８mg１筒（ゴセレリンとして）　薬価:32175.00　製造:アストラゼネカ　剤型:キット類YJ:2499406G3028　院内コード:300290
成分:ゴセレリン酢酸塩,
【効】１）．　前立腺癌。
２）．　閉経前乳癌。
【用】通常、成人には本剤１筒（ゴセレリンとして１０．８mg含有）を前腹部に１２～１３週ごとに１回皮下投与する。
【保管】凍結を避け、冷所に保存すること。

デュタステリド錠０．５mgＡＶ「ＤＳＥＰ」(ｱﾎﾞﾙﾌﾞ)　Dutasteride AV DSEP　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アボルブカプセル０．５mg
商品名:デュタステリド錠０．５mgＡＶ「ＤＳＥＰ」
規格:０．５mg１錠　薬価:25.70　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2499011F1028　院内コード:203274
成分:デュタステリド,
【効】前立腺肥大症。
【用】通常、成人にはデュタステリドとして１回０．５mgを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

トルリシティ皮下注0.75mgｱﾃｵｽ　Trulicity　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:トルリシティ皮下注０．７５mgアテオス
規格:０．７５mg０．５mL１キット　薬価:2699.00　製造:日本イーライリリー　剤型:キット類YJ:2499416G1029　院内コード:202667
成分:デュラグルチド（遺伝子組換え）,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人には、デュラグルチド（遺伝子組換え）として、０．７５mgを週に１回、皮下注射する。なお、患者の状態に応じて１．５mgを週に１回投与に増量できる。
【保管】２～８℃で保存。

ビクトーザ皮下注１８mg　Victoza　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ビクトーザ皮下注１８mg
規格:１８mg３mL１キット　薬価:4634.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:キット類YJ:2499410G1021　院内コード:202332
成分:リラグルチド（遺伝子組換え）,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人には、リラグルチド（遺伝子組換え）として、０．９mgを維持用量とし、１日１回朝又は夕に皮下注射する。ただし、１日１回０．３mgから開始し、１週間以上の間隔で０．３mgずつ増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減し、１日０．９mgで効果不十分な場合には、１週間以上の間隔で０．３mgずつ最高１．８mgまで増量できる。
【保管】凍結を避け、２～８℃に保存。

プロペシア錠１mg　Propecia　採用　(劇)
商品名:プロペシア錠１mg
規格:１mg１錠　薬価:0.00　製造:オルガノン　剤型:錠　YJ:249900XF2028　院内コード:200592
成分:フィナステリド,
【効】男性における男性型脱毛症の進行遅延。
【用】男性成人には、通常、フィナステリドとして０．２mgを１日１回経口投与する。なお、必要に応じて適宜増量できるが、１日１mgを上限とする。
【保管】室温保存。

リューブリンＰＲＯ注射用キット２２．５mg　Leuplin PRO　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リューブリンＰＲＯ注射用キット２２．５mg
規格:２２．５mg１筒　薬価:62561.00　製造:武田薬品　剤型:キット類YJ:2499407G4029　院内コード:301059

成分:リュープロレリン酢酸塩,
【効】１）．　前立腺癌。
２）．　閉経前乳癌。
【用】通常、成人には２４週に１回リュープロレリン酢酸塩として２２．５ｍｇを皮下に投与する。
投与に際しては、注射針を上にしてプランジャーロッドを押して、懸濁用液全量を粉末部に移動させて、泡立てないように注意しながら、十分に懸濁して用いる。
【保管】室温保存。

リュープロレリン酢酸塩ＳＲ注射用キット１１．２５ｍｇ「あすか」(ﾘｭｰﾌﾟﾘﾝ)　Leuprorelin acetate SR　採用　(劇)　Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リュープリンＳＲ注射用キット１１．２５ｍｇ
商品名:リュープロレリン酢酸塩ＳＲ注射用キット
１１．２５ｍｇ「あすか」
規格:１１．２５ｍｇ１筒　薬価:22970.00　製造:あすか製薬　剤型:キット類YJ:2499407G3057　院内コード:301392
成分:リュープロレリン酢酸塩,
【効】１）．　前立腺癌。
２）．　閉経前乳癌。
【用】通常、成人には１２週に１回リュープロレリン酢酸塩として１１．２５ｍｇを皮下に投与する。
投与に際しては、注射針を上にしてプランジャーロッドを押して、懸濁用液全量を粉末部に移動させて、泡立てないように注意しながら、十分に懸濁して用いる。
【保管】室温保存。

リュープロレリン酢酸塩注射用キット１．８８ｍｇ「あすか」　Leuprorelin acetate　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リュープリン注射用１．８８ｍｇ
商品名:リュープロレリン酢酸塩注射用キット１．
８８ｍｇ「あすか」
規格:１．８８ｍｇ１筒　薬価:14429.00　製造:あすか製薬　剤型:キット類YJ:2499407G1046　院内コード:301087
成分:リュープロレリン酢酸塩,
【効】１）．　子宮内膜症。
２）．　過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善。
３）．　中枢性思春期早発症。
【用】〈子宮内膜症〉通常、成人には４週に１回リュープロレリン酢酸塩として３．７５ｍｇを皮下に投与する。ただし、体重が５０ｋｇ未満の患者では１．８８ｍｇを投与することができる。なお、初回投与は月経周期１～５日目に行う。
〈子宮筋腫〉通常、成人には４週に１回リュープロレリン酢酸塩として１．８８ｍｇを皮下に投与する。ただし、体重の重い患者、子宮腫大が高度な患者では３．７５ｍｇを投与する。なお、初回投与は月経周期１～５日目に行う。
〈中枢性思春期早発症〉通常、４週に１回リュープロレリン酢酸塩として３０μｇ／ｋｇを皮下に投与する。なお、症状に応じて１８０μｇ／ｋｇまで増量できる。
投与に際しては、注射針を上にしてプランジャーロッドを押して、懸濁用液全量を粉末部に移動させ、泡立てないように注意しながら、十分に懸濁して用いる。
本剤は投与量の調節が不可能なため、１回当たり全量投与が必要な患者にのみ使用すること。
【保管】室温保存。

リュープロレリン酢酸塩注射用キット３．７５ｍｇ「あすか」　Leuprorelin acetate　採用　(劇)　Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リュープリン注射用３．７５ｍｇ
商品名:リュープロレリン酢酸塩注射用キット３．
７５ｍｇ「あすか」
規格:３．７５ｍｇ１筒　薬価:17056.00　製造:あすか製薬　剤型:キット類YJ:2499407G2042　院内コード:301086
成分:リュープロレリン酢酸塩,
【効】１）．　子宮内膜症。
２）．　過多月経、下腹痛、腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善。
３）．　中枢性思春期早発症。
４）．　閉経前乳癌。
５）．　前立腺癌。
【用】〈子宮内膜症〉通常、成人には４週に１回リュープロレリン酢酸塩として３．７５ｍｇを皮下に投与する。ただし、体重が５０ｋｇ未満の患者では１．８８ｍｇを投与することができる。なお、初回投与は月経周期１～５日目に行う。
〈子宮筋腫〉通常、成人には４週に１回リュープロレリン酢酸塩として１．８８ｍｇを皮下に投与する。ただし、体重の重い患者、子宮腫大が高度な患者では３．７５ｍｇを投与する。なお、初回投与は月経周期１～５日目に行う。
〈前立腺癌、閉経前乳癌〉通常、成人には４週に１回リュープロレリン酢酸塩として３．７５ｍｇを皮下に投与する。
〈中枢性思春期早発症〉通常、４週に１回リュープロレリン酢酸塩として３０μｇ／ｋｇを皮下に投与する。なお、症状に応じて１８０μｇ／ｋｇまで増量できる。
投与に際しては、注射針を上にしてプランジャーロッドを押して、懸濁用液全量を粉末部に移動させ、泡立てないように注意しながら、十分に懸濁して用いる。
本剤は投与量の調節が不可能なため、１回当たり全量投与が必要な患者にのみ使用すること。
【保管】室温保存。

ｼﾞｴﾉｹﾞｽﾄ錠0.5mg｢ﾓﾁﾀﾞ｣(ﾃﾞｨﾅｹﾞｽﾄ)　Dienogest MOCHIDA　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ディナゲスト錠０．５ｍｇ
商品名:ジエノゲスト錠０．５ｍｇ「モチダ」
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:38.70　製造:持田製薬販売　剤型:錠　YJ:2499010F3034　院内コード:203480
成分:ジエノゲスト,
【効】月経困難症。
【用】通常、成人にはジエノゲストとして１日１ｍｇを２回に分け、月経周期２～５日目より経口投与する。

【保管】室温保存。

25: 泌尿生殖器官及び肛門用薬

252: 生殖器官用剤

2521: 生殖器官用抗生物質製剤

クロマイ腟錠 Chlomy 採用

商品名:クロマイ腟錠１００mg
規格:１００mg１錠 薬価:71.70 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:腟錠 YJ:2521701H1050 院内コード:200544
成分:クロラムフェニコール,
【効】細菌性腟炎。
【用】１回１錠１日１回局所に挿入する。
【保管】室温保存。

2529: その他の生殖器官用剤（性病予防剤を含

アデスタン腟錠３００mg Adestan 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:アデスタン腟錠３００mg
規格:３００mg１個 薬価:163.30 製造:バイエル薬品 剤型:腟錠 YJ:2529708J2058 院内コード:200541
成分:イソコナゾール硝酸塩,
【効】カンジダに起因する腟炎及びカンジダに起因する外陰腟炎。
【用】イソコナゾール硝酸塩として、１週１回６００mgを腟深部に挿入する。
なお、真菌学的効果（一次効果）が得られない場合は、６００mgをさらに１回使用する。
【保管】室温保存。

フラジール腟錠２５０mg Flagyl 採用

商品名:フラジール腟錠２５０mg
規格:２５０mg１錠 薬価:54.30 製造:富士製薬 剤型:腟錠 YJ:2529707H1063 院内コード:200955
成分:メトロニダゾール,
【効】１）．　トリコモナス腟炎。
２）．　細菌性腟症。
【用】〈トリコモナス腟炎〉メトロニダゾールとして、通常成人１クールとして１日１回２５０mgを１０～１４日間腟内に挿入する。
〈細菌性腟症〉通常、成人にはメトロニダゾールとして、１日１回２５０mgを７～１０日間腟内に挿入する。
【保管】室温保存。

フロリード腟坐剤１００mg Florid 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:フロリード腟坐剤１００mg
規格:１００mg１個 薬価:35.40 製造:持田製薬 剤型:腟錠 YJ:2529704J1045 院内コード:200548
成分:ミコナゾール硝酸塩,
【効】カンジダに起因する腟炎およびカンジダに起因する外陰腟炎。
【用】１日１回１個を腟深部に挿入する。一般に６日間投与で真菌学的効果（一次効果）および自他覚症状の改善が得られるが、菌の再出現防止のためには１４日間投与することが望ましい。
【保管】冷所保存。

ホーリンＶ腟用錠１mg Holin-V 採用

商品名:ホーリンＶ腟用錠１mg
規格:１mg１錠 薬価:21.50 製造:あすか製薬 剤型:腟錠 YJ:2529701H2046 院内コード:200549
成分:エストリオール,
【効】腟炎（老人腟炎、小児腟炎及び非特異性腟炎）、子宮頸管炎並びに子宮腟部びらん。
【用】エストリオールとして、通常成人１日１回０．５～１．０mgを腟内に挿入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

254: 避妊剤

2549: その他の避妊剤

アンジュ２８錠 Ange 採用

商品名:アンジュ２８錠
規格:（２８日分）１組 薬価:0.00 製造:あすか製薬 剤型:錠 YJ:254910BF4054 院内コード:200590
成分:エチニルエストラジオール,レボノルゲストレル,
【効】避妊。
【用】１周期目は１日１錠を毎日一定の時刻に赤褐色錠から開始し、指定された順番に従い２８日間連続経口投与する。
２周期目は、１周期服用開始２９日目より１周期目と同様に赤褐色錠から１日１錠を２８日間連続投与し、３周期目以降は２周期目と同様に投与する。
【保管】室温保存。

255: 痔疾用剤

2559: その他の痔疾用剤

ジオン注無痛化剤付 Zione 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:ジオン注無痛化剤付

規格:１０ｍＬ１瓶（希釈液付）　薬価:4519.00　製造:ジェイドルフ製薬　剤型:注射液　YJ:2559500A1023　院内コード:300292
成分:タンニン酸,リドカイン,硫酸アルミニウムカリウム水和物,
【効】脱出を伴う内痔核。
【用】本剤の投与に先立ち、局所麻酔により肛門括約筋を弛緩させる。
用時、本剤１バイアル（１０ｍＬ）に添付の希釈液１０ｍＬを加えて２０ｍＬとし、硫酸アルミニウムカリウム水和物として２％溶液に調製する。
通常、成人には、１つの主痔核あたり２％溶液として９～１３ｍＬを分割して粘膜下に投与する。
なお、投与量は患者の病態により適宜増減することとし、１回の治療あたりの総投与量は２％溶液として６０ｍＬ以内とする。
【保管】室温保存。

ヘモナーゼ配合錠　Hemonase　採用

商品名:ヘモナーゼ配合錠
規格:１錠　薬価:9.00　製造:ジェイドルフ製薬　剤型:錠　YJ:2559101X1036　院内コード:203001
成分:トコフェロール酢酸エステル,ブロメライン,
【効】１）．　痔核・裂肛の症状（出血、疼痛、腫脹、痒感）の緩解。
２）．　肛門部手術創。
【用】通常成人１回１錠を１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヘモポリゾン軟膏（2g/本）　Hemoporison　採用

<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]強力ポステリザン軟膏（2g/本）
商品名:ヘモポリゾン軟膏
規格:１ｇ　薬価:20.20　製造:ジェイドルフ製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2559808M1039　院内コード:203690
成分:ヒドロコルチゾン,大腸菌死菌,
【効】痔核・裂肛の症状（出血、疼痛、腫脹、痒感）の緩解、肛門部手術創、肛門周囲の湿疹・皮膚炎、軽度な直腸炎の症状の緩解。
【用】通常１日１～３回適量を患部に塗布又は注入する。
【保管】室温保存。

ヘモレックス軟膏（2g/本）　Haemolex　採用

商品名:ヘモレックス軟膏
規格:１ｇ　薬価:21.30　製造:ジェイドルフ製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2559806M1030　院内コード:203833
成分:エスクロシド,ジブカイン塩酸塩,ヒドロコルチゾン,フラジオマイシン硫酸塩,
【効】痔核・裂肛の症状（出血、疼痛、腫脹、痒感）の緩解、肛門周囲の湿疹・皮膚炎。
【用】通常１日１～３回適量を患部に塗布又は注入する。
【保管】室温保存。

ボラザＧ坐剤　Borraza-G　採用

商品名:ボラザＧ坐剤
規格:１個　薬価:35.60　製造:天藤製薬　剤型:坐剤　YJ:2559813J1033　院内コード:200956
成分:トリベノシド,リドカイン,
【効】内痔核に伴う症状の緩解。
【用】通常１回１個ずつ（トリベノシドとして２００ｍｇ、リドカインとして４０ｍｇ）、１日２回朝夕肛門内に挿入する。
症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ボラザＧ軟膏（2.4g/本）　Borraza-G　採用

商品名:ボラザＧ軟膏
規格:１ｇ　薬価:28.20　製造:天藤製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2559813M1021　院内コード:200957
成分:トリベノシド,リドカイン,
【効】１）．　痔核に伴う症状（出血、疼痛、腫脹）の緩解。
２）．　裂肛に伴う症状（出血、疼痛）の緩解、肛門裂創上皮化の促進。
【用】〈内痔核〉通常１回１容器分（注入量でトリベノシドとして２００ｍｇ、リドカインとして４０ｍｇ）を、１日２回朝夕肛門内に注入する。症状に応じて適宜回数を増減する。
〈裂肛、外痔核〉通常適量を１日２回朝夕患部に塗布又は注入する。症状に応じて適宜回数を増減する。
【保管】室温保存。

259: その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬

2590: その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬

シロドシンＯＤ錠４ｍｇ「ＤＳＥＰ」　Silodosin OD DSEP　採用　(劇)

<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ユリーフ錠４ｍｇ
商品名:シロドシンＯＤ錠４ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:４ｍｇ１錠　薬価:12.30　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:2590010F4030　院内コード:203136
成分:シロドシン,
【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害。
【用】通常、成人にはシロドシンとして１回４ｍｇを１日２回朝夕食後に経口投与する。なお、症状に応じて適宜減量する。
【保管】室温保存。

セルニルトン錠　Cernilton　採用

商品名:セルニルトン錠

規格:１錠　薬価:21.30　製造:東菱薬品　剤型:錠　YJ:2590003F1023　院内コード:200139
成分:セルニチンポーレンエキス,
【効】１）．　慢性前立腺炎。
２）．　初期前立腺肥大症による次の諸症状：排尿困難、頻尿、残尿及び残尿感、排尿痛、尿線細小、会陰部不快感。
【用】１回２錠、１日２～３回経口投与する。
症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠２．５ｍｇ「ニプロ」(ﾍﾞｼｹｱ)　Solifenacin succinate OD　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ベシケア錠２．５ｍｇ
商品名:ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠２．５ｍｇ「ニプロ」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:17.30　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:2590011F3063　院内コード:203393
成分:コハク酸ソリフェナシン,
【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁。
【用】通常、成人にはコハク酸ソリフェナシンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は１０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ニプロ」(ﾍﾞｼｹｱ)　Solifenacin succinate OD　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ベシケア錠５ｍｇ
商品名:ソリフェナシンコハク酸塩ＯＤ錠５ｍｇ「ニプロ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:28.90　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:2590011F4060　院内コード:203394
成分:コハク酸ソリフェナシン,
【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁。
【用】通常、成人にはコハク酸ソリフェナシンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は１０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

タダラフィル錠５ｍｇＺＡ「ニプロ」(ｻﾞﾙﾃｨｱ)　Tadalafil ZA　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ザルティア錠５ｍｇ
商品名:タダラフィル錠５ｍｇＺＡ「ニプロ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:30.30　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:2590016F2094　院内コード:203276
成分:タダラフィル,
【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害。
【用】通常、成人には１日１回タダラフィルとして５ｍｇを経口投与する。
【保管】室温保存。

ナフトピジルＯＤ錠２５ｍｇ「ｻﾜｲ」(ﾌﾘﾊﾞｽ)　Naftopidil OD　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]フリバス錠２５ｍｇ
商品名:ナフトピジルＯＤ錠２５ｍｇ「サワイ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:2590009F6138　院内コード:202646
成分:ナフトピジル,
【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害。
【用】通常、成人にはナフトピジルとして１日１回２５ｍｇより投与を始め、効果が不十分な場合は１～２週間の間隔をおいて５０～７５ｍｇに漸増し、１日１回食後経口投与する。
なお、症状により適宜増減するが、１日最高投与量は７５ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

プロピベリン塩酸塩錠１０ｍｇ「あすか」　Propiverine hydrochloride　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]バップフォー錠１０
商品名:プロピベリン塩酸塩錠１０ｍｇ「あすか」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:12.90　製造:あすか製薬　剤型:錠　YJ:2590007F1323　院内コード:200410
成分:プロピベリン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患又は状態における頻尿、尿失禁：神経因性膀胱、神経性頻尿、不安定膀胱、膀胱刺激状態（慢性膀胱炎、慢性前立腺炎）。
２）．　過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁。
【用】通常、成人にはプロピベリン塩酸塩として２０ｍｇを１日１回食後経口投与する。
年齢、症状により適宜増減するが、効果不十分の場合は、２０ｍｇを１日２回まで増量できる。
【保管】室温保存。

ベタニス錠２５ｍｇ　Betanis　採用　(劇)
<先発品（後発品なし）>
商品名:ベタニス錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:80.90　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:2590014F1021　院内コード:202337
成分:ミラベグロン,
【効】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁。
【用】通常、成人にはミラベグロンとして５０ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ﾀﾑｽﾛｼﾝ塩酸塩OD錠0.2mg「明治」(ﾊﾙﾅｰﾙ)　Tamsulosin hydrochloride OD MEIJI　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ハルナールＤ錠０．２ｍｇ
商品名:タムスロシン塩酸塩ＯＤ錠０．２ｍｇ「明治」
規格:０．２ｍｇ１錠　薬価:13.00　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ　剤型:錠　YJ:2590008F2090　院内コード:202849

ファルマ

成分:タムスロシン塩酸塩,
【効】前立腺肥大症に伴う排尿障害。
【用】通常、成人にはタムスロシン塩酸塩として０．２ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

26: 外皮用薬

261: 外皮用殺菌消毒剤

2612: ヨウ素化合物；ヨードチンキ等

ポビドンヨードスクラブ液７．５％「明治」 Povidone-iodine MEIJI 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]イソジンスクラブ液７．５％
商品名:ポビドンヨードスクラブ液７．５％「明治」
規格:７．５％１０ｍＬ 薬価:16.40 製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ 剤型:液 YJ:2612701Q1137 院内コード:202787
成分:ポビドンヨード,
【効】手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒。
【用】〈手指・皮膚の消毒〉本剤の適量を用い、少量の水を加えて摩擦し、よく泡立たせたのち、流水で洗う。
〈手術部位（手術野）の皮膚の消毒〉本剤を塗布するか、または少量の水を加えて摩擦し、泡立たせたのち、滅菌ガーゼで拭う。
【保管】室温保存。

ポビドンヨード外用液１０％「ＶＴＲＳ」 Povidone-iodine 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]イソジンゲル10％（90g/本）
商品名:ポビドンヨード外用液１０％「ＶＴＲＳ」
規格:１０％１０ｍＬ 薬価:12.10 製造:ヴィアトリス・ヘルスケア 剤型:液 YJ:2612701Q3512 院内コード:200961
成分:ポビドンヨード,
【効】手術部位（手術野）の皮膚の消毒、手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒。
【用】〈手術部位（手術野）の皮膚の消毒、手術部位（手術野）の粘膜の消毒〉本剤を塗布する。
〈皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、熱傷皮膚面の消毒、感染皮膚面の消毒〉本剤を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

2614: 過酸化物製剤；オキシドール、過マンガ

オキシドール「ニッコー」 Oxydol NIKKO 採用
商品名:オキシドール「ニッコー」
規格:１０ｍＬ 薬価:10.70 製造:日興製薬 剤型:液 YJ:2614700X1336 院内コード:203855
成分:オキシドール,
【効】１）．　創傷・潰瘍の殺菌・消毒。
２）．　外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症。
３）．　口腔粘膜の消毒、齲窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄、口内炎の洗口。
【用】〈創傷・潰瘍〉原液のままあるいは２～３倍希釈して塗布・洗浄する。
〈耳鼻咽喉〉原液のまま塗布、滴下あるいは２～１０倍（耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する）希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
〈口腔〉口腔粘膜の消毒、齲窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄には原液又は２倍希釈して洗浄・拭掃する。
口内炎の洗口には１０倍希釈して洗口する。
【保管】３０℃以下。

2615: アルコール製剤

消毒用エタプロコール Ethaprocohol 採用
商品名:消毒用エタプロコール
規格:１０ｍＬ 薬価:7.10 製造:日興製薬 剤型:液 YJ:2615705Q1064 院内コード:200967
成分:エタノール,
【効】手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒。
【用】本品をそのまま消毒部位に塗布する。
【保管】室温保存。

2616: 石鹸類製剤

ザルコニン液0.01 Zalkonin 採用
商品名:ザルコニン液０．０１
規格:０．０１％１０ｍＬ 薬価:10.70 製造:健栄製薬 剤型:液 YJ:2616700Q8020 院内コード:203569
成分:ベンザルコニウム塩化物,
【効】手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、感染皮膚面の消毒、結膜嚢の洗浄・消毒。
【用】手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒、感染皮膚面の消毒、結膜嚢の洗浄・消毒：ベンザルコニウム塩化物０．０１％溶液を用いる。
【保管】室温保存。

ヂアミトール「マルイシ」１０％ Germitol 採用
商品名:ヂアミトール消毒用液１０Ｗ／Ｖ％
規格:１０％１０ｍＬ 薬価:10.70 製造:丸石製薬 剤型:液 YJ:2616700Q1530 院内コード:201196

成分:ベンザルコニウム塩化物,
【効】１）．　手指・皮膚の消毒。
２）．　手術部位（手術野）の皮膚の消毒。
３）．　手術部位（手術野）の粘膜の消毒。
４）．　皮膚・粘膜の創傷部位の消毒。
５）．　感染皮膚面の消毒。
６）．　医療機器の消毒。
７）．　手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒。
８）．　膣洗浄。
９）．　結膜嚢の洗浄・消毒。
【用】〈手指・皮膚の消毒〉通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、ベンザルコニウム塩化物０．０５～０．１%溶液に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。
術前の手洗の場合には、５～１０分間ブラッシングする。
〈手術部位（手術野）の皮膚の消毒〉手術前局所皮膚面をベンザルコニウム塩化物０．１%溶液で約５分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物０．２%溶液を塗布する。
〈手術部位（手術野）の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒〉ベンザルコニウム塩化物０．０１～０．０２５%溶液を用いる。
〈感染皮膚面の消毒〉ベンザルコニウム塩化物０．０１%溶液を用いる。
〈医療機器の消毒〉ベンザルコニウム塩化物０．１%溶液に１０分間浸漬するか、または厳密に消毒する際は、器具を予め２%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物０．１%溶液中で１５分間煮沸する。
〈手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒〉ベンザルコニウム塩化物０．０５～０．２%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。
〈膣洗浄〉ベンザルコニウム塩化物０．０２～０．０５%溶液を用いる。
〈結膜嚢の洗浄・消毒〉ベンザルコニウム塩化物０．０１～０．０５%溶液を用いる。
【保管】室温保存。

2619: その他の外皮用殺菌消毒剤

０．５%ヘキザック水W　Hexizac W　採用

商品名:０．５%ヘキザック水W
規格:０．５%１０mL　薬価:7.00　製造:吉田製薬　剤型:液　YJ:2619702Q1175　院内コード:203186
成分:クロルヘキシジングルコン酸塩,
【効】１）．　手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、皮膚の創傷部位の消毒、医療機器の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒。
２）．　結膜嚢の洗浄・消毒、産婦人科・泌尿器科における外陰・外性器の皮膚消毒。
【用】１）．　手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医療機器の消毒：クロルヘキシジングルコン酸塩として０．１～０．５%水溶液を用いる。
２）．　皮膚の創傷部位の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒：クロルヘキシジングルコン酸塩として０．０５%水溶液を用いる。
３）．　結膜嚢の洗浄・消毒：クロルヘキシジングルコン酸塩として０．０５%以下の水溶液を用いる。
４）．　産婦人科・泌尿器科における外陰・外性器の皮膚消毒：クロルヘキシジングルコン酸塩として０．０２%水溶液を用いる。
【保管】室温保存。

263: 化膿性疾患用剤

2633: 外用サルファ製剤

ゲーベンクリーム１%　Geben　採用

商品名:ゲーベンクリーム１%
規格:１%１ｇ　薬価:12.80　製造:田辺ファーマ　剤型:クリームYJ:2633705N1031　院内コード:200460
成分:スルファジアジン銀,
【効】外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染。
【用】１日１回、滅菌手袋などを用いて、創面を覆うに必要かつ十分な厚さ（約２～３mm）に直接塗布する。
又は、ガーゼ等に同様の厚さにのばし、貼付し、包帯を行う。なお、第２日目以後の塗布に際しては、前日に塗布した本剤を清拭又は温水浴等で洗い落としたのち、新たに本剤を塗布すること。
【保管】室温保存。

2634: 外用抗生物質製剤；ペニシリン軟膏等

アクロマイシン軟膏３%（２５ｇ／本）　Achromycin　採用

商品名:アクロマイシン軟膏３%
規格:３０mｇ１ｇ　薬価:17.50　製造:サンファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2634704M1047　院内コード:200972
成分:テトラサイクリン塩酸塩,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染。
【用】通常、症状により適量を１日１～数回、直接患部に塗布または無菌ガーゼにのばして貼付する。
【保管】室温保存。

ゲンタシン軟膏０．１%（10g/本）　Gentacin　採用

商品名:ゲンタシン軟膏０．１%
規格:１mｇ１ｇ　薬価:11.00　製造:高田製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2634710M1077　院内コード:200504
成分:ゲンタマイシン硫酸塩,
【効】表在性皮膚感染症、慢性膿皮症、びらん・潰瘍の二次感染。

26: 外皮用薬

【用】１日１～数回患部に塗布するか、あるいはガーゼなどにのばしたものを患部に貼付する。
【保管】室温保存。

フシジンレオ軟膏２％（10g/本） Fucidin Leo **採用**

商品名:フシジンレオ軟膏２％

規格:２０ｍｇ１ｇ　薬価:25.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2634708M1037　院内コード:200973

成分:フシジン酸ナトリウム,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染。
【用】患部を清潔にした後１日数回適量を直接患部に塗布するかまたは無菌ガーゼに延ばして貼付する。
【保管】室温保存。

2639: その他の化膿性疾患用剤

アクアチムクリーム１％（10g/本） Acuatim **採用** <先発品（後発品あり）>

商品名:アクアチムクリーム１％

規格:１％１ｇ　薬価:18.50　製造:大塚製薬　剤型:クリーム　YJ:2639700N1032　院内コード:200552

成分:ナジフロキサシン,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、ざ瘡＜化膿性炎症を伴うもの＞。
【用】本品の適量を１日２回、患部に塗布する。なお、ざ瘡に対しては洗顔後、患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ゼビアックスローション２％(10g/本) Zebiax **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:ゼビアックスローション２％

規格:２％１ｇ　薬価:43.10　製造:マルホ　剤型:液　YJ:2639701Q1025　院内コード:203130

成分:オゼノキサシン,
【効】表在性皮膚感染症、ざ瘡＜化膿性炎症を伴うもの＞。
【用】本剤の適量を１日１回、患部に塗布する。なお、ざ瘡に対しては洗顔後、患部に塗布する。
【保管】室温保存。

バラマイシン軟膏（10g/本） Baramycin **採用**

商品名:バラマイシン軟膏
規格:（ＢＴＲＣ２５０単位ＦＲＭ2mg）１ｇ　薬価:7.40　製造:東洋製薬化成　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2639805M1020　院内コード:200509

成分:バシトラシン,フラジオマイシン硫酸塩,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、腋臭症。
【用】通常、１日１～数回直接患部に塗布又は塗擦するか、あるいは無菌ガーゼ等にのばして貼付する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

バラマイシン軟膏（250g/個） Baramycin **採用**

商品名:バラマイシン軟膏
規格:（ＢＴＲＣ２５０単位ＦＲＭ2mg）１ｇ　薬価:7.40　製造:東洋製薬化成　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2639805M1020　院内コード:202177

成分:バシトラシン,フラジオマイシン硫酸塩,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、腋臭症。
【用】通常、１日１～数回直接患部に塗布又は塗擦するか、あるいは無菌ガーゼ等にのばして貼付する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

264: 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤

2642: 外用抗ヒスタミン製剤

レスタミンコーワクリーム１％ Restamin KOWA **採用**

商品名:レスタミンコーワクリーム１％

規格:１％１０ｇ　薬価:19.20　製造:興和　剤型:クリーム　YJ:2642702N1029　院内コード:200450

成分:ジフェンヒドラミン,
【効】じん麻疹、湿疹、小児ストロフルス、皮膚そう痒症、虫ささされ。
【用】通常症状により適量を、１日数回患部に塗布または塗擦する。
【保管】室温保存。

2646: 副腎皮質ホルモン製剤

アルメタ軟膏（5g/本） Almeta **採用** <先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:アルメタ軟膏

規格:０．１％１ｇ　薬価:18.00　製造:シオノギファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2646727M1022　院内コード:200985

成分:アルクロメタゾンプロピオン酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症を含む）、乾癬、痒疹群（ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）、虫ささされ、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、ジベル薔薇色粃糠疹、紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑）、薬疹・中毒疹、紅皮症、特発性色素性紫斑（シャンバーグ病、マヨッキー紫斑、紫斑性色素性苔癬様皮膚炎）、慢性円板状エリテマトーデス。

【用】通常、１日１～数回、適量を患部に塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アンテベート軟膏０．０５％（10g/本）　Antebate　採用　(劇)
商品名:アンテベート軟膏０．０５％
規格:０．０５％１ｇ　薬価:18.90　製造:鳥居薬品　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2646730M1059　院内コード:202383
成分:ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（手湿疹、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む）、乾癬、虫ささされ、薬疹・中毒疹、痒疹群（ストロフルス、じん麻疹様苔癬、結節性痒疹を含む）、紅皮症、紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑）、ジベル薔薇色粃糠疹、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、慢性円板状エリテマトーデス、肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）、特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーク病）、円形脱毛症、肥厚性瘢痕・ケロイド、悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）、アミロイド苔癬、水疱症（天疱瘡群、ジューリング疱疹状皮膚炎・水疱性類天疱瘡）。
【用】通常、１日１～数回、適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

エクラープラスター２０μｇ／ｃｍ２　Eclar　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:エクラープラスター２０μｇ／ｃｍ２
規格:（１．５ｍｇ）７．５ｃｍ×１０ｃｍ　薬価:33.80　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:2646729S2035　院内コード:203608
成分:デプロドンプロピオン酸エステル,
【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬を含む）。
２）．　虫ささされ。
３）．　痒疹群［じん麻疹様苔癬、ストロフルス、結節性痒疹（固定じん麻疹）を含む］。
４）．　乾癬。
５）．　掌蹠膿疱症。
６）．　肥厚性瘢痕・ケロイド。
７）．　扁平紅色苔癬。
８）．　慢性円板状エリテマトーデス。
９）．　環状肉芽腫。
【用】患部を軽く洗浄し、よく乾燥させた後、本品を膏体面被覆ライナー（又はポリエステルフィルム）に付着させたまま適当な大きさに切り取り、ライナー（又はポリエステルフィルム）を取り除き、患部に膏体面を当てて貼付する。本品は、貼付後１２時間又は２４時間毎に貼りかえる。必要な場合、夜間のみ貼付する方法もある。なお、貼りかえるときにも患部の洗浄及び乾燥を行う。
【保管】室温保存。

ダイアコートクリーム0.05%(5g/本)　Diacort　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ダイアコートクリーム０．０５％
規格:０．０５％１ｇ　薬価:10.80　製造:帝國製薬　剤型:クリームYJ:2646723N1151　院内コード:203213
成分:ジフロラゾン酢酸エステル,
【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（ビダール苔癬、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む）。
２）．　乾癬。
３）．　痒疹群（ストロフルス、じん麻疹様苔癬、固定じん麻疹を含む）。
４）．　掌蹠膿疱症。
５）．　紅皮症。
６）．　薬疹・中毒疹。
７）．　虫ささされ。
８）．　紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑、遠心性丘疹性紅斑）。
９）．　慢性円板状エリテマトーデス。
１０）．　扁平紅色苔癬。
１１）．　毛孔性紅色粃糠疹。
１２）．　特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーク病、紫斑性色素性苔癬様皮膚炎を含む）。
１３）．　肥厚性瘢痕・ケロイド。
１４）．　肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）。
１５）．　悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）。
１６）．　皮膚アミロイドーシス（アミロイド苔癬、斑状型アミロイド苔癬を含む）。
１７）．　天疱瘡群。
１８）．　類天疱瘡（ジューリング疱疹状皮膚炎を含む）。
１９）．　円形脱毛症。
【用】通常１日１～数回適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ダイアコート軟膏０．０５％（5g/本）　Diacort　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ダイアコート軟膏０．０５％
規格:０．０５％１ｇ　薬価:10.80　製造:帝國製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2646723M1172　院内コード:200982
成分:ジフロラゾン酢酸エステル,
【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（ビダール苔癬、進行性指掌角皮症、脂漏性皮膚炎を含む）。
２）．　乾癬。

３）．　痒疹群（ストロフルス、じん麻疹様苔癬、固定じん麻疹を含む）。
４）．　掌蹠膿疱症。
５）．　紅皮症。
６）．　薬疹・中毒疹。
７）．　虫ささされ。
８）．　紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑、遠心性丘疹性紅斑）。
９）．　慢性円板状エリテマトーデス。
１０）．　扁平紅色苔癬。
１１）．　毛孔性紅色粃糠疹。
１２）．　特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーク病、紫斑性色素性苔癬様皮膚炎を含む）。
１３）．　肥厚性瘢痕・ケロイド。
１４）．　肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）。
１５）．　悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）。
１６）．　皮膚アミロイドーシス（アミロイド苔癬、斑状型アミロイド苔癬を含む）。
１７）．　天疱瘡群。
１８）．　類天疱瘡（ジューリング疱疹状皮膚炎を含む）。
１９）．　円形脱毛症。
【用】通常１日１～数回適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

トプシムローション0.05%（10g/本）　Topsym　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:トプシムローション０．０５％
規格:０．０５％１ｇ　薬価:10.80　製造:田辺ファーマ　剤型:液　YJ:2646708Q1030　院内コード:200979
成分:フルオシノニド,
【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）。
２）．　痒疹群（じん麻疹様苔癬、ストロフルス、固定じん麻疹を含む）。
３）．　乾癬。
４）．　掌蹠膿疱症。
５）．　円形脱毛症（悪性円形脱毛症を含む）。
６）．　尋常性白斑。
【用】１日１～３回、適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ネリゾナユニバーサルクリーム０．１％（10g/本）　Nerisona　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ネリゾナユニバーサルクリーム０．１％
規格:０．１％１ｇ　薬価:15.90　製造:レオ　ファーマ　剤型:クリームYJ:2646700N1169　院内コード:200539
成分:ジフルコルトロン吉草酸エステル,
【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎を含む）。
２）．　乾癬。
３）．　掌蹠膿疱症。
４）．　痒疹群（じん麻疹様苔癬、ストロフルス、固定じん麻疹を含む）。
５）．　紅皮症。
６）．　慢性円板状エリテマトーデス。
７）．　アミロイド苔癬。
８）．　扁平紅色苔癬。
【用】通常１日１～３回、適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ネリゾナ軟０．１％（10g/本）　Nerisona　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ネリゾナ軟膏０．１％
規格:０．１％１ｇ　薬価:15.90　製造:レオ　ファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2646700M1163　院内コード:200562
成分:ジフルコルトロン吉草酸エステル,
【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎を含む）。
２）．　乾癬。
３）．　掌蹠膿疱症。
４）．　痒疹群（じん麻疹様苔癬、ストロフルス、固定じん麻疹を含む）。
５）．　紅皮症。
６）．　慢性円板状エリテマトーデス。
７）．　アミロイド苔癬。
８）．　扁平紅色苔癬。
【用】通常１日１～３回、適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

マイザー軟膏０．０５％(10g/本)　Myser　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:マイザー軟膏０．０５％
規格:０．０５％１ｇ　薬価:9.60　製造:田辺ファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2646725M1201　院内コード:200446

成分:ジフルプレドナート,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、脂漏性皮膚炎、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）、痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹、結節性痒疹を含む）、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、ジベルばら色粃糠疹、薬疹・中毒疹、慢性円板状エリテマトーデス、紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑、遠心性丘疹性紅斑）、特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーク病、紫斑性色素性苔癬様皮膚炎）、紅皮症、肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）、円形脱毛症、アミロイド苔癬（斑状アミロイドーシスを含む）、肥厚性瘢痕・ケロイド。
【用】通常１日１～数回適量を患部に塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

メサデルムクリーム０．１%(5g/本)　Methaderm　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:メサデルムクリーム０．１%
規格:０．１%１ｇ　薬価:9.20　製造:岡山大鵬薬品　剤型:クリームYJ:2646726N1090　院内コード:203582
成分:デキサメタゾンプロピオン酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎を含む）、痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む）、虫さされ、薬疹・中毒疹、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平紅色苔癬、紅皮症、慢性円板状エリテマトーデス、紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑、遠心性丘疹性紅斑）、毛孔性紅色粃糠疹、特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーク病、紫斑性色素性苔癬様皮膚炎）、肥厚性瘢痕・ケロイド、肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）、悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）、アミロイド苔癬、斑状アミロイドージス、天疱瘡群、家族性良性慢性天疱瘡、類天疱瘡、円形脱毛症。
【用】通常、１日１～数回、適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

リドメックスコーワローション０．３%（10g/本）　Lidomex KOWA　採用
商品名:リドメックスコーワローション０．３%
規格:０．３%１ｇ　薬価:14.70　製造:興和　剤型:液　YJ:2646720Q1065　院内コード:200550
成分:プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬を含む）、痒疹群（固定じん麻疹、ストロフルスを含む）、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症。
【用】通常１日１～数回、適量を患部に塗布する。
なお、症状により適宜増減する。また、症状により密封法を行う。
【保管】室温保存。

リンデロン－ＤＰゾル（10g/本）　Rinderon-DP　採用　(劇)　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:リンデロン－ＤＰゾル
規格:０．０６４%１ｇ　薬価:8.00　製造:シオノギファーマ　剤型:液　YJ:2646703Q1029　院内コード:200976
成分:ベタメタゾンジプロピオン酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬を含む）、乾癬、掌蹠膿疱症、紅皮症、薬疹・中毒疹、虫さされ、痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む）
、紅斑症（多形滲出性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑、遠心性丘疹性紅斑）、慢性円板状エリテマトーデス、扁平紅色苔癬、毛孔性紅色粃糠疹、特発性色素性紫斑（マヨッキー紫斑、シャンバーグ病、紫斑性色素性苔癬様皮膚炎）、肥厚性瘢痕・ケロイド、肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）、悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）、皮膚アミロイドージス、天疱瘡群（ヘイリーヘイリー病を含む）、類天疱瘡（ジューリング疱疹状皮膚炎を含む）、円形脱毛症。
【用】通常、１日１～数回、適量を塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リンデロン－Ｖローション（10mL/本）　Rinderon-V　採用　<準先発品>
商品名:リンデロン－Ｖローション
規格:０．１２%１ｍＬ　薬価:14.30　製造:シオノギファーマ　剤型:液　YJ:2646701Q1038　院内コード:200975
成分:ベタメタゾン吉草酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）、乾癬、皮膚そう痒症、鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創、進行性壊疽性鼻炎。
【用】通常、１日１～数回、適量を患部に塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

リンデロン－Ｖ軟膏０．１２%（5g/本）　Rinderon-V　採用　<準先発品>
商品名:リンデロン－Ｖ軟膏０．１２%
規格:０．１２%１ｇ　薬価:14.30　製造:シオノギファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2646701M2156　院内コード:203330
成分:ベタメタゾン吉草酸エステル,
【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、女子顔面黒皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）、皮膚そう痒症、痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む）、虫さされ、乾癬、掌蹠膿疱症、扁平苔癬、光沢苔癬、毛孔性紅色粃糠疹、ジベルバラ色粃糠疹、紅斑症（多形滲出性紅斑、結節性紅斑、ダリエ遠心性環状紅斑）、紅皮症（悪性リンパ腫による紅皮症を含む）、慢性円板状エリテマトーデス、薬疹・中毒疹、円形脱毛症（悪性円形脱毛症を含む）、熱傷（瘢痕、ケロイドを含む）、凍瘡、天疱瘡群、ジューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡を含む）、痔核、鼓室形成手術・内耳開窓術・中耳根治手術の術創。
【用】通常、１日１～数回、適量を患部に塗布する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ロコイドクリーム０．１％（5g/本） Locoid 採用

商品名:ロコイドクリーム０．１％

規格:０．１％１ｇ 薬価:14.90 製造:鳥居薬品 剤型:クリームYJ:2646717N1083 院内コード:203092

成分:ヒドロコルチゾン酪酸エステル,

【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、脂漏性皮膚炎を含む）、痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む）、乾癬、掌蹠膿疱症。

【用】通常１日１～数回適量を塗布する。

なお、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ロコイド軟膏０．１％（5g/本） Locoid 採用

商品名:ロコイド軟膏０．１％

規格:０．１％１ｇ 薬価:14.90 製造:鳥居薬品 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2646717M1096 院内コード:200521

成分:ヒドロコルチゾン酪酸エステル,

【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、脂漏性皮膚炎を含む）、痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む）、乾癬、掌蹠膿疱症。

【用】通常１日１～数回適量を塗布する。

なお、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞｰﾙﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝ酸ｴｽﾃﾙ軟膏0.05%「ｲﾜｷ」(ﾃﾞﾙﾓﾍﾞｰﾄ) Clobetasol propionate IWAKI 採用 (劇)

<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]デルモベート軟膏０．０５％

商品名:クロベタゾールプロピオン酸エステル軟膏０．０５％「イワキ」

規格:０．０５％１ｇ 薬価:11.70 製造:岩城製薬 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2646713M1217 院内コード:203838

成分:クロベタゾールプロピオン酸エステル,

【効】１）．　湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、日光皮膚炎を含む）。

２）．　痒疹群（蕁麻疹様苔癬、ストロフルス、固定蕁麻疹を含む）。

３）．　掌蹠膿疱症。

４）．　乾癬。

５）．　虫ささされ。

６）．　薬疹・中毒疹。

７）．　ジベルばら色粃糠疹。

８）．　慢性円板状エリテマトーデス。

９）．　扁平紅色苔癬。

１０）．　紅皮症。

１１）．　肥厚性瘢痕・ケロイド。

１２）．　肉芽腫症（サルコイドーシス、環状肉芽腫）。

１３）．　アミロイド苔癬。

１４）．　天疱瘡群。

１５）．　類天疱瘡（ジューリング疱疹状皮膚炎を含む）。

１６）．　悪性リンパ腫（菌状息肉症を含む）。

１７）．　円形脱毛症（悪性円形脱毛症を含む）。

【用】通常１日１～数回適量を塗布する。なお、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ｸﾛﾍﾞﾀｿﾞﾝ酪酸ｴｽﾃﾙ軟膏0.05%「ﾃｲｺｸ」(5g/本)(ｷﾝﾀﾞﾍﾞｰﾄ) Clobetasone butyrate TEIKOKU 採用

<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]キンダベート軟膏０．０５％

商品名:クロベタゾン酪酸エステル軟膏０．０５％「テイコク」

規格:０．０５％１ｇ 薬価:12.00 製造:帝國製薬 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2646722M1178 院内コード:203837

成分:クロベタゾン酪酸エステル,

【効】１）．　アトピー性皮膚炎（乳幼児湿疹を含む）。

２）．　顔面における湿疹・皮膚炎、頸部における湿疹・皮膚炎、腋窩における湿疹・皮膚炎、陰部における湿疹・皮膚炎。

【用】通常１日１～数回適量を患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

2649: その他の鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤

ＭＳ温シップ「タイホウ」20g×5(5枚/袋) MS onshippu TAIHO 採用

<後発品（加算対象）>

商品名:ＭＳ温シップ「タイホウ」

規格:１０ｇ 薬価:9.20 製造:岡山大鵬薬品 剤型:貼付剤　YJ:2649843S1039 院内コード:203285

成分:ｄｌ－カンフル,サリチル酸メチル,トウガラシエキス,

【効】次記における鎮痛・消炎：捻挫、打撲、筋肉痛、関節痛、骨折痛。

【用】１．　表面のプラスチック膜をはがして、患部に貼付する。

２．　１日１～２回使用する。

【保管】室温保存。

アズノール軟膏　０．０３３％(20g/本)　Azunol　採用

商品名:アズノール軟膏０．０３３％

規格:０．０３３％１０ｇ　薬価:92.00　製造:日本新薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2649716M1042　院内コード:200437

成分:ジメチルイソプロピルアズレン,

【効】１）．　湿疹。

２）．　熱傷・その他の疾患によるびらん及び潰瘍。

【用】通常、症状により適量を１日数回塗布する。

【保管】室温保存。

インテバンクリーム１％（25g/本）　Inteban　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:インテバンクリーム１％

規格:１％１ｇ　薬価:3.30　製造:帝國製薬　剤型:クリームYJ:2649719N1106　院内コード:200496

成分:インドメタシン,

【効】次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。

【用】症状により、適量を１日数回患部に塗擦する。

【保管】室温保存。

エキザルベ　Eksalb　採用

商品名:エキザルベ

規格:１ｇ　薬価:29.80　製造:マルホ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2649852M1020　院内コード:200997

成分:ヒドロコルチゾン,ブドウ球菌死菌,レンサ球菌死菌,大腸菌死菌,緑膿菌死菌,

【効】１）．　湿潤、びらん、結痂を伴うか、又は二次感染を併発している次記疾患：湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）、熱傷、術創。

２）．　湿疹様変化を伴う膿皮症（感染性湿疹様皮膚炎、湿疹様膿痂疹）。

【用】通常、１日１～数回直接患部に塗布又は塗擦するか、あるいは無菌ガーゼ等にのばして貼付する。

なお、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

オイラックスＨクリーム(5g/本)　Eurax H　採用

商品名:オイラックスＨクリーム

規格:１ｇ　薬価:14.40　製造:日新製薬　剤型:クリームYJ:2649800N1029　院内コード:201193

成分:クロタミトン,ヒドロコルチゾン,

【効】湿疹・皮膚炎群（進行性指掌角皮症、ビダール苔癬、放射線皮膚炎、日光皮膚炎を含む）

、皮膚そう痒症、小児ストロフルス、虫さされ、乾癬。

【用】通常、１日１～数回直接患部に塗布又は塗擦するか、あるいは無菌ガーゼ等にのばして貼付する。なお、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

オイラックスクリーム１０％(10g/本)　Eurax　採用

商品名:オイラックスクリーム１０％

規格:１０％１０ｇ　薬価:58.10　製造:日新製薬　剤型:クリームYJ:2649722N1027　院内コード:200989

成分:クロタミトン,

【効】湿疹、じん麻疹、神経皮膚炎、皮膚そう痒症、小児ストロフルス。

【用】通常症状により適量を１日数回患部に塗布または塗擦する。

【保管】室温保存。

ケトプロフェンテープ２０ｍｇ「ＳＮ」　(7枚/袋)　Ketoprofen SN　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:採用]モーラステープ20mg(7枚/袋)

商品名:ケトプロフェンテープ２０ｍｇ「ＳＮ」

規格:７ｃｍ×１０ｃｍ1枚　薬価:18.00　製造:シオノケミカル　剤型:貼付剤　YJ:2649729S2240　院内コード:202689

成分:ケトプロフェン,

【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫）、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。

２）．　関節リウマチにおける関節局所の鎮痛。

【用】１日１回患部に貼付する。

【保管】室温保存。

ケトプロフェンテープ４０ｍｇ「ＳＮ」　(7枚/袋)　Ketoprofen SN　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:採用]モーラステープＬ40mg(7枚/袋)

商品名:ケトプロフェンテープ４０ｍｇ「ＳＮ」

規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚　薬価:25.70　製造:シオノケミカル　剤型:貼付剤　YJ:2649729S3173　院内コード:202690

成分:ケトプロフェン,

【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫）、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。

２）．　関節リウマチにおける関節局所の鎮痛。

【用】１日１回患部に貼付する。

【保管】室温保存。

ザーネ軟膏０．５％ Sahne 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ザーネ軟膏０．５％
規格:５，０００単位１ｇ 薬価:1.90 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2649724M1039 院内コード:200447
成分:ビタミンＡ油,
【効】角化性皮膚疾患（尋常性魚鱗癬、毛孔性苔癬、単純性粃糠疹）。
【用】１日２～３回患部に塗擦する。
【保管】室温保存。

スチックゼノールＡ（40g/本） Stickzenol A 採用
商品名:スチックゼノールＡ
規格:１０ｇ 薬価:33.30 製造:三笠製薬 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2649858M1036 院内コード:200505
成分:ｄｌ－カンフル,ｌ－メントール,グリチルレチン酸,サリチル酸メチル,
【効】次記における鎮痛・消炎：打撲、捻挫、筋肉痛、関節痛、骨折痛、虫ささされ。
【用】通常、１日１～数回適量を患部に塗擦する。
【保管】室温保存。

セルタッチパップ７０／7枚（袋） Seltouch 採用 <先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:セルタッチパップ７０
規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚 薬価:18.20 製造:帝國製薬 剤型:貼付剤 YJ:2649731S1143 院内コード:203651
成分:フェルビナク,
【効】次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
【用】１日２回患部に貼付する。
【保管】室温保存。

ボルタレンゲル１％（25g/本） Voltaren 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:ボルタレンゲル１％
規格:１％１ｇ 薬価:3.20 製造:同仁医薬化工 剤型:ゲル YJ:2649734Q1069 院内コード:200993
成分:ジクロフェナクナトリウム,
【効】次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛（筋・筋膜性腰痛症等）、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
【用】症状により、適量を１日数回患部に塗擦する。
【保管】室温保存。

モーラステープ20mg （7枚/袋） Mohrus 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:モーラステープ２０ｍｇ
規格:７ｃｍ×１０ｃｍ1枚 薬価:18.10 製造:久光製薬 剤型:貼付剤 YJ:2649729S2169 院内コード:200516
成分:ケトプロフェン,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫）、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
２）．　関節リウマチにおける関節局所の鎮痛。
【用】１日１回患部に貼付する。
【保管】室温保存。

モーラステープＬ40mg （7枚/袋） Mohrus L 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:モーラステープＬ４０ｍｇ
規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚 薬価:26.60 製造:久光製薬 剤型:貼付剤 YJ:2649729S3084 院内コード:200517
成分:ケトプロフェン,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫）、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
２）．　関節リウマチにおける関節局所の鎮痛。
【用】１日１回患部に貼付する。
【保管】室温保存。

モーラスパップＸＲ１２０ｍｇ (7枚/袋) Mohrus XR 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:モーラスパップＸＲ１２０ｍｇ
規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚 薬価:27.30 製造:久光製薬 剤型:貼付剤 YJ:2649729S5028 院内コード:202676
成分:ケトプロフェン,
【効】１）．　次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：腰痛症（筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫）、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
２）．　関節リウマチにおける関節局所の鎮痛。
【用】１日１回患部に貼付する。
【保管】室温保存。

ユベラ軟膏（56ｇ/本） Juvela 採用
商品名:ユベラ軟膏
規格:１ｇ 薬価:5.00 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2649805M1026 院内コード:202825
成分:トコフェロール,ビタミンＡ油,

【効】１）．　凍瘡。
２）．　進行性指掌角皮症。
３）．　尋常性魚鱗癬。
４）．　毛孔性苔癬。
５）．　単純性粃糠疹。
６）．　掌蹠角化症。
【用】通常１日１～数回適量を患部に塗布する。
【保管】１５℃以下の冷所に保存すること。

ロキソプロフェンＮａテープ１００ｍｇ「科研」　Loxoprofen Na KAKEN　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]ロキソニンパップ100mg(7枚/袋)
商品名:ロキソプロフェンＮａテープ１００ｍｇ「科研」
規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚　薬価:18.20　製造:帝國製薬　剤型:貼付剤　YJ:2649735S3136　院内コード:203378
成分:ロキソプロフェンナトリウム水和物,
【効】次記疾患並びに症状の消炎・鎮痛：変形性関節症、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
【用】１日１回、患部に貼付する。
【保管】室温保存。

ロコアテープ（７枚/袋）　Loqoa　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ロコアテープ
規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚　薬価:30.10　製造:大正製薬　剤型:貼付剤　YJ:2649896S1022　院内コード:202720
成分:エスフルルビプロフェン,ハッカ油,
【効】変形性関節症における鎮痛・消炎。
【用】１日１回、患部に貼付する。同時に２枚を超えて貼付しないこと。
【保管】室温保存。

亜鉛華（１０％）単軟膏「ニッコー」　Zinc oxide Nikko　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]亜鉛華軟膏「ヨシダ」
商品名:亜鉛華（１０％）単軟膏「ニッコー」
規格:１０ｇ　薬価:26.70　製造:日興製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2649710M2050　院内コード:203540
成分:酸化亜鉛,
【効】１）．　次記皮膚疾患の収れん・消炎・保護・緩和な防腐：外傷、熱傷、凍傷、湿疹、皮膚炎、肛門そう痒症、白癬、面皰、せつ、よう。
２）．　その他の皮膚疾患によるびらん・潰瘍・湿潤面。
【用】通常、症状に応じ１日１～数回、患部に塗擦または貼布する。
【保管】室温保存。

ｹﾄﾌﾟﾛﾌｪﾝﾊﾟｯﾌﾟ30mg「日医工」(7枚/袋 ﾐﾙﾀｯｸｽ)　Ketoprofen　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]モーラスパップ３０ｍｇ
商品名:ケトプロフェンパップ３０ｍｇ「日医工」
規格:１０ｃｍ×１４ｃｍ1枚　薬価:18.20　製造:日医工　剤型:貼付剤　YJ:2649729S1197　院内コード:202555
成分:ケトプロフェン,
【効】次記疾患並びに症状の鎮痛・消炎：変形性関節症、肩関節周囲炎、腱炎・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・外傷後の疼痛。
【用】１日２回、患部に貼付する。
【保管】室温保存。

265: 寄生性皮ふ疾患用剤

2652: 外用サリチル酸系製剤

１０％サリチル酸ワセリン軟膏東豊　Salicylic acid TOHO　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:１０％サリチル酸ワセリン軟膏東豊
規格:１０％１０ｇ　薬価:43.10　製造:東豊薬品　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2652701M2021　院内コード:200452
成分:サリチル酸,
【効】乾癬、白癬（頭部浅在性白癬、小水疱性斑状白癬、汗疱状白癬、頑癬）、癜風、紅色粃糠疹、紅色陰癬、角化症（尋常性魚鱗癬、先天性魚鱗癬、毛孔性苔癬、先天性手掌足底角化症＜腫＞、ダリエー病、遠山連圏状粃糠疹）、湿疹（角化を伴う）、口囲皮膚炎、掌蹠膿疱症、ヘブラ粃糠疹、アトピー性皮膚炎、ざ瘡、せつ、腋臭症、多汗症、その他角化性皮膚疾患。
【用】成人１日１～２回塗布する。
【保管】室温保存。

2655: イミダゾール系製剤

アトラント軟膏１％（10g/本）　Atolant　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アトラント軟膏１％
規格:１％１ｇ　薬価:21.90　製造:久光製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2655711M1039　院内コード:200553
成分:ネチコナゾール塩酸塩,
【効】次記の皮膚真菌症の治療。
１）．　白癬：足白癬、体部白癬、股部白癬。
２）．　皮膚カンジダ症：皮膚カンジダ症の指間びらん症、皮膚カンジダ症の間擦疹。

3）．　癜風。
【用】１日１回患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ニゾラールクリーム2%（10g/本）　Nizoral　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:ニゾラールクリーム２％
規格:２％１ｇ　薬価:14.50　製造:帝國製薬　剤型:クリームYJ:2655709N1053　院内コード:200507
成分:ケトコナゾール,
【効】次記の皮膚真菌症の治療。
1）．　白癬：足白癬、体部白癬、股部白癬。
2）．　皮膚カンジダ症：皮膚カンジダ症の指間糜爛症、皮膚カンジダ症の間擦疹（乳児寄生菌性紅斑を含む）。
3）．　癜風。
4）．　脂漏性皮膚炎。
【用】〈白癬、皮膚カンジダ症、癜風〉白癬、皮膚カンジダ症、癜風に対しては、１日１回患部に塗布する。
〈脂漏性皮膚炎〉脂漏性皮膚炎に対しては、１日２回患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ニゾラールローション２％（10g/本）　Nizoral　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:ニゾラールローション２％
規格:２％１ｇ　薬価:22.10　製造:岩城製薬　剤型:液　YJ:2655709Q1025　院内コード:200508
成分:ケトコナゾール,
【効】次記の皮膚真菌症の治療。
1）．　白癬：足白癬、体部白癬、股部白癬。
2）．　皮膚カンジダ症：皮膚カンジダ症の指間糜爛症、皮膚カンジダ症の間擦疹（乳児寄生菌性紅斑を含む）。
3）．　癜風。
4）．　脂漏性皮膚炎。
【用】〈白癬、皮膚カンジダ症、癜風〉白癬、皮膚カンジダ症、癜風に対しては、１日１回患部に塗布する。
〈脂漏性皮膚炎〉脂漏性皮膚炎に対しては、１日２回患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ルリコンクリーム１％（10g/本）　Lulicon　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:ルリコンクリーム１％
規格:１％１ｇ　薬価:28.20　製造:サンファーマ　剤型:クリームYJ:2655712N1020　院内コード:200571
成分:ルリコナゾール,
【効】次記の皮膚真菌症の治療。
1）．　白癬：足白癬、体部白癬、股部白癬。
2）．　カンジダ症：カンジダ症の指間びらん症、カンジダ症の間擦疹。
3）．　癜風。
【用】１日１回患部に塗布する。
【保管】室温保存。

2659: その他の寄生性皮ふ疾患用剤

ペキロンクリーム０．５％（10g/本）　Pekiron　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ペキロンクリーム０．５％
規格:０．５％１ｇ　薬価:20.50　製造:テイカ製薬　剤型:クリームYJ:2659711N1033　院内コード:200998
成分:アモロルフィン塩酸塩,
【効】次記の皮膚真菌症の治療。
1）．　白癬：足白癬、手白癬、体部白癬、股部白癬。
2）．　皮膚カンジダ症：皮膚カンジダ症の指間びらん症、皮膚カンジダ症の間擦疹（乳児寄生菌性紅斑を含む）、皮膚カンジダ症の爪囲炎。
3）．　癜風。
【用】１日１回患部に塗布する。
【保管】室温保存。

266: 皮ふ軟化剤（腐しょく剤を含む）

2661: 有機酸製剤；トリクロル酢酸等

スピール膏M　Speelko M　採用
商品名:スピール膏M
規格:２５平方ｃｍ１枚　薬価:70.60　製造:ニチバン　剤型:貼付剤　YJ:2661701X1020　院内コード:200464
成分:サリチル酸,
【効】疣贅、鶏眼、胼胝腫の角質剥離。
【用】本剤を患部大（患部と同じ大きさ）に切って貼付し、移動しないように固定する。２～５日目ごとに取りかえる。
【保管】遮光した密閉容器。

2669: その他の皮ふ軟化剤（腐しょく剤を含

尿素クリーム２０％「ＳＵＮ」　Urea　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]パスタロンソフト軟膏２０％
商品名:尿素クリーム２０％「ＳＵＮ」

規格:２０％１ｇ　薬価:3.30　製造:サンファーマ　剤型:クリームYJ:2669701N2113　院内コード:203506
成分:尿素,
【効】魚鱗癬、老人性乾皮症、アトピー皮膚、進行性指掌角皮症（主婦湿疹の乾燥型）、足蹠部皸裂性皮膚炎、掌蹠角化症、毛孔性苔癬。
【用】１日１～数回、患部に塗擦する。
【保管】室温保存。

267: 毛髪用剤（発毛剤、脱毛剤、染毛剤、

2679: その他の毛髪用剤（発毛剤、脱毛剤、染

フロジン外用液５％（30mL/本）　Furozin　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:フロジン外用液５％
規格:５％１ｍＬ　薬価:15.40　製造:ニプロファーマ　剤型:液　YJ:2679701Q1055　院内コード:200531
成分:カルプロニウム塩化物,
【効】１）．　次記のごとき疾患における脱毛防止ならびに発毛促進：円形脱毛症（多発性円形脱毛症を含む）、悪性脱毛症、びまん性脱毛症、粃糠性脱毛症、壮年性脱毛症、症候性脱毛症など。
２）．　乾性脂漏。
３）．　尋常性白斑。
【用】〈脱毛症・乾性脂漏の場合〉１日２～３回適量を患部に塗布、あるいは被髪部全体にふりかけ、軽くマッサージする。
〈尋常性白斑の場合〉１日３～４回適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

269: その他の外皮用薬

2691: 外用ビタミン製剤；ビタミン軟膏等

オキサロール軟膏２５μｇ／ｇ　Oxarol　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:オキサロール軟膏２５μｇ／ｇ
規格:０．００２５％１ｇ　薬価:39.20　製造:マルホ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2691702M1036　院内コード:201002
成分:マキサカルシトール,
【効】尋常性乾癬、魚鱗癬群、掌蹠角化症、掌蹠膿疱症。
【用】通常１日２回適量を患部に塗擦する。なお、症状により適宜回数を減じる。
【保管】室温保存。

2699: 他に分類されない外皮用薬

アクトシン軟膏３％（30ｇ/本）　Actosin　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アクトシン軟膏３％
規格:３％１ｇ　薬価:45.50　製造:ニプロファーマ　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2699703M1039　院内コード:200492
成分:ブクラデシンナトリウム,
【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）。
【用】症状及び病巣の大きさに応じて適量を使用する。潰瘍面を清拭後、１日１～２回ガーゼなどにのばして貼付するか、又は患部に直接塗布する。
【保管】１０℃以下。

カデックス軟膏0.9%（40g/本）　Cadex　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:カデックス軟膏０．９％
規格:０．９％１ｇ　薬価:50.20　製造:スミス・アンド・ネフュー　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2699704M1025　院内コード:200556
成分:ヨウ素,
【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）。
【用】潰瘍面を清拭後、通常１日１回、患部に約３mmの厚さに塗布する（直径４ｃｍあたり３ｇを目安に塗布する）。
滲出液の量が多い場合は、１日２回塗布する。
【保管】直射日光、高温を避け、室温で保存。

コレクチム軟膏０．５％（5g/本）　Corectim　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:コレクチム軟膏０．５％
規格:０．５％１ｇ　薬価:141.20　製造:塩野義製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:2699714M1029　院内コード:203284
成分:デルゴシチニブ,
【効】アトピー性皮膚炎。
【用】通常、成人には、０．５％製剤を１日２回、適量を患部に塗布する。なお、１回あたりの塗布量は５ｇまでとする。
通常、小児には、０．２５％製剤を１日２回、適量を患部に塗布する。症状に応じて、０．５％製剤を１日２回塗布することができる。なお、１回あたりの塗布量は５ｇまでとするが、体格を考慮すること。
【保管】室温保存。

ディフェリンゲル０．１％（15g/本）　Differin　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ディフェリンゲル０．１％
規格:０．１％１ｇ　薬価:40.10　製造:マルホ　剤型:ゲル　YJ:2699711Q1027　院内コード:201007
成分:アダパレン,
【効】尋常性ざ瘡。
【用】１日１回、洗顔後、患部に適量を塗布する。

【保管】室温保存。

デュアック配合ゲル(10g/本) Duac 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:デュアック配合ゲル

規格:１ｇ 薬価:95.90 製造:サンファーマ 剤型:ゲル YJ:2699803Q1020 院内コード:202837

成分:クリンダマイシンリン酸エステル水和物,過酸化ベンゾイル,

【効】尋常性ざ瘡。

【用】１日１回、洗顔後、患部に適量を塗布する。

【保管】２～８℃で保存。

ドボベット軟膏（15g/本） Dovobet 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:ドボベット軟膏

規格:１ｇ 薬価:150.40 製造:レオ　ファーマ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2699802M1024 院内コード:202601

成分:カルシポトリオール水和物,ベタメタゾンジプロピオン酸エステル,

【効】尋常性乾癬。

【用】通常、１日１回、患部に適量塗布する。

【保管】室温保存。

フィブラストスプレー５００ Fiblast 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:フィブラストスプレー５００

規格:５００μｇ１瓶（溶解液付） 薬価:6189.70 製造:科研製薬 剤型:噴霧剤 YJ:2699710R2024 院内コード:201006

成分:トラフェルミン（遺伝子組換え）,

【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、下腿潰瘍）。

【用】添付溶解液１ｍＬ当たりトラフェルミン（遺伝子組換え）として１００μｇを用時溶解し、潰瘍面を清拭後、本剤専用の噴霧器を用い、１日１回、潰瘍の最大径が６ｃｍ以内の場合は、潰瘍面から約５ｃｍ離して５噴霧（トラフェルミン（遺伝子組換え）として３０μｇ）する。潰瘍の最大径が６ｃｍを超える場合は、薬剤が同一潰瘍面に５噴霧されるよう、潰瘍面から約５ｃｍ離して同様の操作を繰り返す。

【保管】冷所保存。

プロスタンディン軟膏０．００３％（30g/本） Prostandin 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:プロスタンディン軟膏０．００３％

規格:０．００３％１ｇ 薬価:33.40 製造:小野薬品 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2699705M1038 院内コード:200512

成分:アルプロスタジル　アルファデクス,

【効】褥瘡、皮膚潰瘍（熱傷潰瘍、糖尿病性潰瘍、下腿潰瘍、術後皮膚潰瘍）。

【用】症状および病巣の大きさに応じて適量を使用する。

潰瘍周囲から潰瘍部にかけて消毒・清拭した後、１日２回、適量をガーゼなどにのばしてこれを潰瘍部に貼付するか、潰瘍部に直接塗布し、ガーゼなどで保護する。

【保管】室温保存。

プロトピック軟膏0.03%小児用（5g/本） Protopic 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>

商品名:プロトピック軟膏０．０３%小児用

規格:０．０３%１ｇ 薬価:62.00 製造:マルホ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2699709M2024 院内コード:201005

成分:タクロリムス水和物,

【効】アトピー性皮膚炎。

【用】通常、小児には１日１～２回、適量を患部に塗布する。なお、１回あたりの塗布量は５ｇまでとするが、年齢により適宜減量する。

【保管】室温保存。

プロトピック軟膏０．１%（5g/本） Protopic 採用 (劇) <先発品（後発品あり）>

商品名:プロトピック軟膏０．１%

規格:０．１%１ｇ 薬価:47.00 製造:マルホ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:2699709M1028 院内コード:201004

成分:タクロリムス水和物,

【効】アトピー性皮膚炎。

【用】通常、成人には１日１～２回、適量を患部に塗布する。なお、１回あたりの塗布量は５ｇまでとする。

【保管】室温保存。

ベピオローション２．５% Bepio 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:ベピオローション２．５%

規格:２．５%１ｇ 薬価:92.30 製造:マルホ 剤型:液 YJ:2699712Q2028 院内コード:203609

成分:過酸化ベンゾイル,

【効】尋常性ざ瘡。

【用】１日１回、洗顔後、患部に適量を塗布する。

【保管】凍結を避け、２５℃以下に保存すること。

29: その他の個々の器官系用医薬品

290: その他の個々の器官系用薬品

2900: その他の個々の器官系用医薬品

セファランチン錠１ｍｇ　Cepharanthin 採用

商品名:セファランチン錠１ｍｇ

規格:１ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:メディサ新薬　剤型:錠　YJ:2900001F1029　院内コード:200136

成分:セファランチン,

【効】１）．　放射線による白血球減少症。

２）．　円形脱毛症・粗糠性脱毛症。

【用】〈白血球減少症〉通常成人には、タマサキツヅラフジ抽出アルカロイドとして、１日３～６ｍｇを２～３回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈脱毛症〉通常成人には、タマサキツヅラフジ抽出アルカロイドとして、１日１．５～２ｍｇを２～３回に分けて食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

3:代謝性医薬品

31:ビタミン剤

311:ビタミンＡ及びＤ剤

3112:合成ビタミンＤ製剤

アルファカルシドール錠０．２５μｇ「アメル」(ｱﾙﾌｧﾛｰﾙ)　Alfacalcidol AMEL 採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ワンアルファ錠０．２５μｇ

商品名:アルファカルシドール錠０．２５μｇ「アメル」

規格:０．２５μｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:3112001F1063　院内コード:203775

成分:アルファカルシドール,

【効】１）．　次記の疾患におけるビタミンＤ代謝異常に伴う諸症状（低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等）の改善：慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、ビタミンＤ抵抗性クル病・ビタミンＤ抵抗性骨軟化症。

２）．　骨粗鬆症。

【用】〈効能共通〉本剤は、患者の血清カルシウム濃度の十分な管理のもとに、投与量を調整する。

〈慢性腎不全、骨粗鬆症〉通常、成人１日１回アルファカルシドールとして０．５～１．０μｇを経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。

〈副甲状腺機能低下症、その他のビタミンＤ代謝異常に伴う疾患〉通常、成人１日１回アルファカルシドールとして１．０～４．０μｇを経口投与する。ただし、疾患、年齢、症状、病型により適宜増減する。

（小児用量）

通常、小児に対しては骨粗鬆症の場合には１日１回アルファカルシドールとして０．０１～０．０３μｇ／ｋｇを、その他の疾患の場合には１日１回アルファカルシドールとして０．０５～０．１μｇ／ｋｇを経口投与する。ただし、疾患、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

アルファカルシドール錠０．５μｇ「アメル」(ﾜﾝｱﾙﾌｧ)　Alfacalcidol AMEL 採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ワンアルファ錠０．５μｇ

商品名:アルファカルシドール錠０．５μｇ「アメル」

規格:０．５μｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:3112001F2060　院内コード:202856

成分:アルファカルシドール,

【効】１）．　次記の疾患におけるビタミンＤ代謝異常に伴う諸症状（低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等）の改善：慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、ビタミンＤ抵抗性クル病・ビタミンＤ抵抗性骨軟化症。

２）．　骨粗鬆症。

【用】〈効能共通〉本剤は、患者の血清カルシウム濃度の十分な管理のもとに、投与量を調整する。

〈慢性腎不全、骨粗鬆症〉通常、成人１日１回アルファカルシドールとして０．５～１．０μｇを経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。

〈副甲状腺機能低下症、その他のビタミンＤ代謝異常に伴う疾患〉通常、成人１日１回アルファカルシドールとして１．０～４．０μｇを経口投与する。ただし、疾患、年齢、症状、病型により適宜増減する。

（小児用量）

通常、小児に対しては骨粗鬆症の場合には１日１回アルファカルシドールとして０．０１～０．０３μｇ／ｋｇを、その他の疾患の場合には１日１回アルファカルシドールとして０．０５～０．１μｇ／ｋｇを経口投与する。ただし、疾患、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

アルファカルシドール錠１．０μｇ「アメル」(ｱﾙﾌｧﾛｰﾙ)　Alfacalcidol AMEL 採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ワンアルファ錠１．０μｇ

商品名:アルファカルシドール錠１．０μｇ「アメル」

規格:１μｇ１錠　薬価:6.30　製造:共和薬品　剤型:錠　YJ:3112001F3066　院内コード:203776

成分:アルファカルシドール,

【効】１）．　次記の疾患におけるビタミンＤ代謝異常に伴う諸症状（低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等）の改善：慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、ビタミンＤ抵抗性クル病・ビタミンＤ抵抗性骨軟化症。

２）．　骨粗鬆症。

【用】〈効能共通〉本剤は、患者の血清カルシウム濃度の十分な管理のもとに、投与量を調整する。

〈慢性腎不全、骨粗鬆症〉通常、成人１日１回アルファカルシドールとして０．５～１．０μｇを経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。

〈副甲状腺機能低下症、その他のビタミンＤ代謝異常に伴う疾患〉通常、成人１日１回アルファカルシドールとして１．０～４．０μｇを経口投与する。ただし、疾患、年齢、症状、病型により適宜増減する。

（小児用量）

31: ビタミン剤

通常、小児に対しては骨粗鬆症の場合には１日１回アルファカルシドールとして０．０１～０．０３μｇ／ｋｇを、その他の疾患の場合には１日１回アルファカルシドールとして０．０５～０．１μｇ／ｋｇを経口投与する。ただし、疾患、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルデカルシトールカプセル０．７５μｇ「サワイ」(ｴﾃﾞｨﾛｰﾙ)　Eldecalcitol SAWAI　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エディロール錠０．７５μｇ
商品名:エルデカルシトールカプセル０．７５μｇ「サワイ」
規格:０．７５μｇ１カプセル　薬価:15.40　製造:沢井製薬　剤型:カプセルYJ:3112006M2037　院内コード:203293
成分:エルデカルシトール,
【効】骨粗鬆症。
【用】通常、成人にはエルデカルシトールとして１日１回０．７５μｇを経口投与する。ただし、症状により適宜１日１回０．５μｇに減量する。
【保管】室温保存。

マキサカルシトール静注透析用シリンジ１０μｇ「フソー」(ｵｷｻﾛｰﾙ)　Maxacalcitol FUSO　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]オキサロール注１０μｇ
商品名:マキサカルシトール静注透析用シリンジ１０μｇ「フソー」
規格:１０μｇ１ｍＬ１筒　薬価:956.00　製造:扶桑薬品　剤型:キット類YJ:3112401G3030　院内コード:300984
成分:マキサカルシトール,
【効】維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症。
【用】通常、成人には、透析終了直前にマキサカルシトールとして、１回２．５～１０μｇを週３回、透析回路静脈側に注入（静注）する。
なお、血清副甲状腺ホルモン（ＰＴＨ）の改善効果が得られない場合は、高カルシウム血症の発現等に注意しながら、１回２０μｇを上限に慎重に漸増する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

マキサカルシトール静注透析用シリンジ５μｇ「フソー」(ｵｷｻﾛｰﾙ)　Maxacalcitol FUSO　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]オキサロール注５μｇ
商品名:マキサカルシトール静注透析用シリンジ５μｇ「フソー」
規格:５μｇ１ｍＬ１筒　薬価:858.00　製造:扶桑薬品　剤型:キット類YJ:3112401G2033　院内コード:300983
成分:マキサカルシトール,
【効】維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症。
【用】通常、成人には、透析終了直前にマキサカルシトールとして、１回２．５～１０μｇを週３回、透析回路静脈側に注入（静注）する。
なお、血清副甲状腺ホルモン（ＰＴＨ）の改善効果が得られない場合は、高カルシウム血症の発現等に注意しながら、１回２０μｇを上限に慎重に漸増する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

3119: その他のビタミンＡ及びＤ剤

チガソンカプセル１０　Tigason　採用　(劇)
商品名:チガソンカプセル１０
規格:１０ｍｇ１カプセル　薬価:502.20　製造:太陽ファルマ　剤型:カプセルYJ:3119001M1020　院内コード:200676
成分:エトレチナート,
【効】諸治療が無効かつ重症な次記疾患：乾癬群（尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、乾癬性関節炎）、魚鱗癬群（尋常性魚鱗癬、水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症、非水疱型先天性魚鱗癬様紅皮症）、掌蹠角化症、ダリエー病、掌蹠膿疱症、毛孔性紅色粃糠疹及び紅斑性角化症、口腔白板症、口腔乳頭腫及び口腔扁平苔癬。
【用】通常成人は寛解導入量エトレチナートとして１日４０～５０ｍｇを２～３回に分けて２～４週間経口投与する。１日最高用量は７５ｍｇまでとする。その後、症状に応じて寛解維持量エトレチナートとして１日１０～３０ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
幼・小児では寛解導入量エトレチナートとして１日体重１ｋｇあたり１．０ｍｇを１～３回に分けて２～４週間経口投与する。その後、症状に応じて寛解維持量エトレチナートとして１日体重１ｋｇあたり０．６～０．８ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

312: ビタミンＢ1剤

3122: ビタミンＢ1誘導体製剤

アリナミンＦ糖衣錠２５ｍｇ　Alinamin-F　採用
商品名:２５ｍｇアリナミンＦ糖衣錠
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:錠　YJ:3122007F2039　院内コード:200045
成分:フルスルチアミン,
【効】１）．　ビタミンＢ１欠乏症の予防及び治療。
２）．　ビタミンＢ１の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時等）。
３）．　ウェルニッケ脳症。
４）．　脚気衝心。
５）．　次記疾患のうちビタミンＢ１欠乏又はビタミンＢ１代謝障害が関与すると推定される場合：神経痛、筋肉痛、関節痛、末梢神経炎、末梢神経麻痺、心筋代謝障害、便秘等の胃腸運動機能障害、術後腸管麻痺。
５．の効能・効果に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】通常、成人には１日量１～４錠（フルスルチアミンとして２５～１００ｍｇ）を１日１～３回に分けて食後直ちに経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

313: ビタミンＢ剤（ビタミンＢ1剤を除

3133: パントテン酸系製剤

パンテチン錠１００ｍｇ「ＹＤ」 Pantethine 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]パントシン錠１００
商品名:パンテチン錠１００ｍｇ「ＹＤ」
規格:１００ｍｇ１錠 薬価:6.10 製造:陽進堂ホールディングス 剤型:錠 YJ:3133001F3163 院内コード:203072
成分:パンテチン,
【効】（１）． パントテン酸欠乏症の予防および治療。
（２）． パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など）。
（３）． 次記疾患のうち、パントテン酸欠乏またはパントテン酸代謝障害が関与すると推定される場合：高脂血症、弛緩性便秘、パントテン酸欠乏またはパントテン酸代謝障害が関与すると推定されるストレプトマイシンによる副作用およびカナマイシンによる副作用の予防および治療、パントテン酸欠乏またはパントテン酸代謝障害が関与すると推定される急性湿疹・慢性湿疹、パントテン酸欠乏またはパントテン酸代謝障害が関与すると推定される血液疾患の血小板数の改善ならびに出血傾向の改善。
なお、３．の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】通常、成人にはパンテチンとして１日３０～１８０ｍｇ、血液疾患、弛緩性便秘には１日３００～６００ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。高脂血症には１日６００ｍｇを３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

パントール注射液５００ｍｇ Pantol 採用
商品名:パントール注射液５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１管 薬価:63.00 製造:トーアエイヨー 剤型:注射液 YJ:3133401A3045 院内コード:300100
成分:パンテノール,
【効】（１）． パントテン酸欠乏症の予防及び治療。
（２）． パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦等）。
（３）． 次記疾患のうち、パントテン酸欠乏又はパントテン酸代謝障害が関与すると推定される場合：ストレプトマイシンによる副作用及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療、パントテン酸欠乏又はパントテン酸代謝障害が関与すると推定される接触皮膚炎、急性湿疹・慢性湿疹、術後腸管麻痺。
前記３．の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】通常、成人にはパンテノールとして１回２０～１００ｍｇを１日１～２回、術後腸管麻痺には１回５０～５００ｍｇを１日１～３回、必要に応じては６回まで、皮下、筋肉内又は静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

パントシン散２０％ Pantosin 採用 <準先発品>
商品名:パントシン散２０％
規格:２０％１ｇ 薬価:10.00 製造:アルフレッサ ファーマ 剤型:散 YJ:3133001B1193 院内コード:200204
成分:パンテチン,
【効】（１）． パントテン酸欠乏症の予防及び治療。
（２）． パントテン酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など）。
（３）． 次記疾患のうち、パントテン酸欠乏又はパントテン酸代謝障害が関与すると推定される場合：高脂血症、弛緩性便秘、パントテン酸欠乏又はパントテン酸代謝障害が関与すると推定されるストレプトマイシンによる副作用及びカナマイシンによる副作用の予防及び治療、パントテン酸欠乏又はパントテン酸代謝障害が関与すると推定される急性湿疹・慢性湿疹、パントテン酸欠乏又はパントテン酸代謝障害が関与すると推定される血液疾患の血小板数の改善ならびに出血傾向の改善。
なお、３．の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】通常、成人にはパンテチンとして１日３０～１８０ｍｇ、血液疾患、弛緩性便秘には１日３００～６００ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。高脂血症には１日６００ｍｇを３回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3134: ビタミンＢ6製剤

ピドキサール錠１０ｍｇ Pydoxal 採用
商品名:ピドキサール錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:太陽ファルマ 剤型:錠 YJ:3134003F1388 院内コード:200211
成分:ピリドキサールリン酸エステル水和物,
【効】（１）． ビタミンＢ６欠乏症の予防及び治療（薬物投与＜例えばイソニアジド＞によるものを含む）。
（２）． ビタミンＢ６の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦等）。
（３）． ビタミンＢ６依存症（ビタミンＢ６反応性貧血等）。
（４）． 次記疾患のうち、ビタミンＢ６欠乏又はビタミンＢ６代謝障害が関与すると推定される場合：口角炎、口唇炎、舌炎、口内炎、急性湿疹・慢性湿疹、脂漏性湿疹、接触皮膚炎、アトピー皮膚炎、尋常性ざ瘡、末梢神経炎、放射線障害（放射線宿酔）。
４．の適用＜効能又は効果＞に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】ピリドキサールリン酸エステル水和物として、通常、成人１日１０～６０ｍｇを１～３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
極めてまれであるが、依存症の場合には、より大量を用いる必要のある場合もある。
【保管】室温保存。

3135: 葉酸製剤

フォリアミン錠５ｍｇ Foliamin 採用

31: ビタミン剤

商品名:フォリアミン錠
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:富士製薬　剤型:錠　YJ:3135001F1025　院内コード:200400
成分:葉酸,
【効】（１）．　葉酸欠乏症の予防および治療。
（２）．　葉酸の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）。
（３）．　悪性貧血の補助療法。
（４）．　吸収不全症候群（スプルーなど）。
（５）．　次記疾患のうち、葉酸欠乏または葉酸代謝障害が関与すると推定される場合：
栄養性貧血、妊娠性貧血、小児貧血、抗けいれん剤投与に起因する貧血、抗マラリア剤投与に起因する貧血。
（６）．　アルコール中毒および、肝疾患に関連する大赤血球性貧血。
（７）．　再生不良性貧血。
（８）．　顆粒球減少症。
５．の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】葉酸として、通常成人１日５～２０ｍｇ、小児１日５～１０ｍｇを、２～３回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
一般に消化管に吸収障害のある場合、あるいは症状が重篤な場合は注射をおこなう方がよい。
【保管】室温保存。

3136: ビタミンＢ12製剤

シアノコバラミン注射液1000μｇ(1mg/1mL)「ﾄｰﾜ」　Cyanocobalamin TOWA　採用
商品名:シアノコバラミン注射液１，０００μｇ「トーワ」
規格:１ｍｇ１管　薬価:104.00　製造:東和薬品　剤型:注射液　YJ:3136402A3050　院内コード:301203
成分:シアノコバラミン,
【効】（１）．　ビタミンＢ１２欠乏症の予防及び治療。
（２）．　ビタミンＢ１２の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊産婦、授乳婦など）。
（３）．　巨赤芽球性貧血。
（４）．　広節裂頭条虫症。
（５）．　悪性貧血に伴う神経障害。
（６）．　吸収不全症候群（スプルーなど）。
（７）．　次記疾患のうち、ビタミンＢ１２欠乏またはビタミンＢ１２代謝障害が関与すると推定される場合：栄養性貧血及び妊娠性貧血、胃切除後の貧血、肝障害に伴う貧血、放射線による白血球減少症、神経痛、末梢神経炎、末梢神経麻痺。
７．の適応に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】シアノコバラミンとして、通常、成人１回１０００μｇまでを皮下、筋肉内または静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

メチコバール錠５００μｇ　Methycobal　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:メチコバール錠５００μｇ
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:エーザイ　剤型:錠　YJ:3136004F2138　院内コード:200270
成分:メコバラミン,
【効】末梢性神経障害。
【用】通常、成人は１日３錠（メコバラミンとして１日１５００μｇ）を３回に分けて経口投与する。
ただし、年齢及び症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

メチコバール注射液５００μｇ　Methycobal　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:メチコバール注射液５００μｇ
規格:０．５ｍｇ１管　薬価:92.00　製造:エーザイ　剤型:注射液　YJ:3136403A1140　院内コード:300101
成分:メコバラミン,
【効】末梢性神経障害。
ビタミンＢ１２欠乏による巨赤芽球性貧血。
【用】〈末梢性神経障害〉通常、成人は１日１回１アンプル（メコバラミンとして５００μｇ）を週３回、筋肉内または静脈内に注射する。
ただし、年齢及び症状により適宜増減する。
〈巨赤芽球性貧血〉通常、成人は１日１回１アンプル（メコバラミンとして５００μｇ）を週３回、筋肉内または静脈内に注射する。
約２ヵ月投与した後、維持療法として１～３ヵ月に１回１アンプルを投与する。
【保管】室温保存。

314: ビタミンＣ剤

3140: ビタミンＣ剤

ハイシー顆粒２５％　Hicee　採用
商品名:ハイシー顆粒２５％
規格:２５％１ｇ　薬価:6.90　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:顆粒　YJ:3140002D1037　院内コード:200193
成分:アスコルビン酸,
【効】１）．　ビタミンＣ欠乏症の予防及び治療（壊血病、メルレル・バロー病）。
２）．　ビタミンＣの需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など）。
３）．　次記疾患のうち、ビタミンＣ欠乏又はビタミンＣ代謝障害が関与すると推定される場合：毛細管出血（鼻出血、歯肉出血、血尿など）、薬物中毒、副腎皮質機能障害、骨折時の骨基質形成・骨折時の骨癒合促進、肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着、光線過敏性皮膚炎。
３．の効能に対して、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用】アスコルビン酸として、通常成人１日５０～２０００ｍｇを１～数回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

315: ビタミンＥ及びＫ剤

3150: ビタミンＥ剤

ユベラ錠５０ｍｇ Juvela **採用**

商品名:ユベラ錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:錠　YJ:3150002F1239　院内コード:200280
成分:トコフェロール酢酸エステル,
【効】（１）．　ビタミンＥ欠乏症の予防及び治療。
（２）．　末梢循環障害（間歇性跛行症、動脈硬化症、静脈血栓症、血栓性静脈炎、糖尿病性網膜症、凍瘡、四肢冷感症）。
（３）．　過酸化脂質の増加防止。
１．以外の効能については、効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきではない。
【用】通常、成人にはトコフェロール酢酸エステルとして１回５０～１００ｍｇを、１日２～３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

316: ビタミンＫ剤

3160: ビタミンＫ剤

グラケーカプセル１５ｍｇ Glakay **採用** <先発品（後発品あり）>

商品名:グラケーカプセル１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１カプセル　薬価:11.90　製造:エーザイ　剤型:カプセルYJ:3160002M2028　院内コード:200678
成分:メナテトレノン,
【効】骨粗鬆症における骨量・骨粗鬆症における疼痛の改善。
【用】通常、成人にはメナテトレノンとして１日４５ｍｇを３回に分けて食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ケイツーＮ静注用１０ｍｇ KaytwoN **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:ケイツーＮ静注１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１管　薬価:63.00　製造:エーザイ　剤型:注射液　YJ:3160401A6041　院内コード:300102
成分:メナテトレノン,
【効】ビタミンＫ欠乏による次の疾患及び症状：１）胆道閉塞による低プロトロンビン血症・胆汁分泌不全による低プロトロンビン血症、２）新生児低プロトロンビン血症、３）分娩時出血、４）クマリン系抗凝血薬投与中に起こる低プロトロンビン血症、５）クマリン系殺鼠剤中毒時に起こる低プロトロンビン血症。
【用】〈胆道閉塞・胆汁分泌不全による低プロトロンビン血症、分娩時出血、クマリン系抗凝血薬投与中に起こる低プロトロンビン血症〉通常、成人には１日１回メナテトレノンとして１０～２０ｍｇを静注する。
〈新生児低プロトロンビン血症〉生後直ちに１回メナテトレノンとして１～２ｍｇを静注し、また症状に応じて２～３回反復静注する。
〈クマリン系殺鼠剤中毒時に起こる低プロトロンビン血症〉メナテトレノンとして１回２０ｍｇを静注し、症状、血液凝固能検査結果に応じて１日量４０ｍｇまで増量する。
【保管】室温保存。

317: 混合ビタミン剤（ビタミンＡ・Ｄ混合

3179: その他の混合ビタミン剤（ビタミン

シナール配合錠 Cinal **採用**

商品名:シナール配合錠
規格:１錠　薬価:10.80　製造:シオノギファーマ　剤型:錠　YJ:3179115F2034　院内コード:203035
成分:アスコルビン酸,パントテン酸カルシウム,
【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）、炎症後の色素沈着。
効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】通常、成人には１回１～３錠を１日１～３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ネオラミン・スリービー液（静注用） Neolamin 3B **採用**

商品名:ネオラミン・スリービー液（静注用）
規格:１０ｍＬ１管　薬価:117.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:3179504A1116　院内コード:300295
成分:チアミンジスルフィド,ヒドロキソコバラミン酢酸塩,ピリドキシン塩酸塩,
【効】１）．　本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）。
２）．　次記疾患のうち、本剤に含まれるビタミン類欠乏又はビタミン類代謝障害が関与すると推定される場合：神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺。
効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。
【用】通常成人１日１回１０ｍＬを緩徐に静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】２～８℃保存。

パンビタン末 Panvitan for prescription **採用**

32: 滋養強壮薬

商品名:調剤用パンビタン末

規格:１ｇ　薬価:8.50　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:末　YJ:3179121A1028　院内コード:200205

成分:アスコルビン酸,エルゴカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン硝化物,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ピリドキシン塩酸塩,リボフラビン,レチノールパルミチン酸エステル,葉酸,

【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）。

効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用】通常成人１日１～２ｇを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ビタジェクト注キット　Vitaject　採用

商品名:ビタジェクト注キット

規格:２筒１キット　薬価:589.00　製造:テルモ　剤型:キット類YJ:3179517G1035　院内コード:300297

成分:アスコルビン酸,エルゴカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,レチノールパルミチン酸エステル,葉酸,

【効】経口栄養補給が不能又は不十分、経腸管栄養補給が不能又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合のビタミン補給。

【用】Ａ液およびＢ液を、高カロリー経静脈輸液に専用の器具を用いて注入し、点滴静注する。

用量は、通常成人１日１キットとする。なお、年齢・症状により適宜増減する。

【保管】遮光・室温保存。

ビタメジン静注用　Vitamedin　採用

商品名:ビタメジン静注用

規格:１瓶　薬価:156.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:静注用　YJ:3179506F1023　院内コード:300103

成分:シアノコバラミン,ピリドキシン塩酸塩,リン酸チアミンジスルフィド,

【効】１）．　本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）。

２）．　次記疾患のうち、本剤に含まれるビタミン類欠乏又はビタミン類代謝障害が関与すると推定される場合：神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺。

効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用】通常成人１日１バイアルを日本薬局方ブドウ糖注射液又は生理食塩液若しくは注射用水２０ｍＬに溶解し、静脈内あるいは点滴静脈内注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

ビタメジン配合カプセルＢ２５　Vitamedin　採用

商品名:ビタメジン配合カプセルＢ２５

規格:１カプセル　薬価:6.30　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:カプセルYJ:3179109M1074　院内コード:200210

成分:シアノコバラミン,ピリドキシン塩酸塩,ベンフォチアミン,

【効】１）．　本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）。

２）．　次記疾患のうち、本剤に含まれるビタミン類欠乏又はビタミン類代謝障害が関与すると推定される場合：神経痛、筋肉痛・関節痛、末梢神経炎・末梢神経麻痺。

効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用】通常成人１日３～４カプセルを経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

319: その他のビタミン剤

3190: その他のビタミン剤

ビオチン散０．２％「フソー」　Biotin FUSO　採用

商品名:ビオチン散０．２％「フソー」

規格:０．２％１ｇ　薬価:6.90　製造:扶桑薬品　剤型:散　YJ:3190001B1041　院内コード:200679

成分:ビオチン,

【効】急性湿疹・慢性湿疹、小児湿疹、接触皮膚炎、脂漏性湿疹、尋常性ざ瘡。

【用】ビオチンとして、通常成人１日０．５～２ｍｇを１～３回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

32: 滋養強壮薬

321: カルシウム剤

3211: 乳酸カルシウム製剤

乳酸カルシウム水和物「ケンエー」原末　Calcium lactate hydra KENEI　採用

商品名:乳酸カルシウム水和物「ケンエー」原末

規格:１０ｇ　薬価:38.40　製造:健栄製薬　剤型:末　YJ:3211001X1300　院内コード:200580

成分:乳酸カルシウム水和物,

【効】１）．　低カルシウム血症に起因する次記症候の改善：テタニー。

２）．　次記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給：妊婦の骨軟化症・産婦の骨軟化症。

３）．　発育期におけるカルシウム補給。

【用】乳酸カルシウム水和物として、通常成人１回１ｇを１日２～５回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

3213: グルコン酸カルシウム製剤

カルチコール注射液８．５％１０ｍＬ　Calcicol　採用

商品名:カルチコール注射液８．５％１０ｍＬ
規格:８．５％１０ｍＬ１管　薬価:125.00　製造:日医工　剤型:注射液　YJ:3213400A3043　院内コード:300912
成分:グルコン酸カルシウム水和物,
【効】１）．　低カルシウム血症に起因する次記症候の改善：テタニー、テタニー関連症状。
２）．　小児脂肪便におけるカルシウム補給。
【用】グルコン酸カルシウム水和物として、通常成人０．４～２．０ｇ（カルシウムとして１．８～８．９ｍＥｑ）を８．５ｗ／ｖ％（０．３９ｍＥｑ／ｍＬ）液として、１日１回静脈内に緩徐に（カルシウムとして毎分０．６８～１．３６ｍＥｑ）注射する。ただし、小児脂肪便に用いる場合は、経口投与不能時に限る。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3214: 有機酸ｶﾙｼｳﾑ製剤(乳酸･ｸﾞﾘｾﾛﾘﾝ酸･ｸﾞﾙｺﾝ

アスパラ－ＣＡ錠２００　Aspara-CA　採用

商品名:アスパラ－ＣＡ錠２００
規格:２００ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:3214001F1020　院内コード:200028
成分:Ｌ－アスパラギン酸カルシウム水和物,
【効】１）．　低カルシウム血症に起因する次記症候の改善：テタニー、テタニー関連症状。
２）．　次記代謝性骨疾患におけるカルシウム補給：骨粗鬆症、骨軟化症。
３）．　発育期におけるカルシウム補給、妊娠時・授乳時におけるカルシウム補給。
【用】アスパラギン酸カルシウムとして、通常成人１日１．２ｇを２～３回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3219: その他のカルシウム剤

デノタスチュアブル配合錠　Denotas　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:デノタスチュアブル配合錠
規格:１錠　薬価:10.90　製造:日東薬品　剤型:錠　YJ:3219100F1020　院内コード:202425
成分:コレカルシフェロール,炭酸マグネシウム,沈降炭酸カルシウム,
【効】ＲＡＮＫＬ阻害剤投与（デノスマブ（遺伝子組換え）等）に伴う低カルシウム血症の治療及び予防。
【用】通常、１日１回２錠を経口投与する。なお、患者の状態又は臨床検査値に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

322: 無機質製剤

3221: ヨウ素化合物製剤；ヨウ化カリウム、

ヨウ化カリウム丸５０ｍｇ「日医工」　Potassium iodide　採用

商品名:ヨウ化カリウム丸５０ｍｇ「日医工」
規格:５０ｍｇ１丸　薬価:6.30　製造:日医工　剤型:丸　YJ:3221002L1074　院内コード:202738
成分:ヨウ化カリウム,
【効】１）．　甲状腺腫（甲状腺機能亢進症を伴う甲状腺腫）。
２）．　次記疾患に伴う喀痰喀出困難：慢性気管支炎、喘息。
３）．　第三期梅毒。
４）．　放射性ヨウ素による甲状腺内部被曝の予防・低減。
【用】〈甲状腺機能亢進症を伴う甲状腺腫〉ヨウ化カリウムとして１日５～５０ｍｇを１～３回に分割経口投与する。
この場合は適応を慎重に考慮すること。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈慢性気管支炎及び喘息に伴う喀痰喀出困難、第三期梅毒〉ヨウ化カリウムとして通常成人１回０．１～０．５ｇを１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈放射性ヨウ素による甲状腺の内部被曝の予防・低減〉ヨウ化カリウムとして通常１３歳以上には１回１００ｍｇ、３歳以上１３歳未満には１回５０ｍｇ、生後１ヵ月以上３歳未満には１回３２．５ｍｇ、新生児には１回１６．３ｍｇを経口投与する。
【保管】室温保存。

3222: 鉄化合物製剤（有機酸鉄を含む）

クエン酸第一鉄Ｎａ錠50mg「ｻﾜｲ」(ﾌｪﾛﾐｱ)　Sodium ferrous citrate　採用

商品名:クエン酸第一鉄Ｎａ錠５０ｍｇ「サワイ」
規格:鉄５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3222013F1157　院内コード:202550
成分:クエン酸第一鉄ナトリウム,
【効】鉄欠乏性貧血。
【用】通常成人は、鉄として１日１００～２００ｍｇ（２～４錠）を１～２回に分けて食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

32: 滋養強壮薬

フェインジェクト静注５００ｍｇ【 500mg/10mL/瓶 】 Ferinject 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:フェインジェクト静注５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１０ｍＬ１瓶 薬価:5759.00 製造:ゼリア新薬 剤型:注射液 YJ:3222404A1021 院内コード:301092
成分:カルボキシマルトース第二鉄,
【効】鉄欠乏性貧血。
【用】通常、成人に鉄として１回あたり５００ｍｇを週１回、緩徐に静注又は点滴静注する。総投与量は、患者の血中ヘモグロビン値及び体重に応じるが、上限は鉄として１５００ｍｇとする。
【保管】室温保存（凍結を避けて保存）。

フェジン静注４０ｍｇ Fesin 採用
商品名:フェジン静注４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ２ｍＬ１管 薬価:127.00 製造:日医工 剤型:注射液 YJ:3222400A1058 院内コード:300106
成分:含糖酸化鉄,
【効】鉄欠乏性貧血。
【用】本剤は経口鉄剤の投与が困難又は不適当な場合に限り使用すること。
必要鉄量を算出して投与するが、鉄として、通常成人１日４０～１２０ｍｇを２分以上かけて徐々に静脈内注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

モノヴァー静注１０００ｍｇ MonoVer 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:モノヴァー静注１０００ｍｇ
規格:１，０００ｍｇ１０ｍＬ１瓶 薬価:12316.00 製造:日本新薬 剤型:注射液 YJ:3222405A2022 院内コード:301376
成分:デルイソマルトース第二鉄,
【効】鉄欠乏性貧血。
【用】通常、体重５０ｋｇ以上の成人には、鉄として１回あたり１０００ｍｇを上限として週１回点滴静注、又は鉄として１回あたり５００ｍｇを上限として最大週２回緩徐に静注する。
通常、体重５０ｋｇ未満の成人には、鉄として１回あたり２０ｍｇ／ｋｇを上限として週１回点滴静注、又は鉄として１回あたり５００ｍｇを上限として最大週２回緩徐に静注する。
なお、治療終了時までの総投与鉄量は、患者のヘモグロビン濃度及び体重に応じるが、鉄として２０００ｍｇ（体重５０ｋｇ未満の成人は１０００ｍｇ）を上限とする。
【保管】室温保存（凍結を避けて保存）。

モノヴァー静注５００ｍｇ MonoVer 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:モノヴァー静注５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ５ｍＬ１瓶 薬価:6176.00 製造:日本新薬 剤型:注射液 YJ:3222405A1026 院内コード:301377
成分:デルイソマルトース第二鉄,
【効】鉄欠乏性貧血。
【用】通常、体重５０ｋｇ以上の成人には、鉄として１回あたり１０００ｍｇを上限として週１回点滴静注、又は鉄として１回あたり５００ｍｇを上限として最大週２回緩徐に静注する。
通常、体重５０ｋｇ未満の成人には、鉄として１回あたり２０ｍｇ／ｋｇを上限として週１回点滴静注、又は鉄として１回あたり５００ｍｇを上限として最大週２回緩徐に静注する。
なお、治療終了時までの総投与鉄量は、患者のヘモグロビン濃度及び体重に応じるが、鉄として２０００ｍｇ（体重５０ｋｇ未満の成人は１０００ｍｇ）を上限とする。
【保管】室温保存（凍結を避けて保存）。

3229: その他の無機質製剤

アスパラカリウム散５０％ Aspara potassium 採用
商品名:アスパラカリウム散５０％
規格:５０％１ｇ 薬価:6.90 製造:ニプロ 剤型:散 YJ:3229005B1038 院内コード:201046
成分:Ｌ－アスパラギン酸カリウム,
【効】次記疾患又は状態におけるカリウム補給：１）降圧利尿剤連用時、副腎皮質ホルモン連用時、強心配糖体連用時、インスリン連用時、ある種の抗生物質連用時など、２）低カリウム血症型周期性四肢麻痺、３）心疾患時の低カリウム状態におけるカリウム補給、４）重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後におけるカリウム補給。
【用】Ｌ－アスパラギン酸カリウムとして、通常成人１日０．９～２．７ｇを３回に分割経口投与する。
なお、症状により１回３ｇまで増量できる。
【保管】室温保存。

アスパラカリウム錠３００ｍｇ Aspara potassium 採用
商品名:アスパラカリウム錠３００ｍｇ
規格:３００ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:ニプロ 剤型:錠 YJ:3229005F1080 院内コード:200681
成分:Ｌ－アスパラギン酸カリウム,
【効】次記疾患又は状態におけるカリウム補給：１）降圧利尿剤連用時、副腎皮質ホルモン連用時、強心配糖体連用時、インスリン連用時、ある種の抗生物質連用時など、２）低カリウム血症型周期性四肢麻痺、３）心疾患時の低カリウム状態におけるカリウム補給、４）重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後におけるカリウム補給。
【用】Ｌ－アスパラギン酸カリウムとして、通常成人１日０．９～２．７ｇを３回に分割経口投与する。
なお、症状により１回３ｇまで増量できる。
【保管】室温保存。

アスパラギン酸カリウム注１０ｍＥｑキット「テルモ」 Potassium L-aspartate 採用 Hi
商品名:アスパラギン酸カリウム注１０ｍＥｑキット「テルモ」
規格:１７．１２％１０ｍＬ１キット 薬価:181.00 製造:テルモ 剤型:キット類YJ:3229401G1021 院内コード:300298
成分:Ｌ－アスパラギン酸カリウム,
【効】次記疾患又は状態におけるカリウム補給：１）降圧利尿剤連用時、副腎皮質ホルモン連用時、強心配糖体連用時、インスリン連用時、ある種の抗生物質連用時など、２）低カリウム血症型周期性四肢麻痺、３）心疾患時の低カリウム状態におけるカリウム補給、４）重症嘔吐、下痢、カリウム摂取不足及び手術後におけるカリウム補給。
【用】Ｌ－アスパラギン酸カリウムとして、通常成人１回１．７１～５．１４ｇ（カリウムとして１０～３０ｍＥｑ）を日本薬局方注射用水、５％ブドウ糖注射液、生理食塩液または他の適当な希釈剤で希釈する。その液の濃度は０．６８ｗ／ｖ％（カリウムとして４０ｍＥｑ／Ｌ）以下として、１分間８ｍＬを超えない速度で点滴静脈内注射する。
１日の投与量は１７．１ｇ（カリウムとして１００ｍＥｑ）を超えない量とする。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】遮光・室温保存。

グルコンサンＫ細粒　(4mEq/g) Gluconsan K 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:グルコンサンＫ細粒４ｍＥｑ／ｇ
規格:カリウム４ｍＥｑ１ｇ 薬価:6.90 製造:サンファーマ 剤型:細粒 YJ:3229007C1032 院内コード:200682
成分:グルコン酸カリウム,
【効】低カリウム状態時のカリウム補給。
【用】１回カリウム１０ｍＥｑ相当量１日３～４回経口投与。
症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

シザナリン配合点滴静注液(ｴﾚﾒﾝﾐｯｸ) Cizanarine 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エレメンミック注
商品名:シザナリン配合点滴静注液
規格:２ｍＬ１管 薬価:63.00 製造:日新製薬 剤型:注射液 YJ:3229501A1094 院内コード:301355
成分:ヨウ化カリウム,塩化マンガン,塩化第二鉄,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,
【効】経口栄養補給が不能又は不十分、経腸管栄養補給が不能又は不十分で高カロリー静脈栄養に頼らざるを得ない場合の亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。
【用】通常、成人には１日２ｍＬを高カロリー静脈栄養輸液に添加し、点滴静注する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ホスリボン配合顆粒(100mg/包) Phosribbon 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ホスリボン配合顆粒
規格:１００ｍｇ１包（リンとして） 薬価:67.70 製造:ゼリア新薬 剤型:顆粒 YJ:3229103D1020 院内コード:203629
成分:リン酸二水素ナトリウム一水和物,無水リン酸水素二ナトリウム,
【効】低リン血症。
【用】通常、リンとして１日あたり２０～４０ｍｇ／ｋｇを目安とし、数回に分割して経口投与する。以後は患者の状態に応じて適宜増減するが、上限はリンとして１日あたり３０００ｍｇとする。
【保管】室温保存。

塩化カリウム徐放錠６００ｍｇ「Ｓｔ」 Potassium chloride SR St 採用 <後発品（加算対象）>
商品名:塩化カリウム徐放錠６００ｍｇ「Ｓｔ」
規格:６００ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:佐藤薬品 剤型:徐放錠 YJ:3229002G1082 院内コード:202748
成分:塩化カリウム,
【効】低カリウム血症の改善。
【用】通常成人には、１回２錠（塩化カリウムとして１２００ｍｇ）を１日２回食後経口投与する。
年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

323: 糖類剤

3231: ブドウ糖製剤

10%ブドウ糖液　２０ｍＬ Otsuka glucose 採用
商品名:大塚糖液１０％
規格:１０％２０ｍＬ１管 薬価:104.00 製造:大塚製薬工場 剤型:注射液 YJ:3231401J7025 院内コード:300216
成分:ブドウ糖,
【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。

循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０%液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

10%ブドウ糖液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液１０%
規格:１０%５００ｍＬ１袋　薬価:240.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401Q5020　院内コード:300217
成分:ブドウ糖,
【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５%液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０%液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

20%ブドウ糖液　２０ｍＬ

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液２０%
規格:２０%２０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401H1033　院内コード:300825
成分:ブドウ糖,
【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５%液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０%液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

50%ブドウ糖液　２０ｍＬ

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５０%
規格:５０%２０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401H7023　院内コード:300218
成分:ブドウ糖,
【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５%液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０%液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

50%ブドウ糖液２００ｍＬ

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５０％

規格:５０％２００ｍＬ１袋　薬価:356.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401J3038　院内コード:300300

成分:ブドウ糖,

【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。

【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０％液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

５％ブドウ糖液　１００ｍＬ

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５％

規格:５％１００ｍＬ１瓶　薬価:162.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401A2066　院内コード:300754

成分:ブドウ糖,

【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。

【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０％液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

５％ブドウ糖液　２０ｍＬ

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５％

規格:５％２０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401A1094　院内コード:300215

成分:ブドウ糖,

【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。

【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０％液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

５％ブドウ糖液　５０ｍＬ

Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５％

規格:５％５０ｍＬ１瓶　薬価:155.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401Q6043　院内コード:301133

成分:ブドウ糖,

【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０％液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

５％ブドウ糖液２５０ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）　Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５％
規格:５％２５０ｍＬ１袋　薬価:284.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401J6029　院内コード:300226
成分:ブドウ糖,
【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０％液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

５％ブドウ糖液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）　Otsuka glucose　採用

商品名:大塚糖液５％
規格:５％５００ｍＬ１袋　薬価:332.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3231401Q3028　院内コード:300227
成分:ブドウ糖,
【効】１）．　脱水症特に水欠乏時の水補給。
２）．　循環虚脱。
３）．　低血糖時の糖質補給。
４）．　高カリウム血症。
５）．　注射剤の溶解希釈剤。
６）．　薬物中毒・毒物中毒。
７）．　心疾患（ＧＩＫ療法）。
８）．　肝疾患。
９）．　その他非経口的に水補給・非経口的にエネルギー補給を必要とする場合。
【用】水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人１回５％液５００～１０００ｍＬを静脈内注射する。
循環虚脱、低血糖時の糖質補給、高カリウム血症、心疾患（ＧＩＫ療法）、その他非経口的に水・エネルギー補給を必要とする場合には通常成人１回１０～５０％液２０～５００ｍＬを静脈内注射する。
点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として０．５ｇ／ｋｇ／ｈｒ以下とすること。
注射剤の溶解希釈には適量を用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3239: その他の糖類剤

ハイカリックＲＦ輸液５００ｍＬ　Hicaliq RF　採用

商品名:ハイカリックＲＦ輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:558.00　製造:テルモ　剤型:注射液　YJ:3239527A2032　院内コード:300108
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,グルコン酸カルシウム水和物,ブドウ糖,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,硫酸亜鉛水和物,
【効】経口栄養補給が不能又は不十分、経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給（腎不全等による高カリウム血症、高リン血症の患者又はそのおそれのある患者に限る）。
【用】本剤は、経中心静脈輸液療法の基本液として用いる。
本剤１０００ｍＬに対して、ナトリウム及びクロールを含有しないか、あるいは含有量の少ない５．９～１２％アミノ酸注射液を２００～６００ｍＬ

の割合で加えてよく混合し、通常成人１日１２００～１６００ｍＬの維持量を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
本剤は、高濃度のブドウ糖含有製剤なので、特に投与開始時には耐糖能、肝機能等に注意し、目安として維持量の半量程度から徐々に１日当たりの投与量を漸増し、維持量とする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

マンニットールＳ注射液　【３００ｍＬ１袋】　Mannitol-S　採用

商品名:マンニットールＳ注射液
規格:３００ｍＬ１袋　薬価:465.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:注射液　YJ:3239501A3026　院内コード:301100
成分:Ｄ－ソルビトール,Ｄ－マンニトール,
【効】１）．　脳圧降下及び脳容積縮小を必要とする場合。
２）．　眼内圧降下を必要とする場合。
３）．　術中・術後・外傷後及び薬物中毒時の急性腎不全を浸透圧利尿により予防及び浸透圧利尿により治療する場合。
【用】通常、体重１ｋｇあたり７～２０ｍＬを点滴静注する。投与速度は、３～１０分間に１００ｍＬとする。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日量は、Ｄ－マンニトールとして２００ｇまでとする。
【保管】室温保存。

325: たん白アミノ酸製剤

3253: 混合アミノ酸製剤

アミニック輸液２００ｍＬ　Aminic　採用

商品名:アミニック輸液
規格:２００ｍＬ１袋　薬価:403.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:注射液　YJ:3253407A3032　院内コード:300302
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－システイン,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,グリシン,
【効】次記状態時のアミノ酸補給：低蛋白血症、低栄養状態、手術前後。
【用】〈末梢静脈投与時〉通常成人１回２００～４００ｍＬを緩徐に点滴静注する。投与速度は、アミノ酸の量として６０分間に１０ｇ前後が体内利用に望ましく、通常成人２００ｍＬ当たり約１２０分を基準とし、小児、老人、重篤な患者にはさらに緩徐に注入する。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
生体のアミノ酸利用効率上、糖類輸液剤と同時投与することが望ましい。
〈中心静脈投与時〉通常成人１日４００～８００ｍＬを高カロリー輸液法により中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アミノレバン点滴静注５００ｍＬ　Aminoleban　採用

商品名:アミノレバン点滴静注
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:715.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3253404A4051　院内コード:300110
成分:Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン塩酸塩,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－システイン塩酸塩水和物,Ｌ－セリン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン塩酸塩水和物,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン塩酸塩,Ｌ－ロイシン,グリシン,
【効】慢性肝障害時における脳症の改善。
【用】通常成人１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。
投与速度は通常成人５００ｍＬ当たり１８０～３００分を基準とする。
経中心静脈輸液法を用いる場合は、本品の５００～１０００ｍＬを糖質輸液等に混和し、２４時間かけて中心静脈内に持続注入する。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ネオアミユー２００ｍＬ　Neoamiyu　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ネオアミユー輸液
規格:２００ｍＬ１袋　薬価:448.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:注射液　YJ:3253415A1034　院内コード:300111
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,グリシン,
【効】次記の状態にある急性腎不全時・慢性腎不全時のアミノ酸補給：低蛋白血症、低栄養状態、手術前後。
【用】〈慢性腎不全〉・　末梢静脈投与する場合、通常、成人には１日１回２００ｍＬを緩徐に点滴静注する。
投与速度は２００ｍＬ当たり１２０～１８０分を基準とし、小児、高齢者、重篤な患者には更に緩徐に注入する。なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。また、透析療法施行時には透析終了９０～６０分前より透析回路の静脈側に注入する。生体のアミノ酸利用効率上、摂取熱量を１５００ｋｃａｌ／日以上とすることが望ましい。
・　高カロリー輸液法にて投与する場合、通常、成人には１日４００ｍＬを中心静脈内に持続点滴注入する。なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。また、生体のアミノ酸利用効率上、投与窒素１．６ｇ（本剤：２００ｍＬ）当たり５００ｋｃａｌ以上の非蛋白熱量を投与する。
〈急性腎不全〉通常、成人には１日４００ｍＬを高カロリー輸液法により、中心静脈内に持続点滴注入する。なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。また、生体のアミノ酸利用効率上、投与窒素１．６ｇ（本剤：２００ｍＬ）当たり５００ｋｃａｌ以上の非蛋白熱量を投与する。
【保管】室温保存。

リーバクト配合顆粒（4.15g/包）　Livact　採用

商品名:リーバクト配合顆粒
規格:４．１５ｇ１包　薬価:134.00　製造:ＥＡファーマ　剤型:顆粒　YJ:3253003D2031　院内コード:200016
成分:Ｌ－イソロイシン,Ｌ－バリン,Ｌ－ロイシン,
【効】食事摂取量が十分にもかかわらず低アルブミン血症を呈する非代償性肝硬変患者の低アルブミン血症の改善。
【用】通常、成人に１回１包を１日３回食後経口投与する。
【保管】室温保存。

3259: その他のたん白アミノ酸製剤

アミノレバンＥＮ配合散(50g/包)【ｺｰﾋｰ味】 Aminoleban EN 採用

商品名:アミノレバンＥＮ配合散

規格:１０ｇ 薬価:88.80 製造:大塚製薬 剤型:散 YJ:3259108B1039 院内コード:203046

成分:Ｌ－アスコルビン酸ナトリウム,Ｌ－アルギニン塩酸塩,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン塩酸塩水和物,Ｌ－リシン塩酸塩,Ｌ－ロイシン,エルゴカルシフェロール,クエン酸第一鉄ナトリウム,グリセロリン酸カルシウム,コメ油,シアノコバラミン,ゼラチン加水分解物,デキストリン,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ビスベンチアミン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ヨウ化カリウム,リボフラビン,リン酸二水素ナトリウム,塩化カリウム,重酒石酸コリン,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸マンガン,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,

【効】肝性脳症を伴う慢性肝不全患者の栄養状態の改善。

【用】通常、成人に１回量として１包（５０ｇ）を約１８０ｍＬの水又は温湯に溶かし（約２００ｋｃａｌ／２００ｍＬ）１日３回食事と共に経口摂取する。

なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。

【保管】室温保存。

アミノレバンＥＮ配合散(50g/包)【ﾌﾙｰﾂ味】 Aminoleban EN 採用

商品名:アミノレバンＥＮ配合散

規格:１０ｇ 薬価:88.80 製造:大塚製薬 剤型:散 YJ:3259108B1039 院内コード:203045

成分:Ｌ－アスコルビン酸ナトリウム,Ｌ－アルギニン塩酸塩,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン塩酸塩水和物,Ｌ－リシン塩酸塩,Ｌ－ロイシン,エルゴカルシフェロール,クエン酸第一鉄ナトリウム,グリセロリン酸カルシウム,コメ油,シアノコバラミン,ゼラチン加水分解物,デキストリン,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ビスベンチアミン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ヨウ化カリウム,リボフラビン,リン酸二水素ナトリウム,塩化カリウム,重酒石酸コリン,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸マンガン,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,

【効】肝性脳症を伴う慢性肝不全患者の栄養状態の改善。

【用】通常、成人に１回量として１包（５０ｇ）を約１８０ｍＬの水又は温湯に溶かし（約２００ｋｃａｌ／２００ｍＬ）１日３回食事と共に経口摂取する。

なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。

【保管】室温保存。

イノラス配合経腸用液（りんごﾌﾚｰﾊﾞｰ） Enoras 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:イノラス配合経腸用液

規格:１０ｍＬ 薬価:13.90 製造:イーエヌ大塚製薬 剤型:液 YJ:3259120S1021 院内コード:203193

成分:Ｌ－アスコルビン酸２－グルコシド,Ｌ－カルニチン,イヌリン,カゼインナトリウム,クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,グルコン酸第一鉄,コーン油,コリン塩化物,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,シソ油,セレン酸ナトリウム,トコフェロール酢酸エステル,トリカプリリン,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フルスルチアミン塩酸塩,メナテトレノン,モリブデン酸ナトリウム二水和物,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化クロム六水和物,塩化マグネシウム,魚油,乳酸カルシウム水和物,濃縮乳たん白質,部分加水分解デンプン,葉酸,硫酸マンガン（２）五水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【用】通常、成人標準量として１日５６２．５～９３７．５ｍＬ（９００～１５００ｋｃａｌ）を経管又は経口投与する。経管投与の投与速度は５０～４００ｍＬ／時間とし、持続的又は１日数回に分けて投与する。経口投与は１日１回又は数回に分けて投与する。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与速度を適宜増減する。

【保管】室温保存。

イノラス配合経腸用液（ｺｰﾋｰﾌﾚｰﾊﾞｰ） Enoras 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:イノラス配合経腸用液

規格:１０ｍＬ 薬価:13.90 製造:イーエヌ大塚製薬 剤型:液 YJ:3259120S1021 院内コード:203367

成分:Ｌ－アスコルビン酸２－グルコシド,Ｌ－カルニチン,イヌリン,カゼインナトリウム,クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,グルコン酸第一鉄,コーン油,コリン塩化物,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,シソ油,セレン酸ナトリウム,トコフェロール酢酸エステル,トリカプリリン,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フルスルチアミン塩酸塩,メナテトレノン,モリブデン酸ナトリウム二水和物,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化クロム六水和物,塩化マグネシウム,魚油,乳酸カルシウム水和物,濃縮乳たん白質,部分加水分解デンプン,葉酸,硫酸マンガン（２）五水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【用】通常、成人標準量として１日５６２．５～９３７．５ｍＬ（９００～１５００ｋｃａｌ）を経管又は経口投与する。経管投与の投与速度は５０～４００ｍＬ／時間とし、持続的又は１日数回に分けて投与する。経口投与は１日１回又は数回に分けて投与する。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与速度を適宜増減する。

【保管】室温保存。

イノラス配合経腸用液（ﾖｰｸﾞﾙﾄﾌﾚｰﾊﾞｰ） Enoras 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:イノラス配合経腸用液

規格:１０ｍＬ 薬価:13.90 製造:イーエヌ大塚製薬 剤型:液 YJ:3259120S1021 院内コード:203192

成分:Ｌ－アスコルビン酸２－グルコシド,Ｌ－カルニチン,イヌリン,カゼインナトリウム,クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,グルコン酸第一鉄,コーン油,コリン塩化物,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,シソ油,セレン酸ナトリウム,トコフェロール酢酸エステル,トリカプリリン,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フルスルチアミン塩酸塩,メナテトレノン,モリブデン酸ナトリウム二水和物,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化クロム六水和物,塩化マグネシウム,魚油,乳酸カルシウム水和物,濃縮乳たん白質,部分加水分解デンプン,葉酸,硫酸マンガン（２）五水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【用】通常、成人標準量として１日５６２．５～９３７．５ｍＬ（９００～１５００ｋｃａｌ）

を経管又は経口投与する。経管投与の投与速度は５０～４００ｍＬ／時間とし、持続的又は１日数回に分けて投与する。経口投与は１日１回又は数回に分けて投与する。なお、年齢、体重、症状により投与量、投与速度を適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルネオパＮＦ１号輸液 １０００ｍＬ　Elneopa-NF No.1　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:エルネオパＮＦ１号輸液
規格:１，０００ｍＬ１キット　薬価:1238.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3259533G1029　院内コード:301009
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ブドウ糖,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マンガン水和物,塩化第二鉄水和物,酢酸カリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅水和物,
【効】経口栄養補給が不能又は不十分・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給、アミノ酸補給、ビタミン補給、亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。
【用】本剤は経中心静脈栄養法の開始時で、耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として、あるいは侵襲時等で耐糖能が低下しており、ブドウ糖を制限する必要がある場合の維持液として用いる。
用時に上下２室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、開始液又は維持液とする。
通常、成人には１日２０００ｍＬの開始液又は維持液を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルネオパＮＦ１号輸液 １５００ｍＬ　Elneopa-NF No.1　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:エルネオパＮＦ１号輸液
規格:１，５００ｍＬ１キット　薬価:1806.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3259533G2025　院内コード:301067
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ブドウ糖,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マンガン水和物,塩化第二鉄水和物,酢酸カリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅水和物,
【効】経口栄養補給が不能又は不十分・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給、アミノ酸補給、ビタミン補給、亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。
【用】本剤は経中心静脈栄養法の開始時で、耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として、あるいは侵襲時等で耐糖能が低下しており、ブドウ糖を制限する必要がある場合の維持液として用いる。
用時に上下２室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、開始液又は維持液とする。
通常、成人には１日２０００ｍＬの開始液又は維持液を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルネオパＮＦ１号輸液 ２０００ｍＬ　Elneopa-NF No.1　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:エルネオパＮＦ１号輸液
規格:２，０００ｍＬ１キット　薬価:2153.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3259533G3021　院内コード:301068
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ブドウ糖,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マンガン水和物,塩化第二鉄水和物,酢酸カリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅水和物,
【効】経口栄養補給が不能又は不十分・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給、アミノ酸補給、ビタミン補給、亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。
【用】本剤は経中心静脈栄養法の開始時で、耐糖能が不明の場合や耐糖能が低下している場合の開始液として、あるいは侵襲時等で耐糖能が低下しており、ブドウ糖を制限する必要がある場合の維持液として用いる。
用時に上下２室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、開始液又は維持液とする。
通常、成人には１日２０００ｍＬの開始液又は維持液を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルネオパＮＦ２号輸液 １０００ｍＬ　Elneopa-NF No.2　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:エルネオパＮＦ２号輸液
規格:１，０００ｍＬ１キット　薬価:1327.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3259534G1023　院内コード:301069
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ブドウ糖,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マンガン水和物,塩化第二鉄水和物,酢酸カリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅水和物,
【効】経口栄養補給が不能又は不十分・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給、アミノ酸補給、ビタミン補給、亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。

【用】本剤は経中心静脈栄養法の維持液として用いる。
用時に上下２室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、維持液とする。
通常、成人には１日２０００ｍＬの維持液を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルネオパＮＦ２号輸液１５００ｍＬ Elneopa-NF No.2 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:エルネオパＮＦ２号輸液

規格:１，５００ｍＬ１キット　薬価:1941.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3259534G2020　院内コード:301070

成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ブドウ糖,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マンガン水和物,塩化第二鉄水和物,酢酸カリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅水和物,

【効】経口栄養補給が不能又は不十分・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給、アミノ酸補給、ビタミン補給、亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。

【用】本剤は経中心静脈栄養法の維持液として用いる。
用時に上下２室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、維持液とする。
通常、成人には１日２０００ｍＬの維持液を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

エルネオパＮＦ２号輸液２０００ｍＬ Elneopa-NF No.2 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:エルネオパＮＦ２号輸液

規格:２，０００ｍＬ１キット　薬価:2347.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3259534G3026　院内コード:301071

成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン酢酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ビタミンＡ油,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ブドウ糖,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マンガン水和物,塩化第二鉄水和物,酢酸カリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅水和物,

【効】経口栄養補給が不能又は不十分・経腸管栄養補給が不能又は不十分で、経中心静脈栄養に頼らざるを得ない場合の水分補給、電解質補給、カロリー補給、アミノ酸補給、ビタミン補給、亜鉛補給、鉄補給、銅補給、マンガン補給及びヨウ素補給。

【用】本剤は経中心静脈栄養法の維持液として用いる。
用時に上下２室の隔壁と上室内にある黄褐色及び赤褐色の小室を同時に開通し十分に混合して、維持液とする。
通常、成人には１日２０００ｍＬの維持液を２４時間かけて中心静脈内に持続点滴注入する。
なお、症状、年齢、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

エレンタール配合内用剤 Elental 採用

商品名:エレンタール配合内用剤

規格:１０ｇ　薬価:58.60　製造:ＥＡファーマ　剤型:散　YJ:3259103B1036　院内コード:200365

成分:Ｌ－アスパラギン酸ナトリウム一水和物,Ｌ－アスパラギン酸マグネシウム・カリウム,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン塩酸塩,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン塩酸塩水和物,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン塩酸塩,Ｌ－ロイシン,アスコルビン酸,エルゴカルシフェロール,クエン酸ナトリウム水和物,グリシン,グリセロリン酸カルシウム,グルコン酸第一鉄二水和物,シアノコバラミン,ダイズ油,チアミン塩化物塩酸塩,デキストリン,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,ヨウ化カリウム,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,レチノール酢酸エステル,塩化カリウム,重酒石酸コリン,葉酸,硫酸マンガン五水和物,硫酸亜鉛水和物,硫酸銅,

【効】本剤は、消化をほとんど必要としない成分で構成されたきわめて低残渣性・易吸収性の経腸的高カロリー栄養剤でエレメンタルダイエット又は成分栄養と呼ばれる。一般に、手術前・後の患者に対し、未消化態蛋白を含む経管栄養剤による栄養管理が困難な時用いることができるが、とくに次記の場合に使用する。
１）．　未消化態蛋白を含む経管栄養剤の適応困難時の術後栄養管理。
２）．　腸内の清浄化を要する疾患の栄養管理。
３）．　術直後の栄養管理。
４）．　消化管異常病態下の栄養管理（縫合不全、短腸症候群、各種消化管瘻等）。
５）．　消化管特殊疾患時の栄養管理（クローン氏病、潰瘍性大腸炎、消化不全症候群、膵疾患、蛋白漏出性腸症等）。
６）．　高カロリー輸液の適応が困難となった時の栄養管理（広範囲熱傷等）。
【用】通常、本剤８０ｇを３００ｍＬとなるような割合で常水又は微温湯に溶かし（１ｋｃａｌ／ｍＬ）、鼻腔ゾンデ、胃瘻、又は腸瘻から、十二指腸あるいは空腸内に１日２４時間持続的に注入する（注入速度は７５～１００ｍＬ／時間）。また、要により本溶液を１回又は数回に分けて経口投与もできる。
標準量として成人１日４８０～６４０ｇ（１８００～２４００ｋｃａｌ）を投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
一般に、初期量は、１日量の約１／８（６０～８０ｇ）を所定濃度の約１／２（０．５ｋｃａｌ／ｍＬ）で投与開始し、患者の状態により、徐々に濃度及び投与量を増加し、４～１０日後に標準量に達するようにする。
【保管】室温保存。

エンシュア・Ｈ（コーヒー味） Ensure H 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:エンシュア・Ｈ

規格:１０ｍＬ　薬価:9.10　製造:アボットジャパン　剤型:液　YJ:3259114S1026　院内コード:202644

成分:アスコルビン酸,カゼインナトリウム,カゼインナトリウムカルシウム,クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,コリン塩化物,コレカルシ

フェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,デキストリン,トウモロコシ油,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,リボフラビン,レチノールパルミチン酸エステル,塩化カリウム,塩化マグネシウム,塩化マンガン四水和物,精製白糖,大豆レシチン,第三リン酸カルシウム,炭酸水素ナトリウム,分離大豆タンパク質,葉酸,硫酸亜鉛水和物,硫酸鉄水和物,硫酸銅,

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり経口的食事摂取が困難で、単位量当たり高カロリー（１．５ｋｃａｌ／ｍＬ）の経腸栄養剤を必要とする次記の患者の経管栄養補給に使用する：１）水分の摂取制限が必要な患者（心不全や腎不全を合併している患者など）、２）安静時エネルギー消費量が亢進している患者（熱傷患者、感染症を合併している患者など）、３）経腸栄養剤の投与容量を減らしたい患者（容量依存性の腹部膨満感を訴える患者など）、４）経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者（口腔外科や耳鼻科の術後患者など）。

【用】標準量として成人には１日１０００～１５００ｍＬ（１５００～２２５０ｋｃａｌ）を経管又は経口投与する。１ｍＬ当たり１．５ｋｃａｌである。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

経管投与では本剤を１時間に５０～１００ｍＬの速度で持続的又は１日数回に分けて投与する。なお、消化吸収障害がなく経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者には１時間に４００ｍＬの速度まで上げることができる。経口投与では１日１回又は数回に分けて投与する。

【保管】室温保存。

エンシュア・Ｈ（ストロベリー味） Ensure H **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:エンシュア・Ｈ

規格:１０ｍＬ 薬価:9.10 製造:アボットジャパン 剤型:液 YJ:3259114S1026 院内コード:202770

成分:アスコルビン酸,カゼインナトリウム,カゼインナトリウムカルシウム,クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,コリン塩化物,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,デキストリン,トウモロコシ油,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,リボフラビン,レチノールパルミチン酸エステル,塩化カリウム,塩化マグネシウム,塩化マンガン四水和物,精製白糖,大豆レシチン,第三リン酸カルシウム,炭酸水素ナトリウム,分離大豆タンパク質,葉酸,硫酸亜鉛水和物,硫酸鉄水和物,硫酸銅,

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり経口的食事摂取が困難で、単位量当たり高カロリー（１．５ｋｃａｌ／ｍＬ）の経腸栄養剤を必要とする次記の患者の経管栄養補給に使用する：１）水分の摂取制限が必要な患者（心不全や腎不全を合併している患者など）、２）安静時エネルギー消費量が亢進している患者（熱傷患者、感染症を合併している患者など）、３）経腸栄養剤の投与容量を減らしたい患者（容量依存性の腹部膨満感を訴える患者など）、４）経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者（口腔外科や耳鼻科の術後患者など）。

【用】標準量として成人には１日１０００～１５００ｍＬ（１５００～２２５０ｋｃａｌ）を経管又は経口投与する。１ｍＬ当たり１．５ｋｃａｌである。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

経管投与では本剤を１時間に５０～１００ｍＬの速度で持続的又は１日数回に分けて投与する。なお、消化吸収障害がなく経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者には１時間に４００ｍＬの速度まで上げることができる。経口投与では１日１回又は数回に分けて投与する。

【保管】室温保存。

エンシュア・Ｈ（バニラ味） Ensure H **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:エンシュア・Ｈ

規格:１０ｍＬ 薬価:9.10 製造:アボットジャパン 剤型:液 YJ:3259114S1026 院内コード:202639

成分:アスコルビン酸,カゼインナトリウム,カゼインナトリウムカルシウム,クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,コリン塩化物,コレカルシフェロール,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,デキストリン,トウモロコシ油,トコフェロール酢酸エステル,ニコチン酸アミド,パントテン酸カルシウム,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,フィトナジオン,リボフラビン,レチノールパルミチン酸エステル,塩化カリウム,塩化マグネシウム,塩化マンガン四水和物,精製白糖,大豆レシチン,第三リン酸カルシウム,炭酸水素ナトリウム,分離大豆タンパク質,葉酸,硫酸亜鉛水和物,硫酸鉄水和物,硫酸銅,

【効】一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり経口的食事摂取が困難で、単位量当たり高カロリー（１．５ｋｃａｌ／ｍＬ）の経腸栄養剤を必要とする次記の患者の経管栄養補給に使用する：１）水分の摂取制限が必要な患者（心不全や腎不全を合併している患者など）、２）安静時エネルギー消費量が亢進している患者（熱傷患者、感染症を合併している患者など）、３）経腸栄養剤の投与容量を減らしたい患者（容量依存性の腹部膨満感を訴える患者など）、４）経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者（口腔外科や耳鼻科の術後患者など）。

【用】標準量として成人には１日１０００～１５００ｍＬ（１５００～２２５０ｋｃａｌ）を経管又は経口投与する。１ｍＬ当たり１．５ｋｃａｌである。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

経管投与では本剤を１時間に５０～１００ｍＬの速度で持続的又は１日数回に分けて投与する。なお、消化吸収障害がなく経腸栄養剤の投与時間の短縮が望ましい患者には１時間に４００ｍＬの速度まで上げることができる。経口投与では１日１回又は数回に分けて投与する。

【保管】室温保存。

パレプラス輸液１０００mL Pareplus **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:パレプラス輸液

規格:１，０００ｍＬ１キット 薬価:883.00 製造:陽進堂ホールディングス 剤型:キット類YJ:3259532G2020 院内コード:300894

成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン塩酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,ブドウ糖,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,

【効】次記状態時のアミノ酸補給、電解質補給、水溶性ビタミン補給及び水分補給：１）経口摂取不十分で、軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合、２）手術前後のアミノ酸補給、電解質補給、水溶性ビタミン補給及び水分補給。

【用】用時に隔壁を開通して大室液と小室液をよく混合する。

通常、成人には１回５００ｍＬを末梢静脈内に点滴静注する。

投与速度は通常、５００ｍＬ当たり１２０分を目安とし、高齢者、重篤な患者には更に緩徐に注入する。

なお、年齢、症状、体重により適宜増減するが、最大投与量は１日２５００ｍＬまでとする。

【保管】室温保存。

パレプラス輸液５００mL Pareplus **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:パレプラス輸液

33: 血液及び体液用薬

規格:５００ｍＬ１キット　薬価:549.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:キット類YJ:3259532G1024　院内コード:300893
成分:Ｌ－アスパラギン酸,Ｌ－アラニン,Ｌ－アルギニン,Ｌ－イソロイシン,Ｌ－グルタミン酸,Ｌ－セリン,Ｌ－チロシン,Ｌ－トリプトファン,Ｌ－トレオニン,Ｌ－バリン,Ｌ－ヒスチジン,Ｌ－フェニルアラニン,Ｌ－プロリン,Ｌ－メチオニン,Ｌ－リシン塩酸塩,Ｌ－ロイシン,Ｌ－乳酸ナトリウム,アスコルビン酸,アセチルシステイン,グリシン,シアノコバラミン,チアミン塩化物塩酸塩,ニコチン酸アミド,パンテノール,ビオチン,ピリドキシン塩酸塩,ブドウ糖,リボフラビンリン酸エステルナトリウム,リン酸二カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,葉酸,硫酸マグネシウム水和物,硫酸亜鉛水和物,
【効】次記状態時のアミノ酸補給、電解質補給、水溶性ビタミン補給及び水分補給：１）経口摂取不十分で、軽度の低蛋白血症又は軽度の低栄養状態にある場合、２）手術前後のアミノ酸補給、電解質補給、水溶性ビタミン補給及び水分補給。
【用】用時に隔壁を開通して大室液と小室液をよく混合する。
通常、成人には１回５００ｍＬを末梢静脈内に点滴静注する。
投与速度は通常、５００ｍＬ当たり１２０分を目安とし、高齢者、重篤な患者には更に緩徐に注入する。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減するが、最大投与量は１日２５００ｍＬまでとする。
【保管】室温保存。

329: その他の滋養強壮剤

3299: 他に分類されない滋養強壮薬

イントラリポス輸液２０％２５０ｍＬ　Intralipos　採用

商品名:イントラリポス輸液２０％
規格:２０％２５０ｍＬ１袋　薬価:2136.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3299505A5041　院内コード:300488
成分:ダイズ油,
【効】次の場合における栄養補給：術前・術後、急性消化器疾患・慢性消化器疾患、消耗性疾患、火傷（熱傷）・外傷、長期にわたる意識不明状態時。
【用】通常、１日２５０ｍＬ（ダイズ油として２０％液）を３時間以上かけて点滴静注する。
なお、体重、症状により適宜増減するが、体重１ｋｇ当たり１日脂肪として２ｇ以内とする。
【保管】遮光、室温保存。

33: 血液及び体液用薬

331: 血液代用剤

3311: 生理食塩液類

10%食塩注２０ｍＬ（ＮａＣｌ）　Otsuka sodium chloride　採用

商品名:大塚食塩注１０％
規格:１０％２０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3311400A1068　院内コード:300121
成分:塩化ナトリウム,
【効】ナトリウム欠乏時の電解質補給。
【用】電解質補給の目的で、輸液剤などに添加して必要量を静脈内注射又は点滴静注する。
【保管】室温保存。

生理食塩液 2000mLバッグ　Isotonic sodium chloride solution FUSO　採用

商品名:生理食塩液ＰＬ「フソー」
規格:２Ｌ１袋　薬価:568.00　製造:扶桑薬品　剤型:注射液　YJ:3311401H9037　院内コード:300618
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含嗽・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含嗽、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

生理食塩液1000mLバッグ　Isotonic sodium chloride solution FUSO　採用

商品名:生理食塩液バッグ「フソー」
規格:１Ｌ１袋　薬価:356.00　製造:扶桑薬品　剤型:注射液　YJ:3311401H1117　院内コード:300219
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含嗽・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。

〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含嗽、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

生理食塩液500mL「ヒカリ」(広口開栓)　Isotonic sodium chloride solution Hikari　採用

商品名:生理食塩液「ヒカリ」
規格:５００ｍＬ１瓶　薬価:236.00　製造:光製薬　剤型:注射液　YJ:3311401A7079　院内コード:200883
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含そう、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

生理食塩液１００ｍＬ　Isotonic sodium chloride solution Hikari　採用

商品名:生理食塩液「ヒカリ」
規格:１００ｍＬ１瓶　薬価:145.00　製造:光製薬　剤型:注射液　YJ:3311401A3065　院内コード:300229
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含そう、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【管】室温保存。

生理食塩液２０ｍＬ　Otsuka normal saline　採用

商品名:大塚生食注
規格:２０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3311401A2026　院内コード:300228
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含そう、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

生理食塩液２５０ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）　Otsuka normal saline　採用

商品名:大塚生食注
規格:２５０ｍＬ１袋　薬価:246.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3311401H6038　院内コード:300578
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含そう、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

生理食塩液５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）　Otsuka normal saline　採用

商品名:大塚生食注
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:236.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3311401A9020　院内コード:300473

成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉（１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　含そう、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

生理食塩液ＰＬ５０mL「フソー」　Isotonic sodium chloride solution　採用
規格:５０ｍＬ１瓶　薬価:143.00　剤型:注射液　YJ:3311401H2016　院内コード:300914

大塚生食注２ポート１００mL　Otsuka normal saline 2-port　採用
商品名:大塚生食注２ポート１００mL
規格:１００ｍＬ１キット　薬価:212.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:331140２G9036　院内コード:300840
成分:生理食塩液,
【効】注射剤の溶解希釈剤。
【用】注射用医薬品の溶解、希釈に用いる。
【保管】室温保存。

3319: その他の血液代用剤

ＫＣＬ注２０mＥｑキット「テルモ」　KCL　採用　Hi
商品名:ＫＣＬ注２０mＥｑキット「テルモ」
規格:１モル２０ｍＬ１キット　薬価:225.00　製造:テルモ　剤型:キット類YJ:3319402G4024　院内コード:300123
成分:塩化カリウム,
【効】電解質補液の電解質補正。
【用】電解質補液の補正用として、体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して点滴静脈内注射するか、腹膜透析液に添加して腹腔内投与する。
【保管】遮光・室温保存。

アクチット輸液　【　５００mＬ１袋　】　Actit　採用
商品名:アクチット輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:341.00　製造:扶桑薬品　剤型:注射液　YJ:3319550A5092　院内コード:300129
成分:マルトース水和物,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,酢酸ナトリウム水和物,
【効】経口摂取不能または不充分な場合の水分・電解質の補給・維持、エネルギー補給。
【用】通常、成人には１回５００ｍＬ～１０００ｍＬを徐々に静脈内に点滴注入する。投与速度は通常成人ではマルトース水和物として１時間あたり０．５ｇ／ｋｇ体重以下とする。なお、年齢・症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソリターＴ１号輸液　【　２００mＬ１袋　】　Solita-T No.1　採用
商品名:ソリターＴ１号輸液
規格:２００ｍＬ１袋　薬価:189.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:注射液　YJ:3319500A5078　院内コード:300307
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,ブドウ糖,塩化ナトリウム,
【効】１）．　脱水症及び病態不明時の水分・電解質の初期補給。
２）．　手術前後の水分補給・電解質補給。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人１時間当たり３００～５００ｍＬ、小児の場合、１時間当たり５０～１００ｍＬとする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソリターＴ１号輸液　【　５００mＬ１袋】　Solita-T No.1　採用
商品名:ソリターＴ１号輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:239.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:注射液　YJ:3319500A3075　院内コード:300124
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,ブドウ糖,塩化ナトリウム,
【効】１）．　脱水症及び病態不明時の水分・電解質の初期補給。
２）．　手術前後の水分補給・電解質補給。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人１時間当たり３００～５００ｍＬ、小児の場合、１時間当たり５０～１００ｍＬとする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソリターＴ３号Ｇ輸液　【　５００mＬ１袋　】　Solita-T No.3　採用

商品名:ソリターＴ３号Ｇ輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:246.00　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:注射液　YJ:3319511A4045　院内コード:300127
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,ブドウ糖,塩化カリウム,塩化ナトリウム,
【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持、エネルギー補給。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人ブドウ糖として１時間当たり０．５ｇ／ｋｇ体重以下とする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソルアセトＦ輸液　５００ｍＬ（ヴィーンF）　Solacet F　採用

商品名:ソルアセトＦ輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:206.00　製造:テルモ　剤型:注射液　YJ:3319557A2036　院内コード:300690
成分:塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,酢酸ナトリウム水和物,
【効】循環血液量減少時及び組織間液減少時における細胞外液の補給・細胞外液の補正、代謝性アシドーシスの補正。
【用】通常、成人１回５００ｍＬ～１０００ｍＬを点滴静注する。
投与速度は１時間当たり１０ｍＬ／ｋｇ体重以下とする。
なお、年齢、症状、体重に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソルデム３Ａ輸液　【５００ｍＬ１袋】　Soldem3A　採用

商品名:ソルデム３Ａ輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:210.00　製造:テルモ　剤型:注射液　YJ:3319510A4083　院内コード:300691
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,ブドウ糖,塩化カリウム,塩化ナトリウム,
【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人１時間当たり３００～５００ｍＬ、小児の場合、１時間当たり５０～１００ｍＬとする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ソルデム３Ａ輸液　２００ｍＬ（ｿﾘﾀT3）　Soldem3A　採用

商品名:ソルデム３Ａ輸液
規格:２００ｍＬ１袋　薬価:198.00　製造:テルモ　剤型:注射液　YJ:3319510A5098　院内コード:300692
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,ブドウ糖,塩化カリウム,塩化ナトリウム,
【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人１時間当たり３００～５００ｍＬ、小児の場合、１時間当たり５０～１００ｍＬとする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ハルトマン液ｐＨ８「ＮＰ」　５００ｍＬ　Hartmann's pH8　採用

商品名:ハルトマン輸液ｐＨ８「ＮＰ」
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:248.00　製造:ニプロ　剤型:注射液　YJ:3319534A4186　院内コード:300536
成分:塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,乳酸ナトリウム,
【効】循環血液量減少時及び組織間液減少時における細胞外液の補給・細胞外液の補正、代謝性アシドーシスの補正。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人時間あたり３００～５００ｍＬとする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ビカネイト輸液５００ｍＬ　Bicanate　採用

商品名:ビカネイト輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:288.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3319564A1021　院内コード:300829
成分:クエン酸ナトリウム水和物,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,炭酸水素ナトリウム,
【効】１）．　循環血液量減少時及び組織間液減少時における細胞外液の補給・細胞外液の補正。
２）．　代謝性アシドーシスの補正。
【用】通常、成人１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は、通常成人１時間当たり１０ｍＬ／ｋｇ体重以下とする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

フィジオ３５　500mL　Physio　採用

商品名:フィジオ３５輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:268.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3319560A2038　院内コード:300131
成分:グルコン酸カルシウム水和物,ブドウ糖,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,無水酢酸ナトリウム,
【効】経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持、エネルギー補給。
【用】通常成人には、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は、通常成人ではブドウ糖として１時間当たり０．５ｇ／ｋｇ体重以下とする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ボルベン輸液6%　500mL　Voluven　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ボルベン輸液６％
規格:６％５００ｍＬ１袋　薬価:846.00　製造:フレゼニウス　カービ ジャパン　剤型:注射液　YJ:3319408A1020　院内コード:300802
成分:ヒドロキシエチルデンプン１３００００,
【効】循環血液量の維持。
【用】持続的に静脈内投与する。投与量及び投与速度は、症状に応じ適宜調節するが、１日５０ｍＬ／ｋｇを上限とする。
【保管】室温保存。

ポタコールＲ輸液５００ｍＬ　Potacol R　採用

商品名:ポタコールＲ輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:279.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3319538A4109　院内コード:300311
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,マルトース水和物,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,
【効】１）．　大量出血や異常出血を伴わない循環血液量減少時及び大量出血や異常出血を伴わない組織間液減少時における細胞外液の補給・細胞外液の補正。
２）．　代謝性アシドーシスの補正。
３）．　熱源補給。
【用】通常成人は１回５００～１０００ｍＬを徐々に静脈内に点滴注入する。
投与速度は通常成人マルトース水和物として１時間当たり０．３ｇ／ｋｇ体重以下（体重５０ｋｇとして本剤５００ｍＬを２時間以上）とする。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ラクテック注５００ｍＬ（ｿﾌﾄﾊﾞｯｸﾞ）　Lactec　採用

商品名:ラクテック注
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:248.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3319534A4046　院内コード:300230
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,
【効】１）．　循環血液量減少時及び組織間液減少時における細胞外液の補給・細胞外液の補正。
２）．　代謝性アシドーシスの補正。
【用】通常成人、１回５００～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人１時間当たり３００～５００ｍＬとする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヴィーンＤ輸液　【　５００ｍＬ１瓶　】　Veen-D　採用

商品名:ヴィーンＤ輸液
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:278.00　製造:扶桑薬品　剤型:注射液　YJ:3319551A4090　院内コード:300312
成分:ブドウ糖,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,酢酸ナトリウム水和物,
【効】循環血液量減少時及び組織間液減少時における細胞外液の補給・細胞外液の補正、代謝性アシドーシスの補正、エネルギー補給。
【用】通常成人、１回５００ｍＬ～１０００ｍＬを点滴静注する。投与速度は通常成人ブドウ糖として１時間あたり０．５ｇ／ｋｇ体重以下とする。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

低分子デキストランＬ注２５０ｍＬ　Low molecular dextran L　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:低分子デキストランＬ注
規格:２５０ｍＬ１袋　薬価:435.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3319536A4029　院内コード:300310
成分:Ｌ－乳酸ナトリウム,デキストラン４０,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,
【効】１）．　体外循環灌流液として用い、灌流を容易にして手術中の併発症の危険を減少する。
２）．　代用血漿として急性出血の治療、特に急性大量出血の際の初期治療として有効。
３）．　外傷、熱傷、出血などに基づく外科的ショックの予防及び治療。
４）．　手術時における輸血量の節減。
【用】通常１回５００ｍＬを緩徐に静脈内に注射する。
なお、年齢、体重、症状に応じて適宜増減する。
体外循環灌流液として用いる場合は、体重ｋｇ当たりデキストラン４０として２～３ｇ（２０～３０ｍＬ）を注入する。
【保管】室温保存。

低分子デキストラン糖注５００ｍＬ　Low molecular dextran D　採用　<後発品（加算対象）>

商品名:低分子デキストラン糖注＊（大塚製薬工場）
規格:５００ｍＬ１袋　薬価:713.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3319505A2020　院内コード:300521
成分:デキストラン４０,ブドウ糖,
【効】１）．　出血及び出血により生じるショックの治療。
２）．　手術時における輸血の節減。
３）．　血栓症の予防及び治療。
４）．　外傷・熱傷・骨折等及び重症ショック時の末梢血行改善。
５）．　体外循環灌流液として用い灌流を容易にして手術中の併発症の危険を減少する。
【用】通常成人１回５００ｍＬを静脈内注射する。最初の２４時間の投与量は２０ｍＬ／ｋｇ以下とする。
血栓症の予防及び治療として連続投与するときは１日１０ｍＬ／ｋｇ以下とし、５日以内とする。
体外循環灌流液としては１０～２０ｍＬ／ｋｇを注入する。ただし、注入量は２０ｍＬ／ｋｇ以下とする。
なお、投与量、投与速度は年齢、体重、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

332: 止血剤

3321: カルバゾクロム系製剤

アドナ注（静脈用）１００ｍｇ Adona 採用

商品名:アドナ注（静脈用）１００ｍｇ
規格:０．５％２０ｍＬ１管 薬価:132.00 製造:ニプロ 剤型:注射液 YJ:3321401A4181 院内コード:300313
成分:カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物,
【効】１）． 毛細血管抵抗性の減弱及び毛細血管透過性の亢進によると考えられる出血傾向（例えば紫斑病など）。
２）． 毛細血管抵抗性の減弱による皮膚出血あるいは粘膜出血及び内膜出血、眼底出血・腎出血・子宮出血。
３）． 毛細血管抵抗性の減弱による手術中・術後の異常出血。
【用】カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物として、通常成人１日２５～１００ｍｇを静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アドナ注（静脈用）２５ｍｇ Adona 採用

商品名:アドナ注（静脈用）２５ｍｇ
規格:０．５％５ｍＬ１管 薬価:89.00 製造:ニプロ 剤型:注射液 YJ:3321401A2138 院内コード:300617
成分:カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物,
【効】１）． 毛細血管抵抗性の減弱及び毛細血管透過性の亢進によると考えられる出血傾向（例えば紫斑病など）。
２）． 毛細血管抵抗性の減弱による皮膚出血あるいは粘膜出血及び内膜出血、眼底出血・腎出血・子宮出血。
３）． 毛細血管抵抗性の減弱による手術中・術後の異常出血。
【用】カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物として、通常成人１日２５～１００ｍｇを静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アドナ注（静脈用）５０ｍｇ Adona 採用

商品名:アドナ注（静脈用）５０ｍｇ
規格:０．５％１０ｍＬ１管 薬価:89.00 製造:ニプロ 剤型:注射液 YJ:3321401A3142 院内コード:300478
成分:カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物,
【効】１）． 毛細血管抵抗性の減弱及び毛細血管透過性の亢進によると考えられる出血傾向（例えば紫斑病など）。
２）． 毛細血管抵抗性の減弱による皮膚出血あるいは粘膜出血及び内膜出血、眼底出血・腎出血・子宮出血。
３）． 毛細血管抵抗性の減弱による手術中・術後の異常出血。
【用】カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物として、通常成人１日２５～１００ｍｇを静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

カルバゾクロムスルホン酸Ｎａ錠３０ｍｇ「ＹＤ」 Carbazochrome sulfonate Na 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アドナ錠３０ｍｇ

商品名:カルバゾクロムスルホン酸Ｎａ錠３０ｍｇ「ＹＤ」
規格:３０ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:陽進堂ホールディングス 剤型:錠 YJ:3321002F2412 院内コード:203692
成分:カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物,
【効】１）． 毛細血管抵抗性の減弱及び毛細血管透過性の亢進によると考えられる出血傾向（例えば紫斑病など）。
２）． 毛細血管抵抗性の減弱による皮膚出血あるいは粘膜出血及び内膜出血、眼底出血・腎出血・子宮出血。
３）． 毛細血管抵抗性の減弱による手術中・術後の異常出血。
【用】カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム水和物として、通常成人１日３０～９０ｍｇを３回に分割経口投与する。
なお年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3322: ゼラチン製剤

ゼルフォームＮｏ．１００ Gelfoam 採用

商品名:ゼルフォーム
規格:８ｃｍ×１２．５ｃｍ×１ｃｍ1枚 薬価:1132.70 製造:ファイザー 剤型:貼付剤 YJ:3322701X2027 院内コード:201198
成分:ゼラチン,
【効】１）． 各種外科領域における止血。
２）． 褥瘡潰瘍。
【用】適当量を乾燥状態のまま、又は生理食塩液かトロンビン溶液に浸し、皮膚或は臓器の傷創面に貼付し、滲出する血液を吸収させ固着する。本品は組織に容易に吸収されるので体内に包埋しても差し支えない。
【保管】室温保存。

ゼルフォームＮｏ．１２ Gelfoam 採用

商品名:ゼルフォーム
規格:２ｃｍ×６ｃｍ×０．７ｃｍ1枚 薬価:177.50 製造:ファイザー 剤型:貼付剤 YJ:3322701X1020 院内コード:201197
成分:ゼラチン,
【効】１）． 各種外科領域における止血。
２）． 褥瘡潰瘍。
【用】適当量を乾燥状態のまま、又は生理食塩液かトロンビン溶液に浸し、皮膚或は臓器の傷創面に貼付し、滲出する血液を吸収させ固着する。本品は組織に容易に吸収されるので体内に包埋しても差し支えない。
【保管】室温保存。

3323: 臓器性止血製剤

トロンビン液モチダソフトボトル１万(外用) Thrombin MOCHIDA 採用 (生)
商品名:トロンビン液モチダソフトボトル１万
規格:１０，０００単位１０ｍＬ１キット 薬価:1454.60 製造:持田製薬 剤型:液 YJ:3323702Q3020 院内コード:201009
成分:トロンビン,
【効】通常の結紮によって止血困難な小血管出血、毛細血管出血及び実質臓器出血（例えば、外傷出血、手術中出血、骨性出血、膀胱出血、抜歯後出血、鼻出血及び上部消化管出血など）。
【用】〈上部消化管出血以外〉通常、出血局所に本剤をそのまま噴霧もしくは灌注するか、又は撒布する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
〈上部消化管出血〉適当な緩衝剤で希釈した液（トロンビンとして２００～４００単位／ｍＬ）を経口投与する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下に保存すること。

トロンビン液モチダソフトボトル１万(内服) Thrombin MOCHIDA 採用 (生)
商品名:トロンビン液モチダソフトボトル１万
規格:１０，０００単位１０ｍＬ１キット 薬価:1454.60 製造:持田製薬 剤型:液 YJ:3323702Q3020 院内コード:203842
成分:トロンビン,
【効】通常の結紮によって止血困難な小血管出血、毛細血管出血及び実質臓器出血（例えば、外傷出血、手術中出血、骨性出血、膀胱出血、抜歯後出血、鼻出血及び上部消化管出血など）。
【用】〈上部消化管出血以外〉通常、出血局所に本剤をそのまま噴霧もしくは灌注するか、又は撒布する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
〈上部消化管出血〉適当な緩衝剤で希釈した液（トロンビンとして２００～４００単位／ｍＬ）を経口投与する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下に保存すること。

トロンビン液モチダソフトボトル５千(外用) Thrombin MOCHIDA 採用 (生)
商品名:トロンビン液モチダソフトボトル５千
規格:５，０００単位５ｍＬ１キット 薬価:1015.30 製造:持田製薬 剤型:液 YJ:3323702Q2024 院内コード:201200
成分:トロンビン,
【効】通常の結紮によって止血困難な小血管出血、毛細血管出血及び実質臓器出血（例えば、外傷出血、手術中出血、骨性出血、膀胱出血、抜歯後出血、鼻出血及び上部消化管出血など）。
【用】〈上部消化管出血以外〉通常、出血局所に本剤をそのまま噴霧もしくは灌注するか、又は撒布する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
〈上部消化管出血〉適当な緩衝剤で希釈した液（トロンビンとして２００～４００単位／ｍＬ）を経口投与する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下に保存すること。

トロンビン液モチダソフトボトル５千(内服) Thrombin MOCHIDA 採用 (生)
商品名:トロンビン液モチダソフトボトル５千
規格:５，０００単位５ｍＬ１キット 薬価:1015.30 製造:持田製薬 剤型:液 YJ:3323702Q2024 院内コード:203841
成分:トロンビン,
【効】通常の結紮によって止血困難な小血管出血、毛細血管出血及び実質臓器出血（例えば、外傷出血、手術中出血、骨性出血、膀胱出血、抜歯後出血、鼻出血及び上部消化管出血など）。
【用】〈上部消化管出血以外〉通常、出血局所に本剤をそのまま噴霧もしくは灌注するか、又は撒布する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
〈上部消化管出血〉適当な緩衝剤で希釈した液（トロンビンとして２００～４００単位／ｍＬ）を経口投与する。
なお、出血の部位及び程度により適宜増減する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下に保存すること。

3326: アルギン酸系製剤

アルト原末 Alto 採用
商品名:アルト原末
規格:５００ｍｇ１管 薬価:195.50 製造:カイゲンファーマ 剤型:パウダー YJ:3326700X1033 院内コード:201010
成分:アルギン酸ナトリウム,
【効】出血部位が表面に限局され、局所の処置で止血する場合、とくに結紮困難な細小血管出血、実質臓器出血などの止血。
【用】必要に応じて所要量を創面に撒布し、乾いたガーゼ又は生理食塩水を浸したガーゼ又は脱脂綿にて短時間押さえる。
【保管】室温保存。

3327: 抗プラスミン剤

トランサミン錠２５０ｍｇ Transamin 採用
商品名:トランサミン錠２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:第一三共 剤型:錠 YJ:3327002F1142 院内コード:203030
成分:トラネキサム酸,
【効】１）．　全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向（白血病、再生不良性貧血、紫斑病等、及び手術中・術後の異常出血）。
２）．　局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血（肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血）。

３）．　次記疾患における紅斑・腫脹・そう痒等の症状：湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹。
４）．　次記疾患における咽頭痛・発赤・充血・腫脹等の症状：扁桃炎、咽喉頭炎。
５）．　口内炎における口内痛及び口内粘膜アフター。
【用】トラネキサム酸として、通常成人１日７５０～２０００ｍｇを３～４回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

トランサミン注１０％　10mL　Transamin　採用

商品名:トランサミン注１０％
規格:１０％１０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:第一三共　剤型:注射液　YJ:3327401A4185　院内コード:300132
成分:トラネキサム酸,
【効】１）．　全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向（白血病、再生不良性貧血、紫斑病等、及び手術中・術後の異常出血）。
２）．　局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血（肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血）。
３）．　次記疾患における紅斑・腫脹・そう痒等の症状：湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹。
４）．　次記疾患における咽頭痛・発赤・充血・腫脹等の症状：扁桃炎、咽喉頭炎。
５）．　口内炎における口内痛及び口内粘膜アフター。
【用】トラネキサム酸として、通常成人１日２５０～５００ｍｇを１～２回に分けて静脈内又は筋肉内注射する。術中・術後等には必要に応じ１回５００～１０００ｍｇを静脈内注射するか、又は５００～２５００ｍｇを点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

トランサミン注５％ 5mL　Transamin　採用

商品名:トランサミン注５％
規格:５％５ｍＬ１管　薬価:130.00　製造:第一三共　剤型:注射液　YJ:3327401A1127　院内コード:300314
成分:トラネキサム酸,
【効】１）．　全身性線溶亢進が関与すると考えられる出血傾向（白血病、再生不良性貧血、紫斑病等、及び手術中・術後の異常出血）。
２）．　局所線溶亢進が関与すると考えられる異常出血（肺出血、鼻出血、性器出血、腎出血、前立腺手術中・術後の異常出血）。
３）．　次記疾患における紅斑・腫脹・そう痒等の症状：湿疹及びその類症、蕁麻疹、薬疹・中毒疹。
４）．　次記疾患における咽頭痛・発赤・充血・腫脹等の症状：扁桃炎、咽喉頭炎。
５）．　口内炎における口内痛及び口内粘膜アフター。
【用】トラネキサム酸として、通常成人１日２５０～５００ｍｇを１～２回に分けて静脈内又は筋肉内注射する。術中・術後等には必要に応じ１回５００～１０００ｍｇを静脈内注射するか、又は５００～２５００ｍｇを点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3329: その他の止血剤

プロタミン硫酸塩静注１００ｍｇ「モチダ」【１％１０ｍＬバイアル】　Protamine sulfate MOCHIDA　採用

商品名:プロタミン硫酸塩静注１００ｍｇ「モチダ」
規格:１％１０ｍＬバイアル　薬価:683.00　製造:持田製薬　剤型:注射液　YJ:3329403A1058　院内コード:300134
成分:プロタミン硫酸塩,
【効】ヘパリン過量投与時の中和、血液透析・人工心肺・選択的脳灌流冷却等の血液体外循環後のヘパリン作用の中和。
【用】通常、ヘパリン１０００単位に対して本剤１．０～１．５ｍＬ（プロタミン硫酸塩として１０～１５ｍｇ）を投与する。
ヘパリンの中和に要するプロタミン硫酸塩量は、投与したヘパリン量及びヘパリン投与後の時間経過により異なるので、本剤の投与量はプロタミンによる中和試験により決める。
投与に際しては、通常１回につき本剤５ｍＬ（プロタミン硫酸塩として５０ｍｇ）を超えない量を生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液１００～２００ｍＬに希釈し、１０分間以上をかけて徐々に静脈内に注入する。
【保管】室温保存。

333: 血液凝固阻止剤

3332: ジクマロール系製剤

ワーファリン錠０．５ｍｇ　Warfarin　採用　Hi

商品名:ワーファリン錠０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3332001F3035　院内コード:201157
成分:ワルファリンカリウム,
【効】血栓塞栓症（静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症等）の治療及び予防。
【用】本剤は、血液凝固能検査（プロトロンビン時間及びトロンボテスト）の検査値に基づいて、本剤の投与量を決定し、血液凝固能管理を十分に行いつつ使用する薬剤である。
初回投与量を１日１回経口投与した後、数日間かけて血液凝固能検査で目標治療域に入るように用量調節し、維持投与量を決定する。
ワルファリンに対する感受性には個体差が大きく、同一個人でも変化することがあるため、定期的に血液凝固能検査を行い、維持投与量を必要に応じて調節すること。
抗凝固効果の発現を急ぐ場合には、初回投与時ヘパリン等の併用を考慮する。
成人における初回投与量は、ワルファリンカリウムとして、通常１～５ｍｇ１日１回である。
小児における維持投与量（ｍｇ／ｋｇ／日）の目安を次に示す。
１２ヵ月未満：０．１６ｍｇ／ｋｇ／日。
１歳以上１５歳未満：０．０４～０．１０ｍｇ／ｋｇ／日。
【保管】室温保存。

ワーファリン錠１ｍｇ　Warfarin　採用　Hi

33: 血液及び体液用薬

商品名:ワーファリン錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3332001F1024　院内コード:200009
成分:ワルファリンカリウム,
【効】血栓塞栓症（静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症等）の治療及び予防。
【用】本剤は、血液凝固能検査（プロトロンビン時間及びトロンボテスト）の検査値に基づいて、本剤の投与量を決定し、血液凝固能管理を十分に行いつつ使用する薬剤である。
初回投与量を１日１回経口投与した後、数日間かけて血液凝固能検査で目標治療域に入るように用量調節し、維持投与量を決定する。
ワルファリンに対する感受性には個体差が大きく、同一個人でも変化することがあるため、定期的に血液凝固能検査を行い、維持投与量を必要に応じて調節すること。
抗凝固効果の発現を急ぐ場合には、初回投与時ヘパリン等の併用を考慮する。
成人における初回投与量は、ワルファリンカリウムとして、通常１～５ｍｇ１日１回である。
小児における維持投与量（ｍｇ／ｋｇ／日）の目安を次に示す。
１２ヵ月未満：０．１６ｍｇ／ｋｇ／日。
１歳以上１５歳未満：０．０４～０．１０ｍｇ／ｋｇ／日。
【保管】室温保存。

ワーファリン顆粒０．２%　Warfarin　採用　Hi

商品名:ワーファリン顆粒０．２%
規格:０．２%１ｇ　薬価:19.60　製造:沢井製薬　剤型:顆粒　YJ:3332001D1023　院内コード:202341
成分:ワルファリンカリウム,
【効】血栓塞栓症（静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、緩徐に進行する脳血栓症等）の治療及び予防。
【用】本剤は、血液凝固能検査（プロトロンビン時間及びトロンボテスト）の検査値に基づいて、本剤の投与量を決定し、血液凝固能管理を十分に行いつつ使用する薬剤である。
初回投与量を１日１回経口投与した後、数日間かけて血液凝固能検査で目標治療域に入るように用量調節し、維持投与量を決定する。
ワルファリンに対する感受性には個体差が大きく、同一個人でも変化することがあるため、定期的に血液凝固能検査を行い、維持投与量を必要に応じて調節すること。
抗凝固効果の発現を急ぐ場合には、初回投与時ヘパリン等の併用を考慮する。
成人における初回投与量は、ワルファリンカリウムとして、通常１～５ｍｇ１日１回である。
小児における維持投与量（ｍｇ／ｋｇ／日）の目安を次に示す。
１２ヵ月未満：０．１６ｍｇ／ｋｇ／日。
１歳以上１５歳未満：０．０４～０．１０ｍｇ／ｋｇ／日。
【保管】室温保存。

3334: ヘパリン製剤

クレキサン皮下注キット２０００ＩＵ　Clexane　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>

商品名:クレキサン皮下注キット２０００ＩＵ
規格:２，０００低分子ヘパリン国際単位０．２ｍＬ１筒　薬価:617.00　製造:サノフィ　剤型:キット類YJ:3334406G1020　院内コード:300319
成分:エノキサパリンナトリウム,
【効】１）．　次記の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制：股関節全置換術、膝関節全置換術、股関節骨折手術。
２）．　静脈血栓塞栓症の発症リスクの高い、腹部手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制。
【用】通常、エノキサパリンナトリウムとして、１回２０００ＩＵを、原則として１２時間毎に１日２回連日皮下注射する。
【保管】室温保存。

ダルテパリンＮａ静注５０００単位／５ｍＬ「日新」【５，０００低分子ヘパリン国際単位１管】(ﾌﾗｸﾞﾐﾝ)　Dalteparin Na NISSIN　採用　(生)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]フラグミン静注５０００単位／５ｍＬ

商品名:ダルテパリンＮａ静注５０００単位／５ｍＬ「日新」
規格:５，０００低分子ヘパリン国際単位１管　薬価:571.00　製造:日新製薬　剤型:注射液　YJ:3334403A1090　院内コード:301255
成分:ダルテパリンナトリウム,
【効】１）．　血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析）。
２）．　汎発性血管内血液凝固症（ＤＩＣ）。
【用】〈血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析）〉本剤を直接又は生理食塩液により希釈して投与する。
・　出血性病変又は出血傾向を有しない患者の場合通常、成人には体外循環開始時、ダルテパリンナトリウムとして１５～２０国際単位／ｋｇを回路内に単回投与し、体外循環開始後は毎時７．５～１０国際単位／ｋｇを抗凝固薬注入ラインより持続注入する。
・　出血性病変又は出血傾向を有する患者の場合通常、成人には体外循環開始時、ダルテパリンナトリウムとして１０～１５国際単位／ｋｇを回路内に単回投与し、体外循環開始後は毎時７．５国際単位／ｋｇを抗凝固薬注入ラインより持続注入する。
〈汎発性血管内血液凝固症（ＤＩＣ）〉通常、成人にはダルテパリンナトリウムとして１日量７５国際単位／ｋｇを２４時間かけて静脈内に持続投与する。
なお、症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヘパリンＮａロック用１０単位／ｍＬシリンジ１０ｍＬ「ニプロ」　Heparin sodium　採用　(生)

商品名:ヘパリンＮａロック用１０単位／ｍＬシリンジ１０ｍＬ「ニプロ」

規格:１００単位１０ｍＬ１筒　薬価:126.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:3334402G2117　院内コード:300728
成分:ヘパリンナトリウム,
【効】静脈内留置ルート内の血液凝固の防止。
【用】静脈内留置ルート内を充填するのに十分な量を注入する。
【保管】室温保存。

ヘパリンＮａ注５千単位／５ｍＬ「モチダ」【５，０００単位５ｍＬ１瓶】　Heparin sodium MOCHIDA　採用　(生)
商品名:ヘパリンＮａ注５千単位／５ｍＬ「モチダ」
規格:５，０００単位５ｍＬ１瓶　薬価:215.00　製造:持田製薬　剤型:注射液　YJ:3334401A5062　院内コード:300137
成分:ヘパリンナトリウム,
【効】１）．　汎発性血管内血液凝固症候群の治療、血液透析・人工心肺その他の体外循環装置使用時の血液凝固の防止、血管カテーテル挿入時の血液凝固の防止、輸血及び血液検査の際の血液凝固の防止。
２）．　血栓塞栓症（静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、四肢動脈血栓塞栓症の治療及び予防、手術中・手術後の血栓塞栓症等）の治療及び予防。
【用】本剤は、通常、次記の各投与法によって投与されるが、それらは症例または適応領域、目的によって決定される。
通常、本剤投与後、全血凝固時間（Ｌｅｅ－Ｗｈｉｔｅ法）または全血活性化部分トロンボプラスチン時間（ＷＢＡＰＴＴ）が正常値の２～３倍になるように年齢、症状に応じて適宜用量をコントロールする。
〈静脈内点滴注射法〉１００００～３００００単位を５％ブドウ糖注射液、生理食塩液、リンゲル液１０００ｍＬで希釈し、最初１分間３０滴前後の速度で、続いて全血凝固時間またはＷＢＡＰＴＴが投与前の２～３倍になれば１分間２０滴前後の速度で、静脈内に点滴注射する。
〈静脈内間歇注射法〉１回５０００～１００００単位を４～８時間ごとに静脈内注射する。
注射開始３時間後から、２～４時間ごとに全血凝固時間またはＷＢＡＰＴＴを測定し、投与前の２～３倍になるようにコントロールする。
〈皮下注射・筋肉内注射法〉１回５０００単位を４時間ごとに皮下注射または筋肉内注射する。なお、筋肉内注射にあたっては、組織・神経などへの影響をさけるため、次記の点に配慮すること。
・　筋肉内注射時神経走行部位をさけるように注意すること。
・　筋肉内注射時、繰り返し注射する場合には、注射部位をかえ、たとえば左右交互に注射するなど行うこと。なお、乳・幼・小児には筋肉内注射を連用しないことが望ましい。
・　注射針を刺入したとき、激痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は、直ちに針を抜き、部位をかえて注射すること。
〈体外循環時（血液透析・人工心肺）における使用法〉・　人工腎では各患者の適切な使用量を透析前に各々のヘパリン感受性試験の結果に基づいて算出するが、全身ヘパリン化法の場合、通常、透析開始に先だって、１０００～３０００単位を投与し、透析開始後は、１時間当り、５００～１５００単位を持続的に、または１時間ごとに５００～１５００単位を間歇的に追加する。局所ヘパリン化法の場合は、１時間当り１５００～２５００単位を持続注入し、体内灌流時にプロタミン硫酸塩で中和する。
・　術式・方法によって多少異なるが、人工心肺灌流時には、１５０～３００単位／ｋｇを投与し、さらに体外循環時間の延長とともに必要に応じて適宜追加する。体外循環後は、術後出血を防止し、ヘパリンの作用を中和するためにプロタミン硫酸塩を用いる。
〈輸血及び血液検査の際の血液凝固防止法〉輸血の際の血液凝固の防止には、通常、血液１００ｍＬに対して４００～５００単位を用いる。
血液検査の際の血液凝固の防止にもほぼ同様に、血液２０～３０ｍＬに対して１００単位を用いる。
【保管】室温保存。

ﾍﾊﾟﾘﾝCa皮下注5千単位/0.2mLｼﾘﾝｼﾞ　Heparin calcium MOCHIDA　採用　(生)
商品名:ヘパリンカルシウム皮下注５千単位／０．２ｍＬシリンジ「モチダ」
規格:５，０００単位０．２ｍＬ１筒　薬価:522.00　製造:持田製薬　剤型:キット類YJ:3334400G1022　院内コード:300615
成分:ヘパリンカルシウム,
【効】１）．　汎発性血管内血液凝固症候群の治療。
２）．　血栓塞栓症（静脈血栓症、心筋梗塞症、肺塞栓症、脳塞栓症、四肢動脈血栓塞栓症の治療及び予防、手術中・手術後の血栓塞栓症等）の治療及び予防。
【用】本剤は通常次記の各投与法によって投与されるが、それらは症例又は適応領域、目的によって決定される。
通常本剤投与後、全血凝固時間（Ｌｅｅ－Ｗｈｉｔｅ法）又は全血活性化部分トロンボプラスチン時間（ＷＢＡＰＴＴ）が正常値の２～３倍になるように年齢・症状に応じて適宜用量をコントロールする。
初回に１５０００～２００００単位、続いて維持量として１回１００００～１５０００単位を１日２回、１２時間間隔で皮下注射する。
手術後又は心筋梗塞等に続発する静脈血栓症の予防には、５０００単位を１２時間ごとに７～１０日間皮下注射する。
【保管】室温保存。

ﾍﾊﾟﾘﾝNa500単位/mLｼﾘﾝｼﾞ(透析用)　Heparin sodium　採用　(生)
商品名:ヘパリンＮａ透析用５００単位／ｍＬシリンジ１０ｍＬ「ＮＰ」
規格:５，０００単位１０ｍＬ１筒　薬価:285.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:3334402G5043　院内コード:300548
成分:ヘパリンナトリウム,
【効】血液透析の体外循環装置使用時の血液凝固の防止。
【用】本剤は、通常、次記の投与法によって投与されるが、それらは症例又は適応領域、目的によって決定される。
通常、本剤投与後、全血凝固時間（Ｌｅｅ－Ｗｈｉｔｅ法）又は全血活性化部分トロンボプラスチン時間（ＷＢＡＰＴＴ）が正常値の２～３倍になるように年齢、症状に応じて適宜用量をコントロールする。
・　体外循環時（血液透析）における使用法人工腎では各患者の適切な使用量を透析前に各々のヘパリン感受性試験の結果に基づいて算出するが、全身ヘパリン化法の場合、通常、透析開始に先だって、１０００～３０００単位を投与し、透析開始後は、１時間当たり、５００～１５００単位を持続的に、又は１時間ごとに５００～１５００単位を間歇的に追加する。局所ヘパリン化法の場合は、１時間当たり１５００～２５００単位を持続注入

し、体内灌流時にプロタミン硫酸塩で中和する。
【保管】室温保存。

3339: その他の血液凝固阻止剤

エリキュース錠２．５ｍｇ Eliquis 採用 Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:エリキュース錠２．５ｍｇ
規格:２．５ｍｇ１錠 薬価:111.60 製造:ＢＭＳ 剤型:錠 YJ:3339004F1029 院内コード:202417
成分:アピキサバン,
【効】１）． 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
２）． 静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人にはアピキサバンとして１回５ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、年齢、体重、腎機能に応じて、アピキサバンとして１回２．５ｍｇ１日２回投与へ減量する。
〈静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制〉通常、成人にはアピキサバンとして１回１０ｍｇを１日２回、７日間経口投与した後、１回５ｍｇを１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

エリキュース錠５ｍｇ Eliquis 採用 Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:エリキュース錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠 薬価:201.00 製造:ＢＭＳ 剤型:錠 YJ:3339004F2025 院内コード:202418
成分:アピキサバン,
【効】１）． 非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
２）． 静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人にはアピキサバンとして１回５ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、年齢、体重、腎機能に応じて、アピキサバンとして１回２．５ｍｇ１日２回投与へ減量する。
〈静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制〉通常、成人にはアピキサバンとして１回１０ｍｇを１日２回、７日間経口投与した後、１回５ｍｇを１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

ヒルドイドソフト軟膏0.3%(50g/本) Hirudoid 採用 <準先発品>
商品名:ヒルドイドソフト軟膏０．３％
規格:１ｇ 薬価:17.70 製造:マルホ 剤型:軟膏・硬膏 YJ:3339950M1137 院内コード:203205
成分:ヘパリン類似物質,
【効】血栓性静脈炎（痔核を含む）、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後硬結並びに注射後疼痛）、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸＜乳児期＞。
【用】通常、１日１～数回適量を患部に塗擦又はガーゼ等にのばして貼付する。
【保管】室温保存。

ヒルドイドフォーム０．３％（92g/本） Hirudoid 採用 <準先発品>
商品名:ヒルドイドフォーム０．３％
規格:１ｇ 薬価:18.20 製造:マルホ 剤型:噴霧剤 YJ:3339950R1177 院内コード:203143
成分:ヘパリン類似物質,
【効】血栓性静脈炎（痔核を含む）、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後硬結並びに注射後疼痛）、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸＜乳児期＞。
【用】通常、１日１～数回適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

プラザキサカプセル１１０ｍｇ Prazaxa 採用 Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:プラザキサカプセル１１０ｍｇ
規格:１１０ｍｇ１カプセル 薬価:119.00 製造:日本ベーリンガーインゲルハイム 剤型:カプセルYJ:3339001M2020 院内コード:202291
成分:ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩,
【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
【用】通常、成人にはダビガトランエテキシラートとして１回１５０ｍｇ（７５ｍｇカプセルを２カプセル）を１日２回経口投与する。なお、必要に応じて、ダビガトランエテキシラートとして１回１１０ｍｇ（１１０ｍｇカプセルを１カプセル）を１日２回投与へ減量すること。
【保管】室温保存。

プラザキサカプセル７５ｍｇ Prazaxa 採用 Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:プラザキサカプセル７５ｍｇ
規格:７５ｍｇ１カプセル 薬価:65.20 製造:日本ベーリンガーインゲルハイム 剤型:カプセルYJ:3339001M1024 院内コード:202290
成分:ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩,
【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
【用】通常、成人にはダビガトランエテキシラートとして１回１５０ｍｇ（７５ｍｇカプセルを２カプセル）を１日２回経口投与する。なお、必要に応じて、ダビガトランエテキシラートとして１回１１０ｍｇ（１１０ｍｇカプセルを１カプセル）を１日２回投与へ減量すること。
【保管】室温保存。

ヘパリン類似物質ローション0.3%「日医工」（50g/本） Heparinoid 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％

商品名:ヘパリン類似物質ローション０．３％「日医工」
規格:１ｇ　薬価:6.30　製造:帝國製薬　剤型:液　YJ:3339950Q1139　院内コード:203435
成分:ヘパリン類似物質,
【効】皮脂欠乏症、進行性指掌角皮症、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後硬結並びに注射後疼痛）、血栓性静脈炎（痔核を含む）
、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸＜乳児期＞。
【用】通常、１日１～数回適量を患部に塗布する。
【保管】室温保存。

ヘパリン類似物質外用泡状スプレー０．３％「ニットー」　Heparinoid NITTO　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％
商品名:ヘパリン類似物質外用泡状スプレー０．３％「ニットー」
規格:１ｇ　薬価:6.30　製造:日東メディック　剤型:噴霧剤　YJ:3339950R1150　院内コード:203849
成分:ヘパリン類似物質,
【効】血栓性静脈炎（痔核を含む）、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後硬結並びに注射後疼痛）、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸＜乳児期＞。
【用】通常、１日１～数回適量を患部に噴霧する。
【保管】室温保存。

ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%「ケンエー」（25g/本）　Heparinoid KENEI　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ヒルドイドゲル０．３％
商品名:ヘパリン類似物質油性クリーム０．３％「ケンエー」
規格:１ｇ　薬価:6.30　製造:健栄製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:3339950M1200　院内コード:203749
成分:ヘパリン類似物質,
【効】血栓性静脈炎（痔核を含む）、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患（注射後硬結並びに注射後疼痛）、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷（打撲、捻挫、挫傷）後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸＜乳児期＞。
【用】通常、１日１～数回適量を患部に塗擦又はガーゼ等にのばして貼付する。
【保管】室温保存。

リクシアナＯＤ錠１５ｍｇ　Lixiana OD　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リクシアナＯＤ錠１５ｍｇ
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:180.30　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:3339002F4029　院内コード:203405
成分:エドキサバントシル酸塩水和物,
【効】１）．　非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
２）．　静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
３）．　慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制。
４）．　次記の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制：膝関節全置換術、股関節全置換術、股関節骨折手術。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして次の用量を１日１回経口投与する。
体重６０ｋｇ以下：３０ｍｇ。
体重６０ｋｇ超：６０ｍｇ。なお、腎機能、併用薬に応じて１日１回３０ｍｇに減量する。
また、出血リスクが高い高齢の患者では、年齢、患者の状態に応じて１日１回１５ｍｇに減量できる。
〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制、慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして次の用量を１日１回経口投与する。
体重６０ｋｇ以下：３０ｍｇ。
体重６０ｋｇ超：６０ｍｇ。なお、腎機能、併用薬に応じて１日１回３０ｍｇに減量する。
〈下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして３０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

リクシアナＯＤ錠３０ｍｇ　Lixiana OD　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リクシアナＯＤ錠３０ｍｇ
規格:３０ｍｇ１錠　薬価:330.10　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:3339002F5025　院内コード:202583
成分:エドキサバントシル酸塩水和物,
【効】１）．　非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
２）．　静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
３）．　慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制。
４）．　次記の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制：膝関節全置換術、股関節全置換術、股関節骨折手術。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして次の用量を１日１回経口投与する。
体重６０ｋｇ以下：３０ｍｇ。
体重６０ｋｇ超：６０ｍｇ。なお、腎機能、併用薬に応じて１日１回３０ｍｇに減量する。
また、出血リスクが高い高齢の患者では、年齢、患者の状態に応じて１日１回１５ｍｇに減量できる。
〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制、慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして次の用量を１日１回経口投与する。
体重６０ｋｇ以下：３０ｍｇ。
体重６０ｋｇ超：６０ｍｇ。なお、腎機能、併用薬に応じて１日１回３０ｍｇに減量する。
〈下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして３０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

リクシアナＯＤ錠６０ｍｇ　Lixiana OD　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:リクシアナＯＤ錠６０ｍｇ
規格:６０ｍｇ１錠　薬価:334.50　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:3339002F6021　院内コード:202584
成分:エドキサバントシル酸塩水和物,
【効】１）．　非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
２）．　静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
３）．　慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして次の用量を１日１回経口投与する。
体重６０ｋｇ以下：３０ｍｇ。
体重６０ｋｇ超：６０ｍｇ。なお、腎機能、併用薬に応じて１日１回３０ｍｇに減量する。
また、出血リスクが高い高齢の患者では、年齢、患者の状態に応じて１日１回１５ｍｇに減量できる。
〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制、慢性血栓塞栓性肺高血圧症患者における血栓・塞栓形成の抑制〉通常、成人には、エドキサバンとして次の用量を１日１回経口投与する。
体重６０ｋｇ以下：３０ｍｇ。
体重６０ｋｇ超：６０ｍｇ。なお、腎機能、併用薬に応じて１日１回３０ｍｇに減量する。
【保管】室温保存。

リコモジュリン点滴静注用12800　Recomodulin　採用　(生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:リコモジュリン点滴静注用１２８００
規格:１２，８００単位１瓶　薬価:32535.00　製造:旭化成セラピューティクス　剤型:注射用　YJ:3339401D1027　院内コード:300809
成分:トロンボモデュリン　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】汎発性血管内血液凝固症（ＤＩＣ）。
【用】通常、成人には、トロンボモデュリン　アルファとして１日１回３８０Ｕ／ｋｇを約３０分かけて点滴静注する。なお、症状に応じ適宜減量する。
【保管】室温保存。

リバーロキサバンＯＤ錠１０ｍｇ「バイエル」(ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ)　Rivaroxaban OD Bayer　採用　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]イグザレルト細粒分包１０ｍｇ
商品名:リバーロキサバンＯＤ錠１０ｍｇ「バイエル」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:143.00　製造:バイエル　ライフサイエンス　剤型:錠　YJ:3339003F3094　院内コード:203736
成分:リバーロキサバン,
【効】１）．　成人：
①．　非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
②．　静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
２）．　小児：静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人にはリバーロキサバンとして１５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。なお、腎障害のある患者に対しては、腎機能の程度に応じて１０ｍｇ１日１回に減量する。
〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉成人通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期３週間はリバーロキサバンとして１５ｍｇを１日２回食後に経口投与し、その後は１５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
小児通常、体重３０ｋｇ以上の小児にはリバーロキサバンとして１５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

リバーロキサバンＯＤ錠１５ｍｇ「バイエル」(ｲｸﾞｻﾞﾚﾙﾄ)　Rivaroxaban OD Bayer　採用　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]イグザレルト細粒分包１５ｍｇ
商品名:リバーロキサバンＯＤ錠１５ｍｇ「バイエル」
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:200.00　製造:バイエル　ライフサイエンス　剤型:錠　YJ:3339003F4090　院内コード:203737
成分:リバーロキサバン,
【効】１）．　成人：
①．　非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制。
②．　静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制。
２）．　小児：静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制。
【用】〈非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制〉通常、成人にはリバーロキサバンとして１５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。なお、腎障害のある患者に対しては、腎機能の程度に応じて１０ｍｇ１日１回に減量する。
〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉成人通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期３週間はリバーロキサバンとして１５ｍｇを１日２回食後に経口投与し、その後は１５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
小児通常、体重３０ｋｇ以上の小児にはリバーロキサバンとして１５ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

339: その他の血液・体液用薬

3399: 他に分類されない血液及び体液用薬

アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液500mL　Artcereb　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液
規格:５００ｍＬ１キット　薬価:1647.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:3399500G1025　院内コード:300474
成分:ブドウ糖,リン酸二水素カリウム,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,炭酸水素ナトリウム,
【効】１）．　穿頭手術時・開頭手術時の洗浄。
２）．　脊髄疾患手術時の洗浄及び神経内視鏡手術時の灌流。

【用】穿頭・開頭手術時の洗浄、脊髄疾患手術時の洗浄及び神経内視鏡手術時の灌流を目的として使用する。
用時に隔壁を開通して上室液と下室液をよく混合する。
使用量は通常、適量を使用し、術式及び手術時間等により適宜増減する。
なお、上限量は次記を目安とする。
穿頭・開頭手術及び神経内視鏡手術：４０００ｍＬ。
脊髄疾患手術：３０００ｍＬ。
【保管】室温保存。

イコサペント酸エチルカプセル３００ｍｇ「サワイ」(ｴﾊﾟﾃﾞｰﾙ)　Ethyl icosapentate　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]エパデールカプセル３００
商品名:イコサペント酸エチルカプセル３００ｍｇ「サワイ」
規格:３００ｍｇ１カプセル　薬価:14.60　製造:メディサ新薬　剤型:カプセルYJ:3399004M1336　院内コード:202897
成分:イコサペント酸エチル,
【効】１）．　閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛および冷感の改善。
２）．　高脂血症。
【用】〈閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛および冷感の改善〉イコサペント酸エチルとして、通常、成人１回６００ｍｇ（２カプセル）を１日３回、毎食直後に経口投与する。
なお、年齢、症状により、適宜増減する。
〈高脂血症〉イコサペント酸エチルとして、通常、成人１回９００ｍｇ（３カプセル）を１日２回又は１回６００ｍｇ（２カプセル）を１日３回、食直後に経口投与する。
ただし、トリグリセリドの異常を呈する場合には、その程度により、１回９００ｍｇ（３カプセル）、１日３回まで増量できる。
【保管】室温保存。

イコサペント酸エチル粒状カプセル９００ｍｇ「サワイ」(ｴﾊﾟﾃﾞｰﾙS)　Ethyl icosapentate　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]エパデールＳ９００
商品名:イコサペント酸エチル粒状カプセル９００ｍｇ「サワイ」
規格:９００ｍｇ１包　薬価:41.20　製造:沢井製薬　剤型:カプセルYJ:3399004M4068　院内コード:202898
成分:イコサペント酸エチル,
【効】１）．　閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛および冷感の改善。
２）．　高脂血症。
【用】〈閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛および冷感の改善〉イコサペント酸エチルとして、通常、成人１回６００ｍｇを１日３回、毎食直後に経口投与する。
なお、年齢、症状により、適宜増減する。
〈高脂血症〉イコサペント酸エチルとして、通常、成人１回９００ｍｇを１日２回又は１回６００ｍｇを１日３回、食直後に経口投与する。
ただし、トリグリセリドの異常を呈する場合には、その程度により、１回９００ｍｇ、１日３回まで増量できる。
【保管】室温保存。

オンデキサ静注用２００ｍｇ　Ondexxya　採用　(生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:オンデキサ静注用２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１瓶　薬価:338671.00　製造:アストラゼネカ　剤型:注射用　YJ:3399414D1022　院内コード:301174
成分:アンデキサネット　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】直接作用型第１０ａ因子阻害剤投与中の患者における生命を脅かす出血又は直接作用型第１０ａ因子阻害剤投与中の患者における止血困難な出血の発現時の抗凝固作用の中和（アピキサバン、リバーロキサバン又はエドキサバントシル酸塩水和物）。
【用】通常、成人には、直接作用型第１０ａ因子阻害剤の種類、最終投与時の１回投与量、最終投与からの経過時間に応じて、アンデキサネット　アルファ（遺伝子組換え）として、次のＡ法又はＢ法の用法及び用量で静脈内投与する。
Ａ法：４００ｍｇを３０ｍｇ／分の速度で静脈内投与し、続いて４８０ｍｇを４ｍｇ／分の速度で２時間静脈内投与する。
Ｂ法：８００ｍｇを３０ｍｇ／分の速度で静脈内投与し、続いて９６０ｍｇを８ｍｇ／分の速度で２時間静脈内投与する。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

キャブピリン配合錠　Cabpirin　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:キャブピリン配合錠
規格:１錠　薬価:86.50　製造:武田薬品　剤型:錠　YJ:3399103F1020　院内コード:203447
成分:アスピリン,ボノプラザンフマル酸塩,
【効】次記疾患又は術後における血栓・塞栓形成の抑制（胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がある患者に限る）：１）狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、心筋梗塞、虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（ＴＩＡ）、脳梗塞）、２）冠動脈バイパス術＜ＣＡＢＧ＞施行後あるいは経皮経管冠動脈形成術＜ＰＴＣＡ＞施行後。
【用】通常、成人には１日１回１錠（アスピリン／ボノプラザンとして１００ｍｇ／１０ｍｇ）を経口投与する。
【保管】室温保存。

クロピドグレル錠２５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」　Clopidogrel　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]プラビックス錠２５ｍｇ
商品名:クロピドグレル錠２５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:12.60　製造:Ｍｅ　ファルマ　剤型:錠　YJ:3399008F1114　院内コード:202880
成分:クロピドグレル硫酸塩,
【効】１）．　虚血性脳血管障害＜心原性脳塞栓症を除く＞後の再発抑制。
２）．　次記の経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される虚血性心疾患。
①．　経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される急性冠症候群（経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される不安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される非ＳＴ上昇心筋梗塞、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用されるＳＴ上昇心筋梗塞）。
②．　経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される陳旧性心筋梗塞。

３）．　末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制。
【用】〈虚血性脳血管障害（心原性脳塞栓症を除く）後の再発抑制〉通常、成人には、クロピドグレルとして７５ｍｇを１日１回経口投与するが、年齢、体重、症状によりクロピドグレルとして５０ｍｇを１日１回経口投与する。
〈経皮的冠動脈形成術（ＰＣＩ）が適用される虚血性心疾患〉通常、成人には、投与開始日にクロピドグレルとして３００ｍｇを１日１回経口投与し、その後、維持量として１日１回７５ｍｇを経口投与する。
〈末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制〉通常、成人には、クロピドグレルとして７５ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

クロピドグレル錠７５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」　Clopidogrel　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]プラビックス錠７５ｍｇ

商品名:クロピドグレル錠７５ｍｇ「ＳＡＮＩＫ」
規格:７５ｍｇ１錠　薬価:28.30　製造:Ｍｅ　ファルマ　剤型:錠　YJ:3399008F2110　院内コード:202706
成分:クロピドグレル硫酸塩,
【効】１）．　虚血性脳血管障害＜心原性脳塞栓症を除く＞後の再発抑制。
２）．　次記の経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される虚血性心疾患。
①．　経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される急性冠症候群（経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される不安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される非ＳＴ上昇心筋梗塞、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用されるＳＴ上昇心筋梗塞）。
②．　経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される陳旧性心筋梗塞。
３）．　末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制。
【用】〈虚血性脳血管障害（心原性脳塞栓症を除く）後の再発抑制〉通常、成人には、クロピドグレルとして７５ｍｇを１日１回経口投与するが、年齢、体重、症状によりクロピドグレルとして５０ｍｇを１日１回経口投与する。
〈経皮的冠動脈形成術（ＰＣＩ）が適用される虚血性心疾患〉通常、成人には、投与開始日にクロピドグレルとして３００ｍｇを１日１回経口投与し、その後、維持量として１日１回７５ｍｇを経口投与する。
〈末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制〉通常、成人には、クロピドグレルとして７５ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

サルポグレラート塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」(ｱﾝﾌﾟﾗｰｸﾞ)　Sarpogrelate hydrochloride　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]アンプラーグ錠１００ｍｇ

商品名:サルポグレラート塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:34.20　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3399006F2189　院内コード:203809
成分:サルポグレラート塩酸塩,
【効】慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛および冷感等の虚血性諸症状の改善。
【用】サルポグレラート塩酸塩として、通常成人１回１００ｍｇを１日３回食後経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

シロスタゾールＯＤ錠１００ｍｇ「サワイ」　Cilostazol OD　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]プレタールＯＤ錠１００ｍｇ

商品名:シロスタゾールＯＤ錠１００ｍｇ「サワイ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:11.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3399002F4035　院内コード:202829
成分:シロスタゾール,
【効】１）．　慢性動脈閉塞症に基づく潰瘍、疼痛及び冷感等の虚血性諸症状の改善。
２）．　脳梗塞＜心原性脳塞栓症を除く＞発症後の再発抑制。
【用】通常、成人には、シロスタゾールとして１回１００ｍｇを１日２回経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

タケルダ配合錠　Takelda　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:タケルダ配合錠
規格:１錠　薬価:16.80　製造:Ｔ’ｓ製薬　剤型:錠　YJ:3399102F1026　院内コード:202593
成分:アスピリン,ランソプラゾール,
【効】次記疾患又は術後における血栓・塞栓形成の抑制（胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の既往がある患者に限る）：１）狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、心筋梗塞、虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（ＴＩＡ）、脳梗塞）、２）冠動脈バイパス術＜ＣＡＢＧ＞施行後あるいは経皮経管冠動脈形成術＜ＰＴＣＡ＞施行後。
【用】通常、成人には１日１回１錠（アスピリン／ランソプラゾールとして１００ｍｇ／１５ｍｇ）を経口投与する。
【保管】室温保存。

バイアスピリン錠１００ｍｇ　Bayaspirin　採用　Hi　<後発品（加算対象）>

商品名:バイアスピリン錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:バイエル薬品　剤型:腸溶錠　YJ:3399007H1021　院内コード:200192
成分:アスピリン,
【効】１）．　次記疾患における血栓・塞栓形成の抑制：①狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、②心筋梗塞、③虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（ＴＩＡ）、脳梗塞）。
２）．　冠動脈バイパス術＜ＣＡＢＧ＞施行後あるいは経皮経管冠動脈形成術＜ＰＴＣＡ＞施行後における血栓・塞栓形成の抑制。
３）．　川崎病（川崎病による心血管後遺症を含む）。
【用】〈狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、心筋梗塞、虚血性脳血管障害（一過性脳虚血発作（ＴＩＡ）、脳梗塞）における血栓・塞栓形成の抑制、冠動脈バイパス術（ＣＡＢＧ）あるいは経皮経管冠動脈形成術（ＰＴＣＡ）施行後における血栓・塞栓形成の抑制に使用する場合〉通常、成人にはアスピリンとして１００ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、症状により１回３００ｍｇまで増量できる。
〈川崎病（川崎病による心血管後遺症を含む）に使用する場合〉急性期有熱期間は、アスピリンとして１日体重１ｋｇあたり３０～５０ｍｇを３回に分けて経口投与する。解熱後の回復期から慢性期は、アスピリンとして１日体重１ｋｇあたり３～５ｍｇを１回経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。

【保管】室温保存。

プラスグレルＯＤ錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」 Prasugrel OD DSEP 採用 Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]エフィエントＯＤ錠２０ｍｇ

商品名:プラスグレルＯＤ錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」

規格:２０ｍｇ１錠 薬価:471.20 製造:第一三共エスファ 剤型:錠 YJ:3399009F5033 院内コード:203918

成分:プラスグレル塩酸塩,

【効】次記の経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される虚血性心疾患。

１）． 経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される急性冠症候群（経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される不安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される非ＳＴ上昇心筋梗塞、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用されるＳＴ上昇心筋梗塞）。

２）． 経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される陳旧性心筋梗塞。

【用】通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして２０ｍｇを１日１回経口投与し、その後、維持用量として１日１回３．７５ｍｇを経口投与する。

【保管】室温保存。

プラスグレル錠３．７５ｍｇ「ＤＳＥＰ」 Prasugrel DSEP 採用 Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]エフィエント錠３．７５ｍｇ

商品名:プラスグレル錠３．７５ｍｇ「ＤＳＥＰ」

規格:３．７５ｍｇ１錠 薬価:118.20 製造:第一三共エスファ 剤型:錠 YJ:3399009F1038 院内コード:203917

成分:プラスグレル塩酸塩,

【効】１）． 次記の経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される虚血性心疾患。

①． 経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される急性冠症候群（経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される不安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される非ＳＴ上昇心筋梗塞、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用されるＳＴ上昇心筋梗塞）。

②． 経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される安定狭心症、経皮的冠動脈形成術＜ＰＣＩ＞が適用される陳旧性心筋梗塞。

２）． 虚血性脳血管障害＜大血管アテローム硬化に伴う＞後又は虚血性脳血管障害＜小血管の閉塞に伴う＞後の再発抑制（脳梗塞発症リスクが高い場合に限る）。

【用】〈経皮的冠動脈形成術（ＰＣＩ）が適用される虚血性心疾患〉通常、成人には、投与開始日にプラスグレルとして２０ｍｇを１日１回経口投与し、その後、維持用量として１日１回３．７５ｍｇを経口投与する。

〈虚血性脳血管障害（大血管アテローム硬化又は小血管の閉塞に伴う）後の再発抑制〉通常、成人には、プラスグレルとして３．７５ｍｇを１日１回経口投与する。

【保管】室温保存。

ベラプロストＮａ錠２０μｇ「オーハラ」(ﾌﾟﾛｻｲﾘﾝ) Beraprost Na OHARA 採用 (劇) <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ドルナー錠２０μｇ

商品名:ベラプロストＮａ錠２０μｇ「オーハラ」

規格:２０μｇ１錠 薬価:11.40 製造:大原薬品 剤型:錠 YJ:3399005F1226 院内コード:203851

成分:ベラプロストナトリウム,

【効】１）． 慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感の改善。

２）． 原発性肺高血圧症。

【用】〈慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感の改善〉通常、成人には、ベラプロストナトリウムとして１日１２０μｇを３回に分けて食後に経口投与する。

〈原発性肺高血圧症〉通常、成人には、ベラプロストナトリウムとして１日６０μｇを３回に分けて食後に経口投与することから開始し、症状（副作用）を十分観察しながら漸次増量する。増量する場合には、投与回数を１日３～４回とし、最高用量を１日１８０μｇとする。

【保管】室温保存。

ペグフィルグラスチムＢＳ皮下注3.6ｍｇ「ニプロ」(ｼﾞｰﾗｽﾀ) Pegfilgrastim BS NIPRO 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ジーラスタ皮下注３．６ｍｇ

商品名:ペグフィルグラスチムＢＳ皮下注３．６ｍｇ「ニプロ」

規格:３．６ｍｇ０．３６ｍＬ１筒 薬価:54924.00 製造:持田製薬販売 剤型:キット類YJ:339941６G1028 院内コード:301233

成分:ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）,

【効】がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制。

【用】通常、成人にはがん化学療法剤投与終了後の翌日以降、ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）［ペグフィルグラスチム後続１］として、３．６ｍｇを化学療法１サイクルあたり１回皮下投与する。

【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

リマプロスト　アルファデクス錠５μｇ「サワイ」 Limaprost alfadex SAWAI 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]オパルモン錠５μｇ

商品名:リマプロストアルファデクス錠５μｇ「サワイ」

規格:５μｇ１錠 薬価:8.90 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:3399003F1154 院内コード:200298

成分:リマプロスト　アルファデクス,

【効】１）． 閉塞性血栓血管炎に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの虚血性諸症状の改善。

２）． 後天性腰部脊柱管狭窄症（ＳＬＲ試験正常で、両側性の間欠跛行を呈する患者）に伴う自覚症状（下肢疼痛、下肢しびれ）および歩行能力の改善。

【用】〈閉塞性血栓血管炎に伴う潰瘍、疼痛および冷感などの虚血性諸症状の改善〉通常成人に、リマプロストとして１日３０μｇを３回に分けて経口投与する。

〈後天性の腰部脊柱管狭窄症（ＳＬＲ試験正常で、両側性の間欠跛行を呈する患者）に伴う自覚症状（下肢疼痛、下肢しびれ）および歩行能力の改善〉通常成人に、リマプロストとして１日１５μｇを３回に分けて経口投与する。

【保管】室温保存。

フィルグラスチムBS注150μgシリンジ「F」（グラン）　Filgrastim BS F　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]グラン注射液１５０

商品名:フィルグラスチムＢＳ注１５０μｇシリンジ「Ｆ」

規格:１５０μｇ０．６ｍＬ１筒　薬価:3165.00　製造:富士製薬　剤型:キット類YJ:3399408G2020　院内コード:301151

成分:フィルグラスチム（遺伝子組換え）,

【効】１）．　造血幹細胞の末梢血中への動員①．　同種及び自家末梢血幹細胞採取時のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］単独投与による造血幹細胞の末梢血中への動員。

②．　自家末梢血幹細胞採取時のがん化学療法剤投与終了後のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］投与による造血幹細胞の末梢血中への動員。

２）．　造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進。

３）．　がん化学療法による好中球減少症①．　急性白血病のがん化学療法による好中球減少症。

②．　悪性リンパ腫、小細胞肺癌、胚細胞腫瘍（睾丸胚細胞腫瘍、卵巣胚細胞腫瘍など）、神経芽細胞腫、小児がんのがん化学療法による好中球減少症。

③．　その他のがん腫のがん化学療法による好中球減少症。

４）．　ヒト免疫不全ウイルス感染症（ＨＩＶ感染症）の治療に支障を来す好中球減少症。

５）．　骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症。

６）．　再生不良性貧血に伴う好中球減少症。

７）．　先天性好中球減少症・特発性好中球減少症。

８）．　再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法。

【用】〈造血幹細胞の末梢血中への動員〉６．１．　同種及び自家末梢血幹細胞採取時のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］単独投与による動員通常、成人、小児ともに、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回又は２回に分割し、５日間連日又は末梢血幹細胞採取終了時まで連日皮下投与する。この場合、末梢血幹細胞採取はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］投与開始後４～６日目に施行する。

ただし、末梢血幹細胞採取終了前に白血球数が５００００／ｍｍ３以上に増加した場合は減量する。減量後、白血球数が７５０００／ｍｍ３に達した場合は投与を中止する。

なお、状態に応じて適宜減量する。

６．２．　自家末梢血幹細胞採取時のがん化学療法剤投与終了後のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］投与による動員通常、成人、小児ともに、がん化学療法剤投与終了翌日又はがん化学療法により好中球数が最低値を経過後、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回又は２回に分割し、末梢血幹細胞採取終了時まで連日皮下投与する。

ただし、末梢血幹細胞採取終了前に白血球数が５００００／ｍｍ３以上に増加した場合は減量する。減量後、白血球数が７５０００／ｍｍ３に達した場合は投与を中止する。

なお、状態に応じて適宜減量する。

〈造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進〉６．３．　通常、成人、小児ともに、造血幹細胞移植施行翌日ないし５日後からフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］３００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。

ただし、好中球数が５０００／ｍｍ３以上に増加した場合は、症状を観察しながら投与を中止する。

なお、本剤投与の中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

〈がん化学療法による好中球減少症〉６．４．　急性白血病通常、成人、小児ともに、がん化学療法剤投与終了後（翌日以降）で骨髄中の芽球が十分減少し末梢血液中に芽球が認められない時点から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］２００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。出血傾向等の問題がない場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。

ただし、好中球数が最低値を示す時期を経過後５０００／ｍｍ３に達した場合は投与を中止する。

なお、本剤投与の開始時期及び中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

６．５．　悪性リンパ腫、小細胞肺癌、胚細胞腫瘍（睾丸腫瘍、卵巣腫瘍など）、神経芽細胞腫、小児がん通常、成人、小児ともに、がん化学療法剤投与終了後（翌日以降）から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。出血傾向等により皮下投与が困難な場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。

ただし、好中球数が最低値を示す時期を経過後５０００／ｍｍ３に達した場合は投与を中止する。

なお、本剤投与の開始時期及び中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

６．６．　その他のがん腫通常、成人、小児ともに、がん化学療法により好中球数１０００／ｍｍ３未満で発熱（原則として３８℃以上）あるいは好中球数５００／ｍｍ３未満が観察された時点から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。出血傾向等により皮下投与が困難な場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。

また、がん化学療法により好中球数１０００／ｍｍ３未満で発熱（原則として３８℃以上）あるいは好中球数５００／ｍｍ３未満が観察され、引き続き同一のがん化学療法を施行する症例に対しては、次回以降のがん化学療法施行時には好中球数１０００／ｍｍ３未満が観察された時点から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。出血傾向等により皮下投与が困難な場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。

ただし、好中球数が最低値を示す時期を経過後５０００／ｍｍ３に達した場合は投与を中止する。

なお、本剤投与の開始時期及び中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

〈ヒト免疫不全ウイルス（ＨＩＶ）感染症の治療に支障を来す好中球減少症〉６．７．　通常、成人には好中球数が１０００／ｍｍ３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］２００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。小児には好中球数が１０００／ｍｍ３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］２００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。

ただし、投与期間は２週間を目安とするが、好中球数が３０００／ｍｍ３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。

なお、年齢・症状により適宜増減する。

〈骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症〉６．８．　通常、成人には好中球数が１０００／ｍｍ３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）

［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈再生不良性貧血に伴う好中球減少症〉６．９．　通常、成人には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。小児には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈先天性・特発性好中球減少症〉６．１０．　通常、成人には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。小児には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法〉６．１１．　通常、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１日１回３００μｇ／㎡を、フルダラビン、シタラビン等の抗悪性腫瘍剤併用化学療法の開始前日から併用化学療法終了日まで（通常５～６日間）連日皮下又は静脈内投与（点滴静注を含む）する。
なお、状態に応じて適宜減量する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下に保存。

フィルグラスチムBS注75μgシリンジ「F」（グラン）　Filgrastim BS F　採用　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]グラン注射液７５

商品名:フィルグラスチムＢＳ注７５μｇシリンジ「Ｆ」
規格:７５μｇ０．３ｍＬ１筒　薬価:1942.00　製造:富士製薬　剤型:キット類YJ:3399408G1023　院内コード:301150
成分:フィルグラスチム（遺伝子組換え）,
【効】１）．　造血幹細胞の末梢血中への動員①．　同種及び自家末梢血幹細胞採取時のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］単独投与による造血幹細胞の末梢血中への動員。
②．　自家末梢血幹細胞採取時のがん化学療法剤投与終了後のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］投与による造血幹細胞の末梢血中への動員。
２）．　造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進。
３）．　がん化学療法による好中球減少症①．　急性白血病のがん化学療法による好中球減少症。
②．　悪性リンパ腫、小細胞肺癌、胚細胞腫瘍（睾丸胚細胞腫瘍、卵巣胚細胞腫瘍など）
、神経芽細胞腫、小児がんのがん化学療法による好中球減少症。
③．　その他のがん腫のがん化学療法による好中球減少症。
４）．　ヒト免疫不全ウイルス感染症（ＨＩＶ感染症）の治療に支障を来す好中球減少症。
５）．　骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症。
６）．　再生不良性貧血に伴う好中球減少症。
７）．　先天性好中球減少症・特発性好中球減少症。
８）．　再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法。
【用】〈造血幹細胞の末梢血中への動員〉６．１．　同種及び自家末梢血幹細胞採取時のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］単独投与による動員通常、成人、小児ともに、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回又は２回に分割し、５日間連日又は末梢血幹細胞採取終了時まで連日皮下投与する。この場合、末梢血幹細胞採取はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］投与開始後４～６日目に施行する。
ただし、末梢血幹細胞採取終了前に白血球数が５００００／mm３以上に増加した場合は減量する。減量後、白血球数が７５０００／mm３に達した場合は投与を中止する。
なお、状態に応じて適宜減量する。
６．２．　自家末梢血幹細胞採取時のがん化学療法剤投与終了後のフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］投与による動員通常、成人、小児ともに、がん化学療法剤投与終了翌日又はがん化学療法により好中球数が最低値を経過後、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回又は２回に分割し、末梢血幹細胞採取終了時まで連日皮下投与する。
ただし、末梢血幹細胞採取終了前に白血球数が５００００／mm３以上に増加した場合は減量する。減量後、白血球数が７５０００／mm３に達した場合は投与を中止する。
なお、状態に応じて適宜減量する。
〈造血幹細胞移植時の好中球数の増加促進〉６．３．　通常、成人、小児ともに、造血幹細胞移植施行翌日ないし５日後からフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］３００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら投与を中止する。
なお、本剤投与の中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈がん化学療法による好中球減少症〉６．４．　急性白血病通常、成人、小児ともに、がん化学療法剤投与終了後（翌日以降）で骨髄中の芽球が十分減少し末梢血液中に芽球が認められない時点から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］２００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。出血傾向等の問題がない場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。
ただし、好中球数が最低値を示す時期を経過後５０００／mm３に達した場合は投与を中止する。
なお、本剤投与の開始時期及び中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
６．５．　悪性リンパ腫、小細胞肺癌、胚細胞腫瘍（睾丸腫瘍、卵巣腫瘍など）、神経芽細胞腫、小児がん通常、成人、小児ともに、がん化学療法剤投与終了後（翌日以降）から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。出血傾向等により皮下投与が困難な場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。
ただし、好中球数が最低値を示す時期を経過後５０００／mm３に達した場合は投与を中止する。
なお、本剤投与の開始時期及び中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。

６．６．　その他のがん腫通常、成人、小児ともに、がん化学療法により好中球数１０００／mm３未満で発熱（原則として３８℃以上）あるいは好中球数５００／mm３未満が観察された時点から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。出血傾向等により皮下投与が困難な場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。
また、がん化学療法により好中球数１０００／mm３未満で発熱（原則として３８℃以上）あるいは好中球数５００／mm３未満が観察され、引き続き同一のがん化学療法を施行する症例に対しては、次回以降のがん化学療法施行時には好中球数１０００／mm３未満が観察された時点から、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。出血傾向等により皮下投与が困難な場合はフィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回静脈内投与（点滴静注を含む）する。
ただし、好中球数が最低値を示す時期を経過後５０００／mm３に達した場合は投与を中止する。
なお、本剤投与の開始時期及び中止時期の指標である好中球数が緊急時等で確認できない場合には、白血球数の半数を好中球数として推定する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈ヒト免疫不全ウイルス（ＨＩＶ）感染症の治療に支障を来す好中球減少症〉６．７．　通常、成人には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］２００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。小児には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］２００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。
ただし、投与期間は２週間を目安とするが、好中球数が３０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈骨髄異形成症候群に伴う好中球減少症〉６．８．　通常、成人には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈再生不良性貧血に伴う好中球減少症〉６．９．　通常、成人には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。小児には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］４００μｇ／㎡を１日１回点滴静注する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈先天性・特発性好中球減少症〉６．１０．　通常、成人には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。小児には好中球数が１０００／mm３未満のとき、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］５０μｇ／㎡を１日１回皮下投与する。
ただし、好中球数が５０００／mm３以上に増加した場合は、症状を観察しながら減量、あるいは投与を中止する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
〈再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法〉６．１１．　通常、フィルグラスチム（遺伝子組換え）［後続１］１日１回３００μｇ／㎡を、フルダラビン、シタラビン等の抗悪性腫瘍剤併用化学療法の開始前日から併用化学療法終了日まで（通常５～６日間）連日皮下又は静脈内投与（点滴静注を含む）する。
なお、状態に応じて適宜減量する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下に保存。

34: 人工透析用剤

341: 人工腎臓透析用剤

3410: 人工腎臓透析用剤

キンダリー透析剤ＡＦ４号　【６Ｌ１瓶】　Kindaly AF-4　採用

商品名:キンダリー透析剤ＡＦ４号
規格:６Ｌ１瓶（炭酸水素ナトリウム液付）　薬価:2577.00　製造:扶桑薬品　剤型:注射液　YJ:3410540A1026　院内コード:300838
成分:ブドウ糖,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,炭酸水素ナトリウム,無水酢酸ナトリウム,
【効】慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として用いる（無糖の透析液では血糖値管理の困難な患者及び他の重炭酸型透析液では高カリウム血症、高マグネシウム血症の改善が不十分な場合、又は高カルシウム血症を起こすおそれのある場合に用いる）。
【用】通常、Ａ液：Ｂ液：透析用希釈用水＝１：１．２６：３２．７４の希釈・調製比率の重炭酸型透析液供給装置を用いて血液透析を行う場合の灌流液として使用する。
用量は透析時間により異なるが、通常、灌流液として１５０～３００Ｌを用いる。
【保管】室温保存。

サブパック血液ろ過用補充液－Ｂｉ　Subpack-Bi　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]サブラッド血液ろ過用補充液ＢＳＧ

商品名:サブパック血液ろ過用補充液－Ｂｉ
規格:２，０２０ｍＬ１キット　薬価:1286.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:3410534G2038　院内コード:300649
成分:ブドウ糖,塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,炭酸水素ナトリウム,無水酢酸ナトリウム,
【効】透析型人工腎臓では治療の持続又は管理の困難な慢性腎不全例に対するろ過型又はろ過透析型人工腎臓使用時ならびに治療時間の短縮を目的とするろ過透析型人工腎臓使用時の補充液として用いる。
【用】用時、隔壁部を開通し、Ａ液及びＢ液をよく混合し、ろ過型又はろ過透析型人工腎臓使用時の体液量を保持する目的で点滴注入する。
投与はろ過液量と体液量とのバランスを保つように十分注意して行う。
通常成人１分間あたり３０～８０ｍＬの投与速度で症状、血液生化学異常、電解質・酸塩基平衡異常、体液バランス異常等が是正されるまで行う。通常１回のろ過型人工腎臓治療では１５～２０Ｌを４～７時間で投与する。また、透析型人工腎臓と併用する場合には、５～１０Ｌを３～５時間で投与する。
なお、投与量は症状、血液生化学値、体液異常、年齢、体重などにより適宜増減する。
【保管】室温保存。

39: その他の代謝性医薬品

391: 肝臓疾患用剤

3919: その他の肝臓疾患用剤

グリチロン配合錠 Glycyron 採用

商品名:グリチロン配合錠

規格:１錠 薬価:6.30 製造:ミノファーゲン製薬 剤型:錠 YJ:3919100F1150 院内コード:200101

成分:ＤＬ－メチオニン,グリシン,グリチルリチン酸一アンモニウム,

【効】１）． 湿疹・皮膚炎、小児ストロフルス、円形脱毛症、口内炎。

２）． 慢性肝疾患における肝機能異常の改善。

【用】通常、成人には１回２～３錠、小児には１錠を１日３回食後経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

強力ネオミノファーゲンシーＰ静注２０ｍＬ Stronger neo-minophagen C P 採用

商品名:強力ネオミノファーゲンシーＰ静注２０ｍＬ

規格:２０ｍＬ１管 薬価:122.00 製造:ミノファーゲン製薬 剤型:注射液 YJ:3919502A1384 院内コード:300141

成分:Ｌ－システイン塩酸塩水和物,グリシン,グリチルリチン酸一アンモニウム,

【効】１）． 小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚そう痒症、口内炎、フリクテン、薬疹・中毒疹。

２）． 慢性肝疾患における肝機能異常の改善。

【用】〈小児ストロフルス、湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、皮膚そう痒症、口内炎、フリクテン、薬疹・中毒疹の治療〉通常、成人には１日１回５～２０ｍＬを静脈内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈慢性肝疾患における肝機能異常の改善〉慢性肝疾患に対しては１日１回４０～６０ｍＬを静脈内に注射または点滴静注する。年齢、症状により適宜増減する。なお、増量する場合は１日１００ｍＬを限度とする。

【保管】室温保存。

392: 解毒剤

3922: グルタチオン製剤

タチオン注射用２００ｍｇ Tathion 採用

商品名:タチオン注射用２００ｍｇ

規格:２００ｍｇ１管 薬価:129.00 製造:長生堂製薬 剤型:注射用 YJ:3922400D3128 院内コード:300142

成分:グルタチオン,

【効】１）． 薬物中毒、アセトン血性嘔吐症（自家中毒、周期性嘔吐症）。

２）． 慢性肝疾患における肝機能の改善。

３）． 急性湿疹、慢性湿疹、皮膚炎、じんま疹、リール黒皮症、肝斑、炎症後の色素沈着。

４）． 妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群。

５）． 角膜損傷の治癒促進。

６）． 放射線療法による白血球減少症、放射線宿酔、放射線による口腔粘膜の炎症。

【用】通常成人には、グルタチオンとして１回１００～２００ｍｇを溶解液にて溶解し１日１回筋肉内又は静脈内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

3923: メルカプト酢酸系製剤（ＢＡＬを含む）

バル筋注１００ｍｇ「ＡＦＰ」【１０％1ｍＬ１管】 Bal AFP 採用

商品名:バル筋注１００ｍｇ「ＡＦＰ」

規格:１０％1ｍＬ１管 薬価:2941.00 製造:アルフレッサ ファーマ 剤型:注射液 YJ:3923400A1045 院内コード:300329

成分:ジメルカプロール,

【効】ヒ素中毒・水銀中毒・鉛中毒・銅中毒・金中毒・ビスマス中毒・クロム中毒・アンチモン中毒。

【用】ジメルカプロールとして通常成人１回２．５ｍｇ／ｋｇを第１日目は６時間間隔で４回筋肉内注射し、第２日目以降６日間は毎日１回２．５ｍｇ／ｋｇを筋肉内注射する。

重症緊急を要する中毒症状の場合は、１回２．５ｍｇ／ｋｇを最初の２日間は４時間ごとに１日６回、３日目には１日４回、以降１０日間あるいは回復するまで毎日２回筋肉内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】冷所保存。

3929: その他の解毒剤

クレメジン速崩錠５００ｍｇ(4錠/包) Kremezin 採用 <先発品（後発品なし）>

商品名:クレメジン速崩錠５００ｍｇ

規格:５００ｍｇ１錠 薬価:22.00 製造:クレハ 剤型:錠 YJ:3929003F1020 院内コード:203110

成分:球形吸着炭,

【効】慢性腎不全＜進行性＞における尿毒症症状の改善及び慢性腎不全＜進行性＞における透析導入の遅延。

【用】通常、成人にクレメジン原体として１日６ｇを３回に分割し、経口投与する。

【保管】室温保存。

パム静注５００ｍｇ Pam 採用

商品名:パム静注５００ｍｇ

規格:２．５％２０ｍＬ１管 薬価:1869.00 製造:住友ファーマ 剤型:注射液 YJ:3929401A1035 院内コード:300330

成分:プラリドキシムヨウ化物,

【効】有機リン剤の中毒。
【用】プラリドキシムヨウ化物として通常成人１回１ｇを静脈内に徐々に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ホリナート錠２５ｍｇ「タイホウ」(ﾕｰｾﾞﾙ)　Folinate TAIHO　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ユーゼル錠２５ｍｇ

商品名:ホリナート錠２５ｍｇ「タイホウ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:350.80　製造:岡山大鵬薬品　剤型:錠　YJ:3929004F2048　院内コード:202935
成分:ホリナートカルシウム,
【効】〈ホリナート・テガフール・ウラシル療法〉結腸癌・直腸癌に対するテガフール・ウラシルの抗腫瘍効果の増強。
【用】〈ホリナート・テガフール・ウラシル療法〉通常、成人にはホリナートとして７５ｍｇを、１日３回に分けて（約８時間ごとに）、テガフール・ウラシル配合剤と同時に経口投与する。
テガフール・ウラシル配合剤の投与量は、通常、１日量として、テガフール３００～６００ｍｇ相当量（３００ｍｇ／㎡を基準）を１日３回に分けて（約８時間ごとに）、食事の前後１時間を避けて経口投与する。
以上を２８日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
【保管】室温保存。

メイロン静注8.4% ２０ｍＬ　Meylon　採用

商品名:メイロン静注８．４％
規格:８．４％２０ｍＬ１管　薬価:138.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3929400A7063　院内コード:300143
成分:炭酸水素ナトリウム,
【効】１）．　薬物中毒＜ｐＨの上昇により尿中排泄の促進される薬物に限る＞の際の排泄促進。
２）．　アシドーシス。
３）．　次記疾患又は状態に伴う悪心・嘔吐及びめまい：動揺病、メニエール症候群、その他の内耳障害。
４）．　急性蕁麻疹。
【用】〈薬物中毒の際の排泄促進、動揺病等に伴う悪心・嘔吐及びめまい、急性蕁麻疹〉炭酸水素ナトリウムとして通常成人１回１２～６０ｍＥｑ（１～５ｇ）を静脈内注射する。
〈アシドーシス〉一般に通常用量を次式により算出し、静脈内注射する。
必要量（ｍＥｑ）＝不足塩基量（ｍＥｑ／Ｌ）×０．２×体重（ｋｇ）。
なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

メイロン静注8.4% ２５０ｍＬ　Meylon　採用

商品名:メイロン静注８．４％
規格:８．４％２５０ｍＬ１袋　薬価:346.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:3929400H3031　院内コード:300144
成分:炭酸水素ナトリウム,
【効】１）．　薬物中毒＜ｐＨの上昇により尿中排泄の促進される薬物に限る＞の際の排泄促進。
２）．　アシドーシス。
３）．　次記疾患又は状態に伴う悪心・嘔吐及びめまい：動揺病、メニエール症候群、その他の内耳障害。
４）．　急性蕁麻疹。
【用】〈薬物中毒の際の排泄促進、動揺病等に伴う悪心・嘔吐及びめまい、急性蕁麻疹〉炭酸水素ナトリウムとして通常成人１回１２～６０ｍＥｑ（１～５ｇ）を静脈内注射する。
〈アシドーシス〉一般に通常用量を次式により算出し、静脈内注射する。
必要量（ｍＥｑ）＝不足塩基量（ｍＥｑ／Ｌ）×０．２×体重（ｋｇ）。
なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

酢酸亜鉛錠２５ｍｇ「サワイ」(ﾊﾞﾙｼﾞﾝ)　Zinc acetate SAWAI　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ノベルジン錠２５ｍｇ

商品名:酢酸亜鉛錠２５ｍｇ「サワイ」
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:81.50　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3929007F1037　院内コード:203615
成分:酢酸亜鉛水和物,
【効】１）．　ウィルソン病（肝レンズ核変性症）。
２）．　低亜鉛血症。
【用】〈ウィルソン病（肝レンズ核変性症）〉成人には、亜鉛として、通常１回５０ｍｇを１日３回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大投与量は１日２５０ｍｇ（１回５０ｍｇを１日５回投与）とする。
６歳以上の小児には、亜鉛として、通常１回２５ｍｇを１日３回経口投与する。
１歳以上６歳未満の小児には、亜鉛として、通常１回２５ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、いずれの場合も、食前１時間以上又は食後２時間以上あけて投与すること。
〈低亜鉛血症〉通常、成人及び体重３０ｋｇ以上の小児では、亜鉛として、１回２５～５０ｍｇを開始用量とし１日２回経口投与する。
通常、体重３０ｋｇ未満の小児では、亜鉛として、１回０．５～０．７５ｍｇ／ｋｇを開始用量とし１日２回経口投与するが、患者の状態により１回２５ｍｇの１日１回経口投与から開始することもできる。
なお、血清亜鉛濃度や患者の状態により適宜増減するが、最大投与量は次のとおりとする。
１）．　成人及び体重３０ｋｇ以上の小児：最大投与量（１日あたり）１５０ｍｇ（１回５０ｍｇを１日３回）。
２）．　体重１０ｋｇ以上３０ｋｇ未満の小児：最大投与量（１日あたり）７５ｍｇ（１回２５ｍｇを１日３回）。
３）．　体重１０ｋｇ未満の小児：最大投与量（１日あたり）２５ｍｇ（１回１２．５ｍｇを１日２回、又は１回２５ｍｇを１日１回）。
いずれの場合も、食後に投与すること。
【保管】室温保存。

ｽｶﾞﾏﾃﾞｸｽ静注液200mg「ﾏﾙｲｼ」(ﾌﾞﾘﾃﾞｨｵﾝ)　Sugammadex Maruishi　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ブリディオン静注200mg

商品名:スガマデクス静注液２００ｍｇ「マルイシ」
規格:２００ｍｇ２ｍＬ１瓶　薬価:2661.00　製造:丸石製薬　剤型:注射液　YJ:3929409A1082　院内コード:301265
成分:スガマデクスナトリウム,
【効】ロクロニウム臭化物による筋弛緩状態又はベクロニウム臭化物による筋弛緩状態からの回復。
【用】通常、成人にはスガマデクスとして、浅い筋弛緩状態（筋弛緩モニターにおいて四連（ＴＯＦ）刺激による２回目の収縮反応（Ｔ２）の再出現を確認した後）では１回２ｍｇ／ｋｇを、深い筋弛緩状態（筋弛緩モニターにおいてポスト・テタニック・カウント（ＰＴＣ）刺激による１～２回の単収縮反応（１－２ＰＴＣ）の出現を確認した後）では１回４ｍｇ／ｋｇを静脈内投与する。また、ロクロニウム臭化物の挿管用量投与直後に緊急に筋弛緩状態からの回復を必要とする場合、通常、成人にはスガマデクスとして、ロクロニウム臭化物投与３分後を目安に１回１６ｍｇ／ｋｇを静脈内投与する。
【保管】室温保存。

レボホリナート点滴静注用100mg「NP」(アイソボリン)　Levofolinate　採用
<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]アイソボリン点滴静注用１００ｍｇ

商品名:レボホリナート点滴静注用１００ｍｇ「ＮＰ」
規格:１００ｍｇ１瓶　薬価:1408.00　製造:ニプロ　剤型:注射用　YJ:3929407D2086　院内コード:300800
成分:レボホリナートカルシウム,
【効】１）．　レボホリナート・フルオロウラシル療法：胃癌＜手術不能又は再発＞及び結腸癌・直腸癌に対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強。
２）．　レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法：結腸癌・直腸癌、小腸癌、治癒切除不能な膵癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強。
【用】〈レボホリナート・フルオロウラシル療法〉通常、成人にはレボホリナートとして１回２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射開始１時間後にフルオロウラシルとして１回６００ｍｇ／㎡（体表面積）を３分以内で緩徐に静脈内注射する。１週間ごとに６回繰り返した後、２週間休薬する。これを１クールとする。
〈結腸・直腸癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法〉・　通常、成人にはレボホリナートとして１回１００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２２時間かけて持続静脈内注射する。これを２日間連続して行い、２週間ごとに繰り返す。
・　通常、成人にはレボホリナートとして１回２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして２６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２４時間かけて持続静脈内注射する。１週間ごとに６回繰り返した後、２週間休薬する。これを１クールとする。
・　通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして２４００～３０００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間かけて持続静脈内注射する。これを２週間ごとに繰り返す。
〈小腸癌、治癒切除不能な膵癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法〉通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして２４００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間かけて持続静脈内注射する。これを２週間ごとに繰り返す。
【保管】室温保存。

レボホリナート点滴静注用25mg「NP」(アイソボリン)　Levofolinate　採用
<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]アイソボリン点滴静注用２５ｍｇ

商品名:レボホリナート点滴静注用２５ｍｇ「ＮＰ」
規格:２５ｍｇ１瓶　薬価:403.00　製造:ニプロ　剤型:注射用　YJ:3929407D1071　院内コード:300797
成分:レボホリナートカルシウム,
【効】１）．　レボホリナート・フルオロウラシル療法：胃癌＜手術不能又は再発＞及び結腸癌・直腸癌に対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強。
２）．　レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法：結腸癌・直腸癌、小腸癌、治癒切除不能な膵癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対するフルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強。
【用】〈レボホリナート・フルオロウラシル療法〉通常、成人にはレボホリナートとして１回２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射開始１時間後にフルオロウラシルとして１回６００ｍｇ／㎡（体表面積）を３分以内で緩徐に静脈内注射する。１週間ごとに６回繰り返した後、２週間休薬する。これを１クールとする。
〈結腸・直腸癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法〉・　通常、成人にはレボホリナートとして１回１００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２２時間かけて持続静脈内注射する。これを２日間連続して行い、２週間ごとに繰り返す。
・　通常、成人にはレボホリナートとして１回２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして２６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２４時間かけて持続静脈内注射する。１週間ごとに６回繰り返した後、２週間休薬する。これを１クールとする。
・　通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして２４００～３０００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間かけて持続静脈内注射する。これを２週間ごとに繰り返す。
〈小腸癌、治癒切除不能な膵癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法〉通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射するとともに、フルオロウラシルとして２４００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間かけて持続静脈内注射する。これを２週間ごとに繰り返す。
【保管】室温保存。

394: 痛風治療剤

3941: コルヒチン製剤

39: その他の代謝性医薬品

コルヒチン錠０．５ｍｇ「タカタ」　Colchicine　採用　(劇)

商品名:コルヒチン錠０．５ｍｇ「タカタ」
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:11.00　製造:高田製薬　剤型:錠　YJ:3941001F1077　院内コード:200111
成分:コルヒチン,
【効】１）．　痛風発作の緩解及び予防。
２）．　家族性地中海熱。
【用】〈痛風発作の緩解〉通常、成人にはコルヒチンとして１回０．５～１．０ｍｇを１日１回又は２回経口投与する。
ただし、１日の総投与量は１．５ｍｇを超えないこと。
〈痛風発作の予防〉通常、成人にはコルヒチンとして１日０．５～1ｍｇ、発作予感時には１回０．５ｍｇを経口投与する。
〈家族性地中海熱〉通常、成人にはコルヒチンとして１日０．５ｍｇを１回又は２回に分けて経口投与する。
なお、患者の状態により適宜増減するが、１日最大投与量は１．５ｍｇまでとする。
通常、小児にはコルヒチンとして１日０．０１～０．０２ｍｇ／ｋｇを１回又は２回に分けて経口投与する。
なお、患者の状態により適宜増減するが、１日最大投与量は０．０３ｍｇ／ｋｇまでとし、かつ成人の１日最大投与量を超えないこととする。
【保管】室温保存。

3943: アロプリノール製剤

アロプリノール錠１００ｍｇ「ニプロ」(ｱﾛｼﾄｰﾙ)　Allopurinol　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ザイロリック錠１００

商品名:アロプリノール錠１００ｍｇ「ニプロ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:3943001F1721　院内コード:203662
成分:アロプリノール,
【効】次記の場合における高尿酸血症の是正：痛風、高尿酸血症を伴う高血圧症。
【用】通常、成人は１日量アロプリノールとして２００～３００ｍｇを２～３回に分けて食後に経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3949: その他の痛風治療剤

クエンメット配合錠（ｳﾗﾘｯﾄ）　Quenmet　採用
<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]ウラリット配合錠

商品名:クエンメット配合錠
規格:１錠　薬価:6.30　製造:日本薬品　剤型:錠　YJ:3949101F1120　院内コード:203006
成分:クエン酸カリウム,クエン酸ナトリウム水和物,
【効】１）．　痛風並びに高尿酸血症における酸性尿の改善。
２）．　アシドーシスの改善。
【用】１）．　痛風並びに高尿酸血症における酸性尿の改善：通常成人１回２錠を１日３回経口投与するが、尿検査でｐＨ６．２から６．８の範囲に入るよう投与量を調整する。
２）．　アシドーシスの改善：原則として成人１日量１２錠を３～４回に分けて経口投与するが、年齢、体重、血液ガス分析結果などから患者の状況に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

フェブキソスタット錠10mg「DSEP」(ﾌｪﾌﾞﾘｸ)　Febuxostat DSEP　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]フェブリク錠１０ｍｇ

商品名:フェブキソスタット錠１０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:3949003F1040　院内コード:203477
成分:フェブキソスタット,
【効】１）．　痛風、高尿酸血症。
２）．　がん化学療法に伴う高尿酸血症。
【用】〈痛風、高尿酸血症〉通常、成人にはフェブキソスタットとして１日１０ｍｇより開始し、１日１回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常１日１回４０ｍｇで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は１日１回６０ｍｇとする。
〈がん化学療法に伴う高尿酸血症〉通常、成人にはフェブキソスタットとして６０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

フェブキソスタット錠20mg「DSEP」(ﾌｪﾌﾞﾘｸ)　Febuxostat DSEP　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]フェブリク錠２０ｍｇ

商品名:フェブキソスタット錠２０ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:3949003F2046　院内コード:203478
成分:フェブキソスタット,
【効】１）．　痛風、高尿酸血症。
２）．　がん化学療法に伴う高尿酸血症。
【用】〈痛風、高尿酸血症〉通常、成人にはフェブキソスタットとして１日１０ｍｇより開始し、１日１回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常１日１回４０ｍｇで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は１日１回６０ｍｇとする。
〈がん化学療法に伴う高尿酸血症〉通常、成人にはフェブキソスタットとして６０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

ベンズブロマロン錠５０ｍｇ「ＮＩＧ」(ﾕﾘﾉｰﾑ)　Benzbromarone　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ユリノーム錠５０ｍｇ

商品名:ベンズブロマロン錠５０ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:日医工岐阜工場　剤型:錠　YJ:3949002F2246　院内コード:203563
成分:ベンズブロマロン,

【効】次記の場合における高尿酸血症の改善：痛風、高尿酸血症を伴う高血圧症。
【用】痛風通常成人１日１回１／２錠または１錠（ベンズブロマロンとして２５ｍｇまたは５０ｍｇ）を経口投与し、その後維持量として１回１錠を１日１～３回（ベンズブロマロンとして５０～１５０ｍｇ）経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
高尿酸血症を伴う高血圧症通常成人１回１錠を１日１～３回（ベンズブロマロンとして５０～１５０ｍｇ）経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ユリス錠１ｍｇ Urece 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ユリス錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠 薬価:41.70 製造:持田製薬 剤型:錠 YJ:3949005F2029 院内コード:203374
成分:ドチヌラド,
【効】痛風、高尿酸血症。
【用】通常、成人にはドチヌラドとして１日０．５ｍｇより開始し、１日１回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常１日１回２ｍｇで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は１日１回４ｍｇとする。
【保管】室温保存。

395: 酵素製剤

3954: ウロキナーゼ製剤

ウロナーゼ静注用６万単位 Uronase 採用 (生) <先発品（後発品なし）>
商品名:ウロナーゼ静注用６万単位
規格:６０，０００単位１瓶 薬価:9400.00 製造:持田製薬 剤型:注射用 YJ:3954400D4080 院内コード:300775
成分:ウロキナーゼ,
【効】次の血栓・閉塞性疾患の治療１）． 脳血栓症（発症後５日以内で、コンピューター断層撮影において出血の認められないもの）。
２）． 末梢動脈閉塞症・末梢静脈閉塞症（発症後１０日以内）。
【用】本剤を１０ｍＬの日本薬局方 生理食塩液に用時溶解し、静脈内に注射する。
なお、日本薬局方 生理食塩液又は日本薬局方 ブドウ糖注射液に混じて点滴注射することが望ましい。
血栓・閉塞性疾患〈脳血栓症〉１日１回６００００単位を約７日間投与する。
〈末梢動・静脈閉塞症〉初期１日量６００００～２４００００単位、以後は漸減し約７日間投与する。
【保管】室温保存。

3959: その他の酵素製剤

クリアクター静注用８０万 Cleactor 採用 (生) <先発品（後発品なし）>
商品名:クリアクター静注用８０万
規格:８０万国際単位１瓶 薬価:58147.00 製造:エーザイ 剤型:注射用 YJ:3959407D2034 院内コード:300505
成分:モンテプラーゼ（遺伝子組換え）,
【効】１）． 急性心筋梗塞における冠動脈血栓の溶解（発症後６時間以内）。
２）． 不安定な血行動態を伴う急性肺塞栓症における肺動脈血栓の溶解。
【用】〈急性心筋梗塞における冠動脈血栓の溶解（発症後６時間以内）〉通常、成人には体重ｋｇあたりモンテプラーゼ（遺伝子組換え）として２７５００ＩＵを静脈内投与する。
〈不安定な血行動態を伴う急性肺塞栓症における肺動脈血栓の溶解〉通常、成人には体重ｋｇあたりモンテプラーゼ（遺伝子組換え）として１３７５０～２７５００ＩＵを静脈内投与する。なお、１回最大投与量は２７５００ＩＵ／ｋｇまでとすること。
投与に際しては、１ｍＬあたり８００００ＩＵとなるように日本薬局方生理食塩液で溶解し、１分間あたり約１０ｍＬ（８０００００ＩＵ）の注入速度で投与する。なお、本剤の投与は発症後できるだけ早期に行う。
【保管】室温保存。

グルトパ注６００万 Grtpa 採用 (生) <先発品（後発品なし）>
商品名:グルトパ注６００万
規格:６００万国際単位１瓶（溶解液付） 薬価:31900.00 製造:田辺ファーマ 剤型:注射用 YJ:3959402D1035 院内コード:300506
成分:アルテプラーゼ（遺伝子組換え）,
【効】１）． 虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善（発症後４．５時間以内）。
２）． 急性心筋梗塞における冠動脈血栓の溶解（発症後６時間以内）。
【用】〈虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害の改善（発症後４．５時間以内）〉通常、成人には体重ｋｇ当たりアルテプラーゼ（遺伝子組換え）として３４．８万国際単位（０．６ｍｇ／ｋｇ）を静脈内投与する。ただし、投与量の上限は３４８０万国際単位（６０ｍｇ）までとする。投与は総量の１０％は急速投与（１～２分間）し、その後残りを１時間で投与する。
なお、本薬の投与は発症後できるだけ早期に行う。
［投与に際しては、添付の溶解液に溶解し、必要に応じて日局生理食塩液にて希釈する］。
〈急性心筋梗塞における冠動脈血栓の溶解（発症後６時間以内）〉通常、成人には体重ｋｇ当たりアルテプラーゼ（遺伝子組換え）として２９万～４３．５万国際単位（０．５ｍｇ／ｋｇ～０．７５ｍｇ／ｋｇ）を静脈内投与する。総量の１０％は急速投与（１～２分間）し、その後残りを１時間で投与する。
なお、本薬の投与は発症後できるだけ早期に行う。
［投与に際しては、添付の溶解液に溶解し、必要に応じて日局生理食塩液にて希釈する］。
【保管】室温保存。

396: 糖尿病用剤

3961: スルフォニル尿素系製剤

★糖★グリメピリド錠１ｍｇ「三和」 Glimepiride SANWA 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用]★糖★アマリール１ｍｇ錠

39: その他の代謝性医薬品

商品名:グリメピリド錠１ｍｇ「三和」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:三和化学研究所　剤型:錠　YJ:3961008F1225　院内コード:202745
成分:グリメピリド,
【効】２型糖尿病（ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る）。
【用】通常、グリメピリドとして１日０．５～１ｍｇより開始し、１日１～２回朝または朝夕、食前または食後に経口投与する。
維持量は通常１日１～４ｍｇで、必要に応じて適宜増減する。なお、１日最高投与量は６ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

グリミクロン錠４０ｍｇ　Glimicron　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:グリミクロン錠４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１錠　薬価:7.80　製造:住友ファーマ　剤型:錠　YJ:3961007F1115　院内コード:200102
成分:グリクラジド,
【効】インスリン非依存型糖尿病（成人型糖尿病）（ただし、食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合に限る）。
【用】グリクラジドとして、通常成人では１日４０ｍｇより開始し、１日１～２回（朝又は朝夕）食前又は食後に経口投与する。維持量は通常１日４０～１２０ｍｇであるが、１６０ｍｇを超えないものとする。
【保管】室温保存。

3962: ビグアナイド系製剤

ﾒﾄﾎﾙﾐﾝ塩酸塩錠250mgMT「TE」(ﾒﾄｸﾞﾙｺ)　Metformin hydrochloride MT TE　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]グリコラン錠２５０ｍｇ
商品名:メトホルミン塩酸塩錠２５０ｍｇＭＴ「ＴＥ」
規格:２５０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:トーアエイヨー　剤型:錠　YJ:3962002F2060　院内コード:202645
成分:メトホルミン塩酸塩,
【効】１）．　２型糖尿病（１）．　食事療法・運動療法のみで十分な効果が得られない場合の２型糖尿病。
（２）．　食事療法・運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用し十分な効果が得られない場合の２型糖尿病。
２）．　多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発（ただし、肥満、耐糖能異常、又はインスリン抵抗性のいずれかを呈する患者に限る）、多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激（ただし、肥満、耐糖能異常、又はインスリン抵抗性のいずれかを呈する患者に限る）。
【用】〈２型糖尿病〉通常、成人にはメトホルミン塩酸塩として１日５００ｍｇより開始し、１日２～３回に分割して食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決めるが、通常１日７５０～１５００ｍｇとする。なお、患者の状態により適宜増減するが、１日最高投与量は２２５０ｍｇまでとする。
通常、１０歳以上の小児にはメトホルミン塩酸塩として１日５００ｍｇより開始し、１日２～３回に分割して食直前又は食後に経口投与する。維持量は効果を観察しながら決めるが、通常１日５００～１５００ｍｇとする。なお、患者の状態により適宜増減するが、１日最高投与量は２０００ｍｇまでとする。
〈多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発〉他の排卵誘発薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として５００ｍｇの１日１回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、１日投与量として１５００ｍｇを超えない範囲で、１日２～３回に分割して経口投与する。なお、本剤は排卵までに中止する。
〈多嚢胞性卵巣症候群の生殖補助医療における調節卵巣刺激〉他の卵巣刺激薬との併用で、通常、メトホルミン塩酸塩として５００ｍｇの１日１回経口投与より開始する。患者の忍容性を確認しながら増量し、１日投与量として１５００ｍｇを超えない範囲で、１日２～３回に分割して経口投与する。なお、本剤は採卵までに中止する。
【保管】室温保存。

3969: その他の糖尿病用剤

★糖★ピオグリタゾン錠１５ｍｇ「ＤＳＥＰ」(ｱｸﾄｽ)　Pioglitazone DSEP　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]★糖★アクトス錠１５
商品名:ピオグリタゾン錠１５ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:１５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:第一三共エスファ　剤型:錠　YJ:3969007F1032　院内コード:203009
成分:ピオグリタゾン塩酸塩,
【効】１）．①．　食事療法、運動療法のみで十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合の２型糖尿病。
②．　食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用し十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合の２型糖尿病。
③．　食事療法、運動療法に加えてα－グルコシダーゼ阻害剤を使用し十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合の２型糖尿病。
④．　食事療法、運動療法に加えてビグアナイド系薬剤を使用し十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合の２型糖尿病。
２）．　食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用し十分な効果が得られずインスリン抵抗性が推定される場合の２型糖尿病。
【用】〈食事療法、運動療法のみの場合及び食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤又はα－グルコシダーゼ阻害剤若しくはビグアナイド系薬剤を使用する場合〉通常、成人にはピオグリタゾンとして１５～３０ｍｇを１日１回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、性別、年齢、症状により適宜増減するが、４５ｍｇを上限とする。
〈食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用する場合〉通常、成人にはピオグリタゾンとして１５ｍｇを１日１回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、性別、年齢、症状により適宜増減するが、３０ｍｇを上限とする。
【保管】室温保存。

エクメット配合錠ＨＤ　EquMet HD　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:エクメット配合錠ＨＤ
規格:１錠　薬価:41.20　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:錠　YJ:3969104F2025　院内コード:202702
成分:ビルダグリプチン,メトホルミン塩酸塩,
【効】２型糖尿病（ただし、ビルダグリプチン及びメトホルミン塩酸塩の併用による治療が適切と判断される場合に限る）。
【用】通常、成人には１回１錠（ビルダグリプチン／メトホルミン塩酸塩として５０ｍｇ／５００ｍｇ）を１日２回朝、夕に経口投与する。
【保管】室温保存。

カナグル錠１００ｍｇ　Canaglu　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:カナグル錠１００ｍｇ

規格:１００ｍｇ１錠　薬価:133.70　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:3969022F1029　院内コード:203211
成分:カナグリフロジン水和物,
【効】１）．　２型糖尿病。
２）．　２型糖尿病を合併する慢性腎臓病＜末期腎不全又は透析施行中の患者を除く＞。
【用】通常、成人にはカナグリフロジンとして１００ｍｇを１日１回朝食前又は朝食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

カナリア配合錠　Canalia　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:カナリア配合錠
規格:１錠　薬価:196.80　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:3969106F1028　院内コード:202941
成分:カナグリフロジン水和物,テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物,
【効】２型糖尿病（ただし、テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物及びカナグリフロジン水和物の併用による治療が適切と判断される場合に限る）。
【用】通常、成人には１日１回１錠（テネリグリプチン／カナグリフロジンとして２０ｍｇ／１００ｍｇ）を朝食前又は朝食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

グラクティブ錠５０ｍｇ　Glactiv　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:グラクティブ錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:82.00　製造:小野薬品　剤型:錠　YJ:3969010F2022　院内コード:203383
成分:シタグリプチンリン酸塩水和物,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人にはシタグリプチンとして５０ｍｇを１日１回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら１００ｍｇ１日１回まで増量することができる。
【保管】室温保存。

グルベス配合ＯＤ錠　Glubes OD　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:グルベス配合ＯＤ錠
規格:１錠　薬価:22.50　製造:キッセイ薬品　剤型:錠　YJ:3969102F2026　院内コード:202313
成分:ボグリボース,ミチグリニドカルシウム水和物,
【効】２型糖尿病（ただし、ミチグリニドカルシウム水和物及びボグリボースの併用による治療が適切と判断される場合に限る）。
【用】通常、成人には１回１錠（ミチグリニドカルシウム水和物／ボグリボースとして１０ｍｇ／０．２ｍｇ）を１日３回毎食直前に経口投与する。
【保管】室温保存。

ジャディアンス錠１０ｍｇ　Jardiance　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ジャディアンス錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:166.00　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:3969023F1023　院内コード:202718
成分:エンパグリフロジン,
【効】１）．　２型糖尿病。
２）．　慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
３）．　慢性腎臓病＜末期腎不全又は透析施行中の患者を除く＞。
【用】〈２型糖尿病〉通常、成人にはエンパグリフロジンとして１０ｍｇを１日１回朝食前又は朝食後に経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら２５ｍｇ１日１回に増量することができる。
〈慢性心不全、慢性腎臓病〉通常、成人にはエンパグリフロジンとして１０ｍｇを１日１回朝食前又は朝食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

スージャヌ配合錠　Sujanu　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:スージャヌ配合錠
規格:１錠　薬価:161.00　製造:ＭＳＤ　剤型:錠　YJ:3969107F1022　院内コード:203048
成分:イプラグリフロジン　Ｌ－プロリン,シタグリプチンリン酸塩水和物,
【効】２型糖尿病（ただし、シタグリプチンリン酸塩水和物及びイプラグリフロジン　Ｌ－プロリンの併用による治療が適切と判断される場合に限る）。
【用】通常、成人には１日１回１錠（シタグリプチン／イプラグリフロジンとして５０ｍｇ／５０ｍｇ）を朝食前又は朝食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ツイミーグ錠５００ｍｇ　Twymeeg　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ツイミーグ錠５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１錠　薬価:32.50　製造:住友ファーマ　剤型:錠　YJ:3969026F1027　院内コード:203509
成分:イメグリミン塩酸塩,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人にはイメグリミン塩酸塩として１回１０００ｍｇを１日２回朝、夕に経口投与する。
【保管】室温保存。

トラゼンタ錠５ｍｇ　Trazenta　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:トラゼンタ錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:116.10　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:3969014F1024　院内コード:202384
成分:リナグリプチン,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人にはリナグリプチンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

トラディアンス配合錠ＡＰ　Tradiance AP　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:トラディアンス配合錠ＡＰ

規格:１錠　薬価:230.80　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:3969108F1027　院内コード:203111
成分:エンパグリフロジン,リナグリプチン,
【効】２型糖尿病（ただし、エンパグリフロジン及びリナグリプチンの併用による治療が適切と判断される場合に限る）。
【用】通常、成人には１日１回１錠（エンパグリフロジン／リナグリプチンとして１０ｍｇ／５ｍｇ）を朝食前又は朝食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ビルダグリプチン錠５０ｍｇ「サワイ」(ｴｸｱ)　Vildagliptin SAWAI　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]エクア錠５０ｍｇ
商品名:ビルダグリプチン錠５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:16.00　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3969011F1071　院内コード:203735
成分:ビルダグリプチン,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人には、ビルダグリプチンとして５０ｍｇを１日２回朝、夕に経口投与する。なお、患者の状態に応じて５０ｍｇを１日１回朝に投与することができる。
【保管】室温保存。

フォシーガ錠１０ｍｇ　Forxiga　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:フォシーガ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:140.60　製造:アストラゼネカ　剤型:錠　YJ:3969019F2023　院内コード:203388
成分:ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物,
【効】１）．　２型糖尿病。
２）．　１型糖尿病。
３）．　慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
４）．　慢性腎臓病＜末期腎不全又は透析施行中の患者を除く＞。
【用】〈２型糖尿病〉通常、成人にはダパグリフロジンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら１０ｍｇ１日１回に増量することができる。
〈１型糖尿病〉インスリン製剤との併用において、通常、成人にはダパグリフロジンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら１０ｍｇ１日１回に増量することができる。
〈慢性心不全、慢性腎臓病〉通常、成人にはダパグリフロジンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

フォシーガ錠５ｍｇ　Forxiga　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:フォシーガ錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:96.00　製造:アストラゼネカ　剤型:錠　YJ:3969019F1027　院内コード:202949
成分:ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物,
【効】１）．　２型糖尿病。
２）．　１型糖尿病。
３）．　慢性心不全（ただし、慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る）。
４）．　慢性腎臓病＜末期腎不全又は透析施行中の患者を除く＞。
【用】〈２型糖尿病〉通常、成人にはダパグリフロジンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら１０ｍｇ１日１回に増量することができる。
〈１型糖尿病〉インスリン製剤との併用において、通常、成人にはダパグリフロジンとして５ｍｇを１日１回経口投与する。なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら１０ｍｇ１日１回に増量することができる。
〈慢性心不全、慢性腎臓病〉通常、成人にはダパグリフロジンとして１０ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

ボグリボースＯＤ錠０．２ｍｇ「サワイ」　Voglibose OD　採用　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ベイスン錠０．２
商品名:ボグリボースＯＤ錠０．２ｍｇ「サワイ」
規格:０．２ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3969004F3066　院内コード:202751
成分:ボグリボース,
【効】１）．　糖尿病の食後過血糖の改善（ただし、食事療法・運動療法を行っている患者で十分な効果が得られない場合、又は食事療法・運動療法に加えて経口血糖降下剤若しくはインスリン製剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る）。
２）．　耐糖能異常における２型糖尿病の発症抑制（ただし、食事療法・運動療法を十分に行っても改善されない場合に限る）。
【用】〈糖尿病の食後過血糖の改善〉通常、成人にはボグリボースとして１回０．２ｍｇを１日３回毎食直前に経口投与する。
なお、効果不十分な場合には、経過を十分に観察しながら１回量を０．３ｍｇまで増量することができる。
〈耐糖能異常における２型糖尿病の発症抑制〉通常、成人にはボグリボースとして１回０．２ｍｇを１日３回毎食直前に経口投与する。
【保管】室温保存。

マリゼブ錠２５ｍｇ　Marizev　採用　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:マリゼブ錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:497.50　製造:キッセイ薬品　剤型:錠　YJ:3969025F2029　院内コード:202785
成分:オマリグリプチン,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人にはオマリグリプチンとして２５ｍｇを１週間に１回経口投与する。
【保管】室温保存。

レパグリニド錠０．２５ｍｇ「サワイ」　Repaglinide SAWAI　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]シュアポスト錠０．２５ｍｇ
商品名:レパグリニド錠０．２５ｍｇ「サワイ」
規格:０．２５ｍｇ１錠　薬価:6.60　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3969013F1038　院内コード:203265

成分:レパグリニド,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人にはレパグリニドとして１回０．２５ｍｇより開始し、１日３回毎食直前に経口投与する。維持用量は通常１回０．２５～０．５ｍｇで、必要に応じて適宜増減する。
なお、１回量を１ｍｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

レパグリニド錠０．５ｍｇ「サワイ」 Repaglinide SAWAI 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）>[先発品:非採用]シュアポスト錠０．５ｍｇ

商品名:レパグリニド錠０．５ｍｇ「サワイ」
規格:０．５ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:3969013F2034 院内コード:203266
成分:レパグリニド,
【効】２型糖尿病。
【用】通常、成人にはレパグリニドとして１回０．２５ｍｇより開始し、１日３回毎食直前に経口投与する。維持用量は通常１回０．２５～０．５ｍｇで、必要に応じて適宜増減する。
なお、１回量を１ｍｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

399: 他に分類されない代謝性医薬品

3992: アデノシン製剤

アデホス－Ｌコーワ注２０ｍｇ Adetphos-L KOWA 採用

商品名:アデホス－Ｌコーワ注２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１管 薬価:69.00 製造:興和 剤型:注射液 YJ:3992400A2138 院内コード:300147
成分:アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物,
【効】１）．　次記疾患に伴う諸症状の改善：頭部外傷後遺症。
２）．　心不全。
３）．　筋ジストロフィー症及びその類縁疾患。
４）．　急性灰白髄炎。
５）．　脳性小児麻痺＜弛緩型＞。
６）．　進行性脊髄性筋萎縮症及びその類似疾患。
７）．　調節性眼精疲労における眼調節機能の安定化。
８）．　耳鳴・難聴。
９）．　消化管機能低下のみられる慢性胃炎。
１０）．　慢性肝疾患における肝機能の改善。
【用】〈静脈内注射〉アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、通常１回５～４０ｍｇを１日１～２回、等張ないし高張ブドウ糖注射液に溶解して、徐々に静脈内注射する。
〈点滴静脈内注射〉アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、通常１回４０～８０ｍｇを１日１回、５％ブドウ糖注射液２００～５００ｍＬに溶解し、３０～６０分かけて点滴静脈内注射する。
【保管】冷所保存。

アデホスコーワ腸溶錠２０ Adetphos KOWA 採用

商品名:アデホスコーワ腸溶錠２０
規格:２０ｍｇ１錠 薬価:6.10 製造:興和 剤型:腸溶錠 YJ:3992001F1084 院内コード:200033
成分:アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物,
【効】１）．　次記疾患に伴う諸症状の改善：頭部外傷後遺症。
２）．　心不全。
３）．　調節性眼精疲労における眼調節機能の安定化。
４）．　消化管機能低下のみられる慢性胃炎。
【用】アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、１回４０～６０ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アデホスコーワ顆粒１０％ Adetphos KOWA 採用

商品名:アデホスコーワ顆粒１０％
規格:１０％１ｇ 薬価:14.70 製造:興和 剤型:顆粒 YJ:3992001D1059 院内コード:200034
成分:アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物,
【効】１）．　次記疾患に伴う諸症状の改善：頭部外傷後遺症。
２）．　心不全。
３）．　調節性眼精疲労における眼調節機能の安定化。
４）．　消化管機能低下のみられる慢性胃炎。
５）．　メニエール病及び内耳障害に基づくめまい。
【用】〈頭部外傷後遺症に伴う諸症状の改善、心不全、調節性眼精疲労における調節機能の安定化、消化管機能低下のみられる慢性胃炎〉アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、１回４０～６０ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
〈メニエール病及び内耳障害に基づくめまい〉メニエール病及び内耳障害に基づくめまいに用いる場合には、アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物として、１回１００ｍｇを１日３回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

3999: 他に分類されないその他の代謝性医薬品

アクトネル錠75mg　Actonel　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:アクトネル錠７５ｍｇ
規格:７５ｍｇ１錠　薬価:731.00　製造:ＥＡファーマ　剤型:錠　YJ:3999019F3029　院内コード:202540
成分:リセドロン酸ナトリウム水和物,
【効】骨粗鬆症。
【用】通常、成人にはリセドロン酸ナトリウムとして７５ｍｇを月１回、起床時に十分量（約１８０ｍＬ）の水とともに経口投与する。
なお、服用後少なくとも３０分は横にならず、水以外の飲食並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。
【保管】室温保存。

アルツディスポ関節注２５ｍｇ　Artz　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:アルツディスポ関節注２５ｍｇ
規格:１％２．５ｍＬ１筒　薬価:663.00　製造:生化学　剤型:キット類YJ:3999408G1247　院内コード:300336
成分:精製ヒアルロン酸ナトリウム,
【効】１）．　変形性膝関節症、肩関節周囲炎。
２）．　関節リウマチにおける膝関節痛（次記（１）～（４）の基準を全て満たす場合に限る）。
（１）．　抗リウマチ薬等による治療で全身の病勢がコントロールできていても膝関節痛のある場合。
（２）．　全身の炎症症状がＣＲＰ値として１０ｍｇ／ｄＬ以下の場合。
（３）．　膝関節の症状が軽症から中等症の場合。
（４）．　膝関節のＬａｒｓｅｎ　Ｘ線分類がＧｒａｄｅ１からＧｒａｄｅ３の場合。
【用】〈変形性膝関節症、肩関節周囲炎〉通常、成人１回１シリンジ（精製ヒアルロン酸ナトリウムとして１回２５ｍｇ）を１週間ごとに連続５回膝関節腔内又は肩関節（肩関節腔、肩峰下滑液包又は上腕二頭筋長頭腱腱鞘）内に投与するが、症状により投与回数を適宜増減する。
〈関節リウマチにおける膝関節痛〉通常、成人１回２．５ｍＬ（１シリンジ、精製ヒアルロン酸ナトリウムとして１回２５ｍｇ）を１週間毎に連続５回膝関節腔内に投与する。
本剤は関節内に投与するので、厳重な無菌的操作のもとに行うこと。
【保管】室温保存。

イベニティ皮下注１０５ｍｇシリンジ　Evenity　採用　(生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:イベニティ皮下注１０５ｍｇシリンジ
規格:１０５ｍｇ１．１７ｍＬ１筒　薬価:25061.00　製造:アムジェン　剤型:キット類YJ:3999449G1025　院内コード:301016
成分:ロモソズマブ（遺伝子組換え）,
【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症。
【用】通常、成人にはロモソズマブ（遺伝子組換え）として２１０ｍｇを１ヵ月に１回、１２ヵ月皮下投与する。
【保管】２～８℃で保存。

イムラン錠５０ｍｇ　Imuran　採用　Hi
商品名:イムラン錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:65.30　製造:サンドファーマ　剤型:錠　YJ:3999005F1059　院内コード:202336
成分:アザチオプリン,
【効】１）．　次記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植における拒絶反応、肝移植における拒絶反応、心移植における拒絶反応、肺移植における拒絶反応。
２）．　ステロイド依存性のクローン病の寛解導入及び寛解維持並びにステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の寛解維持。
３）．　治療抵抗性の次記リウマチ性疾患：治療抵抗性全身性血管炎（治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎等）、治療抵抗性全身性エリテマトーデス（治療抵抗性ＳＬＥ）、治療抵抗性多発性筋炎、治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性混合性結合組織病、及び治療抵抗性難治性リウマチ性疾患。
４）．　自己免疫性肝炎。
【用】〈移植〉通常、成人及び小児において、次記量を１日量として経口投与する。しかし、本剤の耐薬量及び有効量は患者によって異なるので、最適の治療効果を得るために用量の注意深い増減が必要である。
・　腎移植初期量としてアザチオプリン２～３ｍｇ／ｋｇ相当量。
維持量としてアザチオプリン０．５～１ｍｇ／ｋｇ相当量。
・　肝、心及び肺移植初期量としてアザチオプリン２～３ｍｇ／ｋｇ相当量。
維持量としてアザチオプリン１～２ｍｇ／ｋｇ相当量。
〈ステロイド依存性のクローン病の寛解導入及び寛解維持並びにステロイド依存性の潰瘍性大腸炎の寛解維持〉通常、成人及び小児には、１日量としてアザチオプリン１～２ｍｇ／ｋｇ相当量（通常、成人には５０～１００ｍｇ）を経口投与する。
〈全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎等）、全身性エリテマトーデス（ＳＬＥ）、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、及び難治性リウマチ性疾患〉通常、成人及び小児には、１日量として１～２ｍｇ／ｋｇ相当量を経口投与する。なお、症状により適宜増減可能であるが１日量として３ｍｇ／ｋｇを超えないこと。
〈自己免疫性肝炎〉通常、成人及び小児には、１日量としてアザチオプリン１～２ｍｇ／ｋｇ相当量（通常、成人には５０～１００ｍｇ）を経口投与する。
【保管】室温保存。

エタネルセプトＢＳ皮下注５０ｍｇペン１．０ｍＬ「ＭＡ」　Etanercept BS MA　採用　(劇生)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:持参薬使用]◆持参◆エンブレル皮下注５０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ
商品名:エタネルセプトＢＳ皮下注５０ｍｇペン１．０ｍＬ「ＭＡ」
規格:５０ｍｇ１ｍＬ１キット　薬価:10463.00　製造:持田製薬　剤型:キット類YJ:3999448G3023　院内コード:301061
成分:エタネルセプト（遺伝子組換え）,
【効】既存治療で効果不十分な関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）。

【用】本剤を、通常、成人にはエタネルセプト（遺伝子組換え）［エタネルセプト後続１］として１０～２５ｍｇを１日１回、週に２回、又は２５～５０ｍｇを１日１回、週に１回、皮下注射する。
【保管】２～８℃で保存。

エパルレスタット錠５０ｍｇ「サワイ」　Epalrestat　採用　<後発品（加算対象外）>　[先発品:非採用]キネダック錠５０ｍｇ

商品名:エパルレスタット錠５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:18.60　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:3999013F1304　院内コード:203448
成分:エパルレスタット,
【効】糖尿病性末梢神経障害に伴う自覚症状（しびれ感、疼痛）、振動覚異常、心拍変動異常の改善（糖化ヘモグロビンが高値を示す場合）。
【用】通常、成人にはエパルレスタットとして１回５０ｍｇを１日３回毎食前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

エビスタ錠６０ｍｇ　Evista　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:エビスタ錠６０ｍｇ
規格:６０ｍｇ１錠　薬価:43.00　製造:クリニジェン　剤型:錠　YJ:3999021F1023　院内コード:200702
成分:ラロキシフェン塩酸塩,
【効】閉経後骨粗鬆症。
【用】通常、ラロキシフェン塩酸塩として、１日１回６０ｍｇを経口投与する。
【保管】室温保存。

エベレンゾ錠１００ｍｇ　Evrenzo　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:エベレンゾ錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:1296.00　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:3999047F3020　院内コード:203229
成分:ロキサデュスタット,
【効】腎性貧血。
【用】赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合通常、成人には、ロキサデュスタットとして１回５０ｍｇを開始用量とし、週３回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１回３．０ｍｇ／ｋｇを超えないこととする。
赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合通常、成人には、ロキサデュスタットとして１回７０ｍｇ又は１００ｍｇを開始用量とし、週３回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１回３．０ｍｇ／ｋｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

エベレンゾ錠２０ｍｇ　Evrenzo　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:エベレンゾ錠２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:341.80　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:3999047F1028　院内コード:203227
成分:ロキサデュスタット,
【効】腎性貧血。
【用】赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合通常、成人には、ロキサデュスタットとして１回５０ｍｇを開始用量とし、週３回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１回３．０ｍｇ／ｋｇを超えないこととする。
赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合通常、成人には、ロキサデュスタットとして１回７０ｍｇ又は１００ｍｇを開始用量とし、週３回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１回３．０ｍｇ／ｋｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

エベレンゾ錠５０ｍｇ　Evrenzo　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:エベレンゾ錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:701.30　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:3999047F2024　院内コード:203228
成分:ロキサデュスタット,
【効】腎性貧血。
【用】赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合通常、成人には、ロキサデュスタットとして１回５０ｍｇを開始用量とし、週３回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１回３．０ｍｇ／ｋｇを超えないこととする。
赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合通常、成人には、ロキサデュスタットとして１回７０ｍｇ又は１００ｍｇを開始用量とし、週３回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１回３．０ｍｇ／ｋｇを超えないこととする。
【保管】室温保存。

エポジン注シリンジ３０００　Epogin　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>

商品名:エポジン注シリンジ３０００
規格:３，０００国際単位０．５ｍＬ１筒　薬価:817.00　製造:中外製薬　剤型:キット類YJ:3999413G3038　院内コード:300152
成分:エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　透析施行中の腎性貧血。
２）．　透析導入前の腎性貧血。
３）．　貯血量が８００ｍＬ以上で１週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血。
４）．　未熟児貧血。
【用】１）．　透析施行中の腎性貧血［皮下投与については、連続携行式腹膜灌流（ＣＡＰＤ）施行中の腎性貧血を対象とする］：
①．　静脈内投与：
成人：通常、投与初期は、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回３０００国際単位を週３回、できるだけ緩徐に投与する。
通常、貧血改善効果が得られた後は、維持量として、１回１５００国際単位を週２～３回、あるいは１回３０００国際単位を週２回投与する。なお、いずれの場合も貧血の程度、年齢等により適宜増減するが、維持量での最高投与量は、１回３０００国際単位、週３回投与とする。
貧血改善効果の目標値はヘモグロビン濃度で１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）前後とする。

②．　皮下投与：
ａ．　成人：通常、投与初期は、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回６０００国際単位を週１回投与する。
通常、貧血改善効果が得られた後は、維持量として、１回６０００～１２０００国際単位を２週に１回投与する。
ｂ．　小児：通常、投与初期は、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回５０～１００国際単位／ｋｇを週１回投与する。
通常、貧血改善効果が得られた後は、維持量として、１回１００～２００国際単位／ｋｇを２週に１回投与する。
いずれの場合も貧血の程度等により適宜増減する。貧血改善効果の目標値はヘモグロビン濃度で１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）前後とする。
２）．　透析導入前の腎性貧血：
①．　静脈内投与：
成人：通常、投与初期は、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回６０００国際単位を週１回、できるだけ緩徐に投与する。
通常、貧血改善効果が得られた後は、維持量として、患者の貧血の程度、年齢等により、１週あたり６０００国際単位以下の範囲で適宜調整する。
貧血改善効果の目標値はヘモグロビン濃度で１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）
前後とする。
②．　皮下投与：
ａ．　成人：通常、投与初期は、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回６０００国際単位を週１回投与する。
通常、貧血改善効果が得られた後は、維持量として、１回６０００～１２０００国際単位を２週に１回投与する。
ｂ．　小児：通常、投与初期は、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回５０～１００国際単位／ｋｇを週１回投与する。
通常、貧血改善効果が得られた後は、維持量として、１回１００～２００国際単位／ｋｇを２週に１回投与する。
いずれの場合も貧血の程度等により適宜増減する。貧血改善効果の目標値はヘモグロビン濃度で１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）前後とする。
３）．　貯血量が８００ｍＬ以上で１週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血：
静脈内投与：
成人：通常、体重を考慮に入れヘモグロビン濃度が１３～１４ｇ／ｄＬ以下の患者を対象に、手術前の自己血貯血時期に、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回６０００国際単位を隔日週３回、できるだけ緩徐に投与する。投与期間は、予定貯血量が８００ｍＬの場合は術前２週間、
１２００ｍＬの場合は術前３週間を目安とする。なお、自己血採血日の投与は採血終了後に行い、患者のヘモグロビン濃度や予定貯血量等に応じて投与回数や投与期間を適宜増減する。
４）．　未熟児貧血：
皮下投与：
未熟児：通常、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回２００国際単位／ｋｇを週２回投与する。
ただし、未熟児早期貧血期を脱し、ヘモグロビン濃度が１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）前後で臨床症状が安定したと考えられる場合は投与を中止すること。
なお、貧血症状の程度により適宜増減する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

エポジン皮下注シリンジ２４０００　Epogin　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:エポジン皮下注シリンジ２４０００
規格:２４，０００国際単位　０．５ｍＬ１筒　薬価:12031.00　製造:中外製薬　剤型:キット類YJ:3999413G7025　院内コード:300651
成分:エポエチン　ベータ（遺伝子組換え），
【効】貯血量が８００ｍＬ以上で１週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血。
【用】通常、ヘモグロビン濃度が１３ｇ／ｄＬ未満の患者には初回採血１週間前から、ヘモグロビン濃度が１３～１４ｇ／ｄＬの患者には初回採血後より、成人にはエポエチン　ベータ（遺伝子組換え）として１回２４０００国際単位を最終採血まで週１回皮下投与する。初回採血は、予定貯血量が８００ｍＬの場合は手術２週間前、１２００ｍＬの場合は手術３週間前を目安とする。なお、患者のヘモグロビン濃度や予定貯血量等に応じて投与回数や投与期間を適宜増減する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

オザグレルNa注80mgｼﾘﾝｼﾞ(ｷｻﾝﾎﾞﾝS)　Ozagrel Na　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:オザグレルＮａ注射液８０ｍｇシリンジ「サワイ」
規格:８０ｍｇ４ｍＬ１筒　薬価:1494.00　製造:沢井製薬　剤型:キット類YJ:3999411G4035　院内コード:300766
成分:オザグレルナトリウム，
【効】１）．　クモ膜下出血術後の脳血管攣縮および脳血管攣縮に伴う脳虚血症状の改善。
２）．　脳血栓症＜急性期＞に伴う運動障害の改善。
【用】〈クモ膜下出血術後の脳血管攣縮およびこれに伴う脳虚血症状の改善〉通常成人に、オザグレルナトリウムとして１日量８０ｍｇを適当量の電解質液または糖液で希釈し、２４時間かけて静脈内に持続投与する。投与はクモ膜下出血術後早期に開始し、２週間持続投与することが望ましい。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈脳血栓症（急性期）に伴う運動障害の改善〉通常成人に、オザグレルナトリウムとして１回量８０ｍｇを適当量の電解質液または糖液で希釈し、２時間かけて１日朝夕２回の持続静注を約２週間行う。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

オルケディア錠１ｍｇ　Orkedia　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:オルケディア錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:271.90　製造:協和キリン　剤型:錠　YJ:3999044F1024　院内コード:203069
成分:エボカルセト，
【効】１）．　維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症。
２）．　次記疾患における高カルシウム血症：①副甲状腺癌、②副甲状腺摘出術不能原発性副甲状腺機能亢進症又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症。
【用】〈維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症〉通常、成人には、エボカルセトとして１回１ｍｇを開始用量とし、１日１回経口投与する。患者の状態に応じて開始用量として１日１回２ｍｇを経口投与することができる。以後は、患者の副甲状腺ホルモン（ＰＴＨ）及び血清カルシウム濃度の十

分な観察のもと、１日１回１～８ｍｇの間で適宜用量を調整し、経口投与するが、効果不十分な場合には適宜用量を調整し、１日１回１２ｍｇまで経口投与することができる。
〈副甲状腺癌における高カルシウム血症、副甲状腺摘出術不能又は術後再発の原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症〉通常、成人には、エボカルセトとして１回２ｍｇを開始用量とし、１日１回経口投与する。患者の血清カルシウム濃度に応じて開始用量として１回２ｍｇを１日２回経口投与することができる。以後は、患者の血清カルシウム濃度により投与量及び投与回数を適宜増減するが、投与量は１回６ｍｇまで、投与回数は１日４回までとする。
【保管】室温保存。

オルミエント錠２ｍｇ Olumiant 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:オルミエント錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠 薬価:2472.50 製造:日本イーライリリー 剤型:錠 YJ:3999043F1020 院内コード:203361
成分:バリシチニブ,
【効】１）．　既存治療で効果不十分な次記疾患：①関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）、②＊アトピー性皮膚炎、③多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎。
２）．　ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎（ただし、酸素吸入を要する患者に限る）。
３）．　円形脱毛症（ただし、脱毛部位が広範囲に及ぶ難治の場合に限る）。
＊）最適使用推進ガイドライン対象。
【用】〈関節リウマチ、アトピー性皮膚炎（成人）〉通常、成人にはバリシチニブとして４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態に応じて２ｍｇに減量すること。
〈アトピー性皮膚炎（小児）、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎〉通常、２歳以上の患者には体重に応じバリシチニブとして次の投与量を１日１回経口投与する。
・　３０ｋｇ以上：通常、４ｍｇとし、患者の状態に応じて２ｍｇに減量すること。
・　３０ｋｇ未満：通常、２ｍｇとし、患者の状態に応じて１ｍｇに減量すること。
〈ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎〉通常、成人にはレムデシビルとの併用においてバリシチニブとして４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎の場合、総投与期間は１４日間までとする。
〈円形脱毛症〉通常、成人及び１２歳以上かつ体重３０ｋｇ以上の小児にはバリシチニブとして４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態に応じて２ｍｇに減量すること。
【保管】室温保存。

オルミエント錠４ｍｇ Olumiant 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:オルミエント錠４ｍｇ
規格:４ｍｇ１錠 薬価:4820.00 製造:日本イーライリリー 剤型:錠 YJ:3999043F2026 院内コード:203218
成分:バリシチニブ,
【効】１）．　既存治療で効果不十分な次記疾患：①関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）、②＊アトピー性皮膚炎、③多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎。
２）．　ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎（ただし、酸素吸入を要する患者に限る）。
３）．　円形脱毛症（ただし、脱毛部位が広範囲に及ぶ難治の場合に限る）。
＊）最適使用推進ガイドライン対象。
【用】〈関節リウマチ、アトピー性皮膚炎（成人）〉通常、成人にはバリシチニブとして４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態に応じて２ｍｇに減量すること。
〈アトピー性皮膚炎（小児）、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎〉通常、２歳以上の患者には体重に応じバリシチニブとして次の投与量を１日１回経口投与する。
・　３０ｋｇ以上：通常、４ｍｇとし、患者の状態に応じて２ｍｇに減量すること。
・　３０ｋｇ未満：通常、２ｍｇとし、患者の状態に応じて１ｍｇに減量すること。
〈ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎〉通常、成人にはレムデシビルとの併用においてバリシチニブとして４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎の場合、総投与期間は１４日間までとする。
〈円形脱毛症〉通常、成人及び１２歳以上かつ体重３０ｋｇ以上の小児にはバリシチニブとして４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、患者の状態に応じて２ｍｇに減量すること。
【保管】室温保存。

オレンシア点滴静注用250mg Orencia 採用 (劇生) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:オレンシア点滴静注用２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１瓶 薬価:32840.00 製造:ＢＭＳ 剤型:注射用 YJ:3999429D1021 院内コード:300808
成分:アバタセプト（遺伝子組換え）,
【効】既存治療で効果不十分な次記疾患：１）関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）
、２）多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎。
【用】〈関節リウマチ〉通常、成人にはアバタセプト（遺伝子組換え）として次の用量を１回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、２週、４週に投与し、以後４週間の間隔で投与を行うこと。
１）．　患者の体重６０ｋｇ未満：投与量５００ｍｇ（２バイアル）。
２）．　患者の体重６０ｋｇ以上１００ｋｇ以下：投与量７５０ｍｇ（３バイアル）。
３）．　患者の体重１００ｋｇを超える：投与量１ｇ（４バイアル）。
〈多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎〉通常、アバタセプト（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静注する。初回投与後、２週、４週に投与し、以後４週間の間隔で投与を行うこと。
ただし、体重７５ｋｇ以上１００ｋｇ以下の場合は１回７５０ｍｇ、体重１００ｋｇを超える場合は１回１ｇを点滴静注すること。
【保管】２～８℃で保存。

カモスタットメシル酸塩錠１００mg「トーワ」(ﾌｫｲﾊﾟﾝ) Camostat mesilate TOWA 採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]フオイパン錠１００ｍｇ
商品名:カモスタットメシル酸塩錠１００ｍｇ「トーワ」
規格:１００ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:東和薬品 剤型:錠 YJ:3999003F1360 院内コード:203380

成分:カモスタットメシル酸塩,
【効】１）．　慢性膵炎における急性症状の緩解。
２）．　術後逆流性食道炎。
【用】〈慢性膵炎における急性症状の緩解〉通常１日量カモスタットメシル酸塩として６００ｍｇを３回に分けて経口投与する。症状により適宜増減する。
〈術後逆流性食道炎〉通常１日量カモスタットメシル酸塩として３００ｍｇを３回に分けて食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

ゾレドロン酸点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ「サンド」(ｿﾞﾒﾀ)　Zoledronic acid SANDOZ　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>
[先発品:持参薬使用]ゾメタ点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ 【４ｍｇ５ｍＬ１瓶】

商品名:ゾレドロン酸点滴静注４ｍｇ／５ｍＬ「サンド」
規格:４ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:4481.00　製造:サンド　剤型:注射液　YJ:3999423A1087　院内コード:300955
成分:ゾレドロン酸水和物,
【効】１）．　悪性腫瘍による高カルシウム血症。
２）．　多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変。
【用】〈悪性腫瘍による高カルシウム血症〉通常、成人にはゾレドロン酸として４ｍｇを日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液（５％）１００ｍＬに希釈し、１５分以上かけて点滴静脈内投与する。なお、再投与が必要な場合には、初回投与による反応を確認するために少なくとも１週間の投与間隔をおくこと。
〈多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変〉通常、成人にはゾレドロン酸として４ｍｇを日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液（５％）１００ｍＬに希釈し、１５分以上かけて３～４週間間隔で点滴静脈内投与する。
【保管】室温保存。

タクロリムスカプセル１ｍｇ「ＶＴＲＳ」(ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾌ)　Tacrolimus　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]プログラフ顆粒１ｍｇ

商品名:タクロリムスカプセル１ｍｇ「ＶＴＲＳ」
規格:１ｍｇ１カプセル　薬価:153.50　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:カプセルYJ:3999014M1073　院内コード:203568
成分:タクロリムス水和物,
【効】１）．　次記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植における拒絶反応、肝移植における拒絶反応、心移植における拒絶反応、肺移植における拒絶反応、膵移植における拒絶反応、小腸移植における拒絶反応。
２）．　骨髄移植における拒絶反応及び骨髄移植における移植片対宿主病の抑制。
３）．　重症筋無力症。
４）．　関節リウマチ（既存治療で効果不十分な場合に限る）。
５）．　ループス腎炎（ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）。
６）．　難治性＜ステロイド抵抗性＞の活動期潰瘍性大腸炎＜中等症～重症に限る＞、難治性＜ステロイド依存性＞の活動期潰瘍性大腸炎＜中等症～重症に限る＞。
７）．　多発性筋炎に合併する間質性肺炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎。
８）．　細胞移植に伴う免疫反応の抑制。
【用】〈腎移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与し、以後、徐々に減量する。維持量は１回０．０６ｍｇ／ｋｇ、１日２回経口投与を標準とするが、症状に応じて適宜増減する。
〈肝移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量し、維持量は１日量０．１０ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状に応じて適宜増減する。
〈心移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．０３～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。また、拒絶反応発現後に本剤の投与を開始する場合には、通常、タクロリムスとして１回０．０７５～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、症状に応じて適宜増減し、安定した状態が得られた後には、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈肺移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．０５～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、症状に応じて適宜増減し、安定した状態が得られた後には、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈膵移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈小腸移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈骨髄移植の場合〉通常、移植１日前よりタクロリムスとして１回０．０６ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。移植初期にはタクロリムスとして１回０．０６ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与し、以後、徐々に減量する。また、移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には、通常、タクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
なお、本剤の経口投与時の吸収は一定しておらず、患者により個人差があるので、血中濃度の高い場合の副作用並びに血中濃度が低い場合の拒絶反応及び移植片対宿主病の発現を防ぐため、患者の状況に応じて血中濃度を測定し、トラフレベル（ｔｒｏｕｇｈ　ｌｅｖｅｌ）の血中濃度を参考にして投与量を調節すること。特に移植直後あるいは投与開始直後は頻回に血中濃度測定を行うことが望ましい。なお、血中トラフ濃度が２０ｎｇ／ｍＬを超える期間が長い場合、副作用が発現しやすくなるので注意すること。
〈重症筋無力症の場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。
〈関節リウマチの場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。なお、高齢者には１．５ｍｇを１日１回夕食後経口投与から開始し、症状により１日１回３ｍｇまで増量できる。
〈ループス腎炎の場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。
〈潰瘍性大腸炎の場合〉通常、成人には、初期にはタクロリムスとして１回０．０２５ｍｇ／ｋｇを１日２回朝食後及び夕食後に経口投与する。潰瘍性大腸炎の場合、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与開始後２週間、目標血中トラフ濃度を１０～１５ｎｇ／ｍＬとし、投与量を調節し、投与開始後２週以降は、目標血中トラフ濃度を５～１０ｎｇ／ｍＬとし投与量を調節する。
〈多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の場合〉通常、成人には、初期にはタクロリムスとして１回０．０３７５ｍｇ／ｋｇを１日２回朝食後及び夕食後に経口投与する。多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の場合、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与開始後、目標血中トラフ濃度を５～１０ｎｇ／ｍＬとし、投与量を調節する。
〈細胞移植に伴う免疫反応の抑制の場合〉ラグネプロセルの移植前後に投与する場合には、ラグネプロセルの用法及び用量又は使用方法に基づき使用

する。
【保管】室温保存。

ダーブロック錠4mg　Duvroq　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ダーブロック錠４ｍｇ
規格:４ｍｇ１錠　薬価:269.60　製造:ＧＳＫ　剤型:錠　YJ:3999049F3020　院内コード:203289
成分:ダプロデュスタット,
【効】腎性貧血。
【用】６．１．　保存期慢性腎臓病患者赤血球造血刺激因子製剤で未治療の場合通常、成人にはダプロデュスタットとして１回２ｍｇ又は４ｍｇを開始用量とし、１日１回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１日１回２４ｍｇまでとする。
赤血球造血刺激因子製剤から切り替える場合通常、成人にはダプロデュスタットとして１回４ｍｇを開始用量とし、１日１回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１日１回２４ｍｇまでとする。
６．２．　透析患者通常、成人にはダプロデュスタットとして１回４ｍｇを開始用量とし、１日１回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１日１回２４ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ネオーラル２５ｍｇカプセル　Neoral　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ネオーラル２５ｍｇカプセル
規格:２５ｍｇ１カプセル　薬価:77.20　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:カプセルYJ:3999004M4028　院内コード:200698
成分:シクロスポリン,
【効】１）．　次記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植における拒絶反応、肝移植における拒絶反応、心移植における拒絶反応、肺移植における拒絶反応、膵移植における拒絶反応、小腸移植における拒絶反応。
２）．　骨髄移植における拒絶反応及び骨髄移植における移植片対宿主病の抑制。
３）．　ベーチェット病＜眼症状のある場合＞、及びその他の非感染性ぶどう膜炎（既存治療で効果不十分であり、視力低下のおそれのある活動性中間部非感染性ぶどう膜炎又は活動性後部非感染性ぶどう膜炎に限る）。
４）．　尋常性乾癬＜皮疹が全身の３０％以上に及ぶもの＞あるいは尋常性乾癬＜難治性＞の場合、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、乾癬性関節炎。
５）．　再生不良性貧血、赤芽球癆。
６）．　ネフローゼ症候群＜頻回再発型＞あるいはネフローゼ症候群＜ステロイドに抵抗性を示す場合＞。
７）．　全身型重症筋無力症：胸腺摘出後の治療において、ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合。
８）．　アトピー性皮膚炎（既存治療で十分な効果が得られない患者）。
９）．　細胞移植に伴う免疫反応の抑制。
【用】〈腎移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量９～１２ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与し、以後１日２ｍｇ／ｋｇずつ減量する。維持量は１日量４～６ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈肝移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量１４～１６ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は１日量５～１０ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈心移植、肺移植、膵移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量１０～１５ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は１日量２～６ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈小腸移植〉通常、シクロスポリンとして１日量１４～１６ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は１日量５～１０ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。ただし、通常移植１日前からシクロスポリン注射剤で投与を開始し、内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。
〈骨髄移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量６～１２ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与し、３～６ヵ月間継続し、その後徐々に減量し中止する。
〈ベーチェット病及びその他の非感染性ぶどう膜炎〉通常、シクロスポリンとして１日量５ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与を開始し、以後１ヵ月毎に１日１～２ｍｇ／ｋｇずつ減量又は増量する。維持量は１日量３～５ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈乾癬〉通常、１日量５ｍｇ／ｋｇを２回に分けて経口投与する。効果がみられた場合は１ヵ月毎に１日１ｍｇ／ｋｇずつ減量し、維持量は１日量３ｍｇ／ｋｇを標準とする。なお、症状により適宜増減する。
〈再生不良性貧血〉通常、シクロスポリンとして１日量６ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減する。
〈ネフローゼ症候群〉通常、シクロスポリンとして次記の用量を１日２回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
（１）．　頻回再発型の症例成人には１日量１．５ｍｇ／ｋｇを投与する。また、小児の場合には１日量２．５ｍｇ／ｋｇを投与する。
（２）．　ステロイドに抵抗性を示す症例成人には１日量３ｍｇ／ｋｇを投与する。また、小児の場合には１日量５ｍｇ／ｋｇを投与する。
〈全身型重症筋無力症〉通常、シクロスポリンとして１日量５ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。効果がみられた場合は徐々に減量し、維持量は３ｍｇ／ｋｇを標準とする。なお、症状により適宜増減する。
〈アトピー性皮膚炎〉通常、成人にはシクロスポリンとして１日量３ｍｇ／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが１日量５ｍｇ／ｋｇを超えないこと。
〈細胞移植に伴う免疫反応の抑制〉再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。
【保管】室温保存。

ネオーラル５０ｍｇカプセル　Neoral　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ネオーラル５０ｍｇカプセル
規格:５０ｍｇ１カプセル　薬価:122.60　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:カプセルYJ:3999004M5024　院内コード:200699
成分:シクロスポリン,
【効】１）．　次記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植における拒絶反応、肝移植における拒絶反応、心移植における拒絶反応、肺移植における拒絶反応、膵移植における拒絶反応、小腸移植における拒絶反応。
２）．　骨髄移植における拒絶反応及び骨髄移植における移植片対宿主病の抑制。
３）．　ベーチェット病＜眼症状のある場合＞、及びその他の非感染性ぶどう膜炎（既存治療で効果不十分であり、視力低下のおそれのある活動性中間部非感染性ぶどう膜炎又は活動性後部非感染性ぶどう膜炎に限る）。
４）．　尋常性乾癬＜皮疹が全身の３０％以上に及ぶもの＞あるいは尋常性乾癬＜難治性＞の場合、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、乾癬性関節炎。
５）．　再生不良性貧血、赤芽球癆。
６）．　ネフローゼ症候群＜頻回再発型＞あるいはネフローゼ症候群＜ステロイドに抵抗性を示す場合＞。

7）．　全身型重症筋無力症：胸腺摘出後の治療において、ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合。
8）．　アトピー性皮膚炎（既存治療で十分な効果が得られない患者）。
9）．　細胞移植に伴う免疫反応の抑制。
【用】〈腎移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量９～１２mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与し、以後１日２mg／ｋｇずつ減量する。維持量は１日量４～６mg／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈肝移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量１４～１６mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は１日量５～１０mg／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈心移植、肺移植、膵移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量１０～１５mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は１日量２～６mg／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈小腸移植〉通常、シクロスポリンとして１日量１４～１６mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。以後徐々に減量し、維持量は１日量５～１０mg／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。ただし、通常移植１日前からシクロスポリン注射剤で投与を開始し、内服可能となった後はできるだけ速やかに経口投与に切り換える。
〈骨髄移植〉通常、移植１日前からシクロスポリンとして１日量６～１２mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与し、３～６ヵ月間継続し、その後徐々に減量し中止する。
〈ベーチェット病及びその他の非感染性ぶどう膜炎〉通常、シクロスポリンとして１日量５mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与を開始し、以後１ヵ月毎に１日１～２mg／ｋｇずつ減量又は増量する。維持量は１日量３～５mg／ｋｇを標準とするが、症状により適宜増減する。
〈乾癬〉通常、１日量５mg／ｋｇを２回に分けて経口投与する。効果がみられた場合は１ヵ月毎に１日１mg／ｋｇずつ減量し、維持量は１日量３mg／ｋｇを標準とする。なお、症状により適宜増減する。
〈再生不良性貧血〉通常、シクロスポリンとして１日量６mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。なお、患者の状態により適宜増減する。
〈ネフローゼ症候群〉通常、シクロスポリンとして次記の用量を１日２回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
（１）．　頻回再発型の症例成人には１日量１．５mg／ｋｇを投与する。また、小児の場合には１日量２．５mg／ｋｇを投与する。
（２）．　ステロイドに抵抗性を示す症例成人には１日量３mg／ｋｇを投与する。また、小児の場合には１日量５mg／ｋｇを投与する。
〈全身型重症筋無力症〉通常、シクロスポリンとして１日量５mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。効果がみられた場合は徐々に減量し、維持量は３mg／ｋｇを標準とする。なお、症状により適宜増減する。
〈アトピー性皮膚炎〉通常、成人にはシクロスポリンとして１日量３mg／ｋｇを１日２回に分けて経口投与する。なお、症状により適宜増減するが１日量５mg／ｋｇを超えないこと。
〈細胞移植に伴う免疫反応の抑制〉再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。
【保管】室温保存。

バフセオ錠１５０mg　Vafseo　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:バフセオ錠１５０mg
規格:１５０mg１錠　薬価:171.00　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:3999050F1020　院内コード:203280
成分:バダデュスタット,
【効】腎性貧血。
【用】通常、成人にはバダデュスタットとして、１回３００mgを開始用量とし、１日１回経口投与する。以後は、患者の状態に応じて投与量を適宜増減するが、最高用量は１日１回６００mgまでとする。
【保管】室温保存。

プラリアHI皮下注６０mgシリンジ0.5mL　Pralia HI　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:プラリアＨＩ皮下注６０mgシリンジ０．５mL
規格:６０mg０．５mL１筒　薬価:24466.00　製造:第一三共　剤型:キット類YJ:3999435G3026　院内コード:301358
成分:デノスマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　骨粗鬆症。
２）．　関節リウマチに伴う骨びらんの進行抑制。
【用】〈骨粗鬆症〉通常、成人にはデノスマブ（遺伝子組換え）として６０mgを６ヵ月に１回、皮下投与する。
〈関節リウマチに伴う骨びらんの進行抑制〉通常、成人にはデノスマブ（遺伝子組換え）として６０mgを６ヵ月に１回、皮下投与する。なお、６ヵ月に１回の投与においても、骨びらんの進行が認められる場合には、３ヵ月に１回、皮下投与することができる。
【保管】凍結を避け２～８℃で保存。

プログラフカプセル　1mg　Prograf　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:プログラフカプセル１mg
規格:１mg１カプセル　薬価:305.40　製造:アステラス製薬　剤型:カプセルYJ:3999014M1022　院内コード:202338
成分:タクロリムス水和物,
【効】１）．　次記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植における拒絶反応、肝移植における拒絶反応、心移植における拒絶反応、肺移植における拒絶反応、膵移植における拒絶反応、小腸移植における拒絶反応。
２）．　骨髄移植における拒絶反応及び骨髄移植における移植片対宿主病の抑制。
３）．　重症筋無力症。
４）．　関節リウマチ（既存治療で効果不十分な場合に限る）。
５）．　ループス腎炎（ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）。
６）．　難治性＜ステロイド抵抗性＞の活動期潰瘍性大腸炎＜中等症～重症に限る＞、難治性＜ステロイド依存性＞の活動期潰瘍性大腸炎＜中等症～重症に限る＞。
７）．　多発性筋炎に合併する間質性肺炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎。
８）．　細胞移植に伴う免疫反応の抑制。
【用】〈腎移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５mg／ｋｇを１日２回経口投与し、以後、徐々に減量する。維持量は１回０．０６mg／ｋｇ、１日２回経口投与を標準とするが、症状に応じて適宜増減する。
〈肝移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５mg／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量し、維持量は１日量０．１０mg／ｋｇを標準とするが、症状に応じて適宜増減する。
〈心移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．０３～０．１５mg／ｋｇを１日２回経口投与する。また、拒絶反応発現後に本剤の投

与を開始する場合には、通常、タクロリムスとして１回０．０７５～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、症状に応じて適宜増減し、安定した状態が得られた後には、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈肺移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．０５～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、症状に応じて適宜増減し、安定した状態が得られた後には、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈膵移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈小腸移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈骨髄移植の場合〉通常、移植１日前よりタクロリムスとして１回０．０６ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。移植初期にはタクロリムスとして１回０．０６ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与し、以後、徐々に減量する。また、移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には、通常、タクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
なお、本剤の経口投与時の吸収は一定しておらず、患者により個人差があるので、血中濃度の高い場合の副作用並びに血中濃度が低い場合の拒絶反応及び移植片対宿主病の発現を防ぐため、患者の状況に応じて血中濃度を測定し、トラフレベル（ｔｒｏｕｇｈ　ｌｅｖｅｌ）の血中濃度を参考にして投与量を調節すること。特に移植直後あるいは投与開始直後は頻回に血中濃度測定を行うことが望ましい。なお、血中トラフ濃度が２０ｎｇ／ｍＬを超える期間が長い場合、副作用が発現しやすくなるので注意すること。
〈重症筋無力症の場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。
〈関節リウマチの場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。なお、高齢者には１．５ｍｇを１日１回夕食後経口投与から開始し、症状により１日１回３ｍｇまで増量できる。
〈ループス腎炎の場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。
〈潰瘍性大腸炎の場合〉通常、成人には、初期にはタクロリムスとして１回０．０２５ｍｇ／ｋｇを１日２回朝食後及び夕食後に経口投与する。潰瘍性大腸炎の場合、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与開始後２週間、目標血中トラフ濃度を１０～１５ｎｇ／ｍＬとし、投与量を調節し、投与開始後２週以降は、目標血中トラフ濃度を５～１０ｎｇ／ｍＬとし投与量を調節する。
〈多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の場合〉通常、成人には、初期にはタクロリムスとして１回０．０３７５ｍｇ／ｋｇを１日２回朝食後及び夕食後に経口投与する。多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の場合、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与開始後、目標血中トラフ濃度を５～１０ｎｇ／ｍＬとし、投与量を調節する。
〈細胞移植に伴う免疫反応の抑制の場合〉ラグネプロセルの移植前後に投与する場合には、ラグネプロセルの用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。
【保管】室温保存。

プログラフカプセル０．５ｍｇ　Prograf　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>

商品名:プログラフカプセル０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１カプセル　薬価:179.20　製造:アステラス製薬　剤型:カプセルYJ:3999014M2029　院内コード:202247
成分:タクロリムス水和物,
【効】１）．　次記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植における拒絶反応、肝移植における拒絶反応、心移植における拒絶反応、肺移植における拒絶反応、膵移植における拒絶反応、小腸移植における拒絶反応。
２）．　骨髄移植における拒絶反応及び骨髄移植における移植片対宿主病の抑制。
３）．　重症筋無力症。
４）．　関節リウマチ（既存治療で効果不十分な場合に限る）。
５）．　ループス腎炎（ステロイド剤の投与が効果不十分、又は副作用により困難な場合）。
６）．　難治性＜ステロイド抵抗性＞の活動期潰瘍性大腸炎＜中等症～重症に限る＞、難治性＜ステロイド依存性＞の活動期潰瘍性大腸炎＜中等症～重症に限る＞。
７）．　多発性筋炎に合併する間質性肺炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎。
８）．　細胞移植に伴う免疫反応の抑制。
【用】〈腎移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与し、以後、徐々に減量する。維持量は１回０．０６ｍｇ／ｋｇ、１日２回経口投与を標準とするが、症状に応じて適宜増減する。
〈肝移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量し、維持量は１日量０．１０ｍｇ／ｋｇを標準とするが、症状に応じて適宜増減する。
〈心移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．０３～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。また、拒絶反応発現後に本剤の投与を開始する場合には、通常、タクロリムスとして１回０．０７５～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、症状に応じて適宜増減し、安定した状態が得られた後には、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈肺移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．０５～０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、症状に応じて適宜増減し、安定した状態が得られた後には、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈膵移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈小腸移植の場合〉通常、初期にはタクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。以後、徐々に減量して有効最少量で維持する。
〈骨髄移植の場合〉通常、移植１日前よりタクロリムスとして１回０．０６ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。移植初期にはタクロリムスとして１回０．０６ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与し、以後、徐々に減量する。また、移植片対宿主病発現後に本剤の投与を開始する場合には、通常、タクロリムスとして１回０．１５ｍｇ／ｋｇを１日２回経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
なお、本剤の経口投与時の吸収は一定しておらず、患者により個人差があるので、血中濃度の高い場合の副作用並びに血中濃度が低い場合の拒絶反応及び移植片対宿主病の発現を防ぐため、患者の状況に応じて血中濃度を測定し、トラフレベル（ｔｒｏｕｇｈ　ｌｅｖｅｌ）の血中濃度を参考にして投与量を調節すること。特に移植直後あるいは投与開始直後は頻回に血中濃度測定を行うことが望ましい。なお、血中トラフ濃度が２０ｎｇ／ｍＬを超える期間が長い場合、副作用が発現しやすくなるので注意すること。
〈重症筋無力症の場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。
〈関節リウマチの場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。なお、高齢者には１．５ｍｇを１日１回夕食後経口投与から開始し、症状により１日１回３ｍｇまで増量できる。
〈ループス腎炎の場合〉通常、成人にはタクロリムスとして３ｍｇを１日１回夕食後に経口投与する。
〈潰瘍性大腸炎の場合〉通常、成人には、初期にはタクロリムスとして１回０．０２５ｍｇ／ｋｇを１日２回朝食後及び夕食後に経口投与する。潰瘍

性大腸炎の場合、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与開始後２週間、目標血中トラフ濃度を１０～１５ｎｇ／ｍＬとし、投与量を調節し、投与開始後２週以降は、目標血中トラフ濃度を５～１０ｎｇ／ｍＬとし投与量を調節する。
〈多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の場合〉通常、成人には、初期にはタクロリムスとして１回０．０３７５ｍｇ／ｋｇを１日２回朝食後及び夕食後に経口投与する。多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の場合、血中トラフ濃度をモニタリングしながら投与開始後、目標血中トラフ濃度を５～１０ｎｇ／ｍＬとし、投与量を調節する。
〈細胞移植に伴う免疫反応の抑制の場合〉ラグネプロセルの移植前後に投与する場合には、ラグネプロセルの用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。
【保管】室温保存。

ヘルニコア椎間板注用１．２５単位　Hernicore　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ヘルニコア椎間板注用１．２５単位
規格:１．２５単位１瓶　薬価:83189.00　製造:生化学　剤型:注射用　YJ:3999447D1020　院内コード:301020
成分:コンドリアーゼ,
【効】保存療法で十分な改善が得られない後縦靱帯下脱出型の腰椎椎間板ヘルニア。
【用】通常、成人にはコンドリアーゼとして１．２５単位を症状の原因である高位の椎間板内に単回投与する。
【保管】２～８℃保存。

ボナロン経口ゼリー３５ｍｇ　Bonalon　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ボナロン経口ゼリー３５ｍｇ
規格:３５ｍｇ１包　薬価:494.50　製造:帝人ファーマ　剤型:ゼリー　YJ:3999018Q1022　院内コード:202715
成分:アレンドロン酸ナトリウム水和物,
【効】骨粗鬆症。
【用】通常、成人にはアレンドロン酸として３５ｍｇを１週間に１回、朝起床時に水約１８０ｍＬとともに経口投与する。
なお、服用後少なくとも３０分は横にならず、飲食（水を除く）並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。
【保管】室温保存。

ボナロン錠３５ｍｇ　Bonalon　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ボナロン錠３５ｍｇ
規格:３５ｍｇ１錠　薬価:181.40　製造:帝人ファーマ　剤型:錠　YJ:3999018F2036　院内コード:200408
成分:アレンドロン酸ナトリウム水和物,
【効】骨粗鬆症。
【用】通常、成人にはアレンドロン酸として３５ｍｇを１週間に１回、朝起床時に水約１８０ｍＬとともに経口投与する。
なお、服用後少なくとも３０分は横にならず、飲食（水を除く）並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。
【保管】室温保存。

ボノテオ錠５０ｍｇ　Bonoteo　採用　(劇)　<先発品（後発品あり）>
商品名:ボノテオ錠５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:1046.90　製造:アステラス製薬　剤型:錠　YJ:3999026F2022　院内コード:202657
成分:ミノドロン酸水和物,
【効】骨粗鬆症。
【用】通常、成人にはミノドロン酸水和物として５０ｍｇを４週に１回、起床時に十分量（約１８０ｍＬ）の水（又はぬるま湯）とともに経口投与する。
なお、服用後少なくとも３０分は横にならず、飲食（水を除く）並びに他の薬剤の経口摂取も避けること。
【保管】室温保存。

ミラクリッド注射液１０万単位【１００，０００単位２ｍＬ１管】　Miraclid　採用　(生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミラクリッド注射液１０万単位
規格:１００，０００単位２ｍＬ１管　薬価:1393.00　製造:持田製薬　剤型:注射液　YJ:3999405A3073　院内コード:300150
成分:ウリナスタチン,
【効】１）．　急性膵炎（外傷性急性膵炎、術後急性膵炎及びＥＲＣＰ後急性膵炎を含む）、慢性再発性膵炎の急性増悪期。
２）．　急性循環不全（出血性ショック、細菌性ショック、外傷性ショック、熱傷性ショック）。
【用】〈急性膵炎、慢性再発性膵炎の急性増悪期〉通常、成人には初期投与量として１回２５０００～５００００単位を５００ｍＬの輸液で希釈し、１回当たり１～２時間かけて１日１～３回点滴静注する。以後は症状の消退に応じて減量する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈急性循環不全〉通常、成人には１回１００００００単位を５００ｍＬの輸液で希釈し、１回当たり１～２時間かけて１日１～３回点滴静注するか、又は、１回１００００００単位を１日１～３回緩徐に静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ミラクリッド注射液５万単位【５０，０００単位１ｍＬ１管】　Miraclid　採用　(生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミラクリッド注射液５万単位
規格:５０，０００単位１ｍＬ１管　薬価:790.00　製造:持田製薬　剤型:注射液　YJ:3999405A2077　院内コード:300334
成分:ウリナスタチン,
【効】１）．　急性膵炎（外傷性急性膵炎、術後急性膵炎及びＥＲＣＰ後急性膵炎を含む）、慢性再発性膵炎の急性増悪期。
２）．　急性循環不全（出血性ショック、細菌性ショック、外傷性ショック、熱傷性ショック）。
【用】〈急性膵炎、慢性再発性膵炎の急性増悪期〉通常、成人には初期投与量として１回２５０００～５００００単位を５００ｍＬの輸液で希釈し、１回当たり１～２時間かけて１日１～３回点滴静注する。以後は症状の消退に応じて減量する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈急性循環不全〉通常、成人には１回１００００００単位を５００ｍＬの輸液で希釈し、１回当たり１～２時間かけて１日１～３回点滴静注するか、又は、１回１００００００単位を１日１～３回緩徐に静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ミルセラ注シリンジ１００μｇ　Mircera　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミルセラ注シリンジ１００μｇ
規格:１００μｇ０．３ｍＬ１筒　薬価:10443.00　製造:中外製薬　剤型:キット類YJ:3999432G4029　院内コード:300742
成分:エポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え），
【効】腎性貧血。
【用】〈血液透析患者〉６．１．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回５０μｇを２週に１回静脈内投与する。
６．２．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
６．３．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
〈腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者〉６．４．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５μｇを２週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．５．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．６．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
【保管】２～８℃保存。

ミルセラ注シリンジ２５μｇ　Mircera　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミルセラ注シリンジ２５μｇ
規格:２５μｇ０．３ｍＬ１筒　薬価:3959.00　製造:中外製薬　剤型:キット類YJ:3999432G1020　院内コード:300718
成分:エポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え），
【効】腎性貧血。
【用】〈血液透析患者〉６．１．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回５０μｇを２週に１回静脈内投与する。
６．２．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
６．３．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
〈腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者〉６．４．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５μｇを２週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．５．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．６．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
【保管】２～８℃保存。

ミルセラ注シリンジ５０μｇ　Mircera　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミルセラ注シリンジ５０μｇ
規格:５０μｇ０．３ｍＬ１筒　薬価:6606.00　製造:中外製薬　剤型:キット類YJ:3999432G2026　院内コード:300741
成分:エポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え），
【効】腎性貧血。
【用】〈血液透析患者〉６．１．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回５０μｇを２週に１回静脈内投与する。
６．２．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
６．３．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
〈腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者〉６．４．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５μｇを２週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．５．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．６．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
【保管】２～８℃保存。

ミルセラ注シリンジ７５μｇ　Mircera　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミルセラ注シリンジ７５μｇ
規格:７５μｇ０．３ｍＬ１筒　薬価:9012.00　製造:中外製薬　剤型:キット類YJ:3999432G3022　院内コード:301025
成分:エポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）,
【効】腎性貧血。
【用】〈血液透析患者〉６．１．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回５０μｇを２週に１回静脈内投与する。
６．２．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
６．３．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
〈腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者〉６．４．　初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５μｇを２週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．５．　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回１００μｇ又は１５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
６．６．　維持用量貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはエポエチン　ベータ　ペゴル（遺伝子組換え）として、１回２５～２５０μｇを４週に１回皮下又は静脈内投与する。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回２５０μｇとする。
【保管】２～８℃保存。

メトトレキサート錠２ｍｇ「ﾀﾅﾍﾞ」(ﾘｳﾏﾄﾚｯｸｽ)　Methotrexate　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]リウマトレックスカプセル２ｍｇ
商品名:メトトレキサート錠２ｍｇ「タナベ」
規格:２ｍｇ１錠　薬価:59.40　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:3999016F1030　院内コード:202658
成分:メトトレキサート,
【効】１）．　関節リウマチ。
２）．　局所療法で効果不十分な尋常性乾癬。
３）．　乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症。
４）．　関節症状を伴う若年性特発性関節炎。
【用】〈関節リウマチ、局所療法で効果不十分な尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症〉通常、１週間単位の投与量をメトトレキサートとして６ｍｇとし、１週間単位の投与量を１回又は２～３回に分割して経口投与する。分割して投与する場合、初日から２日目にかけて１２時間間隔で投与する。１回又は２回分割投与の場合は残りの６日間、３回分割投与の場合は残りの５日間は休薬する。これを１週間ごとに繰り返す。
なお、患者の年齢、症状、忍容性及び本剤に対する反応等に応じて適宜増減するが、１週間単位の投与量として１６ｍｇを超えないようにする。
〈関節症状を伴う若年性特発性関節炎〉通常、１週間単位の投与量をメトトレキサートとして４～１０ｍｇ／㎡とし、１週間単位の投与量を１回又は２～３回に分割して経口投与する。分割して投与する場合、初日から２日目にかけて１２時間間隔で投与する。１回又は２回分割投与の場合は残りの６日間、３回分割投与の場合は残りの５日間は休薬する。これを１週間ごとに繰り返す。
なお、患者の年齢、症状、忍容性及び本剤に対する反応等に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ラクツロースシロップ６５％「ＮＩＧ」　Lactulose　採用　<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]モニラック・シロップ６５％
商品名:ラクツロースシロップ６５％「ＮＩＧ」
規格:６５％１ｍＬ　薬価:7.10　製造:日医工岐阜工場　剤型:シロップYJ:3999001Q2104　院内コード:203531
成分:ラクツロース,
【効】１）．　高アンモニア血症に伴う次記症候の改善：精神神経障害、手指振戦、脳波異常。
２）．　産婦人科術後の排ガスの促進・排便の促進。
３）．　小児における便秘の改善。
【用】〈高アンモニア血症に伴う症候の改善及び産婦人科術後の排ガス・排便の促進〉通常、成人１日量３０～６０ｍＬを高アンモニア血症の場合３回、産婦人科術後の排ガス・排便の目的には朝夕２回に分けて経口投与する。
年齢、症状により適宜増減する。
〈小児における便秘の改善〉小児便秘症の場合、通常１日０．５～２ｍＬ／ｋｇを３回に分けて経口投与する。
投与量は便性状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ランマークＨＩ皮下注１２０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ　Ranmark HI　採用　(劇生)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ランマークＨＩ皮下注１２０ｍｇシリンジ１．０ｍＬ
規格:１２０ｍｇ１ｍＬ１筒　薬価:44390.00　製造:第一三共　剤型:キット類YJ:3999435G2020　院内コード:301357
成分:デノスマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変。
２）．　骨巨細胞腫。
【用】〈多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変〉通常、成人にはデノスマブ（遺伝子組換え）として１２０ｍｇを４週間に１回、皮下投与する。
〈骨巨細胞腫〉通常、デノスマブ（遺伝子組換え）として１２０ｍｇを第１日、第８日、第１５日、第２９日、その後は４週間に１回、皮下投与する。
【保管】凍結を避け２～８℃で保存。

リクラスト点滴静注液バッグ(5mg/100mL)　Reclast　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>

商品名:リクラスト点滴静注液５ｍｇ
規格:５ｍｇ１００ｍＬ１袋　薬価:32028.00　製造:旭化成セラピューティクス　剤型:注射液　YJ:3999423A5023　院内コード:301170
成分:ゾレドロン酸水和物,
【効】骨粗鬆症。
【用】通常、成人には１年に１回ゾレドロン酸として５ｍｇを１５分以上かけて点滴静脈内投与する。
【保管】室温保存。

レボカルニチンＦＦ錠２５０ｍｇ「トーワ」　Levocarnitine FF TOWA　採用　Hi
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エルカルチンＦＦ錠２５０ｍｇ
商品名:レボカルニチンＦＦ錠２５０ｍｇ「トーワ」
規格:２５０ｍｇ１錠　薬価:73.00　製造:東和薬品　剤型:錠　YJ:3999033F2030　院内コード:203485
成分:レボカルニチン,
【効】カルニチン欠乏症。
【用】通常、成人には、レボカルニチンとして、１日１．５～３ｇを３回に分割経口投与する。
なお、患者の状態に応じて適宜増減する。
通常、小児には、レボカルニチンとして、１日体重１ｋｇあたり２５～１００ｍｇを３回に分割経口投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

注射用エラスポール１００　Elaspol　採用
<先発品（後発品あり）>
商品名:注射用エラスポール１００
規格:１００ｍｇ１瓶　薬価:2938.00　製造:丸石製薬　剤型:注射用　YJ:3999422D1020　院内コード:300155
成分:シベレスタットナトリウム水和物,
【効】全身性炎症反応症候群に伴う急性肺障害の改善。
【用】通常、本剤を生理食塩液に溶解した後、１日量（シベレスタットナトリウム水和物として４．８ｍｇ／ｋｇ）を２５０～５００ｍＬの輸液で希釈し、２４時間（１時間当たり０．２ｍｇ／ｋｇ）かけて静脈内に持続投与する。投与期間は１４日以内とする。
【保管】室温保存。

注射用フサン５０ｍｇ　Futhan　採用　(劇)
商品名:注射用フサン５０
規格:５０ｍｇ１瓶　薬価:715.00　製造:日医工　剤型:注射用　YJ:3999407D2021　院内コード:300151
成分:ナファモスタットメシル酸塩,
【効】１）．　汎発性血管内血液凝固症（ＤＩＣ）。
２）．　出血性病変又は出血傾向を有する患者の血液体外循環時の灌流血液の凝固防止（血液透析及びプラスマフェレーシス）。
【用】〈汎発性血管内血液凝固症（ＤＩＣ）〉通常、１日量を５％ブドウ糖注射液１０００ｍＬに溶解し、ナファモスタットメシル酸塩として毎時０．０６～０．２０ｍｇ／ｋｇを２４時間かけて静脈内に持続注入する。
〈出血性病変又は出血傾向を有する患者の血液体外循環時の灌流血液の凝固防止〉通常、体外循環開始に先だち、ナファモスタットメシル酸塩として２０ｍｇを生理食塩液５００ｍＬに溶解した液で血液回路内の洗浄・充てんを行い、体外循環開始後は、ナファモスタットメシル酸塩として毎時２０～５０ｍｇを５％ブドウ糖注射液に溶解し、抗凝固剤注入ラインより持続注入する。
なお、症状に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

ｴﾎﾟｴﾁﾝｱﾙﾌｧBS注3000ｼﾘﾝｼﾞ「JCR」(ｴﾎﾟｼﾞﾝ3000)　Epoetin alfa BS JCR　採用　(劇生)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エスポー皮下用２４０００シリンジ
商品名:エポエチンアルファＢＳ注３０００シリンジ「ＪＣＲ」
規格:３，０００国際単位２ｍＬ１筒　薬価:845.00　製造:ＪＣＲファーマ　剤型:キット類YJ:3999427G3021　院内コード:300804
成分:エポエチン　カッパ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　透析施行中の腎性貧血。
２）．　未熟児貧血。
【用】〈透析施行中の腎性貧血〉投与初期は、エポエチンアルファ（遺伝子組換え）［後続１］として、通常、成人、１回３０００国際単位を週３回、できるだけ緩徐に静脈内投与する。
貧血改善効果が得られたら、維持量として、通常、成人、１回１５００国際単位を週２～３回、あるいは１回３０００国際単位を週２回投与する。
貧血改善効果の目標値はヘモグロビン濃度で１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）前後とする。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、維持量での最高投与量は、１回３０００国際単位、週３回投与とする。
〈未熟児貧血〉通常、エポエチンアルファ（遺伝子組換え）［後続１］として、１回２００国際単位／ｋｇを週２回皮下投与する。
ただし、未熟児早期貧血期を脱し、ヘモグロビン濃度が１０ｇ／ｄＬ（ヘマトクリット値で３０％）前後で臨床症状が安定したと考えられる場合は投与を中止すること。
なお、貧血症状の程度により適宜増減する。
【保管】２～８℃、禁凍結保存。

ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩注射用100mg(ｴﾌｵｰﾜｲ)　Gabexate mesilate　採用　(劇)
商品名:ガベキサートメシル酸塩注射用１００ｍｇ「サワイ」
規格:１００ｍｇ１瓶　薬価:179.00　製造:沢井製薬　剤型:注射用　YJ:3999403D1280　院内コード:300679
成分:ガベキサートメシル酸塩,
【効】１）．　蛋白分解酵素＜トリプシン、カリクレイン、プラスミン等＞逸脱を伴う次記疾患：急性膵炎、慢性再発性膵炎の急性増悪期、術後の急性膵炎。
２）．　汎発性血管内血液凝固症。

【用】〈膵炎〉通常、１回１バイアル（ガベキサートメシル酸塩として１００mg）を５%ブドウ糖注射液又はリンゲル液を用いて溶かし、全量５００mLとするか、もしくはあらかじめ注射用水５mLを用いて溶かし、この溶液を５%ブドウ糖注射液又はリンゲル液５００mLに混和して、８mL／分以下で点滴静注する。
（１）．　原則として、初期投与量は１日量１～３バイアル（溶解液５００～１５００mL）とし、以後は症状の消退に応じ減量するが、症状によっては同日中にさらに１～３バイアル（溶解液５００～１５００mL）を追加して、点滴静注することができる。
（２）．　症状に応じ適宜増減。
〈汎発性血管内血液凝固症〉通常、成人１日量ガベキサートメシル酸塩として２０～３９mg／ｋｇの範囲内で２４時間かけて静脈内に持続投与する。
【保管】室温保存。

ｶﾞﾍﾞｷｻｰﾄﾒｼﾙ酸塩注射用500mg（ｴﾌｵｰﾜｲ）　Gabexate mesilate　採用　(劇)

商品名:ガベキサートメシル酸塩注射用５００mg「サワイ」
規格:５００mg１瓶　薬価:483.00　製造:沢井製薬　剤型:注射用　YJ:3999403D2090　院内コード:300680
成分:ガベキサートメシル酸塩,
【効】汎発性血管内血液凝固症。
【用】通常成人１日量ガベキサートメシル酸塩として２０～３９mg／ｋｇの範囲内で２４時間かけて静脈内に持続投与する。
【保管】室温保存。

ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注10μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ10)　Darbepoetin alfa KKF　採用　(劇生)　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ネスプ注射液１０μｇプラシリンジ

商品名:ダルベポエチンアルファ注１０μｇシリンジ「ＫＫＦ」
規格:１０μｇ０．５mL１筒　薬価:720.00　製造:協和キリンフロンティア　剤型:キット類YJ:3999425S5036　院内コード:301043
成分:ダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　腎性貧血。
２）．　骨髄異形成症候群に伴う貧血。
３）．　ベルズチファン投与に伴う貧血。
【用】〈腎性貧血〉６．１．　血液透析患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２０μｇを静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回０．３３μｇ／ｋｇ（最高２０μｇ）を静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回３０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回１０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
６．２．　腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回０．５μｇ／ｋｇ（最高３０μｇ）を皮下又は静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回１０～６０μｇを皮下又は静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回６０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回５～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回１０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
〈骨髄異形成症候群に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２４０μｇを皮下投与する。なお、貧血症状の程度、年齢等により適宜減量する。
〈ベルズチファン投与に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、１回３６０μｇを３週間以上の間隔をあけて皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注20μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ20)　Darbepoetin alfa KKF　採用　(劇生)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ネスプ注射液２０μｇプラシリンジ

商品名:ダルベポエチンアルファ注２０μｇシリンジ「ＫＫＦ」
規格:２０μｇ０．５mL１筒　薬価:1260.00　製造:協和キリンフロンティア　剤型:キット類YJ:3999425S7039　院内コード:301044
成分:ダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　腎性貧血。
２）．　骨髄異形成症候群に伴う貧血。
３）．　ベルズチファン投与に伴う貧血。
【用】〈腎性貧血〉６．１．　血液透析患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２０μｇ

を静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回０．３３μｇ／ｋｇ（最高２０μｇ）を静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回３０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回１０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
６．２．　腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回０．５μｇ／ｋｇ（最高３０μｇ）を皮下又は静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回１０～６０μｇを皮下又は静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回６０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回５～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回１０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
〈骨髄異形成症候群に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２４０μｇを皮下投与する。なお、貧血症状の程度、年齢等により適宜減量する。
〈ベルズチファン投与に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、１回３６０μｇを３週間以上の間隔をあけて皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注30μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」　Darbepoetin alfa KKF　採用　(劇生)　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ネスプ注射液３０μｇプラシリンジ

商品名:ダルベポエチンアルファ注３０μｇシリンジ「ＫＫＦ」
規格:３０μｇ０．５ｍＬ１筒　薬価:1848.00　製造:協和キリンフロンティア　剤型:キット類YJ:3999425S8035　院内コード:301057
成分:ダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　腎性貧血。
２）．　骨髄異形成症候群に伴う貧血。
３）．　ベルズチファン投与に伴う貧血。
【用】〈腎性貧血〉６．１．　血液透析患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２０μｇを静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回０．３３μｇ／ｋｇ（最高２０μｇ）を静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回３０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回１０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
６．２．　腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回０．５μｇ／ｋｇ（最高３０μｇ）を皮下又は静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回１０～６０μｇを皮下又は静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回６０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回５～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回１０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
〈骨髄異形成症候群に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２４０μｇを皮下投与する。なお、貧血症状の程度、年齢等により適宜減量する。
〈ベルズチファン投与に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、１回３６０μｇを３週間以上の間隔をあけて

皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注40μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ40)　Darbepoetin alfa KKF　採用　(劇生)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ネスプ注射液４０μｇプラシリンジ
商品名:ダルベポエチンアルファ注４０μｇシリンジ「ＫＫＦ」
規格:４０μｇ０．５ｍＬ１筒　薬価:2207.00　製造:協和キリンフロンティア　剤型:キット類YJ:3999425S9031　院内コード:301045
成分:ダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　腎性貧血。
２）．　骨髄異形成症候群に伴う貧血。
３）．　ベルズチファン投与に伴う貧血。
【用】〈腎性貧血〉６．１．　血液透析患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２０μｇを静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回０．３３μｇ／ｋｇ（最高２０μｇ）を静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回３０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回１０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
６．２．　腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回０．５μｇ／ｋｇ（最高３０μｇ）を皮下又は静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回１０～６０μｇを皮下又は静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回６０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回５～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回１０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
〈骨髄異形成症候群に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２４０μｇを皮下投与する。なお、貧血症状の程度、年齢等により適宜減量する。
〈ベルズチファン投与に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、１回３６０μｇを３週間以上の間隔をあけて皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

ﾀﾞﾙﾍﾞﾎﾟｴﾁﾝ ｱﾙﾌｧ注60μｇｼﾘﾝｼﾞ「KKF」(ﾈｽﾌﾟ60)　Darbepoetin alfa KKF　採用　(劇生)　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ネスプ注射液６０μｇプラシリンジ
商品名:ダルベポエチンアルファ注６０μｇシリンジ「ＫＫＦ」
規格:６０μｇ０．５ｍＬ１筒　薬価:3188.00　製造:協和キリンフロンティア　剤型:キット類YJ:3999425U1031　院内コード:301046
成分:ダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　腎性貧血。
２）．　骨髄異形成症候群に伴う貧血。
３）．　ベルズチファン投与に伴う貧血。
【用】〈腎性貧血〉６．１．　血液透析患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２０μｇを静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回０．３３μｇ／ｋｇ（最高２０μｇ）を静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回１５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回３０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回５～６０μｇを静脈内投与する。週１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、２週に１回投与に変更し、２週に１回１０～１２０μｇを静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
６．２．　腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者・　初回用量成人：通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回０．５μｇ／ｋｇ（最高３０μｇ）を皮下又は静脈内投与する。
・　エリスロポエチン（エポエチン　アルファ（遺伝子組換え）、エポエチン　ベータ（遺伝子組換え）等）製剤からの切替え初回用量成人：通常、

成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。
小児：通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回１０～６０μｇを皮下又は静脈内投与する。
・　維持用量成人：貧血改善効果が得られたら、通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回３０～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回６０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
小児：貧血改善効果が得られたら、通常、小児にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、２週に１回５～１２０μｇを皮下又は静脈内投与する。２週に１回投与で貧血改善が維持されている場合には、その時点での１回の投与量の２倍量を開始用量として、４週に１回投与に変更し、４週に１回１０～１８０μｇを皮下又は静脈内投与することができる。
なお、いずれの場合も貧血症状の程度、年齢等により適宜増減するが、最高投与量は、１回１８０μｇとする。
〈骨髄異形成症候群に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、週１回２４０μｇを皮下投与する。なお、貧血症状の程度、年齢等により適宜減量する。
〈ベルズチファン投与に伴う貧血〉通常、成人にはダルベポエチン　アルファ（遺伝子組換え）として、１回３６０μｇを３週間以上の間隔をあけて皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

レボカルニチン静注1000mgシリンジ「ニプロ」（エルカルチン）　Levocarnitine FF　採用　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]エルカルチンＦＦ静注１０００ｍｇシリンジ
商品名:レボカルニチンＦＦ静注１０００ｍｇシリンジ「ニプロ」
規格:１，０００ｍｇ５ｍＬ１筒　薬価:341.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:3999436G1044　院内コード:301153
成分:レボカルニチン,
【効】カルニチン欠乏症。
【用】通常、レボカルニチンとして１回体重１ｋｇあたり５０ｍｇを３～６時間ごとに、緩徐に静注（２～３分）又は点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、１日の最大投与量は体重１ｋｇあたり３００ｍｇとする。
血液透析に伴うカルニチン欠乏症に対しては、通常、レボカルニチンとして体重１ｋｇあたり１０～２０ｍｇを透析終了時に、透析回路静脈側に注入（静注）する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

4:組織細胞機能用医薬品

42:腫瘍用薬

421:アルキル化剤

4211:クロルエチルアミン系製剤

注射用エンドキサン 500mg/V　Endoxan　採用　(劇)　Hi
商品名:注射用エンドキサン５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１瓶　薬価:1500.00　製造:塩野義製薬　剤型:注射用　YJ:4211401D2021　院内コード:300340
成分:シクロホスファミド水和物,
【効】１）．　次記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：多発性骨髄腫、悪性リンパ腫、肺癌、乳癌、急性白血病、真性多血症、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、神経腫瘍（神経芽腫、網膜芽腫）、骨腫瘍。
ただし、次記の疾患については、他の抗悪性腫瘍剤と併用することが必要である［慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、咽頭癌、胃癌、膵癌、肝癌、結腸癌、睾丸腫瘍、絨毛性疾患（絨毛癌、破壊胞状奇胎、胞状奇胎）、横紋筋肉腫、悪性黒色腫の自覚的並びに他覚的症状の緩解］。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：乳癌＜手術可能例における術前あるいは術後化学療法＞。
３）．　褐色細胞腫。
４）．　次記疾患における造血幹細胞移植の前治療：急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、重症再生不良性貧血、悪性リンパ腫、遺伝性疾患（免疫不全、先天性代謝障害及び先天性血液疾患：Ｆａｎｃｏｎｉ貧血、Ｗｉｓｋｏｔｔ－Ａｌｄｒｉｃｈ症候群、Ｈｕｎｔｅｒ病等）。
５）．　造血幹細胞移植における移植片対宿主病の抑制。
６）．　腫瘍特異的Ｔ細胞輸注療法の前処置。
７）．　全身性ＡＬアミロイドーシス。
８）．　治療抵抗性の次記リウマチ性疾患：治療抵抗性全身性エリテマトーデス、治療抵抗性全身性血管炎（治療抵抗性顕微鏡的多発血管炎、治療抵抗性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性結節性多発動脈炎、治療抵抗性好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、治療抵抗性高安動脈炎等）、治療抵抗性多発性筋炎／治療抵抗性皮膚筋炎、治療抵抗性強皮症、治療抵抗性混合性結合組織病、及び血管炎を伴う治療抵抗性難治性リウマチ性疾患。
【用】〈自覚的並びに他覚的症状の緩解〉（１）．　単独で使用する場合通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として１日１回１００ｍｇを連日静脈内に注射し、患者が耐えられる場合は１日量を２００ｍｇに増量する。
総量３０００～８０００ｍｇを投与するが、効果が認められたときは、できる限り長期間持続する。白血球数が減少してきた場合は、２～３日おきに投与し、正常の１／２以下に減少したときは、一時休薬し、回復を待って再び継続投与する。
間欠的には、通常成人３００～５００ｍｇを週１～２回静脈内に注射する。
必要に応じて筋肉内、胸腔内、腹腔内又は腫瘍内に注射又は注入する。
また、病巣部を灌流する主幹動脈内に１日量２００～１０００ｍｇを急速に、あるいは、持続的に点滴注入するか、体外循環を利用して１回１０００～２０００ｍｇを局所灌流により投与してもよい。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合単独で使用する場合に準じ、適宜減量する。
悪性リンパ腫に用いる場合、通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として１日１回７５０ｍｇ／㎡（体表面積）を間欠的に静脈内投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈乳癌（手術可能例における術前、あるいは術後化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉（１）．　ドキソルビシン塩酸塩との併用において、標準的なシクロホスファミドの投与量及び投与方法は、シクロホスファミド（無水物換算）として１日１回６００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内投与後、１３日間又は２０日間休薬する。これを１クールとし、４クール繰り返す。

なお、年齢、症状により適宜減量する。
（２）．　エピルビシン塩酸塩との併用において、標準的なシクロホスファミドの投与量及び投与方法は、シクロホスファミド（無水物換算）として１日１回６００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内投与後、２０日間休薬する。これを１クールとし、４～６クール繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
（３）．　エピルビシン塩酸塩、フルオロウラシルとの併用において、標準的なシクロホスファミドの投与量及び投与方法は、シクロホスファミド（無水物換算）として１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内投与後、２０日間休薬する。これを１クールとし、４～６クール繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈褐色細胞腫〉ビンクリスチン硫酸塩、ダカルバジンとの併用において、通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として１日１回７５０ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内投与後、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
〈造血幹細胞移植の前治療〉（１）．　急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群の場合通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として、１日１回６０ｍｇ／ｋｇを２～３時間かけて点滴静注し、連日２日間投与する。
（２）．　重症再生不良性貧血の場合通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として、１日１回５０ｍｇ／ｋｇを２～３時間かけて点滴静注し、連日４日間投与する。
（３）．　悪性リンパ腫の場合通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として、１日１回５０ｍｇ／ｋｇを２～３時間かけて点滴静注し、連日４日間投与する。
患者の状態、併用する薬剤により適宜減量すること。
（４）．　遺伝性疾患（免疫不全、先天性代謝障害及び先天性血液疾患：Ｗｉｓｋｏｔｔ－Ａｌｄｒｉｃｈ症候群、Ｈｕｎｔｅｒ病等）の場合通常、シクロホスファミド（無水物換算）として、１日１回５０ｍｇ／ｋｇを２～３時間かけて点滴静注し、連日４日間又は１日１回６０ｍｇ／ｋｇを２～３時間かけて点滴静注し、連日２日間投与するが、疾患及び患者の状態により適宜減量する。
Ｆａｎｃｏｎｉ貧血に投与する場合には、細胞の脆弱性により、移植関連毒性の程度が高くなるとの報告があるので、総投与量４０ｍｇ／ｋｇ（５～１０ｍｇ／ｋｇを４日間）を超えないこと。
〈造血幹細胞移植における移植片対宿主病の抑制〉通常、シクロホスファミド（無水物換算）として、１日１回５０ｍｇ／ｋｇを２～３時間かけて点滴静注し、移植後３日目及び４日目、又は移植後３日目及び５日目の２日間投与する。
なお、患者の状態により適宜減量する。
〈腫瘍特異的Ｔ細胞輸注療法の前処置〉再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。
〈全身性ＡＬアミロイドーシス〉他の薬剤との併用において、通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として週１回３００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射する。投与量の上限は、１回量として５００ｍｇとする。
〈治療抵抗性のリウマチ性疾患〉（１）．　通常、成人にはシクロホスファミド（無水物換算）として１日１回５００～１０００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内に注射する。原則として投与間隔を４週間とする。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　通常、小児にはシクロホスファミド（無水物換算）として１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内に注射する。原則として投与間隔を４週間とする。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】２～８℃で保存。

422: 代謝拮抗剤

4223: フルオロウラシル系製剤

カペシタビン錠３００ｍｇ「サワイ」(ｾﾞﾛｰﾀﾞ)

Capecitabine 採用 (劇) Hi

<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]ゼローダ錠300mg

商品名:カペシタビン錠３００ｍｇ「サワイ」
規格:３００ｍｇ１錠　薬価:46.40　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:4223005F1030　院内コード:203294
成分:カペシタビン,
【効】１）．　手術不能又は再発乳癌。
２）．　結腸癌・直腸癌。
３）．　胃癌。
【用】手術不能又は再発乳癌にはＡ法又はＢ法を使用し、ラパチニブトシル酸塩水和物と併用する場合にはＣ法を使用する。結腸・直腸癌における補助化学療法にはＢ法を使用し、オキサリプラチンと併用する場合にはＣ法を使用する。治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌には他の抗悪性腫瘍剤との併用でＣ法又はＥ法を使用する。直腸癌における補助化学療法で放射線照射と併用する場合にはＤ法を使用する。胃癌には白金製剤との併用でＣ法を使用する。
Ａ法：体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後３０分以内に１日２回、２１日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。
これを１コースとして投与を繰り返す。
１）．　体表面積１．３１㎡未満：１回用量９００ｍｇ。
２）．　体表面積１．３１㎡以上１．６４㎡未満：１回用量１２００ｍｇ。
３）．　体表面積１．６４㎡以上：１回用量１５００ｍｇ。
Ｂ法：体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後３０分以内に１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。
これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
１）．　体表面積１．３３㎡未満：１回用量１５００ｍｇ。
２）．　体表面積１．３３㎡以上１．５７㎡未満：１回用量１８００ｍｇ。
３）．　体表面積１．５７㎡以上１．８１㎡未満：１回用量２１００ｍｇ。
４）．　体表面積１．８１㎡以上：１回用量２４００ｍｇ。
Ｃ法：体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後３０分以内に１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。
これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
１）．　体表面積１．３６㎡未満：１回用量１２００ｍｇ。
２）．　体表面積１．３６㎡以上１．６６㎡未満：１回用量１５００ｍｇ。
３）．　体表面積１．６６㎡以上１．９６㎡未満：１回用量１８００ｍｇ。
４）．　体表面積１．９６㎡以上：１回用量２１００ｍｇ。

D法：体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後３０分以内に１日２回、５日間連日経口投与し、その後２日間休薬する。
これを繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
１）．　体表面積１．３１㎡未満：１回用量９００ｍｇ。
２）．　体表面積１．３１㎡以上１．６４㎡未満：１回用量１２００ｍｇ。
３）．　体表面積１．６４㎡以上：１回用量１５００ｍｇ。
E法：体表面積にあわせて次の投与量を朝食後と夕食後３０分以内に１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。
これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
１）．　体表面積１．３１㎡未満：１回用量９００ｍｇ。
２）．　体表面積１．３１㎡以上１．６９㎡未満：１回用量１２００ｍｇ。
３）．　体表面積１．６９㎡以上２．０７㎡未満：１回用量１５００ｍｇ。
４）．　体表面積２．０７㎡以上：１回用量１８００ｍｇ。
【保管】室温保存。

フルオロウラシル注1000ｍｇ/20mL「ﾄｰﾜ」(5-FU)　Fluorouracil TOWA　採用　(劇)　Hi

商品名:フルオロウラシル注１０００ｍｇ「トーワ」
規格:１，０００ｍｇ１瓶　薬価:567.00　製造:東和薬品　剤型:注射液　YJ:4223401A3030　院内コード:300911
成分:フルオロウラシル，
【効】１）．　次記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：胃癌、肝癌、結腸癌・直腸癌、乳癌、膵癌、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌。
ただし、次記の疾患については、他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用することが必要である［食道癌、肺癌、頭頸部腫瘍の自覚的並びに他覚的症状の緩解］。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：頭頸部癌、食道癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
３）．　レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法：結腸癌・直腸癌、小腸癌、治癒切除不能な膵癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
【用】６．１．　単独で使用する場合１）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５～１５ｍｇ／ｋｇを最初の５日間連日１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。以後５～７．５ｍｇ／ｋｇを隔日に１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。
２）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５～１５ｍｇ／ｋｇを隔日に１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。
３）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５ｍｇ／ｋｇを１０～２０日間連日１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。
４）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日１０～２０ｍｇ／ｋｇを週１回静脈内に注射又は点滴静注する。
また、必要に応じて動脈内に通常、成人には１日５ｍｇ／ｋｇを適宜注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
６．２．　他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用する場合フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５～１０ｍｇ／ｋｇを他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用し、６．１の方法に準じ、又は間歇的に週１～２回用いる。
６．３．　頭頸部癌、食道癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用療法において、通常、成人にはフルオロウラシルとして１日１０００ｍｇ／㎡（体表面積）までを、４～５日間連日で持続点滴する。投与を繰り返す場合には少なくとも３週間以上の間隔をあけて投与する。本剤単独投与の場合には併用投与時に準じる。
なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
６．４．　結腸・直腸癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法１）．　通常、成人にはレボホリナートとして１回１００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２２時間かけて持続静注する。これを２日間連続して行い、２週間ごとに繰り返す。
２）．　通常、成人にはレボホリナートとして１回２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして２６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２４時間持続静注する。１週間ごとに６回繰り返した後、２週間休薬する。これを１クールとする。
３）．　通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして２４００～３０００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間持続静注する。これを２週間ごとに繰り返す。
なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
６．５．　小腸癌、治癒切除不能な膵癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして２４００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間持続静注する。これを２週間ごとに繰り返す。
なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

フルオロウラシル注　250mg/5mL「ﾄｰﾜ」(5-FU)　Fluorouracil TOWA　採用　(劇)　Hi

商品名:フルオロウラシル注２５０ｍｇ「トーワ」
規格:２５０ｍｇ１瓶　薬価:239.00　製造:東和薬品　剤型:注射液　YJ:4223401A4037　院内コード:300910
成分:フルオロウラシル，
【効】１）．　次記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：胃癌、肝癌、結腸癌・直腸癌、乳癌、膵癌、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌。
ただし、次記の疾患については、他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用することが必要である［食道癌、肺癌、頭頸部腫瘍の自覚的並びに他覚的症状の緩解］。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：頭頸部癌、食道癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
３）．　レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法：結腸癌・直腸癌、小腸癌、治癒切除不能な膵癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
【用】６．１．　単独で使用する場合１）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５～１５ｍｇ／ｋｇを最初の５日間連日１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。以後５～７．５ｍｇ／ｋｇを隔日に１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。
２）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５～１５ｍｇ／ｋｇを隔日に１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。
３）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５ｍｇ／ｋｇを１０～２０日間連日１日１回静脈内に注射又は点滴静注する。
４）．　フルオロウラシルとして、通常、成人には１日１０～２０ｍｇ／ｋｇを週１回静脈内に注射又は点滴静注する。

また、必要に応じて動脈内に通常、成人には１日５ｍｇ／ｋｇを適宜注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
６．２．　他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用する場合フルオロウラシルとして、通常、成人には１日５～１０ｍｇ／ｋｇを他の抗悪性腫瘍剤又は放射線と併用し、６．１の方法に準じ、又は間歇的に週１～２回用いる。
６．３．　頭頸部癌、食道癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用療法において、通常、成人にはフルオロウラシルとして１日１０００ｍｇ／㎡（体表面積）までを、４～５日間連日で持続点滴する。投与を繰り返す場合には少なくとも３週間以上の間隔をあけて投与する。本剤単独投与の場合には併用投与時に準じる。
なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
６．４．　結腸・直腸癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法１）．　通常、成人にはレボホリナートとして１回１００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２２時間かけて持続静注する。これを２日間連続して行い、２週間ごとに繰り返す。
２）．　通常、成人にはレボホリナートとして１回２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして２６００ｍｇ／㎡（体表面積）を２４時間持続静注する。１週間ごとに６回繰り返した後、２週間休薬する。これを１クールとする。
３）．　通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして２４００～３０００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間持続静注する。これを２週間ごとに繰り返す。
なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
６．５．　小腸癌、治癒切除不能な膵癌及び治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対するレボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法通常、成人にはレボホリナートとして１回２００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて点滴静脈内注射する。レボホリナートの点滴静脈内注射終了直後にフルオロウラシルとして４００ｍｇ／㎡（体表面積）を静脈内注射、さらにフルオロウラシルとして２４００ｍｇ／㎡（体表面積）を４６時間持続静注する。これを２週間ごとに繰り返す。
なお、年齢、患者の状態などにより適宜減量する。
【保管】２～８℃に保存。

4224: シトシン系製剤

ゲムシタビン点滴静注液１ｇ／２５ｍＬ「ＮＫ」　Gemcitabine NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ジェムザール注射用１ｇ

商品名:ゲムシタビン点滴静注液１ｇ／２５ｍＬ「ＮＫ」
規格:１ｇ２５ｍＬ１瓶　薬価:3220.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4224403A2030　院内コード:300938
成分:ゲムシタビン塩酸塩,
【効】非小細胞肺癌、膵癌、胆道癌、尿路上皮癌、手術不能又は再発乳癌、がん化学療法後に増悪した卵巣癌、再発又は難治性の悪性リンパ腫。
【用】〈膵癌、胆道癌、尿路上皮癌、がん化学療法後に増悪した卵巣癌、再発又は難治性の悪性リンパ腫〉通常、成人にはゲムシタビンとして１回１０００ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈非小細胞肺癌〉通常、成人にはゲムシタビンとして１回１０００ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。シスプラチンと併用する場合は、ゲムシタビンとして１回１２５０ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬を１コースとすることもできる。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈手術不能又は再発乳癌〉通常、成人にはゲムシタビンとして１回１２５０ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃保存。

ゲムシタビン点滴静注液２００ｍｇ／５ｍＬ「ＮＫ」　Gemcitabine NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ジェムザール注射用２００ｍｇ

商品名:ゲムシタビン点滴静注液２００ｍｇ／５ｍＬ「ＮＫ」
規格:２００ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:867.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4224403A1034　院内コード:300937
成分:ゲムシタビン塩酸塩,
【効】非小細胞肺癌、膵癌、胆道癌、尿路上皮癌、手術不能又は再発乳癌、がん化学療法後に増悪した卵巣癌、再発又は難治性の悪性リンパ腫。
【用】〈膵癌、胆道癌、尿路上皮癌、がん化学療法後に増悪した卵巣癌、再発又は難治性の悪性リンパ腫〉通常、成人にはゲムシタビンとして１回１０００ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈非小細胞肺癌〉通常、成人にはゲムシタビンとして１回１０００ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。シスプラチンと併用する場合は、ゲムシタビンとして１回１２５０ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬を１コースとすることもできる。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈手術不能又は再発乳癌〉通常、成人にはゲムシタビンとして１回１２５０ｍｇ／㎡を３０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃保存。

4229: その他の代謝拮抗剤

アリムタ注射用100mg　Alimta　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>

商品名:アリムタ注射用１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１瓶　薬価:18621.00　製造:日本イーライリリー　剤型:注射用　YJ:4229401D2026　院内コード:300818
成分:ペメトレキセドナトリウム水和物,
【効】１）．　悪性胸膜中皮腫。
２）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法。

【用】〈悪性胸膜中皮腫〉シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。
これを１コースとし、最大４コース投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

アリムタ注射用500mg Alimta 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:アリムタ注射用５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１瓶 薬価:75061.00 製造:日本イーライリリー 剤型:注射用 YJ:4229401D1020 院内コード:300819
成分:ペメトレキセドナトリウム水和物,
【効】１）． 悪性胸膜中皮腫。
２）． 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）． 扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法。
【用】〈悪性胸膜中皮腫〉シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。
これを１コースとし、最大４コース投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２０(ティーエスワン) S-1Taiho OD T20 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ティーエスワン配合顆粒Ｔ２０
商品名:エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２０
規格:２０ｍｇ１錠（テガフール相当量） 薬価:113.00 製造:岡山大鵬薬品 剤型:錠 YJ:4229101F1050 院内コード:202871
成分:オテラシルカリウム,ギメラシル,テガフール,
【効】胃癌、結腸癌・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌、ホルモン受容体陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスク乳癌における術後薬物療法。
【用】〈胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌〉胃癌にはＡ法、Ｂ法又はＣ法、結腸・直腸癌にはＡ法、Ｃ法又はＤ法、頭頸部癌にはＡ法、非小細胞肺癌にはＡ法、Ｂ法又はＣ法、手術不能又は再発乳癌にはＡ法、膵癌にはＡ法又はＣ法、胆道癌にはＡ法、Ｅ法又はＦ法を使用する。
Ａ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、２８日間連日経口投与し、その後１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。
増量は本剤の投与によると判断される臨床検査値異常（血液検査、肝・腎機能検査）及び消化器症状が発現せず、安全性に問題がなく、増量できると判断される場合に初回基準量から一段階までとし、７５ｍｇ／回を限度とする。
Ｂ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、２１日間連日経口投与し、その後１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｃ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｄ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｅ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、７日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
［Ａ法～Ｅ法における初回投与量（１回量）］１）． 体表面積１．２５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）４０ｍｇ／回。
２）． 体表面積１．２５㎡以上１．５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）５０ｍｇ／回。
３）． 体表面積１．５㎡以上：初回基準量（テガフール相当量）６０ｍｇ／回。
Ｆ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
［Ｆ法における初回投与量（１回量）］１）． 体表面積１．２５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）朝４０ｍｇ／回、夕２０ｍｇ／回。
２）． 体表面積１．２５㎡以上１．５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）４０ｍｇ／回。
３）． 体表面積１．５㎡以上：初回基準量（テガフール相当量）５０ｍｇ／回。
〈ホルモン受容体陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉内分泌療法剤との併用において、通常、成人には次の投与量を朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして最長１年間、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。初回基準量を超える増量は行わないこと。
１）． 体表面積１．２５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）４０ｍｇ／回。
２）． 体表面積１．２５㎡以上１．５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）５０ｍｇ／回。
３）． 体表面積１．５㎡以上：初回基準量（テガフール相当量）６０ｍｇ／回。
【保管】室温保存。

エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２５(ティーエスワン) S-1Taiho OD T25 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]ティーエスワン配合顆粒Ｔ２５
商品名:エスワンタイホウ配合ＯＤ錠Ｔ２５
規格:２５ｍｇ１錠（テガフール相当量） 薬価:171.20 製造:岡山大鵬薬品 剤型:錠 YJ:4229101F2057 院内コード:202872
成分:オテラシルカリウム,ギメラシル,テガフール,
【効】胃癌、結腸癌・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌、ホルモン受容体陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リス

ク乳癌における術後薬物療法。
【用】〈胃癌、結腸・直腸癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌、膵癌、胆道癌〉胃癌にはＡ法、Ｂ法又はＣ法、結腸・直腸癌にはＡ法、Ｃ法又はＤ法、頭頸部癌にはＡ法、非小細胞肺癌にはＡ法、Ｂ法又はＣ法、手術不能又は再発乳癌にはＡ法、膵癌にはＡ法又はＣ法、胆道癌にはＡ法、Ｅ法又はＦ法を使用する。
Ａ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、２８日間連日経口投与し、その後１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。
増量は本剤の投与によると判断される臨床検査値異常（血液検査、肝・腎機能検査）及び消化器症状が発現せず、安全性に問題がなく、増量できると判断される場合に初回基準量から一段階までとし、７５ｍｇ／回を限度とする。
Ｂ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、２１日間連日経口投与し、その後１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｃ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｄ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｅ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、７日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
［Ａ法～Ｅ法における初回投与量（１回量）］１）．　体表面積１．２５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）４０ｍｇ／回。
２）．　体表面積１．２５㎡以上１．５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）５０ｍｇ／回。
３）．　体表面積１．５㎡以上：初回基準量（テガフール相当量）６０ｍｇ／回。
Ｆ法：通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし、朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
［Ｆ法における初回投与量（１回量）］１）．　体表面積１．２５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）朝４０ｍｇ／回、夕２０ｍｇ／回。
２）．　体表面積１．２５㎡以上１．５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）４０ｍｇ／回。
３）．　体表面積１．５㎡以上：初回基準量（テガフール相当量）５０ｍｇ／回。
〈ホルモン受容体陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉内分泌療法剤との併用において、通常、成人には次の投与量を朝食後及び夕食後の１日２回、１４日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１コースとして最長１年間、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜増減する。初回基準量を超える増量は行わないこと。
１）．　体表面積１．２５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）４０ｍｇ／回。
２）．　体表面積１．２５㎡以上１．５㎡未満：初回基準量（テガフール相当量）５０ｍｇ／回。
３）．　体表面積１．５㎡以上：初回基準量（テガフール相当量）６０ｍｇ／回。
【保管】室温保存。

ハイドレアカプセル５００ｍｇ　Hydrea　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:ハイドレアカプセル５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１カプセル　薬価:171.90　製造:チェプラファーム　剤型:カプセルYJ:4229001M1027　院内コード:200391
成分:ヒドロキシカルバミド,
【効】１）．　慢性骨髄性白血病。
２）．　本態性血小板血症。
３）．　真性多血症。
【用】ヒドロキシカルバミドとして、通常成人１日５００～２０００ｍｇを１～３回に分けて経口投与する。寛解後の維持には１日５００～１０００ｍｇを１～２回に分けて経口投与する。
なお、血液所見、症状、年齢、体重により初回量、維持量を適宜増減する。
【保管】室温保存。

ペメトレキセド点滴静注液１００ｍｇ「ＮＫ」（ｱﾘﾑﾀ）　Pemetrexed NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>　[先発品:採用]アリムタ注射用100mg

商品名:ペメトレキセド点滴静注液１００ｍｇ「ＮＫ」
規格:１００ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:7547.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4229401A1023　院内コード:301136
成分:ペメトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物,
【効】１）．　悪性胸膜中皮腫。
２）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法。
【用】〈悪性胸膜中皮腫〉シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。
これを１コースとし、最大４コース投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

ペメトレキセド点滴静注液５００ｍｇ「ＮＫ」（ｱﾘﾑﾀ）　Pemetrexed NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>　[先発品:採用]アリムタ注射用500mg

商品名:ペメトレキセド点滴静注液５００ｍｇ「ＮＫ」
規格:５００ｍｇ２０ｍＬ１瓶　薬価:31050.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4229401A2020　院内コード:301137
成分:ペメトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物,
【効】１）．　悪性胸膜中皮腫。
２）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法。
【用】〈悪性胸膜中皮腫〉シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００ｍｇ／㎡（体表面積）を１０分間

かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００mg／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００mg／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。
これを１コースとし、最大４コース投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

ペメトレキセド点滴静注液８００mg「ＮＫ」(ｱﾘﾑﾀ)　Pemetrexed NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
商品名:ペメトレキセド点滴静注液８００mg「ＮＫ」
規格:８００mg３２mL１瓶　薬価:48141.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4229401A3026　院内コード:301138
成分:ペメトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物,
【効】１）．　悪性胸膜中皮腫。
２）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法。
【用】〈悪性胸膜中皮腫〉シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００mg／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００mg／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペメトレキセドとして、１日１回５００mg／㎡（体表面積）を１０分間かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。
これを１コースとし、最大４コース投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

ユーエフティ配合カプセルＴ１００　UFT T100　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ユーエフティ配合カプセルＴ１００
規格:１００mg１カプセル（テガフール相当量）　薬価:90.90　製造:大鵬薬品　剤型:カプセルYJ:4229100M2035　院内コード:200710
成分:ウラシル,テガフール,
【効】〈テガフール・ウラシル通常療法〉次の疾患の自覚的並びに他覚的症状の寛解：頭頸部癌、胃癌、結腸癌・直腸癌、肝臓癌、胆のう癌・胆管癌、膵臓癌、肺癌、乳癌、膀胱癌、前立腺癌、子宮頸癌。
〈ホリナート・テガフール・ウラシル療法〉結腸癌・直腸癌。
【用】〈テガフール・ウラシル通常療法〉通常、１日量として、テガフール３００～６００mg相当量を１日２～３回に分割経口投与する。
子宮頸癌については通常、１日量として、テガフール６００mg相当量を１日２～３回に分割経口投与する。
他の抗悪性腫瘍剤との併用の場合は前記に準じて投与する。
［製剤換算］１）．　１日量（通常）：テガフール３００～６００mg相当量（本剤３～６カプセル）
。
２）．　１日量（子宮頸癌の場合）：テガフール６００mg相当量（本剤６カプセル）。
〈ホリナート・テガフール・ウラシル療法〉結腸・直腸癌に対して通常、１日量として、テガフール３００～６００mg相当量（３００mg／㎡を基準）を１日３回に分けて（約８時間ごとに）、食事の前後１時間を避けて経口投与する。
ホリナートの投与量は通常、成人にはホリナートとして７５mgを、１日３回に分けて（約８時間ごとに）、テガフール・ウラシル配合剤と同時に経口投与する。
以上を２８日間連日経口投与し、その後７日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
【保管】室温保存。

423: 抗腫瘍性抗生物質製剤

4235: アントラサイクリン系抗生物質製剤

エピルビシン塩酸塩注射液50mg/25mL「NK」(ﾌｧﾙﾓﾙﾋﾞｼﾝ)　Epirubicin　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
商品名:エピルビシン塩酸塩注射液５０mg／２５mL「ＮＫ」
規格:５０mg２５mL１瓶　薬価:6741.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4235404A2047　院内コード:301314
成分:エピルビシン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：急性白血病、悪性リンパ腫、乳癌、卵巣癌、胃癌、肝癌、尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂腫瘍・尿管腫瘍）。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：乳癌＜手術可能例における術前あるいは術後化学療法＞。
【用】〈急性白血病〉エピルビシン塩酸塩として１５mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回５～７日間連日静脈内に投与し３週間休薬する。これを１クールとし、必要に応じて２～３クール反復する。
〈悪性リンパ腫〉エピルビシン塩酸塩として４０～６０mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与し３～４週休薬する。これを１クールとし、通常３～４クール反復する。
〈乳癌、卵巣癌、胃癌、尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍）〉エピルビシン塩酸塩として６０mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与し３～４週休薬する。これを１クールとし、通常３～４クール反復する。
〈肝癌〉エピルビシン塩酸塩として６０mg（力価）／㎡（体表面積）を肝動脈内に挿入されたカテーテルより、１日１回肝動脈内に投与し３～４週休薬する。これを１クールとし、通常３～４クール反復する。
〈膀胱癌（表在性膀胱癌に限る）〉エピルビシン塩酸塩として６０mg（力価）を１日１回３日間連日膀胱腔内に注入し４日間休薬する。これを１クールとし、通常２～４クール反復する。注入に際しては、ネラトンカテーテルで導尿し十分に膀胱腔内を空にした後、同カテーテルよりエピルビシン塩酸塩溶液を注入し、１～２時間膀胱腔内に把持する。
なお投与量は年齢、症状、副作用により、適宜増減する。

〈乳癌（手術可能例における術前、あるいは術後化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉・　シクロホスファミド水和物との併用において、標準的なエピルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、エピルビシン塩酸塩として１００mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与後、２０日間休薬する。これを１クールとし、通常４～６クール反復する。
・　シクロホスファミド水和物、フルオロウラシルとの併用において、標準的なエピルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、エピルビシン塩酸塩として１００mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与後、２０日間休薬する。これを１クールとし、通常４～６クール反復する。
なお、投与量は年齢、症状により適宜減量する。
【保管】２～８℃保存。

エピルビシン塩酸塩注射液10mg/5mL「NK」（ﾌｧﾙﾓﾙﾋﾞｼﾝ）　Epirubicin　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
商品名:エピルビシン塩酸塩注射液１０mg／５mL
「ＮＫ」
規格:１０mg５mL１瓶　薬価:2243.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4235404A1040　院内コード:301320
成分:エピルビシン塩酸塩,
【効】１）．　次記疾患の自覚的並びに他覚的症状の緩解：急性白血病、悪性リンパ腫、乳癌、卵巣癌、胃癌、肝癌、尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂腫瘍・尿管腫瘍）。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：乳癌＜手術可能例における術前あるいは術後化学療法＞。
【用】〈急性白血病〉エピルビシン塩酸塩として１５mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回５～７日間連日静脈内に投与し３週間休薬する。これを１クールとし、必要に応じて２～３クール反復する。
〈悪性リンパ腫〉エピルビシン塩酸塩として４０～６０mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与し３～４週休薬する。これを１クールとし、通常３～４クール反復する。
〈乳癌、卵巣癌、胃癌、尿路上皮癌（膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍）〉エピルビシン塩酸塩として６０mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与し３～４週休薬する。これを１クールとし、通常３～４クール反復する。
〈肝癌〉エピルビシン塩酸塩として６０mg（力価）／㎡（体表面積）を肝動脈内に挿入されたカテーテルより、１日１回肝動脈内に投与し３～４週休薬する。これを１クールとし、通常３～４クール反復する。
〈膀胱癌（表在性膀胱癌に限る）〉エピルビシン塩酸塩として６０mg（力価）を１日１回３日間連日膀胱腔内に注入し４日間休薬する。これを１クールとし、通常２～４クール反復する。注入に際しては、ネラトンカテーテルで導尿し十分に膀胱腔内を空にした後、同カテーテルよりエピルビシン塩酸塩溶液を注入し、１～２時間膀胱腔内に把持する。
なお投与量は年齢、症状、副作用により、適宜増減する。
〈乳癌（手術可能例における術前、あるいは術後化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉・　シクロホスファミド水和物との併用において、標準的なエピルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、エピルビシン塩酸塩として１００mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与後、２０日間休薬する。これを１クールとし、通常４～６クール反復する。
・　シクロホスファミド水和物、フルオロウラシルとの併用において、標準的なエピルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、エピルビシン塩酸塩として１００mg（力価）／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に投与後、２０日間休薬する。これを１クールとし、通常４～６クール反復する。
なお、投与量は年齢、症状により適宜減量する。
【保管】２～８℃保存。

カルセド注射用 20mg/V　Calsed　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:カルセド注射用２０mg
規格:２０mg１瓶　薬価:4409.00　製造:住友ファーマ　剤型:注射用　YJ:4235406D1020　院内コード:300580
成分:アムルビシン塩酸塩,
【効】非小細胞肺癌、小細胞肺癌。
【用】通常、成人にはアムルビシン塩酸塩として４５mg（力価）／㎡（体表面積）を約２０mLの日局生理食塩液あるいは５％ブドウ糖注射液に溶解し、１日１回３日間連日静脈内に投与し、３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

カルセド注射用 50mg/V　Calsed　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:カルセド注射用５０mg
規格:５０mg１瓶　薬価:10265.00　製造:住友ファーマ　剤型:注射用　YJ:4235406D2026　院内コード:300352
成分:アムルビシン塩酸塩,
【効】非小細胞肺癌、小細胞肺癌。
【用】通常、成人にはアムルビシン塩酸塩として４５mg（力価）／㎡（体表面積）を約２０mLの日局生理食塩液あるいは５％ブドウ糖注射液に溶解し、１日１回３日間連日静脈内に投与し、３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

ドキシル注 20mg/10mL　Doxil　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ドキシル注２０mg
規格:２０mg１０mL１瓶　薬価:50167.00　製造:バクスター・ジャパン　剤型:注射液　YJ:4235402A1025　院内コード:300348
成分:ドキソルビシン塩酸塩,
【効】１）．　がん化学療法後に増悪した卵巣癌。
２）．　エイズ関連カポジ肉腫。
【用】〈がん化学療法後に増悪した卵巣癌〉通常、成人にはドキソルビシン塩酸塩として１日１回５０mg／㎡を１mg／分の速度で静脈内投与し、その後４週間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
〈エイズ関連カポジ肉腫〉通常、成人にはドキソルビシン塩酸塩として１日１回２０mg／㎡を１mg／分の速度で静脈内投与し、その後２～３週間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃。

ドキソルビシン塩酸塩注射用10mg「NK」(ｱﾄﾞﾘｱｼﾝ)　Doxorubicin hydrochloride NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アドリアシン注用１０

商品名:ドキソルビシン塩酸塩注射用１０ｍｇ「ＮＫ」
規格:１０ｍｇ１瓶　　薬価:612.00　　製造:日本化薬　　剤型:注射用　YJ:4235402D1048　　院内コード:300865
成分:ドキソルビシン塩酸塩,
【効】１）．　ドキソルビシン塩酸塩通常療法：
①．　次記諸症の自覚的及び他覚的症状の緩解：悪性リンパ腫、肺癌、消化器癌（胃癌、胆のう癌・胆管癌、膵臓癌、肝癌、結腸癌、直腸癌等）、乳癌、膀胱腫瘍、骨肉腫。
②．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：乳癌＜手術可能例における術前あるいは術後化学療法＞、子宮体癌＜術後化学療法・転移・再発時化学療法＞、悪性骨・軟部腫瘍、悪性骨腫瘍、多発性骨髄腫、小児悪性固形腫瘍（小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児網膜芽腫、小児肝芽腫、小児腎芽腫等）。
２）．　Ｍ－ＶＡＣ療法：尿路上皮癌。
【用】〈ドキソルビシン塩酸塩通常療法〉６．１．　肺癌、消化器癌（胃癌、胆のう・胆管癌、膵臓癌、肝癌、結腸癌、直腸癌等）、乳癌、骨肉腫６．１．１．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として１０ｍｇ（０．２ｍｇ／ｋｇ）（力価）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回４～６日間連日静脈内ワンショット投与後、７～１０日間休薬する。
この方法を１クールとし、２～３クール繰り返す。
６．１．２．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０ｍｇ（０．４ｍｇ／ｋｇ）（力価）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回２～３日間静脈内にワンショット投与後、７～１０日間休薬する。
この方法を１クールとし、２～３クール繰り返す。
６．１．３．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０～３０ｍｇ（０．４～０．６ｍｇ／ｋｇ）（力価）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回、３日間連日静脈内にワンショット投与後、１８日間休薬する。
この方法を１クールとし、２～３クール繰り返す。
６．１．４．　総投与量はドキソルビシン塩酸塩として５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．２．　悪性リンパ腫６．２．１．　前記６．１．１～６．１．３に従う。
６．２．２．　他の抗悪性腫瘍剤との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、次のとおりとする。
（１）．　ドキソルビシン塩酸塩として１日１回２５～５０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を静脈内投与し、繰り返す場合には少なくとも２週間以上の間隔をあけて投与する。
（２）．　ドキソルビシン塩酸塩として、１日目は４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）、８日目は３０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を静脈内投与し、その後２０日間休薬する。
この方法を１クールとし、投与を繰り返す。
投与に際しては、日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、必要に応じて輸液により希釈する。なお、年齢、併用薬、患者の状態に応じて適宜減量する。また、ドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．３．　乳癌（手術可能例における術前、あるいは術後化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．３．１．　シクロホスファミド水和物との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として６０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回静脈内投与後、１３日間又は２０日間休薬する。
この方法を１クールとし、４クール繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．４．　子宮体癌（術後化学療法、転移・再発時化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．４．１．　シスプラチンとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として６０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回静脈内投与し、その後休薬し３週毎繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．５．　悪性骨・軟部腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．５．１．　イホスファミドとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０～３０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回３日間連続で静脈内投与し、その後休薬し３～４週毎繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
本剤単剤では６．１．３、６．１．４に従う。
６．６．　悪性骨腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．６．１．　シスプラチンとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回３日間連続で静脈内投与または点滴静注し、その後３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、疾患、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．７．　多発性骨髄腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．７．１．　ビンクリスチン硫酸塩、デキサメタゾンリン酸エステルナトリウムとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量ドキソルビシン塩酸塩として９ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、必要に応じて輸液に希釈して２４時間持続静注する。これを４日間連続で行う。その後休薬し、３～４週毎繰り返す方法を１クールとする。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．８．　小児悪性固形腫瘍（ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、網膜芽腫、肝芽腫、腎芽腫等）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．８．１．　他の抗悪性腫瘍剤との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、次のとおりとする。
（１）．　１日２０～４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を２４時間持続点滴１コース２０～８０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を２４～９６時間かけて投与し、繰り返す場合には少なくとも３週間以上の間隔をあけて投与する。１日投与量は最大４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）とする。
（２）．　１日１回２０～４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を静注または点滴静注１コース２０～８０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を投与し、繰り返す場合には少なくとも３週間以上の間隔をあけて投与する。１日投与量は最大４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）とする。
投与に際しては、日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、必要に応じて輸液により希釈する。なお、年齢、併用薬、患者の状態に応じて適宜減量する。また、ドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．９．　膀胱腫瘍６．９．１．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として３０～６０ｍｇ（力価）を２０～４０ｍＬの日局生理食塩液に１～２ｍｇ（力価）／ｍＬになるように溶解し、１日１回連日または週２～３回膀胱腔内に注入する。
また、年齢・症状に応じて適宜増減する。
（ドキソルビシン塩酸塩の膀胱腔内注入法）
ネラトンカテーテルで導尿し、十分に膀胱腔内を空にしたのち同カテーテルより、ドキソルビシン塩酸塩３０～６０ｍｇ（力価）を２０～４０ｍＬの日局生理食塩液に１～２ｍｇ（力価）／ｍＬになるように溶解して膀胱腔内に注入し、１～２時間膀胱把持する。

〈Ｍ－ＶＡＣ療法〉６．１０．　尿路上皮癌６．１０．１．　メトトレキサート、ビンブラスチン硫酸塩及びシスプラチンとの併用において、通常、ドキソルビシン塩酸塩を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、成人１回３０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を静脈内に注射する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
標準的な投与量及び投与方法は、メトトレキサート３０ｍｇ／㎡を１日目に投与した後、２日目にビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡、ドキソルビシン塩酸塩３０ｍｇ（力価）／㎡及びシスプラチン７０ｍｇ／㎡を静脈内に注射する。１５日目及び２２日目に、メトトレキサート３０ｍｇ／㎡及びビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡を静脈内に注射する。これを１クールとして４週毎に繰り返すが、ドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡以下とする。
【保管】室温保存。

ドキソルビシン塩酸塩注射用50mg「NK」(ｱﾄﾞﾘｱｼﾝ)　Doxorubicin hydrochloride NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]アドリアシン注用５０

商品名:ドキソルビシン塩酸塩注射用５０ｍｇ「ＮＫ」
規格:５０ｍｇ１瓶　薬価:2730.00　製造:日本化薬　剤型:注射用　YJ:4235402D2028　院内コード:301374
成分:ドキソルビシン塩酸塩,
【効】１）．　ドキソルビシン塩酸塩通常療法：
①．　次記諸症の自覚的及び他覚的症状の緩解：悪性リンパ腫、肺癌、消化器癌（胃癌、胆のう癌・胆管癌、膵臓癌、肝癌、結腸癌、直腸癌等）、乳癌、膀胱腫瘍、骨肉腫。
②．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：乳癌＜手術可能例における術前あるいは術後化学療法＞、子宮体癌＜術後化学療法・転移・再発時化学療法＞、悪性骨・軟部腫瘍、悪性骨腫瘍、多発性骨髄腫、小児悪性固形腫瘍（小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児網膜芽腫、小児肝芽腫、小児腎芽腫等）。
２）．　Ｍ－ＶＡＣ療法：尿路上皮癌。
【用】〈ドキソルビシン塩酸塩通常療法〉６．１．　肺癌、消化器癌（胃癌、胆のう・胆管癌、膵臓癌、肝癌、結腸癌、直腸癌等）、乳癌、骨肉腫６．１．１．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として１０ｍｇ（０．２ｍｇ／ｋｇ）（力価）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回４～６日間連日静脈内ワンショット投与後、７～１０日間休薬する。
この方法を１クールとし、２～３クール繰り返す。
６．１．２．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０ｍｇ（０．４ｍｇ／ｋｇ）（力価）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回２～３日間静脈内にワンショット投与後、７～１０日間休薬する。
この方法を１クールとし、２～３クール繰り返す。
６．１．３．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０～３０ｍｇ（０．４～０．６ｍｇ／ｋｇ）（力価）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回、３日間連日静脈内にワンショット投与後、１８日間休薬する。
この方法を１クールとし、２～３クール繰り返す。
６．１．４．　総投与量はドキソルビシン塩酸塩として５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．２．　悪性リンパ腫６．２．１．　前記６．１．１～６．１．３に従う。
６．２．２．　他の抗悪性腫瘍剤との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、次のとおりとする。
（１）．　ドキソルビシン塩酸塩として１日１回２５～５０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を静脈内投与し、繰り返す場合には少なくとも２週間以上の間隔をあけて投与する。
（２）．　ドキソルビシン塩酸塩として、１日目は４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）、８日目は３０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を静脈内投与し、その後２０日間休薬する。
この方法を１クールとし、投与を繰り返す。
投与に際しては、日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、必要に応じて輸液により希釈する。なお、年齢、併用薬、患者の状態に応じて適宜減量する。また、ドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．３．　乳癌（手術可能例における術前、あるいは術後化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．３．１．　シクロホスファミド水和物との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として６０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回静脈内投与後、１３日間又は２０日間休薬する。
この方法を１クールとし、４クール繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．４．　子宮体癌（術後化学療法、転移・再発時化学療法）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．４．１．　シスプラチンとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として６０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回静脈内投与し、その後休薬し３週毎繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．５．　悪性骨・軟部腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．５．１．　イホスファミドとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０～３０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回３日間連続で静脈内投与し、その後休薬し３～４週毎繰り返す。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
本剤単剤では６．１．３、６．１．４に従う。
６．６．　悪性骨腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．６．１．　シスプラチンとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量、ドキソルビシン塩酸塩として２０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、１日１回３日間連続で静脈内投与または点滴静注し、その後３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、疾患、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．７．　多発性骨髄腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．７．１．　ビンクリスチン硫酸塩、デキサメタゾンリン酸エステルナトリウムとの併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、１日量ドキソルビシン塩酸塩として９ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、必要に応じて輸液に希釈して２４時間持続静注する。これを４日間連続で行う。その後休薬し、３～４週毎繰り返す方法を１クールとする。
なお、年齢、症状により適宜減量する。またドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．８．　小児悪性固形腫瘍（ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、網膜芽腫、肝芽腫、腎芽腫等）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法６．８．１．　他の抗悪性腫瘍剤との併用において、標準的なドキソルビシン塩酸塩の投与量及び投与方法は、次のとおりとする。
（１）．　１日２０～４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を２４時間持続点滴１コース２０～８０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）を２４～９６時間かけて投与し、繰り返す場合には少なくとも３週間以上の間隔をあけて投与する。１日投与量は最大４０ｍｇ（力価）／㎡（体表面積）とする。

（２）．　１日１回２０～４０mg（力価）／㎡（体表面積）を静注または点滴静注１コース２０～８０mg（力価）／㎡（体表面積）を投与し、繰り返す場合には少なくとも３週間以上の間隔をあけて投与する。１日投与量は最大４０mg（力価）／㎡（体表面積）とする。
投与に際しては、日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、必要に応じて輸液により希釈する。なお、年齢、併用薬、患者の状態に応じて適宜減量する。また、ドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００mg（力価）／㎡（体表面積）以下とする。
６．９．　膀胱腫瘍６．９．１．　１日量、ドキソルビシン塩酸塩として３０～６０mg（力価）を２０～４０mLの日局生理食塩液に１～２mg（力価）／mLになるように溶解し、１日１回連日または週２～３回膀胱腔内に注入する。
また、年齢・症状に応じて適宜増減する。
（ドキソルビシン塩酸塩の膀胱腔内注入法）
ネラトンカテーテルで導尿し、十分に膀胱腔内を空にしたのち同カテーテルより、ドキソルビシン塩酸塩３０～６０mg（力価）を２０～４０mLの日局生理食塩液に１～２mg（力価）／mLになるように溶解して膀胱腔内に注入し、１～２時間膀胱把持する。
〈M－VAC療法〉６．１０．　尿路上皮癌６．１０．１．　メトトレキサート、ビンブラスチン硫酸塩及びシスプラチンとの併用において、通常、ドキソルビシン塩酸塩を日局注射用水または日局生理食塩液に溶解し、成人１回３０mg（力価）／㎡（体表面積）を静脈内に注射する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
標準的な投与量及び投与方法は、メトトレキサート３０mg／㎡を１日目に投与した後、２日目にビンブラスチン硫酸塩３mg／㎡、ドキソルビシン塩酸塩３０mg（力価）／㎡及びシスプラチン７０mg／㎡を静脈内に注射する。１５日目及び２２日目に、メトトレキサート３０mg／㎡及びビンブラスチン硫酸塩３mg／㎡を静脈内に注射する。これを１クールとして４週毎に繰り返すが、ドキソルビシン塩酸塩の総投与量は５００mg（力価）／㎡以下とする。
【保管】室温保存。

424: 抗腫瘍性植物成分製剤

4240: 抗腫瘍性植物成分製剤

アブラキサン点滴静注用100mg　Abraxane　採用　(毒特)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:アブラキサン点滴静注用１００mg
規格:１００mg１瓶　薬価:30878.00　製造:大鵬薬品　剤型:注射用　YJ:4240409D1023　院内コード:300641
成分:アルブミン,パクリタキセル,
【効】１）．　乳癌。
２）．　胃癌。
３）．　非小細胞肺癌。
４）．　治癒切除不能な膵癌。
【用】乳癌にはＡ法又はＥ法を、胃癌にはＡ法又はＤ法を、非小細胞肺癌にはＢ法を、治癒切除不能な膵癌にはＣ法を使用する。
Ａ法：
通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回２６０mg／㎡（体表面積）を３０分かけて点滴静注し、少なくとも２０日間休薬する。これを１コースとして、投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｂ法：
通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１００mg／㎡（体表面積）を３０分かけて点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週間連続し、これを１コースとして、投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｃ法：
ゲムシタビンとの併用において、通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１２５mg／㎡（体表面積）を３０分かけて点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週間連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして、投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｄ法：
通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１００mg／㎡（体表面積）を３０分かけて点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週間連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして、投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
Ｅ法：
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１００mg／㎡（体表面積）を３０分かけて点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週間連続し、４週目は休薬する。これを１コースとして、投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

イリノテカン塩酸塩点滴静注液100mg/5mL「NK」(ﾄﾎﾟﾃｼﾝ)　Irinotecan NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]カンプト点滴静注１００mg
商品名:イリノテカン塩酸塩点滴静注液１００mg「ＮＫ」
規格:１００mg５mL１瓶　薬価:2414.00　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:注射液　YJ:4240404A2055　院内コード:300860
成分:イリノテカン塩酸塩水和物,
【効】小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌＜手術不能又は再発＞、結腸癌＜手術不能又は再発＞・直腸癌＜手術不能又は再発＞、乳癌＜手術不能又は再発＞、有棘細胞癌、悪性リンパ腫（非ホジキンリンパ腫）、小児悪性固形腫瘍、治癒切除不能な膵癌。
【用】（１）．　小細胞肺癌、非小細胞肺癌、乳癌（手術不能又は再発）及び有棘細胞癌はＡ法を、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌（手術不能又は再発）及び結腸・直腸癌（手術不能又は再発）はＡ法又はＢ法を使用する。また、悪性リンパ腫（非ホジキンリンパ腫）はＣ法を、小児悪性固形腫瘍はＤ法を、治癒切除不能な膵癌はＥ法を使用する。
Ａ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、１００mg／㎡を１週間間隔で３～４回点滴静注し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｂ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、１５０mg／㎡を２週間間隔で２～３回点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｃ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、４０mg／㎡を３日間連日点滴静注する。これを１週毎に２～３回繰り返し、少な

くとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
なお、Ａ～Ｃ法の投与量は、年齢、症状により適宜増減する。
Ｄ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、１日１回、２０ｍｇ／㎡を５日間連日点滴静注する。これを１週毎に２回繰り返し、少なくとも１週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｅ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、１８０ｍｇ／㎡を点滴静注し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
なお、Ｄ法及びＥ法の投与量は、患者の状態により適宜減量する。
（２）．　Ａ法、Ｂ法及びＥ法では、本剤投与時、投与量に応じて５００ｍＬ以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、９０分以上かけて点滴静注する。Ｃ法では、本剤投与時、投与量に応じて２５０ｍＬ以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、６０分以上かけて点滴静注する。Ｄ法では、本剤投与時、投与量に応じて１００ｍＬ以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、６０分以上かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

イリノテカン塩酸塩点滴静注液40mg/2mL「NK」(ﾄﾎﾟﾃｼﾝ) Irinotecan NK 採用 (劇) Hi <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]カンプト点滴静注４０ｍｇ
商品名:イリノテカン塩酸塩点滴静注液４０ｍｇ「ＮＫ」
規格:４０ｍｇ２ｍＬ１瓶　薬価:1086.00　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:注射液　YJ:4240404A1059　院内コード:300859
成分:イリノテカン塩酸塩水和物,
【効】小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌＜手術不能又は再発＞、結腸癌＜手術不能又は再発＞・直腸癌＜手術不能又は再発＞、乳癌＜手術不能又は再発＞、有棘細胞癌、悪性リンパ腫（非ホジキンリンパ腫）、小児悪性固形腫瘍、治癒切除不能な膵癌。
【用】（１）．　小細胞肺癌、非小細胞肺癌、乳癌（手術不能又は再発）及び有棘細胞癌はＡ法を、子宮頸癌、卵巣癌、胃癌（手術不能又は再発）及び結腸・直腸癌（手術不能又は再発）はＡ法又はＢ法を使用する。また、悪性リンパ腫（非ホジキンリンパ腫）はＣ法を、小児悪性固形腫瘍はＤ法を、治癒切除不能な膵癌はＥ法を使用する。
Ａ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、１００ｍｇ／㎡を１週間間隔で３～４回点滴静注し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｂ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、１５０ｍｇ／㎡を２週間間隔で２～３回点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｃ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、４０ｍｇ／㎡を３日間連日点滴静注する。これを１週毎に２～３回繰り返し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
なお、Ａ～Ｃ法の投与量は、年齢、症状により適宜増減する。
Ｄ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、１日１回、２０ｍｇ／㎡を５日間連日点滴静注する。これを１週毎に２回繰り返し、少なくとも１週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｅ法：イリノテカン塩酸塩水和物として、通常、成人に１日１回、１８０ｍｇ／㎡を点滴静注し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
なお、Ｄ法及びＥ法の投与量は、患者の状態により適宜減量する。
（２）．　Ａ法、Ｂ法及びＥ法では、本剤投与時、投与量に応じて５００ｍＬ以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、９０分以上かけて点滴静注する。Ｃ法では、本剤投与時、投与量に応じて２５０ｍＬ以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、６０分以上かけて点滴静注する。Ｄ法では、本剤投与時、投与量に応じて１００ｍＬ以上の生理食塩液、ブドウ糖液又は電解質維持液に混和し、６０分以上かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

ナベルビン注 10mg/1mL 採用 (毒) Hi
商品名:ナベルビン注１０
規格:１０ｍｇ１ｍＬ１瓶　薬価:3275.00　製造:協和キリン　剤型:注射液　YJ:4240407A1028　院内コード:300361

ビロイ点滴静注用１００ｍｇ Vyloy 採用 (劇生) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ビロイ点滴静注用１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１瓶　薬価:63956.00　製造:アステラス製薬　剤型:注射用　YJ:4291471D1021　院内コード:301257
成分:ゾルベツキシマブ（遺伝子組換え）,
【効】ＣＬＤＮ１８．２陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
【用】他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはゾルベツキシマブ（遺伝子組換え）として、初回は８００ｍｇ／㎡（体表面積）を、２回目以降は６００ｍｇ／㎡（体表面積）を３週間間隔又は４００ｍｇ／㎡（体表面積）を２週間間隔で２時間以上かけて点滴静注する。
【保管】２～８℃で保存。

ビロイ点滴静注用３００ｍｇ Vyloy 採用 (劇生) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ビロイ点滴静注用３００ｍｇ
規格:３００ｍｇ１瓶　薬価:188143.00　製造:アステラス製薬　剤型:注射用　YJ:4291471D2028　院内コード:301379
成分:ゾルベツキシマブ（遺伝子組換え）,
【効】ＣＬＤＮ１８．２陽性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
【用】他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはゾルベツキシマブ（遺伝子組換え）として、初回は８００ｍｇ／㎡（体表面積）を、２回目以降は６００ｍｇ／㎡（体表面積）を３週間間隔又は４００ｍｇ／㎡（体表面積）を２週間間隔で２時間以上かけて点滴静注する。
【保管】２～８℃で保存。

ラステット注１００ｍｇ／５ｍＬ Lastet 採用 (劇) Hi <先発品（後発品あり）>
商品名:ラステット注１００ｍｇ／５ｍＬ
規格:１００ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:2309.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4240403A2042　院内コード:300354
成分:エトポシド,
【効】１）．　肺小細胞癌、悪性リンパ腫、急性白血病、睾丸腫瘍、膀胱癌、絨毛性疾患、胚細胞腫瘍（精巣胚細胞腫瘍、卵巣胚細胞腫瘍、性腺外胚

細胞腫瘍）。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：小児悪性固形腫瘍（小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児網膜芽腫、小児肝芽腫その他小児肝原発悪性腫瘍、小児腎芽腫その他小児腎原発悪性腫瘍等）。
３）．　腫瘍特異的Ｔ細胞輸注療法の前処置。
【用】〈肺小細胞癌、悪性リンパ腫、急性白血病、睾丸腫瘍、膀胱癌、絨毛性疾患、胚細胞腫瘍（精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍）〉（１）．　エトポシドとして、１日量６０～１００ｍｇ／㎡（体表面積）を５日間連続点滴静注し、３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量は疾患、症状により適宜増減する。
（２）．　胚細胞腫瘍に対しては、確立された標準的な他の抗悪性腫瘍剤との併用療法を行い、エトポシドとして、１日量１００ｍｇ／㎡（体表面積）を５日間連続点滴静注し、１６日間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
〈小児悪性固形腫瘍（ユーイング肉腫ファミリー腫瘍、横紋筋肉腫、神経芽腫、網膜芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、腎芽腫その他腎原発悪性腫瘍等）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、エトポシドの投与量及び投与方法は、１日量
１００～１５０ｍｇ／㎡（体表面積）を３～５日間連続点滴静注し、３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
〈腫瘍特異的Ｔ細胞輸注療法の前処置〉再生医療等製品の用法及び用量又は使用方法に基づき使用する。
【保管】室温保存。

ロゼウス静注液 10mg/1mL（ﾅﾍﾞﾙﾋﾞﾝ）　Rozeus　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>
商品名:ロゼウス静注液１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１ｍＬ１瓶　薬価:2044.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4240407A1036　院内コード:301139
成分:ビノレルビン酒石酸塩,
【効】非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌。
【用】〈非小細胞肺癌〉通常、成人にはビノレルビンとして１回２０～２５ｍｇ／㎡を１週間間隔で静脈内に緩徐に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１回最高用量は２５ｍｇ／㎡とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉通常、成人にはビノレルビンとして１回２５ｍｇ／㎡を１週間間隔で２週連続投与し、３週目は休薬する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】２～８℃保存。

ロゼウス静注液 40mg/4mL（ﾅﾍﾞﾙﾋﾞﾝ）　Rozeus　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>
商品名:ロゼウス静注液４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:7846.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4240407A2032　院内コード:301140
成分:ビノレルビン酒石酸塩,
【効】非小細胞肺癌、手術不能又は再発乳癌。
【用】〈非小細胞肺癌〉通常、成人にはビノレルビンとして１回２０～２５ｍｇ／㎡を１週間間隔で静脈内に緩徐に注射する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１回最高用量は２５ｍｇ／㎡とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉通常、成人にはビノレルビンとして１回２５ｍｇ／㎡を１週間間隔で２週連続投与し、３週目は休薬する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】２～８℃保存。

ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ点滴静注20mg/1mL｢ﾆﾌﾟﾛ｣(ﾀｷｿﾃｰﾙ)　Docetaxel　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]タキソテール点滴静注用２０ｍｇ
商品名:ドセタキセル点滴静注２０ｍｇ／１ｍＬ「ニプロ」
規格:２０ｍｇ１ｍＬ１瓶　薬価:2536.00　製造:ニプロ　剤型:注射液　YJ:4240405A3102　院内コード:301308
成分:ドセタキセル,
【効】１）．　乳癌。
２）．　非小細胞肺癌。
３）．　胃癌。
４）．　頭頸部癌。
５）．　卵巣癌。
６）．　食道癌。
７）．　子宮体癌。
８）．　前立腺癌。
【用】１）．　乳癌、非小細胞肺癌、胃癌、頭頸部癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして６０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間以上かけて３～４週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、１回最高用量は７５ｍｇ／㎡とする。
２）．　卵巣癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）
を１時間以上かけて３～４週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、１回最高用量は７５ｍｇ／㎡とする。
３）．　食道癌、子宮体癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間以上かけて３～４週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量すること。
４）．　前立腺癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして７５ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間以上かけて３週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量すること。
【保管】室温保存。

ﾄﾞｾﾀｷｾﾙ点滴静注80mg/4mL｢ﾆﾌﾟﾛ｣(ﾀｷｿﾃｰﾙ)　Docetaxel　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]タキソテール点滴静注用８０ｍｇ
商品名:ドセタキセル点滴静注８０ｍｇ／４ｍＬ「ニプロ」
規格:８０ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:8792.00　製造:ニプロ　剤型:注射液　YJ:4240405A4109　院内コード:301309
成分:ドセタキセル,
【効】１）．　乳癌。
２）．　非小細胞肺癌。

３）．　胃癌。
４）．　頭頸部癌。
５）．　卵巣癌。
６）．　食道癌。
７）．　子宮体癌。
８）．　前立腺癌。
【用】１）．　乳癌、非小細胞肺癌、胃癌、頭頸部癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして６０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間以上かけて３～４週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、１回最高用量は７５ｍｇ／㎡とする。
２）．　卵巣癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）
を１時間以上かけて３～４週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜増減すること。ただし、１回最高用量は７５ｍｇ／㎡とする。
３）．　食道癌、子宮体癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間以上かけて３～４週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量すること。
４）．　前立腺癌：通常、成人に１日１回、ドセタキセルとして７５ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間以上かけて３週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量すること。
【保管】室温保存。

パクリタキセル注100mg/16.7mL「ＮＫ」（タキソール）　Paclitaxel NK採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]タキソール注射液１００ｍｇ
商品名:パクリタキセル注１００ｍｇ／１６．７ｍＬ「ＮＫ」
規格:１００ｍｇ１６．７ｍＬ１瓶　薬価:4580.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4240406A2046　院内コード:301311
成分:パクリタキセル，
【効】１）．　卵巣癌。
２）．　非小細胞肺癌。
３）．　乳癌。
４）．　胃癌。
５）．　子宮体癌。
６）．　再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌。
７）．　再発又は遠隔転移を有する食道癌。
８）．　血管肉腫。
９）．　進行又は再発の子宮頸癌。
１０）．　再発又は難治性の胚細胞腫瘍（再発又は難治性の精巣胚細胞腫瘍、再発又は難治性の卵巣胚細胞腫瘍、再発又は難治性の性腺外胚細胞腫瘍）。
【用】非小細胞肺癌及び子宮体癌にはＡ法を使用する。
乳癌にはＡ法又はＢ法を使用する。
卵巣癌にはＡ法又はカルボプラチンとの併用でＣ法を使用する。
胃癌にはＡ法又はＥ法を使用する。
再発又は難治性の胚細胞腫瘍には他の抗悪性腫瘍剤と併用でＡ法を使用する。
再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫にはＢ法を使用する。
進行又は再発の子宮頸癌にはシスプラチンとの併用でＤ法又は他の抗悪性腫瘍剤との併用でＦ法を使用する。
Ａ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回２１０ｍｇ／㎡（体表面積）を３時間かけて点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｂ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて点滴静注し、週１回投与を６週連続し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｃ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回８０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｄ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１３５ｍｇ／㎡（体表面積）を２４時間かけて点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｅ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回８０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｆ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１７５ｍｇ／㎡（体表面積）を３時間かけて点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
なお、投与量は、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

パクリタキセル注30mg/5mL「ＮＫ」（タキソール）　Paclitaxel NK採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]タキソール注射液３０ｍｇ
商品名:パクリタキセル注３０ｍｇ／５ｍＬ「ＮＫ」
規格:３０ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:1422.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4240406A1040　院内コード:301310
成分:パクリタキセル，
【効】１）．　卵巣癌。
２）．　非小細胞肺癌。
３）．　乳癌。
４）．　胃癌。
５）．　子宮体癌。
６）．　再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌。
７）．　再発又は遠隔転移を有する食道癌。
８）．　血管肉腫。
９）．　進行又は再発の子宮頸癌。

１０）．　再発又は難治性の胚細胞腫瘍（再発又は難治性の精巣胚細胞腫瘍、再発又は難治性の卵巣胚細胞腫瘍、再発又は難治性の性腺外胚細胞腫瘍）。
【用】非小細胞肺癌及び子宮体癌にはＡ法を使用する。
乳癌にはＡ法又はＢ法を使用する。
卵巣癌にはＡ法又はカルボプラチンとの併用でＣ法を使用する。
胃癌にはＡ法又はＥ法を使用する。
再発又は難治性の胚細胞腫瘍には他の抗悪性腫瘍剤と併用でＡ法を使用する。
再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、再発又は遠隔転移を有する食道癌、血管肉腫にはＢ法を使用する。
進行又は再発の子宮頸癌にはシスプラチンとの併用でＤ法又は他の抗悪性腫瘍剤との併用でＦ法を使用する。
Ａ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回２１０ｍｇ／㎡（体表面積）を３時間かけて点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｂ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて点滴静注し、週１回投与を６週連続し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｃ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回８０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｄ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１３５ｍｇ／㎡（体表面積）を２４時間かけて点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｅ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回８０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて点滴静注し、週１回投与を３週連続し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
Ｆ法：通常、成人にはパクリタキセルとして、１日１回１７５ｍｇ／㎡（体表面積）を３時間かけて点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとして、投与を繰り返す。
なお、投与量は、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

429: その他の腫瘍用薬

4291: その他の抗悪性腫瘍用剤

★抗癌★ ノルバデックス錠１０ｍｇ　Nolvadex　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ノルバデックス錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:27.90　製造:アストラゼネカ　剤型:錠　YJ:4291003F1163　院内コード:200714
成分:タモキシフェンクエン酸塩,
【効】乳癌。
【用】通常、成人にはタモキシフェンとして１日２０ｍｇを１～２回に分割経口投与する。
なお、症状により適宜増量できるが、１日最高量はタモキシフェンとして４０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

アービタックス注射液100mg/20mL　Erbitux　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:アービタックス注射液１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ２０ｍＬ１瓶　薬価:20171.00　製造:メルクバイオファーマ　剤型:注射液　YJ:4291415A1021　院内コード:300379
成分:セツキシマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、ＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　頭頸部癌。
【用】１週間間隔投与の場合：
通常、成人には、セツキシマブ（遺伝子組換え）として、初回は４００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて、２回目以降は２５０ｍｇ／㎡（体表面積）を１時間かけて１週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量する。
２週間間隔投与の場合：
通常、成人には、セツキシマブ（遺伝子組換え）として、５００ｍｇ／㎡（体表面積）を２時間かけて２週間間隔で点滴静注する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃で保存。

アドセトリス点滴静注用５０ｍｇ　Adcetris　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:アドセトリス点滴静注用５０ｍｇ
規格:５０ｍｇ１瓶　薬価:388958.00　製造:武田薬品　剤型:注射用　YJ:4291425D1021　院内コード:301387
成分:ブレンツキシマブ　ベドチン（遺伝子組換え）,
【効】ＣＤ３０陽性の次記疾患：
１）．　ＣＤ３０陽性のホジキンリンパ腫。
２）．　ＣＤ３０陽性の末梢性Ｔ細胞リンパ腫。
３）．　再発又は難治性のＣＤ３０陽性の皮膚Ｔ細胞リンパ腫。
【用】〈未治療のＣＤ３０陽性のホジキンリンパ腫〉ドキソルビシン塩酸塩、ビンブラスチン硫酸塩及びダカルバジンとの併用において、通常、ブレンツキシマブ　ベドチン（遺伝子組換え）として次の用量を２週間に１回、最大１２回点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
・　成人には、１回１．２ｍｇ／ｋｇ（体重）。
・　小児には、１回４８ｍｇ／㎡（体表面積）。
〈未治療のＣＤ３０陽性の末梢性Ｔ細胞リンパ腫〉シクロホスファミド水和物、ドキソルビシン塩酸塩及びプレドニゾロンとの併用において、通常、成人には、ブレンツキシマブ　ベドチン（遺伝子組換え）として３週間に１回１．８ｍｇ／ｋｇ（体重）を最大８回点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
〈再発又は難治性のＣＤ３０陽性のホジキンリンパ腫及び末梢性Ｔ細胞リンパ腫〉通常、ブレンツキシマブ　ベドチン（遺伝子組換え）として３週間に１回１．８ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
〈再発又は難治性のＣＤ３０陽性の皮膚Ｔ細胞リンパ腫〉通常、成人には、ブレンツキシマブ　ベドチン（遺伝子組換え）として３週間に１回１．

８ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

アナストロゾール錠１ｍｇ「ＮＫ」(ｱﾘﾐﾃﾞｯｸｽ)　Anastrozole NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]アリミデックス錠１ｍｇ
商品名:アナストロゾール錠１ｍｇ「ＮＫ」
規格:１ｍｇ１錠　薬価:50.80　製造:日本化薬　剤型:錠　YJ:4291010F1090　院内コード:203357
成分:アナストロゾール,
【効】閉経後乳癌。
【用】通常、成人にはアナストロゾールとして１ｍｇを１日１回、経口投与する。
【保管】室温保存。

アバスチン点滴静注用 100mg/4mL　Avastin　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アバスチン点滴静注用１００ｍｇ／４ｍＬ
規格:１００ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:15049.00　製造:中外製薬　剤型:注射液　YJ:4291413A1022　院内コード:300377
成分:ベバシズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　手術不能又は再発乳癌。
４）．　悪性神経膠腫。
５）．　卵巣癌。
６）．　進行又は再発の子宮頸癌。
７）．　切除不能な肝細胞癌。
８）．　神経線維腫症２型。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）又は１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回７．５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、進行又は再発の子宮頸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
〈悪性神経膠腫〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈卵巣癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈切除不能な肝細胞癌〉アテゾリズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈神経線維腫症２型〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔で点滴静脈内注射する。
【保管】２～８℃保存。

アバスチン点滴静注用 400mg/16mL　Avastin　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アバスチン点滴静注用４００ｍｇ／１６ｍＬ
規格:４００ｍｇ１６ｍＬ１瓶　薬価:56525.00　製造:中外製薬　剤型:注射液　YJ:4291413A2029　院内コード:300378
成分:ベバシズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　手術不能又は再発乳癌。
４）．　悪性神経膠腫。
５）．　卵巣癌。
６）．　進行又は再発の子宮頸癌。
７）．　切除不能な肝細胞癌。
８）．　神経線維腫症２型。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）又は１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回７．５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、進行又は再発の子宮頸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
〈悪性神経膠腫〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈卵巣癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈切除不能な肝細胞癌〉アテゾリズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈神経線維腫症２型〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔で点滴静脈内注射する。

【保管】２～８℃保存。

アロマシン錠２５ｍｇ　Aromasin　採用　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アロマシン錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:111.40　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:4291012F1022　院内コード:200716
成分:エキセメスタン,
【効】閉経後乳癌。
【用】通常、成人にはエキセメスタンとして１日１回２５ｍｇを食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

エリブリンメシル酸塩静注液1mg/2mL「ニプロ」(ﾊﾗﾌﾞｪﾝ)　Eribulin mesilate　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:採用]ハラヴェン静注1mg/2mL
商品名:エリブリンメシル酸塩静注液１ｍｇ「ニプロ」
規格:１ｍｇ２ｍＬ１瓶　薬価:22997.00　製造:ニプロ　剤型:注射液　YJ:4291420A1049　院内コード:301304
成分:エリブリンメシル酸塩,
【効】手術不能又は再発乳癌。
【用】通常、成人には、エリブリンメシル酸塩として、１日１回１．４ｍｇ／㎡（体表面積）を２～５分間かけて、週１回、静脈内投与する。これを２週連続で行い、３週目は休薬する。これを１サイクルとして、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

オキサリプラチン点滴静注液200mg/40mL「NK」　Oxaliplatin NK　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エルプラット点滴静注液２００ｍｇ
商品名:オキサリプラチン点滴静注液２００ｍｇ「ＮＫ」
規格:２００ｍｇ４０ｍＬ１瓶　薬価:8559.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4291410A3080　院内コード:301353
成分:オキサリプラチン,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　結腸癌における術後補助療法。
３）．　治癒切除不能な膵癌。
４）．　胃癌。
５）．　小腸癌。
【用】治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌、結腸癌における術後補助療法及び胃癌にはＡ法又はＢ法を、治癒切除不能な膵癌及び小腸癌にはＡ法を使用する。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ａ法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして８５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に２時間で点滴投与し、少なくとも１３日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
Ｂ法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして１３０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に２時間で点滴投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
【保管】室温保存。

オキサリプラチン点滴静注液50mg/10mL「NK」　Oxaliplatin NK　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]エルプラット点滴静注液５０ｍｇ
商品名:オキサリプラチン点滴静注液５０ｍｇ「ＮＫ」
規格:５０ｍｇ１０ｍＬ１瓶　薬価:2291.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4291410A1096　院内コード:301352
成分:オキサリプラチン,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　結腸癌における術後補助療法。
３）．　治癒切除不能な膵癌。
４）．　胃癌。
５）．　小腸癌。
【用】治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌、結腸癌における術後補助療法及び胃癌にはＡ法又はＢ法を、治癒切除不能な膵癌及び小腸癌にはＡ法を使用する。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ａ法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして８５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に２時間で点滴投与し、少なくとも１３日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
Ｂ法：他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはオキサリプラチンとして１３０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回静脈内に２時間で点滴投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
【保管】室温保存。

オダイン錠１２５ｍｇ　Odyne　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:オダイン錠１２５ｍｇ
規格:１２５ｍｇ１錠　薬価:70.40　製造:日本化薬　剤型:錠　YJ:4291005F1057　院内コード:200379
成分:フルタミド,
【効】前立腺癌。
【用】通常成人にはフルタミドとして１回１２５ｍｇを１日３回、食後に経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

オプジーボ点滴静注２４０ｍｇ【２４０ｍｇ２４ｍＬ１瓶】　Opdivo　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:オプジーボ点滴静注２４０ｍｇ
規格:２４０ｍｇ２４ｍＬ１瓶　薬価:311444.00　製造:小野薬品　剤型:注射液　YJ:4291427A3027　院内コード:301005
成分:ニボルマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　悪性黒色腫。
２）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。

３）．　非小細胞肺癌における術前補助療法。
４）．　根治切除不能又は転移性の腎細胞癌。
５）．　再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫。
６）．　再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌。
７）．　治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
８）．　切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫。
９）．　悪性中皮腫＜悪性胸膜中皮腫を除く＞。
１０）．　治癒切除不能な進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する結腸癌、治癒切除不能な進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する直腸癌（ＭＳＩ－Ｈｉｇｈ：高頻度マイクロサテライト不安定性）。
１１）．　根治切除不能な進行・再発の食道癌。
１２）．　食道癌における術後補助療法。
１３）．　原発不明癌。
１４）．　尿路上皮癌における術後補助療法。
１５）．　根治切除不能な尿路上皮癌。
１６）．　根治切除不能な進行・再発の上皮系皮膚悪性腫瘍。
１７）．　切除不能な肝細胞癌。
【用】〈悪性黒色腫〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。ただし、悪性黒色腫における術後補助療法の場合は、投与期間は１２ヵ月間までとする。
根治切除不能な悪性黒色腫に対してイピリムマブ（遺伝子組換え）と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回８０ｍｇを３週間間隔で４回点滴静注する。その後、ニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回３６０ｍｇを３週間間隔で点滴静注する。
〈非小細胞肺癌における術前補助療法〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回３６０ｍｇを３週間間隔で点滴静注する。ただし、投与回数は３回までとする。
〈根治切除不能又は転移性の腎細胞癌〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
カボザンチニブと併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
化学療法未治療の根治切除不能又は転移性の腎細胞癌に対してイピリムマブ（遺伝子組換え）と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを３週間間隔で４回点滴静注する。その後、ニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
〈再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
通常、小児にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回3ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔で点滴静注する。なお、体重４０ｋｇ以上の小児には、ニボルマブ（遺伝子組換え）
として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注することもできる。
〈再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、悪性中皮腫（悪性胸膜中皮腫を除く）、原発不明癌、根治切除不能な進行・再発の上皮系皮膚悪性腫瘍〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
〈切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
イピリムマブ（遺伝子組換え）と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回３６０ｍｇを３週間間隔で点滴静注する。
〈治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性（ＭＳＩ－Ｈｉｇｈ）
を有する結腸・直腸癌〉イピリムマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを３週間間隔で４回点滴静注する。その後、ニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性（ＭＳＩ－Ｈｉｇｈ）を有する結腸・直腸癌に対して、ニボルマブ（遺伝子組換え）を単独投与する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
〈根治切除不能な進行・再発の食道癌〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔、１回３６０ｍｇを３週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
〈食道癌における術後補助療法、尿路上皮癌における術後補助療法〉通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。ただし、食道癌における術後補助療法、尿路上皮癌における術後補助療法の場合は、投与期間は１２ヵ月間までとする。
〈根治切除不能な尿路上皮癌〉ゲムシタビン塩酸塩及び白金系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回３６０ｍｇを３週間間隔で６回点滴静注する。その後、ニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
〈切除不能な肝細胞癌〉イピリムマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回８０ｍｇを３週間間隔で４回点滴静注する。その後、ニボルマブ（遺伝子組換え）として、１回２４０ｍｇを２週間間隔又は１回４８０ｍｇを４週間間隔で点滴静注する。
【保管】２～８℃で保存。

カルボプラチン注射液１５０mg／１５mL「NK」 Carboplatin NK 採用 (毒) Hi <後発品（加算対象外）> [先発品:非採用]パラプラチン注射液１５０mg

商品名:カルボプラチン注射液１５０mg「ＮＫ」

規格:１５０mg１５mL１瓶 薬価:3058.00 製造:ヴィアトリス・ヘルスケア 剤型:注射液 YJ:4291403A2149 院内コード:300738

成分:カルボプラチン,

【効】１）． 頭頸部癌、肺小細胞癌、睾丸腫瘍、卵巣癌、子宮頸癌、悪性リンパ腫、非小細胞肺癌、乳癌、子宮体癌。

２）． 次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：小児悪性固形腫瘍（小児神経芽腫・小児網膜芽腫・小児肝芽腫・小児中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性の小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍・再発又は難治性の小児腎芽腫）。

【用】〈頭頸部癌、肺小細胞癌、睾丸腫瘍、子宮頸癌、悪性リンパ腫、非小細胞肺癌〉通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００mg／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、年齢、疾患、症状により適宜増減する。

〈卵巣癌〉（１）． 通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００mg／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、年齢、疾患、症状により適宜増減する。

（２）． パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ６mg・ｍｉｎ／mL相当量を腹腔内に注入し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

〈乳癌〉（１）． トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びタキサン系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００mg／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

（２）． ＰＤ－Ｌ１陽性のホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌に対するペムブロリズマブ（遺伝子組換え）及びゲムシタビン塩酸塩との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ２mg・ｍｉｎ／mL相当量を点滴静注する。週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

（３）． ホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌に対する術前薬物療法として、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）及びパクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、次のいずれかの用法・用量で投与する。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

・ １日１回ＡＵＣ５mg・ｍｉｎ／mL相当量を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、４クールまで投与する。

・ １日１回ＡＵＣ１．５mg・ｍｉｎ／mL相当量を点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週連続し、これを１クールとし、４クールまで投与する。

〈小児悪性固形腫瘍（神経芽腫・網膜芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉（１）． 神経芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法イホスファミドとエトポシドとの併用療法において、カルボプラチンの投与量及び投与方法は、カルボプラチンとして６３５mg／㎡（体表面積）を１日間点滴静注又は４００mg／㎡（体表面積）を２日間点滴静注し、少なくとも３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。

なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。

また、１歳未満もしくは体重１０ｋｇ未満の小児に対して、投与量には十分配慮すること。

（２）． 網膜芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法ビンクリスチン硫酸塩とエトポシドとの併用療法において、カルボプラチンの投与量及び投与方法は、カルボプラチンとして５６０mg／㎡（体表面積）を１日間点滴静注し、少なくとも３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。

ただし、３６ヵ月齢以下の患児にはカルボプラチンを１８．６mg／ｋｇとする。

なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。

〈子宮体癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ５～６mg・ｍｉｎ／mL相当量を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

〈効能共通（点滴静注）〉本剤投与時、投与量に応じて２５０mL以上のブドウ糖注射液又は生理食塩液に混和し、３０分以上かけて点滴静注する。

【保管】室温保存。

カルボプラチン注射液４５０mg／４５mL「NK」 Carboplatin NK 採用 (毒) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]パラプラチン注射液４５０mg

商品名:カルボプラチン注射液４５０mg「ＮＫ」

規格:４５０mg４５mL１瓶 薬価:7294.00 製造:ヴィアトリス・ヘルスケア 剤型:注射液 YJ:4291403A3145 院内コード:300737

成分:カルボプラチン,

【効】１）． 頭頸部癌、肺小細胞癌、睾丸腫瘍、卵巣癌、子宮頸癌、悪性リンパ腫、非小細胞肺癌、乳癌、子宮体癌。

２）． 次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：小児悪性固形腫瘍（小児神経芽腫・小児網膜芽腫・小児肝芽腫・小児中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性の小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍・再発又は難治性の小児腎芽腫）。

【用】〈頭頸部癌、肺小細胞癌、睾丸腫瘍、子宮頸癌、悪性リンパ腫、非小細胞肺癌〉通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００mg／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、年齢、疾患、症状により適宜増減する。

〈卵巣癌〉（１）． 通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００mg／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、年齢、疾患、症状により適宜増減する。

（２）． パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ６mg・ｍｉｎ／mL相当量を腹腔内に注入し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

〈乳癌〉（１）． トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びタキサン系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００mg／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

（２）． ＰＤ－Ｌ１陽性のホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌に対するペムブロリズマブ（遺伝子組換え）及びゲムシタビン塩酸塩との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ２mg・ｍｉｎ／mL相当量を点滴静注する。週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。

（３）． ホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌に対する術前薬物療法として、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）及びパクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、次のいずれかの用法・用量で投与する。なお、投与量は、患者の状態により適宜

減ずる。
・　１日１回ＡＵＣ５ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、４クールまで投与する。
・　１日１回ＡＵＣ１．５ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週連続し、これを１クールとし、４クールまで投与する。
〈小児悪性固形腫瘍（神経芽腫・網膜芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉（１）．　神経芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法イホスファミドとエトポシドとの併用療法において、カルボプラチンの投与量及び投与方法は、カルボプラチンとして６３５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間点滴静注又は４００ｍｇ／㎡（体表面積）を２日間点滴静注し、少なくとも３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
また、１歳未満もしくは体重１０ｋｇ未満の小児に対して、投与量には十分配慮すること。
（２）．　網膜芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法ビンクリスチン硫酸塩とエトポシドとの併用療法において、カルボプラチンの投与量及び投与方法は、カルボプラチンとして５６０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間点滴静注し、少なくとも３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
ただし、３６ヵ月齢以下の患児にはカルボプラチンを１８．６ｍｇ／ｋｇとする。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
〈子宮体癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ５～６ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。
〈効能共通（点滴静注）〉本剤投与時、投与量に応じて２５０ｍＬ以上のブドウ糖注射液又は生理食塩液に混和し、３０分以上かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

カルボプラチン注射液５０ｍｇ／５ｍＬ「ＮＫ」　Carboplatin NK　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象外）>　[先発品:非採用]パラプラチン注射液５０ｍｇ

商品名:カルボプラチン注射液５０ｍｇ「ＮＫ」

規格:５０ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:1347.00　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:注射液　YJ:4291403A1142　院内コード:300739

成分:カルボプラチン,
【効】１）．　頭頸部癌、肺小細胞癌、睾丸腫瘍、卵巣癌、子宮頸癌、悪性リンパ腫、非小細胞肺癌、乳癌、子宮体癌。
２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：小児悪性固形腫瘍（小児神経芽腫・小児網膜芽腫・小児肝芽腫・小児中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性の小児ユーイング肉腫ファミリー腫瘍・再発又は難治性の小児腎芽腫）。
【用】〈頭頸部癌、肺小細胞癌、睾丸腫瘍、子宮頸癌、悪性リンパ腫、非小細胞肺癌〉通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００ｍｇ／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、年齢、疾患、症状により適宜増減する。
〈卵巣癌〉（１）．　通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００ｍｇ／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、年齢、疾患、症状により適宜増減する。
（２）．　パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ６ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を腹腔内に注入し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。
〈乳癌〉（１）．　トラスツズマブ（遺伝子組換え）及びタキサン系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回３００～４００ｍｇ／㎡（体表面積）を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。
（２）．　ＰＤ－Ｌ１陽性のホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌に対するペムブロリズマブ（遺伝子組換え）及びゲムシタビン塩酸塩との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ２ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注する。週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。
（３）．　ホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌に対する術前薬物療法として、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）及びパクリタキセルとの併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、次のいずれかの用法・用量で投与する。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。
・　１日１回ＡＵＣ５ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、４クールまで投与する。
・　１日１回ＡＵＣ１．５ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注し、少なくとも６日間休薬する。週１回投与を３週連続し、これを１クールとし、４クールまで投与する。
〈小児悪性固形腫瘍（神経芽腫・網膜芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法〉（１）．　神経芽腫・肝芽腫・中枢神経系胚細胞腫瘍、再発又は難治性のユーイング肉腫ファミリー腫瘍・腎芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法イホスファミドとエトポシドとの併用療法において、カルボプラチンの投与量及び投与方法は、カルボプラチンとして６３５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間点滴静注又は４００ｍｇ／㎡（体表面積）を２日間点滴静注し、少なくとも３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
また、１歳未満もしくは体重１０ｋｇ未満の小児に対して、投与量には十分配慮すること。
（２）．　網膜芽腫に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法ビンクリスチン硫酸塩とエトポシドとの併用療法において、カルボプラチンの投与量及び投与方法は、カルボプラチンとして５６０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間点滴静注し、少なくとも３～４週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
ただし、３６ヵ月齢以下の患児にはカルボプラチンを１８．６ｍｇ／ｋｇとする。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
〈子宮体癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはカルボプラチンとして、１日１回ＡＵＣ５～６ｍｇ・ｍｉｎ／ｍＬ相当量を点滴静注し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。なお、投与量は、患者の状態により適宜減ずる。
〈効能共通（点滴静注）〉本剤投与時、投与量に応じて２５０ｍＬ以上のブドウ糖注射液又は生理食塩液に混和し、３０分以上かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

キイトルーダ点滴静注１００ｍｇ /4mL　Keytruda　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:キイトルーダ点滴静注１００ｍｇ

規格:１００ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:199462.00 製造:ＭＳＤ　剤型:注射液　YJ:4291435A2025　院内コード:300939
成分:ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　悪性黒色腫。
２）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　非小細胞肺癌における術前・術後補助療法。
４）．　再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫。
５）．　根治切除不能な尿路上皮癌。
６）．　がん化学療法後に増悪した進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する固形癌（標準的な治療が困難な場合に限る）（ＭＳＩ－Ｈｉｇｈ：高頻度マイクロサテライト不安定性）。
７）．　根治切除不能又は転移性の腎細胞癌。
８）．　腎細胞癌における術後補助療法。
９）．　再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌。
１０）．　局所進行頭頸部癌における術前・術後補助療法。
１１）．　根治切除不能な進行・再発の食道癌。
１２）．　治癒切除不能な進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する結腸癌、治癒切除不能な進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する直腸癌（ＭＳＩ－Ｈｉｇｈ：高頻度マイクロサテライト不安定性）。
１３）．　ＰＤ－Ｌ１陽性のホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌。
１４）．　ホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスク乳癌の術前・術後薬物療法。
１５）．　進行・再発の子宮体癌。
１６）．　がん化学療法後に増悪したＴＭＢ－Ｈｉｇｈを有する進行・再発の固形癌（標準的な治療が困難な場合に限る）（ＴＭＢ－Ｈｉｇｈ：高い腫瘍遺伝子変異量）。
１７）．　進行又は再発の子宮頸癌。
１８）．　局所進行子宮頸癌。
１９）．　再発又は難治性の原発性縦隔大細胞型Ｂ細胞リンパ腫。
２０）．　治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
２１）．　治癒切除不能な胆道癌。
２２）．　切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫。
【用】〈悪性黒色腫〉通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。ただし、悪性黒色腫で術後補助療法の場合は、投与期間は１２ヵ月間までとする。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌、再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫、根治切除不能な尿路上皮癌、がん化学療法後に増悪した進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する固形癌（標準的な治療が困難な場合に限る）、再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌、治癒切除不能な進行・再発のＭＳＩ－Ｈｉｇｈを有する結腸・直腸癌、がん化学療法後に増悪したＴＭＢ－Ｈｉｇｈを有する進行・再発の固形癌（標準的な治療が困難な場合に限る）、再発又は難治性の原発性縦隔大細胞型Ｂ細胞リンパ腫〉通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。
〈非小細胞肺癌における術前・術後補助療法〉術前補助療法では、他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。その後、術後補助療法では、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。投与回数は、３週間間隔投与の場合、術前補助療法は４回まで、術後補助療法は１３回まで、６週間間隔投与の場合、術前補助療法は２回まで、術後補助療法は７回までとする。
〈根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、ＰＤ－Ｌ１陽性のホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌、進行・再発の子宮体癌、進行又は再発の子宮頸癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌、切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。
〈腎細胞癌における術後補助療法〉通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。腎細胞癌における術後補助療法の場合は、投与期間は１２ヵ月間までとする。
〈局所進行頭頸部癌における術前・術後補助療法〉術前補助療法では、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。
その後、術後補助療法では、放射線療法又はシスプラチンを用いた化学放射線療法との併用において、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。投与回数は、３週間間隔投与の場合、術前補助療法は２回まで、術後補助療法は１５回まで、６週間間隔投与の場合、術前補助療法は１回まで、術後補助療法は８回までとする。
〈根治切除不能な進行・再発の食道癌〉フルオロウラシル及びシスプラチンとの併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。がん化学療法後に増悪したＰＤ－Ｌ１陽性の根治切除不能な進行・再発の食道扁平上皮癌に対しては、本剤を単独投与することもできる。
〈ホルモン受容体陰性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌における術前・術後薬物療法〉通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。投与回数は、３週間間隔投与の場合、術前薬物療法は８回まで、術後薬物療法は９回まで、６週間間隔投与の場合、術前薬物療法は４回まで、術後薬物療法は５回までとする。
〈局所進行子宮頸癌〉シスプラチンを用いた同時化学放射線療法との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。局所進行子宮頸癌の場合は、投与期間は２４ヵ月間までとする。
〈治癒切除不能な胆道癌〉ゲムシタビン塩酸塩及びシスプラチンとの併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、１回２００ｍｇを３週間間隔又は１回４００ｍｇを６週間間隔で３０分間かけて点滴静注する。
【保管】２～８℃保存。

サイラムザ点滴静注液１００ｍｇ/10ｍＬ　Cyramza　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:サイラムザ点滴静注液１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１０ｍＬ１瓶　薬価:76659.00　製造:日本イーライリリー　剤型:注射液　YJ:4291429A1023　院内コード:300853
成分:ラムシルマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の胃癌。

２）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
３）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
４）．　がん化学療法後増悪した血清ＡＦＰ値４００ｎｇ／ｍＬ以上の切除不能肝細胞癌。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の胃癌、がん化学療法後に増悪した血清ＡＦＰ値が４００ｎｇ／ｍＬ以上の切除不能な肝細胞癌〉通常、成人には２週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉イリノテカン塩酸塩水和物、レボホリナート及びフルオロウラシルとの併用において、通常、成人には２週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉化学療法既治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合、ドセタキセルとの併用において、通常、成人には３週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
ＥＧＦＲ遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合、エルロチニブ塩酸塩又はゲフィチニブとの併用において、通常、成人には２週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃で保存。

サイラムザ点滴静注液５００ｍｇ/５０ｍＬ　Cyramza　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:サイラムザ点滴静注液５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ５０ｍＬ１瓶　薬価:362032.00 製造:日本イーライリリー　剤型:注射液　YJ:4291429A2020　院内コード:300854
成分:ラムシルマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
２）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
３）．　切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
４）．　がん化学療法後増悪した血清ＡＦＰ値４００ｎｇ／ｍＬ以上の切除不能肝細胞癌。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の胃癌、がん化学療法後に増悪した血清ＡＦＰ値が４００ｎｇ／ｍＬ以上の切除不能な肝細胞癌〉通常、成人には２週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉イリノテカン塩酸塩水和物、レボホリナート及びフルオロウラシルとの併用において、通常、成人には２週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉化学療法既治療の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合、ドセタキセルとの併用において、通常、成人には３週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
ＥＧＦＲ遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌患者の場合、エルロチニブ塩酸塩又はゲフィチニブとの併用において、通常、成人には２週間に１回、ラムシルマブ（遺伝子組換え）として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）をおよそ６０分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】２～８℃で保存。

シスプラチン点滴静注10mg/20mL「ﾏﾙｺ」(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)　Cisplatin MARUKO　採用　(毒)　Hi

商品名:シスプラチン点滴静注１０ｍｇ「マルコ」
規格:１０ｍｇ２０ｍＬ１瓶　薬価:983.00　製造:日医工ファーマ　剤型:注射液　YJ:4291401A1119　院内コード:300861
成分:シスプラチン,
【効】１）．　シスプラチン通常療法：
①．　睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂腫瘍・尿管腫瘍、前立腺癌、卵巣癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、食道癌、子宮頸癌、神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌、骨肉腫、胚細胞腫瘍（精巣胚細胞腫瘍、卵巣胚細胞腫瘍、性腺外胚細胞腫瘍）、悪性胸膜中皮腫、胆道癌、尿路上皮癌。
②．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：悪性骨腫瘍、子宮体癌＜術後化学療法・転移・再発時化学療法＞、再発・難治性悪性リンパ腫、小児悪性固形腫瘍（小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児肝芽腫その他小児肝原発悪性腫瘍、小児髄芽腫等）
。
２）．　Ｍ－ＶＡＣ療法：尿路上皮癌。
【用】〈シスプラチン通常療法〉（１）．　睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍、前立腺癌には、Ａ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＣ法を選択する。
卵巣癌には、Ｂ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＡ法、Ｃ法を選択する。
頭頸部癌には、Ｄ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＢ法を選択する。
非小細胞肺癌には、Ｅ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＦ法を選択する。
食道癌には、Ｂ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＡ法を選択する。
子宮頸癌には、Ａ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＥ法を選択する。子宮頸癌における同時化学放射線療法の場合にはＪ法を選択する。
神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌には、Ｅ法を選択する。
骨肉腫には、Ｇ法を選択する。
胚細胞腫瘍には、確立された標準的な他の抗悪性腫瘍剤との併用療法として、Ｆ法を選択する。
悪性胸膜中皮腫には、ペメトレキセドとの併用療法として、Ｈ法を選択する。
胆道癌には、ゲムシタビン塩酸塩との併用療法として、Ｉ法を選択する。
尿路上皮癌には、他の抗悪性腫瘍剤との併用療法として、Ｋ法を選択する。
Ａ法：シスプラチンとして１５～２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｂ法：シスプラチンとして５０～７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｃ法：シスプラチンとして２５～３５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも１週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｄ法：シスプラチンとして１０～２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与

を繰り返す。
Ｅ法：シスプラチンとして７０～９０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｆ法：シスプラチンとして２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｇ法：シスプラチンとして１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、Ａ～Ｇ法の投与量は疾患、症状により適宜増減する。
Ｈ法：シスプラチンとして７５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｉ法：シスプラチンとして２５ｍｇ／㎡（体表面積）を６０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
Ｊ法：シスプラチンとして４０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、６日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
Ｋ法：シスプラチンとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
なお、Ｈ～Ｋ法の投与量は患者の状態により適宜減量する。
（２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合悪性骨腫瘍の場合ドキソルビシン塩酸塩との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。本剤単剤では、Ｇ法を選択する。
なお、投与量は症状により適宜減量する。
子宮体癌の場合ドキソルビシン塩酸塩との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして５０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。
これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量は症状により適宜減量する。
再発・難治性悪性リンパ腫の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、１日量１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間持続静注し、少なくとも２０日間休薬し、これを１クールとして投与を繰り返す。または１日量２５ｍｇ／㎡（体表面積）を４日間連続持続静注し、少なくとも１７日間休薬し、これを１クールとして投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
小児悪性固形腫瘍（横紋筋肉腫、神経芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、髄芽腫等）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして６０～１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
もしくは、他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
〈Ｍ－ＶＡＣ療法〉（３）．　メトトレキサート、ビンブラスチン硫酸塩及びドキソルビシン塩酸塩との併用において、通常、シスプラチンとして成人１回７０ｍｇ／㎡（体表面積）を静注する。標準的な投与量及び投与方法は、メトトレキサート３０ｍｇ／㎡を１日目に投与した後に、２日目にビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡、ドキソルビシン塩酸塩３０ｍｇ（力価）／㎡及びシスプラチン７０ｍｇ／㎡を静注する。１５日目及び２２日目にメトトレキサート３０ｍｇ／㎡及びビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡を静注する。これを１コースとし、４週毎に繰り返す。
【保管】室温保存。

シスプラチン点滴静注50mg/100mL「ﾏﾙｺ」(ﾌﾞﾘﾌﾟﾗﾁﾝ)

Cisplatin MARUKO　採用　(毒)　Hi

商品名:シスプラチン点滴静注５０ｍｇ「マルコ」
規格:５０ｍｇ１００ｍＬ１瓶　薬価:3363.00　製造:日医工ファーマ　剤型:注射液　YJ:4291401A3111　院内コード:300863
成分:シスプラチン,
【効】１）．　シスプラチン通常療法：
①．　睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂腫瘍・尿管腫瘍、前立腺癌、卵巣癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、食道癌、子宮頸癌、神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌、骨肉腫、胚細胞腫瘍（精巣胚細胞腫瘍、卵巣胚細胞腫瘍、性腺外胚細胞腫瘍）、悪性胸膜中皮腫、胆道癌、尿路上皮癌。
②．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：悪性骨腫瘍、子宮体癌＜術後化学療法・転移・再発時化学療法＞、再発・難治性悪性リンパ腫、小児悪性固形腫瘍（小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児肝芽腫その他小児肝原発悪性腫瘍、小児髄芽腫等）
。
２）．　Ｍ－ＶＡＣ療法：尿路上皮癌。
【用】〈シスプラチン通常療法〉（１）．　睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍、前立腺癌には、Ａ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＣ法を選択する。
卵巣癌には、Ｂ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＡ法、Ｃ法を選択する。
頭頸部癌には、Ｄ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＢ法を選択する。
非小細胞肺癌には、Ｅ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＦ法を選択する。
食道癌には、Ｂ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＡ法を選択する。
子宮頸癌には、Ａ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＥ法を選択する。子宮頸癌における同時化学放射線療法の場合にはＪ法を選択する。
神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌には、Ｅ法を選択する。
骨肉腫には、Ｇ法を選択する。
胚細胞腫瘍には、確立された標準的な他の抗悪性腫瘍剤との併用療法として、Ｆ法を選択する。
悪性胸膜中皮腫には、ペメトレキセドとの併用療法として、Ｈ法を選択する。
胆道癌には、ゲムシタビン塩酸塩との併用療法として、Ｉ法を選択する。
尿路上皮癌には、他の抗悪性腫瘍剤との併用療法として、Ｋ法を選択する。
Ａ法：シスプラチンとして１５～２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｂ法：シスプラチンとして５０～７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｃ法：シスプラチンとして２５～３５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも１週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｄ法：シスプラチンとして１０～２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｅ法：シスプラチンとして７０～９０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。

Ｆ法：シスプラチンとして２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｇ法：シスプラチンとして１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、Ａ～Ｇ法の投与量は疾患、症状により適宜増減する。
Ｈ法：シスプラチンとして７５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｉ法：シスプラチンとして２５ｍｇ／㎡（体表面積）を６０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
Ｊ法：シスプラチンとして４０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、６日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
Ｋ法：シスプラチンとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
なお、Ｈ～Ｋ法の投与量は患者の状態により適宜減量する。
（２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合悪性骨腫瘍の場合ドキソルビシン塩酸塩との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。本剤単剤では、Ｇ法を選択する。
なお、投与量は症状により適宜減量する。
子宮体癌の場合ドキソルビシン塩酸塩との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして５０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。
これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量は症状により適宜減量する。
再発・難治性悪性リンパ腫の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、１日量１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間持続静注し、少なくとも２０日間休薬し、これを１クールとして投与を繰り返す。または１日量２５ｍｇ／㎡（体表面積）を４日間連続持続静注し、少なくとも１７日間休薬し、これを１クールとして投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
小児悪性固形腫瘍（横紋筋肉腫、神経芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、髄芽腫等）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして６０～１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
もしくは、他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
〈Ｍ－ＶＡＣ療法〉（３）．　メトトレキサート、ビンブラスチン硫酸塩及びドキソルビシン塩酸塩との併用において、通常、シスプラチンとして成人１回７０ｍｇ／㎡（体表面積）を静注する。標準的な投与量及び投与方法は、メトトレキサート３０ｍｇ／㎡を１日目に投与した後に、２日目にビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡、ドキソルビシン塩酸塩３０ｍｇ（力価）／㎡及びシスプラチン７０ｍｇ／㎡を静注する。１５日目及び２２日目にメトトレキサート３０ｍｇ／㎡及びビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡を静注する。これを１コースとし、４週毎に繰り返す。
【保管】室温保存。

タグリッソ錠８０ｍｇ　Tagrisso　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:タグリッソ錠８０ｍｇ
規格:８０ｍｇ１錠　薬価:18540.20　製造:アストラゼネカ　剤型:錠　YJ:4291045F2023　院内コード:202724
成分:オシメルチニブメシル酸塩,
【効】１）．　ＥＧＦＲ遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌。
２）．　ＥＧＦＲ遺伝子変異陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法。
３）．　ＥＧＦＲ遺伝子変異陽性の切除不能な局所進行の非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法。
【用】通常、成人にはオシメルチニブとして８０ｍｇを１日１回経口投与する。ただし、術後補助療法の場合は、投与期間は３６カ月間までとする。
なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

トラスツズマブＢＳ点滴静注用１５０ｍｇ「ＮＫ」　Trastuzumab BS NK　採用　(生)　Hi　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]ハーセプチン注射用１５０
商品名:トラスツズマブＢＳ点滴静注用１５０ｍｇ「ＮＫ」
規格:１５０ｍｇ１瓶　薬価:9383.00　製造:セルトリオンヘルスケアジャパン　剤型:注射用　YJ:4291442D2030　院内コード:301338
成分:トラスツズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＨＥＲ２過剰発現が確認された乳癌。
２）．　ＨＥＲ２過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
３）．　がん化学療法後に増悪したＨＥＲ２陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸癌・がん化学療法後に増悪したＨＥＲ２陽性の治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
【用】ＨＥＲ２過剰発現が確認された乳癌にはＡ法又はＢ法を使用する。
ＨＥＲ２過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌には他の抗悪性腫瘍剤との併用でＢ法を使用する。
がん化学療法後に増悪したＨＥＲ２陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌にはペルツズマブ（遺伝子組換え）との併用でＢ法を使用する。
Ａ法：通常、成人に対して１日１回、トラスツズマブ（遺伝子組換え）［トラスツズマブ後続１］として初回投与時には４ｍｇ／ｋｇ（体重）を、２回目以降は２ｍｇ／ｋｇを９０分以上かけて１週間間隔で点滴静注する。
Ｂ法：通常、成人に対して１日１回、トラスツズマブ（遺伝子組換え）［トラスツズマブ後続１］として初回投与時には８ｍｇ／ｋｇ（体重）を、２回目以降は６ｍｇ／ｋｇを９０分以上かけて３週間間隔で点滴静注する。
なお、初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。
【保管】２～８℃保存。

ハラヴェン静注1mg/2mL　Halaven　採用　(毒)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:ハラヴェン静注１ｍｇ
規格:１ｍｇ２ｍＬ１瓶　薬価:50010.00　製造:エーザイ　剤型:注射液　YJ:4291420A1022　院内コード:300658
成分:エリブリンメシル酸塩,
【効】手術不能又は再発乳癌、悪性軟部腫瘍。

【用】通常、成人には、エリブリンメシル酸塩として、１日１回１．４ｍｇ／㎡（体表面積）を２～５分間かけて、週１回、静脈内投与する。これを２週連続で行い、３週目は休薬する。これを１サイクルとして、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

パージェタ点滴静注４２０ｍｇ／１４ｍＬ　Perjeta　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:パージェタ点滴静注４２０ｍｇ／１４ｍＬ
規格:４２０ｍｇ１４ｍＬ１瓶　薬価:206472.00 製造:中外製薬　剤型:注射液　YJ:4291424A1020　院内コード:300843
成分:ペルツズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＨＥＲ２陽性乳癌。
２）．　がん化学療法後に増悪したＨＥＲ２陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸癌・がん化学療法後に増悪したＨＥＲ２陽性の治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
【用】ＨＥＲ２陽性乳癌にはトラスツズマブ（遺伝子組換え）と他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に対して１日１回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）として初回投与時には８４０ｍｇを、２回目以降は４２０ｍｇを６０分かけて３週間間隔で点滴静注する（ただし、術前・術後薬物療法の場合には、投与期間は１２カ月間までとする）。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。
がん化学療法後に増悪したＨＥＲ２陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌にはトラスツズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人に対して１日１回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）として初回投与時には８４０ｍｇを、２回目以降は４２０ｍｇを６０分かけて３週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、２回目以降の投与時間は３０分間まで短縮できる。
【保管】２～８℃保存。

ビカルタミド錠８０ｍｇ「ＮＫ」　Bicalutamide NK　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]カソデックス錠８０ｍｇ
商品名:ビカルタミド錠８０ｍｇ「ＮＫ」
規格:８０ｍｇ１錠　薬価:97.10　製造:日本化薬　剤型:錠　YJ:4291009F1071　院内コード:202403
成分:ビカルタミド,
【効】前立腺癌。
【用】通常、成人にはビカルタミドとして１回８０ｍｇを１日１回、経口投与する。
【保管】室温保存。

ベクティビックス点滴静注100mg/5mL　Vectibix　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ベクティビックス点滴静注１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ５ｍＬ１瓶　薬価:53386.00 製造:武田薬品　剤型:注射液　YJ:4291417A1020　院内コード:300628
成分:パニツムマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＫＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、ＫＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　がん化学療法後増悪ＫＲＡＳＧ１２Ｃ変異陽性の治癒切除不能進行・再発結腸癌、がん化学療法後増悪ＫＲＡＳＧ１２Ｃ変異陽性の治癒切除不能進行・再発直腸癌。
【用】〈ＫＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉通常、成人には２週間に１回、パニツムマブ（遺伝子組換え）として１回６ｍｇ／ｋｇ（体重）を６０分以上かけて点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
〈がん化学療法後に増悪したＫＲＡＳ　Ｇ１２Ｃ変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉ソトラシブとの併用において、通常、成人には２週間に１回、パニツムマブ（遺伝子組換え）として１回６ｍｇ／ｋｇ（体重）を６０分以上かけて点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

ベクティビックス点滴静注400mg/20mL　Vectibix　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品なし）>
商品名:ベクティビックス点滴静注４００ｍｇ
規格:４００ｍｇ２０ｍＬ１瓶　薬価:223997.00 製造:武田薬品　剤型:注射液　YJ:4291417A2027　院内コード:300907
成分:パニツムマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＫＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、ＫＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　がん化学療法後増悪ＫＲＡＳＧ１２Ｃ変異陽性の治癒切除不能進行・再発結腸癌、がん化学療法後増悪ＫＲＡＳＧ１２Ｃ変異陽性の治癒切除不能進行・再発直腸癌。
【用】〈ＫＲＡＳ遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉通常、成人には２週間に１回、パニツムマブ（遺伝子組換え）として１回６ｍｇ／ｋｇ（体重）を６０分以上かけて点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
〈がん化学療法後に増悪したＫＲＡＳ　Ｇ１２Ｃ変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉ソトラシブとの併用において、通常、成人には２週間に１回、パニツムマブ（遺伝子組換え）として１回６ｍｇ／ｋｇ（体重）を６０分以上かけて点滴静注する。なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
【保管】凍結を避け、２～８℃で保存。

ベバシズマブＢＳ点滴静注１００ｍｇ「ファイザー」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)　Bevacizumab BS Pfizer　採用　(劇生)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 100mg/4mL
商品名:ベバシズマブＢＳ点滴静注１００ｍｇ「ファイザー」
規格:１００ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:5932.00　製造:ファイザー　剤型:注射液　YJ:4291449A1020　院内コード:301116
成分:ベバシズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　手術不能又は再発乳癌。
４）．　悪性神経膠腫。
５）．　卵巣癌。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続１］として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）又は１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続１］として１回７．５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続１］として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続１］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
〈悪性神経膠腫〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続１］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈卵巣癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続１］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
【保管】２～８℃保存。

ベルケイド注射用3mg/V Velcade 採用 (毒) Hi <先発品（後発品あり）>

商品名:ベルケイド注射用３ｍｇ
規格:３ｍｇ１瓶 薬価:66114.00 製造:ヤンセンファーマ 剤型:注射用 YJ:4291412D1024 院内コード:300631
成分:ボルテゾミブ,
【効】１）．　多発性骨髄腫。
２）．　マントル細胞リンパ腫。
３）．　原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫。
４）．　全身性ＡＬアミロイドーシス。
【用】〈多発性骨髄腫〉通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を次のＡ法又はＢ法で静脈内投与又は皮下投与する。本剤は最低７２時間空けて投与すること。
Ａ法：
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、週２回、２週間（１、４、８、１１日目）投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、２又は８サイクルまで投与を繰り返す。３又は９サイクル以降は、週１回、２週間（１、８日目）投与し、１３日間休薬（９～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、１８サイクルまで投与を繰り返す。週１回投与への移行時期は併用する抗悪性腫瘍剤を考慮して選択すること。
Ｂ法（再発又は難治性の場合に限る）：
週２回、２週間（１、４、８、１１日目）投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）
する。この３週間を１サイクルとし、投与を繰り返す。
８サイクルを超えて継続投与する場合には前記の用法・用量で投与を継続するか、又は維持療法として週１回、４週間（１、８、１５、２２日目）投与した後、１３日間休薬（２３～３５日目）する。この５週間を１サイクルとし、投与を繰り返す。
〈マントル細胞リンパ腫〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を１、４、８、１１日目に静脈内投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、６サイクルまで（６サイクル目に初めて奏効が認められた場合は８サイクルまで）投与を繰り返す。本剤は最低７２時間空けて投与すること。なお、静脈内投与が困難な場合には、皮下投与することもできる。
〈原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫〉通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を１、４、８、１１日目に静脈内投与又は皮下投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、投与を繰り返す。本剤は最低７２時間空けて投与すること。
〈全身性ＡＬアミロイドーシス〉他の薬剤との併用において、通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を１、８、１５、２２日目に皮下投与する。２８日間を１サイクルとし、６サイクルまで投与を繰り返す。注射部位反応が発現した場合には、静脈内投与することもできる。
【保管】室温保存。

ボルテゾミブ注射用3mg/V「DSEP」(ﾍﾞﾙｹｲﾄﾞ) Bortezomib DSEP 採用 (毒) Hi <後発品（加算対象）> [先発品:採用]ベルケイド注射用3mg/V

商品名:ボルテゾミブ注射用３ｍｇ「ＤＳＥＰ」
規格:３ｍｇ１瓶 薬価:26076.00 製造:第一三共エスファ 剤型:注射用 YJ:4291412D1032 院内コード:301134
成分:ボルテゾミブ,
【効】１）．　多発性骨髄腫。
２）．　マントル細胞リンパ腫。
３）．　原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫。
【用】〈多発性骨髄腫〉通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を次のＡ法又はＢ法で静脈内投与又は皮下投与する。本剤は最低７２時間空けて投与すること。
Ａ法：
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、週２回、２週間（１、４、８、１１日目）投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、２又は８サイクルまで投与を繰り返す。３又は９サイクル以降は、週１回、２週間（１、８日目）投与し、１３日間休薬（９～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、１８サイクルまで投与を繰り返す。週１回投与への移行時期は併用する抗悪性腫瘍剤を考慮して選択すること。
Ｂ法（再発又は難治性の場合に限る）：
週２回、２週間（１、４、８、１１日目）投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）
する。この３週間を１サイクルとし、投与を繰り返す。
８サイクルを超えて継続投与する場合には前記の用法・用量で投与を継続するか、又は維持療法として週１回、４週間（１、８、１５、２２日目）投与した後、１３日間休薬（２３～３５日目）する。この５週間を１サイクルとし、投与を繰り返す。
〈マントル細胞リンパ腫〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を１、４、８、１１日目に静脈内投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、６サイクルまで（６サイクル目に初めて奏効が認められた場合は８サイクルまで）投与を繰り返す。本剤は最低７２時間空けて投与すること。なお、静脈内投与が困難な場合には、皮下投与することもできる。
〈原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫〉通常、成人に１日１回、ボルテゾミブとして１．３ｍｇ／㎡（体表面積）を１、４、

８、１１日目に静脈内投与又は皮下投与した後、１０日間休薬（１２～２１日目）する。この３週間を１サイクルとし、投与を繰り返す。本剤は最低７２時間空けて投与すること。
【保管】室温保存。

ランダ注10mg/20mL　Randa　採用　(毒)　Hi

商品名:ランダ注１０ｍｇ／２０ｍＬ
規格:１０ｍｇ２０ｍＬ１瓶　薬価:921.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4291401A1097　院内コード:301305
成分:シスプラチン,
【効】１）．　シスプラチン通常療法：
①．　睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂腫瘍・尿管腫瘍、前立腺癌、卵巣癌、頭頸部癌、非小細胞肺癌、食道癌、子宮頸癌、神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌、骨肉腫、胚細胞腫瘍（精巣胚細胞腫瘍、卵巣胚細胞腫瘍、性腺外胚細胞腫瘍）、悪性胸膜中皮腫、胆道癌、尿路上皮癌。
②．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法：悪性骨腫瘍、子宮体癌＜術後化学療法・転移・再発時化学療法＞、再発・難治性悪性リンパ腫、小児悪性固形腫瘍（小児横紋筋肉腫、小児神経芽腫、小児肝芽腫その他小児肝原発悪性腫瘍、小児髄芽腫等）
。
２）．　Ｍ－ＶＡＣ療法：尿路上皮癌。
【用】〈シスプラチン通常療法〉（１）．　睾丸腫瘍、膀胱癌、腎盂・尿管腫瘍、前立腺癌には、Ａ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＣ法を選択する。
卵巣癌には、Ｂ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＡ法、Ｃ法を選択する。
頭頸部癌には、Ｄ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＢ法を選択する。
非小細胞肺癌には、Ｅ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＦ法を選択する。
食道癌には、Ｂ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＡ法を選択する。
子宮頸癌には、Ａ法を標準的用法・用量とし、患者の状態によりＥ法を選択する。子宮頸癌における同時化学放射線療法の場合にはＪ法を選択する。
神経芽細胞腫、胃癌、小細胞肺癌には、Ｅ法を選択する。
骨肉腫には、Ｇ法を選択する。
胚細胞腫瘍には、確立された標準的な他の抗悪性腫瘍剤との併用療法として、Ｆ法を選択する。
悪性胸膜中皮腫には、ペメトレキセドとの併用療法として、Ｈ法を選択する。
胆道癌には、ゲムシタビン塩酸塩との併用療法として、Ｉ法を選択する。
尿路上皮癌には、他の抗悪性腫瘍剤との併用療法として、Ｋ法を選択する。
Ａ法：シスプラチンとして１５～２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｂ法：シスプラチンとして５０～７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｃ法：シスプラチンとして２５～３５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも１週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｄ法：シスプラチンとして１０～２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｅ法：シスプラチンとして７０～９０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｆ法：シスプラチンとして２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｇ法：シスプラチンとして１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、Ａ～Ｇ法の投与量は疾患、症状により適宜増減する。
Ｈ法：シスプラチンとして７５ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
Ｉ法：シスプラチンとして２５ｍｇ／㎡（体表面積）を６０分かけて点滴静注し、週１回投与を２週連続し、３週目は休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
Ｊ法：シスプラチンとして４０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、６日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
Ｋ法：シスプラチンとして７０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも２０日間休薬する。これを１クールとして投与を繰り返す。
なお、Ｈ～Ｋ法の投与量は患者の状態により適宜減量する。
（２）．　次の悪性腫瘍に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合悪性骨腫瘍の場合ドキソルビシン塩酸塩との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。本剤単剤では、Ｇ法を選択する。
なお、投与量は症状により適宜減量する。
子宮体癌の場合ドキソルビシン塩酸塩との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして５０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。
これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量は症状により適宜減量する。
再発・難治性悪性リンパ腫の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、１日量１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日間持続静注し、少なくとも２０日間休薬し、これを１クールとして投与を繰り返す。または１日量２５ｍｇ／㎡（体表面積）を４日間連続持続静注し、少なくとも１７日間休薬し、これを１クールとして投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
小児悪性固形腫瘍（横紋筋肉腫、神経芽腫、肝芽腫その他肝原発悪性腫瘍、髄芽腫等）に対する他の抗悪性腫瘍剤との併用療法の場合他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして６０～１００ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回投与し、少なくとも３週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
もしくは、他の抗悪性腫瘍剤との併用において、シスプラチンの投与量及び投与方法は、シスプラチンとして２０ｍｇ／㎡（体表面積）を１日１回、５日間連続投与し、少なくとも２週間休薬する。これを１クールとし、投与を繰り返す。
なお、投与量及び投与日数は疾患、症状、併用する他の抗悪性腫瘍剤により適宜減ずる。
〈Ｍ－ＶＡＣ療法〉（３）．　メトトレキサート、ビンブラスチン硫酸塩及びドキソルビシン塩酸塩との併用において、通常、シスプラチンとして成人１回７０ｍｇ／㎡（体表面積）を静注する。標準的な投与量及び投与方法は、メトトレキサート３０ｍｇ／㎡を１日目に投与した後に、２日目にビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡、ドキソルビシン塩酸塩３０ｍｇ（力価）／㎡及びシスプラチン７０ｍｇ／㎡を静注する。１５日目及び２２日目にメトトレキサート３０ｍｇ／㎡及びビンブラスチン硫酸塩３ｍｇ／㎡を静注する。これを１コースとし、４週毎に繰り返す。
【保管】室温保存。

リツキシマブＢＳ点滴静注100mg/10mL「ＫＨＫ」（リツキサン）　Rituximab BS KHK　採用　(生)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]リツキサン点滴静注１００mg 【１００mg１０mL１瓶】

商品名:リツキシマブＢＳ点滴静注１００mg「ＫＨＫ」
規格:１００mg１０mL１瓶　薬価:9274.00　製造:サンド　剤型:注射液　YJ:4291439A1027　院内コード:301225
成分:リツキシマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＣＤ２０陽性Ｂ細胞性非ホジキンリンパ腫。
２）．　免疫抑制状態下のＣＤ２０陽性Ｂ細胞性リンパ増殖性疾患。
３）．　多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎。
４）．　既存治療で効果不十分なループス腎炎。
５）．　次記のネフローゼ症候群：
・　頻回再発型ネフローゼ症候群あるいはステロイド依存性ネフローゼ症候群。
・　難治性ネフローゼ症候群＜頻回再発型＞、難治性ネフローゼ症候群＜ステロイド依存性を示す場合＞あるいは難治性ネフローゼ症候群＜ステロイド抵抗性を示す場合＞。
６）．　持続性免疫性血小板減少症及び慢性免疫性血小板減少症。
７）．　後天性血栓性血小板減少性紫斑病。
８）．　インジウム＜１１１Ｉｎ＞イブリツモマブ　チウキセタン＜遺伝子組換え＞注射液及びイットリウム＜９０Ｙ＞イブリツモマブ　チウキセタン＜遺伝子組換え＞注射液投与の前投与。
【用】〈Ｂ細胞性非ホジキンリンパ腫〉通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は８回とする。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、１サイクルあたり１回投与する。維持療法に用いる場合は、通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）
［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を点滴静注する。投与間隔は８週間を目安とし、最大投与回数は１２回とする。
〈免疫抑制状態下のＢ細胞性リンパ増殖性疾患〉通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は８回とする。
〈多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、後天性血栓性血小板減少性紫斑病〉通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で４回点滴静注する。
〈既存治療で効果不十分なループス腎炎、持続性及び慢性免疫性血小板減少症〉通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で４回点滴静注する。
〈ネフローゼ症候群〉・　頻回再発型あるいはステロイド依存性のネフローゼ症候群通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で２回点滴静注する。ただし、１回あたりの最大投与量は５００mgまでとする。
・　難治性のネフローゼ症候群（頻回再発型、ステロイド依存性あるいはステロイド抵抗性を示す場合）
通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で４回点滴静注する。ただし、１回あたりの最大投与量は５００mgまでとする。
〈イブリツモマブ　チウキセタンの前投与〉通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として２５０mg／㎡を１回、点滴静注する。
〈効能共通〉本剤は用時生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液にて１～４mg／mLに希釈調製し使用する。
【保管】凍結を避け、冷所（２～８℃）に保存する。

リツキシマブＢＳ点滴静注500mg/50mL「ＫＨＫ」（リツキサン）　Rituximab BS KHK　採用　(生)　Hi　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]リツキサン点滴静注５００mg 【５００mg５０mL１瓶】

商品名:リツキシマブＢＳ点滴静注５００mg「ＫＨＫ」
規格:５００mg５０mL１瓶　薬価:44485.00　製造:サンド　剤型:注射液　YJ:4291439A2023　院内コード:301226
成分:リツキシマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　ＣＤ２０陽性Ｂ細胞性非ホジキンリンパ腫。
２）．　免疫抑制状態下のＣＤ２０陽性Ｂ細胞性リンパ増殖性疾患。
３）．　多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎。
４）．　既存治療で効果不十分なループス腎炎。
５）．　次記のネフローゼ症候群：
・　頻回再発型ネフローゼ症候群あるいはステロイド依存性ネフローゼ症候群。
・　難治性ネフローゼ症候群＜頻回再発型＞、難治性ネフローゼ症候群＜ステロイド依存性を示す場合＞あるいは難治性ネフローゼ症候群＜ステロイド抵抗性を示す場合＞。
６）．　持続性免疫性血小板減少症及び慢性免疫性血小板減少症。
７）．　後天性血栓性血小板減少性紫斑病。
８）．　インジウム＜１１１Ｉｎ＞イブリツモマブ　チウキセタン＜遺伝子組換え＞注射液及びイットリウム＜９０Ｙ＞イブリツモマブ　チウキセタン＜遺伝子組換え＞注射液投与の前投与。
【用】〈Ｂ細胞性非ホジキンリンパ腫〉通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は８回とする。他の抗悪性腫瘍剤と併用する場合は、併用する抗悪性腫瘍剤の投与間隔に合わせて、１サイクルあたり１回投与する。維持療法に用いる場合は、通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）
［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を点滴静注する。投与間隔は８週間を目安とし、最大投与回数は１２回とする。
〈免疫抑制状態下のＢ細胞性リンパ増殖性疾患〉通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で点滴静注する。最大投与回数は８回とする。
〈多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、後天性血栓性血小板減少性紫斑病〉通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で４回点滴静注する。
〈既存治療で効果不十分なループス腎炎、持続性及び慢性免疫性血小板減少症〉通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５mg／㎡を１週間間隔で４回点滴静注する。
〈ネフローゼ症候群〉・　頻回再発型あるいはステロイド依存性のネフローゼ症候群通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］と

して１回量３７５ｍｇ／㎡を１週間間隔で２回点滴静注する。ただし、１回あたりの最大投与量は５００ｍｇまでとする。
・　難治性のネフローゼ症候群（頻回再発型、ステロイド依存性あるいはステロイド抵抗性を示す場合）
通常、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として１回量３７５ｍｇ／㎡を１週間間隔で４回点滴静注する。ただし、１回あたりの最大投与量は５００ｍｇまでとする。
〈イブリツモマブ　チウキセタンの前投与〉通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）［リツキシマブ後続１］として２５０ｍｇ／㎡を１回、点滴静注する。
〈効能共通〉本剤は用時生理食塩液又は５％ブドウ糖注射液にて１～４ｍｇ／ｍＬに希釈調製し使用する。
【保管】凍結を避け、冷所（２～８℃）に保存する。

リムパーザ錠100ｍｇ　Lynparza　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:リムパーザ錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:3225.10　製造:アストラゼネカ　剤型:錠　YJ:4291052F1027　院内コード:203016
成分:オラパリブ,
【効】１）．　白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法。
２）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法。
３）．　相同組換え修復欠損を有する卵巣癌における初回化学療法後（ベバシズマブ（遺伝子組換え）を含む）の維持療法。
４）．　がん化学療法歴のあるＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌。
５）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌の術後薬物療法。
６）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌。
７）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の治癒切除不能な膵癌における化学療法後（白金系抗悪性腫瘍剤を含む）の維持療法。
８）．　ミスマッチ修復機能正常＜ｐＭＭＲ＞の進行・再発子宮体癌における化学療法後（デュルバルマブ（遺伝子組換え）を含む）の維持療法。
【用】〈白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法、ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法、ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の治癒切除不能な膵癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法〉通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるベバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法〉ベバシズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈がん化学療法歴のあるＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌、ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。ただし、乳癌における術後薬物療法の場合、投与期間は１年間までとする。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌〉通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。他の薬剤と併用する場合は、アビラテロン酢酸エステル及びプレドニゾロンと併用すること。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈ミスマッチ修復機能正常（ｐＭＭＲ）の進行・再発の子宮体癌におけるデュルバルマブ（遺伝子組換え）を含む化学療法後の維持療法〉デュルバルマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

リムパーザ錠150ｍｇ　Lynparza　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:リムパーザ錠１５０ｍｇ
規格:１５０ｍｇ１錠　薬価:4788.00　製造:アストラゼネカ　剤型:錠　YJ:4291052F2023　院内コード:203017
成分:オラパリブ,
【効】１）．　白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法。
２）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法。
３）．　相同組換え修復欠損を有する卵巣癌における初回化学療法後（ベバシズマブ（遺伝子組換え）を含む）の維持療法。
４）．　がん化学療法歴のあるＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌。
５）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌の術後薬物療法。
６）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌。
７）．　ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の治癒切除不能な膵癌における化学療法後（白金系抗悪性腫瘍剤を含む）の維持療法。
８）．　ミスマッチ修復機能正常＜ｐＭＭＲ＞の進行・再発子宮体癌における化学療法後（デュルバルマブ（遺伝子組換え）を含む）の維持療法。
【用】〈白金系抗悪性腫瘍剤感受性の再発卵巣癌における維持療法、ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の卵巣癌における初回化学療法後の維持療法、ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の治癒切除不能な膵癌における白金系抗悪性腫瘍剤を含む化学療法後の維持療法〉通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈相同組換え修復欠損を有する卵巣癌におけるベバシズマブ（遺伝子組換え）を含む初回化学療法後の維持療法〉ベバシズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈がん化学療法歴のあるＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性の手術不能又は再発乳癌、ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性かつＨＥＲ２陰性で再発高リスクの乳癌における術後薬物療法〉通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。ただし、乳癌における術後薬物療法の場合、投与期間は１年間までとする。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈ＢＲＣＡ遺伝子変異陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌〉通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。他の薬剤と併用する場合は、アビラテロン酢酸エステル及びプレドニゾロンと併用すること。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈ミスマッチ修復機能正常（ｐＭＭＲ）の進行・再発の子宮体癌におけるデュルバルマブ（遺伝子組換え）を含む化学療法後の維持療法〉デュルバルマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはオラパリブとして１回３００ｍｇを１日２回、経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

レトロゾール錠２．５ｍｇ「サンド」　Letrozole SANDOZ　採用　(劇)　Hi　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]フェマーラ錠２．５ｍｇ

商品名:レトロゾール錠２．５ｍｇ「サンド」
規格:２．５ｍｇ１錠　薬価:45.00　製造:サンド　剤型:錠　YJ:4291015F1204　院内コード:203024
成分:レトロゾール,
【効】１）．　閉経後乳癌。
２）．　生殖補助医療における調節卵巣刺激。

3）．　多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発。
4）．　原因不明不妊における排卵誘発。
【用】〈閉経後乳癌〉通常、成人にはレトロゾールとして１日１回２．５ｍｇを経口投与する。
〈生殖補助医療における調節卵巣刺激、多嚢胞性卵巣症候群における排卵誘発、原因不明不妊における排卵誘発〉通常、レトロゾールとして１日１回２．５ｍｇを月経周期３日目から５日間経口投与する。十分な効果が得られない場合は、次周期以降の１回投与量を５ｍｇに増量できる。
【保管】室温保存。

レナリドミドカプセル５ｍｇ「ＢＭＳＨ」(ﾚﾌﾞﾗﾐﾄﾞ)(院内のみ)　Lenalidomide BMSH　採用　(毒)　Hi　<後発品（加算対象）>　[先発品:採用]レブラミドカプセル５ｍｇ（院内のみ）

商品名:レナリドミドカプセル５ｍｇ「ＢＭＳＨ」
規格:５ｍｇ１カプセル　薬価:3590.60　製造:ＢＭＳ販売　剤型:カプセルYJ:4291024M1032　院内コード:203663
成分:レナリドミド水和物,
【効】１）．　多発性骨髄腫。
２）．　５番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群。
３）．　再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び再発又は難治性の辺縁帯リンパ腫。
【用】〈多発性骨髄腫〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはレナリドミドとして、併用する抗悪性腫瘍剤の投与サイクルを考慮して、次のＡ法またはＢ法で経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ａ法：１日１回２５ｍｇを２１日間連日投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
Ｂ法：１日１回２５ｍｇを１４日間連日投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
〈５番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群〉通常、成人にはレナリドミドとして１日１回１０ｍｇを２１日間連日経口投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫〉リツキシマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはレナリドミドとして１日１回２０ｍｇを２１日間連日経口投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして最大１２サイクルまで投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

レブラミドカプセル５ｍｇ（院内のみ）　Revlimid　採用　(毒)　Hi　<先発品（後発品あり）>

商品名:レブラミドカプセル５ｍｇ
規格:５ｍｇ１カプセル　薬価:8005.50　製造:ＢＭＳ　剤型:カプセルYJ:4291024M1024　院内コード:202368
成分:レナリドミド水和物,
【効】１）．　多発性骨髄腫。
２）．　５番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群。
３）．　再発又は難治性の成人Ｔ細胞白血病リンパ腫。
４）．　再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び再発又は難治性の辺縁帯リンパ腫。
【用】〈多発性骨髄腫〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはレナリドミドとして、併用する抗悪性腫瘍剤の投与サイクルを考慮して、次のＡ法またはＢ法で経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
Ａ法：１日１回２５ｍｇを２１日間連日投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
Ｂ法：１日１回２５ｍｇを１４日間連日投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。
〈５番染色体長腕部欠失を伴う骨髄異形成症候群〉通常、成人にはレナリドミドとして１日１回１０ｍｇを２１日間連日経口投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈再発又は難治性の成人Ｔ細胞白血病リンパ腫〉通常、成人にはレナリドミドとして１日１回２５ｍｇを連日経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。
〈再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫〉リツキシマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人にはレナリドミドとして１日１回２０ｍｇを２１日間連日経口投与した後、７日間休薬する。これを１サイクルとして最大１２サイクルまで投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
【保管】室温保存。

4299: 他に分類されない腫瘍用薬

ロンサーフ配合錠Ｔ１５　Lonsurf T　採用　(劇)　Hi　<先発品（後発品なし）>

商品名:ロンサーフ配合錠Ｔ１５
規格:１５ｍｇ１錠（トリフルリジン相当量）　薬価:2511.00　製造:大鵬薬品　剤型:錠　YJ:4299100F1026　院内コード:202547
成分:チピラシル塩酸塩,トリフルリジン,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
【用】通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし（トリフルリジンとして約３５ｍｇ／㎡／回）、朝食後及び夕食後の１日２回、５日間連続経口投与したのち２日間休薬する。これを２回繰り返したのち１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。
１）．　体表面積１．０７㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）３５ｍｇ／回（７０ｍｇ／日）。
２）．　体表面積１．０７㎡以上～１．２３㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）４０ｍｇ／回（８０ｍｇ／日）。
３）．　体表面積１．２３㎡以上～１．３８㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）４５ｍｇ／回（９０ｍｇ／日）。
４）．　体表面積１．３８㎡以上～１．５３㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）５０ｍｇ／回（１００ｍｇ／日）。
５）．　体表面積１．５３㎡以上～１．６９㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）５５ｍｇ／回（１１０ｍｇ／日）。
６）．　体表面積１．６９㎡以上～１．８４㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）６０ｍｇ／回（１２０ｍｇ／日）。
７）．　体表面積１．８４㎡以上～１．９９㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）６５ｍｇ／回（１３０ｍｇ／日）。
８）．　体表面積１．９９㎡以上～２．１５㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）７０ｍｇ／回（１４０ｍｇ／日）。
９）．　体表面積２．１５㎡以上：初回基準量（トリフルリジン相当量）７５ｍｇ／回（１５０ｍｇ／日）。
【保管】室温保存。

ロンサーフ配合錠Ｔ２０ Lonsurf T 採用 (劇) Hi <先発品（後発品なし）>
商品名:ロンサーフ配合錠Ｔ２０
規格:２０ｍｇ１錠（トリフルリジン相当量） 薬価:3369.20 製造:大鵬薬品 剤型:錠 YJ:4299100F2022 院内コード:202548
成分:チピラシル塩酸塩,トリフルリジン,
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の胃癌。
【用】通常、成人には初回投与量（１回量）を体表面積に合わせて次の基準量とし（トリフルリジンとして約３５ｍｇ／㎡／回）、朝食後及び夕食後の１日２回、５日間連続経口投与したのち２日間休薬する。これを２回繰り返したのち１４日間休薬する。これを１コースとして投与を繰り返す。
なお、患者の状態により適宜減量する。
１）．　体表面積１．０７㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）３５ｍｇ／回（７０ｍｇ／日）。
２）．　体表面積１．０７㎡以上～１．２３㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）４０ｍｇ／回（８０ｍｇ／日）。
３）．　体表面積１．２３㎡以上～１．３８㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）４５ｍｇ／回（９０ｍｇ／日）。
４）．　体表面積１．３８㎡以上～１．５３㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）５０ｍｇ／回（１００ｍｇ／日）。
５）．　体表面積１．５３㎡以上～１．６９㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）５５ｍｇ／回（１１０ｍｇ／日）。
６）．　体表面積１．６９㎡以上～１．８４㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）６０ｍｇ／回（１２０ｍｇ／日）。
７）．　体表面積１．８４㎡以上～１．９９㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）６５ｍｇ／回（１３０ｍｇ／日）。
８）．　体表面積１．９９㎡以上～２．１５㎡未満：初回基準量（トリフルリジン相当量）７０ｍｇ／回（１４０ｍｇ／日）。
９）．　体表面積２．１５㎡以上：初回基準量（トリフルリジン相当量）７５ｍｇ／回（１５０ｍｇ／日）。
【保管】室温保存。

43: 組織細胞の治療及び診断を目的と

430: 放射性医薬品

4300: 放射性医薬品

ダットスキャン静注 DaTSCAN 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ダットスキャン静注
規格:１６７ＭＢｑ１筒 薬価:57684.00 製造:日本メジフィジックス 剤型:キット類YJ:4300451G1021 院内コード:300813
成分:イオフルパン（１２３Ｉ）,
【効】次の疾患の診断におけるドパミントランスポーターシンチグラフィ：１）パーキンソン症候群、２）レビー小体型認知症。
【用】通常、成人には本剤１バイアル（１１１～１８５ＭＢｑ）を静脈内投与し、投与後３～６時間に頭部のシンチグラムを得る。
【保管】室温保存。

ヨードカプセル－１２３ Iodocapsule-123 採用
商品名:ヨードカプセル－１２３
規格:３．７ＭＢｑ１カプセル 薬価:3465.60 製造:日本メジフィジックス 剤型:カプセルYJ:4300002M1029 院内コード:200720
成分:ヨウ化ナトリウム（１２３Ｉ）,
【効】１）．　甲状腺シンチグラフィによる甲状腺疾患の診断。
２）．　甲状腺摂取率による甲状腺機能検査。
【用】検査前１～２週間は、ヨウ素を含む食物やヨウ素－１２３甲状腺摂取率に影響する薬剤は摂らせないようにする。
〈甲状腺摂取率の測定〉通常成人には、本剤３．７ＭＢｑを経口投与し、３～２４時間後に１～３回シンチレーションカウンターで計数する。
なお、年齢、体重により適宜増減する。
〈甲状腺シンチグラフィ〉通常成人には、本剤３．７～７．４ＭＢｑを経口投与し、３～２４時間後に１～２回シンチレーションカメラ又はシンチレーションスキャナで撮影又は走査することにより甲状腺シンチグラムをとる。
なお、年齢、体重により適宜増減する。
【保管】冷所保存。

44: アレルギー用薬

441: 抗ヒスタミン剤

4411: ジフェンヒドラミン系製剤

レスタミンコーワ錠１０ｍｇ Restamin KOWA 採用
商品名:レスタミンコーワ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠 薬価:6.30 製造:興和 剤型:錠 YJ:4411001F1040 院内コード:200721
成分:ジフェンヒドラミン塩酸塩,
【効】じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎）、枯草熱、アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、急性鼻炎、春季カタルに伴うそう痒。
【用】通常、成人１回３～５錠（ジフェンヒドラミン塩酸塩として３０～５０ｍｇ）を１日２～３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

4413: フェノチアジン系製剤

ニポラジン錠３ｍｇ Nipolazin 採用 <先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ニポラジン錠３ｍｇ
規格:３ｍｇ１錠 薬価:10.80 製造:アルフレッサ　ファーマ 剤型:錠 YJ:4413004F1200 院内コード:200184
成分:メキタジン,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アレルギー性鼻炎。
３）．　じん麻疹。

４）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）。
【用】〈気管支喘息〉通常成人１回メキタジンとして６ｍｇを１日２回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
〈アレルギー性鼻炎、じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）
〉通常成人１回メキタジンとして３ｍｇを１日２回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヒベルナ散１０％　Hiberna　採用　(劇)

商品名:ヒベルナ散１０％
規格:１０％１ｇ　薬価:6.90　製造:田辺ファーマ　剤型:散　YJ:4413002B1030　院内コード:201124
成分:ヒベンズ酸プロメタジン,
【効】１）．　パーキンソニスム。
２）．　麻酔前投薬。
３）．　人工＜薬物＞冬眠。
４）．　感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽。
５）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹、中毒疹）。
６）．　枯草熱。
７）．　アレルギー性鼻炎。
８）．　じん麻疹。
９）．　血管運動性浮腫。
１０）．　振せん麻痺。
１１）．　動揺病。
【用】プロメタジン塩酸塩として通常成人１回５～２５ｍｇを、１日１～３回経口投与する。振せん麻痺、パーキンソニスムには１日２５～２００ｍｇを適宜分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ヒベルナ糖衣錠２５ｍｇ　Hiberna　採用

商品名:ヒベルナ糖衣錠２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:田辺ファーマ　剤型:錠　YJ:4413002F2062　院内コード:201125
成分:プロメタジン塩酸塩,
【効】１）．　パーキンソニスム。
２）．　麻酔前投薬。
３）．　人工＜薬物＞冬眠。
４）．　感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽。
５）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹、中毒疹）。
６）．　枯草熱。
７）．　アレルギー性鼻炎。
８）．　じん麻疹。
９）．　血管運動性浮腫。
１０）．　振せん麻痺。
１１）．　動揺病。
【用】プロメタジン塩酸塩として、通常成人１回５～２５ｍｇを、１日１～３回経口投与する。
振せん麻痺、パーキンソニスムには１日２５～２００ｍｇを、適宜分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

4419: その他の抗ヒスタミン剤

ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」　d-Chlorpheniramine maleate　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ポララミン錠２ｍｇ

商品名:ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩錠２ｍｇ「ＮＩＧ」
規格:２ｍｇ１錠　薬価:6.10　製造:日医工岐阜工場　剤型:錠　YJ:4419002F1051　院内コード:203677
成分:ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩,
【効】１）．　じん麻疹。
２）．　血管運動性浮腫。
３）．　枯草熱。
４）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹）。
５）．　アレルギー性鼻炎。
６）．　血管運動性鼻炎。
７）．　感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽。
【用】ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩として、通常成人１回２ｍｇを１日１～４回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ペリアクチンシロップ０．０４％　Periactin　採用

商品名:ペリアクチンシロップ０．０４％
規格:０．０４％１０ｍＬ　薬価:13.90　製造:日医工　剤型:シロップYJ:4419005Q1072　院内コード:200723
成分:シプロヘプタジン塩酸塩水和物,
【効】１）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹）。
２）．　じん麻疹。
３）．　血管運動性浮腫。

４）．　枯草熱。
５）．　アレルギー性鼻炎。
６）．　血管運動性鼻炎。
７）．　感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽。
【用】シプロヘプタジン塩酸塩として、通常成人１回４ｍｇを１日１～３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ペリアクチン散１％　Periactin　採用　(劇)
商品名:ペリアクチン散１％
規格:１％１ｇ　薬価:6.90　製造:日医工　剤型:散　YJ:4419005B1045　院内コード:200242
成分:シプロヘプタジン塩酸塩水和物,
【効】１）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹）。
２）．　じん麻疹。
３）．　血管運動性浮腫。
４）．　枯草熱。
５）．　アレルギー性鼻炎。
６）．　血管運動性鼻炎。
７）．　感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽。
【用】シプロヘプタジン塩酸塩として、通常成人１回４ｍｇを１日１～３回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ポララミン注５ｍｇ　Polaramine　採用
商品名:ポララミン注５ｍｇ
規格:０．５％１ｍＬ１管　薬価:69.00　製造:高田製薬　剤型:注射液　YJ:4419400A1023　院内コード:300168
成分:ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩,
【効】１）．　じん麻疹。
２）．　枯草熱。
３）．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹、咬刺症）。
４）．　アレルギー性鼻炎。
５）．　血管運動性鼻炎。
【用】ｄ－クロルフェニラミンマレイン酸塩として、通常成人１回５ｍｇを１日１回皮下、筋肉内又は静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

442: 刺激療法剤

4420: 刺激療法剤

リマチル錠１００ｍｇ　Rimatil　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:リマチル錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:24.70　製造:あゆみ製薬　剤型:錠　YJ:4420002F1117　院内コード:200414
成分:ブシラミン,
【効】関節リウマチ。
【用】本剤は消炎鎮痛剤などで十分な効果が得られない場合に使用すること。通常成人、１回ブシラミンとして１００ｍｇを１日３回（３００ｍｇ）食後に経口投与する。なお、患者の年齢、症状、忍容性、本剤に対する反応等に応じ、また、効果の得られた後には１日量１００～３００ｍｇの範囲で投与する。１日最大用量は３００ｍｇとする。
【保管】室温保存。

449: その他のアレルギー用薬

4490: その他のアレルギー用薬

アレジオン錠２０　Alesion　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:アレジオン錠２０
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:15.90　製造:日本ベーリンガーインゲルハイム　剤型:錠　YJ:4490014F2021　院内コード:200727
成分:エピナスチン塩酸塩,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アレルギー性鼻炎。
３）．　じん麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬。
【用】〈気管支喘息、じん麻疹、湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、痒疹、そう痒を伴う尋常性乾癬〉通常、成人にはエピナスチン塩酸塩として１回２０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈アレルギー性鼻炎〉通常、成人にはエピナスチン塩酸塩として１回１０～２０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

アレロック顆粒０．５％　Allelock　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:アレロック顆粒０．５％
規格:０．５％１ｇ　薬価:22.70　製造:日新製薬　剤型:顆粒　YJ:4490025D1022　院内コード:202391
成分:オロパタジン塩酸塩,
【効】１）．　成人：アレルギー性鼻炎、じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑）。

２）．　小児：アレルギー性鼻炎、じん麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）
に伴うそう痒。
【用】成人：通常、成人には１回オロパタジン塩酸塩として５ｍｇ（顆粒剤として１ｇ）を朝及び就寝前の１日２回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：通常、７歳以上の小児には１回オロパタジン塩酸塩として５ｍｇ（顆粒剤として１ｇ）を朝及び就寝前の１日２回経口投与する。
通常、２歳以上７歳未満の小児には１回オロパタジン塩酸塩として２．５ｍｇ（顆粒剤として０．５ｇ）を朝及び就寝前の１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

オキサトミド錠３０ｍｇ「サワイ」 Oxatomide 採用 <後発品（加算対象）>

商品名:オキサトミド錠３０ｍｇ「サワイ」
規格:３０ｍｇ１錠　薬価:6.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:4490005F1603　院内コード:203140
成分:オキサトミド,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚そう痒症。
４）．　湿疹・皮膚炎。
５）．　痒疹。
【用】通常、成人には１回オキサトミドとして３０ｍｇ（１錠）を朝及び就寝前の１日２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

オロパタジン塩酸塩錠５ｍｇ「明治」 Olopatadine hydrochloride MEIJI 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]アレロック錠５

商品名:オロパタジン塩酸塩錠５ｍｇ「明治」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:4490025F2275　院内コード:202749
成分:オロパタジン塩酸塩,
【効】１）．　成人：アレルギー性鼻炎、じん麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症、尋常性乾癬、多形滲出性紅斑）。
２）．　小児：アレルギー性鼻炎、じん麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）
に伴うそう痒。
【用】成人：通常、成人には１回オロパタジン塩酸塩として５ｍｇを朝及び就寝前の１日２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：通常、７歳以上の小児には１回オロパタジン塩酸塩として５ｍｇを朝及び就寝前の１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

クラリチン錠１０ｍｇ Clarition 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:クラリチン錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:25.90　製造:バイエル薬品　剤型:錠　YJ:4490027F1022　院内コード:200384
成分:ロラタジン,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】成人：通常、ロラタジンとして１回１０ｍｇを１日１回、食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。
小児：通常、７歳以上の小児にはロラタジンとして１回１０ｍｇを１日１回、食後に経口投与する。
【保管】室温保存。

スプラタストトシル酸塩カプセル１００ｍｇ「サワイ」(ｱｲﾋﾟｰﾃﾞｨｰ) Suplatast tosilate SAWAI 採用 <後発品（加算対象外）> [先発品:臨時使用]アイピーディカプセル１００

商品名:スプラタストトシル酸塩カプセル１００ｍｇ「サワイ」
規格:１００ｍｇ１カプセル　薬価:20.30　製造:沢井製薬　剤型:カプセルYJ:4490016M2062　院内コード:203008
成分:スプラタストトシル酸塩,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アトピー性皮膚炎。
３）．　アレルギー性鼻炎。
【用】通常、成人にはスプラタストトシル酸塩として１回１００ｍｇを１日３回毎食後に経口投与する。
ただし、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

デザレックス錠5ｍｇ Desalex 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:デザレックス錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:33.40　製造:オルガノン　剤型:錠　YJ:4490032F1023　院内コード:202804
成分:デスロラタジン,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】通常、１２歳以上の小児及び成人にはデスロラタジンとして１回５ｍｇを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

ビラノアＯＤ錠２０ｍｇ Bilanoa OD 採用 <先発品（後発品あり）>

商品名:ビラノアＯＤ錠２０ｍｇ

規格:２０ｍｇ１錠　薬価:44.80　製造:大鵬薬品　剤型:錠　YJ:4490033F2024　院内コード:203455
成分:ビラスチン,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】通常、成人にはビラスチンとして１回２０ｍｇを１日１回空腹時に経口投与する。
【保管】室温保存。

フェキソフェナジン塩酸塩錠３０ｍｇ「明治」(ｱﾚｸﾞﾗ)　Fexofenadine HCl MEIJI　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]アレグラ錠３０ｍｇ
商品名:フェキソフェナジン塩酸塩錠３０ｍｇ「明治」
規格:３０ｍｇ１錠　薬価:17.10　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:錠　YJ:4490023F2233　院内コード:203741
成分:フェキソフェナジン塩酸塩,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎）に伴うそう痒。
【用】通常、成人にはフェキソフェナジン塩酸塩として１回６０ｍｇを１日２回経口投与する。
通常、７歳以上１２歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として１回３０ｍｇを１日２回、１２歳以上の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として１回６０ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

フェキソフェナジン塩酸塩錠６０ｍｇ「サワイ」　Fexofenadine hydrochloride　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]アレグラ錠６０ｍｇ
商品名:フェキソフェナジン塩酸塩錠６０ｍｇ「サワイ」
規格:６０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:4490023F1270　院内コード:203910
成分:フェキソフェナジン塩酸塩,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎）に伴うそう痒。
【用】通常、成人にはフェキソフェナジン塩酸塩として１回６０ｍｇを１日２回経口投与する。
通常、７歳以上１２歳未満の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として１回３０ｍｇを１日２回、１２歳以上の小児にはフェキソフェナジン塩酸塩として１回６０ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

プランルカスト ｶﾌﾟｾﾙ112.5ｍｇ「日医工」(ｵﾉﾝ)　Pranlukast　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]オノンカプセル１１２．５ｍｇ
商品名:プランルカストカプセル１１２．５ｍｇ「日医工」
規格:１１２．５ｍｇ１カプセル　薬価:12.40　製造:日医工　剤型:カプセルYJ:4490017M1079　院内コード:202451
成分:プランルカスト水和物,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アレルギー性鼻炎。
【用】通常、成人にはプランルカスト水和物として１日量４５０ｍｇ（本剤４カプセル）を朝食後及び夕食後の２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

プランルカストDS10%「タカタ」（オノン）　Pranlukast TAKATA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]オノンドライシロップ１０％
商品名:プランルカストＤＳ１０％「タカタ」
規格:１０％１ｇ　薬価:21.10　製造:高田製薬　剤型:シロップ用　YJ:4490017R1157　院内コード:203354
成分:プランルカスト水和物,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アレルギー性鼻炎。
【用】通常、小児にはプランルカスト水和物として１日量７ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップとして７０ｍｇ／ｋｇ）を朝食後および夕食後の２回に分け、用時懸濁して経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。１日最高用量はプランルカスト水和物として１０ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップとして１００ｍｇ／ｋｇ）とする。ただし、プランルカスト水和物として成人の通常の用量である４５０ｍｇ／日（ドライシロップとして４．５ｇ／日）
を超えないこと。
体重別の標準投与量は、通常、次記の用量を１回量とし、１日２回、朝食後および夕食後に経口投与する。
１）．　体重１２ｋｇ以上１８ｋｇ未満：０．５ｇ（プランルカスト水和物として５０ｍｇ）。
２）．　体重１８ｋｇ以上２５ｋｇ未満：０．７ｇ（プランルカスト水和物として７０ｍｇ）。
３）．　体重２５ｋｇ以上３５ｋｇ未満：１．０ｇ（プランルカスト水和物として１００ｍｇ）。
４）．　体重３５ｋｇ以上４５ｋｇ未満：１．４ｇ（プランルカスト水和物として１４０ｍｇ）。
【保管】室温保存。

ベポタスチンベシル酸塩錠１０ｍｇ「タナベ」(ﾀﾘｵﾝ)　Bepotastine besilate　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]タリオン錠１０ｍｇ
商品名:ベポタスチンベシル酸塩錠１０ｍｇ「タナベ」

規格:１０ｍｇ１錠　薬価:10.80　製造:ニプロ　剤型:錠　YJ:4490022F2042　院内コード:203011
成分:ベポタスチンベシル酸塩,
【効】１）．　〈成人〉①．　アレルギー性鼻炎。
②．　蕁麻疹。
③．　皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症）。
２）．　〈小児〉①．　アレルギー性鼻炎。
②．　蕁麻疹。
③．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】〈成人〉通常、成人にはベポタスチンベシル酸塩として１回１０ｍｇを１日２回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈小児〉通常、７歳以上の小児にはベポタスチンベシル酸塩として１回１０ｍｇを１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

モンテルカストチュアブル錠５ｍｇ「タカタ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ)　Montelukast TAKATA　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]キプレスチュアブル錠５ｍｇ
商品名:モンテルカストチュアブル錠５ｍｇ「タカタ」
規格:５ｍｇ１錠　薬価:16.30　製造:高田製薬　剤型:錠　YJ:4490026F1222　院内コード:202936
成分:モンテルカストナトリウム,
【効】気管支喘息。
【用】通常、６歳以上の小児にはモンテルカストとして５ｍｇを１日１回就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

モンテルカスト細粒４ｍｇ「タカタ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ)　Montelukast TAKATA　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]キプレス細粒４ｍｇ
商品名:モンテルカスト細粒４ｍｇ「タカタ」
規格:４ｍｇ１包　薬価:27.50　製造:高田製薬　剤型:細粒　YJ:4490026C1129　院内コード:202937
成分:モンテルカストナトリウム,
【効】気管支喘息。
【用】通常、１歳以上６歳未満の小児にはモンテルカストとして４ｍｇ（本剤１包）を１日１回就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

モンテルカスト錠１０ｍｇ「ＫＭ」(ｼﾝｸﾞﾚｱ)　Montelukast KM　採用
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]キプレス錠１０ｍｇ
商品名:モンテルカスト錠１０ｍｇ「ＫＭ」
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:31.50　製造:キョーリンリメディオ　剤型:錠　YJ:4490026F2067　院内コード:202853
成分:モンテルカストナトリウム,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アレルギー性鼻炎。
【用】〈気管支喘息〉通常、成人にはモンテルカストとして１０ｍｇを１日１回就寝前に経口投与する。
〈アレルギー性鼻炎〉通常、成人にはモンテルカストとして５～１０ｍｇを１日１回就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

リザベンカプセル１００ｍｇ　Rizaben　採用
<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:リザベンカプセル１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１カプセル　薬価:10.80　製造:キッセイ薬品　剤型:カプセルYJ:4490002M1315　院内コード:200289
成分:トラニラスト,
【効】１）．　気管支喘息。
２）．　アレルギー性鼻炎。
３）．　アトピー性皮膚炎。
４）．　ケロイド・肥厚性瘢痕。
【用】通常、成人には１回１カプセル（トラニラストとして１００ｍｇ）を１日３回経口投与する。ただし、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ルパフィン錠１０ｍｇ　Rupafin　採用
<先発品（後発品なし）>
商品名:ルパフィン錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:37.40　製造:帝國製薬　剤型:錠　YJ:4490034F1022　院内コード:203028
成分:ルパタジンフマル酸塩,
【効】１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹。
３）．　皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】通常、１２歳以上の小児及び成人にはルパタジンとして１回１０ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、症状に応じて、ルパタジンとして１回２０ｍｇに増量できる。
【保管】室温保存。

レボセチリジン塩酸塩シロップ０．０５％「ニプロ」(ｻﾞｲｻﾞﾙ)　Levocetirizine hydrochloride　採用
<後発品（加算対象外）>
[先発品:非採用]ザイザルシロップ０．０５％
商品名:レボセチリジン塩酸塩シロップ０．０５％「ニプロ」
規格:０．０５％１ｍＬ　薬価:7.10　製造:東亜薬品　剤型:シロップYJ:4490028Q1079　院内コード:203277
成分:レボセチリジン塩酸塩,
【効】［成人］１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症。

［小児］１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】［成人］通常、成人には１回１０mL（レボセチリジン塩酸塩として５mg）を１日１回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は１日２０mL（レボセチリジン塩酸塩として１０mg）とする。
［小児］通常、６ヵ月以上１歳未満の小児には１回２．５mL（レボセチリジン塩酸塩として１．２５mg）を１日１回経口投与する。
通常、１歳以上７歳未満の小児には１回２．５mL（レボセチリジン塩酸塩として１．２５mg）を１日２回、朝食後及び就寝前に経口投与する。
通常、７歳以上１５歳未満の小児には１回５mL（レボセチリジン塩酸塩として２．５mg）を１日２回、朝食後及び就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

レボセチリジン塩酸塩錠５mg「武田テバ」(ｻﾞｲｻﾞﾙ)　Levocetirizine hydrochloride TAKEDA TEVA　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:臨時使用]ザイザル錠５mg

商品名:レボセチリジン塩酸塩錠５mg「武田テバ」
規格:５mg１錠　薬価:13.40　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:錠　YJ:4490028F1140　院内コード:203275
成分:レボセチリジン塩酸塩,
【効】［成人］１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹、湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚そう痒症。
［小児］１）．　アレルギー性鼻炎。
２）．　蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒。
【用】［成人］通常、成人にはレボセチリジン塩酸塩として１回５mgを１日１回、就寝前に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最高投与量は１日１０mgとする。
［小児］通常、７歳以上１５歳未満の小児にはレボセチリジン塩酸塩として１回２．５mgを１日２回、朝食後及び就寝前に経口投与する。
【保管】室温保存。

5:生薬及び漢方処方に基づく医薬

51:生薬

510:生薬

5100:生薬

トチモトのシテイ（柿のへた）　Persimmon calyx　採用

商品名:トチモトのシテイ
規格:１０g　薬価:29.40　製造:栃本天海堂　剤型:原体・原末　YJ:5100093X1034　院内コード:200582
成分:シテイ,
【効】漢方処方の調剤に用いる。
【用】漢方処方の調剤に用いる。
【保管】室温保存。

52:漢方製剤

520:漢方製剤

5200:漢方製剤

【001】ツムラ葛根湯（2.5g/包）　TSUMURA kakkonto extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ葛根湯エキス顆粒（医療用）
規格:１g　薬価:13.40　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200013D1123　院内コード:200342
成分:カッコン,カンゾウ,ケイヒ,シャクヤク,ショウキョウ,タイソウ,マオウ,
【効】自然発汗がなく頭痛、発熱、悪寒、肩こり等を伴う比較的体力のあるものの次の諸症：感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患（結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎）、肩こり、上半身の神経痛、じんましん。
【用】通常、成人１日７．５gを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【007】ツムラ八味地黄丸（2.5g/包）　TSUMURA hachimijiogan extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ八味地黄丸エキス顆粒（医療用）
規格:１g　薬価:9.80　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200121D1045　院内コード:200358
成分:ケイヒ,サンシュユ,サンヤク,ジオウ,タクシャ,ブクリョウ,ブシ,ボタンピ,
【効】疲労、倦怠感著しく、尿利減少または頻数、口渇し、手足に交互的に冷感と熱感のあるものの次の諸症：腎炎、糖尿病、陰萎、坐骨神経痛、腰痛、脚気、膀胱カタル、前立腺肥大、高血圧。
【用】通常、成人１日７．５gを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【012】ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯(2.5g/包)
TSUMURA saikokaryukotsuboreito extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ柴胡加竜骨牡蛎湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:20.20　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200050D1094　院内コード:200346
成分:オウゴン,ケイヒ,サイコ,ショウキョウ,タイソウ,ニンジン,ハンゲ,ブクリョウ,ボレイ,リュウコツ,
【効】比較的体力があり、心悸亢進、不眠、いらだち等の精神症状のあるものの次の諸症：高血圧症、動脈硬化症、慢性腎臓病、神経衰弱症、神経性心悸亢進症、てんかん、ヒステリー、小児夜啼症、陰萎。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【014】ツムラ半夏瀉心湯（2.5g/包）
TSUMURA hangeshashinto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ半夏瀉心湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:22.30　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200123D1079　院内コード:200427
成分:オウゴン,オウレン,カンキョウ,カンゾウ,タイソウ,ニンジン,ハンゲ,
【効】みぞおちがつかえ、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便または下痢の傾向のあるものの次の諸症：急性胃腸カタル・慢性胃腸カタル、醗酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【016】ツムラ半夏厚朴湯（2.5g/包）
TSUMURA hangekobokuto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:14.60　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200122D1074　院内コード:200359
成分:コウボク,ショウキョウ,ソヨウ,ハンゲ,ブクリョウ,
【効】気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症：不安神経症、神経性胃炎、つわり、せき、しわがれ声、神経性食道狭窄症、不眠症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【017】ツムラ五苓散（2.5g/包）
TSUMURA goreisan extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ五苓散エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:13.50　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200048D1070　院内コード:200345
成分:ケイヒ,ソウジュツ,タクシャ,チョレイ,ブクリョウ,
【効】口渇、尿量減少するものの次の諸症：浮腫、ネフローゼ、二日酔、急性胃腸カタル、下痢、悪心、嘔吐、めまい、胃内停水、頭痛、尿毒症、暑気あたり、糖尿病。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【018】ツムラ桂枝加朮附湯（2.5g/包）
TSUMURA keishikajutsubuto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ桂枝加朮附湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:14.90　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200034D1044　院内コード:200429
成分:カンゾウ,ケイヒ,シャクヤク,ショウキョウ,ソウジュツ,タイソウ,ブシ,
【効】関節痛、神経痛。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【019】ツムラ小青竜湯（3g/包）
TSUMURA shoseiryuto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ小青竜湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:12.80　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200075D1086　院内コード:200350
成分:カンキョウ,カンゾウ,ケイヒ,ゴミシ,サイシン,シャクヤク,ハンゲ,マオウ,
【効】次記疾患における水様の痰、水様鼻汁、鼻閉、くしゃみ、喘鳴、咳嗽、流涙：気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒。
【用】通常、成人１日９．０ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【020】ツムラ防已黄耆湯（2.5g/包）
TSUMURA boiogito extract granules for ethical use 採用

商品名:ツムラ防已黄耆湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:9.60　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200129D1076　院内コード:200362
成分:オウギ,カンゾウ,ショウキョウ,ソウジュツ,タイソウ,ボウイ,
【効】色白で筋肉軟らかく水ぶとりの体質で疲れやすく、汗が多く、小便不利で下肢に浮腫をきたし、膝関節の腫痛するものの次の諸症：腎炎、ネフローゼ、妊娠腎、陰嚢水腫、肥満症、関節炎、癰、せつ、筋炎、浮腫、皮膚病、多汗症、月経不順。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【023】ツムラ当帰芍薬散（2.5g/包）
TSUMURA tokishakuyakusan extract granules for ethical use 採用

商品名:ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:14.90　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200111D1076　院内コード:200356
成分:シャクヤク,センキュウ,ソウジュツ,タクシャ,トウキ,ブクリョウ,
【効】筋肉が一体に軟弱で疲労しやすく、腰脚の冷えやすいものの次の諸症：貧血、倦怠感、更年期障害（頭重、頭痛、めまい、肩こり等）、月経不順、月経困難、不妊症、動悸、慢性腎炎、妊娠中の諸病（浮腫、習慣性流産、痔、腹痛）、脚気、半身不随、心臓弁膜症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【024】ツムラ加味逍遙散（2.5g/包）
TSUMURA kamishoyosan extract granules for ethical use 採用

商品名:ツムラ加味逍遙散エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:15.90　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200017D1083　院内コード:200341
成分:カンゾウ,サイコ,サンシシ,シャクヤク,ショウキョウ,ソウジュツ,トウキ,ハッカ,ブクリョウ,ボタンピ,
【効】体質虚弱な婦人で肩がこり、疲れやすく、精神不安などの精神神経症状、ときに便秘の傾向のある次の諸症：冷え症、虚弱体質、月経不順、月経困難、更年期障害、血の道症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【025】ツムラ桂枝茯苓丸（2.5g/包）
TSUMURA keishibukuryogan extract granules for ethical use 採用

商品名:ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:14.10　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200038D1093　院内コード:200343
成分:ケイヒ,シャクヤク,トウニン,ブクリョウ,ボタンピ,
【効】体格はしっかりしていて赤ら顔が多く、腹部は大体充実、下腹部に抵抗のあるものの次の諸症：子宮並びにその付属器の炎症、子宮内膜炎、月経不順、月経困難、帯下、更年期障害（頭痛、めまい、のぼせ、肩こり等）、冷え症、腹膜炎、打撲症、痔疾患、睾丸炎。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【029】ツムラ麦門冬湯（3g/包）
TSUMURA bakumondoto extract granules for ethical use 採用

商品名:ツムラ麦門冬湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:16.50　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200119D1030　院内コード:200426
成分:カンゾウ,コウベイ,タイソウ,ニンジン,バクモンドウ,ハンゲ,
【効】痰の切れにくい咳、気管支炎、気管支ぜんそく。
【用】通常、成人１日９．０ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【034】ツムラ白虎加人参湯（3g/包）
TSUMURA byakkokaninjinto extract granules for ethical use 採用

商品名:ツムラ白虎加人参湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:17.70　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200125D1035　院内コード:200357
成分:カンゾウ,コウベイ,セッコウ,チモ,ニンジン,
【効】のどの渇きとほてりのあるもの。
【用】通常、成人１日９．０ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【038】ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯(2.5g/P)
TSUMURA tokishigyakukagoshuyushokyoto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:16.60　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200110D1047　院内コード:200355
成分:カンゾウ,ケイヒ,ゴシュユ,サイシン,シャクヤク,ショウキョウ,タイソウ,トウキ,モクツウ,
【効】手足の冷えを感じ、下肢が冷えると下肢又は下腹部が痛くなり易いものの次の諸症：しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【040】ツムラ猪苓湯（2.5g/包）
TSUMURA choreito extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ猪苓湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:13.70　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200103D1101　院内コード:200750
成分:アキョウ,カッセキ,タクシャ,チョレイ,ブクリョウ,
【効】尿量減少、小便難、口渇を訴えるものの次の諸症：尿道炎、腎臓炎、腎石症、淋炎、排尿痛、血尿、腰以下の浮腫、残尿感、下痢。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【041】ツムラ補中益気湯（2.5g/包）
TSUMURA hochuekkito extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ補中益気湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:22.40　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200131D1065　院内コード:200360
成分:オウギ,カンゾウ,サイコ,ショウキョウ,ショウマ,ソウジュツ,タイソウ,チンピ,トウキ,ニンジン,
【効】消化機能が衰え、四肢倦怠感著しい虚弱体質者の次の諸症：夏やせ、病後の体力増強、結核症、食欲不振、胃下垂、感冒、痔、脱肛、子宮下垂、陰萎、半身不随、多汗症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【043】ツムラ六君子湯（2.5g/包）
TSUMURA rikkunshito extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ六君子湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:17.90　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200141D1034　院内コード:200428
成分:カンゾウ,ショウキョウ,ソウジュツ,タイソウ,チンピ,ニンジン,ハンゲ,ブクリョウ,
【効】胃腸の弱いもので、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【047】ツムラ釣藤散（2.5g/包）
TSUMURA chotosan extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ釣藤散エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:34.70　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200101D1030　院内コード:200354
成分:カンゾウ,キクカ,ショウキョウ,セッコウ,チョウトウコウ,チンピ,ニンジン,バクモンドウ,ハンゲ,ブクリョウ,ボウフウ,
【効】慢性に続く頭痛で中年以降、または高血圧の傾向のあるもの。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【048】ツムラ十全大補湯（2.5g/包）
TSUMURA juzentaihoto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ十全大補湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:18.40　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200069D1048　院内コード:200347
成分:オウギ,カンゾウ,ケイヒ,ジオウ,シャクヤク,センキュウ,ソウジュツ,トウキ,ニンジン,ブクリョウ,
【効】病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【051】ツムラ潤腸湯（2.5g/包）
TSUMURA junchoto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ潤腸湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:15.20　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200071D1037　院内コード:200348
成分:オウゴン,カンゾウ,キジツ,キョウニン,コウボク,ジオウ,ダイオウ,トウキ,トウニン,マシニン,
【効】便秘。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【053】ツムラ疎経活血湯（2.5g/包）
TSUMURA sokeikakketsuto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ疎経活血湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:16.20　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200089D1045　院内コード:202171
成分:イレイセン,カンゾウ,キョウカツ,ゴシツ,ジオウ,シャクヤク,ショウキョウ,センキュウ,ソウジュツ,チンピ,トウキ,トウニン,ビャクシ,ブクリョウ,ボウイ,ボウフウ,リュウタン,
【効】関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【054】ツムラ抑肝散（2.5g/包）
TSUMURA yokukansan extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ抑肝散エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:16.10　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200139D1037　院内コード:200363
成分:カンゾウ,サイコ,センキュウ,ソウジュツ,チョウトウコウ,トウキ,ブクリョウ,
【効】虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症：神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【062】ツムラ防風通聖散（2.5g/包）
TSUMURA bofutsushosan extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ防風通聖散エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:13.80　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200130D1060　院内コード:200361
成分:オウゴン,カッセキ,カンゾウ,キキョウ,ケイガイ,サンシシ,シャクヤク,ショウキョウ,セッコウ,センキュウ,ダイオウ,トウキ,ハッカ,ビャクジュツ,ボウフウ,マオウ,レンギョウ,無水ボウショウ,
【効】腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症：高血圧の随伴症状（高血圧のどうき、高血圧の肩こり、高血圧ののぼせ）、肥満症、むくみ、便秘。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【068】ツムラ芍薬甘草湯（2.5g/包）
TSUMURA shakuyakukanzoto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:10.40　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200067D1049　院内コード:200364
成分:カンゾウ,シャクヤク,
【効】急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉痛・関節痛、胃痛、腹痛。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【084】ツムラ大黄甘草湯（2.5g/包）
TSUMURA daiokanzoto extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ大黄甘草湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:8.00　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200090D1030　院内コード:200352
成分:カンゾウ,ダイオウ,
【効】便秘症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【089】ツムラ治打撲一方（2.5g/包）
TSUMURA jidabokuippo extract granules for ethical use
採用

商品名:ツムラ治打撲一方エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:8.30　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200098D1028　院内コード:202560
成分:カンゾウ,ケイヒ,センキュウ,センコツ,ダイオウ,チョウジ,ボクソク,
【効】打撲によるはれ及び痛み。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【096】ツムラ柴朴湯（2.5g/包）　TSUMURA saibokuto extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ柴朴湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:33.90　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200054D1033　院内コード:200423
成分:オウゴン,カンゾウ,コウボク,サイコ,ショウキョウ,ソヨウ,タイソウ,ニンジン,ハンゲ,ブクリョウ,
【効】気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、時に動悸、めまい、嘔気などを伴う次の諸症：小児ぜんそく、気管支ぜんそく、気管支炎、せき、不安神経症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【100】ツムラ大建中湯（2.5g/包）　TSUMURA daikenchuto extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ大建中湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:13.70　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200092D1020　院内コード:200353
成分:カンキョウ,コウイ,サンショウ,ニンジン,
【効】腹が冷えて痛み、腹部膨満感のあるもの。
【用】通常、成人１日１５．０ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【107】ツムラ牛車腎気丸（2.5g/包）　TSUMURA goshajinkigan extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:17.70　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200025D1029　院内コード:200421
成分:ケイヒ,ゴシツ,サンシュユ,サンヤク,ジオウ,シャゼンシ,タクシャ,ブクリョウ,ブシ,ボタンピ,
【効】疲れやすくて、四肢が冷えやすく尿量減少または多尿で時に口渇がある次の諸症：下肢痛、腰痛、しびれ、老人のかすみ目、かゆみ、排尿困難、頻尿、むくみ。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【108】ツムラ人参養栄湯（3g/包）　TSUMURA ninjin'yoeito extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ人参養栄湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:20.00　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200117D1030　院内コード:200751
成分:オウギ,オンジ,カンゾウ,ケイヒ,ゴミシ,ジオウ,シャクヤク,チンピ,トウキ,ニンジン,ビャクジュツ,ブクリョウ,
【効】病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血。
【用】通常、成人１日９．０ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【114】ツムラ柴苓湯（3g/包）　TSUMURA saireito extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ柴苓湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:45.00　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200055D1020　院内コード:200744
成分:オウゴン,カンゾウ,ケイヒ,サイコ,ショウキョウ,ソウジュツ,タイソウ,タクシャ,チョレイ,ニンジン,ハンゲ,ブクリョウ,
【効】吐き気、食欲不振、のどのかわき、排尿が少ないなどの次の諸症：水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ。
【用】通常、成人１日９．０ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【134】ツムラ桂枝加芍薬大黄湯(2.5g/包)　TSUMURA keishikashakuyakudaioto extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ桂枝加芍薬大黄湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:14.40　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200033D1023　院内コード:200742
成分:カンゾウ,ケイヒ,シャクヤク,ショウキョウ,ダイオウ,タイソウ,
【効】比較的体力のない人で、腹部膨満し、腸内の停滞感あるいは腹痛などを伴なうものの次の諸症：

１．　急性腸炎、大腸カタル。
２．　常習便秘、宿便、しぶり腹。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【137】ツムラ加味帰脾湯（2.5g/包）　TSUMURA kamikihito extract granules for ethical use　採用

商品名:ツムラ加味帰脾湯エキス顆粒（医療用）
規格:１ｇ　薬価:25.90　製造:ツムラ　剤型:顆粒　YJ:5200016D1054　院内コード:200739
成分:オウギ,オンジ,カンゾウ,サイコ,サンシシ,サンソウニン,ショウキョウ,ソウジュツ,タイソウ,トウキ,ニンジン,ブクリョウ,モッコウ,リュウガンニク,
【効】虚弱体質で血色の悪い人の次の諸症：貧血、不眠症、精神不安、神経症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

【EK-83】クラシエ抑肝散加陳皮半夏(2.5g/包)　Kracie yokukansanka chimpihange extract fine granules　採用

商品名:クラシエ抑肝散加陳皮半夏エキス細粒
規格:１ｇ　薬価:16.70　製造:大峰堂薬品　剤型:細粒　YJ:5200140C1042　院内コード:202725
成分:カンゾウ,サイコ,センキュウ,チョウトウコウ,チンピ,トウキ,ハンゲ,ビャクジュツ,ブクリョウ,
【効】虚弱な体質で神経がたかぶるものの次の諸症：神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症。
【用】通常、成人１日７．５ｇを２～３回に分割し、食前又は食間に経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

59:その他の生薬及び漢方処方に基づ

590:その他の生薬及び漢方処方に基づく医

5900:その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬

ヨクイニンエキス錠「コタロー」　Coix seed extract　採用

商品名:ヨクイニンエキス錠「コタロー」
規格:１錠　薬価:6.50　製造:小太郎漢方製薬　剤型:錠　YJ:5900003F1021　院内コード:200757
成分:ヨクイニンエキス,
【効】青年性扁平疣贅、尋常性疣贅。
【用】ヨクイニンエキスとして、通常成人１日１．０～２．０ｇを３回に分割経口投与する（ヨクイニンエキス錠「コタロー」は、通常成人１日９～１８錠を３回に分割経口投与する）
。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

6:病原生物に対する医薬品

61:抗生物質製剤

611:主としてグラム陽性菌に作用するもの

6112:リンコマイシン系抗生物質製剤

ｸﾘﾝﾀﾞﾏｲｼﾝﾘﾝ酸ｴｽﾃﾙ注射液600mg(ﾐﾄﾞｼﾝ)　Clindamycin phosphate　採用

商品名:クリンダマイシンリン酸エステル注射液６００mg「サワイ」
規格:６００mg１管　薬価:387.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:6112401A2158　院内コード:300672
成分:クリンダマイシンリン酸エステル,
【効】敗血症、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎。
【用】〈点滴静脈内注射〉通常、成人には、クリンダマイシンとして１日６００～１２００mg（力価）を２～４回に分けて点滴静注する。
通常、小児には、クリンダマイシンとして１日１５～２５mg（力価）／ｋｇを３～４回に分けて点滴静注する。
なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、成人では１日２４００mg（力価）まで増量し、２～４回に分けて投与する。
また、小児では１日４０mg（力価）／ｋｇまで増量し、３～４回に分けて投与する。
点滴静注に際しては、本剤３００～６００mg（力価）あたり１００～２５０mLの日局５%ブドウ糖注射液、日局生理食塩液又はアミノ酸製剤等の補液に溶解し、３０分～１時間かけて投与する。
〈筋肉内注射〉通常、成人には、クリンダマイシンとして１日６００～１２００mg（力価）を２～４回に分けて筋肉内注射する。
なお、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

6113:バンコマイシン製剤

バンコマイシン塩酸塩散０．５ｇ「明治」　Vancomycin hydrochloride MEIJI　採用

61: 抗生物質製剤

商品名:バンコマイシン塩酸塩散０．５ｇ「明治」
規格:５００ｍｇ１瓶　薬価:1150.80　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:散　YJ:6113001B1135　院内コード:203442
成分:バンコマイシン塩酸塩,
【効】１）．　感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）。
２）．　骨髄移植時の消化管内殺菌。
【用】〈感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）〉用時溶解し、通常、成人１回０．１２５～０．５ｇ（力価）を１日４回経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
〈骨髄移植時の消化管内殺菌〉用時溶解し、通常、成人１回０．５ｇ（力価）を非吸収性の抗菌剤及び抗真菌剤と併用して１日４～６回経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

バンコマイシン塩酸塩点滴静注用０．５ｇ「明治」　Vancomycin hydrochloride MEIJI　採用
商品名:バンコマイシン塩酸塩点滴静注用０．５ｇ「明治」
規格:０．５ｇ１瓶　薬価:980.00　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:静注用　YJ:6113400A1219　院内コード:301142
成分:バンコマイシン塩酸塩,
【効】１）．　バンコマイシンに感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（ＭＲＳＡ）：敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、腹膜炎、化膿性髄膜炎。
２）．　バンコマイシンに感性のメチシリン耐性コアグラーゼ陰性ブドウ球菌（ＭＲＣＮＳ）：敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、関節炎、腹膜炎、化膿性髄膜炎。
３）．　バンコマイシンに感性のペニシリン耐性肺炎球菌（ＰＲＳＰ）：敗血症、肺炎、化膿性髄膜炎。
４）．　ＭＲＳＡ又はＭＲＣＮＳ感染が疑われる発熱性好中球減少症。
【用】通常、成人にはバンコマイシン塩酸塩として１日２ｇ（力価）を１回０．５ｇ（力価）６時間ごと又は１回１ｇ（力価）１２時間ごとに分割して、それぞれ６０分以上かけて点滴静注する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
高齢者には、１回０．５ｇ（力価）１２時間ごと又は１回１ｇ（力価）２４時間ごとに、それぞれ６０分以上かけて点滴静注する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
小児、乳児には、１日４０ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分割して、それぞれ６０分以上かけて点滴静注する。
新生児には、１回投与量を１０～１５ｍｇ（力価）／ｋｇとし、生後１週までの新生児に対しては１２時間ごと、生後１ヵ月までの新生児に対しては８時間ごとに、それぞれ６０分以上かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

6119: その他の主としてグラム陽性菌に作用す

ダプトマイシン静注用350ｍｇ「ニプロ」　Daptomycin　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]キュビシン静注用３５０ｍｇ
商品名:ダプトマイシン静注用３５０ｍｇ「ニプロ」
規格:３５０ｍｇ１瓶　薬価:4543.00　製造:ニプロ　剤型:注射用　YJ:6119402D1048　院内コード:301228
成分:ダプトマイシン,
【効】敗血症、感染性心内膜炎、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染。
【用】〈敗血症、感染性心内膜炎〉通常、成人にはダプトマイシンとして１日１回６ｍｇ／ｋｇを２４時間ごとに３０分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。
〈深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染〉通常、成人にはダプトマイシンとして１日１回４ｍｇ／ｋｇを２４時間ごとに３０分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。
【保管】室温保存。

テイコプラニン点滴静注用２００ｍｇ「サワイ」　Teicoplanin　採用　(劇)　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]注射用タゴシッド２００ｍｇ
商品名:テイコプラニン点滴静注用２００ｍｇ「サワイ」
規格:２００ｍｇ１瓶　薬価:1397.00　製造:沢井製薬　剤型:注射用　YJ:6119401D1124　院内コード:301204
成分:テイコプラニン,
【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染。
【用】通常、成人にはテイコプラニンとして初日４００ｍｇ（力価）又は８００ｍｇ（力価）を２回に分け、以後１日１回２００ｍｇ（力価）又は４００ｍｇ（力価）を３０分以上かけて点滴静注する。
敗血症には、初日８００ｍｇ（力価）を２回に分け、以後１日１回４００ｍｇ（力価）を３０分以上かけて点滴静注する。
通常、乳児、幼児又は小児にはテイコプラニンとして１０ｍｇ（力価）／ｋｇを１２時間間隔で３回、以後６～１０ｍｇ（力価）／ｋｇ（敗血症などの重症感染症では１０ｍｇ（力価）／ｋｇ）を２４時間ごとに３０分以上かけて点滴静注する。また、新生児（低出生体重児を含む）にはテイコプラニンとして初回のみ１６ｍｇ（力価）／ｋｇを、以後８ｍｇ（力価）／ｋｇを２４時間ごとに３０分以上かけて点滴静注する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

612: 主としてグラム陰性菌に作用するもの

6123: アミノ糖系抗生物質製剤

アミカシン硫酸塩注射液２００ｍｇ「ＳＷ」【２００ｍｇ１管】　Amikacin sulfate SW　採用

商品名:アミカシン硫酸塩注射液２００ｍｇ「ＳＷ」
規格:２００ｍｇ１管　薬価:357.00　製造:沢井製薬　剤型:注射液　YJ:6123402A3233　院内コード:300896
成分:アミカシン硫酸塩,
【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎。
【用】〈筋肉内投与の場合〉通常、成人１回アミカシン硫酸塩として１００～２００ｍｇ（力価）を１日１～２回筋肉内投与する。小児は、アミカシン硫酸塩として１日４～８ｍｇ（力価）／ｋｇとし、１日１～２回筋肉内投与する。
なお、年齢及び症状により適宜増減する。
〈点滴静脈内投与の場合〉通常、成人１回アミカシン硫酸塩として１００～２００ｍｇ（力価）を、１日２回点滴静脈内投与する。小児は、アミカシン硫酸塩として１日４～８ｍｇ（力価）／ｋｇとし、１日２回点滴静脈内投与する。また、新生児（未熟児を含む）は、１回アミカシン硫酸塩として６ｍｇ（力価）／ｋｇを、１日２回点滴静脈内投与する。
なお、年齢、体重及び症状により適宜増減する。
点滴静脈内投与の場合には、通常１００～５００ｍＬの補液中に１００～２００ｍｇ（力価）の割合で溶解し、３０分～１時間かけて投与すること。
【保管】室温保存。

613: 主としてグラム陽性・陰性菌に作用す

6131: ペニシリン系抗生物質製剤；合成ペニシ

アモキシシリンカプセル２５０ｍｇ「トーワ」　Amoxicillin TOWA　採用
商品名:アモキシシリンカプセル２５０ｍｇ「トーワ」
規格:２５０ｍｇ１カプセル　薬価:11.20　製造:東和薬品　剤型:カプセルYJ:6131001M2335　院内コード:203552
成分:アモキシシリン水和物,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、淋菌感染症、梅毒、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、涙嚢炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱、胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃ＭＡＬＴリンパ腫・免疫性血小板減少症・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】〈ヘリコバクター・ピロリ感染を除く感染症〉成人：アモキシシリン水和物として、通常１回２５０ｍｇ（力価）を１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：アモキシシリン水和物として、通常１日２０～４０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量として最大９０ｍｇ（力価）／ｋｇを超えないこと。
〈ヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎〉・　アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びプロトンポンプインヒビター併用の場合ヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の場合、通常、成人にはアモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）、クラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）及びプロトンポンプインヒビターの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
・　アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びプロトンポンプインヒビター併用によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合通常、成人にはアモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）、メトロニダゾールとして１回２５０ｍｇ及びプロトンポンプインヒビターの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

サワシリン細粒１０％　Sawacillin　採用
商品名:サワシリン細粒１０％
規格:１００ｍｇ１ｇ　薬価:7.20　製造:ＬＴＬファーマ　剤型:細粒　YJ:6131001C1210　院内コード:200759
成分:アモキシシリン水和物,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、淋菌感染症、梅毒、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、涙嚢炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱、胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症。
【用】〈ヘリコバクター・ピロリ感染を除く感染症〉成人：アモキシシリン水和物として、通常１回２５０ｍｇ（力価）を１日３～４回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
小児：アモキシシリン水和物として、通常１日２０～４０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、１日量として最大９０ｍｇ（力価）／ｋｇを超えないこと。
〈胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症〉・　アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びランソプラゾール併用の場合胃潰瘍・十二指腸潰瘍におけるヘリコバクター・ピロリ感染症の場合、通常、成人にはアモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）、クラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）及びランソプラゾールとして１回３０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
・　アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びラベプラゾールナトリウム併用の場合通常、成人にはアモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）、クラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）及びラベプラゾールナトリウムとして１回１０ｍｇの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
【保管】室温保存。

ビクシリン注射用１ｇ　Viccillin　採用
商品名:ビクシリン注射用１ｇ
規格:１ｇ１瓶　薬価:481.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:注射用　YJ:6131400D3100　院内コード:300176
成分:アンピシリンナトリウム,

61: 抗生物質製剤

【効】敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、腹膜炎、肝膿瘍、感染性腸炎、子宮内感染、化膿性髄膜炎、眼瞼膿瘍、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染、猩紅熱、炭疽、放線菌症。
【用】〈成人〉筋肉内注射の場合アンピシリンとして、通常、成人には１回２５０～１０００ｍｇ（力価）を１日２～４回筋肉内注射する。
敗血症、感染性心内膜炎、化膿性髄膜炎については、一般に通常用量より大量を使用する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
静脈内注射の場合アンピシリンとして、通常、成人には１日量１～２ｇ（力価）を１～２回に分けて日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し静脈内注射し、点滴静注による場合は、アンピシリンとして、通常、成人には１日量１～４ｇ（力価）を１～２回に分けて輸液１００～５００ｍＬに溶解し１～２時間かけて静脈内に点滴注射する。
敗血症、感染性心内膜炎、化膿性髄膜炎については、一般に通常用量より大量を使用する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈小児〉アンピシリンとして、通常、小児には１日１００～２００ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分けて日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し静脈内注射し、点滴静注による場合は、輸液に溶解して用いる。なお、症状・病態に応じて適宜増量とするが、投与量の上限は１日４００ｍｇ（力価）／ｋｇまでとする。
〈新生児〉アンピシリンとして、通常、新生児には１日５０～２００ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分けて日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し静脈内注射し、点滴静注による場合は、輸液に溶解して用いる。
【保管】室温保存。

ﾋﾟﾍﾟﾗｼﾘﾝNa点滴静注用ﾊﾞｯｸﾞ2gNP(ﾍﾟﾝﾄｼﾘﾝ)　Piperacillin sodium　採用

商品名:ピペラシリンナトリウム点滴静注用バッグ２ｇ「ＮＰ」
規格:２ｇ１キット（生理食塩液１００ｍＬ付）　薬価:1109.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:6131403P2031　院内コード:300758
成分:ピペラシリンナトリウム,
【効】敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎。
【用】ピペラシリンナトリウムとして、通常、成人には、１日２～４ｇ（力価）を２～４回に分けて静脈内に投与する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、１回４ｇ（力価）を１日４回まで増量して静脈内に投与する。
通常、小児には、１日５０～１２５ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分けて静脈内に投与する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、１日３００ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量して３回に分けて静脈内に投与する。ただし、１回投与量の上限は成人における１回４ｇ（力価）を超えないものとする。
【保管】室温保存。

6132: セフェム系抗生物質製剤

ケフラールカプセル２５０ｍｇ　Kefral　採用

商品名:ケフラールカプセル２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１カプセル　薬価:54.70　製造:共和薬品　剤型:カプセルYJ:6132005M1059　院内コード:200106
成分:セファクロル,
【効】１）．　表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症。
２）．　外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎。
３）．　咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染。
４）．　膀胱炎、腎盂腎炎。
５）．　麦粒腫。
６）．　中耳炎。
７）．　歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。
８）．　猩紅熱。
【用】通常、成人及び体重２０ｋｇ以上の小児にはセファクロルとして１日７５０ｍｇ（力価）を３回に分割して経口投与する。重症の場合や分離菌の感受性が比較的低い症例には１日１５００ｍｇ（力価）を３回に分割して経口投与する。
なお、年齢、体重、症状等に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

ケフラール細粒小児用１００ｍｇ　Kefral　採用

商品名:ケフラール細粒小児用１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１ｇ　薬価:44.30　製造:共和薬品　剤型:細粒　YJ:6132005C1053　院内コード:200386
成分:セファクロル,
【効】１）．　表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症。
２）．　外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎。
３）．　咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染。
４）．　膀胱炎、腎盂腎炎。
５）．　麦粒腫。
６）．　中耳炎。
７）．　歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。
８）．　猩紅熱。
【用】通常、幼小児にはセファクロルとして体重ｋｇあたり１日２０～４０ｍｇ（力価）を３回に分割して経口投与する。
なお、年齢、体重、症状等に応じ適宜増減する。
【保管】室温保存。

ケフレックスカプセル２５０ｍｇ　Keflex　採用

商品名:ケフレックスカプセル２５０ｍｇ

規格:２５０ｍｇ１カプセル　薬価:31.50　製造:共和薬品　剤型:カプセルYJ:6132002M2183　院内コード:202711
成分:セファレキシン,
【効】１）．　表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症。
２）．　外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎。
３）．　骨髄炎、筋炎。
４）．　咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染。
５）．　膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）。
６）．　淋菌感染症、子宮頸管炎。
７）．　バルトリン腺炎、子宮内感染。
８）．　涙嚢炎、麦粒腫、角膜炎（角膜潰瘍を含む）。
９）．　外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎。
１０）．　歯周組織炎、歯冠周囲炎、上顎洞炎、顎炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染。
【用】通常、成人及び体重２０ｋｇ以上の小児にはセファレキシンとして１回２５０ｍｇ（力価）を６時間ごとに経口投与する。
重症の場合や分離菌の感受性が比較的低い症例には１回５００ｍｇ（力価）を６時間ごとに経口投与する。
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

セフェピム塩酸塩静注用　１ｇ「ｻﾝﾄﾞ」(ﾏｷｼﾋﾟｰﾑ)　Cefepime dihydrochloride SANDOZ　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:セフェピム塩酸塩静注用１ｇ「サンド」
規格:１ｇ１瓶　薬価:522.00　製造:サンド　剤型:注射用　YJ:6132425D2039　院内コード:301149
成分:セフェピム塩酸塩水和物,
【効】１）．　一般感染症：
敗血症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、子宮内感染、子宮旁結合織炎、中耳炎、副鼻腔炎。
２）．　発熱性好中球減少症。
【用】本剤の使用に際しては、投与開始後３日をめやすとしてさらに継続投与が必要か判定し、投与中止又はより適切な他剤に切り替えるべきか検討を行うこと。さらに、本剤の投与期間は、原則として１４日以内とすること。
〈一般感染症〉通常成人には、症状により１日１～２ｇ（力価）を２回に分割し、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、難治性又は重症感染症には、症状に応じて１日量を４ｇ（力価）まで増量し分割投与する。
〈発熱性好中球減少症〉通常成人には、１日４ｇ（力価）を２回に分割し、静脈内注射又は点滴静注する。
〈効能共通〉静脈内注射の場合は、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に注射する。
また、点滴静注の場合は、糖液、電解質液又はアミノ酸製剤などの補液に加えて３０分～１時間かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

セフカペン　ピボキシル塩酸塩錠１００ｍｇ「ＳＷ」　Cefcapene pivoxil hydrochloride SW　採用
商品名:セフカペンピボキシル塩酸塩錠１００ｍｇ「ＳＷ」
規格:１００ｍｇ１錠　薬価:41.10　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:6132016F2135　院内コード:203407
成分:セフカペン　ピボキシル塩酸塩水和物,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。
【用】通常、成人にはセフカペン　ピボキシル塩酸塩水和物として１回１００ｍｇ（力価）を１日３回食後経口投与する。
なお、年齢及び症状に応じて適宜増減するが、難治性又は効果不十分と思われる症例には１回１５０ｍｇ（力価）を１日３回食後経口投与する。
【保管】室温保存。

セフタジジム静注用１ｇ「VTRS」　Ceftazidime　採用
商品名:セフタジジム静注用１ｇ「ＶＴＲＳ」
規格:１ｇ１瓶　薬価:686.00　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:静注用　YJ:6132418F2196　院内コード:300823
成分:セフタジジム水和物,
【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎。
【用】通常、成人には１日１～２ｇ（力価）を２回に分割し静脈内に注射する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて１日量を４ｇ（力価）まで増量し、２～４回に分割投与する。
通常、小児には１日４０～１００ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分割し静脈内に注射する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて１日量を１５０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、２～４回に分割投与する。
通常、未熟児・新生児の生後０から３日齢には１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日２～３回、また、生後４日齢以降には１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日３～４回静脈内に注射する。なお、難治性又は重症感染症には、症状に応じて１日量を１５０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、２～４回に分割投与する。
静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液、又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。
なお、本剤は糖液、電解質液又はアミノ酸製剤などの補液に加えて３０分～２時間かけて点滴静注することもできる。
【保管】室温保存。

メイアクトＭＳ小児用細粒１０％　Meiact MS　採用

商品名:メイアクトＭＳ小児用細粒１０％

規格:１００ｍｇ１ｇ　薬価:192.80　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:細粒　YJ:6132015C1103　院内コード:200761

成分:セフジトレン　ピボキシル,

【効】小児：

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、顎炎、猩紅熱、百日咳。

成人（嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合）：

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。

【用】小児〈肺炎、中耳炎、副鼻腔炎の場合〉通常、小児にはセフジトレン　ピボキシルとして１回３ｍｇ（力価）／ｋｇを１日３回食後に経口投与する。

なお、必要に応じて１回６ｍｇ（力価）／ｋｇまで投与できるが、成人での上限用量の１回２００ｍｇ（力価）１日３回（１日６００ｍｇ（力価））を超えないこととする。

〈前記以外の疾患の場合〉通常、小児にはセフジトレン　ピボキシルとして１回３ｍｇ（力価）／ｋｇを１日３回食後に経口投与する。

なお、年齢及び症状に応じて適宜増減するが、成人での上限用量の１回２００ｍｇ（力価）１日３回（１日６００ｍｇ（力価））を超えないこととする。

成人（嚥下困難等により錠剤の使用が困難な場合）

通常、成人にはセフジトレン　ピボキシルとして１回１００ｍｇ（力価）を１日３回食後に経口投与する。

なお、年齢及び症状に応じて適宜増減するが、重症又は効果不十分と思われる場合は、１回２００ｍｇ（力価）を１日３回食後に経口投与する。

【保管】室温保存。

メイアクトＭＳ錠１００ｍｇ　Meiact MS　採用

商品名:メイアクトＭＳ錠１００ｍｇ

規格:１００ｍｇ１錠　薬価:73.60　製造:Ｍｅｉｊｉ Ｓｅｉｋａ ファルマ　剤型:錠　YJ:6132015F1037　院内コード:200762

成分:セフジトレン　ピボキシル,

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、眼瞼膿瘍、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。

【用】通常、成人にはセフジトレン　ピボキシルとして１回１００ｍｇ（力価）を１日３回食後に経口投与する。

なお、年齢及び症状に応じて適宜増減するが、重症又は効果不十分と思われる場合は、１回２００ｍｇ（力価）を１日３回食後に経口投与する。

【保管】室温保存。

ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa注射用１ｇ「ｲｾｲ」(ｾﾌｧﾒｼﾞﾝ)　Cefazolin sodium　採用

商品名:セファゾリンＮａ注射用１ｇ「イセイ」

規格:１ｇ１瓶　薬価:346.00　製造:コーアイセイ　剤型:注射用　YJ:6132401D3218　院内コード:301242

成分:セファゾリンナトリウム,

【効】敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、関節炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎。

【用】セファゾリンとして、通常、１日量成人には１ｇ（力価）、小児には体重ｋｇ当り２０～４０ｍｇ（力価）を２回に分けて緩徐に静脈内へ注射するが、筋肉内へ注射することもできる。

症状及び感染菌の感受性から効果不十分と判断される場合には、１日量成人１．５～３ｇ（力価）を、小児には体重ｋｇ当り５０ｍｇ（力価）を３回に分割投与する。

症状が特に重篤な場合には、１日量成人５ｇ（力価）、小児には体重ｋｇ当り１００ｍｇ（力価）までを分割投与することができる。

また、輸液に加え、静脈内に点滴注入することもできる。

＜注射液の調製法＞〈静脈内注射〉静脈内注射の場合、本品を注射用水、生理食塩液又はブドウ糖注射液に溶解する。

〈筋肉内注射〉筋肉内注射の場合、本品をリドカイン注射液（０．５ｗ／ｖ％）約２～３ｍＬに溶解する。

【保管】室温保存。

ｾﾌｧｿﾞﾘﾝNa点滴静注用1gﾊﾞｯｸﾞ「ｵｰﾂｶ」　Cefazolin sodium Otsuka　採用

商品名:セファゾリンＮａ点滴静注用１ｇバッグ「オーツカ」

規格:１ｇ１キット（生理食塩液１００ｍＬ付）　薬価:1062.00　製造:大塚製薬工場　剤型:キット類YJ:6132401G3079　院内コード:300180

成分:セファゾリンナトリウム,

【効】敗血症、感染性心内膜炎、表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、関節炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎。

【用】セファゾリンとして、通常、１日量成人には１ｇ（力価）、小児には体重ｋｇ当たり２０～４０ｍｇ（力価）を２回に分けて点滴静注する。

症状及び感染菌の感受性から効果不十分と判断される場合には、１日量成人１．５～３ｇ（力価）を、小児には体重ｋｇ当たり５０ｍｇ（力価）を３回に分割投与する。

症状が特に重篤な場合には、１日量成人５ｇ（力価）、小児には体重ｋｇ当たり１００ｍｇ（力価）までを分割投与することができる。

投与に際しては、用時、添付の溶解液にて溶解し、静脈内に点滴注入する。
【保管】室温保存。

セフトリアキソンナトリウム静注用０．５ｇ「NP」 Ceftriaxone sodium 採用
商品名:セフトリアキソンナトリウム静注用０．５ｇ「ＮＰ」
規格:５００ｍｇ１瓶 薬価:346.00 製造:ニプロ 剤型:静注用 YJ:6132419F1097 院内コード:300820
成分:セフトリアキソンナトリウム水和物,
【効】敗血症、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、直腸炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆のう炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎。
【用】〈成人〉１．　通常、１日１～２ｇ（力価）を１回又は２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
２．　難治性又は重症感染症には症状に応じて１日量を４ｇ（力価）まで増量し、２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
３．　淋菌感染症については、次記の通り投与する。
（１）．　咽頭・喉頭炎、尿道炎、子宮頸管炎、直腸炎：
通常、１ｇ（力価）を単回静脈内注射又は単回点滴静注する。
（２）．　精巣上体炎（副睾丸炎）、骨盤内炎症性疾患：
通常、１日１回１ｇ（力価）を静脈内注射又は点滴静注する。
〈小児〉１．　通常、１日２０～６０ｍｇ（力価）／ｋｇを１回又は２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
２．　難治性又は重症感染症には症状に応じて１日量を１２０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
〈未熟児、新生児〉１．　通常、生後０～３日齢には１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日１回、また、生後４日齢以降には１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日２回静脈内注射又は点滴静注する。
２．　難治性又は重症感染症には症状に応じて１回量を４０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、１日２回静脈内注射又は点滴静注する。ただし、生後２週間以内の未熟児・新生児には１日５０ｍｇ（力価）／ｋｇまでとする。
〈静脈内注射〉静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。
〈点滴静注〉点滴静注に際しては補液に溶解して用いる。
【保管】室温保存。

セフトリアキソンナトリウム点滴用1gﾊﾞｯｸﾞ「NP」(ロセフィン) Ceftriaxone sodium NP 採用
商品名:セフトリアキソンナトリウム点滴用１ｇバッグ「ＮＰ」
規格:１ｇ１キット（生理食塩液１００ｍＬ付） 薬価:1257.00 製造:ニプロ 剤型:キット類YJ:6132419G1033 院内コード:300821
成分:セフトリアキソンナトリウム水和物,
【効】敗血症、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、直腸炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆のう炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎。
【用】〈成人〉１．　通常、１日１～２ｇ（力価）を１回又は２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
２．　難治性又は重症感染症には症状に応じて１日量を４ｇ（力価）まで増量し、２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
３．　淋菌感染症については、次記の通り投与する。
（１）．　咽頭・喉頭炎、尿道炎、子宮頸管炎、直腸炎：
通常、１ｇ（力価）を単回静脈内注射又は単回点滴静注する。
（２）．　精巣上体炎（副睾丸炎）、骨盤内炎症性疾患：
通常、１日１回１ｇ（力価）を静脈内注射又は点滴静注する。
〈小児〉１．　通常、１日２０～６０ｍｇ（力価）／ｋｇを１回又は２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
２．　難治性又は重症感染症には症状に応じて１日量を１２０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
〈未熟児、新生児〉１．　通常、生後０～３日齢には１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日１回、また、生後４日齢以降には１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日２回静脈内注射又は点滴静注する。
２．　難治性又は重症感染症には症状に応じて１回量を４０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、１日２回静脈内注射又は点滴静注する。ただし、生後２週間以内の未熟児・新生児には１日５０ｍｇ（力価）／ｋｇまでとする。
バッグ品の投与に際しては、用時、添付の溶解液にて溶解し、静脈内に点滴注射する。
【保管】室温保存。

セフメタゾールNa点滴静注用ﾊﾞｯｸﾞ1g(セフメタゾン) Cefmetazole sodium 採用
商品名:セフメタゾールナトリウム点滴静注用バッグ１ｇ「ＮＰ」
規格:１ｇ１キット（生理食塩液１００ｍＬ付） 薬価:1030.00 製造:ニプロ 剤型:キット類YJ:6132408G3038 院内コード:300668
成分:セフメタゾールナトリウム,
【効】敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎。
【用】通常成人には、１日１～２ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射または点滴静注する。
通常小児には、１日２５～１００ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分けて静脈内注射または点滴静注する。
なお、難治性または重症感染症には症状に応じて、１日量を成人では４ｇ（力価）、小児では１５０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、２～４回に分割投与する。
用時添付の生理食塩液に溶解し、緩徐に投与する（なお、本剤は補液に加えて点滴静注することもできる）。
【保管】室温保存。

6133: オキサセフェム系抗生物質製剤

61: 抗生物質製剤

フルマリンキット静注用１ｇ Flumarin **採用**

商品名:フルマリンキット静注用１ｇ
規格:１ｇ１キット（生理食塩液１００ｍＬ付） 薬価:2011.00 製造:塩野義製薬 剤型:キット類YJ:613340161022 院内コード:300184
成分:フロモキセフナトリウム,
【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、尿道炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、中耳炎、副鼻腔炎。
【用】成人には、通常１日１～２ｇ（力価）を２回に分割して点滴静注する。
小児には、通常１日６０～８０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分割して点滴静注する。
未熟児、新生児には、通常１回２０ｍｇ（力価）／ｋｇを生後３日までは１日２～３回、４日以降は、１日３～４回点滴静注する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、難治性又は重症感染症には成人では１日４ｇ（力価）まで増量し、２～４回に分割投与する。また未熟児、新生児、小児は１日１５０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し、３～４回に分割投与する。
【保管】室温保存。

6134: アミノ糖系抗生物質製剤

ゲンタシン注４０ｍｇ Gentacin **採用** **(劇)**

商品名:ゲンタシン注４０
規格:４０ｍｇ１管 薬価:291.00 製造:高田製薬 剤型:注射液 YJ:6134407A2071 院内コード:300186
成分:ゲンタマイシン硫酸塩,
【効】敗血症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、中耳炎。
【用】通常、成人ではゲンタマイシン硫酸塩として１日３ｍｇ（力価）／ｋｇを３回に分割して筋肉内注射または点滴静注する。増量する場合は、１日５ｍｇ（力価）／ｋｇを限度とし、３～４回に分割して投与する。
小児では、１回２．０～２．５ｍｇ（力価）／ｋｇを１日２～３回筋肉内注射または点滴静注する。
点滴静注においては３０分～２時間かけて注入する。
なお、年齢、症状により適宜減量する。
【保管】室温保存。

6135: ホスホマイシン製剤

ホスホマイシンナトリウム静注用１ｇ「日医工」(ﾎｽﾐｼﾝ)【FOM】 Fosfomycin Sodium **採用**

商品名:ホスホマイシンナトリウム静注用１ｇ「日医工」
規格:１ｇ１瓶 薬価:732.00 製造:日医工 剤型:静注用 YJ:6135400F2210 院内コード:300904
成分:ホスホマイシンナトリウム,
【効】敗血症、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎。
【用】〈点滴静脈内注射〉点滴静脈内注射時、通常、成人にはホスホマイシンとして１日２～４ｇ（力価）、また小児には１日１００～２００ｍｇ（力価）／ｋｇを２回に分け、補液１００～５００ｍＬに溶解して１～２時間かけて静脈内に点滴注射する。
〈静脈内注射〉通常、成人にはホスホマイシンとして１日２～４ｇ（力価）、また小児には１日１００～２００ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分け、５分以上かけてゆっくり静脈内に注射する。溶解には静脈内注射の場合、日局注射用水又は日局ブドウ糖注射液を用い、本剤１～２ｇ（力価）を２０ｍＬに溶解する。
なお、いずれの場合も年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ホスミシン錠５００ Fosmicin **採用**

商品名:ホスミシン錠５００
規格:５００ｍｇ１錠 薬価:88.00 製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ 剤型:錠 YJ:6135001F2025 院内コード:200407
成分:ホスホマイシンカルシウム水和物,
【効】深在性皮膚感染症、膀胱炎、腎盂腎炎、感染性腸炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、中耳炎、副鼻腔炎。
【用】通常、成人はホスホマイシンとして１日量２～３ｇ（力価）を３～４回に分け、小児はホスホマイシンとして１日量４０～１２０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分け、それぞれ経口投与する。
なお、年齢、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

6139: その他の主としてグラム陽性・陰性菌に

オーグメンチン配合錠２５０ＲＳ Augmentin **採用**

商品名:オーグメンチン配合錠２５０ＲＳ
規格:（３７５ｍｇ）１錠 薬価:45.70 製造:ＧＳＫ 剤型:錠 YJ:6139100F2044 院内コード:202562
成分:アモキシシリン水和物,クラブラン酸カリウム,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、淋菌感染症、子宮内感染、子宮付属器炎、中耳炎。
【用】通常成人は、１回１錠、１日３～４回を６～８時間毎に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

クラバモックス小児用ドライシロップ Clavamox **採用** <先発品（後発品なし）>

商品名:クラバモックス小児用配合ドライシロップ
規格:（６３６．５ｍｇ）１ｇ 薬価:92.00 製造:ＧＳＫ 剤型:シロップ用 YJ:6139100R1036 院内コード:202223

成分:アモキシシリン水和物,クラブラン酸カリウム,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、膀胱炎、腎盂腎炎、中耳炎、副鼻腔炎。
【用】通常、小児には、本剤として１日量９６．４ｍｇ（力価）／ｋｇ（クラブラン酸カリウムとして６．４ｍｇ（力価）／ｋｇ、アモキシシリン水和物として９０ｍｇ（力価）／ｋｇ）を２回に分けて１２時間ごとに食直前に経口投与する。
【保管】室温保存。

スルバシリン静注用０．７５ｇ(ユナシンS)

Sulbacillin　採用

商品名:スルバシリン静注用０．７５ｇ

規格:（０．７５ｇ）１瓶　薬価:392.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:静注用　YJ:6139504F1065　院内コード:300850

成分:アンピシリンナトリウム,スルバクタムナトリウム,
【効】肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腹膜炎。
【用】〈肺炎、肺膿瘍、腹膜炎の場合〉通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日６ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。なお、重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量することができるが、１回３ｇ（力価）１日４回（１日量として１２ｇ（力価）
）を上限とする。
〈膀胱炎の場合〉通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日３ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
〈効能共通〉通常小児にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日６０～１５０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。
なお、点滴による静脈内投与に際しては、補液に溶解して用いる。
【保管】室温保存。

スルバシリン静注用１．５ｇ(ユナシンS)

Sulbacillin　採用

商品名:スルバシリン静注用１．５ｇ

規格:（１．５ｇ）１瓶　薬価:597.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:静注用　YJ:6139504F2088　院内コード:300851

成分:アンピシリンナトリウム,スルバクタムナトリウム,
【効】肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腹膜炎。
【用】〈肺炎、肺膿瘍、腹膜炎の場合〉通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日６ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。なお、重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量することができるが、１回３ｇ（力価）１日４回（１日量として１２ｇ（力価）
）を上限とする。
〈膀胱炎の場合〉通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日３ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
〈効能共通〉通常小児にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日６０～１５０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。
なお、点滴による静脈内投与に際しては、補液に溶解して用いる。
【保管】室温保存。

スルバシリン静注用３ｇ(ユナシンS)

Sulbacillin　採用

商品名:スルバシリン静注用３ｇ

規格:（３ｇ）１瓶　薬価:778.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:静注用　YJ:6139504F3033　院内コード:301252

成分:アンピシリンナトリウム,スルバクタムナトリウム,
【効】肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腹膜炎。
【用】〈肺炎、肺膿瘍、腹膜炎の場合〉通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日６ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。なお、重症感染症の場合は必要に応じて適宜増量することができるが、１回３ｇ（力価）１日４回（１日量として１２ｇ（力価）
）を上限とする。
〈膀胱炎の場合〉通常成人にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日３ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
〈効能共通〉通常小児にはスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムとして、１日６０～１５０ｍｇ（力価）／ｋｇを３～４回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。
静脈内注射に際しては、日局注射用水、日局生理食塩液又は日局ブドウ糖注射液に溶解し、緩徐に投与する。
なお、点滴による静脈内投与に際しては、補液に溶解して用いる。
【保管】室温保存。

タゾピペ配合静注用４．５「明治」

Tazopipe MEIJI　採用

商品名:タゾピペ配合静注用４．５「明治」

規格:（４．５ｇ）１瓶　薬価:1160.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:静注用　YJ:6139505F4123　院内コード:301038

成分:タゾバクタム,ピペラシリン水和物,
【効】１）．　一般感染症：敗血症、深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染、肺炎、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎。
２）．　発熱性好中球減少症。

【用】〈一般感染症〉・　敗血症、肺炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎及び胆管炎の場合通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、１回４．５ｇ（力価）を１日３回点滴静注する。肺炎の場合、症状、病態に応じて１日４回に増量できる。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。
通常、小児には１回１１２．５ｍｇ（力価）／ｋｇを１日３回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。また、症状、病態に応じて１回投与量を適宜減量できる。ただし、１回投与量の上限は成人における１回４．５ｇ（力価）を超えないものとする。
・　深在性皮膚感染症、びらん・潰瘍の二次感染の場合通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、１回４．５ｇ（力価）を１日３回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。
・　腎盂腎炎及び複雑性膀胱炎の場合通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、１回４．５ｇ（力価）を１日２回点滴静注する。症状、病態に応じて１日３回に増量できる。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。
通常、小児には１回１１２．５ｍｇ（力価）／ｋｇを１日２回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。また、症状、病態に応じて１回投与量を適宜減量できる。さらに、症状、病態に応じて１日３回に増量できる。ただし、１回投与量の上限は成人における１回４．５ｇ（力価）を超えないものとする。
〈発熱性好中球減少症〉通常、成人にはタゾバクタム・ピペラシリンとして、１回４．５ｇ（力価）を１日４回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。
通常、小児には１回９０ｍｇ（力価）／ｋｇを１日４回点滴静注する。なお、必要に応じて、緩徐に静脈内注射することもできる。ただし、１回投与量の上限は成人における１回４．５ｇ（力価）を超えないものとする。
【保管】室温保存。

ファロム錠２００ｍｇ　Farom　採用

商品名:ファロム錠２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１錠　薬価:173.00　製造:マルホ　剤型:錠　YJ:6139001F2024　院内コード:202561
成分:ファロペネムナトリウム水和物,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡＜化膿性炎症を伴うもの＞、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。
【用】〈表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、膀胱炎（単純性に限る）、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、外耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎〉通常、成人にはファロペネムナトリウム水和物として１回１５０ｍｇ～２００ｍｇ（力価）を１日３回経口投与する。
なお、年齢及び症状に応じて適宜増減する。
〈肺炎、肺膿瘍、膀胱炎（単純性を除く）、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、中耳炎、副鼻腔炎〉通常、成人にはファロペネムナトリウム水和物として１回２００ｍｇ～３００ｍｇ（力価）を１日３回経口投与する。
なお、年齢及び症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

メロペネム点滴静注用０．５ｇ「明治」　Meropenem MEIJI　採用

商品名:メロペネム点滴静注用０．５ｇ「明治」
規格:５００ｍｇ１瓶　薬価:853.00　製造:ＭｅｉｊｉＳｅｉｋａファルマ　剤型:注射用　YJ:6139400D2110　院内コード:300673
成分:メロペネム水和物,
【効】１）．　一般感染症：
敗血症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、骨髄炎、関節炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病変の二次感染、複雑性膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎、化膿性髄膜炎、眼内炎（全眼球炎を含む）、中耳炎、副鼻腔炎、顎骨周辺の蜂巣炎、顎炎。
２）．　発熱性好中球減少症。
【用】〈効能共通〉本剤の使用に際しては、投与開始後３日を目安としてさらに継続投与が必要か判定し、投与中止又はより適切な他剤に切り替えるべきか検討を行うこと。
〈一般感染症〉化膿性髄膜炎以外の一般感染症通常、成人にはメロペネムとして、１日０．５～１ｇ（力価）を２～３回に分割し、３０分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、１回１ｇ（力価）を上限として、１日３ｇ（力価）まで増量することができる。
通常、小児にはメロペネムとして、１日３０～６０ｍｇ（力価）／ｋｇを３回に分割し、３０分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、１日１２０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量することができる。ただし、成人における１日最大用量３ｇ（力価）を超えないこととする。
化膿性髄膜炎通常、成人にはメロペネムとして、１日６ｇ（力価）を３回に分割し、３０分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜減量する。
通常、小児にはメロペネムとして、１日１２０ｍｇ（力価）／ｋｇを３回に分割し、３０分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜減量する。ただし、成人における１日用量６ｇ（力価）を超えないこととする。
〈発熱性好中球減少症〉通常、成人にはメロペネムとして、１日３ｇ（力価）を３回に分割し、３０分以上かけて点滴静注する。
通常、小児にはメロペネムとして、１日１２０ｍｇ（力価）／ｋｇを３回に分割し、３０分以上かけて点滴静注する。ただし、成人における１日用量３ｇ（力価）を超えないこととする。
【保管】室温保存。

ワイスタール配合点滴用1gﾊﾞｯｸﾞ(ｽﾙﾍﾟﾗｿﾞﾝ)　Wystal　採用

商品名:ワイスタール配合点滴静注用１ｇバッグ
規格:（１ｇ）１キット（生理食塩液１００ｍＬ付）　薬価:1081.00　製造:ニプロ　剤型:キット類YJ:6139500G1089　院内コード:300670
成分:スルバクタムナトリウム,セフォペラゾンナトリウム,
【効】敗血症、感染性心内膜炎、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、膿胸、慢性呼吸器病

変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、腹腔内膿瘍、胆嚢炎、胆管炎、肝膿瘍、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合織炎。
【用】スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウムとして、通常成人には１日１～２ｇ（力価）を２回に分けて静脈内注射する。小児にはスルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウムとして、１日４０～８０ｍｇ（力価）／ｋｇを２～４回に分けて静脈内注射する。
難治性又は重症感染症には症状に応じて、成人では１日量４ｇ（力価）まで増量し２回に分けて投与する。小児では１日量１６０ｍｇ（力価）／ｋｇまで増量し２～４回に分割投与する。
投与に際しては、用時、添付の溶解液にて溶解し、静脈内に点滴注入する。
【保管】室温保存。

614: 主としてグラム陽性菌，マイコプラズ

6149: その他の主としてグラム陽性菌、マイコ

クラリスロマイシンＤＳ小児用１０％「タカタ」 Clarithromycin TAKATA 採用

商品名:クラリスロマイシンＤＳ小児用１０％「タカタ」

規格:１００ｍｇ１ｇ　薬価:57.90　製造:高田製薬　剤型:シロップ用　YJ:6149003R1062　院内コード:202685

成分:クラリスロマイシン,
【効】１）．　一般感染症：表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱、百日咳。
２）．　後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（ＭＡＣ）症：後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス症（播種性ＭＡＣ症）。
【用】１）．　一般感染症：用時懸濁し、通常、小児にはクラリスロマイシンとして１日体重１ｋｇあたり１０～１５ｍｇ（力価）を２～３回に分けて経口投与する。
レジオネラ肺炎に対しては、１日体重１ｋｇあたり１５ｍｇ（力価）を２～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
２）．　後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（ＭＡＣ）症：用時懸濁し、通常、小児にはクラリスロマイシンとして１日体重１ｋｇあたり１５ｍｇ（力価）を２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

クラリスロマイシン錠２００ｍｇ「大正」 Clarithromycin Taisho 採用

商品名:クラリスロマイシン錠２００ｍｇ「大正」

規格:２００ｍｇ１錠　薬価:25.30　製造:トクホン　剤型:錠　YJ:6149003F2283　院内コード:203668

成分:クラリスロマイシン,
【効】１）．　一般感染症：表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。
２）．　非結核性抗酸菌症：マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス症（ＭＡＣ症）を含む非結核性抗酸菌症。
３）．　ヘリコバクター・ピロリ感染症：胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃ＭＡＬＴリンパ腫、免疫性血小板減少症、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】〈一般感染症〉通常、成人にはクラリスロマイシンとして１日４００ｍｇ（力価）を２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈非結核性抗酸菌症〉通常、成人にはクラリスロマイシンとして１日８００ｍｇ（力価）を２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈ヘリコバクター・ピロリ感染症〉ヘリコバクター・ピロリ感染症の場合、通常、成人にはクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びプロトンポンプインヒビターの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
【保管】室温保存。

クラリスロマイシン錠５０ｍｇ小児用「大正」 Clarithromycin Taisho 採用　<後発品（加算対象）>　[先発品:非採用]クラリシッド錠５０ｍｇ小児用

商品名:クラリスロマイシン錠５０ｍｇ小児用「大正」

規格:５０ｍｇ１錠　薬価:11.20　製造:トクホン　剤型:錠　YJ:6149003F1252　院内コード:203669

成分:クラリスロマイシン,
【効】１）．　一般感染症：表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、感染性腸炎、中耳炎、副鼻腔炎、猩紅熱、百日咳。
２）．　後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（ＭＡＣ）症：後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス症（播種性ＭＡＣ症）。
【用】１）．　一般感染症：通常、小児にはクラリスロマイシンとして１日体重１ｋｇあたり１０～１５ｍｇ（力価）を２～３回に分けて経口投与する。
レジオネラ肺炎に対しては、１日体重１ｋｇあたり１５ｍｇ（力価）を２～３回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
２）．　後天性免疫不全症候群（エイズ）に伴う播種性マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス（ＭＡＣ）症：通常、小児にはクラリスロマイシンとして１日体重１ｋｇあたり１５ｍｇ（力価）を２回に分けて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

ジスロマック錠２５０ｍｇ Zithromac 採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:ジスロマック錠２５０ｍｇ

61: 抗生物質製剤

規格:２５０ｍｇ１錠　薬価:115.00　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:6149004F1028　院内コード:200769

成分:アジスロマイシン水和物,

【効】深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、尿道炎、子宮頸管炎、骨盤内炎症性疾患、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。

【用】〈深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎〉成人にはアジスロマイシンとして、５００ｍｇ（力価）を１日１回、３日間合計１．５ｇ（力価）を経口投与する。

〈尿道炎、子宮頸管炎〉成人にはアジスロマイシンとして、１０００ｍｇ（力価）を１回経口投与する。

〈骨盤内炎症性疾患〉成人にはアジスロマイシン注射剤による治療を行った後、アジスロマイシンとして２５０ｍｇ（力価）を１日１回経口投与する。

【保管】室温保存。

ロキシスロマイシン錠１５０ｍｇ「サワイ」(ﾙﾘｯﾄﾞ)　Roxithromycin　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]ルリッド錠１５０

商品名:ロキシスロマイシン錠１５０ｍｇ「サワイ」

規格:１５０ｍｇ１錠　薬価:17.70　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:6149002F1177　院内コード:203682

成分:ロキシスロマイシン,

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡＜化膿性炎症を伴うもの＞、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、中耳炎、副鼻腔炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎。

【用】通常、成人にはロキシスロマイシンとして１日量３００ｍｇ（力価）を２回に分割し、経口投与する。

【保管】室温保存。

615: 主としてグラム陽性・陰性菌リケッチ

6152: テトラサイクリン系抗生物質製剤

ミノサイクリン塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」　Minocycline hydrochloride　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ミノマイシンカプセル１００ｍｇ

商品名:ミノサイクリン塩酸塩錠１００ｍｇ「サワイ」

規格:１００ｍｇ１錠　薬価:28.00　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:6152005F2113　院内コード:202683

成分:ミノサイクリン塩酸塩,

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、淋菌感染症、梅毒、腹膜炎、感染性腸炎、外陰炎、細菌性腟炎、子宮内感染、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、上顎洞炎、顎炎、炭疽、つつが虫病、オウム病。

【用】通常成人は初回投与量をミノサイクリンとして、１００～２００ｍｇ（力価）とし、以後１２時間ごとあるいは２４時間ごとにミノサイクリンとして１００ｍｇ（力価）を経口投与する。

なお、患者の年齢、体重、症状などに応じて適宜増減する。

【保管】室温保存。

ミノサイクリン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」　Minocycline hydrochloride　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:非採用]ミノマイシン錠５０ｍｇ

商品名:ミノサイクリン塩酸塩錠５０ｍｇ「サワイ」

規格:５０ｍｇ１錠　薬価:14.30　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:6152005F1095　院内コード:202682

成分:ミノサイクリン塩酸塩,

【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎を含む）、急性気管支炎、肺炎、肺膿瘍、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、淋菌感染症、梅毒、腹膜炎、感染性腸炎、外陰炎、細菌性腟炎、子宮内感染、涙嚢炎、麦粒腫、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、上顎洞炎、顎炎、炭疽、つつが虫病、オウム病。

【用】通常成人は初回投与量をミノサイクリンとして、１００～２００ｍｇ（力価）とし、以後１２時間ごとあるいは２４時間ごとにミノサイクリンとして１００ｍｇ（力価）を経口投与する。

なお、患者の年齢、体重、症状などに応じて適宜増減する。

【保管】室温保存。

ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用１００ｍｇ「サワイ」　Minocycline hydrochloride　採用

商品名:ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用１００ｍｇ「サワイ」

規格:１００ｍｇ１瓶　薬価:350.00　製造:沢井製薬　剤型:静注用　YJ:6152401F1146　院内コード:300193

成分:ミノサイクリン塩酸塩,

【効】敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、炭疽、つつが虫病、オウム病。

【用】点滴静脈内注射は、経口投与不能の患者及び救急の場合に行い、経口投与が可能になれば経口用剤に切り替える。

通常成人には、初回ミノサイクリン塩酸塩１００～２００ｍｇ（力価）、以後１２時間ないし２４時間ごとに１００ｍｇ（力価）を補液に溶かし、３０分～２時間かけて点滴静脈内注射する。

【保管】室温保存。

616: 主として抗酸性菌に作用するもの

6164: リファンピシン製剤

リファンピシンカプセル１５０ｍｇ「サンド」　Rifampicin SANDOZ　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]リファジンカプセル１５０ｍｇ

商品名:リファンピシンカプセル１５０ｍｇ「サンド」

規格:１５０ｍｇ１カプセル　薬価:16.90　製造:サンド　剤型:カプセルYJ:6164001M1186　院内コード:202807
成分:リファンピシン,
【効】肺結核及びその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス症（ＭＡＣ症）を含む非結核性抗酸菌症、ハンセン病。
【用】〈肺結核及びその他の結核症〉通常成人には、リファンピシンとして１回４５０ｍｇ（力価）を１日１回毎日経口投与する。ただし、感性併用剤のある場合は週２日投与でもよい。原則として朝食前空腹時投与とし、年齢、症状により適宜増減する。また、肺結核及びその他の結核症の場合、他の抗結核剤との併用が望ましい。
〈ＭＡＣ症を含む非結核性抗酸菌症〉通常成人には、リファンピシンとして１回４５０ｍｇ（力価）を１日１回毎日経口投与する。原則として朝食前空腹時投与とし、年齢、症状、体重により適宜増減するが、１日最大量は６００ｍｇ（力価）を超えない。
〈ハンセン病〉通常成人には、リファンピシンとして１回６００ｍｇ（力価）を１ヵ月に１～２回または１回４５０ｍｇ（力価）を１日１回毎日経口投与する。原則として朝食前空腹時投与とし、年齢、症状により適宜増減する。また、ハンセン病の場合、他の抗ハンセン病剤と併用すること。
【保管】室温保存。

617: 主としてカビに作用するもの

6173: アムホテリシンＢ製剤

ファンギゾンシロップ１００ｍｇ／ｍＬ　Fungizone　採用　(劇)
商品名:ファンギゾンシロップ１００ｍｇ／ｍＬ
規格:１００ｍｇ１ｍＬ　薬価:54.60　製造:チェプラファーム　剤型:シロップYJ:6173001Q1047　院内コード:200215
成分:アムホテリシンＢ,
【効】消化管におけるカンジダ異常増殖。
【用】通常小児に対し１回０．５～１ｍＬ［アムホテリシンＢとして５０～１００ｍｇ（力価）］を１日２～４回食後経口投与する。
【保管】室温保存。

6179: その他の主としてカビ，原虫に作用する

ミカファンギンＮａ点滴静注用５０ｍｇ「サワイ」(ﾌｧﾝｶﾞｰﾄﾞ)　Micafungin Na　採用　(劇)
<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]ファンガード点滴用５０ｍｇ
商品名:ミカファンギンＮａ点滴静注用５０ｍｇ「サワイ」
規格:５０ｍｇ１瓶　薬価:1429.00　製造:沢井製薬　剤型:注射用　YJ:6179400D1039　院内コード:301081
成分:ミカファンギンナトリウム水和物,
【効】１）．　アスペルギルス属及びカンジダ属による次記感染症：真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症。
２）．　造血幹細胞移植患者におけるアスペルギルス症及びカンジダ症の予防。
【用】１）．　アスペルギルス症①．　成人：通常、成人にはミカファンギンナトリウムとして５０～１５０ｍｇ（力価）を１日１回点滴静注する。
重症又は難治性アスペルギルス症には症状に応じて増量できるが、１日３００ｍｇ（力価）を上限とする。
②．　小児：通常、小児にはミカファンギンナトリウムとして１～３ｍｇ（力価）／ｋｇを１日１回点滴静注する。
重症又は難治性アスペルギルス症には症状に応じて増量できるが、１日６ｍｇ（力価）／ｋｇを上限とする。
２）．　カンジダ症①．　成人：通常、成人にはミカファンギンナトリウムとして５０ｍｇ（力価）を１日１回点滴静注する。
重症又は難治性カンジダ症には症状に応じて増量できるが、１日３００ｍｇ（力価）を上限とする。
②．　小児：通常、小児にはミカファンギンナトリウムとして１ｍｇ（力価）／ｋｇを１日１回点滴静注する。
重症又は難治性カンジダ症には症状に応じて増量できるが、１日６ｍｇ（力価）／ｋｇを上限とする。
３）．　造血幹細胞移植患者におけるアスペルギルス症及びカンジダ症の予防①．　成人：成人にはミカファンギンナトリウムとして５０ｍｇ（力価）を１日１回点滴静注する。
②．　小児：小児にはミカファンギンナトリウムとして１ｍｇ（力価）／ｋｇを１日１回点滴静注する。
〈成人〉点滴静注に際しては、生理食塩液、ブドウ糖注射液又は補液に溶解し、７５ｍｇ（力価）以下では３０分以上、７５ｍｇ（力価）を超えて投与する場合は１時間以上かけて行う。
溶解にあたっては、注射用水を使用しないこと［溶液が等張とならないため］。
〈小児〉小児への点滴静注に際しては、生理食塩液、ブドウ糖注射液又は補液に溶解し、１時間以上かけて行う。
溶解にあたっては、注射用水を使用しないこと［溶液が等張とならないため］。
【保管】室温保存。

619: その他の抗生物質製剤（複合抗生物質

6199: 他に分類されない抗生物質製剤

ボノサップパック４００　Vonosap　採用
<先発品（後発品なし）>
商品名:ボノサップパック４００
規格:１シート　薬価:435.50　製造:武田薬品　剤型:その他　YJ:6199104X1023　院内コード:202743
成分:アモキシシリン水和物,クラリスロマイシン,ボノプラザンフマル酸塩,
【効】胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃ＭＡＬＴリンパ腫・免疫性血小板減少症・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】通常、成人にはボノプラザンとして１回２０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びクラリスロマイシンとして１回２００ｍｇ（力価）の３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。なお、クラリスロマイシンは、必要に応じて適宜増量することができる。ただし、１回４００ｍｇ（力価）１日２回を上限とする。
【保管】室温保存。

ボノピオンパック　Vonopion　採用
<先発品（後発品なし）>
商品名:ボノピオンパック
規格:１シート　薬価:409.00　製造:武田薬品　剤型:その他　YJ:6199105X1028　院内コード:202744

62: 化学療法剤

成分:アモキシシリン水和物,ボノプラザンフマル酸塩,メトロニダゾール,
【効】胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃ＭＡＬＴリンパ腫・免疫性血小板減少症・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
【用】プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの３剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合通常、成人にはボノプラザンとして１回２０mg、アモキシシリン水和物として１回７５０mg（力価）及びメトロニダゾールとして１回２５０mgの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

62: 化学療法剤

621: サルファ剤

6219: その他のサルファ剤

アザルフィジンＥＮ錠５００mg　Azulfidine EN 採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:アザルフィジンＥＮ錠５００mg
規格:５００mg１錠　薬価:21.00　製造:あゆみ製薬　剤型:腸溶錠　YJ:6219001H1056　院内コード:200371
成分:サラゾスルファピリジン,
【効】関節リウマチ。
【用】本剤は、消炎鎮痛剤などで十分な効果が得られない場合に使用すること。通常、サラゾスルファピリジンとして成人１日投与量１ｇを朝食及び夕食後の２回に分割経口投与する。
【保管】室温保存。

サラゾピリン錠５００mg　Salazopyrin 採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:サラゾピリン錠５００mg
規格:５００mg１錠　薬価:6.30　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:6219001F1071　院内コード:200775
成分:サラゾスルファピリジン,
【効】１）．　潰瘍性大腸炎。
２）．　限局性腸炎。
３）．　非特異性大腸炎。
【用】通常１日４～８錠（２～４ｇ）を４～６回に分服する。
症状により初回毎日１６錠（８ｇ）を用いても差しつかえない。
この場合３週間を過ぎれば次第に減量し、１日３～４錠（１．５～２ｇ）を用いる。
ステロイド療法を長期間継続した症例については、本剤４錠（２ｇ）を併用しながら、徐々にステロイドを減量することが必要である。
【保管】室温保存。

622: 抗結核剤

6222: イソニアジド系製剤

イスコチン錠１００mg　Iscotin 採用
商品名:イスコチン錠１００mg
規格:１００mg１錠　薬価:10.80　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:錠　YJ:6222001F3037　院内コード:200776
成分:イソニアジド,
【効】肺結核及びその他の結核症。
【用】通常成人は、イソニアジドとして１日量２００～５００mg（４～１０mg／ｋｇ）を１～３回に分けて、毎日又は週２日経口投与する。必要な場合には、１日量成人は１ｇまで、１３歳未満は２０mg／ｋｇまで増量してもよい。年齢、症状により適宜増減する。なお、他の抗結核薬と併用することが望ましい。
【保管】室温保存。

6223: ピラジナミド製剤

ピラマイド　Pyramide 採用
商品名:ピラマイド原末
規格:１ｇ　薬価:18.80　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:末　YJ:6223001X1037　院内コード:200777
成分:ピラジナミド,
【効】肺結核及びその他の結核症。
【用】通常、成人は、ピラジナミドとして、１日量１．５～２．０ｇを１～３回に分けて経口投与する。
年齢、症状により適宜増減する。
なお、他の抗結核薬と併用すること。
【保管】室温保存。

6225: エタンブトール製剤

エブトール１２５mg錠　Ebutol 採用 (劇)
商品名:エブトール１２５mg錠
規格:１２５mg１錠　薬価:17.30　製造:科研製薬　剤型:錠　YJ:6225001F1036　院内コード:200778
成分:エタンブトール塩酸塩,
【効】肺結核及びその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス症（ＭＡＣ症）を含む非結核性抗酸菌症。
【用】〈肺結核及びその他の結核症〉通常成人は、エタンブトール塩酸塩として１日量０．７５～１ｇを１～２回に分けて経口投与する。
年齢、体重により適宜減量する。
なお、肺結核及びその他の結核症の場合、他の抗結核薬と併用することが望ましい。
〈ＭＡＣ症を含む非結核性抗酸菌症〉通常成人は、エタンブトール塩酸塩として０．５～０．７５ｇを１日１回経口投与する。
年齢、体重、症状により適宜増減するが１日量として１ｇを超えない。

【保管】室温保存。

624: 合成抗菌剤

6241: ピリドンカルボン酸系製剤

アベロックス錠４００mg Avelox 採用 (劇) <先発品（後発品なし）>
商品名:アベロックス錠４００mg
規格:４００mg１錠 薬価:187.90 製造:バイエル薬品 剤型:錠 YJ:6241016F1028 院内コード:202288
成分:モキシフロキサシン塩酸塩,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、副鼻腔炎。
【用】通常、成人にはモキシフロキサシンとして、１回４００mgを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

ジェニナック錠２００mg Geninax 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ジェニナック錠２００mg
規格:２００mg１錠 薬価:134.50 製造:富士フイルム富山化学 剤型:錠 YJ:6241017F1022 院内コード:200781
成分:メシル酸ガレノキサシン水和物,
【効】咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、中耳炎、副鼻腔炎。
【用】通常、成人においてガレノキサシンとして、１回４００mgを１日１回経口投与する。
【保管】室温保存。

レボフロキサシン錠５００mg「ＤＳＥＰ」 Levofloxacin DSEP 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]クラビット錠５００mg
商品名:レボフロキサシン錠５００mg「ＤＳＥＰ」
規格:５００mg１錠（レボフロキサシンとして） 薬価:60.80 製造:第一三共エスファ 剤型:錠 YJ:6241013F3051 院内コード:202761
成分:レボフロキサシン水和物,
【効】表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管炎・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡＜化膿性炎症を伴うもの＞、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍、咽頭炎・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲炎、扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎、子宮頸管炎、胆嚢炎、胆管炎、感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ、バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎、涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎、外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兎病、肺結核及びその他の結核症、Ｑ熱。
【用】通常、成人にはレボフロキサシンとして１回５００mgを１日１回経口投与する。なお、疾患・症状に応じて適宜減量する。
肺結核及びその他の結核症については、原則として他の抗結核薬と併用すること。
腸チフス、パラチフスについては、レボフロキサシンとして１回５００mgを１日１回１４日間経口投与する。
【保管】室温保存。

ﾚﾎﾞﾌﾛｷｻｼﾝ点滴静注ﾊﾞｯｸﾞ500mg/100mL「DSEP」(ｸﾗﾋﾞｯﾄ) Levofloxacin DSEP 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:非採用]クラビット点滴静注５００mg／２０mL
商品名:レボフロキサシン点滴静注バッグ５００mg／１００mL「ＤＳＥＰ」
規格:５００mg１００mL１キット 薬価:998.00 製造:第一三共エスファ 剤型:キット類YJ:6241402G1032 院内コード:300988
成分:レボフロキサシン水和物,
【効】外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（前立腺炎＜急性症＞、前立腺炎＜慢性症＞）、精巣上体炎（副睾丸炎）、腹膜炎、胆嚢炎、胆管炎、腸チフス、パラチフス、子宮内感染、子宮付属器炎、炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兎病、Ｑ熱。
【用】通常、成人にはレボフロキサシンとして１回５００mgを１日１回、約６０分間かけて点滴静注する。
【保管】室温保存。

6249: その他の合成抗菌剤

ザイボックス注射液６００mg Zyvox 採用 <先発品（後発品あり）>
商品名:ザイボックス注射液６００mg
規格:６００mg３００mL１袋 薬価:8596.00 製造:ファイザー 剤型:注射液 YJ:6249401A1025 院内コード:300196
成分:リネゾリド,
【効】１）． 本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（ＭＲＳＡ）：敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎。
２）． 本剤に感性のバンコマイシン耐性エンテロコッカス・フェシウム：各種感染症。
【用】通常、成人及び１２歳以上の小児にはリネゾリドとして１日１２００mgを２回に分け、１回６００mgを１２時間ごとに、それぞれ３０分～２時間かけて点滴静注する。
通常、１２歳未満の小児にはリネゾリドとして１回１０mg／ｋｇを８時間ごとに、それぞれ３０分～２時間かけて点滴静注する。なお、１回投与量として６００mgを超えないこと。
【保管】室温保存（凍結を避けること）。

リネゾリド錠６００mg「サワイ」 Linezolid 採用 <後発品（加算対象）> [先発品:臨時使用]ザイボックス錠６００mg
商品名:リネゾリド錠６００mg「サワイ」
規格:６００mg１錠 薬価:4077.20 製造:沢井製薬 剤型:錠 YJ:6249002F1040 院内コード:203172
成分:リネゾリド,

62: 化学療法剤

【効】１）．　本剤に感性のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（ＭＲＳＡ）：敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、肺炎。
２）．　本剤に感性のバンコマイシン耐性エンテロコッカス・フェシウム：各種感染症。
【用】通常、成人及び１２歳以上の小児にはリネゾリドとして１日１２００ｍｇを２回に分け、１回６００ｍｇを１２時間ごとに経口投与する。
通常、１２歳未満の小児にはリネゾリドとして１回１０ｍｇ／ｋｇを８時間ごとに経口投与する。なお、１回投与量として６００ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

625: 抗ウイルス剤

6250: 抗ウイルス剤

アシクロビル点滴静注液250ｍｇ「ﾄｰﾜ」(ｿﾞﾋﾞﾗｯｸｽ)　Aciclovir TOWA　採用

商品名:アシクロビル点滴静注液２５０ｍｇ「トーワ」
規格:２５０ｍｇ１管　薬価:368.00　製造:東和薬品　剤型:注射液　YJ:6250401A1077　院内コード:301169
成分:アシクロビル,
【効】１）．　単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状疱疹ウイルスに起因する次記感染症：免疫機能低下した患者（悪性腫瘍・自己免疫疾患など）に発症した単純疱疹・水痘・帯状疱疹、単純ヘルペスウイルス脳炎及び水痘・帯状疱疹ウイルス脳炎・単純ヘルペスウイルス髄膜炎及び水痘・帯状疱疹ウイルス髄膜炎。
２）．　新生児単純ヘルペスウイルス感染症。
【用】〈単純ヘルペスウイルス及び水痘・帯状疱疹ウイルスに起因する次記感染症：免疫機能の低下した患者（悪性腫瘍・自己免疫疾患など）に発症した単純疱疹・水痘・帯状疱疹、脳炎・髄膜炎〉［成人］通常、成人にはアシクロビルとして１回体重１ｋｇ当たり５ｍｇを１日３回、８時間毎に１時間以上かけて、７日間点滴静注する。
なお、脳炎・髄膜炎においては、必要に応じて投与期間の延長もしくは増量ができる。ただし、上限は１回体重１ｋｇ当たり１０ｍｇまでとする。
［小児］通常、小児にはアシクロビルとして１回体重１ｋｇ当たり５ｍｇを１日３回、８時間毎に１時間以上かけて、７日間点滴静注する。
なお、必要に応じて増量できるが、上限は１回体重１ｋｇ当たり２０ｍｇまでとする。
さらに、脳炎・髄膜炎においては、投与期間の延長もできる。
〈新生児単純ヘルペスウイルス感染症〉通常、新生児にはアシクロビルとして１回体重１ｋｇ当たり１０ｍｇを１日３回、８時間毎に１時間以上かけて、１０日間点滴静注する。
なお、必要に応じて投与期間の延長もしくは増量ができる。ただし、上限は１回体重１ｋｇ当たり２０ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

アメナリーフ錠２００ｍｇ　Amenalief　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:アメナリーフ錠２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１錠　薬価:1124.30　製造:マルホ　剤型:錠　YJ:6250046F1028　院内コード:202940
成分:アメナメビル,
【効】１）．　帯状疱疹。
２）．　再発性の単純疱疹。
【用】〈帯状疱疹〉通常、成人にはアメナメビルとして１回４００ｍｇを１日１回食後に経口投与する。
〈再発性の単純疱疹〉通常、成人にはアメナメビルとして１２００ｍｇを食後に単回経口投与する。
【保管】室温保存。

アラセナーＡ軟膏３％（5g/本）　Arasena-A　採用　<先発品（後発品あり）>

商品名:アラセナーＡ軟膏３％
規格:３％１ｇ　薬価:104.70　製造:持田製薬　剤型:軟膏・硬膏　YJ:6250700M1189　院内コード:200493
成分:ビダラビン,
【効】帯状疱疹、単純疱疹。
【用】患部に適量を１日１～４回、塗布または貼布する。
【保管】室温保存。

イナビル吸入粉末剤２０ｍｇ　Inavir　採用

商品名:イナビル吸入粉末剤２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１キット　薬価:1484.90　製造:第一三共　剤型:吸入剤　YJ:6250703G1022　院内コード:202271
成分:ラニナミビルオクタン酸エステル水和物,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防。
【用】〈治療〉１）．　成人：ラニナミビルオクタン酸エステルとして４０ｍｇを単回吸入投与する。
２）．　小児：
①．　１０歳以上：ラニナミビルオクタン酸エステルとして４０ｍｇを単回吸入投与する。
②．　１０歳未満：ラニナミビルオクタン酸エステルとして２０ｍｇを単回吸入投与する。
〈予防〉１）．　成人：ラニナミビルオクタン酸エステルとして４０ｍｇを単回吸入投与する。また、２０ｍｇを１日１回、２日間吸入投与することもできる。
２）．　小児：
①．　１０歳以上：ラニナミビルオクタン酸エステルとして４０ｍｇを単回吸入投与する。また、２０ｍｇを１日１回、２日間吸入投与することもできる。
②．　１０歳未満：ラニナミビルオクタン酸エステルとして２０ｍｇを単回吸入投与する。
【保管】室温保存。

エンテカビルＯＤ錠０．５ｍｇ「サワイ」(ﾊﾞﾗｸﾙｰﾄﾞ)　Entecavir OD　採用　(劇)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]バラクルード錠０．５ｍｇ

商品名:エンテカビルＯＤ錠０．５ｍｇ「サワイ」
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:66.90　製造:沢井製薬　剤型:錠　YJ:6250029F2020　院内コード:203814

成分:エンテカビル水和物,
【効】Ｂ型肝炎ウイルスの増殖を伴い肝機能の異常が確認されたＢ型慢性肝疾患におけるＢ型肝炎ウイルスの増殖抑制。
【用】本剤は、空腹時（食後２時間以降かつ次の食事の２時間以上前）に経口投与する。
通常、成人にはエンテカビルとして０．５ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、ラミブジン不応（ラミブジン投与中にＢ型肝炎ウイルス血症が認められる又はラミブジン耐性変異ウイルスを有するなど）患者には、エンテカビルとして１ｍｇを１日１回経口投与することが推奨される。
【保管】室温保存。

ゾフルーザ錠１０ｍｇ　Xofluza　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ゾフルーザ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:1535.40　製造:塩野義製薬　剤型:錠　YJ:6250047F1022　院内コード:203102
成分:バロキサビル　マルボキシル,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症。
【用】通常、次の用量を単回経口投与する。
１２歳未満の小児（体重１０ｋｇ以上２０ｋｇ未満）：１０ｍｇ錠１錠（バロキサビル　マルボキシルとして１０ｍｇ）。
【保管】室温保存。

ゾフルーザ錠２０ｍｇ　Xofluza　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ゾフルーザ錠２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:2438.80　製造:塩野義製薬　剤型:錠　YJ:6250047F2029　院内コード:203103
成分:バロキサビル　マルボキシル,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防。
【用】通常、次の用量を単回経口投与する。
１）．　治療①．　成人及び１２歳以上の小児（体重８０ｋｇ以上）：２０ｍｇ錠４錠（バロキサビル　マルボキシルとして８０ｍｇ）。
②．　成人及び１２歳以上の小児（体重８０ｋｇ未満）：２０ｍｇ錠２錠（バロキサビル　マルボキシルとして４０ｍｇ）。
③．　１２歳未満の小児（体重４０ｋｇ以上）：２０ｍｇ錠２錠（バロキサビル　マルボキシルとして４０ｍｇ）。
④．　１２歳未満の小児（体重２０ｋｇ以上４０ｋｇ未満）：２０ｍｇ錠１錠（バロキサビル　マルボキシルとして２０ｍｇ）。
２）．　予防①．　成人及び１２歳以上の小児（体重８０ｋｇ以上）：２０ｍｇ錠４錠（バロキサビル　マルボキシルとして８０ｍｇ）。
②．　成人及び１２歳以上の小児（体重８０ｋｇ未満）：２０ｍｇ錠２錠（バロキサビル　マルボキシルとして４０ｍｇ）。
③．　１２歳未満の小児（体重４０ｋｇ以上）：２０ｍｇ錠２錠（バロキサビル　マルボキシルとして４０ｍｇ）。
④．　１２歳未満の小児（体重２０ｋｇ以上４０ｋｇ未満）：２０ｍｇ錠１錠（バロキサビル　マルボキシルとして２０ｍｇ）。
【保管】室温保存。

タミフルカプセル７５　Tamiflu　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:タミフルカプセル７５
規格:７５ｍｇ１カプセル　薬価:172.30　製造:中外製薬　剤型:カプセルYJ:6250021M1027　院内コード:200155
成分:オセルタミビルリン酸塩,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症及びＡ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症の予防。
【用】〈治療〉通常、成人及び体重３７．５ｋｇ以上の小児にはオセルタミビルとして１回７５ｍｇを１日２回、５日間経口投与する。
〈予防〉成人通常、オセルタミビルとして１回７５ｍｇを１日１回、７～１０日間経口投与する。
体重３７．５ｋｇ以上の小児通常、オセルタミビルとして１回７５ｍｇを１日１回、１０日間経口投与する。
【保管】室温保存。

タミフルドライシロップ３％　Tamiflu　採用　<先発品（後発品あり）>
商品名:タミフルドライシロップ３％
規格:３％１ｇ　薬価:103.00　製造:中外製薬　剤型:シロップ用　YJ:6250021R1024　院内コード:200788
成分:オセルタミビルリン酸塩,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症及びＡ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症の予防。
【用】〈治療〉成人通常、オセルタミビルとして１回７５ｍｇを１日２回、５日間、用時懸濁して経口投与する。
小児通常、オセルタミビルとして次の１回用量を１日２回、５日間、用時懸濁して経口投与する。ただし、１回最高用量はオセルタミビルとして７５ｍｇとする。
幼小児の場合：２ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップ剤として６６．７ｍｇ／ｋｇ）。
新生児、乳児の場合：３ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップ剤として１００ｍｇ／ｋｇ）。
〈予防〉成人通常、オセルタミビルとして１回７５ｍｇを１日１回、７～１０日間、用時懸濁して経口投与する。
小児通常、オセルタミビルとして次の１回用量を１日１回、１０日間、用時懸濁して経口投与する。ただし、１回最高用量はオセルタミビルとして７５ｍｇとする。
幼小児の場合：２ｍｇ／ｋｇ（ドライシロップ剤として６６．７ｍｇ／ｋｇ）。
【保管】室温保存。

バラシクロビル錠５００ｍｇ「ＳＰＫＫ」(ﾊﾞﾙﾄﾚｯｸｽ)　Valaciclovir SPKK　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]バルトレックス錠５００
商品名:バラシクロビル錠５００ｍｇ「ＳＰＫＫ」
規格:５００ｍｇ１錠　薬価:64.40　製造:サンドファーマ　剤型:錠　YJ:6250019F1365　院内コード:202864
成分:バラシクロビル塩酸塩,
【効】１）．　単純疱疹。
２）．　造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制。
３）．　帯状疱疹。
４）．　水痘。
５）．　性器ヘルペスの再発抑制。

【用】［成人］〈単純疱疹〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
〈造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回造血幹細胞移植施行７日前より施行後３５日まで経口投与する。
〈帯状疱疹〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回１０００ｍｇを１日３回経口投与する。
〈水痘〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回１０００ｍｇを１日３回経口投与する。
〈性器ヘルペスの再発抑制〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、ＨＩＶ感染症の患者（ＣＤ４リンパ球数１００／ｍｍ３以上）にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
［小児］〈単純疱疹〉通常、体重４０ｋｇ以上の小児にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
〈造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制〉通常、体重４０ｋｇ以上の小児にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回造血幹細胞移植施行７日前より施行後３５日まで経口投与する。
〈帯状疱疹〉通常、体重４０ｋｇ以上の小児にはバラシクロビルとして１回１０００ｍｇを１日３回経口投与する。
〈水痘〉通常、体重４０ｋｇ以上の小児にはバラシクロビルとして１回１０００ｍｇを１日３回経口投与する。
〈性器ヘルペスの再発抑制〉通常、体重４０ｋｇ以上の小児にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、ＨＩＶ感染症の患者（ＣＤ４リンパ球数１００／ｍｍ３以上）にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

バラシクロビル顆粒５０％「ＳＰＫＫ」(ﾊﾞﾙﾄﾚｯｸｽ) Valaciclovir SPKK **採用**
<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]バルトレックス顆粒５０％

商品名:バラシクロビル顆粒５０％「ＳＰＫＫ」
規格:５０％１ｇ　薬価:82.70　製造:サンドファーマ　剤型:顆粒　YJ:6250019D1089　院内コード:202865
成分:バラシクロビル塩酸塩,
【効】１）．　単純疱疹。
２）．　造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制。
３）．　帯状疱疹。
４）．　水痘。
５）．　性器ヘルペスの再発抑制。
【用】［成人］〈単純疱疹〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
〈造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回造血幹細胞移植施行７日前より施行後３５日まで経口投与する。
〈帯状疱疹〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回１０００ｍｇを１日３回経口投与する。
〈水痘〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回１０００ｍｇを１日３回経口投与する。
〈性器ヘルペスの再発抑制〉通常、成人にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、ＨＩＶ感染症の患者（ＣＤ４リンパ球数１００／ｍｍ３以上）にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
［小児］〈単純疱疹〉通常、体重１０ｋｇ未満の小児には体重１ｋｇ当たりバラシクロビルとして１回２５ｍｇを１日３回、体重１０ｋｇ以上の小児には体重１ｋｇ当たりバラシクロビルとして１回２５ｍｇを１日２回経口投与する。ただし、１回最高用量は５００ｍｇとする。
〈造血幹細胞移植における単純ヘルペスウイルス感染症（単純疱疹）の発症抑制〉通常、体重１０ｋｇ未満の小児には体重１ｋｇ当たりバラシクロビルとして１回２５ｍｇを１日３回、体重１０ｋｇ以上の小児には体重１ｋｇ当たりバラシクロビルとして１回２５ｍｇを１日２回造血幹細胞移植施行７日前より施行後３５日まで経口投与する。ただし、１回最高用量は５００ｍｇとする。
〈帯状疱疹〉通常、小児には体重１ｋｇ当たりバラシクロビルとして１回２５ｍｇを１日３回経口投与する。ただし、１回最高用量は１０００ｍｇとする。
〈水痘〉通常、小児には体重１ｋｇ当たりバラシクロビルとして１回２５ｍｇを１日３回経口投与する。ただし、１回最高用量は１０００ｍｇとする。
〈性器ヘルペスの再発抑制〉通常、体重４０ｋｇ以上の小児にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日１回経口投与する。なお、ＨＩＶ感染症の患者（ＣＤ４リンパ球数１００／ｍｍ３以上）にはバラシクロビルとして１回５００ｍｇを１日２回経口投与する。
【保管】室温保存。

ラゲブリオ錠４００ｍｇ Lagevrio **採用** **(劇)**
<先発品（後発品なし）>

商品名:ラゲブリオ錠４００ｍｇ
規格:４００ｍｇ１錠　薬価:4329.80　製造:ＭＳＤ　剤型:錠　YJ:6250051F1029　院内コード:203857
成分:モルヌピラビル,
【効】ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による感染症。
【用】通常、１８歳以上の患者には、モルヌピラビルとして１回８００ｍｇを１日２回、５日間経口投与する。
【保管】室温保存。

ラピアクタ点滴静注液バイアル１５０ｍｇ Rapiacta **採用**

商品名:ラピアクタ点滴静注液バイアル１５０ｍｇ
規格:１５０ｍｇ１５ｍＬ１瓶　薬価:3182.00　製造:塩野義製薬　剤型:注射液　YJ:6250405A1032　院内コード:300640
成分:ペラミビル水和物,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症。
【用】〈成人〉通常、ペラミビルとして３００ｍｇを１５分以上かけて単回点滴静注する。
合併症等により重症化するおそれのある患者には、１日１回６００ｍｇを１５分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。なお、年齢、症状に応じて適宜減量する。
〈小児〉通常、ペラミビルとして１日１回１０ｍｇ／ｋｇを１５分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。投与量の上限は、１回量として６００ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

ラピアクタ点滴静注液バッグ３００ｍｇ Rapiacta **採用**

商品名:ラピアクタ点滴静注液バッグ３００ｍｇ

規格:３００ｍｇ６０ｍＬ１袋　薬価:6197.00　製造:塩野義製薬　剤型:注射液　YJ:6250405A2039　院内コード:300610
成分:ペラミビル水和物,
【効】Ａ型インフルエンザウイルス感染症又はＢ型インフルエンザウイルス感染症。
【用】〈成人〉通常、ペラミビルとして３００ｍｇを１５分以上かけて単回点滴静注する。
合併症等により重症化するおそれのある患者には、１日１回６００ｍｇを１５分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。
なお、年齢、症状に応じて適宜減量する。
〈小児〉通常、ペラミビルとして１日１回１０ｍｇ／ｋｇを１５分以上かけて単回点滴静注するが、症状に応じて連日反復投与できる。投与量の上限は、１回量として６００ｍｇまでとする。
【保管】室温保存。

629: その他の化学療法剤

6290: その他の化学療法剤

イトラコナゾール錠５０ｍｇ「科研」(ｲﾄﾘｿﾞｰﾙ)　Itraconazole KAKEN　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]イトリゾールカプセル５０
商品名:イトラコナゾール錠５０ｍｇ「科研」
規格:５０ｍｇ１錠　薬価:55.10　製造:科研製薬　剤型:錠　YJ:6290004F1062　院内コード:203745
成分:イトラコナゾール,
【効】１）．　内臓真菌症（深在性真菌症）：
真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎。
２）．　深在性皮膚真菌症：
スポロトリコーシス、クロモミコーシス。
３）．　表在性皮膚真菌症＜爪白癬以外＞：
白癬：体部白癬、股部白癬、手白癬、足白癬、頭部白癬、ケルスス禿瘡、白癬性毛瘡。
カンジダ症：口腔カンジダ症、皮膚カンジダ症、爪カンジダ症、カンジダ性爪囲爪炎、カンジダ性毛瘡、慢性皮膚粘膜カンジダ症。
癜風、マラセチア毛包炎。
４）．　爪白癬。
【用】〈内臓真菌症（深在性真菌症）〉通常、成人にはイトラコナゾールとして１００～２００ｍｇを１日１回食直後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、イトラコナゾール注射剤からの切り替えの場合、１回２００ｍｇを１日２回（１日用量４００ｍｇ）食直後に経口投与する。
〈深在性皮膚真菌症〉通常、成人にはイトラコナゾールとして１００～２００ｍｇを１日１回食直後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日最高用量は２００ｍｇとする。
〈表在性皮膚真菌症（爪白癬以外）〉通常、成人にはイトラコナゾールとして５０～１００ｍｇを１日１回食直後に経口投与する。ただし、爪カンジダ症及びカンジダ性爪囲爪炎に対しては、１００ｍｇを１日１回食直後に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１日最高用量は２００ｍｇとする。
〈爪白癬（パルス療法）〉通常、成人にはイトラコナゾールとして１回２００ｍｇを１日２回（１日量４００ｍｇ）
食直後に１週間経口投与し、その後３週間休薬する。これを１サイクルとし、３サイクル繰り返す。なお、必要に応じ適宜減量する。
【保管】室温保存。

エフィナコナゾール爪外用液１０％「科研」(ｸﾚﾅﾌｨﾝ)　Efinaconazole KAKEN　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]クレナフィン爪外用液１０％
商品名:エフィナコナゾール爪外用液１０％「科研」
規格:１０％１ｇ　薬価:654.60　製造:科研ファルマ　剤型:液　YJ:6290702Q1037　院内コード:203847
成分:エフィナコナゾール,
【効】爪白癬。
【用】１日１回罹患爪全体に塗布する。
【保管】室温保存。

ジフルカンカプセル１００ｍｇ　Diflucan　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:ジフルカンカプセル１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１カプセル　薬価:114.60　製造:ファイザー　剤型:カプセルYJ:6290002M2026　院内コード:200125
成分:フルコナゾール,
【効】１）．　カンジダ属及びクリプトコッカス属による次記感染症：真菌血症、呼吸器真菌症、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎。
２）．　造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防。
３）．　カンジダ属に起因する腟炎及びカンジダ属に起因する外陰腟炎。
【用】１）．　成人：
〈カンジダ症〉通常、成人にはフルコナゾールとして５０～１００ｍｇを１日１回経口投与する。
〈クリプトコッカス症〉通常、成人にはフルコナゾールとして５０～２００ｍｇを１日１回経口投与する。
なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、１日量として４００ｍｇまで増量できる。
〈造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防〉成人には、フルコナゾールとして４００ｍｇを１日１回経口投与する。
〈カンジダ属に起因する腟炎及び外陰腟炎〉通常、成人にはフルコナゾールとして１５０ｍｇを１回経口投与する。
２）．　小児：
〈カンジダ症〉通常、小児にはフルコナゾールとして３ｍｇ／ｋｇを１日１回経口投与する。
〈クリプトコッカス症〉通常、小児にはフルコナゾールとして３～６ｍｇ／ｋｇを１日１回経口投与する。
なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、１日量として１２ｍｇ／ｋｇまで増量できる。
〈造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防〉小児には、フルコナゾールとして１２ｍｇ／ｋｇを１日１回経口投与する。
なお、患者の状態に応じて適宜減量する。
ただし、１日量として４００ｍｇを超えないこと。
３）．　新生児：生後１４日までの新生児には、フルコナゾールとして小児と同じ用量を７２時間毎に投与する。
生後１５日以降の新生児には、フルコナゾールとして小児と同じ用量を４８時間毎に投与する。

【保管】室温保存。

ネイリンカプセル１００ｍｇ　Nailin　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ネイリンカプセル１００ｍｇ

規格:１００ｍｇ１カプセル　薬価:772.60　製造:佐藤製薬　剤型:カプセルYJ:6290007M1022　院内コード:203065

成分:ホスラブコナゾール　Ｌ－リシンエタノール付加物,

【効】爪白癬。

【用】通常、成人には１日１回１カプセル（ラブコナゾールとして１００ｍｇ）を１２週間経口投与する。

【保管】室温保存。

バクタ配合錠　Baktar　採用

商品名:バクタ配合錠

規格:１錠　薬価:69.20　製造:シオノギファーマ　剤型:錠　YJ:6290100F2115　院内コード:200392

成分:スルファメトキサゾール,トリメトプリム,

【効】１）．　一般感染症肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染。

複雑性膀胱炎、腎盂腎炎。

感染性腸炎、腸チフス、パラチフス。

２）．　ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制。

【用】〈一般感染症〉通常、成人には１日量４錠を２回に分割し、経口投与する。

ただし、年齢、症状に応じて適宜増減する。

〈ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制〉（１）．　治療に用いる場合通常、成人には１日量９～１２錠を３～４回に分割し、経口投与する。

通常、小児にはトリメトプリムとして１日量１５～２０ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割し、経口投与する。

ただし、年齢、症状に応じて適宜増減する。

（２）．　発症抑制に用いる場合通常、成人には１日１回１～２錠を連日又は週３日経口投与する。

通常、小児にはトリメトプリムとして１日量４～８ｍｇ／ｋｇを２回に分割し、連日又は週３日経口投与する。

【保管】室温保存。

バクタ配合顆粒　Baktar　採用

商品名:バクタ配合顆粒

規格:１ｇ　薬価:78.80　製造:シオノギファーマ　剤型:顆粒　YJ:6290100D1088　院内コード:200393

成分:スルファメトキサゾール,トリメトプリム,

【効】１）．　一般感染症肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染。

複雑性膀胱炎、腎盂腎炎。

感染性腸炎、腸チフス、パラチフス。

２）．　ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制ニューモシスチス肺炎、ニューモシスチス肺炎の発症抑制。

【用】〈一般感染症〉通常、成人には１日量４ｇを２回に分割し、経口投与する。

ただし、年齢、症状に応じて適宜増減する。

〈ニューモシスチス肺炎の治療及び発症抑制〉（１）．　治療に用いる場合通常、成人には１日量９～１２ｇを３～４回に分割し、経口投与する。

通常、小児にはトリメトプリムとして１日量１５～２０ｍｇ／ｋｇを３～４回に分割し、経口投与する。

ただし、年齢、症状に応じて適宜増減する。

（２）．　発症抑制に用いる場合通常、成人には１日１回１～２ｇを連日又は週３日経口投与する。

通常、小児にはトリメトプリムとして１日量４～８ｍｇ／ｋｇを２回に分割し、連日又は週３日経口投与する。

【保管】室温保存。

フロリードゲル経口用２％（5g/本）　Florid　採用

商品名:フロリードゲル経口用２％

規格:２％１ｇ　薬価:98.20　製造:持田製薬　剤型:その他　YJ:6290003X1039　院内コード:200367

成分:ミコナゾール,

【効】カンジダ属による次記感染症：

口腔カンジダ症、食道カンジダ症。

【用】〈口腔カンジダ症〉通常、成人にはミコナゾールとして１日２００～４００ｍｇ（ミコナゾールゲル１０～２０ｇ）を４回（毎食後および就寝前）に分け、口腔内にまんべんなく塗布する。なお、病巣が広範囲に存在する場合には、口腔内にできるだけ長く含んだ後、嚥下する。

〈食道カンジダ症〉通常、成人にはミコナゾールとして１日２００～４００ｍｇ（ミコナゾールゲル１０～２０ｇ）を４回（毎食後および就寝前）に分け、口腔内に含んだ後、少量ずつ嚥下する。

【保管】室温保存。

プロジフ静注液１００　Prodif　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:プロジフ静注液１００

規格:８％１．２５ｍＬ１瓶　薬価:2889.00　製造:ファイザー　剤型:注射液　YJ:6290402A1026　院内コード:300198

成分:ホスフルコナゾール,

【効】カンジダ属及びクリプトコッカス属による次記感染症：

１）．　真菌血症。

２）．　呼吸器真菌症。

３）．　真菌腹膜炎。

４）．　消化管真菌症。

５）．　尿路真菌症。

６）．　真菌髄膜炎。

【用】１）．　カンジダ症：

通常、成人にはホスフルコナゾール６３．１～１２６．１ｍｇ（フルコナゾールとして５０～１００ｍｇ）を維持用量として１日１回静脈内に投与する。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１２６．１～２５２．３ｍｇ（フルコナゾールとして１００～２００ｍｇ）

を投与する。
なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、ホスフルコナゾール５０４．５mg（フルコナゾールとして４００mg）まで維持用量を増量できる。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１００９mg（フルコナゾールとして８００mg）まで投与できる。
２）．　クリプトコッカス症：
通常、成人にはホスフルコナゾール６３．１～２５２．３mg（フルコナゾールとして５０～２００mg）を維持用量として１日１回静脈内に投与する。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１２６．１～５０４．５mg（フルコナゾールとして１００～４００mg）を投与する。
なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、ホスフルコナゾール５０４．５mg（フルコナゾールとして４００mg）まで維持用量を増量できる。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１００９mg（フルコナゾールとして８００mg）まで投与できる。
【保管】２～８℃保存。

プロジフ静注液２００　Prodif　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:プロジフ静注液２００
規格:８％２．５mL１瓶　薬価:5148.00　製造:ファイザー　剤型:注射液　YJ:6290402A2022　院内コード:300760
成分:ホスフルコナゾール,
【効】カンジダ属及びクリプトコッカス属による次記感染症：
１）．　真菌血症。
２）．　呼吸器真菌症。
３）．　真菌腹膜炎。
４）．　消化管真菌症。
５）．　尿路真菌症。
６）．　真菌髄膜炎。
【用】１）．　カンジダ症：
通常、成人にはホスフルコナゾール６３．１～１２６．１mg（フルコナゾールとして５０～１００mg）を維持用量として１日１回静脈内に投与する。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１２６．１～２５２．３mg（フルコナゾールとして１００～２００mg）を投与する。
なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、ホスフルコナゾール５０４．５mg（フルコナゾールとして４００mg）まで維持用量を増量できる。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１００９mg（フルコナゾールとして８００mg）まで投与できる。
２）．　クリプトコッカス症：
通常、成人にはホスフルコナゾール６３．１～２５２．３mg（フルコナゾールとして５０～２００mg）を維持用量として１日１回静脈内に投与する。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１２６．１～５０４．５mg（フルコナゾールとして１００～４００mg）を投与する。
なお、重症又は難治性真菌感染症の場合には、ホスフルコナゾール５０４．５mg（フルコナゾールとして４００mg）まで維持用量を増量できる。ただし、初日、２日目は維持用量の倍量として、ホスフルコナゾール１００９mg（フルコナゾールとして８００mg）まで投与できる。
【保管】２～８℃保存。

ベセルナクリーム５％　Beselna　採用
商品名:ベセルナクリーム５％
規格:５％２５０mg１包　薬価:652.60　製造:持田製薬　剤型:クリームYJ:6290701N1028　院内コード:202595
成分:イミキモド,
【効】１）．　尖圭コンジローマ（外性器尖圭コンジローマ又は肛門周囲尖圭コンジローマに限る）。
２）．　日光角化症（顔面日光角化症又は禿頭部日光角化症に限る）。
【用】〈尖圭コンジローマ（外性器又は肛門周囲に限る）〉疣贅部位に適量を１日１回、週３回、就寝前に塗布する。塗布後はそのままの状態を保ち、起床後に塗布した薬剤を石鹸を用い、水又は温水で洗い流す。
〈日光角化症（顔面又は禿頭部に限る）〉治療部位に適量を１日１回、週３回、就寝前に塗布する。塗布後はそのままの状態を保ち、起床後に塗布した薬剤を石鹸を用い、水又は温水で洗い流す。４週間塗布後、４週間休薬し、病変が消失した場合は終了とし、効果不十分の場合はさらに４週間塗布する。
【保管】凍結を避け、２５℃以下で保存すること。

ルコナック爪外用液５％(4mL/本)　Luconac　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ルコナック爪外用液５％
規格:５％１ｇ　薬価:593.70　製造:佐藤製薬　剤型:液　YJ:6290703Q1023　院内コード:202838
成分:ルリコナゾール,
【効】爪白癬。
【用】１日１回罹患爪全体に塗布する。
【保管】室温保存。

63: 生物学的製剤
631: ワクチン類
6311: 細菌ワクチン類

アクトヒブ　採用　(劇)
商品名:アクトヒブ
規格:１０μｇ１瓶（溶解液付）　薬価:0.00　製造:サノフィ　剤型:注射用　YJ:631140CD1029
成分:乾燥ヘモフィルスｂ型ワクチン（担体たん白質結合型）,
【効】インフルエンザ菌ｂ型による感染症の予防。
【用】本剤を添付溶剤０．５mLで溶解し、その全量を１回分とする。
初回免疫：通常、３回、いずれも４～８週間の間隔で皮下に注射する。ただし、医師が必要と認めた場合には３週間の間隔で接種することができる。
追加免疫：通常、初回免疫後おおむね１年の間隔をおいて、１回皮下に注射する。

【保管】２～８℃に保存。

ニューモバックスＮＰシリンジ　Pneumovax NP　採用　(劇生)

商品名:ニューモバックスＮＰシリンジ

規格:０．５ｍＬ１筒　薬価:4735.00　製造:ＭＳＤ　剤型:キット類YJ:6311400G1021　院内コード:301101

成分:肺炎球菌ワクチン,

【効】２歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い次のような個人及び患者。

１）．　脾摘患者における肺炎球菌による感染症の発症予防。

２）．　肺炎球菌による感染症の予防：①鎌状赤血球疾患、あるいはその他の原因で脾機能不全である患者、②心慢性疾患・呼吸器慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある患者、③高齢者、④免疫抑制作用を有する治療が予定されている者で治療開始まで少なくとも１４日以上の余裕のある患者。

【用】１回０．５ｍＬを筋肉内又は皮下に注射する。

【保管】２～８℃、凍結を避けること。

プレベナー２０水性懸濁注　Prevenar20　採用　(劇生)

商品名:プレベナー２０水性懸濁注

規格:０．５ｍＬ１筒　薬価:0.00　製造:ファイザー　剤型:キット類YJ:631140LC1023　院内コード:301307

成分:ＣＲＭ１９７,ポリサッカライド血清型１,ポリサッカライド血清型１０Ａ,ポリサッカライド血清型１１Ａ,ポリサッカライド血清型１２Ｆ,ポリサッカライド血清型１４,ポリサッカライド血清型１５Ｂ,ポリサッカライド血清型１８Ｃ,ポリサッカライド血清型１９Ａ,ポリサッカライド血清型１９Ｆ,ポリサッカライド血清型２２Ｆ,ポリサッカライド血清型２３Ｆ,ポリサッカライド血清型３,ポリサッカライド血清型３３Ｆ,ポリサッカライド血清型４,ポリサッカライド血清型５,ポリサッカライド血清型６Ａ,ポリサッカライド血清型６Ｂ,ポリサッカライド血清型７Ｆ,ポリサッカライド血清型８,ポリサッカライド血清型９Ｖ,

【効】１）．　高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる者：血清型１、３、４、５、６Ａ、６Ｂ、７Ｆ、８、９Ｖ、１０Ａ、１１Ａ、１２Ｆ、１４、１５Ｂ、１８Ｃ、１９Ａ、１９Ｆ、２２Ｆ、２３Ｆ及び３３Ｆによる肺炎球菌感染症の予防。

２）．　小児：血清型１、３、４、５、６Ａ、６Ｂ、７Ｆ、８、９Ｖ、１０Ａ、１１Ａ、１２Ｆ、１４、１５Ｂ、１８Ｃ、１９Ａ、１９Ｆ、２２Ｆ、２３Ｆ及び３３Ｆによる侵襲性肺炎球菌感染症の予防。

【用】〈高齢者又は肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる６歳以上の者：肺炎球菌による感染症の予防〉１回０．５ｍＬを筋肉内に注射する。

〈肺炎球菌による疾患に罹患するリスクが高いと考えられる６歳未満の者：肺炎球菌による感染症の予防〉１回０．５ｍＬを皮下又は筋肉内に注射する。

〈小児：肺炎球菌による侵襲性感染症の予防〉・　初回免疫：通常、１回０．５ｍＬずつを３回、いずれも２７日間以上の間隔で皮下又は筋肉内に注射する。

・　追加免疫：通常、３回目接種から６０日間以上の間隔をおいて、０．５ｍＬを１回皮下又は筋肉内に注射する。

【保管】２～８℃で保存。

6313: ウイルスワクチン類

シングリックス筋注用　Shingrix　採用　(劇生)

商品名:シングリックス筋注用

規格:５０μｇ１瓶（溶解液付）　薬価:0.00　製造:ＧＳＫ　剤型:注射用　YJ:631341BE1028　院内コード:301154

成分:乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（チャイニーズハムスター卵巣細胞由来）,

【効】帯状疱疹の予防。

【用】抗原製剤を専用溶解用液全量で溶解する。

５０歳以上の者には、０．５ｍＬを２回、通常、２ヵ月の間隔をおいて、筋肉内に接種する。

帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる１８歳以上の者には、０．５ｍＬを２回、通常、１～２ヵ月の間隔をおいて、筋肉内に接種する。

【保管】凍結を避けて、２～８℃で保存。

ロタテック内用液（2mL/本）　RotaTeq　採用　(劇生)

商品名:ロタテック内用液

規格:２ｍＬ１本　薬価:0.00　製造:ＭＳＤ　剤型:液　YJ:631301AS1024　院内コード:202376

成分:Ｇ１型ロタウイルス（ＷＩ７９－９株）,Ｇ２型ロタウイルス（ＳＣ２－９株）,Ｇ３型ロタウイルス（ＷＩ７８－８株）,Ｇ４型ロタウイルス（ＢｒＢ－９株）,Ｐ１Ａ［8］型ロタウイルス（ＷＩ７９－４株）,

【効】ロタウイルスによる胃腸炎の予防。

【用】乳児に通常、４週間以上の間隔をおいて３回経口接種し、接種量は毎回２ｍＬとする。

【保管】２～８℃。

乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」　Dried live attenuated mumps vaccine TAKEDA　採用　(劇生)

商品名:乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」

規格:１瓶（溶解液付）　薬価:0.00　製造:武田薬品　剤型:注射用　YJ:631340AD1040

成分:乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン（鳥居株）,

【効】おたふくかぜの予防。

【用】本剤を添付の溶剤（日本薬局方　注射用水）０．７ｍＬで溶解し、通常、その０．５ｍＬを１回皮下に注射する。

【保管】５℃以下で保存。

乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」　Varicella vaccine live attenuated BIKEN　採用　(劇生)

商品名:乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」

規格:１瓶（溶解液付）　薬価:0.00　製造:阪大微生物病研究会　剤型:注射用　YJ:631340ED1022
成分:乾燥弱毒生水痘ワクチン（岡株），
【効】１）．　水痘の予防。
２）．　５０歳以上の者に対する帯状疱疹の予防。
【用】本剤を添付の溶剤（日本薬局方注射用水）０．７ｍＬで溶解し、通常、その０．５ｍＬを１回皮下に注射する。
【保管】５℃以下で保存。

乾燥弱毒生風しんワクチン「タケダ」　Dried live attenuated rubella vaccine TAKEDA　採用　(劇生)

商品名:乾燥弱毒生風しんワクチン「タケダ」
規格:１瓶（溶解液付）　薬価:0.00　製造:武田薬品　剤型:注射用　YJ:631340BD1053
成分:乾燥弱毒生風しんワクチン（ＴＯ－３３６株），
【効】風しんの予防。
【用】本剤を添付の溶剤（日本薬局方　注射用水）０．７ｍＬで溶解し、通常、その０．５ｍＬを１回皮下に注射する。
【保管】５℃以下で保存。

乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」　Dried live attenuated measles vaccine TAKEDA　採用　(劇生)

商品名:乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」
規格:１瓶（溶解液付）　薬価:0.00　製造:武田薬品　剤型:注射用　YJ:631340DD1036
成分:乾燥弱毒生麻しんワクチン（シュワルツＦＦ－８株），
【効】麻しんの予防。
【用】本剤を添付の溶剤（日本薬局方　注射用水）０．７ｍＬで溶解し、通常、その０．５ｍＬを１回皮下に注射する。
【保管】５℃以下で保存。

632: 毒素及びトキソイド類

6322: トキソイド類

沈降破傷風トキソイド「生研」　Adsorbed tetanus toxoid SEIKEN　採用　(劇生)

商品名:沈降破傷風トキソイド「生研」
規格:０．５ｍＬ１瓶　薬価:1173.00　製造:デンカ　剤型:注射液　YJ:6322400X2048　院内コード:300231
成分:沈降破傷風トキソイド，
【効】破傷風の予防。
【用】初回免疫：通常、１回０．５ｍＬずつを２回、３～８週間の間隔で皮下又は筋肉内に注射する。
追加免疫：通常、初回免疫後６箇月以上の間隔をおいて、（標準として初回免疫終了後１２箇月から１８箇月までの間に）０．５ｍＬを１回皮下又は筋肉内に注射する。ただし、初回免疫のとき、副反応の強かった者には、適宜減量する。以後の追加免疫のときの接種量もこれに準ずる。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

633: 抗毒素類及び抗レプトスピラ血清類

6331: 抗毒素類

乾燥まむしウマ抗毒素注射用６０００単位「KMB」　Freeze-dried mamushi equine antivenom KMB　採用　(劇生)

商品名:乾燥まむしウマ抗毒素注射用６０００単位「ＫＭＢ」
規格:各６，０００単位入１瓶（溶解液付）　薬価:131734.00　製造:ＫＭバイオロジクス　剤型:注射用　YJ:6331412X1086　院内コード:300232
成分:乾燥まむしウマ抗毒素，
【効】まむし咬傷の治療。
【用】溶剤（日本薬局方注射用水）２０ｍＬで完全に溶解して使用する。
通常、なるべく早期に約６０００単位（約２０ｍＬ）を咬傷局所を避けた筋肉内（皮下）
又は静脈内に注射するか、あるいは生理食塩液等で希釈して点滴静注する。
なお、症状が軽減しないときは２～３時間後に３０００～６０００単位（１０～２０ｍＬ）を追加注射する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

634: 血液製剤類

6343: 血漿分画製剤

アルブミナー２５％　５０ｍＬ　Albuminar　採用　(特)

商品名:アルブミナー２５%静注１２．５ｇ／５０ｍＬ
規格:２５%５０ｍＬ１瓶　薬価:4775.00　製造:ＣＳＬベーリング　剤型:注射液　YJ:6343410X5202　院内コード:300411
成分:人血清アルブミン，
【効】アルブミンの喪失（熱傷、ネフローゼ症候群など）及びアルブミン合成低下（肝硬変症など）による低アルブミン血症、出血性ショック。
【用】通常成人１回２０～５０ｍＬ（人血清アルブミンとして５～１２．５ｇ）を緩徐に静脈内注射又は点滴静脈内注射する。なお、年齢、症状、体

重により適宜増減する。
【保管】凍結を避けて３０℃以下で保存。

ケイセントラ静注用１０００ Kcentra 採用 (特) <先発品（後発品なし）>
商品名:ケイセントラ静注用１０００
規格:１，０００国際単位１瓶（溶解液付） 薬価:66306.00 製造:ＣＳＬベーリング 剤型:注射用 YJ:6343449D2020 院内コード:300965
成分:乾燥濃縮人プロトロンビン複合体,
【効】急性重篤出血時、又は重大な出血が予想される緊急を要する手術施行時・重大な出血が予想される緊急を要する処置施行時のビタミンＫ拮抗薬投与中の患者における出血傾向の抑制。
【用】通常、血液凝固第９因子として、次記の投与量を単回静脈内投与する。
１）．　投与前のプロトロンビン時間－国際標準比（ＰＴ－ＩＮＲ）２～＜４：投与量（体重１００ｋｇ以下の場合）２５ＩＵ／ｋｇ、（体重１００ｋｇを超える場合）２５００ＩＵ。
２）．　投与前のプロトロンビン時間－国際標準比（ＰＴ－ＩＮＲ）４～６：投与量（体重１００ｋｇ以下の場合）３５ＩＵ／ｋｇ、（体重１００ｋｇを超える場合）３５００ＩＵ。
３）．　投与前のプロトロンビン時間－国際標準比（ＰＴ－ＩＮＲ）＞６：投与量（体重１００ｋｇ以下の場合）５０ＩＵ／ｋｇ、（体重１００ｋｇを超える場合）５０００ＩＵ。
【保管】凍結を避けて２５℃以下で保存。

ケイセントラ静注用５００ Kcentra 採用 (特) <先発品（後発品なし）>
商品名:ケイセントラ静注用５００
規格:５００国際単位１瓶（溶解液付） 薬価:35571.00 製造:ＣＳＬベーリング 剤型:注射用 YJ:6343449D1024 院内コード:300964
成分:乾燥濃縮人プロトロンビン複合体,
【効】急性重篤出血時、又は重大な出血が予想される緊急を要する手術施行時・重大な出血が予想される緊急を要する処置施行時のビタミンＫ拮抗薬投与中の患者における出血傾向の抑制。
【用】通常、血液凝固第９因子として、次記の投与量を単回静脈内投与する。
１）．　投与前のプロトロンビン時間－国際標準比（ＰＴ－ＩＮＲ）２～＜４：投与量（体重１００ｋｇ以下の場合）２５ＩＵ／ｋｇ、（体重１００ｋｇを超える場合）２５００ＩＵ。
２）．　投与前のプロトロンビン時間－国際標準比（ＰＴ－ＩＮＲ）４～６：投与量（体重１００ｋｇ以下の場合）３５ＩＵ／ｋｇ、（体重１００ｋｇを超える場合）３５００ＩＵ。
３）．　投与前のプロトロンビン時間－国際標準比（ＰＴ－ＩＮＲ）＞６：投与量（体重１００ｋｇ以下の場合）５０ＩＵ／ｋｇ、（体重１００ｋｇを超える場合）５０００ＩＵ。
【保管】凍結を避けて２５℃以下で保存。

テタノブリンＩＨ静注１５００単位 【 １，５００国際単位１瓶 】 Tetanobulin IH 採用 (特)
商品名:テタノブリンＩＨ静注１５００単位
規格:１，５００国際単位１瓶 薬価:35086.00 製造:日本血液製剤機構 剤型:注射液 YJ:6343433A2031 院内コード:300987
成分:ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン,
【効】破傷風の発症予防並びに発症後の症状軽減のための治療に用いる。
【用】本剤は点滴注射するか、又は直接静注する。直接静注する場合は、きわめて徐々に行うこと。
破傷風の発症を予防するためには、通常２５０国際単位を投与する。重症の外傷例には１５００国際単位を投与する。広汎な第２度熱傷などの場合は適宜反復投与する。
破傷風の治療においては、軽～中等症例では、１５００～３０００国際単位、重症例では３０００～４５００国際単位を投与する。なお、症状により適宜増量する。
【保管】１０℃以下に凍結を避けて保存。

ハプトグロビン静注２０００単位「ＪＢ」 【 ２，０００単位 １００ｍＬ１瓶 】 Haptoglobin JB 採用 (特)
商品名:ハプトグロビン静注２０００単位「ＪＢ」
規格:２，０００単位 １００ｍＬ１瓶 薬価:91194.00 製造:日本血液製剤機構 剤型:注射液 YJ:6343419X1046 院内コード:300203
成分:人ハプトグロビン,
【効】熱傷・火傷、輸血、体外循環下開心術などの溶血反応に伴うヘモグロビン血症、溶血反応に伴うヘモグロビン尿症の治療。
【用】通常、成人では１回４０００単位を緩徐に静脈内に点滴注射するか、体外循環時に使用する場合は灌流液中に投与する。
症状により適宜反復投与する。
年齢、体重により適宜増減する。
【保管】１０℃以下に凍結を避けて保存。

フィブロガミンＰ Fibrogammin P 採用 (特)
商品名:フィブロガミンＰ静注用
規格:２４０国際単位１瓶（溶解液付） 薬価:8324.00 製造:ＣＳＬベーリング 剤型:注射用 YJ:6343431D2020 院内コード:300205
成分:ヒト血漿由来乾燥血液凝固第１３因子,
【効】１）．　先天性血液凝固第１３因子欠乏及び後天性血液凝固第１３因子欠乏による出血傾向。
２）．　血液凝固第１３因子低下に伴う縫合不全及び瘻孔。
３）．　ＩｇＡ血管炎における次記症状の改善：腹部症状、関節症状。
【用】〈効能共通〉本品を添付の日局注射用水に溶解する。
〈先天性及び後天性血液凝固第１３因子欠乏による出血傾向〉１日量４～２０ｍＬを緩徐に静脈内投与する。

なお、年齢、症状などにより適宜増減する。
〈血液凝固第１３因子低下に伴う縫合不全及び瘻孔〉通常、成人に対して１日量１２～２４mLを緩徐に静脈内投与する。
ただし、本剤は急性炎症、急性感染の消褪した後で、血清総タンパク、血清アルブミン等に異常が無く、縫合不全、瘻孔が存続し、血液凝固第１３因子が７０%以下に低下している患者に投与すること。なお、血液凝固第１３因子低下に伴う縫合不全及び瘻孔の場合、５日間投与しても症状に改善が認められない場合には、投与を中止すること。
〈ＩｇＡ血管炎における腹部症状、関節症状の改善〉通常、１日１回１２～２０mLを緩徐に静脈内投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
ただし、血液凝固第１３因子が９０%以下に低下している患者に投与すること。
ＩｇＡ血管炎の場合、原則的に３日間の投与とする。
【保管】２～８℃。

ヘブスブリン－ＩＨ静注用 1000単位

Hebsbulin IH 採用 (特)

商品名:ヘブスブリンＩＨ静注１０００単位
規格:１，０００単位５mＬ１瓶　薬価:35976.00　製造:日本血液製剤機構　剤型:注射液　YJ:6343436A1039　院内コード:300549
成分:ポリエチレングリコール処理抗ＨＢｓ人免疫グロブリン,
【効】１）．　ＨＢｓ抗原陽性血液の汚染事故後のＢ型肝炎発症予防。
２）．　ＨＢｓ抗原陽性のレシピエントにおける肝移植後のＢ型肝炎再発抑制。
３）．　ＨＢｃ抗体陽性ドナーからの肝移植後のレシピエントにおけるＢ型肝炎発症抑制。
【用】〈効能共通〉本剤は直接静注するか、又は日本薬局方生理食塩液など中性に近い補液に混じて点滴静注する。直接静注する場合は、きわめて徐々に行うこと。
〈ＨＢｓ抗原陽性血液の汚染事故後のＢ型肝炎発症予防〉通常、成人に対して、１回１０００～２０００国際単位（５～１０mＬ）を使用する。
小児には１回３２～４８国際単位（０．１６～０．２４mＬ）／ｋｇ体重を使用する。
ＨＢｓ抗原陽性血液の汚染事故後のＢ型肝炎発症予防の場合、投与の時期は事故発生後７日以内とする（なお、４８時間以内が望ましい）。
〈ＨＢｓ抗原陽性のレシピエントにおける肝移植後のＢ型肝炎再発抑制〉通常、成人には、無肝期に５０００～１００００国際単位（２５～５０mＬ）、術後初期に１日当たり２０００～１００００国際単位（１０～５０mＬ）を投与する。小児には、無肝期に１００～２００国際単位（０．５～１mＬ）／ｋｇ体重、術後初期に１日当たり４０～２００国際単位（０．２～１mＬ）／ｋｇ体重を投与する。ＨＢｓ抗原陽性のレシピエントにおける肝移植後のＢ型肝炎再発抑制の場合、術後初期の投与は７日間以内とする（その後、患者の状態に応じ血中ＨＢｓ抗体価２００～１０００国際単位／Ｌ以上を維持するように投与する）。
〈ＨＢｃ抗体陽性ドナーからの肝移植後のレシピエントにおけるＢ型肝炎発症抑制〉通常、成人には、無肝期に１００００国際単位（５０mＬ）、術後初期に１日当たり１００００国際単位（５０mＬ）を投与する。小児には、無肝期に２００国際単位（１mＬ）／ｋｇ体重、術後初期に１日当たり２００国際単位（１mＬ）／ｋｇ体重を投与する。ＨＢｃ抗体陽性ドナーからの肝移植後のレシピエントにおけるＢ型肝炎発症抑制の場合、術後初期の投与は７日間以内とする（その後、患者の状態に応じ血中ＨＢｓ抗体価２００国際単位／Ｌ以上を維持するように投与する）。
【保管】１０℃以下に凍結を避けて保存。

献血アルブミン５%静注１２．５ｇ／２５０mＬ「タケダ」【５%２５０mＬ１瓶】

Kenketu albumin 採用 (特)

商品名:献血アルブミン５%静注１２．５ｇ／２５０mＬ「タケダ」
規格:５%２５０mＬ１瓶　薬価:5110.00　製造:武田薬品　剤型:注射液　YJ:6343410X2149　院内コード:300410
成分:人血清アルブミン,
【効】アルブミンの喪失（熱傷、ネフローゼ症候群など）及びアルブミン合成低下（肝硬変症など）による低アルブミン血症、出血性ショック。
【用】通常成人１回１００～２５０mＬ（人血清アルブミンとして５～１２．５ｇ）を緩徐に静脈内注射又は点滴静脈内注射する。
なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。
【保管】室温保存。

献血グロベニン－Ｉ１０%静注５ｇ／５０mＬ

Kenketu glovenin-I 採用 (特)

商品名:献血グロベニン－Ｉ１０%静注５ｇ／５０mＬ
規格:５ｇ５０mＬ１瓶　薬価:86993.00　製造:武田薬品　剤型:注射液　YJ:6343428H3027　院内コード:301408
成分:ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン,
【効】１）．　無ガンマグロブリン血症又は低ガンマグロブリン血症。
２）．　重症感染症における抗生物質との併用。
３）．　免疫性血小板減少症（他剤が無効で、著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合）。
４）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
５）．　慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善。
６）．　慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の運動機能低下の進行抑制（筋力低下の改善が認められた場合）。
７）．　天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）。
８）．　スティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症（ステロイド剤の効果不十分な場合）。
９）．　水疱性類天疱瘡（ステロイド剤の効果不十分な場合）。
１０）．　ギラン・バレー症候群（急性増悪期で歩行困難な重症例）。
１１）．　血清ＩｇＧ２値の低下を伴う、肺炎球菌を起炎菌とする急性中耳炎、肺炎球菌を起炎菌とする急性気管支炎又は肺炎球菌を起炎菌とする肺炎又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、インフルエンザ菌を起炎菌とする急性気管支炎又はインフルエンザ菌を起炎菌とする肺炎の発症抑制（ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限る）。
１２）．　多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善（ステロイド剤が効果不十分な場合に限る）。
１３）．　全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る）。
１４）．　自己免疫性脳炎。
【用】〈効能共通〉本剤は、効能・効果に応じて次のとおり投与する。なお、直接静注する場合は、極めて緩徐に行う。

〈無又は低ガンマグロブリン血症〉通常、１回人免疫グロブリンGとして２００～６００mg（2～6mL）／ｋｇ体重を３～４週間隔で点滴静注又は直接静注する。なお、患者の状態により適宜増減する。
〈重症感染症における抗生物質との併用〉通常、成人に対しては、１回人免疫グロブリンGとして２５００～５０００mg（２５～５０mL）を、小児に対しては、１回人免疫グロブリンGとして１００～１５０mg（1～1．5mL）／ｋｇ体重を点滴静注又は直接静注する。なお、症状により適宜増減する。
〈免疫性血小板減少症〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして２００～４００mg（2～4mL）／ｋｇ体重を点滴静注又は直接静注する。なお、免疫性血小板減少症の場合、５日間使用しても症状に改善が認められない場合は、以降の投与を中止すること。年齢及び症状に応じて適宜増減する。
〈川崎病の急性期〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして２００mg（2mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注又は直接静注、若しくは２０００mg（２０mL）／ｋｇ体重を１回点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて５日間投与の場合は適宜増減、１回投与の場合は適宜減量する。
〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注又は直接静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。
〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の運動機能低下の進行抑制〉通常、人免疫グロブリンGとして「１０００mg（１０mL）／ｋｇ体重を１日」又は「５００mg（5mL）／ｋｇ体重を２日間連日」を３週間隔で点滴静注する。
〈天疱瘡〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。
〈スティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注する。
〈水疱性類天疱瘡〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注する。
〈ギラン・バレー症候群〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注する。
〈血清ＩｇＧ２値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制〉人免疫グロブリンGとして初回は３００mg（3mL）／ｋｇ体重、２回目以降は２００mg（2mL）／ｋｇ体重を点滴静注する。投与間隔は、通常、４週間とする。
〈多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善〉通常、成人には１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注する。
〈全身型重症筋無力症〉通常、成人には１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注する。
〈自己免疫性脳炎〉通常、１日に人免疫グロブリンGとして４００mg（4mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注する。
【保管】凍結を避け１０℃以下で保存。

献血ノンスロン１５００注射用

Kenketu nonthron　採用　(特)

商品名:献血ノンスロン１５００注射用
規格:１，５００単位１瓶（溶解液付）　薬価:54896.00　製造:武田薬品　剤型:注射用　YJ:6343424D3027　院内コード:300875
成分:乾燥濃縮人アンチトロンビン３,
【効】１）．　先天性アンチトロンビン３欠乏に基づく血栓形成傾向。
２）．　アンチトロンビン３低下を伴う汎発性血管内凝固症候群（ＤＩＣ）。
３）．　アンチトロンビン３低下を伴う門脈血栓症。
【用】〈効能共通〉本剤を添付の注射用水で溶解し、緩徐に静注もしくは点滴静注する。
〈先天性アンチトロンビン３欠乏に基づく血栓形成傾向〉本剤１日１０００～３０００国際単位（又は２０～６０国際単位／ｋｇ）を投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。
〈アンチトロンビン３低下を伴う汎発性血管内凝固症候群（ＤＩＣ）〉アンチトロンビン３が正常の７０%以下に低下した場合、通常、成人に対し、ヘパリンの持続点滴静注のもとに、本剤１日１５００国際単位（又は３０国際単位／ｋｇ）を投与する。
ただし、産科的、外科的ＤＩＣなどで緊急処置として本剤を使用する場合には、１日１回４０～６０国際単位／ｋｇを投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。
〈アンチトロンビン３低下を伴う門脈血栓症〉アンチトロンビン３が正常の７０%以下に低下した場合、通常、成人に対し、本剤１日１５００国際単位（又は３０国際単位／ｋｇ）を５日間投与する。本剤投与により血栓縮小傾向が認められた場合には、通常、成人に対し、本剤１日１５００国際単位（又は３０国際単位／ｋｇ）の５日間投与を最大２回まで追加で行うことができる。
【保管】３０℃以下。

献血ベニロン－Ｉ 静注用 ２５００mg

Kenketsu venilon-I　採用　(特)

商品名:献血ベニロン－Ｉ静注用２５００mg
規格:２．５ｇ５０mＬ１瓶（溶解液付）　薬価:28172.00　製造:ＫＭバイオロジクス　剤型:注射用　YJ:6343400X3044　院内コード:300202
成分:乾燥スルホ化人免疫グロブリン,
【効】１）．　低ガンマグロブリン血症又は無ガンマグロブリン血症。
２）．　重症感染症における抗生物質との併用。
３）．　免疫性血小板減少症（他剤が無効で著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合）。
４）．　川崎病の急性期（重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合）。
５）．　ギラン・バレー症候群（急性増悪期で歩行困難な重症例）。
６）．　好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害の改善（ステロイド剤が効果不十分な場合に限る）。
７）．　慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善。
８）．　視神経炎の急性期（ステロイド剤が効果不十分な場合）。
【用】〈効能共通〉本剤は、添付の日局注射用水（５０mＬ）に溶解して、次のとおり効能又は効果に応じて投与する。直接静注する場合は、極めて緩徐に行う。
〈低又は無ガンマグロブリン血症〉通常、１回にスルホ化人免疫グロブリンＧ２００～６００mg（4～１２mL）／ｋｇ体重を３～４週間隔で点滴静注又は直接静注する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。
〈重症感染症における抗生物質との併用〉通常、成人に対しては、１回にスルホ化人免疫グロブリンＧ２５００～５０００mg（５０～１００mL）を、小児に対しては、１回にスルホ化人免疫グロブリンＧ５０～１５０mg（1～3mL）／ｋｇ体重を点滴静注又は直接静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜増減する。
〈免疫性血小板減少症〉通常、１日にスルホ化人免疫グロブリンＧ２００～４００mg（4～8mL）／ｋｇ体重を点滴静注又は直接静注する。なお、免疫性血小板減少症の場合、５日間投与しても症状の改善が認められない場合は以降の投与を中止すること。年齢及び症状に応じて適宜増減す

る。
〈川崎病の急性期〉通常、１日にスルホ化人免疫グロブリンＧ２００mg（４mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注又は直接静注、若しくは２０００mg（４０mL）／ｋｇ体重を１回点滴静注する。
なお、年齢及び症状に応じて５日間投与の場合は適宜増減、１回投与の場合は適宜減量する。
〈ギラン・バレー症候群〉通常、１日にスルホ化人免疫グロブリンＧ４００mg（８mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注又は直接静注する。
〈好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害の改善〉通常、１日にスルホ化人免疫グロブリンＧ４００mg（８mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注する。
〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（多巣性運動ニューロパチーを含む）の筋力低下の改善〉通常、１日にスルホ化人免疫グロブリンＧ４００mg（８mL）／ｋｇ体重を５日間連日点滴静注する。なお、年齢及び症状に応じて適宜減量する。
〈視神経炎の急性期（ステロイド剤が効果不十分な場合）〉通常、１日にスルホ化人免疫グロブリンＧ４００mg（８mL）／ｋｇ体重を５日間点滴静注する。
【保管】３０℃以下に凍結を避けて保存。

6349: その他の血液製剤類

ボルヒール５mL　Bolheal　採用　(特)
商品名:ボルヒール組織接着用
規格:５mL４瓶１組　薬価:61378.90　製造:ＫＭバイオロジクス　剤型:その他　YJ:6349801X5021　院内コード:203188
成分:アプロチニン,トロンビン,塩化カルシウム水和物,人フィブリノゲン,人血液凝固第１３因子,
【効】組織の接着・閉鎖（ただし、縫合あるいは接合した組織から血液、体液または体内ガスの漏出をきたし、他に適切な処置法のない場合に限る）。
【用】フィブリノゲン凍結乾燥粉末（バイアル１）をフィブリノゲン溶解液（バイアル２）全量で溶解し、Ａ液とする。
トロンビン凍結乾燥粉末（バイアル３）をトロンビン溶解液（バイアル４）全量で溶解し、Ｂ液とする。溶解した両液の等容量を接着・閉鎖部位に重層又は混合して適用する。
通常、１０ｃ㎡あたりＡ液Ｂ液各々１mLを適用する。
なお、接着・閉鎖部位の状態、大きさなどに応じて適宜増減する。
【保管】１０℃以下に凍結を避けて保存。

636: 混合生物学的製剤

6361: ワクチン・トキソイド混合製剤

沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド(ＤＴビック)　Dtbik　採用　(劇生)
商品名:ＤＴビック
規格:０．１mL１瓶　薬価:0.00　製造:阪大微生物病研究会　剤型:注射液　YJ:636140AA5020
成分:ジフテリアトキソイド,破傷風トキソイド,
【効】ジフテリア及び破傷風の予防。
【用】初回免疫：通常、１回０．５mLずつを２回、３～８週間の間隔で皮下に注射する。ただし、１０歳以上の者には、第１回量を０．１mLとし、副反応の少ないときは、第２回以後適宜増量する。
追加免疫：第１回の追加免疫には、通常、初回免疫後６カ月以上の間隔をおいて、（標準として初回免疫終了後１２カ月から１８カ月までの間に）０．５mLを１回皮下に注射する。ただし、初回免疫のとき副反応の強かった者には適宜減量し、以後の追加免疫のときの接種量もこれに準ずる。また、１０歳以上の者には、０．１mL以下を皮下に注射する。
【保管】凍結を避け、１０℃以下で保存。

沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンキット「タケダ」　採用　(劇)
商品名:沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチンキット「タケダ」
規格:０．５mL１キット　薬価:0.00　製造:武田薬品　剤型:キット類YJ:636140BG1022

639: その他の生物学的製剤

6391: 結核菌含有及び抗アレルギー的物質製剤

イムノブラダー膀注用８０mg　Immunobladder　採用　(劇生)
商品名:イムノブラダー膀注用８０mg
規格:８０mg１瓶（溶解液付)　薬価:14643.30　製造:日本ビーシージー製造　剤型:その他　YJ:6391700X4026　院内コード:300596
成分:乾燥ＢＣＧ,
【効】１）．　表在性膀胱癌。
２）．　膀胱上皮内癌。
【用】（１）．　薬剤の調製通常、本品１本（８０mg）に添付の溶剤（日本薬局方生理食塩液）２mLを加え４０mg／mLの懸濁液とする。これに日本薬局方生理食塩液３９mLを更に加え均等なＢＣＧ希釈液を調製する。
（２）．　投与方法尿道カテーテルを膀胱内に無菌条件下で挿入し、残尿を排出した後、通常８０mgのＢＣＧを含有している希釈液を同カテーテルより膀胱内にできるだけゆっくりと注入し、原則として２時間膀胱内に保持するようにつとめる。これを通常週１回８週間繰り返す。
なお、用量及び回数は症状に応じ適宜増減し、また、投与間隔も必要に応じ延長できることとする。
【保管】凍結を避け１０℃以下に保存。

6393: 精製ツベルクリン

一般診断用精製ツベルクリン(PPD)　Freeze-dried tuberculin purified protein derivative　採用　(劇生)

商品名:一般診断用精製ツベルクリン（ＰＰＤ）１人用
規格:（一般診断用・１人用）０．２５μｇ１瓶（溶解液付）　薬価:4535.00　製造:日本ビーシージー製造　剤型:注射用　YJ:6393401X2028　院内コード:300233
成分:ツベルクリン,
【効】結核の診断に用いる。
【用】（１）．　添付の溶解液の全量を吸い上げ、標準品０．２５μｇ相当量入りの本剤に注入して溶解し、０．５μｇ相当量／ｍＬの精製ツベルクリン溶液をつくる。
（２）．　精製ツベルクリン溶液０．１ｍＬを前腕屈側のほぼ中央部又は上腕屈側の中央からやや下部の皮内に注射し、注射後およそ４８時間後に判読する。
【保管】１０℃以下で保存。

6399: 他に分類されない生物学的製剤

アクテムラ点滴静注用200mg/10mL　Actemra　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アクテムラ点滴静注用２００ｍｇ
規格:２００ｍｇ１０ｍＬ１瓶　薬価:23080.00　製造:中外製薬　剤型:注射液　YJ:6399421A1020　院内コード:300715
成分:トシリズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　既存治療で効果不十分な次記疾患：関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎、全身型若年性特発性関節炎、成人発症スチル病。
２）．　キャッスルマン病に伴う諸症状及び検査所見（Ｃ反応性タンパク高値、フィブリノーゲン高値、赤血球沈降速度亢進、ヘモグロビン低値、アルブミン低値、全身倦怠感）
の改善（ただし、リンパ節の摘除が適応とならない患者に限る）。
３）．　悪性腫瘍治療に伴うサイトカイン放出症候群。
４）．　ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎（ただし、酸素投与を要する患者に限る）。
【用】〈関節リウマチ及び多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎〉通常、トシリズマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇを４週間隔で点滴静注する。
〈全身型若年性特発性関節炎、成人発症スチル病及びキャッスルマン病〉通常、トシリズマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇを２週間隔で点滴静注する。なお、症状により１週間まで投与間隔を短縮できる。
〈悪性腫瘍治療に伴うサイトカイン放出症候群〉通常、トシリズマブ（遺伝子組換え）として体重３０ｋｇ以上は１回８ｍｇ／ｋｇ、体重３０ｋｇ未満は１回１２ｍｇ／ｋｇを点滴静注する。
〈ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎〉通常、成人には、副腎皮質ステロイド薬との併用において、トシリズマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇを点滴静注する。症状が改善しない場合には、初回投与終了から８時間以上の間隔をあけて、トシリズマブ（遺伝子組換え）として８ｍｇ／ｋｇを１回追加投与できる。
【保管】２～８℃保存。

アクテムラ点滴静注用80mg/4mL　Actemra　採用　(劇生)　Hi　<先発品（後発品あり）>
商品名:アクテムラ点滴静注用８０ｍｇ
規格:８０ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:9973.00　製造:中外製薬　剤型:注射液　YJ:6399421A2026　院内コード:300892
成分:トシリズマブ（遺伝子組換え）,
【効】１）．　既存治療で効果不十分な次記疾患：関節リウマチ（関節の構造的損傷の防止を含む）、多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎、全身型若年性特発性関節炎、成人発症スチル病。
２）．　キャッスルマン病に伴う諸症状及び検査所見（Ｃ反応性タンパク高値、フィブリノーゲン高値、赤血球沈降速度亢進、ヘモグロビン低値、アルブミン低値、全身倦怠感）
の改善（ただし、リンパ節の摘除が適応とならない患者に限る）。
３）．　悪性腫瘍治療に伴うサイトカイン放出症候群。
４）．　ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎（ただし、酸素投与を要する患者に限る）。
【用】〈関節リウマチ及び多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎〉通常、トシリズマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇを４週間隔で点滴静注する。
〈全身型若年性特発性関節炎、成人発症スチル病及びキャッスルマン病〉通常、トシリズマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇを２週間隔で点滴静注する。なお、症状により１週間まで投与間隔を短縮できる。
〈悪性腫瘍治療に伴うサイトカイン放出症候群〉通常、トシリズマブ（遺伝子組換え）として体重３０ｋｇ以上は１回８ｍｇ／ｋｇ、体重３０ｋｇ未満は１回１２ｍｇ／ｋｇを点滴静注する。
〈ＳＡＲＳ－ＣｏＶ－２による肺炎〉通常、成人には、副腎皮質ステロイド薬との併用において、トシリズマブ（遺伝子組換え）として１回８ｍｇ／ｋｇを点滴静注する。症状が改善しない場合には、初回投与終了から８時間以上の間隔をあけて、トシリズマブ（遺伝子組換え）として８ｍｇ／ｋｇを１回追加投与できる。
【保管】２～８℃保存。

64: 寄生動物用薬

641: 抗原虫剤

6419: その他の抗原虫剤

アネメトロ点滴静注液５００ｍｇ【５００ｍｇ１００ｍＬ１瓶】　Anaemetro　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アネメトロ点滴静注液５００ｍｇ
規格:５００ｍｇ１００ｍＬ１瓶　薬価:1091.00　製造:ファイザー　剤型:注射液　YJ:6419401A1027　院内コード:300901
成分:メトロニダゾール,
【効】１）．　嫌気性菌感染症：
- 敗血症。
- 深在性皮膚感染症。

・　外傷・熱傷及び手術創等の二次感染。
・　骨髄炎。
・　肺炎、肺膿瘍、膿胸。
・　骨盤内炎症性疾患。
・　腹膜炎、腹腔内膿瘍。
・　胆嚢炎、肝膿瘍。
・　化膿性髄膜炎。
・　脳膿瘍。
２）．　感染性腸炎：
感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）。
３）．　アメーバ赤痢。
【用】１）．　成人通常、成人にはメトロニダゾールとして１回５００ｍｇを１日３回、２０分以上かけて点滴静注する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、１回５００ｍｇを１日４回投与できる。
２）．　小児〈嫌気性菌感染症、感染性腸炎〉通常、小児にはメトロニダゾールとして１回７．５ｍｇ／ｋｇを１日３回、２０分以上かけて点滴静注する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、１回１０ｍｇ／ｋｇまで増量でき、また、１日４回まで投与できる。ただし、１回量は５００ｍｇを超えないこと。
〈アメーバ赤痢〉通常、小児にはメトロニダゾールとして１回１０ｍｇ／ｋｇを１日３回、２０分以上かけて点滴静注する。なお、重症例では、１回１５ｍｇ／ｋｇに増量できる。ただし、１回量は５００ｍｇを超えないこと。
【保管】室温保存。

フラジール内服錠２５０ｍｇ　Flagyl　採用

商品名:フラジール内服錠２５０ｍｇ
規格:２５０ｍｇ１錠　薬価:44.50　製造:シオノギファーマ　剤型:錠　YJ:6419002F1131　院内コード:200793
成分:メトロニダゾール,
【効】１）．　トリコモナス症（腟トリコモナスによる感染症）。
２）．　嫌気性菌感染症：深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、骨髄炎、肺炎、肺膿瘍、骨盤内炎症性疾患、腹膜炎、腹腔内膿瘍、肝膿瘍、脳膿瘍。
３）．　感染性腸炎（偽膜性大腸炎を含む）。
４）．　細菌性腟症。
５）．　ヘリコバクター・ピロリ感染症：胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃ＭＡＬＴリンパ腫・免疫性血小板減少症・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎。
６）．　アメーバ赤痢。
７）．　ランブル鞭毛虫感染症。
【用】〈トリコモナス症（腟トリコモナスによる感染症）〉通常、成人にはメトロニダゾールとして、１クールとして、１回２５０ｍｇを１日２回、１０日間経口投与する。
〈嫌気性菌感染症〉通常、成人にはメトロニダゾールとして１回５００ｍｇを１日３回又は４回経口投与する。
〈感染性腸炎〉通常、成人にはメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇを１日４回又は１回５００ｍｇを１日３回、１０～１４日間経口投与する。
〈細菌性腟症〉通常、成人にはメトロニダゾールとして、１回２５０ｍｇを１日３回又は１回５００ｍｇを１日２回７日間経口投与する。
〈ヘリコバクター・ピロリ感染症〉アモキシシリン水和物、クラリスロマイシン及びプロトンポンプインヒビター併用によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合ヘリコバクター・ピロリ感染症の場合、通常、成人にはメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇ、アモキシシリン水和物として１回７５０ｍｇ（力価）及びプロトンポンプインヒビターの３剤を同時に１日２回、７日間経口投与する。
〈アメーバ赤痢〉通常、成人にはメトロニダゾールとして１回５００ｍｇを１日３回１０日間経口投与する。
なお、症状に応じて１回７５０ｍｇを１日３回経口投与する。
〈ランブル鞭毛虫感染症〉通常、成人にはメトロニダゾールとして１回２５０ｍｇを１日３回５～７日間経口投与する。
【保管】室温保存。

7:治療を主目的としない医薬品

71:調剤用薬

711:賦形剤

7111:乳糖類

乳糖水和物「ホエイ」　Lactose hydrate　採用

商品名:乳糖水和物「ホエイ」
規格:１０ｇ　薬価:14.80　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:末　YJ:7111001X1370　院内コード:203685
成分:乳糖水和物,
【効】賦形剤として調剤に用いる。
【用】賦形剤として調剤に用いる。
【保管】室温保存。

712:軟膏基剤

7121:油脂性基剤；ワセリン、パラフィン等

オリブ油「ケンエー」（25mL/本）　Olive oil　採用

商品名:オリブ油「ケンエー」
規格:１０ｍＬ　薬価:28.00　製造:健栄製薬　剤型:液　YJ:7121704X1091　院内コード:203788
成分:オリブ油,

71: 調剤用薬

【効】軟膏剤、硬膏剤、リニメント剤などの基剤として調剤に用いる。
皮膚保護剤・粘膜保護剤として用いる。
【用】軟膏剤、硬膏剤、リニメント剤などの基剤として調剤に用いる。
皮膚・粘膜の保護剤として用いる。
【保管】室温保存。

白色ワセリン「ケンエー」 White petrolatum 採用

商品名:白色ワセリン「ケンエー」
規格:１０ｇ　薬価:31.60　製造:健栄製薬　剤型:その他　YJ:7121703X1089　院内コード:200451
成分:白色ワセリン,
【効】軟膏基剤（一般軟膏用基剤、眼軟膏用基剤）として調剤に用いる。
また、皮膚保護剤として用いる。
【用】軟膏基剤（一般軟膏用基剤、眼軟膏用基剤）として調剤に用いる。
また、皮膚保護剤として用いる。
【保管】室温保存。

713: 溶解剤

7131: 精製水類

精製水「ケンエー」 Purified water 採用

商品名:精製水「ケンエー」
規格:１０ｍＬ　薬価:2.40　製造:健栄製薬　剤型:液　YJ:7131001X1100　院内コード:201205
成分:精製水,
【効】１）．　溶解剤として製剤、試薬、試液の調製に用いる。
２）．　医療機器の洗浄に用いる。
【用】溶解剤として製剤、試薬、試液の調製に用いる。
医療機器の洗浄に用いる。
その他の用途溶解剤としてコンタクトレンズの洗浄剤、保存剤の調製に用いる。（コンタクトレンズ装着液としては用いないこと）。
【保管】室温保存。

注射用水　２０ｍＬ Otsuka distilled water 採用

商品名:大塚蒸留水
規格:２０ｍＬ１管　薬価:104.00　製造:大塚製薬工場　剤型:注射液　YJ:7131400A2129　院内コード:300234
成分:注射用水,
【効】注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤。
【用】本品の適当量をとり、注射剤の溶解、希釈に用いる。
また、注射剤の製剤に用いる。
【保管】室温保存。

注射用水（広口）１０００ｍＬ Water for injection 採用

商品名:注射用水＊（光）
規格:１Ｌ１瓶　薬価:316.00　製造:光製薬　剤型:注射液　YJ:7131400A6035　院内コード:202627
成分:注射用水,
【効】注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤。
【用】本剤の適量をとり、注射用医薬品の溶解、希釈に用いる。
また、注射剤の製剤に用いる。
【保管】室温保存。

注射用水（広口）５００ｍＬ輸液 Water for injection 採用

商品名:注射用水＊（光）
規格:５００ｍＬ１瓶　薬価:268.00　製造:光製薬　剤型:注射液　YJ:7131400A5047　院内コード:300235
成分:注射用水,
【効】注射剤の溶解希釈剤、注射剤の製剤。
【用】本剤の適量をとり、注射用医薬品の溶解、希釈に用いる。
また、注射剤の製剤に用いる。
【保管】室温保存。

714: 矯味、矯臭、着色剤

7142: シロップ製剤；単シロップ等

単シロップ Simple syrup 採用

商品名:単シロップ
規格:１０ｍＬ　薬価:5.10　製造:丸石製薬　剤型:液　YJ:7142001X1171　院内コード:203565
成分:単シロップ,
【効】矯味の目的で調剤に用いる。
【用】矯味の目的で調剤に用いる。
【保管】室温保存。

7149: その他の矯味、矯臭、着色剤

ハッカ油「コザカイ・Ｍ」 Mentha oil 採用

商品名:ハッカ油「コザカイ・M」
規格:１ｍＬ　薬価:16.10　製造:小堺製薬　剤型:液　YJ:7149006X1078　院内コード:203310
成分:ハッカ油,
【効】芳香・矯臭・矯味の目的で調剤に用いる。
また、ハッカ水の調剤に用いる。
【用】芳香・矯臭・矯味の目的で調剤に用いる。
また、ハッカ水の調剤に用いる。
【保管】室温保存。

719: その他の調剤用薬

7190: その他の調剤用薬

塩化ナトリウム「オーツカ」（内服）　Sodium chloride OTSUKA　採用
商品名:塩化ナトリウム「オーツカ」
規格:１０ｇ　薬価:9.10　製造:大塚製薬工場　剤型:その他　YJ:7190701X1036　院内コード:203553
成分:塩化ナトリウム,
【効】〈経口〉食塩喪失時の補給。
〈注射〉［０．４％注射液］注射剤の溶解希釈剤。
［生理食塩液］細胞外液欠乏時、ナトリウム欠乏時、クロール欠乏時、注射剤の溶解希釈剤。
［１０％注射液］ナトリウム欠乏時の電解質補給。
［１Ｍ、２．５Ｍ注射液］電解質補液の電解質補正。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布、含嗽・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈経口〉塩化ナトリウムとして、通常、成人１回１～２ｇをそのまま、又は水に溶かして経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈注射〉［０．４％注射液］適量をとり、注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
［生理食塩液］（１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
（２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
［１０％注射液］電解質補給の目的で、輸液剤などに添加して必要量を静脈内注射又は点滴静注する。
［１Ｍ、２．５Ｍ注射液］電解質補液の電解質の補正として体内の水分、電解質の不足に応じて電解質補液に添加して用いる。
〈外用〉（１）．　通常、等張液として皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
（２）．　通常、等張液として含嗽、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉生理食塩液として医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。

72: 診断用薬（体外診断用医薬品を除

721: Ｘ線造影剤

7211: ヨウ素化合物製剤

ガストログラフイン経口・注腸用　Gastrografin　採用
商品名:ガストログラフイン経口・注腸用
規格:１ｍＬ　薬価:23.30　製造:バイエル薬品　剤型:液　YJ:7211001X1030　院内コード:200083
成分:アミドトリゾ酸,メグルミン,水酸化ナトリウム,
【効】１）．　消化管撮影次記の場合における消化管造影狭窄の疑いのあるときの消化管造影。
急性出血の消化管造影。
穿孔の恐れのあるとき（消化器潰瘍、憩室）の消化管造影。
その他、外科手術を要する急性症状時の消化管造影。
胃切除後及び腸切除後（穿孔の危険、縫合不全）の消化管造影。
内視鏡検査法実施前の異物及び腫瘍の造影。
胃瘻孔・腸瘻孔の造影。
２）．　コンピューター断層撮影における上部消化管造影。
【用】・　経口〈消化管撮影〉通常成人１回６０ｍＬ（レリーフ造影には、１０～３０ｍＬ）を経口投与する。
〈コンピューター断層撮影における上部消化管造影〉通常成人３０～５０倍量の水で希釈し、２５０～３００ｍＬを経口投与する。
・　注腸通常成人３～４倍量の水で希釈し、最高５００ｍＬを注腸投与する。
【保管】室温保存。

リピオドール480注　10mL　Lipiodol　採用
商品名:リピオドール４８０注１０ｍＬ
規格:１０ｍＬ１管　薬価:25792.00　製造:ゲルベ・ジャパン　剤型:注射液　YJ:7211404X1037　院内コード:300207
成分:ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステル,
【効】リンパ系撮影、子宮卵管撮影、医薬品又は医療機器の調製。
【用】〈リンパ系撮影〉本剤を皮膚直下の末梢リンパ管内に注入する。用量はヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステルとして、通常、上腕片側５～６ｍＬ、下肢片側１０ｍＬである。注入速度は毎分０．３～０．５ｍＬ程度が望ましい。
〈子宮卵管撮影〉用時医師が定める。ただしヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステルとして、通常、５～８ｍＬを２００ｍｍＨｇ以下の圧で注入することを原則とし、症状により適宜増減する。
〈医薬品又は医療機器の調製〉本剤を適量とり、医薬品又は医療機器の調製に用いる。
【保管】室温保存。

7212: バリウム塩製剤

バリテスターＡ２４０散　Barytester A　採用

商品名:バリテスターＡ２４０散
規格:９８．５％１０ｇ　薬価:13.20　製造:伏見製薬所　剤型:散　YJ:7212031B1031　院内コード:200396
成分:硫酸バリウム,
【効】食道二重造影撮影・胃二重造影撮影・十二指腸二重造影撮影。
【用】本剤１００ｇに対し水１８～２６ｍＬを加えて２００ｗ／ｖ%～２４０ｗ／ｖ%の濃度の懸濁液とし、その適量を経口投与する。
通常成人は次記量を標準とする。
１）．　食道（二重造影）：硫酸バリウム濃度２００～２４０ｗ／ｖ%、用量３０～５０ｍＬ。
２）．　胃・十二指腸（二重造影）：硫酸バリウム濃度２００～２４０ｗ／ｖ%、用量２００～２３０ｍＬ。
【保管】室温保存。

7213: 造影補助剤

マグコロール内用液１３．６%分包２５０ｍＬ(院内のみ)　Magcorol　採用

商品名:マグコロール内用液１３．６%分包２５０ｍＬ
規格:１３．６%２５０ｍＬ１包　薬価:393.50　製造:堀井薬品　剤型:液　YJ:7213005S2024　院内コード:201140
成分:クエン酸マグネシウム,
【効】１）．　大腸検査＜Ｘ線＞前処置・大腸検査＜内視鏡＞前処置における腸管内容物の排除。
２）．　腹部外科手術時における前処置用下剤。
【用】〈大腸Ｘ線検査前処置、腹部外科手術時における前処置の場合〉高張液投与クエン酸マグネシウムとして、１回２７～３４ｇ（本品２００～２５０ｍＬ）を検査予定時間の１０～１５時間前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈大腸内視鏡検査前処置の場合〉高張液投与クエン酸マグネシウムとして、１回２７～３４ｇ（本品２００～２５０ｍＬ）を検査予定時間の１０～１５時間前に経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
等張液投与クエン酸マグネシウムとして、６８ｇ（本品５００ｍＬ）を水に溶解し、全量約１８００ｍＬとする。通常成人１回１８００ｍＬを検査予定時間の４時間以上前に２００ｍＬずつ約１時間かけて経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減するが、２４００ｍＬを越えての投与は行わない。
【保管】室温保存。

7214: 配合製剤

ウログラフイン注６０%１００ｍＬ　Urografin　採用

商品名:ウログラフイン注６０%
規格:６０%１００ｍＬ１瓶　薬価:1872.00　製造:バイエル薬品　剤型:注射液　YJ:7214400A5041　院内コード:300422
成分:アミドトリゾ酸,メグルミン,水酸化ナトリウム,
【効】１）．　内視鏡的逆行性膵胆管撮影。
２）．　経皮経肝胆道撮影。
【用】通常、成人には１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　内視鏡的逆行性膵胆管撮影：２０～４０ｍＬ。
２）．　経皮経肝胆道撮影：２０～６０ｍＬ。
【保管】室温保存。

ウログラフイン注６０%２０ｍＬ　Urografin　採用

商品名:ウログラフイン注６０%
規格:６０%２０ｍＬ１管　薬価:1145.00　製造:バイエル薬品　剤型:注射液　YJ:7214400A2034　院内コード:300421
成分:アミドトリゾ酸,メグルミン,水酸化ナトリウム,
【効】１）．　内視鏡的逆行性膵胆管撮影。
２）．　経皮経肝胆道撮影。
【用】通常、成人には１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　内視鏡的逆行性膵胆管撮影：２０～４０ｍＬ。
２）．　経皮経肝胆道撮影：２０～６０ｍＬ。
【保管】室温保存。

ウログラフイン注７６%２０ｍＬ　Urografin　採用

商品名:ウログラフイン注７６%
規格:７６%２０ｍＬ１管　薬価:583.00　製造:バイエル薬品　剤型:注射液　YJ:7214400A6030　院内コード:300423
成分:アミドトリゾ酸,メグルミン,水酸化ナトリウム,
【効】唾液腺撮影。
【用】通常、成人には１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
唾液腺撮影：０．５～２ｍＬ。
【保管】室温保存。

7219: その他のＸ線造影剤

イオパミドール３００注１００ｍＬ「Ｆ」【６１．２４%１００ｍＬ１瓶】　Iopamidol　採用

商品名:イオパミドール３００注１００mL「F」
規格:６１．２４％１００mL１瓶　薬価:4309.00　製造:富士製薬　剤型:注射液　YJ:7219412A3137　院内コード:300927
成分:イオパミドール,
【効】脳血管撮影、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、逆行性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　脳血管撮影：６～１３mL。
２）．　大動脈撮影：３０～５０mL。
３）．　選択的血管撮影：５～４０mL。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０mL。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０mL。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０mL（原液又は原液を生理食塩液で２～４倍希釈し用いる）。
７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００mL（５０mL以上投与するときは、通常点滴静注する。なお、胸・腹部を高速らせんコンピューター断層撮影で撮像する場合は、撮影対象部位により静脈内投与速度を調節する。ただし、投与量は肝臓領域を除く胸・腹部の場合は１００mLまでとするが、肝臓領域の場合は１５０mLまで投与することができる）。
８）．　静脈性尿路撮影：４０～１００mL（５０mL以上投与するときは、通常点滴静注とする）。
９）．　逆行性尿路撮影：５～２００mL（原液又は原液を生理食塩液で２～４倍希釈し用いる）。
【保管】室温保存。

イオパミドール３００注５０mL「F」【６１．２４％５０mL１瓶】　Iopamidol　採用

商品名:イオパミドール３００注５０mL「F」
規格:６１．２４％５０mL１瓶　薬価:2371.00　製造:富士製薬　剤型:注射液　YJ:7219412A2122　院内コード:300926
成分:イオパミドール,
【効】脳血管撮影、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、逆行性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　脳血管撮影：６～１３mL。
２）．　大動脈撮影：３０～５０mL。
３）．　選択的血管撮影：５～４０mL。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０mL。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０mL。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０mL（原液又は原液を生理食塩液で２～４倍希釈し用いる）。
７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００mL（５０mL以上投与するときは、通常点滴静注する。なお、胸・腹部を高速らせんコンピューター断層撮影で撮像する場合は、撮影対象部位により静脈内投与速度を調節する。ただし、投与量は肝臓領域を除く胸・腹部の場合は１００mLまでとするが、肝臓領域の場合は１５０mLまで投与することができる）。
８）．　静脈性尿路撮影：４０～１００mL（５０mL以上投与するときは、通常点滴静注とする）。
９）．　逆行性尿路撮影：５～２００mL（原液又は原液を生理食塩液で２～４倍希釈し用いる）。
【保管】室温保存。

イオパミドール３００注シリンジ５０mL「ＦＦ」　採用

商品名:イオパミドール３００注シリンジ５０mL「ＦＦ」
規格:６１．２４％５０mL１筒　薬価:2231.00　製造:Ｔ’ｓファーマ　剤型:キット類YJ:7219412G2109　院内コード:300697

イオパミドール３７０注１００mL「F」【７５．５２％１００mL１瓶】　Iopamidol　採用

商品名:イオパミドール３７０注１００mL「F」
規格:７５．５２％１００mL１瓶　薬価:4826.00　製造:富士製薬　剤型:注射液　YJ:7219412A6136　院内コード:300929
成分:イオパミドール,
【効】血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）：２０～５０mL。
２）．　大動脈撮影：３０～５０mL。
３）．　選択的血管撮影：５～４０mL。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０mL。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０mL。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０mL（原液又は原液を生理食塩液で２～４倍希釈し用いる）。
７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００mL（５０mL以上投与するときは、通常点滴静注とする）。
８）．　静脈性尿路撮影：２０～１００mL（５０mL以上投与するときは、通常点滴静注とする）。
【保管】室温保存。

イオパミロン注300ｼﾘﾝｼﾞ　80mL　Iopamiron　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>

商品名:イオパミロン注３００シリンジ

規格:６１．２４％８０ｍＬ１筒　薬価:3317.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7219412G6031　院内コード:300708
成分:イオパミドール,
【効】脳血管撮影、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、逆行性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　脳血管撮影：６～１３ｍＬ。
２）．　大動脈撮影：３０～５０ｍＬ。
３）．　選択的血管撮影：５～４０ｍＬ。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０ｍＬ。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０ｍＬ。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０ｍＬ。
７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００ｍＬ（胸・腹部を高速らせんコンピューター断層撮影で撮像する場合は、撮影対象部位により静脈内投与速度を調節する。
ただし、投与量は肝臓領域を除く胸・腹部の場合は１００ｍＬまでとするが、肝臓領域の場合は１５０ｍＬまで投与することができる）。
８）．　静脈性尿路撮影：４０～１００ｍＬ。
９）．　逆行性尿路撮影：５～２００ｍＬ。
【保管】室温保存。

イオパミロン注300ｼﾘﾝｼﾞ100mL　Iopamiron　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:イオパミロン注３００シリンジ
規格:６１．２４％１００ｍＬ１筒　薬価:3994.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7219412G1030　院内コード:300662
成分:イオパミドール,
【効】脳血管撮影、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、逆行性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　脳血管撮影：６～１３ｍＬ。
２）．　大動脈撮影：３０～５０ｍＬ。
３）．　選択的血管撮影：５～４０ｍＬ。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０ｍＬ。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０ｍＬ。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０ｍＬ。
７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００ｍＬ（胸・腹部を高速らせんコンピューター断層撮影で撮像する場合は、撮影対象部位により静脈内投与速度を調節する。
ただし、投与量は肝臓領域を除く胸・腹部の場合は１００ｍＬまでとするが、肝臓領域の場合は１５０ｍＬまで投与することができる）。
８）．　静脈性尿路撮影：４０～１００ｍＬ。
９）．　逆行性尿路撮影：５～２００ｍＬ。
【保管】室温保存。

イオパミロン注370ｼﾘﾝｼﾞ　80mL　Iopamiron　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:イオパミロン注３７０シリンジ
規格:７５．５２％８０ｍＬ１筒　薬価:3677.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7219412G9030　院内コード:300712
成分:イオパミドール,
【効】血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）：２０～５０ｍＬ。
２）．　大動脈撮影：３０～５０ｍＬ。
３）．　選択的血管撮影：５～４０ｍＬ。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０ｍＬ。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０ｍＬ。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０ｍＬ。
７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００ｍＬ。
８）．　静脈性尿路撮影：２０～１００ｍＬ。
【保管】室温保存。

イオパミロン注370ｼﾘﾝｼﾞ100mL　Iopamiron　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:イオパミロン注３７０シリンジ
規格:７５．５２％１００ｍＬ１筒　薬価:4186.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7219412G7038　院内コード:300713
成分:イオパミドール,
【効】血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）：２０～５０ｍＬ。
２）．　大動脈撮影：３０～５０ｍＬ。
３）．　選択的血管撮影：５～４０ｍＬ。
４）．　四肢血管撮影：２０～５０ｍＬ。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：３０～５０ｍＬ。
６）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～３０ｍＬ。

７）．　コンピューター断層撮影における造影：１００ｍＬ。
８）．　静脈性尿路撮影：２０～１００ｍＬ。
【保管】室温保存。

イオメロン３５０シリンジ１３５ｍＬ　Iomeron　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:イオメロン３５０注シリンジ１３５ｍＬ
規格:７１．４４％１３５ｍＬ１筒　薬価:5767.00　製造:ブラッコ・ジャパン　剤型:キット類YJ:7219417G7030　院内コード:300433
成分:イオメプロール,
【効】コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、心臓血管撮影、胸部血管撮影、腹部血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影。
【用】通常、成人１回次記量を使用する。なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
また、複数回投与する場合は、総使用量は２５０ｍＬまでとする。
１）．　コンピューター断層撮影における造影：４０～１００ｍＬ（肝臓領域のダイナミックコンピューター断層撮影における造影の場合には、体重に応じて１．８ｍＬ／ｋｇを静脈内投与することができる（最大投与量は１３５ｍＬとする））。
２）．　静脈性尿路撮影：３０～１００ｍＬ。
３）．　心臓血管撮影：
①．　心腔内撮影：２０～５０ｍＬ。
②．　冠状動脈撮影：３～１０ｍＬ。
４）．　胸部血管撮影：５～５０ｍＬ。
５）．　腹部血管撮影：５～６０ｍＬ。
６）．　四肢血管撮影：１０～８０ｍＬ。
７）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：１０～５０ｍＬ。
８）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：３～４０ｍＬ。
【保管】室温保存。

オムニパーク２４０注１０ｍＬ　Omnipaque　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:オムニパーク２４０注１０ｍＬ
規格:５１．７７％１０ｍＬ１瓶　薬価:640.00　製造:ＧＥヘルスケアファーマ　剤型:注射液　YJ:7219415A4030　院内コード:300609
成分:イオヘキソール,
【効】コンピューター断層撮影による脳槽造影、コンピューター断層撮影による脊髄造影、頸部脊髄撮影、胸部脊髄撮影、腰部脊髄撮影。
【用】通常成人１回、撮影の種類、穿刺部位に応じて次記の量を使用する。
なお、年齢、体重、撮影部位の大きさにより適宜増減する。
１）．　コンピューター断層撮影による脳槽造影：腰椎５～１０ｍＬ（ヨウ素含有量１２００～２４００ｍｇ）。
２）．　コンピューター断層撮影による脊髄造影：腰椎８～１２ｍＬ（ヨウ素含有量１９２０～２８８０ｍｇ）。
３）．　頸部脊髄撮影：外側頸椎８～１０ｍＬ（ヨウ素含有量１９２０～２４００ｍｇ）
、腰椎８～１２ｍＬ（ヨウ素含有量１９２０～２８８０ｍｇ）。
４）．　胸部脊髄撮影：腰椎８～１２ｍＬ（ヨウ素含有量１９２０～２８８０ｍｇ）。
５）．　腰部脊髄撮影：腰椎８～１２ｍＬ（ヨウ素含有量１９２０～２８８０ｍｇ）。
【保管】室温保存。

オムニパーク３００シリンジ１５０ｍＬ　Omnipaque　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:オムニパーク３００注シリンジ１５０ｍＬ
規格:６４．７１％１５０ｍＬ１筒　薬価:6264.00　製造:ＧＥヘルスケアファーマ　剤型:キット類YJ:7219415G6035　院内コード:300429
成分:イオヘキソール,
【効】脳血管撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影。
【用】通常、成人１回、次記の量を使用する。
なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　脳血管撮影：５～１５ｍＬ（ヨウ素含有量１．５～４．５ｇ）。
２）．　選択的血管撮影：５～５０ｍＬ（ヨウ素含有量１．５～１５ｇ）。
３）．　四肢血管撮影：１０～５０ｍＬ（ヨウ素含有量３～１５ｇ）。
４）．　ディジタルＸ線撮影法による動脈性血管撮影：１．５～５０ｍＬ（ヨウ素含有量０．４５～１５ｇ）。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：２０～５０ｍＬ（ヨウ素含有量６～１５ｇ）。
６）．　コンピューター断層撮影における造影：４０～１００ｍＬ（ヨウ素含有量１２～３０ｇ）（高速ラセンコンピューター断層撮影で腹部の撮影を行う場合は、１５０ｍＬまで投与可能とする）。
７）．　静脈性尿路撮影：５０～１００ｍＬ（ヨウ素含有量１５～３０ｇ）。
【保管】室温保存。

オムニパーク３５０注シリンジ１００ｍＬ（イオヘキソール）　Omnipaque　採用　<先発品（後発品と薬価が同等以下）>
商品名:オムニパーク３５０注シリンジ１００ｍＬ
規格:７５．４９％１００ｍＬ１筒　薬価:3843.00　製造:ＧＥヘルスケアファーマ　剤型:キット類YJ:7219415G5063　院内コード:301271
成分:イオヘキソール,
【効】血管心臓撮影（肺動脈撮影を含む）、大動脈撮影、選択的血管撮影、四肢血管撮影、ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影、コンピューター断層撮影における造影、静脈性尿路撮影、小児血管心臓撮影（小児肺動脈撮影を含む）。
【用】通常、成人１回、次記の量を使用する。
なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。

１）．　血管心臓撮影：
①．　心腔内撮影：２０～４０ｍＬ（ヨウ素含有量７～１４ｇ）。
②．　冠状動脈撮影：３～８ｍＬ（ヨウ素含有量１．０５～２．８ｇ）。
③．　肺動脈撮影：２０～４０ｍＬ（ヨウ素含有量７～１４ｇ）。
２）．　大動脈撮影：３０～５０ｍＬ（ヨウ素含有量１０．５～１７．５ｇ）。
３）．　選択的血管撮影：５～５０ｍＬ（ヨウ素含有量１．７５～１７．５ｇ）。
４）．　四肢血管撮影：１０～５０ｍＬ（ヨウ素含有量３．５～１７．５ｇ）。
５）．　ディジタルＸ線撮影法による静脈性血管撮影：２０～５０ｍＬ（ヨウ素含有量７～１７．５ｇ）。
６）．　コンピューター断層撮影における造影：４０～１００ｍＬ（ヨウ素含有量１４～３５ｇ）。
７）．　静脈性尿路撮影：４０ｍＬ（ヨウ素含有量１４ｇ）。
小児血管心臓撮影の場合には、通常１回、次記の量を使用する。
なお、年齢、体重、症状、目的により適宜増減する。
１）．　心腔内撮影：０．５～２．０ｍＬ／ｋｇ体重（ヨウ素含有量１７５～７００ｍｇ／ｋｇ体重）。
２）．　冠状動脈撮影：２．０～４．０ｍＬ（ヨウ素含有量７００～１４００ｍｇ）。
３）．　肺動脈撮影：０．５～２．０ｍＬ／ｋｇ体重（ヨウ素含有量１７５～７００ｍｇ／ｋｇ体重）。
４）．　上行大動脈撮影：０．５～２．０ｍＬ／ｋｇ体重（ヨウ素含有量１７５～７００ｍｇ／ｋｇ体重）。
【保管】室温保存。

722: 機能検査用試薬

7224: 肝機能検査用試薬

ジアグノグリーン注射用２５ｍｇ　Diagnogreen　採用

商品名:ジアグノグリーン注射用２５ｍｇ
規格:２５ｍｇ１瓶（溶解液付）　薬価:801.00　製造:第一三共　剤型:注射用　YJ:7224400A1034　院内コード:300210
成分:インドシアニングリーン,
【効】１）．　肝機能検査（血漿消失率測定、血中停滞率測定及び肝血流量測定）：肝疾患の診断、肝疾患の予後治癒判定。
２）．　循環機能検査（心拍出量測定、平均循環時間測定又は異常血流量測定）：心臓血管系疾患の診断。
３）．　血管の血流評価及び組織の血流評価。
４）．　次の疾患におけるセンチネルリンパ節の同定：乳癌、悪性黒色腫、子宮頸癌、子宮体癌。
５）．　肝外胆管の描出。
６）．　リンパ管静脈吻合術に係るリンパ流の評価。
【用】１）．　肝機能検査：
〈血漿消失率測定及び血中停滞率測定の場合〉インドシアニングリーンとして体重１ｋｇ当たり０．５ｍｇに相当する量を注射用水で５ｍｇ／ｍＬ程度に希釈し、肘静脈より３０秒以内に症状に注意しながら徐々に静脈内投与する。
〈肝血流量測定の場合〉インドシアニングリーンとして２５ｍｇをできるだけ少量の注射用水に溶かした後、生理食塩液で２．５～５ｍｇ／ｍＬの濃度に希釈し、インドシアニングリーンとして３ｍｇに相当する前記溶液を静脈内投与する。その後引き続き０．２７～０．４９ｍｇ／分の割合で約５０分間採血が終るまで一定速度で点滴静脈内投与する。
２）．　循環機能検査：目的に応じて心腔内より末梢静脈に至る種々の血管部位にインドシアニングリーンの溶液を注入するが通常前腕静脈から行う。成人１人当たり１回量はインドシアニングリーン５～１０ｍｇ、すなわち１～２ｍＬ程度で、小児は体重に応じて減量する。
３）．　血管及び組織の血流評価：インドシアニングリーンとして２５ｍｇを５～１０ｍＬの注射用水で溶解し、使用目的に応じて、通常０．０４～０．３ｍｇ／ｋｇを静脈内投与する。なお、脳神経外科手術時における脳血管の造影の場合には、インドシアニングリーンとして２５ｍｇを５ｍＬの注射用水で溶解し、通常０．１～０．３ｍｇ／ｋｇを静脈内投与する。
４）．　センチネルリンパ節の同定：
〈乳癌の場合〉インドシアニングリーンとして２５ｍｇを５ｍＬの注射用水で溶解し、通常５ｍＬ以下を悪性腫瘍近傍又は乳輪部の皮下に適宜分割して投与する。
〈悪性黒色腫の場合〉インドシアニングリーンとして２５ｍｇを５ｍＬの注射用水で溶解し、通常１ｍＬを悪性腫瘍近傍の皮内数箇所に適宜分割して投与する。
〈子宮頸癌及び子宮体癌の場合〉インドシアニングリーンとして２５ｍｇを２０ｍＬの注射用水で溶解し、通常４ｍＬを子宮頸部に適宜分割して投与する。
５）．　肝外胆管の描出：インドシアニングリーンとして２５ｍｇを１０ｍＬの注射用水で溶解し、通常１ｍＬを静脈内投与する。
６）．　リンパ管静脈吻合術に係るリンパ流の評価：インドシアニングリーンとして２５ｍｇを１０ｍＬの注射用水で溶解し、通常１ｍＬをリンパ管静脈吻合術対象の肢の皮下又は皮内に適宜分割して投与する。
【保管】室温保存。

7225: 腎機能検査用試薬

インジゴカルミン注２０ｍｇ「ＡＦＰ」【０．４％５ｍＬ１管】　Indigocarmine AFP　採用

商品名:インジゴカルミン注２０ｍｇ「ＡＦＰ」
規格:０．４％５ｍＬ１管　薬価:245.00　製造:アルフレッサ　ファーマ　剤型:注射液　YJ:7225400A1058　院内コード:300434
成分:インジゴカルミン,
【効】１）．　腎機能検査（分腎機能測定による）。
２）．　次の疾患におけるセンチネルリンパ節の同定：乳癌、悪性黒色腫。
【用】〈腎機能検査〉通常インジゴカルミンとして２０～４０ｍｇ（５～１０ｍＬ）を静注した後、膀胱鏡で初排泄時間を調べる。
〈センチネルリンパ節の同定〉乳癌のセンチネルリンパ節の同定においては、インジゴカルミンとして通常２０ｍｇ（５ｍＬ）以下を悪性腫瘍近傍又は乳輪部の皮下に適宜分割して投与する。悪性黒色腫のセンチネルリンパ節の同定においては、インジゴカルミンとして通常４～１２ｍｇ（１～３ｍＬ）を悪性腫瘍近傍の皮内数箇所に適宜分割して投与する。
【保管】室温保存。

7229: その他の機能検査用試薬

アンチレクス静注１０ｍｇ　Antirex　採用　(劇)

商品名:アンチレクス静注１０ｍｇ

規格:１％１ｍＬ１管　薬価:109.00　製造:杏林製薬　剤型:注射液　YJ:7229401A1035　院内コード:300484

成分:エドロホニウム塩化物,

【効】重症筋無力症の診断、筋弛緩剤投与後の遷延性呼吸抑制の作用機序の鑑別診断。

【用】重症筋無力症の診断には、エドロホニウム塩化物として、通常成人１回１０ｍｇを静脈内注射する。その際、まず初めに２ｍｇを１５～３０秒かけて注射し、４５秒後に反応をみた上で必要に応じて残りの８ｍｇを注射する。

筋弛緩剤投与後の遷延性呼吸抑制の作用機序の鑑別診断には、エドロホニウム塩化物として、通常成人５～１０ｍｇを３０～４０秒かけて静脈内注射する。筋弛緩状態が改善されれば非脱分極性ブロック、筋弛緩状態が増強されれば脱分極性ブロックと判定する。必要があれば５～１０分以内に同量を反復投与する。

なお、年齢により適宜増減する。

【保管】室温保存。

グルカゴンＧノボ注射用１ｍｇ　Glucagon G Novo　採用　(劇)

商品名:グルカゴンＧノボ注射用１ｍｇ

規格:１ｍｇ１瓶（溶解液付）　薬価:2346.00　製造:ノボ　ノルディスクファーマ　剤型:注射用　YJ:7229402D1036　院内コード:202202

成分:グルカゴン（遺伝子組換え）,

【効】１）．　消化管Ｘ線検査及び消化管内視鏡検査の前処置。

２）．　低血糖時の救急処置。

３）．　成長ホルモン分泌機能検査。

４）．　肝型糖原病検査。

５）．　胃の内視鏡的治療の前処置。

【用】１）．　消化管のＸ線及び内視鏡検査の前処置：通常、グルカゴン（遺伝子組換え）として１ｍｇを１ｍＬの日局注射用水に溶解し、０．５～１ｍｇを筋肉内又は静脈内に注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

ただし、本剤の作用持続時間については、筋肉内注射の場合約２５分間、静脈内注射の場合１５～２０分間である。

２）．　低血糖時の救急処置：通常、グルカゴン（遺伝子組換え）として１ｍｇを１ｍＬの日局注射用水に溶解し、筋肉内又は静脈内に注射する。

３）．　成長ホルモン分泌機能検査：グルカゴン（遺伝子組換え）として１ｍｇを１ｍＬの日局注射用水に溶解し、体重１ｋｇ当たり０．０３ｍｇを空腹時に皮下に注射する。

ただし、最大投与量は１ｍｇとする。

［判定基準］血中ｈＧＨ値は、測定方法、患者の状態等の関連で異なるため、明確に規定しえないが、通常、正常人では、本剤投与後６０～１８０分でピークに達し、１０ｎｇ／ｍＬ以上を示す。血中ｈＧＨ値が５ｎｇ／ｍＬ以下の場合ｈＧＨ分泌不全とする。

なお、本剤投与後６０分以降は３０分毎に１８０分まで測定し、判定することが望ましい。

４）．　肝型糖原病検査：通常、成人にはグルカゴン（遺伝子組換え）として１ｍｇを生理食塩液２０ｍＬに溶かし、３分かけて静脈内に注射する。

なお、小児においてはグルカゴン（遺伝子組換え）として１ｍｇを１ｍＬの日局注射用水に溶解し、通常体重１ｋｇ当たり０．０３ｍｇを筋肉内に注射する。ただし、最大投与量は１ｍｇとする。

［判定基準］正常反応は個々の施設で設定されるべきであるが、通常、正常小児では、本剤筋注後３０～６０分で血糖はピークに達し、前値より２５ｍｇ／ｄＬ以上上昇する。正常成人では、本剤の静注後１５～３０分でピークに達し、前値より３０～６０ｍｇ／ｄＬ上昇する。

しかし、投与後の血糖のピーク値だけでは十分な判定ができないと考えられる場合は、投与後１５～３０分毎に測定し、判定することが望ましい。

５）．　胃の内視鏡的治療の前処置：通常、グルカゴン（遺伝子組換え）として１ｍｇを１ｍＬの日局注射用水に溶解し、筋肉内又は静脈内に注射する。また、内視鏡的治療中に消化管運動が再開し、治療に困難を来した場合又はその可能性がある場合には、１ｍｇを追加投与する。

なお、本剤の作用発現時間は、筋肉内注射の場合約５分、静脈内注射の場合１分以内であり、作用持続時間については、筋肉内注射の場合約２５分間、静脈内注射の場合１５～２０分間である。

【保管】凍結を避け、冷所（１５℃以下）に保存。

729: その他の診断用薬（体外診断用医薬品

7290: その他の診断用薬（体外診断用医薬品を

ＥＯＢ・プリモビスト注シリンジ１０ｍＬ　EOB･primovist　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ＥＯＢ・プリモビスト注シリンジ

規格:１８．１４３％１０ｍＬ１筒　薬価:11729.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7290415G2027　院内コード:300442

成分:ガドキセト酸ナトリウム,

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における肝腫瘍造影。

【用】通常、成人には本剤０．１ｍＬ／ｋｇを静脈内投与する。

【保管】室温保存。

アムベルビスト静注シリンジ５ｍＬ　Ambelvist　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:アムベルビスト静注シリンジ５ｍＬ

規格:２５．７９％５ｍＬ１筒　薬価:4930.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7290419G1029　院内コード:301412

成分:ガドクアトラン水和物,

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における次記造影：１）脳・脊髄造影、２）躯幹部・四肢造影。

【用】通常、成人及び小児には、本剤０．１ｍＬ／ｋｇを静脈内投与する。

【保管】室温保存。

アムベルビスト静注シリンジ７．５ｍＬ　Ambelvist　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アムベルビスト静注シリンジ７．５ｍＬ
規格:２５．７９％７．５ｍＬ１筒　薬価:7098.00　製造:バイエル薬品　剤型:キット類YJ:7290419G2025　院内コード:301413
成分:ガドクアトラン水和物,
【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における次記造影：１）脳・脊髄造影、２）躯幹部・四肢造影。
【用】通常、成人及び小児には、本剤０．１ｍＬ／ｋｇを静脈内投与する。
【保管】室温保存。

アラグリオ内用剤１．５ｇ　Alaglio　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:アラグリオ内用剤１．５ｇ
規格:１．５ｇ１瓶　薬価:75985.90　製造:ＳＢＩファーマ　剤型:末　YJ:7290007X1040　院内コード:203701
成分:アミノレブリン酸塩酸塩,
【効】経尿道的膀胱腫瘍切除術時における筋層非浸潤性膀胱癌の可視化。
【用】通常、成人には、アミノレブリン酸塩酸塩として２０ｍｇ／ｋｇを、膀胱鏡挿入２～８時間前に、水に溶解して経口投与する。
【保管】室温保存。

ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ１０ｍＬ「ＧＥ」（マグネスコープ）　Gadoterate meglumine GE　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８％シリンジ１０ｍＬ
商品名:ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ１０ｍＬ「ＧＥ」
規格:３７．６９５％１０ｍＬ１筒　薬価:1969.00　製造:ＧＥヘルスケアファーマ　剤型:キット類YJ:7290411G1049　院内コード:301262
成分:ガドテル酸メグルミン,
【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における次記造影：１）脳・脊髄造影、２）躯幹部・四肢造影。
【用】通常、成人には本剤０．２ｍＬ／ｋｇを静脈内注射する。腎臓を対象とする場合は、０．１ｍＬ／ｋｇを静脈内注射するが、必要に応じて、０．２ｍＬ／ｋｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ１５ｍＬ「ＧＥ」（マグネスコープ）　Gadoterate meglumine GE　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８％シリンジ１５ｍＬ
商品名:ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ１５ｍＬ「ＧＥ」
規格:３７．６９５％１５ｍＬ１筒　薬価:2707.00　製造:ＧＥヘルスケアファーマ　剤型:キット類YJ:7290411G2045　院内コード:301263
成分:ガドテル酸メグルミン,
【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における次記造影：１）脳・脊髄造影、２）躯幹部・四肢造影。
【用】通常、成人には本剤０．２ｍＬ／ｋｇを静脈内注射する。腎臓を対象とする場合は、０．１ｍＬ／ｋｇを静脈内注射するが、必要に応じて、０．２ｍＬ／ｋｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ２０ｍＬ「ＧＥ」（マグネスコープ）　Gadoterate meglumine GE　採用　<後発品（加算対象）>
[先発品:臨時使用]マグネスコープ静注３８％シリンジ２０ｍＬ
商品名:ガドテル酸メグルミン静注３８％シリンジ２０ｍＬ「ＧＥ」
規格:３７．６９５％２０ｍＬ１筒　薬価:3280.00　製造:ＧＥヘルスケアファーマ　剤型:キット類YJ:7290411G3041　院内コード:301264
成分:ガドテル酸メグルミン,
【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における次記造影：１）脳・脊髄造影、２）躯幹部・四肢造影。
【用】通常、成人には本剤０．２ｍＬ／ｋｇを静脈内注射する。腎臓を対象とする場合は、０．１ｍＬ／ｋｇを静脈内注射するが、必要に応じて、０．２ｍＬ／ｋｇまで増量することができる。
【保管】室温保存。

トレーランＧ液７５ｇ　Trelan-G　採用
商品名:トレーランＧ液７５ｇ
規格:２２５ｍＬ１瓶　薬価:205.20　製造:陽進堂ホールディングス　剤型:液　YJ:7290003S1044　院内コード:200178
成分:デンプン部分加水分解物,
【効】糖尿病診断時の糖負荷試験に用いる。
【用】ブドウ糖として、通常成人１回５０ｇ、７５ｇ又は１００ｇを経口投与する。小児には体重ｋｇ当り１．７５ｇ（５．２５ｍＬ）を経口投与する。
【保管】室温保存。

フルオレサイト静注５００ｍｇ　Fluorescite　採用　<後発品（加算対象）>
商品名:フルオレサイト静注５００ｍｇ
規格:１０％５ｍＬ１瓶　薬価:826.00　製造:ノバルティス　ファーマ　剤型:注射液　YJ:7290402A2035　院内コード:300435
成分:フルオレセイン,
【効】ぶどう膜疾患・網膜疾患・視神経疾患等の診断。
【用】フルオレセインとして、通常２００～５００ｍｇを肘静脈に注射する。

【保管】室温保存。

ボースデル内用液１０ Bothdel 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ボースデル内用液１０
規格:１０ｍｇ２５０ｍＬ１袋 薬価:784.10 製造:健栄製薬 剤型:液 YJ:7290006S1021 院内コード:202428
成分:塩化マンガン四水和物,
【効】磁気共鳴胆道膵管撮影における消化管陰性造影。
【用】通常、成人には１袋２５０ｍＬ［塩化マンガン四水和物３６ｍｇ（マンガンとして１０ｍｇ）を含む］を経口投与する。
【保管】室温保存。

ユービット錠１００ｍｇ Ubit 採用 <先発品（後発品なし）>
商品名:ユービット錠１００ｍｇ
規格:１００ｍｇ１錠 薬価:2591.40 製造:大塚製薬 剤型:錠 YJ:7290005F1037 院内コード:200799
成分:尿素（１３Ｃ）,
【効】ヘリコバクター・ピロリの感染診断。
【用】通常、成人には、尿素（１３Ｃ）として１００ｍｇ（１錠）を空腹時に経口投与する。
［標準的な１３Ｃ－尿素呼気試験法］（１）．　本剤の服用前に呼気を採取する。
（２）．　本剤をつぶしたりせず、空腹時に水１００ｍＬとともに噛まずに速やかに（５秒以内に）嚥下する。
（３）．　服用後左側臥位の姿勢を５分間保ち、その後は座位の姿勢を保つ。
（４）．　本剤服用後２０分に呼気を採取する。
（５）．　服用前と服用後の呼気中１３ＣＯ２（１３ＣＯ２／１２ＣＯ２比）を測定し、その変化量（Δ１３Ｃ）を算出し判定する。
【保管】室温保存。

73: 公衆衛生用薬

732: 防疫用殺菌消毒剤

7321: アルコール及びアルデヒド製剤

アセサイド６％消毒液 Acecide 採用 (劇)
商品名:アセサイド６％消毒液
規格:６％１ｍＬ 薬価:0.00 製造:サラヤ 剤型:液 YJ:732170CQ1026 院内コード:201255
成分:過酢酸,
【効】医療器具の化学的滅菌又は殺菌・消毒。
【用】〈調製法〉本品の実用液の調製は、次の方法による。
第一剤５０ｍＬ、第二剤５０ｍＬ及び精製水９００ｍＬの割合で混和し、０．３ｗ／ｖ％実用液を製する。
〈使用方法〉（１）．　あらかじめ洗浄、水洗を行った医療器具を液に完全に浸漬する。細孔のある器具類や構造の複雑な器具類は、実用液を加圧注入又は吸引することにより、実用液と十分に接触させる。
（２）．　５分以上浸漬する。芽胞の殺滅を要する場合は１０分以上浸漬する。
（３）．　浸漬後、取り出した医療器具を、原則として滅菌水を用い、流水で１５秒以上すすぐ。使用目的により水を使用することもできる。細孔のある器具類や構造の複雑な器具類は、内孔等に薬液が残りやすいので、水の加圧注入やすすぎ時間を延長するなどして十分にすすぐ。
【保管】１～２５℃で保存。

ディスオーパ消毒液0.55%　3.8L Disopa 採用 (劇)
商品名:ディスオーパ消毒液０．５５％
規格:０．５５％１ｍＬ 薬価:0.00 製造:ＡＳＰ　Ｊａｐａｎ 剤型:液 YJ:732170DQ1020 院内コード:201254
成分:フタラール,
【効】医療器具の化学的殺菌・消毒。
【用】調製法本剤は原液のまま使用すること。
使用方法（１）．　医療器具等は本剤に浸漬させる前に水又は酵素洗浄剤を用いてじゅうぶんに洗浄する。
（２）．　通常、器具等の消毒には、本剤に５分以上浸漬させる。
（３）．　浸漬後、取り出した器具等は、水又は滅菌水でじゅうぶんにすすぎ、本剤を除去する。
（４）．　細孔を有する等構造の複雑な器具類は、内孔部への注入等の操作により、本剤とじゅうぶんに接触させること。またすすぎの際、内孔部への水の注入等の操作により、本剤をじゅうぶんに除去すること。
【保管】室温保存。

79: その他の治療を主目的としない医

799: 他に分類されない治療を主目的としな

7990: 他に分類されない治療を主目的としない

アデノシン負荷用静注６０ｍｇシリンジ「ＦＲＩ」 Adenosine FRI 採用 <後発品（加算対象）>
[先発品:非採用]アデノスキャン注６０ｍｇ
商品名:アデノシン負荷用静注６０ｍｇシリンジ「ＦＲＩ」
規格:６０ｍｇ２０ｍＬ１筒 薬価:4806.00 製造:ＰＤＲファーマ 剤型:キット類YJ:799040201021 院内コード:300889
成分:アデノシン,
【効】十分に運動負荷をかけられない患者において心筋血流シンチグラフィによる心臓疾患の診断を行う場合の負荷誘導。
【用】１分間当たりアデノシンとして１２０μｇ／ｋｇを６分間持続静脈内投与する（アデノシン総投与量０．７２ｍｇ／ｋｇ）。
【保管】室温保存。

タコシール組織接着用シート 採用

商品名:タコシール組織接着用シート
規格:９．５ｃｍ×４．８ｃｍ1枚　薬価:57675.70　製造:ＣＳＬベーリング　剤型:その他　YJ:7990713X3027　院内コード:202349

チャンピックス錠０．５ｍｇ　Champix　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:チャンピックス錠０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１錠　薬価:77.50　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:7990003F1028　院内コード:202199
成分:バレニクリン酒石酸塩,
【効】ニコチン依存症の喫煙者に対する禁煙の補助。
【用】通常、成人にはバレニクリンとして第１～３日目は０．５ｍｇを１日１回食後に経口投与、第４～７日目は０．５ｍｇを１日２回朝夕食後に経口投与、第８日目以降は１ｍｇを１日２回朝夕食後に経口投与する。なお、本剤の投与期間は１２週間とする。
【保管】室温保存。

チャンピックス錠１ｍｇ　Champix　採用　(劇)　<先発品（後発品なし）>
商品名:チャンピックス錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:136.10　製造:ファイザー　剤型:錠　YJ:7990003F2024　院内コード:202200
成分:バレニクリン酒石酸塩,
【効】ニコチン依存症の喫煙者に対する禁煙の補助。
【用】通常、成人にはバレニクリンとして第１～３日目は０．５ｍｇを１日１回食後に経口投与、第４～７日目は０．５ｍｇを１日２回朝夕食後に経口投与、第８日目以降は１ｍｇを１日２回朝夕食後に経口投与する。なお、本剤の投与期間は１２週間とする。
【保管】室温保存。

ニフレック配合内用剤（院内のみ）　Niflec　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ニフレック配合内用剤
規格:１袋　薬価:718.40　製造:ＥＡファーマ　剤型:散　YJ:7990100A1106　院内コード:200013
成分:塩化カリウム,塩化ナトリウム,炭酸水素ナトリウム,無水硫酸ナトリウム,
【効】大腸内視鏡検査前処置、バリウム注腸Ｘ線造影検査前処置及び大腸手術時前処置における腸管内容物の排除。
【用】本品１袋を水に溶解して約２Ｌとし、溶解液とする。
通常、成人には、１回溶解液２～４Ｌを１時間あたり約１Ｌの速度で経口投与する。ただし、排泄液が透明になった時点で投与を終了し、４Ｌを超えての投与は行わない。
〈大腸内視鏡検査前処置〉１）．　内視鏡検査当日に投与する場合：当日の朝食は絶食（水分摂取のみ可）とし、検査開始予定時間の約４時間前から投与を開始する。
２）．　内視鏡検査前日に投与する場合：前日の夕食後は絶食（水分摂取のみ可）とし、夕食後約１時間以上経過した後、投与を開始する（但し、前日の朝食、昼食は残渣の少ないもの、夕食は固形物の入っていない液状食とする）。
〈バリウム注腸Ｘ線造影検査前処置〉バリウム注腸Ｘ線造影検査当日の朝は絶食（水分摂取のみ可）とし、検査開始予定時間の約６時間前から投与を開始する。通常、成人には、溶解液の投与開始時にモサプリドクエン酸塩として２０ｍｇを溶解液（約１８０ｍＬ）で経口投与する。また、溶解液投与終了後、モサプリドクエン酸塩として２０ｍｇを少量の水で経口投与する。
〈大腸手術前処置〉手術前日の昼食後は絶食（水分摂取のみ可）とし、昼食後約３時間以上経過した後、投与を開始する。
【保管】室温保存。

プロナーゼＭＳ２万単位　Pronase MS　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:プロナーゼＭＳ
規格:２０，０００単位　薬価:121.40　製造:科研製薬　剤型:散　YJ:7990002B2036　院内コード:200366
成分:プロナーゼ,
【効】胃内視鏡検査における胃内粘液の溶解除去。
【用】検査１５～３０分前に、プロナーゼとして２００００単位を炭酸水素ナトリウム１ｇとともに約５０～８０ｍＬの水に溶かし、経口投与する。
【保管】室温保存。

ベリプラストＰ　コンビセット1mL　Beriplast P combi-set　採用　(特)
商品名:ベリプラストＰコンビセット組織接着用
規格:１ｍＬ２キット１組　薬価:12647.80　製造:ＣＳＬベーリング　剤型:その他　YJ:6349800X2028　院内コード:201017
成分:アプロチニン,トロンビン,ヒト血液凝固第１３因子,フィブリノゲン,塩化カルシウム水和物,
【効】組織の接着・閉鎖（ただし、縫合あるいは接合した組織から血液、体液または体内ガスの漏出をきたし、他に適切な処置法のない場合に限る）。
【用】・　用法フィブリノゲン末（バイアル１）をアプロチニン液（バイアル２）全量で溶解し、Ａ液とする。トロンビン末（バイアル３）を、アプロチニン液量と同量の塩化カルシウム液（バイアル４）で溶解し、Ｂ液とする。接着・閉鎖部位にＡ液、Ｂ液を重層または混合して適用する。
・　用量通常、１０ｃ㎡あたりＡ液Ｂ液各々１ｍＬを適用する。なお、接着・閉鎖部位の状態・大きさに応じ適宜増減する。
【保管】凍結を避けて２～８℃で保存。

ボルヒール３ｍＬ　採用
商品名:ボルヒール組織接着用
規格:３ｍＬ４瓶１組　薬価:33009.90　製造:ＫＭバイオロジクス　剤型:その他　YJ:7990710X4038　院内コード:201202

ミオテクター冠血管注　【　１瓶１管１組　】　Miotecter　採用　<先発品（後発品なし）>
商品名:ミオテクター冠血管注
規格:１瓶１管１組　薬価:1244.00　製造:扶桑薬品　剤型:注射液　YJ:7990500A1036　院内コード:301065
成分:塩化カリウム,塩化カルシウム水和物,塩化ナトリウム,塩化マグネシウム,炭酸水素ナトリウム,
【効】低体温体外循環下、大動脈を遮断し実施される心臓外科手術における、心停止及び心筋保護。
【用】本剤は、用時Ａ液にＢ液を全量添加し、十分に混合して使用する。
Ａ液にＢ液を混合後、本剤を４℃前後に冷却し、人工心肺装置を用い、患者を体外循環下に置き、体外循環灌流温を予定の低温にした後、上行大動脈

を遮断し、直ちに、通常成人体重１ｋｇ当たり１０～２０mLを、順行性冠灌流にて注入する場合は２～４分かけて冠状動脈（大動脈基部）に、また、逆行性冠灌流にて注入する場合は４～７分かけて冠状静脈洞）に注入する。ただし、心停止が得られない場合は、心停止が得られるまで適宜増量する。また、同時に、心嚢内に４℃前後に冷却した局所冷却液（生理食塩液、リンゲル液、乳酸リンゲル液等）を持続的若しくは定期的に注入し、あるいはアイススラッシュを用いて、心臓の局所冷却を維持する。以後、２０～３０分毎に、本剤（Ａ、Ｂ混合液）を初回注入量の半量を目安に心停止が維持できるよう追加注入する。また、途中で心機能が回復した場合、若しくは心筋温が１５～２０℃以上に上昇した場合は、速やかに心停止が得られるまで追加注入を行う。本剤（Ａ、Ｂ混合液）の注入に当たっては、順行性冠灌流を基本とし、順行性冠灌流のみでは本剤が心筋に十分行き渡らない可能性がある場合、逆行性冠灌流の併用あるいは逆行性冠灌流を行う。なお、１手術当たりの注入量は、手術の種類や手術時間により異なる。注入に際しては、注入圧をモニターし、過度の注入圧を回避すべく注意する。

【保管】室温保存。

ミンクリア内用散布液0.8%(160mg/20mL)　Minclea　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:ミンクリア内用散布液０．８％

規格:２０mL１筒　薬価:769.70　製造:富士製薬　剤型:液　YJ:7990004S1020　院内コード:202301

成分:ｌ－メントール,

【効】上部消化管内視鏡時の胃蠕動運動の抑制。

【用】通常、本剤２０mL（ｌ－メントールとして１６０mg）を内視鏡の鉗子口より胃幽門前庭部に行きわたるように散布する。

【保管】室温保存。

モビプレップ配合内用剤（院内のみ）　Moviprep　採用　<先発品（後発品なし）>

商品名:モビプレップ配合内用剤

規格:１袋　薬価:1513.00　製造:ＥＡファーマ　剤型:散　YJ:7990102A1024　院内コード:202442

成分:Ｌ－アスコルビン酸ナトリウム,アスコルビン酸,マクロゴール４０００,塩化カリウム,塩化ナトリウム,無水硫酸ナトリウム,

【効】大腸内視鏡検査前処置、大腸手術時前処置における腸管内容物の排除。

【用】本剤１袋を水に溶解して約２Ｌの溶解液とする。

通常、成人には溶解液を１時間あたり約１Ｌの速度で経口投与する。溶解液を約１Ｌ投与した後、水又はお茶を約０．５Ｌ飲用する。ただし、排泄液が透明になった時点で投与を終了し、投与した溶解液量の半量の水又はお茶を飲用する。排泄液が透明になっていない場合には、残りの溶解液を排泄液が透明になるまで投与し、その後、追加投与した溶解液量の半量の水又はお茶を飲用する。なお、本剤１袋（溶解液として２Ｌ）を超える投与は行わない。

〈大腸内視鏡検査前処置〉検査当日の朝食は絶食（水分摂取は可）とし、検査開始予定時間の約３時間以上前から投与を開始する。

〈大腸手術前処置〉手術前日の昼食後は絶食（水分摂取は可）とし、昼食後約３時間以上経過した後、投与を開始する。

【保管】室温保存。

8:麻薬

81:アルカロイド系麻薬（天然麻薬）

811:あへんアルカロイド系麻薬

8114:モルヒネ系製剤

(麻)アンペック坐剤１０mg　Anpec　採用　(劇麻)

商品名:アンペック坐剤１０mg

規格:１０mg１個　薬価:356.00　製造:住友ファーマ　剤型:坐剤　YJ:8114700J1023　院内コード:201019

成分:モルヒネ塩酸塩水和物,

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛。

【用】通常、成人にはモルヒネ塩酸塩水和物として１日２０～１２０mgを２～４回に分割し直腸内に投与する。

なお、初めてモルヒネ製剤として本剤を投与する場合は、１回１０mgより開始することが望ましい。

症状により投与量、投与回数を適宜増減する。

【保管】冷凍を避け、室温（１～３０℃）で保存。

(麻)アンペック注５０mg　Anpec　採用　(劇麻)

商品名:アンペック注５０mg

規格:１％５mL１管　薬価:1313.00　製造:住友ファーマ　剤型:注射液　YJ:8114401A2089　院内コード:300443

成分:モルヒネ塩酸塩水和物,

【効】〈皮下及び静脈内投与の場合〉１）．　激しい疼痛時における鎮痛・鎮静。

２）．　激しい咳嗽発作における鎮咳。

３）．　激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制。

４）．　麻酔前投薬、麻酔補助。

５）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。

〈硬膜外及びくも膜下投与の場合〉１）．　激しい疼痛時における鎮痛。

２）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。

【用】〈皮下及び静脈内投与の場合〉通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回５～１０mgを皮下に注射する。また、麻酔の補助として、静脈内に注射することもある。なお、年齢、症状により適宜増減する。

中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛において持続点滴静注又は持続皮下注する場合には、通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回５０～２００mgを投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈硬膜外投与の場合〉通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回２～６mgを硬膜外腔に注入する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

硬膜外腔に持続注入する場合は、通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物の１日量として２～１０mgを投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈くも膜下投与の場合〉通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回０．１～０．５mgをくも膜下腔に注入する。なお、年齢、症状により

適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オプソ内服液１０ｍｇ　Opso　採用　(劇麻)
商品名:オプソ内服液１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ５ｍＬ１包　薬価:281.10　製造:住友ファーマ　剤型:液　YJ:8114005S2020　院内コード:200001
成分:モルヒネ塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはモルヒネ塩酸塩水和物として１日３０～１２０ｍｇを１日６回に分割し経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オプソ内服液５ｍｇ　Opso　採用　(劇麻)
商品名:オプソ内服液５ｍｇ
規格:５ｍｇ２．５ｍＬ１包　薬価:263.30　製造:住友ファーマ　剤型:液　YJ:8114005S1024　院内コード:200803
成分:モルヒネ塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはモルヒネ塩酸塩水和物として１日３０～１２０ｍｇを１日６回に分割し経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)モルヒネ塩酸塩注射液１０ｍｇ　Morphine hydrochloride　採用　(劇麻)
商品名:モルヒネ塩酸塩注射液１０ｍｇ「タケダ」
規格:１％１ｍＬ１管　薬価:305.00　製造:武田薬品　剤型:注射液　YJ:8114401A1139　院内コード:300237
成分:モルヒネ塩酸塩水和物,
【効】〈皮下及び静脈内投与の場合〉１）．　激しい疼痛時における鎮痛・鎮静。
２）．　激しい咳嗽発作における鎮咳。
３）．　激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制。
４）．　麻酔前投薬、麻酔補助。
５）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
〈硬膜外及びくも膜下投与の場合〉１）．　激しい疼痛時における鎮痛。
２）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】〈皮下及び静脈内投与の場合〉通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回５～１０ｍｇを皮下に注射する。また、麻酔の補助として、静脈内に注射することもある。なお、年齢、症状により適宜増減する。
中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛において持続点滴静注又は持続皮下注する場合には、通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回５０～２００ｍｇを投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈硬膜外投与の場合〉通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回２～６ｍｇを硬膜外腔に注入する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
硬膜外腔に持続注入する場合は、通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物の１日量として２～１０ｍｇを投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈くも膜下投与の場合〉通常、成人には、モルヒネ塩酸塩水和物として、１回０．１～０．５ｍｇをくも膜下腔に注入する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

8115: コデイン系製剤

(麻)コデインリン酸塩散１０％「タケダ」　Codeine phosphate　採用　(劇麻)
商品名:コデインリン酸塩散１０％「タケダ」
規格:１０％１ｇ　薬価:149.80　製造:武田薬品　剤型:散　YJ:8115002B2091　院内コード:203002
成分:コデインリン酸塩水和物,
【効】１）．　各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静。
２）．　疼痛時における鎮痛。
３）．　激しい下痢症状の改善。
【用】通常、成人には、コデインリン酸塩水和物として、１回２０ｍｇ、１日６０ｍｇを経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

8119: その他のあへんアルカロイド系麻薬

(麻)オキシコンチンＴＲ錠１０ｍｇ　Oxycontin TR　採用　(劇麻)
商品名:オキシコンチンＴＲ錠１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１錠　薬価:233.60　製造:シオノギファーマ　剤型:徐放錠　YJ:8119002G6026　院内コード:203696
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
２）．　非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛。
【用】〈癌性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
〈慢性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～６０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキシコンチンＴＲ錠２０ｍｇ　Oxycontin TR　採用　(劇麻)
商品名:オキシコンチンＴＲ錠２０ｍｇ
規格:２０ｍｇ１錠　薬価:433.70　製造:シオノギファーマ　剤型:徐放錠　YJ:8119002G7022　院内コード:203697
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
２）．　非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛。
【用】〈癌性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
〈慢性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～６０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキシコンチンＴＲ錠４０ｍｇ　Oxycontin TR　採用　(劇麻)
商品名:オキシコンチンＴＲ錠４０ｍｇ
規格:４０ｍｇ１錠　薬価:799.10　製造:シオノギファーマ　剤型:徐放錠　YJ:8119002G8029　院内コード:203698
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
２）．　非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛。
【用】〈癌性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
〈慢性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～６０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキシコンチンＴＲ錠５ｍｇ　Oxycontin TR　採用　(劇麻)
商品名:オキシコンチンＴＲ錠５ｍｇ
規格:５ｍｇ１錠　薬価:121.40　製造:シオノギファーマ　剤型:徐放錠　YJ:8119002G5020　院内コード:203527
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
２）．　非オピオイド鎮痛薬又は他のオピオイド鎮痛薬で治療困難な中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛。
【用】〈癌性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
〈慢性疼痛〉通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～６０ｍｇを２回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキノーム散１０ｍｇ　Oxinorm　採用　(劇麻)
商品名:オキノーム散１０ｍｇ
規格:１０ｍｇ１包　薬価:220.70　製造:シオノギファーマ　剤型:散　YJ:8119002B4026　院内コード:202295
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを４回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキノーム散２．５ｍｇ　Oxinorm　採用　(劇麻)
商品名:オキノーム散２．５ｍｇ
規格:２．５ｍｇ１包　薬価:53.80　製造:シオノギファーマ　剤型:散　YJ:8119002B2023　院内コード:200805
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを４回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキノーム散５ｍｇ　Oxinorm　採用　(劇麻)
商品名:オキノーム散５ｍｇ
規格:５ｍｇ１包　薬価:111.20　製造:シオノギファーマ　剤型:散　YJ:8119002B3020　院内コード:201220
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日１０～８０ｍｇを４回に分割経口投与する。
なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)オキファスト注１０ｍｇ　Oxifast　採用　(劇麻)　<先発品（後発品あり）>
商品名:オキファスト注１０ｍｇ
規格:１％１ｍＬ１管　薬価:271.00　製造:シオノギファーマ　剤型:注射液　YJ:8119400A1025　院内コード:300751
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日７．５～２５０ｍｇを持続静脈内又は持続皮下投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【保管】室温保存。

(麻)オキファスト注５０ｍｇ　Oxifast　採用　(劇麻)　<先発品（後発品あり）>
商品名:オキファスト注５０ｍｇ
規格:１％５ｍＬ１管　薬価:1340.00　製造:シオノギファーマ　剤型:注射液　YJ:8119400A2021　院内コード:300752
成分:オキシコドン塩酸塩水和物,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはオキシコドン塩酸塩（無水物）として１日７．５～２５０ｍｇを持続静脈内又は持続皮下投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)ナルサス錠２ｍｇ　Narusus　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ナルサス錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠　薬価:206.60　製造:第一三共　剤型:徐放錠　YJ:8119003G1029　院内コード:202974
成分:ヒドロモルフォン塩酸塩,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはヒドロモルフォンとして４～２４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)ナルサス錠６ｍｇ　Narusus　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ナルサス錠６ｍｇ
規格:６ｍｇ１錠　薬価:540.00　製造:第一三共　剤型:徐放錠　YJ:8119003G2025　院内コード:202950
成分:ヒドロモルフォン塩酸塩,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはヒドロモルフォンとして４～２４ｍｇを１日１回経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)ナルラピド錠１ｍｇ　Narurapid　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ナルラピド錠１ｍｇ
規格:１ｍｇ１錠　薬価:112.60　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:8119003F1023　院内コード:202951
成分:ヒドロモルフォン塩酸塩,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはヒドロモルフォンとして１日４～２４ｍｇを４～６回に分割経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)ナルラピド錠２ｍｇ　Narurapid　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>
商品名:ナルラピド錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠　薬価:206.60　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:8119003F2020　院内コード:202967
成分:ヒドロモルフォン塩酸塩,
【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛。
【用】通常、成人にはヒドロモルフォンとして１日４～２４ｍｇを４～６回に分割経口投与する。なお、症状に応じて適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)メテバニール錠２ｍｇ　Metebanyl　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>
商品名:メテバニール錠２ｍｇ
規格:２ｍｇ１錠　薬価:91.00　製造:第一三共　剤型:錠　YJ:8119001F1032　院内コード:200804
成分:オキシメテバノール,
【効】次記の呼吸器疾患に伴う咳嗽：肺結核、急性気管支炎・慢性気管支炎、肺癌、塵肺、感冒。
【用】通常、成人１日３錠（オキシメテバノールとして６ｍｇ）を３回に分けて経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。
【保管】室温保存。

82: 非アルカロイド系麻薬

821: 合成麻薬

8219: その他の合成麻薬

(麻)アブストラル舌下錠１００μｇ　Abstral　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>
商品名:アブストラル舌下錠１００μｇ
規格:１００μｇ１錠　薬価:527.50　製造:協和キリン　剤型:錠　YJ:8219001F1020　院内コード:202502
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛。
【用】通常、成人には１回の突出痛に対して、フェンタニルとして１００μｇを開始用量として舌下投与する。
用量調節期に、症状に応じて、フェンタニルとして１回１００、２００、３００、４００、６００、８００μｇの順に一段階ずつ適宜調節し、至適用量を決定する。なお、用量調節期に１回の突出痛に対してフェンタニルとして１回１００～６００μｇのいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には、投与から３０分後以降に同一用量までの本剤を１回のみ追加投与できる。
至適用量決定後の維持期には、１回の突出痛に対して至適用量を１回投与することとし、１回用量の上限はフェンタニルとして８００μｇとする。
ただし、用量調節期の追加投与を除き、前回の投与から２時間以上の投与間隔をあけ、１日あたり４回以下の突出痛に対する投与にとどめること。
【保管】室温保存。

(麻)アブストラル舌下錠２００μｇ　Abstral　採用　(劇麻)　<先発品（後発品なし）>

商品名:アブストラル舌下錠２００μｇ
規格:２００μｇ１錠　薬価:750.50　製造:協和キリン　剤型:錠　YJ:8219001F2026　院内コード:202546
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛。
【用】通常、成人には１回の突出痛に対して、フェンタニルとして１００μｇを開始用量として舌下投与する。
用量調節期に、症状に応じて、フェンタニルとして１回１００、２００、３００、４００、６００、８００μｇの順に一段階ずつ適宜調節し、至適用量を決定する。なお、用量調節期に１回の突出痛に対してフェンタニルとして１回１００～６００μｇのいずれかの用量で十分な鎮痛効果が得られない場合には、投与から３０分後以降に同一用量までの本剤を１回のみ追加投与できる。
至適用量決定後の維持期には、１回の突出痛に対して至適用量を１回投与することとし、１回用量の上限はフェンタニルとして８００μｇとする。
ただし、用量調節期の追加投与を除き、前回の投与から２時間以上の投与間隔をあけ、１日あたり４回以下の突出痛に対する投与にとどめること。
【保管】室温保存。

(麻)フェンタニル注射液０．１ｍｇ「ﾃﾙﾓ」　Fentanyl　採用　(劇麻)　<後発品（加算対象外）>
[先発品:臨時使用](麻)フェンタニル注射液０．１ｍｇ「第一三共」

商品名:フェンタニル注射液０．１ｍｇ「テルモ」
規格:０．００５％２ｍＬ１管　薬価:242.00　製造:テルモ　剤型:注射液　YJ:8219400A1071　院内コード:301060
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】１）．　全身麻酔、全身麻酔における鎮痛。
２）．　局所麻酔における鎮痛の補助。
３）．　激しい疼痛（術後疼痛、癌性疼痛など）に対する鎮痛。
【用】１）．　全身麻酔、全身麻酔における鎮痛：
①．　通常、成人には、次記用量を用いる。なお、患者の年齢、全身状態に応じて適宜増減する。
［バランス麻酔に用いる場合］麻酔導入時：フェンタニル注射液として０．０３～０．１６ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして１．５～８μｇ／ｋｇ）を緩徐に静注するか、又はブドウ糖液などに希釈して点滴静注する。
麻酔維持：ブドウ糖液などに希釈して、次記（１）又は（２）により投与する。
（１）．　間欠投与：フェンタニル注射液として０．５～１ｍＬ（フェンタニルとして２５～５０μｇ）ずつ静注する。
（２）．　持続投与：フェンタニル注射液として０．０１～０．１ｍＬ／ｋｇ／ｈ（フェンタニルとして０．５～５μｇ／ｋｇ／ｈ）の速さで点滴静注する。
［大量フェンタニル麻酔に用いる場合］麻酔導入時：フェンタニル注射液として０．４～３ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして２０～１５０μｇ／ｋｇ）を緩徐に静注するか、又はブドウ糖液などに希釈して点滴静注する。
麻酔維持：必要に応じて、ブドウ糖液などに希釈して、フェンタニル注射液として０．４～０．８ｍＬ／ｋｇ／ｈ（フェンタニルとして２０～４０μｇ／ｋｇ／ｈ）の速さで点滴静注する。
②．　通常、小児には、次記用量を用いる。なお、患者の年齢、全身状態に応じて適宜増減する。
［バランス麻酔又は大量フェンタニル麻酔に用いる場合］麻酔導入時：フェンタニル注射液として０．０２～０．１ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして１～５μｇ／ｋｇ）を緩徐に静注するか、又はブドウ糖液などに希釈して点滴静注する。大量フェンタニル麻酔に用いる場合は、通常、フェンタニル注射液として２ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして１００μｇ／ｋｇ）まで投与できる。
麻酔維持：フェンタニル注射液として０．０２～０．１ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして１～５μｇ／ｋｇ）ずつ間欠的に静注するか、又はブドウ糖液などに希釈して点滴静注する。
２）．　局所麻酔における鎮痛の補助：通常、成人には、フェンタニル注射液として０．０２～０．０６ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして１～３μｇ／ｋｇ）を静注する。なお、患者の年齢、全身状態、疼痛の程度に応じて適宜増減する。
３）．　激しい疼痛（術後疼痛、癌性疼痛など）に対する鎮痛：通常、成人には、次記用量を用いる。なお、患者の年齢、症状に応じて適宜増減する。
［静脈内投与の場合］術後疼痛に用いる場合は、フェンタニル注射液として０．０２～０．０４ｍＬ／ｋｇ（フェンタニルとして１～２μｇ／ｋｇ）を緩徐に静注後、フェンタニル注射液として０．０２～０．０４ｍＬ／ｋｇ／ｈ（フェンタニルとして１～２μｇ／ｋｇ／ｈ）の速さで点滴静注する。
癌性疼痛に対して点滴静注する場合は、フェンタニル注射液として１日２～６ｍＬ（フェンタニルとして０．１～０．３ｍｇ）から開始し、患者の症状に応じて適宜増量する。
［硬膜外投与の場合］単回投与法：フェンタニル注射液として１回０．５～２ｍＬ（フェンタニルとして１回２５～１００μｇ）を硬膜外腔に注入する。
持続注入法：フェンタニル注射液として０．５～２ｍＬ／ｈ（フェンタニルとして２５～１００μｇ／ｈ）の速さで硬膜外腔に持続注入する。
［くも膜下投与の場合］単回投与法：フェンタニル注射液として１回０．１～０．５ｍＬ（フェンタニルとして１回５～２５μｇ）をくも膜下腔に注入する。
【保管】室温保存。

(麻)フェントステープ1mg　Fentos　採用　(劇麻)

商品名:フェントステープ１ｍｇ
規格:１ｍｇ１枚　薬価:483.60　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:8219701S1025　院内コード:202251
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】成人：
非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
２）．　中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）。
小児：
非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種がん。
【用】成人：
通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。

初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、次記のとおり選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
〈がん疼痛〉本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、０．５ｍｇより開始する。
他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
〈慢性疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５mg、１mg、２mg、４mg、６mgのいずれかの用量を選択する。
小児：
〈がん疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
通常、小児（２歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、６歳以上の場合は、０．５mg、１mg、２mg、４mg、６mgのいずれかの用量を選択し、２歳以上６歳未満の場合は、０．５mg、１mg、２mgのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)フェントステープ2mg　Fentos　採用　(劇麻)

商品名:フェントステープ２mg
規格:２mg １枚　薬価:900.50　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:8219701S2021　院内コード:202252
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】成人：
非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
２）．　中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）。
小児：
非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種がん。
【用】成人：
通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、次記のとおり選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
〈がん疼痛〉本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、０．５ｍｇより開始する。
他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
〈慢性疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５mg、１mg、２mg、４mg、６mgのいずれかの用量を選択する。
小児：
〈がん疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
通常、小児（２歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、６歳以上の場合は、０．５mg、１mg、２mg、４mg、６mgのいずれかの用量を選択し、２歳以上６歳未満の場合は、０．５mg、１mg、２mgのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)フェントステープ4mg　Fentos　採用　(劇麻)

商品名:フェントステープ４mg
規格:４mg １枚　薬価:1673.70　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:8219701S3028　院内コード:202253
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】成人：
非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
２）．　中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）。
小児：
非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種がん。
【用】成人：
通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、次記のとおり選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
〈がん疼痛〉本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、０．５ｍｇより開始する。
他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
〈慢性疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５mg、１mg、２mg、４mg、６mgのいずれかの用量を選択する。
小児：
〈がん疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
通常、小児（２歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。

初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、６歳以上の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択し、２歳以上６歳未満の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)フェントステープ6mg　Fentos　採用　(劇麻)

商品名:フェントステープ６ｍｇ
規格:６ｍｇ１枚　薬価:2520.20　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:8219701S4024　院内コード:202254
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】成人：
非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
２）．　中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）。
小児：
非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種がん。
【用】成人：
通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、次記のとおり選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
〈がん疼痛〉本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、０．５ｍｇより開始する。
他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
〈慢性疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
小児：
〈がん疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
通常、小児（２歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、６歳以上の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択し、２歳以上６歳未満の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)フェントステープ8mg　Fentos　採用　(劇麻)

商品名:フェントステープ８ｍｇ
規格:８ｍｇ１枚　薬価:3246.30　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:8219701S5020　院内コード:202255
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】成人：
非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。
２）．　中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）。
小児：
非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種がん。
【用】成人：
通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、次記のとおり選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
〈がん疼痛〉本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、０．５ｍｇより開始する。
他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
〈慢性疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
小児：
〈がん疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
通常、小児（２歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、６歳以上の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択し、２歳以上６歳未満の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)フェントステープ０．５ｍｇ　Fentos　採用　(劇麻)

商品名:フェントステープ０．５ｍｇ
規格:０．５ｍｇ１枚　薬価:262.70　製造:久光製薬　剤型:貼付剤　YJ:8219701S6027　院内コード:203120
成分:フェンタニルクエン酸塩,
【効】成人：
非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛：
１）．　中等度から高度の疼痛を伴う各種がんにおける鎮痛。

：
2）．　中等度から高度の慢性疼痛における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）。
小児：
非オピオイド鎮痛剤で治療困難な次記における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合に限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種がん。
【用】成人：
通常、成人に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前のオピオイド鎮痛剤の治療有無により、次記のとおり選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
〈がん疼痛〉本剤貼付前にオピオイド鎮痛剤を使用していない場合、０．５ｍｇより開始する。
他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する場合、本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
〈慢性疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択する。
小児：
〈がん疼痛〉他のオピオイド鎮痛剤から本剤に切り替えて使用する。
通常、小児（２歳以上）に対し胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、１日（約２４時間）毎に貼り替えて使用する。
初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法及び用量を勘案して、６歳以上の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇ、４ｍｇ、６ｍｇのいずれかの用量を選択し、２歳以上６歳未満の場合は、０．５ｍｇ、１ｍｇ、２ｍｇのいずれかの用量を選択する。
その後の貼付用量は患者の症状や状態により適宜増減する。
【保管】室温保存。

(麻)レミフェンタニル静注用２ｍｇ「第一三共」（ｱﾙﾁﾊﾞ）　Remifentanil DAIICHI SANKYO　採用　(劇麻)　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]アルチバ静注用２ｍｇ

商品名:レミフェンタニル静注用２ｍｇ「第一三共」
規格:２ｍｇ１瓶　薬価:917.00　製造:丸石製薬　剤型:注射用　YJ:8219401D1030　院内コード:300963
成分:レミフェンタニル塩酸塩,
【効】１）．　成人：全身麻酔の導入及び全身麻酔の維持における鎮痛。
２）．　小児：全身麻酔の維持における鎮痛。
３）．　集中治療における人工呼吸中の鎮痛。
【用】〈成人：全身麻酔の導入及び維持における鎮痛〉成人では他の全身麻酔剤を必ず併用し、次記用量を用いる。
麻酔導入：
通常、レミフェンタニルとして０．５μｇ／ｋｇ／分の速さで持続静脈内投与する。なお、ダブルルーメンチューブの使用、挿管困難等、気管挿管時に強い刺激が予想される場合には、１．０μｇ／ｋｇ／分とすること。また、必要に応じて、持続静脈内投与開始前にレミフェンタニルとして１．０μｇ／ｋｇを３０～６０秒かけて単回静脈内投与することができる。ただし、気管挿管を本剤の投与開始から１０分以上経過した後に行う場合には単回静脈内投与の必要はない。
麻酔維持：
通常、レミフェンタニルとして０．２５μｇ／ｋｇ／分の速さで持続静脈内投与する。なお、投与速度については、患者の全身状態を観察しながら、２～５分間隔で２５～１００％の範囲で加速又は２５～５０％の範囲で減速できるが、最大でも２．０μｇ／ｋｇ／分を超えないこと。浅麻酔時には、レミフェンタニルとして０．５～１．０μｇ／ｋｇを２～５分間隔で追加単回静脈内投与することができる。
〈小児：全身麻酔の維持における鎮痛〉１歳以上の小児では他の全身麻酔剤を必ず併用し、次記用量を用いる。
麻酔維持：
通常、レミフェンタニルとして０．２５μｇ／ｋｇ／分の速さで持続静脈内投与する。なお、投与速度については、患者の全身状態を観察しながら、２～５分間隔で２５～１００％の範囲で加速又は２５～５０％の範囲で減速できるが、最大でも１．３μｇ／ｋｇ／分を超えないこと。浅麻酔時には、レミフェンタニルとして１．０μｇ／ｋｇを２～５分間隔で追加単回静脈内投与することができる。
〈集中治療における人工呼吸中の鎮痛〉通常、成人には、レミフェンタニルとして０．０２５μｇ／ｋｇ／分の速さで持続静脈内投与を開始し、患者の全身状態を観察しながら、適切な鎮痛が得られるよう、投与速度を適宜調節する。投与速度の調節は５分以上の間隔で、０．１μｇ／ｋｇ／分までは最大０．０２５μｇ／ｋｇ／分ずつ加速又は減速させ、０．１μｇ／ｋｇ／分を超える場合は２５～５０％の範囲で加速又は最大２５％の範囲で減速させるが、投与速度の上限は０．５μｇ／ｋｇ／分とする。投与終了時は、１０分以上の間隔で、最大２５％ずつ減速させ、０．０２５μｇ／ｋｇ／分を目安として投与終了する。
【保管】室温保存。

Z:その他

１％ブイフェンド点眼液(5mL/本)(院内のみ)　採用
院内コード:190030

イトラコナゾール内用液１％「VTRS」（ｲﾄﾘｿﾞｰﾙ）　Itraconazole　採用　<後発品（加算対象）>[先発品:非採用]イトリゾール内用液１％

商品名:イトラコナゾール内用液１％「ＶＴＲＳ」
規格:１％１ｍＬ　薬価:49.50　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:液　YJ:6290004S1044　院内コード:203714
成分:イトラコナゾール,
【効】１）．　真菌感染症：
真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎、口腔咽頭カンジダ症、食道カンジダ症、ブラストミセス症、ヒストプラスマ症。
２）．　好中球減少が予測される血液悪性腫瘍又は造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防。
【用】〈真菌感染症〉１）．　真菌血症、呼吸器真菌症、消化器真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎、ブラストミセス症、ヒストプラスマ症通常、成人には２０ｍＬ（イトラコナゾールとして２００ｍｇ）を１日１回空腹時に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、１回量の最大は２０ｍＬ、１日量の最大は４０ｍＬとする。
２）．　口腔咽頭カンジダ症、食道カンジダ症通常、成人には２０ｍＬ（イトラコナゾールとして２００ｍｇ）を１日１回空腹時に経口投与する。

〈好中球減少が予測される血液悪性腫瘍又は造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防〉通常、成人には２０mL（イトラコナゾールとして２００mg）を１日１回空腹時に経口投与する。なお、患者の状態などにより適宜増減する。ただし、１回量の最大は２０mL、１日量の最大は４０mLとする。
【保管】室温保存。

ウエルフォーム（180mL/本）　採用

院内コード:202836

ウエルフォーム（80mL/本）　採用

院内コード:202984

エナラプリルマレイン酸塩錠２．５mg「ＶＴＲＳ」　Enalapril maleate VTRS　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]レニベース錠２．５

商品名:エナラプリルマレイン酸塩錠２．５mg「ＶＴＲＳ」
規格:２．５mg１錠　薬価:10.80　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:錠　YJ:2144002F1423　院内コード:203501
成分:エナラプリルマレイン酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧。
２）．　次記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が認められない場合：慢性心不全＜軽症～中等症＞。
【用】〈高血圧症〉通常、成人に対しエナラプリルマレイン酸塩として５～１０mgを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
但し、腎性・腎血管性高血圧症又は悪性高血圧の患者では２．５mgから投与を開始することが望ましい。
通常、生後１ヵ月以上の小児には、エナラプリルマレイン酸塩として０．０８mg／kgを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈慢性心不全（軽症～中等症）〉本剤はジギタリス製剤、利尿剤等と併用すること。
通常、成人に対しエナラプリルマレイン酸塩として５～１０mgを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
但し、腎障害を伴う患者又は利尿剤投与中の患者では２．５mg（初回量）から投与を開始することが望ましい。
【保管】室温保存。

エナラプリルマレイン酸塩錠５mg「ＶＴＲＳ」　Enalapril maleate VTRS　採用　<後発品（加算対象外）>[先発品:臨時使用]レニベース錠５

商品名:エナラプリルマレイン酸塩錠５mg「ＶＴＲＳ」
規格:５mg１錠　薬価:10.80　製造:ヴィアトリス・ヘルスケア　剤型:錠　YJ:2144002F2470　院内コード:203502
成分:エナラプリルマレイン酸塩,
【効】１）．　本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧。
２）．　次記の状態で、ジギタリス製剤、利尿剤等の基礎治療剤を投与しても十分な効果が認められない場合：慢性心不全＜軽症～中等症＞。
【用】〈高血圧症〉通常、成人に対しエナラプリルマレイン酸塩として５～１０mgを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
但し、腎性・腎血管性高血圧症又は悪性高血圧の患者では２．５mgから投与を開始することが望ましい。
通常、生後１ヵ月以上の小児には、エナラプリルマレイン酸塩として０．０８mg／kgを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
〈慢性心不全（軽症～中等症）〉本剤はジギタリス製剤、利尿剤等と併用すること。
通常、成人に対しエナラプリルマレイン酸塩として５～１０mgを１日１回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
但し、腎障害を伴う患者又は利尿剤投与中の患者では２．５mg（初回量）から投与を開始することが望ましい。
【保管】室温保存。

グリセリンBC液60%　250mL　採用

院内コード:201235

ジアゼパム注射液１０mg「ＮＩＧ」(ｾﾙｼﾝ)　Diazepam　採用　(向)

商品名:ジアゼパム注射液１０mg「ＮＩＧ」
規格:１０mg１管　薬価:118.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:注射液　YJ:1124402A2070　院内コード:301282
成分:ジアゼパム,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。
２）．　次記疾患及び状態における不安・興奮・抑うつの軽減：麻酔前、麻酔導入時、麻酔中、術後、アルコール依存症の禁断＜離脱＞症状、分娩時。
３）．　次記状態における痙攣の抑制：てんかん様重積状態、有機リン中毒、カーバメート中毒。
【用】本剤は、疾患の種類、症状の程度、年齢及び体重等を考慮して用いる。一般に成人には、初回２mL（ジアゼパムとして１０mg）を筋肉内又は静脈内にできるだけ緩徐に注射する。以後、必要に応じて３～４時間ごとに注射する。なお、静脈内に注射する場合には、なるべく太い静脈を選んで、できるだけ緩徐に（２分間以上をかけて）注射する。
【保管】室温保存。

ジアゼパム注射液５mg「ＮＩＧ」(ｾﾙｼﾝ)　Diazepam　採用　(向)

商品名:ジアゼパム注射液５mg「ＮＩＧ」
規格:５mg１管　薬価:120.00　製造:日医工岐阜工場　剤型:注射液　YJ:1124402A1057　院内コード:301281
成分:ジアゼパム,
【効】１）．　神経症における不安・神経症における緊張・神経症における抑うつ。

：
２）．　次記疾患及び状態における不安・興奮・抑うつの軽減：麻酔前、麻酔導入時、麻酔中、術後、アルコール依存症の禁断＜離脱＞症状、分娩時。
３）．　てんかん様重積状態におけるけいれんの抑制。
【用】本剤は、疾患の種類、症状の程度、年齢および体重などを考慮して用いる。
一般に成人には、初回１０ｍｇを筋肉内または静脈内に、できるだけ緩徐に注射する。以後、必要に応じて３～４時間ごとに注射する。
【保管】室温保存。

ピューラックス 18L　採用

院内コード:201249

ピューラックス 600mL　採用

院内コード:201248

ベバシズマブＢＳ点滴静注100mg/4mL「CTNK」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)　Bevacizumab BS CTNK　採用　(劇生)　Hi

<後発品（加算対象）>
[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 100mg/4mL

商品名:ベバシズマブＢＳ点滴静注１００ｍｇ「ＣＴＮＫ」
規格:１００ｍｇ４ｍＬ１瓶　薬価:6038.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4291463A1020　院内コード:301285
成分:ベバシズマブ（遺伝子組換え），
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　手術不能又は再発乳癌。
４）．　悪性神経膠腫。
５）．　卵巣癌。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）又は１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回７．５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
〈悪性神経膠腫〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈卵巣癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
【保管】２～８℃保存。

ベバシズマブＢＳ点滴静注400mg/16mL「ＣＴＮＫ」(ｱﾊﾞｽﾁﾝ)　Bevacizumab BS CTNK　採用　(劇生)　Hi

<後発品（加算対象）>
[先発品:採用]アバスチン点滴静注用 400mg/16mL

商品名:ベバシズマブＢＳ点滴静注４００ｍｇ「ＣＴＮＫ」
規格:４００ｍｇ１６ｍＬ１瓶　薬価:22709.00　製造:日本化薬　剤型:注射液　YJ:4291463A2027　院内コード:301286
成分:ベバシズマブ（遺伝子組換え），
【効】１）．　治癒切除不能な進行・再発の結腸癌、治癒切除不能な進行・再発の直腸癌。
２）．　扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌。
３）．　手術不能又は再発乳癌。
４）．　悪性神経膠腫。
５）．　卵巣癌。
【用】〈治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回５ｍｇ／ｋｇ（体重）又は１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回７．５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は３週間以上とする。
〈手術不能又は再発乳癌〉パクリタキセルとの併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を点滴静脈内注射する。投与間隔は２週間以上とする。
〈悪性神経膠腫〉通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
〈卵巣癌〉他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ（遺伝子組換え）［ベバシズマブ後続４］として１回１０ｍｇ／ｋｇ（体重）を２週間間隔又は１回１５ｍｇ／ｋｇ（体重）を３週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。
【保管】２～８℃保存。

マスキンスクラブ4% 500mL　採用

院内コード:201250

ヤクラックス消毒液０．１％　採用

生食注シリンジ「ＮＰ」１０mL　Isotonic sodium chloride solution　採用

商品名:生食注シリンジ「ＮＰ」
規格:１０ｍＬ１筒　　薬価:127.00　　製造:ニプロ　　剤型:キット類YJ:3311402G7025　　院内コード:301297
成分:生理食塩液,
【効】〈注射〉細胞外液欠乏時。
ナトリウム欠乏時。
クロール欠乏時。
注射剤の溶解希釈剤。
〈外用〉皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布。
含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進。
〈その他〉医療用器具の洗浄。
【用】〈注射〉１）．　通常２０～１０００ｍＬを皮下、静脈内注射又は点滴静注する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。
２）．　適量をとり注射用医薬品の希釈、溶解に用いる。
〈外用〉１）．　皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布に用いる。
２）．　含そう、噴霧吸入に用いる。
〈その他〉医療用器具の洗浄に用いる。
【保管】室温保存。